目　　录

医方类聚卷之一百八十六——二百五(第九分册)

折伤门－（原书卷之一百八十六）…… 1
巢氏病源…… 1
腕伤病诸候…… 1
被打伤破脑出候…… 1
腕折破骨伤筋候…… 1
卒被损瘀血候…… 1
压迮坠堕内损候…… 1
腕伤初系缚候…… 1
被损久瘀血候…… 1
腕折中风痉候…… 1
腕折中风肿候…… 1
刺伤中风水候…… 1
朱氏集验方…… 1
伤损证治评…… 1
龟献奇方治伤折方论…… 2
又论…… 2
疗打扑伤损方论…… 2
热葱涕愈伤指方论…… 3
疗打扑伤损方论…… 3
疗坠马折足方论…… 3
疗蹴秋千坠损方论…… 3
搓衮舒筋方论…… 3
治臂臼脱方论…… 3
治病百法…… 4
落马坠井…… 4
十形三疗…… 4
落马发狂…… 4
足闪肭痛…… 4
膝肭跛行…… 4
得效方…… 4
秘论…… 4
十不治证…… 5
用药加减法…… 5
肠肚伤治法…… 6
又用药加减法…… 6
用麻药法…… 6
用掺药法…… 6
伤破肚皮用药法…… 6
打攧及树木压遍身痛者…… 6
去恶血法…… 6
用药汤使法…… 6
澹寮方…… 7
伤损…… 7
拔粹方…… 7
中风同从高坠下…… 7
医方大成…… 7
折伤…… 7
永类钤方…… 7
头目鼻耳伤…… 7
唇口喉齿腮伤…… 8
肩胛颈骨及手睑脱手盘手指骨伤…… 8
胸胁肠伤…… 9
腰脚臀臗两腿膝伤…… 9
阴囊阴门伤…… 9
筋骨……10
束缚敷贴换药……10
用药次第发散寒邪通气通血……11
理伤续断方……11
医治整理补接次第口诀……11
玉机微义……13
叙堕坠为病……13
伤损脉法……13
论伤损宜下……13
金匮方……14

千金方 ……14
被打及诸伤损 ……14
白马蹄散(14) 当归散(15) 黄耆散(15)
鹿角散(15) 紫汤(15) 大胶艾汤(16)
竹皮汤(16) 桃仁汤(16) 蒲黄散(16)
千金月令 ……17
海上仙方 ……17
骨头打碎 ……17
接骨 ……17
圣惠方 ……17
治从高堕下伤折诸方 ……17
蒲黄散(17) 葵根散(17) 附子散 (18)
接骨草散(18) 乾地黄散(18) 芎劳散(18)
没药散(18) 桃仁散(18)
治堕落车马伤折诸方 ……18
骨碎补散(18) 五骨散(18) 虎骨散(19)
当归散(19) 赤芍药散(19) 牡蛎散(19)
没药鸡子酒(19)
治腕折破骨伤筋诸方 ……19
黄耆散(19) 腽肭脐散(19) 延胡索散(19)
桂附散(19) 沉香丸(19) 琥珀丸(20)
接骨膏(20)
治压笮坠堕内损诸方 ……20
没药散(20) 芸薹子散(21) 地榆绢
煎(21)
治一切伤折恶血不散诸方 ……21
当归散(21) 白马蹄散(21) 槟榔散(21)
琥珀散(21) 骐驎竭散(22) 蒲黄散(22)
芍药散(22) 通神散(22) 牛黄散(22)
荆芥饮子(22) 败蒲散(22) 桃仁散(22)
桃仁散(22) 蒲黄鲤鱼散(23) 夜合枝
散(23) 杉木节散(23) 松节散(23) 法
炼红花散(23) 白僵蚕丸(23) 神曲
丸(24) 泽兰丸(24)
治伤折疼痛诸方 ……24
当归散(24) 骐驎竭散(24) 接骨散(24)
桃仁散(24) 附子散(24) 海桐皮散(24)
欵蛇龟酒(24) 延胡索散(24) 内固接骨
丹(25) 地黄金粉煎(25)
治马坠诸方 ……25
骨碎补散(25) 败龟散(25) 虎骨散(25)
神异立效方(25) 没药散(25) 败蒲散(25)
杏枝酒(26)
治一切伤折烦闷诸方 ……26
蒲黄散(26) 荆芥散(26) 定魂魄镇心
丸(26)
治堕损吐唾血出诸方 ……26
阿胶散(26) 艾叶散(27) 阿胶丸(27)
治被打损伤腹中有瘀血诸方 ……27
牡丹散(27) 蜚虫散(27) 大黄散(28)
治打扑损诸方 ……28
神验膏(28) 黑狗头骨散(28) 石斛
丸(28)
治一切伤损止痛生肌诸方 ……28
骐驎竭散(29) 黑神散(29) 止血散(29)
槟榔散(29) 紫藤香散(29) 黄耆散(29)
长肉散(29)
治一切伤折淋熨诸方 ……29
顽荆散(29) 熨药(29) 当归汤(30) 桂
附散(30) 虎骨汤(30) 芎劳汤(30) 芫
花熨药(30) 法炼黑豆熨药(30)
治一切伤折疼痛贴熁诸方 ……30
猢狲骨熁膏(30) 穿山甲骨贴熁膏(31)
木鳖子贴熁膏(31) 桂附贴熁膏(31) 软
骨涂药(31) 贴熁败龟膏(31) 走马贴熁
乳香膏(31)
治一切伤折膏药诸方 ……31
摩风麝香膏(32) 雄黄暖膏药(32) 抵圣
膏(32) 贴熁灵龟膏(32) 紫金膏(32)
腽肭脐膏(33) 挺子膏(33) 乳香暖
膏(33) 槐子膏(33) 摩风膏(33)
折伤门二 (原书卷之一百八十七) ……34
和剂局方 ……34
折伤 ……34
大岳活血丹(34) 没药降圣丹(34) 接骨
散(34) 导滞散(34) 补损当归散(34)
大全本草 ……35
续断筋法(35)

三因方 ……36
折伤吐血证治 ……36
加味芎藭汤（36）
折伤瘀血证治 ……36
鸡鸣散（36） 接骨散（36）
是斋医方 ……36
接骨散（37） 接骨散（37） 一字散（37）
鸾胶散（37） 黑神散（38） 如圣膏（38）
接骨忘拐丸（38）
琐碎录 ……39
直指方 ……39
桂枝酒（39） 朱砂丸（39）
管见大全良方 ……39
撅扑伤折狗咬金疮证治 ……39
居家必用 ……40
金丝膏（40）
必用全书 ……40
诸伤折方 ……40
鬼代丹（40） 接骨药（40）
朱氏集验方 ……40
续骨膏（40） 当归散（40） 神仙接骨丹（40） 平胃散（40） 双乌散（41） 黑神散（41） 黄芪汤（41）
宣明论 ……41
定痛丸（41） 神圣饼子（41）
御药院方 ……41
圣灵丹（41） 乳香消毒散（41） 虎杖散（42） 没药乳香散（42） 蒲黄散（42） 接骨丹（42） 当归血竭散（42） 桃仁散（42） 淋漓桂附散（42） 接骨乌金散（42） 松节散（42） 乳香丸（42） 大红膏（42） 止痛贴熥膏（43） 鲮鲤甲骨贴熥膏（43） 没药膏（43） 金丝膏（43） 定痛没药散（43） 大红膏（43） 双灵膏（43） 定痛没药散（43） 至圣黑龙膏（43） 至圣黑龙膏（43） 加血竭大红膏（43） 神效膏（44） 大红膏（44）
得效方 ……44
通治 ……44
接骨方（44） 清心药（45） 自然铜散（45） 鸡鸣散（45） 活血丹（45） 当归散（45）
内损 ……45
大紫金皮散（45） 没药散（46）
打扑伤损 ……46
木香匀气散（46） 麝香散（46） 平胃散（46） 急救方（46） 洗心散（46） 苏合香丸（46）
刀斧棒杖伤 ……46
消烦 ……46
四圣散（46）
傅药 ……46
活血散（46） 地黄膏（46）
退肿 ……47
苍术散（47） 紫金皮散（47）
麻药 ……47
草乌散（47）
断筋 ……47
小香胶散（47）
止痛 ……47
乳香散（47） 应痛丸（47） 寻痛丸（47）
澹轩方 ……48
扑伤 ……48
木石榼伤处 ……48
接骨 ……48
扑伤 ……48
榼伤头面破 ……48
接骨 ……48
卫生宝鉴 ……48
打扑损伤从高坠下 ……48
当归导滞散（48） 复元活血汤（48） 神效接骨丹（49） 紫金丹（49） 乳香神应散（49）
拔粹方 ……49
接骨丹（49） 巴戟汤（49） 接骨丹（49） 破血散痛汤（49） 接骨散（49） 益智汤（50）
医方大成 ……50
折伤 ……50

茴香酒(50)　走马散(51)
南北经验方……51
折伤……51
接骨散(51)
袖珍方……51
折伤……51
永类钤方……51
五积散(51)　匀气散(52)　乌药顺气散(52)　夺命散(52)　花蕊石散(52)
敷贴药……52
夺命散(52)　桃红散(53)　黑龙散(53)　黄云膏(54)
乾糁药……54
风流散(54)
淋洗药……54
淋渫顽荆散(54)
风损药……54
趁痛散(55)　接骨散(55)　筋骨散(55)　应痛乳香丸(55)　神仙透骨丹(55)　活血丹(55)　小红丸(56)　大红丸(56)　黑神丸(56)　当归散(56)　乳香散(56)　鳖甲散(57)　黑虎丹(57)　何首乌丸(57)　红黑二散(57)　秋担接骨散(57)　四妙散(57)
经验秘方……58
诸物伤……58
应痛乳香丸(58)　接骨散(59)　接骨丹(59)　接骨散(59)
经验良方……59
闪肭……59
打扑伤折……60
立应金丝膏(60)
伤折……60
乌头散(60)　神验膏(60)　白膏子(60)
折伤门三　(原书卷之一百八十八)……61
医林方……61
接骨……61
接骨丹(61)　敷药(61)　麝香散(61)　水仙散(61)　大红膏(61)
烟霞圣效方……61
接骨丹(61)　接骨丹(61)　应病接骨膏(61)　正骨散(62)　接骨丹(62)　黑神散(62)　通神散(62)　六枝膏(62)
寿亲养老书……62
秦王背指散(62)
施圆端效方……63
正骨……63
接骨丹(63)　小接骨散(63)　大续筋接骨丹(63)　没药四生丹(63)　大活血汤(63)　乳香乌龙丹(63)
吴氏集验方……63
手拈散(63)
神效名方……63
接骨散(63)　接骨药(64)　乳香散(64)
山居四要……64
新效方……64
理伤续断方……64
大活血丹(64)　小红丸(65)　鳖甲散(65)　小红丸(65)　小黑丸(65)　搜风丸(65)　驱风丸(66)　四物汤(66)　七气汤(66)　五积散(66)　大成汤(66)　小承气汤(66)　排风汤(66)　接骨药(66)　整骨药(66)　至真散(66)
又治伤损方论……66
黄末药(67)　白药末(67)　乌丸子(67)　红丸子(67)　麻丸子(67)　活血丹(68)　洗药(68)　乌龙角(68)　桃红散(68)　七宝散(68)　定痛丸(68)　七气汤(69)　仙正散(69)　接骨散(69)　阴红汤(69)　洗药(69)
玉机微义……69
损伤……69
攻下瘀血之剂……69
复元活血汤(69)　当归导气散(69)　鸡鸣散(70)
破血止痛行经之剂……70
破血散(70)　地龙散(70)　乳香神应散(70)　圣灵丹(70)　加味芎藭汤(70)

加味四物汤(70)　花蕊石散(70)　补损当归散(70)
接骨之剂……70
紫金丹(70)　接骨丹(70)
寿域神方……71
堕马落车部……71
屋壁所伤部……71
打扑伤损部……71
接骨法(71)
闪挫部……71
卫生易简方……72
折伤……72
备预百要方……73
堕损压笮伤折打破方……73
折伤导引……74
巢氏病源……74
卒被损瘀血候……74
诸疮门一　附诸肿　恶肉　恶脉……74
金匮方……74
巢氏病源……75
肿病诸候……75
风毒肿候……75
肿核候……75
气肿候……75
气痛候……75
恶脉候……75
肿有脓使溃候……75
肿溃后候……75
日游肿候……75
流肿候……75
疮病诸候……75
头面身体诸疮候……75
头面身体诸久疮候……75
疽疮候……75
甲疽候……75
查疽候……76
顽疽候……76
柞疽候……76
天上病候……76
甜疮候……76
疮建候……76
王烂疮候……76
白头疮候……76
猪灰疮候……76
不痛疮候……76
雁疮候……76
蜂窠疮候……76
断咽疮候……76
毒疮候……76
瓠毒疮候……76
晦疮候……76
集疮候……76
屋食疮候……76
乌啄疮候……76
摄领疮候……77
鸡督疮候……77
断耳疮候……77
新妇疮候……77
土风疮候……77
逸风疮候……77
甑带疮候……77
兔啮疮候……77
血疮候……77
疮中风寒水候……77
露败疮候……77
疮恶肉候……77
疮瘥复发候……77
冻烂肿疮候……77
千金方……77
洪烛疮……77
肥疮……78
浸淫疮……78
和剂指南……78
三因方……78
疮疡证治……78
癞风证治……78
妒精疮证治……78
直指方……78

肾痒方论 ……78
诸疮方论 ……79
治病百法 ……79
恶疮 ……79
下疳 ……79
疮疖瘤肿 ……79
疮肿丹毒 ……80
杖疮 ……80
治法杂论 ……80
十形三疗 ……80
项疮 ……80
冻疮 ……80
杖痛 ……80
杖疮入水 ……80
疮科通玄论 ……81
紫疥疮 ……81
火赤疮 ……81
红丝疮 ……81
鱼脐疮 ……81
冷疳疮 ……81
血疳疮 ……81
风疳疮 ……82
鸦啗疮 ……82
阴蚀疮 ……82
漏睛疮 ……82
臁疮 ……82
耳疳疮 ……82
骨槽风 ……82
火殃疮 ……82
牙疳疮 ……83
水流麻根疮 ……83
外科精义 ……83
论阴疮 ……83
论诸疮 ……83
千金方 ……83
浸淫疮 ……84
苦瓠散(84) 乌膏(84) 蒺藜子汤(85)
猪蹄汤(85) 葱白膏(85)
千金月令 ……86
金华膏(86) 通草膏(86) 铅牙膏(87)
海上仙方 ……87
鱼脐疮 ……87
臁疮 ……87
臁疮 ……87
恶疮 ……87
诸疮门二 (原书卷之一百八十九) ……88
圣惠方 ……88
治阴疮诸方 ……88
治阴下湿痒诸方 ……88
治一切毒肿诸方 ……89
五香散(89) 木香散(89) 紫草膏(89)
金花散(89) 乳香饼子(89)
治风肿诸方 ……90
连翘散(90) 黑豆浸酒(90) 乌蛇膏(90)
重台草散(90)
治卒风肿诸方 ……91
鹿角散(91) 半夏散(91)
治毒肿诸方 ……91
五香散(91) 漏芦散(91) 芸薹子散(91)
内消膏(92) 鹿角散(92)
治毒肿入腹诸方 ……92
大黄散(92) 犀角散(92) 沉香散(92)
射干散(92)
治游肿诸方 ……93
郁金散(93)
治恶肉诸方 ……93
漏芦散(93) 蚀恶肉散(93) 大黄膏(93)
治身体风毒疮诸方 ……94
苦参散(94) 白花蛇煎(94) 豉心散(94)
水银膏(94) 茅胆膏(94) 清凉散(94)
黄连散(95) 膏药(95)
治热疮诸方 ……95
白鲜皮散(95) 犀角散(95) 白蒺藜
散(95) 紫金散(96) 水银膏(96) 腻
粉膏(96) 赤小豆散(96) 大黄散(96) 密
陀僧散(96) 狼牙汤(96)
治冷疮诸方 ……96
芜荑散(96) 乌贼鱼骨散(96) 槟榔

散(97) 附子散(97)
治脚生疮诸方 ……97
骐驎竭散(97) 海桐皮汤(97) 蒴藋汤(97) 莽草汤(97)
治一切恶疮诸方 ……98
乌金散(98) 桑螵蛸散(98) 黄连散(98) 鹿角散(98)
治久恶疮诸方 ……99
牛角散(99) 赤小豆散(99) 降真散(99) 砒霜膏(99) 白膏(99) 松脂膏(99) 柏叶散(99) 黄柏散(99) 马齿苋膏(100)
治无名疮诸方 …… 100
蓼叶散(100) 地丁散(100) 蔷薇膏(100) 白龙膏(100) 蛇床散(100)
治反花疮诸方 ……101
胭脂散(101)
治浸淫疮诸方 …… 101
胡粉散(101)
治月蚀疮诸方 …… 101
腻粉散(102)
治夏月痱疮诸方 …… 102
赤石脂散(102)
四时纂要 …… 102
乌金膏(102) 乌蛇膏(102)
和剂局方 …… 103
疮肿 …… 103
云母膏(103) 玉龙膏(103) 急风散(104) 腻粉膏(104)
大全本草 …… 104
三因方 …… 105
疮疡证治 …… 105
天麻煎(105) 百草膏(105)
癫风证治 …… 105
四生散(105) 乌头煮盐丸(105) 天麻煎(105)
妒精疮证治 …… 105
白散子(105) 津调散(105) 蒲黄散(105)
卫生十全方 …… 106
是斋医方 …… 106
候子 痱子 …… 106
玉女英(106)
足疮 臁疮 …… 106
下疳 阴疮 …… 107
头疮 敛疮口 驴涎马汗入疮 杂疮…108
桃红散(108) 冬青散(108) 妙用膏(109)
琐碎录 …… 109
诸疮门三 (原书卷之一百九十) …… 110
直指方 …… 110
肾痒证治 …… 110
宣风散(110) 不换金正气散(110) 青木香丸(110) 活血驱风散(110) 蒺藜散(110) 乌荆丸(110) 神授丸(110) 乳香龙骨散(110)
诸疮证治 …… 111
桑螵蛸散(111) 乳香蜡油膏(111) 胭脂散(111) 苦楝散(111) 胡粉散(111) 绿矾散(111) 乌梅醋法(111) 滑石粉(111) 紫草膏(111) 槟榔散(111) 赤豆散(111) 乌羊膏(111) 竹叶膏(111) 麝香散(112) 豆坯散(112) 神降散(112) 蜡矾丸(112) 疏风解毒散(112) 贝母膏(112)
朱氏集验方 …… 113
疮疖 …… 113
虢丹膏(113) 羚羊角散(113) 鹿角丸(114) 加减五苓散(114) 增益四物汤(114) 百花散(114) 土朱散(114) 驱风散(114) 独珍膏(114) 二草散(114) 神效饼子(115) 五香连翘散(115) 万金膏(115) 洗药(115) 薰药(115) 槟榔散(115)
修月鲁般经后录 …… 116
破毒天下无比散(116) 解毒排脓散(116) 桃红散(116) 散毒百用膏(116) 神护膏(116) 水澄膏(116) 五金膏(117) 青金定子(117) 七珍丹(117) 妙灵散(117) 活血丸(117) 取毒膏(117) 拔毒膏(117) 如圣散(117) 疳积丸(118) 麝香丸(118) 芜荑丸(118) 芦荟丸(118)
治病百法 …… 118

冻疮 …… 118
宣明论 …… 118
川山甲散(118) 龙脑润肌汤(118) 桃花散(118) 追毒散(118)
东垣试效方 …… 119
疮疡治验 …… 119
黍粘子汤(119) 连翘防风汤(119) 圣愈汤(119) 柳枝当归膏(119) 桃枝当归膏(119)
治疮脉诀 …… 119
御药院方 …… 119
玉粉散(119) 七宝散(119) 何首乌散(120) 吴茱萸汤(120) 枫香散(120) 消肿木香散(120) 腻粉散(120) 苦参丸(120) 洗风散(120) 神应散(120) 溻肿汤(120) 琥珀药(120)
疮肿 …… 120
陈元膏(120) 白龙膏(120) 摩风膏(121) 消毒膏(121) 玉容膏(121) 金黄散(121) 桃红散(121) 佛手散(122) 紫葛散(122) 追毒散(122) 槟榔散(122) 寸金丸(122) 黄连散(122) 搜脓散(122) 定痛黄柏散(122) 平肌散(122) 艾煎膏(122) 楮实散(122) 桃仁膏(123) 玉屑膏(123) 托里黄耆散(123) 冻疮药(123) 万痊膏(123) 雄黄膏(123) 桦皮散(123) 黑神膏(123) 乳香膏(123) 辛夷膏(124) 金花散(124) 溃毒药(124) 浴毒汤(124)
得效方 …… 124
诸疮 …… 124
平血饮(124) 小牛黄丸(124) 牛黄清心丸(124) 天麻煎(124) 酒蒸黄连丸(124) 荆黄汤(124) 当归饮(124) 连翘饮(124) 赤小豆汤(125) 蝉蜕散(125) 四生散(125) 黄耆丸(125) 增益四物汤(125) 五香连翘汤(125) 五苓散(125) 合掌散(125) 葵花散(125) 真平胃散(125) 二黄膏(125) 净肌散(125) 乌梅膏(125) 苦楝膏(125) 青黛散(125) 苦参汤(126) 驱风散(126) 神降散(126)
肾脏风痒疮 …… 126
活血驱风散(126) 青木香丸(126) 小牛黄丸(126) 乌荆丸(126) 神授丸(126) 不换金正气散(126) 津调散(127)
臁疮 …… 127
牛黄金虎丹(127) 应效玉圣散(127) 槟榔散(128) 牡蛎散(128) 隔壁膏(128) 洗药(128) 熏药(128)
澹轩方 …… 128
髭疮 …… 128
颔疮 …… 128
痱 …… 128
冻疮 …… 128
癞头疮 …… 128
恶疮 …… 128
灸疮犯水毒 …… 128
天火带疮 …… 129
燕口疮雁来疮 …… 129
肾脏风疮 …… 129
阴疮 …… 129
妒精疮 …… 129
阴茎肿烂 …… 129
臁疮 …… 129
疮毒胨腮等赤肿 …… 129
臁疮 …… 129
肘后方 …… 129
赤龙皮汤(129) 灸肿令消法(130) 雄黄膏(131) 雄黄散(131) 松脂膏(131) 地黄膏(131) 绿云散(131)
治卒阴肿痛颓卵方 …… 131
神黄膏(132) 青龙五生膏(132)
澹寮方 …… 132
平血饮(132) 五参丸(132) 苦参丸(132) 搽疮药(132) 搽疮药(132) 煨肾丸(132) 傅疮药(133) 傅疮药(134)
卫生宝鉴 …… 134
疮肿 …… 134
翠玉膏(134) 乳香消毒散(134) 内消

丸(134)　乳香丸(134)　水澄膏(134)　拔毒散(134)　龙麝追毒丹(134)　桃红散(134)　木香散(135)　解毒膏(135)　善应膏(135)　如神散(135)　黄连散(135)

疮总论 …… 135

汗之则疮已 …… 135

托里温经汤(136)

凡治病必察其下 …… 136

舍时从证 …… 136

托里温中汤(137)　乳香散(137)　五黄散(137)

诸疮门四　(原书卷之一百九十一) …… 138

圣济总录 …… 138

诸疮 …… 138

当归丸(138)　柳絮散(138)　露蜂房散(138)　金粉饼(138)　苦参散(138)　二金散(138)　黄香饼(138)　龙骨散(138)　雄黄散(138)　海带散(138)　井苔散(138)　马苋涂方(138)　麝香散(139)　白龙散(139)　百合散(139)　石韦散(139)　芙蓉傅方(139)　红粉散(139)　败蹄散(139)　黄柏散(139)

诸恶疮 …… 139

麝香散(139)　皂荚刺散(139)　乳香散(139)　龙葵散(139)　獭骨散(139)　乌蛇膏(140)　金柏散(140)　密陀僧散(140)　乌头散(140)　槟榔黄葵散(140)　粉香散(140)　金黄散(140)　通圣散(140)　寸金散(140)　熊胆膏(140)　枫香散(140)　硫黄膏(140)　血竭散(140)　柏皮散(140)　二黄散(140)　木香散(141)　牛齿散(141)　黄连散(141)　瓜蒂散(141)　怀乾散(141)　金黄散(141)　白香散(141)　黑龙丸(141)　地骨皮散(141)　六枝乌金膏(142)　熏药(142)　碧云膏(142)　乌膏(142)　乌头膏(142)

反花疮 …… 142

甘草涂傅方(142)　藜芦傅方(142)　恶实根涂傅方(142)

居家必用 …… 143

小灵丹(143)　雄黄膏(143)　万灵膏(143)

必用全书 …… 144

藿香托里散(144)

必用之书 …… 144

石灰粉方(144)

拔粹方 …… 144

疮疡 …… 144

当归散(144)　乳香散(144)　膏药(144)　化坚汤(144)　保安汤(145)　没药散(145)　圣愈汤(145)　内疏黄连汤(145)　内托复煎散(145)　当归黄耆汤(145)　截疳散(145)　生肌散(146)　平肌散(146)　碧霞挺子(146)

用药加减 …… 146

回疮金银花散(146)　雄黄散(146)

疮肿之疾 …… 146

槟连散(146)　复坚散(146)　乌金散　(146)

瑞竹堂方 …… 147

疮肿 …… 147

白芷散(147)　桃花散(147)　拔毒散(147)　防风当归散(147)　砂草油(147)　蜡黄膏(147)　螵蛸散(147)　立效散(147)　黄耆饮子(148)　万应膏(148)　经验加麒麟乳香膏(148)

王氏集验方 …… 148

诸疮 …… 148

善应膏(148)　敷贴药(149)　掺疮口药(149)

医方大成 …… 149

疮疖 …… 149

竹茹膏(149)

袖珍方 …… 149

疮疖 …… 149

桃花散(149)　内托散(150)　消毒汤(150)　拔毒散(150)　内托散(150)　秃疮药(150)　下疳药(150)　神应散(151)　藿药散(151)　救苦散(151)

永类钤方 …… 151

臁疮 …… 151

外肾疳疮 …… 152

疮疖 …… 152

二乌膏(152)　神效杖疮恶疮膏(152)

疮科通玄论 ……152
诸疮 …… 152
消风散(152) 黄耆丸(152) 黄耆汤(152) 追毒乌金散(153) 针头散(153) 溃脓散(153) 桃花散(153) 麝香轻粉散(153) 追毒散(153) 消毒散(153) 如圣膏(153) 神应膏(153) 青金膏(153) 洗毒散(153) 铁罐膏(153) 鸦啗散(154) 乳香茸拔散(154) 紫金散(154) 红玉饮子(154)
经验秘方 …… 154
疮肿 …… 154
升麻塌肿汤(154) 香粉散(154) 耆老丹(154) 黄矾丸(154) 玉粉散(154) 回疮锭子(154) 金银锭子(154) 替针丸(155) 翠霞膏(155) 金黄散(155) 消毒散(155) 黄龙膏(155) 藤黄饮子(155) 五圣散(155) 千金散(155) 搽疮药(155) 夺命丹(155) 复煎散(155) 万转膏(156) 拔毒膏(156) 麝香散(156) 万灵丹(156) 万金丸(156) 治辽叶法(157) 黄龙膏(157) 立效散(157) 香连散(157) 乳香黄耆散(157) 内消散(157) 五圣散(158)
经验良方 …… 158
膈膫膏(158) 狗脊膏子(158) 平瘀散(158)
下部疮 …… 158
黄柏散(159) 黄栢散(159) 千金托里散(159)
诸般疮疾 …… 159
追毒饼子(159) 石灰散(159)
医林方 …… 160
疮肿 …… 160
乳香定痛散(160) 乳香没药膏(160) 鬼代散(160) 杖疮药(160)
烟霞圣效方 …… 160
疮肿 …… 160
黄金散(160) 乳香定痛散(160) 青金散(160) 桃花散(160) 托里散(160) 太白膏(161) 百花拔毒散(161) 生肌定子(161) 乳香生肌散(161) 乳香善应托里散(161) 连翘托里散(161) 大圣丸(161) 龙脑散(161) 乳香追毒丸(161) 宣毒丸(161) 托里药(161) 如圣救苦散(162)
诸疮门五 (原书卷之一百九十二) …… 163
寿亲养老书 …… 163
黄耆散(163)
施圆端效方 …… 163
疮疡 …… 163
追毒信效丸(163) 黄龙散(163) 朱粉散(163) 夺命散(163) 佛手散(163) 如圣散(163) 圣应膏(163) 雄黄散(163) 活血散(163) 虎骨散(163) 麝香散(163) 青金散(163) 金针散(164) 玄胡散(164) 桃花散(164) 内托黄耆散(164) 桃红散(164) 乳香散(164) 太一膏(164) 僧铅散(164) 玉粉散(164) 没药散(164) 乳香膏(164) 水调膏(164) 胜金膏(164) 黄连散(164) 麝香散(164) 玉粉锭儿(164) 麝香散(165) 麝香锭子(165) 雄碌散(165) 麝胆散(165) 牡蛎散(165) 胜疳散(165)
吴氏集验方 …… 165
神应膏(165) 神功散(165) 莹肌丸(165) 黑香散(165) 清肤散(165)
神效名方 …… 166
疮疡 …… 166
水沉金丝膏 (166) 乳香散 (166) 二圣散(166) 保生锭子(166) 神圣膏药(166) 破棺丹(166) 三圣散(166) 溃死肉药(166) 替针丸(167) 治恶疮死肉铤子(167) 当归和血散(167) 赤龙散(167) 生肌敛疮药(167) 黄柏散(167)
事林广记 …… 167
山居四要 …… 168
新效方 …… 168
疮疡 …… 168
黑膏子(168) 追毒挺子(168) 一绝散(168) 铁箍散(168)
急救仙方 …… 169
诸疮膏药(169)

秘传外科方 …… 169
内塞散(169)　拔毒散(169)　铁筒拔毒膏(170)　内固清心散(170)　一味千金散(170)　敷药(170)　瘭疽通药(170)　下疳疮搽药(170)　瘭疽吃药(170)
外科精义 …… 171
漏芦汤(171)　化毒丹(171)　内消丸(171)　五利大黄汤(171)　内消升麻汤(171)　五香连翘汤(171)　牡蛎大黄汤(171)　和血通气丸(172)　地黄煎丸(172)　槐角煎丸(172)　连翘散(172)　托里黄芪汤(172)　托里茯苓汤(172)　托里当归汤(172)　托里散(172)　托里玄参散(172)　内塞散(172)　香粉散(172)　黄芪茯苓汤(172)　内补防风散(173)　伏梁丸(173)　甘草大豆汤(173)　溻肿汤(173)　洗毒汤(173)　浴毒汤(173)　何首乌散(173)　八仙散(173)　消毒汤(173)　熨风散(173)　黄芪丸(173)　栀子仁汤(173)　乳香膏(173)　追毒散(174)　射脓丸(174)　替针丸(174)　翠霞散(174)　引脓散(174)　乳香散(174)　钩苓散(174)　抵圣散(174)　青金锭子(174)　白龙散(174)　槟榔散(174)　金黄散(174)　金露散(174)　天麻散(175)　决效散(175)　神黄散(175)　博金散(175)　乌金散(175)　抵圣丸(175)　应效散(175)　白金散(175)　如圣散(175)　乌龙丸(175)　乳香托里散(175)　万应膏(176)
论炮制诸药及单方主疗疮肿法 …… 176
玉机微义 …… 178
疮疡 …… 178
辛凉发散之剂 …… 178
当归拈痛汤(178)　升麻牛蒡子散(178)　中和汤(178)
辛平发散之剂 …… 178
升麻和气饮(178)
辛温发散之剂 …… 179
十六味流气饮(179)　夺命丹(179)
辛热发散之剂 …… 179
托里温中汤(179)
辛凉攻里之剂 …… 179
破棺丹(179)　泻心汤(179)
辛平攻里之剂 …… 179
万灵夺命丹(179)
辛凉发表攻里之剂 …… 180
千金漏芦汤(180)
定疼托里散(180)　乳香止痛散(180)　黄芪人参汤(180)　托里黄芪汤 (180)　翠霞锭子(180)　信效锭子(180)　时效针头散(180)　水澄膏(181)金黄散(181)　乳香散(181)　轻粉散(181)　祛风散(181)　走马散(181)　乳香善应膏(181)　至宝玉连膏(181)
收敛之剂 …… 181
生肌散(181)　红玉散(181)　完肌散(181)　一上散(181)　下疳疮洗药(181)　琥珀散(182)
运化玄枢 …… 182
楸叶膏(182)
寿域神方 …… 182
杖疮部 …… 182
恶疮部 …… 182
臁疮部 …… 183
瘊子部 …… 183
诸疮门六 (原书卷之一百九十三) …… 184
卫生易简方 …… 184
热痱 …… 184
疮疖 …… 184
臁疮 …… 186
疳疮 …… 187
杖伤 …… 187
金匮钩玄 …… 188
通圣散(188)
御医撮要 …… 188
软玉膏(188)　大黄泥(188)　香泥膏(188)　走马膏(188)　败毒膏(189)
备预百要方 …… 189
恶疮方 …… 189
阴疮 …… 190
简奇方 …… 190

诸疮禁忌 …… 190
巢氏病源 …… 190
诸疮针灸 …… 191
千金方 …… 191
圣惠方 …… 191
治卒风毒肿方 …… 191
肘后方 …… 191
卫生易简方 …… 191
诸疮导引 …… 191
巢氏病源 …… 191
膏药门一 …… 192
千金方 …… 192
膏 …… 192
神明白膏(192) 卫候青膏(192) 神明青膏(192) 太傅白膏(192) 曲鱼膏(193) 野葛膏(193) 陈元膏(193) 八毒膏(193)
圣惠方 …… 193
治一切痈疽发背通用膏药诸方 …… 193
雄黄膏(193) 黄丹膏(194) 通神膏(194) 抵圣膏(194) 紫金膏(194) 大垂云膏(195) 垂云膏(195) 神效乌膏(195) 木通膏(195) 十香膏(195)
治一切痈疽发背疮肿结硬膏药诸方 …… 196
神圣膏(196) 乌犀膏(196) 黑金膏(196) 琥珀膏(196) 木通膏(196)
治一切痈疽发背止疼痛膏药诸方 …… 197
雄黄膏(197) 五香膏(197) 乌膏(197) 黄丹膏(197) 麝香膏(197) 乳香膏(198) 木通膏(198) 丁香膏(198) 胡粉膏(198)
治一切痈疽发背疮肿溃后排脓膏药诸方 …… 198
骐骥竭膏(198) 连翘膏(198) 排脓止痛膏(199) 排脓生肌神效膏(199) 止痛排脓生肌神秘方(199) 排脓生肌膏(199) 排脓生肌膏(199) 排脓止痛地黄膏(199)
治一切痈疽发背生肌膏药诸方 …… 199
骐骥竭膏(199) 润疮生肌膏(200) 生肌膏(200) 止痛生肌膏(200) 水杨膏(200) 生肌膏(200) 乌麻膏(201) 黄耆膏(201)
治一切恶毒膏药诸方 …… 201
抵圣雄黄膏(201) 乌蛇膏(201) 挺子膏(201) 生肌散(201) 挺子膏(201) 白薇膏(201) 莨菪膏(202)
治一切毒肿膏药诸方 …… 202
犀角膏(202) 乌蛇膏(202) 解毒膏(202) 升麻膏(202) 地黄膏(202) 败龟膏(202) 天麻膏(203) 换骨膏(203)
是斋医方 …… 203
膏药 …… 203
神验金丝膏(203) 木鳖子膏(203) 万金膏(203) 万金膏(203) 如圣膏(204) 太一膏(204) 水晶膏(204)
修月鲁般经 …… 205
金丝膏(205)
澹轩方 …… 205
肠毒等膏药 …… 205
膏药 …… 205
圣济总录 …… 205
一切痈疽诸疮膏药 …… 205
保安膏(205) 乌犀膏(205) 紫金膏(206) 乌金膏(206) 神愈膏(206) 三仙膏(206) 乳香膏(206) 乳香膏(206) 乌金膏(206) 至圣膏(206) 无名异膏(207) 走马膏(207) 佛手膏(207) 如圣膏(207) 应痛膏(207) 雄黄膏(207) 垂柳膏(207) 大圣膏(207) 楸叶膏(208) 黄耆膏(208) 百灵膏(208) 败毒膏(208) 生肌长肉膏(208) 乳香膏(208) 紫金挺(208) 乌贼骨膏(208) 玄参散(209) 寒水石膏(209) 白膏(209) 木通膏(209) 清凉膏(209)
膏药门二 (原书卷之一百九十四) …… 210
医方大成 …… 210
膏药 …… 210
玄武膏(210) 善应膏(210)
南北经验方 …… 210
神圣膏(210)

袖珍方 …… 210
万应膏(210) 膏药(211) 藥风膏(211) 神异膏(211) 灵通膏(211) 万应膏(211)
经验秘方 …… 212
膏药 …… 212
救苦膏(212) 温骨膏(212) 金丝万应膏(212) 神仙太乙至宝万金膏(212) 红膏药法(213) 万应膏(213) 黑膏药(213) 青金散(213) 万应膏(213) 神应膏(213) 神应膏(214) 万应膏(214) 神应膏(214) 向骨膏(214) 万痊膏(215) 金沉膏(215) 乌犀膏(215)
经验良方 …… 215
膏药(215) 玄武膏(216) 神效善应膏(216) 加料神异透骨膏(216)
臞仙活人心 …… 216
膏药 …… 216
益筹膏(217)
汤火伤门 …… 217
巢氏病源 …… 217
针灸疮发洪候 …… 217
千金方 …… 217
火疮等病 …… 217
薤白膏(218)
千金月令 …… 219
柏皮膏(219)
海上仙方 …… 219
汤火烧 …… 219
圣惠方 …… 219
治汤火疮诸方 …… 219
清凉膏(219) 神效白膏(219)
治火烧疮诸方 …… 220
止痛散(220)
治灸疮急肿痛诸方 …… 221
水柳膏(221) 吮脓膏(221)
治灸疮久不差诸方 …… 221
止痛生肌散(221) 柏皮膏(222) 生肌膏(222) 薤白膏(222)
大全本草 …… 222
是斋医方 …… 223
紫雪(223)
琐碎录 …… 224
外科精要 …… 225
至圣膏(225)
朱氏集验方 …… 225
汤火伤 …… 225
黄柏散(225)
东垣试效方 …… 225
保生救苦散(225)
兰室秘藏 …… 225
保生救苦散(225) 独圣散(225)
得效方 …… 226
汤火疮 …… 226
四黄散(226) 掺药(226)
澹轩方 …… 226
汤烫火烧 …… 226
汤火皮肉溃烂 …… 226
澹寮方 …… 226
神效散(226)
卫生宝鉴 …… 226
绿白散(226)
居家必用 …… 226
必用全书 …… 227
拔粹方 …… 227
冰霜散(227)
王氏集验方 …… 227
医方大成 …… 227
赤石脂散(227)
袖珍方 …… 227
经验秘方 …… 228
蛤粉散(228)
经验良方 …… 228
烟霞圣效方 …… 228
拔毒散(228)
施圆端效方 …… 229
大黄寒水散(229) 七珍散(229)
吴氏集验方 …… 229
清凉膏(229)

神效名方 …… 229
事林广记 …… 229
山居四要 …… 229
新效方 …… 229
外科精义 …… 230
急救仙方 …… 230
寿域神方 …… 230
汤火部 …… 230
卫生易简方 …… 230
汤火伤 …… 230
御医撮要 …… 230
神效贴灸膏(230)
备预百要方 …… 231
汤火疮方 …… 231
拔毒止痛膏(231) 灸疮洗法(231)
汤火伤针灸 …… 231
千金方 …… 231
漆疮门 …… 231
千金方 …… 231
千金月令 …… 232
圣惠方 …… 232
治漆疮诸方 …… 232
大全本草 …… 233
是斋医方 …… 233
琐碎录 …… 233
直指方 …… 233
澹轩方 …… 233
漆疮 …… 233
肘后方 …… 233
居家必用 …… 233
经验良方 …… 234
山居四要 …… 234
玉机微义 …… 234
寿域神方 …… 234
漆疮部 …… 234
卫生易简方 …… 234
漆疮 …… 234
备预百要方 …… 234
怪疾门 …… 235
得效方 …… 235
怪疾 …… 235
经验良方 …… 237
怪疾奇方 …… 237
救急门一 …… 238
巢氏病源 …… 238
自缢死候 …… 238
溺死候 …… 238
冻死候 …… 238
金匮方 …… 238
千金方 …… 239
海上仙方 …… 240
自缢 …… 240
三因方 …… 240
五绝治法 …… 240
半夏散(240) 牡丹散(240)
琐碎录 …… 240
得效方 …… 241
救急 …… 241
卫生宝鉴 …… 241
复生散(241)
救急门二 (原书卷之一百九十五) …… 242
必用全书 …… 242
救自缢 …… 242
救自缢法(242)
经验秘方 …… 242
中兴备急方 …… 242
经验良方 …… 243
孙真人救急灵方 …… 243
邪厉缢溺魇死卒死 …… 243
烟霞圣效方 …… 243
山居四要 …… 243
寿域神方 …… 243
溺水部 …… 243
自缢部 …… 244
备预百要方 …… 244
落水死方 …… 244
冻死冻疮方 …… 244
救急针灸 …… 244

千金方 …… 244
得效方 …… 244
救急 …… 244
寿域神方 …… 245
溺水部 …… 245
自缢部 …… 245
杂病门一 …… 245
金匮方 …… 245
杂疗 …… 245
加减柴胡饮子(245) 诃梨勒丸(245)
千金方 …… 245
万病丸散 …… 245
芫花散(245) 耆婆万病丸(247) 仙人玉壶丸(249) 三物备急丸(250) 大理气丸(251) 大麝香丸(251) 小麝香丸(251) 紫葛丸(251) 太乙神精丹(251) 作土釜法(252) 作六一泥法(253) 仓公散(253) 小金牙散(253) 大金牙散(253)
千金月令 …… 254
紫雪(254) 绛雪(254) 神明膏(254)
圣惠方 …… 254
硫黄茶(254)
四时纂要 …… 254
木瓜饼子(254) 红雪(254)
和剂局方 …… 255
青解毒丸(255) 寸金丸(255)
大全本草 …… 255
琐碎录 …… 258
方术治病 …… 258
咒术治病 …… 258
辟寒法(258)
杂法 …… 258
风土杂记 …… 259
简易方 …… 259
清心丸(259) 清心丸(259) 温中丸(259)
修月鲁般经后录 …… 259
满店香(259) 神仙妙药(260) 走马赴筵丹(260) 宽中丸(260) 猪肚丸(260) 降气汤(260) 上清丸(260) 化气丸(260) 鹘马丹(260) 草灵丹(260) 滋血百补丸(261) 小沉香丸(261)
三法六门 …… 261
吐剂 …… 261
三圣散(261) 瓜蒂散(261) 独圣散(261) 稀涎散(261) 蔚金散(261) 茶调散(261) 独圣散(261) 碧云散(261) 常山散(261) 青黛散(261)
汗剂 …… 261
防风通圣散(261) 双解散(261) 浮萍散(262) 升麻汤(262) 麻黄汤(262) 桂枝汤(262)
下剂 …… 262
导水丸(262) 禹功散(262) 通经散(262) 神祐丸(262) 琥珀丸(262) 益肾散(262) 承气汤(262) 小承气汤(262) 调胃承气汤(262) 桃仁承气汤(262) 玉井散(262) 水煮桃红丸(263) 无忧散(263) 泄水丸(263) 牛黄通鬲丸(263) 四生丸(263) 内托散(263) 藏用丸(263) 神芎丸(263) 进食丸(263) 牛黄白术丸(263) 玉烛散(263) 三和汤(263) 丁香化癖散(263) 抵当汤(263) 抵当丸(263) 十枣汤(263) 除湿丹(263) 利鬲丸(263) 三一承气汤(264) 大陷胸汤(264) 小陷胸汤(264) 握宣丸(264)
兼治于内者 …… 264
大柴胡汤(264) 小柴胡汤(264) 柴胡饮子(264) 防风当归饮子(264) 白术汤(264)
兼治于外者 …… 264
桂苓汤(264) 麻黄汤(264) 升麻汤(264) 五积散(264) 青衿散(264)
犹治于内者 …… 264
陷胸汤(264) 大黄丸(264) 备急丸(264) 枳壳丸(265) 莲壳散(265) 木香槟榔丸(265) 导饮丸(265) 五香连翘散(265) 四物汤(265) 当归散(265) 当归散(265) 葛根散(265) 定志丸(265) 槟榔丸(265) 小槟榔丸(265) 瞿麦散(265)

独治于外者 …… 265
青金散(265) 拔毒散(265) 水澄膏(265) 鱼胆丸(265) 金丝膏(266) 生肌散(266) 赴筵散(266) 麝香玉线子(266) 人参化瘿丹(266) 通气丸(266) 消毒散(266) 煮肝散(266) 小黄膏(266) 剪刀药(266) 木香槟榔散(266) 阳起石散(266) 铅白霜散(266) 雄黄散(266) 化斑汤(266)
调治 …… 267
无比山药丸(267) 当归丸(267) 香薷汤(267) 石苇散(267) 妙功丸(267) 人参散(267) 茴香丸(267) 七宣丸(267) 人参调中汤(267) 乌金散(267) 沉香降气丹(267) 枳术丸(267)
杂记九门 …… 268
病机 …… 268
标本运气歌 …… 268
辨十二经水火分治法 …… 268
治病 …… 268
六陈 …… 268
十八反 …… 268
运气歌 …… 268
五不及 …… 268
断病人生死 …… 269
四因 …… 269
五苦六辛 …… 269
天地六位藏象之图 …… 269
杂病门上 (原书卷之一百九十六) …… 270
宣明论 …… 270
素问诸证略备具题 …… 270
煎厥证主热 …… 270
人参散(270)
薄厥证主肝 …… 270
赤茯苓汤(270)
飧泄证主冷 …… 271
白术汤(271)
膜胀证主心腹 …… 271
吴茱萸汤(271)
风消证主心脾 …… 271
黄耆羌活散(271)
心掣证主心 …… 271
调中散(271)
风厥证主脾胃 …… 271
远志散(271)
结阳证主四肢 …… 271
犀角汤(271)
厥疝证主腹痛 …… 271
吴茱萸加减汤(272)
结阴证主便血 …… 272
地榆汤(272)
解伬证主肾实 …… 272
利肾汤(272)
胃疸证主胃热 …… 272
茯苓加减汤(272)
蛊病证主脾风 …… 272
大建中汤(272)
瘈病证主觝急 …… 272
建中加减汤(272)
劳风证主诸风 …… 272
芎枳丸(272)
痹气证主阳虚阴实 …… 273
附子丸(273)
骨痹证主肾弱 …… 273
附子汤(273)
肉苛证主荣虚胃寒 …… 273
前胡散(273)
肺消证主心肺 …… 273
黄耆汤(273)
涌水证主水病 …… 273
葶苈丸(273)
膈消证主肺 …… 273
麦门冬饮子(273)
口糜证主口涩 …… 274
柴胡地骨皮汤(274)
虚瘕证主女病 大肠 …… 274
槟榔丸(274)
食亦证主胃病 …… 274
参苓丸(274)

鼻渊证主鼻 …… 274
防风汤(274)
衄衄证主失血 …… 274
定命散(274)
鼓胀证主胃病气逆 …… 274
鸡屎醴散(274)
血枯证主妇人经病 …… 275
乌鱼骨丸(275)
伏梁证主心积 …… 275
鳖甲汤(275)
喑俳证主肾虚 …… 275
地黄饮子(275)
厥逆证主心痛 …… 275
小茯苓汤(275)
风成寒热证主风 …… 275
解风散(275)
风成寒中证主风 …… 275
当归汤(275)
风成热中证主风 …… 276
青龙散(276)
脑风证主风气 …… 276
神圣散(276)
首风证主新沐 …… 276
大川芎丸(276)　茶酒调散(276)
目风眼寒证主眼 …… 276
石膏散(276)
漏风证主酒风 …… 276
牡蛎白术散(276)
胃风证主风 …… 276
大豆蔻丸(277)　胃风汤(277)
行痹证主痹 …… 277
防风汤(277)
痛痹证主痹 …… 277
茯苓汤加减(277)
著痹证主痹 …… 277
茯苓川芎汤(277)
周痹证主痹 …… 277
大豆糵散(277)
胞痹证主膀胱 …… 277
肾著汤(277)
肠痹证主痹 …… 278
木香丸(278)
热痹证主痹 …… 278
升麻汤(278)
白淫证主虚劳 …… 278
秘真丸(278)
胃脘痈证主疽 …… 278
射干汤(278)
阳厥证主诸气 …… 278
羚羊角汤(278)
息积证主腹心 …… 278
白术丸(279)
疹筋证主肝 …… 279
柏子仁散(279)
厥逆头疼证主胃 …… 279
天南星丸(279)
胆疸证主肝 …… 279
溢胆汤(279)
濡泄证主利 …… 279
豆蔻散(279)
鹜溏证主利 …… 279
吴茱萸丸(279)
三焦约证主大小肠 …… 279
枳壳丸(279)
胃寒肠热证主胃 …… 280
妙应丸(280)
胃热肠寒证主胃 …… 280
青橘皮丸(280)
控睾证主小肠 …… 280
茴香楝实丸(280)
阴疝证主男病 …… 280
蒺藜汤(280)
诸痹证主风 …… 280
升麻前胡汤(280)
心疝证主心痛 …… 280
木香散(280)　四圣散(280)　赴筵散(281)
诃子汤(281)
杂外 …… 281

倒换散(281)　败毒散(281)
东垣试效方 …… 281
杂方 …… 281
燃香病热 …… 281
清神补气汤(281)
人之汗以天地之雨名之 …… 281
羌活胜湿汤(282)
阴痿阴汗及臊臭 …… 282
阴痿阴汗及臊臭论 …… 282
龙胆泻肝汤(282)　清震汤(282)　正元汤(282)　柴胡胜湿汤(282)　椒粉散(282)　补肝汤(283)　温肾汤(283)　丁香疝气丸(283)
兰室秘藏 …… 283
杂病 …… 283
补气汤(283)　小黄丸(283)　黄芩利膈丸(283)　补益肾肝丸(283)　太阳经噫药(283)　麻黄桀萸汤(283)　黄芪汤(284)　参归汤(284)
御药院方 …… 284
杂病 …… 284
暖手法(284)　代灸膏(284)　五生膏(284)　趁痛丸(284)　神枕法(284)　犀角散(285)　擒虎散(285)　蒴藋散(285)　淋漓乌头散(285)　无碍丸(285)　引水散(285)　寻痛丸(286)　代茶新饮(286)　荆芥散(286)　葳灵仙丸(286)　白莲散(286)　薰蒸方(286)
澹轩方 …… 287
铁扫帚汤(287)
肘后方 …… 287
治百病备急丸散膏诸要方 …… 287
五毒神膏(287)　虎骨膏(287)　蛇衔膏(287)　陷冰丸(287)　神明白膏(287)　成膏(288)　常备药(288)　成剂药(288)　神明白散(288)　三物备急丸(289)
卫生宝鉴 …… 289
肠胃寒治验 …… 289
加减白通汤(290)
肝胜乘脾 …… 290
上热下寒治验 …… 290
既济解毒汤(291)
阴黄治验 …… 291
茵陈附子乾姜汤(291)
时不可违 …… 291
黄芪建中汤(292)
过汗亡阳变证治验 …… 292
人参益气汤(292)
拔粹方 …… 292
杂方 …… 292
黑地黄丸(292)　利肺汤(293)　黄连汤(293)　穿结药(293)　接花树法(293)　解毒丸(293)　升麻汤(293)　麒麟竭散(293)　虎骨丸(293)　如圣散(293)　清膈汤(293)　防己黄耆汤(293)　流气饮子(294)　大枳壳丸(294)　通顶散(294)　金砂流湿丸(294)　三脘痞气丸(294)　三奇六神曲法(294)
王氏集验方 …… 294
如神丸(294)　神仙解毒丸(296)
袖珍方 …… 297
杂方 …… 297
刮金丹(297)　膏药方(297)　神效万应剪金丹(298)
杂病门三　(原书卷之一百九十七) …… 299
经验秘方 …… 299
四气朝元丹(299)　四制苍术丸(299)　固真丸(299)　匀气散(299)　固本丸(299)　定风饼子(299)　应效祛风丸(299)　肉炙丸(299)　异功散(299)　沉香丸(299)　枸杞丸(300)　神明酒(300)　金樱煎丸(300)　沉香丸(300)　去湿药(300)　解毒丸(300)
经验良方 …… 300
华佗肘后仓卒十病 …… 300
医林方 …… 302
杂方 …… 302
苍公散(302)　白薇汤(302)　吴茱萸散(302)　备急压气散(302)　知命丹(302)　绝粮咒水法(302)
烟霞圣效方 …… 303

杂病 …… 303
逍遥丸(303)
寿亲养老书 …… 303
四时养老总序 …… 303
四时通用男女妇人方 …… 303
旋覆花散(303) 羌活丸(303) 木香人参散(303) 枳壳木香散(303) 四顺散(304) 黄耆散(304) 橘皮煮散(304) 香白芷散(304) 匀气散(304) 地龙膏(304) 七圣散(304) 温白丸(304) 藁本散(304) 续断散(304) 人参半夏丸(304) 丁香丸(304) 香草散(305) 香枳汤(305) 北亭丸(305) 乌犀丸(305) 镇心丸(305) 枇杷叶散(305) 羌活散(305) 七圣丸(305)
春时摄养 …… 305
时用诸药方 …… 306
细辛散(306) 菊花散(306) 惺惺丸(306) 坠痰饮子(306) 黄耆散(306) 黍粘汤(306)
夏时摄养 …… 306
夏时用药诸方 …… 307
豆蔻散(307) 苁蓉丸(307) 木香丸(307) 诃子散(307) 三圣丸(307) 平补楮实丸(307) 四顺汤(308) 五倍丸(308) 理中丸(308) 橘红散(308) 八仙丸(308)
秋时摄养 …… 308
秋时用诸药方 …… 308
七宝丹(308) 摄脾丸(308) 葳灵仙丸(309) 神授高青丸(309) 保救丹(309) 生姜汤(309) 健脾散(309)
冬时摄养 …… 309
冬时用药诸方 …… 309
陈橘丸(309) 搜风顺气牵牛丸(309)
施圆端效方 …… 310
杂方 …… 310
灸焫熨蒸 …… 310
熨法(310) 熨法(310)
神效名方 …… 310
新效方 …… 310
芎术丸(310) 参黄丸(310) 固肠丸(310) 二妙散(310) 龙荟丸(311) 茱萸丸(311)
急救仙方 …… 311
臞仙活人心 …… 311
至圣来复丹(311) 归神丹(311) 捉虎丹(311) 灵宝丹(311)
卫生易简方 …… 312
百病 …… 312
金匮钩玄 …… 312
六郁 …… 312
越鞠丸(312)
御医撮要 …… 312
温白丸(312) 七宣丸(313) 艾叶煎丸(313) 乾地黄丸(313) 薄荷汤(313) 人参汤(313) 杏霜汤(313)
诸汤门 (原书卷之一百九十八) …… 314
和剂局方 …… 314
诸汤 …… 314
豆蔻汤(314) 木香汤(314) 桂花汤(314) 破气汤(314) 玉真汤(314) 薄荷汤(314) 紫苏汤(314) 枣汤(314) 二宜汤(314) 厚朴汤(315) 五味汤(315) 仙术汤(315) 杏霜汤(315) 生姜汤(315) 益智汤(315) 茴香汤(315) 茴香汤(315) 檀香汤(315) 缩砂汤(315) 胡椒汤(316) 挝脾汤(316) 小理中汤(316) 白梅汤(316) 三倍汤(316) 铁刷汤(316) 快汤(316)
是斋医方 …… 316
京汤方 …… 316
金粟汤(316) 集香汤(316) 清中汤(317) 粉姜汤(317) 韵姜汤(317) 紫姜汤(317) 凤池汤(317) 温中汤(317) 四顺生姜汤(317) 御爱灵黍汤(317) 生姜汤(317) 煮香汤(317) 乾豉汤(317) 龙砂汤(317) 川芎汤(318) 小煮香汤(318) 醍醐汤(318) 鸡舌香汤(318) 韵梅汤(318) 清韵汤(318) 枨汤(318) 橄榄汤(318) 八神汤(318) 橘香汤(318) 乾木瓜汤(318) 桂浆法(319) 湿乌梅荔枝汤(319) 暗香汤(319) 桂香汤(319) 洞庭汤(319) 煎甘草膏子法(319)

檀香汤(319)　丁香汤(319)　辰砂汤(319)
胡椒汤(319)　缩砂汤(320)　茴香汤(320)
居家必用 …… 320
诸品汤 …… 320
乾木瓜汤(320)　水芝汤(320)　白檀汤(320)
缩砂汤(320)　无尘汤(320)　须问汤(320)
荔枝汤(320)　洞庭汤(320)　百花汤(320)
木栖汤(320)　湿枣汤(321)　湿荔枝汤(321)
香苏汤(321)　香柧汤(321)　橙汤(321)　桂花汤(321)　木栖渊明汤(321)　熬甘草膏子法(321)　青梅汤(321)　湿木瓜汤(321)　加减汤(321)　琼液汤(321)　乌梅汤(322)　地黄膏子汤(322)　灵黍汤(322)　轻素汤(322)
诸品渴水 …… 322
御用渴水(322)　荔枝浆(322)　杨梅渴水(322)　林檎渴水(322)　蒲萄渴水(322)　香糖渴水(322)　木瓜渴水(322)　五味渴水(323)
诸品熟水 …… 323
造熟水法(323)　香花熟水(323)　沉香熟水(323)　丁香熟水(323)　紫苏熟水(323)　豆蔻熟水(323)
必用全书 …… 323
诸品物 …… 323
天香汤(323)　暗香汤(323)　须问汤(323)
杏酪汤(323)　凤髓汤(324)　醍醐汤(324)
茉莉汤(324)　木香苦汤(324)　香橙汤(324)
解醒汤(324)　熟梅汤(324)　绿云汤(324)
沃雪汤(324)
必用之书 …… 324
金粟汤(324)　红花子汤(324)　樱珠汤(324)
一枝花(325)　青梅汤(325)　香柏汤(325)
余甘汤(325)
医方大成 …… 325
汤药 …… 325
杨梅煎(325)　金樱煎法(325)　木瓜煎(325)
梅花汤(325)
袖珍方 …… 325
汤药 …… 325
集香汤(325)　分气丸(325)
寿亲养老书 …… 326
柏汤(326)　三妙汤(326)　乾荔枝汤(326)
洞庭汤(326)　木瓜汤(326)
吴氏集验方 …… 326
诸汤 …… 326
建脾汤(326)　法枣汤(326)　昧谏汤(326)
杏酪汤(326)　韵姜汤(327)　木栖汤(327)
香柧汤(327)　中和汤(327)　木瓜汤(327)
椒梅汤(327)　消暑汤(327)　育神汤(327)
双鸳汤(327)　甘草膏子(327)　草果熟水(327)　饭虎汤(327)　四奇汤(327)
神隐 …… 327
蘸汤(327)　杏汤(328)　醒醉汤(328)
诸香门 …… 328
千金方 …… 328
薰衣香(328)　湿香(328)　百和香(328)　熏衣香(328)
千金月令 …… 329
香粉法(329)　薰衣香(329)　熏衣香(329)　取香(329)
和剂局方 …… 329
诸香 …… 329
芬积香(329)　衙香(329)　降真香(329)　清远香(330)
修月鲁般经后录 …… 330
江梅香(330)
肘后方 …… 330
六味薰衣香(330)
卫生宝鉴 …… 330
衣香(330)
居家必用 …… 330
香谱 …… 330
经进龙涎香饼子(330)　清馥香(330)　御爱胜龙涎(330)　赛龙涎(330)　华盖香(331)　聚芳香(331)　印香(331)　百花香(331)　薰花香(331)　出降真油法(331)　英香(331)　受宜香(331)　供圣衙香(331)　龙泉香(331)　莲花香(331)　香炉灰(331)　造香饼(332)

香煤(332)
必用全书 …… 332
香谱 …… 332
旁通图(332) 信灵香(332) 雪中春泛(332)
春消息(332) 笃耨香(332) 雪兰香(332)
瑞云香球(332) 蜡梅香(332) 野花(333)
藏春返魂梅(333) 木犀香(333) 桂香(333)
小龙涎(333)
薰香 …… 333
玉华醒醉香(333) 拂手香(333) 梅花衣香(333) 薰御衣香(333) 薰衣香(333) 透里衣香(333) 洗衣香(333) 假蔷薇面花子(333) 挹汗香(333) 傅身香粉(334) 治香法(334) 炼蜜法(334) 炼炭法(334) 香煤(334) 香饼子(334) 飞樟脑法(334)
必用之书 …… 334
杏花香(334) 胜茉莉(334) 杏花香(334)
香饼子(334)
神隐 …… 335
香(335) 四和香(335) 百花香(335) 醒心香(335) 衣香(335) 熏衣香(335)
养性门一 附神仙 (原书卷之一百九十九) …… 336
千金方 …… 336
养性 …… 336
道林养性 …… 338
居处法 …… 341
调气法 …… 341
房中补益 …… 342
王相日 …… 344
月宿日 …… 344
修真秘诀一 …… 345
洞玄灵宝定观经 …… 345
太上内观经 …… 345
玉皇圣胎神用诀 …… 347
存守三一论 …… 348
存守三一诀 …… 349
存守九宫太一紫房诀 …… 349
谷神论并六字诀 …… 349
养生胎息诀 …… 350
进取诀 …… 350
咽气诀 …… 351
行气诀 …… 351
炼气诀 …… 352
委气诀 …… 352
闭气诀 …… 352
布气诀 …… 352
六气诀 …… 352
调液诀 …… 352
饮食调护诀 …… 353
调护诀 …… 353
休粮诀 …… 353
慎□诀 …… 353
和气诀 …… 354
调内气诀 …… 354
修生真一气诀 …… 354
九还七返论 …… 354
四象论 …… 354
真人金液还丹词 …… 355
五方金液还丹歌 …… 355
阴真君金液还丹歌 …… 355
真人金液还丹诗 …… 356
服食交梨火枣玉醴金浆诀 …… 357
真人九年炼丹诀 …… 357
释氏修炼正经 …… 358
真人灵一气诀 …… 359
太微灵书存神诀 …… 360
真人五辰行事诀 …… 360
灵宝服五牙气诀 …… 360
服日月五星诀 …… 360
服龙虎气诀 …… 361
行周天离坎诀 …… 361
养性门二 (原书卷之二百) …… 362
修真秘诀二 …… 362
真人调气诀 …… 362
肺藏修养法 …… 362
心藏修养法 …… 362
肝藏修养法 …… 362
脾藏修养法 …… 362

肾藏修养法 …… 362
胆藏修养法 …… 363
五藏形色神名 …… 363
六府 …… 363
神仙杂术 …… 363
饮食相妨 …… 364
四伤 …… 365
五谷 …… 365
五果 …… 365
五畜 …… 365
五菜 …… 365
五色 …… 365
五病相宜 …… 365
五味所入各有所走也 …… 365
五气并 …… 365
五恶 …… 365
五贼 …… 365
房中补益 …… 365
真人行运诀 …… 367
保精神论 …… 367
卧起早晚法 …… 367
真人养生铭 …… 368
服饵论 …… 368
总论 …… 368
宝丹要诀一 …… 369
古仙禁法 …… 369
又忌年月大凶 …… 369
又雷三霹雳大忌 …… 370
又六丁日大忌亦不可述小小修亦不得 …… 370
作炉忌日 …… 370
一九龙一会相可有如人通仙之分日 …… 370
泥炉样度 …… 370
初下手起火口诀 …… 370
茆真君诀 …… 372
又歌曰 …… 373
又曰 …… 373
换骨丹阳诀 …… 373
马通升空亲传姚岩歌八石 …… 373
八石露验诀并序 …… 373
炼八霜 …… 373
并得八霜相摛制法 …… 374
八石自然相制伏灵验诀 …… 374
制土釜法 …… 374
尔朱赠胡二郎 …… 374
丹砂歌曰 …… 374
青霞子又曰 …… 375
又仙人诗曰 …… 375
葛仙翁曰 …… 375
缩驾法 …… 375
点汞艮朱艮成紫庚术 …… 375
朱艮术 …… 376
龙虎大丹行状诀 …… 376
金丹十六变 …… 376
金液还丹歌 …… 377
制伏术 …… 379
圣金丹 …… 379
黑神胶法 …… 380
护命丹 …… 380
独用术 …… 380
添庚术 …… 380
又煮法 …… 380
飞粉霜术 …… 380
伏龙脑霜术 …… 381
伏丹砂术 …… 381
煮金术七圣膏子 …… 381
罨庚术 …… 381
伏硇法 …… 381
红银术 …… 381
铁镜术 …… 382
罨金术 …… 382
铜碌术 …… 382
红盐术 …… 382
烧云母粉术 …… 382
烧珠术 …… 382
其火常鼎五寸 …… 382
阴阳图 …… 383

易玄子诗一百首并序 …… 383
感铅气砂术 …… 387
铅金法 …… 387
伏火白朱砂术 …… 388
伏火玄明粉术 …… 388
点茆术 …… 388
煮铁钗术 …… 388
朱砂银术 …… 388
雄黄砂法 …… 388
又方 …… 388
又方 …… 388
又方 …… 389
又方 …… 389
又方 …… 389
又方 …… 389
又方换骨丹阳术 …… 389
又方 …… 390
又方 …… 390
华池煮法 …… 390
又煮法 …… 390
又去晕法 …… 390
又软白法 …… 390
又涂烧去晕法 …… 390
伏硇法 …… 390
又伏硇法 …… 391
又法 …… 391
轻铢砂法亦曰白雪法又云玉笋 …… 391
神仙走马制庚术 …… 391
又是神仙走马制庚术 …… 391
制朱砂金术 …… 392
点茆术 …… 392
又煮法 …… 392
伏硇砂法 …… 392
点茆术 …… 392
收草及花法 …… 392
华池法 …… 392
白雪法 …… 392
养性门三 （原书卷之二百一） …… 394
宝丹要诀二 …… 394
鸾镜术 …… 394
作水精枕术 …… 394
伏砒术 …… 394
七十五件丹砂 …… 394
五方歌一道 …… 395
东方 …… 395
南方 …… 395
西方 …… 395
北方 …… 396
中方 …… 396
上清玄秘大易图并序 …… 396
上清真人魏伯阳注 …… 396
大易第一 …… 396
大初第二 …… 396
大始第三 …… 397
大素第四 …… 397
大极第五 …… 397
四象第六 …… 397
五行第七 …… 397
五行歌 …… 398
相生第八 …… 398
相赞第九 …… 398
邢主伏杀第十 …… 398
德主生起第十一 …… 399
日第十二 …… 399
月第十三 …… 399
日月歌 …… 399
立象证匡廓配合第十四 …… 399
论交媾及九还七返火候日月之道第十五 …… 399
阴中有阳明黄牙第十六 …… 400
黄牙歌 …… 400
阳中有阴及孤阴寡阳第十七 …… 400
九转神丹大易法象图第十八 …… 400
论丹鼎位第十九 …… 400
炉火第二十 …… 400
琐碎录 …… 401
摄养 …… 401
议论 …… 401

保练 …… 401
朱氏集验方 …… 402
真常子养生 …… 402
孙真人养生铭 …… 402
养性之术 …… 402
四损 …… 402
脾胃论 …… 402
摄养 …… 402
远欲 …… 402
省言箴 …… 403
三元延寿书 …… 403
人说 …… 403
天元之寿精气不耗者得之 …… 404
欲不可绝 …… 404
欲不可早 …… 404
欲不可纵 …… 404
欲不可强 …… 405
地元之寿起居有常者得之 …… 405
养生之道 …… 405
喜乐 …… 406
忿怒 …… 406
悲哀 …… 406
思虑 …… 406
忧愁 …… 407
惊恐 …… 407
憎爱 …… 407
视听 …… 407
疑惑 …… 408
谈笑 …… 408
津唾 …… 408
起居 …… 409
行立 …… 409
坐卧 …… 409
沐浴洗面 …… 410
发栉 …… 410
大小便 …… 410
衣著 …… 411
四时调摄 …… 411
人元之寿饮食有度者得之 …… 412
五味 …… 412
饮食 …… 412
神仙警世 …… 414
阴德延寿论 …… 415
函三为一歌并图 …… 415
王氏集验方 …… 416
医说 …… 416
寿亲养老书 …… 416
太上玉轴六字气诀 …… 416
保养 …… 417
事林广记 …… 417
修真旨要 …… 417
旬沐五浴 …… 418
防患补益 …… 418
避忌之要 …… 418
养寿之道 …… 418
孙真人枕上记 …… 418
吕真人安乐法 …… 419
修炼要诀 …… 419
神仙纪事 …… 419
何俟升天 …… 419
许真君拔宅 …… 419
兄弟登仙 …… 419
姊妹仙官 …… 419
道士预知 …… 419
山居四要 …… 420
摄生之要 …… 420
起居格言 …… 420
起居之宜 …… 420
养生之要 …… 421
饮食之宜 …… 421
臞仙活人心 …… 421
中和汤(422) 和气丸(422)
养生之法 …… 422
治心 …… 423
养性门四 (原书卷之二百二) …… 424
神隐 …… 424
摄生之道 …… 424
福寿论 …… 425

金丹大成 …… 426
无极图说 …… 426
橐籥歌 …… 430
金液还丹赋 …… 430
金液还丹诗 …… 431
金液还丹论 …… 431
金丹问答 …… 432
七言绝句 …… 436
乐道歌 …… 438
茅庐得意歌 …… 438
剑歌 …… 439
赠谌高士辞往武夷歌 …… 439
赠邹峄山歌 …… 439
西江月 …… 440
南乡子 …… 440
读参同契作 …… 441
解注崔公入药镜 …… 441
解注吕公沁园春 …… 443
千金方 …… 445
服食法 …… 445
去三虫丸(445) 服天门冬(446) 服地黄(446) 作熟乾地黄法(446) 种地黄法(446) 黄精膏(446) 服乌麻法(447) 饵柏实(447) 饵松子(447) 服松脂(447) 采松脂法(447) 炼松脂法(447) 饵茯苓(448) 茯苓酥(448) 茯苓膏(448) 服枸杞根(448) 枸杞酒(448) 饵云母水(448) 炼钟乳粉法(449) 钟乳散(449) 灵飞散(449)
千金翼方 …… 450
养性服饵 …… 450
茯苓酥(450) 杏仁酥(450) 地黄酒酥(450) 造草酥(450) 服杏子丹(450) 服天门冬丸(451) 服黄精(451) 服芜菁子(451) 云母丸(451) 周白水候散(451) 济神丸(451) 彭祖松脂方(451) 守中方(452) 服质多罗(452)
辟谷 …… 452
服茯苓(452)
服松柏脂 …… 453
采松脂法(453) 取破松脂法(453) 取松脂法(453) 炼松脂法(453) 炼松脂法(454) 粉松脂法(454) 服松脂法(454) 守中方(454) 取柏脂法(455)
服松柏实 …… 455
绝谷升仙不食法(455) 服松子法(455) 松子丸(455) 服松叶法(455) 服柏叶法(455) 服柏叶减谷方(455) 休粮散(456) 初精散(456) 五精酒(456)
服云母 …… 456
云母粉法(456) 用云母粉法(457) 云母水(457)
服水 …… 457
细服五色水法(457) 服赤水方(457) 却鬼咒法(457) 服水禁忌法(458) 服水节度法(458) 服水大例法(458) 凡服水法(458)
圣惠方一 …… 459
神仙方序 …… 459
神仙服云母法 …… 459
神仙服雄黄法 …… 459
神仙服黄精法 …… 460
养性门五 (原书卷之二百三) …… 462
圣惠方二 …… 462
神仙服地黄法 …… 462
神仙服天门冬法 …… 462
神仙服杏仁法 …… 463
神仙服松脂法 …… 463
神仙服松实法 …… 463
神仙服松叶法 …… 464
神仙服茯苓法 …… 464
神仙服柏叶柏实法 …… 465
神仙服楮实法 …… 465
神仙服胡麻法 …… 466
神仙服枸杞法 …… 466
神仙服术法 …… 467
神仙服蒺藜子法 …… 467
神仙服槐子法 …… 467
神仙服鹿角法 …… 468
神仙服桂法 …… 468

神仙服菊花法 …… 468
神仙服兔丝子法 …… 468
神仙服桃胶法 …… 469
神仙服蔓菁子法 …… 469
神仙服百花法 …… 469
神仙服仙茅法 …… 469
神仙服大麻子法 …… 469
神仙服芍药法 …… 470
神仙服商陆根法 …… 470
神仙服苣蕂法 …… 470
神仙服漆法 …… 470
神仙服灵芝法 …… 471
神仙服乳香法 …… 471
神仙服蜂房法 …… 471
神仙服蔷薇法 …… 471
神仙服泽泻法 …… 471
神仙服蓬藁法 …… 471
神仙耐寒暑法 …… 471
神仙绝谷法 …… 472
神仙去三尸九虫法 …… 473
神仙诸名方 …… 475
延年不老散(475) 四扇散(475) 王母四童散(475) 老君益寿散(475) 灵飞散(475) 十精散(476) 四灵丹(476) 七精散(476) 乳丹(477)
丹药序 …… 477
玉芝丹(477) 紫粉灵宝丹(477) 白金丹(477) 青金丹(477) 伏火水银硫黄紫粉丹(478) 紫灵丹(478) 四壁柜朱砂法(478) 太阳紫粉丹(478) 青花丹(478) 太阳流珠丹(479) 四灵丹(479) 四灵丹(479) 伏火玄石柜灵砂丹(479) 玄英散(479) 金液含化灵丹(480) 含化朱砂丹(480) 金液丹(480) 紫灵丹(480) 玄石紫粉丹(480) 阴伏紫灵丹(480) 倚金丹(481) 黄庭丹(481) 保神丹(481) 安魂定魄丹(481) 返魂丹(481) 护命丹(481) 柳花丹(481) 胜金丹(481) 黄英丹(482) 伏火四神玉粉丹(482) 小三生丹(482) 紫精丹(482) 碧珠丹(482) 碧玉丹(482) 还元丹(483) 玉液丹(483) 曾青丹(483) 神朱丹(483) 铜粉丹(483) 白雪丹(483) 神符玉粉丹(483) 华盖丹(484)
药酒序 …… 484
地黄酒方 …… 484
地黄酒(484) 地黄酒(484) 地黄酒(484)
黄精酒方 …… 484
黄精酒(484)
天门冬酒方 …… 484
天门冬酒(484) 天门冬酒(484)
枸杞酒方 …… 485
枸杞酒(485) 枸杞酒(485) 神仙枸杞子酒(485) 枸杞根酿酒(485) 生枸杞子酒(485)
石斛酒方 …… 485
石斛酒(485)
薯蓣酒方 …… 486
薯蓣酒(486) 生薯药酒(486)
菊花酒方 …… 486
菊花酒(486) 菊花酒(486)
菖蒲酒方 …… 486
菖蒲酒(486)
松叶酒方 …… 486
松叶浸酒(486) 松叶浸酒(486)
松脂松节酒方 …… 486
松脂酒(486) 松节酒(487)
柏叶酒方 …… 487
柏叶酒(487)
术酒方 …… 487
术酒(487)
乌麻子酒方 …… 487
神仙乌麻酒(487) 乌麻酒(487)
五加皮酒方 …… 487
五加皮酒(487)
桃仁酒方 …… 487
桃仁酒(487)
紫苏子酒方 …… 487
紫苏子酒(487)

丹参酒方 …… 488
丹参酒(488)
鼠粘子酒方 …… 488
鼠粘子酒(488)
葡萄酒方 …… 488
葡萄酒(488)
五枝酒方 …… 488
五枝酒(488)
天蓼木酒方 …… 488
天蓼木酒(488)
商陆酒方 …… 488
商陆酒(488)
三石浸酒方 …… 488
三石浸酒(488)
九仙薯蓣煎方 …… 488
九仙薯蓣煎(488)
地黄煎方 …… 489
地黄煎(489) 地黄煎(489)
枸杞煎方 …… 489
枸杞子煎(489) 枸杞煎(489) 枸杞煎(489)
天门冬煎方 …… 489
天门冬煎(489) 天门冬煎(489)
术煎方 …… 489
术煎(489) 术酥(490)
麦门冬煎方 …… 490
麦门冬煎(490)
蔷薇散煎方 …… 490
蔷薇散煎(490)
鹿角胶煎方 …… 490
鹿角胶煎(490) 鹿角胶煎(490)
髓煎方 …… 490
髓煎(490)
红雪法 …… 490
红雪(490)
紫雪法 …… 491
紫雪(491)
碧雪法 …… 491
碧雪(491)
碧雪煎法 …… 491
碧雪煎(491)
黄雪法 …… 491
黄雪(491)
金石凌法 …… 491
金石凌法(492)
甘露饧法 …… 492
甘露饧(492)
养性门六 (原书卷之二百四) …… 493
修真秘诀 …… 493
神仙服饵诸方 …… 493
何首乌丸(493) 草还丹(493)
神仙济世诸方 …… 493
灵液丹(493) 牛膝丸(493) 调中散(493)
正元散(493) 木香散(494)
大全本草 …… 494
是斋医方 …… 500
丹药 …… 500
三煅神丹法(500) 太素丹(500) 白丹(501)
金液丹(501) 太上紫霞丹(501) 水金
丹(501) 雄朱丹(501) 蜀仙丹(502) 资寿
小金丹(502)
琐碎录 …… 502
服食 …… 502
服黄精法(502) 服松脂法(502) 服玉泉
法(503) 服巴豆法(503)
杂说 …… 503
辟谷术 …… 503
得效方 …… 503
服食法 …… 503
天门冬酒酿法(503)
肘后方 …… 503
治卒绝粮失食饥惫欲死方 …… 503
延寿书 …… 504
神仙救世却老还童真诀 …… 504
滋补有药 …… 505
班龙珠丹(505)
必用之书 …… 505
救荒辟谷方 …… 505
休粮方(505) 千金麦炒(505)

经验秘方 …… 506
辟谷法(506)
寿亲养老书 …… 506
神仙不老丸(506)　神仙训老丸(506)
东坡治脾节饮水说 …… 507
饮食用暖 …… 507
擦涌泉穴 …… 507
擦肾腧穴 …… 507
服豨莶法 …… 508
神效名方 …… 508
茯苓饼子(508)　保命丹(508)
事林广记 …… 509
辟谷服饵 …… 509
神仙服何首乌延年法(509)　神仙服紫荷车
休粮法(509)　神仙服兔丝子益元阳法(509)
神仙采紫萍回生起死方(509)
山居四要 …… 510
运化玄枢 …… 510
孟春之月 …… 510
养生 …… 510
服食 …… 510
仲春之月 …… 510
养生 …… 510
服食 …… 510
季春之月 …… 511
养生 …… 511
服食 …… 511
孟夏之月 …… 511
养生 …… 511
服食 …… 511
仲夏之月 …… 511
养生 …… 511
服食 …… 511
季夏之月 …… 512
养生 …… 512
孟秋之月 …… 512
养生 …… 512
服食 …… 512
仲秋之月 …… 512
养生 …… 512
服食 …… 512
季秋之月 …… 512
养生 …… 512
服食 …… 512
孟冬之月 …… 512
养生 …… 512
服食 …… 513
仲冬之月 …… 513
养生 …… 513
服食 …… 513
季冬之月 …… 513
养生 …… 513
服食 …… 513
寿域神方 …… 513
保养遐龄部 …… 513
卫生易简方 …… 514
颐生 …… 514
辟谷 …… 516
养性门七 (原书卷之二百五) …… 518
养性禁忌 …… 518
金匮方 …… 518
果实菜谷禁忌 …… 519
千金方 …… 520
黄帝杂忌法 …… 520
千金翼方 …… 521
禁经 …… 521
持禁斋戒法 …… 521
受禁法 …… 522
千金月令 …… 524
凡食物皆有禁忌 …… 524
谷之禁 …… 524
菜之禁 …… 524
果子之忌 …… 524
瓜之忌 …… 524
兽之忌 …… 524
禽之忌 …… 524
水族之忌 …… 525
凡饮食之禁 …… 525

圣惠方 …… 525
辨鱼鳖蟹毒不可食及诸物不得共食法 …… 525
辨六畜不可合诸物食法 …… 525
四时纂要 …… 525
修真秘诀 …… 526
饮食禁忌 …… 526
琐碎录 …… 526
食忌 …… 526
禁忌 …… 527
前贤禁戒 …… 528
杂说 …… 529
延寿书 …… 529
欲有所忌 …… 529
欲有所避 …… 530
天时避忌 …… 530
旦暮避忌 …… 530
杂忌 …… 531
食物 …… 531
果实 …… 531
米谷 …… 532
菜蔬 …… 533
飞禽 …… 535
走兽 …… 535
鱼类 …… 537
虫类 …… 539
事林广记 …… 539
饮食害人 …… 539
饮食相反 …… 539
山居四要 …… 540
摄生之要 …… 540
起居杂忌 …… 540
养生之要 …… 540
服药忌食 …… 540
饮食杂忌 …… 540
饮食反忌 …… 541
运化玄枢 …… 542
孟春之月 …… 542
禁忌 …… 542
仲春之月 …… 542
禁忌 …… 542
季春之月 …… 542
禁忌 …… 542
孟夏之月 …… 542
禁忌 …… 542
仲夏之月 …… 543
禁忌 …… 543
季夏之月 …… 543
禁忌 …… 543
孟秋之月 …… 543
禁忌 …… 543
仲秋之月 …… 543
禁忌 …… 543
季秋之月 …… 544
禁忌 …… 544
孟冬之月 …… 544
禁忌 …… 544
仲冬之月 …… 544
禁忌 …… 544
季冬之月 …… 544
禁忌 …… 544
养性导引 …… 545
千金方 …… 545
按摩法 …… 545
天竺国按摩此是婆罗门法 …… 545
老子按摩法 …… 545
千金月令 …… 546
琐碎录 …… 546
要诀 …… 546
正心法 …… 546
搬运法 …… 546
握固法 …… 546
延寿书 …… 547
导引有法 …… 547
经验秘方 …… 548
道演法 …… 548
景尺捷法 …… 548
景尺长六寸厚薄阔狭不拘 …… 548

尺式 …… 548
臞仙活人心 …… 548
导引法 …… 548
去病延寿六字法 …… 550
总诀 …… 550
吹肾气 …… 550
呵心气 …… 550
嘘肝气 …… 550
呬肺气 …… 550
呼脾气 …… 550
嘻三焦 …… 550
四季养生歌 …… 550

折伤门

巢氏病源

腕伤病诸候

被打伤①破脑出候

夫被打陷骨伤头，脑②眩不举，戴眼直视，口不能语，咽中沸声如豚子喘，口急，手为妄取③，日不死，三日小④。

腕折破骨伤筋候

凡人伤折之法，即夜盗汗者，此髓断也，七日死，不汗者不死。

卒被损瘀血候

夫有瘀血者，其人喜忘，不欲闻物声，病人胸满，唇萎、舌青、口燥，但欲漱水不欲咽，无热，脉微大来迟，腹不满。其人言我腹满，为有瘀血；汗当出不出，内结亦为瘀；病人胸满口乾，髆痛，渴无寒热，为弱⑤瘀血；腹满，口燥不渴，唾如浆状，此有留血尔。从高顿仆，内有血，腹胀满，其脉牢强者生，小弱者死。得笞掠内有结血，脉实大者生，虚小者死。

压迮坠堕内损候迮音责

此为人卒被重物压迮，或从高坠下，致吐下血，此伤五内故也。

腕伤初系缚候

夫腕伤重者，为断皮肉骨髓，伤筋脉，皆是卒然致损，故血气隔绝，不能同荣，所以须善系缚，按摩导引，令其血气复。

被损久瘀血候

此为被损伤，仍为风冷搏，故令血瘀结在内，久不瘥也。

腕折中风痉候

夫腕折伤皮肉作疮者，慎不可当风及自扇。若风入疮内，犯诸经络所⑥致痉。痉者，脊脊强直，口噤不能言也。

腕折中风肿候

此为风入疮内，而不入经络，其搏于气，故但肿也。

刺伤中风水候

此为竹木所刺伤，其疮中风水者则肿痛，乃至成脓。

朱氏集验方

伤损证治评

伤损一科，尤为难事。假如刀伤一证，盛至破肚出肠，头破出髓。又有断指断臂者，诚然可畏。然切观被伤之人，不在致命处，尚可治疗。如破肚肠出，大小肠不曾伤破，则以桑皮使香油浸，用药散止血，次以香油洗去血秽，内入，却以针穿桑白皮线缝合伤处，续以生肌活血药傅之，自然无事。要知香油乃伤损上药，一则止血，二则不生虫，三则生肌，如被伤处口未合聚，常用之自有

---

① 伤：诸病源候论作“头”。
② 头脑：诸病源候论作“脑头”。
③ 取：诸病源候论此下有“一”字。
④ 小：诸病源候论此下有“愈”字。
⑤ 弱：诸病源候论作“有”。
⑥ 所：诸病源候论作“即”。

奇效。设或肠间但伤一窍，不拘大小，便无可活之法，其间粪秽从孔中出，日烂一日，乌有再生之理哉？又如头破髓露者，依旧与药服饵，活血去风，然后傅以去风生肌之剂，如南星、血竭、柏皮之类是也。外有斗欧磕损，坠马损伤，折足断臂，或有碎骨者，必须刮开，去其碎骨，整顿条理，以绢帛缚定，傅以生肌去风之剂，服之以活血接骨之药，如自然铜、血竭、乳香、没药之类是也。其间腰腹内恐有败血，必须除去，卒急无药可办，急以火麻骨烧灰为末，热酒调服，或以童便一半相投服之为妙。如无麻骨，用麻布亦可，然后用桃仁、大黄、川乌、血竭，无往不效。曾有腰内瘀血不除，年老为终身之病者，亦有之矣。或有闪挫及脱臼之类，治之又有手法，医者须以意调理之。

龟献奇方治伤折方论

昔有伤折，或云宜用生龟，寻捕一龟将杀，患人忽梦一龟进作人言告曰：汝被伤，勿相害，吾有奇方可疗。遂授此方：治腕折伤筋损，疼痛不可忍，用生地黄一斤切，藏瓜姜糟一斤，生姜四两切，都炒令均热，以布裹罨伤折处，冷则易之，甚有奇效。本事方。

又　论

绍熙五年秋，湖口人林四，因日暮驰马，撷坠折一足骨断，招外医莫肯治，经旬痛甚，偶一道人过门，闻其声而问故，入视曰：筋接骨，非败龟壳不可治，此却难得，要生者甚易。道人曰：但得壳足矣，生与败等也。语讫即退。林招众医议之，皆云一足所傅多少龟壳灰可辨，兹去五里许江畔，一大龟身阔二尺，常跧伏泥中，捕而脱其壳，烧灰傅损处。计其收效，贤于小者百数也。时已昏暮，未暇遣仆。半夜后，邻室张翁者，梦乌衣人来访，自通为江畔老龟，哀投甚切，云：林四折足，医欲杀吾取壳，以疗伤折，望一言救护。张谢曰：老夫愚钝，如何施力。乌衣云：只烦丈人诣林氏谕众医，曰往日曾有龟传一方于人而赎命，用淹藏瓜糟罨断处，次将杉板夹定，方书亦尝记载。如更增赤小豆一味拌入糟中，然后板夹，不过三日即十全安愈，愿公便以告之，异日当图报。遂去。黎明，张如所戒，林与皆喜而从之，应期而验。

疗打扑伤损方论

打扑伤损，瘀血凝滞，气因不行，关窍皆不通，大便必闭，壮者可服洗心散，老弱者可服七圣槟榔丸。凡有此证，须问脏府所打处疼痛，若伤处大痛，大便三二日不通，然后可下前二药；若大便不闭，伤处不甚猛痛，则不可服，宜服没药、乳香、当归。

又长安石史君，尝至通衢，有从后呼其姓第者曰：吾无求于人，念汝有难，故来救汝。出一纸卷授石曰：有难则用之，乃治折伤内外损方书也。明年，因趋朝坐马，为他马所踶，折足坠地，又蹋一臂折，家人急合此药，且灌且裹，至夜半痛止，后手足皆坚牢，如未伤时。方本出良方，用川当归、铅粉各半两，鹏砂二钱，同研令细，浓煎苏木汁调服一钱匕。损在腰以上，先吃淡粥半碗，然后服药；损在腰以下，即先服后食，仍频频呷苏枋汁，别作糯米粥，入药拌合，摊纸上或绢上，封裹伤处；如骨碎，用竹木片夹定，乃以纸或衣物抱之。濬寮方注云：纸闭气，只宜纱绢之类。其妙如此，故表而出之。

又汀州泾口市民陈公，诵观音甚诚，庆元初出行，撷折一足，忍痛叫菩萨越三昼夜，梦一僧，柱杖持钵，登门问所苦。陈曰：不幸折一足，贫无力访医，只得告佛。僧曰：不用过忧，吾有一方接骨膏，正可治汝。便买绿豆粉，于新铁铫内炒令真紫色，旋汲井水调成稀膏，然后厚摊损处，须教偏满贴，以白纸将杉木缚定，其效如神，不必假他剂也，语讫，僧忽不见，陈亦寤，如方修制用而愈。

热葱涕愈伤指方论

崔给事顷在泽潞，与李抱真作[①]判官李相方以球杖桉球子，其军将以杖相格，承[②]势不能止，因伤李相拇指并爪甲擘裂，遽索金疮药裹之，强坐，频索酒，饮至数杯已过量，色愈青，忍痛不止，有军吏言取葱新折者，便入溏灰火煨熟，剥皮擘开，其间有涕，取罨损处，仍多煨取，续之易热者，凡三易之，面色却赤，斯须云已不痛，凡十数度，用热葱并涕裹，遂毕笑语。本事方。

疗打扑伤损方论本草衍义

自然铜，有人饲折翅鸧，后遂飞去。今人打扑伤损，研极细，水飞过，同当归、没药各半钱，酒调服，顿服，仍以手摩痛处。

疗坠马折足方论

定州人崔务坠马折足，医令取铜末和酒服之，遂痊平。及亡后十余年，改葬，视其胫骨折处有铜末束之。朝野佥载。

疗蹴秋千坠损方论

宣和中有一国医，忽承快行宣押，就一佛刹医内人，限目今便行，鞭马至，则寂未有人，须臾，卧轿中扶下一内人，快行送至，奉旨取军令状，限日下安痊。医诊视之，已昏死矣。问其从人，皆不知病之由，皇恐无地，良久，有二三老内人至轿下，环而泣之，才得其实。云因蹴秋千，自空而下坠死。医者云：打扑伤损自属外科，欲申明，又恐后时参差不测，再视之，微觉有气，忽忆药箧中有苏合香丸，急取半两，于火上焙去脑麝，用酒半升，研化灌之，至三更方呻吟，五更下恶血数升，调理数日得痊。予谓：正当下苏合香丸，盖从高坠下，必挟惊悸，血气错乱。此药非特逐去瘀血，如气逆鬼魅殊传尸，心痛时疾之类皆治。良方载甚详，须自合为佳耳。本事方。

搓衮舒筋方论

道人詹志永，信州人，初应募为卒，隶镇江马军。二十二年，因习骁骑坠马，右胫折为三，困顿且绝，军帅命舁归营医救，凿出败骨数寸，半年稍愈，扶杖缓行，骨空处皆再生，独脚筋挛缩不能伸，既落军籍，沦于乞丐。经三年，遇朱道人，亦旧在辕门。问曰：汝伤未复初，何不求医。对曰：穷无一文，岂堪办此。朱曰：正不费一[③]，但得大竹管长尺许，钻以一窍，系以绳，挂于腰间，每坐则置地上，举足搓衮之，勿计工程，久当有效。詹用其说，二日便觉骨髓[④]宽畅，试猛伸足，与常日差远，不二月，病筋悉舒，与未坠时等。予顷见丁子章，以病足故，作转轴踏脚用之，其理正同，不若此简便，无力者可办也。癸志。

治臂臼脱方论

许元公入京师赴省试，过桥堕马，右臂臼脱，路人语其仆曰：急与掇入臼中，若血溃臼，则难治矣。仆用其说，许已昏迷不觉痛，遂僦轿舁归邸。或曰非录事巷田马骑不能了此疾。急召之，至已日暮，秉独视其面曰：尚可治。乃施药封肿处，至中夜方苏，达旦痛止，去其封，损处已白，其青瘀乃移在臼上，自是日日易之，肿直至肩背，于是以药下之，泻黑血三升，五日复常，遂得赴试。盖用生地黄研如泥，木香为细末，以地黄膏摊纸上，掺木香末一层，又再摊地黄贴肿上。此正治打扑伤损，及一切痈肿未破，令内消云。类说。

---

① 作：朱氏集验方同，普济方卷三百十折伤门作“並”。

② 承：朱氏集验方同，普济方卷三百十折伤门作“便乘”。

③ 一：朱氏集验方同，普济方卷三百九折伤门此下有“文”字。

④ 骨髓：朱氏集验方同，普济方卷三百九折伤门作“筋骨”。

治病百法

落马坠井

夫一切男子妇人，落马坠井，因而打扑，便生心恙，是痰涎发于上也。内经曰：不因气动而病生于外。可用三圣散，空心吐讫。如本人虚弱疲瘁，可用独圣散吐之，吐讫，可服安魂宁魄之药，定志丸、酸枣仁、茯神之类是也。

十形三疗

落马发狂

一男子落马发狂，起则目瞪，狂言不识亲疏，弃衣而走，骂言涌出，气力加倍，三五人不能执缚，烧符作醮，问鬼跳巫，殊不之[①]顾，丹砂牛黄，犀珠脑麝，资财散去，室中潇[②]然。不远二百里，而求戴人一往。戴人以车轴埋之地中，约高二尺许，上安之中等车轮，其辋上击[③]一穴，如作盆之状，缚狂病人于其上，使之伏卧，以软袒衬之，大令一[④]人于下，坐机一枚，以棒搅之，转千百遭，病人吐出青黄涎沫一二斗许。绕车轮数匝，其病人曰：我不能任，可解我下。从其言而解之，索凉水与之，冰水饮数升，狂万[⑤]罢矣。

足闪肭痛

谷阳镇酒监张仲温，谒一庙，观匠者砌露台，高四尺许，因登之，下台，忽肭一足，外踝肿起，热痛如火，一医欲以铍针刺肿出血，戴人急止之，曰：肭已痛矣，更加针，二痛俱作，何以忍也？乃与神祐丸八九十丸，下二十余行，禁食热物，夜半肿处发痒，来丁[⑥]行步如常。戴人曰：吾之此法，十治十愈，不诳后人。

膝肭跛行

葛塚冯家一小儿，七八岁，膝被肭跛行，行则痛数日矣。闻戴人不医，令人问之。戴人曰：小病耳！教来。是夜以舟车丸、通经温散酒朝[⑦]而下之，夜半涌泄齐行，上吐一碗，下泄半缶。既上床，其儿为母曰：膝膑痒，不可往，来日使服乌金丸，壮其筋骨，一月疾愈而走矣。

得效方

秘　论

骨节损折，肘臂腰膝出臼蹉跌，须用法整顿归元，先用麻药与服，使不知痛，然后可用手。

凡脚手各有六出臼、四折骨，每手有三处出臼，脚亦三处出臼，手掌根出臼，其骨交亘[⑧]相锁。或出臼则是锉出锁骨之外，须是搦骨，须锁骨下归窠，或出外则须搦入内，或出内则须搦入外，方入窠臼。共[⑨]只用手拽，断难入窠，十有八九成痼疾也。

---

① 之：儒门事亲作“知”。
② 潇：儒门事亲作“萧”。
③ 击：儒门事亲作“凿”。
④ 大令一：儒门事亲作“令一大”。
⑤ 万：儒门事亲作“方”。
⑥ 来丁：儒门事亲作“痛止”。
⑦ 温散酒朝：儒门事亲作“散温酒调”。
⑧ 亘：世医得效方作“互”。
⑨ 共：世医得效方作“若”。

手六出臼、四折骨。凡手臂出臼，此骨上段骨是臼，下段骨是杵，四边筋脉锁定。或出臼亦锉损筋，所以出臼。此骨须拽手直，一人拽，须用手把定此间骨，搦教归窠，看骨出那边，用竹一片夹定一边，一边不用夹，须在屈直处夹。才服药后，不可放定，或时又用拽屈拽直。此处筋多，吃药后若不屈直，则恐成疾，日后曲直不得。

肩胛上出臼，只是手骨出臼归下，身骨出臼归上，或出左，或出右，须用舂杵一枚，小凳一个，令患者立凳上，用杵撑在下出臼之处，或低，用物簟起，杵长则簟凳起，令一人把住手尾，拽去[1]，一人把住舂杵，令一人助患人放身从上坐落，骨节已归窠矣，神效。若不用小凳，则二小梯相对，木棒穿从二梯股中过，用手把住木棒，正棱在出臼腋下骨节蹉跌之处，放身从上坠下，骨节自然归臼矣。

脚六出臼、四折骨。或脚板上交胼处出臼，须用一人拽去，自用手摸其骨节。或骨突出在内，用手正从此骨头拽归外；或骨突向外，须用力拽归内，则归窠。若只拽，不用手整入窠内，误人成疾。

脚膝出臼与手臂肘出臼同，或出内出外，亦用一边夹定，此处筋脉最多，服药后时时用屈直，不可定放。又恐再出窠，时时看顾，不可疏慢。

脚大腿根出臼。此处身上骨是臼，腿根是杵，或出前，或出后，须用一人手把住患人身，一人拽脚，用手尽力搦归窠，或是锉开。又可用软绵绳从脚缚倒吊起，用手整骨节，从上坠下，自然归窠。

背脊骨折法：凡锉脊骨不可用手整顿，须用软绳从脚吊起，坠下身直，其骨便自归窠。未直则未归窠。须要坠下，待其骨直归窠，然后用大桑皮一片，放在背皮上，杉树皮二三片，安在桑皮上，用软物缠夹定，莫令屈，用药治之。

脚手骨被压碎者，须用麻药与服，或用刀割开，甚者用剪剪去骨锋，便不冲破肉。或有粉碎者，与去细骨，免脓血之祸，然后用大片桑白皮，以二十五味药和调糊药，糊在桑白皮上，夹在骨肉上，莫令差错，三日一洗，莫令臭秽，用药治之。又切不便轻易自恃有药，便割、便剪、便弄，须要详细审视，当行则行，尤宜仔细。或头上有伤，或打破，或刀伤骨碎，用药糊角缚，不使伤风，切须记之。

用药治伤，则用糊药封角，切不可使风入之浮肿，其恶血自消散，不攻疮口。

十不治证

撷扑损伤，或被伤入于肺者，纵未[2]即死，二七难过。左胁下伤透内者，肠伤断一半可医，全断不可治。小腹下伤内者，证候繁多者；脉不实重者，老人左股压碎者，伤破阴子者，血出尽者，肩内耳后伤透于内者，皆不必用药。

用药加减法

伤有浅深，随其吉凶用药。如折骨者，则用后二十五味接骨方治之，再加自然铜、白芷、乳香、没药、川芎各五钱，立效。若伤脏腑，用清心药加川芎、当归、赤芍药各三钱；或肚肠伤破，加白及五钱，同后清心药服；或被伤浮肿不退，加皂角、黄柏皮半两，入紫金皮散内傅之；或头破伤风，亦用紫金皮散加皂角、黄柏皮傅之，立退；或筋断接筋者，用二十五味加断续[3]半两；或诸处伤痛不止者，仍用二十五味加川芎五钱；或恶血污心不下，用后清心药加大黄、枳壳五钱；或气触痛，加木通、丁香、藿香三钱，同二十五味服之。凡加减，末者加末，散者加散，其余只依本方，不用加减。孕妇撷扑伤损，先用安胎药，后服二十五味接骨，去

---

① 去：世医得效方此下有“凳”字。
② 末：世医得效方作“未”。
③ 断续：世医得效方作“续断”。

草乌、川芎[①]，余依本方。

肠肚伤治法

肚上被伤，肚皮俱破，肠出在外，只肠全断难医，伤破而不断者，皆可治疗。肠及肚皮破者，用花蕊石散傅线上，轻用手从上缝之，莫待粪出，用清油捻活，放入肚内。肚皮裂开者，用麻缕为线，或捶桑白皮为线，亦用花蕊石散傅线上，须用从里重缝肚皮，不可缝外重皮，留外皮开，用药掺，待生肉。

又用药加减法

凡损若不折骨不碎骨，则不可用自然铜，于药丙[②]除去，无痰涎[③]不用半夏。老人有伤者，骨脉冷，每用加当归、川芎、川乌、木香、丁香、人参五钱，去白芍药、生地黄，此亦是二十五味内加减，老人即服此。或伤脏腑者，不问老少，如有血并痰从口中出者，用清心药加丁皮、川芎、半夏，入二十五味内同服。退肿角血或皮冷，加乾姜五钱，入退肿药内糊肿上，肿及血自然退散。或皮肤热者，加黄柏皮、皂角五钱，入肿药内，角肿处自然退。

用麻药法

撅扑损伤，骨肉疼痛，整顿不得，先用麻药服，待其不识痛处，方可下手。或服后麻不倒，可加曼陀罗花及草乌五钱，用好酒调些少与服。若其人如酒醉，即不可加药。被伤有老有幼，有无力，有血出甚者，此药逐时相度入用，不可过多。亦有重者，若见麻不倒者，又旋添些，更未倒，又添酒调服少许。已倒便住药，切不可过多。

用掺药法

疮口血出不止，则用方中止血药傅之。如洗开后，疮孔大甚，且先用降真香、龙骨、没药掺之，肉即生上。疮孔上须用油单贴，待脓血汁出，莫待蔽塞。如夏月用药，以薄荷叶贴疮孔，一日一度汤洗，又用药掺。如肉上满疮口，用手搦不痛，如好肉一般，即用收疮口药傅上，却莫贴，待风稍[④]疮口立收。若未生实肉，切不可先收疮口，里面恐为患也。

伤破肚皮用药法

如伤孔大，肚肠与脂膏俱出，放入内则用缝。如孔小只有膏出，先用清心药与服，用手擘去膏，不用缝。此膏出者已无用了，不可复入肚中，反成祸，只须擘去不妨。此是闲肉，但放心去之。肚肉被伤者，专用退利大小肠，不可待秘，恐成重患。

打撅及树木压遍身痛者

打撅树木压，或自高处撅下者，此等伤皆惊动四肢五脏，必有恶血在内，专怕恶心，先用清心药、打血药及通大小肠药次第先服，临服加童子小便入药内立效。专用大小肠洗利，恐作隘塞，利害之甚，清心药加前方通利大小肠药服之，自然俱通，无闷烦，无恶血污心，以次用止痛药，服之即止。

去恶血法

撅扑伤，刀石伤，诸般伤损至重者，皆先服清心药，次服清小便药，三服去血药。或被伤者血未结，打从疮口中出，或结在内，用药打入大肠时即泄出；或被打、被撅、被木压恶血未积者，用药打散四肢；或归脏腑者，或归上膈者，打从口中吐出；或归中膈，打入大肠泄出。先用此急救，次服止痛药。止痛药，即二十五味药中加减用。

用药汤使法

凡药皆凭汤使，所使方，先但用清心药

---

① 芎：世医得效方作“乌”。
② 丙：世医得效方作“内”。
③ 涎：世医得效方作“则”。
④ 稍：世医得效方此下有“着”字。

煎，后用童便一盏伺服。或止痛，重伤者则用姜汤灯心汤调二十五味药服之，薄荷汤亦可。凡伤，或刀伤及损内脏腑，恐作烦闷崩血之患。如折骨者，用姜酒服，接骨药傅之；如骨碎被重打、重撅、重木及石压者，皆用先服汤使法，並末用酒服。如轻撅扑损伤，则用姜酒调下二十五味药，立效。

澹寮方

伤　　损

夫人汲汲以生，忿忿以气，打扑折伤之病，由是而有之，三因方谓属不内外因是也。治之惟仗妙方灵药，故世指属外科。虽然脉经亦有金疮血盛虚细活，急疾大数必危倾之说，学者毋忽焉。

拔粹方

中风同从高坠下

夫从高坠下，恶血留于内，不分十二经络，圣人俱作风中肝经，留于胁下，以中风疗之。血者皆肝之所主，恶血必归于肝，不问何经之伤，必留于胁下，盖肝主血故也。痛甚则必有自汗，但人有汗出，皆为风证。诸痛皆属于肝木，既败血凝沍，从其属入于肝也。从高坠下，逆其上行之血气，非肝而何？非伤风无汗，既自汗必是化也，以破血行经之药治之。

医方大成

折　　伤

折伤者，谓其有所伤于身体者也。或为刀斧所刃，或坠堕险地，打扑身体，皆能使血出不止。又恐瘀血停积于脏腑，结而不散，去之不早，恐有入腹攻心之患。治疗之法，须外用敷贴之药散其血，止其痛，内则用花蕊石散之类化利瘀血，然后款款调理生肌。或因折伤而停郁其气，又当顺之。或因汤火所伤，并具一二方以备搜讨。

永类钤方

头目鼻耳伤

凡脑骨伤碎，轻轻用手撙捺平正，若皮不破，用黑龙散敷贴，皮若破，用风流散填涂疮口，用绢帛包，不可见风著水，恐成破伤风。如水及风入脑成破伤风，必发头疼，则难治，理伤续断方、寿域神方、卫生易简方在发内者，须剪去发傅之。急用玉真散贴服。

凡脑骨伤碎，在硬处可治，若伤太阳穴不可治。如在发际，须剃去发，用药[1]内，又看皮破不破，依上用药敷或填。若欲洗，只可熟油洗，髓出多脑射末掩[2]。

凡面目伤青黑，用热酒调一黄散贴。如黑不散，酒调桂末贴。作热用茶调贴。

---

① 药：普济方卷三百九折伤门此下有“入”字。
② 掩：普济方卷三百九折伤门作“掩”。

凡脑两角及后枕或两眉有伤可治，眼睛伤不突，瞳仁不碎可治，头顶心有损难治。

凡鼻两孔伤凹者可治，有血出无妨。

凡耳或斫落，上脱下粘，下脱上贴，用封口药封贴，却以线对缚住，看脱落所向，用鹅翎横夹定，却用竹夹子直上横夹定鹅翎，用药封其耳后。

唇口喉齿腮伤

凡口唇开破，用药两头封贴，却以帛片看损横直加封药于上，再贴上，牵住所封药，不令开落，仍少言语。

凡上下腮口唇齿伤，或内外横直昏破有臭脓，莫出光处，少言语。或齿伤，且先安齿住痛。金井骨在唇下，有损不可束缚，只捺令平正，用黑龙散敷贴，绵片贴缚，两肋骨亦然。

凡割喉者，用脚骑患人头项，以丝线先缝内喉管，却缝外喉管，用封血药。或喉被人打叶[1]了，以手摇圆[2]之，□□吊项见急济方中[3]。若喉结伤重，软喉断不治，结下食喉管断，以汤与之得入肠可治，若并出不可治。封口药用江边厚蚌壳烧存性，入赤石脂、国丹，油调涂，消肿散血。合口加血竭、国丹乾揿。

肩胛颈骨及手脖脱手盘手指骨伤

凡捽进颈骨，用手巾一条，绳一茎，系在枋上垂下来，以手中兜缚颏下，系於后脑杀缚接绳头，却以瓦罂一个五六寸高，看捺入浅深斟酌高低，令患人端正坐于其罂上，令伸脚坐定，医用手采捺平正，说话不觉，以脚一踢，踢去罂子，如在左，用手左边掇出，在右边，右边掇出。又一法，令患人卧床上，以人挤其头，双足踏两肩即出。

凡左右两肩或损坠失落。若骨脑叉出在前，可用布袋腕系在前，如出在后，腕系手在背后，若左出摺向右肱，右出摺向左肱，骨即入接，左摸右髆，右摸左髆。

凡背上被打伤处带黑，单调肉桂末贴。热肿，用一黄散。血不出内疼痛者，乳香、没药、酒调一黄散贴，却下破血药。

凡手脖腕骨[4]□□直拽出，医用手抬起手脖腕，以患人本身膝头箄[5]定，医用手于颈项肩处，按下其骨还臼，却用药敷贴。若手腕失落，或在上在下，用手拽伸，却便手捻住，方可贴药夹缚。若手脖骨出，用圆大椅横番向上，医用足踏定，将病手在椅横内校曲入腕内，以文书贴定平稳，用绢兜缚，时要手掌向上。若手盘出旧[6]，不可牵伸，用衣服向下承住，用手撙按入臼，摇三次，却用夹缚，下用衬夹。

凡手骨出向左，则医以右手拔入，骨出向右，则左拔之。一伸一折，摇动二三次。

凡手与脚骨皆有两胫，前一胫断可治，若皆断不可治。

凡手足骨断者，中间一坐缚可带紧，两头放宽些，庶气血流荫。又法：肿[7]若如截竹断，却要两头紧，中间带宽，使血气聚断处。

又手盘出向下，将掌向上，医用手撙损动处，将掌曲向外，用夹向背一片，长托在手背后，向西[8]一片，短在掌按处，向小指一片，长在指曲处，向大指一片，短在高骨下，三度缚，却贴药。

凡两手臂骨打断有碎骨，跌断骨无碎骨。

凡手指打碎，用油润，以薄箬篾管定，看冷热，用一黄散或黑龙散贴之。

---

① 叶：证治准绳疡医卷六舌唇喉齿腮伤作“歪”。

② 圆：证治准绳疡医卷六舌唇喉齿腮伤作“正”。

③ □□吊项见急济方中：证治准绳疡医卷六舌唇喉齿腮伤作“却以前膏敷贴”。

④ 骨：此下脱字，证治准绳疡医卷六手伤作“脱绷”。

⑤ 箄：证治准绳疡医卷六手伤作“垫”。

⑥ 旧：证治准绳疡医卷六手伤作“臼”。

⑦ 又法肿：证治准绳疡医卷六手伤无此三字。

⑧ 西：证治准绳疡医卷六手伤作“面”。

胸胁肠伤

凡胸前跌出骨不得入，令患人靠实处立，用两脚踏患人两脚，却以手于其肩掬起其胸脯，其骨自入，用药封缚，亦随机应变。

凡胸脯有拳捶伤，外有肿，内有痛，外用贴药，内服化血药。如刀伤，可用安骨定皮合口，外用贴药糁口，内用吃药。

凡胸骨肋断，先用破血①，却用黄云膏贴。胸胁伤，血作不通，用生绿豆汁、生姜自然汁和服，以一壮刀②在后挤住，自吐出其血也。

凡肠出，可以病手搭在医肩背，随其左右狩③起，以熟油润疮口整入腹，却④打喷嚏一个⑤，却用桑白皮为线，打曲针向皮内缝合，后用断血合口药同济，用绢袋缚定再贴，绢上再缚。若秋冬间有此证，先用断血合口药，后用狗仔一只，割取腹口皮贴疮口，割喉封药，联口同用。若肠上有损针鼻大，以灯火照之，肠中有气射灯不可治。又一法：肠出，吊起病人手，用醋煎小豆根汁，服一口至二口，却以针于病人颈上一刺，肠自入。

凡肠上必有黑紫斑及有曲缝痕者，乃肠也。如土有膏，一重黄，一重肉，更有胰子肉出也。肠若出，不可割，如实是膏，不得入，可割除，须详下认。

腰脚臀臌两腿膝伤

凡腰骨损断，先用门扉一片放斜一头，令患人覆眠，以手捍止，下用三人拽伸，医以手按损处三时久，却用贴药，病人浑身动作一宿，至来日患处无痛，却可自便左右番转，仍用通贴药。若前后不便，听其施溺，更用内外住痛神授乳香散左右。

凡臀臌左右跌出骨者，右入左，左入右，用脚踏进。如跌入内，令患人盘脚，按其肩头，用膝旅入，虽大痛一时无妨，却用贴药，从缓仰卧，用手捺衬入，再加贴药、吃药。患人未可番卧，大动后恐成损。腰腿伤全用酒，佐通气血药。

凡跨骨从臀上出者，用二三人捉定腿拔伸，仍以脚捺送入。如在裆内出者，则难整。凡脚骨伤甚难整。

凡两腿左右或打或跌断者，多用葱，打断者，不用姜葱，以手法整，其骨在上于前，在下于后，以手拽正，上拽七分，下拽五分，整定用贴药，后以杉皮夹缚，缚时先缚中坐，后缚上下，外用副夹竹绳。若上下有肿痛，毋虑。五日方可解外缚，约一七方可转动，解外缚未可换药，仍浑用酒服药。

凡办腿跨骨出，以患人膝比并之，如不粘膝，便是出向内，如粘膝不能开，便出外。

凡脚盘出臼，用人以脚从腿上一踏一掇，双手一撙摇二三次，却以药夹。

凡膝盖或左右损断，用手按直，用贴药夹一月。若肿痛，须用针刀去血，却敷贴用夹。或外胫踝骨兀折左右脚盘，用脚踏直，或针患处，却敷贴，吃住痛药，不得令冷。若膝头骨跌出臼，牵合不可大直，不可大曲，直则不见其骨棱，曲亦然，可半直半曲，以竹筵筵住，以帛缚之。

阴囊阴门伤

凡阴囊被人扯脱者，用合口封贴，绢袋兜缚。凡阴囊处有青肿紫黑色，不用姜汁，可用赤芍药细末，入贴损药内，仍加良姜、肉桂打和，用韭菜叶打烂，同药贴。如无薤⑥叶，及葱亦可。仍服八正散利水道。

凡妇人腿骨出，进阴门边，不可踏入，用登⑦一条，以绵衣覆之，移患人在上，以手拿患人脚，用手一樽上在好脚一边上，其

---

① 血：证治准绳疡医卷六胸腹伤此下有“药”字。
② 刀：证治准绳疡医卷六胸腹伤作“力人”。
③ 狩：证治准绳疡医卷六胸腹伤作“收”。
④ 却：证治准绳疡医卷六胸腹伤此下有“以通关散吹鼻”六字。
⑤ 个：证治准绳疡医卷六胸腹伤此下有“令肠自入”四字。
⑥ 薤：证治准绳疡医卷六阴囊阴门伤作“韭”。
⑦ 登：证治准绳疡医卷六阴囊阴门伤作“橙”。

腿自入。凡下近腿胯阴囊等处，不用通药，但贴不令血荫。

筋　　骨

凡断筋骨者，先用手寻采[①]伤处，整顿其筋，如前方用贴药，及用正副夹，正用杉皮，副用竹片。

凡骨断皮破者，不用煨姜、肉桂，止用葱汁调贴。或损在内，可用童便、姜葱、生油和通药服。如通气已过，只用顺气止血药。或余血在腹作胀，更进前药，无事后方用损药，仍看病人虚实。若骨断皮不破，整其骨，先用贴药，加良姜、肉桂在贴药内，以葱姜汁调涂。已上皆郡氏口教。

凡皮破骨出差爻[②]，拔伸不入，撙捺皮相近三分，用快剐刀割开眚[③]，捺入骨，不须割肉，肉自碎了，可以入骨。骨入后，用黑龙散敷贴疮四旁肿处，留疮口，用风流散填之。若不破，用黑龙散敷贴，破用风流散。破者必有血出，用力整时，最要快便。

凡骨碎，看本处平正如何，大抵骨低，是不曾损左右骨，骨高定损，要拔伸捺平，用药敷贴，束缚要平正，捺正了，曲处要时时曲转，便活处不强。

凡敷贴，用板子一片，就版子上，将皮纸或油单纸摊黑龙散在上，移在损处。皮内有碎骨，后来皮肉自烂，碎骨自生[④]。若破断皮肉，用风流散填涂，用线缝合，用黑龙散敷贴。

凡拔伸擦[⑤]，止要毡绢软物，单正仍拔伸，当近左[⑥]骨损处，不得前去一节骨上，仍拔伸相度左右，骨有正拔者，有斜拔者，撙捺要手法快便，要皮骨相就平正，整拔亦要相度难易，或用一人、二人、三人。已上彭氏口教。

束缚敷贴换药

凡束缚，夏二三日，冬五日或四日，缚处用药水泡洗去旧药，不可惊动损处，洗了仍用黑龙散敷缚，束缚要杉木皮浸软，或如绵，或纸缠令软，约手指大片，疏排周匝，以小绳三度缚，时相度高下远近，使损续[⑦]气血相通，有紧有宽，说见前，三日一次洗换涂贴。

凡损大小便不通，未可便服损药，盖药热加酒，涩秘应甚。看患人虚实，实者下，大承气汤加木通，尚未通加芒硝。

凡损不可服草药，服之所生之骨必大，不得入臼。损一月之内可整，久则难整。

凡损药必热龙[⑧]生气血，以援骨也。更忌用火灸。如治[⑨]不效，服药亦不效。

凡损药用酒，用酒不问红白，忌灰酒，且重伤不可便用酒，反承起气，作腹胀胸满，切记。此大口功[⑩]。如稍定贴，却用酒水煎或汤浸酒。

凡肿是血作，用热药水泡洗，黑龙散敷贴。

凡用夹，须摊药于纸上平，两头要带薄，搭头搭得不厚不碍肉，平坦者，无高低不匀之患。若四岸高低不匀，此上便有空缺，不著肉处生泡也。此大大口功[⑪]。如换药，不可生脱[⑫]药，用手巾打温[⑬]搭闰，逐片取脱。如取脱一片，随手上药贴了，脱一片，上一片药，切不可经停一时，便生泡为害，此大节，病累遭害，切记。仍先摊下换药，应手用，切记。

凡用生姜一节，有用有不用，良姜解姜毒，故姜有毒，常能作梗。且如用姜，与同

---

① 采：证治准绳疡医卷六筋骨伤作“揣”。
② 爻：证治准绳疡医卷六筋骨伤作“臼”。
③ 眚：证治准绳疡医卷六筋骨伤作“些”。
④ 生：证治准绳疡医卷六筋骨伤作“出”。
⑤ 擦：证治准绳疡医卷六筋骨伤作“捺”。
⑥ 左：证治准绳疡医卷六筋骨伤作“在”。
⑦ 续：证治准绳疡医卷六束缚药贴作“处”。
⑧ 龙：证治准绳疡医卷六用药诀作“能”。
⑨ 治：证治准绳疡医卷六用药诀作“敷药”。
⑩ 此大口功：证治准绳疡医卷六用药诀作“切记”。
⑪ 此大大口功：证治准绳疡医卷六束缚敷贴用药作“切记之”。
⑫ 脱：证治准绳疡医卷六束缚敷贴用药作“换”。
⑬ 温：证治准绳疡医卷六束缚敷贴用药作“湿”。

门在病家，治疗不可不用姜。讨姜一斤，研烂，分作数处，却以热汤泡开，令冷，候澄得滓在下，却以其滓调药，此热汤去其热，在上去了，不必虑。其作便莫若不用姜为上。切记！切记！

凡伤重，其初麻而不痛，应拔伸捺正，或用刀取开皮，二三日后方知痛，先且匀气血。

凡打伤在两胁、两胸、两肛[1]、两肋，却用通气通血药。又看病人虚实不同，虚者通药须兼补药，实者补药放缓，且用贴药在前，通药在后。凡用通药，反不通者，后用顺气药，腹肚全无膨胀而得安，此为不干血作，乃是气闭不通。如腹肚果有血作，一通便下，亦须以顺气药兼之，庶胸膈腹肚不致紧闷。气顺后，却用损药，无不愈，须先顺气故也。有人醉卧跌未[2]下，脾胃[3]疼痛，不可屈伸，损药不效，服刀豆酒数日愈。豆下气所损轻也。有小儿误跌凳角上，止用□白[4]子煎汤[5]愈，亦顺气也。整作之法，除头脑上不可用药水洗，恐[6]伤风，余可用油同药水避风洗之，且与住痛。整时，先用热酒调寻痛药加草乌方整，整后气绝，用苏合香丸灌苏，未醒以大黑豆汁冷服，或淡豆豉煎，不可用盐解之。如吐加生姜汁。

用药次第发散寒邪通气通血

用药先看病有轻重，若有破伤，未可便用洗药，恐成破伤风。被伤之时，岂无外感风寒之证，且先用三四服疏风顺气药，却看患人虚实，有何证候轻重。若伤重，气血潮作，昏闷胀痛，亦先通气，而后通血，盖血随气行。虚弱者药用温通，壮实者药可峻通，或通气血兼用，斟酌只在此。亦须看脉之强弱加减。经云：坠压内伤忧小弱，坚强之脉可求安。

理伤续断方

医治整理补接次第口诀

一、煎水洗，二、相度损处，三、拔伸，四、或用力收入骨，五、捺正，六、用黑龙散通，七、用风流散填疮，八、夹缚，九、服药，十、再洗，十一、再用黑龙散通，十二、或再用风流散填疮口，十三、再夹缚，十四、仍前用服药治之。

凡肩胛骨出，相度如何整，用椅当圈住胁，仍以软衣被盛簟，寿域神方、卫生易简方作衬。使一人捉定，二人拔伸，却坠下手腕，又著曲著手腕，绢片缚之。

凡金井骨，在胁之下，有损不可夹缚，只是捺平，令安贴平正，用黑龙散贴，绢片缚。两胁骨亦如此。

凡伤损重者，大概要拔伸捺正，或取开捺正，然后傅贴填涂、夹缚。拔伸当相近本骨损处，不可别去一节骨上。

凡拔伸，且要相度左右骨如何出，有正拔伸者，有斜拔伸者。

凡认损处，只须揣摸骨头平正不平正便可见。

凡左右损处，只相度骨缝，仔细捻捺，忖度便见大概，要骨头归旧，要撙捺皮相就入骨。

凡拔伸，或用一人，或用二人、三人，看难易如何。

凡皮破骨出差爻，拔伸不入，撙捺相近，争一二分，用快刀割些捺入骨，不须割肉，肉自烂碎了，可以入骨。骨入之后，用黑龙散贴疮之四围，肿处留疮口，别用风流散填。

---

① 肛：证治准绳疡医卷六用药诀作“肚”。
② 未：证治准绳疡医卷六用药诀作“床”。
③ 脾胃：证治准绳疡医卷六用药诀作“胛背”。
④ □白：证治准绳疡医卷六用药诀作“萝卜”。
⑤ 汤：证治准绳疡医卷六用药诀作“服”。
⑥ 恐：证治准绳疡医卷六用药诀此下有“成破”二字。

所用刀，最要快，剜刀、雕刀皆可。

凡捺正，要时时转动使活。寿域神方使气血和活。

凡骨碎断，须要本处平正如何。大抵骨低是骨不曾损，左右看骨方是，损处要拔伸捺正，用药贴，夹缚要平正方是。

凡肿是血作，用热药水泡洗，却用黑龙散傅贴。

凡伤重，必用药水泡洗，然后涂药。如伤轻，不必洗，便涂药。

凡夹缚，夏三二日、冬五三日解开，夹缚处用热药水泡洗去旧药，洗时切不可惊动损处，了仍用黑龙散傅，夹缚，盖伤重者方如此。

凡皮破，用风流散填，更涂。未破，用黑龙散贴，须用杉木皮夹缚之。

凡拔伸捺正要软物，如绢片之类奠之。

凡皮里有碎骨，只用黑龙散傅贴，后来皮肉自烂，其碎骨必然自出来，然后方愈。

凡骨破打断，或筋断有破处，用风流散填涂，却用针线缝合其皮，又四围用黑龙散傅贴。

凡夹缚，用杉木皮数片，用回紧夹缚，留开皆一缝，夹缚必三度，缚必要紧。

凡平处骨碎皮不破，用药贴，用密夹缚。大概看曲转处、脚凹之类不可夹缚，恐后伸不得，止用黑龙散贴，帛片包缚，庶可曲转屈伸。有数处如指骨断，止用苎麻夹缚，腿上用苎麻绳夹缚。绳如钱绳许大。

凡贴药，用板子一片，将皮纸或油纸，以水调黑龙散，摊匀在上，然后卷之，贴损处。

凡用杉皮，浸约如指大片，疏排令周匝，用小绳三度紧缚，三日一次，如前淋洗，换涂贴药。

凡曲转如手腕、脚凹、手指之类，要转动，用药贴，将绢包片[1]之后，时时运动，盖曲则得伸，得伸则不得屈，或屈或伸，时时为之方可。

凡伤损，其初痹而不痛，应拔伸捺正，复用刀取开皮，皆不痛，三二日后方痛。

凡损，一月寿域神方一日。尚可整理，久则不可。

凡损，不可吃草药，吃则所出骨不能如旧。

凡跌损，肠肚中汗[2]血，且服散血药，如四物汤之类。

凡损，大小便不通，未可便服损药，盖损药用酒必热。且服四物汤，更看如何，又服大成汤加木通。如大小便尚未通，又加朴硝，待大小便通后，却服损药。

凡伤重者，未服损药，先服气药，如匀气散之类。

凡浑身无故损痛，是风损，当服风损药，如排风汤之类。

凡服损药，不可吃冷物。鱼牛肉极冷，尤不可吃。若吃牛肉，痛不可治。

凡损药必热，便生血气，以接骨耳。

凡服药，不拘在红酒、无灰酒、生酒皆可。

凡药，三四月炼，不可多合，五月尤甚，存散药随时旋丸。

凡收药丸子、末子，并用罐子收入厨子内，以火焙之。

凡损，用火灸，则医不得，服药不效矣。

诸药惟小红丸、大活血丹最贵，盖其间用乳香、没药，枫香可代乳香三之一，血竭难得，合大活血丹，钦[3]此亦可，若有更佳。

合糜[4]断不可无乳香、没药。若无没药，以番降真代，血竭无亦用此代。

凡所用药材，有外道者，有当土者。如当归土与川不同，丸子可用土当归、土药材，末子须用外道者。

---

1) 包片：理伤续断秘方作“片包”。
2) 汗：理伤续断秘方作“污”。
3) 钦：理伤续断秘方作“欠”。
4) 糜：理伤续断秘方作“药”。

玉机微义

叙堕坠为病

内经云：人有所堕坠，恶血留内，腹中胀满，不得前后，先饮利药。此上伤厥阴之脉，下伤少阴之络，刺足内踝不[①]然骨之前出血，刺足肘[②]上动脉，不已，刺三毛各一痏，见血立已，左刺右，右刺左。灵枢云：有所堕坠，恶血留于内，若有所大怒，气上而不下，积于胁下则伤肝。又中风及有所击打，若醉入房，汗出当风则伤脾。又头痛不可取于腧者，有所击堕恶血，恶血在于内，若内伤痛不已可侧刺，不可远取之也。

按：发明经云，夫从高坠下，恶血留于内，不分十二经络，圣人俱作风中肝经，留于胁下，以中风疗之。血者，皆肝之所主，恶血必归于肝，不问何经之伤，必留于胁下，盖肝主血故也。痛甚则必有自汗，但人汗出皆为风证，诸痛皆属于肝木，况败血凝涩，从其所属入于汗[③]也。从高堕下，逆其所行之血气，非肝而何，以破血行经药治之。

伤损脉法

内经云：肝脉搏坚而长，色不青，富[④]病堕者[⑤]搏，因血在胁下，令人呕逆。

金匮云：寸口脉浮微而涩，然当亡血。若汗出，设不汗出者，当身有疮被刀斧所伤，亡血故也。

脉经云：金疮血出太多，其脉虚细者生，数实大者死。

金疮出血，脉沉小者生，浮大者死。

砍[⑥]疮出血一二石，脉来大者，二十日死。

砍[⑦]刺出血不止者，其脉止，脉来大者，七日死，滑细者生。

从高颠仆，内有血，腹胀满，其脉坚强者生，小弱者死。

按：破伤有瘀血在内，脉坚强实则生，虚小弱者死。若亡血过多，脉病[⑧]细小者生，浮大数实者死，皆为脉病不相应故也。

论伤损宜下

子和云：诸落马坠井[⑨]，打扑伤损，闪肭损折，杖疮肿发，燋痛不止者，可峻下二三十行，痛止肿消，宜以通经散、导水丸等药，或加汤剂泻之，后服和血消肿散毒之药。

按：子和于堕车落马、杖疮闪肭者，俱用峻下。其有心恙，牙关禁急者，云是惊涎堵塞于上，俱用三圣散，先吐后下。其法虽峻，然果有惊涎瘀血停留于内，燋痛肿胀发于外者，亦奏捷功。但于出血过多，老弱之人，脉虚大者，亦当求责。

谨按：打扑金刃损伤，是不因气动而病生于外，外受有形之物所伤，乃血肉筋骨受病，非如六淫七情为病，有在气在血之分也。所以损伤一证，专从血论，但须分其有瘀血停积而亡血过多之证，盖打扑坠堕，皮不破而内损者，必有瘀血。若金刃伤皮出血，或至亡血过多，二者不可同法而治。有瘀血者，宜攻利之，若亡血者，兼补而行之。又察其所伤，有上下轻重浅深之异，经络气血多小之殊，唯宜先逐瘀血，通经络，和血止痛，然后调气养血，补益胃气，无不效也。顷见围城中军士被伤，不问头面手足胸背轻重，医者例以大黄等药利之。后大黄缺少，甚者遂以巴豆代之，以为不于初时泻去毒气，后

---

① 不：玉机微义作“下”。
② 肘：玉机微义作“腑”。
③ 汗：玉机微义作“肝”。
④ 富：玉机微义作“当”。
⑤ 者：玉机微义作“若”。
⑥ 砍：玉机微义作“砭”。
⑦ 砍：玉机微义作“砭”。
⑧ 病：玉机微义作“虚”。
⑨ 井：玉机微义作“车”。

则多致危殆。至于略伤手指，亦悉以药利之，殊不知大黄之药惟与有瘀血者相宜。其有亡血过多，元气胃气虚弱之人，不可服也。其巴豆大热有毒，止能破坚逐积，用于此疾，尤非切当。所以有服下药过后，其脉愈见坚大，医者不察，又以为瘀血未尽，而后下之，因而夭折人命，可不慎欤！

金匮方

治马坠及一切筋骨损方：见肘后方。

大黄一两，切浸，汤成下　绯帛如手大，烧灰　乱发如鸡子大，烧灰用　久用炊单布一尺，烧灰　败蒲一握三寸　桃仁四十九介，去皮尖熬[1]　甘草如中指节，炙，锉

右七味，以童子小便量多少煎汤成，内酒一大盏，次下大黄，去滓，分温三服，先锉败蒲席半领，煎汤浴，衣被覆[2]复，斯须通利数行，痛楚立差。利及浴水赤，勿怪，即瘀血也。

千金方

被打及诸伤损

凡被打损，血闷抢心，气绝不能言，可擘开口，尿中令下咽即醒。又堕车落马及车碾木打已死者，以死人安著，以手袖掩其口鼻眼上一食顷活，眼开，与热小便二升。

治被打击头眼青肿方：

炙肥猪肉令热揾上。肘后方云：治血聚皮肤间不消散者。

又方：　墙上朽骨，唾于石上研磨涂之，乾即易。圣惠方同。

又方：　炙猪肝贴之。圣惠方、琐碎录乾即易之。

又方：　新杀羊肉，乘热封之。

又方：　大豆黄为末，水和涂之。圣惠方，琐碎录同。

治被打伤破，腹中有瘀血方：

蒲黄一升　当归　桂心各二两

右三味，治下筛，以酒服方寸匕，日三夜一。

又方：

刘寄奴　延胡索　骨碎补各一两

右三味咬咀，以水二升，煎取七合，复内酒及小便各一合，热温顿服。

又方：

蝱虫　虻虫　水蛭各三十枚　桃仁五十枚　桂心二两　大黄五两

右六味咬咀，以酒水各[3]五升，煮取三升，分五服。

又方：　生地黄汁三升，酒一升半，煮取二升七合，分三服。　肘后方治从高堕下，瘀血胀心，面青短气欲死者。

又方：　葶苈子为末，傅疮上。

白马蹄散：　治被打腹中瘀血，并治妇人瘀血，化血为水方。

白马蹄烧令烟尽，捣筛，酒服方寸匕，日三夜一。

治被欧击损伤聚血，腹满烦闷方：

豉一升，以水三升，煮三沸，分再服。不瘥重作，更取麻子煮，如豉法。不瘥更煮豉，如上法。

治有瘀血者，其人喜忘，不欲闻人声，胸中气塞短气方：

甘草一两　茯苓二两　杏仁五十枚

右三味咬咀，以水二升，煮取九合，分

① 契：金匮作“熬”。
② 覆：金匮作“盖”。
③ 各：备急千金要方作“合”。

二服。

治从高堕下伤折，疾痛烦躁，啼叫不得卧方：

取鼠屎烧末，以猪膏和涂痛上，即急裹之。圣惠方、备预百要方同。　卫生易简方治打扑伤损筋骨，瘀血在内疼痛。用鼠粪烧过为末，以腊猪脂调傅封裹，其痛即止。

治从高堕下，及为木石所迮，或因落马。凡伤损血瘀凝积，气绝欲死，无不治之方：

取净土五升，蒸令溜，分半，以故布数重裹之，以熨病上，勿令大热，恐破肉，冷则易之，取痛止即已。凡有损伤，皆以此法治之，神效。已死不能言者亦活，三十年者亦瘥。

治堕车马间，马鞍及诸物隐体肉断方：

以酢和面涂之。

当归散：　治落马堕车，诸伤腕折臂脚痛不止方。

当归　桂心　蜀椒　附子各二分　泽兰一分　芎藭六分　甘草五分

右七味，并熬令香，治下筛，酒服方寸匕，日三。凡是伤损皆服之，十日愈。小儿亦同。救急方云：治坠马落车，被打伤腕折臂，叫唤痛声不绝，服此散，呼吸之间不复大痛，十三日筋骨相连。

黄耆散：　治腕折方。

黄耆　芍药各三分①　当归　乾地黄　附子　续断　桂心　乾姜　通草各二分②　大黄一两　蜀椒一③□　乌头半两

右十二味，治下筛，先食酒服五分匕，日三。千金翼无大黄。

治折骨断筋方：

乾地黄　当归　羌活　苦参各二分

右四味，治下筛，酒服方寸匕，日三。

治腕折骨损，痛不可忍者方：

以大麻根及叶捣取汁，饮一升。圣惠方半升。无生麻，煮乾麻汁服。亦主坠堕挞打瘀血，心腹满短气。

治被伤筋绝方：

取蟹头中脑及足中髓熬之，内疮中，筋即续生。

治腕折四肢骨碎及筋伤蹉跌方：

生地黄不限多少，熟捣，用薄所损伤处。肘后方云：小品方烂捣熬之，以裹伤处，以竹片夹裹令遍，缚令急，勿令转动，一日可十易，三日瘥。若血聚在折处，以刀子破去血。

治四肢骨碎，筋伤蹉跌方：

以水二升，渍豉三升，取汁服之。

鹿角散：　治同前。

右酒服方寸匕，日三。　肘后方治从高堕下，若为重物所顿迮，得瘀血者。

又方：　筋骨伤，初破时，以热马屎傅之，无瘢。

又方：　大豆二升，水五升，煮取二升，以淳酒六七升合和豆汁服之，一日尽，如汤沃雪。肘后方云：治堕迮瘀血。无大豆，用小豆佳。

又方：

羊脑一两　发灰　胡粉　胡桃脂各半两

右四味，捣和调如膏傅上，生布裹。

治头破脑出，中风口噤方：

大豆一斗，熬去腥，勿使太熟，捣为末，熟蒸④气偏合甑，下盆中，以酒一斗淋之，温服一升，覆取汗，傅杏仁膏疮上。

紫汤：　治被伤，风入四体，角弓反张，口噤不能言，或产妇堕胎。凡得此者。大重⑤不过五剂。

治丈夫从高堕下伤五脏，微者唾血，甚者吐血，及金疮伤经崩中皆主之方：

阿胶　艾叶　乾姜各二两　芍药三两

右四味咬咀，以水八升，煮取三升，去滓，内胶令消，分二服，羸人分三服。兼治女人产后崩伤下血过多，虚喘，腹中绞痛，

---

① 分：备急千金要方作“两”。
② 分：备急千金要方作“两”。
③ 一：此下脱字，备急千金要方作“合”。
④ 蒸：备急千金要方此下有“之”字。
⑤ 重：备急千金要方此下有“者”字。

下血不止者，服之悉愈。

大胶艾汤：　治男子伤绝，或从高堕下伤五脏，微者唾血[1]，及金疮伤经者方。

阿胶　艾叶　甘草　当归　芎藭各二两　乾姜一两　芍药　乾地黄各三两

右八味㕮咀，以水八升，煮取三升，去滓，内胶令烊，分再服，羸人分三服。此汤治妇人产后崩伤下血过多，虚喘欲死，腹中激痛，下血不止者，神良。

竹皮汤：　治为兵杖所加，术[2]石所迮，血在胸背，及胁中痛不得气息方。

青竹刮取茹　乱发各如鸡子大二枚

右二味，于炭火上炙令焦燥，合捣下筛，以酒一升，煮三沸上[3]，一服尽之，三服愈。圣惠方同。

治堕马落车及树间，崩血，腹满短气方：

大豆五升，以水一斗，煮取二升，去豆，一服令尽。剧者不过三作。

治堕落车马间，心腹积血，唾吐无数方：

乾藕根为末，以酒服方寸匕，日三，如无，取新藕汁服。

桃仁汤：　治从高堕下，落大木车马间，胸腹中有血，不得气息方。

桃仁十四枚　大枣二十枚　大黄　消石　甘草各一两　蒲黄一两半

右六味㕮咀，以水三升，煮取一升，绞去滓，适寒温尽服之，当下，下不止，渍麻汁一杯，饮之即止。

又方：　治腹中瘀血，痛在腹中不出，满痛短气，大小便不通。

桃仁　蠐虫各三十枚　荆芥半分　大黄　芎藭各三两　当归　桂心　甘草各二两　蒲黄五两

右九味㕮咀，以水一斗，煮取三升，分三服。

又方：　治堕落瘀血方。

桃仁五十枚　水蛭　虻虫各二十枚　甘草　桂心　当归各二两　芒硝三两　大黄四两

右八味㕮咀，以水八升，煮取三升，绞去滓，适寒温服一升，日三服。深师方无芒硝。

又方[4]：

桃仁五十枚　虻虫　蠐虫　水蛭各三十枚　大黄五两　桂心二两

右六味㕮咀，以酒水各五升合煎，得三升，适寒温饮一升，日三服。

又方：　治腕折瘀血方。

桃仁四十枚　乱发一握　大黄如指节大一枚

右三味，以布方广四寸，以绕乱发烧之，㕮咀大黄、桃仁，以酒三升，煮取一升尽服，血尽出。肘后云：仲景方用大黄三两，绯帛子如手大灰，乱发如鸡子大灰，久用炊单布方一尺灰，桃仁四十九枚，败蒲蓆一握长三寸切，甘草一枚如指大，以童子小便量多少煎，汤成，内酒一大盏，次下大黄，分温为三服。别锉败蒲蓆半领，煎汤以浴，衣被重覆，服药须通利数行，痛楚立瘥。利及浴水赤勿怪，即瘀血也。

又方：

桃仁六十枚　大黄六两　桂心二两

右三味㕮咀，以酒六升，煮取三升，分三服，当下血瘥。

蒲黄散[5]：　治从高堕下有瘀血方。

蒲黄八两　附子一两

右二味为末，酒服方寸匕，日三。不知增之，以意消息。

又方：[6]　治腕折瘀血方。

蒲黄一升　当归二两

右二味，治下筛，先食酒服方寸匕，日三。

又方：[7]

虻虫二十枚　牡丹一两

右二味，治下筛，酒服方寸匕，血化为水。备急方云：治久宿血在诸骨节及外不去者，二味等分。

---

① 血：备急千金要方此下有“甚者吐血”四字。
② 术：备急千金要方作“木”。
③ 上：备急千金要方作“止”。
④ 又方：备急千金要方作“治瘀血汤方”。
⑤ 蒲黄散：备急千金要方无此三字。
⑥ 又方：备急千金要方作“蒲黄散方”。
⑦ 又方：备急千金要方作“腕折瘀血方”。

又方：　取庵蔺草汁饮之。子亦可服。

又方：　凡被打及产后恶血，及一切血，皆煮续骨木汁三升饮之。

治从高堕下崩中方：

当归　大黄各二分

右二味，治下筛，酒服方寸匕，日三。

治杖疮方：

石灰七[1]斤　新猪血一升[2]

右二味和为丸，熟烧之破，更丸，烧三遍止，为末傅上。

又方：　釜月下土为细末，以油和涂讫，卧羊皮上。

又方：　服小便良。

千金月令

凡伤损有三等，一曰坠损，二曰金疮，三曰举重损。

治多年伤损不差方：马坠亦同。

单纻布一尺　故蒲合一握三寸　大黄一两，切

右已上先净洗拭之，勿令甚乾，取纻布于盆中烧，焰绝即止，勿令作白灰，取蒲合烧，如上法，并研，绢罗之，即以河水一升煎大黄，取半升，下无灰酒一盏，煎一沸，去滓，下二灰，分再服。

又方：

右熬瓜子作末，温酒服之。

治举重伤损方：

藕节三七枚　石榴一枚　地黄一斤

右已上捣取汁，和酒服之。

海上仙方

骨头打碎

骨头打碎最艰难，寻破山鞋莫等闲，火里烧灰油和贴，管教哭脸变欢颜。

接　骨

丁巨大虾蟆，生研似泥搽，劈竹裹缚了，其骨自然瘥。

圣惠方

治从高堕下伤折诸方

治从高坠下，落马坠车，辗著腕损，骨碎筋伤，内损，恶血攻心闷绝，坐卧不安，宜先须按摩，排正筋骨后，宜服止痛散血蒲黄散方：

蒲黄一两　当归三分　桂心三分　延胡索一两　芎藭三分　赤芍药一两　庵蕳子三分　没药一两　附子一两，炮裂，去皮脐　栗子二[3]两，去壳，阴乾　川大黄一两，锉碎，微炒　芸薹子一两

右件药，捣细罗为散，每服以温酒调下二[4]钱，不计时候频服。

治从高堕损，车辗马坠，筋骨蹉跌，甚者大小肠不通，皆被瘀血，与卫气不和，致令不通，宜服葵根散方：

葵根一两　木通三分，锉　蘘麦二[5]分　甘草半两，炙微赤，锉　川大黄三分，锉碎，微炒　粗葱叶并根一两

右件药，捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候，温

1　七：备急千金要方作“六”。
2　升：备急千金要方作“斗”。
③　二：太平圣惠方作“一”。
④　二：太平圣惠方作“一”。
⑤　二：太平圣惠方作“三”。

温[1]调下滑石末一钱。

治从高堕下，落马车辗，一切伤折，理血止痛，附子方散[2]：

附子一两，炮裂，去皮脐　没药一两　蒲黄一两　当归一两　芎藭一两　姜黄一两　赤芍药一两

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

治从高坠损，骨折筋伤，宜服接骨草散方：

接骨草二两　紫葛根一两，锉　石斛一两，去根，锉　巴戟二两　丁香一两　续断一两　阿魏一两，面裹，煨面熟为度

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

治从高坠损，恶血在骨节间，疼痛，宜服此方：

荆芥二两　芸薹子一两　川芒消一两　藕节二两，阴乾　马齿苋二两，阴乾

右件药，捣细罗为散，每服用苏枋木半两，以酒一大盏，煎至五分，不计时候，调下二钱。

治从高堕下，伤损疼痛，乾地黄散方：

生乾地黄一两　当归一两，锉，微炒　附子一两，炮裂，去皮脐　川大黄半两　续断半两　桂心一两　琥珀半两　枳壳半两，麸炒微黄，去穰　桃仁一两，汤浸，去皮尖双仁，微炒

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下一钱。

治从高堕下，车马诸伤，腕折疼痛不可忍，芎藭散方：

芎藭一两　延胡索一两　桃仁一两，汤[3]去皮尖双仁，微炒　泽兰半两　虎胫骨二[4]两，涂酥炙令黄　肉桂二两，去粗皮　当归二两，锉，微炒　生乾地黄一两　附子一两，炮裂，去皮脐

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

治从高堕下，伤损筋骨，打破皮肉疼痛，没药散方：

没药一两　当归一两，锉，微炒　骐驎竭一两　蒲黄一两　牡丹一两　骨碎补一两　橘仁一两，微炒

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

治从高堕下伤损，腹中血瘀滞疼痛，宜服桃仁散方：

桃仁半两，汤浸，去皮尖，生研令细　当归一分，捣末　牵牛子半两，生，捣末　琥珀末一分　麝粉一分

右件药，都研令匀，分为三服，生地黄二两，生姜一两，切细，炒令紫色，入小便一小盏，酒一大盏，煎至一大盏，去滓，空心调下一服，当取下恶血，疼痛立定。

治从高堕下，大便下血不止方：

当归三分，锉，微炒　川大黄三分，锉碎，微炒

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

治堕落车马伤折诸方

治一切搕损，落马辗著伤折等，宜服接骨散恶血骨碎补散方：

骨碎补一两　蒲黄一两　木香半两　延胡索一两　当归半两，锉，微炒　桂心半两　芎藭半两　槟榔一两

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

治落马堕车，腕折骨碎，筋伤压损，疼痛不止，五骨散方：

鲮鲤项骨一两　猕猴项骨一两　虎项骨一两　黄犬项骨一两　野猫项骨一两　天雄半两，炮裂，去皮脐　肉苁蓉半两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙乾

右五味骨细锉，用酒醋各半升，浸一宿漉出，炙令黄色，候冷入二味药，同捣细罗为散，不计时候，用暖酒调下二钱。又将黄米半升作糊，入散药一[5]分，调令匀，涂贴骨折筋伤处，痛疼立止。

治一切搕损，落马车辗，失坠伤折疼痛，

---

① 温：太平圣惠方作“酒”。
② 方散：太平圣惠方作“散方”。
③ 汤：太平圣惠方此下有“浸”字。
④ 二：太平圣惠方作“一”。
⑤ 一：太平圣惠方作“八”。

虎骨散方：

虎胫骨二两，涂酥炙令黄　桂心一两　牛膝一两，去苗　庵茴子一两　续断一两　栗子二两，去壳，炒令黄　泽兰一两　郁李仁一两，汤浸去皮，微炒

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

治落马堕车诸伤，腕折，遍身痛疼，宜服当归散方：

当归一两，锉，微炒　附子半两，炮裂，去皮脐　桂心半两　泽兰半两　芎藭一两　槟榔一两　甘草半两，炙微赤，锉　川椒半两，去目及闭口者，微炒出汗

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

治坠落车马伤折，内损疼痛，赤芍药散方：

赤芍药一两　买子木三分　夜合花三[1]分　当归三分，锉，微炒　骨碎补三分　芎藭一两　桂心一两　质汗一两

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

治坠车落马伤损，筋骨疼痛，皮肉破裂，出血不止，牡蛎散方：

牡蛎一斤[2]，以湿纸裹后，却以泥更裹，候乾，用大火烧通赤　白矾三两，烧令汁尽　黄丹三两　腻粉一两　雄黄一两，细研　雌黄半两，细研　麝香二钱，细研　骐驎竭一两

右件药，都细研为散，仍于烈日中摊晒半日，后入瓷瓶子中盛，如有随[3]损及骨折筋断，用生油稠调涂之；如已成疮，乾傅之立效。

治堕落车马，筋骨疼痛不止，没药鸡子酒方：

没药半两，研末　生鸡子三枚　细酒一升

右先将鸡子开破，取白去黄，盛碗内，入没药，以酒暖令热，投于碗中令匀，不计时候温服。

又方：卫生易简方治堕落车马，折伤筋骨，疼痛。

延胡索一两

右件药，捣细罗为散，不计时候，以豆淋酒调下二钱。瑣碎录同。

治腕折破骨伤筋诸方

治坠车落马，腕折筋伤骨碎，瘀肿疼痛，黄耆散方：

黄耆三两，锉　赤芍药三两　川椒一两，去目及闭口者，微炒去汗　乾姜一两，炮裂，锉　川大黄一两，锉碎，微炒　当归二两，锉，微炒　续断二两　川乌头半两，泡裂，去皮脐　附子三[4]两，炮裂，去皮脐　桂心二两　熟干地黄二两　木通二两，锉

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

治腕折骨碎筋伤，宜服接骨补筋腽肭脐散方：

腽肭脐一两，酒刷，炙微黄　熟乾地黄一两　芸薹子一两　桂心半两　桑根白皮半[5]两，锉　没药一两　当归一两，锉，微炒

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

治腕折，筋骨疼痛，延胡索散方：

延胡索一两　橘子仁一两　蒲黄一两　虎胫骨一两，涂酥炙令黄　芸薹子一两　桂心半两　牵牛子三分，一半微炒，一半生用　当归一两，锉，微炒

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

治腕折，筋骨伤损疼痛，桂附散方：

桂心一两　附子一两，炮裂，去皮脐　白僵蚕一两，微炒　蒲黄一两　茅根一两，锉　古铜末一两　当归一两，锉，微炒

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

治腕折伤损，落马坠车蹉跌，筋骨俱碎，黯肿疼痛，烦闷，宜服补筋骨，益精髓，通血脉，止疼痛，沉香丸方：

沉香一两　肉苁蓉一两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙乾

---

① 三：太平圣惠方作“一”。
② 斤：太平圣惠方作“两”。
③ 随：太平圣惠方作“坠”。
④ 三：太平圣惠方作“二”。
⑤ 半：太平圣惠方作“一”。

牛膝一两，去苗 当归一两，锉，微炒 虎胫骨二两，涂酥炙令黄 栗子二两，去壳，炒黄 木香一两 骨碎补一两 附子一两，炮裂，去皮脐 腽肭脐一两，酒刷，微炙 甘草一分，炙微赤，锉 续断一两半 熟乾地黄一两 独活一两 白芷一两 刘寄奴一两 芎藭一两 黄耆一两[1]，□ 桃仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄 牡丹一两 败龟一两，涂醋炙微黄 川大黄一两，锉碎，微炒

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，不计时候，以温酒下三十丸。

治伤折腕损，及理血，补骨髓，琥珀丸方：

琥珀一两 鳖甲一两，涂醋炙令黄，去裙襕 牛膝三分，去苗 白芍药三两[2] 白蒺藜三分，微炒，去刺 当归一两，锉，微炒 黄耆一两，锉 附子三分，炮裂，去皮脐 桂心三分 庵茼子三分 鹿茸三分，去毛，涂酥炙微黄 川大黄三分，锉碎，微炒

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，不计时候，以温酒下三十丸。

治腕折伤筋损骨，疼痛不可忍，宜用接骨膏方：

猕猴项骨二两 水獭骨二[3]两 猫儿项骨二两 龟壳二两

右件诸骨等都细捣，入瓶子内，不得透气，烧为灰，碾为末，入腽肭脐末半两，每月二钱，以小黄米粥相和，摊在油单子上，裹伤折处，三日一效[4]。

曾有人伤折，宜用生龟。寻捕得一龟，未用之间，患人忽然睡梦见龟告言曰：勿相害，吾有奇方可疗，于梦中龟授此方：

生地黄一斤，切 藏瓜姜糟一斤 生姜四两，切

右件药，都炒令匀热，以布裹罨伤折处，冷即易之，极妙也。得效方肿重加赤小豆半升。 永类钤方伤筋闪骨痛楚，寻生龟，取甲入损药，梦龟授方，用生地黄一斤，藏姜瓜旧糟一斤，生姜四两，经验良方六两。赤小豆半斤，良方半升。研烂，同炒令热，以帛裹罨伤处，夹缚，良方用杉板夹缚。不过三日安。

治伤折骨碎，割刺皮肉，有疮口出血不止方：

茅根灰三两 牛皮胶灰二两 麻糁灰二两

右件药，细研为末，傅疮口上，止血甚效。

又方：

乾蝙蝠三枚，烧灰 代赭一两，烧令紫色 头发三两，烧灰 红蓝花一两，入盐一分，炒令黄 猬皮一两半，烧灰

右件药，捣细罗为散，傅疮口上，其血立止为效。

治腕折，四肢骨碎筋伤，蹉跌疼痛方：

豉三升

右以水五升，渍豉一宿，取汁，温服一中盏，日三服效。 琐碎录同。

又方：

右以鹿角不限多少，用桑柴灰汁煮令微软，漉出曝乾，捣罗为散，每服以暖酒调下二钱，日三服。

治腕折，四肢骨碎及筋伤，蹉跌疼痛方：

右以生地黄不限多少，熟捣，用醋熬令热，乘热摊于所伤处上，以帛系定，每日换之。

治压笮坠堕内损诸方

治被重物压笮，伤筋骨，疼痛，瘀血不散，没药散方：

没药二两 虎胫骨二两，涂酥炙黄 当归二两，锉，微炒 延胡索二两 补胫脂一两 白芷一两 生乾地黄一两，微炒 川大黄一两，锉，微炒 蒲黄一两，微炒 独头栗子黄一两，乾者

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

治被压笮损，瘀血在腹中，疠痛不出，心胸短气，大小便不利，宜服此方：

荆芥半两 川大黄一两，锉碎，微炒 芎藭

① 两：此下脱字，太平圣惠方作“锉”。
② 两：太平圣惠方作“分”。
③ 二：太平圣惠方作“一”。
④ 效：太平圣惠方作“易”。

一两　当归一两，锉、微炒　蒲黄二两　心桂[1]一两　木通一两，锉　桃仁四十枚，去皮尖双仁，微炒

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

治压笮伤损筋骨，或坠堕内损，瘀血攻心腹，胀满闷乱，下恶血，芸薹子散方：

芸薹子一分　川大黄半两，锉碎，微炒　没药一分　蒲黄一分　水蛭七枚，炒令微黄　臙粉一分　生地黄汁四合　生姜汁一合　酒二合

右件药，除汁药外，捣细罗为散，研入臙粉令匀，先将地黄、生姜等汁及酒同煎三二沸，调散药二钱，空心服之。当转下恶血，疼痛立定。

又方：

硇砂三分，研入　臙粉二钱，研入　虻虫七枚，去翅足，炒微黄　水蛭七枚，炒令微黄　乾漆半两，捣碎，炒令烟出　灶突墨半两

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

治刀刃所伤，内损大肠及两胁肋，并腹肚伤破，大便从疮口中出，并中大箭透射，伤损肠胃，及治产后伤损，小肠并尿囊破，小便出无节止，此方神验。饵至一服，其药直往损处，补定伤痕，隔日开疮口看之，只有宿旧物出，即无新恶物出。疮口内用长肉散子，作烬子引散药入疮里面，候长肉出外，其痕自合，宜服地榆绢煎方：

地榆八两，洗净，捣罗为末　绢一匹，小薄者

右件绢，用清水洗净绢糊，用炭灰淋清汁二斗煮绢，以灰汁尽为度，绢已烂熟，擘得成片，段五寸至三寸，即取出压尽灰汁，入于清水内洗三五度，令去灰力尽，重入锅内，以水二斗，入地榆末煎，煮熟烂，以手指捻看，不作绢片，取入砂盆研之如面糊得所，分为二服，用白粳米粥饮调，空心服之。服了仰卧，不得惊动、转侧、言语。忌一切毒食，只得食熟烂黄雌鸡、白米软饭，余物不可食之。其余一服，至来日空心，亦用粥饮调服。其将养一月内，切须慎护。如是产后所伤，服此药绢一匹，分作四服，每服用粥饮一中盏调服之，日二服。此方济命神验。

治从高坠下，及为木石所笮。凡是伤损，血瘀凝积，气欲绝者，皆治之方：

右取净土五升，蒸之令溜，经验良方、备预百要方令缁。分半，用故布裹，以熨伤损之上，勿令大热，恐熨破皮肉，冷则易之，取差乃止。凡有损伤，皆以此法治之，神效。气欲绝不能言者亦差。琐碎录同。

治一切伤折恶血不散诸方

治伤折，下瘀血，当归散方：

当归三分，锉、微炒　蒲黄半两　芸薹子半两　生姜汁一合　好酒五合　生地黄汁三合　臙粉一分

右件药，捣罗为末，先煎生姜地黄汁并酒等三二沸，然后都下药末，和调令匀，分为三服，每日空心服之。当转下腹内恶血了，便宜服补药。

治伤折，化瘀血为水，白马蹄散方：

白马蹄三两[2]，□令烟尽　栗子黄一两，阴乾　桂心三分　蒲黄一两　龟壳二两，涂酥炙微黄

右件药，捣细罗为散，每服以温酒调下二[3]，日三服。

接筋骨，通瘀血，止疼痛，槟榔散方：

槟榔一两　刘寄奴一两　桑寄生一两　熟乾地黄一两　赤芍药三分　当归三分，锉，微炒　龟壳一两，涂酥炙令微黄　桃仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒[4]黄

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

接骨化瘀血、琥珀散方：

琥珀[5]□两　生玳瑁一两　当归一两，锉，微炒　蒲黄一两　生乾地黄一两　京三棱一两，煨，锉

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

---

① 心桂：太平圣惠方作“桂心”。
② 两：此下脱字，太平圣惠方作“烧”。
③ 二：太平圣惠方此下有“钱”字。
④ 炒：太平圣惠方此下有“微”字。
⑤ 珀：此下注文脱字，太平圣惠方作“ ”。

治伤折内损，瘀血不散，骐骟竭散方：

骐骟竭一两　败蒲一两半，烧灰　牡丹一两　蒲黄一两　当归一两，锉，微炒　桂心一两　芎藭一两　赤芍药一两　没药一两　骨碎补一两

右件药，捣细罗为散，每服以温酒调下二钱，日三服。

治伤损，内有瘀血不散疼痛，令内消方：

生银一两，捣碎细研　雄黄一分，细研　婆娑石一分，细研

右件药，都研令细，不计时候，以温酒调下半钱。

治伤损，腹内、膈上、四肢瘀血不散，恶闻人声，气塞不通，蒲黄散方：

蒲黄一两　当归一两，锉，微炒　桂心一两　生乾地黄二两　续断一两　白芷一两　甘草半两，炙微赤，锉　藕节二两

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

治扑损筋骨，恶血不散，迷闷疼痛，小便血下，芍药散方：

赤芍药一两　当归一两①，□微炒　续断一两　白芷一两　生乾地黄一两　黄芩一两　甘草一两，炙微赤，锉　牛膝一两，去苗　蒲黄一两

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

接骨续筋，散瘀血，止疼痛，通神散方：

羊胫炭五两，烧令通赤，入醋醾，如上七遍　木香一两　没药一两　当归一两，锉，微炒　生乾地黄一两　刘寄奴一两　桂心一两　补骨脂一两，微炒　黑豆二合，炒熟　赤芍药一两　桑根白皮一两，锉　川大黄一两，锉，微炒　败龟一两，涂酥炙微黄

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

治大伤损后，化恶血，理好血，止疼痛，牛黄散方：

牛黄一分，细研　琥珀一两　真珠一分，细研　牡蛎一两，烧为粉　龙脑一分，细研　朱砂一两，细研，水飞过　麝香半两，细研　金薄五十片，细研　银薄五十片，细研　桂心一两　当归一两，锉，微炒　蒲黄一两

右件药，捣细罗为散，都研令匀，不计时候，以桃仁汤调下二钱。

治伤损后，腹中疼痛，瘀血不出，令人短气，大小便不通，荆芥饮子方：

荆芥一两　川大黄二两，锉碎，微炒　芎藭一两　蒲黄一两　当归一两，锉，微炒　桂心一两　甘草半两，炙微赤，锉　虻虫三十枚，去翅足，微炒　桃仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药，细锉和匀，分为十服，每服以水一大盏，煎至五分，去滓，每于食前温服，候下尽恶血为度。后便服补益丸散。

治伤折内损，瘀血不散，败蒲散方：

败蒲一两半，烧灰　牡丹一两　当归一两，锉，微炒　芎藭一两　赤芍药一两　豉心一合　蒲黄半两　生乾地黄一两　川朴消一两　陈橘皮半两，汤浸，去白瓤，焙　桃仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药，捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治从高堕下及落车马，胸腹中有恶血，喘息不得，桃仁散方：

桃仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄　蒲黄一两半　川大黄一两，锉碎，微炒　川消石一两　甘草一两，炙微赤，锉

右件药，捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，入枣二枚，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治伤损后，腹内有恶血不散，疠刺疼痛，大小便不通，桃仁散方：

桃仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄　川大黄一两半，锉碎，微炒　虻虫十枚，去翅足，微炒　水蛭十枚，炒令微黄　川朴消一两半　桂心一两　当归一两，锉，微炒　甘草半两，炙微赤，锉

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候温服，以利下恶物为效。

① 两：此下脱字，太平圣惠方作“锉”。

治伤损，瘀血不散疼痛方：

蒲黄四两　附子一两，炮裂，去皮脐

右件药，捣细罗为散，不计时候，以温酒调下二钱。

治车马坠扑伤损，恶血冲心迷闷，宜服下血蒲黄鲤鱼散方：

蒲黄三两　鲤鱼鳞五两，烧灰　芸薹子一两，末　生地黄汁五合

右件药，先将蒲黄、芸薹子于砂盆内，以慢火炒，旋滴地黄汁于内，炒令汁尽，以乾为度，并鱼鳞灰，一时研罗为散，不计时候，以童子热小便调下二钱。

治扑打坠损，恶血攻心，闷乱疼痛方：

水仙子不限多少，收阴乾，捣罗为末，此即新出水未展荷叶是也

右件药，每于食前，以童子热小便一小盏调下三钱，日三服，以利下恶物为效。

又方：

大乾荷叶五片　琐碎录、澹寮方、卫生易简方五斤

右件药，烧令烟尽，细研为末，每于食前，用童子热小便一小盏调下三钱，日三服，利下恶物为效。

治马坠，有瘀血聚于腹胃之中，不便服药，多有击血结成颗块冲心，夜合枝散方：

夜合枝一两，锉　杏枝一两，锉　赤芍药一两半　甜瓜子一两

右件药，捣粗罗为散，每服五钱，以水酒各半大盏，煎至五分，去滓温服，日三四服。

又方：

买子木一两　红雪一两半　东引桃枝二两，锉　当归一两，锉，微炒　赤芍药一两半　桃仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药，捣筛为散，每服四钱，以水一中盏，入生姜半分，煎至六分，去滓温服，日三四服。

治车马坠损，瘀血不散，攻刺疼痛方：

延胡索一两　肉桂半两，去皱皮　蒲黄一两

右件药，捣细罗为散，每服用竹沥半盏调下二钱，日三四服。

治从高坠损，心胸恶血不散，杉木节散方：

杉木节七两，细锉　苏枋木五两，细锉，以水一斗，煎取一升，去滓　醋五合，入于苏枋木汁内

右件药，将杉木于一砂盆内，以慢火炒，旋旋滴苏枋木醋汁相和，炒令汁尽，停冷，捣细罗为散，每服以童子热小便调下三钱，日三四服，化下恶血，醒醒神效。

治从高坠损，恶血攻心，胸膈烦闷，宜服松花①散方：

黄松木节五两，细锉

右用童子小便五合，醋五合，于砂盆内，以慢火炒，旋滴小便并醋，以尽为度，炒令乾，捣细罗为散，每服以童子热小便调下二钱，日三四服。

治②高坠所伤，心下瘀血，法炼红花散方：

红蓝花一十两，以好醋二升，浸二宿漉出，火焙令乾，又入醋内，又焙令乾，以醋尽为度

右件药，捣罗为末，每服用童子热小便调下三钱，日三服。兼治妇人月经不匀，产后诸疾，血晕闷绝，或狂语者，并与二服，便心胸爽利，开眼识人，神效。

治坠损，瘀血不散，肉色青黑方：

深掘灶中心，取好黄土三升于铛中，以水拌熬热，以青布裹于痛处熨之，冷即频易。

治骨折筋伤后，恶血攻筋骨，疼痛不止，白僵蚕丸方：

白僵蚕一两，微炒　当归一两，锉，微炒　桂心一两　补骨脂一两，微炒　神曲一两，炒令微黄　芎藭半两　薯蓣半两　半夏一两，汤洗七遍，去滑　槟榔一两　白附子半两，炮裂　赤芍药一两　芫花半两，醋拌炒令乾

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服以温酒下二十丸，日三服。

① 花：太平圣惠方作“节”。

② 治：太平圣惠方此下有“从”字。

治伤折，止疼痛，散瘀血，神曲丸方：

神曲三两，捣碎，以醋少许拌炒微黄　肉苁蓉一两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙乾　虎胫骨二两，涂酥炙微黄　海桐皮一两，锉　白僵蚕二两，微炒　芎藭一两　半夏一两，汤洗七遍，去滑　红蓝花一两

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服以温酒下三十丸，日三服。

治诸伤折，腕损蹉跌，筋骨疼痛，散瘀血，泽兰丸方：

泽兰三[1]两　赤芍药一两　当归一两，锉，微炒　白芷一两　蒲黄二两　芎藭一两　细辛一两　延胡索一两　牛膝一两[2]，□□　天雄一两，炮裂，去皮脐　桃仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄　桂心一两　川大黄半两，锉碎，微炒　生乾地黄一两　续断一两　皂荚一两，去皮，涂酥炙令焦黄，去子，别捣罗为末

右件药，捣罗为末，用酒醋各一升，先将皂荚末煎成膏，入前药末和丸，如梧桐子大，不计时候，以温酒下二[3]十丸。

治伤折疼痛诸方

治伤折疼痛，青肿滞血，宜服当归散方：

当归一两，锉，微炒　桂心一两　败蒲二两，烧灰　没药一两半　赤芍药一两　骨碎补一两半　桃仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄　川大黄一两，锉碎，微炒

右件药，捣细罗为散，每服以温酒调下二钱，日三四服。

治伤损筋骨，疼痛不可忍，宜服止痛骐骥竭散方：

骐骥竭一两　没药一两　当归一两，锉，微炒　白芷二两　赤芍药一两　桂心一两

右件药，捣细罗为散，每服以温酒调下二钱，日三四服。

治伤折疼痛，接骨散方：

栗黄一斤，晒乾　雄黑豆半斤，炒[4]　桑根白皮一斤，锉　没药二两　麝香半两，细研

右件药，捣细罗为散，每服三钱，以醋一中盏，煎至半盏，用浆水二合解服，不过三服，疼痛立止。

治伤折疼痛，接骨止痛桃仁散方：

桃仁一两，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄　桂心一两　当归一两，锉，微炒　延胡索一两　川大黄二[5]两，锉碎，微炒　阿胶二两，捣碎，炒令黄燥　乱发如鸭子大　生乾地黄一两　芎藭一两　川椒半两，去目及闭口者，微炒去汗

右件药，捣罗为末，用酒二升，先煎发并阿胶如糖，用绵滤去滓，然后下诸药末，调令匀，焙乾，捣细罗为散，每服以温酒调下二钱，日三四服。

治一切伤折，疼痛不可忍，附子散方：

附子一两，炮裂，去皮脐　败龟二两，涂醋炙微黄　虎胫骨二两，涂酥炙微黄　当归一两，锉，微炒　芎藭一两　桂心一两　没药一两　泽兰一两　乱发灰一两　甘草半两，炙微赤，锉　麝香一分，细研　槟榔一两

右件药，捣细罗为散，入麝香研令匀，不计时候，以温酒调下二钱。

治伤折，辟外风，止疼痛，海桐皮散方：

海桐皮一两，锉　防风一[6]两，去芦头　黑豆一两，炒[7]　附子一两，炮裂，去皮脐

右件药，捣细罗为散，每服以温酒调下二钱，日三四服。

治伤折，疼痛不可忍，喝蛇龟酒方：

欽蛇龟一枚　糯米五升，蒸作酿饭　好酒二斗

右细锉龟，酿饭，同入酒瓮中，牢封一七日后，即每暖一中盏服之，日可三五服。

治伤折疼痛，筋骨未合，肌肉未生，宜服延胡索散方：

延胡索一两半　桂心一两半　没药一两半　黄耆一两半，锉　当归一两，锉，微炒　白蔹一两　桑寄生一两　熟乾地黄一两半

右件药，捣粗罗为散，每服四钱，以水

---

① 三：太平圣惠方作“二”。
② 两：此下脱字，太平圣惠方作“去苗”。
③ 二：太平圣惠方作“三”。
④ 炒：太平圣惠方此下有“熟”字。
⑤ 二：太平圣惠方作“一”。
⑥ 一：太平圣惠方作“二”。
⑦ 炒：太平圣惠方此下有“熟”字。

一中盏，煎至五分，去滓温服，日三四服。

治伤折疼痛，不可忍痛方：

当归一两半　白芷一两　桂心一两　吴茱萸一两

右件药，捣细罗为散，锉生龟一枚，入散，捣令匀，用封裹伤折处。

治伤折，筋骨疼痛，内固接骨丹方：

古子[1]钱二两，先于火内烧令通赤，醋内焠，如此十度自然铜一两　硫黄一两

已上三味，都捣罗为末，后入告车瓶子内，以坯子泥封瓶口，候乾，倒下瓶子，蔟火烧令通赤，候冷取出，捣罗，入水银一两同研，水银星尽后，使白簿纸裹药似球子，后用盐一斤，入臼内，滴水烂捣裹药球，候乾，入糠火内烧七日，冷了出之，细研，后入：

朱砂末一分　麝香末一分　犀角末一分

右都研令匀，取生地黄研绞取汁，于银器中熬为膏，和前药末，丸如酸枣大。如有患者，以温酒半盏，入地黄膏一钱，搅匀，下药一粒，服了，如吐清绿水，或泻清绿水三二合，勿怪，是病出也。更宜频服，好差为度。

治伤折筋骨后，疼痛不止，宜服散瘀血，理新血，续筋骨，止疼痛，地黄金粉煎方：

生地黄三斤，净洗令乾，却入酒内浸二复时，取出纸袋盛，火焙令乾，为粉　天雄二两，炮裂，去皮脐　桂心一两　当归一两　芎藭一两　桃仁一两，汤浸，去皮尖双仁，微炒

右件药，捣罗为末，入金粉内和令匀，用酒一斗，以文火煎成稠煎，每日空心，午前夜卧时，各以温酒调下一匙头。

治伤折处疼痛方：寿域神方治闪挫。

右以麸神方用炒麦麸。和醋蒸过，裹所伤之处，痛立止。卫生易简方同。

治马坠诸方

治马坠车辗，腕折呼叫疼痛，声音不绝，宜服骨碎补散方：

骨碎补一两　当归一两半，锉，微炒　牡丹一两　虎胫骨一两，涂酥炙令黄　白芷一两　芎藭一两　赤芍药一两　败蒲一两，烧灰

右件药，捣细罗为散，每服以暖酒调下一钱，日四五服。

治马坠伤折，止痛，败龟散方：

败龟一两，涂醋炙令黄　虎胫骨一两，涂酥炙令黄　当归一两[2]，锉，微炒　牡丹一两　赤芍药一两　熟乾地黄一两　桂心一两　续断一两

右件药，捣细罗为散，每服以温酒调下二钱，日三四服。

治马坠伤损，止痛，虎骨散方：

虎胫骨二[3]两，涂酥炙微黄　败龟一[4]两，涂醋炙微黄　当归[5]□□□□　阳起石一两，酒煮半日，细研　姜黄一两　骨碎补一两　自然铜一两，细研　赤芍药一两　甜瓜子一两　没药一两

右件药，捣细罗为散，每服以暖酒调下二钱，日三四服。

治马坠损伤，神异立效方：

桃仁四十九枚，汤浸，去皮尖双仁，烂研　川大黄一两，锉碎，微炒　败蒲一握，烧灰　麻髑带一握，烧灰　乱发一鸡子大，烧灰

右件药，捣筛，以无灰酒三大盏，煎至一盏，去滓，分为二服，食前服之。

治马坠扑损，内有败血，疠刺疼痛不可忍者，没药散方：

没药末　骐驎竭末　黄丹微炒　白矾烧灰。已上各一分

右件药，都研为散，不计时候，以温酒调下一钱。

治马坠伤损，筋骨疼痛，内有瘀血，腹中疠刺不可忍，败蒲散方：

败蒲一握，细锉　旧麻髑带一握，细锉　乱发一鸡子大，烧灰　当归一两，锉，微炒　赤芍药半两　桂心半两　桃仁四十九枚，汤浸，去皮尖双仁，微炒

---

① 子：太平圣惠方作“字”。
② 两：太平圣惠方此下有“半”字。
③ 二：太平圣惠方作“三”。
④ 一：太平圣惠方作“二”。
⑤ 归：此下注文脱字，太平圣惠方作“一两、锉，微炒”。

右件药，捣筛为散，每服四钱，以[1]□□□盏，酒一小盏，煎至一盏，去滓，不[2]□□□热服。

治马坠伤损，腰肋疼痛不可忍[3]：

益州麻布一尺，烧灰，细研　蒲索一握，烧灰，细研。此索船[4]涩索，如无，即以蒲黄代之　川大黄三两，细切如大豆

右件药，先以酒一大盏半，浸大黄一宿，煎三五沸，去滓，入前药灰搅匀，徼[5]温分为二服，加[6]人行三二里再服，当利出恶血片为效。

治被马坠损，肿疼痛不可忍方：

羊脑一合　龟甲一两半，屑　生地黄二[7]两，切

右件药，以酒醋和捣如泥，微热裹损处，冷即易之。

又方：

桑根白皮一升[8]，细锉

右件药，以水三大盏，酒一大盏，煎取一盏，去滓，以故乌毡可损处大小，揞药汁裹，冷即易之。十遍痛止肿消。

又方：

右取好土和醋蒸令热，封裹损处，斯须疼痛立止。琐碎录同。

治马坠崩血，腹满短气方：

黑豆二合，炒熟，捣碎

右以水一大盏，煎取五分，去滓，不计时候温服。

治马坠拗损方：

桑根白皮五斤，锉

右件药，捣罗为末，以水一斗，煎成膏，涂于损处，立便不痛。已后亦无宿血，终不发动也。备预百要方同。

治落马后，心胸有积血，唾吐不止方：

乾藕节五两

右件药，捣细罗为散，每服以温酒调下三钱，日三四服。　备预百要方乾藕末，酒服方寸匕，日三。

治马坠，杏枝酒方：

东引杏枝不限多少

右件药，细锉，每服半两，以酒一大盏，煎至五分，去滓，每于食前温服。

治一切伤折烦闷诸方

治骨折筋伤，恶血攻心烦闷，蒲黄散方：

蒲黄三分　芎藭半两　当归半两，锉，微炒　桂心半两　白芷一分　细辛一分

右件药，捣细罗为散，每服以生姜酒调下二钱，日三四服。

治伤折，瘀血在内，烦闷刺痛，荆芥散方：

荆芥一握　淡竹茹一鸡子大　当归一两，锉，微炒　地黄汁一合

右件药，以水一大盏半，煎至七分，去滓，下地黄汁，分为二服，常于食前服之。

治因伤折后，惊悸，心神烦闷，宜服定魂魄镇心丸方：

虎睛一对，用生羊血浸一宿，漉出阴乾　金箔五十片，细研　银箔五十片，细研　朱砂一[9]两，细研，水飞过　茯神半两　羚羊角屑一两　远志半两，去心　人参半两，去芦头　麦门冬一两，去心，焙　蒲黄一两

右件药，捣罗为末，用枣肉，入炼蜜，同和捣三五百杵，丸如梧桐子大，每于食后并夜卧时，以茯神汤下三十丸。

治堕损吐唾血出诸方

治从高堕下，犯伤五藏，微者唾血，甚者吐血，兼金疮伤肉者，宜服阿胶散方：

阿胶二两，捣碎，炒令黄燥　熟乾地黄一两　赤芍药一两　乾姜半两，炮裂，锉　当归一两，锉，微炒　芎藭一两　艾叶一两，微炒　甘草半两，炙微赤，锉

---

① 以：此下脱字，太平圣惠方作“水一小”。
② 不：此下脱字，太平圣惠方作“计时候”。
③ 忍：太平圣惠方此下有“方”字。
④ 船：太平圣惠方此下有“家名”二字。
⑤ 徼：太平圣惠方作“微”。
⑥ 加：太平圣惠方作“如”。
⑦ 二：太平圣惠方作“三”。
⑧ 升：太平圣惠方作“斤”。
⑨ 一：太平圣惠方作“二”。

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至五分，去滓温服，日三四服。

治坠损伤内，或时唾血，心烦疼痛，宜服此方：

蒲黄一两　生地黄四两

右件生地黄，入童子小便三合，烂研绞取汁于银器中，入蒲黄相和，慢火煎一二沸，分为三服，常于食前服之。

治从高堕下，伤于五藏，微者唾血，甚者吐血，及金疮伤经，血出不止，宜服艾叶散方：

艾叶二①分，炒　白芍药三分　熟乾地黄一两　乾姜半两，炮裂，锉　阿胶一两，捣碎，炒令黄燥　甘草一分，炙微赤，锉

右件药，捣粗罗为散，每服五钱，以水一大盏，入竹茹一分，煎至五分，去滓温服，日三四服。

治从高坠下，伤折腕损，内伤五藏，微者唾血，甚者吐血，宜服阿胶丸方：

阿胶二两，捣碎，炒令黄燥　肉苁蓉一两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙乾　艾叶一两半，微炒　川椒一两，去目及闭口者，微炒去汗　白芍药一两　当归一两，锉，微炒　芎藭一两　延胡索一两　熟乾地黄一两　桂心②□两　川大黄一两，锉碎，微炒　牛膝一两，去苗　牡丹一两　附子一两，炮裂，去皮脐　黄耆一两，锉

右件药，捣罗为末，先用酒一升，煎三五沸，将一半药末入酒内，调如面糊，以慢火煎令稠，入余上药末，和捣三二百杵，丸如梧桐子大，每服以豆淋酒下三十丸，日三四服。

治被打损伤腹中有瘀血诸方

治打损瘀血在藏，攻心烦闷，牡丹散方：

牡丹一两半　庵茼子一两半　桂心一两　当归一两，锉，微炒　鬼箭羽一两　益州麻布一尺，烧灰　败蒲一两，烧灰　赤芍药一两　蒲黄半两　川大黄三两，锉碎，微炒

右件药，捣筛为散，每服五钱，以酒一大盏，煎至五分，入芒消一分，搅令匀，空心温服，如人行三二里再服。可三服，当利出瘀积宿血，出尽永差。

又方：

桃仁一两，汤③去皮尖双仁　桂心一两　庵茼子一两　川大黄二④两，锉碎，微炒　荷叶蒂三七枚

右件药，捣筛为散，每服五钱，以水一大盏，煎至五分，入芒消一分，搅令匀，空腹分为二服，以利下恶血为度。

治打伤内损，腹中有瘀血，疼痛烦闷，宜服此方：

蒲黄二两　当归一两，锉，微炒　桂心一两

右件药，捣细罗为散，每服以温酒调下二钱，日三四服。

又方：

刘寄奴一两　延胡索一两　骨碎补一两

右件药，都捣粗罗为散，分为五服，每服以水一小盏，童子小便一小盏，同煎至一盏，去滓，每于食前温服。

治打损及伤堕，腹内有瘀血，蠹虫散方：

蠹虫三十枚，微炒　虻虫十枚，去翅足，微炒　水蛭十枚，微炒　桂心半两　桃仁五十枚，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄　川大黄一两，锉碎，微炒

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以酒水各半中盏，煎至六分，去滓，每于食前温服。

又方：

虻虫一分，微炒　牡丹一两　生乾地黄一两

右件药，捣细罗为散，每于食前，以暖酒调下一⑤钱。

又方：

生地黄汁三合　川大黄一分，锉碎，微炒，捣罗为末

右件药，入酒三合相和，微暖顿服之。每日空心一服，不过三日，即下恶血。

治打损，聚血腹中不散，烦闷方：

---

① 二：太平圣惠方作“三”。
② 心：此下注文脱字，太平圣惠方作“一”。
③ 汤：太平圣惠方此下有“浸”字。
④ 二：太平圣惠方作“一”。
⑤ 一：太平圣惠方作“二”。

豉 三合　青竹茹 一两

右件药，分为二服，每服以水一大盏，煎至五分，去滓温服，日三四服。

治伤损，散瘀血，大黄散方：

川大黄 半两，锉碎，微炒　桃仁 一分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄　乱发 如一鸡子大，用四寸布裹，同烧为灰

右件药，捣细罗为散，每服以温酒调下二钱，日三四服。

又方：

川大黄 一两，锉碎，微炒　桂心 三分　桃仁 三分，汤浸，去皮尖双仁，麸炒微黄

右件药，捣细罗为散，每服以温酒调下二钱，日三四服。

治被损，瘀血不散方：

右用生地黄汁一中盏，酒半盏相和，煎三五沸，食前温服。

治因打损，腹中瘀血不散方：

白马蹄 炒令烟尽

右捣细罗为散，每服以温酒调下二钱，日三四服。备预百要方日三夜一。　卫生易简方治被打腹中瘀血，用白马蹄烧灰为末，酒服方寸匕，日三夜一。亦治妇人血病。凡食马肉，忌生姜、苍耳。孕妇忌食马、驴、骡肉。

又方：

庵茼子 二两

右件药，捣细罗为散，每服以热酒调下二钱，日三四服。

又方：

右用大麻根和叶，捣取汁，每服三合。

治打扑损诸方

治扑打损，神验膏方：

头醋 一斗　不蚵皂荚 十挺，去皮子　芫花 二两　白矾 一两

右件药，捶皂荚令熟，并芫花同于净锅内，入醋煎三分去二，以新绢绞去滓，洗锅净，却入汁，次入白矾，煎如饧，于瓷合内贮之。凡有损处，以好纸上摊令匀贴，日一，换之三二上差。

治打扑损疮，多时不差，黑狗头骨散方：

黑狗头骨 一两，炙令微黄　天灵盖 一两，涂酥炙令黄　生牛皮 一两，烧灰　天南星 一两，炮裂

右件药，捣细罗为散，每服以温酒调下二钱，日三四服。

治打扑损伤后，止疼痛，补虚损，石斛丸方：

石斛 一两，去根　牛膝 一两，去苗　狗脊 三分，去毛　杜仲 一两，去皱皮，炙微黄，锉　肉苁蓉 一两，酒浸一宿，刮去皱皮，炙乾　鹿茸 半两，去毛，涂酥炙微黄　附子 一两，炮裂，去皮脐　桂心 一两　萆薢 三分，锉　羌活 三分　木香 一两　牡丹 一两　人参 三分，去芦头　黄耆 一两半[1]　山茱萸 三分　防风 半两，去芦头　芎藭 半两　槟榔 一两半　熟乾地黄 一两

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣五七百杵，丸如梧桐子大，每服以温酒下三十丸，日三服。

治打扑，头破脑出，中风口噤方：

右用大豆二升，熬去腥，勿使太熟，捣末，蒸之气遍，合甑下，于盆中以酒一斗淋之，每服暖一中盏，拗口灌之，如人行三二里再服，以效为度。

治打扑伤损疼痛方：

甜瓜子 二合　橘子仁 二合

右都微炒，捣细罗为散，每服以暖酒调下二钱，日三服。

治被打，头面青肿方：

右炙肥猪肉，热拓于上，立差。琐碎录同。寿域神方被打伤，眼目青肿，用肥猪肉一片，铺上青处，明早即消。

又方：

右用新羊肉封之。

治打搕损，疼痛不可忍方：

右用夜合花捣罗为末，每服以暖酒调下二钱，日三四服。

治一切伤损止痛生肌诸方

凡因伤折落马，车辗压损，一切伤，皮

① 半：太平圣惠方作“锉”。

破肉作疮者，宜用止痛定脓生肌，骐驎竭散方：

骐驎竭一两　生人牙齿半两　密陀僧半两

右件药，捣罗为末，以鹅毛拂于疮口内，却用膏药贴之，不得经著风水。

乾疮止痛长肉，黑神散方：

乱发二团、如鸡子大，烧令烟尽　露蜂房三分，烧令烟尽　腻粉一分　突厥白三分、为末　腊月猪脂一两

右件药，细研令熟，用猪脂和令匀，以柳木篦子涂于疮上，立效。

乾疮止痛生肌长肉及金疮，止血散方：

风化石灰十两，细研，用小便浸三日三夜后漉出，晒乾为末　骐驎竭三两，为末，炒令紫色　鸡子十枚，取白，和风化灰为三团，入炭火内烧令红色，取出于地上出火毒一宿

右件药，都细研为末，旋旋掺于疮上，神效矣。

长肉止痛生肌，槟榔散方：

槟榔一两　黄连一两，去须　木香一两

右件药，捣细罗为散，薄贴于疮上，止痛，乾疮神效。

乾疮长肉止痛，紫藤香散方：

紫藤香二两　马齿苋十两，阴乾　薯蓣二两　黄丹二两，以猪脑髓和为丸，以火断令通赤，地上出火毒一宿

右件药，捣细罗为散。凡有伤损，疮痕久不较[1]者，傅之即乾。

治伤折疼痛，去腹藏内伤损，毒气不散，止痛生肌，黄耆散方：

黄耆一两，锉　赤芍药一两　熟乾地黄一两　乾姜一分，炮裂，锉　附子半两，炮裂，去皮脐　续断半两　桂心一两　当归一两，锉，微炒　木通半两，锉

右件药，捣细罗为散，每服以温酒调下二钱，日三四服。

治从高坠损，有疮口，止痛，乾疮长肉散方：

黄连一两，去须　槟榔一两　木香一两　骐驎竭半两　密陀僧一两，细研

右件药，捣细罗为散，于疮口上薄傅之，立效。

又方：

石灰三两　盐一两半　铜青一两半

右件药，都捣细，入沙瓶内，以泥固济瓶四畔，候乾，以十斤炭火煅半日取出，埋地内三日，出火毒后，捣罗为末，傅疮，生肉乾疮口，立效。

治一切伤折淋熨诸方

治从高失坠及一切伤折，筋伤骨碎，瘀血结痛，淋炸[2]顽荆散方：

顽荆三两　御药院方、得效方顽荆叶　蔓荆子二两　白芷二两　细辛二两　防风二两，去芦头　桂心二两　芎藭二两　丁香皮二两　羌活二两

右件药，捣筛为散，每度用药三两，盐半匙，葱白连根七茎，用浆水一斗，煎十余沸，去滓，通手淋炸[3]痛处，冷即再换。淋炸[4]了，宜避风，暖盖。　院方右件为末，每度用药二两，得效方一两。盐半匙，葱白连根五茎，用浆水五升，煎五七沸，去滓，通手淋渫痛处，冷即再换。淋渫了，宜避风，医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类钤方与得效方同。暖盖。量病大小，临时加减用药。

又方：

黑豆二升[5]　乳香三两　白矾三两　接骨草五两　桑根白皮三两，锉

右件药，捣罗为末，每用浆水一斗，药末三两，煎五七沸，去滓，通手淋炸[6]患处，冷即换之。

治伤折，腕损蹉跌，筋骨俱伤，黯肿疼痛，无疮口，宜用熨药方：

生地黄一斤，细切　生姜半斤，细研[7]　艾叶三两　芫花五两　川椒三两，去目　松脂五两

右件药，捣筛，入前二味搅和令匀，分

---

① 较：太平圣惠方作“差”。
② 炸：太平圣惠方作“熨”。
③ 炸：太平圣惠方作“熨”。
④ 炸：太平圣惠方作“熨”。
⑤ 升：太平圣惠方作“斤”。
⑥ 炸：太平圣惠方作“熨”。
⑦ 研：太平圣惠方作“切”。

为三分，用醋三合，于锅内炒令热，用熟布裹熨痛处，冷即再炒熨之。

又方：

生姜一斤　芫花五两　白芷三两　桑根白皮三两　故乌毡一尺　盐五两

右件药，都细锉，用醋一升，炒令热，以绢裹熨痛处，冷即再炒，熨之三二十度。

治伤折车辗，落马蹉跌，筋脉俱伤，疼痛不可忍，先用通和血脉，止痛淋渫[1]当归汤方：

当归二两　顽荆二两　藁本二两　蔓荆子二两　白芷二两　芎藭一两　丁香皮一两

右件药，捣筛为散，每度用药三两，入盐半匙，葱白一握，浆水一斗，煎十余沸，渐添淋炸[2]痛处，日二用之。

治伤折筋骨疼痛，淋炸[3]桂附散方：

桂心一两　附子一两，去皮脐，生用　白矾二两　细辛一两　白芷一两　五加皮二两　桑叶二两

右件药，捣筛为散；每度用药三两，入葱连根十茎，以水一斗，煎十余沸，渐添淋炸[4]，立效。

治伤折后，或人脚膝腰胯被冷风攻击疼痛，行李不得，淋炸[5]虎骨汤方：

虎胫骨二两　松木节十两　樟木节十两　川椒一两，去目　桑根白皮二两，锉　五加皮二两　白矾二两

右件药，捣筛为散，每度用药三两，以水一斗，煎十余沸，渐渐用淋炸[6]痛处，立效。

治伤折疼痛，淋炸[7]芎藭汤方：

芎藭一两　泽兰二两　甘草二两　川椒一两，去目　当归一两　吴茱萸一两　桑根白皮二两，锉　松脂三两　黑豆一升，捣碎，入松脂内微炒令香

右件药，捣筛为散，每度用药三两，以水一斗，煎十余沸，淋炸[8]痛处，立效。

治伤折，瘀血不散，芫花熨药方：

芫花三两　生地黄二斤　牛膝二两，去苗　生姜四两　桑根白皮三两　艾叶二两　川椒一[9]两，去目　白芷二两　当归一两　蚕沙三两

右件药，都细锉，以醋拌炒热，用青布裹熨之，立效。

治伤折，腕损蹉跌，筋伤骨碎，黯肿疼痛，筋脉急肿，展缩俱难，坐卧不得，宜用熨方：

生地黄二斤，切研　川椒一两，去目，捣末　生姜半斤，细切　白矾二[10]两，捣末　乳香二两，捣末　蚕沙五两　芫花二两

右件药，相和于铛中，用醋拌炒令热，以青布裹熨痛上并四向筋急肿痛处，冷即重炒熨之，熨后便用接骨止痛膏封贴。如是伤折骨碎，即先须依法度排正碎骨及蹉跌归源，后用绵裹柳木篦系缚来[11]正，便服补益丸散，神效。

治伤折，法炼黑豆熨药方：

生黑豆三升，用醋二升浸一宿　葱并根二十茎，细切

右件药，用青布裹，分作二裹，入汤内煮，乘热替换熨痛处，立效。

治一切伤折疼痛贴熻诸方

凡一切伤折，并腕跌骨碎压肿，晓夜疼痛不可忍，宜用应验涂贴猢狲骨熻膏方：

猢狲骨二两　穿山甲骨二两　狗食系骨二两　腽肭脐三[12]两　虎胫骨二两　野狸骨二两　水獭骨二两　猫儿食系骨二两

右件诸骨等，粗捣，以米醋拌，入瓶子，以泥密封头，令乾，以大火烧令稍熟为度，候冷取出，捣罗为末，瓷器中密盛。每用时，先以醋煮黄米粥，看损折痛处大小，入药末

① 渫：太平圣惠方作“熨”。
② 炸：太平圣惠方作“熨”。
③ 炸：太平圣惠方作“熨”。
④ 炸：太平圣惠方作“熨”。
⑤ 炸：太平圣惠方作“熨”。
⑥ 炸：太平圣惠方作“熨”。
⑦ 炸：太平圣惠方作“熨”。
⑧ 炸：太平圣惠方作“熨”。
⑨ 一：太平圣惠方作“二”。
⑩ 二：太平圣惠方作“一”。
⑪ 来：太平圣惠方作“夹”。
⑫ 三：太平圣惠方作“二”。

半钱，调令匀，摊于油单子上裹之，上面以绵裹系缚。重者不过三度验。其伤折处骨，先依法度排正，后即封裹。如贴药时疼痛，先用温酒调药末半钱服之，药入口，其痛处立定，热如火燔神效矣。

治伤折接骨，穿山甲骨贴熁膏方：

穿山甲骨三两，涂醋炙令黄　桂心一两　当归一两　生地黄汁三合　飞面一匙　附子一两，去皮脐，生用　生姜汁五合

右件药，捣细罗为散，热暖地黄、生姜汁调散五钱令匀，摊于绢上，乘热裹贴损折痛处，急系缚，每日换之。

接骨，木鳖子贴熁膏方：

木鳖子二两，去壳　川椒一两，去目　虎胫骨一两　龟甲一两　松节三两，细锉，醋一升，炒令醋尽

右件药，捣细罗为散，用小黄米半升，作稠粥，调药五钱，摊于绢上，封裹损折处，立效。

接骨，桂附贴熁膏方：

桂心一两　附子一两，去皮脐，生用　乳香一两　川椒一两，去目　白矾一两　吴茱萸一两　生姜汁五合　酒五合

右件药，捣细罗为散，先将姜汁并酒煎取七合，入药末调令匀，于油单子上摊，贴于患处，急裹缚之，其痛立定。

治伤折，浮肿疼痛膏方：

厚朴二两，去粗皮　槟榔一两　白芷二两　桂心二两半　当归三两，锉，微炒　芎藭一两　没药半两　骐驎竭半两　朱砂三分，细研

右件药，捣细罗为散，以酒二升，熬药成膏，于帛上摊，贴于痛处，立效。如食前，热酒调下二钱亦佳。

治伤折后，多时骨未归臼，软骨涂药方：

海桐皮二两　五加皮一两半　远志一两，去心　木鳖子二两，去壳　陈橘皮二两　百合一两

右件药，捣罗为末，每日，以米醋调如膏，匀摊于帛上贴之。

又方：

乳香二两　骨碎补一两　盐梅肉三两，炒令乾　绿矾二两　川朴消一两　川椒一两，去目　桔梗一两，去芦头　白矾一两，烧令汁尽

右件药，捣细罗为散，煎米醋调如膏，匀摊于帛上贴之，每日一易。

治伤折，腕损蹉跌，黯肿，皮肉疼痛，涂贴方：

绿豆末五两　桂心二两　附子二两，生　吴茱萸一两　当归一两，锉，微炒　川椒二两，去目　蛇床子二两　松脂二两

右件药，捣罗为末，用生姜汁调如膏，贴于患处，乾即再换。如有疮口，不可用之。

治伤折、止痛消肿毒气，散瘀血，贴熁败龟膏方：

败龟三两，涂醋炙令黄　百草霜二两　木鳖子仁二两　当归二两，锉，微炒　桂心二两　没药三两　芎藭二两　川大黄三两

右件药，捣细罗为散，每用之时，先以好酒一升，煎至半升，下火，停酒稍冷，然后入药末一两，却于火上重煎，以匙不住搅成膏，摊于纸上贴之。

治伤折，筋骨疼痛不止，走马贴熁乳香膏方：

乳香二两　蛇床子一两　皂荚一两，炙，去皮子　桂心一两半　附子一两，生用　芥菜子三合　赤小豆三合

右件药，捣罗为末，用生姜汁一中盏，调如膏，看伤折处大小，摊于油单上封裹，候乾即易之。

又方：

松脂三两　当归一两，锉，微炒　细辛一两　白芷一两　川椒二两，去目

右件药，捣细罗为散，用生地黄汁并醋相和，调如膏，临时看患处大小涂贴，每日换之。

治一切伤折膏药诸方

治伤折，蹉跌筋骨，黯肿疼痛，及伤外风，风毒偏风，口面不正，但是伤风等，宜用此软筋骨、润皮肉、止疼痛，神验。摩风

麝香膏方：

麝香一两，细研　虎胫骨一两　细辛一两　防风一两，去芦头　独活一两　桂心一两　当归一两　芎藭一两　白芷一两　白僵蚕一两　生乾地黄一两　白及一两　白术一两　川椒一两半，去目　附子一两，去皮脐，生用　旋复花一两　赤芍药一两　连翘一两　甘菊花一两　木鳖子一两，去壳　天南星一两　瓜蒌根一两半　乌蛇一两半　牛膝一两，去苗　踯躅花一两　甘松香一两　石斛一两，去根　野驼脂十两　棘针二两　蜡五两　腊月猪脂二斤　醋三升　好酒二升

右件药，净洗晒乾，细锉，入酒醋中浸三宿，漉出阴乾，却入腊月猪脂、驼脂内，以慢火煎，候白芷黄焦药成，以绵滤去滓，入麝香末调匀，以瓷合盛。有患者，火上燔手心，点药摩痛处五七度，亦用温酒调半匙服之，神效。

接骨止痛，雄黄暖膏药方：

黄丹四十八两　麻油五斤　猪脂二斤　松脂一斤　羊脂十两　蜡十两　野驼脂十两　当归二两　乌蛇二两　生乾地黄二两　连翘花一两　续断二两　白芷一两　露蜂房一两　川乌头一两，去皮脐　细辛一两　棘针一两　芎藭一两　羌活一两　人粪一两，乾者，烧灰　紫草一两　虎胫骨一两　鲮鲤甲一两　猬皮一两　葛若子一两　吴茱萸一两　白蔹三分　紫葛三分　玄参三分　桑木耳三分　木通三分，锉　杏仁三分，汤浸，去皮尖　青绯帛各七尺，烧令烟尽　白术三分　葱和根三七茎　槐树枝四两　杨柳枝四两　防风三分，去芦头　桑根白皮三分　赤芍药三分　香附子三分

已上药，先将油猪脂、羊脂、野驼脂于锅内煎为油，入柳枝、槐枝、棘针、葱、紫草、露蜂房，先于脂油内，以慢火煎半日，漉[1]去滓，其[2]诸药细锉，入于熟油内，慢火[3]半日，次入松脂蜡，更煎半日，滤去滓，净拭锅，内细罗黄丹，炒令紫色，热下药汁中，以柳枝搅不令住，候色变紫成膏，住火，次入诸药：

雄黄三两，细研　丁香三两　乳香四两　沉香三两　木香三两　桂心三两　骐驎竭三两　附子三两，去皮脐

已上捣罗为末，入膏中调令匀。

右件药，用瓷合中盛。有患者，于绢帛上微火摊，贴于折损处，一日一度换之。

治伤折接骨，散瘀血，止疼痛，抵圣膏方：

麻油二斤　羊脂四两　野驼脂四两　腊月猪脂十两　当归二两　乌蛇二两　生乾地黄二两　连翘二两　续断二两　白芷二两　白蔹一两　白及一两　玄参一两　鲮鲤甲一两　猬皮一两　露蜂房一两　桑木耳一两　木通一两

已上诸药细锉，并脂油等，煎半日，去滓，然后下杏仁等：

杏仁二两，汤浸，去皮尖　丁香一两　桃仁二两，汤浸，去皮尖　沉香一两　木香一两　桂心一两　松脂八两　芎藭一两　羌活一两　附子一两，去皮脐　蜡五两

已上细锉，下入前油内，以慢火再养半日，候药焦黄色，以绵滤去滓，即下后药：

黄丹三十四两　乳香二两，末　骐驎竭二两，末

右先以黄丹内于锅中，炒令紫色，旋下油，用柳木篦搅，不得住手，待变紫色，即下乳香、骐驎竭末，搅令匀，停冷。凡有损折处，用微火煿，摊于绢帛上封裹，神效。

治伤折接骨，贴煿灵龟膏方：

龟甲五两　川大黄三两　木鳖子三两，去壳　当归二两，锉，微炒　桂心二两

右件药，捣细罗为散，每用时，先空煎酒一升，煎去一半，停稍冷，然后入药末一两，以柳木篦不住手搅成膏，以油单子上摊，贴伤损痛处，立效。

治从高坠下，落马堕车，跼折骨碎筋伤等，紫金膏方：

黄丹二十四两　麻油二斤半　猪脂四两　野驼脂四两　松脂一斤　乌蛇半两　白蔹半两　白芷半两　白及半两　连翘半两　续断半两　紫葛半两

① 漉：太平圣惠方作“滤”。
② 其：太平圣惠此下有“余”字。
③ 火：太平圣惠此下有“煎”字。

牛膝 半两，去苗 生乾地黄 半两 鲮鲤甲 半[1]两 猬皮 半两 露蜂房 半两 木通 半两 当归 半两 桃仁 一两，汤浸，去皮尖 杏仁 一两，汤浸，去皮尖 乳香 一两 丁香 一两 木香 一两 桂心 一两 附子 一两，去皮脐，生用 芎藭 一两 羌活 一两 骐驎竭 一两

右件药，细锉，入油脂内，并松脂同以慢火煎养半日，候药焦熟，以绵滤去滓，用净锅，内细罗黄丹，炒令紫色，旋下熟药汁，以柳木篦不住手搅，候变紫色，即油力尽，滴于水中成珠子，手内看不污人手，即停火，收于瓷合中，用纸上摊贴痛处，日一换之。

治伤折，接骨止痛，腽肭脐膏方：

腽肭脐 二两 当归 二两 附子 二两，去皮脐，生用 桂心 二两 羌活 一两 芎藭 一两 骐驎竭 一两 乌蛇 一两 乳香 一两 木香 一两 续断 一两 生乾地黄 二两 白芷 一两 穿山甲 一两 猬皮 一两 桃仁 一两，汤浸，去皮[2] 莨菪子 二两 杏仁 一两，汤浸，去皮 紫草 一两 棘针 一两 柳枝 一两 槐枝 一两 赤芍药 一两 白蔹 一两 防风 一两 细辛 一两 葱白 十四茎，连须 黄蜡 十两 密陀僧 一两 沥清香 十两 驼脂 三两 羊脂 三两 猪脂 二十两 清麻油 五斤 黄丹 三斤，炒令紫色

右件药，细锉，先以猪、羊、驼脂等于大锅内，文火煎，取清汁，去脂滓，后入麻油，煎令如鱼眼沸，次下棘针、柳枝、槐枝、葱白等四味，煎令黄焦，漉去滓，即下腽肭脐等药，以炭火养一七日后，绵滤去滓，却入锅内，旋下黄丹，用柳杖子搅不住手，候转紫色，稀稠得所即膏成，于瓷合中盛，每用于纸上摊，贴伤折处。

治伤折，挺子膏方：

骐驎竭 没药 乱发灰 密陀僧 丁香 麝香 木香 腻粉 雄黄 雌黄 自然铜已上各一两 黑狗肝胆 各一两，乾者

右件药，捣罗细研，先于铛中熔黄蜡，然后入药末，熬炼成膏，取小竹筒子热灌之，待冷方可取出，于黄丹中出色。若有患者，先以热水洗病上，用生油于漆楪中磨药，涂痛处，立效。

治伤折，皮肉破冷久不合，宜用长肉合疮口，乳香暖膏方：

乳香 二两 续断 二两 当归 二两 桂心 一两 乱发 二两，烧灰 沥清香 四两 骐驎竭 二两 黄陆香 二两 莨菪子 二[3]两 麻油 七两 黄丹 四两 猪脂 四两，腊月者

右件药，除麻油、猪脂、黄丹外，并细锉，捣罗为末，先煎油脂等令熟，停冷下药末，以柳木篦搅令匀，用慢火更煎半日，后下黄丹，搅令匀，调膏成，于瓷合内盛，每用于白熟绢上摊贴，立效。

治伤折槐子膏方：

槐子 三两 黄丹 二十四两 头发 二两 麻油 二斤半 猪脂 一斤 蜡 五两 水杨白皮 三两 桑根白皮 一两 皂荚 半两，去皮子 巴豆 半两，去皮心 天雄 一两，去皮脐 当归 一两 槐白皮 一两 雄黄 半两，细研 麝香 半两，细研

右件药，细锉，入脂油内，以慢火煎养一日，焦熟后，用绵滤去滓，于净锅中炒黄丹令紫色，即下熟药汁，用柳枝搅，莫令住手，候药成紫色，滴入水中成珠子，油力尽即住火，入雄黄、麝香和匀，收于瓷合中。凡有伤折，逐日摊贴痛处，极效。

治筋骨俱伤后，夹风疼痛，宜用摩风膏方：

羌活 半两 防风 三分，去芦头 芎藭 一分 踯躅花 半两 甘菊花 半两 附子 一分，去皮脐 桂心 三分 汉椒 一两半，去目 川乌头 一分，去皮脐 当归 半两 皂荚 一分，去皮子 鲮鲤甲 三分 白芷[4] 一分 白及 一分 栝楼根 一分 紫葛 一分 乌蛇 半两 猬皮 一分 莽草 半两 细辛 半两 杏仁 一分，汤浸，去皮尖双仁 苦参 一两 白蔹 半两 蜡 五两 露蜂房 一分 猪脂 三斤，切

右件药，细锉，以米醋二升拌匀，经二宿后，以火微微炒之令乾，用猪脂和药，以慢火煎一日，以绵滤，于瓷合内盛，不令水污著。如有伤折筋骨处，将用摩之，神验矣。

---

1 半：太平圣惠方作“一”。

2 皮：太平圣惠方此下有“尖”字。

3 二：太平圣惠方作“一”。

4 白芷：太平圣惠方作“甘草”。

折伤门二

和剂局方

折伤

大岳活血丹：　治男子妇人外伤内损，狗咬虫伤，驴扑马坠，手足伤折，一切疼痛，腹中瘀血刺胁筑心，及左瘫右缓，走痃疼痛，痈肿痔漏，妇人冷气入腹，血脉不通，产后败血灌注四肢，吹奶肿痛，血气撮痛，并宜服之。

乱发皂角水净洗，二斤，晒乾，用清麻油二斤，入锅内炒，频以手捻看，脆乱如糊苔即止，不可令炒过　栗楔谓栗三瓣共一球，其中有扁薄者是，去壳，薄切晒乾　大黑豆以湿布揩去尘垢，退黑皮，焙乾　皂角刺烧通红，米醋内淬杀，焙乾　花桑枝取如臂大者，以炭火烧，候烟尽，淬于米醋中，取出焙乾。各一斤　细墨半斤，一半用蕈麻仁三两，乳钵细研，涂墨上，候尽，用薄纸裹，以黄泥固济，晒乾，以火五七①斤，煅令通赤，放地上，盆盖，出火气两饭久；一半用硇砂二两，醋化，涂墨上，炙乾　蕈麻仁三两，涂墨。　增注和剂别研涂墨　乳香好者，细研四两，入米醋一碗，炙令香熟　硇砂光净者，二两，醋化，涂墨②

右六味为末，入乳香膏内，和杵三千下，丸如弹子大，如乳香膏少，更入醋煮面糊。痛甚日③每服一丸，轻可者服半丸，用无灰酒一盏，乳香一豆大，先磨香尽，次磨药尽，煎三五沸，临卧温服，以痛处就床卧。如欲出汗，以衣被盖④，仍用药涂损处。忌一切动风物。应妇人诸疾服者⑤，用当归末一钱，依法煎服。有孕者莫服。三因方、得效方同。

没药降圣丹：　治打扑闪肭，筋断骨折，挛急疼痛，不能伸屈，及荣卫虚弱，外受游风，内伤经络，筋骨缓纵，皮肉刺痛，肩背拘急，身体倦怠，四肢少力。

川乌头生，去皮脐　骨碎补燀去毛　自然铜火煅，醋淬十次，研为末，水飞过，焙乾　一本十二次　白芍药　乳香别研　当归洗，焙　没药别研。各一两　生乾地黄　川芎各一两半

右并生用为末，以生姜自然汁与蜜等分，炼熟和丸，每一两作四丸，每服一丸，捶碎，水酒各半盏，入苏木少许，同煎至八分，去苏木热服，空心食前。医方大成、集成、袖珍方、永类钤方同。

接骨散：　治从高坠下，马逐伤折，筋断骨碎，痛不可忍。接骨续筋，止痛活血。

鹏砂一钱半　当归去芦　定粉各一钱

右为末，每服二钱，卫生易简方一钱。煎苏木汤调服。讫后，时时吃苏木汤。医方大成、南北经验方、袖珍方、永类钤方同。

导滞散：　治施圆端效方打扑坠压。重物压迮，或从高坠下，作热五内，吐血下血，出不禁止，或瘀血在内，胸腹胀满，喘粗气短。得效方兼能打去恶血。

当归　大黄各等分，诸方炒

右炒为末，每二钱，温酒调下，不计时候。澹寮方同。端效方日进二服，加麝香尤妙。卫生易简方三钱，水煎，去滓，空心热服。

补损当归散：　疗坠马、落车、被打，伤腕折臂，呼叫不绝，服此药呼吸之间，不复大痛。服三日，筋骨即当相连，神效。

泽兰炒，一分　附子炮，去皮脐，一分　玉机微义各

① 七：太平惠民和剂局方作“十”。
② 墨：太平惠民和剂局方此下有“上”字。
③ 日：太平惠民和剂局方作“者”。
④ 盖：太平惠民和剂局方此下有“复”字。
⑤ 者：太平惠民和剂局方此下有“更”字。

一钱　当归炒，三分　蜀椒炒去汗，三分　甘草炙，三分　桂心三分　永类钤方肉桂　芎藭炒，六分

右为细末，每服二钱，温酒调下，日三服。忌海藻、菘菜、生葱、猪肉、冷水。医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类钤方同。

大全本草

陈藏器本草云：赤铜屑主折伤，能焊人骨，及六畜有伤者，取细研，酒中温服之，直入骨损处，六畜死后，取骨视之，犹有焊痕。赤铜为佳，熟铜不堪。

朝野佥载云：定州人崔务，坠马折足，医者令取铜末，和酒服之，遂痊平。及亡后十余年，改葬，视其胫骨折处，有铜束之。

泉水主人忽被坠损肠出，以冷水喷之，令身噤，肠自入也。

图经曰：韦宙独行方，主踠折瘀血，单用庵蔺一物，煮汁服之，亦末服。令人亦打扑损，亦多用此法，饮散皆通，其效最速。服食方不见用者。

广利方治瘀血不散，变成痈，捣生庵蔺蒿，取汁一升服之。

外台秘要治折伤内损，有瘀血，每天阴则痛，兼治产妇诸疾神方：

三月采益母草，一名负担，一名夏枯草，洗择令净，于箔下[1]摊，暴令水乾，别用拔断，可长五寸已来，勿用刀，即置锅中，以水二硕以来，令草上水深二三寸，煎煮候益母烂，水三分减二，漉出草，取五六斗汁，泻入盆中澄之，半日已来，以绵滤取清汁，盆中滓淀尽弃之。其清汁于小釜中慢火煎，取一斗以来，如稀饧，每取梨许大，暖酒和服之。日再服，以和羹粥并可。如远行，不能稀煎去，即更炼可丸，得每服之，七日内则疼痛渐瘳，七日平复。或有产妇恶露不尽，及血晕，一二服差。其药治风益心力，无忌。

宋元嘉中刘慊为青州射一獐，既剖五藏，以天名精塞之，蹶然而起，慊怪而拔草便倒，如此者三，慊蜜录以种之，主折伤多愈，因名刘慊草。陈藏器以谓此草既有鹿活之名，雅与獐事相会，当便是一物不疑矣，故并于此见之。

救急方续断筋法：

取旋葍[2]草根，净洗去土，捣，量疮大小傅之，日一二易之，乃差止。

瘟药主折伤内损血瘀，生肤止痛，主产后血病，治五藏，除邪气，补虚损，乳及水煮服之，亦捣碎傅折伤处。

图经曰：正元广利方疗因伤损血瘀不散者，取牡丹皮八分，合虻虫二十一枚，熬过，同捣筛，每日温酒和散方寸匕服，血当化为水下。

别本注云：刀斧折伤，能止血痛，白药乾末傅之。

百一方若被打击，瘀血在腹内，久不消，时发动者，取桔梗末，熟水下刀圭。

外台秘要治坠下，瘀血在腹肚，取蒲灰二钱酒服。

折伤木主伤折，筋骨疼痛，散血补血，产后血闷，止痛，酒水煮浓汁饮之。

每始王木主伤折跌筋骨，生肌破血止痛，酒水煮浓汁饮之。

经验后方治折伤，水獭一箇，用罐子内盐泥固济，放乾，烧灰细末，以黄米煮粥，于伤折处，以水獭一钱末，粥上掺，便用帛子裹系，立止疼痛。

葛氏方被压柞，墮舟船车轹，马踏牛触，胸腹破陷，四肢摧折，气闷欲绝，以乌鸡一只，合毛，杵一千二百杵，好苦酒一升，相和得所，以新布搨病上，取药涂布，以乾易。觉寒振欲吐，不可辄去药，须臾复上，一鸡

① 下：大观本草卷六草部芜蔚条作“上”。

② 葍：大观本草卷十草部旋覆花条作“复”。

少，则再作。

牡鼠疗蹉折，续筋骨，捣傅之，三日一易。

斗门方治打伤疮，用老鼠一箇，自死腊月者，和肠肚劈锉，油半斤，煎令焦黑，用罐收之。使时，以鸡翎惹油，傅于疮上即乾，立差。

葛氏方治折伤，以梅实五斤，去核，饴五升合煮，稍稍食之，渐渐自消。

食疗云：饴糖主打伤瘀血，熬令焦，和酒服之，能下恶血。

孙真人治多年损伤不差，熬白瓜子末，温酒服之。

胜金方治搕扑损，肌肤青肿方：

茄子留花种逼[1] 黄極大者，切作片，如一指厚，新瓦上焙乾为末，欲卧，酒调二钱匕，一夜消尽，无痕迹也。

三因方

折伤吐血证治

病者因坠闪肭，致伤五脏，损裂出血，停留中脘，脏热则吐鲜血，脏寒则吐瘀血，如豆羹汁，此名内伤，治之各有方。

加味芎劳汤：　治打扑伤损，败血流入胃脘，呕吐黑血，或如豆羹汁。

川芎　当归　白芍药　百合水浸半日　荆芥穗各等分

右为锉散，每服四钱，水一盏，酒半盏，玉机微义水酒各半。同煎七分，去滓，不以时服。得效方、医方大成、集成、南北经验方、袖珍方同。

折伤瘀血证治

病者有所坠堕，恶血留内，或因大怒，肝血迸湿，停蓄不散，两胁疼痛，脚善瘛，骨节时肿，气上不上，皆由瘀血在内，治之各有方。

鸡鸣散：　治从高坠下，及木石所压，凡是伤损，血瘀凝积，气绝欲死，并久积瘀血，烦躁疼痛，叫呼不得，并以此药，利去瘀血即愈。此药推陈致新，治折伤神效。

大黄一两，酒蒸　杏仁三七粒，去皮尖

右研绌[2]，酒一碗，煎至六分，碗裂去滓，鸡鸣时服，次日医方大成、永类钤方次日作至晓。玉机微义至晚。取下瘀血即愈。简易方同。若便觉气绝，不能言，取药不及，急擘口开，以热小便灌之。医方集成、南北经验方、袖珍方同。钤方小热童便灌苏，加芎归芍药酒煎更妙。

接骨散：　治跌扑，脚手胫骨脆折。

水蛭不拘多少

右于新瓦上熬令香熟，勿令太过，为末，每服一钱，热酒调，仍入麝香半钱服，折处不可手触，药行良久觉[3]痛，折处渐痒，如蚁嚼之，遂要人捻揉骨折处相接，即用杉木夹缚，二三日去之，骨全矣。

是斋医方

治打扑伤损孙盈仲方：糯米粥热摊布帛上，捣芭蕉根放粥上，乘热裹患处，经验良方同。虽时下甚痛，即便无事。

治打扑伤损骨折，此药专接骨。护国长老用仁传。夜合树，俗谓之萌葛，即合欢也，去粗皮，取白皮，锉碎，炒令黄微黑色四两，芥菜子炒一两。

右为细末，酒调，医方大成酒调二钱澄清。临夜服，粗滓罨疮上扎缚之，神验。越州人谓之

① 逼：大观本草卷二十九菜部茄子条引胜金方作“通”。
② 绌：三因极一病证方论作“细”。
③ 览：三因极一病证方论作“觉”。

乌颗树。　　大成云，又方用葱白，砂糖二味，桐等[1]烂研，傅之痛立止，仍无瘢痕。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类钤方、卫生易简方与大成同。

治闪肭著，苏千之运幹传。经验良方治闪肭腰痛不能转侧。米醋糟和平胃散罨患处。琐碎录、卫生易简方同。

接骨散：　治打扑伤损折，濠梁灵泉清隐寺僧传。

半两古文钱，不拘多少，以铁线贯之，用铁匣盛，以炭火煅通红，碗盛好酒，米醋各半升，铁[2]钤开匣，取古文钱于酒醋中淬，再煅再淬，候苏落尽，如酒醋少再添，候古文钱淬尽，澄去酒醋，以温水淘洗，如此三次，淘洗数多尤妙。火毒不尽，令人患哑。既净，焙乾，研极细，入乳香、没药、水蛭得效方作蛭。等分，同为细末，每服半字或一字，生姜自然汁先调药，次用温酒浸平服。若不伤折，即时呕出；若损折，则药径下，缠缴如金丝，如弓上之筋，神验。初服，忌酒三日。刘谅县尉传王丞相，在东府时施一接骨药云，用半两钱，极有效验，恐即是此方也。

又接骨散方：　半两古老钱，用火煅，醋内淬数过，入没药、乳香等分，一处研，别以麝香少许，每服一字，用淡姜汤调服，不拘时候。

治一切坠压撷扑，伤损至重困者，无名异小石块子，外黄中黑，在处有之，大治县能山英州南山皆有，取三五块研细，以生葱细剁，入温酒中调药，服讫，温酒半盏投之。伤在头，去枕卧，余皆就所伤卧。吴内翰初得此方，侄女户限上损脑痛呼，试令服之，痛立止。又尝一坠马，一失脚，损腰至重，服十余块，饮酒一二升，其病皆愈。后以救人无不效。

又方：　饮小便，或灌之，或以酒和小便服。蜀医徐懋云：屡起死。

一字散：　治一切打扑伤损，筋伤骨折。宗子赵叔恭名公贲，以善锤铁著名，其父宰嵊县日，因与族人聚饮超化寺，醉亡，酒坠悬崖之下，亟视之，昏不醒，人手臂已折，舁归，得此二药治之，遂愈。其后运锤如故。叔恭尝知大宁监云，韩希道知府传。

五灵脂别研　川乌头去皮脐，生用　没药别研　草乌头去皮脐，生用。各四两　地龙　乳香各半两，别研　麝香半钱，别研　朱砂三分，别研　白胶香一两。后四味加减些不妨

右为细末，每服一字，温酒调下。丸如梧桐子大，加减自少至多服之亦可。若腰以上损，食后服；腰以下损，食前服。觉麻为验，未麻加药，麻甚即减。

又鸾胶散方：　用黄狗头一箇，去毛，以纸筋泥固济，用火烧，候烟过，取出放冷，去泥为末，先用糯米罨成软饭，看所患大小，摊在纸上，厚一指，以狗头末一分，桂末二分，煅了牡蛎末三分，和匀，掺在上，乘稍热裹贴了，次用栎木板子夹缚。如痒，不得抓，只用手轻轻拍，五七日愈。能散瘀血，甚妙。或只用毡发坐子裹亦可。

治打扑损，肿痛不止，生姜自然汁、米醋、牛皮胶同熬溶，入马屁勃末，不以多少，搅匀如膏药，以纸花摊傅肿处，玉机微义同。痛即止，以多傅为妙。绍兴倅厅二人吏用之得效。

治骨折，铜末调酒服之。

夷坚志云长安石史君神授折伤方：得效方铅粉散，治手足折伤，可服可敷，半日后痛止，手足坚牢立愈。经验良方治打扑伤损筋骨。

当归洗净，焙为细末　铅粉各半两　鹏砂二钱

右同研令细，浓煎苏枋汁，调服一大匕。得效方一大钱。若损在腰以上，先食淡面得效方淡粥。半碗，然后服药；在腰以下，即先服后食，仍频频呷苏枋汁，别作糯米粥，入药末[3]拌和，摊纸上或绢上，封裹伤处；如骨碎，则

---

① 桐等：卫生易简方作“等分”。
② 铁：世医得效方作“铗”。
③ 末：普济方卷三百九折伤门作“三钱”。

用竹木夹定①,以纸或衣物包之，其妙如神。内轮② 之子梓③ 为豫州仓官，尝以治一庾人娄度，下黑血数升而安。

治伤筋动骨，打扑伤损。明州陆驻泊。

生硫黄二两，末　官桂二两，为末　生姜约四两许　面一合

右同拌和，研碎，带湿罨在损处，其热如火，外用帛缚定，一日一次换，昼夜贴，六七日即愈。硫黄、桂能发散，姜面能和筋脉活血。

治打扑伤损，坝侄云：三兄在四明，尝因雪中攧损，蹉手臼骨，以此傅之即不痛，寻遂复旧。

胡孙姜不以多少　生姜半之④

右同捣烂，以罨损处，用片帛包，乾即易之。虽不能速效，然终有验也。

又法：　治闪出臼骨，既拽入之后，即以一色衙黄土，以成蒲⑤ 生姜不曾擘开者，同捣成泥，罨损处甚妙。宁彦说。

治打扑伤损，福州长乐县一盗囚被笞捶，身无全肤，以情告狱吏，求买胡孙姜，烂研取汁，以酒煎或调服，留滓以敷疮，不数日平复如故，陈世德云。　经验良方治打扑伤损筋骨。　右胡孙姜，石上生补损，樟树上生者通气，皆去皮毛，切片微炒，常用煮酒瓮一日后饮，能补损行气。福州长乐县一盗囚被笞捶，身无全肤，告狱吏，求买胡孙姜，研烂取汁，以酒煎或调服，留滓以傅损处，不数日平复。如治风损，半用石上，半用樟树上者。

治搕损及抓破等。

软石膏煅令通红，地上出火毒，研细，用半⑥两　轻粉一钱

有⑦ 用清麻油调傅，止痛，不作痕。

打扑搕伤损。

右用石榴叶细研罨损处。琐碎录同。

又方：　治血聚皮不破者，萝卜叶研细罨，以绢帛包缚。得效方同。

治打扑伤损，筋断骨折，接骨定疼，黑神散。华宫史傅续添。

黄牛胫骨带髓者：不以前后脚，用炭火烧烟尽为度，取出，用米醋浸，于地上，盆覆令冷　真定器炭火煅红，米醋淬十遍，以苏为度

右二味，各碾为细末，以黄牛胫骨末七分，定器末三分，拌令匀，如是扑损，用好米醋调面入药末，打如稠糊，敷贴损处，上以纸三重封贴；如是骨折，于纸上更用竹片封扎，绢帛缠缚，不得换动；若初扑损，先以热酒调下二钱，甚妙。伤在腰上，食前；伤在腰下，食后，日进二服。

又方：　如圣膏同。

良姜　吴茱萸　金毛狗脊去皮　木鳖子去壳　白胶香别研　败龟壳醋炙，炙黄　牛膝　当归各半两

右为细末，入面，同药末酒熬成膏子敷贴，用纸七重封系定，筋骨自然相连，七日一换。酒面皆不可多用，以面熟为度，熬过恐失药力。

接骨忘拐丸：　定痛如神同。

乳香研　没药研　虎胫骨酥炙黄　当归　川椒去目　败龟壳酒蘸，炙黄　赤芍药　雀李根取皮　川芎极大者　自然铜醋淬

右各三钱，为细末，熔黄蜡，约度多少，同丸如弹子大，每服一粒，用好酒一盏，银石器内煎，以东南柳枝搅散，带热服。大段骨碎者，服一粒，些小闪肭服半粒。

又方同：

当归　赤芍药　川椒去目　败龟壳　千金藤　骨碎补　川芎并生用　乳香研　虎骨慢火炮黄　没药研　自然铜火煅通红，醋淬三次

右等分，为细末，炼好黄蜡，丸如弹子大，每服一丸。筋伤骨折，用无灰酒半升，

---

① 定：普济方卷三百九折伤门此下有“伤处，却以药敷贴”七字。
② 轮：普济方卷三百九折伤门作“輪”。
③ 梓：普济方卷三百九折伤门无此字。
④ 之：普济方卷三百十折伤门引医方大成作“斤”。
⑤ 以成蒲：普济方卷三百十一折伤门作“似成蒲黄”。
⑥ 半：普济方卷三百十折伤门引百一选方作“一”。
⑦ 有：普济方卷三百十折伤门引百一选方作“右”。

入药，以东南柳枝搅匀，同煎三五沸，空心热服。五十以上，不过十服，旬日如旧。五十以下，不过五服。真神仙秘方。

琐碎录

端午日午时，用韭叶和石灰捣成饼，晒乾，能治撅损刀伤疮口，并蜂蚤蜈蚣之毒。

凡撅扑或打伤昏闷，生蜜二钱，酒半盏，童子小便一盏，调灌，大小便通即醒。

撅扑有伤口，嚼灯心罨之，血即止。

又方：　用生紫苏研烂盦之，疮口自合。事林广记同。

又方：　用松节煎酒吃。事林广记、卫生易简方同。

又方：　以鱼胶烧灰存性，用一钱末，酒调下，空心服之。如无鱼胶，牛胶亦可。

又以冬青叶晒乾为末，糁伤处，血自止，或细嚼罨之。

又方：　伤损，急以姜汁和酒等分，拌生面贴之。

打扑伤损，以陈槐花不拘多少，入血竭，同为末，乾糁即血止。事林广记同。亦能止痛。无血竭亦得。

打扑伤损，用苎麻根研细，米醋、马屁勃、生面同研，罨伤处。

治伤损疮，以头发烧为末，入轻粉油调傅。

又寒食日，水浸糯米，逐日换水，至小满，漉出晒乾，炒黄碾末，水调，疗折扑伤及诸疮肿。运化玄枢同。

又端午日，取百草头一斤，薤五斤，或韭尤佳，水洗净，石臼中舂极细，拌矿石灰丸之，为刀疮药。

折伤止痛，瓜蒌子炒，捣末，每服二钱，热酒调下，立愈。

打扑伤损，以桑白皮捣汁，擦之立愈。

撅扑或刃伤，多捶白梅，盦疮口，免破伤风。

闪挫伤方：　用樟树枝叶浓煎汤，先薰后洗。

直指方

桂枝酒：　治打扑伤坠，瘀血溷闷，身体疼痛。

辣桂

右为末，每二钱，温酒调下。或用辣桂一分，大黄、当归各半分，每三钱，生姜、紫苏煎服，取下黑物即安。或未有药，仓卒，且服米醋一小盏，亦散瘀血。

朱砂丸：　治打扑惊忤，血入心窍，不能语言。

朱砂为细末。

右以雄猪心生血和丸麻子大，日乾，每服七丸，石菖蒲煎汤下，枣汤亦得。

跌破出血方：

乌贼鱼骨细末傅。亦治汤火伤烂。

管见大全良方

撅扑伤折狗咬金疮证治

男子妇人内伤外损，狗咬虫伤，驴扑坠马，手足伤折，一切疼痛，腹中瘀血刺胁筑心者，宜服大岳活血丹。

居家必用

金丝膏：　治闪肭并寒湿疼痛，一切肿毒，并宜敷贴。

白芷一样十块　木鳖仁一样十介　蓖麻子十介，捶碎　竹茹一两　柳条一样十茎，虎口退节，系第二节梢头一节　乳香别研　没药别研，二钱　白胶香六两，拣明净者，陈暗者不可用　桐油夏一两，春秋一两半，冬二两

右件前药，入桐油煎黄色，捞去药，绵子重滤净，下白胶香尽煎匀，下乳香、没药搅匀，用新井花水一盆，将药倾于水中，拔千余遍，如银丝为度。柳条正法，比左手第一指，稍不用过节，只虎口长是也。蓖麻不必去壳，木鳖亦然，每个作二三块。

必用全书

诸伤折方

鬼代丹：　治打著不痛。

无名异研　自然铜醋淬，研　没药研　乳香研　地龙去土　木鳖子去壳。各等分

右为细末，炼蜜为丸，如弹子大，温酒下一丸，打不痛。宣明论、必用之书、经验良方、施圆端效方同。

开花仙家接骨药：

无名异一两　甜瓜子一两　乳香　没药各一二钱许

右为细末，每服五钱，热酒调，通口服，小儿三钱。服药讫，以纸摊黄米粥，于上糁左顾牡蛎末，裹伤处，竹篦夹之。必用之书同。

朱氏集验方

续骨膏：　治打扑伤损骨折。

黄柏　半夏　桂花

右为末，生姜自然汁调涂肿痛处，其功全在生姜，如药乾，频上姜汁为佳。

当归散：　治打扑伤损。

当归　没药各一两　芍药　木香　川白芷　川乌各半两　川芎　生地黄各三钱　郁金二钱

右为末，空心酒调，每服二钱。如未愈，加川牛膝、红花、苏木各半两，调服。

神仙接骨丹：

黄丹飞过　密陀僧　自然铜各四两　辰砂　血竭　乳香　没药各一两　黄蜡　白矾飞过　臈月猪脂各十三两

右件，新锅子先下脂熔，滤去筋膜，次下蜡，成油，去锅于冷处，次下密陀僧、黄丹、自然铜末，更慢火煎，滴水中不散为度，便出锅于冷处，下诸药，用柳木篦子搅匀，入瓷器中，不住手搅至凝，丸如弹子大，候极冷，收入通油新瓷合内，求[1]不败坏。若一切折伤，不问内外轻重，虽已无气，但心头尚暖者，分一弹作十五丸，热葱酒吞。如已绝不能吞，即以热葱酒磨肿。但下喉即自省人识痛，病人痛亦定，仍取十丸，入少油火炙软，摊在帛上，贴痛伤处。如伤损处大，用二丸以上。此药不沾粘肉，即以寻常胶黏膏药。

平胃散：　治打扑伤损，不问皮破与暗伤，悉能治之。

平胃散以冷水调涂则愈。昔有一士夫，与一同官交甚密，书柬往来，止以一小弹[2]子迳传入宅。是日，偶失去银盏，遂以其事执之小厅，而同官以小厅根之不觉，打碎小

① 求：朱氏集验方作“永”。
② 弹：朱氏集验方作“厅”。

厅子右手，破骨出，遇一道人，教以前药，遂愈。安城刘克昭传，用之果有效。

双乌散：　治诸伤百损，如被打破伤损[1]，久后时时疼痛，虽新被伤，纵不破皮而内损者，尤宜服此。

川乌　草乌略炮。各三钱　当归　白芍药　苏木　大黄　生乾地黄　红曲炒。各半两　麝香少许

右为细末，用酒煮一瓦瓶，放冷服。如觉麻痹无害，但二乌头生用有力，恐太猛，所以用温火略炮。

单方：　治打损扑金疮，闷绝，蒲黄末，以热酒灌。

又方：　淋过灰滓水，调涂半寸，收醋倾地上，撩泥涂，生大黄末，酒涂并能见效。得效方同。

又方：　生地黄以米醋调傅疮上。

又方：　用冷水、麻油各一半，打和如卵黄，用鸡毛拂之。

治损折伤等疾，陈充国方。

自然铜醋淬　木鳖去油　草乌　川乌

右件四味为末，以醋煮面糊为膏，热涂损处，时时更易。痛盛，以火熨之。

黑神散：　治伤损大吐血，或因酒食饱，低头掬损，吐血至多，并血妄行，口鼻俱出，但声未失，无有不效。

百草霜　蚌粉

右等分为末，每服二钱，得效方一二钱。用糯米饮调下，侧柏枝研汁尤效速。鼻衄，搐一字；皮破灸疮出血，舌上出血，并乾糁上，立止。

黄芪汤：　治病证如前。

枳实三十箇，炒为末　黄芪二两　甘草半两　红枣三十箇，同枳实末捣烂，慢火焙焦黄

右为末，用米饮调二钱，食后服。

宣明论

定痛丸[2]：　治打扑损伤，筋骨疼痛。如骨损者，先整骨，用竹夹定，然后用好酒下麻黄三钱，然后服药大效。

蒴藋根白皮，乾，半两　乳香一分　川椒　当归　没药　赤芍药　川芎　自然铜已上各半两

右为末，熔腊为丸，如弹子大，细嚼，酒下一丸。

神圣饼子：　治一切打扑伤损，金石刀刃，血出不止者，神验。此药上无脓，退痂便愈。

乌鱼骨一两，五月五日前先准备下　青蓟草一握，约一虎口，人手惟团圆是也　莴苣菜一握　韭菜一握　石灰四两

右以五月五日，日未出，本人不语，将取三味，同杵烂，次后下余药味，杵得所，搏作饼子，晒乾，用时旋刮敷之。

御药院方

圣灵丹：　治一切打扑伤损，及折伤疼痛不可忍者，并皆治之。

乳香五钱　神效名方三钱，另研　乌梅去核，五个　名方细切，焙乾为末　莴苣子一大盏，炒黄，取二两八钱　名方二两八钱，炒黄，捣为末　白米一捻　玉机微义云，秘藏作粟。名方别研细末

右为细末，炼蜜为丸，如弹子大，每服一丸，细嚼，热酒下。吃一服时不痛，如痛再服。卫生宝鉴拔粹方同。　名方右再入乳钵内，研数百下，炼蜜为丸如栗大，细嚼，热汤下。病在上食后，在下食前。

乳香消毒散：　治一切伤折蹉跌，脓肿

① 损：朱氏集验方作“折”。

② 定痛丸：宣明论此方中无蒴藋根，有“玄胡”一药。

疼痛不可忍者。

乳香别研　没药别研　白蔹　白芍药各一两　当归　白芥子各半两　黄柏别研细末，三两　滑石二两　黄丹三钱　加血竭半两，别研

右为细末，入别研者一处，再令研匀，每用新水调如稠膏，摊在纸花子上，贴患处。

虎杖散：　治折伤，血瘀不散。

虎杖锉，二两　赤芍药锉，一两

右二味，捣罗为细末，每服三钱匕，温酒调下，不拘时候。

没药乳香散：　治打扑伤损，疼痛不可忍。

白术锉，微炒，五两　当归切，焙　甘草锉，炒　白芷　没药别研。各二两　医方大成各一两　桂去粗皮　乳香别研。各一两

右件捣罗为细末，入研药，再研令匀，每服二钱①，温酒一盏调下，不拘时候，医方集成、南北经验方、袖珍方、永类钤方与大成同。日进二三服。

蒲黄散：　治因坠堕内损，血结不行。

蒲黄　当归切，焙　赤芍药锉　桂去粗皮。各一两

右件捣罗为细末，每用二钱，温酒调下，不拘时候。

接骨丹：　治从高坠堕，伤损疼痛。

当归切，焙，二两　甘草锉，炒，三两　没药别研，半两　桂去粗皮，一两半　乳香别研，半两　泽兰一两　自然铜火烧红，醋淬七次，研，一两

右为细末，入研者药，再研令匀，水面糊和丸，如梧桐子大，每服三十丸，温酒送下，不拘时候，日进三服。

当归血竭散：　治伤损筋骨，疼痛不可忍，宜服止痛。

骐驎竭别研　没药别研　当归　赤芍药　桂各一两　白芷二两

右六味为细末，每服二钱，用温酒调下，不拘时候。

桃仁散：　治被压笮损，瘀血在腹中，疗痛不散，心胸短气，大小便不通。

荆芥半两　大黄生用　蒲黄各二两　芎藭　桂木通　当归各一两　桃仁四十枚，汤浸，去皮尖，麸炒

右件为细末，每服二钱，用温酒调下，不拘时候，微利为度。

淋漓桂附散：　治因伤损后，筋骨疼痛。

桂去粗皮　附子生，去皮脐　白矾　细辛去苗叶　白芷各一两　五加皮锉　桑叶各二两

右件捣筛为散，每剂用二两，入葱白连根十茎，水一斗，煎一沸，逐方淋漉，立效。

接骨乌金散：

半两钱一百足陌醋淬碎　锦文水蛭半两，炒烟尽，水使不利　南乳香三钱，别研　自然铜醋淬碎，半两　麝香一钱

右为细末，每服半钱，生姜自然汁、温酒少许，同调服之。如损在腰上，食后服；腰下，食前服。如筋骨无伤，药即吐出。无忌此药，神验不可尽述。

松节散：　治闪扑筋骨肿痛。

松节　桑白皮　蚕沙　香附子　朴硝已上各等分

右为粗末，每用药一两，水一碗半，煎至一碗，热漉痛处。

乳香丸：　治肾虚骨节疼痛，兼打扑伤折，从高坠下，跌扑伤损，及治寒湿搏于骨节之间，疼痛有时，并皆治之。

苍术五两，去黑皮，炒　泽乌头三两，生，去皮脐　乳香一两　天仙子炒黑　自然铜醋淬七遍　黑牵子微炒　官桂去粗皮。已上四味各二两二钱半

右件为细末，水面糊和丸，如梧桐子大，每服十丸至十五丸，食前空心，温酒送下。

大红膏：　治从高下堕落马，伤损瘀血结滞，筋脉挛急，肌肉肿硬，疼痛不可忍者，并皆治之。

当归锉，一两　赤芍药一两，锉　天台乌药一两，锉　小油半斤。已上三味浸油七日七夜　没药一两　乳香二两　琥珀一两。已上同研为细末　卫生宝鉴二两　历青一斤　黄丹一十两

① 钱：御药院方作“分”。

右件药，先将历青以银石器内慢火熬，铁篦子搅化开为度，时月看硬软，旋旋入浸药油，硬软停当，次入别研药三味搅匀，用绵滤在净水盆内，以手持拔如锡白色，次入黄丹，再持拔令匀，盛在磁盒内，每用热铁篦子摊在厚软纸上，贴于患处。

止痛贴熁膏：　治因伤损筋脉，时发疼痛，遇寒则甚。

桂心　附子生，去皮脐　乳香研　川椒小椒亦可　吴茱萸　白及各一两　生姜汁五合　酒五合

右件药为细末，先将姜汁并酒同煎，取七合，每用放温，汁调药如膏，详所患大小，摊绢帛上，敷贴痛处，上用软绢帛裹护。

鲮鲤甲骨贴熁膏：　治闪肭疼痛。

鲮鲤甲涂酥炙、三两　桂去粗皮　当归切焙。各一两　生地黄汁　面一匙秤，重九钱　附子生，去皮脐，一两　生姜汁

右七味，除汁外，捣为细末，将地黄汁、生姜汁各半和匀，暖热调药如膏，摊于软纸上，乘热敷贴患处，用绵系护，每日一换。

没药膏：　治筋骨闪肭疼痛。

没药研　乳香研　虎骨酥炙。各半两　吴茱萸　白芥子　白及　白蔹　米粉各一两　生姜汁　酒各五两

右件八味，为细末，将生姜汁并酒同煎七合，旋入药末调匀，乘热摊于纸上，敷贴痛处，一日一换，用绵裹护。

金丝膏：　治筋骨损伤，时发疼痛不已。

通明松脂四两　良姜一两碾末，取八钱　乳香三钱，研细　木鳖子大者四箇，去壳，碾为末　川乌头三箇，锉如麻豆大　杏仁一百箇，锉如麻豆大，连皮　小油半斤

右件，先将小油煎热，下乌头、杏仁，煎熬焦黄色为度，取出，以绵滤去滓，极净，再用银石器内慢火熔松脂化开，然后下良姜、乳香、木鳖子等末，不住手搅匀，旋旋入乌头、杏仁油，看硬软得所，再用绵滤在器盒内贮放。如用，摊纸花子上贴患处。

定痛没药散：　按摩导引，令血气复行。

乳香一钱　没药　当归　芎藭　地龙　细辛　羌活各一钱　蛤粉一两　黄丹二钱半　蒲黄三钱

右为细末，每用乾捻在痛处，用手擦摩捻十余遍，然后上大红膏。

大红膏：

历青一斤　黄丹一十两　乳香二两　油不以多少，添减用

右件药，先用历青，以银器内慢火熬开，铁篦子搅，觇时月看硬软，旋旋入油，硬软恰好，次下乳香搅匀，用绵滤过，次入黄丹，再搅匀，盛在瓷盆子内，每用药时，熁过，热铁篦子摊在厚软纸上。

双灵膏：　治一切筋骨肌肉疼痛。

良姜一两，炒，锉　白芥子半两，微炒

右为细末，每用药二钱半，头白面半两，水调成膏，摊在纸花子，止贴患处。

定痛没药散：　治一切打扑伤损，筋骨疼痛，并宜服之。

苍术一斤，刮去黑皮，炒深黄色　桂去粗皮　熟乾地黄焙乾　没药研　甘草炙微赤，锉　蒲黄各一两

右为细末，每服二钱，温酒一盏调下，不拘时候，日进二服。

至圣黑龙膏：

米粉一斤，紧者，妙①，用砂锅炒，勿令黑焦　甘松半两　香白芷半两　滑石三两六钱　黄柏二两　黄丹四钱

右为细末，每用滴水调成黑强膏子，摊在皱纸条儿上，可于内损疼痛处敷贴，每日一换。

至圣黑龙膏：　治一切筋骨损伤疼痛。

米粉四两，于银器内炒成块子褐色，放冷，研为细末，后入二味　乳香研细　没药研细。各半两

右三味，研极细，每用以好酒或醋调如膏，摊在纸花子上，贴患处。

加血竭大红膏：

当归锉　木鳖子锉碎　天台乌药锉　赤芍

① 妙：御药院方作“炒”。

药锉。各一两　小油四两。已上四味用小油浸七日七夜，滤去滓　乳香研，二两　历青滤过，持拔一上六两　黄丹罗过，一十两　加血竭别研，半两　没药别研，一两　琥珀杵碎研，一两

右件，乳香、历青铁锅内以慢火熬令消尽为度，时月看硬软，旋旋入前项浸药，油加减用之，候硬软停当，以绵滤在水盆内，持拔白色，旋入黄丹，再持拔颜色匀，於磁盒子内存放，每用铁铍子摊在厚软纸上，贴患处。

神效膏：　治损扑著筋骨疼痛。

小椒二两，炒黄色　乳香八钱，别研

右为细末，用好醋打面糊，调药涂在痛处，上用纸贴之。

大红膏方：

乳香　当归各二两　琥珀　香白芷　没药　白芍药　白及　白蔹各一两　历青一十六两　黄丹一十①两　小油四两　绵子一两　木炭三斤　定磁碗二只

右上八味为细末，同历青一处放在碗内，用文武火熬以历青溶开，次下小油，徐徐下之，看觳硬软得所，用绵滤在木盒内，放温，次下丹，熬成膏，若用时，摊于纸上用之。

得效方

通　治

撷扑刀伤接骨方：服傅。

腊月猪脂五两　黄蜡半斤以上，洗煎　铅丹罗　自然铜四两，研　密陀僧四两，研　朱砂一两，研

右用新铫鼎，先熔脂，次下蜡，于冷处下密陀僧、铅丹、自然铜，缓火再煎，入水中不散，更出鼎于冷处，下诸药，用柳篦搅匀，泻入瓷器内，不住手搅至凝，丸如弹子大，且用笋皮之类衬之，极冷方收。凡伤碎骨者，木石压碎骨者，先用此药火化开，糊骨上，然后夹定，用此药服之，须作小丸，如梧桐子大，每服十丸，葱酒调下。或伤损深者，捻成条入孔中；浅者，用油单为膏药贴之；甚者，灯心裹木夹之。加② 药力散再觉痛，筋③ 一服痛即止。又痛甚者，贴之即止。

又方：　二十五味服，治撷扑损伤，骨碎骨折，更④ 断刺痛，不问轻重，悉能治之，大效。

香白芷醋炒，加减　紫金皮醋炒　刘寄奴　川当归煨，盐水炒　赤芍药　白芍药米泔浸，炒　黑牵牛　生地黄盐水浸，炒　川芎米水浸　川牛膝茶水炒　乳香可加减　没药可加减　破故纸醋炒　木通去节　自然铜骨不碎折不用，则⑤ 好时用　木香茶水炒　藿香　木贼　官桂可加减　羌活　独活　半夏五钱，水炒，无痰不用　骨碎补　草乌醋炒，孕妇不用　川乌火煨，孕妇则不用。各一两

或加土当归、熟地黄、盐水炒。杜牛膝、茶水炒。土芎米水浸。尤妙。金刃伤锉出白者，去自然铜，骨碎骨折者用之，然须于此方内且去自然铜，临欲好时却入用之，早服成他疾。右先择出自然铜、官桂、没药、乳香不炒者，其余药或炒，或火焙，或日晒乾皆可，然后入不炒四味，同研为末，用蜜糊丸，如弹子大，用黄丹为衣，或被撷扑伤损，金刃箭镞，不问轻重，每服一丸。如被刃伤全断损内重者，以薄荷汤，或木瓜汤、姜汤、灯心汤吞下皆可。或撷碎骨及折骨，用自然铜，其他下⑥ 用。如骨折碎刺痛不止，加乳香、没药、白芷、川芎各五钱，入诸药中，生姜酒下，或不作丸，为末亦可，功效如神。

又方：服傅　治撷扑接骨刀伤。

---

① 一十：御药院方作“一”。
② 加：世医得效方作“如”。
③ 筋：世医得效方作“更”。
④ 更：世医得效方作“筋”。
⑤ 则：世医得效方作“临”。
⑥ 下：世医得效方作“不”。

川当归半两，洗净，别捣　铅粉半两，洛粉为上　鹏砂二钱

右为末，每服二钱，浓煎苏木汁调下。若损在腰上，先吃淡面半碗了服药，若在腰以下，先服药后吃淡面，仍下① 住呷苏木汁，更以糯米为粥，入药末三钱拌和，摊在纸上，或绢上，封裹损处。如骨碎，更须竹木夹定，以纸或衣包之。

清心药方：服。

降真香　香白芷醋炒　苏木盐水炒　枳壳水浸、去心　藿香清油炒　丁皮盐水炒　紫金皮　木香茶水炒　丁香半出② 水炒　木通去节　山栀子　大黄　连子肉酒煮　沉香　人参　当归湿纸煨　川芎煨　羌活　独活　花蕊石醋炮③　乌豆灯心少许　赤芍药各等分

右为末，或大小肠不通服此，亦可用五膈宽中散同服，立效。或恶血污心，或烦闷暴死，每服二钱，薄荷汤或灯心汤调下，或童子小便尤好。为散，水煎服亦可。如痰血口中出，加半夏。

自然铜散：　治打扑折骨损断，正骨科中经验方也。

乳香　没药　苏木　降真香　川乌去皮尖　松明节　自然铜火煅，米醋淬七次。各一两　地龙去土，清油炒，半两　真血竭三钱　龙骨生用，半两　土狗十枚，油浸，焙，为末。本草名蝼蛄

右为末，每服五钱，用无灰酒调下，如病在上，食后服；病在下，空心服。服之自顶心寻病至下两手，再周遍一身，下及两足，遇病处则颯颯有声，患人自觉药力习习往来。

又方：

自然铜累累然相缀如乱丝者最佳，一两重

右研细，水飞过，同当归、没药各半钱和匀，每服三钱，酒调频服，仍以手摩痛处。

瀹寮方又云：衍义云有人养折翅雁，饲以自然铜后遂飞去。

鸡鸣散：　凡坠压死者，急安好处，以手袖掩其口鼻上一食顷，眼开，先与热小便，若初觉气绝不能言，急擘开口，以热小便灌之，打扑闷绝亦用，先以此利去瘀血。

活血丹：　治患者血脉不和，筋急，行步不可，服之宽筋。

乾地黄酒煮，二两　当归煨　白芍药　续断面水炒　白术煨　川芎醋炒。各一两

右为末，面糊丸梧子大，每服三十丸，温酒下。

当归散：　救急疗坠马落车，被打伤腕折臂，呼叫不绝。服此，呼吸之间不复大痛，三日筋骨相连。

当归炒令香　桂心　甘草炙　蜀椒去汗。各三两④　芎藭六分，炒　附子炮，去皮脐　泽兰炒。各一两

右为末，酒服二三钱，日三服。如小儿被奔车马所损伤，其膝皮肉决，见骨节，绝死少苏，啼不可听闻，服之便睡，十数日便行走，其神验如此。忌海藻、菘菜、生葱、猪肉、冷水。

内　　损

大紫金皮散：　治打扑伤折，内损肺肝，呕血不止，或瘀血停积于内，心腹胀闷。

紫金膝⑤ 皮医方大成二两　降真香　续断　补骨脂　无名异烧红，酒淬七次　琥珀别研　蒲黄　牛膝酒浸一夕　当归洗，焙　桃仁去皮，炒。各一两　大黄纸裹煨　朴硝别研。各一两半

右为末，每服二钱，浓煎苏木、当归，酒调，并进三服，袖珍方二服。利即安。医方集成、南北经验方同。　外科集验方整骨续筋，生肌止痛，内伤肝肺，呕血不止，或在心腹胀痛，四肢无力，左右半身风瘫，并宜服之。紫金藤皮二两　降真二两　续断五两，要细者　骨碎补二两，去毛　无名异三两，烧红，酒淬七次　琥珀二两　牛膝三两，去苗，酒浸一宿　当归二两，去尾　桃仁二两，去皮　蒲黄一两　大黄一两，煨　朴硝半两，热汤泡化，用花叶纸滤过七次　右件为末，用苏木煎酒调，日

① 下：世医得效方作“不”。
② 半出：世医得效方作“米泔”。
③ 炮：世医得效方作“淬”。
④ 两：世医得效方作“分”。
⑤ 膝：世医得效方作“藤”。

进三服即效。

没药散[1]： 治打扑内损，筋骨疼痛。

没药 乳香 芍药 川芎 川椒去子及合目者 当归各半两 自然铜二钱半，炭火烧

右为末，用黄蜡二两溶开，入药末，不住手搅匀，丸如弹子大，每服一丸，用好酒煎开，乘热服之，随痛处卧霎时，连进有效。

打扑伤损

木香匀气散[2]： 医方大成、集成、南北经验方、袖珍方名木香调气散。 治从高坠下，或打扑伤损，腰胁心腹作痛，加红曲末少许，童子小便同酒调，空心热服。如无红曲，红酒亦可。方见大方科诸疝门。

麝香散： 治从高坠下，及打扑损伤。

麝香 水蛭各一两

右用水蛭锉碎，炒至烟出，研为末，入麝再研匀，每服酒调一钱匕，当下蓄血，未效再服，其应如神。卫生易简方同。又治折伤，用水蛭热酒调一钱，食须澹寮方食顷。知痛，更进一服。痛止，便将折骨药封，直至安平方去。

平胃散[3]： 治打扑伤损，不问爪破与暗伤，悉能治之。用冷水调涂则愈。方见大方科脾胃门。

急救方： 疗坠马落车伤腕折臂。

当归炒 桂心 甘草炙 蜀椒炒出汗。各七钱半 川芎半两 附子炮 泽兰炒。各一两

右为末，每用酒服二钱立效。忌海藻、菘菜、生葱、冷水等。

洗心散[4]： 治伤损瘀血凝滞大痛，大便亦痛。方见大方科积热门。

坠马方： 细研铜末，服之顿愈。

苏合香丸[5]： 治从高坠下，挟惊悸，血气错乱，昏迷不省，急服大效。方见大方科诸气门。

刀斧棒杖伤

单方： 治打扑伤，金疮闷绝。

右用蒲黄不以多少，为末，热酒灌下。

消 烦

四圣散： 治伤重烦闷欲死者，用此打血利大小便。

花蕊石散[6] 黑神散[7]二方见前 大圣散[8] 蒲黄散[9]已上二方并见妇人科 当归煨 牛膝 川芎米水炒 白芷醋炒 苏木 大黄各半两 莲子肉酒煮，半两

右为末，和丸，童子小便调服，或木通汤亦可，恶血立下。

傅 药

活血散： 治打扑伤损手足。

右用绿豆粉，新铁铫内经验良方新瓦或铁铫。寿域神方慢火。炒令真紫色，新汲水调令成膏，厚傅损处，须教遍满，贴以纸花，将杉木皮一片缚定，其效如神。澹寮方、医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、永类钤方、寿域神方、卫生易简方同。

治伤损，用生骨碎补研烂取汁，以酒煎服，滓傅伤处，数日平复，及被笞捶，身无全肤，用之大效。

地黄膏： 治打扑伤损，臂臼脱出，及一切痈肿未破，令内消。

---

① 散：世医得效方作“丸”。

② 木香匀气散：方见本书卷九十诸疝门二。

③ 平胃散：方见本书卷一百脾胃门二引和剂局方。

④ 洗心散：方见本书卷一百五十七积热门引和剂局方。

⑤ 苏合香丸：方见本书卷八十七诸气门二引和剂局方。

⑥ 花蕊石散：方见本书卷一百八十五金疮门二引和剂局方。

⑦ 黑神散：方见本卷引朱氏集验方。

⑧ 大圣散：方应见本书卷二百二十求嗣，但原书缺。世医得效方其主治及组方为“血海虚冷，久无子息，及产后败血冲心，中风口噤，子死腹中，撬开口灌药，须臾生下无恙。并治堕胎，腹中攻刺疼痛，横生逆产，胎衣不下，血运血癖，血滞血崩，血入四肢，应血脏有患，及诸种风气，或伤寒吐逆咳嗽，寒热往来，遍身生疮，头痛恶心，经脉不调，赤白带下，乳生恶气，胎脏虚冷，数曾堕胎，崩中不定，因兹成疾，及室女经脉不通，并宜服之。常服暖子宫，和血气，悦颜色，退风冷，消除百病，丈夫五劳七伤虚损，一切疾证亦治之。泽兰叶 石膏研，各二两 白茯苓去皮 卷柏去根 柏子仁炒 防风去芦 厚朴去粗皮姜汁炙 细辛去苗 人参去苗 乾姜炮 五味子 白芷 川椒去目及闭口者，炒出汗 白术各三分 当归去芦 芜荑炒 甘草炙 川芎各一两三分 生乾地黄一两半 官桂去皮，一两一分 黄芪去苗，三分 芍药一两三分 白薇半两 桔梗一两 川乌三分 阿胶半两 丹参三分 吴茱萸汤洗七次，焙炒一两 右为末，每服二钱，空心热酒调服。若急有患，不拘时候，日三服”。

⑨ 蒲黄散：方见本书卷二百三十六妇人门三十一产后七。

用生地黄研如膏，木香为末，以地黄摊纸上，糁木香末一层，又再摊地黄贴上，明旦痛即止，效。

减[1]痕方：　治打扑有痕伤，瘀血流注。

半夏为末，调涂伤处，一宿不见痕。

又方：　治瘀血流注紫黑，或伤眼上血紫黑，大黄为末，用姜汁调涂，一夜一次上药，一宿黑者紫，二宿紫者即白矣。

退　肿

苍术散：　治打扑损伤，皮不破，浮肿者，及角血，用此退之。

紫金皮　苍术　猪牙皂角盐醋炒　鸡脚风叶　骨碎补各等分

右为末，糊[2]水调糊肿处。

紫金皮散：　治一切打扑损伤，金刃箭镞，浮肿，用此效。

紫金皮醋炒　天南星　半夏　黄柏盐炒　草乌炮　川乌炮　川芎茶水炒　川当归[3]　杜当归　乌药　川白芷盐水炒　破故纸　刘寄奴　川牛膝　桑白皮各等分

右为末，生姜、薄荷汁兼水调糊肿处或伤处。皮热甚，加黄柏皮、生地黄五钱。有疮口者，勿封其口，四畔用此糊之。

麻　药

草乌散：　治损伤骨节不归窠者，用此麻之，然后用手整顿。

猪牙皂角　木鳖子　紫金皮　白芷　半夏　乌药　川芎　杜当归　川乌各五两　舶上茴香　坐拿酒煎熟　草乌各一两　木香三钱　伤重刺痛及近不得者，更加坐拿、草乌各五钱，手[4]慢陀罗花五钱入药

右并无服[5]制，为末，诸骨碎骨折出臼者，每服二钱，好红酒调下，麻倒不识痛处，或用刀割开，或用剪去骨锋者，以手整顿骨节归元，端正，用夹夹定，然后医治。或箭镞入骨不出，亦可用此麻之，或用铁钳拽出，或用凿凿开取出，后用盐汤或盐水与服，立醒。

断　筋

小香胶散：

白胶香末傅之。

又方：　金沸草根擂汁，涂筋封之，可相续。

止　痛

乳香散：　治打扑伤损，痛不可忍者。

白术炒　当归炒　粉草　川白芷　没药别研　交趾桂　明乳香别研

右为末，入别研药令匀，每服二钱，酒调，不以时服。

应痛丸：　治折伤后，为四[6]气所侵，手足疼痛。

生苍术半斤　破故纸半斤，半生半炒　舶上茴香六两，炒　骨碎补半斤，去毛　穿山甲去膜，桑灰炒胀为度，柴炙[7]亦可　生草乌半斤，锉如麦大

右除草乌半斤，用生姜医方集成、南北经验方、袖珍方、永类钤方生葱一斤，连皮生姜一斤，擂烂，草乌一处淹二宿，焙乾，　连前药同焙为末，酒煮下[8]糊丸，梧桐子大，每服五十丸，钤方三十丸。酒或米饮下。忌热物片时，少麻无妨。医方大成同。

寻痛丸：　止痛清心，行气活血，如神。

草乌去皮尖，生用　乳香火熟　没药火熟　五灵脂各三两　生麝香少许

右为末，酒糊丸，如指头大，朱砂五钱，研为衣，每服一丸，薄荷生姜研汁磨化[9]痛。

---

① 减：世医得效方作“灭”。
② 糊：世医得效方无此字。
③ 归：世医得效方此下注有“煨”字。
④ 手：世医得效方作“及”。
⑤ 服：世医得效方作“煅”。
⑥ 四：世医得效方作“血”。
⑦ 炙：世医得效方作“灰”。
⑧ 下：世医得效方作“曲”。
⑨ 化：世医得效方此下有“止”字。

澹轩方

扑　伤

无名异末治身伤，碎研生葱合和良，温酒调开先服药，别投数盏醉为乡。

扑伤胡孙姜易研，先将滓水酒同煎，留滓盦付损伤处，数日之间可脱然。

木石榼伤处

人遭木石榼肌肤，死血同凝肿迹粗，隔岁紫苏多取叶，细挼擦肿即消除。

接　骨

骨伤细研生铜屑，酒调一字解相接，更煎糯饮调蛎末，涂裹仍将栟板来[1]。

扑　伤

伤损须求双鲫鲜，先将一鲫带鳞研，盦涂损处绵包定，栟板合之夹直眠，一鲫烧灰余去胆，酒调细末二三钱，果然接骨并除痛，数日之间便十全。

榼伤头面破

水磨檄榄成膏之，头面伤痕付即便，痛痒切开马屁勃，火边热灸熨周员。

接　骨

火烧醋淬古文钱，没药乳香等分研，别入麝香少姜汁，酒调一字经霜缠。

卫生宝鉴

打扑损伤从高坠下

缪刺论云：人有所坠，恶血留内，腹中痛胀，不得前后，先饮利药，此上伤厥阴之脉，下伤少阴之络，刺足内踝之下，然骨之前血脉出血，刺足附上动脉，不已，刺三毛上各一痏。

当归导滞散：玉机微义名当归导气散。治打扑损伤，落马坠车瘀血，大便不通，洪袖珍方作浮。肿暗青，疼痛昏闷，畜血内壅欲死。

川大黄一两　当归三钱[2]　拔粹方、袖珍方一分。烟霞圣效方一两　麝香少许，别研

右为末，入麝香研匀，每服三钱，热酒一盏调下，袖珍方又云：和剂方只二味，等分酒调。食前，内瘀血云[3]。或骨节伤折，疼痛不可忍，以定痛接骨紫金丹治之。　烟霞圣效方右件为细末，每服三钱至四钱、五钱，醋一大盏，煎至三五沸，温服食前，大小便下黑血为验，累经效。

复元活血汤：拔粹方、袖珍方名伤元活血汤。治从高坠下，恶血留于胁下，疼痛不可忍。

大黄一两，酒浸　柴胡五钱　瓜蒌根玉机微义二钱　川山甲炮　拔粹方、袖珍方、微义二钱　当归各三钱微义六钱　红花　甘草各二钱　桃仁汤泡，去皮尖，研如泥，五十个　拔粹方酒浸

右除桃仁，为㕮咀，每服一两重，水二盏半，酒半盏，同煎至七分，下桃仁泥，再煎一二沸，去柤，大温服，食前，以利为度。利后痛不尽者，当服乳香应痛散。黄帝针经云：有所坠堕，恶血留内，若有所大怒，气上而不下，行[4]于胁下则伤肝。肝胆之经，俱行于胁下，经属厥阴少阳，以柴胡为引用为君；以当归和血脉，又急者痛也，甘草缓其急，亦能生新血，甘生血，阳生阴长故也，为臣；川山甲、瓜蒌根、桃仁、红花破血润

① 来：按文义应作“夹”。
② 钱：卫生宝鉴作“两”。
③ 云：卫生宝鉴作“去”。
④ 行：卫生宝鉴作“损”。

血为佐；大黄酒制，以荡涤败血为使，气味相合，使气血各有所归，痛自去矣。　拔粹方右件除桃仁外，锉如麻豆大，每服一两，水一盏半，袖珍方一盏。酒半盏，同煎至七分，袖珍方八分。去滓，大温服之，食前，以利为度。得利，痛或不尽，服乳香神应散。

神效接骨丹：　治打扑伤损，伤筋折骨，及寒湿脚气腿疼，或一切恶疮，疼痛不止，皆可服之。

乳香　没药　白胶香　密陀僧各四两，各别研　红豆　香白芷　大豆　贯芎　赤芍药　自然铜火煅，醋淬，如银为度　当归洗三次，焙　瓜子仁　水蛭各四两

右先以自然铜火烧红，醋淬，烧如银为度，用四两，入前十二味药，各等分，同为末，以黄蜡为丸，如弹子大，每服一丸，以黄米酒一盏煎开，和柤温服。年少者只一服，年老者加添服。病在上食后，在下食前。此药内去自然蛭[1]、水蛭、瓜子，加桂花、川练子、茴香，为细末，酒面丸如桐子大，每服十五丸，酸石榴汤送下，食前，日进二服，治小肠气如神。一切脐腹疼痛，并皆治之。此药男子妇人老幼皆为服，神效不可具悉。

紫金丹：　治打扑损伤，及伤折疼痛不可忍。拔粹方治落马坠车、打扑损伤瘀血、大便不通、洪肿暗香，疼痛昏闷，畜血内壅欲死。玉机微义定痛接骨。

川乌炮　草乌炮。各一两　五灵脂微义去土　木鳖子去壳　黑牵牛生　骨碎补　葳灵仙　金毛狗脊　自然铜醋淬七次　防风各五钱　拔粹方、微义已上八味各半钱　禹余粮醋淬七次　拔粹方、微义四两　地龙去土　乌药　青皮去白　茴香炒，各五钱　拔粹方、微义各半钱　乳香微义无　没药　红娘子微义红药子　麝香各二钱半　陈皮去白，五钱　拔粹方、微义半钱

右为末，醋糊丸如桐子大，每服十丸至二十丸，温酒送下。病在上食后，在下食前。

乳香神应散：　治从高坠下，疼痛不可忍，及腹中疼痛。

独科栗子　雄黑豆　桑白皮　乳香　没药各一两　破故纸炒，二两

右为末，每服五钱，醋一盏，于沙石器内，煎至六分，入麝香少许，温服。拔粹方同。玉机微义云：宝鉴有当归一两，水蛭炒半两。

拔　粹　方

接骨丹：　治打扑伤损皮骨者。

苏木一钱，极细末　定粉一钱　南鹏砂别研　半两钱烧红，醋淬为末。各一钱

右为末同匀，作一服，煎当归酒调三二服，痛止勿服。

巴戟汤：　治从高坠下，及打扑内损，昏冒嗜睡，不能饮食，此谓血闭及藏府不通。

巴戟去心，半两　当归　地黄　芍药　川芎各一两　大黄半两

右为粗末，水煎，以利为度。

接骨丹：　敷贴药。

天南星四两　木鳖子三两　没药半两　官桂一两　乳香半两

右为细末，生姜一斤，去皮，烂研，取自然汁，入米醋少许，白面为糊，同调摊纸上，贴伤处，以绵系之，用篦子篦定，麻索子缠。

破血散痛汤：　治乘高损伤坠马，恶血流于胁下，痛甚不能转侧。玉机微义破血散，乘马损伤，跌其脊骨，恶血流于胁下，其痛苦楚，不能转侧。

羌活　防风　中桂各一钱　柴胡　连翘各二钱　当归梢二钱　麝香少许，别研　苏木一钱半　水蛭炒，去烟尽，别研　微义二钱

右件分为二服，每服酒二大盏，水一大盏微义水酒一盏。煎，去滓，调蛭麝二味热服。微义右件分作二服，每服二大盏，酒水一盏，除水蛭、射香外，另研如泥，煎余药一大盏，去滓，上火合稍热，调二味，饥服之。

接骨散：

金：　半两钱一文。烧红，醋蘸淬。如无，古老钱代。

① 蛭：卫生宝鉴作“铜”。

木：当归　藿香叶各一钱

水：水蛭三钱，同糯米炒紫色为度　血竭一钱

火：虎骨一钱，酥炙　绵二钱，烧灰　血余二斤，微炒焦。即儿孩儿胎头也

土：乳香　麝香　没药各一钱

右为细末，别裹，若损折甚者，每服三钱，轻者，每服二钱半。如有损折者，除蛭、钱。服药时，令病人先饮好酒三五盏，服后更饮二三盏，次用纸裹，以绳穿板子缚之。

治破伤见血，酒一碗煎服。半两当归蜡二钱，合来捶碎酒同煎，直须软烂连柤吃，一切伤疮保万全。

益智汤：

乾生姜四两　杏仁一斤，炒　白面三斤，炒　甘草七两，炒　盐三两，炒，旋加　益智仁三两　京三棱一两　青皮　陈皮各二两　蓬莪茂一两

右为极细末，白汤点服。

医方大成

折　伤

本事方治打扑内损，筋骨疼痛。

没药　乳香　芍药　川芎　川椒去子及闭口者　当归各半两　自然铜三钱半，炭火烧　永类钤方醋淬，半两

右为末，用黄蜡二两，溶开，入药末，不住手搅匀，丸如弹子大，每服一丸，用好酒煎开，乘热服之，随痛处卧霎时，连进有效。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

治打损接骨方：

接骨木半两　乳香半钱　赤芍药　川当归　川芎　自然铜各一两

右为末，用黄蜡四两，溶药末，搅匀，候温，众手丸如龙眼大，如止打伤筋骨，及闪挪疼痛者，用药一丸，好旧酒一盏，浸化药，承热服之；若碎折筋骨，先用此药贴之，然后服食。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

百一选方救急疗坠马落车，伤腕折臂。

当归炒　桂心袖珍方炙。永类钤方肉桂　甘草炙　蜀椒去汗。各七钱半　川芎半两　附子炮　泽兰炒。各一两

右为末，酒服二三钱，立效。忌海藻、菘菜、生葱、冷水等物。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

仁斋直指方茴香酒：　治打坠肢体，凝滞瘀血，腰胁疼痛。

破故纸炒　茴香炒　辣桂各等分

右为末，每服二钱，食前，热酒调服。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

经验方治打撷折骨损断，服此药，自顶心寻病至下两手，同遍一身，遇受病处则飒飒有声，觉药力习习往来则愈矣。　经验良方治打撷折骨损断，嘉定有专卖此药，每服一贯，足其药服之，自顶心寻病至下两手，再周遍一身，下及两足，遇病处则飒飒有声，患人自觉药力习习往来。由是起家，衣食裕足，子传父业，仰给于此，后以健讼系囹圄，一道友救之，得免于戾，感之莫报，愿献此方，乃炷香曰：此父母重誓不许传授，然无以广好生之心。道友晓之曰，救人疾苦，父母当享其报，安有违誓，上累祖宗。遂传此方。

乳香玉机微义三钱　没药　苏木　降真香　川乌去皮尖　微义三钱　松明节微义三钱　自然铜火煅，醋淬七次。各一两　永类钤方醋淬，水飞过　地龙半两，去土，油炒　水蛭油炒，半两　血竭三钱　钤方四钱　龙骨半两，生用　土狗十个，油浸，焙乾为末。本草名蝼蛄

右为末，每服五钱，无灰酒调下，病在上食后服，病在下食前服。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

经验方治打扑伤损，卫生易简方、伤重便觉气绝不能言，取药不及。用胡孙姜研烂取汁，以酒煎服，滓傅伤处。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

经验方走马散：　治折伤接骨。

柏叶生、少用　荷叶生　皂角生，多用　骨碎补去毛。各等分

右为末，于折伤处揣定位，入元位，以姜汁调药如糊，摊在纸上，贴骨断处，用杉木板子夹定，以绳缚之，莫令摇动，三五日后开看，以温葱汤洗之，后再贴药，复夹七日，如痛甚加没药。医方集成、南北经验方、袖珍方永类钤方同。　经验良方治接骨诗曰：青柏乾荷叶，此药最为强，皂叶并碎补，止痛绝为良。

柏叶生，少用　荷叶生　皂叶生，多用　骨碎补去毛

右已上各一两，为末，于著跌处揣定骨，入元位，以杉木片子量大小，以纸衬于杉木内，生姜汁调药如糊，摊就纸上，贴骨断处，以绳缚定，夹，外更以熟绢缠之，莫令骨动，三日或七日开看，以葱汤洗，不可令水大热。若骨无动，再贴药，复夹七日，除换药贴。如痛甚，如[1]没药少许贴。

南北经验方

折　伤

秘方治打扑伤损，落马坠车，一切疼痛。

乳香　没药　川芎　白芷　芍药　甘草　牡丹皮　生地黄各半两

右为细末，每服二钱，温酒并童子小便调下，不拘时候服。袖珍方同。

秘方治抹伤损。卫生易简方伤重便觉气绝不能言，取药不及。

南星　白芷　半夏　白及　黄柏皮　赤小豆各半两

右为细末，姜汁傅患处，蜜糖亦好。袖珍方同。

张子和方接骨散：　并治恶疮。

金头蜈蚣一介　金色自然铜半两，烧红醋淬，研为细末用　乳香二钱，研为细末用　铜钱重半两者，取三文或五文，烧红，醋研碎细　金丝水蛭一钱半，每介作三截，瓦上燖去气道为度

右为细末，如疮肿处，津调半钱涂，立止痛。如见出脓，先用粗药末少许，小油少半匙，同打匀，再入少半匙，再打匀，又入前药接骨散半钱，再都用银钗子打成膏子，用鸡翎扫在疮肿处，立止痛，天明一宿，自破便效。如打破骨头并损伤，可用前项接骨散半钱，加马兜苓末半钱，同好酒一大盏，热调，连滓温服，如骨折损，立接定不疼；如不折了，吃了药立便止住疼痛。此方累经效验，不可具述。袖珍方同。

袖　珍　方

折　伤

治诸般打扑伤损，皮破血出，痛不可忍。

右赤石脂研末傅之效。

又方：　用路边篱上婆婆针带儿擂水化服立效，渣罨疮口上。

永类钤方

和剂五积散：　踈风顺气，五劳七伤及伤损头疼，伤寒发汗，姜葱煎，热服。下元有伤，可加木通、茴香、苏木、乌药、何首乌，弱者无汗亦可三四服。伤重，昏闷不省，酒调苏合香丸。壮者，热童便更佳。和剂七气汤亦匀气。

① 如：普济方卷三百九折伤门作“加”。

彭氏匀气散：　治同上证。

茴香　青皮　制厚朴　杜乌药　白芷各半两　陈皮　麦芽　前胡　桔梗　苍术　粉草　杏仁各一两

咬咀，姜枣煎。　理伤续断方匀气散，凡伤重，先下此药调气，然后服损药。茴香　青皮　厚朴制　白芷　乌药　杏仁去皮尖。各半两　陈皮　麦蘖　前胡　桔梗　苍术　粉草各一两　右为末，每服二钱，水一盏，姜枣煎至八分，空心服。

邵氏用和剂乌药顺气散，每服加苏木、桃仁、生香附子，并贴水败荷末一钱重，水蛭一分，炒茴香一分，水煎服。停血胀，加毛蛇藤根，生研，自然汁酒汤各半浸服。若心头紧痛，通气通血，壮盛人槐花散：槐花、黄黄连各半两，熟枳壳、生大黄各三钱，黄芩二钱，朴硝、苏木各一钱，咬咀，钱作二服，灯心百茎，滤后加清油一平钱，又姜蜜小便酒，又空心服即通。

诸伤损血气并心不省。

白芷一两　大黄　木通各半两　山栀十介　百草霜二钱

右细末，每三钱，苏木汤下。血作潮热，大艾煎醋汤调。

诸伤气膨胀，大便不通，腹肚筑痛。

雄黄　腻粉各二钱　巴豆十粒，五粒去油生用，五粒清油灯烧存性　真蒲黄一钱

右为末，饭丸绿豆大，每十丸，冷茶下，过一时未通，用水边乌桕根研汁，吞十五丸即通。

诸伤小便不通：

猪苓　滑石　车前子各半两　天花粉三钱　海金沙二钱半

右细末，麦门冬煎汤。大小便俱不通，生大黄末三钱，当归尾二钱，红花二钱，苏木三钱，熟枳壳半两，煎熟入大黄末，加童便、酒煎，有潮热除酒用水。

济生夺命散：　治从高坠下，木石压损，及刀刃伤，痕血凝滞，心腹胀痛，大小便不通欲死。

红蛭　石灰慢火炒令乾黄色　天① 黄　黑牵牛头末各二两

右细末，每二钱，热酒调下，约行四五里，再以热酒调牵牛末二钱催之，即下恶血或块，以尽为度。

邵氏用水蛭、茴香各一两，先以茴香三钱同水蛭炒，去茴香，又以茴香七钱微炒，共为末，用水煎苏木，加酒和调乌药顺气散一贴，作三服。又一法，硇砂、水蛭、竹膜、丝头四味，将砂炒蛭，去砂，用蛭为末，竹丝烧灰和匀，酒调服。

和剂花蕊石散②：　治证同上。方见金疮门。

邵氏骗通之法，打扑伤损，得三五日，水食不入口者，用生猪肉二大钱，口中嚼烂，或用刀打烂，却以温水洗去血水，又再擂烂，用阴阳汤打和，却用半钱，多入碗中，以鸡毛送入喉内，闭口，以阴阳汤灌下之。其食虫闻此肉香，拱开瘀血，寻上贪食，胸中自然开解，却用通药。此损血凝聚心间，其虫食血饱，病人心膈闷，他物虫不来探，故用此活法。

敷贴药

三因集胡氏夺命散：　又名玉真散。治打扑金刃伤，及破伤风湿如痉者，至危至效。

南星　防风各等分

右细末，疮口破伤风依上敷贴疮口，仍以温酒调服一钱；牙关紧急，角弓反张，或死而心尚温者，热童便调下一钱；斗欧内伤坠压，并酒和童便调，连进三服苏。南星为防风所制，服之不麻，追出黄水尽为度。　经验良方天南星汤洗，去皮脐　防风去芦　右等分为末，如破，以药敷贴疮口上，后以生姜自然汁少许，温酒调下一钱；如牙关紧急，角弓反张，用药二钱，童子小便调下。伤重，但

① 天：济生方作“大”。

② 花蕊石散：方见本书卷一百八十五金疮门二。

心头温，以童子小便调二钱灌下，并三服可活。

瑞竹堂方治前证，又用黄蜡一块，热酒化开服，立效。与玉真散一对连用神效。

邵氏贴诸伤损：　生独活一两　草乌三钱　南星半两　紫荆皮　粉葛尖尾　黄橙叶，又名木腊叶，能散血，麦菜生者佳，蓝菜能住痛，此五味倍用，不拘等介，细末。如打损伤有大紫赤色，未破肉，可加良姜、山桂皮、生姜自然汁调贴，无姜，水亦可。若紫黑色已退，除姜桂姜汁，却用后药煎汤泡洗，上用前药，以葱汁茶清调放温贴，或有痛，可用饼酒麸调，不用姜，痛肿即除，仍吃药消之。若伤损跌磕，骨痿痛，仍加前姜桂生热贴之，药气透骨痛止。

桃红散：　贴损折筋骨肿痛。

草乌三个，去皮，见血者不可用　飞罗面半两　国丹二钱　贝母半两　天南星半两

右细末，生姜自然汁调贴。加① 作潮热，茶清调贴。加② 皮破见血者，去草乌，恐坏皮肉。若轻者血聚，以罗日叶研罨患处，帛缚之。

骨断者，可用肥株去皮弦子膜，以童便煮生姜，二味打烂，入飞罗面，加入前独活八味打和，用纸布绢片，却用前后正副夹，须子细整顿，其骨紧缚后，看上下肿痛消者，方可换药，肿痛未退，不可换药，仍服住痛药，且贴了此肥株一番，便如铁钳牢了，宜斟酌日子，看有无动作，方可换药。

诸伤至重，但不透膜者，以海味中咸白螵，拣大片色白而有红丝者，成片铺在伤处，以帛扎之，血即止。如膏脂出，不伤肉膜者，即剃去患人头心发，不令患人知，以热熨斗于顶上一熨，骨脂自入。以桑白皮线缝合，用血结草、木蜡叶、磁石为末，乾掺之即合。

彭氏黑龙散：　治诸扑伤损，筋骨碎断差爻生，田③ 先煎葱汤药水淋洗，整拔平正，看冷热，用姜汁或地黄汁调，或纸或帛，随大小裹贴，有破留口，别用敛药。如骨断碎，斟酌夹缚，三日一次淋洗换药，不可去夹，以待骨续。如刀箭兽啮成疮，坏烂搽蹉肿痛，用姜汁和水调贴；有破留口。川山甲六两　丁皮六两　当归二两　百草霜　枇杷叶，略用甚子细末，姜汁和水调贴。　理伤续断方黑龙散，贴用。治跌扑伤扑，筋骨碎断，差爻出臼，先煎葱汤或药汁淋洗，拔伸整擦，令骨相续平正后，却用生姜汁或生地黄汁和水调稀，却将熟帛或皮纸，量损处大小薄摊于上贴之，次以木皮，约如指大片疎排，令周匝，将小绳三度缚之，要紧。三日一次，再如前淋洗换药贴裹，不可去夹，须护，毋令摇动，候骨生牢稳，方可去夹，则复如故。若被刀箭伤，虫兽伤啮，成疮穰烂，肌肉不生，跌磕肿痛，并用姜汁和水调贴，有破则留口，以风流散填涂。川山甲六两，炒黄，或烧存性　丁香皮六两　土当归二两　百草霜散血，入半两　枇杷叶根去毛，入半两　一云山枇杷根　右焙碾为细末，姜汁水调，或研地黄汁调用。

经验伤损打扑伤筋骨，胡孙姜即骨碎补，石上生者补损，樟树上生者通气。治风损，各用一半，研烂取汁，以酒煎或调服，留滓敷伤处。制法：去皮毛，切片微炒，常用煮酒窖七日后饮之。

打扑有痕伤，瘀血流注，半夏末水调涂伤处，一宿不见痕。经验良方同。作潮热者，大黄末姜汁调涂，一夜一次上药，宿黑者紫，二宿紫者白矣。

指爪甲伤擘裂，用澹火煨热葱叶，剥去皮，取其中葱涎涕罨损处，仍陆续煨易热者，痛止而安。经验良方同。续筋，金沸草根研，和滓汁，以筋相对涂而封之即续。蜀儿逃走多刻其筋，用之验。

伤损皮肉破，及刀刃伤，急用未经水葱白，细切，炒极热裹伤处，血止痛定，或用晚蚕我④ 为末，和石灰罨伤处，住痛止血合

① 加：普济方卷三百九折伤门引永类钤方作“如”。
② 加：普济方卷三百九折伤门引永类钤方作“如”。
③ 爻生田：普济方卷三百九折伤门作“错每”。
④ 我：普济方卷三百十折伤门作“沙”。

口。

胸胁诸骨伤断，黄云膏：

木菖蒲炒，常用　红内消如肿加，生者五两。即何首乌　白芷生用，风加一两　赤芍生，二两，痛亦加　土独活生，三两，常用

为末，热酒调涂。

诸损敷贴：

当归三两　白芷三两　肉桂半两　薰陆香没药各一两

为末，姜汁调。白芷一味自佳。

欧阳氏贴损：

白芷　赤芍　南星　天花粉　木蜡叶　牡丹皮

少许为末，姜汁调贴。

乾　糁　药

彭氏风流散：

石膏十一[1]两，泥固济，火煅　白凡飞，二两　枇杷叶少许　松脂　黄丹各一两

为末，伤经久者，药水洗后用；疮干，用油调敷，新破伤忌风湿。

邵氏破伤血不止：

真血竭三[2]钱，或用番降节中油代亦可　五倍子一两　陈紫苏叶三钱　白芷半两　海金沙一两

细末掺之，军前急救，不可著水至效。

淋　洗　药

彭氏用生葱切、京芥、杜当归等分，煎沸汤放温洗，或加连翘、防风、白芷、黄连。

邵氏用南蓼、杜独活、藁本、黄柏、生姜煎洗。如有口，除姜蓼；损而青肿，用此二味。若肉冷痹痛，骨断而肿，不可洗。伤口有脓水别用。合口药如前风流散。

凉血消肿：千金草即京芥　山桂皮　藁本　石南藤　皂角　连根葱煎水洗。

御药院方淋渫顽荆散[3]：　治诸坠压伤折筋骨，瘀血结痛。淋洗宜避风。方见圣惠方。

又方：

桑白皮　赤芍　白芷　乌药　左缠藤　臭橘叶

金疮去乌药，加京芥、防风，如臭加霍香，如毒加乌桕叶或桕根皮、黄桑叶，如有脓去京芥，加五倍子、白芷、黄连。

风　损　药

邵氏诸风损伤折：

乾姜洗，一两以下　姜蚕生，水洗，二两　木鳖水浸，去壳，二两　杜独活三两　藁本二两　乳香水浸，半两　没药水浸，一两，二味别研　藁本　抚芎　制枳壳　赤芍　破故纸炒　续断酒浸，炒　黑牵牛炒　穿山甲炒。各二两　白芷　肉桂　独活　良姜净　细辛　当归酒浸　川牛膝酒浸，焙。各一两　草乌去皮尖，三两半　羌活半两　骨碎补炒，去毛，三两　苍术炒，半斤　海桐皮酒浸，炒，三钱　附子川乌炮。各一介。后二味看虚实加

右末，每药末一斤，用面二两，酒水煮糊，丸梧子大，每二十丸，壮实者加二十五丸。有臂胛头痛，生葱姜酒细嚼吞下；两胁腰腿疼痛，茴香姜酒空心下；脚膝痛肿，木瓜姜酒下。四五月加京芥，春月去破故纸，夏月去牵牛。

治损接骨活血住痛，虚弱及经久未安。

附子八钱，炮　泽兰一两　川椒去目及第二重皮，炒半两，放冷　甘草半两　当归　川芎　独活各半两　白芷一两　川乌八钱

右细末，细嚼，生姜酒调，如刀伤，不用酒。骨断皮不破，加乳没浸酒调；体弱伤损气痛，茴香姜酒调，看虚实，每服加少草乌末。

脑上有伤，头痛不止：

京芥　川芎各半两　白芷一两　荜澄茄二钱

右为末，热酒调。

诸损伤草药捷径：

毛蛇藤，有血瘀多加一两　打破，太青根半两　化气，矮樟根半两　熟骨草半两　柞茆七寸

---

① 十一：普济方卷三百九折伤门引永类钤方作“十”。

② 三：普济方卷三百十一折伤门引永类钤方作“二”。

③ 淋渫顽荆散：方见本书卷一百八十六折伤门一引圣惠方。

长七茎 住痛多加紫金藤，又名山甘草，用一两可加姜三两，拌和 牛膝根半两 消血瘀，加用过路蜈蚣，即过墙枫一两 左缠接骨草一两 松圊一两

右生研，酒浸开，去滓，加童便温服。体弱温热服。有瘀血在内，用麻油葱同酒后入，以滓盒伤处，皮破血出者不用贴。

凡伤重用姜半斤，坛一口，酒水各半，用前药擂烂，先用猪蹄筒骨熬汁，加前药同煎至半坛，日夜服尽，偃卧安。此法是戈法，打损遍身难贴，边吃边搽尤妙。

诸伤损筋折骨，先用趁痛散住痛。

川独活 川五灵脂 乳香别研 白芷 北茴香各一两 防风 百草霜 没药各半两 净生地黄二两半 当归二两 杜白芷三两 桔梗三两 草乌二钱，小麦汁煮透，去皮尖，焙 赤芍二两

右为末，每一大钱，煨葱头酒或炒松节姜酒调下。

接骨散： 诸伤筋折肿痛，服之住痛消肿。

白芍二两 故纸炒，一两 自然铜醋淬 没药别研 羊胫骨炭各一两 白茯苓 骨碎补去毛。各二两 川乌炮 木鳖去壳，并油煨。各半两 虎骨随多少，醋煮别研

右细末，每一大钱，依前汤使调下。烧羊胫炭法：四五月收麻羊粪，用茆一层，又加粪一层，尽意烧之存性，合了烟令作炭，先以姜汁童便，候炭成将入汁内淬，晒乾为末。

筋骨散： 治新旧损，除痛壮筋骨，可常用卖① 。生地黄 赤芍 当归 石南藤各二两 杜白芷 骨碎补炒，去毛。各三两 五灵脂 肉桂 山桂皮 京芥穗各一两 桔梗四两 川乌炮 草乌制。各半两 雄黑豆煮，去皮，四两

右为末，姜汁和酒调。妇人风损痹痛，煨葱酒调。

接骨续筋，住痛生血，用竹心傅，甚神秘之，内加玉真散二味。

又胜诸方：

乳香 没药 自然铜醋淬七次 南木香 生地黄 熟地黄 川羌活 当归 川独活 川芎 南星 防风 松嫩心去毛 粉草 侧柏叶醋煮加倍用 草乌数个，制，去皮尖，痛甚加作五七个 柘木溏火中煨存性作炭，前药各等分，松心、侧柏、柘炭加一倍用

右细末，生姜自然汁调下，或蜜丸弹大，生姜汁和酒嚼下。

应痛乳香丸： 治诸损。

乳香 没药 信朱别研。各半两 白胶香一两，同乳香溶② 草乌制，四钱 石南藤二两 骨碎③ 炒，去毛 桔梗 白芍药各二两 熟地黄一两 荆芥穗一两 暗松节烧过存性，一两 川乌二钱

右细末，醋酮丸梧子大，每三十丸，煨葱或葱④ 或松节酒⑤ 。

神仙透骨丹： 骨断八分加用此药。

当归四两 川独活二两 乳香 白交香半两，溶过用 生熟地黄各一两 自然铜醋淬，半两 侧柏叶四两，酒蒸焙 肉桂半两 石南藤二两

右细末，糯米糊弹大，国丹为衣，每一丸，炒松节或番降节，酒下，看损上下服；亦可梧子大丸，每三十丸，前药加松条、松节、好土荆芥、桔梗各二两。脚气入骨痛，木瓜浸酒，黑豆炒烟起浸酒。

彭氏活血丹： 治打扑伤损，折骨碎筋，瘀血肿痛烦闷，风痰瘫痪顽痹，妇人血风，产后败血浮肿，血气疠痛，风劳发动，四肢痠疼。孕妇勿服。

青桑灰一斤，好醋杀火大粟间焙 骨碎补制焙 南星姜汁浸一宿，焙 赤白芍药兼焙 牛膝洗焙 川乌炮 雄黑豆各一两六钱 自然铜醋淬 木鳖子肉切，和面炒赤。各八钱⑥ 净细辛一两，焙 没药四钱 乳香六钱，并别研 白胶香三钱 血竭六钱，或番降节代

右为末，糯米粉醋煮糊丸，杵千下，集手丸，缓则发裂，大丸重六钱湿，中丸三钱

① 卖：普济方卷三百九折伤门引永类钤方作“买生”。
② 溶：普济方卷三百十折伤门引永类钤方作“研”。
③ 碎：普济方卷三百十折伤门引永类钤方此下有“补”字。
④ 或葱：普济方卷三百十折伤门引永类钤方无此二字。
⑤ 酒：普济方卷三百十折伤门引永类钤方此下有“下”字。
⑥ 钱：普济方卷三百十折伤门引永类钤方作“分”。

湿，候乾，以漆① 擦手上，将二三丸挪漆② 为衣收用。每半丸，无灰酒磨化，渐煎三五沸，温服无时，以纱葛袋收挂净处，经久不坏。

小红丸： 治诸伤劳损，跌折筋骨，风湿挛拳，壮筋骨、活经络、生气血。

川乌 何首乌 苍术 蛇床子 五灵脂 白胶香 赤小豆 牛膝 当归各制净一两 乳香二钱

右酒糊丸绿豆大，每三五十丸，酒下。

大红丸： 治证同上，不问新旧经年诸伤损。孕妇勿服。

赤白芍药兼用一斤 何首乌一斤，焙 川乌一斤七两，炮 南星一斤七两 当归十两 骨碎补姜制，一斤 牛膝十两，净 北细辛八两 青桑灰三斤，或不用 赤小豆二升 自然铜二两，醋淬

右细末，醋糊丸梧子大，信州朱为衣，每二十一丸，温酒下。 理伤续断方治扑损伤折，骨碎筋断，疼痛痹冷，内外俱损，瘀血留滞，外肿内痛，肢节痛倦，应诸损痛，不问年深日近，并宜服之。常服补损坚筋固骨，滋血生力，神验不可具述。每服三十丸，温酒醋汤任下，不拘时候，孕妇莫服。赤敛一斤即何首乌，焙乾 川乌一斤七两火煅拆 天南星一斤焙 芍药一斤焙 土当归十两焙 骨碎补一斤姜制，焙 牛膝十两酒浸，焙 细辛八两去苗叶，焙 赤小豆二升焙 自然铜四两煅存性 青桑灰五斤煅醋淬，缺此一味亦可，其上俱要制，焙后方秤斤两

右敛、星、芍药、归、补、膝、辛七味，并用当土者，同余药罗为细末，醋煮面糊为丸，如梧子大，朱为衣，每服三十丸，温酒下，醋汤亦可。损在上食后服，在下空心服。伤重不拘时服，或与小红丸互用亦可。

黑神丸： 治证同上。

白蔹一斤 白及四两 当归四两 白芍 南星六两 川乌三两 骨碎补制，八两 牛膝九两 百草霜半两 赤小豆一升

右为末，醋糊丸梧子大，汤使同上。一方加细辛或白鲜皮。 理伤续断方黑丸子，治打扑伤损，驴马跌坠，骨断筋碎，百节疼痛，瘀血不散，浮肿结毒，一切风疾，四肢疼痹，筋痿力乏，浑身倦怠，手足缓弱，行步不前，妇人诸般血风劳损，并宜服之。每服二十丸三十丸，用煨葱酒或茶任下，孕妇莫服。白蔹一斤焙 白及四两焙 南星六两焙 芍药十两焙 土当归四两焙 骨碎补八两焙 川乌三两焙 牛膝六两焙 百草霜十两 赤小豆一斤 右除星、芍、归、补、膝、豆用土产者，草霜釜上取，同为末，醋糊为丸，如梧子大，每服三二十丸。

当归散： 治诸风损折伤，或作痈疽，或因损中风瘫痪，或劳役所损。

泽兰 当归 牛膝 续断各十两 芍药 白芷 川芎 肉桂 细辛各五两 桔梗 甘草各四两 川乌 川椒各三两 白杨皮三两，或不用

右为末，酒调下。 理伤续断方治打扑伤损，皮肉破碎，筋骨寸断，瘀壅滞结，肿不散，或作痈疽，疼痛至甚，因损后中风，手足痿痹，不能举动，筋骨缝纵，挛缩不舒，及劳役所损，肩背四肢疼痛，并宜服之。此药大能续筋接骨，克日取效。泽兰十两 川当归十两 芍药五两 白芷五两 川芎五两 肉桂五两，去粗皮 川续断十两 牛膝十两 川乌五③两 川椒三两，去目 桔梗四两 甘草四两 白杨皮不用亦可 细辛五两。已上俱要净秤 右为极细末，每服二钱，热酒调下，不拘时候。

乳香散： 治证同上。

乾姜 肉桂各三两 牛膝 羌活 川芎 杜细辛 姜黄 芍药 草乌 川乌各四两 骨碎补 当归 苍术 木鳖肉各六两 没药五两 何首乌十四两 桔梗十两 乳香半两 赤小豆一升 白芷三两 海桐二两，不用亦可

右为末，酒调。 理伤续断方治跌扑伤损，皮肉破绽，筋骨寸断，败血壅滞，结肿烂坏，疼痛至甚，或劳役所损，肩背四肢

① 漆：普济方卷三百十折伤门引永类钤方作“柳胶”。
② 挪漆：普济方卷三百十折伤门引永类钤方作“柳胶”。
③ 五：理伤续断秘方作“三”。

疼痛，损后中风，手足痿痹，不能举动，筋骨乖纵，挛缩不舒。大能续筋接骨，卓有奇验。常服结血止痛生力。每服二钱，温汤调下，不拘时候。肉桂三两　乾姜三两　牛膝四两　羌活四两　白芷二两　川芎四两　细辛四两　姜黄四两　碎补六两　当归六两　芍药四两　草乌四两　川乌四两　苍术六两　桔梗十两　赤小豆一升　乳香半斤　没药五两　何首乌十四两　木鳖六两，去壳麸炒。乳没别研。一方去木鳖加海桐皮　右焙，碾为末，续入乳没末，和汤使调服如前。

鳖甲散：　治五劳七伤，四时伤寒壮热，骨节烦疼，痰嗽岚瘴，心腹积气，一切风疰，妇人血风，产前产后诸疾并治。

鳖甲醋浸，炙令赤　肉桂　紫菀　川芎　白芷　秦艽　羌活　当归　乾姜　陈皮各四两　乌药　五味子　芍药　柴胡各七两　苍术　川乌四十个，炮　桔梗二斤半，拣净

右细末，每二钱，姜二片，乌梅半个，煎热服。伤寒加葱白，劳损加酒。

黑虎丹：　治诸损，男女头风，手足麻痹。

川乌　木鳖肉各一斤　地龙净洗去土，十两　黑小豆半斤　理伤续断方半斤　五灵脂二两　续断方加松墨二两，醋炒

右为末，以五灵脂同面糊为丸，一丸至二丸，温酒薄荷茶皆可下。　续断方右四味为末，五灵脂醋研碎，煮面糊为丸龙眼大，每一丸或二丸，细嚼，酒下，薄荷茶亦可，不拘时。

何首乌丸：　宽筋，治风损。

何首乌十斤，生黑豆半斤同煎　理伤续断方黑豆半升同蒸熟　薄荷二十两　青木香　牛膝各五两　续断方二十两　皂角一斤，烧存性　续断方二斤，一斤烧存性，一斤蜜炙用　牵牛十两，炒取头末　川乌二两，炮

右酒糊丸，续断方如梧子大。葱汤薄荷茶下三十丸。续断方此下云不拘时下。

欧阳氏治诸损，红黑二散：

当归　川芎　白芷　陈皮　赤芍　牡丹皮　茴香　柳桂① 各一两　嫩松香蒸过，去毛　杜当归各四两　生地黄二② 两，研细末　草乌酒醋炒自然铜酒醋淬。各一两　苍术　良姜　骨碎补制。各二两　杜独活四两　柏木炭、松香加倍，作黑末，二药各作末，随病重轻打和，茴香汤或姜葱酒调，常合和剂，石南丸兼服。

又方：

草乌　细辛　羌活　独活　白芷　牛膝　白胶香　五灵脂　川芎　甘草　藁本　茴香　藿香各二③ 两　石南藤　木瓜　自然铜　骨碎补　当归　乾姜　肉桂④ 等分

右细末，酒调通⑤ 用。如伤重，去石南藤加杜当归；脚伤重，加木瓜；手伤重，加木鳖子；腰伤重，加茴香、牵牛。夏月减姜桂，加百药煎石南藤。

秋担⑥ 接骨散：

姜黄　蒲黄　骨碎补炒　无名异煅　生地黄　生姜各自然汁一两

右为末，酒调，外用生⑦ 癞蛤蟆一介，研如泥敷贴。

集验打伤肿痛，无名异细末，热酒服。赶下手末、血皆散失。

四炒⑧ 散：　治打破跌损肉伤。

骨碎补制　生姜　乳香　当归

擂⑨，酒热服。接骨加自然铜。

本草打伤，只以骨碎补末，和黄米粥裹伤处。打跌骨断，只白及一味，为末，酒调服神效。其功不减自然铜与古五铢钱。

直指打跌血滞，腰胁疼。

故芷　茴香各炒　辣桂等分

右为末，热酒调。

集验拣要治诸风损伤折，疏风顺气，匀

① 柳桂：普济方卷三百十一折伤门引永类钤方作“桂枝”。
② 二：普济方卷三百十一折伤门引永类钤方作“三”。
③ 二：普济方卷三百十一折伤门引永类钤方作“三”。
④ 桂：普济方卷三百十一折伤门引永类钤方此下有“各”字。
⑤ 通：普济方卷三百十一折伤门引永类钤方作“过”。
⑥ 担：普济方卷三百十一折伤门引永类钤方作“用”。
⑦ 生：普济方卷三百十一折伤门引永类钤方此下有“姜”字。
⑧ 炒：普济方卷三百十折伤门引永类钤方作“妙”。
⑨ 擂：普济方卷三百十折伤门引永类钤方作“右等分擂”。

血住痛。

当归一两半　川芎一两　白芷　杜乌药　木瓜　牛膝各一两半　京芥　牡丹皮　净陈皮　净细辛　玄胡索炒　川续断　茴香炒　破故纸炒　石菖蒲洗，炒　浙术　穿山甲蚌粉炒。各一两　交趾桂七钱　桃仁炒，去皮，半两　粉草一两　五加皮二两，酒浸　或加丁皮　槟榔　枳壳制。各一两

右咬咀，姜煎，酒浸乳没各半两加入，或加老松节、炒乌豆、老姜煮酒服。

集要治诸损丸子药，健筋骨，生气血，养百脉，疏风顺风，升降阴阳，虚弱常宜。

长条川牛膝　宣瓜　天麻　苁蓉　当归　川续断酒浸、焙　何首乌酒蒸　杜乌药　白芷　五加皮酒浸　狗脊制　淮乌姜葱，炒　骨碎补去毛、酒炒　川独各二两。净　大川乌　附子各一两。炮　乳香　没药别研　嫩茸酥炙　自然铜醋淬　川芎各一两。净　兔丝子净淘，酒蒸　杜仲四两，净，姜炒　苍术半生半熟。上三味各四两　全蝎半两，炒　破故芷三两，酒浸　虎骨酥炙　北五味　威灵仙水洗，酒浸　京芍药　川山甲　蚌粉炒　茴香炒　净细辛　龟板酥炙。各一两半

右细末，酒糊丸常服，即补下元药。

破伤水方：

糯米末三之二，生用　甘草末三之一

用砂糖调搽肿处，先自肿赤尽处搽起至疮口，水皆自疮口出即安。

治诸伤瘀血不散，五六月收野苎苏叶擂烂金疮上。如瘀血在腹，用顺流水擂烂服即通，血皆化水。以死猪血试之可验。秋月恐无叶，早收。

伤紫眼，紫金皮小便浸一七，晒作末，眼青肿黑紫色，用生地黄姜汁调，不肿用葱汁。

闪腰痛，神曲火煅红。酒淬温服，或米醋和平胃散罨痛处，或杜仲及莳萝末酒调。

诸伤疮封口住痛，白芷、五倍子炒、赤石脂、乌贼骨生血、封口，须研极细末，不然及[1]作痛不止。此药治诸般恶气，及脚上臁疮，蛇头指痛。一方加乳香、雄黄、白芷，壹[2]黑散为末，捺[3]清油蒸熟，去滓，用鸡毛洗疮口，却用上药捺干，用油调涂。治秽气加国丹[4]。肌桃花散、国丹、白芷、滑石，兼上药味通用。疮口水不乾，枯白凡、川山甲先灰炒焦，更加龙鳞捺。白芷一味，疮中圣药。

经验秘方

诸物伤

应痛乳香丸：　治男子妇人打扑损伤，腰脚疼痛，手足顽麻，膝劳背冷，四肢无力，下元虚冷，小便较多，上喘咳嗽，不思饮食，心腹闭闷，一切诸气，酒肿食黄，膨胀冷疼，每服七丸，无灰酒温热送下，盐汤亦可。病上食后，病下食前，日进二服。

自然铜灰火烧红、好醋内蘸一遍再烧，计七遍　鹿茸用炭于净地上烧红，去炭，用米醋喷于火地上，即将鹿茸放在上头，用磁器盖合令定取用　苍术一两，去皮，晒乾　川乌头用慢火烧出成纹路儿时便好　天南星川乌、一般制　虎骨好醋于砂铫内煮过，濮六七遍，取出空乾　半两钱火烧七遍，好米醋蘸七遍　胡桃去皮壳，用穰，一两，切成薄片子，晒乾　甘草一两，去皮，用穰　甜瓜子一两，炒黄色　没药　乳香　龙骨　川椒　葫芦巴　破故纸　香附子　香白芷　五灵纸　浮萍草　血竭　雄黄　茴香　乾川练子以上各一两

右件依法制度，晒乾，碾为细末，用好醋糊为丸，如梧桐子大，每服七丸，无灰酒送下。药丸子于葫芦内盛顿，不用晒，如临丸时，丸了盛于磁器内，用油少许，却别用

1　及：普济方卷二百九十痈疽门诸疮口不合作“反”。
2　壹：普济方卷二百九十痈疽门诸疮口不合作“炒”。
3　捺：普济方卷二百九十痈疽门诸疮口不合无此字。
4　丹：普济方卷二百九十痈疽门诸疮口不合此下有“生”字。

一器合定，往来撞之，令油滚于丸子上，次将丸子入葫芦内阴乾，随病用度。

接骨散：高州一阿布 服药大效 治撷扑伤折，止痛如神。

广茂　京三棱　黄柏　黄芩　龙骨　乌鱼骨去皮　白及　当归　骨碎补　木鳖子去壳不去油。以上各三钱　乳香二钱　没药二钱　加黄丹三钱，作敷贴药。

右为细末，每服三钱，热酒调下，以汗出痛止为效。加黄丹，酽醋调贴伤处，破即乾糁。此系阿里平章方，汪院使屡用经验。简奇方同。

坠马撷扑伤损。江浙省掾游寿卿传

木贼　橘皮　麻黄各二钱　甘草五钱

前件为细末，温酒调服。病上食后，病下食前。

撷扑伤损，瘀血留经络肠胃间，遂成宿疾，用大黄经验良方用大老黄茄种切作薄片子，瓦上炙焦为末，热酒送下。良方二钱、日二服，虽十余年积血，亦荡去矣。　卫生易简方治磕扑伤损，肌肤青肿，用茄种通黄极大者，切片如脂厚，新瓦上焙乾为末，临卧，酒调二钱匕服，一夜消尽，无痕迹也。

折骨：

螃蟹钤如不乾用，粟壳糠炒　苦葫芦子　乳香少许

右三味为细末，炼蜜为丸，桐子大，每服三五丸，酒下。病上食后，病下食前，日三服。

伤折肢体。陆悦道常用大效。

骨碎补一味火炙，去毛

右为细末，酒调二钱，日进三服。病上食后，病下食前。以多饮酒为妙，五日即可。简奇方同。

接骨丹：　叔固丞相旋此屡效。

自然铜二两，火烧，醋蘸七次　白芍药半两　血蝎二钱半　甜瓜子半两，麦麸炒黄　木鳖子五个或三个，去皮油净　水蛭二钱或三钱，石灰炒　胡桃仁五钱，去皮油净　当归五钱　半两钱二两个，烧红，醋蘸三四次　血余灰二钱　没药半两　乳香半两

右为细末，每服满一铜钱，好酒调下，唯可食一服。如左边损折，用纸炒黑豆一颗，嚼试之，如能嚼破者则髓不断，不能者髓必断矣，然服之神效。

接骨散：　阿里平章传。

广茂　三棱炮　黄柏　黄芩　龙骨　乌鱼骨去皮　白及　骨碎补　木鳖子去壳不出油　当归各一两　乳香　没药各三钱

右为细末，每服三钱，热酒调下，汗出痛止为度，加黄丹三钱，醋调敷贴患处，湿则乾糁。比受杖一服，断讫速贴，再一服大效。

凡伤折，急服自然铜，药取赤铜屑细研，温酒服一二钱，其骨自相接。又木贼三两，麻黄去节一两，甘草三分为末，每服五钱，热酒调下，先整骨了，饮之令醉。简奇方同

治闪拗手足疼痛，生姜捣烂，和面炒热傅之，加葱白炒尤佳。急救仙方同　寿域神方治闪挫，用生姜、葱白烂捣，和面炒热罨之。卫生易简方同

从高坠下，瘀血冲心欲死，豆豉急救仙方大盏，用水两碗，煎三沸，去滓服。若复觉气绝不能言，取药不及，急擘开口，灌以热水。仙方以热小便灌之

经验良方

闪　肭

治一切诸气闪肭，腰脚不能转侧。

杜仲二两，去粗皮，锉碎，生姜自然汁浸一宿，慢火炒蒔萝一两，微炒

右为细末，每服二钱，温酒调服。闪肭气痛，陈皮汤下；心气脾痛，煨姜汤下；妇人血气，艾醋汤下；小肠气，炒茴香汤下。

治闪肭腰痛，不能转侧。

右用神曲一块如拳大，烧通红，酒二大盏，淬酒中，觉酒温便饮尽，仰卧少顷取效。

打扑伤折

治打扑伤损筋骨。

自然铜一钱，火煅，醋淬为末，又用水飞过　当归没药各半钱。为末

右酒调服，仍以手摩痛处。

又方：

黄柏一斤　半夏半斤

右为细末，每用半两，生姜自然汁调涂损处。如折断，用绢帛封缚，次用杉板扎定，药乾频上姜汁润之。

治瘀血流注紫黑，或伤眼上血黑紫，大黄末用姜汁调涂，一夜一次上药，上药一宿，黑者紫，二宿，紫者即白矣。

立应金丝膏：　治伤筋动骨，损痛闪肭，风毒恶疮，风湿筋寒诸病，难尽述其妙。里友黄南牖久广用之，尤为效验。

当归尾　香白芷　杏仁去皮尖　草乌生、锉用　猪牙皂角不蛀者，去皮弦。各三钱　葱连须叶肥者，十茎　白胶香明者，八两　沥青明者八两，即明亮松香　黄蜡明者，一两　乳香　没药各半两。别研为末

右用清油七两，将药六味依前法熬滤，却入胶香滴清搅匀，下黄蜡，又搅匀，无烟，方下乳香、没药。

伤　折

乌头散：　治一切折伤，坠车堕马。折骨者先服此，然后用手法整疗。

川当归二钱半　草乌炮，去皮尖，三钱　吴氏集验方半两　白芷二钱半

右为末，温酒调下二钱，略麻后却整疗揣接。

神验膏：　治打扑伤损筋动骨，不问手足腰背并治之。

糯米粉一合　飞罗面一合　马屁孛一碗，即灰菰　吴氏集验方一块，如碗大砂①

右三味拌和，于生布上筛，下用生姜自然汁半碗，调却入后药：

牛皮胶二两半　酸枣醋一碗

右先用醋熬牛皮胶化，便入前所调三味药，不住手搅成膏子，以磁器盛之，每遇磕损，以药膏摊于纸上，贴上伤处，却用杉木片夹定，用厚衣服裹之，勿令冷，三两日一换。若只伤筋骨，贴上如火。若筋损骨碎，贴上而痛如虫行为妙。初折伤者，只三次效。

白膏子：　治接骨。

右用牡蛎少许为末，用糯米粥调之，涂其上，却以杉木板夹之即愈。

治坠马失足，或为物所压，痛极不可忍。

右先用香白芷末和降真末等分，童子小便和酒温调，每服二钱，外却以泽兰叶、当归末擂烂微炒，盒伤处止痛。

治打扑伤损。

右用生地黄、苎根去皮，或苎烧灰亦可，杵烂，半酒半童便，滤药汁，调小便酒灌之。

又方：　用金樱子叶细嚼，哈之血止。

治打伤刀伤，血出不止，用生葱炒热，罨伤处，或用荷叶，或用紫苏叶，或用血蝎草，并炒热罨伤疮处。

治撅扑伤损，或至折筋骨出者，须要揣接骨归元位。

五铢钱十个，火煅，醉②淬　乳香　没药各半两

右为细末，每服一钱，入麝香少许，空心，温酒调下，以食压之。

治撅扑伤损，细研藕汁，和酒饮亦效。

打扑出血闷绝，用小便灌之。火伤闷绝，冷小便灌之。

① 砂：按文义应作“妙”。

② 醉：普济方卷三百十折伤门引经验良方作“酢”。

折伤门三

医林方

接骨

接骨丹：治打扑损伤。其药补缺唇，取箭头，止痛。

没药　木鳖子　自然铜烧七遍，醋内蘸七遍　骨碎补　水蛭炒　乳香　无名异　天茄子　松明节炒为黑色　半两钱火烧，醋蘸　地龙去土，炙　补骨脂　细辛　川当归　川乌头　朱砂　麝香　蒴藋根已上各等分

右为细末，醋煮粥为丸，其面糊不可熟，可以生者，为丸如桐子，每服七十丸，加至一百丸，细嚼，温葱汤送下，日进三服，立效，不可言语。后可服酒。忌一切热物。

接骨止疼痛药：

没药一两　水蛭一两七钱，炒　牛膝三钱　乳香一两三钱　木鳖子一两七钱　地龙去土，一两　麝香一两　自然铜三钱，火烧醋蘸

右件为细末，每服三钱，温酒调下，日进三服。

敷药方：

醋煮小黄米粥内匀，上又用药，是白芥子，为末在上，如无，莴苣子代之益效。其粥冷摊在伤损处，涩一指厚，上用绢帛子裹定，竹篦子棹定，后可服接骨丹。

麝香散：　治一切伤损疼痛者。

麝香一钱　水蛭二钱，炒

右为细末，每服一钱半至二钱，葱白汤调下。

水仙散：　治打扑损伤，恶血攻心，闷乱不省，人事未展。

荷叶窨乾

右为细末，每服五钱，童子小便调下，虚实加减服之，利下恶物为效。

大红膏：　治打破损伤。

力青一两　小油二钱　临时加减黄丹七钱　黄蜡一钱

右将力青银石器内慢火熬开，搅多时，看硬软，次下乳香、没药、黄丹，再搅匀，盛在磁合子内，敷之大效。

落马不省人事，伤折内损，气绝不能言语者，可服水仙散。是恶血攻心，闷绝疼痛。荷叶荫乾为末，每服一两，童子小便一盏调下，取下恶物为度。又方：乾荷叶五片烧灰，烟尽细研，作一服，童子小便调下，后可服桃仁、水蛭、当归下血之药。

烟霞圣效方

接骨丹：上食局游大使传此药。

黄柏不以多少，去粗皮

右为细末，每服三钱，重者五钱，热酒调下，不计时候，日进三服。又用到流水，银器内调前药，用银锌子搅成膏，随纸花贴之，后用竹篦子缠系封之。

接骨丹：

甜瓜子炮黄色　油头发烧　加没药　乳香

右件四味为细末，温酒，觑病大小上下服之。

应病接骨膏：　治一切损伤，肿痛伤折。此方自来不曾传世，家藏秘用。

龙骨紧者　虎胫骨　乌鱼骨　川山甲炙　地龙　黑狗脊　木鳖子去皮　牛膝　川乌头　泽乌头　草乌头　半夏　吴茱萸　山茱萸　石茱萸　细辛　芍药　肉苁蓉　川椒　乳香　没药　白芥子　防风　自然铜制　川练子已上各一两　猪牙皂角二两，别研

右件除乳香、没药外，余味同捣罗极细，为面相似，用好油二斤，於文武火上锅内一处同熬，槐枝不住手搅，烟起闻香才成，入黄丹半斤，并研细底乳香、没药细细熬，直至滴水不散成珠子，硬软得所成也，倾在水盆中去火毒，旋捞出，放盛在磁器内收贮，量所折伤处骨节大小，用纸摊匀挟裹定，药力尽自离，然后更用药贴。三十岁已上，不过二上，五十已下，不过三上定也。

正骨散：　活血定痛。施圆端效方此下云：正骨续筋。

麻黄去节　木贼去节　甘草端效方炒

右等分为细末，每服三钱，热酒调服。端效方每服二钱，热酒下，不拘时候，日进二服。

接骨丹：　治打扑落马坠车，一切伤损。南顿县祖传方。

独科栗子去皮　桑根白皮过道炒　雄黑豆去黑皮　当归已上各一两　破故纸微炒　没药　乳香　金系水蛭新瓦上慢火微炒黄色。已上各半两

右件为细末，每服四钱，醋一大盏，熬至七分，入麝香少许，温服，如人行五七里地，依前再服，日进三服，其痛立止，三十日骨接全无碍。如不信，先将鸡脚打折试之，灌药於口内，其五日即接。如病大者，可加二钱通六钱服之。请君子抄录，相传救人。

敷贴药，云台子不以多少，砂锅内炒黄色，为细末，用小黄米、好醋熬粥热，入药末三钱搅匀，摊去绢上，就疮上敷之。其药温热得所，缠在疮上，用绵子数层封裹了，再用竹片子卑了，如法系。每十日一次换药，三次上。

黑神散：　治打扑损伤，接骨续筋。

水蛭瓦上焙存性　天仙子炮焦　没药　乳香　羊胫腚骨烧灰。已上各一两　大叶莴苣子　草薢　防风去芦　红芍药已上各二两　草乌头　自然铜　梧桐泪已上各半两。无梧桐泪，西鹏砂代之用

右件为细末，每服一钱，温酒调服，一服定痛，二服接定，三服全可。觑病大小，加减用之。

通神散：　治打扑损伤，除筋不断骨不折余者，三服见效。

麻黄半两，去根节　木贼半两　陈皮半两，乾刮去白　甘草三钱

右为细末，每服五钱，热酒调下，后饮酒至醉，醒不疼痛。

六枝膏：　治打扑损伤，落马坠车，一切肿痛恶疮皆然。

槐枝长八寸　桃枝八寸　柳根八寸　榆枝八寸　枸杞根八寸　桑枝八寸

右六枝用青嫩条，每条用尺量八寸，各锉一寸碎，计四十八根，好油三两，同熬至枝杖焦白，去却杖，用绵滤过净，在入铫内，熬成油清绿色，入好黄丹一两，用槐篦频搅，滴入不散，倾於磁器内，就地盆盖，去火毒一宿，次用纸花摊用。昔有一僧，遇盗所伤，疼痛不忍，药到痛止。

治一切伤损血出，消肿毒，秦王背指散：

宣连　槟榔各等分

右为末，伤扑乾贴。消肿，冷水调，鸡翎扫，妙。

施圆端效方

正　　骨

正骨续筋方法备急，非虞断筋折骨之疼，喎讹闪肭，裨正相当，覆涂之药，绵缠衣温，净息融通，玄府开舒，汗隙药归，肿散疼消，血脉旋流，布周荣卫，省身爱力，以时中养气痊平，余月已。

接骨丹：大名药德全方。

木鳖子一两，烧，去皮　半夏二两　南星四两　红豆半两　没药　自然铜炒。各一钱

右为细末，生姜汁四两，同醋打面糊，调药二钱，涂损处裨正，绵裹之温热，令汗孔开而药力入。

小接骨散：　治打扑闪肭，损伤筋骨。

牡蛎一两，烧　青蛤粉一两　木鳖子仁五钱

右为细末，醋糊调二钱摊纸上，涂损处，绵裹。小黄米粉糊尤佳。

大续筋接骨丹：　治打扑损肭，筋骨锉折，神效。阴阳樊元真方。

肉苁蓉　川山甲　黄丹飞　龙骨　虎骨炙　白芨　木鳖子仁　天灵盖各半两　寒食面一两

右为细末，醋熬为膏，摊绢帛上，涂折处，绵缠，竹裨正绳扎，日一换，效。

没药四生丹：　治打扑闪肭损伤，筋骨疼痛，及寒湿骨痛。大名候德成方。

防风　当归炮　川乌炮，去皮脐　苹[1]藓细切　自然铜醋淬七次　骨碎补去毛。各半两　乳香　没药各一分

右为细末，醋糊为丸，如小豆大，每服二十丸，温酒下，食前，日进二服。

大活血汤：　治打扑损伤，落马坠车，瘀血，大便不通，红肿暗青，疼痛昏闷，畜血内壅欲死。张君玉方。

川大黄一两　当归一分　麝香少许

右为细末，每服三钱至四五钱，醋一大盏，煎三五沸，和滓温服，食前，大小便下黑血为验。

乳香乌龙丹：　治落马坠车，打扑闪胳，损伤筋骨，疼痛闷乱，活血治疼，及疗中风瘫痪，口眼喎斜，妇人血风，腰腹四肢走注疼痹。

骨碎补　葫芦巴炒　破故纸炒　川乌炮，去皮脐　苁蓉酒浸　牛膝酒浸　金毛狗脊　牡蛎烧赤　甜瓜子炒　黑牵牛　赤芍药　自然铜烧赤，醋蘸七次　川练子　茴香炒　牡丹皮　五灵脂　白芍药各一两　苍术二两，去皮，炒　官桂半两　细墨七钱　木鳖子仁七个　没药二钱半　乳香二钱

右为细末，研匀，醋面糊为丸，如桐子大，每服七丸至十丸，温酒下，日三服。

吴氏集验方

手拈散：　治打扑磕伤，血聚皮不破。

用大萝②□研细，以绢帛摊傅肿处。

法葱治足指磕损，肿痛不可忍，以生肥葱煨熟，剥葱白，趁汁贴痛处。

救坠马失足，或为物所压，痛极不可忍，先用香白芷末和降真末等分，童子小便和酒温调，每服二钱，外却以泽兰或当归叶一篮，火上炙热，与挹伤处止痛。

神 效 名 方

接骨散：并治恶疮。

金头蜈蚣一个　金色自然铜半两，烧红醋碎③，

---

① 苹：普济方卷三百十折伤门作“蘋”。

② 萝：此下脱字，本草纲目卷二十六菜部之一引邵氏方作“卜”。

③ 碎：普济方卷三百九折伤门作“淬”。

研为细末用之　乳香二钱，研为细末用之　铜钱重半两者取三文或五文，烧红醋碎[1]，研细　金系水蛭一钱半，每个作三截，瓦上爆，去气道为度　没药三钱，研细

右为细末，如疮肿处，津调半钱涂，立止痛。如见得出脓，先用粗药末少许，小油少半匙，同打匀，再入少半匙，再打匀，又入前药接骨散半钱，再都用银钗子打成膏子，用鸡翎拂在疮肿处，立止痛，天明一宿自破，便效。如打折骨头并损伤，可用前项接骨散半钱，加马兜零末半钱，同好酒一大盏热调，连滓温服。如骨折损，立接定不疼，如不折了，吃了药立便止住疼痛。此方累经效验，不可具述。服药觑可以食前服食后服。又外用接骨药：

陈烂麻根二把　羊耳朵一对　乱系一握，多者更妙

右取肥松节劈碎，约量多少，先放三二根於新瓦上，都於上外三味在上[2]，烧著存性，就研为末，如生，再烧研为度，后入五灵脂或半两，如疼入好乳香少许，和药如茶褐色为度，用布条子约缠一遭，先摊小黄米粥匀，上撒上药末匀，缠定折处上，又用软帛三五重，上又用竹篦子缠，勒得紧慢得中，初三日换上一次，再后五日换一次，又七日再换上一次，无有不接者。

接骨药：

半两铜钱醋醮烧，碎为末　木香一钱　自然铜一钱　麝香少许

右为极细末，如在上，食后每服三钱头，嚼丁香一枚，乳香一粒，无灰酒一小盏；在下食前。如不折，其药反出。服罢，其痛不可当，勿疑，待一日，如骨未接，再服如前，老者十余日，少者不过五七日。卫生易简方同。

乳香散：　贴杖疮肿痛。

大黄　黄连　黄柏　黄芩已上各三[3]　乳香另研　没药另研。已上各一钱　脑子少许

右四味为末，后入三味，冷水调匀，摊於绯绢上，贴杖疮止[4]。

山居四要

撅扑损伤，用松节煎酒吃。

骨肉损，醋捣肥皂烂，厚罨之，以帛束住。

闪肭，用米醋糟、平胃散相和罨之。

撅扑重伤者，用生姜汁四两、香油四两打匀，无灰酒热调下。卫生易简方同。

卒暴堕撅压倒打死，心头温者，可先捋[5]本人如僧打坐，令一人将其发控放起，用半夏末急吹入鼻内，如活，却用生姜汁、香油打匀灌之。

负重担肩破，剪猫儿头上毛，用不语唾粘贴破处。卫生易简方同。

新效方

治杖疮，真绿豆粉略炒为末，鸡子清调，鹅翎傅。重者，温人溺服半升许。

理伤续断方

凡伤重者，用此方煎汤洗之，然后傅药。

生葱切断。一本用生姜　荆芥锉　土当归

右三味煎汤，温热淋洗。

大活血丹：　治扑损伤折，骨碎筋伤，

---

① 碎：普济方卷三百九折伤门作“淬”。
② 都於上外三味在上：普济方卷三百九折伤门作“以药同在上”。
③ 三：普济方卷三百五杖疮门引儒门事亲此下有“钱”字。
④ 止：普济方卷三百五杖疮门引儒门事亲作“上”。
⑤ 捋：卫生易简方作“将”。

疼痛浮肿，腹有瘀血，灌注四肢，烦满不安，痈疽发背，筋肉坏烂，诸般风疾，左瘫右痪，手足顽麻，妇人血风[1]诸疾，产后败血不行，流入四肢，头面浮肿，血气疼痛，浑身疼痹，经脉湛浊，风劳发动，百节酸疼，并宜服之。每服半丸，用无灰酒磨化，微煎三五沸，温服，不拘时，不限多少。此药将纱葛袋收挂净处，经久不坏，可备急用。孕妇莫服。损在上，食后服；在下，空心服；伤重不拘，余倣此。

天南星一斤，姜汁浸一宿，焙　芍药一斤，赤白皆可　骨碎补一斤，焙，石上生者佳　黑豆一斤，酒煮，焙乾　大栗间一斤，老者，去皮，焙　青桑炭十斤，青桑木取如臂大者，去皮叶，炭火煅令赤，烟起用酸醋杀为炭　木鳖半斤，去壳，细切，麸炒，取半斤　自然铜半斤，火煅，酸醋淬存煅[2]，取半斤　细辛十两，去苗叶，取十两　川牛膝一斤，去芦，酒浸，焙，取一斤　川乌一斤，炮　没药四两，别研，如无，降真为末代　乳香半斤，研别[3]，如无，以三陪枫香代　血竭六两，别研　白芷一斤

右桑、栗、豆、补、星、药六味为末，和余药研为细末，用米醋煮糯糊拌入，臼捣千杵，方聚众人急下手丸，下手稍缓则折[4]，阴乾半月，然后用火焙，或晒一日，大丸重六文，温[5]中丸重三文，温[6]乾则以漆抹在手上，取二三丸椰漆为衣，每服半丸。合此药勿令四眼见之，更忌鸡犬妇人，见之则折矣。

小红丸：　治跌折伤损，皮破骨出，手足碎断，筋肉坏烂疼痛，甚至昼夜叫呼，百治不止，手足久损，筋骨差爻，举动不得，损后伤风湿，肢节挛缩，遂成偏废，劳伤筋骨，肩背疼痛，四肢疲乏，动用无力。常服壮筋骨，活经络，生气血。每服三十丸，用生姜煎酒或盐汤吞下，不拘时候。孕妇莫服。

骨碎补六两，姜制，焙，取六两　土当归六两，焙取　川乌六两，煨　白杨皮六两，焙　肉桂四两，不见火　莪术二两，焙　丁香二[7]两　乾姜二两，焙　川芎三两　细辛四两，焙　附子三两半，煨，去皮　乳香三钱，别细[8]不焙　没药三钱，别研　芍药六两，焙

右补、药、归、杨四味用当土者，余八味研为细末，乳没别制，和醋糊为丸，如绿豆大，信朱为衣，每服三十丸，温酒下；傅用生姜自然汁煎，酒或盐汤皆可，不拘时候。

鳖甲散：　治五劳七伤，四时伤寒，浑身憎寒壮热，骨节烦疼，嗽咳痰涎，酒色伤惫，四肢倦怠，及治山岚瘴疟，一切积气，心腹膨胀，呕吐泄泻，应是风疾，并宜服之。

肉桂四两　川芎四两　白芷四两　秦艽四两　鳖甲四两，醋炙三次令赤色　紫菀四两，净洗，焙乾　麻黄四两，不去节　羌活四两。一云独活　当归四两，去尾　乾姜四两　橘皮四两　苍术一斤，焙　天台乌药七两　紫苏四两，不过火　桔梗三斤半，焙　乌药七两　柴胡七两　川乌半只，炮　五味子[9]七两

右焙碾为细末，每服三[10]钱，水一盏，姜三片，乌梅一个，同煎至七分，热服。伤寒，加葱白煎；劳损，入盐、热酒调下。

小红丸：

乌头一个　何首乌　苍术　蛇床子　五灵脂　牛膝　赤小豆　白胶香　当归各一两　乳香二钱

右为末，好酒煮糊为丸，如绿豆大，每服三十丸，温酒下。

小黑丸：

白蒺十两　白及十两　南星十两　芍药十两　当归五两　细辛三两　赤小豆一升　百草霜六两

右为末，醋糊为丸，如梧子大，每服三十丸，温酒下。

搜风丸：　治风损腰痛头疼。治效与黑丸子同。

---

① 风：理伤续断秘方作“气”。
② 煅：理伤续断秘方作“性”。
③ 研别：理伤续断秘方作“别研”。
④ 折：理伤续断秘方作“拆”。
⑤ 温：理伤续断秘方作“湿”。
⑥ 温：理伤续断秘方作“湿”。
⑦ 二：理伤续断秘方作“三”。
⑧ 细：理伤续断秘方作“研”。
⑨ 五味子：理伤续断秘方无此药。
⑩ 三：理伤续断秘方作“二”。

何首乌　南星　骨碎补　川乌各半斤　土牛膝　芍药各五两。一云二两　细辛三两　当归十两　白鲜皮

右为末，醋糊为丸，如梧子大，每服三十丸，温酒、盐汤不拘时吞下。

驱风丸：　治效同黑丸子。

骨碎补五两　川乌一两　川芎一两　草乌二两　川当归二两　牛膝二两　木鳖二两　何首乌四两　乌金四两，即百草霜。一云京墨

右为末，醋糊丸，梧子大，每服三十丸，空心盐汤下，或荆芥茶汤食后下。

四物汤：　凡伤重，肠内有瘀血者用此。

白芍药　川当归　熟地黄　川芎

右等分，每服三钱，水盏半，煎至七分，空心热服。一方只用当归、大黄二味。

七气汤：

半夏五两　人参一两　肉桂一两　甘草一两，炙

右每服三钱，水一盏，姜三片，煎至七分，食前热服。

五积散：　治五劳七伤，凡被伤头痛，伤风发寒，姜煎二钱，仍入葱白，食后热服。

苍术　桔梗各二十两　枳壳　陈皮各六两　芍药　白芷　川芎　川归　甘草　桂　茯苓各三两　半夏三两，汤泡　厚朴　乾姜各四两　麻黄六两，去根节

右除枳壳、桂两件外，余细锉，用慢火炒令色变，摊冷，入枳、桂令匀，每服三钱，水一盏，姜三片，煎至中[1]盏，热服。

大成汤：一名大承气汤。应伤损极重，大小便不通者，方服此，可加木通煎。如未通，加朴硝，俟大小便通，方可服损药。损药不可用酒煎，愈不通矣。然亦须量人肥弱用，如孕妇小儿莫服。

大黄四两　川芒硝　甘草　陈皮　红花　当归　苏木　木通各二两　枳壳四两　厚朴少许

右件咬咀，每服二钱，水盏半，煎至一沸，去柤温服，不拘时。此乃专治男子伤重，瘀血不散，腹肚膨胀，大小便不通，上攻心腹，闷乱至死者，急将此药通下瘀血后，方可服损药。

小承气汤：

大黄四两　芒硝二钱，煎熟渐入　枳实二两　厚朴八两

右治效同大成汤。此较力轻，不拘妇人、女子、小儿皆可服。

排风汤：　治诸风疾损。

白鲜皮　白术　芍药　肉桂去粗皮　川芎　川当归去芦　杏仁去皮尖　防风　甘草各二两　独活　麻黄去根节　白茯苓各三两

右每服二钱，水盏半，姜四片，煎至八分，不拘时服，更宜续命汤、消风散。

接骨药：

下窟乌，一名鹞，用骨烧存性，用古铜钱一个，煅醋淬七次，为末等分，骨断夹缚讫，用药一钱[2]，酒调下，不可过多。病在下，空心服；在上，食后服，此方极验。

常用整骨药：

用大草乌刮去皮，为细末，每服逐[3]半钱，温酒调下，如未觉，再添二分药，酒下。

又方：　用乳香、没药各一两，别研，次用血竭、自然铜、无名异、醋煮黄木鳖子各一两，地龙二两，并为末，蜜丸如龙眼大，嚼烂，热酒咽下，俟了用生葱嚼解。

至真散：　治打破伤损破脑，伤风头疼，角弓反张。一名夺命散。

天南星炮七次　防风去芦叉

右等分为末，凡破伤风病，以药傅贴疮口，即以温酒调一钱服。如牙关紧急，备预百要方此下云角弓反张。以童便调二钱服，垂死百要方又如斗伤垂死。心头微温，童便调二钱，并进三服。

又治伤损方论

如伤重者，第一用大承气汤，或小承气汤，或四物汤，通大小便，去瘀血也。惟妇

① 中：理伤续断秘方作“半”。
② 钱：理伤续断秘方此下有“以”字。
③ 逐：理伤续断秘方无此字。

人别有阴红汤通下。第二用黄末药，温酒调，不拘时，病在上食后服，在下空心服；遍身痛，临卧时服。第三服白末药，热酒调，其法同黄末服，妇人产后诸血疾，并皆治之。第四服乌丸子。第五服红丸子。第六服麻丸子，用温酒吞下，妇人艾醋汤下，孕妇不可服。第七服活血丹、当归散、乳香散，二散方见前方内，并用酒调，不拘时，与黄末、白末服法同，惟乳香散参之，山泉方则又加六味，白杨皮一斤，生芥子十个，泽兰一斤，檀香六两，沉香二两，川芎一斤。余方条具如后，大承气、小承气、四物汤并见前方内。

黄末药：　治跌扑伤损，皮肉破绽，筋肉寸断，败血壅滞，结痈烂坏，疼痛至甚，或劳役所损，肩背四肢疼痛，损后中风，手足痿痹，不能举动，筋骨乖张，挛缩不伸，续筋接骨，卓有奇功，常服活血止肿生力。

川乌炮　草乌醋煮　枫香别研。各三斤　当归去芦头，酒浸一宿，阴乾　赤芍药半两　川独活去芦　川芎汤泡七次　细辛去苗，净洗　香白芷　山桂去粗皮　白姜面裹煨　黄姜湿纸裹煨　五加皮净洗，去骨　桔梗去芦　碎补① 去毛，炒　苍术醋煮七次　何首乌用黑豆酒煮七次。已上各二斤　知母半斤　牛膝二斤，酒浸七日，焙乾　没药半斤

右件为细末，每服二钱，盐酒调，病在上食后②，下空心服，遍身损，临卧服。孕服③ 莫服。

白药末：　治打破④ 伤损，皮肉破碎，筋骨寸断，瘀血壅滞，结肿不散，或作痈疽，疼痛至甚，或因损后中风，手足痿痹，不能举动，筋骨偏纵，挛缩不伸，及劳伤破损，肩背四肢疼痛，并宜服之。此药大宜续筋接骨，刻日取效。妇人产后诸血疾并治之。

白杨皮十二两，米汁浸一宿　桔梗十两，去苗　赤芍药九两，酒浸一宿　川芎半斤，汤泡七次　白芷十两　山桂半斤，去粗皮　细辛半斤，去苗　甘草十两，炙　花椒五两，去子合口者　川乌六两，炮　续断六两，米汁浸　牛膝六两，去苗，酒浸一宿　当归六两　泽兰叶九两，去叉枝　香附子六两，炒

右为细末，每服二钱，酒调下，服法同前。妇人诸血风气皆治之。

乌丸子：　治打扑伤损，骨碎筋断，瘀血不散，及一切风疾，筋痿力乏，左瘫右痪，手足缓弱，诸般风损，妇人血疾，产后败血不散，灌入四肢，面目浮肿，并宜服之。惟孕妇勿服。

赤小豆炒　白蔹　赤芍药　何首乌醋煮　细辛去苗　草乌醋煮七次　白及煨　山桂去粗皮　南星面裹煨　当归酒浸一宿　川牛膝⑤ 去苗，酒浸一宿　川芎　百草霜　骨碎补去毛，炒　天台乌药乌豆酒煮后焙乾。各一两半⑥

右为细末，用煮豆酒煮面糊为丸，如梧子大，每服五十丸，用煨葱酒或煨葱茶任下。

红丸子：　治打扑伤损，骨碎筋断，疼痛痹冷，内外俱损，瘀血留滞，外肿内痛，肢节疼倦，应诸伤损，不问年月日久，并宜服之。常服补损，坚筋固骨，滋血生力，神效，不可具述。孕妇勿服。

牛膝酒浸一宿　川乌炮　南星醋煮三次　细辛去苗，净洗　何首乌用水煮熟　桔梗去芦　山桂去粗皮　当归　白蔹　自然铜煅，醋淬七次，别研　赤芍药　骨碎补去毛　没药别研　羌活去芦　赤小豆不见火

右除研药外，余并打和，炒乾为末，酒煮面糊为丸，每服五十丸，随病上下服之。

麻丸子：　治跌折伤损，皮破骨出，手足碎断，肌肉坏烂，疼痛至甚，日夜叫呼，百治不止，手足久损，筋骨差爻，举动不能，损后伤风湿，肢节挛缩，遂成偏废，劳伤筋骨，肩背疼痛，四肢废乏，动作无力。常服壮筋骨，活经络，生气血，及治妇人血气。惟孕妇勿服。

---

① 碎补：理伤续断秘方作“骨碎补”。
② 后：理伤续断秘方此下有“服病在”三字。
③ 服：理伤续断秘方作“妇”。
④ 破：理伤续断秘方作“扑”。
⑤ 川牛膝：理伤续断秘方无此药。
⑥ 半：理伤续断秘方无此字。

川当归[1]　桔梗名布罗蜀　牛膝各半两。不用酒浸　骨碎补二两，去毛　川乌不见火，切作片子，醋煮　川芎　百草霜　草乌用山矾灰汁浸。各一斤　木鳖子去油壳　赤芍药各半斤　乌豆一升，浸酒，煮，焙乾　金毛狗脊去尾

右为末，酒煮面糊为丸，梧子大，每服五十丸，温酒下，妇人艾醋汤下。

活血丹：　治跌扑伤损，折骨断筋，疼痛浮肿，腹有瘀血，灌注四肢，烦闷不安，痈疽发背，肌肉坏烂，诸般风疾，左瘫右痪，手足顽麻，妇人血风发动，并宜服之。每服半丸，用无灰酒磨化，微煎三五沸，温服，不拘时候，不以多少。此药常将纱葛袋收挂静[2]处，经久不坏，可备急用。唯孕妇勿服。

荆芥二两半　枫香一两，别研　檀香一两，不见火　降真节一两　草乌二两，酒煮　山柱去粗皮　当归酒浸一时　苍术米汁浸，春五夏三，秋七冬十[3]，炒乾　川羌活去芦　白及面裹煨，晒乾　乌豆以糯米炒黄为度　地龙去土。各半两　滴青一钱半，别研　麝香半两，别研　川芎半两，热汤洗三次　五灵脂一两半，用灯心别研　乳香一两，别研　没药一两，别研　川乌二两，炮　碎补[4]去毛，炒　川牛膝酒浸一时　细辛去苗　花桑木烧灰存性　白芷不蛀者　赤芍药酒浸　南星以石灰炒黄色为度　川牵牛石灰炒　自然铜煅，醋淬，别研　太栗间各半两　木鳖二十个，去油壳

右为细末，酒煮面糊丸，如弹子大，入臼杵三十余下，团成块，秤一两，分作三丸，候丸尽分作三分，一分阴乾，一分晒乾半时久，一分焙半时久，却三分打和一处，令阴阳相合，俟药上麽气为度，然后刷去麽，用黑漆光为衣。

洗药：后有仙正散方　如伤重，先用洗，后却用乌龙角贴，其洗药同前，方内又参山泉方洗药用。

木蒴藿　石南叶　白芷　白杨皮　生葱　何首乌　土当归　荆芥　藁本　芍药

右不拘多少，煎汤候温，将洗损处令净，用绢渗乾疮口[5]。

乌龙角：贴药　治跌扑伤损，筋骨碎断，差爻出臼，其用法详见前方黑龙散同。先洗擦整理，后调贴夹缚。亦可用此乾糁疮口。

白僵蚕六两，去丝嘴，炒　赤小豆六两　川牛膝六两，去芦　山柱去皮　桔梗　白及　山枇杷叶生锉，阴乾。各一斤　百草霜　当归尾　碎补[6]去毛，炒　北细辛去苗。各半两[7]　白芷　赤芍药　南星煨　何首乌各十两　白蔹十两　知母　草乌各三两。用姜汁煮

右为细末，如药润，亦可焙乾碾之。每用以姜汁或冷水、茶水调摊纸上，于痛肿处贴之，三日一洗一换贴，骨碎须夹。

桃红散：　治积年不效，朽烂疮口，金疮箭射，打碎皮破，血出不止，可将此药乾掭，次日别用药水洗净再掭，大能散血结口。

石膏一斤，黄泥封固，煅过　白矾二两，飞过　血竭一两，别研　黄丹细研，火飞过，水飞过　松糖别研五倍子　粉霜各三两　龙骨二两，别研

右研为极细末，罐子收用。

七宝散：　治冷水风脚湿气下注，脚膝生疮，左瘫右痪，筋脉拘急，脚下隐痛，不得伸屈，不能踏地，并皆治之。

晚蚕沙炒，一升　蛇床子炒，一升　肉桂二两，去皮　荆芥穗五两　乾荷叶二两　藁本五两，去土　川乌二两，炮　薏苡仁三两

右件咬咀，约二两重，用水五升，加花椒、连须葱同煎至七分，去粗，于痛处热斟淋洗。

定痛丸：　治腰痛不可忍，不问男子妇人、室女老幼，并皆治之。

威灵仙半两，去土　金铃子一两，炒，去核　川乌一两，炮　八角回香一两

右为细末，酒煮面糊为丸，梧子大，每[8]

---

① 归：理伤续断秘方此下注有“去苗，净洗”四字。
② 静：理伤续断秘方作“净”。
③ 十：理伤续断秘方此下有“日”字。
④ 碎补：理伤续断秘方作“骨碎补”。
⑤ 口：理伤续断秘方此下有“上为妙”三字。
⑥ 碎补：理伤续断秘方作“骨碎补”。
⑦ 两：理伤续断秘方作“斤”。
8 每：理伤续断秘方此下有“服”字。

五十丸，盐汤、酒随上下服之。

七气汤：　治积年久损入经络，服药无效，腰背拘急，咳嗽痰涎，风劳发动，日渐羸瘦，每到秋来，损病复作，不问男子妇人，并皆治之。

青皮去白，炒　陈皮去白　三棱湿纸裹煨　北梗去芦　肉桂去粗皮　藿香去枝　益智去壳，炒　香附子炒　甘草炙　半夏汤泡　赤芍药　乌药　独活去芦　羌活去芦　降真香各一两

右㕮咀，每服五钱，水一大盏半，姜三片，枣一枚，煎至七分，去滓，随病上下服。

仙正散：洗药。　治男子妇人骨断，用此煎水洗后整骨，却用乌龙角贴之，如破留口当夹缚，即依前方为之。

肉桂二[1]钱，去皮　当归三钱，去尾　玄胡索五钱　白芷五钱　苍术一两　赤芍药五钱　防风一两　荆芥四两

右㕮咀，每服五钱，水五升，乾荷叶两皮，煎至七分，去滓，于损处断处，及冷水风脚，筋脉拘急，不得屈伸，行步艰苦，可用此药热蒸，用被盖覆，俟温淋洗。

糁疮口方：　但遇伤损，皮肉血出，或破脑伤风，血出不止，急用此药掇之。

血竭二钱半，别研　降真节四钱　灯心一把　龙骨五花者，二钱，别研　鸡一只连毛屎，用醋煮后，碎之，用黄泥封固，文武火煅乾，后焙为末　苏木同降真碾，少许　乳香五钱，同灯心研　没药五钱，别研　桔梗少许　红花要马头者，二钱，焙乾为末　当归三钱

右为细末，每用少许，乾掇疮口上。如血流涌出不止，多掇之，候血药将乾，又用清油调涂于疮上。可制一料，以备急用。

接骨散：　治飞禽骨断，从高坠下，驴马跌折，筋断骨碎，痛不可忍，此乃接骨续筋，止痛活血。

朋[2]砂一钱半　水粉　当归各一钱

右为末，每服二钱，煎苏木汤服讫，时时但饮苏木汤，立效。

除痕，欲伤后疮愈无痕，用此：

蔓荆子　随风子　俗[3]随子　黄荆子

右件各等分，为细末，饭上蒸九遍，用童便浸一宿后，炒乾为度，以花叶纸包在绢巾内揩之，可以除痕。

阴红汤：　专治妇人伤损，瘀血不散，腹肚膨胀，大小便不通，上攻心腹，闷乱至死者，急将此药通下瘀血，却依前次第服药。

鹿角胶　产妇油发各一钱。烧灰　没药三钱

右用酒一大盏调服。

洗药：　治男子妇人骨断，用此煎水洗后整骨了，却用乌龙角贴。

杜仲五[4]两　五加皮七两　葱根一把

右三味，水五升，煎至七分，去滓，淋洗。每服二两半仲。伤破留口用药糁，骨断当夹缚，详见前论。

玉机微义

损　伤

攻下瘀血之剂

金匮治马坠及一切筋骨损方：

大黄一两，切，浸成汤下　绯帛如手大，烧灰　乱发如鸡子大，烧灰　炊单布[5]□尺，烧灰　败蒲一把三寸　桃仁四十九个，去皮尖，煞　甘草如中指节，炙，锉

右七味，以童子小便量多少煎汤成，内酒一大盏，次下大黄，去滓，分温三服。先锉败蒲席半领，煎汤浴，衣被处[6]，斯须通利数行，痛楚立差。

发明复元活血汤[7]　当归导气散[8]　方并见

---

① 二：理伤续断秘方作“一”。

② 朋：理伤续断秘方作“硼”。

③ 俗：理伤续断秘方作“续”。

④ 五：理伤续断秘方作“一”。

⑤ 布：此下注文脱字，玉机微义作“一”。

⑥ 处：玉机微义同，金匮方作“盖复”。

⑦ 复元活血汤：方见本书卷一百八十七折伤门二引卫生宝鉴。

⑧ 当归导气散：玉机微义作“当归导滞散”。方见本书卷一百八十七折伤门二引卫生宝鉴。

卫生宝鉴。　三因鸡鸣散[1] 方见本方。

按：以上四方，虽皆荡逐瘀血之药。前三方所以治血在肝经，血分者也；后一方所以治血在肺经，气分者也。当以脉之浮沉表里别之。又海藏云：若登高坠下撞打，及伤心腹，胸中积血不散，以上中下三焦部分分之，以易老犀角地黄汤、桃仁承气、抵当汤丸之类下之，亦有以小便同煎治之者，更有内加生地黄、当归煎服者，亦有加大黄者，惟智者能择之。

破血止痛行经之剂

秘藏破血散[2] 方见拔粹方。

按：此太阳、阳明、少阳经药也。

地龙散：　治腰脊痛，或打扑损伤，从高堕下，恶血留在太阳经中，令人腰脊或胫腨臂腰中痛不可忍。

中桂　地龙各四分　黄柏　甘草各一钱　羌活二钱　苏木六分　麻黄半钱　桃仁六个　归梢一分

右㕮咀，每服五钱，水二盏，煎一盏，去滓温服。

按：此足太阳经药也。

发明乳香神应散[3] 方见卫生宝鉴。

圣灵丹[4] 方见御药院方。

按：此二方少阴经药也。

三因加味芎藭汤[5] 方见本方。

元戎加味四物汤：　治虚人损伤，不禁下之者。

四物汤加川山甲煎服。

按：以上二方厥阴例药，通前六方皆温平之剂。

局方花蕊石散[6] 方见金疮门。

按：此厥阴硫黄例药也。海藏云：有用此药，以童便煎服，或酒调服之者，与寒药正分阴阳，不可不辨也。

补损当归散[7] 方见和剂局方。

按：此少阴、厥阴经药也。以上二方皆温热之剂。

接骨之剂

发明紫金丹[8] 方见拔粹方。

元戎接骨丹：

没药　乳香　当归　川椒　自然铜醋淬赤芍　骨碎补炙　败龟炙　虎骨　白芷各等分　千金藤郁李仁是也，亦等分　又方如[9] 龙骨　川芎

右细末，化蜡半两，丸如弹子大，每服一丸，好酒半升化开煎，用东南柳枝搅散热服。

经验方治打攧折骨损断，服此药，自顶心寻病至下，遇受病处，则飒飒有声，觉药力习习往来则愈。方见医方大成[10]。

按：以上三方并出少阴折伤例药也。其用毒药，以行诸经，亦是瘀血已去者方可用。丹溪云：世以自然铜为接骨药，然此等方尽多，大抵在补气补血补土，俗工惟在速效，以罔利迎合病人之意，而铜非煅不可服。若新出火者，其火毒金毒相扇，挟香挟药毒，虽有接伤之功，而燥散之祸甚于刀剑，戒之！

经验方治打扑损筋伤骨折。吕显谟传。

黄柏一两　半夏半两

右为细末，每用半两，生姜自然汁调如稀糊，付用纸花贴，如乾再付。骨折，先以绢帛封缚，次用沙木札定，良久痛止，即痒觉热，乃是血活，筋骨复旧，轻者三五日，重者不过旬月。

又方[11]：　治打扑损，肿痛不止。方见是斋医方。

---

① 鸡鸣散：方见本书卷一百八十七折伤门二引三因方。

② 破血散：方见本书卷一百八十七折伤门二引拔粹方，名破血散痛汤。

③ 乳香神应散：方见本书卷一百八十七折伤门二引卫生宝鉴。

④ 圣灵丹：方见本书卷一百八十七折伤门二引御药院方。

⑤ 加味芎藭汤：方见本书卷一百八十七折伤门二引三因方。

⑥ 花蕊石散：方见本书卷一百八十五金疮门二引和剂局方。

⑦ 补损当归散：方见本书卷一百八十七折伤门二引和剂局方。

⑧ 紫金丹：方见本书卷一百八十七折伤门二引卫生宝鉴。

⑨ 如：玉机微义作“加”。

⑩ 方见医方大成：治方在本书卷一百八十七折伤门二引医方大成。

⑪ 又方：方见本书卷一百八十七折伤门二引是斋医方。

堕马落车部

治堕马落车伤损，血涌腹满。大豆五升，以水一斗，煮取二升，去豆，一服令尽，重者不过三服。

若折伤，筋骨疼痛，用玄胡索为末，黑豆淋酒调二钱服。

一方：卫生易简方治马坠扑损。 用稻杆烧灰，以新熟酒连糟入盐和合，淋煎[1]灰汁以淋痛处，立愈。

若坠马积血心服[2]，唾血无数，用乾荷花并乾藕为末，酒调方寸匕，日三服。卫生易简方同。

屋壁所伤部

治墙壁所伤，及从高坠下，瘀血入里，腹痛胀满，叫呼不欲死者，用大黄一两，酒蒸，杏仁二十枚，去皮尖，研同为末，用酒一碗，煎六分，去滓，鸡鸣时空心服之，次日取下瘀血即好。未下再作。

打扑伤损部附接骨

治打扑伤损，遍身损痛，瘀血入腹，疼痛胀满，用芭蕉根、生姜等分，擂烂，入香油半盏，瓦铫内炒黄，入酒热服，以柤贴痛损处，速饮数碗安退。

一方： 用半两古文钱，炭火淬七次，研细，温水淘洗三次，加没药、乳香，与古文钱等分，一处再研，入麝香少许，每服一字，淡姜汤调服，不拘时候。

一方： 用赤葛根新者，赤皮葱白二味等分，先将赤葛捣烂，次下葱白研烂，入米醋少许，火上炒赤色，令温调和敷患处为妙。

一方： 半两钱七个，用桑柴火烧钱令红，好醋内淬之，取钱上碎末，再用真珠末一分，乳香、没药少许，研碎，用好酒调服。

治擷磕作孔出血者，用通红炭火吹去灰，带火乳钵内，入盐一撮，急破成细末，塞疮口中令满，以绢带子紧缚定，不可宽，血当立止，痛定，不作脓，亦无水出，极妙。

一方： 用久年破船成块石灰碾细傅之。

一方： 取葱新摘者，入煻灰火内煨之，乘热剥皮，取其涎，置伤处，仍多煨取，续续易换。熟者须用热葱连涎缠裹即不痛，立差。

被打，瘀血在骨节及胁外不去，以铁一斤，酒三升，煮取一升，服之妙。

接骨法：

用鸡一个，打死，扯去两翅并尾，捣烂如膏，摊在损处，不过半月，骨节如初，仍服烧麻灰、黄蜡各二钱，好酒一碗调下。

接骨跌闪疼肿，用生葱一把，捣烂，锅内炒熟，热热的摊在肿痛处，用绢包拴即可。

闪 挫 部

治闪挫，用骨碎补为末，煮黄米粥，和敷患处。

一方： 用杜牛膝捣罨，甚妙。孕妇不可服。

治筋断骨折，痛不可忍，用鹏砂一钱半，水粉、当归各一钱，卫生易简方各一两。为末，每服二钱，煎苏木汤调服，仍时时饮苏木汤，立效。亦治飞禽走兽骨折。

凡闪挫者，扯正用药敷贴后，当服乳香、没药、当归、熟地黄四味为末，好酒不时调服。

① 煎：卫生易简方作“前”。
② 服：卫生易简方作“腹”。

卫生易简方

折　伤

治一切破伤，多用灯心草烂嚼，和唾贴之，以帛裹定，血立止。

又方：　用自然铜研极细，水飞过，同当归、没药末各半钱，酒调频服，仍以手摩痛处。

治跌骨碎破，用生地黄捣烂，熨热裹三日夜，数易。若血聚，以针决之。

治续断筋，用旋花根洗净捣，量疮大小傅之，日易一二次乃差。

治闪折筋骨伤损，用骨碎补为末，煮黄米粥和之，裹伤处。

治坠跌伤损，瘀血在腹刺痛，用败蒲席，以蒲黄、芍药、当归、大黄、朴硝煎服，血当下。

治下一切恶血，用琥珀、大黄、鳖甲为末，每服方寸匕，酒调服。

治从高坠下，或重物压损瘀血，用琥珀刮屑方寸匕，酒调服，及取蒲黄二三匕服，日四五度。

治一切折伤，筋骨瘀痛，用没药研烂，热酒调服。破癥消肿，推陈置新。

治被欧伤，瘀血聚腹满，用豉一升，水三升，煮三沸，分服。不差再服。

治从高坠下，头破脑出，中风口噤，用大豆一斤[①]，熬去腥，勿使太热，杵末，蒸之气遍令甑下盆中，以酒一升淋之，温服，覆取汗，傅膏疮上。心痛筋挛，膝痛胀满，并和甘草煮服。

治压扑损伤，用胡桃肉杵，和酒温服，便差。

治伤损瘀血，用饴糖熬焦，和酒服之，能下恶血。

治打扑伤损，刀斧伤，用夏枯草口嚼烂，罨上即愈。

治骨头打碎，用破小[②]鞋烧灰为末，油调涂贴。

治骨损，用醋捣肥皂极烂，厚罨之，以帛束住。

治打扑刀斧伤损，用带须葱烧熟，热捣烂罨上，冷则换。

治一切破伤血不止者，用白面罨之，立止。

治榼扑损伤接骨，即将折处，揍上绑定，用雄鸡一只取血，以好酒一碗镞[③]热，就刺血在内，搅匀饮之即愈。

又方：　用土龟一个研细，以好酒半碗调服，随觉遍身拘急即愈。伤轻者，止可用半个。

又方：　用绿豆粉半升，人发、葱白各二两，同炒九次，用自然铜半两，醋淬五七次，共研为末，以骷髅醋调成膏贴之。

又方：　用蚕沙一小碗，入小麦数粒，同炒黄为度，绿豆粉一大匙，炒绿色，飞白矾二两，轻粉少许，共研匀，于铜器内，以好醋温热调成膏，摊于四五层纸上，裹损处，三日一换，三次即止。兼治风湿痹并杖疮。

又方：　用少妇发一团，包指头大乳香一块在内，以麻缠五七层，如鸡子大，于烈火内烧灰存性，为末，每服一字，酒调下。

又方：　用狗头一个，烧灰存性，为末，热酽醋调成膏，傅伤处，以帛重裹，于暖处卧。

治伤肢折臂，断筋损骨，但有皮相连者，用生地黄研汁，好酒和服，一月筋皮连续，并杵碎炒热，封损处，无比应效。

治打扑肭损，痛不可忍，用乳香二钱，别研，乌梅五个，去核，焙为末，白莴苣子

---

① 斤：卫生易简方作“升”。
② 小：卫生易简方作“草”。
③ 镞：卫生易简方作“镟”。

三[①]两八钱，炒黄为末，白米一捻，细研，再共研匀，炼蜜丸如栗子大，细嚼，热汤送下。病在上，食后；在下，食前。

治骨折，用乳香末掺极痛处，以小黄米粥涂上，却用五灵脂一两，茴香一钱，共为末，厚掺，以帛裹定，用木片夹之，少壮人二日效，老者五六日效。

又方：　用接骨木半两，乳香半钱，芍药、当归、川芎、自然铜各一两，为末，以黄蜡四两熔开，投药末搅匀，候温，众手丸如龙眼大。若止[②]伤损疼痛，好酒一盏，浸化一丸热服；若醉折筋骨，先用此药傅贴，然后服之。

又方：　用柏叶、荷叶、皂角俱生用，骨碎补去毛，等分为末，于折伤处揣定，令入元位，以姜汁调药如糊，摊纸上，贴骨断处，用杉木片夹定，以绳缚之，莫令摇动，三五日后开看，以温葱汤洗之，后再贴药，复夹七日。如痛甚加没药。

治从高坠下，及木石所压，一切伤损血瘀痛，用大黄一两，酒蒸，杏仁三七粒，去皮尖，研细，酒一碗，煎六分，去滓，鸡鸣时服，至晓取下瘀血。

若伤重，便觉气绝不能言，取药不及，急擘开口，热小便灌之。

又方：　用大黄、黑牵牛、赤芍药、当归等分为末，每服二三钱，热酒调下，约行五六[③]里，再用热酒调牵牛末二钱催之，须下恶血成块。若伤重，大小便不通者，尤宜服此。

又方：　用破故纸炒、茴香炒、辣桂等分为末，每服二钱，热酒调下。

又方：　用泽兰炒、附子炮去皮各一分，当归炒、蜀椒炒、甘草炙、桂心各三分，川芎炒六分，为末，每服二钱，温酒调下，日三服。忌生葱、猪肉、冷水、菘菜，立效。

治打扑伤损，败血流入胃脘，呕黑血如豆汁，用当归、白芍药、芎藭、百合水浸半日、荆芥穗等分，每服四钱，水一盏，酒半盏，煎七分服。

治针灸伤经络，脓血不止，用黄耆四两，当归两半，肉桂去粗、木香、乳香别研、沉香各半两，为末，用绿豆粉二两，姜汁煮糊丸，如桐子大，每服五十丸，热水送下，不拘时。

治伤折闪肭，用杜牛膝捣罨，甚效。孕妇勿服，破血堕胎。

治打扑伤损及闪肭骨节，用接骨草叶捣烂罨患处，立效。

治伤重者，用生葱、荆芥、土当归煎汤，温热淋洗。

治伤损，筋骨碎断，即煎葱淋洗，拔伸整顿，令骨相续平正，却用生姜汁或生地黄汁和水调，摊熟帛或厚纸上贴之，次以木皮约如指大片，疏排周匝，以小绳紧缚三日，如前淋洗，换药贴裹，候骨生牢，方可去夹。

又方：　用穿山甲炒黄、丁香皮各三两，土当归一两，枇杷叶根、百草霜各半两，焙碾为末，以姜汁或地黄汁调贴伤处。

治伤重，肠内有瘀血，白芍药、熟地黄、川芎、当归等分，每服三钱，水盏半，煎七分，空心热服。

捣生地黄，热裹熨，日三。若血聚，针之。又捣栝蒌根，以布重裹之。

① 三：卫生易简方作“二”。
② 若止：卫生易简方作“瘀血”。
③ 五六：卫生易简方作“六七”。

备预百要方

堕损压笮伤折打破方

堕落气绝方：

半夏末如豆大，内鼻中即苏。

堕损筋骨差跌及碎方：

堕落压击闷绝不仁方：
狗屎一升，绞取汁，和酒服。
又以麻子捣作粥食之。
被打，血抢心不能言方：
擘口，尿之下喉即醒。
又蒲黄、当归末和酒服。一物亦可。
被打破裂方：
取葱白生者，煨于熯灰中，去皮擘破，并涕乘热裹之，数易。
打损疼痛，拔毒消肿方：
铅丹炒过　蚌蛤粉
右二物合如桃花色，以生油调作膏，湿纸摊帖之，乾即易。汤火疮亦可。
又夜合花末，酒服二钱。
皮肉破伤速合方：
清蜜火温裹病处。
以物伤肉令不病方：
青蓝茎叶捣涂。
山野行伤肌方：
葛叶烂捣付。
被压笮打欧，瘀血在内，心闷方：
生地黄汁三升，酒一升，合煮取二升七合，分二服。量病加减。
筋□□[1]续方：
旋覆花捣取汁，滴损处，外以滓裹之。
又捣生葛根汁服。
又蟹头脑、足髓放内疮中，即续。

折伤导引

巢氏病源

卒被损瘀血候

养生方导引法云：端坐生腰，举左手仰掌，以右手承右胁，以鼻内气自极七息，除瘀血结气。
又云：鼻内[2]口闭有[3]极七息，除两胁下积血气。
又云：端坐生腰，举左手，右手承右胁，鼻内气七息，除瘀血。
又云：端坐，右手持腰，鼻内气七息，左右戾头各三十止，除体瘀血、项颈痛。
又云：双手搦腰，手指相对向尽势，前后振摇二七，又将手大指向后极势，振摇二七，不移手，上下对与气下尽势，来去三七，去云门腰掖血气闭塞。

诸疮门 — 附诸肿　恶肉　恶脉

金　匮　方

浸淫疮，从口流向四肢者，可治；从四肢流来入口者，不可治。浸淫疮，黄连粉主之。方未见。

① 筋□□：大观本草卷六十草部旋复花条引外台秘要作“断筋便”。
② 内：诸病源候论此下有“气”字。
③ 有：诸病源候论作“自”。

巢氏病源

肿病诸候

风毒肿候

风毒肿者，其先赤痛鬲热，肿上生瘭浆，如火灼是也。

肿核候

凡肿挟风冷则不消，而结成核也。

气肿候

气肿者，其状如痈，无头虚肿，色不变，皮上急痛，手才著，便即痛，此风邪搏于气所生也。

气痛候

人身忽然有一处痛如打，不可堪耐，亦乍走身间，发作有时，痛发则小热，痛静便如冰霜所加，故云气痛。亦由体虚受风邪所侵，遇寒气而折之，邪气不出故[1]。

恶脉候

恶脉者，身里忽有赤络，脉起崖岸，聚如死蚯蚓状，看如似有水在脉中，长短皆逐其络脉所生是也。由春冬受恶风，入络脉中，其血瘀结所生，久不瘥，缘脉结而成瘘。

肿有脓使溃候

肿壮热结盛则血化为脓，若不早出脓，脓食筋烂骨，则不可治也。

肿溃后候

凡痈肿既溃讫，脓汁须及时而尽，若汁不尽，还复结肿，如初肿之候无异，即稍难治。

日游肿候

日游肿，其候与前游肿相似，游肿方见圣惠方。但手近之微痛，如复小痒为异，世言犯触日游神之所作。

流肿候

流肿，凡有两候，有热有冷。冷肿者，其痛隐隐然，沉深著臂髆，在背上则肿起，凭凭然而急痛，若手按及针灸之，即肿起是也。热肿者，四支热如火炙之状，移无常处，或如手，或如盘，著背腹是，剧则皆[2]热如火，遍身熠熠然，五心烦热，唇口乾燥，如注之状，此背[3]风邪搏血气所生，以其移无常处，故谓流肿。

疮病诸候

头面身体诸疮候

夫内热外虚，为风湿所乘，则生疮。所以然者，肺主气，候于皮毛，脾主肌肉，气虚则肤腠开，为风湿所乘，内热则脾气温，脾气温则肌肉生热也，湿热相搏，故头面身体背[4]生疮。其疮初如疱，须臾生汁，热盛者，则变为脓，随瘥随发。

头面身体诸久疮候

诸久疮者，内热外虚，为风湿所乘，则头面身体生疮。其藏内热实气盛，热结肌肉，其热留滞不歇，故疮经久不瘥。

疽疮候

此疽疮，是瘑之类也，非痈疽之疽，世云瘑疽，即是此也。多发于支节脚胫间，相对匝匝作细孔如针头，其里有虫痒痛，搔之黄汁出，堕[5]瘥随发，皆是风邪客于皮肤，血气之所变生，亦有因诸浅疮，经久不瘥，痒痛抓搔之，或衣揩拂之，其疮则经久不瘥，而变作疽疮者，里皆有细虫。

甲疽候

甲疽之状，疮皮厚，甲错剥起是也。其疮亦痒痛，常欲抓搔之汁出，其初皆是风邪折于血气所生，而疮里亦有虫。

---

① 故：诸病源候论此下有“也”字。
② 皆：诸病源候论作“背”。
③ 背：诸病源候论作“皆”。
④ 背：诸病源候论作“皆”。
⑤ 堕：诸病源候论作“随”。

查疽候

查疽之状，隐疹赤起，加[1]今查树子形是也。亦是风邪客于皮肤，血气之所变生也。其疮内有虫，亦痒痛，时燃肿汁出。

顽疽候

此由风湿客于皮肤，血气[2]变，隐疹生疮，痒而不痛，故名顽疽。

枨疽候

枨疽，是诸杂疮带风湿，苦痒，数以手抓搔，枨触便侵食，阔久不瘥，乃变生虫，故名枨疽。

天上病候

天上病者，人神采昏塞，身体沉重，下部生疮，上食五脏，甚者至死，世人隐避其名，故云天上病也。此是腑脏虚，肠胃之间虫动，侵食人五脏故也。

甜疮候

甜疮生面上，不痒不痛，常有肥汁出，汁所溜处，随即成疮，亦生身上，小儿多患之。亦是风湿搏于血气所生，以其不痒不痛，故名甜疮。

疮建候

人身上患诸疮，热气盛者，肿燃痛，附畔别结聚，状如瘰疬者，名为疮建，亦名疮根也。

王烂疮候 王音旺

王烂疮者，由腑脏实热，皮肤虚，而受风湿，与热相搏，故初起作瘭浆，渐渐王烂，汁流浸溃烂[3]，故名王烂[4]也。亦名王灼疮，其初作燋浆，如汤火所灼也。又名洪烛疮，初生如沸汤洒作瘭浆，赤烂如火烛，故名洪烛也。

白头疮候

白头疮者，由体虚带风热，遍身生疮，疮似大疥痒，渐白头而有脓，四边赤疼痛是也。

猪灰疮候

猪灰疮者，坐处生疮，赤黑有窍，深如大豆许，四边青，中央坼作臼陷而不甚痛，状如猪灰，因以为名。此亦是风热搏于血气所主[5]也。

不痛疮候

诸疮久不瘥，触风冷，有恶肉，则搔针灸不觉痛，因以不痛为名。

雁疮候

雁疮者，其状生于体上，如湿癣疬疡，多著四支乃遍身。其疮大而热疼痛，得此疮者，常在春秋二月、八月雁来时则发，雁去时便瘥，故以为名。亦[6]雁过荆汉之域，多有此病。

蜂窠疮候

其疮如疽瘘之类，有小孔象于蜂窠，因以为名。此亦风湿搏于血气之所生也。

断咽疮候

此疮绕颈而生，皮伤赤，若匝颈则害人。此亦是风湿搏于血气之所生也。

毒疮候

此由风气相搏，变成热毒，而生疮于指节或指头，初似疥甚痒，经宿乃紫黑也。

瓠毒疮候

俗云：人有用瓠花上露水以洗手，遇毒即作疮，因以名之。

晦疮候

其疮生皆两两相对，头戴白脓。俗云：人有误小便故灶处，即生此疮，小儿多患也。

集疮候

此疮十数个，集生一处，因以为名。亦是皮肤偏有虚处，风湿搏于血气变生。

屋食疮候

方云：犯屋示所为，未详其形状。

乌啄疮候

乌啄疮，四畔起中央空是也。此亦是风

---

① 加：诸病源候论作“如”。
② 气：诸病源候论此下有“所”字。
③ 溃烂：诸病源候论作“渍”。
④ 烂：诸病源候论此下有“疮”字。
⑤ 主：诸病源候论作“生”。
⑥ 亦：诸病源候论此下有“云”字。

湿搏于血气之所变生，以其如乌鸟所啄，因以名之也。

摄领疮候

摄领疮，如癣之类，生于颈上痒痛，衣领拂著即剧，云是衣领揩所作，故名摄领疮也。

鸡督疮候

鸡督疮生胁傍。此疮亦是风湿搏于血气之所变生，以其形似鸡屎，因以为名也。

断耳疮候

断耳疮生于耳边，久不瘥，耳乃取断。此亦月食之类，但不随月生长为异。此疮亦是风湿搏[1]血气所生，以其断耳，因以为名也。

新妇疮候

此疮状绕腰生，如蠼螋尿，但不痛为异耳。此疮亦是风湿搏[2]血气所生，而世人呼之为新妇疮也。

土风疮候

土风疮，状如风疹而头破，乍发乍瘥。此由肌腠虚疏，风尘入于皮肤故也。俗呼之为土风疮。

逸风疮候

逸风疮，生则遍体，状如癣疥而痒。此由风气散逸于皮肤，因名逸风疮也。

甑带疮候

甑带疮者，绕腰生。此亦风湿搏[3]血气所生，状如甑带，因以为名。又云：此疮绕腰匝则杀人。

兔啮疮候

凡疽发于胫，名曰兔啮疮。一名血实疮。又随月生死，盖月食之类，非胫疮也。寻此疮，亦风湿搏于血气，血气实热所生，故一名血实。又名兔啮者，亦当以其形状似于兔啮，因以为名。

血疮候

血疮者，云诸患风湿搏血气而生疮。其热气发逸，疮但出血者，名为血疮也。

疮中风寒水候

凡诸疮生之初，因风湿搏[4]血气，发于皮肤，故生也。若久不瘥，多中风冷水气。若中风则噤痉，中冷则难瘥，中水则肿也。

露败疮候

凡患诸疮及恶疮，初虽因风湿搏血气，蕴结生[5]，蒸发皮肉成疮。若触水露气，动经十数年不瘥，其疮瘀黑作痂，如被霜瓠皮，疮内肉似断，故名露败疮也。

疮恶肉候

诸疮及痈疽，皆是风湿搏[6]血气，血气蕴结生热，而发肌肉成疮，久不瘥者，多生恶肉，四边突起，而好肉不生，此由毒热未尽，经络尚壅，血气不到故也。

疮瘥复发候

诸恶疮，皆因风湿毒所生也。当时虽瘥，其风毒气犹在经络者，后小劳热，或食毒物，则复更发也。

冻烂肿疮候

严冬之月，触冒风雪寒毒之气，伤于肌肤，血气壅涩，因即瘃冻，燋赤疼肿，便成冻疮，乃至皮肉烂溃，重者支节堕落。

千 金 方

洪 烛 疮

洪烛疮，身上忽生瘭浆，如沸汤洒，剧者遍头面，亦有胸胁腰腹肿缓，通体如火汤灼，瘭起者是也。治之法，急服漏芦汤下之，外以升麻膏傅之。其间傅升麻膏若无效，一依傅丹方。

---

① 搏：诸病源候论此下有“於”字。
② 搏：诸病源候论此下有“於”字。
③ 搏：诸病源候论此下有“於”字。
④ 搏：诸病源候论此下有“於”字。
⑤ 生：诸病源候论此下有“热”字。
⑥ 搏：诸病源候论此下有“於”字。

肥　疮

凡热疮，起便生白脓黄烂，疮起即浅，但出黄汁，名肥疮。

浸淫疮

浸淫疮者，浅搔之，曼延长不止。搔痒者，初如疥，搔之转生汁，相连著是也。

和剂指南

论恶疮疥癣，一切无名恶疮，漏疮、臁疮、冷疮，久年不愈者，可与桃仁散、麒麟散、保安膏贴之。风毒热疮，一名肾脏风，疮汁脓胞湿烂浸淫者，可与何首乌散、四生丸、胡麻散、四顺饮。大便秘者，与皂角煎丸、桃仁散，以滑肌散傅之。遍身生疮瘙痒，或生瘾疹者，先服通大便药，可与皂角煎丸、神功丸、麻仁丸、何首乌散、四顺饮、四生丸、消风散、胡麻散、滑肌散、黄耆丸、白龙丸。疮乾痛者，与玉龙摩风膏。汤火烧成疮者，与佛手散。疥疽顽癣，与摩风膏、白龙丸、滑肌散、清心丸。

三因方

疮疡证治

疮疥虽不至害人，浸淫不已，亦有数年不愈者，多因心肾不宁，伤神失志，或饮食不节，积滞肠胃，致气血凝留，发于肌肉皮膜之间，色目极异，所谓马疥、恶露、反花、瘑疮，种状不同，或痒或痛，汁水淋漓，愈而复发，诸治不差，要当调养心肾，去肠间宛垒，理无不愈。

癜风证治

男子精血不调，外为风冷所袭，致阴下湿痒，搔之不已，流注于脚，悉生疮疡，名曰癜风。世谓肾脏风者，乃认癜为肾也。癜属宗筋，系于肝，胃阳明养之，阳明主肌肉，循经流入四肢，故使四肢生疮，正谓之癜风，非肾脏风也。

妒精疮证治

夫逻欲人多患妒精疮者，以妇人阴中先有宿精，男子与之交接，虚热即成，初发在阴头如粟，拂之则痛甚矣。二日出清脓，作臼孔，蚀之大痛。妇人亦有此病，生在玉门内，正似疳蚀疮，不痛为异耳。

直指方

肾痒方论

实则为痛，虚则为痒，痒之出于肾虚也明矣。肾属足少阴之经，囊间湿痒，谓之肾脏风，世所共知也。熟知宗筋聚于阴器，足厥阴之肝系焉。惟肾主虚，惟肝主风，人之精血不充，内为嗜欲所耗，外为风冷所乘，风毒湿气皆从虚入囊间，其有不湿痒者乎！脚下其有不疮疡者乎！疗治之法，先当疏散风邪，流行湿毒。夫然后以芎归活血，与细辛、蒺藜驱风，敷[1]辈润养而平治之。若欲遽用川乌、故纸燥烈之剂，吾恐拦住内邪，病无由愈。间有患者，为酒面炙爆所伤，肾虚而挟热，如猪肚、黄连蒸为丸子又不可无。其或不施药饵，一切从事于热汤，虽沃之暂

[1] 敷：仁斋直指附遗方论作“数”。

止，然真气愈泄，肝肾愈虚，或者未知攸济。

诸疮方论

诸疮虽不能害人，然浸淫无已，亦有多年不获愈者，此皆心肾不济，饮食不节，肠胃停留，以致风毒与血气搏，凝滞于肌肉之间而发露也，其名目疔，治有异焉。凡人体虚，感受风热湿毒之气，发为疮疡，痒痛燉肿，身热多汗，是为恶疮。或生于手足间，相对如新茱萸，痒痛折裂，搔则黄汁淋漓，有孔如瘸，久而生虫，是为蜗疮。或初生如饭粒，渐大而有根，头破血流浓出，肉反如花开之状，是为反花疮。或初生甚小，先痒后痛，汁出浸淫，湿烂肌肉，延至遍身。若从口发出，流散四肢者轻；若从四肢发生，然后入口者重，是为浸淫疮。或生于两耳鼻面间，及下部诸窍，侵蚀筋络，月中则疮盛，月末则疮衰，以其随月而生，是为月蚀疮。小儿耳下疮，亦名月蚀。或毒气攻于手足指爪肉裹上，指甲疼痛出血，疮中有虫，是为甲蛆疮。或指头先肿，燉热掣痛，然后于爪甲边结脓，甚者爪甲俱脱，是为代指。或人禀性畏漆，见漆则中毒，面痒而肿，绕眼微赤，痒处搔之随起瘖瘾，重者遍身如豆如杏，脓燉作痛，是为漆疮。或盛夏腠理易开，风热毒气搏于皮肤，轻者状如撒粟，重者热汗浸渍，匝匝或[1]疮，曰痱疮。或心神郁燥，遍身发疮，多出脓血，赤烂如火，曰热疮。或身触风寒冷气，以致血涩不行，其疮顽滞，不知痛痒，经久难瘥，曰冷疮。或身发疮肿，非痈非疽，非癣非疥，状如恶疮，或瘥或剧，曰无名疮。或头生白团，斑剥如癣，上有白皮，久则成痂，遂至满头，疮中有孔有脓，细虫入裹[2]，不痛微痒，少长不瘥，曰秃疮。或风热毒气流注，两脚生疮，肿烂疼痛，步履艰难，惟生于臁骨者为重，曰臁疮。以其骨上肉少皮薄，难愈。至有多年无已，疮口开阔，皮烂骨现，臭秽可畏者，先当取虫，然后傅药。或淫夫龟上生疮，初发如粟，拂之则痛，由是出清脓，作臼孔，侵蚀臭烂，日渐大痛，曰妒精疮。以妇人先有宿精在内，或月水未断，与之交接，涤秽不前传气而作。妇人亦有生于玉门者，曰阴蚀疮。或满颊满项发如豆梅，痒而多汁，延蔓两耳，内外湿烂，如浸淫疮之状，曰走皮瘾疮。田野呼为悲羊疮。已上数种，名目不同，治各有方，条列于后。

治病百法

恶　疮

夫一切恶疮久不愈者，以木香槟榔散贴之则愈。

下　疳

夫下疳久不愈者，俗呼曰臊疳是也。先以导水、禹功先泻肝经，外以木香散傅之，日上三二度，然后服淡粥，一二日则止。

疮 疖 瘤 肿

夫大人疮疖，小儿赤瘤，肿发之时，疼痛不止。内经曰：夫诸痛痒疮疡，皆生于心火。可用一咒法禁之，法者是心法。咒曰：

龙鬼流兮诸毒肿，痈疮脓血甚被痛，志心称念大悲咒，三唾毒肿随手消。

右一气念咒三遍，望日月灯火，取气一口，吹在疮肿丹瘤之上，右手在疮上，虚收虚撮三次，左手不动，每一气念三遍，虚收虚撮三次，百无禁忌，如用之时，心正为是。此法得于祖母韩氏，相传一百余年，用之救人，百发百中。若不食荤酒之人，其法更灵。

① 或：仁斋直指附遗方论作“成”。
② 裹：仁斋直指附遗方论作“里”。

病疮肿者，大忌鸡猪鱼兔，发热动风之物。此法不得轻侮，无药处可用之。

疮肿丹毒

夫大人小儿疮肿丹毒，发热疼痛不止，热[1]有一法，面北端，想北海，雪浪滔天，冰山无际，大寒严冷之气，取此气一口，吹在疮肿处立止。用法之人，大忌五辛之菜，五厌之肉。所病之人，切忌鸡猪鱼兔，酒醋湿面等物。无药之处，可用此法救人。

杖　疮

夫一切虫兽所伤，及背疮肿毒，杖疮煞发，咸[2]透入里者，可服木香槟榔丸七八十丸至百丸，或百五十丸至二百丸，生姜汤下，过[3]五七行，量虚实加减则可矣。

治法杂论

凡头[4]肿痛瘰疬，及胸臆胠胁之间，或有疮痂肿核不消，及脓水不止，可用沧盐一二两炒过，以长流水一大碗煎之，放温，作三五次，顿服讫，良久[5]，于咽喉中，以钗股探引吐之，去冷痰三二升，次服和血通经之药[6]。内经曰：咸味涌泄为阴[7]。铜人记[8]：少阳起于目锐眦，行耳后，下胁肋，过期门。瘰疬结核，马刀挟瘿，足少阳胆经多气少血之病也。

十形三疗

项　疮

戴人在西华，寄于夏官人宅，忽项上病一疮，状如白头，疮肿根红硬，以其微小不虑也。忽遇一故人见邀，以羊羔酒饮，鸡鱼醢蒜皆在焉。戴人以其故旧，不能辞，又忘其禁忌。是夜疮大痛不可忍，项肿及头，口发狂言，因见鬼神，夏君甚惧，欲报其家，戴人笑曰：请无虑，来日当平。乃以酒调通经散六七钱，下舟车丸百余粒，次以热面羹投之，上涌下泄，一时齐作，各[9]去半盆，明日日中，疮肿已平。一二日，脓出而愈，夏君见大奇之。

冻　疮

戴人女僮，足有寒疡，俗云冻疮。戴人冷[10]服舟车丸、浚川散，大下之，其疮遂愈。人或疑之，戴人曰：心火降则寒消，何疑之有！

杖　痛[11]

戴人出游，道经故息城，见一男子被杖，疮痛煞发，毒气入里，惊涎堵塞，牙禁不开，粥药不下，前后月余，百治无功，甘分于死。戴人先以三圣散，吐青苍惊涎约半大缶，次以利隔丸百余粒，下臭恶燥粪又一大缶，复煎通圣散数钱热服之，更以酸辣葱醋汤发其汗，斯须汗吐交出，其人活矣。此法可以救冤人。

杖疮入水

小渠袁三，因强寇入家，伤其两肘外臁，作疮数年不已，脓汁常涓涓然，但饮冷则疮

---

① 热：儒门事亲作“又”。
② 咸：儒门事亲作“或”。
③ 过：儒门事亲作“泻”。
④ 头：儒门事亲此下有“目有”二字。
⑤ 良久：儒门事亲作“候不多时”。
⑥ 药：儒门事亲此下有“如玉烛散四物汤之类是也”句。
⑦ 阴：儒门事亲此下有“涌者吐也泻者泄也”句。
⑧ 记：儒门事亲作“曰”。
⑨ 各：儒门事亲作“合”。
⑩ 冷：儒门事亲作“令”。
⑪ 痛：儒门事亲作“疮”。

间冷水浸淫而出，延为湿疮，来求治于戴人。曰：尔中焦当有绿水二三升，涎数掬。袁曰：何也？戴人曰：当被盗时，感惊气入腹，惊则胆伤，足少阳经也，兼两外膝皆少阳之部，此胆之甲木受邪，甲木色青，当有绿水；少阳在中焦如沤，既伏惊涎在中焦，饮冷水，咽为惊涎所阻，水随经而旁入疮中，故饮水则疮中水出。乃上涌寒痰，汗如流水，次下绿水，果二三升，一夕而痂乾，真可怪也。

疮科通玄论

紫 疥 疮

夫紫疥疮者，脏中毒气，经络相传，发于血脉之间，疮生不拘何处，形如紫疥，或疼或痒遍身行，顶黑陷心，一作遍身形顶黑心石。传至脏中生呕逆。

神昏多困倦，恍惚似绳缚。歌曰：

紫疥人多有，根连筋骨深，脏中毒气盛，荣卫两相侵，不拘何处有，顶黑陷中心，速涤肠中垢，秋灸夏宜针。

凡疔紫疥，与疔疮同治。

火 赤 疮

夫火赤疮者，风邪毒盛，气血虚残，外攻皮肉之间，发在肌肤之上，初生赤色，燎浆走胤似脓胞，黄水流时，澹破皮肤如火燎。

风毒伤肌体，邪热损皮肤。歌曰：

火赤疮生如火燎，燎浆走胤遍生疼，黄水到一作流。时皮肉痛，凉肌补脏自然荣。

先煎消毒散，去滓，冷一作次。用鸡翎扫在疮上，续续频扫，服当归连翘散，或服乳香黄耆散亦得。

红 丝 疮

夫红丝疮者，心脏毒热，气血相凝，灌于经络之间，发在肌肤之上，红丝贯穿，或疼或痒串皮红，血箭行时，晕倒心间人必死。

风虚生血箭，热盛长红丝。歌曰：

红丝血箭一般形，皆因风热客相乘，若要速医疮得效，当头砭刺显方能。

先用针当晕刺之，又疮首微刺破出血，上贴针头散，服当归连翘散，下解毒丸，疏其风热。又宜调和荣卫，详细用之。

鱼 脐 疮

夫鱼脐疮者，脏中积冷，虚热相搏，结于筋骨之间，发则不拘何处，初如肿疖，破时腐肉似鱼脐，黄水流时，上有白胞鱼脐发。

鱼睛漂浮浅，鱼脐本根深。歌曰：

此证多因脏中寒，盖因真气并衰残，早选追毒疮速效，薄脓烂肉治时难。

先服当归连翘散、乳香黄耆散，疮口上贴针头散、追毒乌金散，量疮用药。

冷 疳 疮

夫冷疳疮者，脏中虚弱，真气衰残，结伏腠理将深，毒恶损伤荣卫，外边肿硬，破时脓水色如疳，日久将深，骨髓损伤人必死。

寒毒攻心腑，虚热客三焦。歌曰：

血疳风热疰皮间，赤晕行时是紫疳，风疳四肢如癣疥，冷疳脓水不曾乾。

凡此四证相类，治法各别，当服黄耆圆。疮口上若不破，用针刺破，捻入蟾酥丸，膏药贴之，如稠脓出者愈。

血 疳 疮

夫血疳疮者，脏中虚怯，邪热相侵，外乘皮一作分。肉之间，发于肌肤之上，初如紫疥，破时血出遍身形，所处成疮，气血损伤皮肉般相。般相一作瘥。

风气伤血脉，气弱损身形。歌曰：

邪气相乘真气衰，风毒闭塞不能开，脏

中积冷荣中热，疮生遍体步难抬。

先服当归连翘散祛风，又宜和血，疮上搽麝香轻粉散。

风 疳 疮

夫风疳疮者，经连脾胃，络足阳明，客于然骨之端，注在承山之侧，初如癣疥，破时黄水浸成疮，风湿相搏，毒恶所攻生遍体。寒毒攻络脉，风湿客三焦。歌曰：

风湿相搏病在脾，或时痛痒不须疑，麻木不随皮破裂，不识根源病较迟。

先服黄耆丸，搽如圣膏。

鸦 咯 疮

夫鸦咯疮者，胎中受证，气血虚寒，风邪腠理相侵，发在肌肤之上，初如钱窍，渐成溃烂似鸦咯，日久将深，脏腑损伤无可治。

风虚伤血脉，邪热作疳蚀。歌曰：

血脉相凝脏腑虚，胎中邪热未能疏，初生疮口如钱窍，有似鸦咯及一作皮。肉枯。

此证小儿多患，先服解毒圆，如麻子大者，疮口上用鸦咯散、麝香轻粉散乾糁之。

阴 蚀 疮

夫阴蚀疮者，脏中虚怯，肾气衰残，风邪入一作脏。腑之间，毒恶损伤荣卫，或时痛痒，渐成疮窍作疳蚀，脓水流时，须用神方当速救。

风邪生痛痒，虚热作疳蚀。歌曰：

肾弱虚残邪热伤，阴毒溃烂遍生疮，蛇床地骨频涤浴，更用先贤秘效方。

先用洗毒散煎汤，去滓，洗净，乾用麝香轻粉散糁之。

漏 睛 疮

夫漏睛疮者，肝脏毒气，小肠邪风，外攻双目之端，灌于瞳人之侧，初生痒痛，渐成脓水色如泔，日久睛昏，气败肝绝无方救。

肝伤多眼痛，胆损必睛枯。歌曰：

肝胆邪风定有余，上攻毒气下元虚，黄连地骨频洗浴，补肾宣肝病自除。

先服黄耆丸、消风散，黄连、地骨皮煎汤温洗，贴追毒散、桃花散收敛。

臁 疮

夫臁疮者，风邪毒气，肾脏虚寒，外攻三里之傍，灌于阴交之侧，下焦久冷，渐滋溃烂步难抬，风湿相合，骨肉损伤成大患。

寒毒伤血脉，邪热损皮肤。歌曰：

此证多因肾脏寒，经年脓水不曾乾，依取神方当洗净，二法推求定有欢。

先用洗毒散煎汤，洗净疮口，上糁麝香轻粉散，神应膏贴之，当服黄耆丸。

耳 疳 疮

夫耳疳疮者，风邪入脑，肾脏虚寒，上攻两耳之中，溃浸肌肤之上，连年不效，作成脓水扑人腥，与肺相通，腐烂蚀肌生秽气。

风传入脑户，肾脏有邪毒。歌曰：

疳耳根源肾脏虚，风毒传入小肠居，龙麝枯矾轻粉末，吹之神效立消除。

治用麝香轻粉散吹入耳内。

骨 槽 风

夫骨槽风者，大肠受证，络手阳明，风邪毒热相乘，灌于经络之内，牙龈肿痛，聚成败血似锥剜，风热相凝，堵塞咽喉连腮肿。

阳明邪热盛，攻作骨槽风。歌曰：

阳明邪热大肠虚，毒气攻壅此处居，败血灌侵牙齿痛，毒恶乘风骨肉枯。

治风肿牙疼骨槽风，乳香莘拨散噙之，服当归连翘散。

火 殃 疮

夫火殃疮者，心经毒热，大感邪风，发于血脉之间，注在肌肤之上，初生赤色，渐滋肿硬串皮红，气血相凝，阳盛阴虚生此证。

风毒生肿痛，邪热注酸痛。歌曰：

邪热相侵真气伤，血凝经络不相当，肌肉败伤生肿痛，和解三焦便得康。

先服当归连翘散，煎消毒散扫之。

牙 疳 疮

夫牙疳疮者，脾中邪热，胃气余毒，上攻唇齿之端，注在牙龈之侧，或时肿痛，作成腐肉损肌蚀，败血来侵，溃烂牙槽生秽气。脾邪生败血，胃热作疳蚀。歌曰：

脾胃虚毒邪热攻，变生败血在其中，蚀损牙龈连腮肿，明医审细用神功。

先服当归连翘散，疳蚀处贴青金膏。经验秘方同。

水流麻根疮

夫水流麻根疮者，膀胱阴怯，心火余毒，发于血脉之间，疮生不拘何处，或时疼痒，燎浆起处似脓胞，黄水流时，肉烂皮伤生肿痛。

膀胱多怯弱，心火有余毒。歌曰：

阴阳消息少人知，此证麻根患者稀，呕逆头疼连百节，宣肠活血莫狐疑。

先服当归连翘散，下解毒丸。痛者服乳香黄耆散，疮口上贴追毒散。

外 科 精 义

论 阴 疮

夫阴疮者，大概有三等，一者湿阴疮，二者妒精疮，三者阴蚀疮，又曰下疳疮。盖湿疮者，由肾经虚弱，风湿相搏，邪气乖[①]之，瘙痒成疮，浸淫汗出，状如疥癣者是也。妒精者，由壮年精气盈满，久旷房室，阴上生疮，赤肿作臼，妨闷痒痛者是也。阴蚀疮者，由肾脏虚邪，热结下焦，经络痞涩，气血不行，或房劳洗浴不洁，以致生疮，隐忍不医，脓肿尤甚，袖[②]疮在里，措手无方，疼痛注闷，或小便如淋，阴丸肿痛是也。或经十余日，溃烂脓血，肌肉侵蚀，或血出不止，以成下疳。若身体壮热，烦渴恶寒，宜急治之。以大豆甘草汤渍之，渍毒汤等[③]洗浴之，服五香连翘汤、漏芦汤等疏之。更以截疳抵圣散乾糁之，四畔用磨风膏温润之，后以将护忌慎之。渴不止者，服竹叶黄芪汤。大便软者，宜服托里茯苓调治之。夫如是，则无不差矣。

论 诸 疮

夫诸疮之生，其类甚多种，大小方书载之纷纷，以要而论，概举四等。一者，因于气血稽留而结于内者，谓肠胃之中痈疽是也；二者，因于气血稽留而结于外者，谓十丁九瘘五痔之类是也；三者，不因气血而为疮，谓堕仆并金刃汤火炙[④]烙，而伤皮肉之类是也；四者，不因气血而骨肉损伤者，谓虫兽爪牙所害之类是也。然而四等皆不难损于肌肤，害于筋骨，不必具载。今于随方条下，该说治证，以法附之。为治之者，临疾致宜，适事为故耳。

千 金 方

凡日月蚀时，忌食饮。腹中生鼆虫，及房室生子不具足，必患月蚀疮。亦不得与儿乳。日月生后，乃不忌，令人口臭，齿龈宣露，常有血出，舌上生疮者，皆由犯此所致耳。日月蚀时须救，不救，出行逢暴雨。其救月

① 乖：外科精义作“乘”。
② 袖：外科精义作“由”。
③ 等：外科精义作“者”。
④ 炙：外科精义作“灸”。

杖须收取治蠹之神药，预备患此者施之救疗。

治月蚀恶疮息肉方：

硫黄　茄茄[1]　斑猫各等分

右三味，治下筛，傅疮上。乾者，以猪脂和傅之，日三夜一。

又方：

地榆根　蔷薇根　吴茱萸根各三两

右三味，治下筛，以盐汤洗疮，傅之，日三。

浸淫疮

苦瓠散：　治浸淫疮方。疮表里相当，名浸淫疮。

苦瓠一两　蜂房②□□　蛇蜕半两　大豆半合　梁上尘一合

右五味，治下筛，以粉为粥，和傅纸上帖之，日三。古今录无大豆。

又方：　以煎饼乘热拓之，亦治细癣。

又方：　猪牙车骨年久者，槌破，烧令脂出，热涂之。

又方：　取苦楝皮若枝，烧作灰傅上。圣惠方如疮湿，即乾傅之。乾者，猪脂和涂。并治小儿秃疮及诸恶疮。

治诸疮因风致肿方：

烧白芋灰，温汤和，厚三分，傅疮上，乾即易，五六度瘥。

又方：　栎根皮三十斤，锉，以水三斛煮令热，下盐一把，令的的然热以浸疮，当出脓血，日日为之，瘥止。

治恶露疮方：

捣薤菜傅疮口，以大艾炷灸药上，令热入内即瘥。

治恶疮方：

矾石　松脂　乱发　蜡各二分　猪膏四两

右五味，煎发候消，内矾石，次内松脂，次内蜡，去滓，先刮洗疮令净，然后用药涂之，日再三。不痛久疮，时愈新疮，迟愈瘾疥痒疮，头秃皆即愈生发，胜飞黄膏。

又方：　烧萹竹灰，和楮白汁涂之。

又方：　羊屎、麻根烧烟断，膏和封上。有汁者，乾傅之。

又方：　面一升作饼大小以覆疮，灸上令热，汁出尽瘥。

治恶疮似火烂洗汤[3]：

白马屎曝乾，以河水和煮十沸，绞取汁洗之。

治恶疮其大如钱，名曰马疥方：

以水渍自死蛇一头令烂，去骨，以汁涂之，随手瘥。

治恶疮十年不瘥，似癞者方：

蛇蜕皮一枚，烧经验良方烧存性。为末下筛，猪脂和傅之。圣惠方、肘后方同。醋和亦得。

又方：　苦瓠一枚咬咀，煮取汁洗之，日三度。又煎以涂癣，甚良。当先以泔净洗乃涂，三日瘥。

又方：　烧猳猪屎傅之。

又方：　盐汤洗捣地黄叶帖之。

又方：　烧莨菪子为末傅之。

又方：　烧鲫鱼灰，和酱清傅之。

乌膏：　治恶疮方。

雄黄　雌黄　芎劳　升麻　乌头　防己　竹灰　黄连　黄柏　水银各二两[4]　胡粉一分　蜡三两　杏仁三十枚　巴豆二十枚　松脂　乱发各一鸡子大

右十六味咬咀，以猪膏三升，急煎令发消，去滓，停小冷，入真朱三[5]钱匕，搅令相得以傅之。凡用膏，先净洗疮，拭乾乃傅上，傅讫，以赤石脂黄连散粉之。千金翼无竹灰、水银、蜡。　圣惠方治诸恶疮，乌膏方：雄黄半两，细研　雌黄半两，细研　芎劳半两，锉　川升麻半两　杏仁二十枚，汤浸，去皮尖双仁　胡粉一分　巴豆二十枚，去皮心　黄连半两，去须，锉　黄柏半两，锉　乌头半两，锉　乱发如鸡子大　松脂如鸡子大　水银半两，与胡粉入少水同研星尽　蜡一两　竹灰半两　右件药，以酒一盏拌一时久，安铛于火上，先取炼了猪膏三升，急煎发令消，下诸药，以文火煎，搅候杏仁黄黑色，以绵滤去滓，入研了真珠末二钱、雄黄、胡粉等，搅

1) 茄：备急千金要方作“茹”。
2) 房：此下注文脱字，备急千金要方作“半两”。
3) 汤：备急千金要方此下有“方”字
4) 两：备急千金要方作“分”。
5) 三：备急千金要方作“二”。

令相得，收瓷合中，每日二三上涂之。

又方：　治种种诸疮不愈者方。

水银一两　黄连二两　经墨三分

右三味，治下筛，以不中水猪膏和傅上，不过再三度瘥，神良。若欲多作任人，水银大须熟研。其药惟不治金疮。

治反花疮，并治积年诸疮方：

取牛蒡根熟捣，和腊月猪脂封上，瘥止。并治久不瘥诸肿恶疮漏疮等，皆瘥。

又方：　取马齿菜捣封上，瘥止。

又方：　取蜘蛛膜帖上，数易之，瘥止。

治身疮及头疮不止方：

取菖蒲为末傅上，日三夜二。

治疮久不瘥方：

芜荑　藜芦各一两　姜黄　青矾　雄黄各一分　苦参　沙参各三分　附子一枚

右八味，治下筛，先以蓝汁洗疮去痂，乾拭傅上。小儿一炊久剥去之，大人半日才剥，再傅，不过三四度愈。

治诸疮久不瘥，并治六畜方：

枣膏三升，水三斗，煮取一斗半，数洗取愈。

有人自少至长，阴下常有乾癣者，宜依癣方主之。有五劳七伤，而得阴下痒湿，搔之黄汁出者，宜用补丸散主之。仍须傅药治之。亦有患妒精疮者，以妒精方治之。夫妒精疮者，男子在阴头节下，妇人在玉门内，并似甘疮，作臼齐食之大痛，甘即不痛也。

蒺藜子汤[1]：　凡虚热石热，当路门冷湿伤肌，热聚在里变成热，及水病肿满，腹大气急，大小便不利，肿如皮纸盛水，晃晃如老蚕色，阴茎坚肿，为疮水出，此皆肾热虚损，强取风阴，湿伤脾胃故也。治之法，内宜依方服诸利小便药，外以此汤洗四肢竟，以葱白膏傅之。别以猪蹄汤洗茎上。蒺藜子汤方：

蒺藜子　赤小豆　葱心青皮各一升　菘菜子二升　蒴藋五升　巴豆一枚，合皮壳

右六味咬咀，以水二斗，煮取八升，以淋洗肿处。

猪蹄汤：　治服石发热，因劳损热盛，当风露卧茎肿方。

猪蹄一双　蒴藋三升　蒺藜子一升，碎　葶苈子五合　黄柏五两

右五味咬咀，以水一斗，煮取三升，冷浴阴茎，日三。

葱白膏方：

葱白　松菜子　葶苈子　蒴藋根　蒺藜子　丹参各半升　猪膏五升[2]

右七味咬咀，煎如煎膏法，去滓用之。

治男子阴肿，大如升斗，核痛，人所不能疗者方：

雄黄一两，研　矾石二两，研　甘草一尺，切

右三味，以水五升，煮减半，洗肿痛处。集验方无矾石，只二味。

治阴肿皮痒方：

熬桃仁令香为末，酒服方寸匕，日三。

有人阴冷，冷气渐入阴囊，肿满恐死，日夜疼闷，外台作夜即痛闷。不得眠方：

取生椒择令净，以布帛裹著丸囊，令厚半寸，须臾热气通，日再易，取消瘥止。

又方：　捣苋菜根傅之。

又方：　釜月下土，鸡子白和傅。琐碎录同。

又方：　醋和热灰熨之。

又方：　车前子为末，饮服之。

又方：　醋和面熨之。

又方：　煮大蓟根汁，服一升，日三，不过三剂愈。　寿域神方若苦痒，搔之痛闷，煮大蓟根汁服之。

治卒阴痛如刺，汗出如雨方：

小蒜备预百要方一升　韭根　杨柳根各一斤

右三味合烧，以酒灌之，及热以气蒸之，即愈。　百要方并细锉，酒三升，煎令沸，乘热气熏之。

---

① 蒺藜子汤：备急千金要方无此四字。

② 升：备急千金要方作“斤”。

治阴痛方：

甘草　石蜜

右二味，等分为末，和乳涂之。

治妒精疮方：

用银钗绵裹，以腊月猪脂熏黄，火上暖，以钗烙疮上令熟，取乾槐枝烧淄涂之。

又方：三因方、瀹寮方名麝香散。

麝香　黄矾　青矾各等分

右三味为末，小便后傅上，不过三度。瀹寮方右为末，小便后用些小付。一方治阴湿生疮，黄水流注，白矾不以多少为末，先以冷水洗疮，然后傅之。

治阴蚀疮方：

蒲黄一升　圣惠方二两　水银一[1]两

右二味研成粉，小便后即傅之，瘥止。

又方：　以肥猪肉五斤，水三斗，煮令极烂，去肉，以汤令极热，便以渍疮中，冷即愈。

又方：　狼牙二把切，以水五升，煮取一升，温洗之，日五度。　圣惠方治阴疮洗疮方：狼牙五两，细锉，以水五升，煮至三升，温暖洗疮。

治阴蚀生疮或痒方：圣惠方名雄黄散。

雄黄　矾石各二分　圣惠方各半两，烧令汁尽　麝香半分　圣惠方一钱

右三味，治下筛为粉，粉疮上即瘥。

治阴恶疮方：肘后方治阴头生疮。

蜜煎甘草末涂之。琐碎录、备预百要方同。葛氏云：比见有人患茎头肿，攻[2]下疮，欲断者，以猪肉汤渍洗之，并用黄柏、黄连末涂之。

治男女阴疮方：

石硫黄为末，以傅疮上。圣惠方、三因方、寿域神方同。备预百要方日三四度。

治男女阴痒生疮方：

嚼胡麻傅之佳。圣惠方、肘后方、备预百要方同。

治阴下生疮洗汤方：

地榆　黄柏各八两　圣惠方各四两

右二味咬咀，以水一斗五升，煮取六升，圣惠方水六升，煮至三升。去滓，适冷暖用洗疮，日再。或只煮黄柏汁洗亦佳。

治冻烂疮方：

猪后悬蹄，以夜半时烧，研细筛，以猪脂和傅。亦治小儿。

治入水手足肿痛方：

捣生胡麻傅之。

千金月令

主一切热肿毒方：

右取生蔓菁根一握，盐花少许，相和捣附肿上，日三易。

又取章陆根捣和少许盐花附之，日再易。肘后方同。

主卒得恶疮不识者方：

右烧竹叶和鸡子黄涂之。肘后方同。

又以牛膝根捣附之。

又取桃皮作屑，内疮中。

主卒患腰恶疮方：

右若先发于心，已有汁者，以胡燕窠末和水涂之。疔不可迟，遍身即杀人。

金华膏：　主一切热肿，出脓生肌等方。

乌麻油五合　乱垢发二分　黄丹一两　盐花一分　绯帛方五寸，烧作灰　蜡半两　乳头香一两，末

右先以乱发内油中煎，销尽即下黄丹，色黑即下诸药，煎三二沸，即下黄白蜡，看稀稠得所即成，以不津器贮。

通草膏：　主一切疮肿方。

通草八分　当归　芎藭　防风　黄耆　乌蛇各二十分　白薇　白芷　白蔹　白术各四分　蜡六两　黄丹三两　麻油二升半

右捣筛为末，煎油三二十沸，次下黄丹

1　一：备急千金要方作“二”。
2　攻：备急千金要方作“坎”。

令色黑，后下蜡更煎二十沸，次下诸药，候银珠飞上即成，于不津器中收贮之。凡疮肿不作头，吞苍耳子一二枚。

治疮肿内消，铅牙膏：

铅牙二两

右取铅牙熬，取镜面，次下油六两，然下黄丹三两，同以铁篦搅，候烟带青色即成。

海上仙方

鱼脐疮

鱼脐疮要疗医难，火内飞矾地上摊，寒食面糊敷贴了，除脓消肿便安然。

臁　疮

里外臁疮久不痊，令人行动痛如煎，若均会取牛蹄甲，油拌烧灰敷患边。

臁　疮

臁疮黄柏轻粉末，猪胆调成如膏药，敷贴疮上紧紧缠，一日[1]再换手拈著。

恶　疮

一切恶疮癣，驴粪烧灰搽，频频掺疮口，方效不思议。

1　日：孙真人海上方作“旬”

诸 疮 门二

圣 惠 方

治阴疮诸方

夫肾荣于阴，肾气虚，不能制津液，则汗湿，虚则为风邪乘，邪客腠理，而正气不泄，邪正相干，在于皮肤，故痒。搔之则生疮也。

治阴疮，宜洗方：

桑枝二握，锉　葱二握

右件药，以水三升，煎至二升，去滓，稍热浴疮上。

治阴蚀疮方：

鸡屎矾一分　火煎茶一分

右件药捣，更研如粉，先用桑枝葱白豉汤洗，后贴药，日三度贴之妙。

治阴蚀欲尽，疮痛甚者方：

蛤蟆二枚，烧灰　兔粪一两

右件药，同研令细，日三四度，用少许傅疮上。

治阴生疮蚀欲落者方：

鲜鲫鱼一枚，去肠肚鳞

右以密陀僧细研，满填鱼腹内，用线缝合，用慢火炙令乾，不得焦黑，捣为末，入麝香一钱，细研，每用药，先以暖盐浆水洗令净洁，用软帛拭乾，避风贴散，以帛慢系，一日一洗一换，五七日差。

又[1]：

右烧杏仁，研为末傅之。

治阴边生疮及湿痒方：

槐树枝，北面不见日处一大握，以水二升，煮取一升，日三五遍洗之。

又方：

黄柏二两，锉　黄芩一两

右用水煎汤洗之，后更傅黄连粉，即差。

又方：

黄连一分　胡粉一分

右二味作末，相和傅之，即差。

又方：　取停水处乾卷地皮末，傅之神效。

治阴下湿痒诸方

夫虚劳损肾，肾气不足，故阴冷，汗液自泄，风邪乘之，则瘙痒也。

治阴囊下湿痒皮剥，乌梅洗方：

乌梅四十枚　钱四十文　盐三钱　醋一升

右件药，于铜器中浸九日，去滓洗之。

治阴下湿痒成疮方：

猪蹄二枚　槐树寄生白皮切，一升

右件药，都以水一斗，煮猪蹄烂为度，去滓，稍热洗疮，一日五六遍洗，差为度。

又方：

右煮桑根皮汁洗之。

又方：

右煮桃皮汤洗之。

又方：

甘草一尺，锉

右以水五升，煮取三升，日三四度洗渍。

又方：

吴茱萸三合

右用水三升，煮三五沸以洗之。诸疮亦治，甚妙也。

1　又：太平圣惠方此下有“方”字。

治阴痒汁出，疼痛方：

嚼生大豆黄，日二三上涂之，以差为度。

治一切毒肿诸方

夫肿之生也，皆由风邪、寒热毒气客于经络，使血涩不通，壅结皆成肿也。风邪不[1]作者，肿无头无根，浮在皮上，如吹之状，不赤不痛，或肿或散，不常肿也；其寒气与血相搏作者，有头有根，色赤肿痛；其热毒作者，亦无正头，但急肿久不消，热气结盛，壅则为脓也。其候非一，故谓一切肿也。

治一切毒肿，疼痛不止，五香散方：

沉香一两　木香一两　丁香一两　薰陆香一两　麝香一钱，细研

右件药，捣细罗为散，入麝香，更研令匀，每服二钱，以水一中盏，煎至五分，不去滓，不计时候温服。

治一切热毒肿气，并主乳痈，宜贴木香散方：

木香二两　紫葛二两，锉　紫檀二两　川朴硝二两　赤小豆二合　川升麻一两　白敛一两　百[2]矾一两

右件药，捣罗为末，以榆皮汁和如稀糊，可肿大小，以疏布涂药，贴于肿上，乾即易之。

治一切肿毒，肉色不异，时时牵痛，经年肿势不消，紫草膏煠[3]：

紫草一两　桂心一两　芎藭一两　赤芍药一两　白敛一两　川大黄一两　防风一两，去芦头　黄芩一两　莽草一两　当归一两　木香一两　甘草一两

右件药，捣细罗为散，每用散二两，酒二升，于铛中煎令成膏，及热涂煠肿处，日再用之。

治一切热毒，煞肿忽发颈项胸背，发即封之，令不成脓方：

生地黄切，一升　豉三两　川芒硝五两

右件药，捣令熟，厚二分已来，日六七度，以傅之肿上。

又方：

蔓菁根三两，乾者　芸薹叶三两，乾者

右件药，捣细罗为散，以鸡子清和贴肿上，乾即易之。

又方：

商陆三两　芸薹叶三两

右件药，捣熟，贴于肿上[4]，即易之。

治一切热毒结聚，煞赤疼痛，消肿解毒，金花散方：

叶子雌半两，细研　黄连半两，去须　槟榔一分　郁金半两　川大黄半两　麝香一分，细研

右件药，捣细罗为散，入雌并麝香，同并[5]令匀，以麻油调如糊，涂于肿上，日二换之。

治一切恶毒肿，乳香饼子贴方：

蔓菁根一握　乳香一两　黄连一两，去须　杏仁四十九枚，汤浸去皮

右件药，捣三五百杵，团作饼子，厚三四分，可肿处大小贴，乾即易之。

又方：

川大黄捣罗为末　石灰末　赤小豆捣罗为末。已上各一两

右件药，以酒调涂肿上，乾即易之。

又方：

槐子半斤　护火草一把

右合捣，以水和傅上，乾即易之。

又方：

赤小豆末半合　浆水半合　鲫鱼胆五枚　葱白一握，细切

右件药相和，于砂盆内研如膏，薄涂肿上，即差。

又方：

川朴消一两　川大黄末一两

右件药，合研令匀，以冷水调涂肿上，乾即更涂。

治一切热毒痈肿，疼痛不可忍方：

---

① 不：太平圣惠方作“所”。

② 百：太平圣惠方作“白”。

③ 煠：太平圣惠方此下有“方”字。

④ 上：太平圣惠方此下有“乾”字。

⑤ 并：太平圣惠方作“研”。

苍耳子不限多少，熬令微黄

右件药，捣罗为末，取油淀相和，涂于肿上，乾即换之。

治一切热毒肿，及发背方：

右取马齿叶熟捣，用铜钞锣盛，安于新汲水盆中浸，候马齿冷，即于肿上，热即易之，当时肿消。如已出脓，亦得渐差。

治一切毒肿，不问硬软方：

右取楸叶十重，覆于肿上，即以旧帛裹之，日二三易，当重重有毒气为水在叶中。如冬中，取乾叶，以盐水浸良久用之亦得。不然，取根皮锉烂捣傅之，甚验。

治风肿诸方

夫人忽发风肿，或著四肢，或在胸背，或著头顶，发作虚肿；如吹之状，不通[1]不赤。著四肢者，乃欲不遂，令人烦满短气，身体常冷，皆由冬月遇[2]温，风入于肌里，至春复遇大寒，风不得出，气壅肌间，不自觉知，至夏恣取风凉，气聚不散而成肿也。久不差，气结盛生热者，乃化为脓。若至烂败，则煞人。右手关上脉浮而虚者，病肿[3]也。

治风肿欲结成脓，令即消散，连翘散方：

连翘一两半　射干一两　沉香一两　紫檀香一两　犀角屑一两　川升麻一两　川芒消五两　玄参二两　甘草一两，炙微赤，锉

右件药，捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，每于食后良久温服。

治风肿，无问冷热并效，黑豆浸酒方：

黑豆一升，炒熟　白花蛇一条，重五两，酒浸，炙微黄　大麻仁二升，蒸熟　五加皮五两，锉　苍耳子五两，酥炒微黄　牛蒡子一升，酥炒微黄

右件药，捣碎，以生绢袋盛，用好酒三斗，内入瓷瓶中，封头，浸经七日开瓶，每于食前，暖一中盏服之。

治风毒疮肿疼痛，乌蛇膏方：

乌蛇二两　附子一两，生，去皮脐　乾蝎一两　防风半两，去芦头　当归半两　白芷半两　赤芍药半两　藁本半两　半夏半两　细辛半两　独活半两　芎藭半两　白僵蚕半两　吴茱萸半两　汉椒半两，去目桂心半两　黄蜡六两

右件药，细锉，以炼了腊月猪脂二斤，文火煎，候白芷赤黑色为度，绵滤去滓，下蜡令消，入于合内盛。但是风肿，取少许摩之令热，日三度用之。

治风毒肿，令内消方：

川大黄二两　甜葶苈二两　木通二两，锉

右件药，捣罗为末，用水调涂之，乾即再涂，以差为度。

治风毒肿，气急，硬疼痛方：

柳枝一握，细锉　桑枝一握，细锉　黑豆一升

右件药相和，炒候大豆熟为度，以好酒五升，投之良久，澄滤去滓，每夜欲卧时，以意斟酌暖饮之。其滓，入盐一两，炒令极热，以帛裹于肿处熨之，冷即复炒，不过三两度效。

治风毒暴肿神验，重台草散方：

重台草　木鳖子去壳　半夏已上各一两

右件药，捣细罗为散，以酽醋调涂之。凡是热肿，炮之立消也。

治热毒风肿，及诸痈发背等方：

牛蒡根半斤，刮去黑皮，切

右件药，以无灰酒一升，水二升相和，下牛蒡，以慢火煎，候汁浓，有少粘，即去滓，却向铛中，煎如稀饧即停火，膏成，先以膏可肿处涂之，便著故帛贴，日夜二三度易之。

治风肿及恶疮疥，傅之疼痛内消方：

右用肥皂荚一斤，以文火炙令黑色，捣罗为末，取酥二升，入药熟搅，熬成膏，临时看疾状大小，用药涂贴，日二易之。

---

① 通：太平圣惠方作“痛”。
② 遇：太平圣惠方作“过”。
③ 肿：太平圣惠方作“重”。

治卒风肿诸方

夫人卒有风肿，不痛不赤，移无常处，而兼痒者，由先无患处，偶腠理虚，而因风所作也。

治皮肉卒风肿赤痛，鹿角散方：

鹿角五两　白蔹二两　牡蛎四两　附子二两

右件药，捣罗为末，以醋调涂于帛上，贴肿处，乾即换之。

治卒热毒风肿，宜涂半夏散方：

半夏一两　莽草一两　川大黄一两　白蔹一两　川芒消一两

右件药，捣罗为末，以水和如泥涂之，乾即再涂。

治卒风毒肿起急痛方：

蔓菁根一斤，洗去土

右烂捣，以醋和如泥傅肿上，以帛裹，日三易之。

又方：

柳白皮一斤，锉

右以酒煮令热，以帛裹熨肿上，冷即再煮用之。

又方：

右以牛粪烧灰为末，醋和傅肿上，乾即易之。

又方：

浮萍草三两　紫草三两

右件药，都捣令熟，用傅肿上，乾即换之。

治身体手足卒风肿方：

驴脂四两　盐二两

右都捣令熟，用傅肿上，日三易之。

又方：

右以川芒硝二两，研为末，用醋调傅之，乾即再涂。

治卒风毒肿方：

伏龙肝半斤

右以醋和如泥，涂于肿上，乾即易之。

又方：

右捣商陆根傅之良。

又方：

皂荚刺一握，去两头

右以水一大盏，煮取六分，去滓顿服，取快利，其肿便消。

又方：

右以独颗蒜，切作中[1]子，贴于肿上，以艾火灸之二七壮，极验。

治毒肿诸方

夫毒肿之候，与风肿不殊，时令人壮热，其邪毒若入腹，即杀人也。

治毒肿五香散方：

麝香一两，细研　木香一两　鸡舌香一两　藿香一两　薰陆香一两　当归一两　黄芩一两　川升麻一两　川芒消二两　川大黄二两，锉碎，微炒

右件药，捣粗罗为散，入麝香和匀，每服三钱，以水一中盏，煎至五分，去滓，不计时候温服。

治毒肿疼痛，心神烦热，大肠秘涩，漏芦散方：

漏芦一两　白蔹一两　黄芩一两　麻黄一两，去根节　知母一两　枳实一两，麸炒微黄　川升麻一两　犀角屑一两　赤芍药一两　甘草一两，炙微赤，锉　川芒消二两　川大黄二两，碎锉[2]，微炒

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至五分，去滓，不计时候温服。

内消肿毒方：

白蔹二两　白及二两　白芷二两

右件药，捣细罗为散，研生姜汁调涂之，乾即再涂。

治毒肿不消，时有疼痛，宜涂芸薹子散方：

芸薹子三两　桑叶一两　龙葵一两　牛李子半两

右件药，捣罗为末，用浆水调涂肿处，乾即易之。

---

① 中：太平圣惠方作“片”。

② 碎锉：太平圣惠方作“锉碎”。

治热毒肿，内消膏方：

肥皂荚二挺，以好酒一中盏浸，搦取汁　青盐一分　消石一分

右件药相和，熬成膏，涂于肿上，日二易之。

治毒肿，痛不可忍，宜涂鹿角散方：

鹿角一两　磨刀粗石烂者二两　白蔹一两

右件药，捣罗为末，以醋调，涂于肿上，乾即更涂。

治毒肿恶疮方：

川大黄二两，生用　风化石灰二两　赤小豆二两

右件药，捣罗为末，以醋调涂之，乾即再涂之。

又方：

右用葵茅根和盐捣，傅之效。

治毒肿不问硬软，宜用此方：

蜀葵根　茄子根　冬瓜根已上各五两

右件药并烧，候烟绝即出，勿令作灰，细研，以生麻油调涂，于故帛上贴之。如脓未出，当便内消；若脓已出，即便撮合，神验。

又方：

右用胡葱捣烂，以生油调涂于肿上，即效。

治热毒肿不消疼痛方：

桑花五两

右件药，捣罗为末，用生蜜调涂于肿上。

又方：

右以瓮，近下钻一孔，盛水注于肿上。

又方：

右以鸡子清封肿上，热即易之。

又方：

右捣地菘汁，每服一小盏，日三四服。

又方：

狗舌草一斤，去两头

右以水五升，于铜器中，煮取汁二升，去滓，搜面作羹粥食之。

又方：

益母草二握，去两头

右用酒三升，煎取一升，去滓顿服，立效。

又方：

栎树根白皮五斤，细研

右以水五斗，煮令浓，内盐末一两，微温，以淋浴肿处，日二度用之。

治毒肿入腹诸方

夫此候与前毒肿不殊，但言肿热渐盛，入腹故也。毒入腹之候，先令人拘急恶寒，心烦闷而呕逆，气喘而腹满，如此者损人也。

治毒肿，恐恶气入腹，宜服疏利毒气，大黄散方：

川大黄二两，生用　木香一两　丁香半两　独活一两　桑寄生一两　射干一两　甘草半两，生用　麝香一分，细研

右件药，捣粗罗为散，入麝香研令匀，每服五钱，以水一大盏，煎至五分，去滓，于食前温服。

治毒肿入腹，心神烦闷，不欲饮食，犀角散方：

犀角屑一两　薰陆香一两　木香一两　鸡舌香一两　藿香一两　沉香一两　川升麻一两

右件药，捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治毒肿入腹，心闷腹胀，不欲饮食，沉香散方：

沉香一两　木香一两　丁香一两　薰陆香一两　麝香一分，细研　川大黄二两，锉碎，微炒

右件药，捣粗罗为散，每服四钱，以水一中盏，煎至六分，去滓，不计时候温服。

治毒肿发无定处，或恶气入腹，刺痛，烦闷不已，射干散方：

射干二两　商陆一两　附子一两，炮裂，去皮脐　已上三味，捣罗为末　赤小豆三合　麻子二合，研

右件药，以水五大盏，先煎小豆、麻子令熟，去滓，取汁一小盏，每服，调下前药二钱，日三服。小便当利，即肿气渐消。

治恶毒肿或著阴卵，或遍著一边，疼痛挛急，牵入小便，痛不可忍，一宿煞人，宜服此方：

右取茖香苗叶，捣取汁二升，不计时候，暖一小盏服，其滓以贴肿上。冬中即以根及子亦可用之。

治毒肿入服[1]疼痛，或牵小腹，及腰胯痛方：

桃仁二合[2]，汤浸，去皮尖双仁

右件药，研如膏，每服，以暖酒调下小弹子大，日三四服。

治游肿诸方

夫游肿之状者，为青黄赤白，无复定色，游于皮肤之间，肉上微光是也。

治游肿攻头面，脓肿赤热疼痛，宜用郁金散方：

郁金半两　赤小豆一合　甜葶苈半两　伏龙肝二两　川芒消半两　川大黄半两，生

右件药，捣罗为末，以生鸡子白并蜜少许，调令稀稠得所涂之，乾即更涂。

治游肿赤者，宜用此方：

川大黄末二两　慎火草五两

右件药，合捣涂之，乾即再换。

治赤白游肿方：

芸薹子半合　米醋一鸡子　盐一钱

右件药，烂捣如泥，看大小涂纸上贴之。如走，即随处贴之，不过三二上效。

治青白赤游肿，手近微痛方：

川大黄二两，生　蒲黄二两　伏龙肝二两

右件药，捣细罗为散，以水和如泥，薄涂之，乾即再涂。

又方：

川大黄一两，生用　豉一合　紫檀一两

右件药，捣细罗为末，以醋和傅之，乾即再傅。

又方：

紫檀香二两

右捣罗为末，水调涂之。

治游肿流遍身，赤色，入腹即死，宜用此方：

右以生猪肉傅上，数数换之。其肉虫鸟不食，臭恶甚也。

治游肿方：

右以生布一片，搵油，以火燃之，持照病上，咒曰：日游日游，不知著脂，火燎你头。咒七遍即差也。

治白游肿方：

右捣生羊脾涂之。

治恶肉诸方

夫恶肉者，身里忽有肉如小豆突出，细长乃如牛马乳，亦如鸡冠之状，不痒不痛，久不治，长不已，由春冬被恶风所伤，风入肌肉，结瘀血积而生也。

治恶肉，漏芦散方：

漏芦半两　白蔹半两　黄芩半两　白薇半两　枳实半两，麸炒微黄　川升麻半两　甘草半两，生锉　赤芍药半两　川大黄半两，锉碎，微炒　麻黄半两，去根节

右件药，捣粗罗为散，每服三钱，以水一中盏，煎至五分，去滓，不计时候温服。

治恶肉不差方：

蔺茹半两，末　白矾三分，烧令汁尽　雄黄三分，细研

右件药，同细研为散，用傅肉上。

蚀恶肉散方：

硫黄细研　马齿苋　白矾烧令汁尽　蔺茹丹参已上各半两

右件药，捣细罗为散，涂傅恶肉上。

治恶肉久不差，宜用大黄膏方：

川大黄一两，生用　附子一两，生，去皮脐　芎藭一两　黄芩二两　白蔹二两　雄黄一两，细研　真珠末一两　蔺茹二两，别捣为末　白矾二两，烧令汁尽，细研

右件药，大黄等五味并锉，先以猪脂一

① 腹：太平圣惠方作“腹”。
② 合：太平圣惠方作“分”。

斤半，煎十余沸，滤去滓，内雄黄、真珠、茼茹、白矾等末，搅令匀，涂于恶肉上即消。

治疮中恶肉出方：

乌梅一七颗，烧为灰末之

右以傅疮中恶肉，立效。

治身体风毒疮诸方

夫风毒疮者，由内热外虚，为风湿所乘，则生疮也。所以然者，肺主气，候于皮毛，脾主肌肉，气虚则肤腠开，为风湿所乘，内热相搏，故身体皆生疮也。

治身体生风毒疮，或痒痛不止，苦参散方：

苦参一两，锉　人参一两，去芦头　丹参一两　黄连三分，去须　沙参一两，去芦头　玄参一两　秦艽三分，去苗　白鲜皮一两　川升麻一两　枳壳一两，麸炒微黄，去瓤　栀子仁三分　犀角屑一两　黄芩一两　赤芍药一两　当归一两　白蒺藜一两，微炒，去刺　防风一两，去芦头　白花蛇二两，酒浸，炙令黄，去皮骨

右件药，捣细罗为散，每服不计时候，以温酒调下二钱。

治身体生风毒疮不差，宜服此方：

白鸽粪四两，烧为灰　天麻一两　麻黄一两，去根节　防风一两，去芦头

右件药，捣细罗为散，每于食后，用温酒调下一钱。

治风毒攻身体生疮，或时发痒肿痛，白花蛇煎方：

白花蛇一条，去皮骨　海桐皮　白芷　防风去芦头　独活　羌活　白术　附子去皮脐　天南星　半夏汤洗七遍，去滑　前胡去芦头　细辛　乾蝎　桂心　汉椒去目　木鳖子去壳　当归　吴茱萸　苍术已上各一两

右件药并锉，以米醋二升，煎三二沸，匀拌药一宿，用腊月猪脂炼了者三斤，于铛内煎令沸，渐渐下药，候白芷色赤黄，用绵滤过，瓷合盛。先以苦参汤淋浴，后以暖酒调下半匙，外以膏涂在疮上，令热为度，日三遍服用。

治身体生风毒疮，赤肿疼痛，宜涂豉心散方：

豉心一合，炒令烟绝　黄连一两半，去须　赤小豆一合　胡粉一两，细研　杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁，细研

右件药，捣罗为末，研入胡粉、杏仁令匀，以酥和涂之。

治风毒身体生疮，水银膏方：

水银一两，以尖①熟枣瓤研令星尽　松脂一两　朱砂一两，细研　土蜂窠二两　黄柏一两，锉　川大黄一两

右件药，除水银、朱砂外，捣罗为末，以炼成猪脂二斤煎为膏，放令冷，取水银、朱砂入膏中相和，搅令匀，用涂疮上，日二换之。

治身体生风毒疮，茅胆膏方：

茅胆一两，茅针里面瓤是也　栀子仁一两　苦参一两，锉　黄蜡二两　清麻油七斤　腻粉半两

右件药，茅胆等三味捣罗为末，先以油蜡慢火熬，令蜡销，入前药末并腻粉，不住手搅令匀，瓷合内盛，每取少许涂疮，日四五度用之。

又方：

水银二两，并胡粉，入少水，研令星尽　黄连末二两　胡粉二两，熬令黄

右件药，同研令匀，用傅疮上。如疮无汁者，以面油调涂，日二三上用之。

治风毒攻身体生疮，赤煨肿痛，清凉散方：

黄连去须　槟榔　枳壳去瓤　黄芩　贝母　赤小豆炒熟。已上各等分

右件药，捣罗为末，先以白矾、葱白煎汤洗疮，拭乾后，用生油调涂，日三上用之。

又方：

腻粉半两　洛粉半两　杏仁半两，汤浸，去皮尖，研　黄柏半两，锉　黄丹半两　麝香一钱，细研　黄连

① 尖：太平圣惠方同。普济方卷二百七十六诸疮肿门无此字。

半两，去须

右件药，捣罗为末，入麝香等研令匀，日二三上，用油调涂之。

治身体生风毒疮，臭秽不可近者，黄连散方：

黄连去须　胡粉　密陀僧　白芷　白蔹已上各半两

右件药，捣罗为末，先以盐汤洗疮，用生油调药，以羽毛傅之。甚者，每日只可两上。

治身体生风毒疮，赤烂头白，出脓汁方：

晚蚕沙三两　杏仁一两，汤浸，去皮尖

右件药相和，于铫子内，炒令杏仁焦黑，捣罗为末，旋取掺于疮上。

治身体生风毒疮，膏药方：

白蜡一两　麻油五两　桑根白皮一两，锉　黄耆一两，锉　木鳖子仁一两　乳香一分，细研　腻粉一分　胡粉一两，细研

右件药，先煎麻油，然后下桑白皮、黄耆、木鳖子，煎令焦，去滓，然① 入白蜡，候熔即离火，次下腻粉、乳香等，以柳木篦搅令匀，即膏成，内瓷器中盛，日二三度涂之。

治风毒攻身体生疮，或时发痒疼痛，久不差者，薰浴方：

黄芦　苦参　细辛　黄柏　麻油　半夏藁本　藜芦去芦头　吴茱萸　枳壳　狼牙　桃枝　槐枝　桑根　柳枝　白矾已上各三两

右件药，锉碎和匀，分为三分，每度用药一分，以水五斗，于釜中煎取三斗，布滤去滓，及热入在盆内，于上面坐薰，令汗出后，通手② 即淋浴，汤冷即住，以熟衣拭乾，避风。

治遍身热毒风疮，及疥癣瘙痒，澡浴方：

防风一两，去芦头　白芷一两　细辛一两　苦参一两　吴茱萸一两　苦楝子一两　藜芦一两，去芦头　莽草一两　麻黄根一两　川椒半两，去目　盐二两

右件药，细锉，以水五斗，煎取三斗，去滓，承热洗浴，以水冷为度，余渣重煎，如前法用。

又方：

茵芋三两　石南三两　莽草三两　蛇床子二两　羊踯躅一两　白矾二两

右件药，细锉，分为五贴，每度取一贴，以水一斗，煎取五升，去滓，看冷暖洗浴，日再用之。

治热疮诸方

夫诸阳气在表，阳气盛则表热，因运动劳役，腠理则虚而开，为风邪所客，风热相搏，留于皮肤则生疮，初作瘭浆黄汁出，风多则痒，热多则痛，血气乘之则多脓血，故名热疮也。

治遍身热毒疮，及皮肤瘙痒，烦躁，白鲜皮散方：

白鲜皮半两　子芩半两　川升麻半两　玄参半两　白蒺藜半两，微炒，去刺　桔梗半两，去芦头　防风半两，去芦头　前胡半两，去芦头　百合半两　甘草半两，炙微赤，锉　栀子仁半两　马牙消一两　麦门冬一两半，去心，焙　茯神半两

右件药，捣细罗为散，每于食后，以薄荷汤调下二钱。

治热毒攻皮肤，生疮疼痛，犀角散方：

犀角屑　木香　川生麻　吴蓝　玄参　子芩　羚羊角屑　防风去芦头　白蒺藜微炒，去刺　枳壳麸炒微黄，去瓤　甘草炙微赤，锉。已上各一两　麝香一钱，细研入

右件药，捣细罗为散，每于食后，煎竹叶汤调下二钱。

治热毒疮瘙痒，心神壅躁，白蒺藜散方：

白蒺藜一两，微炒，去刺　白鲜皮一两　防风一两，去芦头　子芩一两　玄参一两　赤芍药一两　栀子仁一两　桔梗一两，去芦头　川大黄一两，锉碎，微炒　麦门冬一两半，去心，焙　前胡一两，去芦头　甘草一两，炙微赤，锉

① 然：太平圣惠方此下有“后”字。
② 通手：太平圣惠方作“连身”。

右件药，捣细罗为散，每于食后，煎薄荷汤调下二钱。

治热毒赤疮子，心神烦热方：

栀子仁二两，炙，酥拌微炒

右件药，捣细罗为散，每于食后，以温水调下二钱。

治一切热毒疮，宜涂紫金散方：

紫草半两　赤小豆一合　黄芩半两　漏芦半两　车前草半两　黄柏半两，锉　糯米一合，炒令焦

右件药，捣罗为末，以生油调令稀稠得所，日三涂之，以差为度。

治热毒疮，水银膏方：

水银二两，并胡粉，入少水，研令星尽　胡粉二两　松脂二两　猪脂半斤，炼了者

右件药，先以猪脂煎松脂令消，次下水银、胡粉，搅令匀，瓷器中盛，旋取涂疮，日二用之。

治热毒风疮肿痛，宜涂腻粉膏方：

腻粉一两　胡粉一两，细研　松脂半两　猪脂六两，炼了者　黄连一两，去须，捣末　甘草一两，生捣末

右件药，先以猪脂煎松脂化后，去滓，下四味搅令匀，倾于瓷合中，每日三四度涂之。

治热毒疮肿痛，宜涂赤小豆散方：

赤小豆三合　糯米三合　松脂半两　黄柏半两，微炙，锉　白矾灰半两　莴苣子三合　黄丹半两，微炒　密陀僧半两，细研

右件药，捣罗为末，都研令匀，用生油调，日三两上涂之。

治热毒疮多汁，大黄散方：

川大黄生用　白蔹　赤芍药　黄连去须　槐白皮锉　龙骨已上各一两

右件药，捣罗为末，以傅疮上，日三度良。

治热毒恶疮臭烂，久不生肌，密陀僧散方：

密陀僧　雄黄　雌粉　定粉已上各半两　腻粉三钱

右件药，都研为末，先用柳枝一握，生甘草一两，捶碎，以浆水二升，煎六七沸，去滓，稍热淋洗疮，后以药傅之。

治身体生热毒疮，似火烧烂赤，宜用此方：

胡粉一两　黄连一两，去须　腻粉一钱

右件药，捣罗为末，用掺疮上，日四五度用之。

又方：

密陀僧一两，细研　胡粉一两，细研　黄连二两，去须，捣罗为末

右件药，都研令匀，先以温水洗去疮痂，拭乾，日三四度傅之。

治热毒恶疮，淋洗狼牙汤方：

狼牙五两　赤芍药五两　白芷五两　黄柏五两　丹参五两　川大黄三两，生用

右件药，细锉，分为六贴，每度一贴，以水四升，煎取二升半，去滓，看冷暖洗之，日三度用之。

治冷疮诸方

夫身体发疮，皆是风热所为，然虚者易伤于邪。若重触风寒，则冷气入于疮，令血涩不行，其疮则顽冷，不知痛痒，亦经久难差，名为冷疮也。

治冷疮久不差，芜荑散方：

芜荑一两，微炒　藜芦一两，去芦头　薰黄半两　青矾半两　雄黄半两，细研　苦参三分，锉　附子三分，炮裂，去皮脐

右件药，捣罗为末，先以温水洗疮去痂，乾拭，以生油调涂之。

治冷疮发歇疼痛，脓水不止，生肌，乌贼鱼骨散方：

乌贼鱼骨一两，烧令烟尽　黄连一分，去须　槟榔一枚　诃梨勒皮一分　白龙骨一钱半　赤石脂　麝香一钱

右件药，捣细罗为散，于乳钵内，入麝香、龙骨、赤石脂，相和研令匀，每用时，先暖盐浆水洗疮，拭令乾，后以散傅，日二用之。

治冷疮不差，神效槟榔散方：

槟榔半两　甘草半两，锉　郁金半两　木香半两　黄连半两，去须　麝香一分，细研

右件药，捣细罗为散，研和令匀，先取砒霜少许安疮上，用生油调散傅之，有脓水，即乾掺于上，如法系裹，日再换之。

治冷疮疼痛不止方：

蛇床子一两　乳香半两　薤白临时

右二味，捣罗为末，入薤白捣，看稀稠得所，可疮上贴之。

治积年风冷疮疼痛，宜用此方：

麝香一分　乳香一分　龙骨一分

右件药，都细研，用黄蜡，临时看疮口大小，于汤①内熔蜡如软面，入前药相和，热角②在疮口上，不过三两上差。

治冷疮，日夜发歇疼痛，附子散方：

附子半两，炮裂，去皮脐　川椒一分，去目　白矾三分，烧令汁尽，细研　腻粉二钱　雄黄一分，细研

右件药，附子、椒二味，捣罗为末，次入白矾、腻粉、雄黄，相和令匀，每使时，以清麻油调令得所，以傅疮上，日二换之。

又方：

龙骨一两，烧灰　蜂窝一两，烧灰　蛇床子半两，末

右件药，都研令细，以生油调涂，日二换之。

治脚生疮诸方

夫脚者，肾脉所出。若肾气虚，则风邪客于腠理，伤于气血，气血留滞，故生疮也。

治脚上生疮，疼痛，伤风毒，脓水不止，生肌骐驎竭散方：

骐驎竭一分　诃梨勒一分　黄连一分，去须　槟榔一枚

右件药，捣罗为末，看疮眼大小，薄傅疮上，以差为度。

治累年脚疮方：

蔓菁花三分，三月三日采，晒乾　赤小豆三分　黄连一两，去须

右件药，捣罗为末，傅于疮上，日三用之。

治脚疮方：

蜣螂三枚，烧灰　密陀僧一两

右件药相和，研如粉贴之。

又方：

瓜蒌一枚　豉三两

右件药，分为两处，将一半烧为灰，一半捣罗为末，相和研令匀，用腊月猪脂调涂之。

又方：

龙骨二两　枇杷叶五两　蜣螂五枚，烧灰

右件药，入麝香少许，腻粉一分，相和细研令匀，用掺疮上，不过三五上。

治脚疮疼痛不差方：

右取多年墙壁上烂乾蚬壳，泥裹烧过，捣罗为末傅之。

治风毒气流注，两脚生疮，肿烂疼痛，行李不得，淋浴海桐皮汤方：

海桐皮　地骨皮　黄耆　甘草生用　黄连去须　枳实　木香　乳香　狼牙　白芷　牛膝去苗　白矾已上各一两

右件药，锉捣令匀，分为六贴，每取一贴，以水四升，煎至三升，滤去滓，热薰疮上，通手③淋洗了，以熟④衣拭乾，避风。

治脚疮久伤风毒，攻冲肿烦，脓水不止，熨洗蒴藋汤方：

蒴藋一两　藜芦一两，去芦头　郁金一两　苦参一两　白芷一两　水荭一两　甘草一两，生用　桑根白皮一两　柳枝去叶，细锉，五合　苦楝皮细锉，三合　藁本半两　枳壳半两　盐末二两

右件药，细锉，以水二斗，煎取一斗五升，滤去滓，用软帛两事替换，承蘸揖⑤熨洗患处，水冷为度，余滓重煎用之。

治脚上生疮，淋炸莽草汤方：

莽草　榆白皮　甘草生用　玄参　苦参　郁金　羌活　独活　五加皮　防风去芦头　枳

① 汤：太平圣惠方作“锅”。
② 角：太平圣惠方作“用”。
③ 手：太平圣惠方作“身”。
④ 熟：太平圣惠方作“热”。
⑤ 承蘸揖：太平圣惠方作“乘热”。

壳　细辛已上各五两

右件药，细锉，分为十贴，每贴，用浆水一斗五升，煎取一斗，别入白矾末二两，投药汤内，及热淋渫，日一用之。

治一切恶疮诸方

夫诸疮生身体者，皆是体虚受于风热，风热与血气相搏，故发疮也。风热夹湿毒之气者，则疮痒痛烦肿，而疮多汁，身体壮热，谓之恶疮也。

治一切恶疮，乌金散方：

附子　蛇脱皮　乾姜　故纸多年者　黄丹　川大黄　重台　藜芦　槟榔　旧绵絮　乱发　胡粉　藿[1]叶　榆皮　楸皮已上各一两

右件药，并细锉，入瓷瓶中固济，烧令熟，取出捣罗为末，入麝香、龙脑各一分，更于乳钵中细研，先以甘草一两，捶葱白七茎，白矾半两，以水二升，煎取一升，看冷暖，净洗疮后乾贴，日再贴之。

治一切恶疮，宜涂桑螵蛸散方：

桑螵蛸半两　地龙半两　乳香半两　麝香一分，细研　黄丹半两　黄柏半两，锉　粳米粉一分　腻粉一分

右件药，捣罗，都研为散，每用，以不食井水，和沙糖调药少许涂之。

又方：

楼葱一斤，和须叶，细切，晒乾，以慢火炒令黄色　臭黄一两，细研　麝香半两，细研

右件药，都细研为散，先以热盐浆水洗疮，拭乾，以生油调贴，逐日换之。

治一切恶疮及瘘疮等方：

蛇床子末　硫黄　腻粉各等分

右件药，合研为散，以生麻油调如糊，以盐汤净洗疮，拭乾，即先以口脂涂之，然后傅药，不过三五度差。

治恶疮疼痛不可忍，宜傅黄连散方：

黄连一两，去须　槟榔一两　母丁香半分　麝香半钱，细研

右件药，捣细罗为散，入麝香研令匀，先用盐浆水洗，候乾，以药掺之。

治一切恶疮不可者，宜傅鹿角散方：

鹿角一两，烧灰　腻粉半两　百合半两，生用　木槿花一两

右件药，捣细罗为散，入腻粉、百合，生油调涂，日再用之。

又方：

皂荚五挺，锉　蜣螂五枚，去头足　砒霜半分，细研　密陀僧一两，细研　乳香一两，细研

右件药，先以醋一升于铛中，慢火煎皂荚、蜣螂十余沸，滤去滓，入诸药煎成膏，置于瓷合中，每摊在故帛上贴之。

治一切恶疮，及沙虱水弩甲疽，并皆治方：

蜣螂十[2]枚，端午日收者佳

右件药，捣罗为末，以油调傅之。

又方：

藜芦一两，去芦头，烧灰　虎头骨一两，烧灰

右件药，合研令细，以腊月猪脂调涂，日再涂之。

治恶疮黄水出流，痛不止方：

右烧故鞍屉毡灰，细研，和腊月猪脂调涂之。

又方：

右取豉三合，炒令黄色，捣罗为末，用猪脂调涂之。

又方：

右取瓜蒌一枚，烧为灰，细研，每用掺在疮上。

又方：

右取蜣螂二枚，取肠肚，安在纸中心，四面以醋面糊，贴于疮上。

治卒得恶疮方：

右用苍耳、桃皮等分，细捣作屑，日二三度拓疮上。

治恶疮肿痛方：

右用白及，以水煮取汁，洗疮讫，涂后膏。膏用桑叶，取东向者作末，腊月猪膏和

① 藿：太平圣惠方作“蓼”。

② 十：太平圣惠方作“一”。

涂之。

又方：

右烧萹竹灰，细研，以猪脂调涂之。

又方：

右羊粪、乾麻根等分，烧烟断，细研，以猪膏和涂之，日三五上。若疮有汁者，乾糁之，以差为度。

又方：

右烧猳猪粪，入油研涂之。

又方：

右烧莨菪子末傅之。

又方：

右烧苦瓠子末傅之。

治久恶疮诸方

夫体虚，受风热湿毒之气则生疮，痒痛脓肿多汁，壮热，谓之恶疮。而湿毒气盛，体外虚内热，其疮渐增，经久不差，故为久恶疮。

治久患疮不可者，牛角散方：

黄牛角一分，烧灰　麋角屑一分　白蔹一分，炙令微黄　麝香半分，细研　密陀僧半分，微炒　黄丹半分，微炒　蜣螂一分，烧灰　羌活一两　海桐皮一两，锉　仙灵脾一两　乾地龙一两，微炒

右件药，捣细罗为散，每于食前，以温酒调下二钱。

治恶疮，人不识，多年不可者，赤小豆散方：

赤小豆炒熟　糯米微炒　吴茱萸炒熟　黄连去须　黄柏锉　乾姜　蛇床子已上各半两

右件药，捣细罗为散，以生油和如面脂，每用时，先煎槐枝汤洗疮令净，然后涂药，日再用之。

治久患恶疮，常出脓水，降真散方：

降真香半两　芜荑半两，微炒　白蔹半两　白芷半两　白及半两

右件药，捣细罗为散，先煎浆水放温，淋洗疮上，拭乾，以散傅之。

又方：

铅丹二两半，炒令紫　松脂二分　骐驎竭一两半，细研　乱发灰一分，细研　绯帛灰一分，细研

右件药，先用清油四两，于猛火上熬令烟出，即下松脂、铅丹等，煎令色黑，下乱发、绯帛灰、骐驎竭末等，和令匀，膏成，涂故帛上贴，日二易之。

治久恶疮，砒霜膏方：

砒霜一分，细研　附子一分，末　苦参一分，末　硫黄一分，细研　黄蜡一分

右件药，用麻油二两煎，油熟下蜡，次下药末，和令匀成膏，每用，先以蒴藋、柳枝煎汤洗疮，拭乾，日二涂之。

治久恶疮，白膏方：

油二两　白蜡一两　腻粉一分　南粉一分，细研　密陀僧一分，细研　乳香一分，细研　杏仁三七枚，汤浸，去皮尖双仁，细研

右件药，先于铫子内，先炼油熟，下蜡令消，入诸药末，和匀成膏，日二三上涂之。

治久恶疮，黄水出流，松脂膏方：

松脂一两半　薰陆香一两半　白羊脂三分　乱发灰半两，细研　生地黄汁五合　石盐半两，细研

右件药，先煎羊脂、松脂、薰陆[1]等烊，次下地黄汁煎令稠，即入发灰并盐，和令匀成膏，日二涂之。

治积年诸疮不差方：

右取鼠粘草根，细切熟捣，和腊月猪膏封之，日二换之。

又方：

苦瓜一枚

右以水煮汁，日三度洗之良。

治一切久恶疮不差，宜贴柏叶散方：

寒食收柏叶烧灰，一两　露蜂窠半两，微炙　蜣螂五枚，烧灰　密陀僧半两　腻粉一钱　石灰

右件药，捣细罗为散，浓煎浆水，淋洗疮，后用鸡子清调贴之。

治久恶疮疼痛，诸药未效，宜涂黄柏散方：

---

[1] 陆：太平圣惠方此下有“香”字。

黄柏一分，微炒　黄丹一分，炒令紫色　密陀僧一分　白狗粪半两，烧灰　臙粉半两　麝香一钱，细研　骐驎竭三钱

右件药，捣细罗为散，都研令匀，先用甘草汤洗疮口，后用津唾调涂之。

治恶疮多年不差，浸淫入骨，或成骨疽，宜用此方：

右取七茎[1]子捣令烂，以生油调，先洗疮，裹乾，然[2]用傅之，初傅极痒，切不得触之。

又方：

右用刺猬胆，湿即用胆汁涂之。如胆乾，即研末掺在疮上。如疮口不合，只去尽脓，中心研一瓣乳香安在疮内即效。

治恶疮积年不差不痛，只入心痒方：

枯骨多年者

右件药，捣罗为末，以酥涂疮口，内外上掺此药，不过三五度，疮虫便死，其疮即差。

治一切久恶疮，马齿苋膏方：

马齿苋一两，末　白矾一两，末　皂荚一两，末

右件药，用好酥一升，慢火煎为膏贴之。

治一切恶疮，年多不差者，宜用此方：

绿矾末一两　水银半两

右件药，以纸一张，安绿矾在上，入水银于中间裹定，用盐泥封裹，候乾，以文火养一宿，去泥及纸细研，入麝香末半分，和令匀，如疮乾，油调涂，湿即乾贴之。

治无名疮诸方

夫无名疮者，非痈非疽非疥，状如恶疮，或差或剧，人不能名，故为无名疮也，此亦是风热搏于血气所生也。

治无名疮立验，蓼叶散方：

蓼叶　柏叶　黄丹　胡粉　附子　粟米　石胆　川大黄　白矾　蛇脱皮　乾蟾　晚蚕蛾　密陀僧已上各一两　楟楂[3]

右件药，细锉，入瓷瓶中固济，烧令熟取出，捣罗为末，入龙脑、麝香各半分，更研令匀细，先以温汤淋洗，后傅贴，日二用之。

治一切恶疮，丁肿毒疮，人不识者，地丁散方：

地丁　蜚虫　倒钩棘针　露蜂窠　蛇脱皮　粟米　黍米　大麻仁　黑豆　赤小豆　乱发　折牛膂　射生前　熟红帛　蚕纸已上各半两　朝生花秋夏滞雨后，粪堆或烂水[4]上生如小茵子者，及时收之，半两

右件药，都细锉，以蚕纸裹缠，水浸良久时方漉出，候乾，于净地上，以炭火烧令烟绝，入新盆中，以盆子合之，候冷，细研罗为散。如患已成头，有脓水者，以散傅之即愈。如未成头，便以酒调一钱服之。

治恶疮不识名者，官[5]贴蔷薇膏方：

蔷薇锉，一升，春夏用枝，秋冬用根　铅丹十五两，炒令紫色　松脂十两，炼成者

右件药，用油三升，先煎蔷薇待黑，即参[6]滓，下松脂候消，绵滤过，下铅丹，文火煎，搅勿停手，待色变凝成膏，以帛上摊贴，日二换之。

治诸恶疮及肿，人不识者，可用此白龙膏方：

臙粉一分　乳香半两，细研　湿百合根一两，烂研

右件药，相和研令匀熟，每用，先以盐浆水净洗疮，以厚纸涂药于上，日二贴之。

又方：

麝香一钱，细研　狗粪一两　谷精草一两，烧灰　蟾一两，烧灰　臙粉一钱

右件药，捣细罗为散，都研令匀，以津调贴之，取差为度。

治应不识恶疮，或濈状者，蛇床散方：

蛇床子半两，末　硫黄半两，细研　水银半两，以少熟枣瓤研令星尽

右件药，都研令匀，以腊月炼成猪脂，

---

① 茎：太平圣惠方作“叶”。

② 然：太平圣惠方此下有“后”字。

③ 楂：普济方卷二百七十五诸疮肿门此下注有“一枚”二字。

④ 烂水：太平圣惠方作“烟水”。普济方卷二百七十五诸疮肿门引圣惠方作“烂木”。

⑤ 官：太平圣惠方作“宜”。

⑥ 参：太平圣惠方作“去”。

调如面脂，先以楮根浓煎汤洗疮，裹乾涂之。

又方：

腊月猪脂一斤　乱发如鸭子大　生鲫鱼一头，长五寸者

右件药，合煎令消尽，绵滤去滓，入雄黄、苦参末各半两，大附子一枚，末，搅令匀，候凝，日二上涂之。

又方：

蛇床子三两　黄连二两，去须

右件药，捣罗为末，猪脂和涂，日再用之。

又方：

右取鲫鱼一头，不持[1]洗用，乱发鸡子大，塞口中，用纸裹，炭火烧为灰，细研，别觅鲫鱼胆调涂之。

治反花疮诸方

夫反花疮者，由风毒相搏所为也。初生如饭粒，其头破则血出，便生恶状，渐大有根，脓汁出，肉反散如花状，因以名为反花疮也。

治反花疮，胭脂散方：

胭脂一两　胡粉一两

右件药，同研令细，先以温浆水洗疮，候乾，然后以药傅之。

又方：

马齿苋一斤

右烧为灰，细研，以猪脂调涂之。

又方：

柳枝半斤，细锉

右以清麻油一斤，煎令黄焦，去滓，候冷，旋旋涂之。

治反花疮及诸恶疮久不差方：

鼠尾草根细切，晒乾

右捣罗为末，用猪脂调涂之。

又方：

燕粪一两　胡粉一两

右件药，捣细罗为散，先以温浆水洗疮，后以药傅之。

又方：

鹁鸽粪三两，炒黄

右捣细罗为散，先以温浆水洗疮，后以药傅之。

治反花疮并积年诸疮方：

右用鼠粘草根晒乾，捣罗为末，以腊月猪脂调涂。

又方：

右取蜘蛛网贴疮，数易之，神效。

又方：

右取马齿苋烂捣封之。

治浸淫疮诸方

夫浸淫疮者，是心家有风热，发于肌肤也。初生甚小，先痒后痛而成疮，汁出侵溃肌肉，浸淫渐阔，乃至遍身。其疮若从口出，流散四肢者则轻；若从四肢生，然后入口者则重。以其渐渐增长，因名浸淫也。

治浸淫疮多汁，胡粉散方：

胡粉研，炒黄　甘草　蔺茹　黄连去须。已上各半两

右件药，捣细罗为散，日三四上以傅之。

又方：

鲫鱼一枚，长五寸者，去骨取肉　豉一百粒

右件药相和，捣令极烂，傅于疮上。

又方：

苦瓠一两　蛇脱皮半两，烧灰　露蜂房半两，微炙　梁上尘一合

右件药，捣细罗为散，以米粉为粥，调涂纸上贴之，数数易之。

又方：

戎盐半两　川大黄一两，锉碎　蔺茹半两

右件药，捣细罗为散，以酒和涂之。

治月蚀疮诸方

夫月蚀疮者，生于两耳及鼻面间，并下部诸孔窍侧，侵蚀乃至筋骨，月初则疮盛，月末则疮衰，以随月生，因名之为月蚀疮也。

① 持：太平圣惠方作“除”。

又小儿耳下生疮，亦名月蚀。世云：小儿见月，以手指之，则令病此疮也。其生诸孔窍中，则有虫矣。久不差，则变成瘘也。

治月蚀疮，腻粉散方：

腻粉一两　黄连一两，去根，末　胡粉一两，炒令微黄　松脂一两

右件药，都细研，先以温盐浆水洗疮令净，拭乾，以散傅之。如疮乾，用生油调涂，以差为度。

又方：

吴茱萸根二两　地榆二两　蔷薇根二两

右件药，捣细罗为散，每用半两，投入汤中，候温洗之即差。

又方：

蛤蟆一枚，五月五日收，烧灰　硫黄一两　白矾一两，烧灰

右件药，细研为散，用傅疮上，以差为度。

又方：

自死青蛙一枚，烧为灰　母猪蹄壳一枚，烧灰　救月杖烧灰

右件药，都细研，每用少许，以蜜调涂之。

治大人小儿卒得月蚀疮方：

蛤蟆一枚，五月五日者，烧灰

右细研，以猪脂和涂之。

又方：

右于月望夜取兔粪，内蛤蟆腹中，合烧为灰，细研傅之。

又方：

罗摩草

右捣取汁涂之。

又方：

地龙粪一合，烧令通赤，细研

右以猪脂和令匀涂之。

又方：救月蚀。

鼓皮手许大

右以醋渍一宿，取汁涂之，或烧为灰，细研，以面脂和傅之。

又方：

虎头骨二两

右捣碎，以猪脂一斤煎之，以骨焦黄色，去滓涂之。

治夏月痱疮诸方

夫盛夏之月，人肤腠开，易伤风热风①热毒气，搏于皮肤，则生痱疮。其状如汤之沸，轻者匝匝如粟粒，重者热汗浸渍成疮，因以为名，世呼为痱子也。

治痱子磨破成疮，宜用止痛生肌赤石脂散方：

赤石脂半两，细研　黄柏半两，末　白面二两　腊面茶半两，末　龙脑半分，细研

右件药，都研令匀，每使时，用绵扑之。

治热痱疮方：

乾炭灰半合　石灰半合，微炒　枣叶半斤

右件药，捣细罗为散，先以温浆水洗疮，后以药傅之差。

治夏月痱子及热疮方：

葛粉三两　甘草二两，生用，为末　石灰一两，微炒

右件药相和，研令匀，用绵扑之。

又方：

粟米粉五两　白龙脑一钱

右件药，相和细研，先用枣叶汤洗，后以散扑之。

四时纂要

乌金膏②

乌蛇膏③

① 风：太平圣惠方作“水”。
② 乌金膏：原书只引方名而无内容，待考。
③ 乌蛇膏：原书只引方名而无内容，待考。

和剂局方

疮　肿

云母膏：　治一切疮肿伤折等病。

蜀椒去目及闭口者，微炒出汗，半两　白芷半两　水银二两，候膏凝，如人体热，以生绢袋盛水银，而以手捏如针头大，铺在膏上，谓之养药母　没药半两，研　赤芍药半两　肉桂去粗皮，半两　当归去芦，半两　盐花研，半[1]两　黄耆去芦，半两　骐驎竭研，半两　硝石研如粉，四两　菖蒲半两　白及半两　芎藭半两　木香半两　白蔹半两　防风去芦，半两　厚朴去粗皮，半两，姜汁制　麝香研，半两　桔梗半两　柴胡去芦头，半两　松脂半两　甘草四两　人参去芦，半两　苍术米泔浸一宿，焙，半两　黄芩半两　草龙胆半两　清油四十两　夜合[2]半两　黄丹细研，一十四两　乳香研，半两　柏叶二两，不用近道者　桑白皮二两　陈皮二[3]两　云母以光明白薄者，研粉，四两　附子去皮脐，半两　茯苓去皮，半两　槐枝[4]二两　柳枝二两　高良姜半两

右除云母、硝石、骐驎竭、没药、麝香、乳香、黄丹、盐花八味别研外，并锉如豆大，用上件清油，于瓷器中浸所锉药七日，以物封闭后，用文火煎，不住手搅，三上火，二[5]下火，每上候匝匝沸，乃下火，候沸定再上，如此三次，候白芷、附子之类黄色为度，勿令焦黑，以绵或新布绞去滓，却入铛中，再上火熬，后下黄丹与别研药八味，以柳篦不住手搅，直至膏凝良久色变，再上熬，仍滴少许水中，凝结不粘手为度。先炙一瓷器，热即倾药在内，候如人体温热，弹水银在上，每用膏药，即先刮去水银。治发背，先以败蒲一斤，用水三升，煎五十沸，如人体温，将蒲水洗疮，拭乾贴药。一两分为三服，温酒下，未成脓者立差。于外贴之，奶痈外贴，瘰疬骨疽，毒穿至骨，用药一两，分作三服，温酒下，甚者即泻出恶物，兼外贴差。肠痈，以药半两，分为五服，甘草汤下，未成脓者，当时消，已有脓者，随药下脓出，后每日酒下五丸，如梧桐子大，待脓止即住服。风眼，贴两太阳穴。壁镜咬，蜘蛛咬，外贴留疮口。发脑、发髭鬓、发眉、发耳、脐痈、牙痈、牙疼，并外贴包裹，即当时痛止。箭头所伤，箭头在内，外贴。每日吃少许烂绿豆，箭头自出。虎豹所伤，先以甘草汤洗，然后贴膏，每日换，不过三次贴。狗蛇咬，生油下十丸，如梧桐子大，仍须贴外。难产三日不分娩，温酒下一分便生。血运欲死，以姜汁和小便半升，温酒下十丸，死者即返。死胎在腹，以榆白皮汤下半两便生。丈夫本藏气，茴香温酒下一分，每日一服，不过二服差。中毒药，酒洗袜温下一分，每日一服，不过四度，泻出恶物差。瘤赘外贴消之。一切肿疖，外贴立差。但有所苦，并皆贴[6]之，药到即差。已上主疗，只忌羊血，余无所忌。如人收此药防身，以腊纸裹，不令风乾，可三十年不损药力。

玉龙膏：　摩风止痛，消肿化毒，治一切伤折疮肿。

栝楼大者一个去皮，锉　零香一两　藿香一两　黄蜡一两半　杏仁去皮尖，一分　升麻一分　白芷净揀，细锉，半两　麻油清真者，六两　麝香研，一钱　赤芍药一分　松脂研，一钱半　黄耆　白及　白蔹　甘草各一分。净揀，细锉

右件以油浸七日，却比出油，先炼令香熟，放冷入诸药，慢火煎黄色，用绢滤去滓，却入银石锅内，入蜡并麝香、松脂熬少时，以瓷合器盛，每用少许，薄摊绢帛上贴。若头面风癣痒，疮肿疼痛，并涂磨令热，频频用之。如耳鼻中肉钉，用纸捻子每日点之，

---

① 半：太平惠民和剂局方作“十四”。
② 合：太平惠民和剂局方此下注有“用皮”二字。
③ 二：太平惠民和剂局方作“一”。
④ 枝：太平惠民和剂局方作“叶”。
⑤ 二：太平惠民和剂局方作“三”。
⑥ 贴：太平惠民和剂局方作“治”。

至一月即愈。如治灸疮，及小儿瘤疮，并涂之，兼灭瘢痕，神效。

急风散：　治久新诸疮，破伤中风，项强背直，腰为反折，口噤不语，手足抽掣，眼目上视，喉中沸声。

丹砂一两　草乌头三两，一半生用，一半以火烧存性，于米醋内淬令冷　生乌头同草乌一处为末　麝香研。各一分

右为细末，和匀。破伤风，以酒一小盏调半钱，神效。如出箭头，先用酒一盏，调服半钱，却以药贴箭疮上。

腻粉膏：　治风邪热毒，客搏皮肤，身体生疮，痒痛无时，及大疥作疮，脓赤疼痛，侵淫清展[1]，肌汁不绝，拔热毒，止疼痛，生肌肉，敛疮口，神效。

猪脂六两，炼　甘草一两，为末　松脂半两　腻粉一两　胡粉一两　黄连一两，为末

右件药，先以猪脂煎松脂，次入黄蜡二两，滤去滓，次下腻粉，并四味搅匀，倾于瓷器中，每用药少许涂之，日三四易。

大全本草

梅师方治甲疽，以石胆一两，于火上烧令烟尽，碎研末，傅疮上，不过四五度立差。

铁锈主恶疮疥癣，和油涂之。

梅师方治阴生湿疱疮，取石硫黄研如粉，傅疮上，日三度。

治疮，头疮及诸热疮，先用醋少许，和水净洗去痂，再用温水洗，裹乾，百草霜细研，入腻粉少许，生油调涂，立愈。

斗门方治疖子已破，用益母捣傅疮妙。

陈藏器云：青布烧作黑灰，傅恶疮经年不差者，及灸疮止血，令不中风。水和蜡，熏恶疮，入水不烂。

百一方治卒得恶疮，以苍耳、桃皮作屑，内疮中佳。

外台秘要治恶疮，捣地菘汁服之，日三四度差。

必效方疗阴疮及湿痒，槐树，北面不见日处一大握，水二升，煮取一升，洗之三五遍，冷复暖。若涉远，恐冲风，即以米粉粉之，即效。

别说云：以柏枝节烧油膏，傅恶疮久不差有虫者。

兵部手集治疮，慈竹笋籜，灰油和涂之妙。

外台秘要治疮肿，生椒末、面、釜下土末之，以大醋和傅之。

兵部手集多年恶疮不差，或痛痒生衅，烂研马粪，并齿傅上，不过三二遍良。武柏[2]在蜀，自胫有疮痒不可忍，得此方便差。

梅师方治热疮有匿，上下蚀人，猪胆一枚，苦酒一合，同煎三两沸，满口饮之，虫立死，即愈。

外台秘要阴头生疮，以蜜煎甘草涂之差。

子母秘录小儿大肠头得恶疮疽热，识者取蜣螂杵绞取汁，傅其上。

图经云：江宁府信州出一肿[3]小梨，名鹿梨，彼处人取其皮治疮癣及疥癞，云甚效。

梅师方灸疮肿痛，薤白切一升，猪脂一升，细切，以苦酒浸经宿，微火煎三上三下，去滓傅上。

孟诜云：鸡肠草[4]作灰和盐，疗一切疮。

外台秘要鱼脐疮，其头白，似肿痛不可忍方：

先以针刺疮上及四畔作孔，以白苣汁滴孔中差。

有人患遍身生热毒疮，痛而不痒，手足尤甚，然至颈而止，粘著衣被，晓夕不得睡，痛不可任，有下俚教以菖蒲三斗锉，日乾之，舂罗为末，布席上，使病疮人恣卧其间，仍

1　侵淫清展：太平惠民和剂局方作“浸淫侵展”。
2　柏：大观本草卷十七兽部马粪条作“相”。
3　肿：大观本草卷二十三果部梨条作“种”。
4　草：大观本草卷二十九菜部鸡肠草条此下有“温”字。

以被衣覆之，既不粘著衣被，又复得睡，不五七日之间，其疮如失。后自患此疮，亦如此用，应手神验。

三 因 方

疮 疡 证 治

天麻煎： 治风毒入胃及心肾经络，攻注百节疼痛，头目虚肿，痰涎不利，下注腰脚，缓弱，生疮，妇人血风，男子癫风，及风湿脚气，攻注皮肤，瘙痒癮[1]，偏正头风。

川乌头洗净灰，炒裂，去皮尖　草乌头水浸三日，洗去皮。各四两　荆芥穗半斤　乾薄荷五两　杜当归水浸三日，晒乾，一斤，切

右为末，醋糊丸，梧子大，茶清下三十丸。此方与癮疹门加味乌荆丸相类，但此方入草乌，并过制不同尔。

百草膏： 治一切恶疮，不问乾湿痛痒，日近年深，百药不差。

羊屎不拘多少

右一味，上下以瓦盛盖，柴木烧令烟尽末之，麻油调傅。痒者，入轻粉少许；痛者，入麝香少许，神效。一法，用杏仁、轻粉最杀虫。

癫 风 证 治

四生散： 治癫风，上攻下注，耳鸣目痒，鼻赤齿浮，或作口疮，下注阴湿，四肢搔痒，遍体生疮，及妇人血风。

白附子　沙菀蒺藜　黄芪　羌活各等分

右为末，每服二钱，盐酒调下。有人将猪肾破开，入盐糁药于其间，煨服亦佳。癫属宗筋，胃阳明养之，故有是证。

乌头煮盐丸： 治元脏气虚，癫风入胃。上攻，头疼眼赤，眵泪昏涩，口干咽燥；下注，四肢疼痛，历节重著，阴下湿痒，足胫腰膝，遍生疮疡，及风水浮肿。

川乌头洗净，大者破开，小者全出[2]　苍术　吴茱萸各四两　京三棱半两　白盐十二两，用水煮四味，候乌头透，控干洗尽盐

右为末，米糊丸，梧子大，每服五十丸，空腹，温酒盐汤任下。凡水病，必忌盐，此药用盐无所忌。

天麻煎： 治如前。方见前。

妒精疮 证 治

白散子： 治妒精疮，痒不可忍者，及皮肤诸疮，手抓疽疮。

晋矾不拘多少，煅　轻粉每服入少许

右研匀，掺疮上，立差。如治漏疮，每挑一钱，入黄柏末一钱，轻粉半钱。

津调散： 治妒精疮，脓汁淋漓臭烂。

黄连　款冬花各等分

右为末，以地骨皮、蛇床子煎汤洗，用软帛挹乾，以津调药傅之。最忌不得用生汤洗，诸疮皆然。

蒲黄散： 治阴蚀疮。

蒲黄三两　水银一两

右研匀，先以猪肉汤浸洗，挹乾，以药掺之。一方治男女阴疮，以硫黄末傅之。

---

(1) 癮：三因极一病证方论此下有“疹”字。

(2) 出：三因极一病证方论作“用”。

卫生十全方[1]

是斋医方

候子　痱子

治候子，赵大叔方。

浓研好京墨，以笔抹在候子上，候乾更抹，以多为妙，数次即失去。

治候子，陈郎中方。

独扫子本草名地肤子　自[2]矾

二味等分为末，煎汤洗，不数次即尽去。亲曾用之，果然。

玉女英：　治夏月痱子痒痛。

绿豆粉四两，微炒　滑石半两，研

右拌匀如粉，绵扑子扑之。

又方：　新汲水挪青蒿汁，调蛤粉傅之，雪水尤妙。

治痱子，高司法方。

用剪刀草汁调蛤粉傅之。剪刀草即慈菇叶也。

足疮　臁疮

治足疮：

赵先生，字子固，母刘氏，年几八十，左足面一疮，下连大指，上延外踝，以至臁骨，每岁辄数发，发必兼旬累月，昏暮痒甚，爬搔移时，出血如泉流，呻吟痛楚，殆不可忍，夜分即渐已，明日复然，每一更药，则疮转大而剧，百试不验，如是二十余年。淳熙甲辰中冬之末，先生为太府丞。一夕，母病大作，相对悲泣无计，困极就睡，梦四神僧默坐一室，旁有长榻，先生亦坐，因而发叹，一僧问其故，先生答之以实，僧云：可服牛黄金虎丹。又一僧云：朱砂亦好。既觉颇惊异，试取药半粒强服之，良久，腹大痛，举家相尤且悔，俄而下垒块物如铁石者数升，是夕，疮但微痒，不痛而无血，数日成痂，自此遂愈。朱砂之说，竟不复试。先生因图僧像，如所梦者，而记其事。金虎丹出和剂局方，本治中风，痰涎壅塞所用，牛黄、龙脑、二粉、金箔之类，皆非老人所宜服，今乃取奇效，意此疾，积热腑脏，而发于皮肤，岁久根深，未易洗涤，故假凉剂以攻之，不可以常疮论也。神僧之梦，盖孝所感云。

专治脚疽，并治久远恶疮，它药不效者。张友闻县尉，字守约，傅猸猪粪，不以多少，新瓦上焙乾，入火中，烧令通红取出，于瓶罐内窖成炭，存性，碾为细末，每抄五钱，用细研了白龙骨末，抄二钱半，轻粉抄二钱半，槟榔末抄一钱，和令极匀，先以口含蘘水，或温盐汤，洗令疮净见肉，然后以真麻油调药，随疮大小傅之，未愈再傅，不过三五日定安。守约之叔仲济，知桂平县，日得之一狱囚。

槟榔半两　龙骨一分　水银粉少许　乾猪粪半两，烧存性

右三味，为细末，入水银粉研匀，先以盐汤洗疮，熟绢裹乾，以生麻油调药如膏贴疮，三日一易，三五易定差。忌食无鳞鱼鲊热面。凡胫内外疮，世谓之里外臁疮，最难得药，此方极有效，与张尉所传分两差不同此。苏沈良方治里外臁疮。海上名方亦有之，得方之说，与张宰绝相似。

贴腿上疮，史检法仲华方。

滑石末，傅之

治脚上生疮：

诃子烧存性，灰傅之

治足疮，此方胡上舍名耕传，其家屡得效。

1　卫生十全方：原书只引书目而无内容。

2　自：本草纲目草部第十六卷地肤条引寿域神方作“白”。

宣黄连碾细　密陀僧别研

右二味，等分和匀，每用时，先以葱盐煎汤洗疮上，然后傅药。若疮乾时，使少清麻油调涂之。治臁疮尤妙。

又方：

密陀僧　黄丹

右等分，细研贴之。

治腿膝生疮有脓者，朱子宣提干传。

五倍子细碾掺之

治延皮恶疮。钱季质司法窠，尝苦臁上生疮，始者如粟，渐如豆，爬瘙不已，即成大疮，累治不效，后得此方。用石榴皮煎取浓汁，放冷，以搽疮上，冷如冰雪，即著痂而愈。云是王宣子尚书方。

治臁疮：

乾胭脂　轻粉少许

右研令极细，先以温水洗疮，片帛裹乾傅之。深者，填令满，以差为度。

又方：　潘仲宝察院。

血竭一味，研为细末，掺在疮上，以乾为度

又方：

地骨皮去粗皮，用竹刀刮粉，焙乾，为细末贴之

又方：　隔年驻车丸碾末傅，极妙。如无，新者亦可。

又方：　詹武子年三十岁时，曾患此，用之即安，后屡有效。

黄柏　白及　白蔹　黄丹别研

右等分，研为极细末，入黄丹拌匀，入轻粉多少随意，以蜜和如药剂，微令稀薄，捏成饼，贴疮上。深者填满，以帛片包扎，一日一易，后来疮渐乾，或有裂处，只须乾掺，以差为度。

又方：钱文子云屡效。

羊粪不相粘者，烧灰存性，为末傅之，入轻粉尤佳

又方：　取煮酒瓶头泥，田中黑土者为上，山土不可用，于火中烧通红，放冷出火毒，研令极细，麻油调成膏子，再用包煮酒瓶头翦叶，量疮口大小一样，剪两片，将一片于翦叶背上摊药子，再将一片合之，以翦叶光面安在疮上，用帛子裹扎定，不可令药著好肉，恐反侵损，傅药了，痛即止，恶水流出，三两日一换，不过一二傅，即生石榴肉。若能忌口爱护，遂绝根本。冯安时说：陈仲山云不须烧，只乾碾细，以瓶翦如上法用，甚妙。尝以医数人矣。

又方：　陈仲山寺丞家，有一老奶婆，九十余岁；每以此药治人，无不效者，仲古说。

左脚上旧草鞋名千里马，不得犯手，以棒挑取，于水内鞭洗令净，曝乾，烧黑灰，碾细为末，入轻粉少许，先以盐浆水洗疮，裹乾，然后傅。乾者，生油调；湿者，乾掺，便成痂，甚妙。郭医名羽云：端午日，以左手提左脚旧草鞋烧用，兼治软疖，其子亲曾得效。

下疳　阴疮

治下疳疮洗药：

甘草三十文　荆芥十文　淡竹叶一握　灯心五文　麦门冬草一握　小柏一把，约五七茎

右同锉为粗散，汤洗之。

又方：　傅药。

麝香三十文，研　白及半个　坯子胭脂十文　软石膏五文，猛火煅过　黄柏五文，炙，醋淬七遍　木鳖子二个，去皮，杖子扎之炙，醋淬七遍

右为细末，如烂甚者，入炒黄丹，参斡耳子。

又方：

竹蛀屑少许　金花胭脂四个　海螵蛸一个　麝香三十文　石膏五文，猛火煅过

右为细末傅之。

又方：

玄胡索五文　轻粉五文　石膏五文，同前法　枇杷叶四个，净洗去毛　活田螺二个，烧灰，以尽白为度，并肉用

右为末傅之。

治肿不下：

冬青叶　小蘗　甘草

右等分煎汤，以五升瓶盛汤，浸三两时，必下。

治烂甚，出脓不净者，以活地龙二十条，

净洗了，用瓶子盛之，以重纸裹，开一窍，夜间入患疮处，令地龙食脓尽，明日傅药。如觉痒不妨，不可令患人知。

治尿不出方：

用白盐以湿纸裹，烧成白花，吹入之[1]，立效

治血出不止：

右以熟艾裹之，然后再以绢裹，立定。已上八方，绍兴一小人王小八者，以卖糕为业，不知何处得此方，治人甚验，所得颇厚，遂弃业行医，因赂其妻兄郑二而得之。

治下疳，季毅传。

五倍子　甘草　滑石各一两　虢丹一字

右为细末，先以甘草汤或浆水洗之傅药。

治结成肿实未溃，小便不通者。葱不拘多少，碎切，入麻油内煎令黑色，去葱不用，只收油，趁微热，通手逐旋涂上自消。

治阴囊上生湿疮，黄水流注，有妨行步。倪尉传。

白矾不以多少，碾为细末，入冷水内，洗疮即愈。

又方：

五倍子　黄柏　滑石　轻粉

右四味，等分为细末，贴之数次即愈。

治阴疮痒痛，出黄水，久不差者：

腊茶　五倍子等分　腻粉少许

右同为细末，先以浆水葱椒汤洗之，频傅。

又方：

铜钱一百文　乌梅七个　盐七钱匕

右水一碗半，煎至一碗，热洗。二方相须用之，无不即效。

治阴疮：

坯子胭脂　真绿豆粉

右同研匀傅之。

头疮　敛疮口　驴涎马汗入疮　杂疮

治癞头疮：

白矾五文，刀头飞过　杏仁五文，去皮尖，细研　大风油五十文省

右一处溶成膏子，后入轻粉三十文，调傅之。

治一切恶疮，头上疮。魏监务。

平胃散入腻粉、清油调傅之，甚妙。

治白癞头疮。叶元方云：以白炭不拘多少，烧令通红，先用盆盛百沸汤，以炽炭投之，却漉令净，将此灰汤候通手洗疮，即愈。

治小儿头上热疮。四侄之子，年一岁余，满头脓疮成片，用此药两三次，作痂而愈。屋尘，即乌龙尾也，以麻油脚研令极细傅之，虽痛不妨。

治小儿头疮。孙盈仲云：屡见人用煮熟鸡子黄，炒令油出，以麻油、腻粉调傅。

敛疮口方：

白及一钱　赤石脂一钱，研　当归三钱，去芦头　龙骨少许，研

右为细末，乾掺。

生疮口，桃红散：

龙骨半两　白矾半两，飞　黄丹少许，飞

右为末，每用少许掺在疮口上，先用口含浆水洗净，揩乾，用药贴之，以差为度。

治驴马涎汗入疮，冬青散：

右以冬瓜青皮阴乾，为细末，挑开疮口傅之，少顷即退。

治生疮，因入汤成毒，脓出，或赤肿者。苏莹中传。

淡豆豉不以多少，手内碾为膏子，捏作饼傅贴之，以片帛裹定，脓即止。未有头，以用米醋调涂。

治疮药：

五倍子、黄柏为末傅之。

治中寒露水入手，疮痛不可忍，能杀人。以盐数合著疮上罨之，火炙令热气透疮，又以蜡入竹管内，插热灰中，令蜡溶，滴入疮口立愈。吴尚书家婢因浣衣，手中水毒，昼夜叫唤，用此效验。

1　入之：本草纲目石部第十一卷食盐条引普济方作“少许入尿孔中”。

治疮方：

白矾　虢丹飞　胶香各五文　乳香五十文省[1]

右同为末，用麻油少许，轻粉十文，同调傅之。

治恶疮十全方：

白蔹　白及　黄柏　苦葫芦蒂　赤小豆　黄蜀葵花

右等分，为细末，以津于手心内，调如膏药涂之，只一上。

治一切恶疮，遍用药不效者。陈米饭紧作团，火煅存性，麻油、腻粉调傅。苏韬光丁亥年，耳上病碎疮，或痛或痒二月余，百药不效，季倅子长傅此，初不之信，试用之，次日即愈。辛丑年再作，吕仲发显谟云：此证盖以痰饮之，故只用肥皂烧存性，生油、腻粉调傅，用之尤佳。

治一切恶疮，医所不识者，神效方。赵通判传，名百中，字德全。

水银　甘草　黄柏　黄连　松脂　腻粉　土蜂窠著壁上者，南方多有之。或云蟭螟窠，可自取用

右取水银放掌中，以唾杀为泥，入瓷器中，以生麻油和研，生绢滤如稀饧，和药末再研如稠饧，先以温水洗疮，帛拭乾涂之。一切无名疮，涂一次即差。有黄水者，涂之随手便乾。痒不堪忍者，涂之立止。痛甚者，涂之立定。治疥尤佳，抓破傅药，合时细心，不可蔑裂也。

治多年恶疮，疮口不乾者。采冬瓜叶，阴乾，瓦上焙，碾极细贴疮。湿处三二次便乾，累效。

治一切恶疮已破，脓血不止者。蜗牛并壳肉烧存性，入轻粉少许调傅之。

治疮，高司法方，蒋签判云极妙。

江[2]茶　大黄一分，焙乾　小粉焙之，炒令青黄色秤

右为细末，乾者，冷水调傅；湿者，乾掺。

张定叟侍郎传，专治恶疮瘰疬，神效。

黄皮不以多少，以童子小便浸，春秋五日，夏三日，冬七日，焙乾为细末，穿山甲不以多少，火煅存性，研细，土牛不以多少，新瓦砖[3]乾研细。每黄皮末三钱，穿山甲末、土牛末各一字，轻粉半钱，同研极匀细。湿疮乾掺，乾疮麻油调涂之。

治冻疮，张仲安传，名皁。

黄柏烧存性，灰研细，以鸡子清调傅。破者，乾掺神妙。

治恶疮及一切肿毒瘾疹，或痒或疼。

茄子花　黄蜀葵花

右二味，各采来时，用竹夹子夹，不得犯手，约度相等，共用磁瓶盛，密包，挂净室中，久而成膏，每患处，以竹篦子挑傅，神验。

治恶疮妙用膏：　治项上有瘿及漏疮。

真清麻油，入古文钱三二十文久浸，年深，每用以鹅毛扫患处。

治暑伤肌肤疮烂，或因搔成疮，多是大暑汗出，坐卧湿地，致肌肤多疮，烂汁出。有一乳姥曰：此易差也，取乾壁土，揉极末傅之，随手即差。

治久疮，用猪筒骨者。见小儿门中。

治恶疮：

雄黄飞　白矾飞　黄丹飞　白蔹细末

右等分水调，鹅毛扫纸花贴，中留小窍出毒气。

治胫股间生疮，成片折裂者。六兄。

巴豆十四粒，去壳　麻油二两

右同煎巴豆焦黑为度，去巴豆不用，入黄蜡少许，轻粉三十文，搅匀，如面油擦疮上。

琐碎录[4]

---

1. 省：普济方卷二百七十二诸疮肿门引百一选方无此字。
2. 江：普济方卷二百七十二诸疮肿门引百一选方作“红”。
3. 砖：普济方卷二百七十五诸疮肿门引百一选方作“焙”。
4. 琐碎录：原书只引书目而无内容。

诸 疮 门三

直 指 方

肾 痒 证 治

宣风散： 疏肝肾风。

大鸡心槟榔二个 橘皮半两 牵牛生取末一两，炒取末一两 甘草焙，三钱

右末，每服二钱，蜜汤调下。

不换金正气散[1]： 去肝肾湿气。方见伤寒门。

青木香丸[2]： 疏导肾经风水。方见水肿门。病人肾虚，挟邪浮肿，多用安肾丸，少用青木香丸夹和，盐汤下，屡效。安肾丸[3]方见水肿门。

活血驱风散： 治肝肾风毒，肾囊湿痒，脚下疮癣。

当归 川芎 白芷 华阴细辛 白蒺藜炒，去刺 桃仁浸，去皮，焙 白芍药 半夏制 块润五灵脂 甘草生。各三钱 苍术炒 杜仲姜汁炙炒，去丝 辣桂 天麻 薏苡 橘红 槟榔 厚朴 枳杀[4]制

右细锉，每服三钱，水盏半，姜钱五片，枣二枚，煎七分，滤清，暖热入乳香末少许，食前服。乳香以佐心气，使心肾相交。或有热证，去乳香加黑豆煎。

蒺藜散： 治癞风上攻，耳鸣目眩，下注阴湿疮痒。

蒺藜炒，杵刺 草乌头水浸三日，逐日换水，去皮，晒。各半两 白芷 白附生 苍术炒 荆芥穗各二钱半

右晒末，米糊丸梧子大，每三十丸，上则茶清，下则盐酒服。

乌荆丸[5]： 治肝肾风痒。方见痔漏门。

神授丸[6]： 治外肾湿痒。方见诸虚门。

茎物肿烂淫汁方：

大腹皮一升

右夹苦参、荆芥煎汤，温洗拭，以津唾涂，次用油发烧存性，入些白及末傅。逐日煎汤，密室洗换药。或用乳香龙骨散，仍服蜡矾丸并发灰，用米饮调下。

茎头三五孔小漏疮，出血微脓妙方：

油发烧存性，灰傅，乾则津唾调，仍以米汤调发灰，食前服。

乳香龙骨散： 治外肾湿痒，淫烂如瘙。

龙骨 石膏生 五倍子各一两 白及 乳香 黄革丹各半分 麝香少许

右细末，先以苦参、大腹皮、紫苏茎叶煎汤温洗，后傅。

阴汗湿痒方：

炉甘石绿者，一分 真蚌粉 黄连 五倍子各半分

右细末掺，先以蜂房、大腹皮煎汤温洗。

又炉甘石方方见后。

妬精疮、阴蚀疮方：

油发灰 青黛乾，等分

右为末，入些麝掺，或津唾调傅。

又青纸方方见后。

大学治肾脏风发疮疥方：

鸡心槟榔一大个，破开，以黄华丹一钱合在内，湿纸裹

---

① 不换金正气散：方见本书卷五十二伤寒门二十六引和剂局方。

② 青木香丸：方见本书卷一百二十八水肿门三。

③ 安肾丸：方见本书卷一百二十八水肿门三。

④ 杀：仁斋直指附遗方论作“壳”。

⑤ 乌荆丸：方见本书卷一百八十三痔漏门二。

⑥ 神授丸：方见本书卷一百五十诸虚门八。

煅　明硫黄研，二钱　生革丹一钱　全蝎三枚，焙

右同末，入轻粉半钱，麝少许，于磁器收，每用少许，麻油调抹两掌，先以鼻臭，男以两掌掩外肾，女以两掌掩两乳，各睡至醒，次日又如此用药，屡效。

又方：　用大红川椒去目，水醮湿半日，夹生杏仁研膏擦手，如上法亦验。得效方同。

诸疮证治

桑螵蛸散：　治诸恶疮。

桑螵蛸　地龙　贝母　厚黄柏各半两　虢丹煅　乳香各一分　粳米粉二钱　雄黄　轻粉各一钱　麝香半钱

右细末，以不食井水和沙糖调傅。

又方：　蜘蛛晒为末，麻油、轻粉调傅。

乳香蜡油膏[1]方见疥癣门。

胭脂散：　治反花疮。

胭脂　贝母　胡粉各一分　鹏砂　没药各半分

右末研细，先以温浆水洗拭，后傅药。

苦楝散：　治浸淫疮。

苦楝根日乾，烧存性

右为末，猪脂调傅，湿则掺，先用苦参、大腹皮煎汤洗。

胡粉散：　治月蚀疮。

胡粉炒微黄　白矾煅　虢丹煅　黄连净　轻粉各二钱　胭脂一钱　麝少许

右末，先以温浆水入盐洗拭，后掺药。如疮乾，麻油调傅。得效方同。

绿矾散[2]　乌梅醋法[3]方并见四肢门。

滑石粉：　治疿疮。

绿豆粉二两，焙透　软滑石一两，研

右末拌和，以绵扑子蘸扑，仍以石粉得效方腻粉。佐之。

紫草膏：　治热疮。

紫草茸　黄连　黄柏　漏芦各半两　赤小豆　绿豆粉各一合

右捣细，入麻油为膏，日三傅。常服黄连阿胶丸清心。

又方：　治热疮淫湿。

南星　半夏　黄柏　黄连各一分　五倍子煅　虢丹各半分

右细末掺。痒加煅白矾，更痒加雄黄。

又方：　热疮止痛收汁。先用大腹皮、苦参、白芷煎汤，泡荆芥洗，次用：

地榆　苦参　黄连等分

右为细末，入些真蚌粉，乾掺。更痛加去皮绿豆。

槟榔散：　治冷疮。

鸡心槟榔　木香　硫黄　姜黄各半两　吴茱萸二钱　麝一字

右捣末，麻油调傅。有脓则乾掺。

赤豆散：　治无名疮。

赤小豆　吴茱萸　赤色白胶　厚黄柏　黄连　贝母　硫黄　糯米焙。各一分　虢丹煅、半分

右末，麻油、轻粉调抹，槐枝煎汤先洗后抹。

乌羊膏：　治头白秃疮及恶疮、臁疮。

猪猪粪腊月收，烧灰，半两　槟榔二钱　雄黄一钱

右末，先以麻油调和鸭子清，约头大小作厚饼，温覆头上引虫，不可热覆，不得动头，待十分痒忍不得，令人急手揭起，次用苦[4]练根煎汤淋洗，拭净。湿则掺，乾则麻油、轻粉调抹。

治头烂疮，燕窠土为末掺。

竹叶膏：　治两脚骨臁疮。先用：

小网虾三十尾，去头壳尾

右同糯米饭一合研细，临卧，以帛扎患处上下，次以青纱罩疮，却将虾饭傅青纱上，别用青纱罩虾饭之上击[5]定，至五更初解纱，

---

(1)　乳香蜡油膏：方见本书卷一百六十九疥癣门二。

(2)　绿矾散：本书四肢门无此方。仁斋直指附遗方论其组方为“绿矾半两烧热　芦荟一钱半　麝一字　右研如粉，以绢袋盛药，纳所患指于袋中，线扎定，瘥为度”。

(3)　乌梅醋法：方见本书卷八十三四肢门一。

(4)　苦：仁斋直指附遗方论作“苦”。

(5)　击：仁斋直指附遗方论同。普济方卷二百七十六诸疮肿门引直指方作“系”。

连虾饭揭起，挂空闲处，皆是小赤虫，即以汉椒、葱白煎汤，候温淋洗，次用旧茶笼内白竹叶，随疮大小剪贴，软帛系之，一日二换，直待汁水出尽，方以好膏药贴，逐日煎苦练根汤淋洗，仍换膏药，直待生肉将满，则不用膏药，其疮口只如筋[1]尾许，乃可以血竭或降真香节夹白敛收平疮口。切忌动风发气等物。

又瞒疮方：　先用荆芥、葱头入白盐少许，煎汤洗拭，次用：

雄黄　雌黄　硫黄　白矾煅。各二钱　鹰爪黄连去[2]仁　厚黄柏各三钱　轻粉半钱　虢丹煅，二钱

右并细末，外用麻油一酒盏，煎巴豆肉二钱，滤清，笔蘸抹药末掺其上，妙甚。

又方：　先用桑叶、白芷煎汤洗拭，次用：

木香　槟榔　五倍子　白芷　贝母等为末，掺。

又方：

猢猪粪烧带性，半两　鸡心槟榔三钱　真龙骨二钱　轻粉一字

右末，麻油调傅，先盐汤洗拭，后用药，二日一换。

又方：

中鲫鱼二尾，洗净　满尺皂角一条，擘间[3]两片，夹鲫鱼，用麻扎，煅乾，烧存性　穿山甲炙焦，入皂角内二钱

右细末，先以井花水洗尽脓汁，用白竹叶一叶，针插多孔，缚于疮上，候水出尽，然以麻油、轻粉调药傅。

又方：　先用酸浆水温暖淋洗，次用：

生覆盆子叶瓦上煅乾

右碾极细，乾掺，纱扎，次日以新水湿，去痂，又用温浆水洗拭掺药。

麝香散：　治妒精疮。

青黛乾　款冬花等分　麝香少许

右末，先以地骨皮、桑白皮煎汤温洗，软帛拭乾，次以津唾调药傅。

又方：　久年册皮青纸，以津唾粘湿贴上，明日又重贴，勿动自愈。旧青纸，盖取青黛凉而煞虫，纸无性耳。

治阴汗湿痒方：

绿色炉甘石一分　真蚌粉半分

右细末扑傅。

豆坯散：　治阴蚀疮。

绿豆粉　虾蟆灰各一分　胭脂半分

右细末乾掺。

神降散：　治走皮瘿。桑寄生一小把，本槐桑根取皮一握，白芷、黄连煎汤，温和，以帛蘸洗，候露出尽，拭乾傅药。

满尺皂角去弦核，烧存性　麻竹大箨烧存性　厚黄柏　鹰爪黄连　瓜樟叶乾　白芷

右逐件为末等分，麻油调抹，自然生匕，神效。谨勿吃醋。得效方同。

又瘿疮发歇不止，凌霄蘸[4]并叶煎汤温洗。凌霄傍松柏槐生数次洗效。

蜡矾丸[5]：方见痈疽门。　诸疮皆可服，内消其毒。凡洗疮，须用药草煎汤。

疏风解毒散：　治诸恶疮顽痒鬲热，及妇人血风，遍身红斑圆点，斑中渐发疹疱，开烂成疮痒痛。

白芷　细辛　蒺藜炒，去刺　麻黄去节　鸡心槟榔　当归须　生乾地黄　川芎　赤芍药　川独活　牵牛微炒，取仁　苍术炒　桑白皮炒　枳壳制　甘草微炙。等分

右锉散，每服三钱，入黑豆七十粒，紫苏五叶，姜五片，同煎服。如大便秘，加些生大黄。次用贝母膏傅疮。

贝母膏：

贝母三钱半　半夏生　南星　五倍子　白芷　厚黄柏　苦参各二钱半　虢丹煅，一钱半　雄黄一钱

右细末，初用蜜水调傅两三次，后只乾

---

① 筋：仁斋直指附遗方论同。普济方卷二百七十六诸疮肿门引直指方作“筋”。

② 去：此下脱字，仁斋直指附遗方论作“须”。

③ 间：仁斋直指附遗方论作“开”。

④ 蘸：仁斋直指附遗方论作“藤”。

⑤ 蜡矾丸：方见本书卷一百七十四痈疽门五。

掺。先以蜂房、白芷、苦参、大腹皮、荆芥煎汤熏洗，拭乾即用药。或间有留滞不瘥，以好膏药贴。

恶疮方：

赤色白胶一钱　得效方一分　明白矾三钱　黄色黄丹半钱　得效方半分

右细末，麻油调傅。先以酸浆水暖过洗疮，拭乾用。

又方：　贝母为末，入些雄黄掺。得效方同。

又方：　治久不差。

透明硫黄　黄连等分

右细末，以鸡子清一个打碎，铺新瓦上焙，为末，夹上项药，麻油、轻粉调傅，先用白芷、葱头煎洗。

诸疮头疮方：

满尺皂角去弦核，一锭　黄连净，半两　赤色白胶　五倍子各三钱　蛇床一钱　黄丹煅，二钱　轻粉半钱

右细末，先用柳枝煎汤洗拭，后掺。或用黄连半两，蛇床一分，晒乾为末，麻油、轻粉调傅。

又头疮方：　黄连为末，用麻油、轻粉调得所，掺于碗中，将艾一撮烧烟，碗覆其上熏之，再加艾熏用。

治头秃疮方：

五灵脂　白矾　白芷　青黛　好草乌各一分

右为末，麻油调傅。

头痈头脑方：　头枕后生，正者为脑，侧者为痈。

轻浮白浮石烧存性，为末

右麻油、轻粉调，鸡羽刷上，勿用手按，即涨。或用黄牛粪于瓦上焙乾加之尤好。亦治头疽。

治疽方：

大乾芭蕉叶剪斗内烧存性

右为末，麻油、轻粉打和，傅疽留头，以软纱贴，换易三次，或散或破，无痕。

又方：

穿山甲　蚌粉同炒

右末，麻油、轻粉调傅。

胎瘤头热，红饼疮方：

生艾　白芷　大腹皮　连根葱

右煎汤洗拭，以生蓝青叶，入些生艾捣细，蜜水为膏傅。亦治恶疮。

又恶疮方：

硫黄　黄连净末。各一分　黄丹　赤白胶　蛇床　樟脑　发灰各半分

右末，湿则掺，乾则麻油调傅。

又方：

白矾煅　五倍子　厚黄柏　黄连净　黄丹煅　海螵蛸　贝母等分

右为末，入麝少许掺。痛则加地榆，痒则加苦参。

又方：　用贝母膏方见前。加黄连、蜂房、烂石膏尤好。或用麻油、腻粉调抹。本方内去雄黄。

白秃头方：

雄猪胆汁半入法醋，须以鸡羽扫傅。

朱氏集验方

疮　疖

號丹膏：　治一切疮疖。

號丹五两　巴豆十粒　麻黄八两　方竹　柳条各五十寸

右件油焦，下竹柳巴三味，煎焦黑色，却入號丹，打匀黑为度，令自然成膏。如疮未破，用巴豆，如已破，则去巴豆。

羚羊角散：　治一切脓泡热疮及发背。

羚羊角　黄耆　生熟地黄　川芎　当归芍药

右等分，㕮咀，每服三钱，水一盏，煎

至八分，空心服。

鹿角丸：　治疗同前。

鹿角镑　黄耆炙

右等分，却入羚羊角一半蜜丸，地黄温酒下。赵龙学病虚，服之刚剂过多。刘立之云：必有疮疾。服此药后不发，止遍身发细疮，用生地黄汁解白饼酒常服，兼进前方服之，遂无事。盖鹿角散血，羚羊角消脓，兼用钟乳粉、鹿茸为丸服之。

加减五苓散：　治疗同前。

沉香　檀香　生熟地黄　升麻　乾葛　芍药　黄耆　黄芩　羚羊角　犀角　连翘　甘草　防风

右等分，咬咀，每服三钱，白水煎服，仍煎何首乌散服。

增益四物汤：　治一切疮。

川芎　当归　地黄　甘草　芍药　防风　荆芥　金星凤尾草

右咬咀，等分，每服三大钱，水一盏半，煎八分服，有验。

百花散：　治一切疮。

郁金　黄连　黄柏　枝子仁　葵花

右细末，冷水调成膏，贴疮痛处，其效如神。

土朱散：　治一切疮。

土朱　虢丹　牛皮胶

右细末，用好酒一碗，溶牛皮胶，入此二味和匀，澄清，吃清药酒，留脚傅之疮上，乾又再贴。

驱风散：　治疮。

红椒开口者，七粒　连根葱头七个

右同煮，水净洗，用绢衣掩乾。得效方同。余甲子夏自八桂归途中，为疮疡所苦，暂憩湘山寺，遇长老寂翁授此三方，数日而愈。

独珍膏：　治软硬疖，诸热毒疱疮。

五倍子不以多少，瓦上焙乾

右细末，冷水调涂，仍入数点麻油。卢陵一士人传，曾效。

赤小豆：　治善恶疮并赤肿，及疼腮，无不愈者。

仁宗在东宫时，常患诈腮，命道士赞能治疗，取赤小豆七七粒，为末，傅之而愈。中贵任承亮在旁知状，后自患恶疮濒死，尚书郎傅求授以药，立愈。问其方，赤小豆也。久之，浴[1]官过豫章或苦胁疽，几至五脏，医者治之甚捷。承亮曰：君得非用赤小豆耶？医惊拜曰：某用此活三十口，愿勿复言。有僧发背如烂瓜，周邻家乳婢后疽作，用之皆如神。其法，细末水调，傅疮及四旁赤肿，药落再傅之。又一本为末，每服二钱，水一盏煎服。仍用新汲水调药傅之。缘赤小豆粉粘物，既乾难揭，则用苎麻根为末和之，便不粘也。此法尤佳。

杀虫方：

鸡心槟榔一两　黄连一两，炒，去须　川山甲十个，烧存性　麝香半钱

右为细末，用腊茶末调涂，隔日一洗，一日三五次用药，如此三五日，后用收晕、暖肌肤，生新肉药。

治癞头疮方：

先用本人小便，烧秤锤令红，投于小便中，方与洗头疮，都无皮了，然后以帛拭乾，却以：

历青五文，细研

右用油鱼三个，以盏熬成油，调历青涂，三日效。

火气入疮方：

黄柏皮为末，掺之立愈。有妇人，因冬间向火，两股上遂成疮，其汁淋漓，人无识者。后见一道人，云此皆火气入内而生，用此方果如其言。后又再作，适无黄柏，用薄荷煎，涂之立愈。

二草散：　治诸般疮。

金星凤尾草四两　甘草一两

右为细末，酒调下。生用者，擂烂，酒服，不拘时候。

---

1. 浴：朱氏集验方作“沿”，普济方卷二百七十二诸疮肿门引朱氏集验方作“医”。

神效饼子：　治一切毒疮。

山慈姑　五倍子　草乌烧存性　木鳖子焙乾。已上各半两　虢丹二钱

右为细末，先用鸡子作饼，热傅疮上，候冷取出，傅药其上，数日间疮乾，连皮脱去。疮乾，即用麻油调。德安寺有僧，面上生遍几死，一用即安。

五香连翘散：　治风气疮，自上而下调之，风沥，自下而上。

鸡觜连翘　丁香　沉香　藿香　南木香　桑寄生　甘草　射干一两　麝香少许

右为细末，白水煎服，食后服。又用牛尾蕨根、谢婆根，又名赤葛子根，二味捶碎，酒三碗，浑服，并用洗疮口。溃烂之后，亦用此药洗，直要洁净。大恶忌白物，豆腐、面、白羊、白鸡、白猪，一切白物皆忌之。如服药后，小便淋沥，用五苓散加葵麦、木通煎吃。此方得之艰，用之收效。

又方：

藜芦罗过三碗，生用，每以三碗晒将两碗入　硫黄一两　蛇床子三钱　轻粉少许　班茅　荆芥各五钱　大椒三钱

右同为末，熬麻油乘热清调，临卧涂疥疮上，次以前藜芦一味，入甘草三五十钱，同为末，每服半钱，酒调，酉时服，名凉肺散。大忌炒豆黄菜。用之果效。

万金膏：　败毒生肌。诸毒疮皆可用。

黄耆半两　当归半两　白芷三钱　杏仁三钱　防风三钱　羌活二钱　独活二钱　官桂二钱　白蔹二钱　狼毒二钱　乳香三钱　没药三钱　黄连一钱　黄丹四两　清油一斤　桑白皮二钱

右除黄丹一味，以文武火，于银器内炼，不住手搅千余下，后入黄丹，次用柳枝搅，滴水上如珠为度。阴天炼，春冬软收，夏月苍收，用新磁器盛，以竹篦子摊用，勿使沾尘，常好好盖覆，愈久愈好，艾苍尤佳，贴上不痛。古藤吴佥判元益授此方，用之效。

治臁疮诸方：

花乳食散　复元通气散　追风独活散　右各一贴合和，酒调，空心服。

洗药：

海桐皮　石榴皮

右等分，煎汤淋洗令净，然后用薰药。

薰药：

牛蒡子一字，研为细末

右用纸捻子，将药在内烧薰之，然后涂药。

槟榔散：　涂疮。

全蝎七个　班茅十四个　巴豆十四粒　槟榔一个　麻油十五钱重

右用麻油，慢火煎，先入全蝎，次入班茅，次入巴，随巴下槟榔，见巴黑色，方入黄蜡一两，候溶，去前四味药滓不用，只用蜡油，入后药：

黄柏皮二钱，炙　雄黄一钱，研　生硫黄一钱，研　蛇床子二钱，研　虢丹一钱，火飞　海螵蛸一钱　白胶香　黄连　杏仁　轻粉　麻油胶香与油先溶

右细末，同入麻油中调，傅疮。下摄商客传，见效。

单方：得效方名粉麝散。　治外镰疮臭烂，数十年不愈者。

生乌龟一个打死，去肉取壳，酸醋一碗，炙数次，醋尽为度，仍煅令白烟[1]存性，用碗盖地出火毒

右为细末，入轻粉、麝香拌匀，临用，先用葱水洗乾方用药。胡师贤亲见效。

收敛疮口令乾方：

母蛎一块用破草鞋包缚，入火内煅令通红，去火，候冷取出，细研

右随用时，旋入枯飞过白矾些子拌和，傅疮口上。

治阴茎疮：

豆粉一分　蚯蚓二分

右水研涂上，乾又傅之。得效方同。

治妒精，经效单方：

大田螺二个，和壳煅过存性

右碾为末，以轻粉搽于所患处便安。得效

① 烟：世医得效方此下有“尽”字。

方同。

阴肿方：　治男子阴肿，大如升，核痛，人所不能治者。

马鞭草捣烂涂之。

治脚肿方：

男子六十一岁，肿生疮，忽食猪肉不安，医以药利之，稍愈，时出外，中风汗出后，头暴肿起，紫黑色，多唾，耳轮上有浮泡小疮，黄汁出，乃与小续命汤加羌活一倍煎服之，遂愈。

背肿方：

杨愔患背肿，马嗣明以炼石涂之便差。粗黄色石，如鹅鸭卵大，猛火烧令赤，内醇醋中，自有石屑落，频烧石尽屑，曝乾捣筛，醋和涂肿上，无有不愈，神妙。

修月鲁般经后录

治下疳疮：

白芷二两　甘草二两　五倍子一两

右三味煎汤洗，不要换。如冷再温洗，甚效。

臁疮方：

樟脑　轻粉　黄丹　水龙骨各等分

右为细末，用香油调匀，油单纸摊贴，先以花椒、连根葱、飞盐煎汤洗，然后贴之。

又方：　酸黄韭叶贴，一日三次换，大效。

破毒天下无比散：

猪牙皂角去皮，如法醋炙焦黄，为末，每服半钱，加穿山甲金[1]者，看患人证在何处，就取此处甲用，以蛤粉炒为末，加一钱与皂角末相合，温酒调下。证在上，食后服，证在下，食前服。

治肿毒即消：

知母　贝母各等分　穿山甲五片，烧枯为末

以前二味咬咀，酒一盏，水一盏，却下穿山甲末于内，冷一宿，至来日清晨服，其肿自消。

恶疮生头，一粒自然金，用葵菜子一粒，空心，井水吞下，则生一个头，吞二个，立生二个头，其验如神。

解毒排脓散：

连翘　川芎　柴胡　酒芩　青皮　忍冬　牛蒡子　黄芪　皂角刺　大黄　当归

右咬咀，每服五钱，水二中盏，煎至七分，去滓温服。

收口撮脓方：

蝉壳去土，七介　木香半钱　白芷半钱　蝎三介，去毒　乳香一粒，如豆大

右为末，乾入疮口，外以膏药护之。

桃红散：　贴疮，生肌肉止痛。

滑石一两　黄丹二钱　赤石脂三钱

右为末，乾贴。拔粹方同。

散毒百用膏：　围罨一切肿毒，兼治撷扑。

猪牙皂角煨去性，一两　南星[2] □两　糯米一合，炒黑　臭小粉乾者，四两，炒焦，出火毒

右均和为末。如肿毒，用蜜水调；如撷扑，用醋调围敷。

神护膏：　围罨一切肿毒。

赤小豆　黄皮　白蔹　白芷　天花粉　南星

右各等分为末，阴用米醋，微红用蜜水，肿用商陆根，阳极用巴豆焦油。此是邵道婆黄金散加黄皮为主。

秘方水澄膏：　围敷肿毒。

郁金无条子，用黄代　白芨　白蔹　五倍　乳香　雄黄各半两

右为细末，水调敷。如热极者，用腊水尤妙，内黄柏、南星。

---

① 金：医部全录卷三百六十六外科痈疽疔毒门单方作“全”。

② 星：此下注文脱字，证治准绳疡医卷二名解毒百用膏作“一”。

五金膏： 围罨一切肿毒。

黄葵七朵，乾者 川连二钱，去须 山栀三斤，肥者 川郁金指面大一块 黄柏五钱 原方加白术少许

右为末匀，井水调成膏付之。此药[1]急宜速打之则[2]。

治诸种疳疮：

乳香 黄丹 白矾

右三味，同炒焦枯至七紫色，共研为极细末，每服，用洗净，乾贴之。

又治下疳神效。用人筋末乾贴疮上。

青金定子： 取脓。

铜青一两 轻粉一钱 硇一钱 詹半钱 麝少许

右蜡一两，好酒煮十数沸，取蜡，再用香油半两，煮十数沸取出和定子。

七珍丹： 良乡从军，采千户膏药方。加蓖麻子尤妙。

芷央各重五，木别净三钱，九片穿山甲，黄丹八两全，肥豆四十丸，香油一处煎，柳条一顺搅，神效不胜言。摊贴，治疽疖肿毒加金银花；收口加没药、血竭；咳嗽肺俞上贴；腹痛产，小腹脚心上贴。

治瘰癧疮方：

用夏枯草，即五顶草，四五月取，切碎，取汁熬膏，如沙糖色香为度，贴癧疮上甚效。许石器入捣碎取汁。

妙灵散：

斑猫二十一个，去头翅足，同糯米炒黄，只用斑猫末二字 黑牵牛头末，一两 荆芥穗一钱 僵蚕炒去丝嘴，一钱 当归一钱半 木通一钱 滑石一钱

右为极细末，作一服，五更初，用无灰酒调下。必先于隔夜临睡服玉屑散一服，以米汤调下。玉屑散即桂府滑石也。次日五更，可服前药，天明，水道下新胡桃肉相似者是也，如不见，停三日，再依法服之。倘小便涩痛急，琥珀末以灯心汤调下，催之恶物，不下之，后可服活血丸调理。疮迹上贴局方云母膏。

活血丸：

生地黄四两 熟地黄四两 当归 黄连各一两

右为末，酒糊丸如桐子大，每服五十丸，食远盐汤下。

取毒膏： 如服前药，取毒不下，可贴此药之。马生鼠疮，如法治之。

金脚信如小豆大一块，研细，用蜜磨好墨，调信膏点。初起癧疮，头上不可令着好肉，数日后必退出毒根矣。此药颇作疼，必当忍耐一日许，次日无事矣。加面、黄丹各少许。

拔毒膏： 治证如前。

初生这个疮头上，用艾灸三炷，却鲫鱼一个，入这信一块在腹内，盐泥固，煅过为末，香油调涂炙疮上，勿着好肉，数日后退出。

又方：

独核肥皂一个，去弦子 山药三寸，去皮，新者

右二味，一处捣如膏，摊皮纸上贴之，不分已破未破，皆能治之。药但要作痒，必当忍耐方可。

治诸毒如圣散： 此药出入最妙，有疾人并马俱可服。如马脊梁损及疮等疾愈，屡服有效。

苍术一斤 白芷半斤 细辛五两 川芎十两 两头尖四两 川乌半斤 天麻二两 全蝎二两，去节 白术一两 防风半斤，去芦

右件为细末。凡遇刀伤，药到血止，用软帛系之。如疮久，用口噙浆水洗净，软帛拭乾上药。破伤风，热酒调一钱服，出汗。如无汗，再加半钱，直至汗出为妙。蜘蛛，用津唾调涂；头风，酒调一盏服，出汗为度；肿疖，水调毛扫；疔疮，新水调涂纸贴，热酒调服；头风遍身，用竹筒吹鼻；杖疮，水调上；牙疼，将炒盐擦牙出涎，勿咽，温水漱；臁疮，口噙浆水洗，软帛拭乾掺药；系

① 药：证治准绳疡医卷一五金膏此下有“性”字。
② 则：证治准绳疡医卷一五金膏无此字。

之伤，新水调涂；蛇犬咬，诸虫伤，口噙浆水洗净，贴之即愈；一切疮痍损伤，津液调涂，立效。又治下疳疮，口噙浆水洗，贴药。此方系大宁路兴中肖肖万户方。麻黄收水散，用雄黄治毒，用已上加减法。

疳积丸：

白芜荑　陈皮　缩砂　神曲炒　麦蘖　使君子各二钱半　甘草一钱半　蟾一介，炙黄　陈米一勺，同巴豆七粒浸一宿，炒黄，只用米

右为末，水发丸，如绿豆大，空心饮下一十丸，加至二十丸。

疳药麝香丸：

芦荟　胡黄连　宣莲一两　青皮　陈皮各一两半　木香　槟榔各五钱　使君子二两　麝香少许

右为末，水丸如黍米大，每服三十丸，米饮下。

芜荑丸：　消疳克食。

鹤虱二两，炒　黄连五钱，炒　雷丸　芦荟子炒　香附子炒　神曲　麦蘖　芜荑炒　使君子炒　芦荟炒。各一两

右为末，猪胆汁打糊丸，如黍米大，每服三十丸，饮下。

芦荟丸：　治疳积痹证。

大黄四两，醋一升，于砂器内，以桑柴文武火熬成膏，候冷，和后药为丸　芦荟少许　乾蟾一钱，酥炙存性　麝香半钱　轻粉少许

右和匀，入臼杵千，丸如黍米大，每服五七粒，量大小加减饮下，日二服。

治病百法

冻　疮

夫冻疮者，因寒月行于冰雪中而得之。有经年不愈，用陂野中净土晒乾，以大蒜捣如泥，和土捏作饼子，如大观钱厚薄，量疮口大小而贴之，泥饼子上以火艾灸之，不计艾壮多少，以泥乾为度，去乾饼，以换湿饼，贴定灸之，不问灸数多疮[1]，有灸一二日者，直至疮痂内觉痒微痛，是冻疮活也。然后口含浆水浸喷，用鸡翎一二十茎缚作刷子，于疮口上洗净，以此而洗，不至肌肤损痛也，用软帛拭乾，次用木香槟榔散傅之。夏月医之大妙。

宣　明　论

川山甲散：　治一切通气破疮肿，行脓血，如神妙。

川山甲　木鳖子　乌龙角各等分，都烧存性

右为末，每服一钱半，空心热酒调下，至中午，疮破脓血便行。

龙脑润肌敷汤：　枚[2]疮热毒疼痛。

黄丹一两　密陀僧半两　轻粉一钱半　麝香半两　龙脑一字

右为细末，掺药在疮上，用青帛子涂之，内留一眼子。

桃花散：　治一切疮，生肌药。

白及　白蔹　黄柏　黄连　乳香别研　麝香别研　黄丹各等分

右为细末，掺于疮上，三二日生肌平满。

追毒散：　治生疮发闷，吐逆霍乱。

螺儿青　拣甘草各一两　白矾二钱半

右为细末，每服一钱，新汲水调下，立止。

① 疮：儒门事亲作“少”。

② 敷汤枚：宣明论作“散治杖”。

东垣试效方

疮 疡 治 验

黍粘子汤： 治耳痛生疮。

桔梗半两 兰室秘藏三钱 柴胡三分 连翘二分 黍粘子二分 当归尾二分 黄芩二分 生地黄二分 黄耆三分 炙甘草二分 黄连二分 草龙胆一分 昆布一分 蒲黄一分 苏木一分 桃仁三介 红花少许 生甘草一分

右件咬咀如麻豆大，都作一服，水二盏，煎至一盏，去柤，稍热服，食后。忌寒药利大便。

连翘防风汤： 兰室秘藏名净液汤。 治皮痒，腋下疮，背上疮，耳聋耳鸣。

麻黄一钱 桂枝二分 草豆蔻仁一钱 当归尾七分 红花少许 羌活一钱 防风一钱 柴胡一钱 升麻半钱 连翘半钱 桔梗半钱 甘草半钱 生地黄半钱 酒黄芩二钱 苍术一钱

右件锉如麻豆大，都作一服，水二大盏，煎至一盏，去滓，稍热服之。

圣愈汤： 治诸疮血出多，而心烦不安，不得眠睡，此亡血故也。

熟地黄三分 生地黄三分 玉机微义各半钱 当归身半钱 微义一钱 川芎三分 微义半钱 黄耆半钱 微义一钱 人参三分 微义半钱

右件咬咀，都作一服，水一大盏半，兰室秘藏水二大盏。煎至一盏，去滓，稍热服，不计时候。

柳枝当归膏： 贴一切热疮。

当归尾去细梢，水浸，去土，一两 杏仁浸，去皮尖，一百个 黄丹细研，水飞，六两 肥嫩柳枝三两半，切如一寸，水洗净令乾 肥嫩桃枝一两半，洗净令乾 芝麻油一斤

右件先令油热，下桃柳枝熬令半焦，以绵裹当归、杏仁同熬至桃柳枝黑焦为度，去药柤，滤油澄净，抹去铫子中滓秽令净，再上火令沸，旋旋入黄丹，熬滴水中不散为度，或只于纸上摊，令不透纸为度。

桃枝当归膏： 贴一切恶疮。

当归身去细梢，洗去土，乾，一两 杏仁汤浸，去皮尖，一百个 肥嫩柳枝三两半，切寸许，水洗，乾 肥嫩桃枝一两半，切寸许，水洗，乾 黄丹水飞，六两 芝麻油一斤

右件先令油热，下桃枝、柳枝熬令半焦，以绵裹当归、杏仁同熬至桃枝、柳枝黑焦为度，去药滓，滤油澄净，抹出铫子中滓秽令净，再上火令沸，旋旋入黄丹，熬成滴水中不散为度，或只摊纸上不透为度。

治 疮 脉 诀

身重脉缓，湿胜，除湿。身热脉大，心燥时肿，乍来乍去，去热。诸痛，眩运动摇，脉弦，去风。气涩气滞，乾燥亡津液，脉涩，泻气补血。寒胜则浮，食不入，便溏多，恶寒，脉紧细，泻寒水。

御 药 院 方

玉粉散： 治热汗浸渍成疮，肿痒烦痛。

定粉一两 蛤粉九两半 石膏半两 白石脂半两 滑石八两半 卫生宝鉴八两 白龙骨半两 粟米粉二两 寒水石烧通赤，于净地上放冷，出大毒，一两 医方大成、集成、南北经验方、袖珍方二两

右为末，再研极细匀，每用药乾擦患处。

淋渫药七宝散： 治热汗浸渍成疮，痒痛不已。

黄耆 当归 防风 荆芥穗 地骨皮 木通各二两 卫生宝鉴各三两 白矾一两

右为粗末，每用药一两，以水三大碗，煎五六沸，滤去滓，稍热淋渫患处，拭乾，

避风少时。　宝鉴先师东垣老人路次方城北独树店客舍，有推江轴者，皮肤皴裂，不任其痛，两手不能执辕，足不能履地，停辙止宿，因制此与之，即效。明日遂行。

何首乌散：　治风痒疮，揉之汁出。

何首乌四两

右为粗末，每用水一大碗，入艾叶半抄，煎至半碗，入药末一大匙，再煎三两沸，去柤，热洗拭乾，后敷贴艾煎膏。

淋渫吴茱萸汤：　治风毒疮久不差。

吴茱萸　川乌头生用，不去皮　蛇床子　桂各一两　荆芥穗　附子生，不去皮。各半两

右为粗末，每用药半两，水半碗，煎三两沸，去柤，用帛子蘸药，淋扫患处，临卧频频用之，后用枫香散。

枫香散：　治诸风毒疮，发痒白屑起。

枫香脂　大黄　轻粉各等分

右为细末，生油调稀，擦患处。

消肿木香散：　治湿毒肿，皮肉色不变。

木香　当归　射干　莽草　黄蘗另为末　大黄各等分

右件为细末，每用药一大匙，入白面一匙头，淡醋调稀，慢火上熬令稠，摊在纸花子上贴患处，勿令大乾，别换新药，一日四五次。

腻粉散：　治皮肤受风邪，发作痒痛诸疮。

腻粉二钱　藜芦末半两　狼毒末三钱

右件三味拌匀，每用乾擦患处。

苦参丸：　治肺毒邪热，头面生疮、生疥癣，并宜服之。医方大成治肺受热毒，遍体生疮。

苦参

右为细末，粟米饭和丸，如梧桐子大，每服五十丸，空心，温米饮送下。卫生宝鉴同。医方集成、南北经验方、袖珍方、卫生易简方与大成同。

洗风散：　洗疗一切风毒，头面生疮。

防风去芦头　荆芥穗　吴白芷　川芎　蔓荆子去白　葳灵仙去土　何首乌　白茯苓去皮。各二两　苦参　白牵牛各半斤

右件同为粗末，每用药末三两，好浆水三升，煎五七沸，去滓，洗面，每日早晚各二次用。

神应散：　治诸疮肿硬，色白不溃，疼痛不已。

吴茱萸不以多少，生用

右为粗末，熨烙，却用盐包盖之。

溻肿汤：　治诸肿痛不消，或筋脉拘挛，不能屈伸。

蒲翁盈黄花地丁　枸杞苗　鹭鸶藤　升麻　葛根各等分

右为粗末，每用半两，水一升，煎十沸，去滓，热溻，冷则再暖。

琥珀药：　治阴囊瘙痒不已，及自汗不收。

西琥珀六钱　枯白矾一钱　黄丹七钱　麝香四钱　龙泉粉二两

右为细末，每用半钱，掺在手心于患处擦。

疮　肿

陈元膏：　摩治诸风拘挛疼痛，麻痹不仁，风瘙痒疥癣，腹中疼痛积聚，并可治之。

当归切，三两　朱砂研飞　细辛去土　川芎各二两　附子一十二铢，锉如指面大　桂去粗皮，一两二铢　天雄二两二铢　乾姜三两一十七铢　雄黄三两二铢，研　松脂半斤　大醋二升，即米醋也　生地黄二斤，研取汁　白芷已上并锉细。二两　猪肪脂十斤，去筋膜，切作旨[1]大

右以地黄汁、大醋渍九物一宿，并脂合煎之十五沸膏成，新绵滤去滓，入雄朱和令凝，不令小儿、妇人、六畜见之，切须忌也。每用少许摩擦患处，热彻为度。

白龙膏：　治一切恶疮，燃赤肿痛。

沉香二钱半　白檀　白茯苓去皮　木香各一钱半　白附子一钱　桔梗一钱　白芨二钱　白蔹半两　白芷二[2]钱半　白薇一钱　白术一钱半　黄耆二钱半

1. 旨：御药院方作“指”。
2. 二：御药院方作“一”。

川芎一钱半　甘草二钱　防风二钱半　白芍药二钱半　当归洗，焙，半两　生乾地黄一钱　瓜蒌根一钱半　杏仁汤洗，去皮尖　桑白皮　桃仁汤浸，去皮尖。各二钱　木鳖子去壳　人参去芦头。各二钱半　木通　独活　川升麻　槐白皮　零陵香叶已上各二钱半　苦参一钱　腊日澄清芝麻油一斤二两　上好瓦粉一十四两

右件并粗锉碎，用上项油浸七日七宿，于净石锅或银器中，以慢火煎，候白芷焦黄色放温，以新绵滤去滓，于瓷罐子内密封澄三日三宿，候取出倾于锅内，以慢火轻温，再滤去滓，倾在上好磁碗中，用慢火再熬动，次下黄蜡一十四两，用竹篦子不住手搅令匀，放温，次入瓦粉，再搅令匀，以慢火再轻熬动，抬下搅令匀，续次再上火，三日方欲膏成，于磁盒内盛，密封，每用药时，用软白绢子上摊药贴。

摩风膏：　摩风止痒，消肿定痛。治头面唇鼻诸疮，肌肉裂痛。

黄耆去粗皮，一两二钱　当归去芦头，三钱　袖珍方二钱　白芍药　茅香　甘草　防风各二钱半　白芷　杏仁汤浸，去皮尖　桃仁汤浸，去皮尖　藿香叶去土　檀香　川芎　零陵香各三钱　袖珍方已上七味各二钱　白附子　沉香　白及　白蔹　天麻　独活　木香各一[1]钱半　木通二钱　大瓜蒌穰锉，一个　龙脑研，四钱　清油二[2]斤二两　黄蜡冬月用九两半，夏月用一十二两半

右并锉碎，用清油浸七日，于净石器、磁器、银器中，以慢火煎，候白芷微黄色，以白绵滤去滓，于净磁罐子内密封澄一宿，再滤过，于上等磁碗中，慢火再轻温熬动，次下黄蜡和令匀，放温，次下研细龙脑掺面，于磁盒子内盛定，每用药少许摩擦患处。

消毒膏：　治一切肿毒，结硬疼痛。

玄参二钱半　藁本　牛膝　续断各一钱半　羌活二钱　葛根二钱半　柴胡去苗，一钱　木鳖子去皮，三钱　沉香三钱半　木香　当归洗，焙　升麻各二钱半　赤芍药半两　丹参一钱半　何首乌二钱　牡丹皮一钱半　芝麻二钱　卫生宝鉴天麻　槐白皮宝鉴一钱半　甘草宝鉴一钱半　白蔹　川芎　桃仁汤浸，去皮尖　宝鉴三钱半　杏仁汤浸，去皮尖　宝鉴三钱半　白附子　木通　赤茯苓　乱发用水灌洗净令乾。已上各二钱半　细辛一钱半　白芷三钱　宝鉴二钱　防风　黄耆各半两　苍术去皮，一钱半　白芨四钱　上好黄丹一十三两　腊日宝鉴作月。澄清芝麻油一斤四两

右件已上三十五味并锉碎，同乱发一处，用油浸七日七夜，于净石锅或银器中，以慢火煎，候白芷焦黄色放温，以白绵滤去滓，于磁罐子内密封三日三宿夜，候取出倾于锅内，慢火轻温，再滤去滓，倾在上好磁碗中，用慢火再熬动，次下黄蜡一十五两，用竹篦子不住手搅令匀，次下黄丹再搅令匀，以慢火再熬动，抬下搅令匀，续次再上火，三日方欲膏成，于磁盒子内密封，每用时，用软白绢摊药匀，贴于患处。

玉容膏：　治中皮肤骨疮，癣痒唇裂，面皱风刺，及打扑伤损。舒缓筋，通流血，消肿止痛，发散邪毒，每用少许，涂摩热为度。如耳鼻有疮，用绵杖儿点少许在疮上。

黄耆去粗皮，锉　当归去芦头，锉　白芍药锉　白芷锉　川芎锉　藿香叶　零陵香　白檀锉　白附子锉　白芨锉　白蔹锉。各一两　瓜蒌一介　杏仁汤浸，去皮尖，研如泥膏，一两　龙脑二钱　清油四斤

右件除龙脑，一十三味入清油浸三日，用银器内，慢火熬令药焦黄色，用新绵滤过，去药滓，放温入黄蜡熔令匀，再用新绵滤过，入龙脑，不住手用柳木篦子搅，候冷密封，如前法用。冬用三两油，一两蜡；夏用五两油，二两蜡。腊月熬腊油入脑。

金黄散：　治诸疮疡，痒极发疼。

乳香三钱半　轻粉一钱　瓦粉二两半　白龙骨两半　滑石二两　寒水石烧通赤，秤二两　黄柏二钱

右件同为细末，再研令匀，每用药少许，时时干掺患处。用油调之擦亦可。

桃红散：　生肌肉，敛疮口。

---

① 一：御药院方作“二”。

② 二：御药院方作“一”。

定粉二两半　乳香半两　龙骨一两半　白石脂　乌鱼骨去皮、微炙黄色、一两半　寒水石火烧通赤、秤七两　黄丹慢火微炒、放令冷、二钱

右件同为细末，再研匀极细，每用药少许，乾掺患处。

佛手散：　治一切肿毒。

黄柏　大黄各一两　甘草半两　朴硝三两　粟米粉三两

右件药，捣为末，每用水调如膏，涂于患处。

紫葛散：　消肿散毒。

紫葛　升麻　黄芩　赤小豆各一两　木香半两　黄连　大黄各一两　白蔹　玄参　榆白皮各一两

右为细末，每用温水调药，涂扫赤肿，药乾再拂。

追毒散：　追毒排脓。

五苓脂　川乌头炮　白乾姜炮。各一两　井盐　全蝎各半两　吊灵根三两　无心草二两

右为细末，每用药少许，津唾调涂患处。

槟榔散：　敛痛。

大槟榔一个　红娘子一介　黑狗脊　硫黄　赤石脂　黄连各半两　轻粉一钱

右为细末，每用药少许，乾掺患虎[1]。

寸金丸：　二名返魂丹，三名再生丸，四名追命丹，五延寿丸，六来苏丸，七知命丸，八得道丸。非人勿示此方也。若有人患疮，身未烂者，与三丸服之，咽下便活。如口噤，但斡开牙关，研下三丸灌之，下咽喉中，立生。此方善治发背脑疽，气疽痈肿，遍身附骨肿痛。先觉时饮水，口中烦渴，发寒发热，四肢沉重，身体壮热。

蟾酥二钱　金头蜈蚣七介、头尾全，用羊酥炙黄色　狗宝一两　外科精义一钱　狗胆一个、乾者用之　南乳香一钱　腻粉一钱　精义轻粉　雄黄[2]一钱　鲤鱼胆一介、乾者用之　麝香一分　没药一钱　疮科精义一两　粉霜三钱　硇砂半两　乌金石一钱　黄蜡三钱　头首儿孩儿乳一合

右同为细末，除黄蜡、乳汁二味，熬成膏子，同为丸，如绿豆大，小儿如芥子大，每服一丸，病重者加至三丸，用白丁香七个，研烂，调新汲水送下，用衣服盖出汗为度。大段疼痛，无头疮肿，不过三服，立效。服瓜蒌白米粥妙。

黄连散：　治风热毒气，客搏肌肤成疮，痒痛不止。

黄连一两　轻粉一钱

右为细末，入轻粉和匀，每用，疮儿乾燥，生油调涂，有脓汁，乾捻在患处，一日两三上。

搜脓散：　治诸疮脓汁不绝，腐肉未尽。

黄耆　白芍药　香白芷各等分

右为细末，每用少许，乾掺患处，上用膏药敷贴，一日一换。

定痛黄柏散：　治冻疮燉赤，黄汁出，及差后瘢痕疼痛。

黄柏四两，去粗皮，涂蜜，慢火炙令色黄

右为细末，每用蜜水调摊软纸花子上，贴患处。

平肌散：　治诸疮久不敛。

炉甘石烧，一两半　龙骨半两

右为细末，每用乾掺患处，上用膏药贴。

烧汤著疵药：

木炭不以多少

右件捣罗为细末，每用不以多少，用小油调如稀面糊，用鸡翎蘸药扫患处。

艾煎膏：　治头面风热，小疮多痒少痛，黄汁出，并皆治之。

艾叶二两　醋一升

右将艾叶同醋于银锅内，同煎数沸，滤去滓，慢火再熬成膏，每用薄薄在衫纸上，贴患处，一日一两上。

楮实散：　去皱皱，悦皮肤。

楮桃儿　土瓜根　商陆各等分

右为细末，每日早晨用少许，如常洗擦患处，后用桃仁膏。

---

[1] 虎：御药院方作“处”。

[2] 黄：此下注文脱字，御药院方作“一”。

桃仁膏：

桃仁汤浸、去皮尖、研如泥、不以多少

右用桃仁膏同蜜少许，一处用温水化开，涂摩患处，后用玉屑膏涂贴。

玉屑膏：　治面颊、手指肌肤皴涩不泽。

轻粉　定粉各三钱　密陀僧二钱

右三味，研为细末，用皂角子取白仁，以热浆水浸成膏子，调药稀硬得所，涂患处，涂贴无时。

托里黄耆散：　治口乾微热。

人参半两　白术　茯苓　芍药　桔梗各一两　黄耆二两　甘草半两

右件为粗末，每服三钱，水一盏，煎至七分，去滓，稍热服，不拘时候。

疮药[1]：

米粉不以多少，炒存性

右为细末，鹅梨汁调涂害处、纸花子贴。

万痊膏：　治一切疮疡，已溃未溃，脓水不绝，及灸疮久不差，敛疮生肌肉，每用粘在铁钯子上，炭火炙消摊纸上，贴患处，一二日一换。

乳香　没药各四钱半。另研　半夏不锉　当归　续断　杏仁　桃仁　芭豆和皮捶碎　木鳖子去壳　芫花　大戟　川芎　熟地黄　芍药　苍术　防风　乾姜生用　桂　蛇床子已上各半两　松枝　桃枝新者，各二两　乱发二块，如马打求子大　澄清芝麻油一十斤

右将前项药下在油内浸七日，慢火煎熬，令铁马杓搅至半夏黄黑色为度，用竹筛滤去滓，另研血竭三钱半，下在油内，搅令匀，用新绵滤在盆器中，澄去滓，油揩锅并马杓至净，再用绵滤，入锅内，入油每一斤，用上好黄丹五两，若黄丹性紧者，只用四两半，准[2]备冬春秋间便用。如夏月用者，使黄丹五两二三钱，并看丹急慢调品，用慢柴火烧熬，不住手和，令候变黑色微溢住火，至沫下，依前用慢火熬，候黑烟出住火。如此二日后，用木炭火养，仍不得暂住手搅，直至通前四五日已来，摊纸上不溻，硬软得所，盛在磁器内，方欲凝时，用绢子裹水银，搭在膏药面上，如用时，揩去水银，如此不至膏药上面一重乾了。腊月内熬者佳。

涂擦雄黄膏：　治发际内诸痒疮，及肤起瘾疹，痒不可忍，每用少许，临卧涂掺患处，以痒住为度。

猪肪脂三两　天麻　香白芷各三钱　巴豆五个、重半钱　轻粉二钱　黄蜡　雄黄各五钱　麝香半两

右件以猪肪脂煮天麻、白芷、巴豆黄色，滤去巴豆等不用，澄清，入下项轻粉等四味和匀，放冷为度。

桦皮散方：　治肺脏风毒，遍身疮疥，及瘾疹瘙痒，揉之成疮。又治面上风刺，及妇人粉刺。

桦皮烧成灰，秤四两　荆芥穗　甘草炙。各二两　杏仁二两，去皮尖，用水一碗，于锅内熬却水一半已来，取出放冷　枳壳四两，去穰，用炭火烧欲成灰，取于温纸上令冷

右件药除杏仁外，余药都为细末，却将杏仁另研令极细，次用诸药末旋入研匀，每服二钱，食后温酒调下，日进三服。疮疥甚者，每日频服。

黑神膏：　治诸疮荣卫未腐，肿痛坚硬，燉赤不消。

当归一两　杏仁汤浸，去皮尖，一百个　黄丹六两　柳枝二十握　桃枝二十握　血余如鸡子大，二块　小油二十二两

右除黄丹外，入锅内，以慢火熬两时辰，绵滤去滓，再入锅内熬令滴水成珠不散，入黄丹，用文武火熬成黑膏使用。

乳香膏：　治诸疮肿硬疼痛，及脓溃肌肉腐烂。兼治腐肉不退。

南乳香一两　没药半两　松脂五两　天台乌药一两　木鳖子三钱，用仁去皮，二钱　当归　赤芍药各三钱　小油二两　加血竭三钱

右九味，除乳香、没药、松脂、血竭等四味外，用前项小油浸乌药等四味计五日，

① 疮药：御药院方作“冻疮药”。

② 准：御药院方作“唯”。

慢火同煎数十沸，滤去滓，澄清一宿，入南乳香等，用柳木篦子不住手搅成膏。

辛夷膏：　治鼻内生疮疼痛，或鼻中窒塞不通利，及鼾鼻气不宣通，并宜涂用之。

辛夷叶一两　细辛　木香　木通　香白芷　杏仁汤浸，去皮尖，研。各半两

右件用羊髓、猪脂各二两，同诸药相和于石器中，慢火熬成膏子赤黄，放冷，入龙脑、麝香各一钱。

金花散：　消赤肿，止疼痛，散毒气。

川大黄　黄柏　蔚金　黄连　黄芩各一两　甘草　朴硝　寒水石各半两　白及　白蔹各三钱　糯米粉三合

右为细末，每用生蜜水调稀，鸡翎涂扫四畔燃赤肿处。

外用渍毒药：　治诸肿毒坚硬不消。

黍粘子　葛根　升麻　地骨皮　黄花地丁　甘草　金银花各等分

右件为粗末，每用五七钱，水一升，煎十沸，于肿四畔热用，冷则再暖。

浴毒汤：　治诸疮疼痛，坚硬不消，及破后脓水不绝，恶肉未退，好肉不生。

何首乌不以多少

右为粗末，每用药末秤一两，乾艾叶半两，水一大碗，同煎至水减半，滤去滓，稍热洗，冷即再暖。

得效方

诸　疮

热证　平血饮：　治遍身生疮，脓血臀肿，极痛且痒。

乾葛　赤芍药　升麻各一两　粉草五钱　加天麻　蝉脱

右锉散，与人参败毒散① 合和，生姜、薄荷、生地黄、麦门冬去心煎，不拘时候，大效。败毒散见伤寒门。

小牛黄丸：　治心肺积热，肾脏风毒，攻于皮肤，时生疥癣，瘙痒难忍，时出黄水，及大风手足坏烂，眉毛脱落，一切风疾。

玄参　荆芥穗各四两　苦参半斤　大川乌　宣连各一两　真牛黄二两②

右为末，水糊丸梧桐子大，每服三十丸，熟水或茶清下。一方加麻黄、防风、皂角末为膏，入炼熟蜜为丸妙。

牛黄清心丸③ 方见诸风门。

天麻煎：　治风毒入胃，及心肾经络攻注，百节疼痛，头目虚肿，痰涎不利，下注腰脚，弱缓生疮，妇人血风，男子癫风，及风湿脚气攻注皮肤，瘙痒癞疹，偏正头风。

川乌头净洗，灰炒裂，去皮脐　草乌头水浸三日，洗去皮。各二两　荆芥穗四两　乾薄荷二两半　杜当归水浸三日，晒乾，八两，切

右为末，醋糊丸，如梧桐子大，茶清下三十丸。

酒蒸黄连丸④：　治同上。方见诸痢门。米饮下三十丸。

荆黄汤⑤：　治恶疮生背胁、头脑、四肢要害处，连进一二服，得利即效，未利再服。方见积热门。

当归饮：　治心血凝滞，内蕴风热，发于皮肤，遍身疮疥，或肿或痒，或脓水浸淫，或发赤疹瘖瘤。

当归去芦　白芍药　川芎　生地黄洗　白蒺藜炒，去尖　防风去芦　荆芥穗各一两　何首乌　黄耆去芦　甘草炙。各半两

右锉散，每服四钱，水一杯半，生姜五片煎，不以时温服。

连翘饮：　治诸恶疮红赤，痛痒不定，

① 人参败毒散：　方见本书卷五十二伤寒门二十六引和剂局方。

② 两：世医得效方作“钱”。

③ 牛黄清心丸：方见本书卷十九诸风门七引和剂局方。

④ 酒蒸黄连丸：方见本书卷一百三十九诸痢门四。

⑤ 荆黄汤：方见本书卷一百五十七积热门。

心烦口乾，及妇人血风，红斑圆点，开烂成疮，痒痛，流黄水汁。

连翘　赤芍药　当归　京芥　防风　牛蒡子炒　川芎　栀子　黄芩　瞿麦　木通　生乾地黄　瓜根　麦门冬　粉草各等分

右锉散，每服四钱，水一盏半，灯心二十茎煎，不以时服。

赤小豆汤① 方见疥癣门。

蝉蜕散：　治饮酒后遍身痒如风疮，抓至血出，其痒止后痛。

蝉蜕去头足翼土，二十个　薄荷叶一两

右为末，每服二钱，袖珍方、经验良方等分。小酒调服，不拘时候，立效。　良方云：自后饮酒，不复痒痛。江西名小酒，江东名白酒，江淮、江北名水酒，大意不用法酒调此药也。

虚证　四生散：治上攻下注，耳鸣目痒，鼻赤齿浮，或作口疮，下注阴湿，四肢瘙痒，遍体生疮，及妇人血风疮。

黄耆丸②：　治肾脏风虚、下注，腰脚生疮，行步艰难。方见诸虚门。

增益四物汤：　治一切恶疮。

川芎　当归　地黄　甘草　芍药各等分　防风　荆芥　凤尾草酌量加入

右锉散，每服三大钱，水一杯半煎服，经验。

五香连翘汤③：　治风气风疠疮，除升麻、大黄、独活、木通、乳香五味，忌食冷物，服后小水必通。方见痈疽门。

五苓散加瞿麦、大④退，治同上。此方得之艰，用之取效。

敷药合掌散：　治遍身生疮，百药不效。

槟榔五介，为末　潘家方一介　硫黄五钱，生者，研细末　腻粉半钱　潘家方各一钱

右和匀，每服一钱，安于手心内油调，夜卧时涂外肾，不得洗手，但擦手令乾可也。一二日，疮即愈。

通治　多年恶疮不差，烂搗马齿苋傅之。亦治反花疮。其形如花开之状，烧灰，以猪脂涂傅。

又方：　鸡肠草研细取汁，拂其疮，以滓盖之。或为末，猪脂调傅，极效。

菖蒲末：　治遍身热毒疮，痛而不痒，手足尤甚，粘著衣服，夜不得睡。多取菖蒲为末，潘家方三斗，锉，日乾之，擣罗为细末。布于席上，使病者恣卧其间，仍以衣被覆之，五七日疮愈。疹疮烂，用艾熏⑤亦可。

葵花散：　治一切疮。

郁金　黄连　黄柏　栀子仁　葵花各等分

右为末，冷水调成膏，贴疮痛处，神效。

真平胃散⑥：　治肿满后作疮，或发水疱成疮，是脾土崩坏，及一切疮。用清油调傅，湿则用糁，立愈。方见脾胃门。

二黄膏：　治一切疮痈。

清油三两，煎巴豆二十粒微黑，去巴入黄蜡一两，化讫，研雄黄、硫黄各一钱，温入成膏，净洗，抹傅二三次，神效。疹痘后疮亦用。

净肌散：　治一切恶疮。

雄黄　海螵蛸　大柏皮　宣连　水粉　轻粉　蚌粉　杏仁

右为末，用真清油调傅。

又方：　治大风疮，枫木子烧存性，为末，加真轻粉、香油调傅。

乌梅膏：　治诸疮弩肉如蛇出数寸。

用硫黄细研，于肉上薄傅，即便缩。诸疮中新弩出肉，以乌梅肉蜜和捻作饼子，如钱厚，以贴疮上。

苦楝膏：　治大人小儿疮秃及恶疮。

苦楝皮烧灰，以猪脂调傅。

青黛散：　治⑦□部生湿疮，热痒而痛，寒热，大小便涩，食亦减，身面微肿，多食鱼虾发风热物得之。

马齿苋四两，研烂，入青黛一两，再研

① 赤小豆汤：方见本书卷一百六十九疥癣门二。
② 黄耆丸：方见本书卷一百四十八诸虚门六引和剂局方。
③ 五香连翘汤：方见本书卷一百七十二痈疽门三引千金方。
④ 大：世医得效方作“人”。
⑤ 熏：世医得效方作“毡”。
⑥ 真平胃散：方见本书卷一百脾胃门二引和剂局方。
⑦ 治：此下脱字，世医得效方作“下”。

匀涂上，立有神效。仍服八正散[1]，日三服。方见积热门

洗方苦参汤：

苦参　蛇床子　白矾　荆芥穗

右等分，用水煎，放温洗。

驱风散[2] 方见朱氏集验方

指缝搔痒成疮，有窍出血不止，多年粪桶箍箩乾烧灰，傅之即安。　　澹寮方有人指缝中因搔痒成疮，有一小窍，血溅出不止，用止血药及血竭之类亦无效，数日遂不起。又有人于耳后发际搔痒，亦有一小窍出血，与前相似，人亦无识者。适有道人，言此名发泉，但用多年粪桶箍晒乾烧灰，傅之当愈。用之，果如其言。使前指缝出血，遇此亦必愈也。

火气入疮，黄柏皮为末，掺之立愈。薄荷煎[3]涂亦可。方见积热门。

瘿疮神降散[4] 方见直指方。

治足上冻烂生疮，黄丹为末，用猪脂调傅。

人面疮，用贝母为末，小苇筒灌其疮口，数日成痂而愈。经验良方同。　　肘后方治恶疮。唐人记其事云：江左尝有商人，左膊上有疮如人面，亦无它苦，商人戏滴酒口中，其面亦赤色，以物食之，亦能食，食多则宽，膊内肉胀起，或不食之，则一臂痹。有善医者，教其历试诸药，金石草木之类，悉试之无苦，至贝母，其疮乃聚眉闭口，商人喜曰：此药可治也。因以小苇筒毁其口灌之，数日成痂，遂愈。然不知何疾也。谨按：本经主金疮，此岂金疮之类欤？

白癜疮，每旦疮上退白皮一升许，如蛇脱，宜服解毒雄黄丸[5] 三四服即安。方见诸风门。

癞头疮，先用本人小便，烧秤锤令红，投于小便中，方与洗疮皮皆去，然后以帛拭乾，用滴青五文细研，用油鱼三个，以杯烧成油，调滴青涂之，三日效。

头上风屑极痒，用藜芦根不拘多少，为末，先洗头，须避风，候稍乾时，用药掺定，须要药入发至皮方可，紧缚两日夜。

肾脏风痒疮

活血驱风散：　治肝肾虚，为风毒所入，湿痒生疮。

当归去尾　川芎　白芷　华阴细辛　白蒺藜炒、去刺　桃仁浸、去皮尖、焙　白芍药　半夏洗五灵脂　甘草各三钱　苍术炒　杜仲去粗皮，姜汁炒断丝　辣桂　天麻　薏苡仁　橘红　槟榔　厚朴去粗皮，姜汁炒　枳壳去穰，切，炒。各四钱

右锉散，每服三钱，水一杯半，生姜五片，枣二枚煎，去滓，入乳香末少许，以佐心气，使心肾相交。挟热，去桂、乳香，加黑豆煎服。

青木香丸[6]：方见诸痛门。　疏导肾经风水。肾虚挟邪浮肿，多用安肾丸[7]，方见诸虚门　少用青木香丸夹和，盐汤下，屡效。

小牛黄丸：　治肾虚挟热，阴囊痒痛多疮。方见前。

乌荆丸[8]：　治肝肾风痒。方见诸风门。

神授丸[9]：　治外肾湿痒。方见诸风门

不换金正气散[10]：　疏导脾肾湿气。方见伤寒门。

茎物肿烂淫汁方：

大腹皮一升，苦参、荆芥各二两，煎汤温洗，拭乾，以津液涂润，次用油发烧存性，入白芨末少许傅，逐日煎汤，密室洗换，或加乳香末，仍服蜡矾丸[11]，以发灰末米饮调吞下。方见痈疽门。

肾脏风发疮疥：

1　八正散：方见本书卷一百五十七积热门引和剂局方。
2　驱风散：方见本卷引朱氏集验方。
3　薄荷煎：方见本书卷一百五十七积热门。
4　神降散：方见本卷引直指方。
5　解毒雄黄丸：方见本书卷二十二诸风门十。
6　青木香丸：方见本书卷九十诸痛门二。
7　安肾丸：方见本书卷一百五十一诸虚门九。
8　乌荆丸：方见本书卷十九诸风门七引和剂局方。
9　神授丸：方见本书卷二十二诸风门十。
10　不换金正气散：方见本书卷五十二伤寒门二十六引和剂局方。
11　蜡矾丸：方见本书卷一百七十四痈疽门五引直指方。

鸡心槟榔二个，破开，以黄丹三钱合在内，用湿纸裹煨全蝎六介　明硫黄四钱

右为末，入轻粉半钱，麝香少许，青黛末半钱，于磁器内收，每用少许，清油调抹两掌掩外肾，女以两掌掩两乳，各睡至醒，次日又用，经验。

又方：　大红川椒去目，水蘸湿半日，夹生杏仁研膏，擦手如上法亦效。

外肾疳疮，用抱鸡卵壳、鹰爪黄连、轻粉各等分为末，煎过，清油调涂。香附子、白芷、五倍子煎水洗。

阴囊上疮，甘草煎汤温洗，却用腊茶末就傅贴。澹寮方同。

阴头生疮：

右用溪螺壳，溪港中螺，旧者为妙，甘锅中煅过为末，先以盐水洗五七次，后以此药傅之。澹寮方同。

妒精疮[1] 方见朱氏集验方。

又方：　治年少阳道兴起，当泄不泄，不泄强泄，胀断嫩皮，初如针眼大，畏疼不敢洗刮，日久攻入皮肉，连茎溃烂一二寸许。用荆芥、黄柏皮、马鞭草、甘草、生葱煎汤，洗去脓靣，以呵子烧灰，入麝香少许，乾掺患处，仍断房事数月，临睡吃冷水二三口，勿令阳道兴起，胀断疮靣，靣坚后即安矣。

津调散：　治妒精疮脓汁淋漓臭烂。

黄连　款冬花各等分

右为末，以地骨皮、蛇床子煎汤，用软[2]□浥乾，津调药傅之。最忌不得用生汤洗，诸疮皆然。

洗方：　治诸般恶疮。

黄柏、茵陈、荆芥、葱白、藿香煎水，温温淋洗。经验良方同。

臁　疮

牛黄金虎丹：　治足面生疮，下连大指，上延外踝臁骨，每发兼旬，昏暮痒甚，爬搔出血如泉，痛楚不可忍，夜分渐已，明日复然，每服一丸，新汲水下，脏腑有所下即愈。

天雄炮，去皮脐，一两　白矾枯过　天南星汤洗　天竺黄研　腻粉研，各二两　钱　牛黄研，二钱　雄黄研飞，十二两半　生龙脑四钱　金箔六十五片，为末

右为末，炼蜜搜和，每一两半作十丸，金箔为衣。

应效玉圣散[3]：

花蕊石散[4] 方见妇人门难产　复元通气散[5] 方见便毒门　追风独活散[6] 方见诸风门

右各一贴合和，酒调空心服。

又方：　治疮生于脚胕，名下疰疮，俗谓之裤口疮。或因物打扑而成者，其疮口狭，皮内极阔，皮簿如竹膜，极痒痛，终日黄水流，延蔓而生，甚者数年不愈，又易于染过他人。患此者，须忌房室则易愈。内外臁疮皆治之。韭菜地上地龙粪乾为末，入轻粉、清油调，白犬血亦可。

又方：　治脚肚上生疮，初则如粟，渐大，爪搔不已，成片包脚相交，黄水出，痒不可忍，久成痼疾，最难愈。白药煎研细，津唾调，逐运涂傅，自外而入，先以贯众煎汤淋洗，后用药。

又方：　石榴皮煎取浓汁，稍冷拂疮上，冷如冰雪即成痂。

又方：　用鳝鱼数条，黄色者尤妙，打死，先用清油涂其腹下，置疮上盘屈令遍，帛子系定，食顷觉疮痛不可忍，然后取鳝鱼看腹下有针眼大窍子，皆虫也。如未尽，再以数条依上再缚。虫去尽，却用死人脚胫骨烧灰，清油调傅；或以骨灰一两，入好茶末二钱同调亦可。

又方：　治冷臁疮。鹿角灰、发灰、乳香为末，清油调傅。

又方：　治足上生疮，臭秽溃烂。漏蓝子一枚烧为末，入腻粉少许，井水调涂效。

---

① 妒精疮：治方见本卷引朱氏集验方。
② 软：此下脱字，世医得效方作“帛”。
③ 应效玉圣散：世医得效方作“得效三圣散”。
④ 花蕊石散：方见本书卷一百八十五金疮门引和剂局方。
⑤ 复元通气散：方见本书卷一百八十四便毒门引直指方。
⑥ 追风独活散：方见本书卷二十二诸风门十。

槟榔散： 治同上。

全蝎七个　斑猫十四个　巴豆十四粒　槟榔一个

先用清油两半，慢火煎，先入全蝎，次斑猫，次巴豆，随下槟榔，见巴黑色，方入黄蜡一两，候溶，去药滓不用，只用蜡油，入后药：

黄柏皮炙　蛇床子研。各二钱　雄黄研　硫黄研，生者　黄丹火飞　海螵蛸各一钱　白胶香　黄连　杏仁　轻粉　清油胶香与油先溶

右为末，同入清油中调傅疮上，立效。

单方： 治臁疮或[①]旧，累月不乾。

上等好砂糖，先用盐汤淋洗，后绵帛拭乾，以津唾涂，却以此傅上，三日愈，神效。

牡蛎散： 收敛疮口令乾。

牡蛎一块用破草鞋似[②]缚，入火内煅令通红，去火，候令[③]取出，研

右随用时，旋入枯飞过白矾少许拌和，傅疮口上。

秘方治脚胫骨上作疮久，烂黑或发孔，或臭秽不可近。用蜒蚰十数条，小竹签穿定，瓦上焙干为末，真清油调傅，划时取效。

秘方隔壁膏：

用多年老杉木节烧灰，真清油调，箬叶盛隔，贴在疮上，以绢帛系定，不数贴而愈。

洗药：

用海桐皮、石榴皮等分煎汤，淋洗令净，然后用熏药。

熏药：

用牛蒡子半两，研为末，入纸捻子内烧熏之，然后涂。

澹轩方

髭　疮

髭里生疮号发髭，此疮不用别求医，酒调平胃频温服，更贴疮间效更奇。

颔　疮

疮生颔下号羊须，便使羊须别莫图，一把拈来烧带性，麻油轻粉熟调涂。

痱

热蒸痱子挠肌肤，苦练还加蚌粉涂，更有茨孤青叶汁，和调蚌粉滑石亦能消。

冻　疮

橄榄烧灰治冻疮，麻油轻粉和涂良，草乌一个炮为末，乾糁收疮亦妙方。

冻疮入水痛如穿，黄白烧灰细细研，鸡子清调轻手付，破时乾糁亦奇哉。

癞头疮

箬包一裹占成饭，火上煨烧似黑炭，麻油轻粉细涂灰，付著癞头光灿灿。

恶　疮

恶疮痛痒更无名，肥皂烧灰药易成，添著麻油及轻粉，浓煎蜜付自能安。

恶疮脓水不曾消，入平胃，故轻粉、麻油亦得。生取蜗牛带壳烧，存性为灰碾为末，麻油轻粉付时调。

浓煎榴皮汁冷搽，恶疮凉透便成茄，山栀烧末和轻粉，灌以葱汤糁亦嘉。

灸疮犯水毒

灸疮入水痛无聊，生取田螺带壳烧，存性为灰研化末，和调轻粉付能消。

① 或：世医得效方作“成”。
② 鞋似：世医得效方作“生包”。
③ 令：世医得效方作“冷”。

天火带疮

疮毒微如天火带，也能骎骎皮肉坏，烂研一味百合根，付得频时消得快。

天火带疮容易摊，麻油调盐付即乾，水磨刀浆如黑汁，浓浓调付即能安。

燕口疮雁来疮

口角生疮燕口名，腿间秋疥雁来称，燕须乾付燕泥愈，雁亦乾揩雁粪平。

肾脏风疮 或吞乌荆丸　或吞何首乌丸

肾脏风疮入骨初，看看脓水渐侵肤，一般四物汤为最，纯酒浓煎服自除。

细研五倍及蛇床，蚌粉加之轻粉良，或碾腊茶津液付，二方皆治肾风疮。

阴　疮

阴疮痛痒黄汁注，轻粉石膏乾湿付，不然细碾生白凡，冷水洗疮疮亦好。

腊茶五倍末同调，掺傅阴疮便可消，更有一般官局药，水银粉和玉龙膏。

妒　精　疮

妇人交接妒精疮，地骨蛇床作浸汤，细研黄连款冬末，生精调付是良方。

阴　茎　肿　烂

阴茎肿烂有何方，药末无如防己良，先煮葱汤煎洗后，掺加患处便如常。

臁　　疮

疮怕生于里外臁，拣收羊粪不相粘，烧灰存性碾为末，轻粉调涂易脱然。

左脚草鞋将捧挑，水中洗净浪乾烧，细碾为末和轻粉，盐水煎臁付即消。

疮毒胨腮等赤肿

醋调白芷百草霜，水煎郁金蘗皮黄，更有一般小赤豆，井泉调付重清凉。

臁　　疮

一两乾秤生地黄，次添赤豆大黄羌，炙焦黄白俱半两，木香三钱同槟榔。

当归须入七钱重，末付臁疮效最良，火炮汤烧俱可用，更除蜂毒蜈蚣伤。

肘　后　方

葛氏卒毒肿起急痛方：

芜菁根大者，削去上皮，熟捣，苦酒和如泥，煮三沸，急搅之，出傅肿，帛裹上，日再三易。用子亦良。

又方：　烧牛矢末，苦酒和傅上，乾复易。

又方：　水和石灰封上。又苦酒磨升麻，若青木香或紫檀以磨傅上良。

又方：　取水中萍子草，熟捣以傅上。

又已入腹者，麝香、熏陆香、青木香、鸡舌香各一两，以水四升，煮取二升，分为再服。

若风肿多痒，按之随手起，或癔疹方：

但令痛，以手摩捋抑按，日数度自消。

又方：　以苦酒磨桂，若独活数傅之良。

身体头面忽有暴肿处如吹方：

巴豆三十枚连皮碎，水五升，煮取三升，去滓，绵沾以拭肿上，趁手消，勿近口。

皮肉卒肿起，狭长赤痛，名胹。鹿角五两，白蔹一两，牡蛎四两，附子一两，捣筛，和苦酒涂帛上，燥复易。

赤龙皮汤：　洗诸败烂疮方。

槲树皮切三升，以水一斗，煮取五升，春夏冷用，秋冬温用，洗乳疮及诸败疮，洗

了则傅膏。

灸肿令消法：

取独颗蒜横截厚一分，安肿头上，炷如梧桐子大，灸蒜上百壮，不觉消，数数灸，唯多为善．勿令大热，但觉痛即擎起蒜，蒜焦更换用新者，不用灸损皮肉。如有体乾，不须灸。余尝小腹下患一大肿，灸即差，每用之，则叮大效也。

又方：　生参薄之散[1]头上核，又磁石末和醋傅之。

又方：　甘蕉根捣涂。此蕉子不中食。

又方：　鸡肠草傅。

又方：　白莶末傅并良。

又热肿疖，煳胶数涂，一日十数度即差。疗小儿疖子尤良，每用神效。

一切毒肿疼痛不可忍者，搜面团肿头如钱大，满中安椒．以面饼子盖头上，灸令彻痛，即立止。

又方：　捣蓖麻仁傅之立差。

手脚心风毒肿，生椒末、盐末等分，以醋和傅，立差。

恶脉病，身中忽有赤络脉起如蚓状，此由春冬恶风入络脉之中，其血瘀所作，宜服之五香连翘，镵去血，傅丹参膏，积日乃差。余度山岭即患，常服五香汤，傅小豆得消。以下并姚方。

恶肉病者，身中忽有肉如赤小豆粒突出，便长如牛马乳，亦如鸡冠状，亦宜服漏芦汤，外可以烧铁烙之，日三烙，令稍焦，以升麻膏傅之。

气痛之病，身中忽有一处如打扑之状，不可堪耐，而左右走身中，发作有时痛，静时便觉其处冷如霜雪所加，此皆由冬温至春，暴寒伤之，宜先服五香连翘数剂，又以白酒煮杨柳皮暖熨之，有赤点点处，宜镵去血也。

葛氏疗卒毒肿起急痛，柳白皮酒煮令热，熨上痛止。

日华子云：消肿毒，水调决明子末涂。

千金方治诸恶肿失治有脓，烧棘针作灰，水服之，经宿头出。

集验方治肿，柳枝如脚指大，长三尺，二十枚，水煮令极热，以故布裹肿处，取汤热洗之，即差。

又方：　治毒热，足肿疼欲脱，酒煮苦参以渍之。

又疗热毒病攻手足肿，疼痛欲脱方：

取苍耳汁以渍之。寿域神方苍耳子。

又方：　水煮马粪汁以渍之。寿域神方同。

肘后方治毒攻手足肿，疼痛欲断，猪蹄一具，合葱煮，去滓，内少许盐以渍之。

谨按：雄黄治疮疡尚矣。周礼疡医，凡疗疡以五毒攻之。郑康成注云：今医方有五毒之药，作之合黄埏，置石胆、丹砂、雄黄、礬石、磁石其中，烧之三日三夜，其烟上著，以鸡羽扫取之，以注创，恶肉破骨则尽出。故翰林学士杨亿尝笔记，直史馆杨嵎，年少时有疡生于颊，连齿辅车外肿，若覆瓯内溃出脓血不辍，吐之痛楚难忍，疗之百方，弥年不差。人语之，依郑法合烧药成，注之创中，少顷，朽骨连两牙溃出，遂愈，后更安宁，信古方攻病之速也。黄埏若今市中所货有，盖瓦合也。近世合丹药，犹用黄瓦鬲，亦名黄埏，事出于古也。埏音武。

葛氏大人小儿卒得恶疮，不可名识者，烧竹叶，卫生易简方苦竹叶。和鸡子中黄涂差。备预百要方同。

又方：　取蛇床子合黄连二两末，粉疮上。燥者，猪脂和涂差。

又方：　烧蛇皮末，以猪膏和涂之。

又方：　煮柳叶，若皮，洗之亦可，内少盐。此又疗面上疮。

又方：　腊月猪膏一升，乱发如鸡子大，生鲫鱼一头，合煎令消尽，又内雄黄、苦参末二两，大附子一枚末，绞令凝，以傅诸疮，无不差。胡治疗痈疽疥，大效。

疮中突出恶肉者，末乌梅屑傅之，又末

① 之散：肘后备急方无此二字。

硫黄傅上，燥著唾和涂。

恶疮连痂痒痛，捣扁豆封，痂落即差。近方。

疗恶疮粉方：

水银、黄连、胡粉熬令黄，各二两，下筛，粉疮。疮无汁者，唾和之。

人体生恶疮，似火自烂，胡粉熬黑、黄柏、黄连分等，下筛，粉之也。

头中恶疮，胡粉、水银、白松脂各二两，腊月猪膏四两，合松脂煎，以水银、胡粉合研，以涂上，日再。胡洽云：疗小儿头面疮。又一方加黄连二两，亦疗得秃疮。

恶疮雄黄膏方：

雄黄雌黄并末，水银各一两，松脂二两，猪脂半斤，乱发如鸡子大，以上合煎，去滓，内水银，傅疮，日再。

效方恶疮食肉雄黄散：

雄黄六分，茼茹、矾石各二分，末疮中，日二。

疗疮方最去面上粉刺方：

黄连八分，糯米、赤小豆各五分，吴茱萸一分，胡粉、水银各六分，捣黄连等，下筛，先于掌中研水银，使极细，和药使相入，以生麻油总稀稠得所，洗疮拭乾傅之。但是疮即疗，神验不傅。

甘家松脂膏：　疗热疮，尤嘲脓，不痂无瘢方。

松脂、白胶香、薰陆香各一两，当归、蜡各一两半，甘草一两，并切猪脂、羊肾脂各半合许，生地黄汁亦半合，以松脂等末内脂膏、地黄汁中，微火煎令黄，下蜡，绞去滓，涂布贴疮，极有验。甘家秘不能传，此是半剂。

地黄膏：　疗一切疮已溃者，及灸贴之无痂，生肉去脓神秘方。

地黄汁一升，松脂二两，薰陆香一两，羊肾脂及牛酥各如鸡子大，先于地黄汁煎松脂及香令消，即内羊脂酥，并更用蜡半鸡子大，一时相和，缓火煎，水尽膏成，去滓，涂帛贴疮，日一二易。加故绯一片，乱发一鸡子许大，疗年深者，十余日即差，生肉秘法。

效方　恶疮三十年不愈者，大黄、黄芩、黄连各一两，为散，洗疮净，以粉之，日三，无不差。又黄柏分等亦佳。

千金翼方治漏瘤疮湿癣痒浸淫，日痊痒不可忍，搔之黄水出，差后复发，取羊蹄根去土，细切，捣，以大醋和，净洗傅上，一时间，以冷水洗之，日一傅差。若为末傅之妙。

经验后方治肺毒疮如大风疾，绿云散：

以桑叶好者，净洗过，熟蒸一宿后，日乾为末，水调二钱匕服。

肘后方治卒得浸淫疮，转有汁多起，心早治之，续身周匝则杀人。以鸡冠血傅之差。

圣惠方治诸疮胬肉如蛇出数寸，用硫黄一两，细研[1]，□肉上薄涂之，即便缩。寿域神方用硫黄末傅上，燥著唾涂之

鬼遗方治一切疮肉出，以乌梅烧为灰，研末傅上，寿域神方水调傅之　恶肉立尽，极妙。卫生易简方同。

简要济众方傅疮药：　黄药子四两为末，以冷水调傅疮上，乾即旋傅之。

兵部手集治服丹石人有热疮，疼不可忍方：

用纸环围肿处，中心填消石令满，匙抄水淋之，觉其不热，疼即止。

治头疮及诸热疮，先用醋少许，和水净洗去痂，再用温水洗，令乾，白草霜细研，入腻粉少许，生油调涂立愈。

治卒阴肿痛颓卵方

葛氏　男子阴疮损烂，煮黄柏洗之。又白蜜涂之。

又方：　黄连、黄柏分等末之，煮取肥猪肉汁，渍疮讫粉之。姚方蜜煎甘草末涂之。比者见有阴头肿，项下疮欲断者，猪肉汁渍，依姚方即神效。

---

(1)　研：此下脱字，肘后备急方作“胬”。

葛疗阴囊下湿痒皮剥，乌梅十四枚，钱四十文，三寿域神方作二。指撮盐，苦酒一升，于铜器内总渍九日，日洗之。又煮槐皮，若黄柏汁及香叶汁并良。

疗人阴生疮，脓出作臼方：

高昌白矾一小两捣细，麻仁等分研，炼猪脂一合，于瓷器中和搅如膏，然后取槐白皮切，作汤以洗疮上，拭令乾，即取膏涂上，然后以楸叶帖上，不过三。

又阴疮有二种，一者作臼膿[1]出，曰阴蚀疮；二者但亦作疮，名为热疮。若是热，即取黄柏一两，黄芩一两切，作汤洗之，仍取黄连、黄柏作末傅之。

又治阴下湿痒，吴茱萸一升，水三升，煮三沸，去滓，洗痒差。寿域神方同。

千金方治丈夫阴头痈，师所不能治，乌贼鱼骨末粉傅之良。寿域神方同。备预百要方纸帛上摊裹。

又千金翼方鳖甲一枚，烧令末之，以鸡子白和，傅之良。澹寮方、寿域神方、卫生易简方同。

神黄膏：　疗诸恶疮、头疮、百杂疮方。

黄连　黄柏　附子　雄黄　水银　藜芦各一两　胡粉二两

七物细筛，以腊月猪脂一斤，和药调器中，急密塞口，蒸五斗米下，熟出内水银，又研令调密藏之。有诸疮，先以盐汤洗，乃傅上，无不差者。隐居效验方云：此膏涂疮，一度即差，时人为圣。

青龙五生膏：　疗天下杂疮方。

丹砂　雄黄　芎劳　椒　防己各五分　龙胆　梧桐皮　柏皮　青竹茹　桑白皮　蜂房猬皮各四两　蛇脱皮一具

十三物切，以苦酒浸半月，微火煎少时，乃内腊月猪脂三斤，煎三上三下，去滓，以傅疮上，并服如枣核大，神良。隐居效验方云：主痈疽痔恶疮等。

澹寮方

平血饮：　治遍身生疮，脓血胾胀，极痛且痒。

乾葛　白芍药鬼面真京南者　升麻　横纹甘草等分

右㕮咀，每服四钱重，用白水煎服，不拘时。如对证，及药材得真，则功在和气饮之上。

五参丸：　凡疮无有不属心肾者，赤而痛乃心经有热，痒而黑乃心肾虚，皆当兼服此药。

人参　杜参　玄参　苦参　沙参等分

右细末，面糊为丸，熟水吞下。本草无杜参。一方用紫参。紫参即沙参之紫花者，亦名壮蒙。

苦参丸：　治肺肾先受风邪，腠理发作，遍身成疮片片，皮肤燥涩，痛痒不已，大风癞发，眉发不存，亦可服之。

苦参　香白芷　荆芥　苍耳子无则以茎叶代用　蔓荆子　香附子　抚芎各三两

右㕮咀，于甑内蒸过，三蒸三曝，为细末，用猪胰十五两，略熬令成油，入宿蒸饼五七饼，同捣成膏，可丸即丸，如不可，则添入白糊，一处为膏，丸如梧子大，每服三二十丸，荆芥汤下。

搽疮药：

蛇床子一两，为末　白矾一两，枯过为末

右用班猫煎，麻油调涂疮上。

搽疮药：

小草乌小指面块，锉碎

右以腊月猪膏非腊月者亦可。熬溶，入草乌煎一二沸，候草乌裂，去草乌，只以猪膏入少许轻粉，量用搽抹疮上。

煨肾丸：　治遍身生疮，阴囊两脚尤甚，耳痒目赤等证。

① 膿：肘后备急方作“脓”。

草乌一两，盐一两，入水少许作卤汁，浸二宿，一日一次播转切，用铫子炒黄赤色为末　猪腰竹刀去膜，入盐煨热，竹刀碎，研烂，入草乌内

右二味研均，醋糊丸梧子大，大人三十粒，小儿五七丸，空心盐酒吞下。

臁疮方：

乾胭脂　血竭　地骨皮　羊粪不粘者　左脚草鞋不得犯[1]□□挑于水内[2]□□，朗乾　隔年驻车丸

右六味乃百一选方六方，或各用并用，在人临时看疮论药性以裁之也。但当先用葱、盐、椒洗其疮，却以前药化存性灰，或碾细末，入轻粉、腊月猪油调傅之，仍服他药。

阴囊湿痒生疮，及痕疮：

五倍子煨末　轻粉

右为末傅。

女男阴蚀疮：

生硫黄

右为末，先以葱椒白矾汤洗净，次以此药傅之。

有富家子唐靖者，年十八九，未娶，忽于阴头上生疮，初只针眼来大，畏疼不敢洗刮，日久攻入皮肉，连茎烂一二寸许，医止用膏药贴之，愈疼。有道人周守真谓此名下疳疮，亦名妒精疮。缘此为后生未娶，精气溢盛，阳道兴起，及当泄不泄，不泄强泄，胀断嫩皮，怕疼痛失洗刮，攻入皮肉，日久遂烂，有害却性命者。若欲治此疮，须是断房事数月，先用荆芥、黄柏皮、马鞭草、甘草锉，入葱煎汤，洗令去脓醂，以呵子烧灰，入麝香乾掺患处，令睡时吃冷水二三口，勿令阳道兴起，胀断疮醂，醂坚即安。医说、王氏集验方同。

臁疮方：

有一种臁疮，赤肿而痛，用黄连、黄柏之类皆凉药也，久而不愈，其疮冷矣。却当用温药，如鹿角灰、头发灰、乳香之类治之当愈，此阴阳寒热往来之理也。医余。

南丰市民严黄七，两足生疮，臭秽溃烂，众驱斥不得容迹，一日至京，潜投宿于五夫人祠下，夜半遭黄衣吏诃逐，曰：何人敢以腐秽脚触污此间？谢曰：不幸缠恶疾，无处见容，昌[3]昧来此。纷挐次，夫人抗声令勿逐，且呼便[4]前曰：吾授汝方，用漏蓝子一枚，生烧乾为末，入腻粉少许，井水调涂当效。严拜谢，依而治之果愈。类编。

天圣年间，知濠州马忠肃家有媪病漏疮已十年，一日老兵扫庭下，且言前数日过市有医自远来，谓漏疮可治，顷刻之力耳！媪曰：吾更医多矣，不信也。其党有以白忠肃公者，即为召医视之。曰：可治无疑，需活鳝、竹针五六。与之，医乃掷鳝于地，鳝困屈盘，以竹针贯之，覆疮良久，取视有白虫数十，如针著鳝，医即钤置杯水中，蠕动如线，复覆之，又得十余，如是五六。医者曰：虫固未尽，然其余皆小虫，竟请以常用药傅之。时家所有槟榔黄连散子傅之，明日以乾艾作汤，投白矾三二钱洗疮，然后傅药。盖老人血气冷，必假艾药以佐阳，而艾性亦能杀虫也。如是者，再即生肌，不一月当愈，既而如其言。医曰：疮一月不治，即有虫，虫能蠕动，气血亦随之病，漏不可遽合，合则结痛，实虫所为也。医无名于世，而治疾有效，亦良医也。医说。

有人冬间向火，两股上遂成疮，其汁淋漓，人无识者，后一人见云：此皆火气入内生此，但用黄柏皮为末，掺之立愈。果如其言。后又再作，适无黄柏，用薄荷煎涂之，亦愈。

傅疮药：

当归　芍药各八钱　黄耆七钱　木香一两　桑白皮一两半，略去粗皮　光粉一两半　白芷一两　槟榔三钱　甘草半两，生用

① 犯：此下脱字，普济方卷二百七十六诸疮肿门引澹寮方作“手捧”。

② 内：此下脱字，普济方卷二百七十六诸疮肿门引澹寮方作“打洗”。

③ 昌：普济方卷三百上部疮门作“冒”。

④ 便：普济方卷三百上部疮门作“使”。

右为末、麻油或蜡膏调傅疮上。

傅疮药：

全蝎七枚，去毒[1]尾爪　栀子七个

右以麻油煎黑为度，去二味，入少蜡令如膏子，用涂疮也。

瘭疡，血气周身不知几千息矣。血气行而拥，则疮疖于虚穴处则生核，谓之瘭疡生也。疮差核亦消。东坡物类相感志。

卫生宝鉴

疮　肿

翠玉膏：　治臁疮。

沥青一两　黄蜡　铜绿各二钱　没药一钱，研末　香油

右先研铜绿为末，入油调匀，又将黄蜡、沥青火内溶间，拔粹方作开。次下油，调铜绿搅匀，将没药旋入搅匀，用河水一碗，将药倾在内，用手扯拔匀，拔粹方入没药匀，倾在河水盆内　扯匀　油纸裹，觑疮大小，分大小块，口嚼捻成饼子，贴于疮上，纸封，三日一易之。

乳香消毒散：　专治恶疮。

锦纹大黄煨　黄芪箭稍者　牛蒡子炒　牡蛎盐泥裹烧　金银花各五两　甘草三[1]两，炙　没药乳香各半两　悬蒌半两

右九味，为粗末，每服五钱，水一盏半，煎至七分，去柤温服。疮在上食后，在下食前。拔粹方同。

内消丸：　治疮肿初生，及瘰疬结核，热毒郁滞，服之内消。

广术炮　三棱炮，各三钱　青皮去白　陈皮各一两，去白　牵牛半斤，取头末　薄荷叶　皂角不蛀者，水煮软，揉取汁，去柤，熬成膏，各半斤　一方加沉香半两

右为末，入牵牛头末和匀，用膏和丸如绿豆大，每服三十丸，煎连翘汤送下，食后。

乳香丸：　治诸般恶疮疖。

乳香另研　川山甲　当归各五钱　猪牙皂角木鳖子各七钱

右用松枝，火烧存性为细末，入乳香匀，炼蜜丸如弹子大，每服一丸，温酒化下，食前。

水澄膏：　治热毒肿痛，大效。

大黄　黄柏　蔚金　白芨　大南星　朴硝各一两

右入黄蜀葵花乾者一两，共前药为细末，每药末二钱，以新水一盏半，搅匀，澄沉底者，去浮水，以纸花子摊于肿上贴之。如觉燥，津唾润之，如皮肤白色者勿用。外科精义同。

拔毒散：　治热毒丹肿，游走不定。

寒水石生用　石膏生用，各四两　黄柏　甘草各一两

右为末，每用新水调扫于赤肿处。外科精义此下云：或油调涂之。或纸花子涂贴之。如乾则水润之。

龙麝追毒丹：　治一切恶疮内毒气未出尽者，皆可用之。如箭头针刺，痈疖恶疮，内有毒气，不著骨者，不过一二上药，其针刺自出。破伤风恶[2]不痛者，亦效。

龙脑三钱[3]　麝香一分　轻粉　粉霜　雄黄各五分　乳香　砒黄各一字　巴豆十四个，去皮心膜

右研极细，面糊丸如麦粒大，每用之，先以针捻疮口，入药量轻重，上药后一两时辰，肿痛尽是应。如患下疳疮，蚀茎或半或尽者，用浆磨一二粒搽之，不三上，立效。

桃红散：　敛疮口，生肌肉，定血，辟风邪。

寒水石烧　拔粹方三两，经验秘方、外科精义二两　滑石各四两　乳香拔粹方二钱　小豆粉精义一两，拔粹方一方改小豆粉为定粉一两，秘方定粉一两　轻粉各一钱　拔粹

1　三：卫生宝鉴作“二”。

2　恶：卫生宝鉴此下有“疮”字。

3　钱：卫生宝鉴作“分”。

方二钱

右为末，每用少许乾掺。血不止者，加灯草贴疮口上，以帛秘方作绵。裹之。

木香散：　治多时不敛一切恶疮。此药能生肌肉止痛。

木香　南黄连　槟榔各半两　白芷三钱

右为末，每日一遍乾贴。

又方：

地骨皮

右为末，先口噙温浆水洗疮口上，揾乾贴药。及治下疳疮，神效。

司马温公解毒膏：　治诸疮及杖疮，尤宜贴之。

乳香三钱　木鳖子二十四个，去皮　杏仁四十八个　蓖麻子三十四个　巴豆十四个　槐枝四两，长四指　柳枝二两　桃枝三两　黄丹春秋三两半，夏四两，冬三两

右件，用清油一斤，下诸药熬黑，滴水内不散成也，用好绵滤过，用时于水内浴贴之。

善应膏：

黄丹二斤，细上等者　没药三两，研　神效名方一两　白蔹二两，生　名方一两　官桂一两三分　名方三寸，一两　乳香研　木鳖子生　白芨生　名方白矾　当归　白芷　杏仁生。各一两　柳枝一两，如筋条长　名方一斤，各长一指

右除黄丹、乳香、没药外，余药用麻油五斤浸一宿，于炭火上铁铛内，熬至变黑名方作黄。色，滤去药不用，将黄丹入油内，上火，用柳条如小钱粗四指长，搅令微变褐名方作黄。色出火，再用柳枝搅令出烟尽，入乳香、没药，再用柳条搅令匀，候冷倾入磁盆内，名方候药硬。用刀子盆内切成块，油纸裹之，后用如常法。

如神散：　治冻疮皮肤破烂，痛不可忍。

川大黄

右为末，新水调，搽冻破疮上。施圆端效方同。

黄连散：　敛多年不效疮。

木香　槟榔　黄连各等分

右为末，先洗疮净，乾贴，水出勿怪，未效，隔三日，再用贴之。

疮　总　论

大凡疮疾有五善七恶之证，不可不察也。烦躁时嗽，腹痛渴甚，或泄利无度，或小便如淋，一恶也；脓血大泄，肿煽尤甚，脓血败臭，痛不可近，二恶也；喘粗短气，恍惚嗜卧，三恶也；目视不正，黑睛紧小，白睛反青，瞳子上看，四恶也；肩项不便，四肢沉重，五恶也；不能下食，服药则呕，食不知味，六恶也；声嘶色败，口鼻青赤，面目四肢浮肿，七恶也。动息自宁，饮食知味，一善也；便利调匀，二善也；脓溃肿消，色鲜不息[1]，三善也；神彩精明，语言清爽，四善也；体气和平，五善也。若五善见三则差，七恶见四则危。然则病有源同七恶，皮紧急者如善，病有源同五善，皮缓虚者如恶。夫如是者，岂凡医之所知哉？若五善病至，则妙无以加也；如七恶并臻，则恶之剧矣。

汗之则疮已

丁巳委[2]，予从军，回住冬于曹州界，以事至州，有赵同知谓予曰：家舅牛经历，病头面赤肿，耳前后尤甚，疼痛不可忍，发热恶寒，牙关紧急，啼唾稠粘，饮食难下，不得安卧。一疡医于肿上砭刺四五百余针，肿赤不减，其痛益甚，不知所由然，愿请君一见。予遂往诊视，其脉浮紧，按之洪缓，此证乃寒覆皮毛，郁遏经络，热不得升，聚而赤肿。经云：天寒则地冻水冰，人气在身中，皮肤致密，腠理闭，汗不出，血气强，肉[3]坚涩，当是之时，善行水者不能往[4]冰，善穿地者不能凿冻，善用针者亦不得取四厥，必待天温冰释冻解，而后水可行，地可穿，人脉犹如是也。又云：冬月闭藏，用药多而少针石也，宜以苦温之剂温经散寒则已。所

① 息：卫生宝鉴作"臭"。
② 委：卫生宝鉴作"岁"。
③ 肉：卫生宝鉴作"内"。
④ 往：卫生宝鉴作"注"。

谓寒致腠理，以苦发之，以辛散之，宜以托里温经汤。麻黄苦温，发之者也，故以为君。防风辛温，散之者也；升麻苦平，葛根甘平，解肌出汗，专治阳明经中之邪，故以为臣。血留而不行者则痛，以香白芷辛温，当归身辛温，以和血散滞；湿热则肿，苍术苦甘温，体轻浮，力雄壮，能泄肤腠间湿热；人参、甘草甘温，白芍药酸微寒，调中益气，使托其里，故以为佐。依方饵之，以薄衣覆其首，以厚被覆其身，卧于暖处，使经血温，腠理开，寒乃散，阳气升[1]，大汗出后，肿减八九分，再服去麻黄、防风，加连翘、黍粘子，肿痛悉去。经言汗之则疮已，信哉斯言！或人以仲景言，疮家虽身疼痛，不可发汗，其理何也？予曰：此说乃营气不从，逆于肉理而为疮肿，作身疼痛，非外感寒邪而作疼痛，故戒之以不可发汗。如汗之，则成痓也。又问：仲景言鼻衄者不可发汗，复言脉浮紧者当以麻黄汤发之，衄血自止，所说不同，其故何也？愿闻其说。予曰：此议论血正与疮家概同。且夫人身血之与汗，异名而同类，夺汗者无血，夺血者无汗。今衄血妄行，为热所逼，更发其汗，反助邪热，重竭津液，必变凶证，故不可汗。若脉浮，则为在表，脉紧，则为寒，寒邪郁遏，阳不得伸，热伏荣中，迫血妄行，上出于鼻，则当麻黄汤散其寒邪，使阳气得舒，其衄自止，又何疑焉？或者叹曰：知其要者，一言而终，不知其要，流散无穷。洁古之学，可谓知其要者矣。

托里温经汤：　治寒覆毛度[2]，郁遏经络，不得伸越，热伏荣中，聚而为赤肿，痛不可忍，恶寒发热，或相引肢体疼痛。

人参去芦　苍术各一钱　白芍药　甘草炙。各一钱半　白芷　当归身　麻黄去根节。各二钱　防风去芦　葛根各三钱　新升麻四钱

右㕮咀，每服一两重，水三盏，先煎麻黄令沸，去沫，再下余药，同煎至一盏，去粗，大温服讫，卧于暖处，以棉衣覆之，得汗而散。

凡治病必察其下

戊午冬，予从军住冬于成武县，有贾仓使父，年逾六旬，冬至后数日，疽发于背，五七日肿势约七寸许，不任其痛，疡医日视之[3]，脓已成，可开发矣。公惧不从。越三日，医曰：不开恐变证生矣。遂以燔针开之，脓泄痛减。以开迟之故，迨二日变证果生，觉重如负石，热如炳火，痛楚倍常，六脉沉数，按之有力，此膏粱积热之变也。邪气酷热，固宜以寒药治之，时月严凝，复有用寒远寒之戒。乃思内经云：有假者反之。虽违其时，以从其证可也。与疡医议，急作清凉饮子加黄连，秤一两五钱，作一服服之，利下二行，痛减七分。翌日，复进前药，其证悉除，后月余平复。又陈录判母，年七十有余，亦冬至后脑出疽，形可瓯面大，命疡医诊视，俟疮热[4]以针出脓，因怒笞侍妾，疮辄内陷，凹一韭叶许，面色青黄不泽，四肢逆冷，汗出身清，时复呕吐，脉极沉细而迟。盖缘衰老之年，严寒之时，病中苦楚，饮食淡薄，已涤肥脓之气，独存瘦瘁之形，加之暴怒，精神愈损，故有此寒变也。病与时同，与疡医议，速制五香汤一剂，加丁香、附子各五钱，剂尽疡复大发，随证调治而愈。内经曰：凡治病必察其下。谓察时下之宜也。诸痛疮疡，皆属心火，言其常也。如疮盛形羸，邪高痛下，始热终寒，此反常也，固当察时下之宜而权治。故经曰[5]者常也，法者用也，医者意也，随所宜而治之，可收十全之功矣。

舍时从证

至元壬午五月二十八日，王伯禄年逾五旬有七，右臂膊肿盛，上至肩，下至手指，

① 升：卫生宝鉴作“伸”。
② 度：卫生宝鉴作“皮”。
③ 日视之：卫生宝鉴作“视之曰”。
④ 热：卫生宝鉴作“熟”。
⑤ 经曰：卫生宝鉴作“曰经”。

色变皮肤凉，六脉沉细而微，此乃脉证俱寒。予举疡医孙彦和视之，曰：此乃附骨痈。开发已迟，以燔针启之，脓清稀解，次日肘下再开之，加吃逆不绝，彦和与丁香柿蒂散二服，稍缓，次日，吃逆尤甚，自利，剂腹冷痛，腹满，饮食减少，日[1]发昏愦，于左乳下黑尽处灸二七壮，又处托里温中汤，用乾姜、附子、木香、沉香、茴香、羌活等药，以[2]咀一两半，欲与服。或者曰：诸痛痒疮疡，皆属心火。又当盛暑之时，用乾姜、附子可乎？予应之曰：理所当然，不得不然。内经曰：脉细皮寒，泻利前后，饮食不入，此谓五虚。况吃逆者，胃中虚寒故也。诸痛痒疮疡，皆属心火，是言其定理也。此证内外相反，须当舍时从证也。非大方辛热之剂急治之，则不能愈也。遂投之，诸证悉去，饮食倍进，疮势温，脓色正，彦和复用五香汤数腹[3]，后月余平复。噫：守常者众人之见，知变者知者之事，知常而不知变，细事因而取败者亦多矣，况医乎哉！守常之变，岂可同日而语乎哉？

托里温中汤：　治疮为寒变而内陷者，脓出清解，皮肤凉，心下痞满，肠鸣切痛，大便微溏，食则呕逆，气短促，吃逆不绝，不得安卧，时发昏愦。

沉香　丁香　益智仁　茴香　陈皮各一钱　木香一钱半　甘草炙，二钱　羌活[4]　乾姜炮，三钱　黑附子炮，去皮脐，四钱

右㕮咀，作一服，水三盏，生姜五片，煎至一盏，去柤温服，无时。忌一切冷物。内经云：寒淫于内，治以辛热，佐以苦温。故以附子、乾姜大辛热，温中外，发阳气，自里之表，故以为君；羌活味苦辛温，透关节；炙甘草甘温，补脾胃，行经络，通血脉；胃寒则呕吐吃[5]逆，不下食，益智仁、丁香、沉香大辛热，以散寒为佐；疮气内攻，气聚而为满，木香、茴香、陈皮苦辛温，治痞散满为使也。

乳香散：　治杖疮，大有神效。

乳香　没药各三钱　茴香四钱　当归五钱　自然铜火烧，醋淬七次，五钱

右细末，每服五钱，温酒调下，立效。拔粹方同。

五黄散：　治杖疮定痛。

黄丹　黄连　黄芩　黄柏　大黄　乳香各等分

右为细末，新汲水调成膏，用绯绢帛子摊在上，贴于疮上。拔粹方、医林方同。

---

① 日：卫生宝鉴作“时”。
② 以：卫生宝鉴作“㕮”。
③ 腹：卫生宝鉴作“服”。
④ 活：普济方卷二百七十二诸疮肿门引卫生宝鉴此下注有“三钱”二字。
⑤ 吃：卫生宝鉴作“呃”。

诸 疮 门四

圣 济 总 录

诸 疮

诸疮皆缘风热湿毒之气，种类甚多，载之方书备矣。然有俗名疮，方论未见收录，考之皆不离于邪气逆肉理、害肌肤者，今各随其证，以治法附之。虽田野下俚，取而用之，判然可晓，不必泥于沿袭也。

治一切风刺，面上生无名疮疖，因饮酒食炙爆物得之，刘混康先生当归丸方：

当归四两　青盐二两

右二味，先以水洗当归，乘润用青盐糁遍，阁在高处三日取下，去盐，以当归暴乾为末，滴水丸如绿豆大，每服二十丸，空心温酒下。

治面露疮作脓窠如香瓣，柳絮散方：

柳絮捣末　腻粉

右二味等分，研匀，灯盏中油调涂之。

治大人小儿，头面上无名疮，黄水不止，露蜂房散方：

露蜂房　蛇蜕各一枚

右二味，同于碗内烧过为灰，每看疮口大小，用腻粉少许和匀，生油调，鸡翎扫之。

治髭须疮，有脓窠，金粉饼方：

郁金　绿豆粉各半两　白蔹一分

右三味，捣罗为末，用朴消水和作饼贴之。

治肺风上攻，眉额生疮，苦参散方：

苦参　蓝叶阴乾　威灵仙去土　蔓荆实去皮　何首乌　荆芥穗　胡麻子　乌药锉　天麻

右九味等分，捣罗为散，每服二钱匕，食后，温酒调下，日三夜二。

治大人小儿，蚀透腮颊，初生如米豆，名金腮疮，二金散方：

鸡内金是肚内黄皮，焙　郁金

右二味等分，捣罗为散，先用盐浆盥漱了贴之。忌米食。

治鬈毛疮在头中，初生如葡萄，痛不止，黄香饼方：

黄柏一两　郁金一[1]两　乳香一分

右三味，捣研为末，用槐花水调作饼，于疮口贴之。

治发际疮初生，如黄米大，或痒或痛，龙骨散方：

龙骨　乌贼鱼骨去甲　胡粉各半两　铅丹一钱，炒紫色

右四味研细，先用盐汤洗了贴之，日三五上。

治咽漏疮初生结喉上如痈肿，破后有眼子，雄黄散方：

雄黄　密陀僧各一钱　腻粉三钱匕　麝香一字

右四味，研细如末，破用白梅汤调涂，已破挹去脓汁，乾贴。

治缘唇疮，海带散方：

海带不拘多少

右一味为散，临卧贴，一二宿差。

治彻耳疮，井苔散方：

井中苔　土马骝各半两

右二味，捣罗为散，灯盏中油调涂之。

治紧唇面肿，马苋涂方：

① 一：圣济总录作“半”。

马齿苋不拘多少

右一味，捣汁涂之。冬用乾末，水调涂。

治鼻疳疮侵蚀鼻柱，麝香散方：

麝香　草乌头烧灰

右二味等分，研细贴之。

治睛漏疮，目大眦出脓汁，有孔子，白龙散方：

龙脑　马牙消各半钱　绿豆粉一钱

右三味，同研极细，用灯心蘸药点之，日四五上。

治颐颏疮，一名独骨疮，百合散方：

百合　黄柏各一两　白及一分　蓖麻子仁五十粒，研

右四味，捣研为散，用朴消水和作饼贴之，日三五上。

治玉枕疮，生枕骨上如痈，破后如筋头，石韦散方：

石韦　原蚕蛾炒

右二味等分，捣罗为散，乾贴取差。

治腮颔肿痛，或破成疮，芙蓉傅方：

芙蓉叶不拘多少

右一味，烂捣傅之，以帛系定，日一换。

治粉钤疮，绕项赤烂多汁，红粉散方：

密陀僧煅　龙骨各半两　胡粉二钱　铅丹一钱，炒紫色

右四味研细，挹去脓汁，用生油调涂，日三夜一。

治天柱疮，生脊大椎上如钱大，赤色，出黄汁不止，败蹄散方：

驴蹄削二十片，烧炒　胡粉一分，熬　麝香少许，研

右三味合研，未破，以醋煮面糊和成膏涂入，已破乾糁。

治诸恶疮，疼痛不可忍，上诸药不效者，宜涂黄柏散方：

黄柏一分，微炙　黄丹一分，炒令紫色　密陀僧一分　白狗粪半两，烧灰　腻粉半两　麝香一钱，细研　麒麟竭一钱

右七味，捣罗为细散，都研令匀，先用甘草汤洗疮口，后用津唾调涂之。

又方：

熊脂不以多少

右一味，细研涂之良。

治疮欲似蜂窠，差而还发方：

胡粉　朱砂各等分

右二味，细研为末，以蜜和合，涂于疮上，日三换之，即愈。

诸恶疮

内经云：诸疮疡皆属心，诸湿肿皆属脾。盖心主血，脾主肉也，由体虚受于风湿，邪毒与气血相搏，故发疮也。甚者燉肿满痛，溃而多汁，或形体为之壮热，稽缓不治，则毒气内攻，固不可以常法治之。

治一切恶疮久不差者，麝香散方：

麝香当门子二个　丁香　木香　紫檀香各一分　乳香　没药各半两

右六味，捣研为散，用鸡子清和入壳内，饭上蒸熟，暴乾再研，分作六服，每用腊茶清调下。

治恶疮，皂荚刺散方：

皂荚刺一两　乳香一分

右二味，捣研为散，每服二钱匕，以酒一盏，煎一两沸服，热酒调下亦得。

治远年恶疮，乳香散方：

乳香　腻粉各半钱　麝香一字　龙骨　大黄锉　黄柏去粗皮。各三钱

右六味，捣研为散，先用苦竹沥洗疮，次糁药贴之。

治诸恶疮，多出脓水不乾者，龙葵散方：

龙葵俗名天茄子　景天俗名慎火草　黄连去须　天灵盖各一两　龙骨　乳香　木鳖子　黄蜀葵花各半两

右八味，捣研为散，看疮大小，入腻粉少许，蜜调摊纸上贴之。

治无名恶毒疮似鱼眼者，獭骨散方：

獭骨生碾末，一两　麝香一字

右二味，细研和匀，用津唾调贴之。

治恶疮，生好肉，去脓水，风毒气肿，乌蛇膏方：

乌蛇去皮骨，炙，捣末，二两　麻油一斤　铅丹二两　鼠一个，腊月者尤佳　蜡四两

右五味，先用油煎鼠令消，去滓，次用铅丹并乌蛇末，微火煎沸，后下蜡，更煎十沸膏成，以瓷器收，每用封疮，日一易。

治一切恶疮，金柏散方：

黄柏去粗皮　黄连去须　白及　五倍子各一分　腻粉二钱匕　麝香半字

右六味，捣研为散，冷水调傅疮上，纸花子贴之。

治一切恶疮，密陀僧散方：

密陀僧　谷精草各一分　雄黄半两

右三味，捣研为散，每用少许，乾糁疮上。

治恶疮，乌头散方：

乌头一枚，炮裂，去皮尖，为末　腻粉二钱匕

右二味研匀，先用白汤洗疮数遍，次用盐汤洗数遍，后以唾调药成膏，傅疮口。

治恶疮久不差者，槟榔黄葵散方：

槟榔一个，生者　木香　黄蜀葵花　黄连去须

右四味，将槟榔秤见分两，余药与槟榔等分，捣罗为细散，先以温浆水洗疮净，看大小，入腻粉少许，蜜调涂于故帛上傅之，二三日易之。

治恶疮，粉香散方：

腻粉二钱匕　乳香一两①　葱一根，煨熟，去焦皮

右三味，同研如膏，摊在帛上贴疮，三日一换。

治恶疮，金黄散方：

黄柏一两　蜜二两，将蜜涂黄柏，炙蜜尽为度

右二味，捣罗为散，入麝香半字，同研匀细，乾糁疮上。

治诸般恶疮，通圣散方：

谷精草炒　天南星炮　贯众炒　黄柏炙。各一分　麝香半钱

右五味，捣研为散，用少许乾糁疮上。

治恶疮久不效，寸金散方：

鸡子壳十个，生却子者　槟榔一枚　麝香研　腻粉各半钱　黄柏去粗皮　密陀僧各一钱

右六味，捣研为散，用温盐浆水洗疮，乾贴。

治一切恶疮，熊胆膏方：

熊胆研，一钱　腻粉半分　雄黄研　麝香研。各半钱　槟榔末，一字

右五味研匀，于腊日用猸猪胆一个，取汁和药，却入药在胆内，用绵绳系定，揉匀，以松明黑焰熏令遍黑，挂于阴处。如恶疮有指面大者，用黍米许贴之，如钱大者，用绿豆许贴之。恐药乾摊②贴，薄以津唾调如稀糊涂之，仍用薄桦皮盖贴，以帛子系之。药不宜多用。

治一切恶疮疼痛不可忍，枫香散③：寿亲养老书名白香散。

枫香脂纸衬于地上食顷令脆，研　腻粉各一分

右二味，同研匀细，每先含浆水令暖，吐出洗疮净，后以药末乾傅之，以差为度。

治一切无名恶疮，硫黄膏方：

硫黄　腻粉　吴茱萸汤洗，焙乾炒。各一分　矾石熬令汁枯　牡蛎煅赤，研。各半两

右五味细研，入小油半两，黄蜡一两，同熬成膏，趁疮大小，摊于纸上，以火炙熔贴之。

治一切不测恶疮，年深不愈，大效血竭散方：

血竭一两　铅丹半两，炒紫色

右二味，捣研为散，先用盐汤洗疮，后贴之。

治无名恶疮，年深不愈，柏皮散方：

黄柏蜜炙　榆蚀虫炙乾。各一钱　麝香少许，研

右三味，捣研为细末，以盐浆水洗疮后，唾调药，纸花子贴之。

治一切恶疮，二黄散方：

① 两：圣济总录作“钱”。
② 摊：圣济总录作“难”。
③ 散：圣济总录此下有“方”字。

大黄锉　黄连去须　山栀子仁　连翘　白及　青黛各一两

右六味，捣罗为散，有脓乾贴，无脓水调傅。

又方：

黄柏去粗皮　郁金　黄蜀葵花　白蔹

右四味等分，捣罗为散，百合水调贴之。

治诸恶疮，木香散方：

木香　槟榔锉　黄连去须

右三味等分，捣罗为散，乾糁疮上。如疮口乾，即用生油调傅之。

治诸恶疮口不合，牛齿散方：

牛齿三两　鸡卵壳二两

右二味，烧研为散，入腻粉少许，生油调涂之，立愈。

治恶疮，黄连散方：

黄连去须　胡粉　黄蜀葵花各等分

右三味，捣罗为散，用龙脑、麝香、腻粉各少许，研细拌匀，先以盐浆水帛子揾乾糁之。

治恶疮，瓜蒂散方：

瓜蒂四十九枚　黄连去须，三两　杏仁去皮尖双仁，炒，二两半　腻粉一分　麝香一钱，研

右三味，捣为细末，用腻粉、麝香同调和令匀，以津唾调涂在疮上，更用纸面糊履在药上贴，三五日一度，含盐水洗过更贴，是疮只贴本丹子，其余自差。

又方：

铅丹一两半，炒令紫　松脂三分　麒麟竭二两半，细研　乱发一分，细研　绯帛灰四分，细研

右五味，先用油四两，于猛火上熬令烟出，即下松脂、铅丹等，煎令色黑，下乱发、绯帛灰、麒麟竭末等，搅令匀，膏成涂故帛上贴，日二易之。

治毒恶疮，怀乾散方：

密陀僧一分　黄柏蜜炙，半两

右二味，怀中怀乾，捣罗为散，先用葱汤洗疮，候乾傅之。

治积年恶疮，及透掌漏疮，外廉疮，金黄散方：

大黄锉，炒　郁金锉，炒　鲮鲤甲炙　谷精草　龙骨　山栀子仁　木鳖子去壳　独角仙皂荚株上黑虫　乌贼鱼骨去甲　黄柏去粗皮　甘草锉　铅丹　白蔹　不灰木　麒麟竭研　黄芩各半两　腻粉　藜芦去苗。各一分

右一十八味，捣研为散，每看疮大小糁之。有脓水，即用温盐浆水洗净傅之。透掌漏疮，以津调纰于疮内，不过三五上。

治一切恶疮，疼痛久不差者，白香散方：

枫香脂研　腻粉　防风各一分

右三味，细研令匀，先以含浆水令暖，吐出洗疮令净，后以药末乾傅之，疼痛立止，贴至令差即易。

治一切恶疮，疼痛不可忍：

栝楼一枚，烧作灰

右一味细研，每用掺在疮上。

治诸恶疮肿等病，黑龙丸方：

芎藭三钱　大黄一分　甘草炙，一两　益智去皮　藿香叶。各四钱　栀子六钱　防风去叉，半钱　雄黄　雌黄各二钱　麝香半钱匕　腻粉五钱匕　水银一分，为沙子　乳香半分

右一十三味除研外，捣罗为末，先将水银、腻粉、乳香同研，入诸药研细匀，水浸炊饼和丸，如小豆大，每服五丸，嚼破，茶酒下。此药一半作丸子，一半作散子，每服酒调散子一字，下丸子一方，更入茸拨一十个，乳香少许作丸子，每服五丸，嚼破，散子酒下。若妇人吹奶，用散子半钱，蜗牛七枚，热瓦上爆煞，令去壳黄色，入龙脑、麝香各少许，同研酒调下，合面卧。若治头面腋下赤瘤子，以二药相间服之，半月软烂自破，出尽恶毒，后以膏药贴之。

治恶疮神妙，地骨皮散方：

右以地骨皮一物，先刮取浮皮，别收之，次取皮下腻白粉，为细散，其白粉下坚赤皮，细锉，与浮皮一处为粗末，每用粗末一合许，煎浓汁，乘热洗疮，直候药汤冷，以软帛裹乾，乃用细散傅之。每日洗贴一次，以差为

期，用之未差，慎不可住，但勤施之，无不差者。小可疮肿疼痛，只以枸杞生锉，煎浓汁热淋亦效。

治一切恶疮，六枝乌金膏方：

桑枝　槐枝　榆枝　柳枝　桃枝　枸杞枝

右六味，各长一尺，粗如小指，俱一寸，截劈四破，用油四两，炒令焦黑，滤去滓，入铅丹半两，蜡一内[1]，复熬令黑色，倾在瓷合内，候冷，以新汲水浸，出火毒，先以后法熏出虫，乃用此膏涂疮。

治恶疮熏药方：

猫儿粪　猪粪　乱发　粳米糠

右四味等分，都置在一地坑内，用火烧，上以方砖覆之，其砖心钻一窍，令烟出，疮就烟熏之，有虫及恶物出尽，以温浆水净洗，然后涂前六枝乌金膏，用帛覆之。

治一切恶疮，痛不可忍者，碧云膏方：

石绿研，不以多少　乳香研　麒麟竭研　没药研。各半钱　腻粉二钱匕　黄蜡三两　松脂一两

右七味，先将石绿细研，次下乳香、麒麟竭、没药、腻粉同研细，用瓷碗火上化黄蜡如油，次入松脂，亦化为油，入少熟油，用柳枝搅，滴在水上硬软得所，次入前药末，以柳枝篦子搅，看颜色深浅得所为度，绵滤过，瓷器中收，于软帛上摊贴，日二换之。

治一切诸恶疮，乌膏方：

雄黄半两，细研　雌黄半两，细研　芎藭半两，锉　川升麻半两　杏仁二十枚，汤浸，去皮尖双仁　胡粉一分　巴豆二十枚，去皮心　黄连半两，去须，锉　黄柏半两，锉　乌头半两，锉　乱发如鸡子大　松脂如鸡子大　水银半两，与胡粉入水，同研星尽　蜡一两　竹灰半两

右十五味，以酒一盏，拌一升[2]时久，安铛于火上，先取炼了猪膏三升，急煎发令消，下诸药，以文武火煎搅，候杏仁黄黑色，以绵滤去滓，久研了真珠末二钱，雄黄、胡粉等，搅令相得，收瓷合中，每日二三上涂之。

治二十种恶疮，及风疮痔瘘等疮，疣子黑疵疮肿，鹊面黔黯，痤疖，涂傅乌头膏方：

乌头二十枚　巴豆三十枚　藜芦二两　大黄三两

右四味同烧，捣研为末，细罗石灰一升，以染青汁和成膏，看病大小傅之，日二三易。

治一切恶疮方：

赤小豆　糯米各一分　黄连去须，二两　吴茱萸一分　水银一两半，手内唾津研之

右五味，各捣研为末，和匀，胡麻油调膏，净洗疮涂之。

反花疮

疮生恶肉，久则反出于疮外，故谓之反花疮。其初如饭粒，破之血出，余毒尚炽，恶肉随生，根深而脓溃，此皆风热毒气之所作也。

治反花疮，甘草涂傅方：

甘草半生半熟　矾石灰　人中白　密陀僧各半两

右四味，并捣罗为末，入童子小便半盏，以微灰火熬，用竹篦搅成膏，取涂疮上，日三五次。

治反花疮，藜芦傅方：

藜芦末　猪脂各二两

右二味相和，调如糊，涂疮上，日三五度。

治反花疮，并治积年诸疮不差者，恶实根涂傅方：

恶实根末，四两　猪脂二两

右二味，调和如糊，涂疮上，日三四度。

治反花疮方：

盐炒

右一味细研，涂疮上，日三五度。

治反花疮方：

苍耳叶

---

① 内：圣济总录作“两”。

② 升：圣济总录同。太平圣惠方无此字。

右一味，捣绞取汁，服三合，并涂疮，　　日三五次。

居家必用

治阴囊湿汗，其汗若水，以川乌尖不计，文武火炮熟，碾为极细末，以鸡翎扫药于两腿叉间，不可著囊上，大有神效。真定李伯禄亲用效验。

天蛇毒，其证生肉上，突起如鳝鱼头，四边肉微黑色，却陷作穴见骨，痛不可忍，谓之咬骨天蛇，日久不愈，用赤脚乳香草入盐捣细，傅疮上，换四五次即愈。

鬼箭伤，凡人入山林，或腿膝间，或足上，无故肿痛，如欲成毒者是也。不即治之，为害不浅。青藤，即羊角藤也。以鲊二条捣细，先以百扑叶盖患所，一名青藤叶，一名山膏药，然后用鲊庵之，其毒二条，待十分痒，略拔开看，自有骨出，如只一条出，须当再庵，取尽二条，方可得愈。

小灵丹：　又名针头丸。治一切恶疮。

蟾酥不以多少，阴乾　片脑　麝香各少许

右件三味，研细为末，和匀，用头首男子乳汁为剂，丸如黄米粒大，朱砂为衣，每服一丸、二丸、三丸至五丸，无根倒流水下，后用米饮汤催出汗，立效。疔疮，将一丸安疮内，乳香膏药封之，觀病上下服。此方系姬中庵王可立传，云亲曾经效。后用之，果有奇效验。

雄黄膏：　治顽恶疮疥癣，小儿奶癣头疮，无时痛痒，大人脚气下疰，肾余气疮，并皆治之，大有神效。

槟榔　雄黄别研。如无，舶上硫黄代之　轻粉别入枯矾　黄蜡各半两　蛇床子　黄柏　吴茱萸　苦参　黄连各一两　五倍子　海桐皮各六钱　茼茹二两

右件为细末，先将腊月猪肪脂一斤，入皂角五条，带须葱五茎，全蝎十个，巴豆三十粒去壳，蓖麻仁四十粒去壳，川椒三钱，同煎黑色，去滓，入前药末，再熬成膏子，方入轻粉，腊月内合者，瓷合内收贮，可留十余年。若治疥疮，加入舶上硫黄，与雄黄同分两。

治一切恶疮肿毒，无问脑背等疮，悉皆治之。用川乌、草乌各一个，先将新瓦一片，于新汲无根井水内浸一饭许，将川草二乌一同拿住，并于瓦上，以指蘸浸瓦水磨为浓浆，以净笔蘸涂于疮四围，中留一头勿涂，乾再涂。

樱桃疮，以肉突出如樱桃之类，黄水出，疼痛不可忍者，地龙粪晒乾碾细，香油调傅疮上。黄水多，乾糁极效，或用江茶末乾贴之亦得。又用天花粉末水调傅之。

万灵膏：　治一切恶疮肿毒，大有神效。

南青木香　连翘　木鳖仁　桃仁　蓖麻仁　巴豆仁　地黄生用　白芷　防风　川芎　黄芪　羌活　当归　黄连　蓬术　露蜂房　槐枝　柳枝　桃枝已上皆为咬咀　乳香另研　没药另研　轻粉已上各半两　黄丹一十五两，水飞，煮去水，再换新水煮，如此三次，炒至紫黑色住

右前件一十九味咬咀者，入真香油三十两浸，春秋七日，夏五日，冬十日，慢火煎至巴豆、蓖麻仁抹开如黑泥，滤去滓，逐旋入丹，以槐柳枝不住手搅，候丹尽，然后下乳香、没药，挑药滴入水中成珠为度，提起离火，不住手搅至微温，入轻粉搅匀至冷，以碗覆地上出火毒。收藏时，先用真蛤粉扑裹，却入净瓷器内收贮。此膏药，予亲修合用之，皆有奇功。

臁疮，不问远年近日，悉皆治之。

败缸底灰煅红为末　轻粉五分之一

右件和匀，用麻油调，鹅翎扫上，用茶蓊内箬叶覆之，纱帛缚定，湿者乾傅，歇七日，勿动开看，未愈，依上再傅上，终身不发。忌食一切毒物。必用全书、之书同。

又方：　用茶蓝中箬叶，再用浓茶汁煮数沸，漉出拭乾，量疮之大小剪一斤[①]，摊上黑膏药，勿论何处来者，上面又用一斤[②]箬叶盖之，纱帛缚在疮上，三日后，将外面箬叶翻过著疮，再缚住即愈矣，其效如神。如有脓水，先熬羌活汤洗净，然后用药。必用全书、之书同。

必用全书

藿香托里散：　治诸恶疮肿痛，已发未发皆可服。

藿香　连翘　升麻　葛根　甘草　栀子　木通　当归　牛蒡子　白僵蚕各二钱半　黄芪　茵陈　大黄煨。各五钱

右为粗末，分作四服，每服水一大碗，煎至七分，入酒一盏，去滓，临卧温服。故宋东京宝梵院专货，每服千钱。必用之书同。

治杖疮，以防风、荆芥、大黄、黄连、黄柏用水煮，却以油纸裹乳香、没药，线扎定，置前所煮药水中再煮，久之取出，却洗下油纸中二药在药汁中，用药汁洗疮，油纸贴疮，一日一次。必用之书同。

必用之书

石灰粉方：　治大人小儿夏月痱子疮及热毒疮。

石灰一两，炒　蛤粉三两　甘草一两，土[③]用为末

右件同和拌匀，以绵子搨扑之。必用全书同。

拔粹方

疮　疡

当归散：　治诸疮已破未破，炽肿痛甚不可忍。

当归　黄耆　栝蒌　木香　黄连等分

右为末，水煎服，无时。如痛而大便秘者，加大黄。

乳香散：　治疮口痛甚。

滑石一两　乳香　没药各五钱　脑子少许　寒水石一两，烧红

右各研为细末，同和匀，掺疮口上。

膏药方：

清油半斤　当归半两　杏仁四十九介，去皮尖　桃柳枝各四十九枚[④]，各长四指　新绵一叶

又桃柳枝二大枝，用绵裹药系于一枝上外，一枝搅，于铁器内煎成，入黄丹三两一处熬，水中滴成珠子为度。

化坚汤：　治疮难消，又不能作脓，神效。

地骨皮一两　木香半两　川山甲二钱半，炮　麝香一字

右为细末，温酒调下，及治小儿瘢疮，后生痈肿，以米汤调下。

治男子妇人阴乱湿淹疮。

五倍子细研，五钱　白矾一钱　铜绿少许　轻粉一字　乳香半钱

右为极细末，洗净掺之。

治项侧少阳经中疙瘩，不辨肉色，不问

① 斤：按文义应作“片”。
② 斤：按文义应作“片”。
③ 土：按文义应作“生”。
④ 枚：济生拔粹作“枝”。

大小及日月深浅，或赤硬肿痛。

生山药一挺，去皮　蓖麻子一介

右捣烂，摊在帛上贴之，如神。

保安汤：　治疮托里，或已成者，速溃。

瓜蒌新者一个，去皮，火焙　没药通明者一钱，研　金银花　甘草　生姜各半两

右为细末，用好无灰酒三升，于银石器内，煎至一升，分作三盏，三次饮尽。病微者，只一服。如托里药不能发散，必作疮者用此。

没药散：　治杖疮，止疮痛，令疮不移。

密陀僧　没药　乳香各一两　乾胭脂一两半　腻粉半两

右为细末，次入龙脑少许，若多更妙，烧葱与羊骨髓生用，同研如泥，摊在绯帛上贴。

圣愈汤：　诸恶疮血出不止，以寒水石细末搽之立止，如神。

疮疡者，火之属，须分内外，以治其本。若其脉沉实，当先疏其内，以绝其源也；其脉浮大，当先托里，恐邪气入内也；有内外之中者，邪气至盛，遏绝经络，故发痈肿，此因失托里及失疏通，又失和荣卫也。治疮之大要，须明托里、疏通、行荣卫之三法。内之外者，其脉沉实，发热烦疏[1]，外无脓赤痛，深于内，其邪气深矣，故先疏通脏腑，以绝其源；外之内者，其脉浮数，脓肿在外，形证外显，恐邪气极而内行，故先托里也；内外之中者，外无脓恶之气，内又脏腑宣通，知其在经，当和荣卫也。用此三法之后，虽未差，必无变证，亦可使邪气峻减而易痊愈。

内疏黄连汤：　治呕哕心逆，发热而烦，脉沉而实，肿硬木闷，而皮肉不变色，根系深大，病远在内，脏腑秘涩，当急疏利之。

黄连　山栀子　芍药　当归　槟榔　木香　薄荷　连翘　黄芩　桔梗　甘草已上各一两

右为末，水煎，先吃一二服，次后加大黄一钱，再服加二钱，以利为度。如有热证，止服黄连汤，大便秘涩，则加大黄；如觉无热证，前[2]后药复煎散，时时服之，如无热证，及大便不秘涩，止服复煎散；稍有热证，却服黄连汤，秘则加大黄。如此内外皆通，荣卫和调，则经络自不遏绝矣。　玉机微义治疮皮色肿硬，发热而呕，大便闭，脉洪实者。黄连　芍药　当归　槟榔　木香　黄芩　栀子　薄荷　桔梗　甘草各一两　连翘二两　大黄二两半　右㕮咀，每服一两，入姜煎。

内托复煎散：　治肿脓于外，根盘不深，形证在表，其脉多浮，痛在皮肉，邪气盛而必侵于内，须急内托，以救其里也。

地骨皮　黄耆　防风各二两　芍药　黄芩　白术　茯苓　人参　甘草　当归　防己已上各一两　柳桂淡味加五钱

右㕮咀，先煎苍术一斤，用水五升，煎至三升，去苍术滓，入前药十二味，再煎至三四盏，绞取清汁，作三四服，终日服之。又煎苍术滓为汤，去滓，再依前煎十二味药滓服之，此除湿散郁热，使胃气和平。如或未已，再作半料服之。若大便秘及烦热，少服黄连汤；如微利烦热已退，却服复煎散半料，如此使荣卫俱行，邪气不能自侵也。玉机微义托里健胃：地骨皮　黄芩　茯苓　白芍　人参　黄芪　白术　桂　甘草　防己　当归各一两　防风三两　右㕮咀，先以苍术一斤，水五升，煎至三升，去术，入前十二味，再煎至三四盏，取清汁，分三四次，终日饮之。又煎苍术渣为汤，去渣，依前又煎前十二味渣，分饮之。

当归黄耆汤：　治疮疡，脏腑已行，如痛不可忍者。

当归　黄耆　地黄　川芎　地骨皮　芍药各等分

右㕮咀，水煎。如发热，加黄芩；如烦躁不能睡卧者，加栀子；如呕，则是湿气侵胃，倍加白术。

截疳散：　治年深疳瘘疮。

---

① 疏：济生拔粹作“躁”。

② 前：济生拔粹作“煎”。

黄连半两　白蔹　白芨　黄丹各一两　轻粉一钱　龙脑　麝香各半钱。别研　密陀僧一两

右为细末，和匀乾糁，或纰上，以膏贴之。经验秘方、外科精义同。

生肌散：外科精义主敛疮大效。

寒水石锉　经验秘方烧　滑石各一两　秘方、精义各二两　乌鱼骨　龙骨各一两　定粉　密陀僧　白矾灰　乾胭脂各半两

右为极细末，乾糁用之。

平肌散：　治诸疮久不敛。

密陀僧　花蕊石二物同煅赤　白龙骨各一两　乳香另研　经验秘方、外科精义二钱半　轻粉各一钱　秘方一两　黄丹　黄连各二钱半

右为极细末，和匀乾糁。

碧霞挺以[1]：　治恶疮透了，不觉疼痛者。

铜碌一两　硇砂二钱　蟾酥一钱

右为细末，烧饭和作麦樸挺子，每用刺不觉痛者，须刺血出，方纰药在内，以膏贴之。　经验秘方右为细末，软米饭一处搽匀，捻作锭子，粳米大，每用针刺之不觉，但有血者，纰一锭子贴之，或纸捻蘸纰之，可以临证如何用度。外科精义同。

用药加减

如发背丁肿，脓溃前后，虚而头痛，于托里药内加五味子；恍惚不宁，加人参、茯神；虚而发热者，加地黄、栝蒌根；潮热者，加柴胡、地骨皮；渴不止者，加知母、赤小豆；虚烦者，加枸杞、天门冬；自利者，加厚朴；脓多者，加当归、川芎；痛甚者，加芍药、乳香；肌肉迟生者，加白蔹、官桂；有风邪者，加独活、防风；心惊悸者，加丹砂；口目瞤动者，加羌活、细辛；呕逆者，加丁香、藿香叶；痰多者，加半夏、陈皮。

回疮金银花散：　治疮疡痛，甚则色变紫黑者。

金银花连枝叶锉，二两　黄耆四两　甘草一两

右㕮咀，用酒一升，同入壶瓶内，闭口，重汤内煮三两时辰取出，去滓，顿服子[2]。

雄黄散：　治疮有恶肉不能去者。

雄黄一钱，研　巴豆不去皮，研，一个，去皮半钱

右二味，再同研如泥，入乳香、没药各少许，再研匀细，少上，恶肉自去矣。

疮肿之疾

槟连散：　治多时不效，一切恶疮，生肌止痛。

木香　槟榔　黄连各半两　白芷三钱

同为细末，每日乾贴。

复坚散：　治疮。

太阳本经：独活半钱　羌活一钱半　防风半钱　藁本一钱半

调经中血气：黄芩　生地黄　知母各一钱　黄连　黄柏各一钱半。已上五味皆酒洗

散疮结聚：防风梢半钱　当归身　连翘各三钱

益元气，泻火于三焦：黄耆一钱半　人参半钱　甘草一钱，炙　生甘草梢半钱

泻肾间火，补下焦元气，补胃：橘皮半钱

除膀胱留热：汉防己半钱，酒洗　泽泻七分，助秋去酒中湿热

舟楫：桔梗一钱

右㕮咀，作二服，水三盏，浸半日，煎至一盏，去滓，稍热服。将二服滓更作一服。服药后，不得饮冷水，恐再作脓。

乌金散：　贴恶疮疽瘘。

橡子二个，内一个实黄丹，一个实以白矾末，相合定，用黑俏麻皮缠了，火内烧，研细，加麝香少许，洗净疮贴之。

治颏下结核不消，经效。大肚蜘蛛，不以几个，以好酒浸了，研烂，同浸的酒，去滓，温热，临卧服之。

治甜疮，大枣去核，实以绿矾，火烧微存性，研细贴之。如疮乾，以小油调涂。

诸疮肿，痛不可忍者，以葵花根去黑皮，

---

① 以：济生拔粹作“子”。

② 子：济生拔粹作“之”。

捣烂，若稠，点井花水少许；若不稠，不须用水，以纸花如膏药贴之，立效。

治臁疮，赵舍传。以葱浆水洗净，帛淹去脓囊，厚贴轻粉了，上用蜗牛，不以多少，捣烂作膏药，贴定，疮可自落。

治诸恶疮，初得发汗。

槐花不以多少　皂角棘针不以多少，锉碎

右将二味熬三五十沸，用胡桃二个，一生，一烧存性，细嚼，以前槐花水送下，可半碗许，不过三五服见效。

瑞竹堂方

疮　肿

白芷散：　治身上诸般恶疮，及小儿耳项头疼[1]。

班猫五介　蝉壳五介　轻粉一钱　槟榔三介　香白芷二钱　蛇床子二钱　硫黄二钱　樟脑二钱

右为细末，罗过，却入轻粉，再碾极细，用香油调药搽敷，立效。

桃花散：　治诸疮口不合，生肌药[2]。

赤豉炒　白豉炒　黄柏炒。已上各三钱　轻粉一钱

右为细末，用葱白浆水净洗[3]上药。

拔毒散：　敷贴诸般恶疮。

大黄　东墙上土

右为极细末，用无根井花水调搽，如乾再搽，经宿即愈。

防风当归散：　治诸般疮疖等[4]毒热疮。

防风半两　甘草节半两　赤芍药半两　绵黄耆半两　当归半两　白芷半两　左缠藤　皂角刺肉桂阴证用半两，阳证用一两[5]　大黄阳证用半两，阴证用一钱

右为吆咀，水四碗，砂瓶内煎至二碗，入好酒一碗，再煎至二碗，放温，作数起服，内皂角刺、左缠藤，加众药五倍。

砂草油：　治人食毒物，及患一切恶疮。

鹏[6]砂四两　甘草四两

右二味，用真香油一斤，于磁瓶内浸药，遇患，急令患人服油一小盏，立效。浸久尤佳。

臁疮，蜡黄膏：

槐条　椿皮　桃条　楝条　柳条　荆芥

右件熬汤，无时荡洗，用无糙绢帛揾乾，用生黄蜡于纸上，量疮大小摊膏药一十个，将十层都拴于疮上，三日一次洗疮，除去著疮蜡纸膏药一个不用[7]，不候[8]一月，无问年深日近，必然痊可。累曾依方医治，得效验。卫生易简方同。

治恶疮膏[9]：　海上方。

燕窝内外泥粪，俱研极细，罗过，用油调搽。卫生易简方同。

螵蛸散：　治头上疮，俗曰粘疮，绝妙方。

海螵蛸二钱　白胶香二钱　轻粉半钱

右件，将海螵蛸、白胶香同研细，罗过，却入轻粉，再于乳钵内煞[10]研极细，敷贴疮时，先用清油将疮润了，然后将药末乾糁疮上，只一上可[11]，甚者二上。

治臁疮方：

好粉，用香油调在碗里，上用艾烧烟熏黄色，要匀抹在疮上有效。经验秘方、卫生易简方同。

治下疳立效散：

灯心灰，入轻粉、麝香少许，乾贴。卫生易简方同。

---

① 疼：瑞竹堂经验方作“疮”。
② 生肌药：瑞竹堂经验方无此三字。
③ 洗：瑞竹堂经验方此下有“然后”二字。
④ 等：瑞竹堂经验方作“及”。
⑤ 两：瑞竹堂经验方作“钱”。
⑥ 鹏：瑞竹堂经验方作“硇”。
⑦ 不用：瑞竹堂经验方作“余仍贴”。
⑧ 候：瑞竹堂经验方作“消”。
⑨ 膏：瑞竹堂经验方无此字。
⑩ 煞：瑞竹堂经验方无此字。
⑪ 可：瑞竹堂经验方此下有“愈”字。

黄耆饮子：　治一切恶疮。

金银花一两　当归一两　连翘半两　黄耆半两　生甘草三钱　大黄三钱　瓜蒌一介　生姜三钱

右件咬咀，用水一大碗，药一两，浸一宿，慢火煎至稠作声①，入好酒一升，再煎三两沸，去滓顿服。

治疮肿湿疮方：

黄连②生用　轻粉③　海螵蛸生用　韶粉煅　蛤粉生用　橄榄核烧灰　黄柏皮已上各等分

右为极细末，乾贴，立效。

治男下疳疮方：

白矾煅过　轻粉　麝香　蛴螬就活压去尿，焙乾

右为细末，贴疮，日上三两次，先以口含浆水洗净，搵乾用药。经验秘方同。

治肾腧恶疮方：

鸡内金瓦上焙乾　胡黄连　川百药煎各等分　轻粉一钱

右为细末，烧厚朴油调搽之。

万应膏：　治一切恶疮，及刀斧所伤，蛇咬、狗咬、经验秘方作蛇蝎狗狼咬。虫伤，牙痛心痛，眼痛腹痛，脚气骨节疼痛，大人小儿脾癖，悉皆贴之。心痛，丸梧桐子大，温醋汤送下三十丸；肚痛，温酒送三十丸。

当归　芍药　白蔹　白芨　白芷　木鳖子　杏仁　轻粉　乳香　黄耆已上各一两　巴豆六钱，去皮　雄黄研，一两　白矾少许　没药一两，研　黄丹二斤　秘方支丹　血余三两，净　好油二④斤　蓖麻子二百余介　秘方二百五十粒

右件先将乳香、没药、黄丹、雄黄、白矾另研极细外，将余药锉碎，同槐柳条各二两锉碎，蓖麻子二百五十个，去皮研碎，先入油内浸一二日，于铁锅内熬，用槐柳条各二根，二尺长，不住手搅，微黑色，滴水中不散，捞去粗滓，再用绵滤净，再入锅内熬滚，先下黄丹，次下血余，次下白矾、雄黄，又下乳香、没药，不住手搅至烟尽，微热，下轻粉搅匀，倾于水盆内浸一宿，出尽火毒，于磁器内盛之，其功效不能尽述。

臁疮药方：监司傅此方见效。

轻粉一钱　黄连末二钱

右用猪胆一介，针刺七孔，滴下胆汁⑤盏内，调成稠糊⑥，用竹摊满疮口上，用白纸数层盖药，以无糙青绢紧紧绞住，过十日再换药，如法紧绞。永类钤方、经验秘方、卫生易简方同。

经验加麒麟乳香膏：　治诸疮肿硬疼痛，及脓溃，肌肉腐烂，兼治腐肉不退。

南乳香一两　没药半两　松脂五两　天台乌药经验秘方一两　木鳖子三钱，用仁去皮二钱　当归　赤芍药已上各三钱　小油二两　加血竭三钱

右为九味，除乳香、没药、松脂、血竭等四味外，用前项小油浸乌药等四味，计五日，慢火同煎数十沸，滤去滓，澄清一宿，入南乳香等，用柳木篦子不住手搅成膏。

王氏集验方

诸　疮

善应膏：　治杖疮，及治诸般疮肿，腹肚疼痛，打破伤损疼痛，并皆治之。

乳香五钱，另研　没药五钱，另研　当归　赤芍药各一两　黄丹半斤，罗过　轻粉一钱　清油一斤　槐枝十条　木鳖子三斤，去壳，碎　白胶香半斤，去皮木砂土

右用砂石或银铫内盛油，先下当归、芍药、乳香、没药、木鳖子、槐条，紧火煎熬，候其药焦黄色，用绢滤去，再入白胶香，用文武火熬化开，又滤去滓，却入黄丹，用槐

① 作声：瑞竹堂经验方作“粘”。
② 黄连：瑞竹堂经验方作“胡黄连”。
③ 轻粉：瑞竹堂经验方此下注有“生用”二字。
④ 二：瑞竹堂经验方作“三”。
⑤ 汁：瑞竹堂经验方此下有“於”字。
⑥ 调成稠糊：瑞竹堂经验方作“将药调和”。

柳条不住手搅，约一时久，至黑色，滴水不散，却下轻粉。

又方：　李应效方。

清油一斤　黄丹半斤　乳香三两　没药三两　枫乳半斤　黄连二两　独活　白芷　羌活各一两

右先用清油煎羌活、独活、白芷、黄连，候黄色，入乳香、枫乳再煎，候枫、香溶化，用布滤去滓，却入黄丹再煎，要带紫黑色为度。

敷贴药：

紫荆皮　独活　白芨　大黄　南星　羌活

右等分为细末，冷水调贴患处。

掺疮口药：

乳香　没药　海螵蛸　赤石脂

右等分为末，掺疮上，定疼敛口。

治诸般毒疮。

黄竹笋箨去毛，烧灰存性　皂角烧灰存性

右等分为末，煎清油调涂。如疮湿，则乾掺在上。余尝治诸疮，以黄桑叶十数重铺在疮上，绢帛系之，次早去其叶，拔出毒气，从叶上出，不过数次，其疮自乾好了。

治秃头疮，白胶香一味为末，小油调涂，立效。

脚上疰疮，连年累月不差者，黄连一味，为极细末，用磁碗一只，水调药末如面糊，摊在碗内，却用大艾烧烟熏乾，取下药再研为末，入轻粉少许，小油调涂。

又方：　先以椒叶煎汤淋洗，次用平胃散一贴，铜钱屑末一钱，一处用清油调涂。

又方：　右内外臁疮，旧皮鞋底烧灰存性，小油调涂。疮湿则乾掺上。

又方：　黄连、黄柏等分为细末，轻粉少许，清油调涂。疮湿则乾掺上。

医方大成

疮　疖

有富家子唐靖者，年十八九，未娶，忽于阴头上生疮云云。方见澹寮方。

济生方竹茹膏：　治黄泡热疮。

清油二两　青木香半两　青竹茹一小团　杏仁二七粒，去皮尖

右用药入清油内，卫生易简方有铁锈二字。慢火煎令杏仁色黄，去滓，入松脂末半两，熬成膏子，每用少许擦疮上。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类钤方同。

本事方治虚壅上攻，满口生疮。

草乌　南星各一介　生姜一大块

右为末，每服二钱，临睡时，用醋调作掩子贴手心、脚心。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类钤方同。

本事方治患风屑极痒，用藜芦根不拘多少为末，先洗头，须避风，候未至十分乾时，却用药掺定，须要药入发至皮方可，更宜紧缚两日夜。医方集成、南北经验方、袖珍方、永类钤方同。

秘方治外臁脚疮，用累经烧过窑灶黄土研极烂，入黄柏、赤石脂、黄丹、轻粉拌匀，以清油调稀，用油绢盛药傅疮上，却以布绢缚定药，纵痒不可以手开动，直候十数日后，疮愈却去之。医方集成、袖珍方、永类钤方、急救仙方、卫生易简方同。

袖　珍　方

疮　疖

桃花散：　治一切疮，生肌药。

白及　白蔹　黄柏　黄连　乳香别研　麝香别研　黄丹各等分

右为细末，掺于疮上，三二日，生肌平

满。

治七十二等无头恶疮。

荆芥　栀子各二钱半　茯苓　白术　人参各三钱　川芎　芒硝　大黄　当归　赤芍药　升麻　薄荷　苍术　连翘　石膏　桔梗　滑石　黄芩各一两　黄耆　甘草各二钱

右[1]病重一两，轻者五七钱，葱白一根并金银花同煎，去滓热服，汗出为度。如疼，加乳香；咽喉疼，加竹叶、灯心煎。

内托散：　治一切恶疮，疼不可忍，神验。

乳香　没药各二钱　甘草半两　御米壳半两，去顶蒂，蜜炙

右粗[2]末，用雌雄黑豆十粒，生姜半两，枣五枝[3]，水一大盏半，同煎五七沸，随上下服。

消毒汤：　治恶疮，脓未成已成者，肿毒等证。

紫花地丁去芦　金根[4]花　当归　大黄酒浸，焙　赤芍药　黄耆[5]　甘草[6]　加升麻

右锉为末，作一服，酒一碗，银石器煎五分服。

拔毒散：　消肿定痛。

蒲黄　白芷　半夏　黄丹各一两　赤小豆半两，为末

右将半、芷为末，入蒲黄、丹、豆末和匀，金银藤捣自然汁[7]傅四围，勤勤水润，肿退。

内托散：

绵耆　甘草　金银花　牡蛎煅淬二次。各等二钱半

右为末，只一服，水一盏，煎七分，入酒一盏，再煎七分，随疮上[8]，去渣服。

治下疰，象皮烧灰存性贴，乾用油调。

补遗蛀干疮，用黑油伞纸烧成灰，出火毒，傅于疮上便结靥，甚妙。

治下疳。

旱田螺烧灰　脑子　麝香少许　轻粉

右末，香油调傅患病处即愈。

治头面生疮燥痒，黄水出。

密陀僧　硫黄各二钱　轻粉少许

右为末，酥油调搽。

白秃疮，用熟皮烟胶一两，内轻粉二钱和匀，调搽患处。

一方：　用白矾同烟胶。

秃疮药：

轻粉五钱　黄蜡二两

右用鹅油十二两调搽。

下疳，用沟渠恶水，先用白凡一两，黄丹八钱，熬飞紫色，用研末，浆洗展乾贴之。

下疳药：

右用五倍子，山居四要有末字。以浆水洗乾贴。

敷肿毒未破者。

右用蛤蟆一个，先炒石灰，后用蛤蟆剁开妙[9]，研泥，用绵摊上贴患处，自破。

诸疮难敛疮口。

右马齿苋擂，罨口并周围，立效。

治下疳妒精疮。

右七月七日，采凤眼草烧灰，淋水洗之。

治阴囊瘙痒不已，自汗不收。

琥珀六钱　黄丹六钱　枯矾一钱　麝香四钱　龙泉粉二两

右为末，每服半钱，手心擦患处。

治阴囊生疮疼痛。

右先用川椒、荆芥、槐柳枝、经验良方火敛草。蛇床煎汤洗，后用鸡子清调朴硝末涂之。

治水[10]茎生疮不乾见骨者。

右用乌贼鱼骨末，按满疮口，以纸缠之。经验良方同。

---

① 右：袖珍方此下有“咬咀”二字。
② 粗：袖珍方作“为细”。
③ 枝：袖珍方作“枚”。
④ 根：袖珍方作“银”。
⑤ 耆：袖珍方此下注有“各半两”三字。
⑥ 草：袖珍方此下注有“一钱”二字。
⑦ 汁：袖珍方此下有“调”字。
⑧ 上：袖珍方此下有“下”字。
⑨ 妙：袖珍方作“炒”。
⑩ 水：袖珍方作“玉”。

治面上耳边生淫疮，有黄水出，久不愈，名香辨[1]疮。

羖羊须　荆芥　乾枣去核。各二钱

右烧灰存性，入腻粉半钱，研末，香油调涂，先用温水洗之。经验良方先以温热汤净洗拭乾，涂药三二次，必效。又治大人小儿两吻疮。

治夏月生痱子痒痛。

右用新水并雪水、柳青蒿汁，调蛤粉敷之。

治脚上生恶疮，亦治下疰。

右用鹿角，烧灰为末，入轻粉，油调涂疮上。经验良方同。

神应散：　治春夏间脚指入吴氏集验方脚指叉。湿烂，或妇人有此。

枯矾六钱　集验方三钱　黄丹半钱

右为末，乾掺，经夕便乾。

洗班沐浴方：

端午日午，收紫背浮萍，晒乾，汉防己，每用乾浮萍四两，汉防己五钱，浓煎，浴就将浮萍于患处热擦，如无防己，只用浮[2]亦妙，如此热洗三五次，其班即除。其药虽微小，其功甚大，不可小看。

藿药散：

人参　黄芪　甘草　藿香　粟壳醋制　芍药　当归　没乳　陈皮　川芎　麻黄各等分

右叉咀，水二盏，生姜三片，枣子一枚，煎至一盏，去滓温服，看病上下服。

救苦散：

粟壳制　当归　白芷各等分　痛加乳香煎

右叉咀，每服一两，水二盏，煎至八分，去滓，通口服，不拘时候。

臊梨疮。

右用慈竹上虫儿，不以多少，研用，牛尿[3]调搽，先洗剃去疮，后用。

治诸般疮肿，及打扑伤损骨折等证。

右用山薄荷，不以多少，为末，楮树汁调傅患处。无楮汁，水调湿敷用。

臁疮，用白胶香末，以腊酒瓶上蒻叶夹甲[4]药在内贴之。

治远年近日臁疮。

黄丹飞　轻粉　密陀僧　龙骨[5]　麝香少许

右为末，浆水洗[6]贴之。

又方：

轻粉二钱　黄蜡一两　猪胆二介

右溶化，油单纸贴。

又方：

黄蜡　京墨　轻粉少许

右溶化，用甲纸蘸药，如限十日，可用一十限[7]，上下换纸缚定，逐日换，上下替。

永类钤方

臁　疮

先用藨汁煎，温净经验良方净洗。拭乾，用葱涎调轻粉傅上。夏月取荷花片，阴乾，随疮口大小剪盖之，以帛。良方以帛扎定。如有脓水，以指擦从侧畔出。忌毒食，不半月除根。无藨汁，以水煎沸，入少醋。良方无藨汁，用水四碗煎沸，入醋半盏。

又累效经年不差，大黄、黄连、黄柏、赤芍、当归尾、芜荑、贯众、白芷为末，却研乌贼骨、龙骨、轻粉、国丹四味，清油熬，加头发一握、葱根，同熬一半，多用上药调搽，纸帛封拴之，作热痒，不可动，数日愈。

又于盐中拣如黑泥者，晒乾为末，乾糁。湿则水调涂。

又先用芦皮席烧灰，滤，滫水洗，乾却用药。

---

① 辨：袖珍方同。医部全录卷一百三十三面门单方作“瓣”。
② 浮：袖珍方此下有“萍”字。
③ 尿：袖珍方作“屎”。
④ 甲：袖珍方无此字。
⑤ 龙骨：袖珍方此下注有“各等分”三字。
⑥ 洗：袖珍方此下有“净疮口，干”四字。
⑦ 限：袖珍方作“张”。

又脚疮出汁如油，洗药：

赤芍、茵陈、荆芥、苍耳、薄荷、泽兰、葱根、防风、蛇床子、白芷等分，生用，水煎，温淋洗。散血仍用瓶斟洗，不用复水妙。并治妇人血风。

外肾疳疮

黄连末，浆水调为饼，摊于碗面上，别以碗盛艾及川山甲三片烧烟，以药碗覆之，熏黄连以黑色为度，地上出火毒，研细末，清油调涂，湿则糁之，先用黄柏、藿香、茵陈、蛇床子煎水洗。

又密陀僧为末，乾用津调傅，湿则糁之。

又用甘草节、白芷、五倍子煎汤洗，皆效。

又抱鸡子壳、黄连、轻粉、国丹熬油涂。

疮　疖

二乌膏：　消恶毒诸疮。

用川乌、草乌于瓦上，井花水磨，涂疮。如有口，涂四边，乾即加涂，以新水润之。单用草乌亦可，用醋磨。

神效杖疮恶疮膏：

黄丹二两，水飞　清油六两　白胶香四两　净黄连半两　槟榔六介　杏仁十个，生用

右如作膏法。一法加桃仁、乳香、没药，有损加白胶香。

杖疮，不问轻重，先逐寒邪，方治疮口，切不可与酒，则寒邪不散，生他证不能便愈。看老弱，先服香蔬散丸，有热服败毒散三四服，然后服十宣散除桂。疮上用水调膏，用绿豆粉、清油、白水各半调涂；住痛，用一黑散，赤龙鳞；煅存性，按即古松皮。退肿，用一黄散，蔚金四钱　赤石脂三钱　白芷二钱　天花粉三钱　肿甚加京芥。一云红内消，如不用白芷，加独活，并用茶调贴疮口，外留口。其他疮，如无热，酒调贴；如有脓，姜汁三分，茶清七分调。

杖疮，用乳香煎油调敷，疮口内外皆可用，仍加善应等膏药贴。肉溃烂，用生肉药挩[1]；或肿不消，用破血药，外以针刺；去瘀血，用一黄散敷贴。一黄散逐时调，不可[2]调下则不验。如臭，洗药中加藿香。或杖后被人施毒药，急烧百沸汤，候温，以芒帚梗五六寸二百茎，干净，一横一直，磊病臀上，用二人于病腿上压出瘀血，扛出，于熟冷水中净洗，至无血为度。忌毒食、行房，不净席卧，登厕薰触。或再杖后苦痛，只加乳没二药。

疮科通玄论

诸　疮

消风散：　治一切风热上攻，头面浮肿生疮，偏正风头风，并宜服之。

柴胡去苗　羌活　当归去芦头　防风去芦头　川芎　甘草各等分

右为粗末，每服三钱，水一大盏，生姜三片，煎至七分，去滓温服，食后临卧。经验秘方同。简奇方温服，食前。

黄耆丸：　治内虚，经寒髓冷，恶疮多时不较者。

黄耆一两，炒　附子四钱，炮去皮脐　经验秘方四两　兔丝子酒浸　茴香微炒　熟乾地黄各一两

右为细末，酒打糊为丸，如梧桐子大，每服三十丸，空心温酒送下。

黄耆汤：　治一切疮肿疼痛不止。

黄耆二两　经验秘方一两　当归一两，去芦　大黄半两　芍药半两　陈皮三钱　甘草三钱，炒

右为粗末，每服五钱，水一盏，生姜秘方姜三片。同煎至七分，滤去滓，温服，不拘

① 挩：普济方卷三百五杖疮门作“掺”。

② 不可：普济方卷三百五杖疮门作“下，早”。

时候。

追毒乌金散：　治疮内恶肉，追毒溃脓。

巴豆半两　寒食面三两　经验秘方、简奇方一两

右用水和面捏作饼子，将巴豆包定，休交透气，以文武火烧黑色为细末，量疮口乾贴之。

针头散：　治恶疮，追毒去死肉。

人言半钱　雄黄半钱　乳香二分　经验秘方、简奇方二钱　麝香少许

右为细末，每用少许，贴在疮上，膏药封之。

溃脓散：　治一切恶疮溃脓，活血去死肉。

白矾　盐各等分

右入铫内，慢火炒，去尽水，乾研为末，量疮贴之。经验秘方、简奇方同。

桃花散：　治一切恶疮经验，生肌活血，涂疮去风，大妙。

寒水石半斤，炭烧作粉　地骨皮半两　经验秘方、简奇方无　虎骨一两，去油　白芨半两　乌鱼骨一两　白蔹半两　白石脂半两　赤石脂半两　黄丹少许　龙骨一两

右为细末，量疮用之。

麝香轻粉散：　治血疳疮、阴蚀、疳蚀、臁疮、耳疳，一切恶疮，并皆治之。

轻粉半两　简奇方半钱　乳香一两　没药一两　经验秘方无　白矾飞过，一两　麝香半钱

右为细末，量疮乾贴之。

追毒散：　治一切恶疮，追毒去死肉。

巴豆半两，去皮　雄黄三钱　豆粉三钱

右为细末，量疮乾贴之。经验秘方、简奇方同。

消毒散：　治疮赤肿瘤，扫之大妙。

大黄　黄连各半两　经验秘方巴豆　地骨皮一两　朴硝三钱

右为细末，每服三五钱，水一盏，煎至七分，去滓冷服，鸡翎扫于疮肿处。简奇方同。

如圣膏：　治风疳疥癣，或痒或疼，经年不较者，及一切恶疮，并宜用之。

清油半斤　巴豆三钱，去皮　当归半两　轻粉一钱　黄蜡三两　简奇方三钱

右先将清油文武火熬，次下巴豆、当归，熬黑焦，又下轻粉、黄蜡溶开，冷定，盒子内盛顿，每用量疮大小搽之。经验秘方同。

神应膏：　治一切恶疮，消毒止痛，活血溃脓，去风生肌。又善治杖疮疼痛，贴之大妙。

好油三斤　桃枝　柳枝　槐枝各半斤　木鳖半两，去壳　乳香　没药各半两，另研　当归一两　黄丹一斤

右先将油慢火熬，续续下三枝，熬焦去不用枝，却下木鳖子、当归，焦不用，取出去了，将冷定，下黄丹、乳香、没药，用槐枝搅丹性死，再用慢火熬，不住手搅，休交溢了，煎至滴水中成珠不散者为度，用瓷器内盛之，施摊。经验秘方、简奇方同。

青金膏：　治走马牙疳蚀损腐烂。

信二钱　轻粉半钱　粉霜半钱　青黛二钱　麝香少许

右为细末，小油调，新笔写在帛纸上，阴乾，每用少许，上在疳蚀处，白纸封之。经验秘方、简奇方同。

洗毒散：　治一切恶疮，多时不较，风毒寒久冷，并宜洗之。

麻黄　地骨皮　蛇床子　地丁各等分

右为粗末，每用五钱，水一大盏，煎至七分，去滓，温洗。

铁罐膏：经验秘方洗毒散。　治一切恶疮内毒，此药止痛，追毒去死肉，并皆治之。

桑柴灰　荞麦秸灰　石灰一碗　石[1]灰少许　秘方无石炭

右用瓦罐子一个，底傍边钻空一眼，塞住，将前项灰填在罐内，用水注满，厚纸封固一伏时，用苇筒插在罐穴内，细细淋之，尽去其水，不用灰罐，将淋水于[2]于小锅内，慢火熬，用铁片续续搅之，休交[3]爆了，定

1　石：证治准绳疡医卷二作“炭”。
2　水于：证治准绳疡医卷二作“灰水”。
3　交：证治准绳疡医卷二作“教”。

觑稀稠，滴水中不散者为度，用铁罐子盛之，封定罐口。或有诸般恶疮，及肠风痔漏，并皆治之，临时量疮用度。

鸦啗散：经验秘方名鸦焰散。　专治鸦啗疳疮。

老鸦头一枚，烧灰，细研　轻粉半钱　黄丹半钱　枯白矾半钱　麝香少许

右为细末，先用温水洗净，量疮贴之。

乳香莶拨散：　治牙疼骨槽风。

天麻一钱　防风一钱　草乌一钱　莶拨一钱　细辛一钱　川乌一钱　乳香半钱　红豆一钱　荆芥穗一钱　没药半钱　官桂半钱　当归二钱　川芎二钱　盆硝一钱　薄荷二钱　经验秘方一钱　麝香少许

右为细末，每用一字，或半铜钱许，口噙温水，鼻内嗑之。

紫金散：　治诸般恶疮，追毒去死肉。

白矾二两　黄丹一两　硇砂三钱

右为细末，于铫子内一处，同炒去尽水为度，每用量疮贴之。经验秘方同。　烟霞圣效方治一切恶疮，溃死肉，追脓水，止痛生肌。白矾二两，熬开，入黄丹一两，搅枯乾为度　硇砂二钱　右件二味，同为细末，每上药少许。如去其死肉丁子，用桃花散生肌。

红玉饮子：　治疮气呕吐恶心不止。

乾胭脂半钱　绿豆粉三钱　经验秘方二钱

右研为细末，新汲水调下，只一服立止。

经验秘方

疮　肿

起肿五日之后自消。

苦葫芦去壳

右为泥，生面滴水为丸。

升麻塌肿汤：　治一切诸恶疮肿毒。

升麻　防风　细辛　黄耆　川芎　生地黄

右等分，为吆咀末，每用药二两，水二升，煎数沸，淋洗患处，冷时再温，热洗。

香粉散：　托里止痛，去虚热。

香粉

右研细和匀，每服三钱，新水调下，食前。

治冷疳疮，用蜗牛数个，揭去皮盖，填满黄丹，安在瓦上，周围炭火炙成灰，碾为细末，用绵缠唾湿蘸药，入于冷疳窟窍内。

耆老丹：　治诸疮。出疮科经义方，名化毒丸。

乳香　没药各半两　巴豆仁四十九介　泽州草乌头好醋浸三日，一两　海浮石醋蘸火煅七遍[1]

右为细末，浸药醋煮面为丸，桐子大，每服三五丸，量为大小加减[2]，冷酒送下。

治诸般恶疮黄矾丸：　出疮科经要方。

白矾不以多少，炼黄蜡和为丸，桐子大，每服四五十丸，温水或温酒送下，至一百丸。疮上食后，疮下食前服。

治风湿疼痛。韩安卿佥事亲经验方。

芸薹子　芥菜子　蚕沙已上各一盏　川山甲鳞七介，慢火炒异色

右同碾为细末，新汲水用银钗调均匀，摊于蚕连纸上，涂于痛处。如发热，以鸡翎扫，凉水救之，大有神效。

玉粉散：　治阴疮浸淫及不痊愈。

定粉　飞白粉外科精义白矾灰

右各等分，研细，洗浴净，淹敷乾贴。简奇方同。

回疮锭子：　治恶疮透了不痛无血者，用针深刺之，痛中有血者，用此锭子纴之，亦膏贴之。疔疮四畔刺，纴三日后，其丁自出。

草乌头一两　巴豆七个，去皮　麝香一字　蟾酥七糊米。已上为细末，糊作锭子

金银锭子：　治恶疮脓水不决，及多年

---

① 遍：外科精义此下有“一两”二字。

② 量为大小加减：外科精义作“食后”。

疳疮愈而再发者。

铜碌半两　硇砂　轻粉　白丁香各半两　龙脑　麝香各一字

右为细末，糊为锭子。

替针丸：　保生信效方。

雄雀粪十四介，直者是　硇砂半钱　陈坏米末一钱

右为细末，粳米粥为丸如粳米，每用一丸于疮头上，以膏贴之。

翠霞膏[1]：　治百杂恶疮，去毒生肌。

铜碌半两　轻粉二钱　片脑　麝香各半钱　霜粉[2]一字　滑石一两

右为细末，每用纸捻蘸药入疮中，药[3]贴之。

金黄散：　九嵕卫生方。消肿散毒，生肌止痛。

大黄　黄耆　黄芩去腐　黄连　黄柏　蔚金[4]　甘草半两　脑子半钱，别研

右为细末，入脑研匀，若治热丹赤肿，新水调扫，或蜜水调如糊，小纸花子贴之，大效。

消毒散：　治一切恶疮，生肌止痛，消毒散肿，及下疰臁疮，风湿疥癣等，油调涂之。

丹[5]一两　滑石一斤　黄柏二两　乳香半两　轻粉三钱

右为细末，每用乾掺，或汤火油调涂之。外科精义同。

黄龙膏：　治诸般恶疮，大效。

大黄　川郁金　川黄连　当归　黄柏　玄参已上各等分

右为细末，新水调敷，紧时加白芨、乾胭脂。

疮破作楚。

小麦半两　芝麻半两　白矾一两　伏龙土少许

右同为细末，油调敷之。

藤黄饮子：

黄耆　牛蒡子　防风去芦　川芎　赤芍药　大黄　薄荷叶　芒硝　麻黄　连翘已上各七钱半　石膏　黄芩　桔梗　白茯苓　生地黄已上各半两　山栀子　荆芥　白术　滑石已上各一两半　甘草　人参一钱　当归一钱

右㕮咀，作一服，用水一大盏，煎至一半，去滓温服，不拘时候。一二日者，一两消散，已破亦得早愈，煎至半碗，时洒酒数点服之。

五圣散：　治诸般恶疮。

大黄量病加减　生姜　甘草各五钱　瓜蒌二介，去皮　皂角针一两

右㕮咀，作一服，用好酒一大碗，煎至七分服之。如疽疔大疮，全作一服，其余减半可也。

千金散：　治一切恶疮。

药蛆草　乾姜各少许等分　黄丹少许

右乾姜炮赤色，同为细末，清油调敷，先用盐少许贴疮头上，次敷药，后用水调生面糊，纸花封之，时以水湿润纸花，勿使药乾。

搽疮药：

半夏　川乌头　草乌头

右三味，各一两，极好绿豆粉一两半，为末，新水调搽。

夺命丹：　治一切诸般恶疮。

巴豆　半夏　天南星　乳香各半钱　硇砂信实　黄丹已上各一字，一半为衣　麝香少许　花班猫八个，去翅

右件为细末，以蟾酥为丸，如米大，每服五丸，冷酒送下。疮在上食后，疮在下食前服。服药后，忌热饭一两时辰，温饭可食。如疮觉一日，服一丸，二日，服三丸，三日者，服三丸，四日者，服五丸，五日者，亦服五丸，五日后，反服如初，专记不服双丸。

复煎散：　治一切恶疮。

1　膏：外科精义作“散”。
2　霜粉：外科精义作“粉霜”。
3　药：外科精义作“以膏”。
4　蔚金：外科精义此下注有“各一两”三字。
5　丹：外科精义作“黄丹”。

羌活一钱半　独活半钱　防风身半钱　藁本一钱半　黄芩一钱半　黄连半钱　黄柏一钱半　知母一钱　生地黄一钱　桔梗　汉防己半钱。已上俱用酒洗　防风梢半钱　当归三钱　连翘三钱　黄耆一钱半　人参梢半钱　陈皮半钱　人参身半钱　生甘草身一钱　甘草梢半钱　苏木半钱　当归梢半钱　泽泻七分

右㕮咀，水一碗，煎至七分，洒酒十余点，去滓，临卧服之，大有神验。存滓再煎服之，乃为复煎获也。但凡疮，必先服复煎散一服，后止服千金内托散，大有效。文卿亲验。

万转膏：　治远年日近臁疮。

右用车头轴辖与水飞黄丹相合，贴于患所，比及上药，先洗疮净。

臁疮方：

黄丹飞过出火气　樟脑各等分。细末　碾舡油灰

右将油灰调药合匀，更以鸡爪黄连煎，油纸阴乾夹药用。

又方：

右用徒行常裹用肉，每用七叶于疮上，则用绢帛拴住，每日去一叶，七日愈。

治恶疮。

绿豆粉五两　乳香四两

右同合新水调服。

又方：　用公鲫鱼破开背白肢或三二十个浆满衣细大粪周[1]，线缝合口儿，黄泥故积，文武火热一伏时，烧做灰，取了黄泥，研为末，用夹纸布袋盛了，去有风处吊挂。好小油用银器内烧炼，将妇人油头发多计，逐旋将油头发缠在槐条上下，在油内搅，炼油为墨色为度，取出，磁瓶盛顿。或脊疽、脑疽如疮大，用地骨皮熬汤，洗疮口净，用无糙帛淹乾，将鱼灰用已前治度小油调和稀稠得所，用鸡翅翎扫在疮上，立效。

拔毒膏：　治恶疮。戴仲明经验，大效。

后阴槐条作短截炒胡　紫花地丁炒胡　白矾飞过　硝飞过　粟米粉炒胡　盐飞过

右各等分两，共为细末，新水调之，用鸡翎敷于疮上，却用碎纸帖儿封于药上，大有神效。泰安州师家止此一方。

麝香散：彰德梁国英御史家传秘方。　治牙疳，消肿去毒，生肌敛肉。

细腻荞面三两　青盐一两

右水和荞面裹青盐，以文武火烧透断烟，捣罗为细末，麝香、轻粉少许，温水洗漱洁净，将药于疳口乾贴，忌食诸物肉菜湿面，大有神效，可秘藏也，盖屡经验。

治诸恶疮。恶疮，以壁分儿三四个研细，好温酒送下，患在上，食后；患在下，食前。壁分儿即蝎虎儿。

万灵丹：　治一切恶疮。董仲祥金虎得之关千户。

轻粉一两　血竭一钱　麝香一钱　蜈蚣一对　龙脑半钱　蟾酥一钱　硇砂一钱

右为细末，生蜜为剂，于疮顶用针刺破，入药一豆大，以纸花贴之。背疮走胗，于正顶上贴药，及于走胗头上黑紫处亦贴药，一日一易。

治臁疮，用乾柿口嚼细贴。

万金丸：　治恶疮。史丞相广济军襄阳常用。

海浮石一两，醋淬七次，余醋另放　草乌头一两，醋浸，炮裂　芭豆四十九粒，去皮生用，另研　乳香　没药各半两，另研

右为细末，用前余醋打糊和丸，如豌豆大，每服七丸或九丸，冷酒下，食前服。忌食热物半日，取快利二三行，或吐出恶病为效。

治臁疮久不痊可，立效。

老滴青三两，至黄色，细末　嫩滴青一两，炒烧化入水，空乾为末　乳香四两重，同黄丹研　赤石脂四钱　黄丹二钱，先炒黑色，入蚌粉搅匀，入乳香同炒，不久便出，摊冷为细末　无名异四钱　轻粉少许，不要入筛　龙骨二钱，不要入筛罗　蚌粉二钱，同黄丹炒　土朱少许　血竭一钱，不要入筛罗　海飘肖即乌贼脊，一钱

1　用公鲫鱼破开背白肢或三二十个浆满衣细大粪周：此段文意不明，疑有错讹，待考。

右十[1]味为细末，看疮大小，用黑伞纸或旧辽叶，香油调和药，将辽叶针刺遍好筛子抵，将药摊上，却将叶子用麻遍线缝合，用无糙绢帛拴住，每日用凉水洗一遍，一膏药可效。

治辽叶法：

臭泥沟浸七日取出，再于男子小便内浸七日，收讫，旋摊药，用叶儿光面著疮口，涩面摊药。

黄龙膏： 治头癞、诸般恶疮，年久不愈，并皆治之，大效。

香油一斤 白胶香一斤 黄丹二两 黄柏末四两 白矾枯者二两 真轻粉一两 斑猫四十九介，去头足翅 巴豆去壳，四十九介

右用香油，先煮斑猫、巴豆黄色，去滓，入黄丹搅匀，略不见红色方入白胶香，消尽却入白矾、黄柏皮末并轻粉，倾入磁器内贮之。如有头疮者，先用浆水洗净，将此药搽擦头上，不拘时。如睡时恐污衣被，可将单纸护之。如身上生疮，加轻粉为度。如小儿新剃头发出疮时，可用匾柏叶捣烂如蜜，调搽于头上，过一日后，用浆水洗了，然后搽药。

治下疳立效散：

右灯草灰，入轻粉、麝香少许，乾贴。

诸疮。

右用腊月里的腊猪脂熬至半茶盏，入葱半盏，一处捣烂如泥，却入水银一蛤朴[2]再捣，不见水银星儿为度，搽诸疮大效。

治诸般肿患，孟县尹传方。用槐花一两重，文武火炒得七分熟，胡桃二斤，烧过，与槐花一处研为细末，罗过，好酒调送，每服三钱重。如病在上，食后服；病在下，食前服之。

敛疮香连散：

木香 黄连 槟榔

右各等分两，同为末，乾则油调抹上，湿则乾糁。如要敛得速，加少许五倍子末。

头上疮，真定李称传。受拜平胃散末一帖，加轻粉一帖，黄丹、沿[3]粉少许，香油调抹。

治肿毒。

木鳖子三介，去油为末 山药五寸，去皮擂烂

右和匀，于肿毒处敷四围，空顶。

治诸疮肿毒，廉访司陈经历经验。猪脑子、朴硝同和，搽于患所即愈。

乳香黄耆散： 治一切恶疮痈疽，发背丁疮，疼痛不可忍者，或疮气入腹，神昏不省，呕吐者，或未成者速散，已成者速溃败脓，不假针刀砭痛，其恶肉自下。治打扑损筋骨疼痛，或妇人产后腹痛，恶物不下，并宜服之。

黄耆 当归 川芎 甘草 赤芍药 陈皮 麻黄各一两 人参五钱 粟壳去顶蒂穰，二两，蜜炙 没药 乳香各五钱

右咬咀细末，每服三四钱，水一大盏，煎至七分，去滓温服。疮在上食后，在下食前。滓再煎。

治疳疮，先以葱煎水洗净，彩帛抹乾，用栀子一枚，去了顶并肉，以轻粉满妆，炭火上烧灰，细碾为末，糁于疮上即愈。

臁疮，远年近日，用之立效。黄连为细末，不以多少，用水调涂碗内，先用火烧皂角烟熏药，盖之地上，熏毕，取出黄连末，却用温浆水洗疮令净，如疮湿，乾糁之，乾则用好香油调涂患处。

臁疮，隔年葱根捣烂，和黄连末傅患处，神妙。

治驴涎马汗入疮。远志去心为末，用酒调涂。经验良方同。又头垢和壁土贴。又乌梅肉、白梅肉、黄丹等分为末，以唾调涂。又饮淡豆豉汁一碗。又乾冬瓜皮烧灰，净洗疮口，擦药入内。

内消散： 治一切毒疮。

乳香一两，将乳钵顿水中，乾研极细，再用绿豆粉四两同研，每服一钱，新汲水调

① 十：按所列药味应作“十二”。
② 朴：按文义疑作“壳”。
③ 沿：按文义疑作“铅”。

下，水不必多，欲药在胸膈，疮即内消，血从大便出。简奇方同。

治水衡疮，用白矾置在栀子壳内，入火中烧之，烧讫，同栀子壳为末，涂疮上，仍先用水洗疮上。急救仙方同。

五圣散：　治一切恶疮，觉初发，散服为妙。

大黄　甘草　生姜　皂角针各一两　苡蒌一两，大者一个

右为粗末，好酒一碗，煎至七分，去滓，临卧服，五更再服，过动三五行。

治头面诸疮，台经历教化传。乌鸡脚烧作灰，湿乾糁，乾则油调涂。

诸般恶疮肿毒。卢宣使方。

右用旱莲草洗净，用盐捣，贴于疮上即愈。

治臁疮久不愈。

乾猪粪半两，烧存性　槟榔半两　龙骨二钱半　轻粉少许　乳香　没药各一钱

右为细末，先以烧盐汤洗疮软熟，绢帛拭乾，清油调傅，湿则乾涂。

□□膏[1]：　治内外臁疮。

当归　白芷　五倍子　黄连　雄黄　乳香　没药　海螵蛸　血竭　黄柏　白蔹　白芨　厚朴各半两　黄丹六钱　乳香二钱半[2]，别研　轻粉木合三盏

右为细末，和乳香、轻粉，清油调成膏，用油单纸贴药傅疮上，绢帛缚定了，有脓水出，解开刮去不洁，再贴药，如此数次即愈。须先用烧盐汤洗净，片帛拭乾，待片时水气乾，然后贴药。

又方：　并先用薄铁器盛盐一撮，火上焙过，热汤浸起澄清，温洗[3]净，拭令乾，用药贴湿[4]乾掺疮上，用大马蚁空窠煅为末，清油调涂。

又方：　多年水中舱船石灰为末，掺之即安。

又方：　鸡膣内[5]黄皮焙乾为末，清油调涂。

又方：　阴地上青苔草焙乾为末，清油调涂。

又方：　用煮酒坛头上乾泥土研极细，麻油调成膏子，再用煮酒坛头蒻叶，量疮口大小样剪二片，将一片蒻叶背摊药，不令药出，蒻外再将一片合之，以蒻叶光面贴在疮上，用帛裹扎定，尽脓水流出，三两日一换，即生石榴肉。须忌口为妙。

狗脊膏子：　治臁疮。

用商黄柏、黑狗脊生用，各一两，为末，口含浆水洗之，口嚼杏仁调药，摊疮上，纸贴，绢帛固之，五七日一换，痒痛不可动，直至连换三次可效。

平瘀散：　治冻疮白秃。

黄柏皮　九节黄连

右等分为末，冻疮，以芸薹煎汤，候温洗令净，软绢拭乾，乌鸡子清调傅；白秃，用甘草汤洗，麻油调服。吴氏集验方同。

下　部　疮

治玉茎上生疮臭烂者。

猪脬一个，连尿，去一半，留一半

右用新砖两口，炭火煅新砖，将猪胞连尿于砖上焙乾，不住手一向移放于两口砖上，轮流不歇，莫与火煅过胞，以尿乾为度，研为末，入黄丹一钱，先用葱汤以鹅毛抹洗，

① □□膏：普济方卷二百七十六诸疮肿门引经验良方作“膈臁膏”。方中乳香重出。

② 二钱半：普济方卷二百七十六诸疮肿门引经验良方作“三钱”。

③ 洗：普济方卷二百七十六诸疮肿门引经验良方此下有“疮”字。

④ 贴湿：普济方卷二百七十六诸疮肿门引经验良方无此二字。

⑤ 膣内：普济方卷二百七十六诸疮肿门引经验良方作“肫”。

以旧绢帛渗乾，以此药渗[1]三五次见效。

治水[2]茎上生疮，不乾见骨者。

大黄三钱，烧灰存性　黄柏二钱，烧存性　轻粉少许　久年壁土东向者，一钱

右先用温热水洗净血水，以绵帛拭乾，然后用药乾掺。切忌房室。

黄柏散：　治搭裆。

右先用熟温水洗过搭痛处，却用黄柏皮末一钱和匀，新米泔调涂。或用新米泔调黄柏皮末，服三五服。

又方：　用嫩枫叶挪烂，擦之立愈。

又方：　用老鸦酸草，又名酸毒草，挪烂搭擦，以冷水洗去。

治搭裆，用马屁勃，即灰菰，寻常采收，如有此疾，先用温水或冷水轻轻洗净，以菰为末，掺患处。如新菰，不必为末，将菰擦患处。

黄柏[3]散：　治近谷道四畔时复生泡，痒而生痛，无非风毒流行，去风乾水足矣。

黄柏皮　黄连去须　白矾煅过　白蛇皮烧灰。各等分

右为细末，重筛，入麝香、腊茶末各少许和匀，津唾调涂。遇痒，爪破水出即涂，如水多，即乾渗。

千金托里散：　治一切恶疮。

黄芪七钱半　厚朴一两，去皮，姜制　桔梗一两　防风一两，去芦　香白芷　芍药　甘草　川芎各半两　当归　桂各二钱，或五钱　连翘六钱　人参去芦，三钱　木香　乳香　没药各一钱半

右为细末，每服三钱，酒一大盏，煎三五沸，和滓服。

诸般疮疾

治诸般恶疮，因针开了口，后又闭合，生脓胀痛不可忍，用此药捻成定，小麦子大，入放疮口中，永不闭，脓水自出，疮自乾好，即追毒饼子：

极等好信半钱　雄黄　雌黄　朱砂各一钱　轻粉少许

右研为细末，用糯米糊为丸，如麦子大，如疮口闭合生脓，却将定甲许入在疮口中，定子既入，仍将膏药贴之，一日过，丁子自出，或不出，脓疮乾好，如神。

治皮肤热生疮及皮热。

苦参　地龙去土

右等分为末，醋糊丸，每服三十丸，空心酒下，温浆下亦可。

乡中蒋友山传，男女走马疳疮生于口上、牙床等处。

右用大天南星一个，剜去心，却以通明雄黄一粒入南星内，仍以剜下南星片掩了，以面裹煨，以拆为度，为细末，乾用清油调涂，湿乾搽，三日全愈。

治疮疡诸热毒疱疮、软疖及聤耳。

右用风化石灰，不以多少，鸡子清拌匀，和作弹子大，日乾，火煅研为细末，凡疮疖初结，清油调傅，已破乾掺。若聤耳，令患者侧卧，以患耳向上掺药，以乾为度。次日，患者以爪爬去耳内药，再用药末掺，不过二三次退愈。

石灰散：　治疮肿软疖，立效。

乾姜　石灰等分

右烂捣，入清油相和，捏作饼子，罨在疮肿上。

又方：　沥清不以多少，瓦铫中火溶带性，碾为细末，用天南星磨水，调药末涂疮，立效。

治下部注疮。

右宣连为细末，浆水调成饼，摊于碗面上，碗内用艾及川山甲三片烧烟，薰成黑色再取下，如是者五次，以黄连饼黑色为度，地上出烟毒，再研极细，湿乾涂，乾清油调涂，三四次安，仍先用黄柏、麝香、茵陈煎汤温洗。

治面上黑黯及风疮。

---

① 渗：普济方卷三百一下部疮门作“揉”。
② 水：普济方卷三百一下部疮门作“玉”。
③ 柏：普济方卷三百一下部疮门作“白”。

黑牵牛半斤　甘松　香附子各四两

右为油[1]末作面药，日逐[2]洗之。

治驴涎马汗入疮，白矾二钱飞过，黄丹三钱炒紫色，为末，涂患处。如乾，油调涂。

洗诸般恶疮，乌桕叶、冬无用根。贴壁草、椒叶。无叶用根，野椒亦可。

洗疳疮，用甘草节、香白芷、五倍子。

洗风损脚及疮等，用石楠叶、马鞭草、贴壁草。

生肌敛疮口，用木香、槟榔、黄连、洗去须。白及，各为细末，傅疮即合。

治人向火生火斑成疮有汗，用黄柏皮、薄荷为末，渗之即愈。

医林方

疮　肿

乳香定痛散：　治一切肿疼不止。

御米壳七两　乌白芷三两　甘草二两

右为粗末，每服三钱，水一盏，入乳香一钱同煎，去滓温服。

乳香没药膏：　治诸肿痛。

小油一斤　黄丹六两　木鳖子半两　杏仁半两　巴豆半两　当归半两　没药二钱半　乳香二钱　雄黄半钱　黄蜡半两

右件木鳖子为片子，同巴豆、杏仁油内浸日，与药同熬焦为用，取出巴豆三味药滓，后入黄丹熬，令滴水不散，乳香、没药、当归末、雄黄冷调之。

治下疰脚肿腿痛。

红曲　当归　地龙　木瓜各等分

右为细末，面糊为丸，如桐子大，每服三十丸，食前，煎羊血汤送下。

鬼代散：　治杖疮打著不疼。

地龙去土，炒

右为细末，每服三钱，温酒调下，后吃黄蜡为丸，如桐子大，每服三十丸，细嚼，温酒一盏，手握生葱白三五根，临决时吃了生葱后，打不疼。

杖疮药：

乳香三钱　没药三钱　茴香四钱　当归半两　自然铜火烧醋蘸七遍

右为细末，每服五钱，温酒调下，立效。

烟霞圣效方

疮　肿

黄金散：　治时气黄起，解心经内热。

黄柏不以多少

右一味为细末，用蜜水调，每服两字。

乳香定痛散：　能止诸疮疼痛，及治一切诸痛。

御米壳二两，去顶蒂　拣甘草八钱　麻黄一两二钱，去节

右件同为细末，每服三钱，生姜半两，擦磨成姜汁一盏，先滚二沸，下药，再滚三二沸，放温服之，如痛止为度，未止再服。

青金散：

寒水石　白矾枯　铜碌　轻粉已上各二钱　麝香少许

右为细末，每用不以多少，先竹针刺破，上贴药，其丁自出，大有神验。

桃花散：　治一切疮口不收，生肌止痛。

腻滑石四两　赤石脂一钱

右件为细末，入黄丹少许，如桃花色，每日上药一遍，上用膏药贴之。

托里散：　治一切恶疮，疽痈发背。此

---

① 油：普济方卷五十二面门无此字。

② 日逐：普济方卷五十二面门作“逐日”。

药能令未成者速散，已成者溃败，脓自出，无用手挤，恶肉自去，不假刀砭，其病有不可者，君子服之顿止。

人参　当归　黄耆各一两　川芎　防风厚朴制　桔梗　白芷　甘草　桂各半两

右件药味，专精择净秤之，同为细末，每服三五钱，热酒内服之，以多饮酒者为佳，不能饮者，煎木香汤代之，然不若酒也。治痔瘘，空心服之三四钱，四十九日愈，验。

太白膏：　治恶疮。

寒水石不以多少，炭火烧

右为细末，用腊月内猪脂调成膏子，发背赤热甚者，随疮及赤肿大小，薄纸摊贴，用木鳖散亦得。

百花拔毒散：

黄柏三两，用蜜炙三两遍　草乌头半两

右同为细末，用津唾调摊在碎纸花上敷贴。

生肌定子：　溃死肉，并治瘘疮。

巴豆十介，去皮油，成霜　杏仁十介，去皮油，成霜　乳香一钱

右件为末，用新饭尖和为定子，如鼠粪大小，量疮势大小下定子，直候粉红脓下为效。

乳香生肌散：

寒水石五两，烧通赤，为粉　龙骨　虎骨　乌鱼骨　乳香各等分

右件为细末，疮上掺药，万应膏盖。

乳香善应托里散：　治一切恶疮，疼痛不可忍者。

麻黄去根节　当归去芦头　川芎　甘草炮　陈皮水浸去白。已上各一两　乳香　没药　红芍药　黄耆已上各半两　御米壳二两，去蒂，微炮

右件为粗末，每服重五钱，水一大盏，煎至五分，绢柦去，去滓温服，病上食后，病下食前。如头疼，加石膏；呕逆，加丁香；大便不通，加大黄；泻痢，生姜、枣同煎。

连翘托里散：　治四十以下壮实之人多患苦疮，宜服药。大小便不通，肿气曾溢，疼痛不可忍皆治之。

连翘半两　川大黄三两　母蛎一两，炮　甘草半两，炙　山栀子半两　独活半两　黄耆半两　金银花半两，拣净

右件为粗末，每服秤半两，水一大盏，煎至七分，去滓冷服，以利为度，量虚实加减。

大圣丸：　消肿定疼，过疮气，托里药。

巴豆一两，去皮，研为泥　白面四两

右同研匀，滴水为丸，如桐子大，微乾，用麸炒，火上浮为度，每服三五丸，冷水送下，食后。忌热物食之。

龙脑散：　治一切疳漏恶疮。

寒水石半两　胆矾一钱　朱砂一钱　乌鱼骨二钱　龙骨二钱　密陀僧三钱　麝香少许　乳香一钱　脑子少许　黄丹一钱，飞

右为细末，淡浆水洗过，淹乾上药，效。

乳香追毒丸：　止恶疮痛。施圆端效方追恶回疮，止痛，活血去脓。

巴豆去皮，一钱　白矾一钱　端效方白面　东丹一字　端效方黄丹

右研为匀，滴水和成，捶千余下，丸作定子，量大小上端效方作纰。之，　次以膏药覆之。

宣毒丸：　治一切疮肿未成脓者，三二服，消散恶毒，并治时疫瘟毒，又治赤眼肿痛。

大黄一两　白僵蚕一两，炒黄色　母蛎一两，烧

右三味同为细末，炼蜜为丸，如弹子大，每服一丸，细嚼，新水送下，已利为效，不计时候。

托里药：　治一切恶疮。

紫草根二两　地骨皮半两

右为细末，都作一服。

治诸疳疮。

枯白矾半两　轻粉半钱　黄丹火飞，少许　麝香少许

右为细末，用宿饭饼，就为饼子，背荫荫乾，如用药时，竹刀刮末贴之。

如圣救苦散：　托里一切恶疮，又解诸痛，及赤白泻痢，咳嗽脓血，并皆治之。

金银花二两　香附子二两，去须　御米壳二两，去蒂隔　甘草二两　黑豆黄一两

右件生为细末，每服五七钱，水半碗，煎三五沸，微温服之。如患恶疮，量虚实老幼加减，大黄少许用之。

诸 疮 门五

寿亲养老书

治上焦风热毒疮肿黄耆散，并治发背热毒。

黄耆二两　防风一两半　甘草一两，炙

右为末，如茶贴①服一钱。

施圆端效方

疮　疡

追毒信效丸：　治诸恶疮疽，肿毒闷痛，活血回疮。武安杜巨川方。

明信砒　铅丹各半钱　绿豆粉一钱

右研，化蜡一钱一字，油五点，为丸如大麦大，纴疮内，先用温浆水洗了纴药，后上白玉膏。寒水石焙作粉便是也。

黄龙散：　治湿疳疮癣，黄汁浸淫，色如香瓣。段师方。

黄柏　龙骨　赤石脂各一两

右为细末，好油调扫疮，或乾贴之。

朱粉散：　治诸疳恶疮，多时不较。范师方。

诃子核一两　枯白矾半两　黄丹二钱，炒

右为极细末，先用温浆水澡了，上之效。

夺命散：　治诸恶疮疽，毒气传内，呕逆溃乱，神昏不省。乐德全方。

川大黄一两　牡蛎烧，半两　龙脑服时用一字

右为细末，每服三钱，好酒三盏，煎至二盏，放冷，入片白脑子半字，分三次服，以利为度。

佛手散：　治湿疳疮癣，痒痛皮烂。

黄丹炒黄，二钱　豆粉炒黄，二两

右研匀，清油调扫疮上，后掺如圣散。

如圣散：

石膏　黄芩去皮心。各一两

右为极细末，乾掺之疮上，以覆佛手散。

圣应膏：　治诸肿恶疮疽，肿毒疼闷。

槐枝一茎　巴豆仁二个　木鳖子仁二个　当归一钱

右用好油三两半，下铫内煮十沸，去滓不用，却下黄丹一两半，慢火上炼，以铁冷试之，硬软合宜，盛磁器内旋摊。

雄黄散：　治恶疮，追死肉，活血回毒。

明雄黄　明信砒各半两

右研细令匀，量疮上药少许。

活血散：　治恶疮死肉磁硬。

右用苦葶苈为细末，好油调匀，扫死肉上，血活自软。

虎骨散：　敛疮。

乌鱼骨　龙骨　虎骨炙　天灵盖烧。各等分

右为细末，乾贴疮上。

麝香散：　治下阴疳疮。

右用乾瓦一口，铺黄丹一钱，上铺白矾一两，枯尽，为细末，研入麝香、腻粉少许，同研匀，先用葱白浆水洗了，上之甚妙。

青金散：　治走马恶证，牙疳蚀损，唇舌肉腐，牙落臭烂，其效如神，世不可阙。乐德全方。

① 贴：寿亲养老新书作“点”。

信砒　铜碌各一两

右研为细末，摊捻上涂疳蚀处。

金针散：　治一切恶疮，去毒生肌。乐德全方。

全蜈蚣一对　胆矾一钱　铜碌半钱　麝香　腻粉各半字

右研细，每用三针，关红疮内，日用一二次。

玄胡散：　治疮肿无闷痛。王库使方。

右用玄胡索二个，为细末，热酒调下。

又方：　用蛾管茧二个，烧存性为末，热酒调下。

桃花散：　治下疳疮。传州陈君瑞方。

青蛤粉一两　黄丹炒，二钱

右为细末，乾贴之，立效。

内托黄耆散：　江淮间治诸疮证。

黄耆　连翘　葛根　甘草等分

右为细末，每服三钱，水一盏半，煎至六分，去滓，食前温服。

生肌敛疮方：乐德全方。

右用白附子为细末，急壅贴伤破处，定血敛疮。

桃红散：　收敛一切疮，恶疮、杖疮迟瘥。

粟米粉一两，炒黄　铅丹三钱，炒

右研匀，乾贴之。

乳香散：　治一切恶疮，毒气痛闷。朝城李道祥方。

乳香　石膏　半夏各半两　腻粉少许

右为细末，乾贴疮口上，次用太一膏覆之。

太一膏：　治恶疮。朝城李道祥方。

桂枝　玄参　白芷　大黄　广茂　生地黄　芍药　当归各二两

右锉碎，清油一斤，同熬黄焦色，滤去滓净，入丹半斤，慢火熬成，滴在水中如珠子，盛磁器内收，旋摊。

僧铅散：　治下阴疳疮。洱川张君玉方。

密陀僧半两　甘草炒焦，一分　黄丹一钱，炒

麝香一分

右为细末，乾贴，或油调上，大有效。

玉粉散：　治下阴疮疼不止。

寒水石烧　密陀僧　滑石各半两　腻粉　麝香各少许

右为细末，油调或乾贴。

没药散：　治杖疮。洱川武孔曰方。

乾胭脂　乳香　没药　轻粉

右同研极细，淡洗了，少掺疮上。

乳香膏：　拔毒消肿疼杖疮方。一方加乳香尤妙。

大黄　黄连　黄芩　黄柏　黄丹各半两

右为细末，新水调成膏，摊红帛上，涂疮四傍。

水调膏：　治一切恶疮，肿毒痛疼。

黄连　黄柏　黄芩　郁金　大黄　栀子　白芥子　乌鱼骨　地龙　白僵蚕　密陀僧　白芨各一两　寒食面二两　木鳖仁　盆硝各半两

右为细末，新甜水调如膏，摊江箔纸上，贴疮上，痛疼立止。发背恶疮，大者一日一换，五日大效。黄水尽自瘥，勿疑。

胜金膏：　治恶疮疼肿恶疖。臻和尚方。

川山甲一两　白胶香　当归切　没药　乳香　血竭各半两。研　南星　黄柏各一两半。炒　黄丹一斤　清油二斤半　木鳖二两，捶碎　赤芍药三两半　青柳枝四指长，十茎

右将七味与油，以文武火熬，候柳枝黑色住火，绵滤去滓，滴水中不散，入后五味，搅令匀，候冷，丸弹子大，油纸裹，盛磁器内收。

黄连散：　治下部阴湿疳疮，神效。宝池赵校尉方。

黄连　黄柏各半两　轻粉炒，二两　枯矾　黄丹各一两

右为细末，浆水葱白汤淡洗了，乾贴之。

麝香散：　治急疳恶蚀肉损。乐德全方。

枯白矾二两　黄丹一钱半，炒　麝香一字

右为细末，研匀，乾擦牙疳处，频上。

玉粉锭儿：　治牙疳蚀损，宣烂臭恶。

潞州李子良方。

定粉二钱　信一字

右研匀细，煮白面脐膏，冷淘了剂为锭子如线，荫乾，用黄米许贴疳处，后用麝香散治之。

麝香散：

黄连二钱　铜碌一钱　麝香少许

右为细末，贴疳蚀处，盖前药。

麝香锭子：　治急疳，牙龈腐烂恶肉，血臭牙落。朝城李道祥方。

信砒　青黛　粉霜各二钱　铜碌　雄黄各一钱　轻粉一字

右研细，煮面脐膏，冷剂为定子如线，先绵拭去恶血净，食后，用米许上蚀处，神效。

雄碌散：　治恶牙疳蚀腐臭。苑师方。

雄黄　铜碌各半两。一方加五倍子半两，麝香一字

研匀，荆芥水洗漱涤净，上之。

麝胆散：　治走马牙疳急恶候。洱川张君玉方。

铜碌半两　生白矾一分　胆矾一钱　麝香少许

右为细末，研匀，匀上牙蚀处。

牡蛎散：　治男女阴汗，湿冷痒疾。普济方。

牡蛎烧　蛇床子　川乌　良姜　兔丝子各半两

右为细末，用药三钱，白面一钱，酒醋热调匀，涤洗浴之，或涂外肾，帛包尤妙。

胜疳散：　治一切下阴疳疮等。必效方。

黄柏去浮　黄连拣净　诃子去核　密陀僧各三钱　轻粉　人中白　麝香各半字

右为细末，研匀，用温浆水洗疮了，乾贴，或油润了贴亦得。

吴氏集验方

神应膏：　治疮肿。

麻油四两　巴豆十四粒，连皮不令破　木鳖七个，连皮不令破　妇人头发如枣大

右慢火熬，候巴豆、木鳖焦黑，取去不用，却入黄丹二两，不住手用柳枝搅，候黑色，不住手，滴水中成珠子方住，瓷瓶收。

神功散：　治臁疮。

用大活鲫鱼一个，略破肚开，去肠脏，白纸揩尽血，入白矾填满，使布线缝口，再使麻枝扎定，文武火煅成炭存性，乳为末，入轻粉少许，麻油调傅，先以葱椒汤洗净揩乾，却傅药。

莹肌丸：　治顽疮。

乌梢蛇一条，剑脊者，须头尾全，锉二寸段，酒浸一伏时，去皮骨，用肉，烘乾细切　川乌头一只，重一两者，不去皮尖，作骰子块，以盐炒川乌黄色为度，去盐，只用川乌　荆芥穗半两，焙乾，切　赤土二钱半

右为末，用浸蛇酒打糊，丸如桐子大，温酒日三服，茶清亦得，空心。月日之后，肌肤莹然。

黑香散：　治顽疮。

青州枣不拘多少，去核，以轻粉实其中，用布线缚定，瓦衬煅为炭，盏合出火气，研极细末，轻粉、麻油调傅。

清肤散：　治恶疮脓出，痒不止。

汗螺壳十个，即田中白螺壳　炉甘石二两　黄丹一钱

右三味为细末，用新瓦上略煅过，以好纸一幅铺在地上，将药去火性，再箩过，用轻粉五百省合和用，先煎葱椒盐熟，汤冷了洗疮十分净，糁药上，生肌。

神效名方

疮　　疡

治蝼蛄疮。

良姜　白芨　力青已上各等分

右为细末，嚼芝麻水同熬为膏，入冷水共卫生易简方作凝。定，用绯绢一片，火熨斗作膏药贴疮上。

又方：

千年石灰　茜根烧灰

右同为末，用小油调，鸡翎涂上。卫生易简方同。

水沉金丝膏：　贴一切恶疮。

力青、白胶已上各一两，春秋宜用油，卫生易简方用油蜡三钱。夏宜油蜡二钱半，冬宜用油蜡四钱。

右件熔开油蜡，下力青、白胶，用槐枝搅匀，绵子滤过，入冷水中，扯易简方手扯。一千余遍，如疮透了，吃数丸，作剂于疮口，嗔者亦妙，摊纸上贴，勿令火炙。

乳香散：　治下疳。

乳香　没药　轻粉　黄丹　龙骨　乌鱼骨　黄连　黄芩　铜碌已上各等分　麝香少许

右为细末，先以温浆水洗过，贴疳疮上。

二圣散：　治诸疮肿。

淄丹二两　白凡二两，飞，各半两①

右为细末，每用乾掺疮口上，后用保生锭子捏作饼子贴之。

保生锭子：

巴豆四十九介，另研，文武火烧熟　金脚信二钱　雄黄三钱　轻粉半匣　硇砂二钱　麝香二钱

右件为末，用黄蜡一两半化开药，将和成锭子，冷水浸少时取出，旋捏作饼子，如钱眼大，将疮头拨破，每用贴一饼子，次用神圣膏药封贴，然后服托里散。若疮气透里危者，服破棺散丹、神圣膏。

神圣膏药：　贴治一切恶疮。

当归半两　没药三钱　白芨二钱半　乳香三钱　藁本半两　琥珀二钱半　淄丹四两　木鳖子五介，去皮　胆凡一钱　粉霜一钱　黄蜡二两　白胶三两　巴豆二十五介，去皮　槐柳枝一百二十条，各长一把　清油一斤

右件一处，先将槐柳枝下油内煮焦取出，次后下其余药物，煮得极焦亦捞出，却将油澄清，再熬成膏子，用绯绢上摊。

破棺丹：

大黄一两半　甘草二两　荆三棱一两半　山栀子二两半　牵牛末三两

右为细末，炼蜜如[2]丸，如弹子大，每服半丸，食后，半盏研化服之。忌冷水。

三圣散：　治臁疮、疔疮，搭手背疽之等疮。

葱白一斤　马苋一斤　石灰一斤

右三味，湿捣为团，阴乾，为细末，贴疮。如有死肉，更宜先用溃死肉药。

溃死肉药方：

炊饭尖半两，各三等　一等半两入巴豆二个，一等半两入巴豆三个，一等半两入巴豆五个各捻作白挺子。

右先用二巴豆内疮，如不溃，再用内三巴豆，又不溃，用五巴豆者，更用丹砂炒红色掺疮口，追出青水，其恶肉未尽，至追出赤水，是恶肉尽，更用三圣散贴上，用膏药傅之。

治臁疮久不愈者，以川乌头、黄柏各等分为末，用唾津调涂纸上贴之。

治一切恶疮方：寿域神方治诸般恶疮、发背、发脑、发鬓、发髭、丁疮、鱼脐疮，一切肿毒，并皆治之。

以天茄叶贴之，或为细末贴之亦妙。卫生易简方同。

又方：　用臈月人中白烧交，卫生易简方作

---

① 各半两：普济方卷二百七十三诸疮肿门无此三字。

② 如：普济方卷二百七十三诸疮肿门引济生拔粹方无此字。

灰。油调涂疮疥上。

又方：　以丸卫生易简方作瓦。松不以多少，阴乾为末，先用槐枝葱白汤洗之过，掺之立效。灸疮久不敛者更妙。

又方：　以蒲公英捣之，贴一切恶疮、恶刺。卫生易简方同。

替针丸：　治一切恶疮。

川乌二钱　草乌二钱　五灵脂二钱　轻粉一分　粉霜一分　又方加班猫二十个去翅足用　巴豆二十个去皮用

右将三件为末，研令匀，次入轻粉、粉霜研匀，又入班猫、巴豆，以水调糊为定子。如作散是谓针头散。

治诸恶疮。

白僵蚕直者　大黄二味各等分

右为细末，生姜自然汁与蜜同和为剂，丸如弹子大，每服一丸，细嚼。卫生易简方同。

治恶疮死肉锭子：

巴豆一钱，去皮油　五灵脂半两　溜丹二钱，飞加枯白凡一钱

右为细末，以糊和为锭子，入疮内用之。卫生易简方同。

当归和血散：　治疮疡未发出，内痛不可忍，及妇人产前后腹痛。

当归二钱　没药一钱半　乳香半钱　白芍药三钱　疮疡者，加人参、木香　妇人加赤芍药

右为细末，每服一钱，水一中盏，煎至七分，和滓温服，日二服。妇人酒煎。疮既发，不须用。

薰恶疮方：

紫花地丁一名米布代

右取根晒乾，用四个半头砖垒成炉子，烧著地丁，用络垛砖一枚盖了，使令砖眼内烟出薰恶疮，出黄水自愈。卫生易简方同。

赤龙散：　消散一切肿毒。

野葡桃根红者，去粗皮为末，新水调涂肿上，频扫新水。

治疮无头者，蛇退皮于肿处贴之。

又方：

皂角刺烧灰，阴乾

右为末，每服三钱，酒调，嚼葵菜子三五个，前药送下。

生肌敛疮药：

白蔹　定粉各等分　黄丹少许

右同为细末，洗净疮口，乾贴之。

治诸疮水度肿者，生白凡末，水调涂之，自消。卫生易简方同。

治冻疮，腊月雀脑子烧灰研细，小油调涂冻疮口上。

又方：　以正黄蘗为细末，用乳汁调涂疮口上。

又方：　山药少许，生，于新瓦上磨为泥，涂疮口上。

治疳疮。

马明退烧灰，三钱　轻粉少许　乳香少许

右研为细末，先以温浆水洗净，乾掺之。

治疳疮久不愈者。

海浮石烧红，醋碎数次　卫生易简方碎作淬　金银花

右浮石二停，易简方作两，下同。金银花一停，同为细末，每服二钱半，如签茶一般，日用二服。疮在上食后，在下食前服。如病一年，服药半年则愈。

黄柏散：　治鹏窠徼腰等疮。

黄柏　白芨　白蔹已上各等分　黄丹少许

右为细末，凉水调涂。

事林广记

走马疳，用大蜘蛛一枚，湿纸裹，外用荷包，火中煅令焦存性，细研，入少麝香薄之。

疳疮，透明白胶香为末，轻粉少许，掺之。乾则用麻油调抹。

头疮，乾地龙为细末，入轻粉、麻油调

傅之。

又方：　杏仁烧灰傅。

内外臁疮，北枣核烧灰，乾傅之。

冻脚疮，橄榄核烧存性，为细末，入轻粉，油调涂之。

去疮瘢，白獭髓、杂玉屑、琥珀屑涂之。

一方：　密陀僧末，水调涂。

山居四要

臁疮，用蓝汁洗净挹乾，刮虎骨傅上。　水调傅。

卫生易简方同。

疖毒初起一二日内，用好米醋煮肥皂，烂研厚涂之，纸花盖，乾则换。

肿毒，或疼痛处，以赤小豆为末，水调傅，频换。或用香白芷末，水调傅尤妙。

脚腿肿，用陈瓠种空壳煎汤，空心服。

又方：　白芙蓉叶晒乾，同皂角为末，

痱子，则茨菇叶阴乾为末傅之。

新效方

疮　疡

黑膏子：　治脓窠痛疮，脓水浸淫不绝。若治头疮，先以温蓝汁洗去疮痂傅之。

麻油　猪脂各半斤　巴豆去壳，二十一粒　蓖麻子肉一百粒　班毛十八个，去头翅足，各切碎

右五味，同煎令焦黑，滤去滓，取净油调大枫子一味，调末傅之。

追毒挺子：　蚀努肉坚硬不痛者。

甘遂　续随子　大戟　五倍子四味各二两　麝香三钱　山茨菇三钱

右六味末之，糯米粥杵成挺子，纫努肉根下，努肉即脱。

一绝散：　敷肿。

蜂房炒焦　蛇蜕炒焦　乱发灰　千年石灰　马屁勃　人中白煅　猬皮灰　马蹄壳灰　桦皮灰　胡桃肉　川椒十一味　各一两　朴硝　大黄各二两　麝香二钱

右十四味末之，陈米醋调涂肿上。

又方：

大黄　丁黄各三钱　全蝎　胆矾　脑子三味各一钱半　麝香一钱　轻粉半两　雄黄一两　蜈蚣四条

右水丸麦粒大，放在疮内，或碾作末，掺膏药上贴之。

敷肿方：

黄连　黄芩　黄柏　栀子　白芷　滑石　朴硝　栝楼根　软石膏九味各一两　大黄三两　草乌一两半　穿山甲二两　半夏　南星　贝母三味各一两

右十五味末之，已溃者，水调傅四畔，留中心泄毒；未溃者，醋调；乾则以水或醋润之，日易两三次。

铁箍散：　治诸恶疮红肿突起，势欲走注滋蔓，以此箍之，不令散漫也。

大黄　南星各一两　雄黄　草乌各三钱　川乌　白芨　防风　赤蔹四味各半两　霜梅肉　苍耳根各一两

右以前八味末之，留霜梅肉、苍耳根杵烂，和诸药末再杵得所，乾则入醋成膏，傅疮四畔过赤晕尽处，留肿高处泄毒，乾则醋润之，日易一两次。

急救仙方

治臁疮，卫生易简方治臁疮并脚腿血风疮。谷丹、无名异，细研，清油调搽，湿则乾傅其上。

治痃疮疥疮。

雄黄 硫黄 黄连 蛇床子 剪刀草 焙乾

右等分为末，用巴豆七粒，麻油煎，以巴黑为度，去豆，候油冷，入好轻粉，用前药末调涂之。

治恶疮肿如梅李、小豆者，用吴茱萸一两，小蒜二两，研合傅之，日三换，以好为度。

治多年疮口不干，冬瓜叶焙，研末贴，累效。

治疳疮，炉干石火煅，醋淬为末，油调搽，加香茶孩儿泥[1]尤妙。卫生易简方同。

一方： 生银杏捶碎搽，亦可治阴风。卫生易简方同。

一方： 黄柏、鸡子清和炒三五次，为末，清油调搽，湿则干糁。卫生易简方同。

又方： 橄榄一个，全用烧灰，油调搽。卫生易简方同。

治肾风，阴囊痒，手叉白，用猪尿包火炙令熟，空心吃，盐酒咽。又用糯草，将皂角在草内，烧烟熏之十余遍即愈，吃药可服清心莲子饮。

恋眉疮，猪腿筒骨五根或七根，生打开取髓，入铜铫溶，却旋旋随多少入白胶香末，搅匀成膏，为则取出，于新砖上去火毒一时，研末，入轻粉，随骨数几贴，油调搽，湿则干糁。

诸疮膏药方：

清油一斤，将头发二两煎至熔，却随意入甘草节、当归尾、黄连、巴豆、蓖麻子、黄瓜蒌、木鳖子各半两，煎二沸，去滓，却入水粉五两，又煎至沸，入黄丹七两，又煎至沸，入乳香末一两，用桃柳枝不住手搅，挑入水中滴成珠不粘手，则膏成矣。

又方： 麻油五两仲，巴豆二十八粒，柳条二十八寸，以火煎，候巴豆黑色，滤去滓，以谷丹二两仲，逐渐放入，用柳枝不住手搅，滴水中不散，成膏不粘手住火，却将乳香末一钱和匀，瓦器盛之，候冷摊用。

治痤疿，切断黄瓜擦疿子上安，或以枣叶煎汤浴之。

又方： 玉英粉

真蚌粉四两 滑石一两 绿豆粉二两

为末干擦。

秘传外科方

内塞散： 治诸恶疮疖，热退脓血不止，疮肉虚证疼痛，可排脓定痛，生肌内补。

人参去芦 当归去芦，酒浸 黄芪盐汤浸 芍药洗去土 茯苓去皮 防风去芦 桂心各二钱半仲 桔梗 远志 甘草 白芷各一两仲 宿砂 香附子 厚朴各二两仲 赤小豆五合，酒浸 附子二枚，去皮，煨 烦渴加五味子 茯苓 陈皮 白芍药 熟地黄

右㕮咀，水一盏半，生姜三斤，煎至七分，入酒热服。

四围敷药，化毒散血拔毒散： 治一应诸恶疮并脚疾。

赤芍 防风 白芷 内消 脚莲 荷车北细辛各三两仲 归尾 姜蚕 蝉退 五加皮二两

如敷不退，加此敷之，即能消散。

---

[1] 香茶孩儿泥：卫生易简方作“孩儿茶”。

南星　何首乌　紫花地丁即羊蹄根[1]　五叶根　贝母　草乌　羌活　独活　芙蓉叶秋过者可用　赤葛根　野椒根去骨用皮　倍加五加皮

右总为细末，用生姜连滓及醋敷之。如要即散，急加大蒜同敷之，毒气即出，立效。脏腑秘加吃药，大黄　枳壳去白，炒　火麻子　小腑秘加木通　车前子　灯草　赤芍　赤茯苓　如凉冷加荜拨　良姜

前方专治寒湿脚气、发背，一应恶疮疖，诸般肿毒，敷之即散，又能定痛。服此大能温和化毒，散血托里。可用带皮生姜一大块，以无灰好酒连药擂烂，镟热温服。病在上，食后服；病在下，临卧服。一二服后，肿尽消矣。

铁筒拔毒膏：　点破诸般疮疖，初发点破便散。

好石灰不过火，皂角薰　糯米南星、当归、赤芍同炒　硇砂如去疔头，加此一味，余不用　砂牯牛　班猫

用后灰煎热水滤汁，煎成，调前药用。

真炭②灰　桑柴灰　芝麻灰　皂角三四皮　柳柴灰

以前灰汁入于锅内，用慢火熬之，时[3]汁面上有白霜起方住火，以器贮之，可用调前药，小小点之三五次，皮破毒气以出水，即止。

内固清心散：　治恶疮热盛煞痛，作渴烦躁，此药解毒，神效。

辰砂　茯苓　人参　白豆蔻　雄黄　绿豆　朴消　甘草　脑子　射香　皂角等分

总为细末，每服一钱，蜜汤调下。

下痱瘄，秘传一味千金散：　专治痱瘄，立效。

单用黑蜘蛛一个，过江者为妙，入在碗中研烂，镟热南酒于碗中搅匀，通口服之，随病左右侧卧，如不退，再用一个即效。

敷药：

先用葱白炒热熨之，如冷再炒热，以熨三四次后敷药，用前化毒消肿药加用大蒜、木鳖、南星、草乌敷之。如破，用前生肌定痛药。

疳[4]瘄通药，即过三五行为度。

牵牛　雄黄　川楝子　大黄　甘草节　天花粉　枳壳　贝母等分

为末，空心，南酒调服，出脓即散。

又方：

细辛　黄连　川山甲　乳香　没药　连乔　归尾　大黄　栀子　金银花　牡蛎　车钱　防风　甘草　油胡桃

右咬咀，水煎热，加南酒，五更温服。偏肾气即效如神。

先服五苓散　加茵陈　灯草　木通　白术　朱苓　泽泻　赤苓　官桂　车钱

右咬咀，白水煎，空心服，即依后法灸之为妙。后用丸子药青木香丸一贴，用班猫大个，同丸子炒热，去班猫，热南酒送下，如不退，再进一二服。

又方：　用栗子树根，南酒煎服，立效。

下疳疮搽药：

黄连　黄柏等分

先用猪胆二个，以汁浸二药湿，却用瓦一片或砖，于火上烧红，放药在上焙干，加乳香　没药　朴硝　白凡枯　无明异　百药煎　血蝎[5]　苦参

右为末，干以清油调搽，湿则干掺之。如肿不退，用益元散加防风、荆芥、何首乌，煎水温洗之。

痱瘄、下疳肿不消，用防风、京芥、草节、牛膝等分，煎汤薰洗，即消。

又蛀疳方：

密陀僧、黄连、黄柏、轻粉为末掺之，以盐、艾煎汤洗之。

疳[6]瘄吃药：

用赤葛根、生姜一块同擂烂，镟热酒服

1　即羊蹄根：秘传外科方无此四字。
②　炭：秘传外科方作“石”。
3　时：秘传外科方作“待”。
4　疳：秘传外科方作“痱”。
5　蝎：秘传外科方作“竭”。
⑥　疳：秘传外科方作“痱”。

之，汗出为度，滓用敷疮上。

偏肾气，以本人口为则，于脐上灸，偏在左灸右，在右灸左，然后服走马回香丸、茱萸内消丸各一贴，以生小酒加少盐，空心吞下。

杖疮。

水粉一两中　赤石脂一钱[1]中　水银一分，先煞

三味用麻油杵成膏，以伞纸敷之，贴上紧缚。如肉陷，可用此膏填满，然后贴上，立效。

诸肿毒，用生姜面东过梁落地者，就将于本地上，阳日画○圈，阴日画□圈一个，以姜蘸好米醋于圈内，磨取地上泥，括在钵内，入大黄、芒硝末同姜侭研烂，敷于毒处，留开疮口，毒自出矣。

蛀疳疮，轻粉、韶粉打和掺之。

外科精义

漏芦汤：　治一切恶疮，毒肿舟[2]瘤，瘰疬丁肿，鱼睛五发，瘰[3]疽，初觉一二日，便如伤寒头痛烦渴，拘急恶寒，肢体疼痛，四肢沉重；恍惚闷乱，坐卧不宁，皮肤壮热，大便秘涩，小便赤黄，并宜服之。妊身莫服。

漏芦　白蔹　黄芩去黑心　麻黄去节　枳实麸炒，去穰　升麻　芍药　甘草炙。各一两　大黄二两　朴硝一两

右除硝外，挫[4]咬咀，与硝同和匀，每服三钱，气实人五钱，水一盏半，文武火煎七沸，去滓，空心热服。疮科精义同。

化毒丹：　治百种恶疮毒肿，初觉一二日，咳逆烦闷，或咽喉闭塞，发热恶寒。

没药　乳香已上各五钱，另研　草乌头醋浸，炮裂　浮石已上各一两，烧赤，醋淬七次，研，余醋另放　巴豆四十九个，去皮生用，另研

右五味为细末，用浮石、乌头、除[5]醋打面糊为丸，如豌豆大，每服五七丸，食后冷酒送下，忌热饮，疮科精义作物。取快利三二行，或吐出恶为效。

内消丸：　治疮肿初生，及瘰疬结核，热毒郁滞，服之内消矣，大效。

青皮　陈皮已上各二两　牵牛八两，取头末二两　薄荷叶　皂角已上各八两。不利者，去粗皮，捶碎二味，水一斗，煮令极软，揉汁去柤用，熬成膏

右将青皮、陈皮末并牵牛末和匀，用前膏子和丸，如绿豆大，每服三十丸，食后，荆芥、茶清、温水皆可下。疮科精义同。

五利大黄汤：　治人年四十已前，气血盛多，若患疮疽，大小便秘者。

大黄根　黄芩去腐　升麻已上各二两　芒硝栀子已上各一两二钱

右咬咀，每服五钱，水一盏半，煎五七沸；去柤，空心稍热服。疮科精义同。

内消升麻汤：　治证同前。

大黄　升麻　当归　黄芩去腐　枳实炒，去穰　芍药已上各二两五钱　疮科精义一两五钱　甘草炙，一两五钱　精义一两

右咬咀，每服五钱，水一盏半，煎至七分，去柤，食前稍热服。

五香连翘汤：　如不用五香曰七味连翘汤。　治证同前。

沉香　藿香叶　木香　丁香已上各一两　麝香一字。五味为粗末，另研　连翘　射干　独活　升麻　甘草炙　寄生草已上各一两　疮科精义桑寄生　大黄一两五钱

右七味咬咀，与前五味和匀，每服五钱，水一盏半，煎至一盏，去柤温服，取利为效，未利则再服，食前。

牡蛎大黄汤：　治证同前。

牡蛎　木香　大黄煨。已上各等分

右咬咀，每服五钱，水一盏半，煎至七分，春夏露湯一宿，于鸡鸣时空心服之；冬

① 钱：秘传外科方作“分”。
② 舟：外科精义作“丹”。
③ 瘰：外科精义作“瘰”。
④ 挫：外科精义作“余”。
⑤ 除：外科精义作“余”。

月于暖处疮科精义暖处煎。放一宿。妇人重身者，勿服此药。快利三两行，便勿服。已上五方，对证选用。

和血通气丸：治证同前。

人参一两 麦门冬去心，二两 大黄 黄芩去腐 黄柏已上各四两 牵牛一斤，炒香，取头末四两

右六味为细末，炼蜜和丸，如豌豆大，每服二三十丸，食后，温水送下。寻常积热之人，隔三二日服此药，微利润动，永不生疮肿。如已早觉者，服之亦得内消矣。疮科精义同。

地黄煎丸：治脏腑有热，胸膈痰实，血气不和，经络秘涩，多生疮肿，已患疮毒肿，大小便结涩。

生地黄新者十两，洗，水浸，研如泥 黄连五两 黄芩去腐，三两 枳壳炒，去穰 大黄已上各二两五钱 疮科精义二味各一钱半 人参二两

右除地黄煎外，并为细末，再和地黄煎和捣，入炼蜜丸，如豌豆大，每服五七十丸，食后温水下。素有热之人，日服百余丸，不发疮疡。年高气弱之人，亦宜常服，清利胸膈，明目。

槐角煎丸：治疮疡瘰疬，疥癣赤肿等疮。

天麻 川芎 甘草炙 黄药子 甘菊花疮科精义一两半 人参已上各一两 何首乌 苦参已上各一两五钱 荆芥穗 防风已上各二两 槐角并仁另放 皂角不蛀者。已上各四两。水一斗，煮软揉汁，去柤取仁，熬成膏子，其皂角取肉，研入膏子为用

右除皂角膏外，槐仁与诸药细末，入膏内搜和，炼蜜为丸，如豌豆大，每服五十丸，食后竹叶汤下。

连翘散：治疮疡疖肿，一切恶疮，疼痛烦渴，大便溏泄，虚热不宁。

连翘 山栀子 甘草 防风已上各等分

右为粗末，每服三钱，水一盏，煎至七分，去柤温服，不拘时候。疮科精义同。

托里黄芪汤：治诸疮溃后，脓多内虚。

茯苓去皮 人参 官桂去白 远志去心 麦门冬去心 五味子炮 黄芪 当归已上各等分

右为粗末，每服五钱，水一盏半，煎至一盏，去柤温服，食前。疮科精义同。

托里茯苓汤：

防风 桔梗 芍药 五味子 川芎 甘草 麦门冬去心 桂去皮 熟地黄已上各一两 当归 黄芪 茯苓已上各一两五钱

右为末，每服五钱，水一盏半，煎至一盏，去柤温服。疮科精义同。

托里当归汤：太医疮科何君玉方。

当归 黄芪 人参 熟地黄 川芎 芍药 甘草炙 柴胡已上各等分

右为粗末，每服五钱，水一盏，煎至六分，去柤，食前温服。疮科精义同。

托里散：

川乌头炮 茯苓已上各三两 乾姜炮 麻黄去节 甘草炙。已上各一两五钱 杏仁炒，去皮尖 五味子 桂心已上各一两

右为粗末，每服五六钱，水一盏半，煎至一盏，去柤，食前温服。疮科精义同。

托里玄参散：主托里止渴，解热疮科精义虚热。烦渴。

玄参 人参 甘草炙 甘菊花已上各等分

右为细末，每服二钱，绿豆汤调下。亦各内托散。

内塞散：总录一百二十三万全方中去附子，用天雄。治疮科精义专治内虚。疳瘘不差，诸疮。

附子二个，炮 官桂去皮 赤小豆 甘草炙 黄芪 当归 茯苓 防风 白芷 桔梗 川芎 人参 远志去心 厚朴已上各一两

右为末，每服二钱，温酒调下，空心，日进二[1]服。

香粉散：主托里止痛，解烦渴，退虚热。

真绿豆粉三两 南乳香一两

右为细末，每服三钱，新水调下。疮科精义同。

黄芪茯苓汤：治诸疮溃后，托里除虚热。

黄芪 白茯苓 官桂去皮 麦门冬 五味子 川芎已上各一两

右为粗末，每服五钱，生姜三片，枣

① 二：外科精义作“一”。

三[1]枚，水一盏半，煎至一盏，去柤温服，食前，疮科精义作无时。日进三服。

内补防风散：

附子二个，炮裂，去皮脐　防风　茯苓　白芷　桔梗　川芎　当归　人参　甘草炙　远志　官桂去皮　黄芪已上各一两　厚朴二两，生姜汁制　赤小豆半升，酒浸一宿

右为细末，每服三钱，温酒调下。疮科精义同。

伏梁丸：　治环脐肿痛，肠胃疮疽。

厚朴生姜汁制　茯苓　枳壳麸炒，去瓤　白术　荆三棱炮　半夏汤洗七次　人参已上各一两

右为细末，面糊为丸，如小豆大，每服三十丸，食前，疮科精义作后。米饮汤下。

甘草大豆汤：　治外阴蚀下疳，瘭疮肿痛。

甘草三两　疮科精义二两　赤皮葱三茎　大豆一合

右用水三升，煮豆熟为度，用槐条一握同煮，取清汁，热淋浴，冷即再温，浸三二时为度，大效。

溻肿汤：

芍药　丹参　黄芩去黑心　白蔹已上各等分

右㕮咀，用药五钱，水一升，煎十沸，帛醮频溻之。疮科精义同。

洗毒汤[2]：

苦参　防风　甘草炙　露蜂房已上各等分

右㕮咀，水煮浓汁洗疮肿。疮科精义同。

浴毒汤：　治小肠风，阴疮痒痛。

木通　藁本　枳壳　管仲　白芷　荆芥　甘松　薄荷已上各等分

右㕮咀，用药二两，水五升，入芒硝半两，煎至三升，热洗浴疮。疮科精义同。

何首乌散：　治遍身疮肿痒痛。

防风　苦参　何首乌　薄荷已上各等分

右为粗末，每用药半两，水酒各一半，共用一斗六升，煎十沸，热洗，便于避风处睡一觉。其痛甚者，三日痊愈。疮科精义同。

八仙散：　治游风肿痒，疥癣疮，或因洗头，游风瘙痒生疮。

细辛　荆芥　白芷　川芎　黄芩　防风　甘草　地骨皮已上各等分

右为粗末，每用药二两，水二碗，煎十沸，去柤，热淋溻患处。疮科精义同。

消毒汤：疮科精义名溃毒汤。治百杂疮肿，悉能内消。

独活　防风　细辛　藁本　川芎　枸杞子　荆芥　漏芦　大黄　黄芩去腐　官桂　苦参　蔵灵仙　丹参　黄芪　当归　芍药　茯苓　黄连　无心草　黄柏　麻黄　葛根　蒴藋　菊花　杜仲　地骨皮　秦皮　茵草　甘草　甘松　藿香　白芷　露蜂房　升麻　零陵香已上各一两　苍术三两　朴硝五两　菖蒲八两

右为粗末，每用药半两，水二升，葱三茎，槐柳枝各一握，同煎十余沸，去柤，热淋洗浴。此药用之如神。

熨风散：

羌活　防风　白芷　当归　芍药　细辛　芫花　吴茱萸　官桂已上各等分

右为粗末，作二剂，赤皮葱连须细切半斤，同醋拌匀，炒令极热，帛裹，于疮上熨之，稍冷即换，熨之上下痛止而已。疮科精义同。

黄芪丸：　治肾脏风虚攻注，手足头面麻痹痛痒，或生疥癣肿燉。

黄芪　乌药　茴香炒　地龙去土　川椒去目　防风　川楝子炒　赤小豆　白蒺藜去刺　海桐皮　蔵灵仙　陈皮已上各等分

右为细末，酒糊为丸，如梧桐子大，每服三十丸，空心温酒送下。疮科精义同。

栀子仁汤：　治时气，头面赤肿。

郁金　枳壳去瓤　升麻　栀子仁　牛蒡子　大黄已上各一两

右为细末，每服三钱，蜜水调下。疮科精义同。

乳香膏：　治一切恶疮打扑，走注疼痛。

乳香研　珠子沥青　白蜡已上各五钱　白胶

1　三：外科精义作“一”。

2　洗毒汤：外科精义本方中尚有“白芷”一药。

杳二两　疮科精义一两　杏子油一斤

右将沥青于木炭火上先溶开，下白胶香、黄蜡化开，入油搅匀，以绵滤去粗，于井花水中持拔白色如银，再溶入乳香在内，拔白色，收磁盒内，依常法摊用之。

追毒散：太医成子玉方。　治一切恶疮，脓水不快者。

五灵脂　川乌头炮　白乾姜炮。已上各一两　全蝎五钱

右为细末，用少许掺疮口中。深者，纸捻蘸药纴入疮口内，以膏贴之。或水浸蒸饼，令浸透，搦去水，和药令匀，捻作锭子，每用纴入疮口中，亦名追毒锭子。疮科精义同。

射脓丸：　治诸疮疖脓水已成，即当针开，决出陈臭恶瘀，则其治也。若其恶瘀不出，欲针石[①]须当开发，用此药以射出其脓也。

白矾灰一钱　砒霜五分　黄丹一字

右为末，面糊为丸，捻作锭子，每用粘疮头欲出处，以膏贴之自溃。疮科精义同。

替针丸：　治证同前。

陈坏米末一钱　硇砂五分　雄雀粪直者二十一枚

右为细末，粳米粥丸，如粳米样，每用一丸，粘在疮头上，以膏贴之。疮科精义同。

翠霞散：　治百杂恶疮，去毒生肌。

滑石一两　铜碌五钱　轻粉二钱　片脑　麝香已上各三分　粉霜一字

右为细末，每蘸药纴于疮口内，以膏贴之。或滑石二两，名二圣散，量其浅深轻重用之。疮科精义同。

引脓散：　治年深不较，恶疮。

狼毒　钓苓根　无心草根　白丁香已上各五钱　麝香一字

右为细末，每用乾掺疮口上。疮口深者纴之。疮科精义同。

乳香散：　治证同前。

白乾姜　苦丁香　草乌头已上各五钱　钓苓根　狼毒　乳香已上各一两

右为细末，每用乾糁之，或唾调作锭子，纴入疮内。疮科精义同。

钓苓散：陈官宝方。　治证同前。

井盐一两　无心草　乾姜已上各二两　钓苓根三两

右为细末，每用乾糁之，或唾调少许涂左[②]膏上，就贴之。疮科精义同。

抵圣散：　治耳中脓经年不愈，及驴涎马汗，攻煞疮疡，骨疽疳瘘等疮。

白矾灰一两　乌鱼骨三钱　乳香二钱　乾胭脂　轻粉已上各一钱　麝香五分

右为细末，或糁或纴，以膏贴之。如有耳脓者，用一字纴耳中。疮科精义同。

青金锭子：　治诸恶疮，脓出不快者，及多年疳瘘疮，愈而复发。

白丁香　铜青　硇砂　粉霜　轻粉已上各五钱[③]　麝香　龙脑已上各一字

右为细末，面糊为丸，捻作锭子，每用纴入疮口中，脓水出快。疮科精义同。

白龙散：　主生肌止痛，及耳中卒然大痛。

寒水石四两，烧半白研　乌贼鱼骨研　滑石已上各一两。研　鹏砂三钱　轻粉一钱

右为细末，每用乾糁耳中。痛者，油调如糊，滴纴于耳中，痛立止。疮科精义同。

槟榔散：　治久患恶疮，肌肉迟生。

木香　黄连　槟榔已上各等分

右为细末，每用干糁之。疮科精义同。

金黄散：　主消肿散毒，生肌止痛。

黄连　大黄　黄芪　黄芩　黄柏　郁金已上各一两　甘草五钱　龙脑五分，另研

右为细末，入龙脑研匀，若治湿毒丹肿，新水调扫赤上，或蜜水调如稀糊，用小纸花子贴之，或小油调扫。如久不差，热毒疮赤，乾糁，或水调涂亦佳。疮科精义同。

金露散：　治时气热毒。

寒水石生用，一两五钱　黄柏一两　白芨　白

① 石：外科精义作“口”。
② 左：外科精义作“在”。
③ 钱：外科精义作“分”。

蚊　雄黄已上各二钱五分

右为细末，无根水调，以纸花子贴，或扫亦妙。疮科精义同。

天麻散：治白秃甜[1]疮，及风毒疥癣。

藜芦　天麻　狼毒　白芷　茜草　钓苓根　草乌头　管仲　细辛已上各五钱　雄黄二钱　轻粉一钱

右为细末，每用药半两，纸一重，绵裹，油三两，浸三日外，蘸指擦患处。如稍乾，添油一两，添至三两换药，其效如神。疮科精义同。

决效散：　治风痒头疮。

管仲三两　白芷一两

右为细末，油调涂之。疮科精义同。

神黄散：　治一切热肿攻煞疼痛。

黄柏末一斤　黄丹二两，炒紫色　雄黄一两，另研

右同研匀，每用新水调如糊，敷扫，以小纸花贴，稍乾，以蜜水润之。疮科精义同。

博金散：　治下疳蚀，臭烂肿痛。

白矾与密陀僧同为末，相和，于沙锅内，火上炮汁尽密陀僧已上各五钱　白垩二钱　黄丹　轻粉已上各一钱　乳香五分　麝香一字

右为细末，先须另用槐枝、葱白、盐、甘草熬汤，淋溻洗一二时，淹乾，糁上项药。每用药，先须洗浴，然后糁药，甚者三五次差。疮科精义同。

乌金散：　治疳瘘恶疮。

麝香　蟾酥已上各一字　粉霜　硇砂　轻粉已上各一字[2]　铜碌　砒霜　白乾姜　草乌头　天南星　舶上硫黄已上各五钱

右为细末，纸捻纴之，或汤浸蒸饼和为锭子，纴疮口内，上以膏贴之。疮科精义同。

抵圣丸：　治男子妇人头面手足虚肿。

苦葶苈不以多少，于火上隔纸炒过

右杵为细末，枣肉为丸，如小豆大，每服十丸，煎麻子汤下，食前，日进三服，五七日小便多，肿消为效。如喘嗽，煎桑白皮汤下。忌生冷醋滑物及盐。须另丸一等小丸儿，与小儿服，看大小加减与服，煎枣肉汤下。疮科精义同。

应效散：　治气瘘疳疮，多年不较者。

地骨皮不以多少，冬月自取，只要皮，荫乾

右杵为细末，每用纸捻蘸纴疮口内，频用，自然生肉，更用米饮调二钱，无时，日进三服。又名托里散。疮科精义同。

白金散：　治风攻注毒，遍身及手足生热疮疼痛，有黄水出者。

桂府滑石

右为细末，先用虎杖、甘草、豌豆各等分，约半两许，二碗水，煎上项三味至一碗，去柤，微热淋洗疮，水冷拭乾，上糁滑石末令通，疮科精义作遍。便睡至明，决愈。

如圣散：　治浑身瘙痒，抓之成疮，及癞疹之类。

蚕沙一升

右用水二斗，煎至一斗，滤去柤，夜卧避风处淋洗，水冷即拭乾，便睡。疮科精义同。

乌龙丸：　治遍身风疮瘙痒疥癣等疾，服之消风散热，利膈化痰唾，治肺气不和。此药推陈致新，去肠垢，治证甚多，要能用度。

皂角肥者，不以多少，炙，刮去皮弦，捶碎，甜水揉取浓汁，去柤，银石器内熬成膏，另放　黑牵牛不以多少，微炒令香熟，碾取头末

右将药末与皂角膏和丸，如梧桐子大，每服三五十丸，气虚者一二十丸，食后温水送下。无病气实人，一两个月顿一服，取利三五行，不伤正气，身体轻健，肌肤光泽，永无风痰疥癣之疾。疮科精义同。

乳香托里散：　治一切疮肿疼痛不可忍。如少壮气实者，先疏利，后服之，大效。

御米壳去膈蒂萼，蜜炒，三两　当归　芍药　川芎已上[3]五钱　乳香　没药已上各一钱

右为粗末，每服五钱，水一盏半，煎至

---

① 甜：外科精义作“疳”。

② 字：外科精义作“钱”。

③ 上：外科精义此下有“各”字。

七分，去柤温服。病在上者食后，在下者食前。若未止，即再服。疮科精义同。

万应膏：　治一切疮疡，初生肿烦甚者，无问大小，以膏可肿痕贴之，煎葱白水热淋两炊时，良久再淋，肿消为度。如疮老不能差者，亦收敛聚脓，决然早差。

黄柏　芍药　白芷　黄芪　木鳖仁　杏仁　当归　白芨　生地黄　官桂　玄参去皮，锉碎　没药　乳香已上各五钱。研　白蔹　黄蜡已上各一两　黄芩　大黄已上各二两　黄丹一斤　芝麻油二斤八两

右件十四味，入油内浸一宿，绝早入沙锅，慢火熬，用生柳条搅至申时，以焦褐色出火，去粗柤，又以重绵滤过，入丹再熬，旋滴水中成珠子不散者，出火绝烟，入乳香、没药、黄蜡搅匀，用瓷器收贮，于土内埋七日，取出摊用。疮科精义同。

论炮制诸药及单方主疗疮肿法

夫药者，治病之物。盖流变在乎病，主治在乎药，制用在乎人，三者不可阙一也。凡用一味炮炙修制，及单方主疗，该引方书出处，不必随方标写。

朱砂：　须研细，水飞滤乾。若入膏中者，待熬膏成，稍凝冷，即下急搅，勿令沉聚。大凡石类，一一如此。

云母：　即须用炼成熟粉。曾经妇人手拈者，不效。圣惠方治汤火疮，羊髓和膏涂之，神良。千金方如治金疮及诸恶疮，依上涂傅，大效。

矾石：即白矾也。　凡用须木炭火上枯汁尽，主阴蚀恶疮，去鼻中瘜肉，生含咽津，治急喉闭。肘后方治耳中卒肿痛，或有脓水者，以筒吹一字于耳中，以绵塞之，立效。又治诸毒虫恶兽咬伤，傅之则差。千金方以醋煮汤，溃蝎螫立差。王氏博济治驴马汁毒伤人，疮肿痛，和黄丹傅之。灵苑方治伤折疮肿，以沸汤投枯矾渍浴之。御药院方治阴汗，以枯矾投沸汤中浴之。

水银：　主疥瘙痂伤白秃，入膏，令膏冷凝，下之搅令匀散如星，勿令沉聚。

水银粉：即轻粉也。　主瘰疬，杀疥癣虫，酒鼾风。以羊髓和如膏涂，及贴臁疮，一上可。

石灰：　主疥癣、骨疽、金疮，风化者良。外台秘要方治风疹，以浆水调热扫之，随手差。孙真人治疥淋，石灰水温洗之。千年者尤佳。

白麦饭石：即粗理黄石也。　曾磨刀者佳。凡用须酽醋淬之，令屑落醋中者良。亦单用治发背，神良。本草曰：大凡石类多主痈疽。

花蕊石：　主金疮止血，合硫黄，木炭火炒良。或只刮花蕊石末效。

黄芪：　主痈疽久败疮，排脓止痛，兼五痔鼠瘘，止渴。圣惠、千金、外台秘要方治发背脑疽，托里止渴。用黄芪六两，甘草一两，锉细，水煎，温服无时，大效。

葇耳：即苍耳也。　千金翼方丁肿，用根茎叶炒灰存性，为末，醋泔淀和如泥涂之，一日三易之，三日肿消，根丁自拔出。亦治诸肿，扫之寻差。

麻黄：　凡用根节煮三沸，掠去沫，晒乾，锉。

黄芩：　凡用去腐芦，拣细实者佳。梅师方治诸丹，作末水调扫之。亦治汤火疮。

乌头附子：　凡用须炮裂，去皮脐。

半夏：　凡用汤洗七次，去滑。

羊蹄根：　主乾癣疥头秃，取根齑涂之效。简要济众方治癣疮久不差，取新者绞汁，和腻粉如膏涂之。千金、圣惠、外台等方皆治癣，和醋，或白矾，或硫黄，涂之皆愈。

狼毒：　主痈疽恶疮鼠瘘。圣惠方治癣疮积年，搔之黄汁出，痒痛，以末傅之。或猪膏和涂差。

芭蕉根：　主疮肿，捣根汁涂之良。百一方治发背，根汁涂之。

土青木香：即马兜零根也。　主头风搔痒秃疮。

连翘：　主寒热鼠瘘，痈疽恶疮，瘿瘤，同甘草服食。

蒲公草：主乳痈，煮汁饮之，自消。梅师方傅之亦消。

滑石：　本草不言疗疮肿，本体较治诸疮久不愈，消热毒肿，及金疮血不止，汤火炒疮，用之尤良。

白石英：　主肺痈吐脓咳嗽，及膈上风热痰，肺瘘，消渴，阴瘘，补五脏。

赤石脂：　治疮疽痔瘘泻痢，加芎末等分，粥饮调服一钱重，神效。寒者，加乾姜服。

白石脂：　治痈疽，排脓生肌，新生儿脐湿。

雄黄：　主寒热鼠瘘，恶疮疽痔，死肌疥癣。

硫黄：　主女人阴蚀疽痔，恶疮疥癣，杀虫。

雄黄：　主恶痂疥头秃，下部慝疮，杀虫。

磁石：　消痈肿，主鼠瘘，颈核，喉痛。

密陀僧：　主金疮止血，口疮疳瘘，面上皯黯。

伏龙肝：　糁主恶疮，水调扫丹肿，酒调封发背令匀[1]消。

礬石：　主寒热鼠瘘恶疮，蚀死肌。

姜石：　捣末，鸡子清调敷丁肿、丹瘤、乳痈。

粗理黄石：堪作碓碾者即磨刀粗石。　齐马嗣明治杨遵彦发背，取此石猛火煅赤，投醋醋中，因有屑落，取为末，醋熬如糊，厚涂立愈。大凡石头，多生[2]痈疽。

炉甘石：　主愈疮止血，治目赤疮。

灯心：　主破伤血出，每用贴破上封之，立差。

槐根皮：　主痔，及白皮煎汤薰浴良。入荆芥尤妙。

地骨皮：　主疽疮经年，以粗皮煎汤洗之，细沫白穰别碾，糁之即差。

黄柏：　主疮肿神良。每用去粗皮，涂蜜炙，锉。诸方用作汤渍阴疮良。捣末，蜜水调敷肿。

枳壳：　凡用须麸炒，去穰，锉。枳实亦同。

厚朴：　凡用须去粗皮，生姜涂制，炙微焦，锉。

皂角：　凡用须不蛀者，去黑皮弦子，酥炙黄色，锉。

木鳖子：　凡用去壳，主恶疮毒肿。孙用和方治痔，用仁三五枚，石[3]如泥，以沸汤浸用汗[1]，先薰，但通手即浴洗，日三度。

楸树白皮：　单用熬膏，贴痈疽恶疮，疳瘘痔疾。用其白马牙烧灰，治发背初生，用糁疮头上，以膏封之。

兔头连皮骨，腊月细锉，瓶中封之百日，涂发脑疽，发背恶疮。

兔腹下白毛：　治汤火疮已破者，先用胶水扫之，后用兔白毛贴之，毛落平复。胜金方治痔，用玩月砂，即兔粪也，和乳香末，酒调三钱，温服，日三服，即差。

蜜：　凡炼须煎令沸，掠去沫。外台治阴头生疮，以蜜煎甘草末涂之，神效。肘后方单用涂汤火疮。

牡蛎：　凡用木炭灰炒通赤，湿地上放经宿方用。经验方治瘰疬，用牡蛎四两，玄参三两，为末，糊丸如梧桐子大，酒服三五十丸，食后服，药尽患亦除根。集验方治一切痈肿，水调牡蛎粉扫之，乾即再扫，即消，名拔毒散。初虞世治瘰疬，用和甘草末，茶调三钱服之，神效大验。

蛇退皮：　诸方用治丁杂恶疮，十年不

---

① 匀：外科精义作“内”。

② 生：外科精义作“主”。

③ 石：外科精义作“研”。

1　以沸汤浸用汗：本草纲目草部第十八卷木鳖子条引孙用和作“以百沸汤一碗”。

软[1]者，全用炒存性，猪膏和涂之，其验神效。

蜘蛛：　圣惠治瘰疬，不问新旧，或成瘘者，晒乾为末，酥和如糊贴之，日三度，大效。千金治发背疮，亦治鼠瘘，神良。谭氏治赘瘤疣目，以网丝作线，际根系之，一宿自落。

蜣螂：　圣惠治一切恶疮，端午日收乾为末者，油调傅之，神效。子母秘录治忽得恶疮，未辨识者，取新者，绞汁傅其上，大效。古今诸方治丁疮欲死者，取蜣螂心腹下度，取之稍白者是，以针刺丁疮当心及四畔，以心涂贴之，百苦立已，经宿其丁自拔出。大忌食羊肉，多不效。

陈橘皮：　凡用温水浸，去白。青橘皮亦然。

枇杷叶：　主呕逆下气。凡用去毛刺，甘草汤洗，三叶重一两者。

桃杏仁：　凡用须汤浸，去皮尖双仁，炒，锉或研。

无心草：　凡用去芦苗，煎洗甲瘭疽，神效。

防风：　凡用去叉芦。

藜芦：　凡用去苗。

犀角：　凡用生不曾见火者，即镑锉为末。

茯苓：　凡用去粗皮，白者佳。

芍药：　亦用白者佳。

牵牛子：　凡用黑成熟者，微炒。假如一斤，取头末四两。

玉机微义

疮　疡

辛凉发散之剂

当归拈痛汤：　治一切风湿热毒，浸淫疮疡，下注湿毒，脚膝生疮赤肿，里外臁疮，脓水不绝，或痒或痛，脉沉紧、实数、动滑者，并宜服之。

羌活半两　人参　苦参酒制　升麻　葛根　苍术各二钱　炙甘草　黄芩酒制　茵蔯叶酒炒。各半两　防风　当归身　知母酒制　泽泻　猪苓[2]　白术一钱半

右㕮咀，每服一两，水煎，空心服，临睡再服之。

按：此足太阳、阳明、三阴药也。东垣本处为治脚气湿热之剂，然世人用治已上诸疮甚验，故录之。

郭氏升麻牛蒡子散：　治时毒疮疹，脉浮洪，在表者，疮发于头面胸鬲之际。

升麻　牛蒡子　甘草　桔梗　葛根　玄参　麻黄各一钱　连翘一[3]钱

右㕮咀，姜三片，水二盏，作一服[4]。

中和汤：　治时毒，脉弦洪，在半表里者。

菖蒲　牛蒡子　羌活　川芎　防风　漏芦　荆芥　麦门冬　前胡[5]　甘草[6]

右㕮咀，每服一两，水煎[7]。

按：此并出足太阳、阳明例药也。

辛平发散之剂

良方升麻和气饮：　治疮肿疖疥痒痛。

甘草　陈皮各一两半　芍药七钱半　大黄半两，煨　乾葛　苍术　桔梗　升麻[8]□一两　当归　半夏　茯苓　白芷各二钱　乾姜　枳壳各半钱。三因方有厚朴半钱

右㕮咀，每服一两，水煎。

按：此手足太阴、阳明经药也。五积散加减法，世俗多用之，故收入。盖欲燥脾胃，

1　软：外科精义作“效”。
2　苓：玉机微义此下注有“各三钱”三字。
3　一：玉机微义作“二”。
4　服：玉机微义此下有“煎稍热服”四字。
5　胡：玉机微义此下注有“各等分”三字。
6　草：玉机微义此下注有“减半”二字。
7　煎：玉机微义此下有“服”字。
8　麻：此下注文脱字，玉机微义作“各”。

胜湿和气，为治疮之剂。然临证而不通变，恐未合宜也。

辛温发散之剂

十六味流气饮：　治无名恶肿，痈疽等证。

川芎　当归　芍药　防风　人参　木香　黄芪　官桂　桔梗　白芷　槟榔　厚朴　乌药　甘草　紫苏　枳壳[1]

右㕮咀，水煎[2]。

按：此表里气血药也，复以疏风助阳之剂，世俗多用之，故收入。非脉之洪缓、沉迟、紧细者，不宜用此。每见外科诸家载此，往往不分经络脉证，不具时宜，但云化毒消肿，有云不退者，加以补气血之药，盖又使人不能无疑也。用者当触类而长之可矣。

夺命丹：　治诸般肿毒，疔疽恶疮。

蟾酥　轻粉各半钱　朱砂三钱　白矾枯　寒水石　铜碌各一钱　蜗牛二十一介，别研　乳香　没药　麝香一钱

右件为细末，将蜗牛别研，一处丸，如丸不就，用好酒糊和丸，如绿豆大，每服一丸，生葱三五茎，嚼极烂，吐于手心，包药在内，热酒和葱送下，如重车行五七里，汗出为效。重者，再服一二丸。

辛热发散之剂

托里温中汤：　治疮为寒变而内陷者，脓出清解，皮肤凉，心下痞满，肠鸣切痛，大便微溏，食则呕，气短，吃逆不绝，不得安卧，时发昏愦。

羌活三钱　附子炮，去皮，四钱　乾姜炮，三钱　益智　丁香　沉香　木香　茴香　陈皮各一钱　炙甘草二钱

右㕮咀，作一服，水三盏，生姜五片，煎服。

卫生宝鉴曰：经云寒淫于内，治以辛热，佐以苦温。以姜附大辛热温中，外发阳气自里之表，以为君；羌活苦辛温，透关节，炙甘草温补脾胃，行经络，通血脉；胃寒则呕吐，吃逆不下食，益智、丁、沉大辛热以散寒，为佐；疮气内攻，气聚而为满，木香、陈皮苦辛温，治痞散满，为使。

按：此手足太阳、阳明、三阴经药也。

辛凉攻里之剂

破棺丹：　治诸热肿，一切风热疮证，发热多汗，大渴便闭，谵语，结阳之证。

大黄二两半，半生半熟　芒硝　甘草各二两

右为末，炼蜜丸弹子大，每服半丸，病重一丸至二丸，食后，童便入酒半盏化服之，或白汤合酒化服。

按：此仲景正阳、阳明经药也。

泻心汤：　治疮毒痈肿，发躁烦渴，脉实洪数者。

大黄四两　黄连　山栀　漏芦　泽兰　连翘　黄芩　苏木各二两　犀角一两

右㕮咀，每服三五钱，水煎服。

按：此手少阴、太阴、少阳药也，出足阳明例。

辛平攻里之剂

万灵夺命丹：　郭氏又名延寿济世膏、如意金丸[3]、广效保命丹、朱砂备急膏、三教济世膏、仙授灵宝膏、圣僧慈救膏，盖实一药也。治一切疮肿疔疽初起，脉沉实，及服汗药后，毒气在里不尽者，宜此下之。

朱砂　盐花各二钱半　雄黄　明矾生用　枫香各二钱　黄丹　赤石脂　琥珀　轻粉各一钱半　麝香　片脑各一钱　巴豆去骨，水煮十沸　蓖麻另研。各四十九粒

右为末，用巴豆、蓖麻子膏和药为丸，如和不就，加炼蜜就成膏，收磁器内。如用时，旋丸如鸡头大，每服一丸，井花水下，或汤亦得。忌热物半日。大人小儿以意加减与服。

谨按：郭氏用药格式云，凡人患一切疮肿，若脉在表者，先服首功玄黑散，或夺命丹、蟾酥丸之类，选用汗之，继服广效保命膏，或化毒凉剂下之；若脉在里者，便只服

---

(1) 壳：玉机微义此下注有“各等分”三字。

(2) 煎：玉机微义此下有“服”字。

(3) 丸：玉机微义作“丹”。

延寿济世膏，或破棺丹下之，病属里，不必汗之故也。如是有头疮疽，就便用朱砂备急膏一丸，如黄豆大，安于疮头上，却用软粘膏药盖护之，其疮必破。如疮晕紫黑色，外用宣毒散周围敷住毒气。如疮晕赤红色，用水澄膏敷之，次日用紧峻碧云锭子开了疮口，次用紧缓碧霞锭子去其歹肉，稍净，却用缓慢碧玉锭子生肌，揔名青金锭子，不拘日数，直待歹肉去净，单用膏药贴之，候脓水尽，肌肉平，方许贴生好肌敛口之药。若依此法，免教人受刀剪针烙之苦。如是无头痈肿，待肿成，用针刺破，方依法收功也。愚详疮之汗后，或始有头痈疽，便用是药，后施锭子，虽有次第，然病体亦有积热或风毒气郁等证，若待开溃次第用药，及无头痈肿待脓成用法，而又不及东垣法之通变神速也。如疮溃动，或结歹肉，疔疽坚硬，却次第用外治之法方可。

辛凉发表攻里之剂

千金漏芦汤：　治积热丹毒，无名恶肿，脉洪实弦滑，发热烦热者。

漏芦　麻黄　升麻　赤芍　黄芩　甘草　白敛　白芨　枳壳各四两　大黄十三两

右㕮咀，每服一两，入姜煎。

按：此出阳明例药也，驱积热蕴于表里之剂[1]。

郭氏定疼托里散：　治一切疮肿疼痛不可忍。如少壮气实，先用疏利，后服此药。

粟壳去蒂炒，三两　当归　白芍　川芎各半两　乳香　没药[2]　桂各三钱

右㕮咀，每服五钱，水煎[3]。

乳香止痛散：　治一切疮肿，疼痛不止。

粟壳六两，制　白芷三两　炙甘草　陈皮各二两　乳香　没药各一两　丁香半两

右㕮咀，每服三钱，水一盏半，煎[4]。

按：丹溪曰：精要痈疽叙[5]论云，初觉则宣热拔毒，既溃则排脓止痛，岂疮之初作无痛耶？已溃之后，痛又甚耶？每见疮之作也，先发为肿，气血郁积，蒸肉为脓，故其痛多少，疮之始作时也。脓溃之后，肿退肌宽，痛必渐减，而反痛者，此为虚也，宜补之。亦有秽气所触者，宜和解之。亦有风寒逼者，宜温散之。审此，则已上二方巨[6]有所取择矣。

东垣黄芪人参汤：　治诸疮破后，食少无睡，及有虚热，并秽气所触者。

人参　麦门冬　陈皮　白术　苍术各半钱　黄芪一钱　黄柏四分，炒　升麻六分　当归身半钱　炒曲三分　炙甘草半钱　五味子九介

右㕮咀，作一服，水煎。

按：此手足太阴例药也。

托里黄芪汤：　治诸疮发渴，脉虚。

绵黄芪一两　炙甘草[7]一钱

右㕮咀，水煎[8]。

翠霞锭子：　治年深冷漏，日久恶疮，有歹肉，用之。

铜绿　寒水石煅　滑石各三钱　明矾　腻粉　砒霜　云母石研如粉。各一钱二分半

右研细末，糊为锭子，如麻黄粗细，长短不拘，量疮口深浅纵之。如修合此，候天色晴朗则可。

信效锭子：　治一切恶疮。

红娘子　黄丹　砒霜　鹰屎　土硝　白芨各一钱半　铜绿二钱半　脑子　麝香各少许

右研细末，厮儿乳汁和为锭子用，中病即止。

时效针头散：　追蚀恶疮歹肉，兼治瘰疬。

赤石脂半两　乳香　白丁香各二钱　砒生黄丹各一钱　轻粉　麝各半钱　蜈蚣一条，焙干

右为极细末，掺于疮口，歹肉自去矣。若动刀针，其疮虽可，有瘢。

1　剂：按玉机微义下行应有标题“内托之剂”。
2　药：玉机微义此下有“二味别为细末”六字。
3　煎：玉机微义此下有“入乳没调服”五字。
4　煎：玉机微义此下有“服”字。
5　痈疽叙：玉机微义作“第十三”。
6　巨：玉机微义作“因”。
7　炙甘草：玉机微义无此药。
8　煎：按玉机微义下行应有标题“外治之剂”。

水澄膏：　治风热肿毒，赤红色，攻煞疼痛不止。

白芨　白蔹[1]四钱　蔚金一对　大黄　黄柏　黄药子　榆皮各七钱半　乳香　没药　雄黄各半两

右细末，用新汲水一碗，药末不以多少，澄于水内，药定去水，敷于肿处，上用白纸封之，用鸡翎掠水湿润。

金黄散：　治热毒丹流，游走不定，疼痛不止。

寒水石二两　蔚金一对　蓝实　大黄　黄柏　黄连　景天各一两

右细末，用鸡子清调敷，水亦可。

乳香散：　治诸疳浸蚀，日久不愈，下注臁疮，内外踝生疮，顽疮等证。

枯矾　白胶香　赤石脂各半两　黄丹　乳香　没药各二钱　轻粉二钱

右细末，加麝些小，如疮湿乾上，乾则香油调敷之。

轻粉散：　治下注疳疮，蚀臭腐烂，疼痛不可忍者。

黄柏蜜炙　密蛇[2]僧　黄丹　高末茶　乳香各三钱　轻粉一钱半　麝少许

右末，用葱汤洗疮后，次贴此药。兼治小儿疳疮。

祛风散：　治一切风毒肿痛。

天南星二两　白矾　草乌各半两

右为末，酒调敷，生羊[3]汁亦可。

走马散：　围一切恶疮诸肿，神效。

大黄三两　黄柏　当归　白芨　赤小豆　黄芩各一[4]两　荆芥穗　半夏各一两半　白芷　白蔹　南星各一两　檀香　雄黄各三钱　乳香七钱　没药五钱　红花一两

右为细末，以水调敷。如疮色黯，姜汁调。疮未成脓者，好米醋调敷。

乳香善应膏：　治一切肿毒恶疮。

大黄　黄芪　赤芍　杏仁各一两　当归七钱半　川山甲　猪牙皂角各二钱半　木别子三钱　乳香　没药各半钱[5]　血竭　轻粉各二钱半　黄丹七两　香油二斤

右除黄丹、乳、没、血、轻五味外，其余锉于油内，浸十余日，砂锅内熬药色微黑，用槐柳条搅之，滤去粗物净，用油入丹熬成膏，滴水中不散，然后入乳香等四味，搅匀为度，摊纸上贴疮。

至宝玉连膏：　治一切疮肿。

黄连二两　黄柏　黄芩　大黄　生地黄　赤芍　川椒　杏仁　白芷　桂　猪牙皂角归尾各半两　葱白七根　净发一拳大　槐、柳、榆、桑、桐、柏、桃枝条各三钱

已上用真香油二斤，春浸五日，夏三、秋七、冬十日，如上法熬微焦黑，滤去粗，入松香四两，黄丹碾筛净十两，用药油熬成膏，滴入水中不散，然后入下项药：

乳香　没药　朴硝　龙骨　枯矾　血竭各半两　轻粉　胆矾　麝香各一钱，共为细末，入膏内

右用净磁器盛顿，旋摊纸上贴。

收敛之剂

生肌散：

白矾枯　槟榔各一两　密蛇[6]僧一钱半　黄丹　血竭各一钱　轻粉半钱

红玉散：

软石膏半两，煅　黄丹一钱半，炒

完肌散：

定粉　枯矾　黄连　乳香　龙骨各二钱　黄丹　轻粉各一钱

右各料为极细末，贴疮口，生肌长肉，看轻重选用之[7]。

一上散：　治风痒裂折燥疮。

苦参一两　白芷　焰硝　枯矾各半两　荆芥穗三钱　寒水石二两，煅　白芨三钱

右为末，油调搽。

下疳疮洗药：

---

① 蔹：玉机微义此下注有“各”字。
② 蛇：玉机微义作“陀”。
③ 羊：玉机微义作“姜”。
④ 一：玉机微义作“二”。
⑤ 钱：玉机微义作“两”。
⑥ 蛇：玉机微义作“陀”。
⑦ 之：按玉机微义下行应有标题“杂方”。

黄连　黄柏　当归　白芷　独活　防风　朴硝　荆芥

右等分，水煎，入钱五十文，乌梅五个，盐一匙同煎，温洗，日五七次，用下药敷：

木香　槟榔　黄连　铜青　轻粉　枯矾　蠮螉　麝各等分

右为极细末，洗后，至夜敷上。

琥珀散：　治诸般疮疖，表里有热，小便赤涩。

白茯苓　黄芩　茵陈　紫草　瞿麦　茅根　石苇　乌药　琥珀　连翘　车前子

右各等分，为极细末，每二三钱，灯心汤调下，无时。

经验方治腿膝生疮有脓，治金刃伤亦妙，五倍子细碾掺之。

运化玄枢

三月采桃花未开者，阴乾百日，与赤椹等分，捣和腊月猪脂涂秃疮，神效。

其月羊粪晒乾，烧灰存性，和轻粉、麻油，可付恶疮。一名百草霜。

五月初五日，取蟾蜍眉间白浆，谓之蜚醋，治恶疮。

五月五日午时，采鸡肠草，阴乾烧作灰，治积年恶疮、痔疮不愈者，极效。

立秋日，太阳未升，采楸叶熬为膏，付疮疡，立愈。谓之楸叶膏。

寿域神方

治阴蚀欲死者，蛤蟆、兔屎等分，末，渗疮上。

若股内阴下常湿臭，或作疮者，但以胡粉搽之，即妙。

若阴头生疮，以蜜炙甘草末涂之，煮黄柏水洗之亦可。

一方：　灶心土为末，以鸡子黄和傅之。蛇床子末和鸡子黄傅亦好。

治阴疮，用田螺壳自死者，烧存性为末，入腻粉、麻油调搽妙。

一方：　用人家染了青麻布片烧为灰，研细，以灰清淋洗，挹乾掺之，数次即生皮，绝妙。须忌口。

治男子不忌妇人月事行房，阴物溃烂，用室女血衲瓦上煅过存性，为末，麻油调付愈。

治痼疖，用牵丝过路大黑蜘蛛一个，研烂，用热酒调匀服之，随病左右侧卧。如不退，再用一个，即效。

杖　疮　部

治杖疮，用赤小豆细嚼，敷于患处妙。

一方：　用豆腐擂烂，敷于患处。

一方：　用豆粉，水调敷于患处妙。

恶　疮　部

治一切无名肿毒恶疮，推积滞，除腹痛，医门第一方：

用木香、沉香、乳香各半钱为末，将巴豆去皮油二钱，枣二个去皮，捣成膏，和药收之，每服一丸，如绿豆大，凉水送下。如欲过三行，先吃凉水三口，然后用凉水送下。如欲五行六行，依数吃水。

治诸般恶疮，发背发脑，发鬓发髭，丁疮，鱼脐疮，一切肿毒，并皆治之。用豨莶草茧七个烧灰，乳香一钱为末，每服二钱，用无灰酒调，热服。如毒重，连进三服，得汗为妙，后用连翘饮、连翘败毒散。有热加

大黄，微利一二行为妙。

恶疮连甲痒痛，用扁豆为末，对甲上，甲落即瘥。

治恶毒病攻手足，肿痛欲脱，以苍耳子取汁浸之。

治恶疮三十年不愈者，用大黄、黄芩、黄连各一两，为末，洗疮净，以药敷之，日三次，即瘥。又加黄柏等分亦佳。

治恶疾，遍身疮者，取水中浮萍捣取浓备预百要方浓煮。泔，渍浴半日，甚妙。

一方：　用狗头一个烧灰，黄丹为末，敷贴。

禁治一切恶疮无名肿毒。咒曰：

赫赫阳阳　日出东方　神笔到处　万病消亡　一如律令

每日清晨念咒，书一字于患处，疮毒自消。

臁疮部

治远年近日里外臁疮，用川黄柏一大块，刮去粗皮，用蜜蘸炙，蜜乾再蘸，炙三五次，细锉为末，水调成膏，先用椒葱煎汤洗净疮，拭乾，以真轻粉不拘多少，研细，入疮内按实，后贴黄柏膏，用红绢束之，不可动移，疮甲自落。

一方：　用烧过人骨碎者为末，掺于疮上妙。

一方：　用桐油少许，浓磨密陀僧，摊于纸上，贴患处妙。

一方：　用老米醋煮冬青叶，贴于患处妙。

一方：　以醋水洒洗数次，用雄黄末纸包作绳，烧烟薰之。

一方：　用人头上垢，刮枯白矾同为末，猪胆调搽。

治肺毒疮如大风疮者，以桑叶好者，洗净，熟蒸一宿，晒乾为末，水调二钱匕服之妙。

治一切肿毒疼痛不可忍者，用黄泥作饼，印患处，炙泥上，痛即止。

一方：　捣蓖麻仁傅之，立瘥。

治诸恶肿失治有脓，烧棘针作灰，水调服，经宿头出。

治手脚心风毒肿，用生花椒、盐等分为末，以醋和傅，立愈。

治大人小儿患疮不识者，烧竹叶，和鸡蛋中黄，涂肿处。卫生易简方同。

一方：　用柳叶或皮煎汤，少入盐洗之。又治面上疮。

瘊子部

治瘊子，如遇风雨闪电，用手拂之。咒曰：拂瘊子，拂瘊子，数次自落。

一方：　用鸡肫黄擦之自落。

一方：　取蜘蛛丝缠于根下妙。

一方：　以绣针穿头发于患处，穿数次愈。

一方：　用发缠于根下妙。

一法：　灸瘊子上一壮，以水滴之即去。

臁疮部

治远年近日里外臁疮，用川黄柏一大块，

诸　疮　门六

卫生易简方

热　　痱

治热痱疮，遍身如蚕子，用不灰木枣叶为末，疮上搽之即止。

又法：　用茨菰叶阴乾为末傅之。

又方：　用腊雪，以瓶收贮，遇生痱时，以所化水涂傅。

又方：　用黄瓜切断，擦痱子上即安。

又方：　用枣叶煎汤浴之。

又方：　用蚌粉四两，绿豆粉二两，滑石一两，为末，乾擦之。

疮　　疖

治卒得恶疮，人不识者，用牛膝根捣烂傅之。

治鱼脐疮毒肿，用瞿麦烧灰，和油傅肿上，甚妙。

治疮疱将出，用牛蒡子炒熟为末，每服一钱，荆芥二穗，水一盏，煎七分，温服。如疮脓已出，更服亦妙。

治恶疮丹毒，用苎根三斤，水三斗，煮浴，每日涂之。

治漏瘤疮湿癣痒，浸淫日广，痒不可忍，搔之黄水出，差后复发，用羊蹄根烂捣，酒调，傅上一时间，以冷水洗之，日一傅差。或用醋淀调，黄水出者，乾掺。亦治白秃、阴蚀、疽、痔。

治马汗入疮肿痛，用生乌头末，醋调傅疮口，良久，有黄水出愈。

治一切恶肿疥癣，久不合者，用血竭、密陀僧为末傅之。

治诸疮肿，蛇犬咬，用黄药子为末，冷水调傅疮上，乾即再傅，亦可服一二钱。

治恶疮有虫，久不差，用柏节烧油傅之，及傅马牛疮疥。

治恶疮连痂痒痛，用萹蓄捣烂封之，痂落即差。

治诸疮，用马勃傅贴，甚良。

治热疮，用芜荑捣烂，和猪脂涂差。大全本草云：又和白蜜治湿癣，和沙牛酪疗一切疮，陈者良。

治一切疮肿，用紫荆木煎汤洗，除血长肤。

治疮肿，用山慈菰茎叶捣为膏，入蜜贴疮口上，候清血出效。

治游风热毒、风疹、恶疮、疥癞，小便壮热，用苦楝皮煎汤浸洗。

治风热湿疮痒痛，用马齿苋四两烂研，入青黛一两再研匀，涂疮上，乾再涂。

治恶疮脓水不差者，用黄蜀葵花作末，傅之即愈。服之治诸淋。

治疮上有风水，肿疼秘涩，用葱叶、乾姜、黄柏煮汤，浸洗立愈。正月勿食生葱，发面上游风。烧葱和蜜食，杀人。

治五般疮癣，用韭根炒存性，捣末，以猪脂调傅，三度差。

治诸疮中风寒水肿痛，用韭白生捣傅之，能生肌。

治肺毒疮如大风疾，用桑叶洗净，熟蒸一宿，日乾为末，水调二钱服。

治一切热毒疮，用蚯蚓粪和盐醋调涂。

治卒中痈疮，其疮常对在两脚，用桃叶杵烂，和苦酒傅。皮亦得。

治恶疮，用鲫鱼骨烧灰傅之。

治诸恶毒疮，五色无常，用乾姜末蜜和傅之。

治多年恶疮不差，或痛痒衃烂，用马粪研，并齿末傅上，不过三二遍愈。

治恶疮、疥癣虫、瘘疽、螫毒，用五谷和松枝、雄黄，烧灰存性为末，醋调涂。

治恶疮，蛇犬咬，用韭菜捣烂傅之。

治一切恶疮中冷瘕肉，用正月狐屎乾末，新汲水食前一钱匕服。

治疮内恶肉，用寒食面一两，水和作饼，包巴豆半两在内，休教透气，以慢火烧黑，为末，量疮口乾贴之。

治恶疮溃脓，活血去恶肉，用白矾、盐等分，慢火炒乾为末，量疮贴之。

治恶疮，追毒去死肉，用信、雄黄各半钱，乳香二钱，麝香少许，为末，每用少许贴痛上，膏药封之。

治一切风热疮癣，痈疽疖肿，咽颊不利，舌肿喉闭，鼻衄，咳嗽痰实，肠胃燥涩，大小便结滞，用连翘、当归、大黄、栀子、芍药、鹭鸶藤各等分，为粗末，每服五七钱，水一大钟，生姜五七片，煎七分，去滓温服，量力加减。热甚者，加以利之。

治一切恶疮，追毒去死肉，用巴豆半两去皮，雄黄、豆粉各三钱，为末，量疮乾贴。

治恶疮赤肿瘤，用大黄二两，黄连半两，地骨皮一两，朴硝三钱，为粗末，每用三五钱，水一盏，煎七分，去滓冷用，鸡翎扫肿处，大妙。

治恶疮毒连心痛闷，睡卧不得，用独蒜二箇烂研，和生小油涂疮上，乾即换，痛立止。

治一切疮有烂死肉，用地榆为末掺之，死肉自去，止痛生肌。亦治全疮。

治恶疮久不效，用豆豉炒为末，以腊月猪脂调涂。又治舌上生疮，胸膈痛，以末口内含一宿，即愈。

又方：　用三家洗碗水煎沸，入盐少许，温洗，不过三五次愈。

治瘪肉如蛇，用硫黄为末掺之，大效。

治诸疮内弩肉如蛇出数寸，用硫黄一两为末，于弩肉上涂之，其肉即缩。

治一切恶疮不效，当[1]有脓水出，不生肌，用白矾、绿矾等分，先以白矾飞动，入绿矾飞定，为末掺之，自生肌肉，甚效。

又方：　用寒水石烧透，入黄丹少许，如桃花色，加滑石、赤石脂，共为细末涂，大效。

治恶疮癣，用驴粪烧灰研细，频掺疮口。

治鱼脐疮，用飞白矾地上摊过，以寒食面糊调贴。

治诸般恶疮，用大黄东墙上土为细末，以无根井花水调搽，乾再搽，经宿即愈。

治一切恶疮，并人食毒物，用鹏砂、甘草各四两，入瓷瓶内，以香油一斤浸之，遇有患者，急令服油一小盏，立效。浸久尤佳。

治一切疮疽及伤折损痛，用巴豆去壳、僵蚕去丝嘴、赤芍药、白芷各五钱，五倍子二钱，黄连一钱，乱发如鸡子大，桃柳枝各七寸，蓖麻子三十粒去壳，猪膏一指面大，以清油半斤浸药三日，慢火熬令发烂，出火候冷，绢滤去滓，澄清再入[2]□内熬，入飞过黄丹四两，以桃柳枝不住手搅，青烟微出为度，要滴在水上不散，方成膏，却出火，搅令温，再入乳香、没药各五钱，桂心末三钱，略上火再搅令匀，却以净瓷器收贮用。

治灸疮肿痛，用薤白切一升，猪脂切一升，以苦酒浸经宿，微火煎三上三下，去滓傅之。

治诸疮，并漏疳，疮中冷水常流不止，用胡粉炭、白灰等分为末，以腊猪脂和涂，大效。

又方：　用黑牛新屎，乘热封上，立效。

治诸疮疳疮不收口，用血竭、寒水石各二钱，白丁香三钱，黄柏一钱，大粪烧灰存

① 当：卫生易简方作“常”。
② 入：此下脱字，卫生易简方作“铫”。

性五钱，为末，唾津调涂疮口上。

治鱼睛疮遍身，赤白头出水，发憎寒，用朱砂、蟾酥、白面各一钱，研细末，饭丹[1]如萝卜子大，放疮口内。

治恶疮发闷，呕逆霍乱，用罗儿青、甘草各一两，白矾二钱半，为末，每服一钱，新汲水调下，立止。

又方：　用绿豆粉三钱，乳香、没药各一钱，研细，井花水、大粪水澄清调服。

治风疮，用桔梗、防风、地榆、薄荷、荆芥为末，每服五钱，茶调下。

治诸般恶疮，追毒去死肉，用白矾二两，黄丹一两，硇砂三钱，为末，铫内同炒去尽水为度，每服量疮贴上。

治疮毒呕吐恶心，用乾胭脂半钱，绿豆粉三钱，研匀，新汲水调下，只一服立止。

治一切疮，生肌，用白芨、白蔹、黄柏、黄连、乳香、射香、黄丹等分为末，掺疮上，三二日生肌肉满。

治一切恶疮、臁疮，并诸般疳疮，用轻粉半钱，乳香、没药、飞白矾各一两，射香半钱，为细末，量疮乾贴。

治恶疮，用雄鸡屎阴乾，烧灰存性为末，香油调傅。

治豌豆疮，用芜菁根捣汁，挑疮破傅上，三食顷根出。

治恶疮痕瘘，用酸浆草捣傅之。

治一切疮肿，及风丹遍身如枣子，痒痛，用鸡肠草捣烂傅之。

治恶疮疥癣风疹，用青蒿煎汤洗，能杀虫。

治中暑热，面上生疖，用山黄杨子捣烂贴之，立差。

治鱼脐疮肿痛不可忍者，先以针刺疮上，及四畔作孔，用白莴苣取汁滴入孔中，痛即止。人不可多食，令人昏目。

治诸疮及金疮，用牛蒡叶贴之。

治恶疮疥瘘，用狗溺台[2]，又名朝生暮落花，日乾为末，和生油调涂。牛粪上黑菌尤佳。

治面上生疮，用曼陀罗晒乾为末，少许贴患处。

治恶毒疮癣，用天仙莲叶捣傅之。

治遍身热毒疮痛，粘著衣被，不得睡，用菖蒲一斗锉，自[3]乾为末，布席上，令患人恣卧其间，仍以被覆，既不粘，后[4]得睡，五七日可愈。

治恶疮疥癣，杀虫，用酸泔洗之。

治诸般恶疮初发，用苦竹头节长一二寸，刮去青皮似纸薄，大小随疮斟酌，用白蒺藜、苍术、乌桕皮、厚朴各五钱，水一铫，同竹筒煎煮将乾为度，乘竹筒热，以手按于疮上，顷之筒自粘疮上，不必手按，更用前药分两，再煮一筒，候前筒冷，以手拔去，换热者，如前法，其脓自吸入竹筒，而疮即愈。

又方：　吸筒以慈竹为之，削去青，多用五倍子，少用白矾，煮筒收起，用时再煮热，安为[5]患处。

又方：　用吴茱萸一两，小蒜二两，共研傅之，日三换，以好为度。

治蛇头疮，用生黑豆为末，却将大栀子壳一筒[6]，入末于内，笼缚在指头上，即愈。

治一切恶疮痈肿，用猪胆、生姜汁、好黑墨浓磨，以鸡翎频扫，即愈。

臁　疮

治臁疮，用降真香火烧过存性，五倍子焙过，各一两，麝香少许，焙为末，疮以浆水洗净，乾傅药末，以帛裹之。

治臁疮，并脚腿血风疮，用老松香如琥珀色者，瓷器内熬过，令冷为末，以清油或腊猪脂调成膏，用青蒟叶一片，随疮大小，以针于光面上密刺眼，将膏涂在粗面上，油

---

① 丹：卫生易简方作“丸”。
② 台：卫生易简方作“苔”。
③ 自：卫生易简方作“日”。
④ 后：卫生易简方作“复”。
⑤ 为：卫生易简方作“于”。
⑥ 筒：卫生易简方作“箇”。

纸裹之，先用飞盐葱椒煎汤洗疮净，却将蒴光面贴疮，绢帛缚定，至五七日，再洗换药贴。忌油面发物，甚验。

又方：　用腊月猪胆汁，捣生姜傅贴，即愈。

又方：　用猪胆同黄蜡熬成膏，先以茶清洗疮净，却用厚纸摊药贴之。

又方：　用茱萸焙乾为末，先以猪胆搽疮，后用末掺上，四五日见效。

治臁疮，并脚上疮痛痒，流黄水，用大黄、黄连、黄柏各半两，轻粉、飞白矾各半钱，淡豆豉、灶心土各二两，为末，以花椒熬油调傅疮上，用油纸包定，甚效。

治臁疮久不愈，用老松香、樟脑、黄丹炒、旧船石灰、轻粉，或再加白芷、川芎、螵蛸，为末，熔化松香，加少清油和之，以油纸随疮大小糊袋盛药，先用水洗疮净，缚在疮口上，三四日一换。若单用白芷、川芎、螵蛸三味煎汤洗，亦效。

治臁疮久不愈者，用川乌、黄柏等分为末，以唾津调涂纸上贴之。

治臁疮，用黄柏末、轻粉，以猪胆调成膏，摊蜡纸上贴疮，紧札住，十日再换。

又方：　用牛蹄甲油浸，烧灰为末，油调傅。

又方：　用乳香、没药、赤石脂、黄丹各二钱半，石膏一两，为细末，生桐油调摊红绢上，复以绢夹之贴疮，极效。

又方：　用东南桃枝白皮，于火上炙脆为末，乾掺或油调搽。

治臁疮，并风疮，用杉木烧灰存性为末，五倍子瓦上焙乾为末，先以茶清洗疮，后用荆津水洗，以无浆帛，拭乾贴药。

又方：　用桃、柳、槐、橘、桑枝各一捻，煎汤洗疮。又用米泔洗过，挹乾后，以净黄蜡熔开，捻成薄饼子，如疮口大七片，每三日换一片，至七片，疮必愈。

疳　疮

治下疳疮，用飞白矾、轻粉、麝香为末，先以口含浆水洗净，挹乾贴疮，日上三二次。

治疳疮，用蚕退烧灰三钱，轻粉、乳香各少许，为末，先以温浆水洗净，乾掺之。

治下疳疮，用黄连、黄柏等分，以猪胆二箇拌浸，却用瓦或砖于火上烧红，放药在上焙乾，加乳香、没药、朴硝、枯白矾、无名异、白药煎、血竭、苦参，共为末，以清油调搽，湿则乾掺。

又方：　用密陀僧、黄连、黄柏、轻粉，为末掺之，以盐艾煎汤沃洗。

治下疳肿不消，用防风、荆芥、甘草节、牛膝等分，煎汤熏洗即消。

又方：　用益元散加防风、荆芥、何首乌煎汤温洗之。

治痃疳疮，用轻粉、韶粉和匀掺之。

杖　伤

治杖伤，用黍米烧灰，和油涂，止痛，不作瘢。黍米不可与小儿食，令不能行，缓人筋骨，令人好睡。亦不得和牛肉食，生寸白虫。

又方：　用五倍子去瓤，米醋浸一日，慢火炒黄为末，乾掺。不破肿痛者，以醋调傅。

又方：　用雄黄二分，无名异一分，细研水傅，极效。

又方：　用水粉一两，赤石脂一钱生用，水银一分，以麻油杵成膏，摊伞纸上贴之，紧缚。如肉陷者，用此膏填满，然后贴上，立效。

治杖疮肿痛，用大黄、黄连、黄柏、黄芩各三钱，乳香、没药各一钱别研，脑子少许，为末，冷水调匀，摊绯绢上贴疮。

治杖疮，并恶疮痈疽肿疖，发背瘰疬，寒湿冷刺痛，皮肤顽麻，手肿打扑，腰骨闪肭，血气毒气，铁器所伤，小儿头疮，蜂蝎、猪犬、蛇虫所伤，汤火，漆疮，臁疮，用黄丹五斤水飞，乳香、没药各二两，木鳖子、

白芷、白芨、白蔹、当归、官桂、杏仁、血竭各一两，槐、柳枝各一斤，截碎，除乳、没、竭、丹外，馀药同清油五斤浸三日，锅内熬黄，滤去滓，次下黄丹，以新柳候[1]搅丹至褐色，掇锅下地，不住手搅，候药烟尽，下乳、没、血竭再搅，候冷，倾瓷器内收贮，宜春三月、秋七月修合。用时不得犯荤手，火上熔开，摊好纸上贴之，立效。妇人吹奶，丸如桐子大，新水吞下二十丸。胎前产后腹刺痛，温酒下三十丸。

治杖疮热毒疼痛，用黄丹一两，密陀僧半两，轻粉钱半，麝半钱，龙脑一字，为末，掺疮上，以青帛蒙之，中留一窍。

治打著不痛，用无名异、乳香、没药、地龙去土，自然铜烧醋淬七次，木鳖子去壳，等分为末，炼蜜丸如弹子大，温酒化下一丸，临时再饮酒一二盏，自然打不痛。一方加大草乌，掘土坑一箇，烧红浇醋内，草乌蒸之入用。

又方：　未服前药，先用已出蛾末茧，烧灰存性为末，每服三钱，酒调下，甚妙。

金匮钩玄

天疱疮，用通圣散及蚯蚓泥略炒，蜜调傅之。从肚皮起者，里热发于外也，还服通圣散。

御医撮要

软玉膏：理恶疮、风疮。

芎藭　白芷　苦参　黄丹　松脂　大黄各二两　麝香二目　附子一介　椒一百粒　当归半两　白蜡三两　巴豆三十粒　槟榔一介

右都研捣为末，每用好酒浸药亦一宿取出，后用猪脂于铛内煎，然后入小油一两，同煎五七沸，次入松脂，溶尽，次下药末煎二十沸，滤去滓，方下蜡消尽，入淀粉一两，熬为膏，候温，入麝香了，于湿地上著油单子衬，倾药在上，用盆合一宿，取盛于瓷合内收。如恶疮、乾湿癣、虫咬、瘰疬、脚疮、痈、背发、头疮、乳痈，一切恶疮并疗，神效。

大黄泥：　主诸热毒疮肿，赤斑丹毒疾。

黄芩　大黄　黄连各二两　栀子五枚　芒硝三两

右为细末，每以鸡子白和为泥，涂疮，乾则再涂之。

香泥膏：　理一切风毒恶核。

丁香　青木香　白檀香　薰陆香　茼草　甘草　黄耆　芎藭　独活　桂心　白芨　黄芩　乱发　白敛　黄连　当归　附子　雄黄　大黄　细辛各一两　麝香　白芷各二分　蜡蜜十二两　松脂一斤五两　猪脂二升　绵一两

右件咬咀，纳猪油铛内，慢火煎白芷色黄，以绵滤去滓，入黄蜡、松脂溶化，麝香、雄黄别细研纳膏，以柳木篦搅之，放冷成凝用之。

走马膏：　理诸般恶疮、灸疮上疼痛，生肌肉，并理一切伤折筋骨疼痛。

黄丹四两　巴豆半两　杏仁半两，捶碎　乳香一分，炒　桃枝　柳枝各四十九枚，如筋大长一握　当归半两　麻油十两

右件，先入油于铛内，次下巴豆、当归、杏仁、桃柳枝，慢火煎，以柳木篦搅，至滴水中成珠不散则止，去滓，入黄丹，慢火煎至紫黑色，出冷处，入乳香，不住手搅至软硬，每于绢上摊之，傅患处。

1　候：卫生易简方作“条”。

败毒膏：

巴豆六两，或四两　黄丹夏四两，冬六两　清油十两

右件，巴豆碎，纳油铛内，成珠不散，滤去滓，入黄丹，以柳木篦搅不住手成膏，看硬软用之。

备预百要方

诸肿饮服方：

五毒草汁服之。

又鸭跖草和赤小豆煮服，并付。

又大蓟汁服，并付。

又益母草汁服之，并付。

涂帖，商陆根和盐捣付，乾易。

又苦荬根茎和盐捣付，乾易。

又榆白皮捣，和醋付，乾则易。

又柏末和油付。

又菁根和盐付。

无头肿疼痛方：

乌头去皮脐，捣为泥，和醋酵付。

又生半夏捣付。

又牡蛎烧为末，水和付。

又生商陆捣付。兼治痈坚如石不脓。

又菖蒲根捣，和人乳付。

又牛屎、菖蒲根、胡麻油同煎作膏，以油纸帖疮口。

催脓使穴方：

面和人乳付，乾易。

又百合根捣涂，数易。

又苦蒌根、赤小豆等分，末，和醋付。

又诸肿初萌时，捣萝卜厚傅，乾则易。

又诸肿拔毒方：　白牡蛎细研，和水付，乾易。未脓者，可消之。马齿苋和梳垢封丁肿，拔根。

又露蜂房末，醋和帖。

又蓖麻子捣付。

又蚯蚓屎付之。

又百合捣付之。

止痛方：

黄耆根叶捣付。

恶　疮　方

多年恶疮，用马齿苋叶捣付，不过三二遍。此药主三十六种风结疮，釜煮澄清，内黄蜡三两，重煎成膏付之。亦服。

又捣牛膝付之。

又捣瞿麦付。

又煮桃叶汤浸洗，后温覆发汗。

又繁蒌捣付之。理兼风丹满身如枣大者。

又捣薤付之，就大热灸，薤焦易之。

又粳米饭作块如卵，烧令黑，捣，和油付。

又恶疮方：　五毒根叶捣付。

又牛蒡煎浸之。

又狼牙捣付。

又草蒿灰和石灰付之。

又繁蒌为灰，和盐帖之。

又无名恶疮方：　猪脂慢火煎人发销了，更下松脂及蜜，煎之成膏，以针遍疮小小刺之，软帛拭血，帖前膏。

又马齿苋烧，和醯醋付。久年一切恶疮通用。

又南粉和马齿汁付。

又取东壁上土，细末帖之。东壁者，日初出，阳气先照处。

又杂骨油涂疮上，后以羊胫炭末涂，更以绵裹之。

又白矾细末，和法油[1]涂。

又身面卒生疮方：　蛇脱皮烧末，猪脂和付，日三五。

又鸡屎、白香豉等分烧末，南粉少许，

---

[1] 和法油：卫生易简方作“水调”。

猪油和付。

发际疮经验方： 芭蕉根用醋研帖，日一易，差为度。此法脓溃生肌，一药能治。

又桑灰水温浸，拔根为度。此法漏疮通用。

阴 疮

阴痒生疮方：

白蜜涂之。

阴卒痛如刺汗出方：

小蒜一升， 薤根、柳根各一斤，并细锉，酒三升，煎令沸，乘热气薰之。

囊湿及肿，男女阴诸病方：

槐皮切，浓煎汤洗。

又车前子水煮洗之。

肿痛，菁根研付。

又生椒布袋盛，裹囊，令热气入，日再。

又阴湿痹皮剥方： 桑白皮煮洗。

又桃皮煮汤洗。

又阴茎疮烂方： 豉若干，以蚯蚓湿屎和付，乾则易之。忌酒菜蒜。

又甘草、白矾合煎结之。

阴痒汁出疼痛方： 菖蒲、茯苓细末，服方寸匕。

又牙子浓煎泥洗之，频频用佳。此法亦理玉门蚀烂。

又男女阴肿方： 胡麻叶杵付。

又梁上尘和醋付。

又盐裹青布熨之。

又男女阴湿痒方： 桃仁杵之，绵裹内阴中。

男女阴蚀欲尽方： 蟾蜍屎细末付。

简 奇 方

千金翼治浸淫疮新久未差：

腊猪脂四两 白矾 黄丹 松脂各一钱 黄蜡二钱 乱发二钱，煎黄，去滓右猪脂熬，先入乱发，候焦去发，次入白矾，次入黄丹，次入松脂，次入黄蜡，待温，入麝香少许，盛合涂之。

诸 疮 禁 忌

巢 氏 病 源

养生方云：铜器盖食，汁入食，发恶疮内疽也。

又云：醉而交接，或致恶疮。

又云：饮酒热未解，以冷水洗面，令恶疮，轻者齄皰。

又云：五月五日取枣叶三升，井华水捣取汁浴，永不生恶疮。

又云：井华水和粉洗足，不病恶疮。

诸疮铖灸

千金方

治一切瘑疮。凡脚腨及曲脉中痒，搔则黄汁出，是名风疽，灸足大趾奇间二七壮，又灸大趾头亦佳。

治阴肿痛方：

灸大敦三壮。

圣惠方

治卒风毒肿方

以独颗蒜切作片子，贴于肿上，以艾火灸之二七壮，极验。

肘后方

灸肿令消法：

取独颗蒜横截厚一分，安肿头上，炷如梧桐子大，灸蒜上百壮，不觉消，数数灸，唯多为善，勿令大热，但觉痛即擎起蒜，蒜焦更换用新者，不用灸损皮肉。如有体乾不须灸。余尝小腹下患一大肿，灸即差，每用之，则可大效。

卫生易简方

治诸般瘘疮作孔穴，多年不差者，用龙葵根、小蒜、楼葱、附子、雄黄、射香、赤小豆各少许为末，醋和作饼，可疮大小贴疮上，以艾炷灸之，饼子焦黑即差。

诸疮导引

巢氏病源

养生方导引法云：龙行气，叩头下视，不息十二通，愈风疥恶疮，热不能入。

又云：五月一日、八月二日、九月九日、十月七日、十一月四日、十二月十三日，沐浴除恶疮。

膏 药 门

千 金 方

膏

凡作膏，常以破除日。无令丧孝污秽，产妇、下贱人、鸡犬禽兽见之。病在外，火灸摩之，在内温酒服如枣核许。

神明白膏： 治百病。中风恶气，及头面诸病，青盲风目，烂眦管翳，耳聋鼻塞，龋齿齿根挺痛，及痈痔疮癣疥等方。

吴茱萸 蜀椒 芎藭 白术 白芷 前胡各一升。崔氏作白前 附子三十枚 桂心 当归 细辛各二两

右十味㕮咀，淳苦酒于铜器中，淹浸诸药一宿，以成煎猪膏十斤，炭火上煎三沸，三上三下，白芷色黄为候。病在腹内，温酒服如弹丸一枚，日三；目痛，取如黍米，内两眦中，以目向风，无风可以扇扇之；诸疮痔、龋齿、耳鼻百病主之，皆以膏傅。病在皮肤灸，手摩病上，日三。脂[1]后九味无桂心。

卫候青膏： 治百病久风。头眩鼻塞，清涕泪出，霍乱吐逆，伤寒咽痛，脊背头项强，偏枯拘挛，或缓或急，或心腹久寒，积聚疼痛，咳逆上气，往来寒热，鼠漏瘰疬，历节疼肿，关节尽痛，男子七伤，胪胀腹满，羸瘦，不能饮食，妇人生产，余疾诸病，瘕疥恶疮，痈肿阴蚀，黄疸发背，马鞍牛领疮肿方。

当归 栝楼根 乾地黄 甘草 蜀椒各六两 半夏七合 桂心 芎藭 细辛 附子各四两 黄芩 桔梗 天雄 藜芦 皂荚各一两半 厚朴 乌头 莽草 乾姜 人参 黄连 寄生 续断 戎盐各三两 黄野葛二分 生竹茹六升 巴豆二十枚 石南 杏仁各一两 猪脂三斗 苦酒一斗六升

右三十一味㕮咀，诸药以苦酒渍一宿，以猪脂微火上煎之，三下三上膏成。病在内，以酒服加[2]半枣，在外摩之，日三。

神明青膏： 治鼻中干，灌之并摩服方。

蜀椒五合 皂荚 黄芩 石南 黄连 雄黄 桂心 藜芦各三铢 白术 芎藭 大黄 泽泻各七铢 乌头 莽草 续断 人参各五铢 半夏 当归各十二铢 乾地黄十一铢 萎蕤 细辛各十铢 附子 桔梗各二铢 乾姜六铢 戎盐杏子大一枚

右二十五味㕮咀，以苦酒一斗渍之，羊髓一斤为东南三隅灶，内诸药，炊以苇薪，作三聚新好土，药沸即下，置土聚上，三沸三下讫药成，以新布绞去滓。病在外，火灸摩之，在内，温酒服如枣核，日三，后稍益，以知为度。

太傅白膏： 治百病。伤寒咽喉不利，头项强痛，腰脊两脚疼，有风痹湿肿难屈伸，不能行步，若风头眩鼻塞，有附息肉生疮，身体隐轸风搔，鼠漏瘰疬，诸疽恶疮，马鞍牛领肿疮，及久寒结坚在心，腹痛胸痹，烦满不得眠饮食，咳逆上气，往来寒热，妇人产后余疾，耳目鼻口诸疾悉主之。亦曰太一神膏方。

蜀椒一升 升麻切，一升 附子三两 巴豆 芎藭各三十铢 杏仁五合 狸骨 细辛各一两半 白芷半两 甘草二两 白术六两 一方用当归三两

右十二味㕮咀，苦酒淹渍一宿，以猪脂四斤，微火煎之，先削附子一枚，以绳系著

---

① 脂：备急千金要方作“肘”。

② 加：备急千金要方作“如”。

膏中，候色黄膏成，去滓。伤寒心腹积聚，诸风肿疾，颈项腰脊强，偏枯不仁，皆摩之，日一；痈肿恶疮，鼠瘘瘰疬，灸手摩之；耳聋，取如大豆灌之；目痛泪出[1]，缥白翳如珠当瞳子，视无所见，取如糁米，傅白上，令其人自以手掩之，须臾即愈，便以水洗，视如平复，且勿当风，三十日后乃可行；鼻中痛，取如大豆，内鼻中，并以摩之；龋齿痛，以绵裹如大豆，著痛齿上咋之；中风面目鼻口㖞僻，以摩之；若晨夜行，辟霜雾，眉睫数落，数[2]以铁浆洗，用膏摩之。

曲鱼膏：　治风湿疼痹，四肢弹弱，偏跛不仁，并痈肿恶疮方。

大黄　黄芩　莽草　巴豆　野葛　牡丹　蹶蹋　芫花　蜀椒　皂荚　藜芦　附子各一两

右十二味㕮咀，以苦酒渍药一宿，以成煎猪膏三斤，微火煎三沸一下，别内白芷一片，三上三下，白芷色黄药成，去滓，微火灸，手摩病上，日三。

野葛膏：　治恶风毒肿，疼痹不仁，瘰疬恶疮，痈疽肿胫，脚弱偏枯百病方。

野葛　犀角　蛇衔　莽草外台作茵芋　乌头　桔梗　升麻　防风　蜀椒　乾姜　鳖甲　雄黄　巴豆各一两　丹参三两　蹶蹋花一升

右十五味㕮咀，以苦酒四升，渍之一宿，以成煎猪膏五斤，微火煎三上三下，药色小黄，去滓，以摩病上，此方不可施之，猥人慎之。胡洽无丹参蹶蹋，有细辛。又苏恭以白芷、防己、吴茱萸、附子、当归，代巴豆、雄黄、蛇衔、防风、鳖甲。

苍梧道士陈元膏：　治一切风湿骨肉疼痹方。

当归　细辛　芎藭各一两　桂心五寸　天雄三十枚　生地黄三斤　白芷一两半　丹砂二两　乾姜十累　乌头三两　松脂八两　猪肪十斤

右十二味㕮咀，以地黄汁渍药一宿，煎猪肪去滓，内药，煎十五沸，去滓，内丹砂末熟搅，用火灸手摩病上，日千遍瘥。胡洽有人参、防风各三两，附子三十枚，雄黄二两，为十五味。肘后、千金翼有附子二十二铢，雄黄二两半，大酢三升，为十五味。崔氏与千金翼同。

裴公八毒膏：　治卒中风毒，腹中绞刺痛，飞尸入藏，及魇寐不寤，尸厥奄忽不知人，宿食不消，温酒服如枣核大，得下止。若毒气甚，咽喉闭塞不能咽者，折齿内葱叶口中，以膏灌葱叶中令下；病肿者，向火摩肿上；若岁中多温，欲省病及行雾露中，酒服之，内鼻中亦得方。

蜀椒　当归　雄黄　丹砂各二两　乌头　巴豆各一升　薤白一斤　莽草四两

右八味㕮咀，苦酒三升渍一宿，用猪脂五斤，东向灶，苇薪火煎之五上五下，候薤白黄色，绞去滓，研雄黄、丹砂如粉，内之，搅至凝乃止，膏成盛不器津[3]中。诸蜈蚣蛇蜂等毒者，以膏置疮上。病在外悉傅之摩之，以破除日合一方，用矾石一两，蜈蚣二枚，是名八毒膏。肘后不用巴豆、莽草，名五毒膏。

圣惠方

治一切痈疽发背通用膏药诸方

治一切痈疽发背脑痈诸毒疮，及奶痈疼痛，并宜用雄黄膏方：

雄黄二两，细研　黄耆三分　漏芦三分　络石三分　续断三分　菅实三分　紫葛三分[4]　汉防己三分[5]　桑寄生半两　商陆半两　连翘半两　白蔹

① 泪出：备急千金要方作“灸缪”。
② 数落数：备急千金要方作“落数数”。
③ 器津：备急千金要方作“津器”。
④ 三分：太平圣惠方作“半两”。
⑤ 三分：太平圣惠方作“半两”。

半两　赤芍药半[1]两　败酱半两　川升麻半两　莽草半两　当归一两　苦参一两　木通一两　紫苑一两，去土　芫花一两　藜芦一两，去芦头　白及一两　茼茹一两　黄丹十五两　蜡四两　清油三斤

右件药，锉碎，以酒二升，拌一宿，先取油安铛内，以慢火煎令熟，即下药，煎白薇赤黑色，漉去药，下蜡候熔，以绵滤过拭铛，却安油入铛内，下黄丹，于慢火上，以柳篦不住手搅，候变色黑，搅滴于水内为珠子，膏成也，去火入雄黄末，调令匀，倾于瓷器中盛，用故帛上摊贴，逐日换药，以差为度。

治痈疽发背，痈肿风毒，一切疮疖，内消止痛，黄丹膏方：

黄丹二十四两，微炒，细罗　麻油二斤半　猪脂八两，蜡月者　松脂四两　紫苑一两，去土　当归一两　防风一两，去芦头　黄芩一两　蒺藜子一两　棘针四十九枚，头曲者　青绯帛各二尺，烧灰　人粪灰一两　青柏叶一两　蜥蜴七枚　乱发如鸡子大　蜡五[2]两　葱并根二十茎

右件药，锉碎，先下油脂于锅中，煎令熔，次下药，以文火煎半日，次下松脂蜡，候香熟，以绵滤去滓，却入药油于锅中，内黄丹，不住手搅令匀，候色变紫色，收得油力[3]尽，软硬得所，用瓷合盛，摊在故帛上贴之。

治一切痈疽发背恶疮，及瘘疮，通神膏方：

雄黄二两，细研　黄丹八两，细罗　蜡六两　腻粉半两　没药末一两　骐驎竭末[4]□两　麝香一分，细研　桑枝四两　槐枝四两　蜥蜴二枚　当归三分　芎藭二[5]分　白芷三分　木香三分　沉香半两　郁金半两　乌蛇肉三分　藁本一两　细辛三分　桂心一两半　麻油二斤

右件药，细锉，先取油倾于铛中，以文火煎令熟，下锉药煎，候白芷黄黑色，以绵滤过，拭铛令净，下蜡于铛内，煎令熔，却入药汁于铛中，次下黄丹，次下诸药末，不住手搅，稀稠得所，滴在水中，药不散，即膏成，以瓷合盛，密封闭，悬于井底一复时[6]，出火毒，每用，摊在故帛上贴，日二换之，以差为度。

治一切恶毒疮肿，抵圣膏方：

木香一两　细辛一两　续断一两　莽草一两　槐枝一两　木鳖子一两，去壳　柳枝一两　陈油一斤半

已上七味，细锉，入油煎令烟尽，用绵滤去滓，入后诸药：

黄丹四两　密陀僧一分　蜡一两　松脂一分　野狐胆一分　乳香一分　骐驎竭一分　腽肭脐一分　阿魏一分　没药一分　麝香二钱

右件药，除丹蜡脂外，捣罗细研，先于银锅内熬油令沸，下丹，以柳木篦搅，候变黑色，即下诸药末，搅令匀，于地坑内出火毒一宿，煎时切忌水落药中。如有发背，每日空心，酒下七粒，如梧桐子大，只可三服止，更于故帛上摊贴，日二换之。

治发背痈疽，乳痈穿瘘，及一切恶疮、结肿疼痛，紫金膏方：

紫铆一两　石菖蒲半两　独活半两　白术三分　防风半两，去芦头　附子三分，去皮脐　白芷一两　木鳖子一两半，去壳　汉椒半两　杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁　半夏三分　桂心三分　骐驎竭[7]□两，细研　没药三分　木香半两　甘草三分　赤芍药半两　白及三分　沉香半两　麝香一分，细研　朱砂二两，细研　龙脑半两，细研　黄蜡三两[8]　乳香一两　甘松香半两　零陵香半两　白檀香半两　甲香半两　猪脂一斤半　羊脂一斤半

右件药，锉碎，以酒二大盏，拌一宿，取猪羊脂安铛内煎沸，下诸药，以文火熬，候白芷黄黑色，下蜡候熔，以绵滤过，入瓷合中，下骐驎竭、麝香、朱砂、龙脑等，搅

1　半：太平圣惠方作“三”。
2　五：太平圣惠方作“三”。
3　力：太平圣惠方作“方”。
4　末：此下注文脱字，太平圣惠方作“一”。
5　三：太平圣惠方作“二”。
6　复时：太平圣惠方作“宿”。
7　竭：此下注文脱字，太平圣惠方作“一”。
8　两：太平圣惠方作“分”。

令匀，用故帛上涂贴，日二易之。

治一切恶疮燉肿，大垂云膏方：

当归　附子去皮脐，生用　芎藭　防风　川升麻　槐子　细辛去苗　侧柏叶已上各一两　桃仁汤浸，去皮尖双仁　杏仁汤浸，去皮尖双仁　甘草　桑根白皮　白及　黄耆　白僵蚕已上各一分　垂柳一握煎了不在用　黄丹七两　雄黄半两　朱砂一分，细研　硫黄一分，细研　麝香一钱，细研　白芷一分　没药一分　骐骥竭一分，细研　龙脑一分，细研　黄蜡四两，切碎[1]　油一斤半

右件药，除研了药并丹外，细锉，先熬油令沸，下锉药煎，候白芷黄赤色，以绵滤过，拭铛令净，再煎下丹，以柳木蓖搅，候变黑，即下蜡熔尽，滴于水中为珠子不散，即次下诸药末，搅令匀，以瓷合盛，疔疾如后：

发背疮，热酒调一钱服，外贴之差；瘰疬漏见骨贴之；疽疮风肿，疥癣、奶痈、肠痈、发鬓牙痈、发脑、肾痈、马坠榼破骨损，贴之即效，一切虫蛇毒物咬之并贴，虎豹咬著，用甘草水洗后贴之。

治发背乳痈，及诸疮肿，垂云膏方：

乱发一两　黄丹六两　绯绢方一尺二寸，烧灰　松脂二两　丁香末半两　蜡一两　盐一两　柴胡一两，去苗　黄耆一两　乳香半两，细研　莨菪子一[2]两　清麻油一斤　驴耳塞半两　曲头棘针五十枚

右件药，炼油令烟绝，即下绯帛、发、松脂、蜡等，煎令发尽，取前柴胡等碎锉，下油铛中，以文火煎一炊久，绵滤去滓，油却安铛内，下黄丹，搅勿住手，候药色黑，入丁香、乳香末令匀，时时点于铁上，试捻成丸，即药成，用不津器盛，每用于帛上摊贴，每日二遍换之。

治一切疮肿，神效乌膏方：

清油一升　黄耆一两，锉　木通一两，锉　杏仁一两，汤浸、去皮尖双仁　皂荚一挺，不蛀者，去皮子，生锉　乱发如鸡子大

已上药，先以油浸一宿，明旦以文火煎，待药滓微焦黑，绵滤去滓，却入铛，更煎，入腊月炼成猪脂五两。

黄丹七两，炒令紫色

右入前油中煎，以柳木篦不住手搅，待黄丹消尽，油面清，次下成炼松脂一两，舶上紫铆末一两，入毕，不停手搅，时时滴少许漆器上，试看凝不粘手，去火，下麝香一分，细研，搅令匀，倾入瓷合中收之。一切疮肿故帛上贴之；未作头者，贴之当消，如已成头，当自穴矣；疮肿燉痛，及金疮折伤，火炙乘热贴之即定；肠痈作丸，如梧桐子大，空腹以温酒下十丸。

治发背，及诸痈疽疮，木通膏方：

木通三两，锉　露蜂房二两　连翘二两，锉　黄芩二两，锉　商陆二两，锉　黄耆二两，锉　牛蒡根二两，锉　乳头香二两，细研　松脂二两　蜡二[3]两　黄丹七两　羊肾脂三两　绯帛一尺，烧灰，细研　消石一两，细研　曲头棘针一百枚

右件药，以生麻油二斤，于铛中，文火煎令香，下锉药，急火煎，候药色赤黑，下松脂蜡洋，以绵滤去滓，下黄丹及羊脂，搅勿住手，候色黑，时时点于铁上，试看凝如饧，去火，适火热下乳香、帛灰、消石等，搅匀，用不津器盛，每用涂于帛上贴之。如肿未成脓，即内消，已成脓，即日二贴之。

治风毒疮肿，痈疽丁赘瘤瘿，十香膏方：

沉香半两，锉　檀香半两，锉　丁香半两，末　郁金香半两，锉　甘松香半两，锉　麝香一分，细研　薰陆香半两，细研　白胶香半两，细研　龙齿半两，细研　黄丹六两　麻油一斤　苏合香半两，锉　木香半两，末

右件药，先取沉香、檀香、郁金香、甘松香等五味，于油中浸七日，却入铛内，以少炭火温温养五日后，以武火煎三二十沸，漉出香，用绵滤过，净拭铛，油却[4]入铛内，下黄丹，以柳木篦不住手于火上搅，候色黑，滴水中如珠子，软硬得所，去火，将前丁香

① 切碎：太平圣惠方作“细研”。
② 一：太平圣惠方作“二”。
③ 二：太平圣惠方作“一”。
④ 却：太平圣惠方作“都”。

等六味入膏中，搅三五百遍，膏成，安瓷合内，用软帛上摊贴，日二[1]度换之。

治一切痈疽发背疮肿结硬膏药诸方

治发背痈疽，疮肿结硬，痛不可忍，神圣膏方：

木香一两　雄黄一两，细研　桂心一两　赤芍药一两　当归一两　人参一两，去芦头　附子一两，生，去皮脐　丁香一两　白芷一两　黄耆一两　没药一两　芎藭一两　防风一两，去芦头　甘草一两　沉香一两　细辛一两　乳香一两　白檀香一两　甘松香一两　蜡二两　松脂一两　垂柳枝三两　柏枝三两　黄丹一斤　清麻油三斤

右件药，并细锉，先煎油沸，下甘松，檀香、柳柏枝，以慢火煎半日，色赤黑漉去，下诸药，文火煎，候白芷色赤黑，漉出，下蜡、松脂令洋，以绵滤过，净拭铛，却下药油，入黄丹，再[2]著火煎，不住手搅，候变色黑，滴安水中如珠子，即膏成，以瓷合盛，取帛上摊贴，每日早晚换之，取差为度。

治发背痈疽，结硬肿痛，乌犀膏方：

乌犀屑一两　玄参一两　黄芩一两　紫葛一两　木通一两　川升麻一两　白芷一两　当归一两　白蔹一两　白及一两　防风一两，去芦头　芎藭一两　甘草二两　赤芍药一两　桂心一两　槐枝二两　垂柳枝三两　桑枝二两　松脂二两　黄丹十二两　蜡二两　油二斤　青盐二两

右件药，细锉，于净铛内，以油浸药三宿，后以文火煎，令白芷色赤黑，漉去滓，次下松脂、蜡令洋，绵滤去滓，拭铛令净，却[3]倾铛内，下黄丹，文火上煎，不住手以柳篦搅，候色变黑，滴于水内，捻看软硬得所，倾于瓷合内，用帛上摊贴，日二换之。

治风毒气结，坚硬疼痛，及消附骨疽，黑金膏方：

桂心一分　芎藭一分　当归一分　木鳖子一分，去壳　乌贼鱼骨一分　漏芦一分　白及一分　川乌头一分，生，去皮脐　鸡舌香一分　木香一分　白檀香一分　丁香一分　松脂二两　乱发[4]二两　黄丹六两　清麻油一斤

右件药，捣细罗为散，入松脂、乱发于[5]油内，煎令发尽，绵滤去滓，澄铛[6]拭铛令净，以慢火熬药，入黄丹，用疮[7]木篦不住手搅，令黑色，一时下诸药末，又搅令匀，看软硬得所，于不津器内收。每使，看肿痛处大小，于火畔炙，摊故帛上厚贴，日二换之。

治发背，一切恶毒疮肿，坚硬疼痛，琥珀膏方：

琥珀一分，细研　雄黄一分，细研　朱砂一分，细研　丁香一分　木香一分　当归一分　白蔹一分　芎藭一分　木鳖子一两，去壳　乱发一两，烧灰　生地黄二两，切　垂柳枝三[8]合，锉　槐枝三合，锉　松脂一两　黄丹五两　清麻油十五两

右件药，丁香、木香、当归、白蔹、芎藭五味，并捣细罗为散，以琥珀、雄黄、朱砂相和细研，候膏成，乃下余药，并以油浸一宿，净铛内煎炼，以地黄色黑为度，绵滤去滓，澄清，却于铛内慢火熬药油，相次入黄丹，以柳木篦不住手搅，令色黑，取少许滴于水内，捻看硬软得所，入琥珀等末搅令匀，倾于不津器内盛，每使时，看疮肿大小，以故帛上涂贴，日二度换之。

治发背痈疽，热毒气结肿，疼痛坚硬，木通膏方：

木通一分　甘草一分　当归一分　白芷一分　防风一分，去芦头　细辛一分　栀子仁一分　黄连一分　垂柳枝锉，三合[9]　黄芩一[10]分　黄丹六两　黄蜡二两　清麻油一斤

右件药，细锉，于油内浸三宿，入净铛

---

1) 二：太平圣惠方作“三”。
2) 再：太平圣惠方作“下沸”。
3) 却：太平圣惠方作“都”。
4) 发：此下注文脱字，太平圣惠方作“一”。
5) 于：太平圣惠方作“麻”。
6) 铛：太平圣惠方作“清”。
7) 疮：太平圣惠方作“柳”。
8) 三：太平圣惠方作“二”。
9) 合：太平圣惠方此下有“生”字。
10) 一：太平圣惠方作“三”。

内，以慢火熬令柳枝黄黑色为度，绵滤去滓，澄清，却于铛内，慢火熬药油，相次下黄丹，用柳木篦不住手搅令匀，滴于水内，捻看硬软得所，入黄蜡，又搅令匀，倾于不津器内盛，每使时，看肿结处大小，火畔�certain，摊于故帛上贴，日二换之。

治一切痈疽发背止疼痛膏药诸方

治一切发背，乳痈恶疮，骨疽穿漏，收毒止痛生肌，雄黄膏方：

雄黄三分，细研　当归三分　桂心三分　白芷半两　赤芍药半两　甘草三分　附子三分，生，去皮脐　黄耆三分　枳壳三分　吴茱萸半两　白术半两　独活半两　槟榔三分　麝香半两，细研　乳香半两　突厥白三分　木鳖子半两，去壳　云母粉三分　松脂三分　白蜡二两　垂柳枝一两　槐枝一两　白檀香半两　零陵香半两　甘松香半两　黄丹十两　麻油二斤

右件药，先将油于铛中，以炭火炼熟，下甘松、零陵、檀香、槐柳枝等，以慢火煎令槐柳枝黑色，即去之，细锉诸药，以酒半升，拌药一宿，后入油中煎，白芷色赤，以绵滤过，拭铛令净，却[1]倾入铛内，下黄丹于火上煎，变色黑，不住手搅三二千[2]遍，有油泡子飞，即膏成，入雄黄、麝香搅令匀，安瓷合内盛，以蜡纸上摊贴，每日早晚换之。

治一切痈疽发背，及恶毒疮肿，止疼痛生肌，五香膏方：

丁香一分，末　木香一分，末　白檀香一分，末　薰陆香一分，末　麝香一分，末　黄耆半两　白芷半两　细辛半两　防风半两，去芦头　芎藭半两　当归半两　甘草一两　桑根白皮一两　槐枝锉，三合　乱发一两，烧灰　垂柳枝锉，三合　黄丹十两　清麻油一斤四两

右件药，除五香末外，并细锉，安净铛内，以油浸一宿，以慢火煎令槐柳枝色黄黑为度，以绵滤去滓，澄清，却于铛内，慢火熬药油，相次入黄丹，用柳木篦不住手搅，候黄丹色黑，滴于水内，看硬软得所，入五香末搅令匀，倾于不津器内盛，每[3]用时，于火畔炙，以纸上涂贴，每日二上换之。

治一切痈疽发背，疼痛不可忍，口乾大渴，不欲食，宜傅乌膏方：

雄黄一两，细研　雌黄一两，细研　芎藭一两　川升麻一两　黄连一两　黄柏一两　川乌头一两，生，去皮脐　杏仁五十枚，汤浸，去皮尖双仁　胡粉一两，细研　巴豆二十枚，去皮心　乱发鸡子大　汉防己一两　松脂鸡子大

右件药，细锉，用猪脂三斤，急火煎发消尽，下诸药，文火熬令乌头色赤，绵滤过，候冷，用真珠末五钱，安药内，入雄黄、雌黄、胡粉，更搅令匀，用时，先以温水洗疮口，拭乾，乃傅之。

治一切痈疽发背，疼痛不止，大渴闷乱，肿硬不可忍，宜傅黄丹膏方：

黄丹七两　蜡三两　白蔹二两，锉　杏仁三两，汤浸，去皮尖双仁，研　乳香二两，末　黄连二两，锉　生油一升

右件药，白蔹等三味，以生绢袋盛，入油，慢火熬半日，漉出，下黄丹，以柳木篦搅，候变黑，膏成，入蜡、乳香更熬，硬软得所，用瓷合内盛，故帛摊贴，日二换之。

治一切痈疽发背，及风热毒，结肿疼痛，麝香膏方：

麝香一两，细研　叶子雌半两，细研　龙脑半两，细研　骐驎竭三[4]分，末　没药半两，末　槟榔半两，末　丁香半两，末　当归三分，末　木香半两，末　黄犬脂一两　朱砂三分，细研　白蜡三分　黄丹三两　油八两

右件药，先将油于银锅中，以慢火炼令香，下蜡、犬脂，去火，渐下黄丹，却用火煎，不住手以柳木篦搅，变色即去火，将前六味药末，并香药一处，更研令匀，微火暖动，渐渐搅入令匀，膏成，以瓷合盛，用蜡

(1) 却：太平圣惠方作“都”。
(2) 千：太平圣惠方作“十”。
(3) 每：太平圣惠方此下有“日”字。
(4) 三：太平圣惠方作“二”

纸上摊贴，每日二换，以差为度。

治一切痈疽发背，日夜疼痛，乳香膏方：

乳香半两　黄丹三两　麻油半斤　麝香一钱，细研　桂心一钱　腻粉三钱　附子三分，生，去皮脐　当归半两

右件药，捣细罗为散，取铫子，于慢火上炒黄丹令赤，入油同煎，时时滴在水碗内，凝结如珠子，便下诸药末，搅煎成膏，于瓷合内盛，以故帛上涂贴，每日早晚换之。

治一切痈疽发背，疼痛不止，木通膏方：

木通二两　黄丹五两　细辛一两　茵陈一两　琥珀半两，细研　朱砂一两，细研　清麻油十两

右件药，先煎油令沸，即下细辛、木通、茵陈，煎五七沸，去滓，即入琥珀、朱砂末，更煎，用柳木篦搅，候滴于水中成珠子，膏成，收于瓷合中，每摊膏于故帛上贴，日二易之。圣济总录同。

治一切痈疽发背，疼痛不可忍，丁香膏方：

丁香半两，末　麻油一斤　黄丹七两　丈夫头发一两　蜡一两　桂心半两，末　当归半两，末

右件药，先炼油令香，下发，煎令发尽，次下蜡，以绵滤过，却[1]入铫中，下黄丹，不住手搅，候色黑，滴安水内如珠子，即下丁香、桂心、当归等末，搅令匀，以瓷合盛，用故帛上摊贴，日二换之。圣济总录同。

治一切痈疽发背，日夜发歇疼痛不止，胡粉膏方：

胡粉四两　油半斤　蜡二两半　乳香半两，细研　麝香一钱，细研　没药半两，细研

右件药，以文火煎令油熟，下胡粉，后下蜡，临成下麝香、乳香、没药，搅勿住手，待似星花上来，即住，以瓷器内盛，于故帛上涂贴，日二易之。圣济总录同。

治一切痈疽发背疮肿溃后排脓膏药诸方

治一切痈疽发背，恶疮毒肿溃后，久脓水不住，肌肉不生，毒气未定，收毒止痛暖肌，骐骥竭膏方：

骐骥竭半两　雄黄半两，细研　密陀僧半两，细研　雌黄一分，细研　乱发灰[2]半两　朱砂半两，细研　乳香一两，细研　黄耆一两　白芍药一两　牡丹一两　连翘一两　丁香一两　木香一两　桂心一两　当归一两　牛膝一两，去苗　细辛一两　白芷一两　松脂二两　蜡三两　黄丹一十二两　麻黄二两　油二斤半

右件[3]黄耆等一十二味，细锉，入油内浸一宿，后用文火煎诸药色黑，漉出，次下松脂、乳香、蜡，消熔尽，以绵滤去滓，拭铫令净，却下药油，以慢火熬，相次入黄丹，不住手以柳木篦搅，候色变，滴于水碗内，捻看软硬得所，歇良久，入骐骥竭、雄黄、雌黄、密陀僧、朱砂等末，搅令匀，倾于瓷合内，以纸上摊令匀，每日二上贴之。御医撮要方同。

治一切痈疽发背，穿穴后，排脓散毒止痛，连翘膏方：

连翘一两半　陈油一斤半　猪脂七[4]两　羊脂五两　黄耆一两半　黄丹十四两　白芷一两半　白及一两半　白蔹一两半　乳香二[5]分　松脂一两半　蜡二两　露蜂房一两半　乱发灰半两　青绢一尺二寸，烧灰　绯绢一尺二寸，烧灰　当归一两半　白芍药一两半　桂心一两半

右件药，先将油及猪羊脂，以微火煎，候脂消尽，锉碎黄耆、白芷、连翘、蜂房、白及、白蔹、当归、芍药、桂心九味，下入油内，以微火煎，候药黄黑色，次入松脂、蜡、乳香熔尽，即以绵绞去滓，再入铫内煎，即下黄丹，以柳木篦搅，勿令住手，候药变黑色，次下绯青绢灰，及头发灰，搅令匀，滴于冷处，凝硬得所，成膏，于瓷器内收，用时旋于故帛上摊贴，日二换之。

治一切痈疽发背溃后，日夜疼痛，宜用

---

① 却：太平圣惠方作“都”。
② 灰：太平圣惠方无此字。
③ 件：太平圣惠方此下有“药”字。
④ 七：太平圣惠方作“十”。
⑤ 二：太平圣惠方作“三”。

排脓止痛膏方：

油一斤　当归一两半　白芷一两　桂心三分　芎藭一两　藁本一两　细辛三分　密陀僧一两，细研　黄丹五[1]两　麝香一分，细研　鹿角胶一两半　蜡三分　朱砂一两，细研　盐花一两　腻粉三分　乳香三分，细研

右件药，先取油，安铛内，炼沸，当归等六味细锉，下入油中，煎白芷赤焦色，绵滤去滓，净拭铛中油，却安入铛中，依前慢火熬，下蜡并黄丹，不住手以柳木篦搅，候色黑，次下密陀僧、鹿角胶、盐花，次下腻粉，次下乳香，次下朱砂、麝香等，慢火熬搅，候药黑光，即滴入水内，如硬软得所，药成，入钞锣中待凝冷，即于净地上安一宿，以物盖，出火毒，每用，故帛上摊贴，日再换之。

治一切痈疽发背溃后，肌肉不生，宜用此排脓生肌神效膏方：

当归二两　白芷一两半　乳香三分，细研　松脂一两　芎藭一两　白蔹一两半　绯帛灰半两，细研　乱发灰半两，细研　甘草一两半　黄丹十两　木鳖子三十枚，去壳　杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁　木香一两半　黄蜡二两　麻油二斤　圣济总录二升

右件药，先取油安铛内，炼令香熟，将八味药细锉，下油中浸一宿，以文火煎白芷色赤黑，即漉出，总录滤去滓。次下松脂、蜡、乳香、绯帛发灰等，更煎令消，以绵滤去滓，却[2]入铛内，下黄丹，不住手搅，变黑光色，滴在水中为珠子，膏成，用瓷器盛。每用，以故帛摊贴，日二易之。

治一切痈疽、发背已溃后，日夜疼痛不可忍，脓不能出，宜用止痛排脓生肌神秘方：

生地黄汁五合　防风三分，去芦头　羊肾脂二两　麻油五两　乳香一两　黄蜡二两　乱发半两　当归半两　甘草三分　白蔹半两

右件药，细锉，以醋拌湿，先以油煎乱发消尽，下地黄汁，煎如鱼目沸，候地黄汁尽，绵滤去滓，却于火上下蜡香脂，熟搅匀，煎令稠，于瓷合内盛，以故帛涂，看疮大小贴，日二易之。

治一切痈疽发背溃后，肌肉不生，宜用此排脓生肌膏方：

黄丹六两　松脂半两　薰陆香半两　故绯帛一尺，烧灰，细研　乱发半两　蜡一两　故青帛一尺，烧灰，细研

右件药，以油一斤，先煎一二沸，内发，煎令消尽，然后内蜡，及松脂、薰陆香、绯青帛灰，煎搅令洋，以绵滤去滓，却[3]入铛中，下黄丹，以火煎搅令色黑，软硬得所，贮一瓷器中，少少涂于楸叶上，以贴，日二易之。

治一切痈疽发背，溃后疼痛，疮口不合，宜用此排脓生肌膏方：

川大黄一两　细辛半两　防风半两，去芦头　黄芩半两　芎藭一两　白蔹一两　白芷半两　白芍药半两　莽草半两　黄柏半两　黄连半两　当归半两　麻油半斤　猪脂半斤　白蜡四两　松脂一斤

右件药，都细锉，先于净铛内煎麻油、脂、蜡令消，后入诸药，慢火煎，看药欲焦，即以绵滤去滓，放冷膏成，每用，以故帛上涂贴，日二换之。

治一切痈疽发背，溃后疼痛不止，宜用此排脓止痛地黄膏方：

生地黄汁一升　松脂二两　薰陆香一两　羊肾脂一两半　牛膝一两半　蜡一两

右件药，于地黄汁中煎松脂及香，令消尽，即内羊脂酥蜡，慢火煎令稠，膏成，涂软帛上，日二三上贴之。

治一切痈疽发背生肌膏药诸方

治一切痈疽发背，日夜疼痛，解毒生肌，骐驎竭膏方：

骐驎竭一两　桂心三分　木香半两　附子三分，生，去皮脐　槟榔半两　当归半两　白芷半两　芎

---

[1] 五：太平圣惠方作“三”。
[2] 却：太平圣惠方作“都”。
[3] 却：太平圣惠方作“都”

劳三分　诃黎勒皮半两　沉香半两　没药半两　白及半两　朱砂三分，细研　丁香半两　乳香半两　甘草半两，锉　麝香半两，细研　白檀香三分　甘松香一两　零陵香半两　槐枝一[1]两　柏枝二两　垂柳枝二两　松脂三分　白蜡三分　黄丹十五两　油二斤半

右件药，先将油于铛中，以炭火炼令香，细锉甘松香、檀香、零陵香、柏槐柳枝等，入油内浸一宿，以文火煎，候三般枝黄黑色，即去，却下松脂并蜡，化了，以绵滤过，拭铛令净，却[2]倾油入铛中，下黄丹，于火上以柳木篦不住手搅，令沸，转黑色后，将前十七味药捣罗为末，微火上调入膏内，搅三二千[3]遍令匀，滴入水中作珠子，即膏成，用瓷合收，于蜡纸上摊贴。甚者，每日早晚换之。

治一切痈疽发背，肌肉不生，乾急疼痛，润疮生肌膏方：

槟榔一两　白芍药一两　丁香一两　细辛一两　黄连一两　川芎劳一两　杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁　桂心一两　天南星一两　牛膝一两，去苗　羌活一两　附子一两，生，去皮脐　藁本一两　防风一两，去芦头　木鳖子一两，去壳　当归一两　木香一两　白芷一两　乳香一两　白胶香一两　麝香半两，细研　蜡四两　羊脂一斤　猪脂一斤　野驼脂一斤

右件药，除脂、蜡、麝香外，都细锉，以米醋半升，拌令匀，一宿，先取三般脂，于铛内文火煎沸，即下诸药，煎半日，候白芷色赤，漉出，下蜡令消，以绵滤过，瓷合盛，调入麝香令匀，看患处大小，涂贴于上，日二度换之。

治一切痈疽发背，败坏疼痛，宜用此生肌膏方：

蛇衔草一两半　当归一两半　黄连一两半　黄耆一两　甘草一两　黄芩一两　川大黄一两　续断一两　白芍药一两　白及一两　芎劳一两　莽草一两　白芷一两　附子一两，生，去皮脐　细辛一两　蜀椒一两，去目　生乾地黄三两　薤白一两[4]

右件药，都细锉，以酒一升，拌令润半日，先用腊月猪脂三斤，安铛内炼沸，渐渐入药，煎令白芷黄赤色，漉去[5]以绵滤过，瓷合盛，每日三二度，以涂患上。

治一切痈疽发背，止痛生肌膏方：

骐驎竭一两　没药一两　黄丹八[6]两　乳香一两　当归一两　白芷半两

右件药五味，捣细罗为散，先用清油一斤半，煎桑白皮、柳白皮各二两，令色赤，漉去滓，用绵滤过，下黄丹，搅匀，候色黑，次下五味散，以柳木篦子搅，候软硬相得，膏成，于故帛上摊贴，如内损疼痛，只用酒服五丸，如皂荚子大。

治一切痈疽发背，生肌敛疮口，水杨膏方：

水杨皮二两，锉　槐皮二两，锉　黄丹六两　骐驎竭一两，末　密陀僧一两半，细研　白松脂一两　蜡一两　白蔹一两，锉　降真香一两，锉[7]　油二斤

右件药，先将油于铛内，微火煎水杨皮、槐皮，后下白蔹、骐驎竭、松脂、降真香，再煎，候水杨皮黄黑色，以绵滤去滓，再入铛内重煎，即入密陀僧并黄丹、蜡等，用柳木篦搅，勿令住手，候色变黑，旋滴于冷处，看硬软得所，膏成，盛于瓷器中，用于软帛上摊贴，每日二度换之。

治一切痈疽发背，脓血不止，宜用此生肌膏方：

薰陆香一两　松脂一两　黄丹二两　羊肾脂一两　生地黄汁二合　麻油四两　故绯帛五寸

右件药，先以油煎绯帛消尽，下薰陆香、松脂、羊肾脂，又煎三二沸，去火，下地黄汁，煎汁令尽，去火，下黄丹，搅令相入，又煎一二沸，下蜡，候色黑，软硬得所，膏成，用帛上摊贴，日二换之。

治一切痈疽发背，生肌止痛，去疮内虫，

① 一：太平圣惠方作“二”。
② 却：太平圣惠方作“都”。
③ 千：太平圣惠方作“十”。
④ 两：太平圣惠方作“把”。
⑤ 去：太平圣惠方此下有“滓”字。
⑥ 八：太平圣惠方作“半”。
⑦ 锉：太平圣惠方作“半”。

乌麻膏方：

乌麻油一斤　黄丹七两　薰陆香一两　麝香半两，细研　松脂一两　黄蜡二两

右件药，先煎油沸，下松脂、薰陆香及蜡，候消，以绵滤过，却安铛内，下黄丹，火上搅令色黑，滴安水中为珠子，软硬得所，去火，下麝香搅令匀，以瓷合盛，看疮大小，帛上摊贴，取差为度。

治一切痈疽发背，止痛生肌，黄耆膏方：

黄耆一两　赤芍药一两　当归一两　川大黄一两　芎藭一两　独活一两　白芷一两　薤白一两　生地黄二两　麝香二钱，细研

右件药，都细锉，先用猪膏二升，煎三五沸，下药，煎白芷色赤，以绵滤去滓，入麝香搅令匀，收瓷合中，日三四度涂摩疮上。

治一切恶毒[1]膏药诸方

治一切恶毒疮肿，抵圣雄黄膏方：

雄黄一两，细研　黄丹二两　乳香一分，细研　没药一分，细研　麒麟竭一分，细研　密陀僧半两，细研　麝香半分，细研　丁香半分，末　红芍药一分，锉　白及一分，锉　白蔹一分，锉　白芷一分，锉　不灰木一分，锉　槐条柳条各二十一[2]寸，冬用根，夏用条，并乱发都一处，水浸一日，漉出　乱发如球子大，净洗　油半斤　蜡四两

右件药，从芍药已下，以油煎令白芷焦赤，滤去滓，入蜡并雄黄已下八味，不住手以柳木篦搅，候色变黑，即倾入瓷合中，看疮大小，涂于故帛上贴之。

治一切远年恶毒疮，发背，冷漏丁疮，刀箭所伤，乌蛇膏方：

乌蛇四两　当归二两　黄耆一两半　生乾地黄一两半　乱发三分，烧灰　防风一两，去芦头　甘草二两　黄丹六两　胡粉四两　蜡二两　松脂二两

右件药，都细锉，以清油二斤半于铛内，入蜡、松脂及药，煎令黑色，绵滤去滓，却[3]内铛中，下黄丹，便以武火上不住手搅，候色黑，滴安水中如珠子，硬软得所，即膏成也，用故帛上摊，可疮大小贴，日二易之，以差为度。

治一切痈疽恶毒疮疼痛，挺子膏方：

附子一两，去皮脐，生用　赤芍药一两　当归一两　杏仁二两，汤浸，去皮尖双仁　黄连一两　赤柳皮四两　麒麟竭一两　没药一两　黄丹二[4]两　清油一斤

右件药并细锉，先将清油及诸药入于铛中，煎令焦黄色，待冷澄滤过，后下黄丹、麒麟竭、没药同煎，以柳木篦子不住手搅，候黑色，取少许滴水中成珠子，即膏成，放冷，剂作挺子，多年冷漏恶疮，先用甘草煎水洗，然后贴之。痈肿，煎皂荚酒调服一丸，如弹子大，齿断痈肿贴之，大效。

治一切恶毒疮疼痛，生肌散方：

白米一升，淘四十九遍　旧皮巾子一只

右二味，入瓷瓶子内，泥固头，以大火烧为灰，候冷，细研为末，日二三上贴之。

治一切恶毒疮，日夜疼痛，脓血不止，宜用此方：

雄黄三分，细研　麒麟竭三分，细研　乳香三分，细研　麝香一分，细研　杏仁二两，汤浸，去皮尖双仁　柳枝一握，锉　沥栝油八两

右件药，先将油入铫子内，与杏仁、柳枝同煎至黑色，用绵滤过，净拭铫子，入黄丹二两，于油内熬，常以柳枝子搅令黑色，候滴水中不散，入前四味药末，又熬令稠，倾在瓷器中，于软帛上摊贴，日二换之。

治一切恶毒疮，挺子膏方：

麒麟竭半两　定粉一两　没药半两　自然铜半两　黄丹一两　无名异半两　蜡四两

右件药，捣罗为末，先用蜡于铫子内令熔，次下药末，以柳杖[5]子搅，勿令住手，至冷剂为挺子，有患者，著漆楪子底上点生油，摩令浓，每日二上贴之。

治一切恶毒疮肿，白薇膏方：

---

① 毒：太平圣惠方此下有“疮”字。
② 二十一：太平圣惠方作“一”。
③ 却：太平圣惠方作“都”。
④ 二：太平圣惠方作“三”。
⑤ 杖：太平圣惠方作“枝”。

白薇半两　白蔹半两　白及半两　白附子半两　白芷半两　赤芍药半两　胡粉二两，细研　乳香一两①，细研　白蜡三两　油十二两

右件药，白薇等六味锉，以油浸经七日，用瓷瓶子盛，以纸三二重封瓶口，绳子牢系，于饭上蒸五度，然后用铫子煎五六沸，绵滤去滓，又入胡粉、乳香、白蜡等，更煎一二沸，以瓷器盛，于软帛上摊贴，日二换之。

治一切恶毒疮肿，莨菪膏方：

莨菪二合　白蔹末　芎藭末　丁香末　沉香末　乳香末　木香末　鸡舌香末。各一两　黄丹七两　麻油一升半

右件药，唯莨菪子别捣，绵裹入油铛中煎，候色焦黑，漉出，次下白蔹、黄丹等末，用柳木篦不住手搅，候稀稠得所，即膏成，贮于瓷合中，以故帛上摊贴，日二换之。

消②一切毒肿膏药诸方

治一切毒肿，不问大小，煨热疼痛不可忍，犀角膏方：

犀角屑三③两　石长生三④两　苦参三两　蓝实三两　芎藭一两　赤芍药一两　络石一两　白蔹一两　半夏一两　连翘一两　商陆一两　玄参一两　桑寄生二两　酥三两　川消石二⑤两

右件药，细锉，以腊月猪脂炼成者三斤，入药，以文火同煎，候白蔹黄赤色，以布绞去滓，净拭铛，重煎，下酥、消石，添火炼之，不得绝急，候如稀饧，又以绵滤，内瓷器中盛，于软帛上摊贴，日二换之。

治一切毒肿，筋急疼痛，乌蛇膏方：

乌蛇一两　木香半两　诃梨勒皮半两　芎藭半两　细辛半两　牛蒡子半两　防风半两，去芦头　垂柳枝锉，三⑥合　黄丹六两　清油一斤

右件药，捣罗为末，于油内先煎柳枝令黄黑色，绵滤去滓，澄清，拭铛令净，以慢火熬，入黄丹，搅如黑豆色，一时下药末，又搅令匀，倾于不津器内，每使时，看疮肿大小，火畔炙，以纸上摊贴，日二换之。

治一切毒肿疼痛，宜贴解毒膏方：

川升麻一两　白蔹⑦两　漏芦一两　连翘一两　川芒硝一两　黄芩一两半　蛇衔草⑧两半　栀子仁三十枚　蒴藋根二两

右件药锉碎，以酒拌半日，用猪脂一斤半，煎药令黑色，即膏成，绵滤去滓，以瓷器盛，于软帛上摊贴，日二换之。

治一切毒肿热疼，升麻膏方：

川升麻一两　犀角屑一两半　玄参一两　杏仁一两，汤浸，去皮尖双仁　赤芍药一两　麻黄一两，去根节　栀子仁一两　甘草一两　川芒硝一两　芎藭一两　蛇衔草一两　白蔹一两　黄芩一两　葎草一两　桑寄生一两　白芷一两　射干一两　蓝叶一两　地黄汁五合　猪脂四斤　醋⑨ □升

右件药，都锉，以醋地黄汁渍药一宿，于铛内先销猪脂，入药，以慢火煎，候醋气歇，白芷黄赤色，膏成，绵滤去滓，盛瓷器中，每日四五度，涂摩肿处。

治一切毒肿，结硬疼痛，地黄膏方：

生地黄半斤　辛夷一两　独活一两　当归一两　芎藭一两　黄耆一两　白芷一两　续断一两　赤芍药一两　黄芩一两　川大黄一两　薤白二两

右件药都细锉，以腊月猪脂一斤半，煎候白芷黄赤色，以绵滤去滓，盛不津器中，日三四度涂之。

治一切风毒气流注，骨节筋脉结聚疼痛，败龟膏方：

败龟一两　桂心半两　木香一分　木鳖子仁半两　防风三分，去芦头　白芷一分　当归一分　槐白皮一两　独活一分　川乌头一分，生，去皮脐　芎藭一分　藁本一分　黄丹一两　清油十两　松脂一两

右件药，败龟、木香、桂心三味，合捣

---

① 两：太平圣惠方作“分”。
② 消：太平圣惠方作“治”。
③ 三　太平圣惠方作“二”。
④ 三：太平圣惠方作“一”。
⑤ 二：太平圣惠方作“三”。
⑥ 三：太平圣惠方作“二”。
⑦ 一：太平圣惠方作“二”。
⑧ 一：太平圣惠方作“二”。
⑨ 醋：此下注文脱字，太平圣惠方作“一”。

罗为末，其余细锉，以油浸一宿，同煎令槐白皮黑色为度，绵滤去滓，澄清，却于铫内，以慢火熬，入黄丹，用柳木篦不住手搅，候黄丹色黑，滴入水内，看硬软得所，成膏，便入败龟等三味末，更搅令匀，倾于不津器内盛，每用时，看疼痛处大小，火畔煿，以纸上匀摊贴，日二三度易之。

治一切风毒流注不定，燉赤疼痛，天麻膏方：

天麻　当归　防风　乌头去皮脐，生用　独活　细辛　乌蛇　半夏　乾蝎　白僵蚕各一两

右件药细锉，以腊月猪脂一斤半，煎沸，下药，文火熬令药赤[1]黑色，漉出，即下蜡四两，候熔，以绵滤过，安瓷合内，每日三五度，取少许摩令热，兼于空心及晚食前，以温酒调下半匙。

治一切风毒流注，筋骨疼痛，换骨膏方：

槟榔一分　没药一分　盐一分　麝香一分，细研　当归一分　乾蝎一分　芎藭一分　黄丹三两　清油五两　垂柳枝二两，锉

右件药，捣罗为末，先以油煎柳枝令黄黑色，漉去，以绵滤过，却[2]入铫中，下盐、黄丹，以柳木篦搅，慢火熬令黑色，下诸药末，急搅令匀，收瓷合中，摊膏于故帛上贴，日三二度换之。

是斋医方

膏　药

神验金丝膏：

清油半斤　白胶香赤者，七钱半，白者，七钱半　韶粉半两　腻粉冬季用七箇，夏季用八箇，临安所卖者

右件细研，入在油内，用银器文武火熬，以向南柳枝系作小把子，搅成膏如琥珀色，于白碗底上试，以不散为度。如汤荡火烧并金疮，以鸡翎扫之；如久患恶疮，用口含浆水洗净，或以面圈疮口，倾药在内，痛立止；如刀斧所伤，倾药在患处，定疼止血，愈无瘢痕。

木鳖子膏：　治经结受风寒邪气，筋脉牵连皮肤疼痛，结聚成核，拘挛麻痹。张才卿方。

木鳖子一两，去皮，锉如小豆大，用清油二两，浸一二宿，然后慢火熬及一半以来，取出木鳖子，下黄蜡一钱，相搅匀，等蜡化为度，绢滤去滓　乳香一钱，别研细，等木鳖子油与蜡相次欲凝，急投在油内，不住手搅匀

右以磁器收，每用少许，擦肌肉皮肤疼痛聚硬处，不住手，以极热为度。

治一切痈疖毒，万金膏：　沈仁父司理，年七八岁时，苦脑疽见骨，痛楚异常，沈德和尚书传此方，一夕傅之即减，不数日间，凡五换，遂全愈。张承祖方同。

大甘草根节四两，锉，去皮　真麻油八两　黄丹四两，真好者

右将甘草根节锉成寸段，椎破，内留一条长者搅药，用银石器入油，煎甘草令焦黄，取出不用，入黄丹，以前所留长甘草一条，不住手搅，如黑色，点少许入水，试候成膏不散，用绵滤，入瓶封闭令密，坎地二尺许埋药，二十日取出，腊月合尤妙。发背，梧桐子大五十丸，甘草汤下，傅贴如常法。

治诸般恶疮，万金膏：　深兄堂主。

五倍子一钱　赤芍药　白芷　大黄　官桂　当归[3]　玄参　乾地黄各二钱半。已上第一次煎　虢丹四两，第一次入　当归二钱半　羌活　云母别研。各一钱　巴豆三十五粒。已上第二次煎　乳香别研　滑石别研　白胶香别研。各一钱　没药别研，二钱半　虢丹四两。已上第二次入

右件各细锉，用真清麻油一斤省[4]，先将半斤入铫煎沸，下五倍子、芍药、白芷、

① 赤：太平圣惠方作“末”。
② 却：太平圣惠方作“都”。
③ 当归：普济方卷三百十三膏药门作“川芎”。
④ 省：普济方卷三百十三膏药门无此字。

大黄、官桂、当归[1]、玄参、地黄八件，以柳枝一条搅油，候药带焦色，用绵一约[2]滤去滓，再将药油入铫，候略沸，下虢丹四两，打转看候紫色，将油一二点滴在水面上，成珠子即便倾出[3]，安稳处，再将清油半斤，如前煎沸，下当归、羌活、云母、巴豆，及青杨柳枝皮指面大，一二十片，同煎，候药带焦，用绵子[4]滤去滓，再煎药油，下乳香、滑石、胶香、没药、虢丹同煎，候如前带紫色，滴入水中，才成珠子，却将前煎药油，倾作一铫同煎，打匀为度，煎药时不要火大紧，恐煎过药味。唐仲举云：渠令嗣颏颊间，苦一漏疮年余，用此膏药二枚而愈，后以治他人亦多验。

如圣膏：　郑都承方，有效。

当归　熟地黄　玄参　大黄　香白芷续断　赤芍药　官桂各二两　蓬术一两　黄丹秋夏用二斤半，春冬只用三斤

右用麻油六斤，将前六味锉碎，留香白芷一块，入锅内，以炭火熬香白芷焦黄色，滤去诸药不用，候油冷，下黄丹，用柳枝不住手搅，再上火熬，色转为度，放冷，自成膏矣。

治一切恶疮，太一膏：　李侍郎传，妙甚。

赤芍药　大黄　香白芷　官桂　玄参　当归　生乾地黄各一两

右件药并锉，先煎清油二斤令香，候沫尽，即入药煎至黑色，取出不用，将油滤过，然后入黄丹一斤，用青柳枝不住手搅，候经验秘方有煎至黑色四字。滴于水中成珠，不粘手为度，倾入瓷器中，以砖盖口，掘窖子，埋树阴下，以土覆三日，出火毒，欲服，丸如鸡头大。发背，秘方有痈疽二字。先以温水洗疮，拭乾，用帛子摊膏药贴之，温水下一丸。久远瘰疬，摊贴，温水下一丸。诸瘘疮，盐汤洗贴，酒下一粒。打扑伤损难贴，橘皮汤下一粒。腰膝疼痛，盐汤下一粒。妇人血气，木通甘草汤下一粒。赤白带下，酒下一粒。唾血，桑白皮汤下一粒。风赤眼难贴，栀子汤下一粒。咳嗽咽喉肿，秘方有痛字。绵裹一粒，含化。一切风劳病，柴胡汤下一粒。一切疮疖，并肿痛疮，及诸般疥癣，别炼，入油少许，打膏令匀，涂之。诸疾亦度情而用，甚妙。此方得之于一僧，颇有异，誓不传与取利之家，苟或取利，则入山遇虎，入水遇蛟，傅者切宜戒之。葛丞相传，郑知县亨老得之于昆山僧，皆此方，屡合以施人，奇妙奇妙！

水晶膏药：　华宫使傅。

好白油单纸十张，每张剪作八片　鹰爪黄连一两，去须，细锉

右用水二碗许，入砂锅内，同黄连煎至一碗半，先下油单[5]五张，又续下五张，同煎五七百沸，汤耗旋添，不得犯铁器，漉起，擦去黄连滓屑，焙乾。如疮破有脓，将药花旋松[6]贴；如校[7]疮，约度大小，恰好剪贴，不可太大，先将周回剪下油单[8]烧灰，热酒调嚼，生姜送下，次贴药，切不得犯女人手，此药大治丁疮、背疽、瘤疽、奶脾、奶疽、鬼面丹毒、黑痈[9]，贴药后忌荤腥一二时辰，如才觉病，早用见效尤速。

1　当归：普济方卷三百十三膏药门作“川芎”。
2　一约：普济方卷三百十三膏药门无此二字。
3　出：普济方卷三百十三膏药门此下有“置”字。
4　子：普济方卷三百十三膏药门无此字。
5　单：普济方卷三百十四膏药门此下有“纸”字。
6　药花旋松：普济方卷三百十四膏药门作“药化松旋”。
7　校：普济方卷三百十四膏药门作“杖”。
8　单：普济方卷三百十四膏药门此下有“纸”字。
9　奶脾奶疽鬼面丹毒黑痈：普济方卷三百十四膏药门作“乳痈丹毒杖疮等疾”。

修月鲁般经

金丝膏：

白胶香七斤半　大黄四钱　黄芩四钱　黄丹五钱　全蝎三钱　半夏三钱　虎骨三钱　防风三钱　当归须六钱　独活五钱　穿山甲五钱　乳香二两、别末　川芎四钱　木香五钱　明矾五钱　白蔹三钱　姜黄三钱　木鳖三钱　龙骨三钱　白芨五钱　血竭五钱，别末　没药二两，别末　白芷四钱　黄柏五钱　五灵脂五钱　芍药三钱　蓖麻子三钱　山栀三钱　黄连六钱　羌活五钱　香油二斤八两

先将诸品药，放于磁器内浸，春五夏三，秋七冬十日，然后用柴火煎，候诸药焦黑为度，然后将白胶香煎至溶成清汁，滤过，次入前药油，熬至三五沸，入乳香、没药、血竭等，再熬一二沸，滴膏药于水中，冬天用嫩些，夏天用老些，拔成金丝为度。

右治诸般寒湿疼痛，及上高下坠挫其骨节，及挫气疼痛，跌扑损伤，并宜贴之，贴时须用热手熨之。

澹　轩　方

肠毒等膏药

油斤芷半须真的，皮黄两两要等均，煎候焦黄捞尽净，乳松大大妙如神。

膏药用柳条搅，准十两钞料，合得此方甚妙，不可妄传

地黄乾用及连翘，芎等玄参一两饶，木鳖杏仁去壳尖，麻油斤足二十两。浸三霄。

铁锅尽日频频搅，用柳条。文火武火炉中莫于焦，更取黄丹秤九两，须十分好者。乳香　没药各一两　别研调。

圣济总录

一切痈疽诸疮膏药

诸疮之证成肿，或溃或鞕，或久不差者，皆藉以膏剂，去殒腐，排恶汁，化死肌，生良肉者，正以此也。附方于后：

治一切疮肿，保安膏方：

当归切焙　附子去皮脐　芎藭　防风去叉　白蔹　升麻　细辛去苗叶　侧柏　蕫藤各一两　桃仁去皮　甘草　桑根白皮　垂柳枝　白及　黄耆　白芷　白僵蚕各半两　铅丹研，五两　雄黄研　麝香研　硫黄研，各半两　杏仁去皮，二分　丹砂研，一分

右二十三味，咬咀，以麻油二斤，于新瓷器内，浸药一宿，次日内铛中，文武火炼，候稀稠得所，以绵滤去滓，入雄黄、铅丹、丹砂、麝香、硫黄等物，再煎，须臾息火，别入黄蜡四两凝药，候稍过，倾入热瓷器内盛之，勿令尘污。发背、酒调二匙，日二服，外贴二日一换；瘰疬、瘿疮、疽疮、风肿、乾癣、奶癣、肾癣、湿癣、发鬓、发脑、发牙、蛇虫咬，皆贴之；折伤筋骨，酒服半匙；箭入骨，贴之自出；喉闭，含之即通；难产并胎死腹中，并酒化下半两；血气冲心，生姜自然汁加小便同煎，温酒化下一匙。但诸恶疮数年不痊者，以盐汤先洗，然后贴之。

治一切恶疮瘰疬，痈疽发背，阴疮灸疮，汤火疮，闪扑损，乌犀膏方：

白芷　板蓝根　苦参　芎藭并细锉，各一两半

· 铅丹六两　清麻油十五两

右六味，煎[1]先将油并前四味药，用慢[2]同煎令药焦黑，用绵滤去滓，再入锅内，亦用文武火煎沸，下铅丹在内，用柳木篦子搅匀，滴水内成珠为度，即倾在瓷器内密收，如用，以无灰纸摊贴所患处。

治一切疮肿，紫金膏方：

皂荚不蛀者，一挺，去皮　葱五茎，去根，二味于清油内，煎令焦黄，以绵滤去滓　铅丹研，四两　团粉研，四两　松脂研，二两

右五味，用清油半斤，先煎前二味，去滓，次下铅丹，又下团粉、松脂，以柳木篦不住搅，滴水中成珠为度，随疮大小贴之。

治一切恶疮肿，乌金膏方：

麻油一斤　铅丹四两，冬月六两　蜡四两　头发鸡子大一团

右四味，先炒铅丹令黑，即下油及发，以柳木篦不住搅，滴水中候可丸，即止，便下蜡，更煎蜡销后，即盛瓷器内，随疮大小贴之。

治一切疮肿，伤损，汤火烧，摩风止痛痒，用薄绢摊贴之；口疮，含化一豆大；风毒气，眼睑赤烂，疼痛不可忍者，用药涂之；口面风癣，以药涂擦，热彻为度；耳鼻中肉钤，用纸捻点一豆大，一月取下，并不疼痛，仍除瘢痕退黡黯等，神愈膏方：

栝楼一枚，去皮　零陵香　藿香　芍药　甘草　黄耆　杏仁去皮。各一分　白芷三分　龙脑　麝香并研。各一钱　黄蜡一两半　清油六两

右一十二味，除龙脑、麝香外，并细锉，于入腊日，用油浸七日，却出药，将油炼令香熟，放冷，秤六两，却再入诸药，煎令黄，用夹绢袋滤去滓，再入锅内，旋旋下蜡，搅匀，滴水中成珠即止，去火候温，入龙脑、麝香打匀，倾出热瓷合内，依前病用之。

治一切恶疮，三仙膏方：

麻油四两　铅丹　定粉各研一两

右三味，先炼油熟，将铅丹、定粉同罗过，同煎，用槐枝搅匀，候稀稠得所，滴水内如珠即止，每用随疮大小贴之。

治一切痈肿疮疖，乳香膏方：

清油一斤　皂荚五握，去皮，锉　葱白五握，锉　铅丹　团粉各六两　松脂四两　乳香一两　当归一两　桂心一两

右九味，先将清油于铫子内，慢火煎热，入皂荚、葱白、桂心，以煎令黄赤色，滤去滓，后下松脂、乳香，沸，下粉、铅丹、当归，同熬成膏，滴在水碗中成珠子，于瓷合内盛，以故帛上摊，每日早晚换之。

治一切痈肿溃后，肌肉不生，宜用此排脓生肌乳香膏方：

乾死鼠一个，中形者　大黄一两　乳香半两　杏仁半两，去皮尖　鸡子黄一两　乱发如鸡子一团　铅丹六两　蜡一两　水银半两　油一斤

右一十味，先熬油令沸，下乱发并鼠、大黄煎，候鼠焦色，绵布绞去滓，再下铅丹、蜡、杏仁煎，以柳篦搅，令黑色，即下鸡子黄、水银、乳香等，搅令匀，滴水中成珠得所，以瓷合盛，用故帛摊贴。

治一切恶疮发背毒肿，乌金膏方：

油半斤　盐花一斤[3]　黄蜡三两　柳枝二两，锉

右四味，先熬油令沸，下柳枝煎，候焦黄漉出，绵布绞去滓，再煎，下蜡、盐花，以柳篦搅令稀稠得所，以瓷合盛，用故帛上摊贴。若三日内未成脓便消；已成脓，头未破者即溃，不须针灸。其疮变痛成痒，是药力也，色如犹皮，孔瀎瀎有黄水，若是恶疮发背，用药贴，出脓血及黄水赤小豆汁，贴膏令出尽，以差为度。

治一切疮疖肿毒，至圣膏方：

夜合花白皮　蒴藿　大黄　当归　白蔹　槐白皮　白芷　细辛去苗叶　杏仁　天麻　芎藭　槐枝　柳枝　败龟　虎骨　附子去皮脐。各半两　乳香细研，一两　麝香细研，二钱　砒霜细研，

---

1. 煎：圣济总录无此字。
2. 慢：圣济总录此下有“火”字。
3. 斤：圣济总录作“两”。

半分　自然铜细研，一分　腻粉研半分　牛黄细研，二钱　定粉研，半两　铅丹十二两　清油二斤半

右二十五味，除研药丹粉外，细锉，先熬油令沸，次下诸药煎，候白芷赤黑，以绵绞去滓，再煎，下丹，柳篦搅，候变黑色，滴水中成珠，软硬得所，次下乳香等研药，更搅令匀，次瓷合盛，发背、鱼脐、瘰疬，并以膏贴，日二上，以差为度。

治一切疮毒，无名异膏方：

无名异细研　麒麟竭细研，各一分　柳枝锉，三两　蜡一两　铅丹五两　油十二两

右六味，先熬油令沸，下柳枝煎，候赤黑色，以绵滤过再煎，下丹、蜡，搅，候变黑色，滴水中成珠得所，下麒麟竭、无名异末，更搅令匀，泻冷水中捻作挺子，一切恶疮发背，诸毒疮，并宜涂贴，以差为度。

治诸疮，一切打损，肿毒，走马膏方：

皂荚猪牙者，十挺，去皮，椎碎　芫花五两　生姜五两，取自然汁　生地黄一斤，取自然汁

右四味，先以米醋一斗，入诸药，煎至三升，绞去滓，再煎，以柳篦搅，候稀稠得所如膏，以瓷合盛，埋地内五日，取出，以故帛上涂贴，日二上，以差为度。

治一切疮肿疖毒，佛手膏方：

清麻油半斤　铅丹三两　柳白皮二两，锉　皂荚刺四十九枚，锉　当归半两，末　白及一分，末　黄蜡半两　朱红一分　生绯帛五寸，烧灰，细研

右九味，先熬油令沸，下柳皮、皂荚刺煎，候赤黑色，以绵滤过，下丹煎，以柳篦搅，候变黑色，即下诸药末，搅令匀，滴水中成珠得所，以瓷合盛，用故帛涂贴，日二上，以差为度。

治一切恶疮疖毒，如圣膏方：

蔷薇根锉　乳香研　阿魏研，各一两　铅丹六两　柳枝三两，锉，长一寸　清油一斤

右六味，先熬油令沸，下柳枝、蔷薇根煎，候黄黑色，以绵滤过，下丹煎，搅，候变黑色，次下乳香、阿魏，更搅令匀，一切疮肿并用，故帛上涂贴之。如患赤眼头痛，眼涩，贴太阳两穴。驴伤马坠，妇人血气，并当归酒下三丸，如梧桐子大。癣疮，先抓破，取膏涂贴，以差为度。

治痈疽及诸种疮肿，应痛膏方：

当归　秦艽　何首乌　败龟　白蔹　白及　白术　白芷　杏仁去皮尖　木鳖子去壳　莒劳　延胡索　密陀僧煅研。各半两，各用麻油八两熬前药，令杏仁黄黑色为度，漉出药滓，入后药　乳香研　麒麟竭研　没药研　枫香脂研。各一分　铅丹三两

右一十八味，先用油煎前十三味，去滓，入后五味，再熬，用柳枝子搅匀，令黑色，成膏为度。如是发背，加附子末一分，同熬匀，用纸花子贴疮上。

治痈疽恶疮，生肌，引脓排毒气，蚀恶肉，除死肌，雄黄膏方：

雄黄细研，半两　巨胜油七两　丹砂细研　密陀僧煅研。各半两　铅丹三两　蜡一两　蛇黄半两，煅，醋淬七遍，捣末　牡蛎煅研，三分

右八味，研和令匀，先熬油令沸，下蜡熔尽，次下丹，以柳篦搅，候变黑色，即下诸药末，搅令匀，滴水中成珠子，以瓷合盛，故帛上涂贴，日二上，以差为度。

治一切疮肿，垂柳膏方：

垂柳枝白皮二两，锉　蒴藋根四两，锉　丹砂一分，细研　熟鸡子黄一枚　熊胆半两，研　故青帛七寸，烧灰，研　蜡一两　铅丹四两　清油一斤

右九味，先熬油令沸，下柳皮、蒴藋根煎，候赤黑色漉出，以绵滤去滓，下丹、蜡煎，以柳篦搅，候变黑色，下四味研药，更搅令匀，滴水中成珠子，以瓷合盛，用故帛上摊贴，日二上。肠痈，以绵裹半枣许，含化咽津，以差为度；眼暗，捏作饼子，以针刺作孔三五十个，贴眼上便差；耳聋，作挺子，当中刺为孔，塞耳中，日二换即差；打损，取膏涂贴疼痛处，以差为度。

治发背，疮口未合，大圣膏方：

当归切　柳根白皮切。各二两　桂锉，一分　槐实　白蔹锉　白及锉　没药　柏皮去粗皮，锉。各一两，用腊月猪脂半斤，黄蜡四两，清油半斤，同熬药焦色，去

滓、再入后药　铅丹研　乳香研。各半两　麝香研，一分　芦荟半两

右一十二味，先煎前八味，去滓，再入后四味，熬成膏，以瓷瓶盛，入地内七七日，取出，将熟绢片留眼贴膏在疮口上，去尽恶物，疮口自合。

治发背痈肿恶疮，楸叶膏方：

楸叶锉，十斤　马齿苋锉，一斤　乌犀角末二两　沉香末一两

右四味，先取马齿苋、楸叶，以水五斗，煎至一斗，滤去滓，更煎至一升半，下二味药末，以柳篦搅，候稀稠得所，以故帛上涂贴，日二上，即差。

治痈疽疮疖，能舒筋脉，消肿毒，止疼痛，黄耆膏方：

黄耆锉，半两　零陵香一分　赤芍药锉　芎藭锉　天麻锉　防风去叉，锉　生乾地黄锉。各一钱　黄蜡二两半　清油半斤

右九味，除蜡外，都一处用银石器内，以油浸七日，用文武火煎焦黄色，以绵滤去滓，下黄蜡，再煎令蜡化，盛于瓷器中，每用，以软帛薄摊贴之。如皮肤瘙痒，筋脉紧急，用少许涂摩尤效。

治痈疮久不差，百灵膏方：

槐花子炒焦，为末　松柏各一两　乳香　腻粉各一分

右四味，细研拌匀，用清油、黄蜡各一两，瓷器内慢火熬成膏，贴之。

治一切痈疽，及上攻下注风毒、瘘疮，疼痛燃肿等疾，败毒膏方：

巴豆和壳椎碎，六两　麻油十二两　铅丹炒令紫，三两

右三味，先将油煮巴豆，慢火养一二日，滴入水中成珠则止，滤去滓，却将其滓在一长瓶内，搐起瓶，一头令高，下以火烧，逼得巴豆内膏油流下，以器盛，并入前药油内，同煎搅匀，入铅丹更熬令色紫，去火令冷，入瓷合内密封，地孔藏七日，出火毒，并以故绢摊贴之。

治一切痈疽恶疮，生肌长肉膏方：

清油十两　龙骨研，二两　木香　槟榔　黄连去须。各三分，三味同为末，取细

右五味，先将油入锅内，慢火熬，滴水成珠子，下龙骨末，更熬如稀膏则止，去火，候稍温，即下三味药末，不得住手搅，候冷，以瓷合内收，随疮大小贴之。

治痈疽发背，及一切疮肿，乳香膏方：

乳香二两　附子生用，五两　乌头生用　木鳖子去壳。各二两　当归　秦艽各一两　紫草去苗，三两　苏枋木锉，五两　头发灰一两　清油二十两。各细锉，入油，慢火熬，候诸药焦黑色为度，去滓，入后药　枫香脂五两　松脂二两，三味同研　黄蜡五两　铅丹二两　没药一两半，研

右一十五味，先煎前九味，候色黑去滓，次下乳香等六味，依次等逐味下，用慢火熬，用柳木篦不住手搅，候熬成膏，滴水中成珠为度，摊纸花子上，看疮大小用之。

治疮肿疼痛，辟风敛疮，紫金挺方：

当归　续断　骨碎补　桂去粗皮　附子　泽兰　芍药　白及　牛膝　羌活　芎藭　木香　麒麟竭　生乾地黄　白僵蚕　白附子各一两　沉香　丁香各半两　栝楼二枚，大者　乌蛇肉　白蔹　白芷　玄参二十三味一处捣筛，各一两　杏仁　桃仁二味去皮，细研，各三分

右二十五味都一处，入麻油四斤，猪脂一斤半，野驼脂三两，用文武火锅内煎黑，去滓，再入乳香末三两，松脂六两，更煎烊后，又滤去滓，细罗铅丹三斤，别炒令紫色，旋旋入药油内煎，柳杖子搅令紫色，去火，滴水内成珠，即倾入瓷器内盛，每使时，看疮大小用之。

治一切疮肿，乌贼骨膏方：

乌贼鱼骨去甲，研末　旧船灰研末，各一两　铅丹研，三两　清油十二两

右四味，先熬油令沸，下铅丹，以柳木篦搅，候黑色，即将前二味药末再搅令匀，滴水内成珠子得所，以瓷合盛，故帛上摊贴，日二上，以差为度。

治一切痈疽疮肿，玄参散方：

玄参　黄芩去黑心　羊蹄根　芍药　白芷　丁香　木香　消石碎　半夏汤洗七遍　白蔹　木鳖子去壳　莽草各一两

右一十二味，捣罗为散，醋调涂疮上，日三四次，肿消为度。

又方：

甜葶苈半两　木通半两，锉　川大黄半两，生锉　莽草半两

右四味，捣罗为细散，以水和如稀膏，涂肿上，乾即更涂，以差为度。

治一切痈疽发背热毒猛异，攻肌肉赤色，肿痛不可忍，欲成脓，及已成脓，并风毒热在关节，欲结成痈，便令内消，寒水石膏方：

寒水石二两　羊蹄根一两，锉　消石一两　川大黄一两　白蔹二分　木香三分　附子三分，去皮脐　黄连一两，去须　丁香三两　榆白皮三分，锉　莽草三分　赤小豆一合　汉防己一两　半夏三分　玄参一两　甘草一两，生锉

右十六味，捣罗为细散，每用时，以生蜜一合，地黄汁一合，旋调以成膏，摊于生绢上贴，乾即易，肿消为度。

治一切疮疖痈肿，及瘘疮杖痕等，并宜贴，不发直至较，白膏方：

定粉三两　清油四两，炼熟，取三两　铅丹二钱　商陆根三分，暴乾秤　蜡四钱　白柳枝半两，青白而叶大者是，二月采，去粗皮，取内白皮，切作片子，暴乾秤

右六味，先以熟油熬商陆、柳枝，令色变，后入粉、蜡、丹，搅之不住手，直至滴水内为珠子成，摊帛上贴之。熬时始则色微红，次微青，乃熟也，取出，久而色白，冬色愈白。

治诸疮肿，四时可用，若未脓即消，已成脓即破，木通膏方：

春用：

木通三两　白芷　细辛去叶苗　摩勒香各二两

夏用：

木通　续断各三两　白芷二两半　黄耆　芍药各二两

秋用：

木通　薰陆香各三两　黄耆二两　白芷一两半

冬用：

木通　黄耆　木香各三两　当归锉焙，二两　芎劳一两半　摩勒香三两　薰陆香一两

右各依四时，并咬咀，以清麻油二升煎，候白芷黄色，即去滓，绞取油，放冷，下黄蜡五两，候消尽，更入铅丹十两，先下六七两，看硬软得所即止，亦不须入尽十两，以急火煎，用柳篦搅，勿令住手，点物上，其色如漆即膏成，欲用药、先嚼少盐擦疮上，次贴之。

治初患痈肿疮疖，热燃疼痛，消肿毒，清凉膏方：

右捣大黄为末，浆水调摊贴之，醋摩亦得。

又方：

右取地龙屎，以小便和涂贴之，乾即易。

又方：

右取井底泥，涂疮上，乾即易。

又方：

右捣恶实根贴之，乾即易。

又方：

右捣地黄贴之，日再易。

又方：

右捣马齿菜贴之，乾即易。

又方：

右捣龙葵菜贴之。

又方：

右捣车前叶贴之。

又方：

右捣蔓菁根贴之。

又方：

右捣鸡肠草贴之。

又方：

右捣芭蕉根贴之。

膏　药　门二

医方大成

膏　药

经验方玄武膏：　治痈疽发背，一切疮疖，已溃未溃，悉皆治之，大能排脓血，生肌肉。

大巴豆去壳膜，二两，净　木鳖子去壳，二两　国丹四两，净飞过，研细　清油十两　槐柳嫩枝各七寸长七条，锉细

右将木鳖子、巴豆、槐柳枝，用磁器或铜铁铫盛，油浸药一宿，慢火煎熬诸药黑色，用生绢帛滤出滓，复将所滤油于慢火上再熬，却将国丹入油内，用长条槐柳枝不住手搅，候有微烟起即提出，点药滴在水面上，凝结成珠不散，方成膏矣，倾在磁器内收贮，置新汲水内三日，出火毒，然后用之。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

秘方善应膏：　治一切疮疽，及伤折损肿。

蓖麻子去壳，三十粒　巴豆去壳，七粒　袖珍方一钱　姜蚕去丝嘴　赤芍药　白芷各五钱　五倍子二钱　医方集成一钱　黄连一钱　乱发如鸡子大　桃柳枝各七寸　猪膏一指面大

右用清油半斤，浸药三日，慢火煎熬，令乱发焦烂，出火候冷，用绢滤去滓，再澄，却入铫内，上火再熬，次入飞过黄丹四两，以桃柳枝不住手搅，青烟微出为度，要滴在水上不散方成膏，却出火，搅令温，再入乳香末五钱，没药末五钱，桂心末三钱，略上火，再搅令匀，却以净磁器收贮，任意使用。南北经验方同。

南北经验方

张子和方神圣膏：　治一切恶疮。

当归半两　没药三钱　白及二钱半　乳香三钱　藁本半两　琥珀三钱半　袖珍方二钱半　淄丹四两　木鳖子五个，去皮　胆矾一钱　粉霜一钱　黄腊三两　白胶三两　巴豆二十五个，去皮　槐柳枝一百二十条　清油一斤

右件一处，先将槐柳枝下油内，煮焦取出，次后下其余药物，煮得极焦，亦捞出，却将油澄清，再熬成膏子，用绯绢上摊。

袖　珍　方

万应膏：　宁。

香油二斤

第一下：木鳖子去壳，三十四个　川山甲三叶　槐柳条各六十条，长三寸

第二下：巴豆一两，去壳　蓖麻子一两，去壳

第三下：川芎　当归　防风各五钱

第四下：黄丹一斤

第五下：血竭五钱　没药五钱　阿魏一两

右件，先用香油二斤，于铁锅内熬滚，下槐柳条、川山甲、木鳖子，熬令极到①，

① 到：袖珍方作“焦”。

取出如灰[1]，次下巴豆、蓖麻子，次下川芎、防风、当归，次下黄丹，必待油冷，细细[2]下就搅令极匀，血竭、没药、阿魏研为细末，在丹后下，搅匀，锅就覆于净地上，取于水盆内，然后用香油先透于厚纸，次用桐油油过。摊膏药贴时，忌鱼腥，神效。

陈迹检[3]方：　治棒疮。

大黄　当归　芍药　川芎　木鳖子　巴豆　白芷　白及　乳香　没药　射干　槐枝　柳枝已上一十三味各一两　黄丹一十三两　香油二十六两

右除乳香、没药外，一十一味用香油浸三日，熬白芷焦黄色，滤去滓，入丹再熬，滴水中不散为度，候油温，下乳香、没药，去火毒。

膏药方[4]：

乳香　没药各一两　大黄　连翘　松香　黄丹各四两　黄柏一[5]两　巴豆四十九粒　木鳖子三十七个　草乌七介　川乌少许　当归一两　槐桃柳条[6]　香油一斤

蘗风膏：

清油一斤　虢丹半斤　巴豆二百十粒　柳枝

右将油铜锅内熬，入豆熬黑色，去豆不用，再用砂锅内，候温下丹，微火熬，搅色转，放水中不散为度，又加香白芷三钱，川山甲二斤[7]，木鳖子十六个，大麻子二百二十个。

朱千户膏药方：

赤芍药　白芍药各一两　白芷二两　川当归五钱　杜当归二两　紫荆皮一两半　桐油半斤

右先煎油，下白芷黄色，下归五钱再熬，下白胶二升熬，下乳香五钱再熬，下没药五钱，再熬数次，下黄蜡一两，不住搅，滴水[8]不散为度。

神异膏：　治一切无名疽肿，打扑伤损，骨内著毒，刀斧、犬马、蛇虫、蜈蚣蜂毒，以水洗净贴之。年深月远，喘嗽吐血者，背上贴；泄泻脐上贴；妇人淋沥，赤白带下，并男子小肠气，丹田贴；奶痈患上贴；杖疮不过二个三年，虚疾颈骨贴，其验如神。

桂花　苏合油各半两，如无，苏合香丸亦可　木鳖子　乳香　没药　白芨　白敛　当归　杏仁　官桂各一两　丹砂一斤半　香油五斤　槐柳条半斤

右除乳、没、苏另外，余挫，油内浸，春秋五、夏三、冬七，冬月每黄丹二两，新锅内浸，以文武火熬，一顺搅槐柳黑色，滤滓放温，一面不住手搅，入乳没、苏合再熬，微滚三二沸，放温，不住搅掺丹，上火再熬，如此五七次，不住搅，熬令黑，滴水成珠不散，忌妇人鸡犬，覆地上出火毒。牙疼牙上贴，肚疼肚上贴，心疼心上贴。

司马灵通膏：　治一切疮疡并痔漏。

当归洗　赤芍药　地骨[9]各半两　木香　白芷　蜂房　陀僧研各三钱　木鳖子十四个，槌　杏仁十九个　黄丹三两　巴豆十四个　血竭二钱　轻粉　乳香　没药各一钱半　沥青　白胶香　香油半斤　血余鸡子大一块，烧

取东南槐柳枝条，如箸子四十九根，用砂器熬油去柤，次入沥胶，熔尽去滓，上火入槐柳条，慢火至焦，滤去，入归、木香、赤芍药、地骨、芷、蜂、鳖、杏、巴再熬焦，去柤，入丹、僧、血余，再熬丹，柳枝不住搅，滴水中不散为度，少冷，入乳没、血竭、轻粉搅匀，磁器内盛，湿土埋，出火毒，冬雪埋，腊月熬尤妙。

万应膏：

沥青滤净，十两　乳香三钱　没药五钱　轻粉三钱　雄黄三钱　木鳖子七个，末　黄蜡三钱　油三两，四时加减

右砂石器内文武火熬，忌鸡犬妇人，亦忌闲话，先将沥青、黄蜡、乳熬，柳槐四五

---

1) 灰：袖珍方作“炭”。
2) 细：袖珍方此下有“上”字。
3) 陈迹检：袖珍方作“陈巡拾”。
4) 膏药方：袖珍方本方中无“桃条”一味。
5) 一：袖珍方作“二”。
6) 条：袖珍方此下注有“四两”二字。
7) 斤：袖珍方作“片”。
8) 水：袖珍方此下有“中”字。
9) 骨：袖珍方此下有“皮”字。

条，把不住手，常如鱼津泡起，少顷　入油再熬一饭时，淡黄色，水内漂浮，待沉底扯拔，或硬乾再添油，再扯拔，至浮水为度，依常法用贴，数日痒，有疮，用粉扑之。

经验秘方

膏　　药

救苦膏：　治男子妇人，年远日近，左瘫右痪，半身不遂，口眼㖞斜，痈疽发背，丁肿恶疮，已未成脓，疼痛不止，随患处贴。打扑损伤，闪肭觔骨，随疼处贴。蛇虎犬咬，刀斧伤，汤荡火烧，随伤处贴。杖疮发作，腰腿冷疼，新旧肺气，风寒湿痛，随疼处贴。远近咳嗽，吐唾痰涎，脊心穴贴。喘急痰盛，肺俞穴贴。前后心脾疼痛，随疼处贴。胸膈痞闷，少思饮食，胸骨上贴。赤白痢疾，脏寒泄泻，腰眼脐下贴。眼目赤障，疼痛作楚，以膏药剪开，太阳穴贴。耳鸣，头目昏眩，项窝穴贴。牙齿疼痛，膏药亭穴贴。男子久虚肾气衰弱，胯膝筋骨疼痛，腰眼穴贴。闪肭骨折，手搦腕骨还旧，以膏药量伤处尺寸贴，软帛绵、好竹片包裹札定，三次收换，须候七日，神验。如是伤重，十二日可效。妇人气虚血弱，腰脐腹胯疼痛，于脐下腰眼贴之。奶痈吹奶，于患处贴之。小儿一切痈疮失气痛，随患处贴。瘰疬漏疮，两膝肿痛，髀膝枯瘁，皮肤拘挛，跧卧不得屈伸，此证名曰鹤膝，以药烘贴。此药顺气发风，活血脉，壮筋骨，远年日近，百般疮肿疼痛患皆治之，神验，不可轻视。生产死胎，胞衣不下者，用川芎汤下七粒，大效。

川乌三钱，生用，勿火　香白芷二钱　川牛膝五钱，焙　当归一两，焙　黄丹半两，飞过　贝母二钱　瓜蒌润即桃脂，一钱　白敛二钱　白及二钱，焙　没药七钱　乳香五钱，茗叶一片，将药放在叶上，用慢火慢焙乾　杏仁三两，用热汤泡去皮尖　沥青半斤　香油半盏　白胶香三两，入铁器，于火上煞数沸，放入冷水中

右没药、沥青、杏仁、乳香先捣，后用白胶香、瓜蒌润和捣之，以上药俱要研为细末，和匀，用香油不次浇润，捣取出，揉和之。

温骨膏：　治寒冷痛。

硇砂一钱　补骨脂二钱　红芫荽二钱　真芥半升，病轻者，生二分，焙一分，不犯铜铁器；病重者，全生用

右为细末，一处于磁器内，先用滚水荡之，少时倾去水，用匙和匀，贴于痛处，葱白寸许，密密覆之，骨内热不可当，然后去药。贴药择天色晴明，不通风暖室中治之。

金丝万应膏：慈子进御药。　治诸般恶疮肿毒，并一切磕擦撷伤损等患皆治之。

没药　乳香　轻粉　雄黄　半夏　白敛　川山甲五十叶，炮煨　白及　木鳖子一介　全蝎二介　巴豆去油　信少许　栀子五介　黄丹少许　海马一介

右各等分，除巴豆用纸卷出油外，余药研为细末，用白胶香不问多少，用钢铁铫儿内熬过，用绵子滤去滓，扯拔千百遍，以厚纸摊药，贴患处，频换，仍以热水不时熨。

神仙太乙至宝万全膏：　治八发痈疽，一切恶疮，不问远年近日，已未成脓，贴之即效。蛇虎蝎犬，汤火刀斧所伤，並可内服外贴。发背，先以温水洗疮，拭乾，用绵子摊膏药贴之，以温水下一丸。久远瘰疬摊贴，温水下一丸。诸瘘疮，盐汤洗贴，酒下一丸。打扑损伤贴，橘皮汤下一丸。腰膝疼痛贴，盐汤下一丸。妇人血气，木通甘草汤下一丸；赤白带下，酒下一丸。吐血，桑白皮汤下一丸。风赤眼，贴太阳穴，栀子汤下一丸。咳嗽咽喉肿，绵裹一粒，含化。一切风劳病，柴胡汤下一丸。一切疮疖并肿痛疮，及诸般疥癞，别炼入油少许，打膏令匀涂之。诸疾亦度其情而用之。

当归　大黄　玄参　赤芍药　没药　肉桂　白芷　生乾地黄　乳香各半两，切如松子大，用

香油一斤浸药

右用油浸法，春五夏三，秋七冬十日，然后文武火，于砂锅内熬白芷赤黄色为度，绢绵滤去滓，将油再熬得所，下黄丹半斤，以柳枝搅，滴油在水中，不散成珠，看硬软不粘手，用磁器盛之。如摊时，用小器内分药，于文武火上化开摊之；如服丸，如鸡头大，蛤粉为衣，用前汤使酒送下，大效。

红膏药法：　麻同知当用，大效。

力青四两　黄丹三两　黄蜡半两　小油一两　心红少许

右先将蜡、力青、小油同溶开，绵子滤净，入丹、红，用铜子搅匀。

万应膏：　高中丞方。

芭豆一两　木鳖子一两　柳条三两　男子头发一钱　黄丹一斤　油二斤

右先将油煎滚，后将柳条捻作一把，重三两，于油锅内煎至黄色，取去柳条，合用木鳖子，去壳捶碎，芭豆亦碎，二味合一处，煎至黄色取去，头发入油炸至数沸，火烧化入油内，后用匙下黄丹一匙，旋旋下至一大半，油旋取锅，另放，再下丹一半，用柳条不住右转搅，至共方住。

黑膏药：　治诸般恶疮疖毒，又治风气。

金毛狗脊　黄芩　黑狗脊　黄柏　甘草　红芍药　当归　破故纸各二钱　木鳖十四介　杏仁二十四粒　乳香二钱　没药半两　槐花二钱　柳槐枝丹十两　油一斤　韶粉二两

青金散：与后金沉膏同，用治瘰疬。

右用柏叶，焙乾为细末，鸡子清调熬，贴疮盘上即敛，无盘痕，上药与瘤子匙面厚点，痔疮药无妨，但遇丁疮、疽臁、疳疮，厚厚上药。

万应膏：　治痈疽疮，肿毒恶疮，漏疮，发背脑疽，疬子疮，寒温气刺痛，冷痹顽麻，贴药不痛。牙肿外贴。打扑接骨内损，血毒气不散，刀镰器所伤，杖疮，药到不疼。小儿头面疮疖，聚热杂疮，蜈蚣、蜂儿、蝎蝤、犬马、蛟蛇伤，火烧、漆疮、疳疮、水毒臁疮，贴之毒出，滋润不痛。乾湿疥癣，拨动贴之。及妇人吹奶，丸如桐子大，每服二十丸，新汲水送下。又兼催生，产后余血，脐腹刺痛，月水不调，食前，温水下二十丸，不得犯荤事，火上溶化，夹纸摊之，大效。

黄丹二斤　没药另研　乳香另研　血余烧头发灰　紫矿　槐角　鳖子　蛤蚧　白敛　白及　当归　官桂　麝香　白芷　杏仁以上各一两　柳枝条一斤，如筋长　脂麻油五斤　血竭别研，一两

右除黄丹、没药、乳香、血竭，余药用油浸一宿，炭火上用铁器熬令变黄，滤去滓，次下黄丹入锅，用新柳枝搅药烟火尽，入没药、乳香、血竭在内，搅匀，倾在磁器内，放药硬，用刀子切成块子，油纸封裹，修合时春秋妙。如下没药时，褐色用之。

又方：　治腹中积年病，快脾癖疼、心疼、腰疼、头疼、脐腹疼、眼痛，一贴患所即效。

黄连　苦参　黄芩　羌活　苏木　木鳖子　川芎　桃仁　木香　大黄　升麻　独活

右除木香半两外，余者各二两，锉细，去灰土，净麻油四斤，用火煎令沸数次，去滓，入黄丹一斤，慢火，柳枝搅匀，良久，滴在水中不散为度，用罐儿盛了，土中一宿。

神应膏：　又名碧霞膏。

香油一两半，或一两　芭豆四十五粒，白净者　蓖麻四十五粒　黄蜡一两　力青四两　乳香一两，为末　没药一两，为末　轻粉三钱　铜青六钱，为末，又名铜绿，滴点油一处研　用柳条调药

右用乳香、没药，先研极细末了，方用油煎巴豆、蓖麻，候焦黄色，去豆麻，油再入砂铫，溶蜡、力青待化，下乳香、没药，用黄草布滤过，再入铫内，方入轻粉、铜青，搅匀，倾入水中，捻成定子，如用时，冬月热水浸冷，令软捻开，如患处大小，于帛上贴，夏月略于口中，待软用，不问何疾，用之神效。又赞西江月云：散毒无伤肌肉，拔丁不用针刀，此方名曰碧霞膏，天下流传奇妙。制后至诚修合，贴上肿痛潜消，发背痈

疽若为料，管取克时见效。

神应膏：

历青三斤　松香三斤　黄蜡四两　没药三两　乳香四两　黄丹四两　五灵脂二两　降真末四两　无名异四两　麝香二钱　蜂窝一钱　巴豆六钱　马庇孛三钱　大黄一钱　黄柏一钱　黄芩一钱　白芨一钱　贝母一钱　知母一钱　葳灵仙一钱　赤敛一钱　独行草一钱，乃青木香根　草乌一钱　地骨皮一钱　黄连一钱　寒水石一钱　天花粉一钱　香白芷一钱　香油一斤　葱汁四两　姜汁六两　米醋半碗

先下锅香油、巴豆、黄蜡、松香、历青，续下锅大黄、黄连、白芷、黄柏、草乌、黄芩、赤敛、贝母、知母、独行草、地骨皮、白及、天花粉、姜汁、葱汁、醋、寒水石、葳灵仙，另为末没药、蜂窝、五灵脂、无名异、降真末、乳香、马庇孛，另将黄草布擦为末。又下锅黄丹、麝香。

右件先用香油熬巴豆良久，下黄蜡化，下历青化，下松香化尽，倾入水中，结成块，再下锅入醋、葱汁、姜汁，并其余药，一处搅匀，尽入乳香、黄丹并无名异等末，并马庇孛、麝香，滴下下水中成膏子为度。

又方：　麻油五十文重，置铁器内，用巴豆二十八粒，去皮壳，入油内，再入柳条二十八寸，用火煎候巴豆黑色，却去巴豆及柳条，以国丹二十文重，逐渐放入其中，用柳枝两条如筋样，不住手搅，用白碗盛冷水一碗，将所煎油少许滴在水中，成块不散，方可用瓦器出了，却入乳香一文重在内，待用时，摊在好纸上，贴在疮肿处。如痈疽破了，用纸贴，留口，以火炙溶，贴在疮上，脓血自散，即可向安。如脚上臁疮，经年不安，用麻油少许，却用前药膏子入油内，仍用火炙溶散，候冷，入黄连、槟榔、白矾飞过者于内；如有虫，入杀虫药，或硫黄、轻粉、蛇床子、滴青于内。如痈疽方作，未有口，仍用前膏药，以麻油解开，将草乌、天南星为末，入内傅之，如痒者，多用白矾。如杖疮刀斧伤，止用黄连、槟榔，加木香丸尤好，仍用内托散服之。

万应膏：

肥大皂角不蛀者，三十定，微煨过，槌碎，去子，于好陈米醋三升内揉洗，后慢火熬十数沸，滤去滓，再熬成膏子，以滴水中不散为度，入乳香末一两，搅匀，加后四味药末，离火搅匀，于磁器内收　先四味：草乌二钱　木鳖子去壳，二钱　南星三钱　肉桂三钱　后三味：没药二钱，另研　血竭一钱，真者，另研　轻粉一钱半

故友李伯荣，保定人也。元患寒湿作楚，行履艰辛，即有年矣。今路过巢县，遇伯荣任县宰，举步甚轻健，余怪问之。答云：此疾为害数十年矣。一日，人说苍耳熬汤洗浴，仍就水中睡一觉，可去根本。时冬天无苍耳，且痛不可忍，于柴垛内寻得枯乾苍耳，锉碎熬汤，依法洗睡，果得效。盖初感此疾，因睡卧当风凉处，凑里俱开，邪风乘虚而入。今用苍耳汤洗浴，又卧水中者，既卧则毛窍开，药力得入凑里，攻散风邪，故去病根。邂逅，有人患寒湿，又患肠风痔疾，依法洗浴，二疾皆去。患脚气者，即寒湿，亦能治之。

神应膏：　廉万户试验　治脚气。

大肥皂角二十定　乳香一两，研为末

右将皂角微炙过，槌碎，以好陈米醋二升，将皂角煎五七沸，揉去滓，熬成膏，入乳香末搅令匀，次下后项药末令匀，放温，涂于患处约一分厚，用竹篦子先搽药于患处皮肤热，然后却将药摊平，上以藤纸贴之，其痛立止。

天南星三钱　草乌头三钱　木鳖子去壳，三钱　官桂三钱　没药三钱　血竭一钱，另研　轻粉一钱，或半钱

右将前项四味，天南星、乌头、木鳖、官桂，或入前皂角膏内同熬亦好，其余乳香、没药、血竭、轻粉，临成膏时次下，搅匀，放温，依法贴之。

向骨膏：　治伤寒湿气，打扑伤损，筋骨疼痛。

生地黄　骨碎补　蒲黄　当归　白面

赤小豆　白及　败姜

右各等分，除面、蒲黄外，细锉，同为细末，银器内醋调稀，慢火煨热，用铜匙抄药，敷于患处，近火炙之，药力行却起去，敷七次，起七次，用纸封了，热醋酒湿，第三日再换，大效。

又方：　用皂角肥者二两，去弦皮者，槌碎，好醋两碗，浸少时，砂窝内炭火熬去一半，生绢滤过，再熬，又及一半，入后药：

乳香一钱　没药一钱　川山甲一钱，炮　木鳖子一钱，研细末

右入皂角膏子再熬，槐条搅成膏子，磁器内盛顿，遇痛处，煨热贴，纸花盖之。

万痊膏：　治一切痈疽发背，恶毒等疮。

乳香另研　没药另研　半夏不须锉　当归　续断　杏仁　桃仁　芭豆连皮槌碎　木鳖去壳　芫花　大戟　川芎　熟地黄　芍药　苍术　防风　乾姜　官桂　蛇床子以上各一两　血竭一两，另研　乱发男子者二块，如毬子大　松枝　桃枝二味各三两，新者　清油十斤

右将各药锉如豆大，下在油内，浸七日过，慢火熬令半夏黄黑色为度，以新布滤去滓，方入乳香、没药、血竭三味，搅匀，用新绵再滤去滓脚，却揩抹油锅洁净，又用绵滤油乾净，每油一斤，用好黄丹五两，若黄丹性紧者，只用四两半方好，须看丹紧慢，又看时月调停，用慢火熬煎，候黑烟出住火，如此二日后，用炭火养之，不住手搅，直至通前四五日以来，摊纸上不湮，软硬得所，盛在磁器内，方欲凝时，用生绢裹包水银五两，搭在膏药上，临用去水银，量疮口大小摊用，如此，不致膏药上面一层乾了。此药可收十年，愈久愈烈，大效。

金沉膏：

云里砂　班猫三十介　红娘子三十介　川山甲五钱，锉　海金沙五钱　乳香三钱，研　没药五钱，研　血竭三钱　桑柴灰五斤　枣柴灰五斤

右二灰一处和，用滚水数碗淋灰水一十二碗，入砂锅内熬百十余沸，先下班猫、红娘子，再滚百十余沸，下川山甲、海金沙，再滚百十余沸，熬至三碗，滤去滓，再入锅内熬，却下乳香、没药、血竭，再滚百十余沸，熬成膏子，用磁器盛顿，牢封口。若用时，将云里砂调成膏子，右遇一切瘤子，上药离好皮子一韭叶，上药一昼夜，或二遍三遍，直瘤子平了方住药。若瘰疬破不破，与瘤子一般上药。瘤子等，或一月、二十日、半月落下，即用青金散涂之。

打扑损伤杖疮。

乳香　没药各一两　白芷　当归　大黄　白及　白敛　骨碎补　望肿消　黄柏　山栀仁各半两　木鳖子半两　黄丹半斤　清油一斤　桃枝　柳枝　槐枝各一握

治风气脚气肿痛加：

全蝎十四介　细辛半两

治痈疽，恶疮丁疮，蛇犬猫虫所伤加：

江子十四粒　斑猫十四介，去头翅

治口疮加：

猴姜切为片儿噙之。

乌犀膏：　治发背、丁疮、疽疡等证，火炙、汤荡、刀镰诸般破伤，及风湿脚气等证。

板蓝根　苦参　芎劳　白芷咬咀，各一两半　丹六两　油一十五两

右香油浸一宿，用铜铁锅，文武火熬前四味焦色，滤去滓，再熬，入丹在内，又文武火熬一两沸，滴水内成珠不散为度，封闭节用。

经验良方

膏药方：　予收膏药方甚多，而有效者少，遂将所得之方，择其良，试验已效者述之。然膏药中，鲜有不用虢丹，其实此一味药，贷卖者多用硝与盐杂和在内重秤，若不飞过而用，反有害焉。熬药方法如后：

凡用虢丹，即黄丹。先用冷水漂过，去其盐

硝水，再用水漂，再去其水，澄乾，微火炒紫赤色，将纸摊在地上出火毒，秤净用，再研细无声。

凡用乳香、没药，须用灯心同于乳钵内研细，不然难于研细，候熬药成膏，提起药铫，仍搅，觉无烟起，去灯心，却下此二味入油内，不住手搅匀。

凡熬药，用磁器或铜铁铫盛油，浸药一宿，慢火煎熬诸药黑色，用生绢帛滤出滓，留下一两重药油，复将所滤油于慢火上再熬，却将黄丹入油内，用长条槐柳条不住手搅，候有微烟起，即提起药铫，就柳条点药油，滴在水面上，凝结成珠不散，方成膏矣。如油散不成珠，再熬，直待成膏，提起药铫，搅无烟出，却入乳香、没药搅匀，倾出磁器内，将元留下油洗药铫，一并收拾器内，用新汲水一日一换，将药器坐放水内三日出火毒，方可用。如膏药硬，约量加黄蜡、清油入膏内，搅匀得所。其黄蜡等油减半用。

贴膏法：如疮有脓血不净，痂瘢闭碍，须用药水洗净，如法拭乾，候片时水气乾醒，却用膏贴。贴后有黄水及脓血出流，用指[1]揩擦，从侧畔出，一日一换膏，黄水脓血止，二日一换，或三日一换，至愈。

玄武膏：　系玄帝降赐方。凡修合时，拣生气黄道吉日或斋日，于净室念净天地咒，称念玉帝宝诰太乙救苦天尊玄天上帝圣号数十遍，仍勿令妇人小儿猫犬等见。治痈疽发背丁肿，内外臁疮阴症，下部诸恶疮，及颈项痈肿，不问已溃未溃，皆可用。大能排脓散毒，定疼生肌，累有神验。若患丁肿，先用银篦子或鹿角针，于丁疮中间及四畔针破，令恶血出，以追毒饼子小麦粒大，插入孔中，却以此膏贴之愈。追毒饼子[2]。

大巴豆去壳膜　木鳖子去壳。各二两，净　虢丹即黄丹，四两净，研细　真清油十两　槐柳嫩枝各七寸长七条，锉细，如无槐枝，並用柳枝

右依前法煎熬成膏贴用。里人张山立母舅彭景困，双脚患疰，自膝下至脚面，並无空缺好肉，脓血终年不止，却用膏贴，遂以皂角二三片煎油，调匀此膏如稠糊，薄傅之，则水转多，不数次傅之乾愈。又赵父老家一男者，患者疮九年不愈，用此膏二寸余个贴愈。赵又有伊亲，初患发背，用此膏而内消不作。

神效善应膏：　治诸般恶疮肿毒，发背脑疽，疔子牙肿，打扑接骨闪肭，刀斧伤，杖疮，蛇虫毒，狗马咬，汤火漆疮，疥癣，无不治之，贴药即愈。又治妇人吹奶，以药丸如梧桐子大，新汲水下二十丸，产前催生，产后败血，经脉不调，温酒下二十丸。此药不得犯荤手及火焙。

上等虢丹八两，研极细　没药　乳香　白及生用　木鳖子仁　白蔹子　当归　杏仁　白芷已上並生用　官桂去粗皮。各一两　清油一斤　新柳枝二三条，搅药用

右依前法煎熬。此系史丞相府，一年春三秋八月常合施，人请者皆效。内官桂为极细末，同乳没一并下。

加料神异透骨膏：　治远年近日，一切恶毒注疮等，消肿定痛生肌，立效。

露蜂房细剪，事治极净　杏仁去皮尖。各五钱　清油十两　川山甲四钱　当归一两　木鳖子八介，去皮　白胶香明者，四钱　虢丹四两，净　蛇退皮五钱，盐少许，入水洗净　葱连须叶十茎　乳香　没药各二钱　男子乱发洗净，挪却鸡子大，用童男童女者佳

右依前法煎熬，加玄参半两，黄芪四钱。

臞仙活人心

膏　药

(1) 指：普济方卷三百十五膏药门作“纸”。

(2) 追毒饼子：世医得效方卷第十九疮肿科通治无此四字。

神授东华益箄膏：此方得于天宝洞中，遇一老人而授之，语毕不知所在。其膏药治一切无名恶疮，诸药不效者。用绯红绵帛，可疮大小，唾津摊贴，勿留口，不见火，极有神效，功侔造化。

先熬五枝膏：

桃枝　柳枝　槐枝　榆枝　桑枝　加枸杞皮

各锉碎五升，共三斗，用长流水一担，同熬至五分，去滓，加当归末四两，慢火熬成膏，滴水中不散为度。

五枝膏二两　净沥青一斤　净黄香半斤　乳香末一两　没药一两　轻粉二钱　黄蜡二两　血竭末二钱　麝香末一钱　安息香末五钱　黄丹一两　瓜绿末二两，极细

同用川芎、白芷，同煎油熟，去药不用，春夏用油四两，秋冬用油六两。

右件先煎香油熟，次下沥青、黄香、黄蜡熔开，下五枝膏，用槐枝搅二百余，下乳香、没药、血竭、轻粉、安息香、黄丹，再搅二百余，下麝香、瓜绿，再搅三百遍，滴水盆内浮者为度，同药倾于水盆内，浮者似青荷叶为度，沉香色者，再熬，拔扯二百余遍，搭成鸡子大块，水盆内浸一宿，捞出控乾，用纸托盘内放之，冬温处，夏凉处。如贴脑疽发背溃烂之处，用槐枝葱白煎汤洗净，三五日一换。煎熬此药，不犯铁器。

汤火伤门

巢氏病源

针灸疮发洪候

夫针灸，皆是节穴俞募之处，若病甚则风气冲系[1]于疮。凡血与气相随而行，故风乘于气，而动于血，血从灸疮处出，气盛则血不止，名为发洪。

千金方

火疮等病

凡火烧损，慎勿以冷水洗之。火疮得冷，热气更深转入骨，坏人筋骨，难瘥。初被火烧，急向火更炙，虽大痛强忍之，一食久即不痛，神验。

治火烧，闷绝不识人，以新尿冷饮之，及冷水和蜜饮之，口噤，绞开与之，然后以下方治之。

治火疮方：

栀子四十枚　圣惠方二两　白蘞　黄芩各五两

右三味㕮咀，以水五升，油一升合煎，令水气歇，去滓，圣惠方以水五升，煎至二升，滤去滓。待冷以淋之[2]，令溜去火热毒，则肌得宽也。作二日，任意用膏傅，汤散治之。

又方：　熬油麻为末，和栀子仁圣惠方治火疮败坏方，以麻油和栀子仁末。卫生易简方治火疮未起，用栀子仁烧灰，麻油调。涂之，惟厚为佳。已成疮者，烧白糖灰粉之即燥，立差。

治火烧疮方：

死鼠头一枚，以腊月猪膏圣惠方三斤。煎令消尽圣惠方绵滤旋取。以傅，乾即傅之，瘥不作瘢，

① 系：诸病源候论作“击”。
② 之：备急千金要方作“疮”。

神效。亦治小儿火疮。　　居家必用治汤火疮，于腊月，将猪脂炼成油，倾入瓶内，就捉入活老鼠一枚，牢固封扎，挂于背阴处，遇患者，取些子搽上，其凉如水，痛立止，便愈，永无瘢痕。老鼠乘油热投之妙。　　必用全书治汤火烧烫方：腊月鼠浸香油，搽之立效。

治火疮败坏方：

柏白皮切，以腊月猪膏合淹相得，煮四五沸，色变去滓，傅疮上。圣惠方同。肘后方云柳[1]白皮。

又方：

柏白皮　蛇衔　生地黄　栀子仁　黄芩　苦竹叶各一分

右六味咬咀，以羊髓半升，煎三上三下，去滓，涂[2]上瘥止。

治火烂疮膏方：

竹叶　甘草各二两　圣惠方生用，锉　柏白皮四两

右三味咬咀，以猪脂一斤半，煎三上三下，去滓，冷以傅之。　　集验方用生地黄四两。　　圣惠方右以猪脂一斤，煎五七沸，去滓，以涂疮上。

又方：　　榆白皮嚼熟涂之。备预百要方同。

治一切汤火所伤方：

初著，即以女人精汁涂之瘥。

治汤沃人肉烂坏方：

杏仁　附子[3]二两　甘草一两　羊脂五两　松脂鸡子大

右五味咬咀，以不中水猪膏五两煎，涂之。

灸及汤火所损，昼夜啼呼，止痛灭瘢方：

羊脂　松脂各二分　猪膏　蜡各一分

右四味，取松脂破，铫中切脂，嚼蜡，著松明上，少倾铫[4]火烧，诸物皆消，以杯承汁，傅之。松明是肥松木节也。　　圣惠方治汤火所损，昼夜热疼，止痛膏方：羊脂三分　松脂三分　猪脂三分　蜡半两　右件药，取猪羊脂于铫子内，以肥松木节点火，煎三五沸，次下松脂、蜡等令熔，搅和，倾于新瓷器内盛，日三两度涂之。

治灸疮方：圣惠方治灸疮久不差，疼痛方。

甘草　当归各一两　胡麻外台用胡粉　圣惠方与外台同　羊脂各六分　圣惠方二两半

右四味咬咀，以猪膏五合煎，去滓傅之。圣惠方捣细罗为散，用脂煎数沸，去火，瓷合中盛，每日一二度涂贴。

又方：

蜡三两　松脂五两

右二味合煎，涂纸贴之，日三。

又方：圣惠方灸疮久不羊[5]、烂痛，宜用此方。　　取车轴脂涂上。

又方：　　石灰一两，捣为细末，绢筛，猪脂和令相得，微火上煎数沸，以暖汤先洗疮讫，以布裹灰，熨疮上三过，便以药贴疮上，灸之，又捣薤傅之。

治灸疮痛肿急方：备预百要方灸疮洗法。

捣灶下黄土，以水和煮令热渍之。

治灸疮中风冷肿痛方：

但向火灸之，疮得热则疮快至痛止[6]，日六七[7]灸愈。圣惠方同。

薤白膏：　　治灸疮，生肉止痛方。圣惠方治火烧疮。

薤白　当归各二两　白芷一两　羊髓一斤

右四味咬咀，合煎，以白芷色黄药成，去滓，取傅之，日三。

又方：　　治灸疮脓坏不差方。

薤白一握　胡粉　石灰各一两　腊月猪脂一升

右四味，先煎薤白令黄去之，绵裹石灰煎数沸去之，次入胡粉内膏中令调，涂故布贴上，日三。

又方：

白蜜一两　圣惠方炼过　乌贼骨二枚。一方作一两

---

1 柳：备急千金要方作“桃”。
2 涂：备急千金要方此下有“疮”字。
3 子：备急千金要方此下注有“各”字。
4 铫：备急千金要方作“微”。
5 羊：太平圣惠方作“差”。
6 疮快至痛止：太平圣惠方作“易效，如痛，逐”。
7 七：太平圣惠方此下有“度”字。

圣惠方一分，末

右二味，相和涂之。

治针灸疮，血出不止方：

烧人屎灰以傅之。　　圣惠方治灸疮久不差，血出疼痛方：右取人粪烧灰，细研，先以莲子草汁洗疮，后傅之。

又方：　死蜣螂圣惠方以蜣螂。为末，以猪脂和涂之。

千金月令

主火烧疮方：

右烧糖灰，油调涂之。

又饮小便良。　　圣惠方治火烧，闷绝不识人方：右饮新小便一二盏效。　　山居四要火烧闷绝，以新尿冷饮之，或冷水和蜜饮之。卫生易简方同。　　寿域神方治火伤闷绝者，急将小便灌之，即醒。

又烧山枣树皮，油调涂之。

又以羊髓和胡粉附之。

柏皮膏：　主汤火疮，止痛灭瘢神验方。

柏皮五两　生地黄半斤　桑白皮二两　竹叶二升，切　杏仁研碎　大青各三两

右细切，以成炼猪脂三斤，缓火煎三上三下，绞去滓，密器盛，用篦子附疮，日夜三易。药未煎成且附盐，慎勿以冷物附之。

海上仙方

汤　火　烧

汤火烧时不可当，肉皮破烂痛心肋，鸡清好酒来淋洗，拭了安然住苦酸。

汤火烧时痛可怜，杨梅皮末油调傅，好酒将来调淋洗，不过日下就安然。

圣　惠　方

治汤火疮诸方

凡被汤火烧者，初慎勿以冷物，及以井下泥，及蜜涂拓之，其热气得冷，即却入深，搏至骨烂人[1]筋也。所以人中汤火后，善[2]挛缩者，良由此也。

治汤泼火烧，止疼痛，解火毒，润肌生肉，清凉膏方：

栀子仁一分　黄连一分，去须　生地黄二两　葱白十枚，擘　白芷一分　黄蜡半两　清麻油四两

右件药，并细锉，于油铛中煎，以地黄焦黑为度，绵滤去滓，澄清，却于铛内入蜡，慢火熬，候蜡消，倾于瓷合内，每使时，用鸡翎搨少许涂疮上，取差为度。

治汤泼火烧疮，疼痛甚者，神效白膏方：

御医撮要名白蜡膏，和剂局方名神效当归膏，治汤火伤初起，瘭浆热毒侵展，焮赤疼痛，毒气壅盛，腐化成脓，敛疮口，生肌肉，拔热毒，止疼痛。

白蜡一两　局方一本黄蜡　麻油四两　当归一两半，锉　局方一两

右件药，先将油煎当归令焦黑，滤去滓，次入蜡候消，相次急搅之，放冷，入瓷合中收。每使时，以故帛子涂贴之。

治汤火所灼，未成疮者方：

右取冷灰，以水调涂上，亦以灰汁洗之。

又方：

右取黍米、曲卫生易简方黍米、面曲。等分，各熬令黑，捣末，以鸡子白和涂之。

---

(1) 人：太平圣惠方作“入”。

(2) 善：太平圣惠方作“手”。

又方：

右取菰蒋根，去土，烧灰细研，以鸡子黄和封之。

又方：

右取柳白皮细切，以猪膏备预百要方腊月猪脂。煎，去滓，以涂之。用柏白皮亦佳。

又方：

右以小便浸洗之。琐碎录同。

又方：

右以醋和雄黄末涂之。

治汤破疮方：

川大黄　柏白皮等分

右件药，捣罗为末，以生地黄汁调涂之。

治汤泼所伤方：

黄丹一分　黄连末一钱，微炒　槟榔一枚，细锉，微炒，捣作末

右件药，相和令匀，先以盐水净洗，然后以散子傅于疮上。

治卒被汤沃火烧，疮痛烦闷不止，兼令疮不成瘢痕方：

右取新汲水，调蜜浆饮之。

又方：

右取大麻子，如常法煮麻腐，稀稠得所以傅之，乾即换之。

治火烧汤泼烂，热毒疼闷神效方：

右取大黄末细研，以蜜和如泥涂之，疼痛立止。

治热物汤破成疮，疼痛方：

右以温琐碎录作好。酒淋之，其痛立止。

又方：

右以白蜜涂疮上，取竹膜贴之，数易之，痛止。

又方：

右破鸡子取白涂之，甚妙。

又方：经验秘方、卫生易简方、简奇方治汤火伤者，未成疮。

右以豆酱汁涂之。琐碎录同。

又方：

右以柳皮烧灰，蜜和涂之。

又方：　才被汤火所伤，取狗毛碎剪，洋胶和之，便[1]遍于疮上[2]封之，一封后至痂落不易，亦不痛，甚良。　是斋医方治汤火伤，疮脓烂痛不可忍者，李莫安抚方。牛皮胶入少汤，于火上溶稠，狗毛剪碎，以胶和毛，摊软帛封之，直至痂脱不痛。吴内翰家婢，夜炊米，釜翻伤腿膝，以夜不敢白，比晓已溃烂，用此治之而愈。

治火烧疮诸方

治火烧疮。

莲子草一两　栀子一两　黄芩一两　胡粉一两　柏叶一两

右件药，捣细罗为散，以羊髓和，看稀稠，日可三度，以翎羽涂之。此法去毒止痛，令无瘢痕，甚妙。

治火烧疮，止痛散方：

桃胶　松脂　黄柏各半两

右件药，捣细罗为散，用梨汁、生蜜调涂之差。

治火烧疮急痛方：

栀子二两，烧灰，细研　柳白皮二升，切

右以猪脂二斤于铛内，缓火煎柳白皮焦黄，去滓，入栀子灰搅令匀，膏成，待经宿即用涂之。

又方：备预百要方汤火疮，拔毒止痛膏。

猪毛　牛粪等分

右並烧灰，细研，以生油调涂，神效。

又方：

寒节白面半匙　栀子仁一两

右件药，捣罗为末，与面相和，以新汲水调涂之。

又方：

楸树上垂条半斤，湿者　猫儿毛一两　蜡半两

右件药，以油煎二味令焦，滤去滓，下蜡令消，收于不津器中，先以温水洗疮，后用药涂之。

治火疮败坏方：

1　便：太平圣惠方作“使”。

2　疮上：太平圣惠方作“痛处”。

右以丹参捣罗为末，以羊胫髓涂之。

又方：

右以云母粉同生羊髓和如泥涂之。琐碎录、卫生易简方同。琐碎录又云：即是轻粉。

又方：

右以牛膝苗捣取汁，煎如膏，以乌鸡翎涂令遍，即痛止，日傅三二度差。

又方：

右以酪频频涂之。

又方：

右以桃叶及盐，和煮作汤洗之。

又方：

右以乌牛粪烧灰，细研，腊月猪脂调涂之，立效。

治火烧疮，赤煨疼痛方：

右以腊月油煮面糊一盏，以青竹筒贮之，每用涂于疮上。

治火烧疮肿痛方：

右取鳝鱼皮烧作灰，细研如面，用生油调涂疮上，并不成瘢痕。

又方：

柏白皮末一斤

右以水五升，煎至二升，滤去滓，熬成膏，涂之即差。

又方：

右以猪毛烧灰，细研，和胶水稀如饧，涂经五日已来，煎椒汤洗，却重更涂之，即无痕矣。

治灸疮急肿痛诸方

夫灸疮脓溃已后，更煨肿急痛者，此中风冷故也。

治灸疮，急肿痛不可忍，水柳膏方：

水柳枝二两，锉碎，春夏取枝皮，秋冬取根皮用　甘草二两，槌碎　白胶香半两，细研　麝香半两，细研　松脂半两　黄蜡半两　黄丹三两，炒令紫色　油八合

右件药，先取油安铛内，以文火炼香熟，渐下柳枝、甘草，煎令黑色，去滓，次下白胶香、松脂、蜡等，候化，即以绵滤过，净拭铛，却倾油于铛内，渐下黄丹，不住手搅转，急著火上变色，滴于水中成珠子膏成，入麝香令匀，用瓷合盛，于熟绢上摊贴，神验。

治灸疮，急肿疼痛，抽火毒，吮脓膏方：

黄耆半两　白及一分　白芷一分　白薇一分　当归一分　赤芍药一分　防风一分，去芦头　甘草一分　细辛一分　嫩桑枝一分　垂柳枝细锉，二合　乳香一分，细研　清麻油一斤

右件药除乳香，余并细锉，于铛内，用油浸一宿，以慢火煎柳枝色黄黑，绵滤去滓，澄清，拭铛令净，慢火熬药油，入黄丹，以柳木篦不住手搅，令黄丹色稍黑，取少许滴于水内，捻看得所，入乳香，又搅令匀，倾于不津器内盛，每用看灸疮大小，以纸上匀摊贴之，每日两度换，仍煎葱汤，用软帛蘸揾熨洗之。

治灸疮肿急方：

柏白皮三两　当归一两　薤白一握

右件药锉，以猪脂一斤，同煎薤白令黄焦，绞去滓，候冷涂之。亦治风水中疮中，及火疮亦妙。

治灸疮煨肿及赤烂方：

黄连去须　赤小豆　马蹄烧灰　川大黄　揪叶已上等分

右件药，捣罗为末，以生麻油调涂之，立效矣。

治灸疮久不差诸方

夫灸之法，中病则止，病已则疮差，若病势未除，或中风冷，故久不差也。

治灸疮久不差，宜用止痛生肌，解火毒方：

右先以黑豆半升，水五升，煮成浓汁，去豆放温，以绵裹指头，款款洗疮四面令极净，候疮中脓出，疮痂自落之时，便掺止痛生肌散。

止痛生肌散方：

石膏一分，烧过者　牡蛎半两，烧过者　滑石一分

右件药，捣罗为末，凡用之时，切护爪

甲，勿令中风，仍须洗疮令净，然后糁之，薄薄令遍，以软绵帛系之，候肌生，渐可用柏皮膏。

治灸疮久不差，宜涂柏皮膏方：

柏树白皮末四两　猪脂半斤，炼为油　伏龙肝末四两

右件药，同熬成膏，滤去滓，入瓷器中收，每用时，薄薄涂之，上以油单隔，软帛裹。

治灸疮，脓坏久不差方：

腊月猪脂一升　胡粉一两　薤白一握

右件药，先用脂煎薤白令黄，去滓，倾入瓷合中，入胡粉搅令匀，每取故帛上涂贴，日再易之。

治灸疮久不差，止[1]疼痛，生肌膏方：

防风一分，去芦头　白蔹一分　赤芍药一分　当归一分　芎藭一分　桑根白皮一分　杏仁一分，汤浸，去[2]尖双仁　甘草一两[3]　垂柳枝锉，三合　乱发一两，洗令净　黄丹五两　木香一分　丁香一分　麻油一斤，清者

右件药，除香二味捣罗为末，余并细锉，以油浸一宿，慢火熬令柳枝色黄黑，绵滤去滓，澄清，拭铛令净，慢火熬药油，入黄丹，用柳木篦不住手搅，令黄丹色稍黑，取少许滴于水内，捻看得所，入香末，又搅令匀，倾于不津器中盛。每用，看灸疮大小，以纸上匀摊贴之，每日三二度换，仍煎柳枝汤洗，勿令伤风。

治灸疮经久不差，薤白膏方：

薤白一握，切　生地黄三两，拍碎　栀子仁一两　杏仁一两，槌碎去皮[4]　胡粉三两　白芷一两　好酥二两　羊肾脂一大升[5]，炼成者

右件药，以脂酥微火煎薤白等，候白芷色赤，以绵滤去滓，用不津器盛，下胡粉搅令匀，涂帛上贴之，日三二遍换，以差为度。

治灸疮久不差，烂痛，宜用此方：

密陀僧捣，细研　白矾烧熟，细研

右件药等分，部[6]研令匀，先煎莲子草汁洗疮去痂，后傅之。

治灸疮久不差方：

右取桃胶和水银霜，研涂之。

治灸疮多时不差，痒痛出黄水，立效方：

右取揪叶或根皮，捣罗为末，傅疮上即差矣。

大全本草

井底沙，治汤火烧疮用之。

初虞世治汤火伤神妙。蓖麻子、蛤粉等分末，研膏，汤损用油调涂，火疮用水调涂。

图经曰：山东医工亦多用侧柏，然云性寒止痛，其方采叶，入臼中湿捣，令极烂如泥，冷水调作膏，以治大人及小儿汤汤火烧，涂傅于伤处，用帛子系定，三二日疮当敛，仍灭瘢。

兵部手集治汤火灼烂，竹中虫蚀末傅之良。

唐本注云：取榉树嫩叶，挼贴火烧疮有效。

梅师方治中热油及火烧，除外痛，以柳白皮烧为末傅之，兼治灸疮，亦同妙。

斗门方治汤火疮，用水煎胶[7]令稀稠得所，待冷涂疮。

乌毡主火烧生疮，令不著风水，止血除贼风，烧为灰，酒下二钱匕。

姚氏方汤火烧灼疮，单傅牛湿屎，立痛止，常日用良。

百一方火烧已破方：

取兔腹下白毛，烧胶以涂毛上贴疮，立差，待毛落即差。

---

(1) 止：太平圣惠方作“且”。
(2) 去：太平圣惠方此下有“皮”字。
(3) 两：太平圣惠方作“分”。
(4) 去皮：太平圣惠方作“微炒”。
(5) 升：太平圣惠方作“斗”。
(6) 部：太平圣惠方作“都”。
(7) 胶：大观本草卷十六兽部白胶条引斗门方同。普济方卷二百七十七诸疮肿门引肘后方作“白胶”。

集验方治汤火烧疮，熟鸡子一十个，取黄，炒取油八十文，腻粉搅匀，用鸡翎扫疮上，永除瘢痕。

梅师方治火烧疮痛不可忍，取鼠一头，油中浸煎之，候鼠焦烂化成膏，研之，仍以绵裹，绞去滓，待冷傅之，日三次，止痛。

日华子云：鼠以油煎令消，入蜡，傅汤火疮。

杨氏产乳疮热油赤肿，取荞麦面，醋和涂之。

北梦琐言云：孙光宪家婢抱小儿，不觉落炭火上，便以醋泥傅之，无痕。

是斋医方

紫雪：　治汤荡火烧，痛不可忍，或溃烂，或恶疮。

松树皮剥下，阴乾为细末，入轻粉少许，生油调稀傅。如傅不住，纱绢帛缚定，即生痂，神效不可言。然宜预先合下，以备急。自剥落而薄者尤妙。

治汤火所伤，用生麻油调面，琐碎录飞罗面。厚涂伤处，经验秘方、烟霞圣效方同。水调面琐碎录极细面。山居四要、卫生易简方飞面。亦得。柿漆涂之，经验秘方同。更无瘢痕。山柏子叶烂捣涂傅。用黑熟桑椹子，以净瓶收之，久自成水，以鸡翎扫傅之。琐碎录贮罐中自化，取汁涂之。

治汤火疮，虽脓水出，皮肉溃烂者，不过傅二三次即安。

蛇莓，本草音缪

右烂捣傅之，以差为度。钱文子佃客，因遗漏[1]烧灼，遍身皆溃，偶一道人传此，用之既安，更无瘢痕。本草不言治汤火伤。

治汤火伤疮脓烂，痛不可忍者，李奠安怃方。

黄瓦刮取细末，湿者乾掺，乾者麻油调涂。

又方：　藕与箸同音，今作藕，乃大箭竹叶包盐者是也。藕叶烧存性灰傅之，煮酒瓶头藕尤妙。　琐碎录治汤火伤方：裹陈江茶箬叶烧灰，碾细罗过，用生油、轻粉调傅，若湿乾糁，酒瓶头者尤妙。　经验良方名新冰散，治汤火。右以乾箬烧灰傅，如乾，新汲水调。吴氏集验方同。

又方：　仍无瘢痕，孙盈仲所传。鸡子清涂之，神效。一方鸡子壳烧灰，麻油调傅之。琐碎录同。

又方：　薤白不拘多少，烂研，琐碎录烂研取汁。以鹅翎傅之，更无瘢痕。　卫生易简方治汤火伤，用薤白与蜜同捣涂，甚效。

又方：　以腊茶傅之。琐碎录同。

又方：　之文侄传。乾桑叶为细末，乾者以蜜调涂，湿者乾掺。琐碎录、事林广记同。　澹轩方汤烫火烧，经霜桑缪阴乾叶，冷水调和便结茄。

又方：　王仲杞以乾甑箪，澹轩方多年甑箪。烧存性灰傅之。琐碎录同。

又方：　张德俊云：顷年，和倅，余杭人，将赴官，因蒸降真木犀香，自开甑，面仆甑上，为热气所熏，面即浮肿，口眼皆为之闭，更数医不能治，最后一医云：古无此证，请以意疗之。于是取僧寺久用炊布，烧灰存性，随傅随消，不半日而愈。盖以炊布受汤上气多，返用以出汤毒，亦犹以盐水取咸味耳。医者之智亦可喜。　澹轩方汤烫火烧，多年甑蓖烧存性，久用炊巾效亦同，但使一般灰细掺，不论汤火总收功。

又方：　郑亨老以冷面糊涂之，旧烂者尤佳。

又方：　用白瓷器末，汤煮过，碾极细，以油调涂立效。成[2]用炼银甘锅子捣为细末，调涂之亦可。

又方：　禹锡侄。

---

① 漏：普济方卷二百七十七诸疮肿门引百一选方作“火”。
② 成：普济方卷二百七十七诸疮肿门引百一选方作“或”。

葱白　砂糖

右二味相等，烂研傅之，痛立止，仍无瘢痕。

又方：　高司法傅。

韶粉四两　腊脂一斤

用柳木槌，于净器中研千下，净瓷器收之，遇烧烫著傅上，痛立止，无瘢痕。

又方：　初烧烫者，只用醋糟裹之，不痛即止，仓卒中亦易得，酸醋浇洗尤妙，更不肿痛。　琐碎录治汤火伤，以醋泥傅之经验秘方、山居四要、卫生易简方、简奇方同。止痛，亦无瘢痕。事林广记同。

又方：　无名异研细末，轻粉、麻油调傅，破者乾掺之。

治汤烫火烧，已溃脓出不已者，先以山栀子煎汤，放温，洗净裹乾，以赤焦大油饼，炭火上烧存性灰，研细傅之。

又方：

大黄为细末

右以米醋王氏集验方酽醋。调傅。或仓卒不能得末，只于新净瓷瓦器上以醋磨，傅亦可。琐碎录治汤火伤，以大黄为末，米醋调傅，不独止痛，且无瘢痕。一方水调亦得。事林广记同。　澹轩方汤烫火烧，大黄生捣醋调搽。王氏集验方治汤火疮，无踰此药，大有神效。

治汤火伤，苦杖碾为细末，清麻油调涂之，疮愈仍无瘢痕。

琐碎录

治汤火伤方：

生柏叶捣烂罨之。　经验良方治汤火扑压诸患，用生柏叶擂烂，炝痛处，止痛即愈。　急救仙方汤火伤，用柏叶捣烂敷痛处。卫生易简方同。

又方：　烂红柿用新磁器藏贮，可傅汤火疮，顷见铸冶人多用之。

又方：　侧柏叶阴乾，碾为细末，用油调傅，妙甚。

又方：　蛤蜊烧灰傅之。事林广记同。　经验秘方汤烫火烧。右用蛤蜊烧作灰，油调傅之。

又方：　用脂麻炒黑焦，研为细末，以生麻油调傅。　经验良方芝麻不拘多少，炒存性，研为末，清油调傅，不痛，隔宿安，无痕瘢，毛发再生。

又糯米炒焦为末，井水调傅。　经验良方糯米一合，炒令透骨焦黑，地上出火毒，研为细末，用水调搽，用鸡子清调亦可，愈后无痕。

又方：　腊月取鹅膏，煎成油藏之，用鹅毛刷。

又方：　以落地松皮，碾为细末糁之。

又方：　油糟子烧灰存性，细罗为末，水调傅之。

又方：　以柿胶或山药涂之，痛止而无瘢痕。

又方：　以纸钱脚醮米醋罨傅，经宿，退一重皮，且无痕。

凡遭热汤泼者，急以盐糁，用手按之，即无瘢痕耳。

凡被汤火成疮，用护火草碎研，入少盐傅之。本草谓之景天。

又方：　以牛皮胶熔，令温，傅其上，乾则自起也。

又以芭蕉水，鸡翎刷之。　澹轩方汤火，芭蕉汁傅佳。　备预百要方取芭蕉油涂之。

外科精要

肘后方治中热油及火烧，除外痛。以丹参八两，细锉，以水微调，取羊脂二斤，煎三上三下，以傅疮上愈。梅师方同。

经验方治汤火伤，至圣膏：

鸡子黄一两　得效方无两数

右用银石器内熬自然油，调好粉傅之愈。朱氏集验方同。

凡被汤火热油，痛不可忍，取髑下黑淤泥，量伤大小，斟酌多少，次加以老姜汁、麻油十分之一，共研令匀，搽伤处即愈。

又方：　以屎桶下浓脚搽伤处。

又方：　以雄鼠粪两头尖者是。烧存性，麻油、轻粉调涂愈。已上皆处处有之，仍有奇效。

朱氏集验方

汤　火　伤

治汤火疮方：

刘寄奴不以多少

右为末，先以糯米浆，鸡羽扫伤处，后掺药末在上，並不痛，亦无痕。大凡汤著，急以盐末掺之，得效方急以醋调茶盐末涂之。护肉不坏，然后用药傅之，至妙。本事方、卫生易简方同。

汤泼火烧诗：

细碾山栀子，浓调鸡子清，鹅毛轻拂止[1]，立便冷如冰。得效方作水。

又方：

黄连　黄柏　轻粉各等分　朴消少许

右为末，入麻油，用合子合住，上饭[2]蒸，调涂立愈。得效方同。

治汤泼火烧方：

生侧柏叶烧灰存性

右碾为末，以鸡子清调疮上，如乾再上。萧择中知录曾用有效方。得效方同。

黄柏散：　治汤火伤。

鸡子壳　黄柏树皮　朴硝得效方加大黄、寒水石

右等分为末，白水调涂极妙。

东垣试效方

保生救苦散：　治火烧热油所损，或至脱肌肉，及一切犬咬伤损，并刀斧所伤，及诸疮血不止，如神。上此药时，疮口变黑色勿怪，待药力尽，却变红和也。

生寒水石不以多少

右为细末，小油调涂之，若乾上亦得。拔粹方同。其痛立止，与无疮同，不作脓，无分毫苦楚，日近完复，永无破伤风证。

兰室秘藏

保生救苦散：　治火烧或热油烙，及脱肌肉者。

生寒水石　大黄火煨　黄柏油炒。已上各等分

右为细末，用油调涂之，或乾用此药涂之，其痛立止，日近完复，永无破伤风之患。

独圣散：　治汤破火烧破，疮毒疼痛。

---

[1] 止：朱氏集验方作“上”。

[2] 上饭：朱氏集验方同。世医得效方作“饭上”。

生白矾　　候。

右为细末，芝麻油调扫疮破处，不拘时

得效方

汤火疮

近效方：　山枇杷柴取皮，焙乾为末，生蜜、鸡子清调傅。

四黄散：　治汤发[1]火烧，热疮疼痛。

大黄　黄连　黄柏　黄芩　白及各等分

右为末，水调成膏，以鸡翎时刷。澹寮方、医方大成、集成、南北经验方、袖珍方同。卫生易简方以鸡翎频蘸涂扫，大除肿痛。

掺药：　治白经验良方作向。火多，生火班疮，有汁。

黄柏皮、薄荷叶为末，掺之即安。

澹轩方

汤烫火烧

汤火惟烧木鳖灰，麻油调付二三回，不然乱发烧为末，鸡子清搽亦快哉。

汤火皮肉溃烂

煅取二分寒水石，更添蚌粉一分研，麻油鸡子清调付，烂肉虽多亦易痊。

汤烫火烧，以嫩柳枝梢一把，麻油一盏，水一盏，捣烂成膏，付疮即愈。以久年壁土水调付疮亦得。

澹寮方

治汤火疮。

螺蛳壳多年乾白者，火煅，仍出火毒。诸方无出火毒

右细末，如破，用乾掺之；如不破，入轻粉少许，麻油调，鸡翎扫付疮上。医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、卫生易简方同。治恶疮尤妙。

神效散：　治头面为汤火伤泼，肌肉虽平复，遂成疮痕，鬓发不生。

江茶　生面二味等分

右研停，用麻油调涂患处，日一易之。

卫生宝鉴

绿白散：　治汤烫火烧疼痛。

苦参不以多少

右细末，用香油调搽。

居家必用

治汤火疮，桐油不计，煎数沸，入韶粉些子，搽上痛即止。

又用白蔹末傅之亦妙。备预百要方同。卫生易简方生肌止痛。

① 发：世医得效方作“泼”。

又方：　松柴木炭为细末，香油调傅，　神效。杂柴亦可。

必用全书

治汤火烧烫方：

用蛤蚧烧赤，放冷，研如粉，每用油调涂之。

又方：　黄葵花收入瓶，不犯手者，搽之立效。　寿域神方治汤火疮，采取黄蜀葵花，入清油磁罐盛，埋于地中，每年添花，油少添油，经数十年在地下者，甚佳，如有汤火所伤，用油搽之。采花不可犯手，以忉取之。

拔粹方

冰霜散：　治火烧，卫生宝鉴此下云：汤油热浇。皮烂大痛。施圆端效方治火烧燎损，汤漆热毒，伤皮烂肉，大痛，诸方不效。

寒水石生　牡蛎烧　朴硝　青黛各一两　轻粉一钱

右为细末，新水或油调涂，端效方新水调，次油调，乾贴。立止。卫生宝鉴同。

王氏集验方

松树皮烧灰存性，小油调涂。治汤火疮，无踰此药，大有神效。

天灸疮，黄芩为末，小油调涂。此疮极热，若单用小油润之，亦自好也。

医方大成

秘方治汤火所伤，用大黄、当归各等分，为末，以清油调傅之，但袖珍方、卫生易简方作湿。则乾掺之。医方集成、南北经验方同。

经验续方凡被火伤，急向火灸，虽极痛，强忍一时，经验秘方、经验良方、急救仙方、简奇方一食顷。即不痛，慎勿以冷物拓之，热气不出，烂人筋肉。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

经验方治汤火伤未成疮者，用小麦炒黑为度，研为末，腻粉减半，寿域神方无腻粉。油调涂之。医方集成、南北经验方、袖珍方、经验秘方、经验良方、卫生易简方、简奇方同。

经验方赤石脂散：　治汤火伤，赤烂热痛。

赤石脂　寒水石　大黄各等分

右为末，以新汲水调涂伤处。医方集成、南北经验方、袖珍方、经验良方、吴氏集验方、卫生易简方同。

一方：　以杉皮烧灰存性，为末，湿用乾掺，乾用鸡子清调涂。医方集成、南北经验方、袖珍方、卫生易简方同。

袖珍方

汤烫火烧疮，立效。

右用捋猪毛烧灰，香油搽患处。　卫生易简方退猪毛烧灰，油调傅二三次可愈。

经验秘方

蛤粉散：　治汤火烧著。

用蛤粉烧赤，放冷研碎，每用水油调涂之，日三次。

汤烫火烧。

右用连须葱捣烂敷贴，立效。简奇方同。

又方：　水磨炭末，或磨土朱涂，或真桐油涂之自可。急救仙方、卫生易简方同。寿域神方无土朱。

治汤火伤者，未成疮，秆草灰水调涂，已破者乾贴。经验良方、简奇方同。　卫生易简方治汤火伤，用稻草灰，不拘多少，冷水淘七遍，带湿摊上，乾即易。若疮湿，焙灰乾，油调傅二三次可愈。

又黄丹，酒调涂。简奇方同。

又烧羊粪灰，醋调涂。经验良方、简奇方同。

又赤皮葱白，研烂涂。简奇方同。

又新牛粪乘热涂之，不痛。

又汤瓶中减[1]为末，酒调涂之。

又赤石脂研末，水调涂，破者油调之。经验良方赤石脂为末，未破者，清油调涂，破者乾掺。

经验良方

治汤火伤，松树皮烧灰二钱，沥清一分，研为细末，清油调傅，湿乾掺，忌冷水洗，三日。

又方：　烧牛骨灰，重罗过，或鸡子清调傅，水亦可。

又凡伤仓卒，药不便，用生蜜涂之。山居四要寿域神方、卫生易简方同。甚者不过至再，大能止痛。

又方：　用大黄、苦杖焙为末，清油调涂。

治汤火，用金樱子树根，水洗去泥土，瓷瓦片刮根上皮，擂烂，不问皮破、生泡並可涂，如乾再涂，定痛，不生疤瘢。

又方：　新汲井水一盏，清油一盏，搅匀，稀稠得所，涂患处。隐士裴如心传。

治汤火伤未成疮者，羊胫炭，即小便炭，烧赤为末，蜜调涂。

治火伤肌肉方：

右用冷灶内中心土为末，入甘草末，冷水调涂。

治汤火，用霜后芙蓉叶、桑叶等分，阴乾为末，用蜜调涂。

又方：　用柳白皮、柏皮，烂研傅疮，乾则再傅，极能定痛，最去火毒，更无疤瘢。

又方：　用杨梅皮，不以多少，去粗皮，碾捣成末，瓦器内熬成浓汁，以罐子盛起，如遇用时，以鹅毛涂患处立愈，不生痂瘢，最验。

烟霞圣效方

拔毒散：　治大人小儿，火烧破皮肉。

用新桑皮烧作灰，小油调涂上，变色生肌即敛。

又方：　用木炭火，便研为细末，小油调涂亦得效。

烧汤破方：

绿豆粉炒　轻粉少许

右用好油调上，大有神效。

---

① 减：普济方卷二百七十七诸疮肿门引海上名方作“碱”。

施圆端效方

大黄寒水散：　治汤火烧疮。大名王库使方。

大黄一两　生寒水石半两

右为细末，清油调，扫烧破处。

七珍散：　治汤火烧，疮痛不可忍。成安张晋卿方。

木鳖子仁二钱，去油　大黄　黄连　黄芩　黄柏　郁金各二两　栀子三钱

右为细末，小油调扫疮上。

吴氏集验方

清凉膏：　疗汤火所伤。

腊月猪板脂十两，熬熔，却以苦参八两，为粗块，熬一二十沸，收磁瓶，熬不犯铁，用鸡翎拂之。

神效名方

烧汤火方：

多年庙上蚋与走兽为末，小油调涂烧汤火疮，立效。卫生易简方同。

又方：　生地黄旋取新者，烂捣，取自然汁，入小油、黄蜡少许，银石器中熬成膏子，用鸡翎扫疮上。卫生易简方同。

又方：　墙上青苔烧灰，小油调涂烧汤火处。寿域神方、卫生易简方同。

又方：　血余灰用腊猪脂调涂。卫生易简方同。

又方：　寒水石烧过，为细末，水调涂之。卫生易简方同。

事林广记

汤火伤，乌贼鱼骨火煅为末，调傅之。　即愈。

又方：　灶中土筛细，以新汲水调傅之，

山居四要

汤火伤，鸡蛋清调韶粉。卫生易简方鸡子调韶粉涂。

汤火伤败坏，及灭瘢，风化石灰，不以多少，铫子内炒令黄色，地上出火毒，研令细，生油涂疮上。卫生易简方同。

新效方

治汤火伤，桐油二分，水一分，搅令稠，　入黄丹、软石膏末傅。

外科精义

治汤火烧汤火[1]，无问新旧。

青槐枝一两，锉碎　绿豆粉一两，炒黄色　轻粉一钱

右同为细末，油调涂之，止痛灭[2]毒。

急救仙方

汤火伤，黄蜀葵花叶捣敷。卫生易简方同。

寿域神方

汤　火　部

治火伤疮，用土朱、无名异、大黄，等分为末，水调傅之。

一方：　以白芨为末，水调傅，或用盐少许，醋调傅妙。　卫生易简方治汤火疮，用白芨末掺傅，生肌止痛。

一方：　卫生易简方治热汤火烧，痛不可忍。　用石膏为末傅之妙。

治汤火疮，用田野中小野老鼠，用泥团成块，烧灰去泥，碾为末，香油调涂患处，立效。

卫生易简方

汤　火　伤

凡汤伤，先用盐末掺之，护肉不坏，后用药傅。

治汤火伤，用梨削贴，不烂，止痛易差。

又方：　用胡桃肉烧黑，杵如脂傅。

又方：　用火焰草，晒乾为末，冷水调傅患处。

又方：　用鸡子清，酒调淋洗。

又方：　用杨梅皮为末，油调傅，及以酒调淋洗。

治汤火伤，用好米醋蘸湿多年旧窗纸贴上，自然消愈。

御医撮要

神效贴灸膏：

白芷　黄耆　细辛　防风　芎劳　芍药　没药　乳香　苓陵香　血余各二目　黄丹六两　黄蜡半两　真油十六两

右件咬咀，绵裹纳油铛内，慢火煎，滴水中成珠不散，以绵滤去滓，次入黄丹、黄蜡，以柳篦搅不住手，成黑色放冷，看硬软，没药、乳香别细研，纳膏中，更搅成膏。

---

① 汤火：外科精义作“烫”。

② 灭：外科精义作“减”。

备预百要方

汤 火 疮 方

初犯切不著冷水，热被冷逼，入伤筋骨。初得仓卒无药，即以温水和灰傅之，又用炭末和水傅，然后合药贴之。

又戒火草捣傅。

又石灰细研傅。

又大麦末和醋傅。

又灼烂疮方：　胡麻子细捣傅。

又小豆末散之。

又池泽水面青苔傅之。

汤火疮，拔毒止痛膏：

铅丹炒过　蚌[1]蛤粉

右二味无分两，但合如桃花，以生油调作膏，湿纸[2]□乾摊贴之。

灸疮洗法：　灸后便用。

赤皮葱　薄荷

右二味煎汤，温洗四边，使风气出于疮口。

又桃东南枝柳枝等切，煎洗。

又艾叶捣末傅。

汤火伤针灸

千　金　方

凡灸疮不差，日别灸上六七壮自瘥。

漆　疮　门

千　金　方

治漆疮方：

生柳叶玉机微义冬用皮。三斤，细切，以水一斗五升，煮取备预百要方煮洗。七升，圣惠方五升。适寒温洗之，日三。肘后方云：老柳皮尤妙。

又方：　以磨石下滓泥直指方磨刀石下泥。寿域神方磨刀石上泥。涂之，取瘥止，大验。

又方：　浓煮鼠查叶以洗漆上，亦可捣叶取汁涂之。

又方：　烂捣七姑草封之。备预百要方浓煮温浸。救急方云：七姑草和芒消涂之。

又方：　贯众为末以涂上，乾以油和之，圣惠方捣细罗为末，以生麻油调涂之。即愈。　寿域神方贯仲不拘多少，煎汤洗之妙。

又方：　莲叶燥者一斤，以水一斗，煮取五升，洗疮上，日再。圣惠方、肘后方、寿域神方同。　备预百要方乾莲叶煮洗。

又方：　羊乳汁涂之。肘后方、寿域神方、卫生易简方、备预百要方同。　易简方又云：亦治蜘蛛

---

① 蚌：圣济总录无此字。

② 纸：此下脱字，圣济总录作“压”。

疮，饮之尤妙。

又方：　芒硝五两，汤浸以洗之。玉机微义、备预百要方同。　圣惠方以川芒硝和水涂之。肘后方汤溃，芒硝令浓涂之，寿域神方同。乾即易之。　卫生易简方浓煎汤沃洗。

又方：　取猪膏玉机微义熬，去滓，停冷。涂之。备预百要方同。

又方：　矾石著汤中令消洗之。备预百要方同。　圣惠方右以白矾三两，细研，投入热汤中，候温洗之。　卫生易简方白矾煎汤，浸洗之。

又方：　宜啖猪肉、嚼穬谷涂之。

千金月令

主漆疮方：

右烧骨令烟尽，捣末附之。

又捣韭备预百要方作薤。附之。　圣惠方生韭捣绞取汁涂之。　肘后方用韭叶研傅之。寿域神方同。食医心镜同。

又以鸡子黄琐碎录生鸡子黄。涂之。圣惠方、直指方、澹轩方同。　圣惠方又云：乾即再涂，不过三上差。玉机微义同。

又烧虾蟆灰，水调附之。

圣　惠　方

治漆疮诸方

夫漆有毒，人有禀性畏漆，但见漆便中其毒，喜面痒，然后胸臂胜[1]腨皆悉瘙痒，面初起肿，绕眼微赤，诸所痒处，以手搔之，随手巢氏病源随手犖展。起赤痦瘤，痦瘤消已，生细粟疮甚微，中毒轻者，证候如此。其有重者，遍身作疮，小者如麻豆，大者如枣杏，脓烦疼痛，摘破小差，巢源摘破小定有小差。随次更生。若火烧漆，其毒气则厉，著人急重。赤有性自耐者，每日烧煮，终不为害也。

治漆疮，遍身烦赤疼痛方：

沥清香二两　黄蜡一两　桂心一两，末　油二两

右件药，都一处熬成膏涂之。

又方：

右以新椒半两，以醋浆水一碗，即成盐五颗，煎六七沸，以绵蘸涂之。

又方：

右以黄栌木细锉，水浸，熬取浓汁，去滓，熬为膏，入生油调涂之，当退下疮皮痛止也。

治漆疮方：

右用蛤粉，以新汲水调涂之。

又方：

右取油麻子，捣令极烂，以蔓菁菜汁调涂之。

又方：

槲树皮一斤

右细锉，以水一斗，煎至六升，温温洗之。

治漆疮洗汤方：

右以汉椒三两，水五升，煮取三升，温温淋洗之。　肘后方汉椒汤洗之即愈。寿域神方同。

又方：

榉树枝叶二斤

右细锉，以水一斗，煮取六升，淋洗疮上，兼以叶捣绞取汁涂之。

又方：

右以七枯草捣绞取汁五合，川芒硝一两细研，相和涂之。

又方：

黄栌木一斤，锉

右以水一斗，煮取六升，去滓，温温淋

① 胜：太平圣惠方作“胫”。

洗便差。　　玉机微义黄栌木煎汤，频洗之。

又方：

右以蟹黄居家必用生蟹黄。卫生易简方蟹汁。涂之，

直指方、朱氏集验方、得效方、经验良方、寿域神方同。玉机微义日三五次。立差。　　琐碎录以螃蟹黄涂之即可。预烧蟹壳灰收之，俟它时用，以麻油调傅。

大全本草

外台秘要疗漆疮，以铁浆洗之，随手差，频为之妙。

陶隐居云：削作柿煮，以洗漆疮，无不即差。又有鼠查，生去地高尺余许煮，以洗漆多差。

药性论云：鸡子液治漆疮，涂之，醋煮。

是斋医方

治漆疮，以谷精草煎汤，放温洗，立验。　　鼓槌儿者是。生姜汁擦亦得。

玉机微义同。收稻了，田间生矮根株成丛，如小

琐碎录

治漆疮方：　　白菘菜烂研，取浓汁涂之。

直指方

漆疮方：

腊茶，用麻油调涂。

又方：朱氏集验方治漆毒成疮方。　　磨铁槽中取泥涂。得效方同。集验方又云：往年芜湖二漆牙相争，其人以漆一桶，自头浇其人，患疮几死，有人教以此方治之而愈。

澹轩方

漆　疮

人沾生漆或成疮，苋叶根煎作洗汤，涂付生姜白菘汁，更有蟹黄鸡子黄。

肘后方

治漆疮，栗木内朽赤者，水煮洗浴，即差。　　又方：　松叶烂捣绞取汁，涂之即差。

居家必用

漆疮，山栀子捣碎傅之，或用地镜草捣　　傅之亦妙。

经验良方

治漆疮。

右蓬术、贯众二味，煎汤洗之。

又用活螃蟹数只，将新汲水养于盆内，窖时待其涎出，将水洗漆疮一二遍，自愈。活蟹即放之江中，如杀之则不验矣。

又苋菜根煎汤洗之。寿域神方同。如无，便清油搽亦可。

山居四要

漆疮，用无名异研细，水调傅。卫生易简方　　同。

玉机微义

治漆疮，荷叶燥者一斤，煮水洗之，以　　贯众末掺之，乾则油和涂。

寿域神方

治漆疮，以盖漆纸烧烟薰之。

漆　疮　部

卫生易简方

漆　　疮

治漆疮，用杉木煎汤洗，效。

又方：　用莽草叶煎汤洗。

治漆疮、冻疮、犬咬疮，並用秫米嚼烂涂傅。

治漆疮久不差，用漆草捣烂，傅患处，立效。

备预百要方

漆疮方：

芥叶研傅。

又芋叶汁涂。

又人乳涂之。

又铁水温洗之良。

怪 疾 门

得 效 方

怪 疾

项上生疮如樱桃大，有五色，疮破则项皮断，但逐日饮牛乳自消。经验良方同。

寒热不止，经日经验良方经久日。后四肢坚如石，以物击之，一似钟磬声，日渐瘦恶，用茱萸、木香等分，煎汤饮即愈。

大肠头出寸余，痛苦，直候乾自退落，又出，名为截肠病。若肠尽，乃不治，但初觉截余可治。经验良方截余寸治。用芝麻油器盛之，以臀坐之，饮大麻子汁数升愈。

口鼻中腥臭水流，以碗盛之，有铁色虾鱼如粳米大，走跃不住，以手捉之，即化为水，此肉坏矣，任意馔食鸡肉经验良方食鸡月余。愈。

腹上麻痹不仁，多煮葱白吃之自愈。

妇人小便中出大粪，名交肠，服五苓散效。如未尽愈，可用旧幞头烧灰，酒服之。

两足心凸如肿，上面生黑色豆疮，硬如钉子钉了，履地不得，胫骨生碎眼，髓流出，身发寒颤，唯思饮酒，此是肝肾气冷热相吞，用炮川乌头末傅之，煎韭子汤服效。经验良方同。

凡腹胀经久，忽泻数升，昼夜不止，服药不验，乃为气脱，用益智子煎浓汤服，立愈。经验良方同。

四肢节脱，但有皮连，不能举动，名曰筋解。用酒浸黄芦三两，经一宿取出，焙乾为末，每服二钱，酒调下，服尽安。经验良方同。

玉茎硬不痿，精流无歇时，时如针状，捏之则脆，经验良方脆碎。乃为肾满漏疾，韭子、破故纸各一两为末，每服三钱，水一盏，煎至六分，每日三次饮之，愈则住服。

咽喉间生肉，层层相叠，渐渐肿起，不痛，多日乃有窍子，臭气自出，遂退饮食，用臭桔叶煎汤，连服愈。经验良方同。

腹中经验良方腹胀。如铁石，脐中水出，旋变作虫行之状，绕身匝啄，痒痛难忍，拨扫不尽，用浓煎苍术汤浴之，以苍术末入麝香少许，水调服痊。

眼前常见诸般禽虫飞走，以手捉之则无，乃肝胆经为疾，用酸枣仁、羌活、玄明粉、青葙子花各一两为末，每服二钱，水一大杯，煎至七分，和滓饮，一日三服。经验良方同。

大肠虫出不断，断之复生，行坐不得，用鹤虱末，水调五钱服之，自愈。经验良方同。

眼睛垂出至鼻，如黑角色，痛不可忍，或时时大便血出，其名曰肝胀。用羌活煎汁服数盏，自愈。经验良方同。

腹中有物作声，随人语言，用板蓝汁一盏，分五服服之。又名应声虫，当服雷丸自愈。经验良方同。

有饮油五升以来，方始快意，长得吃则安，不尔则病，此是发入胃，被气血裹了，化为虫也。用雄黄半两为末，水调服，虫自出。如虫活者，置于油中，逡巡间连油泼之长江。经验良方同。

治卧于床，四肢不能动，只进得食，好大言，说吃物，谓之失说物望病。治如说食猪肉时，便云你吃猪肉一顿，病者闻之即喜，遂置肉令病人见，临要却不与吃，此乃失他物望也，当自睡中经验良方睡口中。涎出，便愈。

手十指节断坏，唯有筋连，无节肉，虫

出如灯心，长数尺余，遍身绿毛卷，名曰血余，以茯苓、胡黄连煎汤饮之愈。经验良方同。

遍身忽皮底混混如波浪声，痒不可忍，抓之血出不能解，谓之气奔，以人参、苦杖、黄[1]盐、经验良方有白术。细辛各一两，良方为末。作一服，水二碗，煎十数沸，去滓，饮尽便愈。

眼白人浑黑，见物依旧，毛发直如铁条，虽能饮食，不语如醉，名曰血溃，用五灵脂为末二钱，酒调下。经验良方同。

因著艾灸讫，火痂便退落，疮内鲜肉片子飞如蝶形状，腾空去了，痛不可忍，是血肉俱热，用大黄、朴消各半两为末，水调下，微利即愈。经验良方同。

临卧浑身虱出，约至五升，随至经验良方随手。血肉俱坏，每宿渐多，痒痛不可言状，唯吃水卧床，昼夜号哭，舌尖出血不止，身齿俱黑，唇动鼻开，但饮盐醋汤十数即安。

眼赤鼻张大喘，浑身出斑，毛发如经验良方起如。铜铁，乃目中热毒气结于下焦，用白矾、滑石各一两为末，作一服，水三碗，煎至半，令不住饮，候尽乃安。

有虫如蟹走于皮下，作声如小儿啼，为筋肉之化，雷丸、雄黄各一两为末，掺在猪肉片经验良方一片。上，炙熟吃尽自安。

手足甲忽然长倒生肉刺，如锥痛不可忍，吃葵菜自愈。经验良方同。

鼻中毛出，昼夜可长一二尺，渐渐粗圆如绳，痛不可忍，虽痛，摘一茎即后更生，此因食猪羊血过多遂生，用乳香、经验良方乳石。硃[2]砂各一两为末，以饭丸梧桐子大，空心临卧各一服，水下十粒，自然退落。

面上及遍身生疮似猫儿眼，有光彩，无脓血，但痛痒不常，饮食减少，久则透胫[3]，名曰寒疮，多吃鱼鸡韭葱自愈。经验良方同。

胁破肠出臭秽，急以香油摸肠，用手送入，煎人参、枸杞淋之，皮自合矣，吃羊肾粥十日即愈。经验良方同。

口鼻中气出，盘旋不散，凝如黑盖色，过十日渐渐至肩胸[4]，与肉相连，坚胜金石铁，无由饮食，此多因虐后得之，煎泽泻汤，日饮三杯，连服五日愈。经验良方同。

遍身忽然肉出如锥，既痒且痛，不能饮食，此名血拥，若不速治，溃而脓出，以赤皮葱烧灰淋洗，吃豉汤数杯经验良方三盏。自安。

眉毛摇动，目不能视，交睫，唤之不应，但能饮食，有经日不效者，用蒜三两取汁，酒调下即愈。经验良方同。

毛窍节次血出，若血不出，皮胀膨如豉[5]，须臾眼鼻口被气胀合，此名脉溢，饮生姜水汁各一二盏经验良方各半二盏。即安。

忽然气上喘，不能语言，口中汁流吐逆，齿皆摇动，气出转大则闷绝，苏复如是，名曰伤寒并热霍乱，用大黄、人参末各半两，水三盏，煎至一盏，去滓，热服可安。经验良方同。

口内生肉球臭恶，自己恶见，有根线长五寸余，如钗股，吐球出以饮食了，却吞其线，以手轻捏，痛彻于心，困不可言，用水调生麝香一钱服，三日验。经验良方同。

浑身生燎泡如甘棠梨，每个破出水，内有石一片，如指甲大，泡复生，抽尽肌肤肉，不可治，急用荆三棱、蓬莪术各五两为末，分三服，酒调连进愈。经验良方同。

头面发热，有光色，他人手近之如火烧人，用蒜汁半两，酒调下，吐如蛇状遂安。经验良方同。

人自觉自形作两人並卧，不别真假，不语，问亦无对，乃是离魂，用辰砂、人参、茯苓浓煎汤服之，真者气爽，假者化也。经验良方同。

男子自幼喜饮酒，至成丁后，日饮一二斗不醉，片时无酒，叫呼不绝，全不进食，日就羸弱，令其父用手巾缚住其手足，不令动摇，但扶少立，却取生辣酒一坛，就于其

---

① 黄：世医得效方作“青”。
② 硃：世医得效方作“朱”。
③ 久则透胫：世医得效方作“冬则遍胫”。
④ 胸：世医得效方作“臂”。
⑤ 豉：世医得效方作“鼓”。

子口边打开，其酒气冲入口中，病者必欲取饮，坚不可与之，须臾口中忽吐物一块，直下坛中，即用纸封裹坛口，用猛火烧滚，约酒乾一半，却开视之，其一块如猪肝样，约三两重，周回有小孔如针眼，不可数计，弃之于江，饮食复旧，虽滴酒不能饮矣。　经验良方庐陵明田李教谕梅心亲闻目见之事，亦可谓奇疾奇方，今附于后。袁州分宜县有一男子，自十岁喜饮酒，至十九岁，日间饮一二斗不醉，片时无酒，叫呼不绝，全不进食，日就羸毙，其父惊惶叩神。忽遇一道人，令其父用手巾缚住其手足，不令动摇，但扶住少立，却取生辣酒一坛，就于其子口边打开，其酒气冲入口中，病者必欲取饮，而道人坚不肯与之，须臾口中忽吐出物一块，直下坛中，道人即用纸封塞坛口，用猛火烧滚，约酒乾一半，却开视之，其一块如猪肝样，约三两重，周回有小孔如针眼，不可数计，弃之于江。自后此子饮食复旧，虽滴酒不能饮矣。

夜间饮水，误吞水蛭入腹，经停月余，日必生下小蛭，能食人肝血，腹痛不可忍，面目黄瘦，全不进食，若不早治，能令人死。用田中乾泥一小块，小死鱼三四个，将猪脂溶搅匀，用巴豆十粒，去壳膜研烂，入泥内为丸，绿豆大，用田中冷水吞下十丸，小儿只用三丸至五丸，须臾大小水蛭一时皆泻出，却以正方经验方作局方。四物汤加黄芪煎服，生血补理。方见妇人门调经。

有人患劳瘵两年，诸药不效，一日无肉味，其腹痛不可忍，经验良方江西瑞州新昌县有一妇人，年二十五岁，患痨瘵两年，诸药不效，一日无肉味，其腹痛不可忍，积久将毙，其家贫穷无计得药。又恐传染，移在空房，候其自终。经停三日，病者腹痛，气息将绝，思忆肉味之急，忽有人惠鸡子三枚，其病人俯仰取火，低头取瓦铫煎熟，吹火屡燃屡灭，鼻中如有所碍，将熟间，忽嚏喷一声，有红线一条自鼻中出，牵抽约二尺长，趋下瓦铫中，病人知是怪物，急用碗覆，煎铫中尽力烧火不住，其铫欲裂方住火，开铫视之，乃是小虫一条，头目皆具，已煅死如铁线样，即以示其家人，后弃之于江，其病即安。良方妇人之病当即全安。

居民逃避石室中，贼以烟火熏之欲死，迷闷中摸索得一束萝卜，嚼汁下咽而苏。又炭烟熏人，往往致死，含萝卜一片著口中，烟气不能毒人；或预曝乾为末，备用亦可；或新水擂烂乾萝卜饮之亦可。经验良方同。

自行被　，穿断舌心，血出不止，以米醋用鸡翎刷所断处，其血即止，仍用真蒲黄、杏仁去皮尖，鹏砂少许，研为细末，炼蜜调药稀稠得所，噙化而安。经验良方同。

身上及头面肉上浮肿如蛇状者，用雨滴堦砖上苔痕一钱，水化开，涂蛇头立消。

经验良方

怪疾奇方

治有病呵欠口不合，及卒然牙关紧，滴水不能入，以致死者，但用盐梅二个肉擦之，牙关即口开；既口开，复又口不合者，亦用盐梅肉擦两牙匡即合，此是风证。

治凡吃著挑生鱼肉，及一切所食之物皆可挑，如茶汤瓜果之类。今但举鱼肉为例，即时便觉胸膈略痛，日渐搅刺，至十日，生在腹中能动，腾上则胸满，沉下则腹胀，渐加瘦悴是其候也。　如生在上膈，用胆矾末半钱，用热茶一盏，将矾在茶内，候矾化尽，通口服，少顷，用鸡翎入喉中微搅，即吐下毒物；如生在下膈，用郁金末二钱，饭饮调服，即泻下。却补以人参半两，白术半两，为末，用无灰酒二升，同药末入瓶内，慢火煨半日，觉酒热取出，放温，每服一盏，五日止，任便饮食。

救 急 门

巢氏病源

自缢死候

人有不得意志者，多生忿恨，往往自缢，以绳物系颈，自悬挂致死，呼为自缢。若觉早，虽已死，徐徐捧下，其阴阳经络虽暴壅闭，而藏府真气故有未尽，所以犹可救疗，故有得活者。若见其悬挂，便忽遽截断其绳，旧云则不可救。此言气已壅闭，绳忽暴断，其气虽通而奔迸运闷，故则气不能还，即不得复生。又云：自缢死，旦至暮，虽已冷，必可治，暮至旦，则难治。此谓其昼则阳盛，其气易通，夜则阴盛，其气难通。

又云：夏则夜短又热，则易活。又云：气虽已断，而心微温者，一日已上，犹可活也。

溺 死 候

人为水所没，溺水从孔窍入，灌注府藏，其气壅闭，故死。若早拯救得出，即泄沥其水，令气血得通，便得活。又云：经半日及一日犹可活，气若已绝，心上暖亦可活。

冻 死 候

人有在于途路，逢凄风苦雨、繁霜大雪，衣服沾濡，冷气入藏，致令阴气闭于内，阳气绝于外，荣卫结涩，不复流通，故致噤绝而死。若早得救疗，血温气通则生。又云：冻死一日犹可治，过此则不可。

金 匮 方

救自缢死，旦至暮，虽已冷，必可治；暮至旦，小难也，恐此当言阴气盛故也。然夏时夜短于昼，又热，犹应可治。又云：心下若微温者，一日以上，犹可治之方：

徐徐抱解，不得截绳，上下安被卧之，一人以脚踏其两肩，手少挽其发，常弦弦，勿纵之；一人以手按据胸上，数动之；一人摩捋臂胫，屈伸之，若已僵，但渐渐强屈之，并按其腹。如此一炊顷，气从口出，呼吸眼开，而犹引按莫置，亦勿苦劳之，须臾，可少桂汤及粥清，含与之，令濡喉，渐渐能咽，及稍止。若向令两人以管吹其两耳朵，好。此法最善，无不活者。三因方、得效方、医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、经验秘方、经验良方、急救仙方、寿域神方、卫生易简方同。得效方又法：紧用两手掩其口，勿令透气两时，气急即活。

救溺死方：

败灶中灰两石余，以埋人，从头至足，水出七孔，即活。千金方、三因方同。

右疗自缢溺暍之法，并出自张仲景为之，其意殊绝，殆非常情所及，本草所能关，实救人之大术矣。伤寒家数有暍病，非此遇热之暍。见外台、肘后目。

千 金 方

治五绝方： 夫五绝者，一曰自缢，二曰墙壁压迮，三曰溺水，四曰魇寐，五曰产乳绝。

取半夏一两，细下筛，吹一大豆许内鼻中，即活。心下温者，一日亦可治。急救仙方同。

治自缢死方：

凡救自缢死者，极须按定其心，勿截绳，手抱起徐徐解之，心下尚温者，以氍毹覆口鼻，二人吹其两耳。 备预百要方自缢死方：从朝至夕者难生：从夕至晓者可活。勿截断绳，徐徐抱死人解下，心上尚温者，以毡覆口鼻，使二人吹两耳。

又方： 强卧，以物塞两耳，竹筒内口中，使两人痛吹之，塞口傍无令气得出，半日死人即噫；噫，即勿吹也。

又方： 捣皂荚、细辛经验秘方、经验良方等分为末。屑如胡豆大，秘方、良方如大豆许。吹两鼻中。备预百要方同。

又方： 卫生易简方治自缢死，缓解下，切勿割断，抱取，心下犹温者。 刺鸡冠血出，滴著口中即活，男雌女雄。备预百要方同。

又方： 鸡屎白如枣大，酒半盏，备预百要方半钱。和灌口及鼻中佳。卫生易简方同。

又方： 皂荚为末，以葱叶吹入两鼻中，逆出更吹。备预百要方同。

又方： 梁上尘如大豆许，各内一小竹筒中，四人各捉一筒，同时吹两耳两鼻，即活。王氏集验方同。

又方： 尿鼻口眼耳中，并捉头发一撮，如笔管大，掣之立活。备预百要方同。

又方： 鸡血涂喉下。

又方： 蓝青汁灌之。卫生易简方同。备预百要方灌口。

治落水死方：

以灶中灰布地，令厚五寸，以甑侧著灰上，令死者伏于甑上，使头小垂下，抄盐二方寸匕圣惠方二钱。内竹管中，吹下孔中，即当吐水，水下因去甑，下死者著灰中壅身，备预百要方同。使出鼻口，即活。圣惠方以灰壅身，水恒出鼻口中，即活矣。

又方： 掘地作坑，熬数斛灰内坑中，下死人覆灰，湿彻即易，勿令大热爆人，灰冷更易，半日即活。圣惠方、备预百要方同。

又方： 取大甑倾之，死人伏其上，令死人口临甑口，然苇火二七把烧甑中，当死人心下，令烟出小入死人鼻口中，鼻口中水出尽则活，火尽复益之，常以手候死人身及甑，勿令甚热，当令火气能使死人心下、足得暖。卒无甑者，于岸侧削地如甑，空下如灶，烧令暖，以死人著上，亦可用车毂为之，勿令隐其腹，令死人低头，水得出，并炒灰数斛令暖以粉身，湿更易温者。圣惠方同。

又方： 但埋死人暖灰中，头足俱没，惟开七孔。圣惠方水出即活。

又方： 倒悬死人，以好酒灌鼻中，又灌下部，圣惠方同。又酢灌鼻亦得。 经验秘方溺死一宿尚可救方：倒悬，以好酒半盏灌鼻中及下部。

又方： 绵裹皂荚内下部中，须臾水出。圣惠方、卫生易简方、备预百要方同。

又方： 裹石灰内下部中，水出尽则活。圣惠方、备预百要方同。

又方： 经验秘方、经验良方、溺死一宿尚可救方。倒悬，解去衣，去脐中垢，极吹两耳，起乃止。圣惠方同。 寿域神方冬月落水，微有气者，倒悬，解去衣，去脐中垢，令两人以管吹其耳中，水出尽即活。

又方： 熬沙覆死人，面上下有沙，但出鼻口耳，沙冷湿即易。圣惠方、经验秘方、良方同。

又方： 寿域神方冬月落水，微有气者。 屈两脚，著生人两肩上，死人背向生人背，即负持圣惠

方倒负持。走行，吐出水便活。得效方、经验秘方、良方同。

又方：　解死人衣，灸脐中，圣惠方、医方大成、集成、南北经验方、袖珍方、急救仙方、经验良方、寿域神方同。凡落水经一宿，犹可活。

治冬月落水，冻四肢直，口噤，尚有微气者方：

以大器中熬灰使暖，盛以囊薄其心上，冷即易，心暖气通，目得转，口乃开，可温尿粥，稍稍吞之，即活。若不先温其心，便持火灸身，冷气与火争，即死。圣惠方同。　得效方救冻死，四肢强直，口噤，只有微气者，用大釜经验秘方大锅。炒灰令暖，以囊盛，熨心上，冷即换之。候目开，以温酒医方大成、集成、南北经验方，袖珍方无温酒。及清粥稍与之。若不先温其心，便将火灸，冷气与火争，必死。　寿域神方治冻死僵直，微有气者，用热锅炒柴灰令暖，以囊盛，熨心上，冷即换之，仍以温酒粥清稍与之。若不先温其心，便将火烘，则冷气与火争，必死也。

海上仙方

自　缢

悬梁自缢听根源，急急扶来地上眠，皂角细辛吹鼻内，须臾魂魄自归源。

三因方

五绝治法

凡魇寐、产乳、自缢、压、溺五者，令人卒死，谓之五绝。

半夏散：得效方名破棺散。治魇寐，卒死，及为墙壁竹木所压，水溺金疮，卒致闷绝，产妇恶血冲心，诸暴绝证。

半夏七次汤洗去骨[1]，不拘多少

右为末，每一大豆许，医方大成、集成、南北经验方、袖珍方每用少许。吹鼻中，即活。但心头温者，一日可治。得效方皂角末亦效。袖珍方又云：心头温者可治。仓卒无药，急于人中穴，及两脚大拇指内，离甲一薤叶许，各灸三五壮，即活。　朱氏集验方半夏丸，治五绝。一曰自缢，二曰墙压，三曰溺水，四曰魇魅，五曰产乳。凡此五绝，皆以半夏一两　右为末，水丸如豆大，纳鼻孔中，即愈。王氏集验方　但心头温者，一日可差。此是扁鹊法。好事者，闲慢制下，危急得济，南岳魏夫人方。

牡丹散[2]：　治产乳血晕，闷绝，狼狈，若口噤，则拗开灌之，必效。方见妇人门产后。

救压死方：

以死人安著，将手袖掩其口鼻眼上，一食顷活，眼开，仍与热小便。若初觉气绝，而不能言，可急劈口开，以热小便灌之。打扑闷绝者，亦用此。

夫压死折伤，唯礼法君子，守岩墙垂堂之戒，固无是事。然安车良马，时有跌足奔轮，步砌临流，未免虚舟飘瓦，况行商征贾，捕猎鱼人，历涉既多，不测尤甚。其如冤雠加害，凶险劫持，打扑金疮，皆致枉夭，治之不可不急也。

琐碎录

自系人，抱起解下了，用搐鼻药，或灌以姜汁，然后用火筒，口中及后粪门火气入，

① 骨：三因极一病证方论作“滑”。
② 牡丹散：方见本书卷二百三十四引三因方。

用搐鼻药了，打嚏喷即苏矣。

凡人溺水，往往以壁泥覆鼻，或倒提出水，皆未全验，惟用盐不拘多少，使强有力者，自项及踵，四肢腹背，用力摩擦，须臾，水自百毛孔中出，良久，涨消气苏，虽一二日可活。

落水几死，以盐擦脐中，以省人事则止。

得效方

救急

救溺水，急解去死人衣带，灸脐中即活，袖珍方、山居四要同。令二人以笔管吹其耳中。

又法：凡人溺水者，救上岸，即将牛一头，却令溺水之人将肚横覆在牛背上，两边用人扶策，徐徐牵牛而行，以出腹内之水，如醒，即以苏合香丸之类，或老姜擦牙。医方大成又云：若无牛，以活人于长板凳上仰卧，却令溺水人如前法，将肚相抵活人身上，水出即活。医方集成、南北经验方、袖珍方、经验良方、寿域神方、卫生易简方同。

又方：凡溺死一宿尚可救，捣皂角，半盏灌鼻中。经验秘方、良方、寿域神方同。

又熬热炒①，或沙②热灰，将溺者埋于其中，从头至足，水出七孔即活。

又以酒坛一个，以纸钱一把，烧放坛中，急以坛口覆溺水人面上或脐上，冷则再烧纸钱于坛内，覆面上，去水即活。数方皆效，奈人不谙晓，多以为气绝，而不与救疗，可怜，从其便而用之。

救冻死③，四肢强直，口噤，只有微气者。方见千金方。

又法：用毡或藁荐裹之，以索系定，放平稳处，令二人对面轻轻滚转，往来如捍毡法，四肢温和即活。经验秘方、良方、寿域神方同。

以绵裹，纳下部，须臾，出水即活，又将醋

卫生宝鉴

复生散：治卒病死、溺死、压死，一切横死，但心头温者，救之。

半夏一味为细末，心头温者，用一字许吹入鼻中立活，良法。

---

① 炒：世医得效方作“沙”。
② 沙：世医得效方作“炒”。
③ 救冻死：治方见本卷引千金方。

救 急 门二

必 用 全 书

救 自 缢

救自缢法： 凡此等，下手未久，心头尚温，则用二人捧起，放宽其索，未可便解下，切不可用刀割断其绳，急将小竹管子吹气，与他相接即活，却用降气汤、三和汤、苏合香丸灌之。溺水未久者，亦可依此治之。

经 验 秘 方

中兴备急方

治淹死人，若隔夜不可治。从早淹死，捞出放于地上，头低脚高，口出水，止露眼鼻口耳，内以湿纸暂待盖口，用少灰上下培之，随时将药约一字吹于鼻内。

苦丁香三钱 良姜五钱 宅土五钱，系锅门上下烧红土 猪牙皂角五钱 胡椒五钱

若移时，灰上有缝裂为度，随即缓缓去盖口纸，将灰再培合，大效，日夜救可也。

治自缢死，及诸中恶卒死者。吴氏集验方救魔[1]睡强眠失气。梁上尘如豆，两耳鼻四处各内一粒，以筒令四人极齐吹之即活矣。

自缢死，紧用手罨其口，勿令透气，二时许，气急即活。得效方、经验良方同。

冻死，四肢直，口噤，只有微气者，手足方：

自冰雪中乘寒冻僵直，不可便向火炙及搓耳，多令指节及耳堕落，宜歇定，饮少水，近火。

夏月不可淘井，多致杀人，宜先以鸡毛放井中试之，如摇动不肯便下，是有毒气，不可入，古冢亦然。五月七日尤甚。如已中毒，以水喂其面，并合水调雄黄末一二钱服。

凡墙壁压死、魇死、自缢死、溺死、产死，谓之五绝，治之方：经验良方名破棺散。

生半夏为末，如大豆许，并吹鼻中。急救仙方同。 良方又云：南岳魏真人传于世名五绝。五绝者，非病源深久只一时间气遽然奄绝，救之皆可活。世人才见人之气绝，便以为死，更不救，不知有可救之理，有可救之方。已上出孙真人备急，屡用神验。 卫生易简方半夏一两，汤洗七次为末，丸如大豆，内鼻孔中即愈。此扁鹊法。

救溺死，先刀开溺者口，横放箸一只，令其牙衔之，使可出水，或覆瓮，或立甑，以溺者腹肚覆其上，令头重出水，如无甑瓮，横腹圆木上亦可。水出后，令健夫屈死人两足著肩上，以背相贴，倒驰之而行，令出血水尽；仍先打壁土一堵，置地上，以死者仰卧其上，更以壁土覆之，止露口眼，自然水气翕入土中，其人遂苏；仍急用竹管各于口、耳、鼻、脐、粪门内，更迭吹之，令上下气相通。急救仙方同。

又用半夏末少许，搐其鼻，如略活，用清粥饮灌之。急救仙方同。

---

① 魔：按文义疑作“魇”。

救冬月堕，冻冰四肢，口不能言，只有微气者，不可便用火灸，用袋盛热灰在心头，冷则换，热者待眼开，用温酒或米饮灌之。

急救仙方、山居四要、卫生易简方同。

救卒暴死，及生产危困者，半夏末少许，吹入鼻中。

经验良方

孙真人救急灵方

自缢死，抱起解下，切不可截绳，心温者，即以衣物塞两耳，将竹筒口中重吹气入，仍塞口边，莫令气出，可活。

邪厉缢溺魇死卒死

治一切卒死。

右灸脐中百壮。此乃古方，曾有仕宦用此得活。

治邪厉、缢溺、魇死、中暑、冻死、诸卒死。凡卒死，或先疾病及寝卧间，忽然而绝，皆是中恶。用皂角，或生半夏末，如大豆许，吹两鼻中，应卒死多用此物有验。

又方：　用绵浸好酒半盏，用手按住患人手足，勿令惊，滴酒入鼻中。

又方：　用羊屎烧烟熏鼻中。

又方：　用生菖蒲研汁一盏灌之。

烟霞圣效方

救淹死人方：

将本人靴脱下，合跌地打涌泉穴，打一自吐水一口，水尽即活。

山居四要

自缢者，切不可割断绳子，以膝头或用手厚裹衣物，紧塞谷道，把[1]起解绳放下，揉其项痕，搐鼻及吹其两耳，待其气回，方可放手，若使泄气，则不可救矣。

溺水者，急起救[2]大凳上睡著，脚后凳脚坫起二砖，却以盐擦脐中，待其水自流出，切不可倒提，水出与数等，但心头微热者，皆可救治。卫生易简方同。

冬月落水，微有气者，以大器炒灰熨心上，候暖气通，温尿[3]粥寿域神方温粥。稍稍吞之即活，便将火炙即死。卫生易简方同。

寿域神方

溺　水　部

治溺水死者，其证气绝身冷，手足强直，心头暖温者，可救，冷者不可活矣。盖腹中元气为水所并，上下关格气不能通。急于避风处，屈病人两脚，置生人肩上，更送[4]令有力之人背负病人，复以手执两脚，令头垂下，徐徐行动，令二人更迭炙手摩病人腹胁，使水从口中出将尽，急将病人仰卧暖处，用纸堆塞鼻孔，用绵衾包头面、身体、手足令周遍，次用二寸长小竹管三茎，插入病人口

① 把：山居四要作“抱”。
② 急起救：山居四要作“救起放”。
③ 尿：山居四要作“水”。
④ 送：山居四要作“迭”。

中及两耳，仍用绵衣塞口耳四围，却令壮年男子数人，更迭口噙竹管呵吐生气，令暖气入腹中，与病人元气交接，半日久，候气透，则自然活矣。尤须尖削小竹管纳谷道中，令人更迭以热手按腹，令水从大小便出。若天寒，多用绵絮于甑中蒸热，包裹病人，从头至胸腹及足，冷则易之，令暖气内外透彻，即活。此法活人甚多，真能起死回生也。

冬月落水，微有气者，急将牛一头，令溺者以肚横压在牛背上，两边令人扶策，徐徐牵牛而行，出尽其水，醒即以苏合香丸灌之，或若生姜擦其齿。若无牛，以活人于长板凳上仰卧，却安溺人身上，听其水出即活。凡溺一宿者，尚可救。

自缢部

治缢死者，就以所缢绳烧三指撮，白汤调服之。

一方：　未解下，先用膝头或手厚裹衣物紧塞谷道，抱起解下，揉其项痕捻正喉，搐鼻及吹两耳，待其气回，方可放手。若泄气，则不可救矣。卫生易简方同。

一方：　依前法解下，用皂角、细辛为末，搐鼻。卫生易简方同。

一法：　即于鼻下人中穴针灸，遂活。卫生易简方同。

备预百要方

落水死方

令死人垂头下水。凡水死者，经宿可活，即灸脐中。

冻死冻疮方

冻死口噤，有微气者，以大器多热灰盛袋，热熨心上，冷则易之，心暖气通，然后作米粥含咽。若不先温其心便火灸，则死。

又用雉头脑涂之。

救急针灸

千金方

治自缢死方：　　壮。

灸四肢大节陷大指本文名曰地袖[1]各七

得效方

救急

救溺水，急解去死人衣带，灸脐中即活，令两人以笔管吹其耳中。千金方云：凡落水经一宿可活。

救魇寐，一切卒死，及诸暴绝订[2]，用药或不效，急于人中穴及两脚大母指内离甲一薤叶许，各灸三五壮即活，脐中灸百壮亦

① 袖：备急千金要方作“神”。

② 订：世医得效方作“证”。

效。

治魇寐卒死，及为墙壁竹木所压，水溺

溺　水　部

冬月落水，微有气者，急于人中穴及两脚大母趾内离甲一韭叶许，各灸三五壮，即活。

自　缢　部

治自缢死者，即于鼻下人中穴针灸，遂活。

金疮，卒致闷绝，产妇恶血冲心，诸暴绝订[1]，视上唇里有如黍米粒，以针挑破。

寿域神方

杂病门

金匮方

杂　疗

退五藏虚热，四时加减柴胡饮子方：

冬三月加：柴胡八分　白术八分　大腹槟榔四枚，并皮子用　陈皮五分　生姜五分　桔梗七分

春三月加：枳实　减白术共六味

夏三月加：生姜三分　枳实五分　甘草三分。共八味

秋三月加：陈皮三分。共六味

右各㕮咀，分为三贴，一贴以水三升，煮取二升，分温三服，如人行四五里进一服。如四体壅，添甘草少许，每贴分作三小贴，每小贴，以水一升，煮取七合，温服，再合滓为一服重煮，都成四服。疑非仲景方。

长服诃梨勒丸方：疑非仲景方。

诃梨勒煨[2]　陈皮　厚朴各三两

右三味末之，炼蜜丸如梧子大，酒饮服二十丸，加至三十丸。

千　金　方

万病丸散

圣人之道，以慈济物，博求聚药，以戒不虞，仓卒之际，应手皆得，故有万病方焉。余以此方散在群典，乃令学者难用讨寻，遂鸠撮要妙，以为斯品，庶使[3]造次可得。好事君子，安不忘危，无事之暇，可预和合，以备痾瘵也。

芫花散：　治一切风冷痰饮，癥癖瘕疝，万医所不治者，皆治之。一名登仙酒。一名三建散。

芫花　桔梗　紫菀　大戟　王不留行　乌头　附子　天雄　白术　五加皮　莞花　狼毒　莽草　栾荆　栝蒌根　蹶蹋　麻黄　白芷　荆芥　茵芋各十分　车前子　石斛　人参　石南　石长生[4]七分　蛇床子　蕈蘑　牛

① 订：世医得效方作“证”。
② 煨：金匮无此字。
③ 使：备急千金要方作“其”。
④ 生：备急千金要方此下注有“各”字。

膝　狗脊　菟丝子　苁蓉　秦艽各四分　藜芦五分　薯蓣　薏苡仁　巴戟天　细辛　当归　芎藭　乾地黄　食茱萸　杜仲　厚朴　黄耆　山茱萸　乾姜　芍药　桂心　黄芩　吴茱萸　防己　远志　蜀椒　独活　五味子　牡丹　橘皮　通草　柴胡　柏子仁　藁本　菖蒲　茯苓　续断各二分

右六十四味，千金翼有麻花、半夏、赤车使者，高良姜、紫蔵，无白术、食茱萸。并不治不择，不灸不熬，但振去尘土，捣以粗罗下之，即与[1]服。凡是猪鸡五辛、生冷酢滑，任意食之[2]，无所忌，惟诸豆皆杀药，不得食。

药散三两　细曲末二升　糯米三升　真酒五升

先以三大斗水煮米作粥，须极熟，冬月扬去火气，春月稍凉，夏月扬绝火气令极冷，秋稍温，次下曲末，搦使和柔相得，重下药末，搦使突突然好熟，乃下真酒，重搦使散，盛不津器中，以净杖搅散．经宿即饮。直以布盖，不须密封。凡服药，平旦空心服之，以知为度，微觉发动流入四肢，头面习习然为定，勿更加之。如法服之，常常内消，非理加增，必大吐利。服散者，细下筛，服一方寸匕，和水酒浆饮，无在稍增，以知为度。服丸者，细下筛，蜜丸如梧子，每服七丸。但此药成丸或散皆可，惟不得作汤。若欲得补，不令吐泻，但取内消，大[3]益胜于五石，兼逐诸病，功效一等。然作酒服，佳于丸散，美而易服，流行迅疾。若有患人抱病多时，积癥宿食大块，久气癥瘕积聚，一切癥结者，即须一二度增加，令吐下泄去恶物尽后，少服内消，便为补益。凡服药，慎勿早食，早食触药，必当大吐。吐亦无损，须臾还定，但令人咽喉痛，三二日后始瘥，服者宜知之。平旦服药，至午时待药势定，宜先食冷饭菹，饮冷浆水，及午后药势一定，任意热食无忌。若药势未定，不得强起行，行即运闷旋倒，眼花暗然迷绝，此是逐风所致，不须疑怪。风尽之后，纵令多服更住[4]。不然闷时但坐但卧，须臾醒然，不异于常。若定后任意所之，若必便旋，当策杖如厕，少觉闷乱，即须坐定，坐定即醒，醒乃可行。病在膈上，久冷痰癖积聚，癥结疝瘕，宿食坚块，咳逆上气等一切痼结重病，终日吐唾，逆气上冲胸喉，此皆胃口积冷所致，三焦肠间宿冷以成诸疾，如此例便当吐却此等恶物。轻者一度下转药，令吐却，若重者三五度下之令尽。其吐状法，初吐冷气沫，次吐酢水，须臾吐黄汁[5]浓，甚者苦似牛涎。病若更多者，当吐出紫痰，似紫草汁，非常齿龈，有此者例入死道，不久定死。若有疰者吐血，陈久黑血，新者鲜血，吐罢永瘥不发。下此吐药，当吐时大闷，须臾自定，即不虚惙，得冷饮食已，耳不虚聋，手足不痹。若胃口有前件等病势久成者，正当吐时，有一块物塞胸喉，吐复不出，咽复不入，当有异种大闷，更加一二合药酒，重投药下，少时即当吐出块物如拳大，真似鹅鸡子中黄，著地以刀斫碎，重者十块，轻者三五枚。凡人有上件等病，若服药时不吐却者，当时虽得渐损，一二年后还发，为此故须下吐药。欲服取吐者，当以春三月服之，春宜吐故也。凡膈上冷，小腹满，肠鸣，膀胱有气冷，利多者，须加利药于此酒内服之，便去恶物。利法．出泔淀如清水，如黄汁，如青泥，轻者，一二度下利药，得利以尽病源：重者，五度下利药，令频数得大利，以尽病根。利法，旦起服药，比至晡时可得二三行，即断后服。凡长病人，瘦弱虚损者，又[6]贵人，此等人但令少服，积日渐渐加增，令多内消瘥，除久病不加吐利也。药若伤多，吐利困极不止者，水服生大豆末方寸匕，即定，及蓝叶、乌豆叶嚼以咽之，登时即定。此据大困时用之，小小时不须也。凡在世人有虚损阳衰，消瘦骨立者，

---

(1) 与：备急千金要方此下有“人”字。
(2) 之：备急千金要方此下有“弥佳”二字。
(3) 大：备急千金要方此下有“补”字。
(4) 住：备急千金要方作“佳”。
(5) 汁：备急千金要方此下有“大”字。
(6) 又：备急千金要方作“老人”。

服之非常补益，旬月之间，肌肤充悦，颜色光泽，髓溢精满，与少壮一等，凡众痫万病皆除之。治一切风病，疬节风，二十两和酒五斗，贼风、热风、大风上同，偏风、瘾疹风瘫缓风，十二两和酒三斗。此七种并带热，须加冷药押，使常数便利。贼风掣疯，八两和酒二斗；湿风周痹上同；腰脚挛痛，十二两和酒三斗；筋节挛急，八两和酒二斗；重病后汗不流，初觉三服，一服一盏，年久服一升；食热食如锥刀刺者，八两和酒[1]□斗；口㖞面戾，一眼不合者，初得四两和酒一斗，年久十二两和酒三斗；头面风似虫行，又似毛发在面上者，八两和酒二斗；起即头旋，良久始定者，四两和酒一斗；心闷呕逆，项强者，风在心藏，欲风欲雨，便即先发者，八两和酒二斗；因疮得风，口强，脊脉急者，五服即定，一服一盏。治一切冷病，积冷癥瘦者，四两和酒一斗，强者六两和酒一斗半；痰饮疝瘕上同；宿食呕吐，四两和酒一斗；癥瘕肠鸣噫，八两和酒二斗；久痃及久劳上同；癫痔块坚，冷噉上气，二十两和酒五斗；奔豚冷气，六两和酒一斗半；噎及冷痢上同；卒中恶注忤，心腹胀气急欲死者，三服定，一服一盏；大吐出鲜血瘴气上同；蛊毒五服定，一服一盏；温疟、大疟并上同，可永瘥，三[2]服一盏。治妇人诸风诸病等，并依前件，带下，十二两和酒三斗；崩中，六两和酒一斗半；月闭不通，及冷病不产，并上同；断绪不产，八两和酒二斗；月水前后不调，乍多乍少，亦令人绝产，四两和酒一斗；产后风冷不产，六两和酒二斗，若重者，八两和酒二斗，甚者十六两和酒三斗，大重者子宫下垂，十六两和酒四斗。

论曰：远览前古，莫睹此方。有高人季[3]孝隆者，自云隋初受之于定州山僧惠通道人，此后用之大有效验，秘而不传，但得其药，其方不可得而闻，始吾得之于静智道人，将三纪于兹矣，时俗名医未之许也，然比行之，极有神验。其用药殊不伦次，将服节度，大不近人情，至于救急，其验特异，方知神物效灵，不拘常制，至理关感，智不能知，亦犹龙吟云起，虎啸风生，此其不知所以然而然，虽圣人莫之辨也，故述之篇末，以贻后嗣。好学君子详之，非止救物兼深，抑亦庶几于博见矣。

耆婆万病丸：　治七种癖块，五种癫病，十种疰忤，七种飞尸，十二种蛊毒，五种黄病，十二时疟疾，十种水病，八种大风，十二种癖痹，并风入头，眼暗漠漠，及上气咳嗽，喉中如水鸡声，不得眠卧，饮食不作肌肤，五脏滞气，积聚不消，壅闭不通，心腹胀满，及连胸背鼓气坚结，流入四肢，或复叉心膈气满，时定时发，十年二十年不瘥，五种下痢疳虫，寸白诸虫，上下冷热，久积痰饮，令人多睡，消瘦无力，荫入骨髓，便成滞患，身体气肿，饮食呕逆，腰脚酸疼，四肢沉重，行立不能久；妇人因产，冷入子脏，脏中不净，或闭塞不通，胞中瘀血冷滞，出流不尽，时时疹痛为患，或困[4]此断产，并小儿赤白下痢，及胡臭、耳聋、鼻塞等病。此药以三丸为一剂，服药不过三剂，万病悉除，说无穷尽，故称万病丸。以其以牛黄为主；故一名牛黄丸；以耆婆良医，故名耆婆丸方。

牛黄　麝香　犀角一方云一铢。今各一分　桑白皮　茯苓　乾姜　桂心　当归　芎藭　芍药　甘遂　黄芩　蜀椒　细辛　桔梗　巴豆　前胡　紫菀　蒲黄　葶苈　防风各一分　蜈蚣三节　石蜥蜴[5]　人参一寸[6]　朱砂　雄黄　黄连　大戟　禹余粮　芫花　芫青七[7]枚

右三十一味，崔氏无黄芩、桑白皮、桔梗、防风，为二十七味。并令精细，牛黄、麝香、犀角、朱砂、

① 酒：此下脱字，备急千金要方作“二”。
② 三：备急千金要方作“一”。
③ 季：备急千金要方作“李”。
④ 困：备急千金要方作“因”。
⑤ 蜴：备急千金要方此下注有“一寸”二字。
⑥ 一寸：备急千金要方无此二字。
⑦ 七：备急千金要方作“六”。

雄黄、禹余粮、巴豆别研，余者合捣，重绢下筛，以白蜜和，更捣三千杵，密封下[1]。破除日平旦空腹，酒服三丸，如梧子大，取微下三升恶水为良。若卒暴病，不拘平旦，早晚皆可服，但以吐利为度。若不吐利，更加一丸，或至三丸五丸，须吐利为度，不得限以丸数。病强药少，即不吐利，更非他故。若其发迟，以热饮汁投之。若吐利不止，即以醋饭二三口止之。服药忌陈臭生冷、酢滑粘食、大蒜、猪鸡鱼狗驯[2]驴肉、白酒、行房，七日外始得，一日服，二日补之，得食新米韭骨汁作羹粥臛，饮食之三四顿大良，亦不得全饱，产妇勿服。吐利以后，常须闭口少语，于无风处温床暖室将息。若旅行卒暴，无饮，以小便送之为佳。若一岁以下小儿有疾者，令乳母服二小豆，亦以吐利为度。近病及卒病皆用多，积久疾病即少服，常取微溏利为度。　卒病欲死，服三丸如小豆，取吐利即瘥。　卒得中恶口噤，服二丸如小豆，暖水一合灌口，令下微利即瘥。　诸有痰饮者，服三丸如小豆。　五疰鬼刺客忤，服二丸如小豆，不瘥，后日更服三丸。　男女邪病，歌哭无时，腹大如妊娠，服二丸如小豆，日三夜一，间食服之。　大痢，服一丸如小豆，日三。　猫鬼病，服三丸如小豆，未瘥更服。　蛊毒吐血，腹痛如刺，服二丸如小豆，不瘥更服。　疟病未发前，服一丸如小豆，不瘥，后日更服。　冷癖，服三丸如小豆，日三，皆间食服之，常令微溏利。　宿食不消，服二丸如小豆，取利。　癥瘕积聚，服二丸如小豆，日三，皆间食服之，以利瘥止。　拘急，心腹胀满，心痛，服三丸如小豆，不瘥更服。　上气喘逆，胸满不得卧，服二丸如小豆，不瘥更服。　疳湿，以一丸如杏仁大，和酢二合灌下部，亦服二丸如小豆。　鼻衄，服二丸如小豆，即瘥。　水病，服三丸如小豆，日二，皆间食服之，瘥止。人弱隔日服之。　头痛恶寒，服二丸如小豆，覆取汗。　伤寒时行，服二丸如小豆，日三，间食服之。　小便不通，服二丸如小豆，不瘥，明日更服。　大便不通，服二[3]丸如小豆，又内一丸下部中，即通。　耳聋聍耳，以绵裹一丸，如小枣核大，塞之瘥。　痈肿丁肿破肿，内一丸如麻子大，日一傅，其根自出瘥。　犯丁肿血出，以猪脂和傅，有孔内孔中，瘥止。　胸背腰胁肿，以酢和傅肿上，日一易，又服二丸如小豆。　癞疮，先以酢泔洗，后取药和猪脂傅之。　瘘疮有孔，以一丸如小豆内孔中，兼和猪脂傅之。　痔疮，取药涂绵筋上，内孔中，日别易，瘥止。瘰疬，以酢和傅上，瘥。　恶刺，以一丸内疮孔中，即瘥。　诸冷疮积年不瘥者，以酢和涂疮上，作饼贴之，瘥。　癣疮，先以布揩令汁出，后取酢和傅上，日一易，立瘥。蝎螫，以少许傅螫处。　蜂螫，以少许傅螫处。　蝮蛇螫，取少许内螫处。若毒入腹，心闷欲绝者，服三丸如小豆大。　妇人诸疾，胞衣不下，服二丸如小豆，取吐利即出。　小儿客忤，服二丸如米粒，和乳汁傅乳头，令嗍之。　小儿惊痫，服二丸如米粒，涂乳头令嗍之。随儿大小量与。　小儿乳不消，心腹胀满，服二丸如米粒，涂乳头令嗍之，不瘥更服。

和剂局方：芍药　川椒去目及闭口者，微炒出汗　肉桂去粗皮　芎藭不见火　乾姜炮　防风去芦　巴豆去皮心膜，炒　当归去芦　生犀角镑　桔梗去芦　芫花醋炒赤　茯苓去皮　人参去芦头　黄芩　黄连去须　桑白皮炒　蒲黄微炒　前胡去芦　大戟锉，炒　葶苈炒　麝香研　细辛去苗　雄黄研飞　朱砂研飞　紫菀去芦　禹余粮醋淬，飞研　甘遂　牛黄研。已上各一两　蜈蚣十二节，去头足，炙　芫菁二十八枚，入糯米同炒，候米色黄黑，去头足翅用　石蜥蜴去头尾足，炙，四寸

右为细末，入研药匀，炼蜜为丸，如小豆大，若一岁以下小儿有疾者，令乳母服二小豆大，亦以吐利为度。近病及卒病用多服，积久疾病即少服，常服微溏利为度。卒病欲死服三[4]

① 下：备急千金要方作“之”。
② 驯：备急千金要方作“马”。
③ 二：备急千金要方作“三”。
④ 三：太平惠民和剂局方作“一　二”。

丸，取吐利即差。卒中恶口噤，服二丸，浆一合下，利即差。五注鬼刺客忤，服二丸。男女邪病歌哭，腹大如妊身，服二丸，日三夜一，间食服之。蛊毒吐血，腹痛如刺，服二丸，不差更服。疟病未发前服一丸，未差更服。诸有痰饮者，服三丸。冷癖，服三丸，日三服，皆间食，常令微溏利。宿食不消，服二丸，取利。瘕癥积聚，服二丸，日三服。拘急心腹胀满心痛，服三丸。上气呕逆，胸满不得卧，服二丸，不差更服。大痢，服二丸，日三服。疳湿，服二丸，以一丸如杏仁大，和醋二合，灌下部中。水病，服三丸，日再服，间食服之，差止。人弱即隔日服。头痛恶寒，服二丸，覆取汗。伤寒天行，服二丸，日三服，间食服之。小便不通，服二丸，不差，明日更服。大便不通，服三丸，又内一丸下部中即通。耳聋、聍耳，以绵裹如枣核塞之。鼻衄，服二丸。痈肿丁肿破肿，内一丸如麻子大，日一傅之，根亦自出。犯丁肿血出，以猪脂和涂，有孔内孔中差。癞疮，以酢泔洗讫，取药和猪脂傅之。漏疮有孔，以一丸内孔中，和猪脂傅上。痔疮，涂绵筋上，内孔中，日别易，差止。瘰疬，以酢和涂上差。癣疮，以布揩令汁出，以酢和涂上，日一易，瘥止。胸背腰胁肿，以醋和傅肿上，日一易，又服二丸。诸冷疮积年不瘥，以酢和涂之。恶刺，以一丸内疮孔中即瘥。蝮蛇螫，以少许内螫处。若毒入腹，心烦欲绝者，服三丸。蜂螫，以少许傅之差。妇人诸疾，胞衣不下，服二丸。小儿惊痫，服一丸如米许，以涂乳令嘬之，看儿大小加减。小儿客忤，服一丸如米，和乳涂乳头，令嘬之，以意量之。蝎螫，以少许傅之差。小儿乳不消，心腹胀满服一丸如米许，涂乳头，令嘬之即差。

治一切蛊毒，妖邪鬼疰病者，有进有退，积聚坚结，心痛如啮，不得坐卧，及时行恶气温病，风热瘴气，相染灭门，或时热如瘖疟，咽喉肿塞，不下饮食，或烦满短气，面目时赤，或目中赤黄，或乾呕，或吐逆，或下赤白痢，或热气如云，或欲狂走自杀，或如见鬼，或手足清冷，或热饮冷水而不知足，或使手掇空，或面目痈肿生疮，或耳聋目暗，头项背脊强，不得屈伸，或手足卒痒，或百鬼恶疰狐魅走入皮肤，痛无常处方：

麝香　丹砂　特生礬石　马目毒公　马齿矾　雄黄各一两　巴豆九十枚　青野葛三[1]两。一本不用

右八味为末，别捣巴豆如膏，合捣五千杵，内蜜更捣一万杵，丸如小豆大，强者服二丸，弱者一丸。入腹，云行四布，通彻表里，从头下行，周遍五脏六腑，魂魄静定，情性得安，病在膈上吐，膈下痢，或蛇虫诸毒五色热水，或不吐下，便微渐除瘥。万蛊妖精，狐狸鬼魅，诸久痼癖块，皆消散，在表汗出，在里直下。忌名其药，故此方无名也。

仙人玉壶丸方：

雄黄　藜芦　丹砂　礬石一作矾石　巴豆　八角附子各二两

右六味，先捣巴豆三千杵，次内礬石，又捣二[2]千杵，次内藜芦三千杵，次内附子三千杵，次内雄黄三千杵，次内丹砂三千杵，内蜜又捣万杵，佳。若不用丹砂者，内真珠四两，无在每内药，辄治五百杵，内少蜜，恐药飞扬。治药用王相吉日良时，童子斋戒为良，天晴明，日无云雾，白昼药成，封密器中，勿泄气，着清洁处，大人服丸如小豆。欲下病者，宿勿食，平旦服二丸，不知者，以暖粥饮发之令下，下不止，饮冷水以止之。病在膈上吐，膈下利，或但噫气即已。若欲渐除，及将服消病者，服如麻子大二丸。卒中恶，欲死不知人，以酒若汤和二丸，强开口灌喉中。鬼疰病百种不可名，浆水服二丸，日再。男女与鬼交通，歌哭无常，或腹大绝经，状如妊娠，浆水服二丸如胡豆大，日三

① 三：备急千金要方作“一”。
② 二：备急千金要方作“三”。

夜一。又苦酒和令如粉，每旦傅手间使、心主；心主在手腕后第一约横文当中指，至暮又傅足三阴三阳及鼻孔，七日愈。又浆服麻子大一丸，日三，服三十日止。恶风逆心，不得气息，服一丸。腹中如有虫，欲钻胁出状，急痛，一止一作；是恶风①，二丸。忧恚气结在胸心，苦连噫及咳，胸中刺痛，服如麻子大三丸，日三。腹痛胀满不食，服一丸。心腹切痛及心中热，服一丸如麻子大，日三服，五日瘥。风疝、寒疝、心疝、弦疝，每发腹中急痛，服二丸。卒上气，气但出不入，并逆气冲喉，胃中暴积聚者，服二丸，日再。澼饮痰饮，平旦服一丸。腹中三虫，宿勿食，明旦炙牛羊肉三脔食之，须臾进三丸，如胡豆大，日中当下②，过日中不下，更③二丸，烂虫必下。卒关格，不得大小便欲死，服二丸。卒霍乱，心腹痛，烦满吐下，手足逆冷，服二丸。伤寒啾涩，时气热病，温酒服一丸，厚覆取汗，不汗更服。寒热往来，服一丸。疟未发④一丸，已发二丸，便断。积寒热老痞，服二丸。癥结坚痞⑤，一丸，日三取愈。下痢重下者，一丸取断。食肉不消，腹坚胀，一丸立愈。若淋沥瘦瘠，百节酸疼，服一丸，日三。头卒风肿，以苦酒若膏和傅之，絮裹之。痈疽痤疖瘰疬，及欲作瘘，以苦酒和傅之。若恶疮不可名，瘑疥疽，以膏若苦酒和，先以盐汤洗疮去痂，拭乾傅之。齿痛，绵裹塞孔中。鼠瘘，以猪脂和傅疮，取驳舌狗子舐之。中水毒，服二丸。若已有疮，苦酒和三丸傅之。耳聋脓血汁出，及卒聋，以赤谷皮裹二丸内之。风目赤或痒，视物漠漠，泪出，烂眦，蜜解如粉，涂注目眦。若为蛊毒所中，吐血，腹内如刺，服一丸如麻子，稍加大如胡豆，亦以涂鼻孔中，又以膏和通涂腹背上，亦可烧之熏口及鼻。若为蛇蝮诸毒所中，及猘犬狂马所咋，苦酒和傅，又水服二丸。妇人产后余疾，及月水不通，往来不时，服二丸，日再。妇人胸中苦滞气，气息不利，小腹坚急，绕脐绞痛，浆服如麻子一丸，稍加之如小豆大。小儿百病，惊痫、痞塞，及有热，百日半岁者，以一丸如黍米大，置乳头饮之；一岁以上，如麻子一丸，日三，饮送下。小儿大腹，及中热恶毒，食物不化，结成积聚，服一丸。小儿寒热，头痛身热，及吐哕，服一丸如麻子大。小儿羸瘦丁奚，不能食，食不化，浆水服二丸，日三。又苦酒和如梧子大，傅腹上良。一切万病，量之不过一二丸，莫不立愈。欲行问孝省病，服一丸，又一丸系颈上，行无所畏。至丧家带一丸，辟百鬼。若独止宿山泽冢墓、社庙丛林之中，烧一丸，百鬼不敢近。仍以蜡和一丸，如弹丸大，着绛囊中，系臂上，男左女右，山精鬼魅皆畏之。

张仲景三物备急丸：　司空裴秀为散，用治心腹诸卒暴百病方。

大黄和剂局方二两　乾姜局方炮，一两　巴豆各等分　四时纂要去皮心，醋熬令黄，捣如泥。局方去皮油，二两

右皆须精新，多少随意，先捣大黄、乾姜，下筛为散，别研巴豆如脂，内散中，合捣千杵，即尔用之，为散亦好，下蜜为丸，贮密器中，莫令歇气。若中恶客忤，心腹胀满刺痛，口噤气急，停尸卒死者，以暖水若酒服大豆许三枚，老小量与，扶头起，令得下喉，须臾未醒，更与三枚，腹中鸣转，得吐利便愈。若口已噤，可先和成汁，倾口中令从齿间得入，极良。　四时纂要右件大黄、乾姜捣罗为散，和巴豆膏研至匀，炼蜜为丸，更捣三千杵。若中恶客忤，心腹胀满刺痛，气急口噤，停尸死者，以暖水或酒服如大豆许大三四枚，棒头起，令得下即愈。若口噤，定研丸成汁，乃倾口中令从齿间入至腹，良验。忌芦笋、猪肉、冷水。　局方右为末，炼蜜丸，如梧桐子大，每服三丸，温水下，不拘时。

① 风：备急千金要方此下有“服”字。
② 下：备急千金要方此下有“虫”字。
③ 更：备急千金要方此下有“服”字。
④ 发：备急千金要方此下有“服”字。
⑤ 痞：备急千金要方此下有“服”字。

大理气丸：　治万病方。

牛膝　甘草　人参　茯苓　远志　恒山　苦参　丹参　沙参　龙胆　龙骨　牡蒙　半夏　杏仁　紫苑　芍药　天雄　附子　葛根　橘皮　巴豆　狼牙各二两　大黄　牡蛎　白术各三两　生姜末，五两　白薇六两①　玄参七②分　藜芦大者一枚

右二十九味，先捣筛二十七味令熟，次捣巴豆、杏仁如膏，然后和使相得，加白蜜更捣五千余杵，丸如梧子大，空腹酒服七丸，日三。疝瘕癥结，五十日服，永瘥。吾常用理气，大觉有效。

大麝香丸：　治鬼疰飞尸，万病方。

麝香三分　礬石八分　牛黄　附子　鬼臼　真珠　莽草　犀角　矾石　细辛　桂心　獭肝　藜芦各二分　雄黄一两　丹砂二两　蜈蚣　蜥蜴各一枚　巴豆　杏仁各五十枚　芫青　地胆外台作蝮蛇胆　亭长　斑猫各七枚

右二十三味为末，蜜和合，更捣三千杵，丸如小豆大，饮服一丸，日再，渐加至三丸，虫毒所螫摩之，以知为度。若欲入毒疫疠乡，死丧病处，及恶鬼冢墓，盛绛袋中，男左女右，肘后系之，又以少许傅鼻下人中，及卧不魇。

小麝香丸：　治同前。

麝香③　莽草　犀角　栀子仁三分④　雄黄　当归外台不用　丹砂各四分　乾姜　桂心　芍药　细辛各五分　附子　乌头各五枚　蜈蚣一枚　巴豆五十枚

右十五味为末，蜜和合捣千杵，丸如小豆大，服三丸，日三，可加至五丸，一切尸疰痛悉皆主之。

紫葛丸：　治诸热不调方。

紫葛　石膏　人参　丹参　紫参　苦参　玄参　细辛　齐盐　代赭　苁蓉　巴豆　乌头各三分　乾姜　桂心　独活各五分

右十六味为末，蜜和，更捣万余杵，丸如小豆，服六丸，食前三丸，食后三丸。忌五辛猪鸡鱼蒜，余不再禁限。若觉体中大热，各减一丸服之。令人肥悦，好颜色，强阳道，能食。服药后十日，得利黄自⑤汁大佳。妇人食前食后，只服二丸。二岁以下小儿，服丸如米粒大。令人能饮酒，除百病。药之功能损益，备述如左：

腹中积聚，心腹满，心下坚，痰饮，宿食，食吐逆，上气，短气，咳嗽，咽喉鸣，黄疸，久疟，面肿，身浮肿，四肢烦重，坐起体重，热病，湿鼈，下部痒，体疮痒，关格不通，大肠出，热淋，下利，颜色不定，羸瘦无力，弱房少精，精冷，身体斑驳，从高坠下绝伤，堕胎后伤损血，皮肉焦烂，月水不定，或后或前，月水断，心下闷满，肩膊沉重，小儿百病，小儿癖气，乳不消，小儿身常壮热，腹内有病。所录诸病，皆紫葛丸治之。若积日服饵未愈，消息准方服之，取瘥止。药性冷，尤宜患热人服之。

太乙神精丹：　治客忤霍乱，腹痛胀满，尸疰恶风，癫狂鬼语，蛊毒妖魅，温疟，但是一切恶毒，无所不治方。

丹砂　曾青　雌黄　雄黄　磁石各四两　金牙二两半

右六味各捣，绢下筛，惟丹砂、雄黄、雌黄三味，以酸醋浸之，曾青用好酒于铜器中渍，纸密封讫，日中曝百日，经忧急五日亦得，无日，以火暖之，然后各研令如细粉，以酸酢拌，使乾湿得所，内土釜中，以六一泥固际，勿令泄气。乾后，安铁环施脚高一尺五寸置釜上，以渐放火，无问软硬炭等皆得。初放火，取熟两秤炭各长四寸，置釜上，待三分二分尽即益。如此三度，尽用熟火，然后用益生炭，其过三上，熟火已外，皆须加火渐多，及至一伏时，其火已欲近釜，即便满，就釜下益炭，经两度即罢，火尽极冷，然后出之。其药精飞化凝着釜上，五色者上，

① 两：备急千金要方作“分”。
② 七：备急千金要方作“十”。
③ 香：备急千金要方此下注有“三分”二字。
④ 三分：备急千金要方作“各二分”。
⑤ 自：备急千金要方作“白”。

三色者次，一色者下；虽无五色，但色光明皎洁如雪最佳。若飞上不尽，更令与火如前，以雄鸡翼扫取，或多或少不定，研和枣膏，丸如黍粒。一本云：丹砂、曾青、雄黄、雌黄各二斤，丹砂以大酢瓷器中渍，曾青美酒渍，纸密封闭，日暴一百日，雄黄、雌黄各油煎九日九夜，去油臘讫，更捣数千杵，皆勿研之，别以大酢拌令浥浥然，内药土釜中，以雄黄在下，次下雌黄，次曾青，次丹砂，以甘土泥涂，勿令余毫毛许，乾以刚炭火烧之九日九夜，去釜五寸，九日九夜至釜底，九日九夜侵釜腹三寸，三九二十七日，冷之一日一夜，以刀子于釜际利着一匝开之取丹。丹成讫，细研如粉，以枣膏和。一切丹不得用蜜，皆用枣膏，学者宜知。此术旧不用磁石、金牙，今加而用之。治偏风、大风、恶疾、癫痫、疬疠、鬼打等最良。服法：平旦空腹一丸如黍米为度。其疟病积久，百方不瘥，又加心腹胀满，上气，身面脚等并肿垂死者，服一丸，吐即瘥。亦有不吐瘥者，若不吐复不瘥者，更服一丸半；仍不瘥者，后日增半丸渐服，无有不瘥。气亦定，当吐出青黄白物。其因疟两胁下有癖块者，亦当消除。若心腹不胀满者，可与一丸，日日加之，以知为度，不必专须吐，亦可一丸即瘥，勿并与服，亦可三日一服，皆须以意斟酌量得其宜。或腹内有水，便即下者，勿怪。若患疟日近，精神健，亦可斟酌病人药性，并与两丸作一丸，顿服之，皆至午后食，勿使冷，勿使热，豉浆粥任意食之。若病疟盗汗虚弱者，日服一丸，至三日吐即止。若患疟不汗，气复不流，脚冷者，服一丸，至三日若不汗，气复脚即暖，有润汗，不至三日吐即止。若患疟无颜色者，服药后三日即有颜色。亦有须吐差者，亦有服少许而差者，亦有杀药强人服三四丸，始觉药行者，凡人禀性不同，不可一概与之，但作黍米大服之为始，渐加以知为度。药力验壮，勿并多服，特慎油面鱼肉蒜，当清净服之。若有患久不瘥在床，羸瘦，并腹胀满及肿，或下痢者多死，但与药救之，十人中或瘥三四人也。又一说，癥瘕积聚，服一刀圭，以饮浆水送下。治诸卒死，中恶客忤，霍乱腹满，体带五尸疰，恶风疰忤，大病相易，死亡灭门，狂癫鬼语，已死气绝，心上微暖者，扶起其头，以物校开口，不可开，琢去两齿，以浆饮送药，药下即活。诸久病者，日服一刀圭，覆令汗，汗出即愈。不愈者，不过再服。亦自[1]不汗而瘥。复有不汗不愈者，服如上法加半刀圭，以瘥为度。常以绛囊带九刀圭散，男左女右。小儿系头上，辟瘴毒恶时气射公。小儿患，可以苦酒和之，涂方寸纸上，著儿心腹上，令药在上治之。亦有已死者，冬二日夏一日，与此药服，得药下便活，若不得入腹不活。若加金牙、磁石者，服至五服内，必令人吐逆下利，过此即自定。其药如小豆大为始，从此渐小，不得更大，大风恶癞可二十服，偏风疬疠，诸恶风癞病等，亦可二十服，自余诸恶病者，皆止一二服，量人轻重强弱，不得多与。若欲解杀药，但烂煮食肥猪肉。服此药后，小应头痛身热，一二日来，大不能得食味，后自渐得气味，五日后便能食。若贪食过多者，宜节之。若服药下闷乱，可煮木防己汤服之，即定。凡言刀圭者，以六粟为一刀圭。一说云三小豆为一刀圭。

作土釜法：

其法取两个瓦盆，各受二大斗许，以甘土涂其内，令极乾。又一法：作一瓦釜，作一热[2]铁釜，各受九升，瓦在上，铁在下，其状大小，随药多少，不必依此说。一本云：捣好甘土，绢筛，水和作泥，硬软如坯瓦泥，泥一升内细纸捣[3]，可受十斤，亦可随药多少作之，阴乾三十日，置日中曝亦三十日，日夕翻转，向日乾讫，以糠五石内釜糠中，

① 自：备急千金要方作“有”。
② 热：备急千金要方作“熟”。
③ 捣：备急千金要方作“均停”。

四向土栏拥之，令糠遍釜周回上下各厚七寸，以火从下放五日五夜，勿令人近之，士友[①]待冷，一日一夜乃取，扫拭令净，以黄丹、醋和如稀粥，扫其中，令厚一分，乃内药。凡合九丹八石，招魂太清神仙，诸大丹皆用此釜作之，万成终不落节，其古釜六一泥及铁釜皆除去之，勿更用也。此釜一具前后数十回用不动，久久转[②]。此法师甚秘之，余欲令当来天下学士得解之，所以委曲具述之也。

作六一泥法：

赤石脂　牡蛎　滑石　礬石　黄矾　卤土　蚯蚓屎各二两

右取酸酢，以足为度。若无卤土，以盐代之。先作甘土泥，以泥各别裹前黄矾等五种作团，裹之勿令泄气，以火烧周，三日最好，一日亦得，出火破团，取药各捣碎，绢筛，然后与蚯蚓屎、卤土等分，以酢和之如稠粥即得。好酢可用二分酢、一分水和用，取前瓦盆，以此泥涂之。曾青如蚯蚓屎、如黄连佳，世少此者；好昆仑碌亦得瘥病，丹砂亦尠，粟砂亦得。旧不用磁石、金牙，今加之。用治万种恶风神良。凡有患连年积岁不可治者，宜须合此一篇，皆以王相日，天晴明，斋戒沐浴，如法合之。述曰：古之仙者以此救俗，特为至秘。余以大业年中数以合和，而苦雄黄、曾青难[③]，后于蜀中遇雄黄大贱，又于飞乌玄武大获曾青，蜀人不识，今须识者，随其大小，但作蚯蚓屎者即是，如此千金可求。遂于蜀县魏家合成一釜，以之治病，神验不可论。宿癥[④]风气百日服者，皆得痊愈，故叙而述焉。凡雄黄皆以油煎九日九夜，乃可入丹，不尔有毒，慎勿生用，丹必热毒不堪服，宜慎之。

仓公散：　治卒鬼击、鬼痱、鬼刺，心腹痛如刺，下血便，死不知人，及卧魇啮脚踵不觉者，诸恶毒气病方。此是汉文帝时太仓令淳于意方、故名。

特生礬石　皂荚　雄黄　藜芦各等分

右四味，治下筛，取如大豆许，内管中，吹入病人鼻，得嚏则气通便活；若未嚏，复更吹之，以得嚏为度。此药起死回生。

小金牙散：　治南方瘴疠疫气，脚弱风邪鬼疰方。

金牙五分　雄黄　蕈薪　黄芩　蜀椒　由跋　桂心　莽草　天雄　朱砂　麝香　乌头各二分　牛黄一分　蜈蚣一枚，六寸者　细辛　萎蕤　犀角　乾姜各三分　黄连四分

右十九味，治下筛，合牛黄、麝香，捣三千杵，温酒服钱五匕，日三夜二，以知为度。绛囊盛带男左女右一方寸匕，省病问孝不避，夜行涂人中，晨昏雾露亦涂之。

大金牙散：　治一切蛊毒百疰不祥，医所不治方。

金牙　鹳骨　石膏各八分　班猫七分　活草子　胡燕矢　白术　雷丸　龙牙各六分　铜镜鼻　栀子仁　乾漆　龟甲　鳖甲　鬼督邮桃白皮　大黄各四分　桂心　芍药　徐长卿　羚羊角　射干　升麻　鸢尾　马目毒公　蜂房　细辛　乾姜　芒消　由跋　犀角　甘草　狼毒　蜣螂　龙胆　狼牙　雄黄　真珠各三分　芫花　莽草　射罔　乌梅各一分　蛇蜕皮一尺　铁精　赤小豆一合[⑤]　地胆　樗鸡　芫菁各七枚　桃奴　巴豆各二七枚

右五十味，治下筛，服一刀圭，稍加至二刀圭。带之辟百邪，治九十九种疰。一本有麝香，无白术。

① 士友：备急千金要方作“去灰”。
② 转：备急千金要方此下有“牢”字。
③ 难：备急千金要方此下有“得”字。
④ 癥：备急千金要方作“癖”。
⑤ 一合：备急千金要方作“各二合”。

千金月令

紫雪：　主百疾风热，温疟疫，五疰惊痫等方。

金一两　寒水石　石膏　磁石　滑石已上各三斤

右以水一石，煎取四斗，去金切，内汁中煎取一斗五升，去滓，内消石四升，朴消四升，微火煎，冷欲凝，内朱砂三两，麝香五分，并细研之，待三日成雪。

绛雪：　主风邪毒热，积聚结气等方。

朴消十斤，炼　升麻三两　大青　桑白皮各二两　槐花末二两　生犀角一两　竹叶两把　苏方六两　诃梨勒三十枚　槟榔二十枚，末　朱砂二分，研　麝香二分，研

右切，以水二大斗，浸药经宿，煎取一斗，去滓，即下朴消和煎，以杓洋，不得住手，候水脉尽，即下朱砂、槟榔末等，和搅，于新瓦盆盛，候冷硬揭开，瓷甑贮之。

神明膏：　主一切疾风赤痒，耳聋疮瘤等方。

蜀椒三升　吴茱萸一升　前胡　芎藭　白芷　白术各一两　当归　细辛各二两　附子三十枚

右以三年大酢渍一宿，以猪肪脂十斤，煎之三上三下，候白芷黄色成，一服如弹丸一枚，诸风皆摩，肿毒诸疮只涂，勿令入耳目。

圣惠方

治宿滞冷气，及止泻痢，硫黄茶方：

硫黄三钱，细研　紫笋茶三钱，末　诃梨勒皮三钱

右件药，相和令匀，以水依常法煎茶，稍热服之。

四时纂要

木瓜饼子：　治冷气，霍乱痰逆方。

青木香　甘草炙　白槟榔　诃梨勒　人参　陈橘皮　芎　吴茱萸　高良姜　当归　益智子　草豆蔻　桂心已上各半两，细杵为末　桑白皮一两　白术二两　生姜二两　大腹五介。四味别捣

右先以四味，用水三升，并煎药，筛不尽粗滓末同入煎之，煎至二升许，去滓，入净盐一升，又煎似药盐令乾，先以好土木瓜十颗，去皮核烂蒸，入砂盆内细研，入药盐及前药末同研，取匀细，曝乾，脱作饼子，火焙乾，忽遇霍乱，咬一片子吃便定。远近出入将行，随身用，防急疾，成是酒筵下出香美，而且风流。

红雪：

朴消十斤，马牙者尤佳，并须精炼　升麻　大青　桑根白皮　槐花各二两　犀角一两，屑　淡竹叶一握　苏木三两，槌碎，别研　诃梨勒三十介　槟榔二十介　朱砂一两，先细研，药成乃下

右件升麻等七味锉，以水二斗浸一宿，煎取一大斗，绞去滓，去淀，即下朴消于药汁中煎，以杓扬，不得停手，候无水即下苏木汁、朱砂，搅和，致于盆中冷硬收成。疗一切病冷，以水调下之，产后病以酒调服之，以汤投之。忌热肉面蒜等。

和剂局方

青解毒丸：　治大人小儿，五藏积热，毒气上攻，胸膈烦闷，咽喉肿痛，赤眼痈肿，头面发热，唇口乾燥，两颊生疮，精神恍惚，心忪闷乱，坐卧不宁，及伤暑毒，面赤身热，心躁烦渴，饮食不下。

寒水石　石膏各研十六两　青黛八两

右件细研如粉，入青黛和匀，蒸饼七个，水调为丸，如鸡头大，每服一丸，食后，新汲水化下，或细嚼，生姜水下亦得。如中诸毒，并宜服。及小儿惊风潮热，痰涎壅塞，心胸烦躁，颊赤多渴，睡卧不稳，每三岁儿可服半粒，更量岁数加减与之。

寸金丸：　治元阳虚弱，寒气攻冲，膀胱小肠发肿作痛，或在心胁，牵连小腹，连属阴间，致身体憎寒撮痛。

楮实子一两半　川楝子炒，一两半　全蝎炒，四十介　当归去芦，酒浸一宿，一两半　巴豆七个，炒熟，去皮，研

右为细末，用浸当归酒打面糊为丸，如鸡头实大，空心温酒盐汤吞下二丸至三丸，并进二服。

大全本草

经效方，青城山丈人观主康道丰传。治百病。百病煅制云母粉法：云母一斤，折开揉碎，入一大瓶内筑实，上浇水银一两封固，以十斤顶火煅通赤，取出，却拌香葱紫引翘草，二件合捣如泥，后以夹绢袋盛，于大水盆内摇取粉，余滓末尽，再添草药重捣，如前法取粉，沉水乾，以小木盘一面，于灰上印一浅坑，铺纸倾粉在内，直候乾，移入火焙焙之，取出细研，以面糊丸，如梧桐子大，遇有病者服之，无不效。知成都府辛谏议曾患大风，众医不效，遇此道士，进得此方，服之有神验。

抱朴子饵雄黄之法，或以蒸煮，或以酒服，或以消石化为水乃凝之，或以猪胴裹，蒸之于赤土下，或以松脂和之，或以三物炼之，引之如布，白如冰，服之皆令人长生，百病除，三尸下，瘢痕灭，白发黑，堕齿生，千日玉女来侍，可使鬼神。又云：玉女常以黄玉为志，大如黍米在鼻上，是真玉女，无此志者，鬼试人也。带雄黄入山林，即不畏蛇。若蛇中人，以少许末傅之，登时愈。蛇虽多种，惟蝮蛇及青金蛇中人为至急，不治一日即死，人不晓。治之方术者，为二蛇中人，即以刀急割疮肉投地，其肉沸如火炙，须臾尽焦，而人得活也。此蛇七月、八月毒盛之时，不得啮人，其毒不泄，乃以牙刺大竹木，即亦焦枯。

日华子云：古鉴辟一切邪魅，女人鬼交，飞尸蛊毒，小儿惊痫，百虫入人耳鼻中，将就彼敲，其虫即出。又催生，及治暴心痛，并烧酒淬服之。

泉水主消渴、反胃、热痢、热淋、小便赤涩，兼洗漆疮，射痈肿令散，久服却温调中下热气，利小便，并多饮之。

蛇黄主心痛、疰忤、石淋、产难、小儿惊痫，以水煮研服之。

经验后方治大人小儿不进乳食，和气去痰，人参四两，半夏一两，生姜汁熬一宿，曝乾为末，面糊丸，如绿豆大，每服十丸，食后，生姜汤吞下。

外台秘要救急瘦疾，甘草三两炙，每旦，以小便煮三四沸，顿服之良。

张仲景治杂病，心下有支饮，苦冒，泽泻汤主之。泽泻五两，术二两，水二升，煎

取半[1]升，分温再服。治伤寒亦有大小泽泻汤、五苓散辈，皆用泽泻行利停水，为最要。深师治支饮亦同，用泽泻、术，但煮法小别。先以水二升煮二物，取一升，又以水一升煮滓，取五合，合此二汁，分为再服。病甚欲眩者，服之必差。仙方亦单服泽泻一物，捣筛取末，水调，日分服六两，百日体轻，久而健行也。

陈藏器云：土鼓藤主风血羸老，腹内诸冷，血闭，强腰脚变白，煮服，浸酒服。

蟾蜍兰主破血生肌，止渴利小便，杀三虫，除诸毒肿、丁疮、瘘痔、金疮、内射，身痒癞疹不止者，揩之立已。

药性论云：食前吞牛蒡子三枚，熟掇下，散诸结节筋骨烦热毒。

青黛主解诸药毒，小儿诸热，惊痫发热，天行头痛寒热，并水研服，亦摩傅热疮恶肿、金疮下血、蛇犬等毒。

图经曰：莎草根疗丈夫心脚中虚风及客热，膀胱间连胁下时有气妨，皮肤瘙痒癞疹，饮食不多，日渐瘦损，常有忧愁，心忪少气等。并春收苗及花，阴乾，入冬采根，切，贮于风凉处，有患前病者，取苗二十余斤，锉，以水二石五斗，煮取一石五斗，于浴斛中浸身，令汗出，五六度浸兼浴，其肺中风皮肤痒即止。每载四时常用，则癞疹风永差。其心中客热，膀胱间连胁下气妨，常日忧愁不乐，兼心忪者，取根二大斤，切，熬令香，以生绢袋盛贮，于三大斗无灰清酒中浸之，春三月浸一日即堪服，冬十月后即七日，近暖处乃佳，每空腹服一盏，日夜三四服之，常令酒气相续，以知为度。若不饮酒，即取根十两，加桂心五两，芜荑三两，和捣为散，以蜜和丸，捣一千杵，丸如梧子大，每空腹以酒及姜蜜汤饮汁等下二十丸，日再服，渐加至三十丸，以差为度。

别录云：垣衣主暴风、口噤、金疮，酒溃[2]服之效。

乾苔主痔杀虫，及霍乱呕吐不止，煮汁服之。

崔氏海上集治丈夫妇人，中风不语，手足不随，口眼㖞邪，筋骨节风，胎风头风，暗风心风，风狂人；伤寒头痛，鼻清涕，服经二度，伤寒即止；头旋目眩，白癜风；极治大风，皮肤风痒，大毒热毒，风疮；深治劳疾，连腰骨节风，绕腕风，言语涩滞，痰积，宣通五脏，腹内宿滞，心头痰水，膀胱宿脓，口中涎水，好吃茶滓；手足顽痹，冷热气塞[3]，腰膝疼痛，久立不得；浮气瘴气，憎寒壮热，头痛尤甚，攻耳成脓而聋，又冲眼赤，人[4]小肠秘，服此立通，饮食即住；黄疸黑疸，面无颜色，瘰疬遍项；产后秘涩，腎腰痛，月[5]经损坠心痛，注气隔气，冷气攻冲，肾藏风壅，腹肚胀满，头面浮肿注毒，脾肺气痰热，咳嗽气急，坐卧不安，疥癣等疮；妇人月水不来，动经多日，血气冲心，阴汗盗汗，鸦臭秽甚，气息不堪，勤服威灵仙，更用热渴[6]，尽日频洗，朝涂，苦[7]唾苦[8]治鸦臭，药自涂身上，内外涂之，当得平愈；孩子无辜，令母含药灌之；痔疾秘涩，气痢绞结，并皆治之。威灵仙一味，洗焙为末，好酒和令微湿，入竹筒内，牢塞口，九蒸九曝，如乾，添酒、重酒之，以白饭[9]和丸，如桐子大，每服二十至三十丸，汤酒下。

日华子云：生芭蕉根治天行热狂，烦闷消渴，患痈毒，并金石发，热闷口乾人，并绞汁服。

日华子云：续随子宣一切宿滞，治肺气水气，傅一切恶疮疥癣。单方日服十粒，泻

① 半：金匮作“一”。

② 溃：大观本草卷九草部垣衣条引别录作“溃”。

③ 塞：大观本草卷十一草部威灵仙条作“壅”。

④ 人：大观本草卷十一草部威灵仙条作“大”。

⑤ 月：大观本草卷十一草部威灵仙条同。肘后备急方引崔氏海上方作“曾”。

⑥ 渴：大观本草卷十一草部威灵仙条作“汤”。

⑦ 苦：大观本草卷十一草部威灵仙条同。肘后备急方引崔氏海上方作“若”。

⑧ 苦：大观本草卷十一草部威灵仙条同。肘后备急方引崔氏海上方作“若”。

⑨ 饭：肘后备急方引崔氏海上方作“蜜”。

多，以酸浆水并薄醋粥吃即止。一名菩萨豆。千两金、叶汁傅白癜面好。

独行根主鬼疰积聚，诸毒热肿蛇毒，水摩为泥封之，日三四，立差。水煮一二两，取汁服，吐蛊毒。

日华子云：盍合子治一切风，补五劳七伤，其功不可备述，并治痃癖气块，天行温疾，消宿食，止烦闷，利小便，催生，解毒药中恶，失音发落。傅一切蛇虫蚕咬，双人者可带。单方服治一切病，每日取仁二七粒，患者服不过三千粒，永差。

经验后方治大人小儿吃杂果子，多腹胀气急方：

取肉桂碾末，饭丸如绿豆大，小儿热水下三五，大人下十丸，未痊再服。

海药是海松木中津液，初若桃胶，后乃凝结，温。主止血生肌，镇心明目，破癥瘕气块，产后血晕闷绝，儿枕痛等，并宜饵此方。

琥珀一两　鳖甲一两　京三棱半[1]两　延胡索半两　没药半两　大黄六铢

熬捣为散，空心酒服三钱匕，日再服，校量神验莫及。产后即减大黄。

食疗[2]□榆仁可作酱食之，亦甚香美，有少辛味，能助肺气，杀诸虫，下气，令人能食。又心腹间恶气内消之，尘者尤良。

外台秘要有人虚肥，积年气上如水病，面肿脚不肿，谷楮叶八两，以水一斗，煮取六升，去滓，内米煮粥吃。

外台秘要治服诸药石后，或热噤，多向冷地卧，又不得食诸热面酒等方：

五加皮二两，以水四升，煮取二升半，候石发之时便服，未定更服。

图经曰：取牡荆茎条截，于火上烧之，两头以器承取沥汁饮之，主心闷烦热，头风旋，目眩，心中懊憹欲吐，卒失音，小儿心热惊痫，止消渴，除痰，令人不睡。

海药沉香主心腹痛，霍乱，中恶邪鬼注，清人神，并宜酒煮服之。

紫珠解诸毒物，痈疽喉痹，飞尸蛊毒，毒肿下痿，蛇虺虫螫，狂犬毒，并煮汁服，亦煮汁洗疮肿，除血长肤。

牛领藤主腹内冷，腰膝疼弱，小便白数，阳道乏，煮汁浸酒服之。

药性论椒叶治贲豚、伏梁气，内外肾钓，并霍乱转筋，和艾及葱研，以醋汤伴下并得。

胜金方治好食生茶，用椒末不限多少，以糊丸如梧子大，茶下十丸。

日华子云：小便凉，止劳渴嗽，润心肺。疗血闷热狂，扑损瘀血运绝，及困乏，揩洒皮肤治皲裂，能润泽人。蛇犬等咬，以热尿淋患处。

日华子云：鸡子镇心，安五藏，止惊安胎。治怀妊，天行热疾狂走，男子阴囊湿痒，及开体喉卵[3]；醋煮治久痢；和光粉炒乾，止小儿疳痢，及妇人阴疮；和豆淋酒服，治贼风麻痹；醋浸令壤[4]，傅疣赘；作酒止产后血运，主暖水藏，缩小便，止耳鸣；和蜡炒治疳痢，耳鸣及耳聋；黄炒取油和粉，傅头疮；壳研摩障翳。

食疗雀卵白和天雄末、菟丝子末为丸，空心酒下五丸，主男子阴痿不起，女子带下，便溺不利，除疝瘕，决痈肿，续五藏气。

集验方治缠喉风及喉痹，牙宣牙痛，口疮，并小儿赤马疳，蚕退纸不计多少，烧成灰，有性。右炼蜜和丸，如鸡头大，含化咽津。牙宣牙痛揩断上，疮口乾傅患处。小儿走马疳，入麝香少许，贴患处佳。

日华子云：藕[5]止霍乱，开胃消食，除烦止闷，口乾渴疾，止怒令人喜，破产后血闷，生研服亦不妨。捣署金疮并伤折，止暴痛；蒸煮食大开胃，节冷解热毒，消瘀血；产后血闷，合地黄生研汁，热酒并小便服并

---

① 半：大观本草卷十二木部琥珀条作“一”。

② 疗：此下脱字，大观本草卷十二木部榆皮条作“又”。

③ 体喉卵：大观本草同。本草纲目卷四十八禽部鸡条作“声喉失音”。

④ 壤：大观本草卷十九禽部鸡条作“坏”。

⑤ 藕：大观本草卷二十三果部藕实条此下有“温”字。

得。

外台秘要酒渍桃花饮之，除百病，好容色。又桃仁服之长生。

白油麻治虚劳，滑肠胃，行风气，通血脉，去头浮风，润肌，食后生啖一合，终身不辍；与乳母食，其孩子求[1]不病生。若客热，可作饮汁服之。停久者，发霍乱。

孙真人枕中记云：麻油一升，薤白三斤切，内油中，微火煎之，令薤黑去滓，合酒服之半升三合，百脉血气充盛。服金石人，先宜服此方。

陈藏器本草云：麻子下气利小便，去风痹皮顽，炒令香，捣碎，小便浸，取汁服。

日华子云：蒜建脾治肾气，止霍乱转筋腹痛，除邪辟温，去蛊毒，疗劳疟，冷风疳癖，温疫气传，风拍冷痛，蛇虫伤，恶疮疥，溪毒沙虱，并捣贴之，熟醋浸之，经年者良。

后魏李道为褚澄视之曰：公有重病。答曰：旧有冷疾，今五年矣。澄许之曰：非冷非热，当是食白瀹鸡子过多。令取蒜一头煮之，服药乃吐一物如升，涎唾裹之，开看乃鸡雏，翅羽爪头具全。澄曰：未尽。更服药，再吐出二头。又华佗行道，见车载一人，病咽塞食不下，呻吟。佗曰：饼店家蒜薤大酢三升饮之，当自痊。果吐大蛇一枚而愈。

皂荚其子炒，舂去赤皮仁，将骨浸软，煮熟，以糖渍之，可食，甚疏导五脏风热壅。其荚不蚌肥者，微炙为末一两，入生白矾末半两，腻粉半两，风涎潮塞，气不通，水调灌一二钱，但过咽则须吐涎。凡用白矾者，分隔下涎也。又暑中湿热，时或久雨，合苍术烧，辟温疫邪湿气。

琐碎录

方术治病

治脚麻法：

如患左足，以草贴左目上睑，右亦如之，立止。又云：以纸贴鼻尖。

治蹉气，肋骨牵痛，正坐，随患一边，以足加膝上，立愈。

咒术治病

咒枣治百病，咒曰：华表柱，念七遍，望天罡取气一口，吹于枣上，嚼吃，汤水任下。华表柱，鬼之祖名也。

辟百邪恶鬼，令人不病疫，常以鸡鸣时，存心念四海神名三七遍，曰：东海神阿明，南海神阿融，西海神巨乘，北海神禺强。每入病人室存心念三遍，口勿诵。

咒脚麻法：口称木瓜云，还我木瓜钱。急急如律令，一气念七遍即止。

一切疾患疼痛，咒枣法：金木水火土，五行助力，六甲同威，天罡大神，收入枣心，枣入肠中，六府安宁，万病俱息，急速求荣。用枣子一个，念咒一遍，吸罡气一口，入枣中，男去尖，女去蒂，用水嚼下，忌厌物七日。

攘远行所在邪魅九龙符，○符样至宿泊所在，望空划之，则厌诸邪魅，精怪不敢动。

攘病人邪祟法：青皮一尺二寸，剪作七片，每一片书病人乡里姓名岁数，并所生年月日时，捍作烛心七条，放病人床下烧，祟即去。

辟寒法：

七月十五日收赤浮萍，用筲箕盛，放桶盛水，晒乾为末，遇冬雪寒水调三钱服，又用汉椒末拌浮萍擦身上，则热不畏寒。诗云：不傍江津不傍岸，用时须用七月半，冷水里面下三钱，饶假铁人也出汗。

杂法

除邪辟恶，麝香一剂，安于枕内，合枕

① 求：大观本草卷二十四谷部油麻条作“永”。

睡。

风土杂记

荆楚间，岁旦绘二神，贴户左右，左神荼，右郁垒，以辟不祥之鬼。

又曝竹于庭，以惊邪祟，今人多效之。

简易方

本事方清心丸：　治经络热梦漏，心忪恍惚，膈热。

好黄柏皮一两

右末，用生脑子一钱同研，炼蜜丸，梧子大，每服十丸至十五丸，浓煎麦门冬汤下。大智禅师方。梦遗不可全作虚冷，亦有经络热而得之者。

叶氏方清心丸：　治心有邪热，精神恍惚，狂言呼叫，眠睡不宁。

人参　蝎梢　郁金　生地黄　天麻　天南星为末，用黄牛胆一介，入天南星末令满，挂当风处吹乾，腊月造，如要用，临时旋取

右各等分为末，汤浸蒸饼和丸，如梧子大，每服二十五丸，人参汤下，不拘时，日三服。小儿量大小加减与服。

十便方温中丸：　脾咳恶寒，口中如含霜雪，中脘阴阴冷痛。

白术二两　乾姜　半夏各一两　细辛　胡椒各半两

右细末，炼蜜丸，如梧子大，食前，任下三十丸。

修月鲁般经后录

满店香：

丁香七钱半　藿叶　零零　甘松各一两半　白芷梢　香附　当归　桂　益智　槟榔　白蔻一两　麝一钱半

右为末，炼蜜为丸，如桐子大，噙化三五丸，身口香。遇酒，用此药亦香。

此药开运元年，因王经界丹任广东安抚，忽染岚气，肚腹胀满，无药可医，遍榜召医，有一道人揭榜云：能医此疾。遂与一贴。服后取下虫一条，如蛇之形，长三尺余，留下方曰：此实济世之宝。言讫，腾空而去，瘴气遂消，平复如故。自此流传于世，以济人世。神仙曰：为人爽口味多终作疾，快性事过又为烛。夫人受病，皆因饮食生冷过多，伤脾不能克化，或不知忌食物，相反有因酒色过度，喜怒忧思无常，血气凝伤脏腑，变生虫积诸疾，致使胸腹绞痛，痞满咽酸，呕吐清水，面黄肌瘦，饮食渐成，得病初来未觉，日久遂成大患。此药能治五劳七伤，山岚瘴气，心腹疼痛，传尸劳瘵，风壅积热，冷热咳嗽，风痰气盛，鼾齁，翻胃吐食，拱生下蛊，十隔五噎，脏痞积，诸虫诸疸，诸风诸气，食积、酒积、茶积，肠风痔漏，大风疥癞，小肠五疝气块，气块痃癖瘕聚，十种水气，宿食不消，泻利，疟疾，久年伤损，腹胁瘀血刺痛，女经不调，赤白带下，血气蛊肿，鬼气鬼胎，血崩等疾。小儿癫痫，五疳八痢，误吞铜钱，并宜服之。五更时候服，天明取下诸虫积，或烂鱼冻怪异之类，或作五色种见，却用马桶登溷，看之，有积除积，有虫取虫，有气消气，有块消块。若病根既去，其病自除，病源浅深，一贴见效。若病深宜再服一贴。此药平良解毒，治一百二十般病证，随证用药，汤火不动分毫元阳正气，亦无纤损脏腑，四时宜服，永无赤眼口疮，咽喉恶疮之患。伤寒表证，孕妇休服。相遇仙方，能医百病，其效速如神妙，应验不虚，论功无穷，不可尽述矣。

神仙妙药：　此药用温茶一碗，五更时候面东，随意几口，缓吞大丸，后吞红丸。如恶心嚼乾茶止逆。若体实者，先饮糖沙调新水一盏，弱者不用；小儿糖水伴化。茶吞服后，不可洗面手，饮食赤足温阴。如未通，再饮温茶催发，用马桶登溷，要去十次，然后用姜枣煎汤调服补药，却食匀粥。如未旬及取劳瘵寸白虫，用鸡治净，麻油作料，炒令病人闻香至熟，莫与食。服丸子，忌厌秽，孕妇见药，勿食生冷煎炙，诸般毒物戒之，久庶不复感。

槟榔一斤　莪术一斤

右各火煨切碎，醋煮乾，不犯铜铁器，为末，后用牵牛一斤，为末，又用藿香一斤，皂角一斤，用水四镟，煎至七分，去渣，将药水为丸，如桐子大，每服四五钱，虚实加减。

川楝肉五钱　木香五钱　丁香五钱

右为末，稀糊丸如绿豆大，黄丹为衣，每岁一丸。

走马赴筵丹：

蝉酥　乾烟旨　雄黄各一钱　巴豆三介　朱砂一钱　丹少许

酥为丸，如黄米大，或七丸，或九丸，葱白汤下。忌冷水等物二七。

宽中丸：　但是肚内痞闷。

香附四两　陈皮　青皮　枳壳　枳实　三棱　莪术各二两　神曲　麦蘖　糖球子各一两　牵牛头末十二两

滴水为丸，每服五六十丸，白汤吞下，食远服，能去风热。

猪肚①：

白术　牡蛎火煅。各四两　苦参三两

右为末，以猹猪肚一个，煮烂取汁为丸，如桐子大，每服三十丸或四十丸，不拘时候，日进三服。

猪胆十个或七八个，铁杓内炒乾枯，研碎，用黄连、黄丹、大黄、枯凡不以多少，为末，人言少许，轻粉十贴，真香油调搽疮上，神效。

降气汤：

白芷　苍术　甘草　香附

右各等分为末，热水调服，米饮亦可。多年劳证瘦如鲠，百部贝母款冬花，杏子去皮甘草炒，桔梗麻黄等无差，炼蜜为丸榛子大，痰证咳嗽侣神拿(抓)。

走马疳，用甘锅一个，明汞凡在内煅红，酒洒，在煅数遍，凡红为度，为末，麝少许，搽患处。

上清丸：

薄荷一斤　缩砂四两　防风一两　桔梗一两　黄芩一两　甘草二两

右为细末，炼蜜为丸，每两分作十五丸，茶清嚼下，或噙化亦得。

化气丸：

乾漆三两，半生半炒　蓬术醋煮炒　三棱醋煮炒　陈皮　艾叶　半夏　香附　砂仁　白草霜　枯凡　青凡炒。各一两　针砂醋浸，四两　木香□两　枣四两，蒸，去皮核

枣为膏，醋打糊为丸，如桐子大，每服二十丸，米饮下，无时。

龝马丹：　筋骨药。

乳香三钱　没药五钱　沉香一两　木香一两　人参　白豆蔻　赤芍药各五钱　防风　虎骨　当归各一两　全蝎　胡瓜子各五钱　自然铜一两　白芷五钱　两头尖二两　灵旨二钱　草乌半斤，炒如老米色

右为末，苏木煎汤打糊丸，如桐子大，每服十五丸，壮盛人二十丸，酒下。

草灵丹：　滋补下元，头白服之再黑。

川椒四两，净炒，去②□　白茯苓去皮，三两　川乌炮，去皮尖，一两　苍术二两，酒浸作饼，焙乾　粉草二两，去皮，炙黄　北茴香二两，盐炒，去盐

一方加破故纸二两，熟地黄二两。

右为末，酒糊丸，如桐子大，每服五十丸，食前，温酒送下，盐白汤亦可。

① 肚：按文义此下疑有“丸”字。

② 去：此下脱字，按文义应作“目”。

滋血百补丸：

熟地黄半斤　当归半斤　兔丝子半斤　黄柏一两　知母四两　杜仲四两　沉香一两

治一切疾块，或肚腹痛，此药消之。

沉香四钱　木香四钱　乳香四钱　血竭七钱　木鳖四钱　杏仁四两　桃仁四两　蜜四两　烧酒三斤

封口煮三沸，早一钟，晚一中。

小沉香丸：　□如胡□相似。

大黄锦文三钱，酒浸一宿　黄芩三钱，炒　黄连三钱，酒浸　侧柏三钱，去粗皮，酥蜜涂炙六七次，炒黄为度　栀子小者仁，三钱　知母五钱　沉香五钱　木香五钱　各不见火　地龙去土，净一两　土狗十六个，阴乾全用　百草霜一匙

右为末，烂蜜丸桐子大，每服五十丸，加至六十丸，食前，好酒下，乾物压之。

吐　剂

三圣散：

防风三两，去芦　瓜蒂三两，剥净碾破，以纸卷定，连纸锉细，去纸，用粗罗子罗过，另放末，将滓炒微黄，次入末，一处同炒黄用　藜芦去苗心，加减用之，或一两，或半两，或一分

右各为粗末，每服约半两，以薤汁三茶盏，先用二盏煎三五沸，去薤汁，次入一盏，煎至三沸，却将元二盏同一处熬二沸，去滓澄清，放温，徐徐服之，不必尽剂，以吐为度。

瓜蒂散：

瓜蒂七十五介　赤小豆七十五介　人参半两，去芦　甘草半两，或二钱半

右为细末，每服一钱，或半钱，或二钱，量虚实加减用之，空心，薤汁调下服之。

独圣散：

砒不以多少

右各为细末，每服一字，以新汲水调下，斡开牙关灌之，寻常勿用。

稀涎散①：

猪牙皂角不蛀者，去皮弦，秤一两，炙用之　碌凡二两　晋凡　藜芦半两

右为细末，每服半钱，或一二钱，斡开牙关，浆水调下灌之。

蔚金散：

蔚金②　滑石　川芎已上各半两

右为细末，每服一二钱，量虚实加减，以薤汁调下，空心服之。

茶调散：一名二仙散。

瓜蒂不以多少，好茶中停

右为细末，每服二钱，薤汁调下，空心用之。

独圣散：

瓜蒂不以多少

右为细末，每服一钱或二钱，薤汁调下服之。胁痛加全蝎，头痛加蔚金。

碧云散③方见小儿惊痫门。

常山散：

常山二两　甘草一④两半

右为细末，水煎服之，空心。

青黛散：

猪牙皂角一⑤个　玄胡索一个　青黛少许

右为细末，鼻内灌之，其涎自出。

汗　剂

防风通圣散⑥方见诸风门。

双解散：　通圣散与益元散相合中停，水一碗⑦，生姜、豆豉、葱白同煎。

① 稀涎散：儒门事亲本方中无“晋矾”。
② 金：儒门事亲此下注有“即郁金”三字。
③ 碧云散：方见本书卷二百五十八小儿惊痫四。
④ 一：儒门事亲作“二”。
⑤ 一：儒门事亲作“二”。
⑥ 防风通圣散：方见本书卷二十一诸风门九引宣明论。
⑦ 碗：儒门事亲作“钟”。

浮萍散① 方见诸风门。

升麻汤：

升麻去土　葛根　芍药　甘草炒。已上各一两

右为粗末，每服三钱，以水一盏半，煎至七分，去滓温服，不计时候。

麻黄汤：

麻黄一两，去节② 官桂七钱　甘草三钱半，炙　杏仁二十二个，去皮及尖，麸炒黄色用之

右为粗末，每服三钱，以水一中盏，煎至七分，去滓温服，汗出自解。

桂枝③汤：

桂枝一两　茯苓半两　芍药一两　甘草七钱

右为粗末，每服三钱，水一盏，生姜枣同煎，去滓温服。

下　剂

导水丸：

大黄二两　黄芩二两　滑石四两　黑牵牛四两，另取头末用

加甘遂一两，去湿热腰痛，泄水湿肿满，久雨④则加。

加白芥子一两，去遍身走注疼痛。

加朴消一两，退热散肿毒，止痛，久旱⑤宜加。

加郁李仁一两，散结滞，通关节，润肠胃，行滞气，通血脉。

加樟柳根一两，去腰腿沉重。

右为细末，滴水丸梧桐子大，每服五十丸，或加至百丸，临卧温水下。

禹功散：

黑牵牛头末四两　茴香一两，炒　或加木香一两

右为细末，以生姜自然汁调一二钱，临卧服。

通经散：

陈皮去白　当归各一两　甘遂以曲⑥包，不令透水，煮百余番⑦取出，用冷水浸过，去面焙乾，各一两用

右为细末，每服三钱，温淡酒⑧调下，临卧⑨。

神祐丸：

甘遂依前制用　大戟醋浸煮，焙乾用　芫花醋浸煮。各半两　黑牵⑩一两　大黄一两

右为细末，滴水丸小豆大，每服五七十丸、临卧温水下。

琥珀丸：

右将前神祐丸加琥珀一两是也。

益肾散：

甘遂依前制用

右为细末，每服三钱，以猬猪腰子细批破，以盐椒等物淹透烂切，掺药在内，以荷叶裹烧熟，温淡酒调服。

承气汤：

大黄半两　厚朴一两　枳实一枚，麸炒　芒硝半两

右为粗末，每服三五钱，水一盏，煎至七分，去滓服，以意加减。

小承气汤：

大黄　厚朴已上各一两　枳实一枚

右为粗末，同前煎服。

调胃承气汤：

大黄　甘草炙　朴硝已上各半两

右为粗末，每服五七钱，水一大盏，煎三五沸，去滓温服，食后。

桃仁承气汤：

桃仁去皮尖，一十二个　官桂　甘草　芒硝已上各半两

右锉如麻豆大，每服三五钱，水一大盏，煎至七分，去滓温服。

玉井散：

---

① 浮萍散：诸风门无此方。儒门事亲其组方为“浮萍一两　荆芥　川芎　甘草　麻黄去根　以上各一两　或加当归、芍药。右为粗末，每服一两，水二盏，煎至七分，去滓温服，汗出则愈”。

② 节：儒门事亲作“根”。

③ 枝：儒门事亲兼治于外者篇作“苓”。

④ 雨：儒门事亲作“病”。

⑤ 旱：儒门事亲作“毒”。

⑥ 曲：儒门事亲作“面”。

⑦ 番：儒门事亲作“沸”。

⑧ 淡酒：儒门事亲作“汤”。

⑨ 卧：儒门事亲此下有“服”字。

⑩ 牵：儒门事亲此下有“牛”字。

瓜蒌根二两　甘遂一两，制用

右为细末，以射香汤调下三钱，临卧[①]。

水煮桃红丸：

黑牵牛头末半两　瓜蒂末二钱　雄黄一钱，水飞过用之　乾烟脂[②]

右以黄水[③]调面为丸，以水煮，令浮熟取出，冷水拔过，射香汤下。

无忧散：

黄耆　木通　桑白皮　陈皮已上各一两　胡椒　白术　木香　各半两　牵牛头末四两

右为细末，每服三五钱，以生姜自然汁调下，食后。

泄水丸：又方，藏用丸一料，加芒硝半两，商陆半两，为末，水丸，依前服。

大戟　芫花　甘遂　海带　海藻　郁李仁　续随子已上各半两　樟柳根一两

右为细末，水煮枣肉为丸，如小豆大，每服五七十丸，水下。

牛黄通鬲丸：

黑牵牛　大黄　木通已上各半两，各另取末

右为细末，水丸，如黍粒大，量儿大小，三五十丸，或百丸，水下。

四生丸：一名润肠丸。

黑牵牛　大黄　朴硝　皂角去皮弦，蜜炙。已上各等分

右为细末，水丸，如梧桐子大，每服七八十丸，食后温水下。

内托散：

大黄　牡蛎已上各半两　甘草三钱　瓜蒌二介

右为末，水一大盏，煎三五沸，去滓，露冷服。

藏用丸：

大黄　黄芩已上各二两　滑石　黑牵牛各四两

右为末，水丸桐子大，每服五七十丸，食后温水下。

神芎丸：

藏用丸一料，内加黄连、薄荷、川芎各半两，水丸桐子大，水下。

进食丸：

牵牛一两　芭豆三介，去油心膜

右为末，水丸，每服三二十丸，食后，随所伤物送下。

牛黄白术丸[④]方见腰脚门。

玉烛散：

以四物汤、承气汤、朴硝各等分，水煎去滓，食前服。

三和汤：

以四物汤、凉鬲散、当归各中停，水煎服。

丁香化癖散[⑤]方见小儿门脾胃。

抵当汤：

水蛭十介　虻虫十介，去翅足，熬　大黄一两　桃仁七枚，去皮尖，搥碎

右锉如麻豆，作一服，水二盏，煎至七分，去滓温服。

抵当丸：

虻虫五个　桃仁六枚　大黄三分　水蛭五介

右为细末，只作一丸，水一大盏，煮一丸，至七分，顿服。

十枣汤：

紫芫花醋浸煮　大戟　甘遂制。已上各等分

右为末，每服半钱，水一盏，枣十枚，同煎，取半盏服。

除湿丹：

槟榔　甘遂　葳灵仙　赤芍药　泽泻　葶苈已上各二两　乳香别研　没药别研。已上各一两　黑牵末半两　大戟三两，炒　陈皮四两，去白

右为细末，面糊和丸，如桐子大，每服三五十丸，水下。

利鬲丸：

牵牛四两、生　槐角子一两，炒　木香一两　皂角去皮，酥炙　半夏洗。各二两　青皮一两

右为细末，生姜面糊为丸，桐子大，每服四五十丸，水下。

---

① 卧：儒门事亲此下有“服”字。

② 脂：儒门事亲此下注有“少许”二字。

③ 水：儒门事亲作“酒”。

④ 牛黄白术丸：方见本书卷九十五腰脚门二引易简方。

⑤ 丁香化癖散：方见本书卷二百四十四小儿门六脾胃二引儒门事亲。

三一承气汤：

大黄　芒硝　厚朴去皮　枳实已上各半两　甘草一两

右锉如麻豆大，每服半两，水一大盏，生姜三片，煎至六分，入硝，去滓，热服。

大陷胸汤：

大黄一两半　芒硝一两八钱半　甘遂末一字

右水一盏，煮大黄至八分，去滓，入硝一沸，下甘遂末，温服。

小陷胸汤：

半夏汤洗，一钱半　黄连一分　瓜蒌实一枚，用四分之一

右锉麻豆大，水二盏，先煮瓜蒌至一盏半，下诸药，取八分，去滓，温服，未利再服。

握宣丸：

槟榔　肉桂　乾姜　附子　甘遂　良姜　韭子　芭豆已上各等分　入硫黄一钱

右为细末，软米和丸，桐子大，早辰先椒汤洗手，放温揩乾，用生油少许涂手心，男左女右，磨令热，握一丸，宣一二行。

兼治于内者

大柴胡汤：

柴胡四两　黄芩末[1]　赤芍药各一两半　半夏一两二钱半　枳实二钱半　大黄一两

右为粗末，入半夏片子，每服三钱，水一盏半，入生姜五片，枣一枚，煎至一中盏，滤去滓，温服，食后。

小柴胡汤：

柴胡四两，去苗　黄芩　人参　半夏汤洗七次，切片　甘草已上各一两半

右为粗末，每服三钱，水一盏半，生姜五片，枣一枚擘破，同煎至七分，去滓，温服，不计时候。

柴胡饮子：

柴胡　人参　黄芩　甘草　大黄　当归　芍药已上各半两

右为粗末，每服三钱，以水一盏，生姜三片，煎至七分，去滓，温服。

防风当归饮子：

柴胡　人参　黄芩　防风　甘草　芍药　大黄　当归　滑石已上各一两

右为粗末，每服三五钱，生姜三片，水一盏，煎至七分，去滓，温服，不拘时候。

白术汤[2]方见妇人门妊娠。

兼治于外者

桂苓汤　麻黄汤　升麻汤已上三方在前汗法中附。

五积散：

苍术二两四钱　桔梗一两四钱　枳壳麸炒　陈皮二味各六钱　白芷　川芎　当归　甘草炒　官桂去粗皮　半夏酒[3]浸　茯苓各三钱　麻黄一钱，去节　厚朴　乾姜各四钱

右除官桂、芷[4]壳别为末外，以慢火炒令黄色为末，与官桂等搅匀，每服三钱，水一盏半，入生姜五片，葱白三寸，盐豉七粒，同煎至七分，去滓，温服，无时。

青衿散[5]方见咽喉门。

犹[6]治于内者

陷胸汤：

大黄二两半　芒硝一两八钱半　甘遂一字，另为末

右以水三盏，先煮大黄至一盏，去滓，下芒硝令沸，次下甘遂末，放温服之。

大黄丸：

大黄　黑牵牛　枳壳　木通已上各一两

右为末，滴水丸桐子大，每服三十丸，食后，生姜汤下。

备急丸：

巴豆去皮油　大黄　乾姜炮。已上各一两

右为细末，炼蜜丸，桐子大，每服三丸，

---

① 末：儒门事亲无此字。

② 白术汤：方见本书卷二百二十五妇人门二十妊娠五引儒门事亲。

③ 酒：儒门事亲作“汤”。

④ 芷：儒门事亲作“枳”。

⑤ 青衿散：咽喉门无此方。儒门事亲其组方为“益元散加薄荷、青黛，生蜜丸如弹子大，噙化”。

⑥ 犹：儒门事亲作“独”。

温水下，不拘时。

枳壳丸：

商枳壳一两，麸炒　牵牛头末四两

右为细末，水丸如梧桐子大，每服三十丸，食前，温酒或生姜汤下。

莲壳散[1] 方见妇人门调经。

木香槟榔丸[2]：

木香　槟榔　青皮　陈皮　广茂烧　黄连　枳壳麸炒。各一两　黄柏　大黄各三两　香附子炒　牵牛各四两

右为细末，水丸如小豆大，每服三十丸，食后，生姜汤下。

导饮丸：

青皮　陈皮　京三棱炮　广茂炮　黄连　枳壳麸炒。已上各一两　大黄　黄柏已上各三两　香附子炒　黑牵牛已上各四两

右为细末，桐子大，丸[3]水丸，每服三五十丸，食后，生姜汤下。

五香连翘散：

丁香　青木香　沉香　薰陆香　麝香　木通　连翘　桑寄生　独活　升麻　大黄已上各等分

右为粗末，以竹沥煎五七钱，未利加大黄，去滓，稍热，以利为度。

四物汤：

川芎　当归　熟地黄　芍药已上各等分

右为粗末，每服三四钱，水一盏，煎三五沸，去滓，温服，空心。加草龙胆、防己，名一醉散，治目暴发；加蒲黄，治娠妇漏血。

当归散[4]　又当归散[5] 方并见妇人门调经。

葛根散[6] 方见酒病门。

定志丸：

柏子仁　人参　茯苓　远志去心　茯神　酸枣仁

右为末，酒糊丸，小豆大，每服五七十丸，生姜汤下。

槟榔丸：

槟榔一钱半　陈皮一两　木香二钱半　牵牛半两

右为末，醋糊丸，桐子大，每服三十丸，生姜汤下。

小槟榔丸：

枳壳　陈皮　牵牛已上各等分

右为细末，水丸，食后，生姜汤下二四—[7]丸。

瞿麦散：　治酒积。

甘遂半两，制　瞿麦　葛根　麦蘗已上各一两

右为细末，每服二钱，酒调服。

治气积方：

香附子为末，生姜汤调下三二钱。

独治于外者

青金散：

芒硝半钱　青黛半钱　乳香　没药各少许

右为细末，鼻内嗑[8]□。

拔毒散：

寒水石不以多少，烧令赤

右研为末，以新水调，鸡翎扫痛处。

水澄膏：

雄黄水飞，三钱　黄连半两　蔚金二钱　黄柏半两　大黄半两　黄丹半两，水飞

右为细末，量所肿处，用药多少，新汲水半盏，炒药在内，须臾药沉，慢去其澄者，水尽，然后用槐柳枝搅药数百余转，如面糊相似匀，以小纸花子摊药，涂肿处，更以鸡翎撩凉水，不住扫之。

鱼胆丸：

草龙胆　青盐　脑子已上各半两　黄连一两，去须　硇砂　南鹏砂　麝香　鲤鱼胆已上各一[9]

---

① 莲壳散：本书卷二百九妇人门调经四原书缺。儒门事亲其组方为“治血崩。棕皮烧灰　干莲蓬烧灰存性。二味各半两　香附子三两，炒　右为末，米饮调下三四钱，食前”。

② 木香槟榔丸：儒门事亲本方中无“枳壳”。

③ 丸：儒门事亲作“用”。

④ 当归散：方见本书卷二百七妇人门调经二。

⑤ 当归散：方见本书卷二百七妇人门调经二。

⑥ 葛根散：酒病门无此方。儒门事亲其组方为“甘草　干葛花　葛根　缩砂仁　贯众各等分　右为粗末，水煎三五钱，去滓服之”。

⑦ 二四一：儒门事亲作“三四十”。

⑧ 嗑：此下脱字，儒门事亲作“之”。

⑨ 一：儒门事亲作“二”。

钱

右除草龙胆、鲤鱼胆外，同为细末，先将草龙胆连[1]微研破，以河水三升浸，春秋二宿，夏一宿，冬三宿，将浸者病[2]揉极烂，用绢袋滤去滓，于石器内，慢火熬成膏子，点于水内不散，用指头捏开有丝，乃膏子成，然后入鱼胆拌匀，将膏和上件药末作剂，丸如粟米，徐徐点何[3]视之。

金丝膏：

黄丹　代赭石　玄精石已上各半两　炉甘石一两，烧　脑子半钱　黄连　蔍仁去皮油。二味各三钱　白丁黄[4]　南鹏砂二味各一钱

右除鹏砂、脑子外，同为细末，以河水一升，白砂蜜二两，同熬三五沸，然后入药末，再熬至半茶盏以来[5]，用绵子滤过，去滓，次入鹏砂、脑末，搅匀定，磁器内放，徐徐点眼，大有神验。

生肌散：

黄连三钱　密陀僧半两　乾胭脂二钱　雄黄一钱　绿豆粉二钱　轻粉一钱

右为细末，以温浆水洗过，用无垢软帛揾净，药贴之[6]。

赴筵散：

五倍子　密陀僧已上各等分

右为细末，先入浆水漱过，乾贴。

麝香玉线子：

豆粉半两　信一钱　枯面[7]矾一钱半

右三件同研，入麝香半钱，再研为细末，滴水和于手背上，捻作线，如用时，先以浆水嗽了口，用毛翎刷了缝中净，临卧乾贴，或为线子住于缝中。

人参化瘿丹[8]　通气丸⑨　又方[10]方并见瘿瘤门。

消毒散：　治喉肿。

当归　荆芥　甘草各等分

右为末，水煎三五钱，去滓，热嗽。

煮肝散[11]方见眼门。

枯瘤方：

硇砂　粉霜　雄黄已上各二钱　轻粉　没药　乳香已上各一钱　土黄三钱　射香少许

右为细末，以津调涂瘤顶外边，歇一韭叶，先花纸贴之，上用小黄膏贴之。

小黄膏：

黄柏　黄芩　大黄已上各等分

右为细末，以水调为糊，比前药大一遭，三日一易，至八九上，不取，直候可取。

剪刀[12]药：

石灰一斤，今[13]年者　龙骨四两　刺蓟一小束

右为末，杵作泥为饼子，或为散贴。端午日合。

木香槟榔散：

木香　槟榔　黄连　乳香　轻粉　密陀僧已上各等分

右为细末，乾掺之，先以口噙浆水洗。又方加黄柏、麝香。

阳起石散：

阳起石烧

右研末，新水调涂肿痛处。

铅白霜散[11]：

铅白霜　乾胭脂　寒水石已上各等分　脑子　轻粉各少许

雄黄散：

雄黄　乳香　没药　射香少许

右末，量疮大小乾贴。

化斑汤：

紫草　升麻　甘草炙各半两

右锉麻豆大，水一盏，糯米二十粒，煎至一盏，去滓，温服。

---

① 连：儒门事亲作“同”。
② 病：儒门事亲作“摩”。
③ 何：儒门事亲作“可”。
4 黄：儒门事亲作“香”。
⑤ 来：儒门事亲作“上”。
⑥ 之：儒门事亲此下有“大有效矣”四字。
⑦ 面：儒门事亲作“白”。
⑧ 人参化瘿丹：方见本书卷一百八十一瘿瘤门。
⑨ 通气丸：方见本书卷一百八十一瘿瘤门。
⑩ 又方：方见本书卷一百八十一瘿瘤门。
11 煮肝散：方见本书卷六十七眼门四。
⑫ 剪刀：儒门事亲作“刀箭”。
⑬ 今：儒门事亲作“陈”。
⑪ 铅白霜散：本方无用法，儒门事亲有“右为末撒之”五字。

调　治

无比山药丸：

乾山药二两　肉苁蓉四两，馏，酒浸，焙　五味子六两，拣净　兔丝子三两，酒浸　杜仲三两，去粗皮，炒　牛膝一两，酒浸　泽泻一两　熟乾地黄一两　山茱萸一两　茯苓去皮，一两　巴戟一两，去心　赤石脂一两

右为细末，炼蜜和丸，桐子大，每服二三十丸，食前温酒下，米饮亦可。

当归丸：

当归　香附子炒　杜蒺藜　芍药各等分

右为末，酒糊为丸，如小豆大，每服三五十丸，米饮下。

香薷汤：

香薷五钱，去土　厚朴五钱，姜制　白扁豆二钱半，生炒

右为末，每服三钱，水一盏，入酒煎，去滓，温服。

石苇散：

石苇去毛　木通已上各分二两　当归　甘草　王不留行已上各一两　滑石　白术　藿麦　葵子　芍药已上各三两

右为细末，每服二钱，煎小麦汤调下。

妙功丸：

京三棱一两，炮　川乌四钱，生，去皮脐　大黄一两。已上同为细末，好醋半升，熬膏。不破，积水丸　神曲　麦蘖已上各一两　乾姜二钱，炒裂用　巴豆两介，去皮油心　半夏半两　茴香一两，炒香　官桂　牵牛三两，拣净

右为细末，用膏丸小豆大，生姜汤下十丸、十五丸，温凉水亦可，以意加减，以利为度。

人参散：

石膏　甘草已上各一两　滑石四两　寒水石二两　人参半两

右为末，每服二钱，温水调下，食后。

茴香丸：

茴香八两，炒　川楝子炒　川乌炮，去皮脐　葳灵仙洗去土　防风去芦　陈皮已上各三两　地龙一两，去土，微炒　乌药五两　赤小豆八两

右为末，酒糊为丸，每服三五丸，茶酒下。

七宣丸：

大黄湿纸裹煨　枳实麸炒　木香　柴胡去苗　诃子皮各五两　桃仁六两，炒，去皮尖　甘草四两，炒

右为细末，炼蜜为丸，桐子大，每服三十丸，酒下。

人参调中汤：

沉香二两　木香　白豆蔻一两，用仁　甘草一分　脑子一钱　麝香半钱　人参半两

右为末，每服半钱，用沸汤点服，或入生姜、盐少许，食后服。

乌金散：

当归一两　自然铜金色者，碎[1]为末，醋熬，一两　乌金石铁炭是，三两　大黄一两，童子小便浸用

右为末，每服二钱，红花酒半盏，童子小便半盏，同调下，食前，日二服。

沉香降气丹：

沉香　木香　缩砂仁　白豆蔻仁　青皮去白　陈皮去白　广茂煨　枳实麸炒。已上各一两　萝卜子另末，一两　黑牵牛末，二两　大黄二两，炒

右为末，生姜汁浸，蒸饼为丸，如梧桐子大，每服三十丸，橘皮汤下。

枳术丸：　治气不下降，胸膈满闷。

枳实麸炒　白术各半两

右为细末，烧饭为丸，桐子大，每服五十丸，诸饮送下。

① 碎：儒门事亲作“煅”。

杂记九门

病　机

诸风掉眩，皆属于肝。甲乙木也，木郁达之。　诸寒收引，皆属于肾。壬癸水也，水郁泄之。　诸气膹郁，皆属于肺。庚辛金也，金郁折之。　诸湿肿满，皆属于脾。戊己土也，土郁夺之。　诸痛痒疮疡，皆属于心。丙丁火也，火郁发之。　诸热瞀瘈，皆属于火。　诸厥固泄，皆属于下。下谓下焦肝肾气也。夫守司于下，肾之气也；门户束要，肝之气也，故厥固泄皆属下也。厥，谓气逆也；固，谓禁固也。诸气逆上行反不禁，出入无度，燥湿不恒，皆由下焦主守也。　诸痿喘呕，皆属于上。上谓上焦心肺气也。炎热薄烁，承热分化，肺之气也，热蔚化上，故病属上焦。诸禁鼓慓，如丧神守，皆属于火。热之内作。诸痉项强，皆属于湿。太阳伤湿。　诸逆冲上，皆属于火。炎上之性用也。　诸胀腹大，皆属于热。热郁于内，肺胀所生[①]。　诸躁狂越，皆属于火。热盛于胃及四末也。　诸暴强直皆属于风。阳内郁而阴行于外。　诸病有声，鼓之如鼓，皆属于热。　诸热肿肿，疼酸惊骇，皆属于火。　诸转反戾，水液浑浊，皆属于热。反戾，筋转也；水液，小便也。　诸病水液，澄彻清冷，皆属于寒。上下所出，及吐出溺出也。　诸呕吐酸，暴注下迫，皆属于热。

故大要曰：谨守病机，各司其属，有者求之，无者求之，盛者责之，虚者责之，必先五胜，疏其血气，令其调达，而致和平，此之谓也。五胜，谓五行更胜也。

标本运气歌

少阳从本为相火，太阴从本湿土[②]坐，厥阴从中火是家，阳明从中湿是我，太阳少阴标本从，阴阳二气相包裹，风从火断汗之宜，燥与湿兼下之可，万病能将火湿分，彻开轩岐无缝锁。

辨十二经水火分治法

胆与三焦寻火治，肝和包络都无异，脾肺常将湿处求，胃与大肠同湿治，恶寒表热小膀温，恶热表寒心肾炽。十二经，最端的，四经属火四经湿，四经有热有寒时，攻里解表细消息。湿同寒，火同热，寒热到头无两说，六分分来半分寒，寒热中停真浪舌。休治风，休治燥，治得火时风燥了。当解表时莫攻里，当攻里时莫解表，表里如或两可攻，后先内外分多少，敢谢轩岐万世恩，争奈醯鸡笑天小。

治　病

不读本草，焉知药性。专殚[③]药性，决不识病。假饶识病，未必得法。识病得法，工中之甲。

六　陈

药有六味，陈久为良，狼茱半橘，枳实麻黄。

十八反

本草名言十八反，药芦[④]贝蔹及攻乌，藻戟遂芫俱戟草，诸参辛芍叛藜芦。

运气歌

病如不是当年气，看与何年运气同，只向某年求治法，方知都在至真中。

五不及

坎一丁三土五中，乙七癸九是灾宫，胜

① 所生：儒门事亲作“于上”。
② 土：儒门事亲作“上”。
③ 殚：儒门事亲作“泥”。
④ 药芦：儒门事亲作“半蒌”。

复都来十一位，谁知藏府与宫同。

断病人生死

灵枢经云：人有两死，而无两生。阳气前绝，阴气后竭，其人死，身色必青；阴气前绝，阳气后竭，其人死，身色必赤。故阴竭则身青而冷，阳竭则身赤而温。

四　因

夫病生之类，其有四焉。一者，始因气动而内有所成；二者，始因气动而外有所成；三者，不因气动而病生于内；四者，不因气助① 而病生于外。

因气动而内成者，谓积聚、癥瘕、瘤气、瘿起、结核、癫痫之类是也。

因气动而外成者，谓痈肿、疮痒、痂疥、疽痔、掉瘈、浮肿、目赤、燎疹、肘肿、痛痒之类。

不因气动而病生于内者，谓流饮、澼食、饥饱、劳损、宿食、霍乱、悲恐、喜怒、想慕、忧结之类。

不因气动而病生于外者，谓瘴气、贼魅、虫蛇、蛊毒、蜚食、鬼击、冲薄、坠堕、风寒、暑湿、所② 射、刺割、撻朴之类也。如此四类，有独治内而愈者，有兼治内而愈者，有独治外而愈者，有兼治外而愈者，有先治内后治外而愈者，有先治外后治内而愈者，有须发③ 毒而攻击者，有须无毒而调引者。凡此之类，方法所施，或重或轻，或缓或急，或收或散，或润或燥，或软或坚，方士之用，见解不同，各擅己心，好丹非素，故复问之。

五 苦 六 辛

五苦六辛，从来无解，盖史家阙其疑也。一日，麻征君以此质疑于张先生，先生亦无所应。行十五里，忽然有所悟，欣然回告于征君。以为五苦者，五藏为里属阴，宜用苦剂，谓酸苦涌泄为阴；六辛者，六府为表属阳，宜用辛剂，谓辛甘发散为阳，此其义也。征君大服其识鉴深远，凿凿昔人不传之妙。故曰：知其要者，一言而终，不知其要者，流散无穷。

天地六位藏象之图

此论元无此图添之

下络大肠	肺上焦象天	为金主清	金金火合德	大虚	属上伍④二天
下络小肠	心包络	君火之⑤热	火	天面	属
下络胆经	肝中焦象人	风木主温	木木火合德	风云之路	属中二位人
	胆次	相火主极热	火	万物之路	属
下络胃	脾下焦象地	湿土主凉	土水二合德	地面	属下二位地
旁络膀胱	肾黄泉	寒水主寒	水	黄泉	属

① 助：儒门事亲作“动”。
② 所：儒门事亲作“斫”。
③ 发：儒门事亲作“解”。
④ 伍：儒门事亲作“在”。
⑤ 之：儒门事亲作“主”。

杂病门二

宣明论

黄帝曰：善言天者，必验于人；善言古者，必合于今；善言人者，必厌于己。如道不惑，所谓明也。余问夫子，言而可知，视而可见，扪而可得，令[1]验于发蒙解惑，可得闻乎？岐伯稽首对曰：何道之间[2]也。天覆地载，万物悉备，莫贵于人，人以天地之气生，四时之法也[3]。君王宰职，黎庶尽欲全形，贵贱虽殊，宝命一矣，好生恶死者，是世人之常也。若人有患，如救水火，莫待留淫，日深，著于骨髓，所以难矣。

素问诸证略备具题

煎厥之状，阳气烦劳，精绝，癖积于夏，致目盲不可视，耳闭不可听；薄厥之状，阳气大怒，形气绝而血菀于上，腹胀飧泄，寒热不散，升降上下。颓疝心掣，寒多下坠，以为诸疝；心热内掣，阴阳之结，四肢浮肿，便血不已；蛊瘕之病，肾[4]气不足，寇热勃急，白液出脬[5]掣也。膀胱不利，致三焦约而遗弱[6]，肾精不足，强上冥视，唾之若涕，恶风振寒，为之劳风，虽近衣絮，荣虚卫实，名曰肉苛。心移寒于肺，则肺消；肺移寒于肾，为涌水；心移热于肺，为隔消；胆移热于脑，为肺渊；膀胱移热于小肠，为口糜；大肠移热于胃，为食饮。热盛则阳络溢，阳络溢为衄衊；醉以入房，气竭伤肝，大脱其血，月事衰少，名曰血枯。蕴热拂郁，生于诸风，寒、湿，风之二[7]气，杂合而为诸痹；宗觉弛纵，发为白淫；热聚胃口，而不散行，故胃脘为痈；面色白黑，所谓疹觉，口苦积热，名之胆瘅；肾虚内夺，则为瘖俳；血气竭少，令人解体；腹满不食，寒中肠泄，斯病鹜溏；腰股痛发，胀肿不便，寒生濡泄。聊叙此证，不能备举。

煎厥证主热

阳气，烦劳积于夏，令人热厥，目盲不可视，耳闭不可听也。

人参散主之。治煎厥气逆，头目昏愦[8]，听不闻，目不明，七气善怒：

人参　远志去心　赤茯苓去皮　防风去苗。各二两　芍药　麦门冬去心　陈皮去白　白术各一两

右为末，每服三钱，水一盏半，煎至八分，去滓温服，不计时候[9]。

薄厥证主肝

阳气，大怒则形气绝，而血脉菀于上，令人薄厥于胸中也。

赤茯苓汤主之。治薄厥暴怒，怒则伤肝，气逆胸中不和，甚则呕血鼽衄也：

赤茯苓去皮　人参各一两　桔梗　陈皮各一两　麦门冬去心　芍药　槟榔各半两

右为末，每服三钱，水一盏，生姜五片，同煎至八分，去滓温服，不计时候。

---

① 令：宣明论作“今”。
② 间：宣明论作“问”。
③ 也：宣明论作“成”。
④ 肾：宣明论作“由”。
⑤ 脬：宣明论作“跳”。
⑥ 弱：宣明论作“溺”。
⑦ 二：宣明论作“三”。
⑧ 愦：宣明论作“愤”。
⑨ 候：宣明论此下有“日再服”三字。

飧泄证主冷

清气在下，则生飧泄，清浊交错，食不化而清谷出矣。

白术汤主之。治飧泄，风冷入中，泄利不止，脉虚而细，日夜数行，口乾腹痛不已：

白术　厚朴生姜制　当归去苗　龙骨各一两　艾叶半两，热炒

右为末，每服三钱，水一大盏，生姜三片，同煎至八分，去滓，空心温服。

膜胀证主心腹

浊气在上，则生膜胀，此阴阳返，则气结而不散[1]胀满，常如饱矣。

吴茱萸汤主之。治膜胀，阴盛生寒，腹满膜胀，常常如饱，不欲饮食，进之无味：

吴茱萸汤炒[2]　厚朴生姜制　官桂去皮　乾姜炮。各二两　白术　陈皮去白　蜀椒出汗。各半两

右为末，每服三钱，水一大盏，生姜三片，同煎至八分，空心，去滓温服。

风消证主心脾

二阳之病心脾，不得隐曲，女不月。心病血不流，脾病食不化，风胜真气消。

黄耆羌活散主之。治心脾受病，精血虚少，气力乘之[3]，日溢消矣：

黄耆一两半，去芦头　羌活　石斛　防风　枳壳麸炒，去穰　人参　生地黄　牡蛎烧　黑附子炮　茯苓去皮　五味子　牛膝酒浸[4]。各一两　续断半两　地骨皮三分

右为末，每服三钱，水一大盏，煎至八分，去滓温服，不计时候，日进三服。

心掣证主心

一阳发病，少气嗽泄，三焦不利，上咳下泄，心火不宁，其动若掣。

调中散主之。治心掣不定，胸中刺，气痞壅，上若咳嗽，下若泄利：

白术　官桂一两半　乾姜炮　当归　人参　赤茯苓去皮　五味子　甘草炙。各一两

右为末，每服三钱，水一大盏，煎至八分，温服，去滓，稍热，日二服，临卧。

风厥证主习[5]胃

二阳一阴病，发惊骇，背痛噫欠，冷[6]风厥。于[7]胃土肝木，为木克土，风胜湿，不掣肾水，故令上逆。

远志散主之。治风厥多惊，背痛，善噫善欠，志意不乐[8]：

远志去心　人参　细辛去苗　白茯苓去皮　黄耆去芦头　官桂各一两半　熟乾地黄焙　菖蒲　白术　防风各半两

右为末，每服一钱至二钱，温酒调下[9]，食前，日三服。

结阳证主四肢

疮胫肿四肢，热胜则肿，四肢者谓诸阳也[10]本。阳结者，故不行于阴府[11]，阳脉不行，故留结也。

犀角汤主之。治结阳，四肢肿满，热苑不散，或毒攻注，大便闷涩：

犀角屑　玄参　连翘　柴胡去苗。各半两　升麻　木通各三钱　沉香锉　射干去毛　甘草炙，一分　芒硝　麦门冬去心，一两

右为末，每服三钱，水一大盏，同煎至八分，食前，去滓温服。

厥疝证主腹痛

脉至太虚，积气腹中，隐而难见。阴沉

---

① 不散：宣明论作“腹”。
② 炒：宣明论作“淘”。
③ 乘之：宣明论作“衰乏”。
④ 浸：宣明论作“炒”。
⑤ 习：宣明论作“脾”。
⑥ 冷：宣明论作“名”。
⑦ 于：宣明论作“盖”。
⑧ 乐：宣明论此下有“身背皆痛”四字。
⑨ 下：宣明论此下有“空心”二字。
⑩ 也：宣明论作“之”。
⑪ 府：宣明论作“脉”。

使脾弱寒于胠腹[1]，气厥逆也。

吴茱萸加减汤主之。治厥疝腹中冷痛，积气上逆，致令阴冷于肢膜：

吴茱萸二两，汤洗，炒　川乌头炮，去皮脐　细辛去苗。各三两　良姜　当归　乾姜炮　官桂各一两

右为末，每服二钱，水一盏，同煎至七分，去滓温服，日三。

结阴证主便血

结阴，便血一升，再结二升，三结三升。以阴气内结，故不得通行，血气无禀，渗入肠下，致使渐多。

地榆汤主之。治阴结下血不止，渐渐极多，腹痛不已：

地榆四两　甘草三两，半一②半生　缩沙仁七枚，每服可加为妙

右为末，每服五钱，水三盏，缩沙同煎至一半，去滓温服。

解亦证主肾实

冬脉太过，缓而涩，肾实精不运，解者缓亦，疑寒热之类也。

利肾汤主之。治解亦春脉动，气痛气乏，不欲言，此为肾元脊③余矣：

泽泻　生地黄　赤茯苓去皮。各一两半　槟榔　麦门冬去心　柴胡　枳壳麸炒，去瓤　黄芩去朽　牛膝去苗，酒浸。各一两

右为末，每服三钱，水一盏半，煎至七分，去滓温服，无时。

胃疸证主胃热

食已如肌④，胃热能消谷，阳明脉终，心火上行，心憎烦，身黄，小便赤涩也。

茯苓加减汤主之。治胃疸积热，食已辄肌⑤，面黄瘦，胸满胁胀，小便涩赤：

赤茯苓　陈皮去皮　泽泻　桑白皮锉。各三两　赤芍药　白术各四两　人参　官桂各二两　石膏八两　半夏六两，汤洗，生姜制焙

右为末，每服三钱，水一盏，生姜十片，同煎至八分，去滓，不计时候。如病甚者，加大黄、朴消。各二两。

蛊病证主脾风

脾风传肾，一名疝气。小腹痛热⑥，出白液，名曰蛊。左传云：以丧志名为蛊病，乃真精不守也。

大建中汤主之。治蛊病，小腹急痛，便溺失精，溲而出白液：

黄耆　远志去心　当归　泽泻各三两　芍药　人参　龙骨　甘草炙。各二两

右为末，每服三钱，水一盏，生姜五片，煎至八分，去滓温服，不计时候。

瘈病证主觝急

蛊腹弗⑦，肾传心，觝脉相引而急，精液少，觝脉不荣灌而引急。

建中加减汤⑧。治瘈觝病相引而急，及五劳七伤，小便数，腹痛难立：

人参　甘草炙　官桂　白茯苓去皮　当归　附子炮　厚朴生姜制。各一两　龙骨　黄耆锉　麦门冬　白芍药　生地黄各四两

右为末，每服三钱，水一盏半，生姜五片，枣一枚，饧少许，煎至一盏，温服去滓。

劳风证主诸风

发在肺下，病在⑨上，冥视，唾凝⑩，肾劳，肾脉入肺中振慄，救俯俏成劳⑪。

芎枳丸⑫。治劳风，强上冥视，肺热上壅，唾稠，喉中不利，头目昏眩：

---

(1) 胠腹：宣明论作“肢膜”。
(2) 一：宣明论作“炙”。
(3) 脊：宣明论作“有”。
(4) 肌：宣明论作“饥”。
(5) 肌：宣明论作“饥”。
(6) 热：宣明论无此字。
(7) 弗：宣明论作“痛”。
(8) 汤：宣明论此下有“主之”两字。
(9) 在：宣明论作“强”。
(10) 凝：宣明论作“涕”，此下并有“恶风”二字。
(11) 救俯俏成劳：宣明论作“故俯俱成劳风”。
(12) 丸：宣明论此下有“主之”二字。

川芎　枳壳麸炒去瓤。各等分

右炼蜜为丸，如桐子大，每服十丸，温水退[1]下，食后，日三服。

痹气证主阳虚阴实

身非衣，寒中，非受寒气。痹者，气血不行，如从水中出，不必故[2]伤而作也。

附子丸主之。治痹气中寒，阳虚阴盛，一身如从水中出：

附子炮　川乌头炮，二味角[3]锉碎，少[4]黄色入药　官桂　蜀椒　菖蒲　甘草炙。各四两　骨碎补炒　天麻　白术各二两

右为末，炼蜜为丸，如桐子大，每服三十丸，温酒下，空心食前，日三服。

骨痹证主肾弱

身寒大衣不能热，肾脂气[5]涸不行，髓少觔弱，治燥[6]故挛急。

附子汤主之。治肾藏风寒湿，骨痹，腰脊疼不得俯仰，两脚冷，受热不遂，头昏耳聋，音浑：

附子炮　独活　防风去苗　川芎　丹参　蕳蓉　菖蒲　天麻　官桂各一两　当归一两　黄耆　细辛去苗　山茱萸　白术　甘菊花　牛膝酒浸　甘草炙　枳壳麸炒去瓤。各半两

右为末，每服三钱，水一大盏，生姜五片，煎至七分，去滓温服，不计时候，日进三服。

肉苛证主荣虚胃寒

近衣絮当[7]苛也，处气实则不行[8]，其证癃重，为苛也。

前胡散主之。治荣虚卫实，肌肉不仁，致令癃重，名曰肉苛，处[9]其气：

前胡去苗　白芷锉　细辛去苗　官桂　白术　川芎各三两　川椒去目闭口者，生用，二钱　吴茱萸汤洗，炒　附子炮　当归去苗。各二两

右锉捣，以茶酒三升匀拌，同窖一宿，以炼成猪脂膏五斤，入药微煎，候白芷黄紫色，漉去滓，成膏。病在处摩之病以热，调此药樱桃大，癥瘕疮痍皆治，并去诸风疮痒疼痛，伤折坠损，故摩内皆可用之妙。

肺消证主心肺

心积[10]寒于肺，肺消，饮少溲多，当补肺平心火而可治，乃心得为道[11]也。

黄耆汤主之。治肺消，饮少溲多，补肺平心。积[12]寒在肺痿劣：

黄耆三两　五味子　人参　麦门冬去心　桑白皮锉。各二两　枸杞子　熟地黄各一两半

右为末，每服五钱，水二盏，煎至一盏，去滓温服，无时。

涌水证主水病

肺积[13]寒于肾，名曰涌水。其证如溢囊裹重浆，或遍身肿满，按腹不坚，疾行则濯濯有声，或咳喘不定。

葶苈丸主之。治涌水，腹满不坚，溢如囊裹浆，疾行则濯濯有声：

葶苈纸炒　泽泻　椒目　桑白皮锉　杏仁去皮，麸炒　木猪苓去黑皮。各半两

右为细末，炼蜜和丸，如桐子大，每服二十丸，葱白汤下，不计时候，以利为度。

膈消证主肺

心移热于肺，名曰膈消。二者上[14]膈有热，久则引饮为消渴耳。

麦门冬饮子[15]主之。治膈消，胸满烦

---

① 退：宣明论作“送”。
② 故：宣明论作“寒”。
③ 角：宣明论作“通”。
④ 少：宣明论作“炒”。
⑤ 气：宣明论作“枯”。
⑥ 治燥：宣明论作“冻慄”。
⑦ 当：宣明论作“肉”。
⑧ 处气实则不行：宣明论作“荣气虚则不仁”。
⑨ 处：宣明论作“虚”。
⑩ 积：宣明论作“移”。
⑪ 得为道：宣明论作“肺为贼”。
⑫ 积：宣明论作“移”。
⑬ 积：宣明论作“移”。
⑭ 上：宣明论作“心”。
⑮ 麦门冬饮子：宣明论本方中无“五味子”。

心，津液燥少，短气，多为消渴：

麦门冬二两，去心　栝楼实　知母　甘草炙　五味子　人参　生地黄　葛根　茯神已上各[1]一两

右为末，每服五钱，水二盏，竹叶数片，同煎至一盏，去滓温服，食后。

口糜证主口涩[2]

膀胱移热于小肠，膈肠不便，上为口糜，心胃壅热，水谷不传[3]，转下小肠。

柴胡地骨皮汤主之。治口糜生疮损烂，小肠有热，胀满不便宜服：

柴胡去苗　地骨皮各等分

右为末，每服三钱，水一大盏，煎至八分，去滓，食后。如有病人大段实者，加大黄、朴消可泻热甚。

虚瘕证主女病大肠[4]

大肠小肠移热，名[5]瘕。津液耗散，不能滑利，苑结而大肠闷涩。

槟榔丸主之。治大肠有遗热，津液壅滞，腹痛闷涩，名曰虚瘕证：

槟榔　大黄锉，炒　枳壳棋[6]炒，去穰。各二两　桃仁去皮，炒　大麻仁另研　木香各一两

右为末，炼蜜和丸，如桐子大，每服十丸至十五丸，温酒下，不计时候，温水亦得。

食亦证主胃病

大肠移热于胃，善食而瘦，或胃热遗于胆，能食善饮，木胜土也。

参苓丸主之。治食亦[7]胃中结热，消谷善食，不生肌肉，此名食亦：

人参　赤茯苓　菖蒲　远志　地骨皮　牛膝酒浸。各一两

右为末，炼蜜为丸，如桐子大，每服十丸至十五丸，米饮下，不计时候。

鼻渊证主鼻[8]

胆移热于脑，则嗋[9]冥鼻渊，浊涕不止，如涌泉不藏[10]而下，久不已，衄而冥[11]患。

防风汤主之。治鼻渊脑热，而[12]下浊涕不止，久而不已，必成衄血之疾：

防风去苗，一两半　黄芩　人参　甘草炙　川芎　麦门冬去心。各一两

右为末，每服二钱，沸汤点之，食后此[13]，日三服。

衄衄证主失血

胆受胃热，循脉而上于脑，阳终[14]溢血妄行在鼻空，衄目瞑。

定命散。治胆受热，血妄行鼻中，衄衄并血汗不止：

朱砂　水银　麝香各等分

右为末，每服半钱，新汲水调下，不计时候。如引[15]药，看老幼虚实加减。

鼓胀证主胃病气逆

病有心腹胀满，旦食不能暮食，致令胃逆不散，大肠不传，逆满。

鸡屎醴[16]散。治鼓胀，旦食不能暮食，痞满：右[17]法用此可择焉。

大黄　桃仁　鸡屎醴[18]乾者。等分

右为末，每服一钱，水一盏，生姜三片，煎汤调下，食后临卧[19]。

1　各：此下脱字，宣明论作“一”。
2　涩：宣明论无此字。
3　传：宣明论作“化”。
4　大肠：宣明论无此二字。
5　名：宣明论此下有“虚”字。
6　棋：宣明论作“面”。
7　亦：宣明论作“下”。
8　鼻：宣明论此下有“门”字。
9　嗋：宣明论作“辛”。
10　藏：宣明论作“渗”。
11　而冥：宣明论作“血为”。
12　而：宣明论作“渗”。
13　此：宣明论作“服”。
14　终：宣明论作“络”。
15　引：宣明论作“用”。
16　醴：宣明论作“醴”。
17　右：宣明论作“古”。
18　醴：宣明论作“醴”。
19　卧：宣明论此下有“服”字。

血枯证主妇人经病

年少醉入房室，气竭肝伤，故经衰少不来，肝伤则血涸，脾胃相传，大脱其血，目眩心烦，故月事不来也。

乌鱼骨丸主之。治血涸，胸胁支满，妨饮食，变则闻腥臊之气，唾血出清[1]，前后泄血：

乌贼鱼骨　茼茹各一两

右为末，雀卵不拘数，和成剂，丸如小豆大，每服五丸至十丸，煎鲍鱼汤下，食后，日三服，食压[2]。

伏梁证主心积

若梁之伏隐也。居脐上逆，脐下顺，不可初[3]动，为水溺涩，故有二等。

鳖甲汤主之。治伏梁积气，心下如臂，痞痛不消，小便不利：

鳖甲去裙襕，醋炙黄色　京三棱　大腹子皮芍药　当归　柴胡去苗　生地黄各一两　官桂生姜各三分，切作片子，焙乾

右为末，每服三钱，水一大盏，入生姜、木香半钱，同煎至八分，去滓，空心温服。

喑俳证主肾虚

内夺而厥，舌音不能元[4]，二足瘕[5]不为用，肾脉喉舌之[6]气厥不至，舌不仁。经云：下经[7]足不履用，音声不出者。

地黄饮子主之。治喑能[8]，肾虚弱厥逆，语声不出，足严[9]不用：

熟乾地黄　芭戟去心　山茱萸　肉苁蓉酒浸，焙　石斛　附子炮　五味子　官桂　白茯苓　麦门冬去心　菖蒲　远志去心。等分

右为末，每服三钱，水一大盏[10]，生姜三[11]片，枣一枚，同煎至八分，食后温服[12]。

厥逆证主心痛

膺腋[13]颈痛，胸满腹胀，上实下虚，气厥而逆，阳气有余，郁于胸也，不可针灸，宜服顺气汤液。

小茯苓汤主之。治厥逆病，三焦不调，升降痞[14]膈膺腋[15]，胸满腹胀，冷气冲注刺痛：

赤茯苓去皮　人参　陈皮去白　桔梗锉，炒。各等分

右为末，每服三钱，水一盏半，生姜五片，同煎至八分，去滓，不计时候。

风成寒热证主风

因于露生[16]、寒热之始腠理，次入胃，冷[17]不化，热则消肌，怏慓[18]振动也。

解风散主之。治风成寒热，头目昏眩，肢体疼痛，手足麻痹，上膈壅滞：

人参　川芎　独活　甘草　麻黄去节，汤洗，焙。各一两　细辛去苗，半两

右为末，每服三钱，水一盏半，生姜五片，薄荷叶少许，同煎至八分，不计时候。

风成寒中证主风

风气与阳明入胃，循脉而上至目眦，津液所生，此为泣也。

当归汤主之。治风邪所伤寒中，目泣自出，肌瘦，泄汗不止：

当归　人参　官桂各三钱　乾姜炮　白术　白茯苓　甘草　川芎　细辛去苗　白芍药各半两　陈皮一两，去白

---

① 清：宣明论此下有“液”字。
② 压：宣明论此下有“之妙矣”三字。
③ 初：宣明论作“移”。
④ 元：宣明论作“言”。
⑤ 瘕：宣明论作“废”。
⑥ 喉舌之：宣明论作“虚弱其”。
⑦ 下经：宣明论作“喑痱”。
⑧ 能：宣明论作“痱”。
⑨ 严：宣明论作“废”。
⑩ 盏：宣明论此下有“半”字。
⑪ 三：宣明论作“五”。
⑫ 食后温服：宣明论作“不计时候”。
⑬ 腋：宣明论作“肿”。
⑭ 痞：宣明论作“胸”。
⑮ 腋：宣明论作“肿”。
⑯ 生：宣明论作“风”。
⑰ 冷：宣明论作“食”。
⑱ 肌怏慓：宣明论作“中寒慓”。

右为末，每服三钱，水一盏半，生姜三片，枣二枚，同煎至八分，去滓热服，不计时候，并三服。

风成热中证主风

风气与阳明入胃，循脉而上目眦，肥人气升[1]泄为热中，目黄之病也。

青龙散主之。治风气邪传化，腹内瘀结生[2]目黄，风折薄阳气[3]为热中，烦渴引饮：

地黄　仙灵脾　防风去苗　何首乌去黑皮，泔浸一宿，竹刀子切，焙。各一分　荆芥穗一两

右为末，每服一钱，沸汤点调下，食后，日三服。

脑风证主风气

气循风府而上则为脑风，项背怯寒，脑户极冷，以此为病矣。

神圣散主之。治脑[4]邪气，留饮不散，项背怯寒，头疼不可忍：

麻黄去节　细辛去苗　乾蝎生一半，炒一半　藿香叶各等分

右为末，每服二钱，煮荆芥、薄荷酒调下，茶亦得，并血风。

又一方：　治脑风邪气，留饮，头疼不可忍者，用远志末，不以多少，于鼻中嗑，与痛处揉之，相兼前药可用也。

首风证主新沐

中风则为首风，头面多汗，恶风，当先一日甚，至其风日则少愈。

大川芎丸主之。治首风旋系[5]眩急，空行阳结[6]，风寒化导，胸[7]膈痰饮，偏正头疼，身拘倦：

川芎一斤　天麻四两，郸州者

右为末，炼蜜为丸，每两作十丸，每服一丸，细嚼，茶酒下，食后。

又[8]方茶酒调散：　治一切诸风痰壅，目涩，昏眩头疼，心愦烦热，皮肤痛痒，并风毒壅滞，清爽神志，通和关窍，消恶汗。

石膏另为细末　菊花　细辛去苗　香附子去须，炒。各等分

右为末，每服二钱，温茶酒调下，食后，日三服。

目风眼寒证主眼

风入系头，则血脉凝泣[9]，不能上下通流于目，令风寒客乏[10]，风眼寒也。

石膏散主之。治目风眼寒，及偏正头疼夹脑风，鼻出清涕，目冷[11]，疼痛不已：

石膏二两，炭火烧，研细末　川芎一两　甘草半两，炙

右为末，每服一钱，葱白好茶同煎汤调下，食后，日二。

漏风证主酒风

饮酒中风，或汗多不可单衣，食则汗出，如此之[12]漏久不治，为消渴疾。

牡蛎白术散主之。治漏不久，虚风多汗，食之汗出如洗，少气痿劣：

牡蛎三钱，烧赤　白术一两一分　防风二两半

右为末，每服一钱，温水调下，不计时候。如恶风，倍防风、白术；如多汗面肿，倍牡蛎。

胃风证主风

因于失衣，风感之，颈汗多，恶风食[13]，膈塞不通，寒伤[14]胃泄，注[15]满气不通。

---

[1] 升：宣明论作“不外”。
[2] 生：宣明论作“而”。
[3] 折薄阳气：宣明论作“气不得泄”。
[4] 脑：宣明论此下有“风”字。
[5] 系：宣明论作“晕”。
[6] 空行阳结：宣明论作“外合阳气”。
[7] 化导胸：宣明论作“相搏胃”。
[8] 又：宣明论作“秘”。
[9] 泣：宣明论作“滞”。
[10] 乏：宣明论作“之”。
[11] 冷：宣明论作“泪”。
[12] 如此之：宣明论作“多如液”。
[13] 食：宣明论无此字。
[14] 伤：宣明论作“则”。
[15] 注：宣明论作“腹”。

大豆蔻丸胃风汤主之。治胃风，颈多汗，恶风，饮食不下，小腹善满，失衣则膜胀，食寒则泻，形瘦：

肉豆蔻　草豆蔻　陈皮　独活　薏苡仁　人参　川芎各半两　羌活　防风　桔梗　甘草炙　木香各一分

右为末，炼蜜为丸，如桐子大，每服四十丸，米饮下，不计时候，日进三服。

胃风汤。治风冷乘虚，入客肠胃，水谷不化，腹胁虚满疠痛，及肠胃湿毒，或下瘀血：

人参　白茯苓去皮　芎藭　官桂　当归去苗　白芍药　白术已上各等分

右为末，每服二钱，水一大盏，入粟米百余粒，同煎至七分，去滓热服，空心食前。此药与豆蔻[1]丸为表里也。

行痹证主痹

风寒湿三气合而为痹，风气胜者行痹，上下左右无留，随所至作。

防风汤主之。治行痹，行走无定：

防风　甘草　当归　赤茯苓去皮　杏仁去皮，炒熟　桂已上各一两　黄芩　秦艽　葛根各三钱　麻黄半两，去节

右为末，每服三[2]钱，酒水入[3]二盏，枣三枚，生姜五片，同煎至一盏，去滓温服。

痛痹证主痹

寒胜者为痛痹。夫[4]宜宣通，而塞[5]为痛，宜通气温经而愈矣。

茯苓汤加减。治痛痹，四肢疼痛，拘倦浮肿：

赤茯苓去皮　桑白皮各二两　防风　官桂　川芎　芍药　麻黄去节。各一两半

右为末，每服五钱，水一盏，枣一枚，煎至八分，去滓温服，以姜粥投之，汗泄为度效[6]。

著痹证主痹

湿气胜者为著痹。湿地去气性[7]，重著而不稳[8]，多汗而濡者。

茯苓川芎汤主之。治著痹留注不去，四肢麻，拘挛浮肿：

赤茯苓　桑白皮　防风　官桂　川芎　麻黄　芍药　当归　甘草炙。已上各等分

右为末，每服二钱，水二盏，枣三枚，同煎至一盏，去滓，空心温服。如欲吐[9]汗，以粥投之。

周痹证主痹

黄帝针经云：在血脉之中随上下，本痹不通[10]，今能上下周身，故以名之。

大豆糵散主之。治周痹注，五脏留滞，胃中结聚，益气出毒，润皮毛补肾气：

大豆糵一斤，炒香熟

右为末，每服半钱，温酒调下，空心，加至一钱，日三服。

胞痹证主膀胱

小腹膀胱，按之内痛，若沃以汤，涩于小便，上为清涕。太阳直行，从巅入循于脑，气下灌于鼻，内[11]出清涕不止。

肾著汤主之。治胞痹，小便不利，鼻出清涕者：

赤茯苓去皮　白术各四两　甘草三两，炙　乾姜二两，炮

右为末，每服五钱，水二盏，煎至一盏，去滓温服，日三服。

---

① 菀：宣明论作“薏”。
② 三：宣明论作“五”。
③ 入：宣明论作“合”。
④ 夫：宣明论作“大”。
⑤ 而塞：宣明论作“阴寒”。
⑥ 效：宣明论此下有“矣”字。
⑦ 去气性：宣明论作“本气甚”。
⑧ 稳：宣明论作“去”。
⑨ 吐：宣明论作“出”。
⑩ 通：宣明论作“痛”。
⑪ 内：宣明论作“时”。

肠痹证主痹

维[1]多饮不得溲，便并[2]大便，使糟粕不化，故气声争而飧泄也。

木香丸[3]。治肠痹，腹胀疠痛，时腹飧泄，食不消化，小便秘涩：

木香　白术　官桂　芜荑　良姜　诃子皮已上各一两　附子炮，去皮　厚朴生姜制　肉豆蔻各二两　乾姜三分　甘草半两，炙

右为末，曲面糊为丸，如桐子大，每服二十丸，生姜汤下[4]。

热痹证主痹

阳气多，阴气少，阳遭其阴寒，故痹。乃[5]府热，燔然而闷[6]也。

升麻汤主之。治热痹，肌肉热极，体上如鼠走，唇口反坏[7]，皮色变，兼诸风皆治：

升麻三两　茯神去皮　人参　防风　犀角镑　羚羊角镑　羌活各一两　官桂半两

右为末，每服四钱，水二盏，生姜二块，碎，竹沥少许，同煎至一盏，温服，不计时候。

白淫证主虚劳

思想无穷，所愿不渴[8]，意淫于外，入房太甚，觝绝[9]发为觝瘘，及为白淫，大过者，摇效[10]为淫，随溲而下，故为劳弱。

秘真丸。治白淫，小便不止，精气不固，及有余沥，或梦寐阴人通泄耳：

龙骨一两，另研　诃子皮五个，大者　缩砂仁半两，去皮　朱砂一两，研细，一分为衣

右为末，面糊为丸，如绿豆大，每服一丸，空心，温酒下，冷水亦得，不可多服。大秘葱白汤茶[11]下。

胃脘痈证主疽[12]

胃脘[13]沉细，阳气不得下通，寒高[14]阳热聚，肉血[15]腐坏成脓矣。

射干汤。治胃脘痈，如疮身皮甲错[16]嗽浓血，荣卫不流，热聚胃口成痈：

射干去毛　栀子仁　赤茯苓去皮　升麻各一两　赤芍药一两半　白术半两

右为末，每服五钱，水二盏，煎至一盏，去滓，入地黄汁一合，蜜半合，再煎，温服不计[17]候。

阳厥证主诸气

怒狂者，生于阳也。阳胜则气逆狂怒，上气夺食即已，食入于阴，养于阳，则守[18]其气，若阳胜气逆，多怒。

羚羊角汤主之。治阳厥气逆多怒，而颈脉腹效已食，阴养于阳，守[19]其气：

羚羊角　人参各三两　赤茯苓二两，去皮　远志去心　大黄炒。各半两　甘草一分、炙

右为末，每服三钱，水一盏半，煎至八分，去滓温服，不计候。

又方：　治阳厥，若除烦下[20]，针烙饮为色[21]，铁浆汤饮之，食后并服。

息积证主腹心

病胁下满，逆气不已，气聚胁下，息而不消，积而不散，气元在胃，不妨食[22]，不

---

1. 维：宣明论作“虽”。
2. 便并：宣明论作“不成”。
3. 丸：宣明论此下有“主之”二字。
4. 下：宣明论此下有“空心”二字。
5. 乃：宣明论作“脏”。
6. 闷：宣明论作“闷”。
7. 坏：宣明论作“纵”。
8. 渴：宣明论作“得”。
9. 绝：宣明论作“纵”。
10. 摇效：宣明论作“白物”。
11. 茶：宣明论作“茶”。
12. 疽：宣明论作“痈门”。
13. 脘：宣明论作“脉”。
14. 高：宣明论作“痈”。
15. 肉血：宣明论作“胃口”。
16. 如疮身皮甲错：宣明论作“人迎脉逆而甚”。
17. 计：宣明论此下有“时”字。
18. 守：宣明论作“平”。
19. 守：宣明论作“平”。
20. 下：宣明论此下有“气”字。
21. 针烙饮为色：宣明论作“铁烙为饮”。
22. 不妨食：宣明论作“妨饮食”。

可针灸，宣[1]导引按跻[2]尔。

白术丸。治息积，胁下气逆，妨闷喘息，不便呼吸，引痛不已：

白术　枳实　官桂各一两半　人参二两　陈皮　桔梗醋炒　甘草各一钱

右为末，炼蜜为丸，如桐子[3]，每服二十丸，温酒下，日三服。

疹筋证主肝

人有尺脉数甚，筋急而见腹必急，数亦为虚筋见以名耳。

柏子仁散主之。治疹筋，肝虚生寒，脉寒数筋，急腹胁妨[4]闷，筋见于外：圣惠木[5]中十五味柏子仁丸亦治。

柏子仁　茯苓　防风　细辛　白术　官桂　枳壳　川芎已上各三钱　附子　当归　槟榔各半两

右为末，每服三钱，水一盏半，姜三片，枣二枚，同煎至八分，去滓温服，不计时候。

厥逆头疼证主胃

肾虚犯大寒，头痛齿亦痛，痛之甚数不已者是也。

天南星丸主之。治厥头痛及齿痛骨寒，胃脉同肾脉厥逆，头痛不可忍之：

天南星炮　硫黄研　石膏研　消石研。各等分

右为末，面糊为丸，如桐子大小，每服二十丸，温酒下，空心日午临卧[6]。

胆疸证主肝

谋虑不决，胆虚气上冲口中，上溢则口苦，是清净之府浊扰之气上溢。

溢[7]胆汤主之。治胆瘅，肝虚热气上冲，口中常苦，泄热不已，藏府固虚致然：

黄芩去朽　甘草炙。各二两　人参二两　官桂一两　苦参　茯神各半两

右为末，每服三钱，水一盏，煎至八钱，去滓温服，不计时候。

濡泄证主利

内经云：湿胜则濡。甲乙经云：寒客生濡，胃泄如随气而下利。

豆蔻散主之。治濡泄不止，寒客于脾胃，故伤湿而腹痛，滑利不止：

肉豆蔻五个　甘草炙　厚朴等分

右为末，每服二钱，米饮一盏调下，食前，白汤亦得。

鹜溏证主利

脾虚风冷，阴盛，糟粕不化，大便黄黑如鹜溏，或大肠有寒也。

吴茱萸丸。治鹜溏泄泻不止，脾虚胃弱，大肠有寒，大便青黑或黄利下：

吴茱萸汤洗，炒　乾姜　赤石脂　陈曲[8]□熟　当归焙　厚朴各二钱

右为末，炼蜜为丸，如桐子大，每服三十丸，温米饮下，空心。

三焦约证主大小肠

小腹痛不得大小便，邪气入客，约而不行，故谷气不得通也。

枳壳丸[9]主之。治三焦约，调顺三焦气脉，消疾[10]滞，利胸膈，治风通大小便：

枳壳二两　牵牛四两，一半生，一半熟，捣取头末一两半，余不用

右为末，炼蜜为丸，如桐子大，每服十五丸，生姜汤下，食后，日三服。

---

(1) 宣：宣明论作“宜”。
(2) 按跻：宣明论作“服药”。
(3) 子：宣明论此下有“大”字。
(4) 妨：宣明论作“痞”。
(5) 木：宣明论作“方”。
(6) 卧：宣明论此下有“三时服”三字。
(7) 溢：宣明论作“益”。
(8) 曲：此下注文脱字，宣明论作“炒”。
(9) 枳壳丸：宣明论本方中尚有“陈皮一两　槟榔半两”。
(10) 疾：宣明论作“痞”。

胃寒肠热证主胃

胃寒气[1]收，水谷不聚，泄浊[2]，寒之气在上，消[3]热之风[4]在下，故胀而泄。

妙应丸主之。治胃寒肠热，水谷不化，腹胀痞满，泄利不已：

川乌头去尖，半两　栀子仁　乾姜生。各一分

右为末，生姜汁面糊为丸，如桐子大，每服五丸，温酒下，食前，日进二服。

胃热肠寒证主胃

胃热则消谷善食而饥，奈肠寒则血疑[5]脉重，小便痛，痛而胀。

青橘皮丸。又去[6]前胡木香散亦治。治胃热肠寒，善食而饥，便溺小腹而胀痛，大便或涩：

青皮　京三棱　黄连　蓬莪术炮。各一两　芭豆霜一分

右为末，面糊为丸，如绿豆大小，每服三丸至五丸，茶酒下，食后。少与之，不可多也。

控睾证主小肠

甲乙经云：小肠病结于脐上而不下，痛冲心胸，经[7]所系也。

茴香楝实丸主之。治小肠病结上而不下，痛冲心臆[8]。

茴香炒　楝实麸炒，去核　石茱萸　陈皮　马练花醋炒。各一两　芫花醋[9]，半两

右为末，醋面糊为丸，如桐子大，每服十丸至二十丸，温酒下，空心食前。

阴疝证主男病

足厥阴之脉，环器底小腹，肿或痛，肾虚寒水涸渴，泻邪补脉为治。

蒺藜汤主之。治阴疝，牵引少腹痛，诸厥疝即阴疝也，嘻欲劳痛不可忍之：

蒺藜去角，炒　附子炮，去皮脐　栀子已上各一两

右为末，每服三钱，水一盏半，煎至六分，去滓，食前温服。控睾证，茴香楝实丸。亦治此证。

诸痹证主风

痹乃风寒湿三气相合而为痹。风者百疾之长，善行数变，当汗，恶风，目瞤胁痛，或走注四肢，皮肤不仁，屈伸不便。

升麻前胡汤主之。治肝风虚所中，头痛目眩，胸膈壅滞，心烦痛，昏闷，屈伸不便：

升麻　前胡二[10]两半　玄参　地骨皮各一两　羚羊角　葛根各二两　酸枣仁一钱

右为末，每服三钱，水一盏半，煎至八分，去滓，再煎三五沸，食后温服，如行五六里更进一服。

心疝证主心痛

心脉急，小腹有形，心不受邪，必传于腑，故小腹有形，心气逆不顺，当痛不已，当兼必[11]气治，不止为有寒邪所中。

木香散主之。治心疝，小腹痛，闷绝不已者：

木香　陈皮各一两　良姜　乾姜　诃子皮　赤芍药　枳实各半两　草豆蔻　川芎　黑牵[12]各三分[13]

右为末，每服二钱，水一盏，煎至七分，去滓温服。

四圣散：　治肾脏风，并一切癖。

白附子　白蒺藜　黄耆　羌活各等分，生用

右为末，每服二钱，盐汤调下，空心，此[14]日三服。久癖不差，至十日大愈。

---

① 气：宣明论作“主”。
② 聚泄浊：宣明论作“化泄泻”。
③ 消：宣明论作“肠”。
④ 风：宣明论作“气”。
⑤ 疑：宣明论作“凝”。
⑥ 去：宣明论作“云”。
⑦ 胸经：宣明论作“肺邪”。
⑧ 臆：宣明论作“肺”。
⑨ 醋：宣明论此下有“炒”字。
⑩ 二：宣明论作“一”。
⑪ 必：宣明论作“心”。
⑫ 牵：宣明论此下有“牛”字。
⑬ 分：宣明论作“两”。
⑭ 此：宣明论作“一”。

赴筵散：　治口疮不已者。

密陀僧　黄柏　青黛各等分

右同研为细末，每用乾掺于疮上，不经三二日愈。

诃子汤：　治失音不语者。

诃子四个，二个炮，二个生　桔梗一两，一半炒[1]，一半生　甘草二寸，一半炙，一半生

右为细末，每服二钱，用童子小便一盏，同煎至五七沸，温服，甚者不过三服。

杂　外

倒换散：治无眼[2]久新废闷[3]不通，小腹急痛，肛门肿疼。

大黄小便不通减半　荆芥穗大便不通减半。各等分

右件药味，各别为末，每服一二钱，温水调下，临时加减[4]。

败毒散：　治男子往来寒热，妇人产后骨蒸血运。

大黄　黄药子　紫河车　赤芍药　甘草已上各等分

右为末，每服一钱。如发热，冷水下如发寒，煎生姜瓜蒌汤同调下。此药偏治妇人。

东垣试效方

杂　方

燃香病热

戊申春，节使赵君，年几七旬，病身体热麻，股膝无力，饮食有汗，妄喜笑，善饥，痰涎不利，舌强难言，声嗄不鸣，求治于先师。诊得左寸脉洪大而有力，是邪热客于经络之中也。两臂外有数瘢，遂问其故？对以燃香所致。先师曰：君之病皆由此也。夫人之十二经，灌溉通身，终而复始，盖手之三阳，从手表上行于头，加之以火邪，阳并于阳，势甚炽焉，故邪热妄行，流散于周身而为热麻。黄帝锺经四卷口问第一。胃热则虫动，虫动则廉泉开，故涎下；热伤元气，而为沉重无力；饮食入胃，慓悍之气不循常度，故多汗；心火盛，则妄喜笑；脾胃热，则消谷善饥；肺金衰，则声嗄不鸣。仲景云：微数之脉，慎不可灸，焦骨伤筋，血难复也。君奉养以膏粱之味，无故而加以火燔之毒，热伤经络而为此病明矣！内经云：热淫所胜，治以苦寒，佐以苦甘，以甘泻之，以酸收之，当以黄柏、知母之苦寒为君，以泻火邪。壮筋骨，乃肾欲坚，急食苦以坚之。黄芪、生甘草之甘寒，泻热实表；五味子酸，止汗补肺气之不足，以为臣；炙甘草、当归之甘辛，和血润燥，升麻、柴胡之苦平，行少阳阳明二经，自地升天，以苦发之者也，以为佐。咬咀同煎，取清汁服之，更缪刺四肢，以泻诸阳之本，使十二经相接而泻火邪，不旬日良愈，遂名其方：

清神补气汤：

苍术四钱　藁本二钱　升麻六钱　柴胡三钱　五味子一钱半　黄柏三钱　酒知母二钱　陈皮一钱半　黄芪三钱　生甘草二钱　当归二钱

右件锉如麻豆大，每服秤五钱，水五盏，煎至一盏，去滓，空心，候大小便，觉饥时服之，待少时以美膳压之。

人之汗以天地之雨名之

阴阳应象论曰：人之汗，以天地之雨名之。又云：湿盛则霖霪骤注，盖以真气以亏，胃中火盛，汗出不休，胃中真气已竭，若阴火亦衰，无汗皮燥，乃阴中之阳，阳中之阳俱衰，四时无汗，其形不久，湿衰燥旺，理之常也。其形不久者，秋气主杀，生气者，胃之谷气也，乃春少阳生化之气也。张耒夫

---

(1) 炒：宣明论作“炙”。
(2) 眼：宣明论作“闷”。
(3) 废闷：宣明论作“瘫闷”。
(4) 减：宣明论此下有“服”字。

己酉闰二月，尽天寒阴雨，寒湿相杂，因官事饮食失节，劳役所伤，病解之后，汗出不止沾濡，数日恶寒，重添厚衣，心胸间时烦热，头目昏愦上壅，食少减，此乃胃中阴火炽盛，与外天雨之湿气，峻热雨气相合，令湿热大作，汗出不休，兼见风邪以助东方甲乙，风药去其湿，以甘寒泻其热，羌活胜湿汤主之。

炙甘草三分　黄芪七分　生甘草五分　生黄芩　酒黄芩各三分　人参　羌活　防风　藁本　独活　细辛　蔓荆子　川芎各三分　升麻　柴胡各半钱　薄荷一分

右件都作一服，水二大盏，煎至一盏半，细辛以下入轻清肆味，再上火煎至一盏，去滓热服之，一服而止，诸证悉去。

阴痿阴汗及臊臭

阴痿阴汗及臊臭论

一富者，前阴臊臭，又因连日饮酒，腹中不和，求先师治之。曰：前阴者足厥阴肝之脉络，阴气[1]出其挺末。夫臭者，心之所主，散入五方，为五臭，入肝为臊臭，此其一也，当于肝经中泻行间，是治其本，后于心经中泻少冲，乃治其标，如恶针，当用药除之。夫酒者，气味俱厚，能生里之湿热，是风湿热合于下焦为邪。故经云：下焦如渎。又云：在下者，引而竭之。酒是湿热之水，亦宜决前阴以去之，是合下焦二法之治。

龙胆泻肝汤：　治阴部时复湿兰室秘藏作热。痒及臊臭。

柴胡秘藏柴胡梢　泽泻各一钱　车前子　木通各半钱　生地黄　当归尾　草龙胆各三分

柴胡入肝，为引用；泽泻、车前子、木通淡渗之味，利小便以降[2]臊臭，是名在下者用[3]而竭之；生地黄、草龙胆苦寒，泻酒湿热，更兼车前子之类以彻肝中邪气；肝主血，以当归尾滋肝中血不足。

右件，咬咀如麻豆大，都作一服，水三大盏，煎至一盏，去滓，稍热空心宿食消尽服之，更以美膳压之。

清震汤：　治溺黄臊臭淋漓，两丸如冰，阴汗浸及两股，阴头亦冷，正值十二月，天寒凛冽，霜雪交集，寒之极矣。

升麻半钱　甘草炙，二分　柴胡五分　酒黄柏一钱　苍术半钱　藁本二分　防风二分　当归身二分　红花一分　猪苓三分　羌活一钱　麻黄根二分　黄芩半钱　泽泻四分

右件，咬咀如麻豆大，都作一服，水二大盏，煎至一盏，去滓，临睡服。大忌酒湿面。兰室秘藏同。

正元汤：兰室秘藏名固真汤　治两丸冷，前阴痿弱，阴汗如水，小便后有余滴，尻臀并前阴冷，恶寒而喜热，膝亦冷。

升麻　羌活一钱　柴胡一钱　炙甘草一钱半　草龙胆二钱　秘藏一钱半　黄柏二钱　泽泻一钱半　知母二钱

右件，锉如麻豆大，都作一服，水三盏，秘藏分作二服，水二盏。煎至一盏，去滓，稍热空心服之，以早饭压之。

柴胡胜湿汤：兰室秘藏名清魂汤。　治两外肾冷，两髀枢[5]阴汗，前阴痿，阴囊湿痒臊气。

生甘草二钱　柴胡一钱　秘藏二钱　酒黄柏[6]□钱　当归尾一钱　红花少许　草龙胆　麻黄根　羌活　汉防己各一钱　五味子三个　秘藏二十个　升麻一钱半　泽泻一钱半　茯苓一钱

右件，锉如麻豆大，都作一服，水三大盏，秘藏分作二服，水二盏。煎至一盏，去粗温服，食前。忌酒湿面房事。

椒粉散：　治前阴两丸湿痒痛，秋冬甚，夏月减。

麻黄一钱　黑狗脊半钱　班猫二个　肉桂[7]□分　当归身三分　轻粉少许　小椒三分　蛇床子半钱　猪苓三分　红花少许

1　阴气：兰室秘藏作“循阴器”。
2　降：兰室秘藏作“除”。
3　用：兰室秘藏作“引”。
4　胡：兰室秘藏此下注有“以上各”三字。
5　枢：兰室秘藏无此字。
6　柏：此下注文脱字，兰室秘藏作“二”。
7　桂：此下注文脱字，兰室秘藏作“二”。

右件为细末，乾掺上，避风寒湿冷处坐卧。兰室秘藏同。

补肝汤：　治前阴如冰冷并阴汗，两脚痿软无力。

黄芪七分　人参三分　葛根三分　升麻四分　柴胡　羌活　当归身　连翘　炒黄柏　泽泻　苍术　曲末　知母　防风各二分　炙甘草半钱　陈皮二分　白茯苓三分　猪苓四分

右件，锉如麻豆大，都作一服，水二盏，煎至一盏，去滓，稍热服，空心食前。忌酒湿面。兰室秘藏同。

温肾汤：　治面色痿黄，脚痿弱无力，阴汗，阴茎有夭色。

麻黄[1]六分　防风一钱半　白术一钱　泽泻二钱　猪苓一钱　白茯苓一钱　升麻一钱　柴胡六分　酒黄柏一钱　苍术一钱半

右件，分作二服，水二大盏，煎至一盏，去滓，稍热服，食前，天晴明服之，候一时辰方食。兰室秘藏同。

丁香疝气丸：兰室秘藏名延胡丁香丸。治脐下撮急疼痛，并脐已下周身皆急痛，小便频清[2]，其五脉急，独肾按乏[3]不急，皆虚无力，名曰肾疝。

当归　茴香各一钱　秘藏各二钱　甘草　木香各半钱　全蝎十三个　羌活三钱　防己三分　麻黄根节　玄胡各一钱　丁香半钱　肉桂一钱　川乌头半钱

右件为细末，酒煮面糊丸，如鸡头仁大，每服五十丸，温酒送下，淡盐汤亦得，空心。

兰室秘藏

杂　病

补气汤：　治皮肤间有麻木，乃肝气不行故也。

白芍药　橘皮不去白。已上各一两五钱　炙甘草　黄芪已上各一两　泽泻五钱

右咬咀，每服一两，水二盏，煎至一盏，去滓温服。拔粹方同。

小黄丸：　化痰涎，和胃气除湿，治胸中不利。

黄芩一两　半夏汤浸、姜制　白术已上各五钱　陈皮　青皮去白　黄芪已上各三钱　泽泻二钱　乾姜一钱五分

右为末，汤浸，饭饼为丸，如绿豆大，每服五十丸，食远温水下。

黄芩利膈丸：　除胸中热，利膈上痰。

生黄芩　炒黄芩已上各一两　半夏　黄连　泽泻已上各五钱　南星　枳壳　陈皮已上各三钱　白术二钱　白矾五分

右为末，汤浸，饭饼为丸，如梧桐子大，每服三五十丸，食远温水下。忌酒湿面。

补益肾肝丸：　治目中流火，视物昏花，耳聋耳鸣，困倦乏力，寝汗恶风，行步不正，两足欹侧，卧而多惊，脚膝无力，腰以下消瘦。

柴胡　羌活　生地黄　苦参炒　防己炒。已上各五分　附子　肉桂已上各一钱　当归身三[4]钱

右为细末，热水为丸，如鸡头仁大，每服五十丸，食前温水下。

太阳经嚏药：

防风二分　羌活三分　红豆二个

右为细末，鼻内嚏之。

麻黄茱萸汤：　治胸中痛，头痛，食减少，咽嗌不利，右寸脉弦急。

麻黄　羌活已上各五分　吴茱萸　黄芪　升麻已上各三分　黄芩　当归　黄柏　藁本已上各二分　川芎　蔓荆子　柴胡　苍术　黄连　半夏已上各一分　细辛少许　红花少许

右锉如麻豆大，都作一服，水二盏，煎

(1) 麻黄：兰室秘藏作“麻黄根”。
(2) 清：兰室秘藏作“数”。
(3) 乏：兰室秘藏作“之”。
(4) 三：兰室秘藏作“二”。

至一盏，去粗稍热服，食后。

黄芪汤：　治表虚恶风寒。

黄芪五钱　甘草三钱　香白芷二钱五分　藁本　升麻已上各二钱　草豆蔻　橘皮已上各一钱五分　麻黄　当归身已上各一钱　莲花青皮七分　柴胡六分　黄柏少许

右咬咀，每服五钱，水二盏，煎至一盏，去粗，不拘时候。

御药院方

杂　病

暖手法：

针砂四两　硇砂研，三⑤钱

右同研匀，以醋或水拌令湿，用油纸裹之，成⑥在袋儿内，任意执之，冷即再拌。

代灸膏：

大附子炮　木香　吴茱萸炒　马蔺子　桂　蛇床子各等分

右为细末，每用药半匙，白面半匙，以生姜汁同煎成膏，以方元三寸，纸花子上摊，贴在脐下，油子隔之，棉衣裹，自晚至明，一傅胜百壮，如腰痛腰上贴子。

五生膏：　治寒湿客于经络，留结不散，疼痛不止。

生附子去皮脐，半两　当归　吴茱萸　桂　木香各半两

右为细末，每用药末三钱，取生姜自然汁调如膏，摊于蜡纸上，贴痛处，乾即更易新者，上用棉子或软帛系定。

趁痛丸：　治风毒，留客日深，气虚邪实，攻系⑦不定，走注疼痛。

大戟刮去皮　甘遂　白芥子各一两　大麦面一两，并前三味末拌和作饼子，慢火炙黄熟，再为细末

右除大麦面一两外，碾罗为细末，与大麦面拌和令匀，周⑧薄面糊为丸，如梧桐子大，每服十丸，渐加至十五丸，空心，用冷酒送下。

参归汤：　补气血俱不足。

黄芪七①分　甘草　生地黄已上各五分　柴胡　草豆蔻仁　升麻已上各五②分　当归身三分　熟地黄　人参已上各四③分　益智仁少许　红花少许

右锉麻豆如大④，都作一服，水二盏，煎至一盏，去粗，食远服。

神枕法：并序叙曰：昔太山下老翁者，失其名字，汉武东巡，见老翁锄于道，背上有白光高数尺，帝怪而问之，有道术否？老翁对曰：臣昔年八十五时，衰老垂死，头白齿落，有道士者教臣服枣饮水绝谷，并作神枕法，中有三十二物，其三十二物中二十四物善，以当二十四气，其八物毒，以应八风，臣行转少，黑发更生，堕齿复出，日行三百里，臣今年一百八十矣，不能弃世人⑨山，顾恋子孙，复还食谷，又已二十余年，犹得神枕之力，往不复老。武帝视老翁颜壮当如五十许人，验问其邻人，皆云信然。帝乃从受其方，作枕而不能随其绝谷饮水也。方用五月五日，七月七日，取山林柏以为枕，长一尺二寸，高四寸，空中容一斗二升，以柏心赤者为盖，厚二分，盖致之令密，又当使可开闭也，又钻盖上为三行，行四十九孔，凡一百二十孔，令容粟米大，其用药：

芎藭　当归　白芷　辛荑　杜衡　白术　藁本　木兰　蜀椒　桂　乾姜　防风　人参　桔梗　白薇　荆实一云牡荆实　肉苁蓉　飞廉

---

① 七：兰室秘藏作“十”。
② 五：兰室秘藏作“四”。
③ 四：兰室秘藏作“二”。
④ 麻豆如大：兰室秘藏作“如麻豆大”。
⑤ 三：御药院方作“一”。
⑥ 成：御药院方作“盛”。
⑦ 系：御药院方同，普济方卷九十八诸风门作“击”。
⑧ 周：御药院方同，普济方卷九十八诸风门作“用”。
⑨ 人：御药院方作“入”。

柏实　薏苡仁子　款冬花　白冲　秦椒　蘼芜已上二十四味

以应二十四气，后加入八味毒者，以应八风。

乌头　附子　藜芦　皂角　芮草　礬石　半夏　细辛

右三十二物各一两，皆咬咀，以毒药上安之满，枕中用囊，以枕百日，面有光泽，一年，体中所疾及有风疾，一一皆愈差，而身尽香。四年白发变黑，齿落重生，耳目聪明，神方验秘不传，非其人也。藁本是老芎劳母也。武帝以问东方朔，答云：昔女廉以此方传玉青，玉青以传广成子，广成子以传黄帝，近者谷城道士淳于公枕此药枕耳，百余岁而头发不白，夫病之来，皆从阳脉起，今枕药枕，风邪不得侵人矣。又虽布囊衣枕，犹当复以帏囊重包之，须欲卧枕时，乃脱去之耳。诏赐老翁匹帛，老翁不受，曰：臣之于君，犹子之于父也，子知道[1]以上之于父，义不受赏，又臣非卖道者，以陛下好善，故进此耳，帝止而更赐诸药。

犀角散：　治风寒暑湿毒气攻注，经脉凝涩，畜于筋骨经隧之间，或在四肢，肉色不变，发作连骨髓痛，乍歇乍作，或昼静夜发，去来不常，并宜服之。

犀角锉　当归　白芍药各二两　牛膝酒浸一宿　沉香　木香　虎头骨酥炙。各四两　槲叶脉二大握　麝香半两

右件除麝香外，咬咀，每用药一两，水三盏半，煎至一盏半，滤取清汁，内麝香抄半钱，搅匀，放温服，食前，日进三服。

擒虎散：　若有前证，或脏腑稍实，宜间服擒虎散三二服，疏导肠胃中涩滞郁积毒气。

没药　当归　黑牵牛生　大黄各一两　甘草生，一钱

右为粗散，每服五钱匕，用皂角刺七个捶破，隔宿，以酒一升浸之，来日取酒一盏，更加水一盏，内栝楼子七粒，同煎至十分，去滓，取及盏内八分许，放温服，远以后服，以利为度。

蒴藋散：　治荣卫不顺，气血偏虚，风寒湿气攻注，脚膝疼痛。

蒴藋　吴茱萸　顽荆　黄耆　防风　防己各四两　踯躅花　白独活　荆芥穗　藁本各二两

右件为粗末，都入水半碗，葱白二七茎，细锉，木瓜半个，掇碎，拌令匀，分作三分，每用药一分于铫内，慢火炒令通热，用绵帛二重裹药，熨引痛处，如觉药微冷，依前别炒，余药更换熨之，三剂必减。

淋渫乌头散：　治一切顽痹不仁，及筋骨疼痛挛急。

泽乌头生用，不去皮　木鳖子去壳　白芥子　鳖甲去裙襕。各一两　杏仁生用，不去皮，一百个

右为粗末，都作一次，用水三大碗，煎数沸，去滓，乘热淋渫患处，冷即再暖热，依前淋渫三五遍，其药无力不用。

无碍丸：　治脾病横泄四肢。

大腹皮二两　蓬莪茂　京三棱皆湿纸裹煨熟。各一两　木香面裹煨熟，半两　槟榔生，一两　加郁李人汤浸去皮，一两

右为细末，炒夹[2]糵，捣粉为糊和丸，如梧桐子大，每服二十丸，生姜汤下，不计时候。

引水散：　治小水秘涩不快，或不通，及肿满脚气，一切湿证。

石燕子一双，醋碎　海马　海蛤　滑石　琥珀　赤茯苓　川木通　通草　越桃炒，系山栀子仁　泽泻　猪苓去黑皮　车前子微炒　茴香微炒　薏麦穗　萹蓄　苦葶苈纸衬炒　忘忧根　木香　白丁香　鬼棘针已上各一两

右件二十味，除石燕子、海马外，各一两，同为粗散，每服五钱，水一盏半，灯心三十茎，同煎取清汁八分，内麝香一字拌匀，放温，食前服，麝香少许亦可。

1　道：御药院方此下有“道”字。
2　夹：御药院方作“麦”。

寻痛丸：　走饮湿已后，宜用袭经络除疼痛。

骝间皮 烧存性、一两半　皂角子仁 二两，炒　当归 去芦头，炒　乳香 另研　没药 另研　川山甲 已上四味各一两　木香 半两　射香 二两，另研

右件同为细末，酒煮面糊和丸，如梧桐子大，每服五十丸，不拘时候，温酒下，或木瓜汤下亦得。

代茶新饮：

黄耆　通草 各二斤　茯苓　乾姜　桑根白皮　干葛 各一斤　鼠粘根 三斤，湿加一斤　生乾地黄　枸杞根 洗　忍冬 十二月采枝茎叶，阴乾，湿加五两　薏苡仁 各十一两　菝葜 六两　麦门冬 去心　萎蕤 各五两

右一十四味，并拣择取州土坚实上者，刮削如法，然后秤大斤两，各各别捣，以马尾罗子筛之，不用细，搅令匀调，重筛，务令相入，不令偏并，别取黄白楮皮、白皮根相兼，细切者，取浓汁和搜，令硬软得所，更于臼中捣，别作一竹卷子，阔阔二寸半，厚二分以下，临时斟量大小厚薄作之，此亦无定，众手依模捻作饼子，中心穿孔，日暴乾，百余饼为一穿，即以葛蔓为绳贯之，竹作篾亦得，阳挂之通风阴处妙。若须煮用，以炭火上炙令香熟，勿令焦，臼中捣末，任随时取足，煎以代茶，大都浓薄量之，著小盐煮之，频扬之，即滑美，著盐、橘皮、荜拨亦佳。除风破气，理丹石，补腰脚，聪耳明目，坚肌长肉，缓筋骨，通腠理，头脑闭闷，眼睛疼痛，心虚脚弱，不能行步，其效不可言。若患脚气、肺气、疝气、咳嗽，入口即愈。患消中消渴尤验，主疗既多，不复一一具说，但服之立取其验。禅居高士，持宜多饮，畅藏府，调适血脉，少服益多心力，无劳饥饱，饮之甚良。若腊月腊日合之，十年不败。

荆芥散：　治肺壅脑热，鼻渊不止。

荆芥穗　藿香叶 各一两　芎劳 二两　莎草根 沙去毛，二两　石膏 研如粉，一两半　龙脑 研，一钱

右件为细末，每服三钱，食后荆芥汤调下。

藏灵仙丸：　宣通五脏，去腹内冷滞，心膈痰水，久积癥瘕，痃癖气块，膀胱冷，脓恶水，腰膝冷疼，但是腰脚肿痛麻痹，皆可治之。

藏灵仙 生用

右为细末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服三十丸，渐加至五十丸，温酒送下，食前。忌茶。

白莲散：　治瘢黡，及或彫青，或肌肉内破，用纸灰烙，以纸灰渍入肉中不去，便似彫青不去，宜用此药。

花臧 二钱　桑柴灰 炒，一钱　风化石灰 半钱　糯米 三钱

右将药一处成[1]在小瓷罐儿内，上用瓦盖口，用黄泥固济，以文武火焙定，半时取出药，用乳钵研令极细，每用，先用针尖拨过黡子，用药少许乾贴。忌油腻物及当风行立。

熏蒸方：　治肾气衰少，脾肾肝三经受于寒湿，停于腿膝，使经络凝而不行，变成脚痹，故发疼痛，此药能和荣卫，通经络。

小麦麸 约四五升　小椒 一把　盐 二[2]把　葱白 三大茎寸，切　酒 一盏　醋 不计多少，搅拌上件麸等湿润为度

右件以银器炒令极热，摊卧褥下，将所患腿脚就卧熏蒸，薄衣被盖，得汗出匀遍，约半个时辰彻去炒麸，止就铺褥中卧，待一二时辰以来，觉汗稍解，再用收阳粉扑傅汗孔毕，然后出铺卧中，勿见风。

1　成：御药院方作“盛”。
2　盐：此下注文脱字，普济方卷一百八十七作“　”。

澹轩方

铁扫帚汤方：

木香一两，不见火　白豆蔻一两，不见火　缩纱仁一两，不见火　丁香如前　橘红一两，去穰　青皮二两，去穰　香附末二两，炒　干荸荠二两，炒　堂球二两，炒　粉草二两，炙　半夏曲半两，炒黄

右为细末，二钱盐汤下，不以时。

肘后方

治百病备急丸散膏诸要方

裴氏五毒神膏：　疗中恶暴百病方。

雄黄、朱砂、当归、椒各二两，乌头一升，薤白一升，以苦酒渍一宿，猪脂五斤，东面陈芦，煎五上五下，绞去滓，内雄黄、朱砂末，搅令相得毕，诸卒百病，温酒服如枣核一枚，不差更服，得下即除。四肢有病可摩，痈肿诸病疮皆摩傅之，夜行及病冒雾露，皆以涂人身中佳。

效方并疗时行温疫，诸毒气毒恶核金疮等。苍梧道士陈元膏疗百病方：

当归、天雄、乌头各三两，绌[1]辛、芎藭、朱砂各二两，乾姜、附子、雄黄各二两半，桂心、白芷各一两，松脂八两，生地黄二斤，捣绞取汁，十三物别捣，雄黄、朱砂为末，余㕮咀，以酦苦酒三升，合地黄渍药一宿，取猪脂八斤，微火煎十五沸，白芷黄为度，绞去滓，内雄黄、朱砂末，搅令稠和，密器贮之。腹内病皆对火摩病上，日二三度，从十日乃至二十日，取病出差止。四肢肥肉风瘅，亦可酒温服之如杏子大一枚。

主心腹积聚，四肢痹躄，举体风残，百病效方。

华佗虎骨膏：　疗百病。

虎骨、野葛各三两，附子十五枚，重九两，椒三升，杏仁、巴豆去心皮、芎藭切各一升，甘草、细辛各一两，雄黄二两，十物苦酒渍周时，猪脂六斤，微煎三上三下，完附子一枚，视黄为度，绞去滓，乃内雄黄，搅使稠和，密器贮之。百病皆摩傅上，唯不得入眼，若服之，可如枣大，内一合热酒中，须臾后，拔白发以傅处即生乌，诸疮毒风肿及马鞍疮等，洗即差，牛领亦然。

蛇衔膏：　疗痈肿、金疮、瘀血、产后血积、耳目诸病、牛领马鞍疮方。

蛇衔、大黄、附子、当归、芍药、细辛、黄芩、椒、莽草、独活各一两，韭白十四茎，十一物苦酒淹渍一宿，猪脂三升，合煎于七星火上各沸，绞去滓，温酒服如弹丸一枚，日再，病在外摩傅之，耳以绵裹塞之，目病如黍米注眦中，其色缃黄，一名缃膏。人又用龙衔藤一两合煎，名为龙衔膏。

扁鹊陷冰丸：　疗内胀病，并蛊疰中恶等，及蜂、百毒、溪毒、射工。

雄黄、真丹砂别研、矾石熬各一两，将生矾石三两半烧之，鬼臼一两半，蜈蚣一枚，赤足者小炙，斑猫去翅足，龙胆、附子炮各七枚，藜芦七分炙，杏仁四十枚去尖皮熬，捣筛蜜和，捣千杵。腹内胀病，中恶邪气，飞尸游走，皆服二丸如小豆；若积聚坚结，服四丸，取痢，泄下虫蛇五色；若蛊注病，中恶邪，飞尸游走，皆服二三丸，以二丸摩痛上；若蛇蜂百病，若中溪毒、射工，其服者，视强弱大小，及病轻重加减服之。

神明白膏：　疗百病，中风恶气，头面诸病，青盲，风烂眦鼻，耳聋，寒齿痛，痈肿、疽痔、金疮、癣疥悉主之。

---

① 绌：肘后备急方作“细”。

当归、细辛各三两，吴茱萸、芎藭、蜀椒、术、前胡、白芷各一两，附子三十枚，九物切，煎猪脂十斤，炭火煎一沸即下，三上三下，白芷黄膏成，去滓密贮。看病在内，酒服如弹丸一枚，日三；在外皆摩傅之；目病，如黍米内两眦中，以目向天，风可扇之；疮虫齿，亦得傅之；耳内底著亦疗之；缓风冷者宜用之。

成膏：

清麻油十三两，菜油亦得，黄丹七两，二物铁铛文火煎，粗①□柳批篦搅不停，至色黑，加武火，仍以扇扇之，搅不停，烟断②□尽，看渐稠膏成。煎须净处，勿令鸡犬见。齿疮帖，痔疮服之。

药子一物方：

婆罗门，胡名船疏树子，国人名药子，用药疗病，唯须细研，勿令粗，皆取其中仁，去皮用之。

疗诸疾病方：　卒得吐泻霍乱，蛊毒，脐下绞痛，赤痢，心腹胀满，宿食不消，蛇螯毒入腹，被毒箭入腹，并服二枚，取药子中仁，暖水二合，研碎服之。疽疮、附骨疽肿、丁疮、痈肿此四病，量疮肿大小，用药子中仁，暖水碎，和猪胆封上。疖、肿、冷游肿、癣疮，此五病，用醋研封上。蛇螯、恶毛、蝎、蜈蚣等螫、沙虱、射工，此六病，用暖水研，赤苋和封之。妇人难产后，腹中绞痛，及恶露不止，痛中瘀血下，此六病，以一枚，一杯酒研，温服之。带下、暴下，此二病，以栗汁研，温服之，龋虫食齿，细削内孔中，立愈。其捣末筛，著疮上，甚主肌肉，此法出支家太医本方。

服盐方：　疗暴得热病，头痛目眩，并卒心腹痛，及欲霍乱，痰饮宿食，及气满喘息，久下赤白，及积聚吐逆，乏气少力，颜色痿黄，瘴疟，诸风。其服法取上好盐，先以大豆许口中含，勿咽，须臾水当满口，水近齿，更用方寸匕抄盐内口中，与水一时咽，不尒，或令消尽，喉若久病，长服者，至二三月，每旦先服，或吐或③安。击④卒病，可服三方寸匕，取即吐痢，不吐病⑤痢，更加服。新患疟者⑥即差。心腹痛及满，得吐下亦佳。久病，每上以心中热为善，三五日亦服佳，加服取吐痢，痢不损人，久服大补⑦。豚肾气五石，无不差之病，但恨人不服，不能久取⑧，此疗方⑨不一。小品云：卒心痛鬼气，宿食不消，霍乱气满中毒，咸作汤，服一二升，剌⑩便吐之良。

葛氏常备药：

大黄、桂心、甘草、乾姜、黄连、椒、术、吴茱萸、熟艾、雄黄、犀角、麝香、菖蒲、人参、芍药、附子、巴豆、半夏、麻黄、柴胡、杏仁、葛根、黄芩、乌头、秦胶等，此等药并应各少许，以前诸药，固以大要岭南使用，仍开⑪者，今复疏之，众药并成剂药，自常和合，贮此之备，最先于衣食耳。

常山十四两，蜀漆、石膏一斤，阿胶、七两，牡蛎、朱砂、大青各十两，鳖三枚，鲮鲤甲一斤，乌贼鱼骨、马蔺子一大升，蜀升麻十四两，槟榔五十枚，龙骨、赤石脂、羚羊角三枚，橘皮、独活，其不注两数者，各四两，用芒消一升良。

成剂药：

金牙散、玉壶黄丸、三物备急药、紫雪、丹参、芮草膏、玉黄丸、度瘴散、末散、理中散、痢药、丁肿药，其有侧注者，随得一种为佳。

老君神明白散：　术、附子炮各二两，乌头炮，桔梗二两，细辛一两，捣筛，旦服五方寸匕。若一家有药，则一里无病，带行

---

① 粗：此下脱字，肘后备急方作“湿”。
② 断：此下脱字，肘后备急方作“绝”。
③ 或：肘后备急方作“即”。
④ 击：肘后备急方作“急”。
⑤ 病：肘后备急方作“不”。
⑥ 者：肘后备急方作“服”。
⑦ 补：肘后备急方此下有“奔”字。
⑧ 取：肘后备急方作“服”。
⑨ 方：肘后备急方作“治”。
⑩ 剌：肘后备急方作“当”。
⑪ 开：肘后备急方作“需”。

者，所遇病气皆削。若他人得病者，温酒服一方寸匕；若已四五日者，以散三匕，水三升，煮三沸，服一升，取汗即愈。

张仲景三物备急丸：　司空裴秀为散，用疗心腹诸疾，卒暴：百病。

用大黄、乾姜、巴豆各一两，须精新好者，捣筛，蜜和，更捣一千杵，丸如小豆，服三丸，老小斟量之，为散不及丸也。若中恶客忤，心腹胀满，卒痛，如锥刀刺痛，气急口噤，停尸卒死者，以暖水苦酒服之；若不下，捧头起，灌令下喉，须臾差，未知，更与三丸，腹当鸣转，即吐下，便愈；若口已噤，亦须折齿灌之，药入喉即差。

崔氏海上集云：威灵仙去众风，通十二经脉，此药朝服暮效，疏宣五脏冷脓宿水变病，微利不泻。人服此，四肢轻健，手足温暖，并得清凉，时商州有人，患重足不履地，经十年不差，忽遇新罗僧见云：此疾有药可理，遂入山求之，遣服数日，平复后，留此药名而去。此药治丈夫妇人中风不语，手足不随，口眼㖞斜，筋骨节风，胎风、头风、暗风、心风、风狂人。伤寒头痛，鼻清涕，服经二度，伤寒即止。头旋目眩，白癜风，极治大风，皮肤风痒，大毒、热毒、风疮，深治劳疾，连腰骨节风，绕腕风，言语涩滞，痰积，宣通五脏，腹内宿滞，心头痰水，膀胱宿脓，口中涎水，好吃茶滓，手足顽痹，冷热气壅，腰膝疼痛，久立不得，浮气瘴气，憎寒壮热头痛尤甚，攻耳成脓而聋。又冲眼赤，大小肠秘，服此立通，饮食即住。黄疸、黑疸，面无颜色，瘰疬遍项，产后秘涩，暨腰痛，曾经损坠心痛，注气膈气，冷气攻冲，肾藏风壅，腹肚胀满，头面浮肿，注毒，脾肺气痰热，咳嗽气急，坐卧不安，疥癣等疮，妇人月水不来，动经多日，血气冲心，阴汗盗汗，鸦臭秽甚，气息不堪，勤服威灵仙，更用热汤尽日频洗，朝涂。若唾，若治鸦臭，药自涂身上，内外涂之，当得平愈。孩子无辜，令母含药灌之。痔疾秘涩，气痢绞结，并皆治之。威灵仙一味，洗焙为末，以好酒和令微湿，入在竹筒内，牢塞口，九蒸九暴，如乾，添酒重洒之，以白蜜和为丸，如桐子大，每服二十至三十丸，汤酒下。

千金方当以五月五日午时，附地刈取藁耳叶，洗曝燥，捣，下筛，酒若浆水，服方寸匕，日三夜三，散若吐逆，可蜜和为丸，准计一方匕数也。风轻易治者，日再服；若身体有风处，皆作粟肌出，或如麻豆粒，此为风毒出也，可以针刺溃去之，皆黄汁出乃止。五月五日，多取阴乾，著大瓮中，稍取用之，此草辟恶，若欲省病，省疾者，便服之，令人无所畏。若时气不和，举家服之。若病胃胀满，心闷发热，即服之，并杀三虫肠痔，能进食，一周年服之佳。七月七、九月九可采用。

卫生宝鉴

脐寒治验

征南副元帅大忒木儿，年六旬有八，戊午秋征南，予从之，过场[1]州十里，时仲冬，病自利完谷不化，脐腹冷疼，足脐寒，以手搔之不知痛痒，尝烧石以温之，亦不得暖，予诊之，脉沉细而微，予思之，年高气弱，深入敌境，军事烦冗，朝暮形寒，饮食失节，多饮乳酪，履于卑湿，阳不能外固，由是清湿袭虚，病起于下，故脐寒而逆。内经云：感于寒而受病，微则为咳，盛则为泄为痛，此寒湿相合而为病也，法当急退寒湿之邪，峻补其阳，非灸不能病已。先以大艾炷于气海灸百壮，补下焦阳虚，次灸三里二穴，各

① 场：卫生宝鉴作“扬”。

三七壮，治脐寒而逆，且接引阳气下行，又灸三阴交二穴，以散足受寒湿之邪。遂处方云：寒淫所胜，治以辛热，湿淫于外，平以苦热，以苦发之。以附子大辛热助阳退阴，温经散寒，故以为君；乾姜、官桂，大热辛甘，亦除寒湿，白术、半夏，苦辛温而燥脾湿，故以为臣；人参、草豆蔻、炙甘草，甘辛大温，温中益气；生姜大辛温，能散清湿之邪，葱白辛温，以通上焦阳气，故以为佐。又云：补下治下制以急，急则气味厚。故大作剂服之，不数服泻止痛减，足胫渐温，调其饮食，逾十日平复。明年秋过襄阳，值霖雨，阅旬余，前证复作，再依前灸添阳辅，各灸三七壮，再以前药投之，数服良愈。

加减白通汤：　治形寒饮冷，大便自利，完谷不化，脐腹冷痛，足胫寒而逆。

附子炮，去皮脐　乾姜炮。各一两　官桂去皮　甘草炙　半夏汤炮七次　草豆蔻面裹煨　人参　白术各半两

右八味㕮咀，每服五钱，水二盏半，生姜五片，葱白五茎，煎一盏三分，去柤，空心，宿食消尽温服。气海一穴，在脐下一寸五分，任脉所发。三里二穴，在膝下三寸，胫外廉两筋间，举足取之，足阳明脉所入合也，可灸三壮，针入五分。三阴交二穴，足内踝上三寸，骨下陷中，足太阴少阴厥阴之交会，可灸三壮，针入三分。髓会绝骨。针经云：脑髓消，胫酸耳鸣。绝骨在外踝上辅骨下，当胫中是也，髓会之处也。洁古老人云：头热如火，足冷如冰，可灸阳[1]可灸阳辅穴。又云：胫酸冷，绝骨取之。阳辅二穴，在足外踝上四寸，辅骨前绝骨端，如前三分，去丘墟七寸，足少阳脉之所行也，可灸三七壮，针入五分。由是副帅疾愈，以医道为重，待予弥厚。

肝胜乘脾

具[2]定路总管刘仲美，年逾六旬，宿有脾胃虚寒之证，至元辛巳闰八月初，天气阴寒，因官事劳役，渴而饮冷，夜半自利二行，平旦召予诊视，其脉弦细而微，四肢冷，手心寒，唇舌皆有褐色，腹中微痛，气短而不思饮食，予思内经云：色青者肝也。肝属木，唇者脾也，脾属土，木来克土，故青色见于唇也。舌者心之官[3]，水挟木势，制火凌脾，故色青见于舌也。难经有云：见肝之病，则知肝当传之于脾，故先实其脾气，令脾已受肝之邪矣。洁古先师云：假令五脏胜，各刑已胜，补不胜而泻其胜，重实其不胜，微泻其胜，而以黄芪建中汤加芍药附子主之。且芍药味酸，泻其肝木，微泻其胜，黄芪、甘草，甘温补其补[4]土，是重实其不胜；桂附辛热，泻其寒水，又助阳退阴；饴糖甘温，补脾之不足，肝苦急，急食甘以缓之；生姜、大枣辛甘大温，生发脾胃升腾之气，行其荣卫，又能缓其急，每服一两，依法水煎服之，再服而愈。黄芪建中汤，妇人门内有，不录，于方中倍芍药，量虚实加附子。

上热下寒治验

中书右丞姚公茂，六旬有七，宿有时毒，至元戊辰春，因酒再发，头面赤肿而痛，耳前后肿尤甚，胸中烦闷，咽嗌不利，身半以下皆寒，足胫尤甚，由是以床相接作炕，身半以上卧于床，身半以下卧于炕，饮食减少，精神困倦而体弱。命予治之，诊得脉浮数，按之弦细，上热下寒，明矣！内经云：热胜则肿。又曰：春气者病在头。难经云：畜则肿热，砭射之也。盖取其易散故也，遂于肿上约五十余刺，其血紫黑如露珠之状，顷时肿痛消散。又于气海中大艾炷灸百壮，乃助下焦阳虚，退其阴寒，次于三里二穴，各灸三七壮，治足胫冷，亦引导热气下行故也，遂处一方，名曰既济解毒汤，以热者寒之，然病有高下，治有远近，无越其制度。以黄

① 可灸阳：卫生宝鉴无此三字。
② 具：卫生宝鉴作“真”。
③ 官：卫生宝鉴作“苗”。
④ 补：卫生宝鉴作“脾”。

芩、黄连苦寒，酒制炒亦为因用，以泻其上热，以为君；桔梗、甘草辛甘温上升，佐诸苦药，以治其热；柴胡、升麻苦平，味之薄者，阴[1]中之阳，散发上热，以为臣；连翘苦辛平，以散结消肿；当归辛温，和血止痛；酒煨大黄苦寒，引苦性上行至巅，驱热而下，以为使。投剂之后，肿消痛减，大便利，再服减大黄，慎言语，节饮食，不旬日良愈。

既济解毒汤：　治上热，头目赤肿而痛，胸膈烦闷，不得安卧，身半以下皆寒，足胫尤甚，大便微秘。

大黄酒煨[2]，大便利勿服　黄连酒制炒　黄芩酒制炒　甘草炙　桔梗各一两[3]　柴胡　升麻　连翘　当归身各一钱

右㕮咀，作一服，水二盏，煎至一盏，去粗，食后温服。忌酒湿面大料物，及生冷硬物。

阴黄治验

至元丙寅六月，时雨霖霪，人多病瘟疫，真定韩君祥，因劳役过度，渴饮凉茶，及食冷物，遂病头痛，肢节亦疼，身体沉重，胸满不食，自以为外感伤，用通圣散两服，药后添身体困甚，方命医治之，医以百解散发其汗，越四日，以小柴胡汤二服，后加烦热躁渴，又六日，以三一承气汤下之，躁渴尤甚，又投白虎加人参柴胡饮子之类，病愈增，又易医，用黄连解毒汤、朱砂膏、至宝丹之类，至十七日后，病势转增传变，身目俱黄，肢体沉重，背恶寒，皮肤冷，心下痞硬，按之而痛，眼涩不欲开，目睛不了了，懒言语，自汗，小便利，大便了而不了，命予治之，诊其脉紧细，按之虚空，两寸脉短不及本位，此证得之因时热而多饮冷，加以寒凉药过度，助水乘心，反来侮土，先囚其母，后薄其子。经云：薄所不胜乘所胜也，时直霖雨，乃寒湿相合，此为阴证发黄明也！予以茵陈附子乾姜汤主之。内经云：寒淫于内，治以甘热，佐以苦辛；湿淫所胜，平以苦热，以淡渗之，以苦燥之。附子、乾姜辛甘大热，散其中寒，故以为主；半夏、草豆蔻辛热，白术、陈皮苦甘温，建脾燥湿，故以为臣；生姜辛温以散之，泽泻甘平以渗之，枳实苦微寒，泄其痞满，茵陈苦微寒，其气轻浮，佐以姜附，能去肤腠间寒湿而退其黄，故为佐使也。煎服一两，前证减半，再服悉去，又与理中汤服之，数日气得平复。或者难曰发黄皆以为热，今暑隆盛之时，又以热药治之何也？予曰：理所当然，不得不然。成无己云：阴证有二：一者始外伤寒邪，阴经受之，或因食冷物伤太阴经也；二者始得阳证，以寒治之，寒凉过度，变阳为阴也。今君祥因天令暑热，冷物伤脾，过服寒凉，阴气大胜，阳气欲绝，加以阴雨寒湿相合，发而为黄也。仲景所谓当于寒湿中求之。李思须云：解之而寒凉过剂，泻之而逐寇伤君，正以此也。圣贤之制，岂敢越哉，或者曰，洁古之学，有自来矣。

茵陈附子乾姜汤：　治因凉药过剂，变为阴证，自[4]目俱黄，四肢皮肤冷，心下痞硬，眼涩不欲开，自利倦卧。

附子炮，去皮脐，三钱　干姜炮，二钱　茵陈一钱二分　白术四分　草豆蔻面裹煨，一钱　白茯苓去皮，三分　枳实麸炒　半夏汤泡七次　泽泻各半钱　陈皮三分，去白

右十味㕮咀，为一服，水一盏半，生姜五片，煎至一盏，去粗凉服，不拘时候。

时不可违

中书佐丞张仲谦，年五十三岁，至元戊辰春正月，在大都患风证，半身麻木，一医欲汗之，未决可否，命予决之。予曰：治风当通因通用，汗之可也。然此地此时，虽交春令，寒气犹存，汗之则虚其表，必有恶风寒之证。仲谦欲速差，遂汗之，身体轻快，后数日，再来邀予视之曰：果如君言，官事

① 阴：卫生宝鉴作“阳”。
② 煨：卫生宝鉴作“蒸”。
③ 一两：卫生宝鉴作“二钱”。
④ 自：卫生宝鉴作“身”。

繁剧，不敢出门，当如之何？予曰：仲景云：大法夏宜汗，阳气在外故也。今时阳气尚弱，初出于地，汗之则使气亟夺，卫气失守，不能肥实腠理，表上无阳，见风必大恶矣。内经曰：阳气者，卫外而为固也。又云：阳气者，若天与日，失其所则折寿而不彰。当汗之时，犹有过汗之戒，况不当汗而汗者乎！遂以黄芪建中汤加白术服之，滋养脾胃，生发荣卫之气，又以温粉扑其皮肤，待春气盛，表气渐实，即愈矣。内经曰：化不可伐，时不可违，此之谓也。

黄芪建中汤[1] 方见诸虚门，加白术。

过汗亡阳变证治验

中山王知府次子薛里，年十三岁，六月十三日暴雨方过，池水泛溢，因而戏水，衣服尽湿，其母责之，至晚觉精神昏愦，怠惰嗜卧，次日，病头痛身热，腿脚沉重。一女医用和解散发之，闭户塞牖，覆以重衾，以致苦热不胜禁，遂发狂言，欲去其衾而不能得去，是夜汗至四更，湿透其衾，明日寻衣撮空，又以承气汤之下，下后语言渐不出，四肢不能收持，有时项强，手足瘛疭，搐急而挛，目左视而白睛多，口唇肌肉蠕动，饮食减少，形体羸瘦，命予治之，具说前由，予详之，盖伤湿而失于过汗也。且人之元气，起于脐下肾间动气，周于身，通行百脉，今盛暑之时，大发其汗，汗多则亡阳，百脉行涩，故三焦之气不能上荣心肺，心火旺而肺气焦，况因惊恐内畜。内经曰：恐则气下，阳主声，阳既亡而声不出也。阳气者，精则养神，柔则养筋。又曰：夺血无汗，夺汗无血，今发汗过多，气血俱衰，筋无所养，其病为痓，则项强手足瘛疭，搐急而挛。目通于肝，肝者筋之合也，筋既燥而无润，故目左视而白睛多。肌肉者脾也，脾热则肌肉蠕动，故曰唇蠕动，有时而作。经云：肉痿者得之湿地也，痹热者肌肉不仁，发为肉痿，痿者痿弱无力运动，久为不仁，阳主于动，今气欲竭，热留于脾，故四肢不用，此伤湿过汗而成坏证明矣。当治时之热，益水之原救其逆，补上升生发之气。黄帝缄经曰：上气不足，推而扬之，此之谓也。以人参益气汤治之。内经曰：热淫所胜，治以甘寒，以酸收之。人参黄芪之甘温，补其不足之气而缓其急搐，故以为君；肾恶燥，急食辛以润之，生甘草甘微寒，黄柏苦辛寒，以救肾水而生津液，故以为臣；当归辛温和血脉，橘皮苦辛，白术苦甘，炙甘草甘温，益脾胃，进饮食，肺欲收，急食酸[2]□收之，白芍药之酸微寒，以收耗散之气，而补肺金，故以为佐；升麻、柴胡苦平，上升生发不足之气，故以为使，乃从阴引阳之谓也。

人参益气汤：

黄芪五分　人参　黄柏去皮　升麻　柴胡　白芍药各三分　当归　白术　炙甘草各二分　陈皮三分　生甘草二分

右十一味㕮咀，都为一服，水二盏半，先浸两时辰，煎至一盏，去柤热服，早食后，午食前，各一服，投之三日后，语声渐出，少能行步，四肢柔和，食饮渐进，至秋而愈。

拔粹方

杂　方

黑地黄丸：　治男子妇人，面无血色，食少嗜卧，肢体困倦。

苍术一斤　熟乾地黄半斤　乾姜炮，夏月五钱，冬月一两，春秋七钱

右为末，水煎面糊为丸，桐子大，每服五十丸，温水下，食远。

① 黄芪建中汤：方见本书卷一百四十四诸虚门二引金匮方。

② 酸：此下脱字，卫生宝鉴作“以”。

利肺汤：　脉中少有力，浮则似止，胸中元气不及也。

人参　麦门冬　沉香　白豆蔻　五味子　益智　丁香　川芎之类是也

黄连汤：　治因服热药过多，小便不利，诸药莫能效者，或脐下闷痛不可忍。

黄连炒　黄柏炒　甘草各等分

右㕮咀，水煎温饮之，食前，如昼不通，加知母，此药助阴，使气得化，则通矣。

穿结药：　大实大满，心胸高起，气塞不通者为结也。

蟾酥　麝香　轻粉　巴豆少许，另研

右再研至细，以儿孩儿乳汁为丸，黍米大二粒，姜汤下，无时。

接花树法：

石硫黄　榆白皮面各一两　白芨　白敛各半两

右为用之。

解毒丸：　善治男子妇人及小儿一切积热不解，停留作毒，上焦壅热，咽喉不利，口乾多渴，伏暑著困闷，霍乱不宁，或山岚瘴气，及食毒酒毒，吐逆不定，游风雅毒迷惑，昏困不省人事，虚烦发躁，赤目口疮，善解四时伤寒之疾，发散瘟疫毒邪之气，及四方人不伏水土，一切诸毒并皆解之。常服此药，补真益气，化毒除风，神效不可细述。

滑石　黄芩　贯众　茯苓　山栀子　乾姜　草龙胆　大豆　青黛　甘草　薄荷　寒水石各一两　益智仁　缩砂仁　大黄　山豆根　生地黄　桔梗　白药煎　紫荷车　粉花豆粉也　马勃　板蓝根　黄药子各半两

右为细末，炼蜜为丸，如弹子大，每服一丸，新汲水化下，细嚼或噙化亦得，小儿半丸。如妇人血晕不省，生姜薄荷水磨下一丸。

出刀青方：

水蛭、鸡子一枚，掐开小头，内水蛭，以皮儿盖合封者，直至水蛭食尽鸡青乾尽，自死。

发表解表升麻汤：　治遍身壮热，骨节疼痛。

升麻一钱　柴胡七分　当归五分　羌活　苍术各一钱　防风八分　甘草七分　藁本五分　橘皮三分

冬加不去节麻黄，春加去节麻黄。

右㕮咀，都作一服，水煎，去滓温服，后以葱醋汤发之。

麒麟竭散：　治寒湿搏于经络，疼痛不可忍。

血竭　南乳香　没药　白芍药　当归各六钱　水蛭杵碎，炒令烟尽　麝香各三钱　虎胫骨酥炙黄，五钱

右八味为细末，和匀，每服三钱，温酒调下，食前。

虎骨丸：　治经络凝涩，骨节疼痛，筋脉挛急，遇阴寒愈痛。

南乳香另研　没药另研　赤芍药　熟地黄　虎胫骨酥炙黄　当归各一两　血竭五钱

右为末，用木瓜一枚，切破去子，入乳香末在内，以麻缕缠定，勿令透气，好酒二升，煮至酒尽，取木瓜去皮研如泥，更入熟蜜少许，杵和为丸，如桐子大，每服五十丸，病在上食后，在下食前，温酒下。

如圣散：　治时气缠喉风渐入，咽塞，水谷不下，牙关紧急，不省人事。

雄黄细研　白矾飞　藜芦去皮用心，生用　猪牙皂角去皮炙黄

右等分，为细末，每用一豆许吹鼻内，立效。

清膈汤：　治风热，化痰利咽膈，清头目，消疮疹。

甘草炒　瓜蒌根　桔梗炒　紫苏叶各二两　鸡苏叶一两半　荆芥穗四两　黍粘子六两，炒净

右为细末，每服一二钱，食后临睡白汤点服。

防己黄耆汤：　治风湿相搏，客在皮肤，一身尽重，四肢少力，关节烦疼，自汗，洒淅恶风，不欲去衣，及风水客搏，腿脚浮肿，上轻下重，不能屈伸。

防己四两　黄耆五两　甘草二两，炙　白术三两

右为粗末，每服三钱，水一钱[1]半，生姜三片，枣一枚，同煎至一盏，去滓，稍热服，不计时候，盖覆温卧，汗出差。

流气饮子：　治男子妇人，五脏不调，三焦气壅，心胸痞满，噎塞不通，腹胁膨胀，呕吐不食。又治[2]□……□胀满，心腹疼痛，饮食不消，痰逆呕吐，噫醋吞酸，饮食迟化，并宜服之。

枳壳麸炒　茯苓去皮　白术　厚朴姜制　半夏汤洗　人参　木香　青皮　陈皮二味去穰　京三棱煨熟　槟榔　广茂煨熟　神曲炒黄　麦蘖微炒。已上各一两　乾生姜半两　牵牛净，微炒　大黄各二两

右为细末，生姜汁面糊为丸，桐子大，每服一百丸，生姜汤下，食后。

通顶散：　嚏药。

石膏　川芎　赤小豆　瓜蒂各一钱　藜芦少许

右为细末，噙水嚏之。

金砂流湿丸：　治男子妇人杂证，及风湿酒湿。

木通一两，去皮　泽泻一两半　木香一两　白茯苓去皮　大黄去皮，各一两半　滑石五两　海金砂五钱　牵牛头末五两　郁李仁一两

右为细末，滴水丸桐子大，每服五十丸至八十丸，生姜汤下。忍湿面。如小便不通，灯草汤下；如伤酒，生姜汤下；酒疸食黄，萝卜汤下；痢疾，高良姜汤下；妇人血气不调，当归汤下；肢节疼痛，温酒下；心痛者，韭根汤下；膈气，枳实汤下；中风，槐角汤下。

三脘痞气丸：　治三焦痞滞，气不升降，水饮停积，不得流行，胁下虚满，或时刺痛，并宜服之。

木香　青皮去白　陈皮去白　京三棱炮　白豆蔻仁各一两　大腹子七钱半　半夏汤洗七次，二两　缩砂仁　槟榔　沉香各半两

右为细末，水面糊和丸，如桐子大，每服五十丸，陈皮汤下。

三奇六神曲法：白虎白面一白斤　青龙青蒿自然汁三升　勾陈苍耳汁二升　腾蛇野蓼子汁四升　玄武杏仁四升，去皮尖，看面乾湿用水　朱雀赤小豆三升，煮软，去汤，研

右一处拌匀，稍乾为妙，用大盆罨一宿，于伏内上寅日踏极实为度，甲寅戊寅庚寅乃三奇也，卧铺如曲法。

王氏集验方

诚斋先生如神丸[3]：　治一切疾证。详见于后：

槟榔按本草味辛温无毒，主消谷逐水，除痰癖，杀三虫伏尸，疗寸白。药性论云：宣利五脏六腑壅滞，破坚满，下水肿，治心痛，风血积聚。斗门方治腰重痛，槟榔为末，温酒调下一钱，立止。御药院方治痰涎气喘，槟榔末一钱，白汤调下。简要济众方治诸虫在脏腑，槟榔为末，葱蜜煎汤调下；脚气冲心，温酒调槟榔末二钱，入生姜汁，温童子小便同服。详槟榔之功大矣哉！况与诸药兼行，尤为效速。

枳壳去穰，麸炒。按本草味苦酸微寒无毒，主风痒麻痹，通利关节，劳气咳嗽，背膊闷

1　钱：济生拔粹作“盏”。

2　治：此下脱文，济生拔粹作“上气喘急，咳嗽涎盛，面目虚浮，四肢肿痛，大便秘涩，小便不通，及治忧思太过，致阴阳之气郁结不散，壅滞成痰。又治伤寒方觉得疾，服此升降阴阳，汗出立愈。又治脚气肿满，疼痛喘急，腹胀气攻，肩背胁肋走注疼痛，并皆治之。　紫苏叶　青皮去白　当归洗　芍药　乌药　茯苓　桔梗　半夏洗　甘草炙　川芎　黄芪　枳实麸炒　防风已上各半两　陈皮去白，七钱半　木香二钱半　槟榔　枳壳麸炒　大腹子锉，姜汁浸一宿，焙。各五钱　右咬咀，每服秤半两，水一盏半，生姜三片，枣一枚同煎；去滓热服。如心脾病，入菖蒲五片同煎；如妇人血气病，入艾同煎；如伤寒头痛，发热咳嗽，入连须葱白三寸同煎；如五膈气病，入陈皮少许同煎；如心中怔忪，入麦门冬数粒同煎；如脏腑利，入粳米一撮同煎。并不拘时候，或粗捣筛亦可。

大枳壳丸：治一切酒食所伤，胸膈痞闷，胁肋”。

3　如神丸：按下文“右五味”句，本方当由五味药组成，但因原书中间有脱文、仅见槟榔、枳壳、皂荚。查普济方卷二百五十六杂治门辑有本方，其组方为“槟榔　枳壳炒　皂荚　大黄生熟　牵牛生熟　右各等分为末，滴水为丸，如梧桐子大，每服十五丸，病甚者一百丸，量虚实老少加减”，可资参证。

倦，散瘤结，胸膈痰滞，逐水消胀满，大肠风，安胃止风痛。药性论云：治遍身风疹，肌中如麻豆，恶痒，主心腹结气，两胁虚胀，关格壅塞。

皂荚 去皮弦子，蜜水微炒，别研。按本草味辛咸温，有小毒，主风痹死肌邪气，风眼泪出，利九窍，杀精物，疗腹胀满，消谷，除咳嗽，囊结，明目益精□……□用酥涂炙，生姜汁丸，如梧桐子大，每服三十丸，荆芥汤下，名利膈丸。

右五味，事持了，各秤一两细末，滴水丸，如梧桐子大，每服五十丸，病大者加至一百丸，量虚实老少服饵，孕妇勿服。头风脑疼，川芎薄荷煎汤送下；耳内蝉鸣，腮颊赤肿，荆芥穗煎汤送下；牙龈烁肿，牙齿疼痛不可忍者，细辛煎汤送下一百丸；咽喉肿痛，桔梗甘草煎汤送下；遍身癜疹瘙痒，皮肤丹毒，赤瘤烁肿，或瘙之成疮，川升麻煎汤送下；心胸满闷疼痛，痰实结寒，枳实、半夏煎汤送下；两胁肋疼痛，牵引背脊俱疼，牡丹皮煎汤送下；癥瘕积聚，痃癖气块疼痛，莪术、甘草煎汤送下；赤白下痢，里急后重，小腹疼痛，甘草煎汤送下，服至一百丸，如无里急后重，只服五十丸；肠风痔漏，肛门疼痛，皂角子捶破，煎汤送下；膀胱疝气，阴囊肿核，欲成便痈，小茴香煎汤送下；腰疼重滞，不可转侧，脚膝疼痛，官桂、牛膝煎汤，送下一百丸；头面、手足、腹肚浮肿胀满，桑根白皮煎汤送下；上气喘急，日夜不得眼[1]卧，甜葶苈子隔纸炒过，煎汤送下；胎死腹中，及已产，胞衣不下，桂心煎汤，入麝香少许，无灰酒半盏，同送下；打破[2]伤损疼[3]血在内，四肢并腹肚疼痛，红花、当归煎酒一盏送下；宿食不消，呕吐，噫气吞酸，丁香煎汤送下；大人小儿诸般虫痛，月初头先食烧肉数块，次以苦楝根、史君子煎汤送下；妇人月事不通，腹肚疼痛，赤芍药煎汤送下；卒患心气疼痛，良姜煎汤送下；腹肚鼓胀，不思饮食，日渐瘦损，炒陈罗卜子煎汤送下；误食牛马肉毒，阿魏煎汤送下；面毒酒毒，遍身发热，乾葛煎汤送下。东野先父诚斋先生，存日以医驰名，且慕佛教，有疾召医，闻即往救，至元庚辰春夏交，里有吴姓，年六十，患腹胀如鼓，胸胁刺痛，身有微热，大小便秘涩，上气喘满，坐卧不得，数医坐守议治，先父亦与盟焉！化痰顺气，下积利水之药，靡不试尝，而无有作效。一夕，先父梦中见一神人，身衣鹤敝[4]，羽扇轮[5]巾，袖中出示此方，语先父曰：某人病，何不以如神丸治之，语讫，神人不见。先父觉而烛灯，笔记梦中所授之方。与夫治证并无遗略，再三玩味，自思此方，得非神授乎．于是坐待其旦，依方修成。先父思之曰：方中有大黄，多服则恐病弱难禁，旦以五十丸进之，服讫饷顷，诸证稍退，气息喘定，略可坐焉，至午再进一百丸，至申时，病者腹中雷鸣，大小便俱得通利，所下恶物臭秽如胶涎，赤白相杂，病者索要粥饮，一夕沉睡至明，全获安矣。先兄德卿尝谓予曰：此药真有如神之效，虽曰神授，其实造物有以为焉。药施病愈，得利亦多，抑亦吾祖宗积德而至此耶，可不敬哉！先父号诚斋，士夫服此药获效者，以诚斋先生如神丸自扁，大书特书，歌咏盈轴，东野携来。京师诸名公大人，服之良多，盖此方药味简而功效专，流湿润燥，推陈致新，神妙难言。大德庚戌来都下，适值怯里马赤董古鲁八病水气肿满一月日，气喘不得睡卧，用此药一服，至夜喘定可睡，节续调治，诸证皆痊。又壬子年季夏，黑驴副使病腹肚胀满，气急喘乏，坐卧不安，用此药一百丸，立效。又治怯薛歹曩加歹热利，一日夜走七八十次，里急后重，大便欲去艰难，腹疼如刺，用此药一百丸，大便利下数次，其疾顿愈。又一贵宦妇病两

---

(1) 眼：普济方卷二百五十六杂治门作“眠”。
(2) 破：普济方卷二百五十六杂治门作“扑”。
(3) 疼：普济方卷二百五十六杂治门作“瘀”。
(4) 敝：按文义疑作“蔽”。
(5) 轮：按文义疑作“纶”。

腿脚疼痛不可行履，用此药一百丸，服之而安。又一妇人牙齿疼痛，饮食不可进，服此药一百丸作效。又一男子腰痛不可转侧，行履不能，服此药一百丸，利下大便如鱼脑髓，随时安好。又一僧人，四肢头面腹肚浮肿，气喘不得眠卧，余诊其脉沉迟，病者自言，先因吃食湿面牛肉，遂发寒疟，连二十日不解，以后疟痢交作，经及一月，疟痢止而身体倦。凡所饮食不能克化，自此腹肿不消，手足头面皆肿矣。余以脾胃受湿，而复停积，遂以此药一百丸进之，头面手足肿消，而腹胀不减，遂用四炒枳壳丸徐徐间服，不半月而诸证皆愈，此药应效难于备举。东野绍父之学，以医获利得名，桑榆晚景，不敢私祕，于是参写本草药性及神授治证，锓梓以传，使后之得此方者，以药考证，详证服药，释其未达之疑，同囿康宁之域耳。四炒枳壳丸[1]，方见胀满门。

神仙解毒丸：　解一切药毒，恶草、菰子、菌蕈、金石毒，吃自死马肉，河豚发毒，时行疫气，阴阳二毒，伤寒，心闷狂言，胸膈壅滞，邪毒未发，山岚瘴气，急喉闭缠喉风，脾病黄肿，赤眼口疮，冲胃寒暑，热毒上攻，并用冷水薄荷同研磨下；诸般久近疟疾，临发，桃柳枝煎汤磨下；男子急[2]□癫邪，叫呼狂走，女人鬼气鬼胎，温酒磨一丸，分二服，有毒即吐或利，毒尽自止；惊死，鬼迷死，自缢，落水，打折伤死，但心头微暖，未膈宿者，并用生姜蜜水磨灌，须臾复苏；诸般痫疾，口面㖞斜，唇眼掣眨，夜多睡涎，言语謇涩，卒中口噤，牙关紧急，筋脉挛缩，骨节风肿，手脚疼痛，行步艰难，应是风气疼痛，并用酒磨；久近头疼，太阳穴疼，薄荷酒磨，用纸花贴太阳穴；牙疼，酒磨涂，及含药少许吞下；牙关紧急，水磨涂一丸，分三服；打扑撷损伤折，炒松节，酒磨下半丸，仍以水磨涂；汤火、犬、鼠、蜈蚣、毒蛇、百虫伤，并用水磨涂，并服一丸；痈疽发背未破，鱼脐疮，诸般疮疖，恶疮肿毒，水磨涂，并服，觉痒即消；小儿急慢惊风，五疳八痢，蜜水薄荷磨，随大小加减，孕妇勿服；牛马六畜中毒，亦以此救，神良。凡居家或出入，不可无此药，真济世卫家之宝。如岭南毒药最多，若游宦岭表，才觉意思不快，便服即安。二广山谷间有草，曰胡蔓草，又名断肠草，若以药人，急水吞之急死，缓水吞之缓死。又取毒蛇杀之，以草覆之，以水洒之，数日生菌，取为末，酒调以毒人，始亦无患，再饮酒，即毒发立死。其俗淫妇多自配合，北人与之情相好，多不肯逐北人回，阴以药置食中，北还即戒之曰：子某年来，若从其言，即复以药解之，若过期不往，即毙矣！名曰定年药，北人届彼，亦宜志之，若觉著毒，四大不调，即便服之，或于鸡豚鱼羊鹅鸭等肉内下药，后食此物即触发，急服此药一粒，或吐或利，随手便差。

文蛤三两，淡红黄色者，捶碎洗净。本草云：五倍子一名文蛤　红牙大戟一两半，洗净　山茨菰二两，即鬼灯擎金灯花根是　麝香三钱，研　续随子一两，去壳秤，碾细，纸裹去油，再碾如白霜

右将前三味，焙乾为细末，入射香、续随子，研令匀，以糯米粥为丸，每料分作四十粒，于端午、七夕、重阳日修合，如欲急用，辰日亦得，于木臼中杵数百下，不得令妇人、孝子、不具人、鸡犬见之。有一女子久患劳瘵，命虽旦夕，为血尸虫噬之，磨一粒服下，一时久吐下小虫千余条，一大者正为两段，后更服苏合香丸半月，遂安如常。

① 四炒枳壳丸：方见本书卷之一百三十胀满门一 引得效方。
② 急：此下脱字，普济方诸毒门引百一选方作“中”。

袖珍方

杂　方

秘传刮[1]金丹：

丁香　木香　藿香　当归　人参去芦　白茯苓去芦　官桂去皮　大黄　白术　乾姜炮　桔梗　苁蓉酒浸　柴胡去芦　槟榔　黄连去芦　防风去芦　陈皮　车前子　吴茱萸　皂角去皮弦，醋炙　天门冬　川乌炮　砂仁　肉豆寇炮　黄耆　防己　鳖甲醋炙　羌活　紫苑[2]川椒去目　巴豆去皮心，炒　蓬莪术　熟地黄　厚朴姜制　川芎　香附子　石菖蒲酒浸　射香少许　小茴香　甘草少许

已上各等分，为细末，炼蜜和匀，捣千余下，油纸裹之，用则旋丸，如桐子大，每服五丸，量虚实与之。伤寒汗后恶寒，陈皮汤下，不止，当归汤下；汗后有热，杏仁汤下；热多寒少，艾汤下，不止甘[3]□汤下；乾呕，乾吃三丸；不得汗，姜汤下，又不汗，好酒下；大小便不通，竹叶汤下。不止[4]灯心汤下；头疼，川芎汤下；腹胀，陈皮汤下；战汗不止，木香汤下；破伤风，角弓反张，先用生姜汤下，后木香汤下；如疼，乳香没药汤下；结胸伤寒，先用生姜汤下，不止酒下，再下止，小柴胡加枳实生姜汤下；盗汗，用陈麸麦汤下。左痈右患[5]，用木香汤下；骨节疼，膏药贴；寒湿脚气，用木香汤下，膏药贴；肋下刺痛，生姜汤下，后二日用膏药贴；酒积，好酒下；气积，甘草汤下，不止陈皮汤下；饮食无味，桂皮汤下；面上[6]□疮，生姜汤下；帐腮，用好醋墨收，然后用生姜汤下；反食病，先用生姜汤进二服，后用粥一碗。又方：用好醋一碗，生姜七两，花椒一合，同煮乾，细生姜汁同服；风癣，小茴香汤下；瘤子，好酒下；汤烫，用鸡旦白，金银钗同调膏药，滩纸上，贴疮上，用药三丸，薄荷汤下；眼疼，黄连汤下，不止，薄荷汤下；癣疥瘙痒，生姜汤下，连进三服；跌伤，血攻心，童子小便下；火烧疮与汤烫同治；小肠气，木香汤下，常服；心疼，生姜汤下；口眼歪斜，先用当归汤下，后用木香汤[7]；眼有冷泪，黄连汤下，常服；冷气攻心，热酒下；酒食所伤，热酒下；里急后重，先用姜汤下，后用诃子汤下，不止甘草汤下；阴证，用黑豆炒胡淋酒热服；血劳口吐血，先用猪胆，后用羊胆，温水调服；黄病，先用川芎汤，后用芍药汤；癖证，先用姜汤下，后用膏药贴；便毒，用黑姜猪胆调，膏药贴，姜汤送下三丸五丸；风狗咬，葵菜汤下；狗咬，用米泔水洗，芍药汤下；呕吐，乳香汤下，乾嚼三五丸亦可；伤力口吐血，先用猪胆，后用羊胆，温水调服；气喘，木香汤下；痨嗽，杏仁汤下，不止丁香汤下；痰饮，生姜汤下，不止用膏药贴心头；身腿浮肿，先用生姜汤，后用盐汤下；痔漏，先用姜汤下，后用醋煮香附子汤下，常服亦好，用当归汤下；年老脐下疼，人参汤下，常服；脱肛，好酒下，常服；牙疽，葱白汤下；下痢，用鸡蛋香油调膏药搽，立效；摇头风，川芎汤下，后用人参汤下；心风发狂，辰砂汤下，后姜汤下；邪热，雄黄汤下；赤痢，生姜汤下，不止，诃子汤下；白痢，甘草汤下，后葱白汤下；脓痢，米泔水下，不止，诃子汤下；口舌生疮，先用生姜汤下，后用芍药汤下；受瘴气发寒热，先用姜汤下，后用木香汤下，次用膏药贴疼处。

膏药方：　与前方兼用。

木香　苍术米泔水浸　蛇床子　甘草　马

---

① 刮：袖珍方作“利”。
② 紫苑：袖珍方作“紫苏”。
③ 甘：此下脱字，袖珍方作“草”。
④ 止：袖珍方作“利”。
⑤ 左痈右患：袖珍方作“左瘫右痪”。
⑥ 上：此下脱字，袖珍方作“风”。
⑦ 汤：袖珍方此下有“下”字。

蔔花　茱萸　大附子一个，盐水浸，炮　官桂　车前子已上各一两

右为细末，每用药一匙，面一匙，生姜汁调煮成糊，调摊纸上，热贴患处，即愈。

神效万应剪金丹：　诗曰：天数五，地数五，金木水火土，若人欲血气，能救世间苦。

老阳子江子，三十五粒，不去皮油　老阴子杏子，不去皮尖　陈皮全去白　青皮木，各三钱，去根　半夏水汤七次，九粒　乌梅七个，全用　丹火二两，水飞七次，去渣，用一两　黄蜡生用二两，落沉水去楂，用一两半　枳壳罗去穰　黄连罗去须。各三钱　乳香　没药炙。各二钱　木香蒸二钱　槟榔二十一个　粟米五钱

右将黄蜡溶开，入众药和匀，作一处，杵千百下，作一块，再分一半药末。忌鸡犬妇人。用油单纸收，临用旋丸，服十丸，如梧子，汤使于后。红痢，用甘草汤；白痢，用乾姜汤；红白痢，草姜汤；赤痢，椿根皮汤；禁口痢，莲肉、山药、防风、粟米汤；落马折伤，血闷酒；霍乱吐泻，乾姜汤；水泻，五苓散；一切风疾，用升麻汤；咳嗽，桔梗杏仁汤；痢鱼脑脓汁，养脏汤加附子一斤[1]；寸白，槟榔汤；心疼，用酒；头痛腰痛，折伤，冷气冲心，下元虚，并用酒；时气，井水[2]；大小便不通，木通茶汤；脐下疼，芥菜汤；五劳七伤，猪胆汤；一切疮痛，萝卜汤；气痛，宿食不消，并生姜汤；产后痢，当归汤；小儿吊惊风，汉防己汤；血风劳，使君子汤；口吐清水，诃子汤；腹痛，葱白汤；蛔虫咬心，槟榔汤；阳毒伤寒，栀子黄连汤；阴毒，附子枣儿汤；浑身壮热，沙糖水；虚热，柴胡竹茹汤；寒热虚，梅子汤；上焦虚热，大黄汤；脾胃寒痛，热酒。

---

① 斤：袖珍方作“片”。

② 水：袖珍方此下有“下”字。

医方类聚卷之一百九十七[1]

□……□减，空心服之，觑形势紧慢。此药不犯金石。

固真丸：

真川椒四两　青盐二钱，多者积等

右为细末，好酒糊丸，如梧子大，每服三十丸，加至六十丸，到回服至三十丸，日进一服，空心温酒下。

匀气散：　主腰腿疼痛，半身不遂，不能屈伸，口眼㖞斜，治风气，中风中气，若以风药治之，十无一愈，若以气治之，顺气而风散也。

白术四两　天麻一两　天台乌药三两　沉香　青皮　白芷　甘草　人参各五钱

右为细末，每服三钱，水一大盏，生姜三片，紫苏五叶，木瓜三片，大枣一枚，煎至七分，去滓，空心温服。

固本丸：　治男子久邪气入肾脏，或将近作劳，不进饮食，精神短少。

牛肉去脂膜，净五斤，以胡椒、川椒各二两，盐四两，淹浥一宿，蒸熟，晒乾为末，每肉末一斤，用下项药　五味子　乾山药　枸杞子各四两　生地黄　熟地黄各二两

右为细末，牛生乳汁作面糊为丸，如梧子大，每服五十丸至一百丸，空心，温酒送下，日进二服。

定风饼子：　主风客阳经，邪伤腠理，背膂强直，口眼㖞斜，体热恶寒，痰厥，头目疼痛，肉瞤筋惕，辛頞鼻渊，及饮酒过多，呕吐痰沫，头目眩晕，如坐车船。常服解五脏伤寒，辟雾露瘴气，爽惠神志，诸风不生。

天麻　川乌炮　南星炮　半夏炮　川姜　川芎　白茯苓　甘草　防风各等分

右为末，姜汁为丸，如龙眼大，按作饼子，朱砂为衣，每服一饼，细嚼，姜汤下，不以时。此方甚效，但不当生用，仍须炮制。

应效祛风丸：　主男子妇人卒中风疾，如常人服此药，於注定限内，永不患诸风。解毒化痰，消酒进食，每服三十丸至五十丸，肌肤润滑，初服二三日，或小便转恶色，乃肾家之病也，至四五日，是脏寒热气，至七八日，唇红生津，五十日后，自觉身轻，四体安宁，头风百病皆退，手如幼女，容如小童，语言肰，胸中忧虑，三焦积滞，皆散，明目益力，远行不困，因条山道人见服。

木香　槟榔　川芎　陈皮去白　青皮去白　防风去芦　天麻去芦　半夏　姜屑　车前子　猪牙皂角去皮弦。各一两　大黄四两，老弱虚者可减一两　牵牛头末半斤，如减大黄一两，可减头末二两

右为细末，陈粟米饭为丸，如桐子大，每服三五十丸，临卧，温茶酒或温水送下。夏加青陈皮各倍；秋加青车前子、川芎各倍。如患痢疾初觉者，加至七十丸，就利为度，效不可言，在世之家，不可无此药。瘟疾，大黄、牵牛减半，食后临卧服之。

肉炙丸：

陈皮　广茂　京三棱各等分

右为细末，蒜泥为丸，每服三十丸至五十丸，温米汤送下。

异功散：　治病后血气虚弱，脾胃不和，久服增长元气。

人参　茯苓　陈皮各一两　甘草二钱半

右㕮咀，每服三四钱，水一大盏，姜三片，煎服。

沉香丸：　大名颜运使传，本官年六十以上，无子，辞职还家，於曹南商政叔处，亲传此方，服之得子十七人，本官八十六岁，精神有力，行步轻健，语言强壮。此方世之仙药，此药常行，四方皆服水土，不怕山岚瘴气，祛寒辟暑，进饮食，厚肠胃，令人肥，长志有精神，去浑身走注疼痛，活经脉治痹，去寒湿疝气小肠，添精补髓，活血注颜，壮筋骨，身轻体健，行如风，语如钟，百病不生，黑须鬓，益寿延年，服一年，可战百十

[1] 医方类聚卷之一百九十七：据本书杂病门目录，本卷当为“杂病门三”，卷首有“经验秘方”书名及“四气朝元丹”、“四制苍术丸”二方，均脱漏，待考。

妾，方得如故，越行阴事，方得调停，如房闺，阴事阳剩，神豪旺不可当，若说修真炼性，导气吞霞，烁战行持，此药大有利益，功效的无虚谬，不可具述。

沉香　木香　白檀　丁香　胡桃仁　枸杞子　连花蕊　青皮　陈皮　牛膝酒浸　八角茴香各三钱　全蝎去毒尖，炒　小茴香盐炒　川栋子去皮核，炒　葫芦巴　破故纸已上二味，用白羯羊番白肠一尺五寸长，盛药在内，好酒煮令熟，新瓦器阴乾，或纸浥乾亦妙，不用羊肠　巨胜子　北五味　河西肉苁蓉酒浸　远志去心　韭子酒浸　川心巴戟酒浸，去心，紫色　乾山药无蛀者　山茱萸　知母　木通　黄精　天门冬　麦门冬　人参　熟地黄　生地黄　乳香各半两　白茯苓五钱　仙灵脾二钱，酥炙　细墨一定，烧尽烟，秤半两

右三十八味，同为细末，用面四两，酒糊为丸，如梧子大，每服三十丸，空心临卧服，温酒盐汤送下，乾物压之，无伤。如服药时，先服导水丸一服，三五行脏腑大妙。忌食猪羊等血。

枸杞丸：[1]

枸杞一斤，用青盐二两、芝麻二两，小茴香二两，川椒二两，同炒，候枸杞微黄，去馀药不用　熟乾地黄酒蒸、焙乾　白茯苓　白术　甘菊花各三两

右为细末，炼密为丸，如梧子大，每服四五十丸，空心温酒下，乾物压之。常服活血注颜，暖水脏，□□□□□□□□□也。……送下食前服每用金樱……讷失荅鲁，注颜进食，咽喉生香，开胸鬲，除盗汗，去颜色萎黄，顺气消化宿酒食，令人强健，降心火益肾水。

玫瑰萼七钱　丁香　马思荅吉即云香　白薇送本即甘松。各三钱　回回香附子五钱　桂心　奴实儿　肉豆蔻花　咱法兰　草果　缩砂仁　肉豆蔻各二钱

阿蜜剌半斤，净，去核，水四斤半，熬至一斤半，滤净，用蜜一斤，与水同熬稠，另器盛药，以柳条搅成膏子，每用小弹子大一丸，细嚼津液化下，或猪肉汤调亦可，无时。

经验良方

华佗肘后仓卒十病

汉神医华佗，字元化，尝云：人有危病，急如风雨，命医不及，须臾不救，观其横夭，实可哀怜。予因暇日选十件危病，处三十妙方，以救横夭，详录于后，不可不知。

一、霍乱吐泻，始因饮冷，或冒寒，或失饥，或大怒，或乘舟车，伤动胃气，令人上吐，上吐不止，令人下泻，吐泻并作，遂成霍乱，头旋眼晕，手脚转筋，四肢逆冷，用药迟缓，须臾不救，用：

吴茱萸　木瓜　食盐各半两

已上三味，同炒令焦，先用磁瓶盛水三升，煮令百沸，却入前药同煎至二升已下，倾一盏，冷热随病人意与服，药入即醒。如仓卒无前药，枯白矾为末，每服一大钱，百沸汤点服。如无白矾，只用盐一撮，醋一盏，同煎至八分急救仙方七分。盏，温服，或盐梅咸酸等物皆可煮服。袖珍方同。处方本以咸醋二物煮。

二、缠喉风、喉闭，其证先二日胸膈气紧，取气短促，蓦然咽喉肿痛，手足厥冷，气闭不通，顷刻不治。

巴豆七粒，三生四熟，生者去壳生研，熟者去壳灯上烧存性　雄黄一块，如皂角子大，透明者，细研　郁金一个，蝉肚者，研为末

已上三味，研末，每服半字，用茶清两呷许调下。如口噤咽塞，用小竹管纳药吹入喉中，须臾吐利即醒。如无前药，用川升麻四两，锉碎，水四碗，煎一碗，灌服。又无川升麻，用皂角三茎，槌碎，掇水一盏灌服，

[1] 枸杞丸：据本书杂病门目录，此方后还有“神明酒、金樱煎丸、沉香丸、去湿药、解毒丸”等方，均脱漏，待考。

或吐或不吐即安。袖珍方同。　急救仙方一方皂角一皮，百草霜一钱，同研为末，冷水调，加清油数点灌之。

三、吐血下血，其证皆因内损，或因酒色劳损，或心肺脉破，血气妄行，血如涌泉，口鼻俱出，须臾不救。

侧柏叶蒸乾　人参各一两。乾焙

已上二味为细末，每服二钱，入飞罗面二钱，新汲井花水调如稀糊，啜服。血如涌泉，不过二服即止。如无前药，用荆芥一握，烧过，盖於地上，要出火毒，细研如粉，以陈米饮调下三钱许与服，不过二服效。又无荆芥，用釜底墨刮下，细研如粉，每服三钱，浓米饮调下，连进二三服。袖珍方同，救仙方同。

四、中砒霜毒，其证烦躁如狂，心腹搅痛，头旋[1]□……□亦是脱阳证，须臾不救。先用葱白数茎，炒令热，熨脐下，次用：

附子一枚重十钱许，锉作八片　白术　乾姜各半两　木香一分

已上四味，各研细，用水二碗，煎至八分碗，去滓，放冷灌服，须臾又进一服，合滓并服。如无前药，用桂枝二两，用好酒二升，煎至一升，候温，分作二服灌之。又无桂皮，用葱白连须三七茎，急救仙方三茎。细锉，沙盆内研细，用酒五升，煮至二升，分作三胀[2]灌之，阳气即回，先用炒盐熨脐下气海，勿令气冷。又无葱白，用生姜二七片亦好，依前方服。袖珍方同。

八、鬼魇鬼打，其证初到客舍或官驿，及久无人居冷房，睡中觉鬼物魇打，但闻其人吃吃作声，便令人叫唤，如叫不醒，此乃鬼魇也，须臾不救则死。

牛黄　雄黄各一钱　朱砂半钱

已上各研为细末，和匀，每挑一钱许，床下烧，次挑一钱，用酒调灌之。如无前药，用桃柳枝，取东边者各三七寸，袖珍方七寸。煎汤三盏，候温并灌服。又无桃柳枝，用灶心土槌碎，为细末，每服二钱，新汲井花水调灌，更挑半指甲许，吹入鼻中，更用艾灸人中穴，人中穴在鼻下，并灸两脚急救仙方两足。大拇指内离甲一薤叶许，各灸一七壮仙方三七壮。即活。

九、孕妇逆生，其证孕妇欲产时，遇腹痛不肯舒伸行动，多是曲腰眠卧忍痛，其儿在腹中不得转动，故脚先出，谓之逆生，须臾不救，子母俱亡，用：

乌蛇蜕一条　蝉蜕三七个　血馀一个，即胎发急救仙方一束

已上烧灰，每服二钱，温酒调下，并进二服，仙方三服。仰卧霎时，其儿即时须生。如无前药，用槐子二七粒，新汲井花水吞下。仙方槐子七粒，研细，新汲顺流水下。又无槐子，用小绢针於小儿脚心刺三五刺，急用盐少许涂脚心刺处，即时顺生，子母俱活。用谷尖刺脚心尤妙。袖珍方同。

十、胎衣不下，恶心凑心，其证心头迷闷，胎衣逆上冲心，须臾不治，其母即亡。

大附子一枚，炮去皮脐，为末　袖珍方二枚　乾漆半两，为末

已上用大黄为末半两，酒醋熬乾，即入

---

[1] 旋：此下脱文，袖珍方作“欲吐不吐，面口青黑，四肢逆冷，命在须臾。黑铅一两，磨水一碗灌之。如无前药，青蓝二握，研开，水调一碗灌之。如无蓝，用清油二升许灌服，其毒即解。如无油，掘地用水作浆，浓吃一二碗。土用黄色者好。

五、尸厥，其证奄然死去，四肢逆冷，不省人事，腹中气去如雷鸣。焰硝五钱　硫磺二钱　右研如粉，作三服，每服用好旧酒一大盏煎觉焰硝起，倾于盏内盖着，温服，如人行五里又一服，不过三服即醒，兼灸百会穴四十九壮，脐下气海、丹田三百壮，身温止。如无前药，用附子七钱重炮熟，去皮脐为末，分作二服，每服用酒三盏，煎一盏服。又无附子，生姜自然汁半盏，酒一盏，同煎令百沸，并滓三服，仍前灸。

六、中忤中恶鬼气，其证暮夜，或登厕，或出郊野，或游空屋，或人所不至之地，忽然眼见鬼物，鼻口吸着恶鬼气，蓦然倒地，四肢逆兮，两手握拳，鼻口出清血，性命将绝，须臾不救。此证与尸厥同，但腹不鸣，心胁俱暖。凡中恶蓦然倒地，切勿移动其尸，即令亲戚众人围绕，打鼓烧火，或烧麝香、安息香、苏合香、檀木之类，直至醒记人事，方可移归。犀角末五钱　麝香　朱砂各二钱半　右为末，每服二钱，井水调下。如无前药，用雄黄末服一钱，煎桃枝叶汤调灌。又无雄黄，用故汗衣或触衣，汗衣者，着在身上多时，久遭汗者佳，触衣者，久着内衣衬衣也；妇用男衣，男用妇衣，烧存之服二钱，百沸汤调下。

七、脱阳，其证或因大吐大泻之后，四肢逆冷，元气不接，不醒人事，或伤寒新瘥，误于妇人交，其证小腹急痛，外肾搐缩，面黑气喘，冷汗自出。”

[2] 胀：袖珍方作“服”。

前二味为丸，如梧桐子大，每服三丸，淡醋汤吞下，须臾又进二服，胎衣立下。此药可预先合下为妙。如无前药，用赤小豆一升，炒过，用水三升，煮取二升，去豆取汁，温服，其胎衣立下。又无赤小豆，用妇人自己手指足甲烧灰，酒调下，须臾又进一服，更有力，妇人把[1]起，将竹筒於心下袖珍方、急救仙方心上。赶下为妙。

凡有人溺水者，救上岸，即将牛一头，却令溺水之人将肚横覆相抵在牛背上，两边用人扶策，徐徐牵牛而行，以出腹内之水，如醒，即以苏合香丸之类，或生老姜擦其齿。若无牛，以活人於长板橙上仰卧，却令溺水人如前法，将肚相抵活人身，听其水出即活。

医林方

杂　方

血厥　苍公散：　治身不动摇，点点不知人事，目闭不能开，口禁不能言，微听人声之意，但如昏冒，移时寤者，由汗过多血少，气并於血，阳独上而不下，气壅塞而不行，故身如死，气过尽也。还阴阳复通，故移时方寤，名曰郁冒，亦名血厥，妇人多有之，可服白薇汤，苍公散嚏之，先苍公散内竹筒吹之，后服白薇汤。

瓜蒂　藜芦　雄黄　矾石

右件各等分，为细末，喻水少许，鼻水[2]嚏之。

白薇汤：

白薇　当归各一两　人参半两　甘草一钱半

右为细末，每服五钱，水一盏同煎，去滓，温温服。

气厥　世言气中，谓不见其方书，然暴喜伤阳，暴怒伤阴，忧愁不喜，气多厥逆，往往多得此疾，便觉涎潮昏塞，牙关紧急，若作中风治之，误服药，非止不相当，多杀人。如中风者，口眼不正斜，四肢不收。气厥者，牙关噤，涎又多，是气中也。每见其证，急服苏合香丸出局方。四五粒，灌之便醒，然后随虚实寒热而调治。又不可吐。经云：无故而脉不至者不治，自以调气暴逆也，气复则生。如是不服药亦可。

吴茱萸散：治奔肫气上至，心烦乱，不省人事，上至心下，从少腹起，上至咽喉，闷绝不能言语。此证奔肫气，或吐或汗出，发时气上冲，心闷乱，不省人事，可服吴茱萸汤，又可服备急压气散。出极济方。

吴茱萸　槟榔　木瓜已上各等分

右为细末，每服五钱，生姜汤调下。

备急压气散：

大槟榔四个　紫苏穗二钱半　生姜一斤，取自然汁

右为细末，分作二服，水煎，和滓温服，回再服，其效如神。

知命丹：　避难躲危绝济饥。

木香一钱　白茯苓一钱　赤石脂一钱　乳香一钱　水银一钱　黑锡一钱，与水银同结砂子，另研细　朱砂一钱　雄黄一钱　密陀僧一钱　黄蜡六钱　松脂三钱

右件九味为细末，将脂、黄蜡熔开为丸，每一丸可重一钱，如服药时，饱吃糯米粥一顿后，乳香汤送下一丸，至五七日，又服一丸，服至二丸，用枣七个，都服七个，每日减一个，减尽枣，永不饥。后：

绝粮咒水法：

唵霹雳火公事敕，摄想太阳取气，吹在水中，饮水时咒之，绝食后，心清意静，内相不出，外相不入。昔日有传方太医严仲山，自癸巳年七月初三日迁避唐州，危难无食至死埃矣，服此药，全家亲绝食四十九日，保得身安，愿施胜行，散世於人，用药勿疑。

---

[1] 把：袖珍方作“抢”。

[2] 水：按文义应无此字。

烟霞圣效方

杂　　病

治寒湿冷脾。

针滓一两，醋炒七遍　白芥末四两

右同为细末，醋调贴。

逍遥丸：　治鬲实气痞，痰盛喘促。

槟榔　半夏洗七次，一两　枳实炒，去瓤　赤茯苓去皮。各一两

右为细末，生姜自然汁煮面糊丸，绿豆大，每服二十丸或三十丸，荆芥汤送下，小儿亦可服之。

寿亲养老书

四时养老总序

四气调神论曰：阴阳四时者，万物终始、死生之本也，逆之则灾害生，从之则苛疾不起。是谓得道，春温以生之，夏热以长之，秋凉以收之，冬寒以藏之。若气及于时，则皆为疾疠。此天之常道也，顺之则生，逆之则病。经曰：观天之道，执天之行尽矣。人能执天道生杀之理，法四时运用而行，自然疾病不生，长年可保。其黄发之人，五藏气虚，精神耗竭，若稍失节宣，即动成危瘵。盖老人倦惰，不能自调，在人资养以延遐算，为人子者，深宜察其寒温，审其馆药，依四时摄养之方，顺五行休王之气，恭恪奉亲，慎无懈怠。今集老人四时通用备疾药法，具陈于左。此方多用寒药，盖北人所宜，凡用药者宜参处之。

四时通用男女妇人方

治老人风热上攻，头旋运闷，喜卧怔悸，起即欲倒，背急身强，旋覆花散：　女人[1]通用。

旋覆花半两　前胡一两　麦门冬一两，去心　蔓荆子半两　白术三分　枳壳三分，去瓤，麸炒　甘菊花三分　半夏半两，姜汁煮　防风半两　□黄[2]虚人者用石膏　独活半两　甘草半两

右为末，每服三钱，水一中盏，入姜半分，同煎至六分，去滓温服，不计时候。

老人补壮筋骨，治风走痓疼痛，并风气上攻下痓，羌活丸：

羌活　牛膝酒浴过，焙乾　川栋子　白附子舶上茴香　黄耆去皮，锉　青盐　巴戟去心　黑附子炮裂，去皮脐　沙苑白蒺藜

右件等分，一处捣罗为末，酒煮面糊为丸，如梧桐子大，每服十丸，空心临卧盐汤下，看老少加减服。

老人和脾胃气，进饮食，止痰逆，疗腹痛气，调中，木香人参散：　男子女人通用方。

木香半两　人参去芦头，半两　茯苓去黑皮，一分　白术半两，微炒　肉豆蔻去皮，一分　枇杷叶去毛，一分　厚朴去粗皮，用姜汁制　丁香半两　藿香叶一分　甘草半两，炙　乾姜半两，炮　陈皮半两，汤浸去瓤

右件一十二味，修事了秤分两，捣罗为末，每服二钱，水一盏，入生姜钱一片，枣二枚，同煎至六分，去滓温服。此药老人常服合吃。

老人和脾胃气，治胸膈痓闷，心腹刺痛，不思饮食，枳壳木香散：　男子女人通用此方。

木香一两　神曲杵末炒，四两　京三棱四两，炮　青橘皮去瓤，三两　甘草三两，炮　益智去皮，三两　白芷一两　桂心三两　莪术三两，炮　白术微炒，二两　枳壳麸炒，炮

右件药，捣罗为末，每服二钱，水一盏，

---

① 女人：寿亲养老新书作“男女”。

② □黄：寿亲养老新书同。普济方卷四十七头门作“大黄”。

入生姜、盐各少许，同煎至七分，并滓热服。

解老人四时伤寒，四顺散：男子女人通用此方。

麻黄去节　杏仁去皮　甘草炙　荆芥穗已上各等分

右同杵为末，每服一钱，入盐汤点，热服。

治老人心脾积热，或流疰脚膝疼痛，黄耆散：男子女人通用。

黄耆　红芍药　牡丹皮　香白芷　沙参　甘草炙　肉桂去皮　柴胡去苗　当归洗后炙

右件等分，捣罗为末，每服二钱，水一盏，姜三片，煎至五分，日进二服。春冬每煎时，入蜜蒸瓜蒌煎半匙。忌粘食炙爆等物。

橘皮煮散：　益元气，和脾胃，治伤寒。此名不换金散，但心腹诸疾并用疗之，男子女人通用。

橘皮去瓤，秤一两用　人参　茯苓　白术各一两　木香一分　乾姜炮　官桂半两，去皮秤　槟榔一两，鸡心者用　草豆蔻二个，去皮　半夏一分，麸炒　厚朴半两，入姜一分，同秤碎炒乾　枳壳半两，去瓤，麸炒　诃梨勒五个，煨熟，去核　甘草半两，炮

右件捣罗为末，每服一大钱，水一盏，姜枣同煎至七分，热吃，不问食前食后，并宜服。忌如常。

治老人藏府冷热不调，里急后重，阑门不和，香白芷散：男子女人通用。

当归三钱，洗　香白芷三钱，洗　茯苓三钱，去皮　枳壳三钱，麸炒　木香一钱

右件为末，每服一钱，水半盏，生姜少许，同煎至四分，温服。

治老人大小便不通，匀气散：通用。

生姜半两　葱一茎和根叶泥用　盐一捻　豉三十粒

右件四味捣烂，安脐中，良久便通。

治老人小便不通，地龙膏：

白项地龙　茴香用时看多少

右件杵汁，倾于脐内，自然便通。

治老人脚膝疼痛，不能履地，七圣散：

杜仲　续断　萆薢　防风　独活　牛膝酒浸一宿　甘草已上各一两

右件为末，每服二钱，酒调下。

治老人脾胃一切病，温白丸：　兼治脾不承受，吐逆泻痢，及宿食不消方。通用。

半夏二两，汤洗，姜汁浸　白术一两，炮　丁香一分

右件为末，用生姜自然汁和飞面为糊，搜和前药末为丸，如梧桐子大，浓煎生姜汤下十丸，空心服。如腹疼并呕逆，食后。

藁本散：　治妇人血气，丈夫筋骨风，四肢软弱，及卒中急风，并寸白虫，但常服，并皆攻治，或要出汗解伤寒，汤使如后。此方是孟相公进过。

藁本　牛膝酒浸一宿，焙乾　当归　麻黄去节。已上各一两　羌活　独活　防风　肉桂去粗皮秤　芍药　菊花　续断　五加皮　芎劳　甘草　赤箭　枳壳麸炒，去穰。已上各半两　黑附子大者一个，炮制，去皮脐　细辛一分，去叶秤

右件药一十八味，并须州土好者，使水洗过，细锉焙乾，捣罗为末，空心，温酒下二钱。如不饮酒，薄荷汤下。发汗解伤寒热，葱白酒下二钱，并服三五服为妙。

治老人风冷，展筋骨，续断散方：

续断一两　牛膝二两　芎一两　木瓜二两

右为细末，空心时，温酒调下一大钱。

坠痰化涎，和脾胃，人参半夏丸：

半夏一两，生姜四两取汁，先以汤洗半夏七遍，浸三日后，于日内煎乾，切作饼子，焙乾　北[1]矾一两　人参一两　茯苓一两，去皮

右为末，以蒸饼水浸过，却用纸裹煨熟为丸，如绿豆大，每日空心夜卧，用淡生姜汤下十五丸。开胃口，姜枣汤下；风涎，用皂角一条，姜三片，萝卜三片，同煎汤下。

治老人暖食药丁香丸：　消食，治一切气闷，止醋心腹胀，利胸膈，逐积滞方。男子妇人通用。

大乌梅一个，须是有裙襕者　巴豆一个，新肥者，和

① 北：寿亲养老新书作“白”。

皮用　香墨末，抄半钱　拣丁香五个，须是新者用　胡椒五粒，须是黑者　乾漆末，抄半钱，先炒为末　桂花末，抄半钱，香墨、乾膝[1]、桂花三味研入

右为末，用马尾罗子罗过，用醋面糊为剂，臼中杵令匀，如绿豆大，温酒下五丸至七丸，茶下亦得，或入蜡茶末抄三钱更妙。

香草散：　治妇人气羸，肠寒便白，食伤积滞，冷结肠不成，温脾肺，活荣生肌进食，益冲任二经。

茼茹　桔梗　白芷　当归　地榆　芍药　槟榔　白豆蔻各半两　麝香秤一钱

右为末，每服二钱，水一盏，姜枣同煎至数沸，通口食前，日进三服。

香枳汤：　治老人大肠秘涩，调风顺气。男子妇人通用。

枳壳去瓤，麸炒　防风各一两　甘草半两，炙

右为末，每服二钱，百沸汤点服，空心食前各一服。

治妇人男子久积虚败，壮元补血，建胃暖脾，止痰逆，消饮食，北亭丸：

北亭二两，去除砂石　阿魏半两，同硇砂研令细，醋化去沙石　川当归净洗，去苗梢用　厚朴去皮，姜汁炙令黄色　陈橘皮去瓤用红　官桂去皮秤　乾姜炮　甘草炙　川芎　胡椒拣好者　缩砂去皮用　大附子炮去皮脐。已上各秤四两　茯苓二两　青盐二两，与硇砂、阿魏同醋研，去沙土　白术米泔水浸一宿，切作片子，焙乾　吾[2]味子一两半，去沙土用之

右件依法修事为末，将硇砂、阿魏、醋入面，看多少，同煎稀糊下药，更炼好蜜，同搜和拌匀，再入臼中杵千百下，丸如酸枣大，每服一丸，空心，盐汤茶酒任下，嚼破。女人一切病患，并宜服此。

治老人一切风，乌犀丸：

天麻二两　地榆一两　玄参一两　川乌头一两，炮制去皮　龙脑薄荷四两　藿香叶一两　皂角三[3]挺，不蛀者，烧红入水中浸之　龙脑少许　麝香少许

右为末，炼蜜为膏，如皂角大，每服一丸，嚼吃，小儿半丸已下，薄荷茶清调下。

镇心丸：　养老人心气，令不健忘，聪耳明目方。

辰砂一两　桂一两　远志去心　人参已上各一两　茯苓二两　麦门冬去心　石菖蒲　乾地黄各一两半。已上除辰砂，并为末合匀

右炼蜜为丸，如桐子大，空心，薄荷酒吞下十丸至十五丸，留少朱砂为衣，益心气养神，宜常服。

治老人脾肺客热，上焦滞痰，凉心润肺消壅，枇杷叶散：　王昉进。男子女人通用。

枇杷叶炙去毛　人参　茯苓　白术　羌活　黄耆各一两　甘草炙　半夏汤洗去滑，切破焙乾。各半两

右为末，每服二钱，水一盏，入生姜、薄荷，煎至七分，食后临卧温服。

羌活散：　治老人耳聋眼暗，头项腰背疼痛，浑身疮癣，此乃肾脏风所攻也。

羌活　枳壳麸炒去瓤　半夏汤浸七遍　甘草炙　大腹子　防风　桑白皮各等分

右为粗末，每服二钱，水一盏，生姜煎至七分，温服，早辰、日午时、临卧各一服。

搜风顺气，治老人百疾，七圣丸：　男子女人通用。

槟榔　木香　川芎　羌活　桂心各一两　郁李仁一两，去皮尖，炒去[4]黄色　大黄一两一分，炒

右为末，炼蜜为丸，桐子大，不计时候，温酒下七丸，要利动即加七丸，淡姜汤下亦得。

春时摄养

春属水，主发生，宜戒杀，茂於恩惠以顺生气。春，肝气王，肝属木，其味酸，木能胜土，土属脾主甘，当春之时，其饮食之味，宜减酸益甘以养脾气。肝气盛者，调嘘气以利之。顺之则安，逆之则少阳不生，肝气内变。春时阳气初升，万物萌发，正二月

---

① 膝：寿亲养老新书作“漆”。
② 吾：寿亲养老新书作“五”。
③ 三：寿亲养老新书作“一”。
④ 去：寿亲养老新书作“令”。

间，乍寒乍热，高年之人，多有宿疾，春气所攻，则精神昏倦，宿患发动。又复经冬已来，拥炉熏衾，啗炙饮热，至春成积，多所发泄，致体热头昏，鬲壅涎嗽，四肢劳倦，腰脚不任，皆冬所发之疾也。

常宜体候，若稍利，恐伤藏府，别生和气，凉膈化痰之药消解，或只选食治方中性稍凉 利饮食，调停与进，自然通畅。若别无疾状，不须服药，常择和暖日，引侍尊亲，於园亭楼阁虚敞之处，使放意登眺，用摅滞怀，以畅生气，时寻花木游赏，以快其意，不令孤坐独眠，自生郁闷。春时若亲朋请召，老人意欲从欢，任自遨游，常令嫡亲侍从，惟酒不可过饮。春时人家多造冷馔米食等，不令下，与如水团兼粽，粘冷肥僻之物，多伤脾胃，难得消化，大不益老人，切宜看承。春时遇天气燠暖，不可顿减绵衣，缘老人气弱骨疏，怯风冷，易伤肌体，但多穿夹衣，遇暖之时，一重渐减一重，即不致暴伤也。今具春时汤药如后。

时用诸药方[1]

治老人春时多昏倦，细辛散： 明目，和脾胃，除风气，去痰涎。男子女人通用。

细辛一两，去土 芎二两 甘草半两，炙

右为末，每服一大钱，以水一盏，煎至六分，热呷，可常服。

治老人春时热毒风攻颈项，头痛面肿，及风毒眼涩，菊花散：

菊花 前胡 旋覆花 芍药 玄参 苦参 防风各等分

右为末，食后临卧，用温酒调下三钱。不饮酒，用米饮调下亦得。

治老人春时头目不利，昏昏如醉，壮热头疼，有似伤寒，惺惺丸： 通用。

桔梗 细辛 人参 甘草 茯苓 瓜蒌根 白术各一两

右为末，炼蜜为丸，如弹子大，每服一丸，温水化破，治头痛腰痛，药入口当下便惺惺。

治老人春时多偏正头疼，神效方： 通用。

旋覆花一两，焙 白僵蚕一两，炒 石膏一分，细研

右件为末，以葱煨熟，和根同杵为丸，桐子大，急痛用葱茶下二丸，慢痛不过二服。

治老人春时胸膈不利，或时满闷，坠痰饮子：

半夏不计多少，用汤洗十遍，为末 生姜一大块 枣七枚

右二味，以水二盏，药末二钱，慢火煎至七分，临卧时去生姜频服。

老人春时宜吃延年草，进食顺气，御药院常合进，通用。

青橘皮四两，浸洗，去瓤 甘草二两，为细末 盐二两半，炒

右三味，先洗浸橘皮，去苦水，微焙，入甘草同焙，乾后入盐，每早辰嚼三两叶子，通滞气大好。

治老人春时诸般眼疾发动，黄耆散：兼治口鼻生疮。

黄耆 川芎 防风 甘草 白蒺藜略炒，杵去尖，出火毒。已上各一两 甘菊花三分，不得用新菊

右净洗晒乾，勿更近火，捣为末，每服二钱，早辰空心、日午、临卧各一服，乾咽或米饮调下。暴赤风毒，泪昏涩痛痒等眼，只三服，三二日永效 内外障眼，久服方退。忌房室、毒物、火上食。凡患眼，切不得头上针络出血，及服皂角、牵牛等药，取一时之快，并大损眼。

治老人春时胸膈不利，痰壅气噎，及咽喉诸疾，黍粘汤方：

黍粘子三两，炒令香熟 甘草半两，炙

右为末，捣罗细末，每服一钱，食后临卧，如常点之。

夏时摄养

夏属火，主於长养。夏，心气主[2]，心

1 时用诸药方：寿亲养老新书作“春时用药诸方”。
2 主：寿亲养老新书作“王”。

主火，味属苦，火能克金，金属肺，肺主辛，其饮食之味，当夏之时，宜减苦增辛以养肺气。心气盛者，调呵气以疏之。顺之则安，逆之则太阳不长，心气内洞，盛夏之月，最难治摄。阴气内伏，暑毒外蒸，纵意当风，任性食冷，故人多暴泄之患。惟是老人尤宜保护。若檐下过道，穿隙破窗，皆不可纳凉，此为贼风中人暴毒，宜居虚堂净室，水次木阴洁净之处，自有清凉。每日凌晨，进温平顺气汤散一服，饮食温软，不令太饱，畏日长永，但时复进之，渴宜饮粟米温饮，豆蔻熟水，生冷肥腻，尤宜减之。绿[①]老人气弱，当夏之时，纳阴在内，以阴弱之腹，当冷肥之物，则多成滑泄，一伤正气，卒难补复，切宜慎之。若须要食瓜果之类，量虚实少为进之。绿[②]老人思食之物，若有违阻，意便不药[③]，但随意与之，才食之际，以方便之言解之，往往知味便休，不逆其意，自无所损。若是气弱老人，夏至已后，宜服不燥热平补肾气暖药三二十服，以助元气，若苁蓉丸、八味丸之类，宜往洁雅寺院中，择虚敞虚[④]，以其所好之物悦之。若要寝息，但任其意，不可令久眠，但时时令歇，久则神昏，直召年高相协之人，日陪闲话，论往昔之事，自然喜悦，忘其暑毒，细汤名茶，时为进之，晚凉方归，谨选夏时汤药如后。

夏时用药诸方

治老人夏多冷气发动，胸膈气滞噎塞，脾胃不和，可思饮食，豆蔻散：

草豆蔻 四两，以姜四两，炒香黄为度，和姜用　大麦蘗子 十两，炒黄　神曲 四两，炒黄　杏仁 四两，去尖，炒熟　甘草 四两，炙　乾姜 二两，炮裂

右为末，每服一钱，如茶点之，不计时候服。

治老人夏月宜服平补下元，明目苁蓉丸：

苁蓉 四两　巴戟 二两　菊花 二两　枸杞子 二两

右为末，炼蜜为丸，桐子大，每服盐汤下二十丸。

治老人夏月暴发腹痛及泄泻，木香丸：

轻好全乾蝎 二十个，每个擘三两段子，於慢火上炒令黄熟　拣好胡椒 三佰粒，生　木香 一分

右件药，同捣为末，湿纸裹烧，粟米饭为丸，如绿豆大，如患腹痛，每服十五丸，煎灯心陈橘皮生姜汤下；大便不调及泄泻，每服十五丸，煎陈橘皮汤下。

治老人夏月脾胃忽生冷气，心腹胀满疼闷，泄泻不止，诃子散：

诃子皮 五个　大腹 五个去皮　甘草 半两，炙　白术 半两，微炒　草豆蔻 十四个，用面裹烧令面熟黄，去面并皮用　人参 去芦头，半两

右为末，每服二钱，水一盏，入生姜少许，枣二箇，同煎至六分，去滓温服。

治老人夏月因食冷气积滞，或心腹疼痛等，宜常服。

京三棱 三两，湿纸裹煨熟透，别杵　蓬莪术 二两，同上　乌药 二两　益智 去皮，二两　甘草 三两，炙　陈橘皮 二两，如乌药，用厚朴亦得

右为末，每服入盐点之，不计时候，一钱。

治老人夏月宜服三圣丸：　祛逐风冷气，进食和胃，去痰滞，腰膝冷痛。

葳灵仙 净洗去土拣择，焙乾，秤五两　乾姜 二两，炮制　乌头 二两，炮制，去皮脐秤

右件为末，煮枣肉为丸，如梧子大，每服十五丸至二十丸，温姜汤下。

治老人夏月宜服平补楮实丸方：　驻颜壮筋骨，补益元藏，疗积冷虚乏，一切气疾，暖胃进酒食，久服令人轻健，此神效方。

楮实 半斤，轻杵去白皮膜，拣择净，微炒　鹿茸 四两，茄子背为上，其次亦得，净瓮上炙令黄色，如无，则鹿角屑代之亦妙　大附子 炮，四两，去皮脐，出火毒　怀州牛膝 四两，去芦头，酒浸二宿，焙　紫巴戟 四两，洗，去心　金钗石斛 四两，去根，拣净，细细切之　川乾姜 二两，炮制，急於新水内净过　肉桂 二两，去粗皮

① 绿：寿亲养老新书作“缘”。
② 绿：寿亲养老新书作“缘”。
③ 药：寿亲养老新书作“乐”。
④ 虚：寿亲养老新书作“处”。

右件八味为末，楮实子一味，用砂盆别研二日，令烂细后，旋入前药末同研，拌令细匀，入煮枣肉同研拌得所，方入铁臼杵二千下，丸如桐子大，每服三十丸，温酒下。忌牛肉、豉汁。

治老人百疾，常服四顺汤：

神曲四两，入生姜四两，去皮，一处作饼子，焙乾 甘草一两半，炙黄 草豆蔻一两半，先炮熟，去皮，细锉用大麦蘗子二两，炒香熟

右件为末，盐点之一钱。

妇人年老，夏月平补血海，活血去风，五倍丸：

五倍子二两 川芎二两，锉细 菊花二两 荆芥穗二两 旋覆花二两

右为末，蜜为丸，如桐子大，每日空心，五更晚食后，盐汤酒下十五丸，吃至半月日，觉见渐安，手足有力，眼目鲜明，进得饮食，大王血海，请每一日三服，若见大段安乐，一日只吃一服尤佳。

治老人脾胃弱，不思饮食，吐泻霍乱，理中丸：

人参 甘草 乾姜 白术各等分

右为末，炼蜜为丸，桐子大，每服十五丸，食前服。

夏月消食和气，橘红散：

陈橘皮一斤半，汤浸洗五七度，用净中[1]裂乾后，用生姜五两，取自然汁拌橘皮令匀，淹一宿，焙乾，秤一斤 肉豆蔻半两 甘草五两

右先将甘草寸截，用白盐五两，一处同炒，候盐红色、甘草赤色为度，一处为末，如茶点之。

夏月平胃补老人元藏虚弱，腑气不顺，壮筋骨，益颜容，固精髓，八仙丸：

泽泻三两 茯苓二两，去粗皮 牡丹三两 官桂二两 附子三两，炮去皮脐 生乾地黄八两，洗，乾杵 山茱萸四两 乾薯药四两，微炒炙

右事持了焙乾，惟桂不焙，为末，炼蜜为丸，如桐子大，每日空心，温酒或盐汤下三十丸。

秋时摄养

秋属金，主於肃杀。秋，肺气王，肺属金，味属辛，金能克木，木属肝，肝主酸，当秋之时，其饮食之味，宜减辛增酸以养肝气。肺气盛者，调呬气以泄之。顺之则安，逆之则太阴不收，肺气焦满，秋时凄风惨雨，草木黄落，高年之人，身虽老弱，心亦如壮。秋时思念往昔亲朋，动多伤感，季秋之后，水冷草枯，多发宿患。此时人子最宜承奉，晨昏体悉，举止看详，若颜色不乐，便须多方诱说，使役其心神，则忘其秋思。其新登五谷，不宜与食，动人宿疾。若素知宿患，秋终多发，或痰涎喘嗽，或风眩痹癖，或秘泄劳倦，或寒热进退，计其所发之疾，於未发已前，择其中和应病之药，预与服食，止其欲发，今布秋时汤药如后。

秋时用诸药方

治老人一切泻痢，七宝丹：此药如久患[2]□痢，诸药疗不差者，服此药无不差。若老人反脾泄滑，大宜服此药。

附子炮 当归 陈橘皮 乾姜已上各一两 吴茱萸 厚朴以姜汁炙 南椒已上三味各半两 舶上硫黄一两

右件七味细锉，以慢火焙过，捣罗为末，与硫黄末同拌匀，一处煎米醋和作二剂，却以白面半斤，和令得所，亦令分作二剂，用裹药如烧饼法，用文武火煨令面熟为度，去却面，於臼中捣三佰下，丸如桐子大，如患诸般泻痢，以米汤下二十丸，空心日午服；如患气痛及宿食不消，以姜盐汤下二十丸，空心日午服；如患气痛及宿冷，并无忌，此方如神如圣，其效无及。

治老人乘秋藏府虚冷，滑泄不定，摄脾丸：

木香 诃子炮，去核 厚朴生姜汁炙 五倍子

1 中：寿亲养老新书作“巾”。

2 患：此下脱字，寿亲养老新书作“泻”。

白术 各等分

右为末，用烧粟米饭为丸，桐子大，每服十丸，米饮送下。

治老人秋肺壅滞，涎嗽间作，胃脘痰滞，塞闷不快，葳灵仙丸：

乾薄荷 取末，一两 皂角 一斤，不蛀、肥者，以河水浸洗去黑皮，用银石器内，用河水软槎去滓，绢滤去①，熬成膏 葳灵仙 洗净去土，焙乾为末，四两

右入前膏搜丸，如桐子大，每服三十丸，临卧，生姜汤吞下。

治老人脾藏泄泻，中心气不和，精神倦怠，不思饮食，神授高青丸：

高良姜　青木香 各一两

右二味为末，煮枣肉为丸，桐子大，乾姜汤下十五丸至二十丸。

治老人秋后多发嗽，远年一切嗽疾，并劳嗽痰壅，保救丹：

蛤蚧 一个，如是丈夫患，取腰前一截，雄者用之；女人患，取雌者腰后一截用之　不蛀皂角 二挺，涂酌②炙去 黑皮并子　乾地黄 一分，熟蒸如锡③　五味子 一分　杏仁 一分，去皮尖，用童子小便浸一伏时，入蜜炒黄色　半夏 一分，浆水煮三七遍　丁香 少许

右为末，炼蜜为丸，如桐子大，每日食前，一服五丸，姜汤下。

治老人膈滞，肺疾痰嗽，生姜汤：

杏仁 四 两，去皮尖　生姜 六两，去皮，细横切之　甘草 三分　桃仁 半两，去皮尖　盐花 三两

右以杏仁、桃仁、姜湿纸同裹煨，沙盆内研极细，后入甘草、盐，再研，洁器贮之，汤点服。

治诸般腹泻不止，及年高久泻，健脾散：

川乌头 炮去皮脐，三分　厚朴 去皮，姜汁制　甘草 炙　乾姜 炮。各一两

右为末，每服一钱，水三合，生姜二片，煎至二合，热服，并进二股④，立止。

冬时摄养

冬属水，主於敛藏。冬，肾气旺，肾属水，味属咸，水克火，火属心，心主苦，当冬之时，其饮食之味，宜减咸而增苦，以养心气。肾气盛者，调吹气以平之。顺之则安，逆之则少阴不藏，肾之水独沉。三冬之月，最宜居处密室，温暖衾服，调其饮食，适其寒温，大寒之日，山药酒、肉酒时进一杯，以扶衰弱，以御寒气，不可轻出，触冒寒风。缘老人血气虚怯，真阳气少，若感寒邪，便成疾患，多为嗽吐逆、麻痹、昏眩之疾。炙煿煎炉之物，尤宜少食。冬月阳气在内，阴气在外，池沼之中，冰坚如石，地裂横璺，寒从下起，人亦如是，故盛冬月，人多患膈气满急之疾，老人多有上热下冷之患。如冬月阳气在内，虚阳上攻，若食炙⑤煿燥热之物，故多有壅噎、痰嗽、眼目之疾，亦不宜澡沐。阳气内蕴之时，若加汤火所逼，须出大汗，高年人阳气发泄，骨肉疏薄，易於伤动，多感外疾。惟早眠晚起，以避霜威，晨朝宜饮少醇酒，然后进粥，临卧宜服微凉膈化痰药一服。今列冬时汤药如后。

冬时用药诸方

治老人大肠风燥气秘，陈橘丸：霍大使与冯尚药同定此方。

陈橘皮 去穰，一两　槟榔 细锉，半两　木香 一分　羌活 去芦头，半两　防风 去芦头，半两　青皮子⑥ 去穰，半两　枳壳 麸炒去穰，半两　不蛀皂角 二挺，去黑皮，酥炙黄　郁李仁 一两，去皮尖，炒黄　牵牛 微炒，杵细罗取末，二两

右为末，郁李仁、牵牛同研拌匀，炼蜜为丸，桐子大，每服二十丸，食前，用姜汤下。未利，渐加三十丸，以利为度。

老人有热，壅滞不快，大肠时秘结，诸热毒生疮，搜风顺气牵牛丸：

牵牛 二两，饭甑蒸过　木通 一两　青橘 一两，去穰

① 去：寿亲养老新书此下有“粗”字。
② 酌：寿亲养老新书作“酥”。
③ 锡：寿亲养老新书作“饧”。
④ 股：寿亲养老新书作“服”。
⑤ 炙：寿亲养老新书作“炙”。
⑥ 子：寿亲养老新书无此字。

桑白皮一两　赤芍药一两　木香半两

右为末，炼蜜为丸，如桐子大，每服十五丸至二十丸，丈夫酒下，妇人血气醋汤下。

解老人热秘方：

大附子一箇，烧留性，研为末，每服一钱，热温酒调下。

施圆端效方

杂　方

灸焫熨蒸

古人云，灸熨焫蒸，助阳退阴，方宜法异，自北南亨，穴真灸当疾瘳。蒸熨，阳冲气壮，辛甘汤液，内外相应，卒暴阴寒，为病甚笃，先贤哲智，尚犹诫慎消详，上世遗风垂范，再咨可矣。

熨法：　治三阴中寒，一切虚冷，厥逆呕哕，阴盛阳虚之证，及阴毒伤寒，四肢厥冷，脐腹痛，咽喉疼，呕吐下利，身背强，自汗，脉沉细，或唇青面黑，诸虚冷证，皆宜用。

肥葱细切锉　麦麸各三大升　沧盐二两

右三件，入水一大盏，同和拌匀湿，分作二次，於铛锅内同炒极热，用重绢缝作二包，裹熨病人脐周，下连阴部、前后两股阴间，往来不住熨之，一包将冷，更易一包，葱包既冷，再用盐水拌湿炒焦热，依前用之，至煤烂不用，别取葱麸，日夜不住相续之，至身体温热，脉壮，阳气复来而正守，气养之和之。

熨法：　治阴证伤寒，腹痛吐利，唇青面黑，身背强，四肢冷，脉沉细，咽喉不利。

燕山田盼姑方。

右用沧盐一斤，炒焦大热，布绢二重作囊，包裹盛之，熨阴脐间，亦同葱熨法尤妙。

神效名方

取雕青：

水蛭取阴乾为末，先以白马汗擦青处，后用白马汗调药涂之。

新　效　方

芎术丸：　治诸郁证。

苍术　香附　抚芎　神曲　山栀子各等分

右五味末之，以水发为丸，绿豆大，温水下。

参萸丸：　治湿并气，湿热甚者，用为乡导，上可治吞酸，下可治自利。

滑石六两　炙甘草　吴茱萸各一两。汤泡

右三味末之，杵饭丸梧子大，每服五六十丸，温水下。一方去茱萸加乾姜一两，名曰温青丸。

固肠丸：　治湿气下痢、下血、下赤白带，去肺胃间陈积，燥下焦湿，不可单服，须详证，作汤使下。

椿根白皮四两，炒

右一味末之，糊丸梧子大，每服五七十丸，温水下。一方加滑石二两。

二妙散：　治因湿热筋骨痛，兼有气则加顺气药，血虚则加补血药，痛甚者入姜汁，令辣热服。

黄柏炒褐色　苍术浸去黑皮，炒。各等分

右二味末之，每服二钱，用汤入姜汁同煎沸服之。表实气实者，加少酒佐之。若治

痛风走注痛者，再用酒威灵仙末、羊角灰末、苍耳末、芥子末、生姜汁，五味约一钱，入本方二味再温服。

龙荟丸：　治内有湿热，或胁痛，痛甚者，炒丸令热，以姜汁下。

龙胆　当归　黄连　大栀子　黄芩　黄柏六味。各一两　大黄　芦荟各半两　木香二钱半　麝香半钱

右十味末之，神曲糊丸梧子大，每服五六十丸，温水下。一方加柴胡、川芎、青黛各半两。一方同上加三味，减大黄、黄柏、木香、麝香四味。

茱萸丸：　治吞酸。

吴茱萸去枝梗，汤煮少时，浸半日，晒乾　陈皮　黄芩三味各半两，陈壁土炒，去土用　黄连一两，陈壁土炒　苍术七钱半，米泔浸

右五味末之，神曲糊丸绿豆大，每服白术汤下三五十丸。

急救仙方

治呴嗄，蓖麻子随多少，去粗壳，炒熟，吃甜者，苦者吐出，多吃见效。

人恍惚见鬼发狂，平胃散加辰砂末，枣汤调服。

臞仙活人心

百病至圣来复丹：　治荣卫不交，心肾不升降，上实下虚，气闭痰厥，心腹冷痛，脏腑虚滑，不问男子老幼，危急之证，但有胃气，无不获安。此药配类二气，均调阴阳，掌天地冲和之气，乃水火既济之方，可冷可热，可缓可急，为效殊胜。

硝石一两　硫黄一两，二味相和作丹　太阴玄精石一两　青皮去白，二两　五灵脂四两，研为末，水澄过二两净　陈皮去白，二两

右用五灵脂二两，橘皮为末，次入玄精石末及前二气末拌匀，好醋打糊为丸，豌豆大，每服三十丸，空心米饮下。

玄

安神归神丹：　安神宁心，闭精气不泄，固元气长存，及治一切颠痫诸疾，惊悸，神不守舍之证。

颗块朱砂二两，猪心内酒蒸　金箔二十片　银箔二十片　琥珀一两　酸枣仁去壳，二两　远志姜汁炒，一两　白茯神去木，二两　龙齿一两　罗参二两　当归二两

右为细末，酒煮稀面糊为丸，桐子大，每服二十九丸至五九丸，用去心麦门冬汤送下。夜寝不寐，多乱梦，用炒酸枣仁汤送下。

风气捉虎丹：　专治风寒暑湿脚气，无问远年近日，一切走注疼痛不可忍，临发时，空心服一丸，赶到脚面上赤肿痛不散，再一丸，赶至脚心中出黑汗乃除根。如病在上，食后临卧酒下，自然汗出定痛为验。及风重瘫患，麻痹不仁，手足不能屈伸，偏枯，酒下二丸，进二服。初风不省人事，牙关不开，研二丸，酒调灌下，一省为验。

麝香二钱半　京墨烧烟尽，一钱半　乳香　没药各七钱半　白膠香一两半。各研　草乌去皮脐，一两半　五灵脂　地龙去土　木鳖子各一两半。净，捶去油尽　当归七钱半，晒乾

右为末，与前药和匀，用糯米糊为丸，如鸡头实大，温酒下一丸，神效。

过药灵宝丹：　推积滞，除腹痛，治一切无名肿毒恶疮。

木香　沉香　乳香各半两

右为末，将巴豆皮退去，净二钱，枣二箇，去皮，捣成膏，和药收之，每服一丸，如绿豆大，凉水送下。如欲过三行，先吃凉水三口，然后用凉水送下；如欲五行六行，依数吃水。巴豆去油用。

卫生易简方

百　　病

治诸病，用威灵仙一味，於冬月丙丁戊己日采根，伏乾月馀日，捣筛为末，温酒调二钱匕，空心服。或用酒九蒸九曝，为末，白饭和丸如桐子大，每服二三十丸，温酒送下。饵之者，夏无瘟疫，秋无疟痢，宣通五脏，祛逐诸风，癥瘕积聚，痃癖气块，痰唾涎水，膀胱宿脓，喉喘肿胀，手足顽麻，腰膝疼痛，白癜黄疸，疮癣疥癞，目眩头旋，憎寒壮热，虚损伤败，一切疾病，服之大验。其性甚善，不触诸药，惟忌茶茗，可煎甘草、栀子代饮，仍以不闻水声者良，净室修合。

又方：　用桃胶不拘多少，以桑柴灰汁渍之一宿，日乾为末，炼蜜丸如桐子大，每服五七丸。凡一切病患，诸药无效者，服此大妙。或以桃花酒渍饮之，兼身轻，有光明好颜色。

又方：　用石钟乳捣罗细末服之，酒调或浆水调，服百日通明。久服除百病，耐寒暑，不饥渴。凡钟乳，用头长一二寸，触著便折者为佳。孔公孽不如乳头也。

又方：　用矾石一斤，以水一斗二升，渍之一宿，矾石消化取汁，盛铜器中，安炭火上，令大沸，从旦至午烧之，或至一升许，引以举上，如悬丝形，以盐一勺，蜜半升，内其中搅匀，候凝，丸如桐子大，每服五丸，日三，治百病，轻身延年。

又方：　用好矾石为末，置新桑器中，以新桑盘盖其上三宿，矾当尽上著盘，取治为末，以白蜜丸如麻子大，日服三丸，治百病甚良，亦轻身延年也。

又方：　用矾石三斤，以水五斗，於铜器中煎矾为水，绢滤三遍，去其沙石草土，入猪肪五[1]两，初煎猛火，欲成微火，竭至四升取下，置生土上，以桑条搅，硬则加水，熟搅令饵，炼得白色为佳，候冷，丸如豆大，每服三丸，增至十丸，不拘时。治手足心热，目黄吐逆，百病服之甚效。

金匮钩玄

六　　郁

气血冲和，万病不生，一有怫郁，诸病生焉。

气：香附　苍术　川芎

湿：苍术　川芎　白芷

痰：海石　香附　南星　瓜蒌

热：青黛　香附　苍术　川芎　栀子

血：桃仁　红花　青黛　川芎　香附

食：苍术　香附　山查　神曲　针砂醋炒

春加川芎，秋冬加茱萸，夏加苦参。

越鞠丸：　解诸郁。

苍术　香附　川芎　神曲　栀子

凡郁，皆在中焦，故以苍术、川芎开提其气以升之。假如食在气上，提其气则食自降，馀皆倣此。

御医撮要

温白丸：　主久患宿疾劳病，脏腑久冷，黄黑瘦弱，吐逆腹胀，吃食减退。

紫苑　吴茱萸　皂角去皮子，酥炙　乾姜

① 五：卫生易简方作“三”。

去皮，煨 柴胡 桔梗 厚朴 茯苓 石菖蒲 米泔水浸一宿，切，焙乾 肉桂去皮 黄连 川椒去皮子，出汗 甘草 牛膝 当归炒 巴豆去皮，麸炒黄，细研，纸裹押出油 □防各二分 乌头十分，炮去皮尖

右件为末，炼蜜丸，捣三千杵，作丸如桐子大，初服二丸，加至三丸，天德月德日合，临卧，熟水下。应是宿患者，取微痢为度。看脏腑虚实，加减至五丸，并无忌。久服大暖，永无诸疾。如患宿疾劳病，脏腑久冷，黄黑瘦弱，吐逆腹胀，吃食减退，但是久患，於五更初，暖酒下三丸，粥饮亦可。一切气痛，冷热气筑，并用温酒下三丸；一切伤寒热病，浑身壮热，头痛，阴阳二毒，葱汤下三丸至五丸，坐间汗出，微转下恶物，麻黄汤下亦好；大小男女患惊痫，热茶下一两丸，看大小加减；消食化气，藏府壅滞，茶酒或汤任下三丸，食前；脐下结痛，煎橘皮汤下三丸；血痢，蜜汤下；心痛，石榴皮汤下；脚气，杏仁或小豆汤下；脚转筋，木瓜汤下；水泻，龙骨汤下；口疮，蜜汤下；咳嗽，百部汤下；诸般风疾，柳枝汤下；头痛，石膏汤或茶下；耳鸣，盐汤下；胸鬲气满，木通汤下；心痰，米饮下；大小便不利，葱茶汤下；翻胃，人参汤下；疟疾，醋汤下；鬼气胀满，桃仁汤下；喉闭喉塞，茱萸汤下；中毒，洗衣汤下；又时气，豆豉汤下；赤眼，亦茶下；血淋，麻子汤下；产难，滑石汤下。

七宣丸： 疗风气结聚，宿食不消，兼积年腰脚疼痛，寒冷如水石，脚气冲心，烦愦闷乱，头旋暗倒，肩背重闷，心腹胀满，胸鬲痞塞，风毒肿气，连及头面，大小便秘涩，脾胃气不调，不能饮食，夜卧脚转筋脉掣痛，眠寝不安。

大黄十五两 枳实炒 木香 柴胡去苗，洗 诃梨勒各五两 桃仁六两，去皮尖，炒 甘草一两，炒

右为末，炼蜜丸如桐子大，每服三十丸，米饮下，食后临卧服，增至四十丸，宣利为度，量虚实增减，觉病势退，即服五补丸。

艾叶煎丸： 理冷劳，脐腹疼痛，或时泄痢，兼理妇人下经病带下。

艾叶四两，炒 当归一两，锉，微炒 乾姜一两，炮

右件为末，米醋三升，入药末一半，熬成膏，后入馀药末相和，丸如桐子大，每服三十丸，温粥饮下，空心食前服。

乾地黄丸： 壮热人长服之，终身不患痈疽，令人肥悦耐劳苦。

乾地黄五两 芍药 甘草 桂心 黄耆 黄芩 远志各二两 石斛 当归 大黄各三两 人参 巴戟天 瓜蒌根各一两 苁蓉 天门冬各四两

右件为末，蜜丸，酒服如桐子大十丸，日三服，加至二十丸。

薄荷汤： 顺风气，清头目。

龙脑薄荷四两，阴乾 荆芥穗二两 甘草一两

右件细散，每服一钱，沸汤调下。

人参汤： 安和心神。

人参 白茯苓各二两 橘皮 桑白皮 甘草 杏仁各一两

右为细末，每服一钱，白汤点进。

杏霜汤： 主肺感寒邪，胸鬲不利，咽喉肿痛。

杏仁十两 甘草十二两 粟米一升 盐一斤二两，烧

右件细末，每服一钱，如茶点服。

诸　汤　门

和剂局方

诸　汤

豆蔻汤：　治一切冷气，心腹胀满，胸膈痞滞，哕逆呕吐，泄泻虚滑，水谷不消，困倦少力，不思饮食。

肉豆蔻仁面裹煨，八斤　必用全书二斤　甘草炒，十一斤　全书二斤十二两　白面炒，六斤　全书一斤半　丁香　枝杖七斤　全书一斤十二两　盐炒，十三斤　全书三斤四两　右为末，每服一钱，沸汤食前点服。必用之书与全书同。

木香汤：　治胸膈痞塞，心腹刺痛，胁肋胀满，饮食减少，噫气吞酸，呕逆哕闷，一切气疾并皆治之。

木香　青皮各三斤　蓬莪术四斤　麦蘖炒　姜黄各五斤　甘草炒　盐炒。各十一斤

右为末，每服一钱，沸汤点服，不计时候。

桂花汤：　治一切冷气，心腹刺痛，胸膈痞闷，胁肋胀满，呕逆恶心，饮食无味。

桂心　甘草炒。各九斤　缩砂仁三斤十四两　乾姜炮，九两　盐炒，十四斤

右为末，每服一钱，沸汤食前点服。是斋医方：桂心九两，生　甘草九两，锉　盐十四两　乾姜九两，生　缩砂仁三两半，生　右为细末，每服二钱，白汤点，并吃三服，立有神效。

破气汤：　治一切冷气，攻心腹胁肋，胀满刺痛，噫气吞酸，呕逆恶心，胸膈噫塞，饮食减少。

荜澄茄　良姜　姜黄　木香各六两　陈橘皮一本不去白　茴香拣净炒　青皮各十二两　一本不去白　甘草炒，八斤半　丁香皮九两　杏仁去皮尖，麸炒，别捣　桂心各一斤　盐炒，十四斤

右为末，每服一钱，沸汤点，食前服。

玉真汤：　治一切冷气，痰逆恶心，胸膈痞闷，脐腹撮痛，口苦无味，饮食不美。

阿魏面裹煨　茴香拣净炒。各三斤　胡椒九两　白面炒，六两　甘草炒，十两　一本十斤　盐炒，二十三斤半　一本三十三斤半　乾姜炮，一斤　一本一斤半　檀香一斤半　白粳米炒，一斗六升　杏仁去皮尖，麸炒，别捣，三斤十二两

右为末，每服一钱，沸汤点服，食前。

薄荷汤：　消风壅，化痰涎。治头昏目眩，鼻塞咽乾，心胸烦闷，精神不爽。

缩砂仁三两　瓜蒌根十二[1]两　甘草炒，锉，四斤　鸡苏叶七斤半　荆芥穗　盐炒。各三斤

右为末，每服一钱，沸汤点，食后服。

紫苏汤：　调气利膈，消痰止嗽。治心胸烦闷，口乾多渴。

紫苏叶六斤　甘草炒　盐炒。各十斤　乌梅去核，微炒，九斤　杏仁去皮尖，麸炒，三斤，别捣

右为末，每服一钱，沸汤点，不计时候。

枣汤：　治脾胃不和，乾呕恶心，腹胁胀满，不美饮食。

生姜洗，切，五斤　一本五两　甘草炙，锉，三两[2]　枣去核，一斤

右一处拌匀，用盆器盛贮，以布盖罨一宿，焙乾，捣为末，每服一钱，入盐少许，沸汤点服。常服建脾胃，顺气进食。

二宜汤：　治冒暑引饮，冷热不调，泄泻多渴，心腹烦闷，痢下赤白，腹痛后重。

① 二：太平惠民和剂局方作“一”。
② 两：太平惠民和剂局方作“斤”。

乾姜砂炒，四斤　甘草砂炒，三十斤　杏仁去皮尖，砂炒，研　桂心各四斤四两

右为末，每服一钱，沸汤点服，如伤暑烦渴，用新水调下，不计时候。

厚朴汤：　治脾胃虚冷，腹痛泄泻，胸膈痞闷，胁肋胀满，呕逆恶心，不思饮食。

丁香皮八两　枣一斗六升　厚朴去粗皮，十斤，用生姜二斤制　丁香枝杖，十二两　甘草炒，十一斤　盐炒，十五斤

右为末，每服二钱，水一盏，生姜二片，枣二个，同煎七分，热服。常服温中顺气，进饮食。每服一钱，沸汤点，食前服。

五味汤：　温中益气。治胸膈痞满，心腹刺痛，短气噎闷，咳嗽痰唾，呕逆恶心，不思饮食。

五味子洗，九斤　茴香炒　良姜[1]　陈皮[2]各一斤半　一本一斤　甘草炒，十七斤半　盐炒，二十二斤

右为末，每服二钱，沸汤点，食前服。

仙术汤：　辟瘟疫，除寒湿，温脾胃，进饮食。

乾姜炮，二十两　必用全书五两，炮　枣去核，二斗四升　全书六升　杏仁去皮尖，麸炒，别捣，六斤　全书斤半　甘草炙，十四斤　全书三斤半　盐炒，二十五斤　全书六斤四两　苍术去皮，四十八斤　必用之书十二斤，米泔水浸，焙

右为细末，入杏仁和匀，每服一钱，沸汤点服，食前。常服延年，明目驻颜，轻身不老。必用之书与全书同。

杏霜汤：　调肺气，利胸膈，治咳嗽，止痰逆。

粟米炒，一斗六升　盐炒，十六斤　杏仁去皮，麸炒[3]，十斤　甘草炒，十斤半

右为末，每服一钱，沸汤调服，不拘时候。常服悦泽颜色，光润皮肤。

生姜汤：　治酒食所伤，心胸烦满，口吐酸水，呕逆不定，饮食无味，胸膈不快。

乾生姜二斤　盐炒，二十二斤半　一本二十二斤　杏仁去皮尖，麸炒，别研，十斤　白面炒，三斤　甘草炒，十三斤

右为末，每服半钱，如茶点吃。常服一字，消食化痰，宽利胸膈，不拘时候。

益智汤：　治一切冷气，呕逆恶心，脐腹胁肋胀满刺痛，胸膈痞闷，饮食减少。常服顺气宽中，消宿冷，调脾胃。

益智仁四斤半　乾姜炮，三两　甘草炒，十五斤　一本十五两　盐炒，十六斤半　京三棱煨，乘热碎，一斤半　陈皮　青皮　蓬莪茂各十二两

右为细末，每服一钱，沸汤点服，不拘时候。

茴香汤：　疗元藏气虚冷，脐腹胀满，疠刺疼痛，不思饮食，一切冷气，并皆治之。

川楝子洗，炒　陈皮各二斤　一本十二斤　盐炒，一斤　茴香去土，炒，六斤　一本六升　甘草炒，七斤

右为末，每服一钱，如茶点吃。常服温中益气，利胸膈，进饮食。

茴香汤：　治疗与前茴香汤同。

桔梗焙，三十两　茴香炒　甘草炒。各六两　白芷　肉桂各二两，不见火

右为细末，每服一钱，盐少许，沸汤点，食前服。常服宽中、益气、温胃。

檀香汤：　治精神不爽，头目昏眩，心忪烦躁，志意不定。

白芷　川芎各二两　檀香三两。各不见火　桔梗焙，三十两　甘草炒，六两

右为细末，每服一钱，盐少许，沸汤点服。常服调中顺气，安神定志，清爽头目。

缩砂汤：　治一切冷气，心腹刺痛，胸膈痞闷，胁腹胀满，呕逆恶心，饮食无味，脾胃不和，酒食多伤，呕吐不止。

丁[4]皮六两　缩砂仁。各不见火　甘草各二两。炒一本各十二两　桔梗焙，六十两

右为细末，每服一钱，盐少许，沸汤点服，食前。常服消滞气，宽胸膈，建脾胃，进饮食，止呕吐。

---

① 姜：太平惠民和剂局方此下注有“炒”字。
② 皮：太平惠民和剂局方此下注有“去白”二字。
③ 炒：太平惠民和剂局方此下有“别研”二字。
④ 丁：太平惠民和剂局方此下有“香”字。

胡椒汤：　治脾胃受寒，胸膈不利，心腹疼痛，呕逆恶心。常服温暖脾胃，去寒顺气。

肉桂不见火　红豆各一两　桔梗焙，三十两　胡椒六两　乾姜焙，三两　甘草炒，七两

右为细末，每服一大钱，盐少许，沸汤点服，不拘时。

挝脾汤：　治脾胃不快，宿醒留滞，呕吐酸水，心腹胀痛，可[1]思饮食，伤冷泄泻，并宜服之。

良姜十五两　茴香炒，七两半　甘草十一两七钱半　一本十一两七钱　麻油四两　盐炒，一斤

右件同炒，为细末，每服一钱，白汤点下。常服快气，大解中酒，美进饮食。

小理中汤：　治脾胃不和，中寒上冲，胸胁逆满，心腹疠痛，饮酒过多，痰逆恶心，或时呕吐，心下虚胀，膈塞不通，饮食减少，短气羸困，温中逐水去湿。又治肠胃冷湿，泄泻注下，水谷不分，腹中雷鸣，霍乱吐利，手足厥冷，胸脾[2]心痛，逆气结气，并皆治之。

生姜五斤　盐炒，十五两　甘草生用，十两　苍术米泔浸，焙，五两

右锉碎同碾，淹一宿焙乾，碾为细末，每服一钱，沸汤点，空心服。

白梅汤：　治中热，五心烦躁，霍乱呕吐，口乾烦渴，津液不通。

檀香十两　盐炒，十五斤　甘草十三斤半　白梅二十九斤，碾破

右件为末，每服一钱，擦生姜新汲水下。如酒后乾哕，恶心舌涩，如茶吃。

三倍汤：　治脾胃不和，胸膈闷满，饮食不化，呕逆恶心，或霍乱呕吐，心腹刺痛，肠鸣泄痢，水谷不分。

草豆蔻仁，二两　盐炒，五两　甘草一两　生姜五两

右件拌和匀，入瓷器内淹一宿，焙乾为末，沸汤点服。

铁刷汤：　治胃气不和，心腹疼痛，饮酒过度，呕哕恶心，脾痛翻胃，内感风寒，肠鸣泄泻，妇人血气刺痛，并皆治之。

香附子六两　桔梗一斤半　良姜　陈皮各十二两　肉桂去[3]皮，四两　甘草一斤　乾姜　茴香各半斤

右除肉桂外，同炒，为细末，每服一钱，入盐少许，沸汤点下。常服快气，不拘时候。

快汤：　火[4]治脾胃虚冷，酒食所伤，胸膈不快，呕逆恶心，吞酸吐水，口淡舌涩，可[5]思饮食，并宜服之。

枯梗炒，三斤　粟米炒，三十两　盐炒，一百二十钱重　乾姜炮，二斤半　甘草炙，十八两

右为细末，每服一钱，沸汤点，食前服。

是斋医方

京　汤　方

金粟汤：　魏元范方。

粟米一升　生姜十两　甘草四两　草果子二两，净皮

右先将粟米淘净，同生姜研碎，罨一宿，作饼子，焙乾，却同甘草、草果捣罗为细末，若更入白术二两绝妙，每服二三钱，入盐少许，沸汤点下，不拘时候。

江公谟集香汤：

缩砂和皮五两，去皮用　甘草三两　胡椒半两　檀香半两　青盐四两

右先炒盐、甘草，次下余药，炒令香熟，为细末，如常点服。无青盐，只用海盐。王

① 可：太平惠民和剂局方作“不”。
② 脾：太平惠民和剂局方作“痹”。
③ 去：太平惠民和剂局方此下有“粗”字。
④ 火：太平惠民和剂局方作“大”。
⑤ 可：太平惠民和剂局方作“不”。

直之判院方名子淳，此方甚妙。

清中汤：　陈行之监仓方，名正学。

菖蒲半斤，须水中生者，净洗，切作片子　桔梗四两　盐二两　甘草二两半，炙　生姜四两，切作[1]

右五味和匀，淹一宿，晒乾，为细末，入瓶窖一月，如常点，见火即色不白。

粉姜汤：

生姜十两，去皮秤，洗净，切作片子　杏仁五两，汤去皮尖　白盐五两　甘草五两，微炙，别捣为末

右先将杏仁细研，次下生姜，次入甘草、盐，一处研如泥，拍作薄饼子，一日焙乾，碾罗为细末，经宿即色不白。

彦僧录韵姜汤：

生姜一斤　甘草五两　盐六两　缩砂仁二两

右先以甘草炙过，同姜盐为碎块子，同淹一宿，焙乾，乘热罨缩砂一宿，为细末，汤点如常服。

紫姜汤：

生姜一斤，片切，慢火炒令熟　舶上丁香皮二两　甘草二两，锉　盐三两，炒　丁香五十粒

右件搅焙乾为度，捣罗为末。

凤池汤：　又名造化汤。腊中合，伏中方可成，伏中合，腊中方可成，故名造化汤。

肥乌梅去仁留核　甘草　盐

每合时，三味各以一斤为准，炒盐尤好，等分，不焙，先以乌梅、甘草杵为粗末，次以盐一处拌匀，入罐子实按，收起须腊月或伏内，合半年后方取出，焙乾，为细末，如常点，夏月最宜饮水。

温中汤：　燕贤仲侍郎方。

缩砂仁二两　甘草三两，炙　盐炒，三两　丁香一分　生姜去皮，半斤

右将姜捣碎，与缩砂、甘草、盐一处拌匀，淹一宿，焙乾，次入丁香，同为细末，汤点下。一方只用甘草一两。

四顺生姜汤：　胡运使秉彝方。

神曲四两　生姜半斤，肥嫩者，净洗，细擦，与神曲同和作饼，焙乾　草豆蔻一两半，炮熟，去皮秤　大麦蘗一两，微炒　甘草一两半，炙

右捣罗为细末，如常入盐少许，沸汤点下。

御爱灵黍汤：

大小麦各二升[2]　甘草四两，炒　必用之书炙　缩砂仁一两半　生姜一斤，带皮薄切　盐六两，白者，用花尤佳

右将大小麦炒熟，入诸药焙乾，为细末，以瓷器内盛，食前后皆可服，暖脾克化宿饮甚佳。大小麦恐有粗皮难服，先别多碾，取净末用，加肉豆蔻八枚尤佳。

生姜汤：

生姜一斤，不去皮薄切　甘草四两，炒　盐六两，炒　麦蘗二两，炒　神曲二两，炒

右同淹一宿，略炒，或只焙乾，为末，沸汤点服。

煮香汤：

木香　丁香　檀香　沉香　人参各二两　甘草一两　槟榔半两　白茯苓去皮，二两

右八味细锉，以好水二升同煎，煮令水尽为度，或于银器内贮重汤，乾窖尤妙，先择软烂者切，焙令半乾，入体燥者一处焙乾，捣罗为末，不入盐，如茶点。一方入藿香半两。　医方大成：木香　丁香　檀香　沉香　人参　甘草各一两　槟榔五钱　白茯苓去皮，一两　右日乾为末，沸汤点服。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

乾豉汤：　又名元夜[3]汤。

好盐豉一[4]斤，焙乾，别捣罗为细末　莳萝　茴香　马芹子各半两　椒半两，去目，炒乾　乾茵陈一两　盐五两，炒乾　乾姜半两，炮　甘草半两，炒

右同作细末，与豉末再入臼杵匀，以马尾罗隔[5]令极匀，每点入馒头燥子任意，不用亦可，只如汤点服。

龙砂汤：

---

① 作：普济方卷二百六十七诸汤香煎门引百一选方此下有"片"字。

② 升：普济方卷二百六十七诸汤香煎门引百一选方作"两"。

③ 夜：普济方卷二百六十七诸汤香煎门引百一选方作"武"。

④ 一：普济方卷二百六十七诸汤香煎门引百一选方作"二"。

⑤ 隔：普济方卷二百六十七诸汤香煎门引百一选方作"筛"。

缩砂仁七[1]两，去白膜　丁香一[2]两二钱　甘草二两，锉　盐三两半

右先以文武火炒盐乾，次下甘草粗末，候黄，下细末，次下缩砂，微炒香熟，急倾入瓷罐内，罐子中先入丁香，然后以厚纸急闭令密，不得透气，候冷取出，为细末点之。

川芎汤：

川芎一两　甘草　菖蒲　缩砂等分。用仁，于铫子内，纸衬炒微黄，同为细末，入盐点

小煮香汤：

香附子四两，不去皮，只洗净，略于沙盆内擦去毛，用水三升煮　草果子一两，取仁　缩砂一两　甘草一两　丁香一分　檀香半两

右件一处，先煮香附子，次用余药同煮乾，切智[3]附子碎，焙乾，为细末，入盐点。

醍醐汤：　成都保福院僧宝月方。

神曲二两　盐十[4]两，炒过　官桂二两　甘草七两，净者　乌梅八两，净洗，拍碎　乾姜二两，煨

右先将内五味焙乾，捣罗为细末，后入炒盐滚合作一处，用新净磁罐收，白汤点下。寿亲养老书同。

鸡舌香汤：　张仲宝宿直方。

良姜　乾姜已上二味细锉，以麻油搽过，慢火炒令紫色为度，各一两　茴香半两　甘草一两，炒　盐一两

右为细末，点服。每料加胡椒半两尤佳。

韵梅汤：

半黄梅一百介，捶仁核，去仁[5]　青椒四两，拣净秤　姜一斤，去皮，研　甘草四两，炙，为末　盐半斤

右于净盆中一处拌匀，安烈日中晒半月，以色变稍紫为度，更约度稀稠得所为佳。如遇阴雨展日，候熟安净器中，每用少许，沸汤点。寿亲养老书同。

清韵汤：　滁州沉司。

缩砂仁三两　石菖蒲一两　甘草半两，炙

右为细末，入盐少许，沸汤点服。寿亲养老书同。

枨汤：

枨子十介　乾山药一两　甘草二两　盐四两，炒用　盐白梅四两，捶破，去仁不去核　寿亲养老书捶碎，去仁核

右先用枨子、山药、甘草、白梅一处研细，捏作饼子，焙乾，再碾为细末，入檀香半两尤佳。一方入生姜二两。　医方大成名橙子汤。右先用五味一处烂研，捏作饼子，焙乾，再碾为末，百沸汤调。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

橄榄汤：

百药煎三两，细切作片子　檀香半两，锉，焙　白芷半两　甘草炙，一两半　医方大成、集成、袖珍方钱半

右为细末，沸汤点。　必用全书止渴生津。百药煎一两　白芷一钱　檀香一钱　甘草炙，一两　右件捣为细末，沸汤点服。必用之书同。

八神汤：

神曲炒　麦蘗炒　甘草炙。各三[6]两　丁香一分　草豆蔻三介，锉去皮　胡椒一分　盐三两　生姜四两，细切

右件除丁香、胡椒二味外，余药共一处浸一宿，治[7]日焙乾，连丁香、胡椒同碾为末，沸汤点。　吴氏集验方醒酒进食。神曲　麦蘗　甘草各三两　白盐四两，炒　生姜十二两，洗，切　草果仁半两　六味一处淹一夕，拌和焙乾。丁香二钱　胡椒二钱　右候上六味燥，却入丁香、胡椒，碾为末，空心沸汤点。

橘香汤：　治一切气滞，心腹刺痛，寒气痞结，善解宿醒。

川姜七钱半，炮，刮净秤，锉如面者良　陈皮一两，浸汤，洗去白，焙干秤　缩砂仁七钱半，面略煨　胡椒七钱半，拣净　甘草一两半，炙，刮去焦者秤　桔梗一两半，去须　盐二两，炒乾，须是无泥者，如味淡，更以意加之

右为细末，每服一钱，沸汤点。

乾木瓜汤：

紫苏五两，切　木瓜十斤，去瓤，切作片子　生

---

① 七：普济方卷二百六十七诸汤香煎门引百一选方作“十”。
② 一：普济方卷二百六十七诸汤香煎门引百一选方作“二”。
③ 智：普济方卷二百六十七诸汤香煎门引百一选方作“香”。
④ 十：普济方卷二百六十七诸汤香煎门引百一选方作“三”。
⑤ 捶仁核去仁：普济方卷二百六十七诸汤香煎门引百一选方作“捶去核与仁”。
⑥ 三：普济方卷二百六十七诸汤香煎门引百一选方作“二”。
⑦ 治：普济方卷二百六十七诸汤香煎门引百一选方作“次”。

姜三斤，切　盐三斤

右件，将盐入在三味内，一处拌和匀，淹二日，晒乾，为细末，入在瓶子内收之，吃时，汤末一斤，甘草三两炙，为末，入在汤内，如常点。

桂浆法：　夏月饮之，解渴消痰，气味香美，格韵绝高。

桂末二两，桂须四两，去粗皮无味者，取二两，白沙蜜一升，以水二斗，先煎取一斗，待冷，入新瓷瓶中，后下二味，搅二三百转令匀，先以油单一重覆，上加纸七重，以绳封之，每日去一重，七日开之，药成矣。三伏中或只悬[1]井底，腊纸密封泥，七日出井熟矣。

湿乌梅荔枝汤：

乌梅三十介，大而有肉者，先以汤浸三五次，去酸水，取肉烂碾，与糖同熬　桂末半两，入汤内　球糖一斤，临时添减与梅同熬得所即止　生姜半斤，取汁，加减多少用

右件熬成膏，看可便住火，用汤或水调点，止渴甚妙，密封瓶器[2]。

暗香汤[3]：　清神爽气。

香附子一两，拣大而无皮者，炒　缩砂仁一两半，炒　木香一分　檀香一钱　甘草二两，炙　胡椒一钱，炒

右件六味，同为细末，入盐点服，不拘时。

桂香汤：圆通能首座。

桂花三升，净拣去青柄子，细研，以磁器盛贮，覆合略蒸，花须就树摘，坠地者不[4]可　寿亲养老书三[5]斤　乾姜一两　医方集成二两　甘草一两，略炙　集成二两，炒

右为细末，同桂花打匀，量入炒盐[6]盛贮，莫令漏气，如常法点。医方大成同。袖珍方与集成同。

洞庭汤：赵师厚。

细皮黄橘子一斤，于净盆内，以一小贴[7]子就盆内薄切，去核留汁，生姜去皮半斤，甘草四两，捣碎，盐三两，一处拌罨一二宿，取出焙，再以橘汁浸，渗尽为度，焙乾，为细末，如常法点。若更添神曲炒、麦蘗炒各四两，以拌橘汁，即不须再浸，尤妙。风流酝藉，非其他洞庭汤可比，以其不去橘肉故也。　医方大成用薄皮黄柑子二斤，于盆内薄切，去核留汁，生姜去皮半斤，甘草四两，盐三两炒，神曲、麦芽各四两，拌和，罨一宿，以橘汁尽为度，取出焙乾，碾为细末，沸汤点服。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

煎甘草膏子法：风栖长老之照方。

好粉甘草一斤，慢火上炙黄，细锉，碾为粗末，以百沸汤五六碗泡，著竹杖儿搅成浓汁，生绢袋滤过，再将甘草滓别用水煎，以无味为度，并前滤过汁作一处，使熟锅子内，先以麻油少许，乘热擦了，入甘草汁煎数十沸，以盐一斤，将汁就化开，纱片滤去盐滓，再熬成膏子，如米饮相似，投入乾瓶器内，临时修合，每用膏子一升，入前项药。大率一斤甘草熬成膏子，可分作五料，不必限以五升也。必用之书同。

檀香汤：

膏子一升，必用全书、之书一分。檀香细末三钱，脑、麝各一百文，必用全书、之书少许。研细，入生姜自然汁三二点同碾，投入膏内，点时用少许汤化开饮。

丁香汤：

入丁香细末三钱，余依前法。

辰砂汤：

入辰砂细[8]二三钱，看颜色如何，脑、麝并依前法。神隐同。

胡椒汤：

入胡椒细末一两，脑、麝并依前法。神隐同。

① 只悬：普济方卷二百六十七诸汤香煎门引百一选方作“悬渍”。

② 器：普济方卷二百六十七诸汤香煎门引百一选方此下有“收贮”二字。

③ 汤：普济方卷二百六十七诸汤香煎门引百一选方作“方”。

④ 不：普济方卷二百六十七诸汤香煎门引百一选方作“亦”。

⑤ 三：寿亲养老新书作“二”。

⑥ 盐：普济方卷二百六十七诸汤香煎门引百一选方此下有“少许磁器”四字。

⑦ 贴：普济方卷二百六十七诸汤香煎门引百一选方作“砧”。

⑧ 细：普济方卷二百六十七诸汤香煎门引百一选方此下有“末”字。

缩砂汤：

缩砂细末二两半，丁香、乾姜细末各少许。必用全书、之书、神隐云：不用脑、射。

茴香汤：

入炒黄茴香细末一两，檀香、白姜[1]细末各少许，不用脑、麝。已上更看滋味如何，随意加减。神隐、必用之书同。

居家必用

诸品汤

乾木瓜汤：　服之止渴、快气、除湿。

乾木瓜去穰，净，四两　必用全书去皮　粉甘草炙，二两半　茴香炒　白檀各一两　沉香半两　白豆蔻仁半两　缩砂仁　乾生姜各二两

右为极细末，每用半钱，加盐，沸汤点服。

水芝汤：　服之通心气，益精髓。

乾莲实一斤，带皮炒极燥，捣罗为细末　粉甘草去皮，一两，锉细，微炒

右为细末，每服二钱，入盐，沸汤点服。莲实捣罗至黑皮如铁，不可捣则去之。世人用莲实去黑皮及涩皮并心，大为不便，黑皮坚气而涩及住精，世人多不知也。此汤，夜坐过饥，气乏不欲取食，则饮一盏，大能补虚助气。昔仙人务先子服此得道。必用全书、之书、事林广记同。

白檀汤：

乾山药四两　粉甘草一两，炙　白檀香半两

右件为细末，加盐，沸汤点服。

缩砂汤：　中酒者服之大妙，常服快气进食。

缩砂仁四两　乌药二两　香附子炒，二两　粉草炙，二两

右为细末，每服二钱，加炒盐，沸汤点服。事林广记同。

无尘汤：

水晶糖霜二两　梅花片脑二分　事林广记三两

右将糖霜乳细罗过，入脑子再研匀，每用一钱，沸汤点服。如点带香汤茶，必须当面烹点，不可多，多则令人厌，少则有余不足存焉，慎勿背地烹点供上，如背地烹点，则香气已散矣。必用全书、之书同。

须问汤：

白豆蔻仁　缩砂仁各四两　丁香　粉甘草炙。各二两　炒盐三两

右除了丁香外，同炒盐以瓷合内入药一半，下丁香一半，又一半药盖丁香，罨一宿取出，为细末，点服。

荔枝汤：

乌梅肉四两，焙乾　乾生姜二两　粉草半两　官桂末半两。如无，以丁皮一两代之妙　松糖二斤半

右除糖桂外，捣为细末，与糖桂拌匀，瓷器内收点之。事林广记同。

洞庭汤：

橘一斤，洞庭者，去核带皮穰，切作片　生姜半斤，切作片

右件用盐一十二两，淹三四日，先晒后焙乾，碾为细末，入炙甘草末三两，沸汤点服，宜少不宜多，多则材气，少则风韵不可言。橘非洞庭者不香。事林广记同。

百花汤：

白沙蜜半斤　杏仁四两，去皮尖　生姜二两，取自然汁

右将杏仁煮熟，研为泥，与蜜、生姜汁合和匀，入浮瓷器蒸三五遍，于饭甑上蒸之，每用半匙许，沸汤点之。宜于冬月合，余月则不可。放多时，恐生白濮，利于羡合。

木栖汤：

候白木栖花半开者，拣成丛著蕊处折之，用白梅二个捶略碎，一个在上，一个在下，

① 姜：普济方卷二百六十七诸汤香煎门引百一选方作"檀"。

花在中心，次第装在瓶中，用生蜜注浸盖之，如欲用，一盏取花枝梅一个，安在盏中，当面冲点而香酸馥鼻。梅用淡醋事林广记作豉。煮一沸，漉出曝乾，方可与花蜜同浸。必用之书、神隐同。

湿枣汤：

好大枣一斤，每个劈作两片，去核，用水五升，熬取浓汁，生绢滤去滓，入好蜜及生姜自然汁，调停和美，再入银石器熬令稀稠得所，入麝香少许，每盏抄一大匙，沸汤煎。必用全书、之书、神隐同。

湿荔枝汤：必用全书、之书名荔枝香。

乌梅半斤，先洗净，烂煮去核，研细，滤去滓　沙糖二斤，熟水一碗，化作汁，滤去滓　桂末三钱　丁香一钱，为细末　乾生姜末半两

右将糖梅汁合和了，银石器内熬耗一半之上，入丁桂姜末再熬成稠膏，入净器内收贮。

香苏汤：

乾枣一斗，劈碎　必用全书、之书、神隐去核劈碎　木瓜五个，去皮穰，捣碎　紫苏叶半斤

右件一处再捣匀，分将五分，内将一分匀摊在竹箩内，烧滚汤泼淋下汁，尝瓜枣无味了去却，别换好者一分，依上泼之，以味尽为度，将淋下汁慢火银石器内熬成稠膏子，冷热任用。事林广记同。

香柈汤：

香柈不计多寡，去穰，并批去白，止用黄皮，每一斤用净盐十六两，擂极烂，入瓷瓶内密封，至十二月内方可开，用甘草膏子调和甜淡得所，加入檀香末一两，白豆蔻仁末半两，搅匀，沸汤点，以少为韵，多则太甜材气。必用之书、神隐同。

橙汤：

橙子十个，去核留汁，细切　白梅肉软厚者，和核四两，捶碎　甘草四两　白盐六两

右同淹一宿，慢火焙乾，檀香一两，同捣罗为细末，不咸入盐点服。事林广记同。

桂花汤、木栖渊明汤：

甜菊花，皆依香橙汤为之。但四时之中所开之花，嗅之香，尝之甘，皆可依法为之。事林广记同。

熬甘草膏子法：

且如粉甘草二两为率，折作三寸长，捶匾，用净水二碗，浸一时许，入锅熬至一半，滤去滓，将汁于净器中收贮，再用水二碗煎滓，又至一少半，滤去滓，将次汁于头汁相合，其滓用滚汤一碗，泡浸少时，以手搓挼，嚼甘草滓无味即止，将滓弃去，将三样汁皆合和，入锅煎至一碗许，别换小锅器或铫中，以慢木炭火熬，不住手搅成膏子为度。已上若用蜜、盐，止二两捣。

青梅汤：

青梅去核，切作丝，一斤净　盐半斤　檀木半两　甘草末一两　生姜切作丝，二两　菖蒲切作丝，一两　新椒一两

右件拌匀，入瓶封固两月后，沸汤点。可留数年不坏。

湿木瓜汤：

木瓜去皮穰净，取肉一斤，蒸热烂，沙盆内研为泥，入炼热蜜三斤，乾生姜末一两搅匀，再入砂石器内熬数沸，尝之至味酸，更加热蜜，如辣味短，更添姜末，尝至酸甜辣得所，再熬数沸，入净器内收贮，加入白檀末、脑、麝，沸汤点。必用之书同。此种宜冬不宜夏。

加减汤：

粉甘草二两，依橙香汤下熬甘草膏子法熬成膏子，入净盐二两搅匀，洁净瓷器收旋，入后料：

松子末名松花汤　缩砂仁末名缩砂汤　檀香末名檀香汤　片脑、麝香名龙麝汤。

但可作汤次用者，皆可入之。

琼液汤：

杏仁半斤，去皮尖，煮热，研为细泥　白沙蜜三斤，炼热　檀末二两　白豆蔻仁末半两　脑　麝各少许

右件同搅匀，除脑、麝外，再熬数沸，以文武火炼为稠膏，同[1]冷入脑、麝搅匀，

(1) 同：按文义疑作“伺”。

以净瓷器密封，沸汤点。

乌梅汤：

乌梅大者三十枚，汤煮烂，去核，同汁搅匀，粗布扭去滓为膏子　沙糖松者一斤，入汤一碗泡化，同甘松、藿香叶各一钱，熬数沸，滤去滓净，生姜自然汁一盏　事林广记熬数沸作熬成膏　桂末半两　檀末半两　脑　麝各少许　事林广记各半两

右将乌梅、糖、姜汁同和匀，用沙石器熬成稠膏子，然后入檀桂等末，脑、麝伺冷入，搅匀，净瓷器收贮，点服。不若去糖用蜜者尤妙。

地黄膏子汤：

生地黄肥大者，于秋末冬初采之，净洗折碎，入石臼中，以木杵杵烂，酢取汁，入砂锅内熬至浮沫起，起皆掠去至净，煎至三分去二，别换银石小器，慢炭火熬至滴入水不散为度，造时始末不犯丝毫铜铁器，于洁净瓷器内收贮，入檀末并脑射少许，或云入蜜熬者非，入酒中同饮极妙，亦可沸汤点服。必用全书、之书同。

灵黍汤：　熊孚道传。

大小麦各一升，木臼中微退粗皮，炒香熟，候冷　生姜十两，不退皮，薄切　缩砂肉三两　甘草四两，锉

右五味，同捣碾成膏，焙乾，为细末，入烧盐二两研匀，每点二钱佳。

轻素汤：

莲子肉半斤，汤浸，去紫皮并心子，洗净白　乾山药二两　必用全书三两，加甘草一两

右日乾，为细末，入生龙脑。必用全书、之书、神隐生龙脑少许，沸汤点服。

诸品渴水

御用渴水：

官桂　桂花　丁香　白豆蔻仁　缩砂仁各半两　细曲　麦蘖各四两

右为细末，用藤花半斤，蜜一十斤，炼熟，新汲水六十斤，与藤花一处，锅内熬至四十斤，生绢滤净，用小口甖一个，生绢袋盛前项七味末，下入甖，再下新水四十斤并已炼熟蜜，将甖口封了，夏五日，秋春七日，冬十日熟。若下脚时，春秋温，夏冷冬热。

荔枝浆：

乌梅半斤，煎汁　缩砂仁　桂各三两。锉碎，煎汁一升　生姜汁半盏　丁香一分

右三汁澄清相和，入好球糖二斤半，银石器中熬，候稍浓，以绵滤过，新瓷器盛，点时入少脑子。

杨梅渴水：

杨梅不计多少，揉搦，取自然汁，滤至十分净，入砂石器内，慢火熬浓，滴入水不散为度，若熬不到则生白濮，收以净器，用时每一斤梅汁，入炼熟白沙蜜三斤，入脑、射少许搅匀，以冰湃饮之，大能醒酒，沸汤点亦得，只有些涩味，终不及冷饮。如无蜜，以球糖四斤，入水熬过，和匀亦可。

林檎渴水：

林檎微生者，不计，以多为妙，擂碎，以滚汤就竹器放定，擂碎林檎冲淋下汁，尝滓自无味矣。以文武火熬，常常搅，勿令爆了，熬至滴入水不散为度，冷热任意。加脑、射、檀末尤佳。

又法：　将林檎破开，去心核，用净器内捣碎，布扭取汁，再将滓重捣极烂，放竹器中，以滚汤冲淋，尝滓不甜无味为度。煎法与上同。

蒲萄渴水：

生蒲萄不计多寡，擂碎，滤去滓令净，以文武火熬，以稠浓为度，取出，收贮净瓷器中。熬时切勿犯铜铁器。蒲萄热者不可用，止可造酒。临用时，斟酌入炼过热蜜及檀末、脑、射少许。

香糖渴水：

上等松糖一斤，水一盏，拌藿香叶半钱，甘松一块，生姜十大片同煎，以姜熟为度，滤净，瓷器盛，入射香绿豆许大一块，白檀末半两，夏月冰雪内湃用之极香美。

木瓜渴水：

木瓜不计，去皮穰核，取净肉一斤，为率，

切作方寸大薄片，先以蜜三斤，或至四五斤，于砂石银器内，慢炭火熬开，滤过，次入木瓜片同煎，如滚起泛沫，旋旋掠去，煎二三介时辰，尝味如酸，入蜜，须要甜酸得中，用匙挑出一匙，放于瓷楪内候冷，再挑起其蜜，稠硬如丝不断者为度。若火紧则焦，又有涌溢之患，其味又不佳，则焦爆气，但用慢火为佳。

五味渴水：

北五味子肉一两为率，滚汤浸一宿，取汁同煮，下浓黑豆汁，对当的颜色恰好，同炼熟蜜对入，酸甜得中，慢火同熬一时许，凉热任意用之。

诸品熟水

造熟水法：

夏月凡造熟水，先倾百煎滚汤在瓶器内，然后将所用之物投入，密封瓶口，则香倍矣。若以汤泡之，则不甚香。若用隔年木栖或紫苏之属，须当略向火上炙过方可用，不尔亦不香。

香花熟水：

取夏月但有香无毒之花，摘半开者，冷熟水浸一宿，密封，次日早去花，以汤浸香水用之。

沉香熟水：

先用净瓦一片，灶中烧微红，安平地上，焙香一小片，以瓶盖定，约香气尽，速倾滚汤入瓶中，密封。盖檀香、速香之类，亦依此法为之。

丁香熟水：

丁香五粒，竹叶七片略炙，投入沸汤瓶中，密封片时用之。

紫苏熟水：

紫苏叶不计，须用纸隔焙，不得翻，候香，先泡一次，急倾[1]□再泡，留之食用，大能分气。只宜热用，冷即伤人。

豆蔻熟水：

白豆蔻壳拣净，投入沸汤瓶中，密封片时用之，极妙。每次用七个足矣，不可多用，多则香浊。

必用全书

诸品物

天香汤：

白木犀盛开时，清晨带露，用杖打下花，以布被盛之，拣去蒂萼，顿在净磁器内，俟积聚多，然后用新砂盆擂烂如泥。一名仙桂汤，亦名木犀汤，并同。

木犀一斤　盐炒，四两　粉草炙，二两

右件拌匀，置磁瓶中密封，曝七日，每用沸汤点服。必用之书、神隐同。

暗香汤：

梅花将开时，清旦摘取半开花头连蒂，置瓷瓶内，每一两重，用炒盐一两洒之，不可用手漉坏，以厚纸数重密封，置阴处，次年春夏取开，先置蜜少许于盏内，然后用花二三朵置于中，滚汤一泡，花头自开，如生可爱。必用之书、神隐同。

须问汤：

东坡居士歌括云：半两生姜乾用。一升枣，乾用，去核。三两白盐炒黄。二两草，炙，去皮。丁香木香各半钱，约量陈皮一处捣，去白。煎也好点也好，红白容颜直到老。必用之书同。

杏酪汤：

板杏仁用三两半，百沸汤二升浸，盖却，候冷即便换沸汤，如是五度了，逐个掐去皮尖，入小砂盆子内细研，次用好蜜一斤，于铫子内炼三二沸，看涌掇退，候半冷，旋倾入杏泥，又研，如是旋添入研和匀。必用之书极

① 倾：此下脱字，按文义疑作“出”。

细汤成矣。

凤髓汤：　润肺，疗咳嗽。

松子仁　胡桃肉汤浸，去皮。各用一两　蜜炼，半两

右件研烂，次入蜜和匀，每用沸汤点服。必用之书同。

醍醐汤：　止渴生津。仇公望县尹方。

乌梅一斤，捶碎，用水内[1]大碗同熬作一碗，澄清，不犯铁器　缩砂半斤，碾　白檀末二钱　麝香一字　蜜五斤

右将梅水、缩砂、蜜三件，一处于砂石器内熬之，候赤色为度，冷定，入白檀、麝香。必用之书同。

茉莉汤：

用蜜一两重，甘草一分，生姜自然汁一滴，同研令极匀，调涂在碗中心抹匀，不令洋流。每于凌晨采摘茉莉花三二十朵，将放药碗盖其花，取于香气薰之，午间乃可以点用。必用之书、神隐同。

木香苦汤：　王百一承旨常服汤药。

片子姜黄四两　缩砂仁半两　木香半两　白豆蔻仁半两　藿香叶半两　白檀半两　甘草一两半　陈皮去白，半两　青皮去白，半两　川栋子半两　广茂半两　香附子去毛，炒，一两　白扁豆去皮蒸熟，焙乾秤，二两

右为细末，每服一二钱，空心，沸汤点服。

香橙汤：　宽中快气消酒。

大橙子三斤，去核，切作片子，连皮用　檀香末半两　生姜五两，切半片子，焙乾　甘草末二两　必用之书炙

右二件，用净砂盆内研烂如泥，次入白檀末、甘草末，并和作饼子，焙乾，碾为细末，每用一钱，盐少许，沸汤点服。

解醒汤：　中酒后服之。东垣李明之方，妙绝，其孙李信之传。

白茯苓一钱半　泽泻二钱　木香一钱　必用之书半钱　橘红一钱　之书一钱半　白术二钱　白豆蔻半两　葛花半两　猪苓去黑皮，钱半　莲花青皮三分　乾姜二钱　之书乾生姜　缩砂仁半两　神曲一钱，炒黄　人参去芦，一钱

右为细末，和匀，每服二钱半，之书二钱匕。白汤调下，但得微汗，酒疾去矣。不可多食。之书此下云：盖不得已而用之，不可恃此常饮，必损天年。

熟梅汤：

黄梅十斤　青椒四两　盐一斤　粉草末六两　姜汁小碗

右件拌匀，日晒半月，磁器收贮。必用之书同。

绿云汤：

荆芥穗四两　白术　粉草各二两

为末，入盐点服。必用之书同。

沃雪汤：

缩砂仁一□　甘草半两　鸡苏叶三两　荆芥穗一两半　天花粉甜者二钱半，瓜蒌根也

为末，汤点。必用之书同。

必用之书

金粟汤：

每作一人供栗子三个，核桃去皮一个为率，磁缽擂烂，布纽取汁相凝，然后煮百沸汤，以此汁倾汤内，急搅之，倾入盏中，少定，皆浮盏面，如金粟可爱。

红花子汤：

红花子不以多少，水淘事[2]，晒一日，麸炒，咬响为度，筛净，舂捣碎烂，量人客多少，于沙盆微擂过，注水搅之，以罗滤过去滓，文武火煎熬微滚，食用。冬月久留无伤，夏月逐旋制造。

樱珠汤：

用一味好南参，不以多寡，碾为细末，以胡桃仁、松子亦得，同和匀，炼蜜为膏子，

① 内：普济方卷二百六十七诸汤香煎门作“四”。
② 事：按文义应作“净”。

丸如樱珠大，以辰砂为衣，取其红色，仍用青松钗为叶，每用二颗，放在汤盏呈过，沸汤当头冲点，香美风韵，悦目有补。神隐同。

一枝花：

一层炼蜜，一层白木犀花，神隐连枝。一层去核霜梅肉，一层椒叶，又一层炼蜜，若花枝多，更依此法，如此相间，入瓷器封定。此法凡四时中，有香无毒之花皆可制，须是带露剪花去叶小枝儿，点汤时，取一枝入盏内，以汤轻轻倾下，花枝俨然如生，蜜中诸物可作果供。

青梅汤：

梅汤家家不同，初造时香美亦甚，来去藏之经月。若制造未到，一毫失法，便烂熟如黄梅汤。盖有数说于后：一者，须用消梅青者，小满前采，破核去仁，不犯手，以竹夹捶碎，银匙抄拨打拌，摊在净紧筛子中，令水脉略乾爽；二者，甘草生用，不见火；三者，炒盐待冷，不可热用；四者，生姜不须经水浸，去皮，一半切丝条，一半擂碎，不犯手搅；五者，青椒不可带叶，旋采晾乾。制度俱依法了，用银匙或银箸或竹箸拌匀，不可犯手，抄入净乾磁器内，不可大，恰好盛得十盏，料满者，仍用少炒盐掺在面上，不可用箬篛作掩面，只用两层油单夹一层厚表纸，紧紧扎定，必依法，然后可全脆青。

香柏汤：

柏叶枝去梗，净秤八两为率，入生姜三两，捣如泥，焙乾，入甘草二两和为末，沸汤点服。

余甘汤：　生津止渴解酲。

橄榄青而不黄损者，瓦上磨去粗皮，去核，细切如缕，一斤　炒盐二两　粉草末二两

右件拌匀，入净器密封，沸汤点服。

医方大成

汤　药

秘方杨梅煎：

取熟杨梅于瓦器内罨一宿即烂，用绢袋拗医方集成作撚，袖珍方作搦。出汗，慢火熬成膏，瓦罐盛贮，每用入蜜少许，沸汤点服。南北经验方同。

秘方金樱煎法：

霜时取金樱子，先擦洗去刺，然后去穰，杵烂，用酒酢取汁，绢帛滤过，慢火熬成膏，后入檀香诸香在内，瓦罐收贮，沸汤点服。酒调能活血驻颜。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

秘方木瓜煎：

用木瓜去穰子，蒸过，烂研如泥，入盐少许，用瓦罐盛贮，每用入蜜少许，沸汤点服。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

秘方梅花汤：

旋摘梅花半开者，溶蜡，封花口，投蜜罐子，过时用之，以匙挑花一两朵，连蜜一匙，沸汤斟服。医方集成、南北经验方、袖珍方同。

袖　珍　方

汤　药

集香汤：

白豆蔻锉，一两　缩砂锉，二两五钱　白檀一两，不见火　人参一两，切　胡椒泡，滤乾，半两　甘草锉，三两

右六味，除檀香、人参、胡椒泡乾外，将白豆蔻、甘草、白盐四两相合盒一宿，次日就慢火上铁器内炒乾，不可火忽①，恐作火气，与檀香三味共碾细，用磁器收，汤点。

分气丸：

① 忽：袖珍方作“急”。

糖球子　甘草一[1]斤　香附子半斤　藿叶　甘松各一两

右为末，炒面[2]丸如梧桐子大，每服四五丸，嚼茶清下，不拘时。

寿亲养老书

柏汤方：雕仙活人心、神隐柏味苦微温，主吐血、衄血、痢血、崩血，久服轻身益气，耐寒暑，去湿止饥。

采嫩柏叶，线系垂挂一大瓮中，纸糊其口，经月取，如未甚乾，更闭之至乾，取为末，如嫩草色。不用瓮，只密室中亦可，但不及瓮中者青翠，若见风则黄矣。此汤可以代茶，夜话饮之尤醒睡，饮茶多则伤人气，耗精害脾胃。柏汤甚有益，如太苦则加少山芋尤佳。外台秘要有代茶新饮，然作药味，不若柏汤。隐居道话尤助幽尚。

三妙汤：神隐名杞黄汤。

地黄、枸杞实各取汁一升，蜜半升，银器中同煎如稀饧，每服一大匕[3]，汤调酒调皆可，实气养血，久服弥益人。

乾荔枝汤：

蔗糖一斤，球糖亦好　大乌梅润者二两，汤浸，时复换水，澄去酸汁，不去核，焙乾　桂去皮，为末　生姜二两，薄切作片，焙乾

右先将乌梅、生姜为细末，入在沙糖内，与桂末拌和匀，再取粗隔过，如茶点吃。欲作膏子吃，乌梅用去核，修事如上法，不焙，桂作小片为末，姜切片，不焙，用水三碗，煎至二碗，汤调服。暑热心烦，井水调服。叶龙图传，暑月可常合服之。

洞庭汤：

真橘皮四两，不去白，去蒂，擘作小钱大，冷水浸一宿，晒乾　生姜四两，净洗擦

右将姜与橘皮同淹一宿，晒乾焙乾，入甘草一两三钱，炙黄，好白盐梅二十个，去核，以白面拍作片子，无油铫内爆乾，入炒白盐一两半，同一处为末，沸汤点用。

木瓜汤：

生姜四两，取汁　木瓜十两　白盐五两　甘草五两　紫苏十两

右炒姜盐，拌和苏、瓜、甘草，三日取出，晒乾为末，沸汤点服。手足酸服之妙。又一方加缩砂、山药，炒为末，消食化气壮脾。

吴氏集验方

诸　汤

建脾汤：　快脾胃，进饮食。

茴香二两，别炒　粉草四两，锉　白盐六两，炒　高良姜四两，水煮二三十沸，控乾，切作片子，以麻油炒

右先将良姜、甘草、盐同炒，令甘草紫色，入茴香，同研为末，每服二钱，空心沸汤点。

法枣汤：　治脾虚胃弱。

北枣二斤，连核打破，切作块子，焙温热，以麻油拌和滋润为度，焙一日，趁热以熟糯米浆挪均，再焙乾　生姜二斤，切　甘草七两，炙，细锉

右甘草、生姜淹一宿，次用文武火炒令乾，却同枣同焙燥，为末，每服盐点。

味谏汤：　止烦渴，生津液。

川百药一两半　丁香廿一粒，不见火　檀香一钱半，不见火

右为末，沸汤少点一二呷。

杏酪汤：　味珍疗嗽。

每用杏仁一斤，去皮尖，新沙盆内带水研如泥，下水二大碗，入银石器内，文武火

① 一：袖珍方作“二”。
② 面：袖珍方此下有“糊”字。
③ 匕：寿亲养老新书作“匙”。

煎，约近八九分，入阿胶四两化开，以白沙蜜同煎，先用汤点，如不甜，加蜜，磁合收。

韵姜汤：　醒酒。

生姜一斤，不洗，薄切　乌梅四两，捶碎，焙令焦　甘草四两，炙，锉　盐四两，炒

右同拌一宿，晾乾，入焙为末，沸汤点。

木栖汤：　爽神。

乘露采初开木栖，去青蒂，以二斗为率，煎浓盐汤斗半，水放冷，入好埳缸内浸花，蜜封五六月，用时取花，控尽水约二两以上，用新擂盆研花，用葛布绞取花汁，后用檀香、木香各少许，甘草膏子调和，以味美为度，沙罐收。

香栀汤：

以栀子去穰，细切，以檀香末拌和，日晒乾，收新罐子内，欲供旋研细，入甘草膏子、盐，味美为度。

中和汤：　开胃。

粟米一升，净淘，焙乾为末　杏仁一百个，去皮尖，研细　草果十四介，去皮　甘草三两半，炙　生姜十六两，和粟米粉、杏仁捻作饼子，焙乾后同药研　白盐四两，炒

右为末，沸汤点。

木瓜汤：　和气。

木瓜半斤，切作片，去皮穰　生姜四两，切作丝　甘草二两，炙　盐三两，炒

右作一处淹两宿，焙乾汁尽，为末，空心沸汤点。

椒梅汤：

以黄梅汤淖过，取肉，却以甘草末并盐同研，以味美为度，后用生椒带枝叶者拌和，置盆内，以纱帛覆之，日晒乾收。

消暑汤：

桂三两　乌梅肉二两　甘草一两半　乾姜半两，生

右为细末，入盐点。

育神汤：　调中益气，止呕进食，消酒快膈。

缩砂仁三两　白豆蔻仁一两　丁香一两　木香半两　甘草二两，炙　盐三两

右为细末，沸汤点。

双鸳汤：　疗嗽液。

乾杏仁四两，和皮针穿五七窍，鹅梨一个，去皮心取肉，切作片细研，入杏仁在内，更入硇砂末一钱，盖定，经宿，取杏仁焙乾，入汁内，又焙，以汁尽为度，最后一次不焙，却以甘草半两，缩砂仁二钱半，为末，和杏仁入瓶收，每取杏仁二粒，并末半钱许，入盏沸汤浸之，杏仁肉自化，皮浮盏面，细细呷之。

甘草膏子：

甘草不拘多少，须带粉者为佳，碎锉，沸汤浸半时，如挪皂角法，甘草滓无味为度，密绢滤汁银石器内，用文武火慢熬，不住手搅，稠则止。未下甘草之时，先以麻油少许荡锅内。

草果熟水：　消暑止渴。

乌梅三两　草果一两　乾葛一两　白茯苓一两　甘草一两，炙　乾姜一两半　缩砂仁半两

右咬咀，每以半两，水二碗，煎一碗，去滓，冷热任意。

饭虎汤：　进食。

丁香二钱　荜澄茄半两　檀香四钱　草果一两　甘草四钱　缩砂半两　姜黄一两　白术一两

右为末，空心盐点。

四奇汤：　快脾消酒。

草果二两，去皮　生姜三两，切　陈皮二两，去白　甘草一两半，炙

右一处捣碎，淹一宿，焙乾为末，盐点。

神　　隐

蘸汤：

凡有菜时，用白菜不拘多少，洗净，装入罐内，用清滚米汤浇灌令满，用纸封口，放温和去处，待味成，随时用之。乾了，又

添菜添汤，如前法。

杏汤：

山杏不可用，有大毒，只用家杏仁，不拘多少，煮去皮，掐了尖，大火煮二三十沸，再换滚水，又煮二三十沸，不可用冷水，如此换水煮三四遍，只要杏仁烂水淡了方无毒，乃取出，入酥蜜一同擂烂调匀，沸汤一滚就食。此予所制也，其味甚佳。

醒醉汤：

用青橄榄，黄损者不用，瓦上磨去粗皮核，细切如缕一斤，以粉草末二两，炒盐二两，拌匀，入磁罐内密封，以沸汤点服，自然生津液醒醉。

诸香门

千金方

薰衣香方：

零陵香　丁香　青桂皮　青木香　鸡骨煎香　郁金香　枫香各三两　薰陆香　苏合香　甘松香　甲香各二两　沉水香五两　雀头香　白檀香　安息香　艾纳香　藿香各一两　麝香半两

右十八味为末，蜜二升半，煮肥枣四十枚令烂熟，以手痛搦令烂如粥，以生布绞去滓，用和香乾湿如捺麪，捣五百杵成丸，密封七目[①]乃用之，以微火烧之，以盆水内笼下，以杀火气，不尔，必有焦气也。

又方：

沉香　煎香各五两　雀头香　丁子香　藿香各一两

右五味，治下筛，内麝香末半两，粗罗，临薰衣时，蜜和用。

又方：

薰陆香　沉香　檀香　兜娄婆香　煎香　甘松香　零陵香　藿香各一两　丁香十八铢　枣肉八两　苜蓿香二两

右十一味，粗下筛，合枣肉再[②]捣，量加蜜和用之。

湿香方：

沉香二斤七两九铢　甘松　檀香　雀头香一作藿香　鸡骨煎香　甲香　零陵香　丁香各三两　麝香二两九铢　薰陆香三两六铢

右十味为末，临用时，以蜜和。若预和，味[③]歇不中用。

又方：

沉香三两　零陵香　煎香　麝香各一两半　丁子香　藿香各半两　甲香　檀香各三铢　薰陆香　甘松香六铢

右十味，粗下筛，蜜和，用熏衣时，瓶盛埋之久窖佳。

百和香：　通道俗用者方。

沉水香五两　丁子香　鸡骨香　兜娄婆香　甲香各三[④]两　薰陆香　白檀香　熟捷香　炭末各二两　零陵香　青桂皮　青木香　甘松香　白渐香柴也　藿香各一两　雀头香　苏合香　安息香　麝香　燕香各半两

右二十味为末，酒洒令软，再宿酒气歇，以白蜜和，内瓷器中，蜡纸封，勿令气泄，冬月开取用，大佳。

熏衣香方：

丁子香一两　苜蓿香二两　甘松香　茅香各三两　藿香　零陵香各四两

① 日：备急千金要方作“日”。
② 再：备急千金要方作“总”。
③ 味：备急千金要方无此字。
④ 三：备急千金要方作“二”。

右六味各捣，加泽兰叶四两，粗下筛，用之极美。

又方：

零陵香二两 藿香 甘松香 茵蔯香 煎香 白檀香 沉水香各一两

右七味合捣，加麝香半两，粗下筛，用如前法。

又方：

藿香四两 丁香七枚 甘松香 麝香 沉香 煎香

右六味，粗下筛，和为乾香取裹衣，大佳。

千金月令

香粉法：

芎藭 藁本 楝花各一两 丁香二两

右已上细捣筛，和英粉三大升，以充用。

薰衣香方：

沉香五两，别捣 丁香一两，别捣 白檀香半两，别捣 占糖香一两，同酥合蜜和研令稠，如不得稠，以火暖之 郁金香二两，切令细 小甲香四两半，以新牛粪汁二升，水三升，和煮三分减二分，以水净淘，刮去上肉，暴乾，又以清酒二升，蜜半合，和煮令酒尽，以物搅，候甲香乾，即以水洗去香，上蜜，又暴令乾，如天阴，即以火炙乾，别捣作末 酥合香一两

右五味，各细捣和，即取占甲二味相和，挼令合散，以蜜和硬软得所，盛于瓷瓶中，埋地中出口二寸许，密封裹口，勿使气泄，旋旋取烧。

裹衣香方：

丁香十两，别捣 郁金香十两 零陵香六两 沉香 藿香 吴白芷各四两 麝香别研 酥合香 甘松香 杜衡各三两

右相和，细杵捣为末，以故帛袋盛用之。

取香方：

白芷 薰草 藁本

右各等分，细捣筛为散，用蜜为丸，如桐子大，空心，米饮下三丸，暮服四丸，二十日足下悉香。

和剂局方

诸 香

芬积香：

沉香锉，二十五两 笺香锉，二十两 檀香锉，二十两，茶清浸，炒黄 丁香十两 甲香二十两，炭火熬二日，洗净[1]，以蜜酒煮熟 藿香取叶二十两 一本十两 牙硝研，十两 麝香研，十两 梅花脑研，二两 脑子研，三两 沙木炭二十两 苓苓香用叶，十两

右除研药外，为细末，用蜜十两炼，同研药一并搜和令匀，如常法烧。

衙香：

甲香六两，炭火煮两日，洗净，再以酒和，蜜同煮令乾 檀香锉，十二斤，腊茶清炒 牙硝研，十二两 沉香锉，六两 笺香锉，六两 脑子研，九两 麝香研，九两 蜜比香秤两加倍用，炼和香

右为末，入研药，用蜜搜和令匀，如常法烧。

降真香：

紫檀香锉，三十两，以建茶细末一两，汤调二碗，湿拌香令匀，慢火炒二三时辰，勿令焦，木气尽为度 白茅香细锉，三十两，青州枣二十个，擘破，水二大升，同煮变色，炒令色变，拣去枣及黑不再用，好者十五两 紫润降真香锉，四十两 黄熟香锉，三十两 焰消汤化飞淘去滓，熬成霜，取半斤 丁香皮一十两 瓶香二十两 麝香末十五两 甘松炼净，十两 粉草锉，五两 笺香锉，三十两 藿香去土，一十两 龙脑二两

① 洗净：太平惠民和剂局方无此二字。

右为末，入研药，炼蜜搜和，如常法烧。

清远香[①]：

降真香系紫藤者，锉，六两　苓苓香锉，六两　茅香六两　玄参拣净，五两　丁香皮五两　香附子拣净，十两　甘松炼净，十两　藿香锉，三[②]两　香白芷三两　麝香末半斤

右为细末，炼蜜搜和令匀，用如常法。

修月鲁般经后录

江梅香：

藿香一两　甘松香　苓陵香　茅香各二两　奈子五钱　八角　丁香各七钱　白檀香一两半　莲叶末五钱　沉束香二两　昭脑四钱　龙骨三钱　麝香二钱　三

右为末，炼蜜作饼。

肘　后　方

六味薰衣香方：

沉香一斤，麝香一两，苏合香蜜涂，微火炙少令变色，白胶香一两，捣沉香令破如大豆粒，丁香一两，亦别捣令作三二段，捣余香讫，蜜和为炷烧之。若薰衣，著半两许。又藿香一两佳。

卫　生　宝　鉴

衣香方：

茅香锉，蜜炒　零陵香各二两　香白芷　甘松去土。各一两　檀香五钱　三赖七钱，面裹煨

右件为粗末，入麝香少许和匀，以绢囊盛之。

居　家　必　用

香　谱

经进龙涎香饼子：

蜡沉十两，如无，用占城沉，又无占城沉，用黑角沉，亦无，用麻叶沉代之　梅花片二两　脑栀子花二两　麝香半钱　龙涎半两

右将沉香细锉，跋令极细，方用蔷薇水浸一宿，次日再上跋三五次，别用石跋二[③]□。龙涎等四味极细，方与沉香相合和匀，再上石跋一次，如水脉稍多，用纸掺乾湿得所，任意脱花样。蔷薇水今番客所卖者，乃南番舶船上锡瓶内盛之大石水是也。

清馥香：

檀香　甘松　玄参　大黄酒蒸　降真香　乳香各一两　苍术二钱　丁香一钱

右为细末，炼蜜为剂，揉捣令十分匀，捏作饼子焚之。

御爱胜龙涎：

甘松一两　苓苓　檀香各半两　丁香百粒　茴香一撮　龙脑　麝香各少许

右为细末，炼蜜为剂，随意印花焚之。

赛龙涎：

甘松净洗，四两，酒浸半日，日晒或焙乾　丁香半钱　大黄四两，蜜涂，甑上器盛蒸半时，晒乾或焙，再用酒蜜中半

① 清远香：太平惠民和剂局方本方中无玄参、香附子、甘松、藿香、香白芷、麝香末六味。普济方卷二百六十七诸汤香煎门无甘松。

② 三：普济方卷二百六十七诸汤香煎门作“二”。

③ 二：此下脱字，按文义疑作“次”。

浸半日，蒸半时，晒乾　檀香一两一钱　麝香三钱

右为细末，入麝香拌匀，炼蜜为剂，捻饼子焚之。

华盖香：

茅香锉碎，酒蜜浸一宿，炒黄色，净称半斤　荷叶四两　浮萍四两　藿香叶　甘松腿酒洗去土，焙乾　藕节已上各半两　速香　黄熟　笺香　松衲衣各二两　苓苓香半两

右为细末，蜜半斤，酒半升，鹅梨汁一盏，熬成稀饧，和香为剂，捏如皂子大，瓷合内收贮，其香清，其烟不散。

聚芳香：

三两玄参二两松，白檀四一蜜和同，要好更加龙与麝，有似群芳散晓风。

右为极细末，炼梨蜜汁为剂，捏作饼，荫焚之。

印香：

沉香　檀香　速香　笺香　降真香　甲香　丁香　藿香叶　甘松去土　苓苓香　茅香蜜炒　玄参　香附子　白芷　荔枝皮　甘草已上各三钱　草豆蔻仁　麝香别研　片脑别研。各半两

右件为细末，入细末香二两，同研匀，印脱焚之。末香，用无香气诸杂乾木，细锉，碾为末，细罗罗之。如用带香气木者，恐杂其诸香也。

百花香：

用篱头烂竹片穰劈作片子，遇四时花开时，摘花头与竹片层层相间，装在薄白瓷器内至满，油单纸封，蒸笼上蒸一时许，经宿，去旧花，再摘新花，依上蒸三次，自春首至岁终，但有香花依上蒸，焚之，极风韵可爱。有用降真香者，终不似竹者好。

薰花香：

以好旧占城暂，或生桃香，或降真劈作条，带露摘茉莉花头，于薄定器内，一层花一层香，装满，封至隔夜，次日，坐于冷水中，发火至定器有不可拿捉之势为度，取起，伺冷去花，日晒香乾，如此蒸九次，其香尽随茉莉花香矣。栀子、梅花、木香、瑞香、木栖皆依此法为之。

出降真油法：

将降真截作二寸长定子，劈作薄片，江茶煮五七次，其油尽去矣。

英香：

檀香四两，削为细薄片子，用蜜四两拌匀，窖半月已来，日数多尤佳，候蜜透香，以文武火炒紫黑色，次用沉香、笺香各二两半，甘草一钱，乳香缠半钱，丁香并治了甲香各一钱，麸炭末一两半，同捣为末，以竹筛隔过，炼蜜冷和，旋入龙麝。

受宜香：

上色檀香四两，锉，捣为粗末，白蜜四两，温汤化开，浸香一伏时，入玄参末二两，腊茶末四钱匕，水一盏，慢火煮乾，后用沉香三钱为粗末，龙麝各半钱，炼蜜冷和，入磁器拌匀，窖一月佳。

供圣衙香：

笺香二两　降真香　檀香各一两一钱　丁香半两　乳香缠一钱，别研　杉木炭存性，四两

右各为末，拌匀，炼蜜搜捣成饼。

龙泉香：

降真香十两末之，以小磁罐盛，每罐只盛五六分了，用麝五十文糁在上，多尤佳，却用大枣肉五个，去皮核，鹅梨半个，研取汁，与枣肉一处调和得所，摊在麝上，即入好酒渍之令稀，或乾，再入少许，但以滋润为度，密封，暑半月，秋冬一月已后可烧。

莲花香：

甘松二斤，去土，细切，慢火炒黄　玄参一斤，好实湿润者

右为末，以蜜二斤，水一盏，炼过拌匀，入新瓶内，上用水一碗封之，汤内煮欲乾取出，地坑埋之三七，烧满室如生莲花香。

香炉灰：

用纸钱灰不计，以稠米汤和搜成剂，晒乾，木炭一煅通红取出，伺冷，再研细，依上和搜，再煅，如此三四次，其白如雪，其体甚轻，养火不灭。若用松毛杉木烧灰，依

上法为之尤妙于纸灰远矣。

造香饼：

用坚硬木灰[1]五斤，针沙四两，先将炭捣为细末，次入针沙再捣匀，糯米粉糊和搜，随意大小，捏作饼子，烧红，入香灰内，可待半日。如无针沙，只于打铁处打下铁屎，捣罗十分细用。

香煤：

用茄秸烧作夫炭，研细，每两入焰硝一钱，黄丹三钱，同研匀，用时，先于香炉中心作一坑子，挑入一二钱许，以火促之便著，须臾红了，灰盖焚香极妙。

必用全书

香　谱

旁通图：　四和凝香百花碎，琼云英宝篆清真。

文苑：沉香二两一钱　檀香半两　笺香一分　甘松一分　玄参二两　丁皮一分　射香一分

新料：　降真半两　檀香半两　甘松半两　香白芷半两　茅香四两

笑兰：　檀香三钱　笺香半两　沉香一分　降香半两　射香一钱　脑子一钱　甲香半两

清远：　茅香半两　生结三分　沉香一分　射香一钱　檀香半两

锦囊：　脑子一钱　苓苓香半两　射香一钱　木香半两　檀香半两　藿香一分　丁香半钱

醒心：　藿香一分　射香一钱　脑子一钱　笺香一两　沉香半两

凝和：　射香一钱　丁香半两　檀香两半　甲香一钱　结香一钱　甘草一分　脑子一钱

已上碾为细末，用蜜少许拌匀，如常法烧于内，惟宝篆香不用蜜。必用之书同。

信灵香：

沉香神隐五钱　白檀香神隐五钱　降真神隐五钱　乳香各一钱　神隐五钱　藿香四钱　神隐八钱，去土　甘松一两　神隐一两六钱　大黄二钱　苓苓香八钱　神隐一两六钱　白芷八钱　神隐一两六钱　香附子一钱　神隐二钱，去毛　玄参二钱　藁本八钱　神隐一两六钱，去土

右为细末，炼蜜为丸，如小指尖大，捏作饼，寒水石为衣，甲子日攒，丙子日碾，戊子日和，庚子日丸，壬子日盛入葫芦内，至甲子日开，先烧三饼，供养天地神祇毕，然后随意焚之。修合忌妇人鸡犬见之。必用之书同。

雪中春泛：　东平李子新方。

脑子二分　必用之书二分半　射香半钱　白檀二两　乳香七钱　沉香二钱　寒水石三两　必用之书烧

右件为极细末，炼蜜并鹅梨汁和匀为饼，就湿置寒水石末中，磁瓶合收。

春消息歌括云：人人尽道是江梅，半两丁香一两茴，更用甘松苓半两，射香一分作良媒。

右为细末，炼蜜和令得中，瓷合盛，埋地中半月可烧。必用之书同。

笃耨香：

雪白云香以酒煮，入桂末和匀烧之。必用之书同。

雪兰香歌括云：十两笺香一两檀，枫香两半各秤盘，更加一两玄参末，硝蜜同和号雪兰。必用之书同。

瑞云香球：

龙脑一钱　白檀一两　白芷三两　茅香一两　艾绒一两，松树上青衣是也　草豆蔻一两，去皮　香附子三两　青木香半两　丁香一两　酸枣仁一升，入水研汁一碗，煎成膏

右件为末，以酸枣膏搜和，入艾绒熟蜜和匀，木臼内杵，令不粘得所，丸如莲子大，每烧一丸，烟直起三尺许，结成球子，移时不散。必用之书同。

蜡梅香：

---

(1) 灰：按文义应作“炭”。

沉香必用之书、神隐三钱　丁香六钱　檀香各三钱

右件为细末，以射香一字，龙脑半钱，生蜜和之。

野花：

笺香　檀香神隐无　降真香各一分　舶上丁皮三分　射香半字　脑子一字

右为细末，入炭末半两，炼蜜和匀，久窖烧之。如要烟聚，入制了甲香一字。必用之书同。

藏春返魂梅：　黄鲁直方。

黑角沉半两　丁香一分　腊茶一钱。各末之　郁金小者，麦麸炒赤，半分　白蜜一盏，置饭上蒸熟　射香一字　定粉一粒如米大，即韶粉

各件各为末，先细研射，取腊茶之光汤点，澄清调射，次入沉香、丁香、郁金，次入余茶及定粉，共研细巧入蜜，使稀稠得所，收沙瓶器中，窖月余取烧，久窖尤佳。烧时以云母银叶衬之。必用之书同。

木犀香：

采木犀未开者，以生蜜拌匀，不可蜜多，实捺入瓦器中，入地埋荫，愈久愈奇，取出，却入乳钵研匀，拍成饼子，油纸裹收，旋取烧。采花时，不可犯手，剪之为妙。必用之书、神隐同。

桂香：

冬青子绞汁，同桂花蒸，阴乾，入炉烧，类木犀也。必用之书、神隐同。

小龙涎：

沉香一两　龙脑半两

为末，用鹅梨汁和作饼子烧之。必用之书、神隐同。

薰　香

玉华醒醉香：

采牡丹蕊与酴醾花，清酒拌泥润得所，当风阴一宿，杵细，搜作饼子，窖乾，上用脑子涂擦，安于碗前。必用之书、神隐同。

拂手香：　滋润。

白檀三两，锉末，用蜜三钱，化汤一盏许，炒令水尽，稍觉浥湿，焙乾，杵罗极细，入米脑一两研，将阿胶一片化汤入糊，入木臼中捣三五百杵，捏作饼子，或入花模子窖乾，中穿一穴，用纬线悬胸间。必用之书同。

梅花衣香：

苓苓、甘松、白檀、茴香微炒各半两，丁香一分，木香一钱，同为末，入脑射各少许。必用之书同。

蜀王薰御衣香：

丁香　笺香　沉香　檀香　射香各一两　甲香三两

右件为末，炼蜜湿拌之，入窖月。必用之书同。

薰衣香：　南剑州梅花香方。

木香　檀香　甘松各半两　藿香叶　茆香　牡丹皮　苓苓各一两　丁皮　三奈子　官桂　辛夷各三钱

右为粗末，以甘蔗汁拌湿，纸盖，日晒汁尽为度。

透里衣香：

甘松　藿香　茴香　苓苓各一两，略焙　檀香捣碎，酒浸蒸过，焙干　丁香各半两

右为粗末，纸包，近肉或枕中放七日，入脑射少许。

洗衣香：

牡丹一两　甘松一分

捣为细末，每洗衣，最后泽水一钱。必用之书同。

假蔷薇面花子：

甘松　苓苓香　丁香　檀香各一两　藿香叶半两　白芷　香墨　茴香各一分

右件为细末，入黄丹少许，以熟蜜和拌稀稠得所，随意脱之，脑射为衣，与真者无异。必用之书同。

贵人揩汗香：

丁香一两　川椒六十粒

右丁香为末，以椒碎在丁香内，以绢袋盛而佩之，求绝汗气。必用之书同。

傅身香粉：

英粉　青木香　麻黄根　甘松　附子炮　藿香　苓苓香各等分

右为末，浴罢，以生绢袋药付身。必用之书同。

治香法：向宗日云：松上寄生草，令香烟不散。

凡合香成用不津瓷合盛封，以蜡纸牢固，入净地埋五十，埋月余

凡和香用蜜，须微炼数沸，不可大过，仍入苏合油，若蜜一斤，入油二两同炼，大妙

凡治檀香须拣真者，锉如米粒大，慢火炒令烟出紫色，新气即正

治藿香、甘松、零陵之类须拣去枝茎，晾乾揉碎，扬末尘土，不可用水洗汤，恐损香

凡治茅香须拣好香锉细，以酒蜜水润一夜，炒令赤燥为度

治甲香法须拣如龙耳者好，自余小者次也，取一二两以来，先用灰汁一碗，煮尽后用酝肉，方同好酒一盏，煮尽入蜜半匙，炒如金。必用之书同。

炼蜜法：

须是好蜜，以绵滤过，入瓷罐内，用油单三二重紧缚定，入釜内，重汤煮一日，却取出，再煎数沸，出水气，经年不动。必用之书同。

炼炭法：

凡合香，用炭不拘黑白，须重烧炼过通红，于蜜器内藏令冷，一去炭中余薪之烟，二去炭中杂秽之气。必用之书、神隐同。

香煤：

茄子楷烧为灰，每烧香，以一钱大燃红，次烧香，灰烧存性。必用之书、神隐同。

香饼子：

坚硬羊胫木炭三斤，杵为末，黄丹、定粉、针砂、牙硝各半两，入炭末中拌匀，烂煮枣一升，去皮核杵，炭末作饼子，或枣肉少，以煮枣汁和之，饼子大小随意造，一枚可烧一日。神隐同。

飞樟脑法：

取樟脑一两，以二盏合之，湿纸糊口，文武火熁之半时辰取起，候冷收之。必用之书同。

必用之书

杏花香：

附子　沉香　紫檀香　笺香　降真者各十两　甲香三两，用灰汁水煮两三沸，净洗　熏陆香　笃耨香　塔乳香各五两　丁香　木香各二两

右捣为末，入射香半两，梅花脑子二钱，用蔷薇油细和作饼子，瑠琉璃瓶盛，窖地一日。

胜茉莉：

沉香一两　檀香　金颜香各二钱。研末　大丁香十粒，研细末　脑　射各一钱

右射用冷蜡茶清三四凅研细，续入脑子同研，木犀花方开未离披者三大盏，去带，于净器中，研烂如泥，入前作六味，再研匀，捏成饼子，或用模子脱成花样，密入器中，窖一月。

杏花香：

甘松　川芎各半两　射少许

右为末，炼蜜拌和，亢加[1]弹子大，安在炉中，恰似杏花迎风，烧之尤妙。

香饼子：方见必用全书。

又方：

定粉　黄丹各二两　木炭三斤，为细末

右拌匀，用糯米为糊，和成入铁臼内细杵，以[2]□子脱成，候乾，每烧通红入香炉，候有黄衣生，方徐徐以灰覆之，亦可终日也。

1. 亢加：按文义应作“丸如”。
2. 以：此下脱字，据上文胜茉莉（修合法）应作“模”。

神　隐

香：

虚堂清夜，宴坐焚之，降真一斤，沉香四两，龙脑一分，蜜和焚之，自然有一种清气。

四和香：

沉香二两一钱，檀香三钱，脑子一钱，射香一钱。

百花香：

笺香一分，沉香一分，射香一钱，檀香一两半。

醒心香：

藿香一分，射香、脑子一钱，笺香一两，沉香半两，碾为细末，用蜜少许拌匀，如常法烧。

衣香：

苓苓、甘松、白檀、茴香微炒各半两，丁香一分，木香一钱，同为末，入脑、射各少许。

熏衣香：

茴香一两，甘松、苓苓香、丁香各半两，射香一分，碾为细末，炼蜜和匀，以瓮盛埋地中半月，可烧熏之。

养　性　门一　附神仙

千　金　方

养　性

扁鹊云：黄帝说昼夜漏下水百刻，凡一刻，人百三十五息，十刻一千三百五十息，百刻一万三千五百息，人之居也①，数息之间，信哉！呜呼！昔人叹逝，何可不为善以自补邪？吾常思一日一夜有十二时，十日十夜百二十时，百日百夜一千二百时，千日千夜一万二千时，万日万夜一千②二万时，此为三十年。若长寿者九十年，只得三十六万时。百年之内，斯须之间，数时之活，朝菌蟪蛄不足为喻焉。可不自摄养而驰骋六情，考考③汲汲追名逐利，千诈万巧以求虚誉，没齿而无厌。故养性者，知其如此，于名于利，若存若亡，于非名非利，亦若存若亡，所以没身不殆也。余慨时俗之多僻，皆放逸以殒亡，聊因暇日，粗述养性篇，用奖人伦之道，好事君子与我同志焉。

夫养性者，欲所习以成性，性自为善，不习无不利也。性既自善，内外百病，自然不生，祸乱灾害，亦无由作，此养性之大经也。善养性者，则治未病之病，是其义也。故养性者，不但饵药餐霞，其在兼于百行，百行周备，虽绝药饵，足以遐年，德行不充，纵服玉液金丹，未能延寿。故老子曰：善摄生者，陆行不遇虎兕，此则道德之祐也，岂假服饵而祈遐年哉！圣人所以制药饵者，以救过行之人也。故愚者抱病历年而不修一行，缠痾没齿终无悔心，此其所以岐和长逝，彭跗永归，良有以也。嵇康曰：养生有五难，名利不去为一难，喜怒不除为二难，声色不去为三难，滋味不绝为四难，神虑精散为五难。五者必存，虽心希难老，口诵至言，咀嚼英华，呼吸太阳，不能不回其操，不夭其年也。五者无于胸中，则信顺日跻，道德日全，不祈善而有福，不求寿而自延，此养生之大旨也。然或有服膺仁义，无甚泰之累者，抑亦其亚欤。

黄帝问于岐伯曰：余闻上古之人，春秋皆度百岁，而动作不衰，今时之人，年至半百，而动作皆衰者，时代异邪，将人失之也？岐伯曰：上古之人，其知道者，法则阴阳，和于术数，饮食有常节，起居有常度，不妄作劳，故能形与神俱，而尽终其天年，度百岁乃去；今时之人则不然，以酒为浆，以妄为常，醉以入房，以欲竭其精，以耗散其真，不知持满，不时御神，务快其心，逆于生乐，起居无节，故半百而衰也。夫上古圣人之教也，下皆为之。虚邪贼风，避之有时，恬惔虚无，真气从之，精神守内，病安从来？是以其志闲而少欲，其心安而不惧，其形劳而不倦，气从以顺，各从其欲，皆得所愿。故甘其食，美其服，素问作美其食任其服。乐其俗，高下不相慕，故其民日朴，是以嗜欲不能劳其目，淫邪不能惑其心，愚智贤不肖不惧于物，合于道数，故皆能度百岁而动作不衰者，其德全不危也。是以人之寿夭，在于撙节。若消息得所，则长生不死；恣其情欲，则命同朝露也。岐伯曰：人年四十，而阴气自半也，

① 也：备急千金要方作“世”。
② 千：备急千金要方同。按文义疑作“十”。
③ 考考：备急千金要方作“孜孜”。

起居衰矣；年五十，体重，耳目不聪明也；年六十，阴痿，气力大衰，九窍不和，下虚上实，涕泣俱出。故曰知之则强，不知则老；同出名异，智者察同，愚者察异。愚者不足，智者有余，有余则耳目聪明，身体轻强，年老复壮，壮者益理。是以圣人为无为之事，乐恬憺之味，能纵欲快志，得虚无之守，故寿命无穷，与天地终，此圣人之治身也。

春三月，此谓发陈，天地俱生，万物以荣，夜卧早起，广步于庭，被发缓形，以使志生，生而勿杀，与而勿夺，赏而勿罚，此春气之应，养生之道也。逆之则伤肝，夏为寒为[1]变，则奉长者少。

夏三月，此谓蕃秀，天地气交，万物华实，夜卧早起，毋厌于日，使志无怒，使华英成秀，使气得泄，若所爱在外，此夏气之应，养长之道也。逆之则伤心，秋为痎疟，则奉收者少，冬至重病。

秋三月，此谓容平，天气以急，地气以明，早卧早起，与鸡俱兴，使志安宁，以缓秋刑，收敛神气，使秋气平，毋外其志，使肺气清，此秋气之应，养收之道也。逆之则伤肺，冬为飧泄，则奉藏者少。

冬三月，此谓闭藏，水冰地拆[2]，无扰乎阳，早卧晚起，必待日光，使志若伏若匿，若有私意，若已有得，去寒就温，毋泄皮肤，使气亟夺，此冬气之应，养藏之道也。逆之则伤肾，春为痿厥，则奉生者少。

天有四时五行，以生长收藏，以寒暑燥湿风；人有五脏，化为五气，以生喜怒悲忧恐。故喜怒伤气，寒暑伤形，暴怒伤阴，暴喜伤阳。故喜怒不节，寒暑失度，生乃不固。人能依时摄养，故得免其夭枉也。

仲长统曰：王侯[3]之宫美女兼千，乡[4]士之家侍妾数百，画[5]则以醇酒淋其骨髓，夜则房室输其血气，耳听淫声，目乐邪色，宴内不出，游外不返。王公得之于上，豪杰驰之于下，及至生产不时，字育太早，或童孺而擅气，或疾病而构精，精气薄恶，血脉不充。既出胞藏，养护无法，又蒸之以绵纩，烁之以五味。胎伤孩病而脆，未及坚刚，复纵情欲，重重相生，病病相孕。国无良医，医无审术，奸佐其间，过谬常有，会有一疾，莫能自免。当今少百岁之人者，岂非所习不纯正也。

抱朴子曰：或问所谓伤之者，岂色欲之间乎？答曰：亦何独斯哉！然长生之要，其在房中，上士知之，可以延年除病，其次不以自伐，若年当少壮而知还阴丹以补脑，采七益于长俗一作谷。者，不服药物，不失一二百岁也，但不得仙耳。不得其术者，古人方之于凌杯以盛汤，羽苞之蓄火。又且才所不逮而强思之，伤也；力所不胜而强举之，伤也；深忧重恚，伤也；悲哀憔悴，伤也；喜乐过度，伤也；汲汲所欲，伤也；戚戚所患，伤也；久谈言笑，伤也；寝息失时，伤也；挽弓引弩，伤也；沉醉呕吐，伤也；饱食即卧，伤也；跳走喘乏，伤也；欢呼哭泣，伤也；阴阳不交，伤也。积伤至尽，尽则早亡，尽则非道也。是以养性之士，唾不至远，行不疾步，耳不极听，目不极视，坐不久处，立不至疲，卧不至懻，先寒而衣，先热而解，不欲极饥而食，食不可过饱，不欲极渴而饮，饮不欲过多，饱食过多则结积聚，渴饮过多则成痰澼，不欲甚劳，不欲甚佚，不欲流汗，不欲多唾，不欲奔走车马，不欲极目远望，不欲多啖生冷，不欲饮酒当风，不欲数数沐浴，不欲广志远愿，不得规造异巧，冬不欲极温，夏不欲穷凉；不欲露卧星月，不欲眠中用扇，大寒大热，大风大雾，皆不欲冒之；五味不欲偏多，故酸多则伤脾，苦多则伤肺，辛多则伤肝，咸多则伤心，甘多则伤肾，此五味克五脏五行自然之理也。凡言伤者，亦

---

① 为：备急千金要方同。素问·四气调神大论篇无此字。
② 拆：备急千金要方作“坼”。
③ 侯：备急千金要方作“侯”。
④ 乡：备急千金要方作“卿”。
⑤ 画：备急千金要方作“昼”。

不即觉也，谓久即损寿耳。是以善摄生者，卧起有四时之早晚，兴居有至和之常制，调利筋骨有偃仰之方，祛疾闲邪有吐纳之术，流行荣卫有补泻之法，节宣劳佚有与夺之要。忍怒以全阴，抑喜以养阳，然后先服草木以救亏缺，后服金丹以定无穷。养性之理，尽于此矣。夫欲快意任怀，自谓达识知命，不泥异端，极情肆力，不劳持久者，闻此言也，虽风之过耳，电之经目，不足喻也。虽身枯于留连之中，气绝于绮纨之际，而甘心焉，亦安可告之以养性之事哉！匪惟不纳，乃谓妖讹也。而望彼信之，所谓以明鉴给矇瞽，以丝竹娱聋夫者也。

魏武与皇甫隆令曰：闻卿年出百岁而体力不衰，耳目聪明，颜色和悦，此盛事也。所服食施行道引，可得闻乎？若有可传，想可密示封内。隆上疏对曰：臣闻天地之性，惟人为贵，人之所贵，莫贵于生。唐荒无始，劫运无穷，人生其间，忽如电过，每一思此，然罔[1]心热，生不再来，逝不可追，何不抑情养性以自保惜！今四海垂定，太平之际，又当须展才布德，当由万年，万年无穷，当由修道，道甚易知，但莫能行。臣常闻道人蒯京，已年一百七十八，而甚丁壮，言人当朝朝服食玉泉、琢齿，使人丁壮、有颜色，去三虫而坚齿。玉泉者，口中唾也。朝旦未起，早嗽津令满口乃吞之，琢齿二七遍，如此者，乃名曰练精。

嵇康云：穰岁多病，饥年少疾，信哉不虚。是以关中土地，俗好俭啬，厨膳肴羞，不过菹酱而已，其人少病而寿；江南岭表，其处饶足，海陆鲑肴，无所不备，土俗多疾，而人早夭。北方仕子，游宦至彼，遇其丰赡，以为福祐所臻，是以尊卑长幼，恣口食啖，夜长醉饱，四体热闷，赤露眠卧，宿食不消，未逾期月，大小皆病，或患霍乱、脚气、胀满，或寒热、疟痢、恶核、丁肿，或痈疽、痔漏，或偏风、猥退，不知医疗，以至于死。凡如此者，比肩皆是，惟云不习水土，都不知病之所由。静言思之，可为太息者也。学者先须识此，以自诫慎。

抱朴子曰：一人之身，一国之象也。胸腹之位，犹宫室也；四肢之列，犹郊境也；骨节之分，犹百官也。神，犹君也；血，犹臣也；气，犹民也。知治身则能治国也。夫爱其民，所以安其国；惜其气，所以全其身。民散则国亡，气竭则身死。死者，不可生也；亡者，不可存也。是以至人消未起之患，治未病之疾，医之于无事之前，不追于既逝之后。夫人难养而易危也，气难清而易浊也。故能审威德，所以保社稷；割嗜欲，所以固血气。然后真一存焉，三一守焉，百病却焉，年寿延焉。

道林养性

真人曰：虽常服饵而不知养性之术，亦难以长生也。养性之道，常欲小劳，但莫大疲及强所不能堪耳。且流水不腐，户枢不蠹，以其运动故也。养性之道，莫久行久立，久坐久卧，久视久听。盖以久视伤血，久卧伤气，久立伤骨，久坐伤肉，久行伤筋也。仍莫强食，莫强酒，莫强举重，莫忧思，莫大怒，莫悲愁，莫大惧，莫跳踉，莫多言，莫大笑，勿汲汲于所欲，勿悁悁怀忿恨，皆损寿命。若能不犯者，则得长生也。故善摄生者，常少思、少念、少欲、少事、少语、少笑、少愁、少乐、少喜、少怒、少好、少恶，行此十二少者，养性之都契也。多思则神殆，多念则志散，多欲则志昏，多事则形劳，多语则气乏，多笑则脏伤，多愁则心慑，多乐则意溢，多喜则忘错昏乱，多怒则百脉不定，多好则专迷不理，多恶则憔悴无欢。此十二多不除，则荣卫失度，血气妄行，丧生之本也。惟无多无少者，几于道矣。是知勿外缘者，真人初学道之法也。若能如此者，可居温疫之仲，无忧疑矣。既屏外缘，会须守五

① 然罔：备急千金要方作“罔然”。

神，肝心脾肺肾。从四正，言行坐立。言最不得浮思妄念。心想欲事，恶邪大起，故孔子曰：思无邪也。常当习黄帝内视法，存想思念，令见五脏如悬磬，五色了了分明勿辍也。仍于每旦初起，面向午，展两手于膝上，心眼观气上入项，下达涌泉，旦旦如此，名曰迎气。常以鼻引气口吐气，小微吐之，不得开口，复欲得出气少，入气多，每欲食，送气入腹，每欲食气为主。人也，凡心有所爱，不用深爱，心有所憎，不用深憎，并皆损性伤神。亦不用深赞，亦不用深毁，常须运心于物平等，如觉偏颇，寻改正之。居贫勿谓常贫，居富莫谓常富，居贫富之中，常须守道，勿以贫富易志改性。识达道理，似不能言；有大功德，勿自矜伐。美药勿离手，善言勿离口，乱想勿经心。常以深心至诚，恭敬于物，慎勿诈善，以悦于人。终身为善，为人所嫌，勿得起恨；事君尽礼，人以为谄，当以道自平其心。道之所在，其德不孤，勿言行善不得善报，以自怨仇。居处勿令心有不足，若有不足，则自抑之，勿令得起。人知止足，天遗其禄，所至之处，勿得多求，多求则心自疲而志苦。若夫人之所以多病，当由不能养性，平康之日，谓言常然，纵情恣欲，心所欲得，则便为之，不拘禁忌，欺罔幽明，无所不作，自言适性，不知过后，一一皆为病本。及两手摸空，白汗流出，口唱皇天，无所逮及，皆以生平粗心，不能自察，一至于此。但能少时内省身心，则自知见行之中，皆畏[1]诸痾。将知四百四病，身手自造，本非由天。及一朝病发，和缓不救，方更诽谤医药无效，神仙无灵。故有智之人，爱惜性命者，当自思念，深生耻愧，诫勒身心，常修善事也。至于居处，不得绮靡华丽，令人贪婪无厌，乃患害之源，但令雅素净洁，无风雨暑湿为佳。衣服器械，勿用珍玉金宝，增长过失，使人烦脑根深。厨膳勿使脯肉丰盈，常令俭约为佳。然后行作鹅王步，语作含钟声，眠作狮子卧，右脚[2]胁著地坐脚也。每日自咏歌云：美食须熟嚼，生食不粗吞，问我居止处，大宅总林村，胎息守五脏，气至骨成仙。又歌曰：日食三个毒，不嚼而自消，锦绣为五脏，身著粪扫袍。修心既平，又修慎言语。凡言语读诵，常想声在气海中，脐下也。每日初入后，勿言语读诵，宁待平旦也。旦起欲专言善事，不欲先计校钱财。又食上不得语，语而食者，常患胸背痛。亦不用寝卧多言笑。寝不得语言者，言五脏如钟磬，不悬则不可发声。行不得语，若欲语，须住脚乃语，行语则令人失气。冬至日，止可语不可言。自言曰言，答人曰语。言有人来问，不可不答，自不可发言也。仍勿触冷开口大语为佳。言语既慎，仍节饮食。是以善养性者，先饥而食，先渴而饮，食欲数而少，不欲顿而多，则难消也。常欲令如饱中饥，饥中饱耳。盖饱则伤肺，饥则伤气，咸则伤筋，酸则伤骨，故每学淡食，食当熟嚼，使米脂入腹，勿使酒脂入肠。人之当食，须去烦恼。暴数为烦，侵触为恼。如食五味，必不得暴嗔，多令人神惊，夜梦飞扬。每食不用重肉，喜生百病，常须少食肉，多食饭及少菹菜，并勿食生菜、生米、小豆、陈臭物，勿饮浊酒、食面，使塞气孔。勿食生肉，伤胃。一切肉，惟须煮烂，停冷食之。食毕，当嗽口数过，令人牙齿不败，口香。热食讫，以冷酢浆漱口者，令人口气常臭，作憃齿病。又诸热食咸物后，不得饮冷酢浆水，喜失声成尸咽。凡热食汗出，勿当风，发痉头痛，令人目涩多睡。每食讫，以手摩面及腹，令津液通流。食毕，当行步踌躇，计使中数里来。行毕，使人以粉摩腹上数百遍，则食易消，大益人，令人能饮食，无百病，然后有所修为，为快也。饱食即卧，乃生百病，不消成积聚，饱食仰卧成气痞，作头风，触寒来者，寒未解食热食，成刺风。人不得夜食。又云：夜勿

① 畏：备急千金要方作“长”。
② 脚：备急千金要方作“胜”。

过醉饱，食勿精思，为劳苦事，有损。余虚损人，常须日在巳时食讫，则不须饮酒，终身无乾呕。勿食父母本命所属肉，令人命不长。勿食己[1]己本命所属肉，令人魂魄飞扬。勿食一切脑，大损人。茅屋漏水堕诸脯肉上，食之成瘕约[2]。暴肉作脯不肯乾者，凡乾字旧本并作干。害人。祭神肉无故自动，食之害人。饮食上蜂行住，食之必有毒，害人。腹内有宿病，勿食陵鲤鱼肉，害人。湿食及酒浆，临上看视不见人物影者，勿食之，成卒注。若已食，腹胀者，急以药下之。每十日一食葵，葵滑所以通五脏拥气，又是菜之主，不用合心食之。又饮酒不欲使多，多则速吐之为佳，勿令至醉，即终身百病不除。久饮酒者，腐则[3]肠胃，溃髓蒸筋，伤神损寿。醉不可以当风向阳，令人发狂。又不可当风卧，不可令人扇凉，皆即得病也。醉不可露卧及卧黍穰中，发癫疮。醉不可强食，或发痈疽，或发喑，或生疮。醉饱不可以走车马及跳踯。醉不可以接房，醉饱交接，小者面黑咳嗽，大者伤绝脏脉损命。凡人饥，欲坐小便，若饱则立小便，慎之，无病。又忍尿不便，膝冷成痹，忍大便不出，成气痔。小便勿努，令两足及膝冷。大便不用呼气及强努，令人腰疼目涩。宜任之佳。凡遇山水坞中出泉者，不可久居，常食作瘿病。又深阴地冷水不可饮，必作痎疟。饮食以调，时慎脱著。凡人旦起著衣，反者便著之吉，衣光者当户三振之曰殃去，吉。湿衣及汗衣，皆不可久著，令人发疮及风瘙。大汗能易衣佳，不易者，急洗之，不尔，令人小不便[4]利。凡大汗，勿偏脱衣，喜得偏风半身不遂。春天不可薄衣，令人伤寒霍乱，食不消，头痛。脱著既时，须调寝处。凡人卧，春夏向东，秋冬向西，头勿北卧，及墙北亦勿安床。凡欲眠，勿歌咏，不祥起。上床坐先脱左足，卧勿当舍脊下。卧讫勿留灯烬[5]，令魂魄及六神不安，多愁怨。人头边勿安火炉，日久引火气，头重目赤睛及鼻乾。夜卧当耳勿有孔，吹人即耳聋。夏不用露面卧，令人面皮厚，喜成癣，或作面风。冬夜勿覆头，得长寿。凡人眠勿以脚悬踏高处，久成肾水及损房足冷。人每见十步直墙，勿顺墙卧，风利吹人，发癫及体重。人汗勿跂床悬脚，久成血痹，两足重，腰疼。又不得昼眠，令人失气。卧勿大语，损人气力。暮卧常习闭口，口开即失气，且邪恶从口入，久而成消渴及失血色。屈膝侧卧，益人气力，胜正偃卧。按孔子不尸卧，故曰睡不厌蹙，觉不厌舒。凡人舒睡则有鬼痛魔邪。凡眠先卧心，后卧眼，人卧一夜，当作五度反覆，常逐更转。凡人夜魇，勿燃灯唤之，定死无疑。暗唤人吉，亦不得近前急唤。夜梦恶不须说，且以水面东方噀之，咒曰：恶梦著草木，好梦成宝玉。即无咎矣。又梦之善恶，并勿说为吉。衣食寝处皆适，能顺时气者，始尽养生之道。故善摄生者，无犯日月之忌，无失岁时之和。须知一日之忌，暮无饱食，一月之忌，晦无大醉，一岁之忌，暮无远行，终身之忌，暮无燃烛行房，暮常护气也。凡气，冬至起于涌泉，十一月至膝，十二月至股，正月至腰，名三阳成。二月至膊，三月至项，四月至顶，纯阳用事，阴亦仿此，故四月十月不得入房，避阴阳纯用事之月也。每冬至日，于北壁下厚铺草而卧，云受元气。每八月一日已后，即微火暖足，勿令下冷无生意，常欲使气在下，不欲泄于上。春冻未泮，衣欲下厚上薄，养阳收阴，继世长生，养阴收阳，祸则灭门。故云冬时天地气闭，血气伏藏，人不可作劳出汗，发泄阳气，有损于人也。又云冬日冻脑，春秋脑足俱冻，此圣人之常法也。春欲晏卧早起，夏及秋欲侵夜乃卧早起，冬欲早卧而晏起，皆益人。虽云早起，莫在鸡鸣前，

① 己：备急千金要方作“自”。
② 约：备急千金要方作“结”。
③ 则：备急千金要方作“烂”。
④ 不便：备急千金要方作“便不”。
⑤ 烬：备急千金要方作“烛”。

虽言晏起，莫在日出后。凡冬月忽有大热之时，夏月忽有大凉之时，皆勿受之。人有患天行时气者，皆由犯此也，即须调气息，使寒热平和，即免患也。每当腊日勿歌舞，犯者必凶。常于正月寅日烧白发吉。凡寅日剪手甲，午日剪足甲，又烧白发吉。

居处法

凡人居止之室，必须周密，勿令有细隙，致有风气得入。小觉有风，勿强忍久坐，必须急急避之。久居不觉，使人中风，古来忽得偏风，四肢不随，或如角弓反张，或失音不语者，皆由忽此耳。身既中风，诸病总集，邪气得便，遭此致卒者，十中有九。是以人须周密，无得轻之，慎焉慎焉！所居之室，勿塞井及水渎，令人聋盲。

凡在家及外行，卒逢大飘风、暴雨、震电、昏暗、大雾，此皆是诸龙鬼神行动经过所致，宜入室闭户，烧香静坐，安心以避之，待过后乃出。不尔损人，或当时虽未苦，于后不佳矣。又阴雾中亦不可远行。

凡家中有经像，行来先拜之，然后拜尊长，每行至则峻坐焉。

凡居家不欲数沐浴，若沐浴必须密室，不得大热，亦不得大冷，皆生百病。冬浴不必汗出霢霂，沐浴后不得触风冷，新沐发讫，勿当风，勿湿萦髻，勿湿头卧，使人头风眩闷，发秃面黑，齿痛耳聋，头生白屑。饥忌浴，饱忌沐。沐讫，须进少许食饮乃出。夜沐发，不食即卧，令人心虚，饶汗多梦。又夫妻不用同日沐浴，常以晦日浴，朔日沐吉。凡炊汤经宿，用洗体成癣，洗面无光，洗脚即疼痛，作甑畦疮。热泔洗头，冷水濯之，作头风。饮水沐头，亦作头风、时行病。新汗解，勿令水洗浴，损心包，不能复。

凡居家，常戒约，内外长幼，有不快即须早道，勿使隐忍以为无苦，过时不知，使为重病，遂成不救。小有不好，即按摩捼捺，令百节通利，泄其邪气。凡人无问有事无事，常须日别蹋脊背四肢一度，头项苦令熟蹋，即风气时行不能著人。此大要妙，不可具论。

凡人居家及远行，随身常有熟艾一升，备急丸、辟鬼丸、生肌药、甘湿药、丁肿药、水银、大黄、芒消、甘草、乾姜、桂心、蜀椒，不能更蓄余药，此等常不可阙少，及一两卷百一备急药方。并带辟毒蛇蜂蝎等药随身也。

凡人自觉十日已上康健，即须灸三数穴，以泄风气，每日必须调气补泻，按摩导引为佳。勿以康健便为常然，常须安不忘危，预防诸病也。灸法当须避人神。

凡畜手力细累，春秋皆须与转泻药一度，则不中天行时气也。

调气法

彭祖曰：道不在烦，但能不思衣食，不思声色，不思胜负，不思曲直，不思得失，不思荣辱，心无烦，形勿极，而兼之以导引，行气不已，亦可得长年，千岁不死。凡人不可无思，当以渐遣除之。彭祖曰：和神导气之道，当得密室闭户，安床暖席，枕高二寸半，正身偃卧，瞑目，闭气于胸膈中，以鸿毛著鼻上而不动，经三百息，耳无所闻，目无所见，心无所思，如此则寒暑不能侵，蜂蚤不能毒，寿三百六十岁。此邻于真人也。每旦夕，旦夕者，是阴阳转换之时。凡旦五更初，暖气至，频频眼闭，是上生气至，名曰阳息而阴消。暮日入后冷气至，凛凛然时，乃至床坐睡倒，是下生气至，名曰阳消而阴息。旦五更初，暖气至，暮日入后冷气至，常出入天地日月，山川河海，人畜草木，一切万物体中，代谢往来，无一时休息。一进一退，如昼夜之更迭，如海水之朝夕，是天地消息之道也。面向午，展两手于脚膝上，徐徐按捺肢节，口吐浊气，鼻引清气，凡吐者，去故气，亦名死气。纳者，取新气，亦名生气。故老子经云：玄牝之门，天地之根，绵绵若存，用之不勤。言口鼻天地之间，可以出纳阴阳死生之气也。良久，徐徐乃以手左托右托，上托下托，前托后托，瞋目张口，叩齿摩眼，押头拔耳，挽发于(1)腰，咳嗽，发

(1) 于：备急千金要方作“放”。

阳振动也。双作只作，反手为之。然后掣足仰振，数八十九十而止，仰下徐徐定心，作禅观之法，闭目存思，想见空中太和元气，如紫云成盖，五色分明，下入毛际，渐渐入顶。如雨初晴，云入山，透皮入肉，至骨至脑，渐渐下入腹中，四肢五脏，皆受其润，如水渗入地。若彻则觉腹中有声汩汩然，意专思存，不得外缘，斯须即觉元气达于气海，须臾则自达于涌泉，则觉身体振动，两脚蜷曲，亦令床坐有声拉拉然，则名一通。一通二通，乃至日别得三通五通，则身体悦怿，面色光辉，鬓毛润泽，耳目精明，令人食美，气力强健，百病皆去。五年十岁，长存不忘，得满千万通，则去仙不远矣。人身虚无，但有游气，气息得理，即百病不生。若消息失宜，即诸痾竞起。善摄养者，须知调气方焉。调气方疗万病大患，百日生眉须，自余者不足言也。

凡调气之法，夜半后日中前，气生得调。日中后夜半前，气死不得调。调气之时，则仰卧，床铺厚软，枕高下共身平，舒手展脚，两手握大拇指节，去身四五寸，两脚相去四五寸，数数叩齿，饮玉浆，引气从鼻入腹足则停止。有力更取，久住气闷，从口细细吐出尽，远从鼻细细引入，出气一准前法，闭口以心中数数，令耳不闻，恐有误乱，兼以手下筹，能至千则去仙不远矣。若天阴、雾、恶风、猛寒，勿取气也，但闭之。

若患寒热，及卒患痈疽，不问日中，疾患未发前一食间，即调。如其不得好瘥，明日依式更调之。

若患心冷病，气即呼出；若热病，气即吹出；若肺病，即嘘出；若肝病，即呵出；若脾病，即唏出；若肾病，即咽出。夜半后，八十一；鸡鸣，七十二；平旦，六十二[1]；日出，五十四；辰时，四十五；巳时，三十六。欲作此法，先左右导引三百六十遍。病有四种：一冷痹，二气疾，三邪风，四热毒。若有患者，安心调气，此法无有不瘥也。

凡百病不离五脏，五脏各有八十一种疾，冷热风气计成四百四病，事须识其相类，善以知之。

心脏病者，体冷热；相法，心色赤，患者梦中见人著赤衣、持赤刀、杖火来怖人；疗法，用呼吹二气，呼疗冷，吹治热。

肺脏病者，胸背满胀，四肢烦闷；相法，肺色白，患者喜梦见美女美男，诈亲附人，共相抱持，或作父母兄弟妻子；疗法，用嘘气出。

肝脏病者，忧愁不乐悲思，喜头眼疼痛；相法，肝色青，梦见人著青衣，捉青刀杖，或狮子虎狼来恐怖人；疗法，用呵气出。

脾脏病者，体上游风习习，遍身痛烦闷；相法，脾色黄，通土色，梦或作小儿击历人邪犹人，或如旋风团栾转；治法，用唏气出。

肾脏病者，体冷阴衰，面目恶瘘；相法，肾色黑，梦见黑衣及兽物捉刀杖相怖；用咽气出。

冷病者，用大呼三十遍，细呼十遍。呼法：鼻中引气入，口中吐气出，当令声相逐呼字而吐之。

热病者，用大吹五十遍，细吹十遍。吹，如吹物之吹，当使字气声似字。

肺病者，用大嘘三十遍，细嘘十遍。

肝病者，用大呵三十遍，细呵十遍。

脾病者，用大唏三十遍，细唏十遍。

肾病者，用大咽五十遍，细咽三十遍。

此十二种调气法，若有病，依此法恭敬用心，无有不瘥。皆须左右导引三百六十遍，然后乃为之。

房中补益

人年四十已下，多有放恣，四十已上，即顿觉气力一时衰退。衰退既至，众病蜂起，久而不治，遂至不救。所以彭祖曰：以人疗人，真得其真。故年至四十，须诸[2]房中之

1 二：备急千金要方作“三”。

2 诸：备急千金要方作“识”。

术。夫房中术者，其道甚近而人莫能行。其法，一夜御十女，闭固而已，此房中之术毕矣。兼之药饵，四时勿绝，则气力百倍，而智慧日新。然此方之作也，非欲务于淫佚，苟求快意，务存节欲，以广养生也。非苟欲强身力，幸女色以纵情，意在补益以遣疾也。此房中之微旨也。是以人年四十已下，即服房中之药者，皆所以速祸，慎之慎之。故年未满四十者，不足与论房中之事，贪心未止，兼饵补药，倍力行房，不过半年，精髓枯竭，惟向死近。少年极须慎之。人年四十已上，常服炼乳散不绝，可以不老，又饵云母，足以愈疾延年。人年四十已上，勿服泻药，常饵补药大佳。昔黄帝御女一千三[1]百而登仙，而俗人以一女伐命，知与不知，岂不远矣。其知道者，御女苦不多耳。凡妇人不必须有颜色妍丽，但得少年未经生乳，多肌肉益也。若足财力，选取细发、目精黑白分明、体柔骨软、肌肤细滑、言语声音和调、四肢骨节皆欲足肉而骨不大，其阴及掖皆不欲有毛，有毛当软细不可极于相者。但蓬头蝇面，捶项结喉，雄声大口，高鼻麦齿，目精浑浊，口颔有毛，骨节高大，发黄少肉，隐毛多而且强，又生逆毛，与之交会，皆贼命损寿也。凡御女之道，不欲令气未感动，阳气微弱，即以交合，必须先徐徐嬉戏，使神和意感，良久乃可令得阴气，阴气推之，须臾自强。所谓弱而内迎，坚急出之，进退欲令疏迟，情动而止，不可高自投掷，颠倒五脏，伤绝精脉，生致日[2]病。但数交而慎密者，诸病皆愈，年寿日益，去仙不远矣。不必九一三五之数也，能百接而不施泻者，长生矣。若御女多者，可采气。采气之道，但深接勿动，使良久气上面热，以口相当引取女气而吞之。可疏疏进退，意动便止，缓息眠目，偃卧道引，身体更强，可复御他女也。数数易女，则得益多，人常御一女，阴气转弱，为益亦少。阳道法火，阴家法水，水能制火，阴亦消阳，久用不止，阴气逾阳，阳则转损，所得不补所失。但能御十二女而不复施泻者，令人不老，有美色；若御九十三女，而自固者，年万岁矣。凡精少则病，精尽则死，不可不思，不可不慎。数交而一泻，精气随长，不能使人虚也。若不数交，交而即泻，则不得益。泻之精气，自然生长，但迟微，不如数交接不泻之速也。凡人习交合之时，常以鼻多内气，口微吐气，自然益矣。交会毕蒸热，是得气也，以菖蒲末三分，白梁粉傅磨令燥，既使强盛，又湿疮不生也。凡欲施泻者，当闭口张目，闭气握固两手，左右上下，缩鼻取气，又缩下部，及吸腹，小偃脊膂，急以左手中两指，抑屏翳穴，长吐气，并琢齿千遍，则精上补脑，使人长生。若精妄出，则损神也。仙经曰：令人长生不老，先与女戏，饮玉浆，玉浆、口中津也。使男女惑[3]动，以左手握持，思存丹田中有赤气，内黄外白[4]，变为日月，徘徊丹田中，俱入泥垣，两半合成一，因闭气深内勿出入，但上下徐徐咽气，情动欲出，急退之，此非上士有智者，不能行也。其丹田在脐下三寸，泥垣者，在头中，对两目。直入内，思作日月想，合径三寸许，两半放形而一，谓日月相撚者也。虽出入，仍思念所作者勿废，佳也。又曰：男女俱仙之道，深内勿动，精思脐中赤色大如鸡子形，乃徐徐出入，情动乃退，一日一夕可数十为定，令人益寿，男女各息意其[5]存思之，可猛念之。御女之法，能一月再泄，一岁二十四泄，皆得二百岁，有颜色，无疾病，若加以药，则可长生也。人年二十者，四日一泄，三十者，八日一泄，四十者，十六日一泄，五十者，二十日一泄，六十者，闭精勿泄，若体力犹壮者，一月一泄。凡人气力，自有盛而过人者，亦不可抑忍，久而

---

(1) 三：备急千金要方作“二”
(2) 日：备急千金要方作“百”
(3) 惑：备急千金要方作“感”
(4) 自：备急千金要方作“白”
(5) 其：备急千金要方作“共”。

不泄，致生痈疽。若年过六十，强[1]有数旬不得交合，意中平平者，自可闭固也。昔正观初，有一野老，年七十余，诣余云，数日来阳气益盛，思与家妪昼寝，春事皆成，未知垂老有此，为善恶耶？余答之曰：是大不祥，子独不闻膏火乎？夫膏火之将竭也，必先暗而后明，明止则灭，今足下年迈桑榆，久当闭精息欲，兹忽春情猛发，岂非反常耶？窃为足下忧之，子其勉欤！后四旬发病而死，此其不慎之效也。如斯之辈非一，且疏一人，以鉴将来耳。所以善摄生者，凡觉阳事辄盛，必谨而抑之，不可纵心竭意，以自贼也，若一度制得，则一度火灭，一度增油。若不能制，纵情施泻，即是膏火将灭，更去其油，可不深自防。所患人少年时不知道，知道亦不能信行之，至老乃知道，便以晚矣，病难养[2]□，晚而自保，犹得延年益寿，若年少壮而能行道者，神[3]仙速矣。或曰：年未六十，当闭精守一为可尔否？曰不然。男不可无女，女不可无男，无女则意动，意动则神劳，神劳则损寿，若念真正无可思者，则大佳长生也。然而万无一有，强抑郁闭之，难持易失，使人漏精尿浊，以致鬼交之病，损一而当百也。其服食药物。见诸虚门。

御女之法，交会者当避丙丁日，及弦望晦朔，大风大雨大雾，大寒大暑，雷电霹雳，天地晦冥，日月薄蚀，虹蜺地动，若御女者，则损人神，不吉，损男百倍，令女得病，有子必颠痴顽愚，喑哑聋聩，挛跛盲眇，多病短寿，不孝不仁。又避日月星辰，火光之下，神庙佛寺之中，井灶圊厕之侧，冢墓尸柩之傍，皆所不可。夫交合如法，则有福德、大智、善人降托胎中，仍令性行调顺，所作和合，家道日隆，祥瑞竞集。若不如法，则有薄福、愚痴、恶人来托胎中，仍令父母性行凶险，所作不成，家道日否，殃咎屡至，虽生成长，家国灭亡。夫祸福之应，有如影响，此乃必然之理，可不再思之。若欲求子者，但待妇人月经绝后一日、三日、五日、择其王相日，及月宿在贵宿日，以生气时夜半后，乃施泻，有子皆男，必寿而贤明高爵也。以月经绝后二日、四日、六日施泻，有子必女，过六日后，勿得施泻，既不得子，亦不成人。

王 相 日

春甲乙　夏丙丁　秋庚辛　冬壬癸

月 宿 日

正月一日　六日　九日　十日　十一日　十二日　十四日　二十一日　二十四日　二十九日

二月四日　七日　八日　九日　十日　十二日　十四日　十九日　二十二日　二十七日

三月一日　二日　五日　六日　七日　八日　十日　十七日　二十日　二十五日

四月三日　四日　五日　六日　八日　十日　十五日　十八日　二十二日　二十八日

五月一日　二日　三日　四日　五日　六日　十二日　十五日　二十日　二十五日　二十八日　二十九日　三十日

六月一日　三日　十日　十三日　十八日　二十三日　二十六日　二十七日　二十八日　二十九日

七月一日　八日　十一日　十六日　二十一日　二十四日　二十五日　二十六日　二十七日　二十九日

八月五日　八日　十日　十三日　十八日　二十一日　二十二日　二十三日　二十四日　二十五日　二十六日

九月三日　六日　十一日　十六日　十九日　二十日　二十一日　二十二日　二十四日

十月一日　四日　九日　十日　十四日　十七日　十八日　十九日　二十日　二十三日　二十九日

十一月一日　六日　十一日　十四日　十五日　十六日　十七日　十九日　二十六日　二十九日

十二月四日　九日　十二日　十三日　十四日　十五日　十七日　二十四日

若合春甲寅、乙卯，夏丙午、丁巳，秋庚申、辛酉，冬壬子、癸亥，与此上件月宿日合者尤益。

---

1. 强：备急千金要方作“而”。
2. 养：此下脱字，备急千金要方作“也”。
3. 神：备急千金要方作“得”。

黄帝杂禁忌法曰：人有所怒，血气未定，因以交合，令人发痈疽。又不可忍小便交合，使人淋茎中痛，面失血色。及远行疲乏来入房，为五劳虚损少子。且妇人月事未绝，而与交合，令人成病，得白驳也。水银不可近阴，令人消缩。鹿猪二脂，不可近阴，令阴痿不起。

修真秘诀一

洞玄灵宝定观经

天尊告左玄真人曰：夫欲修道，先能舍事。外事都绝，无与忤心，然后安坐，内观心起，若觉一念起，须除灭，务令安静。其次虽非的有贪①□□□乱想亦尽②除，夜③昼夜勤行，须臾不替。惟灭动心，不灭照心，但凝空心④，□凝住心，不依一法，而心常住然，则凡心躁竞。其次初学息心甚难，或息不得暂停还失，去留交战，百体流行，久久精思，方乃调熟，勿以暂收不得，遂废千生之业。少得净已，则于行立坐卧之时，涉事之处，喧闹之所，皆作意安，有事无事，常若无心，处静处喧，其志唯一，若束心太急，又则成病，气发狂颠，是其候之。心若不动⑤，□□□任宽急得所，自恒调适，制而不著，放而不动，处喧无恶，涉事无⑥□□□□□真定。不⑦□涉事无恼，故求多事；不以处喧无恶，强来就喧，以无⑧□□真宅，有事为应迹，若水镜之为鉴，则随物而现形，善⑨□□□□□□□□发迟速，则不由人，勿令定中急急求惠，急则伤性，性⑩□□□□□□□□□□而惠⑪□生，此名真惠，惠而不用，实智若愚，益资定惠，双美无极，若定中念想多感，众邪妖精百魅随心应现。所见天尊诸仙真人是其祥也。唯令定心之上，豁然无覆，定心之下，空然无基。旧业日销，新业不造。无所挂碍，迥脱尘笼，行而久之，自然得道。夫得道之人，凡有七候，一者心得定，易觉诸尘漏；二者宿疾普销，身心轻爽；三者填补大损，还年复命；四者延数万岁，名曰仙人；五者炼形为气，名曰真人；六者炼气成神，名曰神人；七者炼神合道，故曰至人。其于鉴力，随候益明，得至道成惠乃圆备。若乃久学定心⑫，□无一候，促龄秽质，色谢方室⑬，自云惠觉，人⑭称成道者，'求道之理，实所未然。而说颂曰：知起生于境，火发生于缘，各得真种性，承流失道源，起心欲息知，心起知更烦，了知性本空，知则众妙门。

太上内观经

老君曰：天地构精，阴阳布化，万物以生，承其宿业，分灵道一，父母和合，人受其生，始一月为胞，精血凝也；二月为胎，形兆胚也；三月阳神为三魂，动以生也；四月阴灵为七魄，静镇形也；五月五行分五脏，以安神也；六月六律定六腑，用滋灵也；七月七情⑮开七窍，通光明也；八月八景神具，降真灵也；九月宫室罗布，以定精也；十月气足，万象成也，元和哺饲，时不停也。太一帝君在头，曰泥丸君，揔众神也，照生识神，人之魂也，司命处心，纳生源也，无英居左，制三魂也，白元居右，制七魄也；桃康住脐，保精根也；照诸百节，生百神也，

① 贪：此下脱字，道藏太上老君内观经作“著浮游”。
② 尽：道藏太上老君内观经此下有“灭”字。
③ 夜：道藏太上老君内观经无此字。
④ 心：此下脱字，道藏太上老君内观经作“不”。
⑤ 动：此下脱字，道藏太上老君内观经作“又须放”。
⑥ 无：此下脱字，道藏太上老君内观经作“恼者此是”。
⑦ 不：此下脱字，道藏太上老君内观经作“以”。
⑧ 无：此下脱字，道藏太上老君内观经作“事为”。
⑨ 善：此下脱字，道藏太上老君内观经作“巧方便唯能入定，慧”。
⑩ 性：此下脱字，道藏太上老君内观经作“伤则无慧，若定不求慧”。
⑪ 惠：此下脱字，道藏太上老君内观经作“自”。
⑫ 心：此下脱字，道藏太上老君内观经作“身”。
⑬ 室：道藏太上老君内观经作“空”。
⑭ 人：道藏太上老君内观经作“又”。
⑮ 情：道藏太上老君内观经作“精”。

所以固身神不空也；元气入鼻，溉泥丸也，所以神明形固安也；运动佳止，开其心也，所以谓生有出然也。老君曰：内观之道，历历分明，心者禁也，一身之主，禁制于形神，使不邪也。心者神也，变化不测，无定形也，所以五藏安五神，魂在肝，魄在肺，精在肾，志在脾，神在心，所以字殊随处名也。心者火也，南方太阳之精，主生火也，上应荧惑，下应心也，色赤三叶如莲华，神明依薄从所名也，其神非青非白，非赤非黄，非大非小，非短①□□，非曲非直②，□□□□，非厚非薄，非圆非方，变化莫测，混合阴阳③，□□□□□□□□□□则止，放之则狂，清净则生，浊躁则亡④，□□□□□□□□□□□□道自常，永保无为，其身则昌，世以无⑤□□□□□□□□□□□□□所以圣人立君臣，明赏罚，置官僚，制法度，正⑥□教⑦□□□□□□□□心，心若清净，则万神生心，若浊躁则流浪生死，沉⑧□恶道，皆由心生，妄想憎爱，取舍去来，染著烦恼，随处聚结，渐自缠绕，展转系缚，不能解⑨□，便至灭亡，犹如牛马引重，趣泥转增陷没，不能自出，遂至于死，人亦如之。始生之时，神源清净，湛然无杂，既受纳有形，形染六情，眼则贪色，耳则滞声，口则耽味，鼻则受馨，意怀健羡，身欲肥轻，从兹流浪，莫能自悟，圣人慈念，说法教化，使之内观诸己身，澄其心也。老君曰：谛观此身，从虚⑩□中，因缘运会，积精聚气，来业降神，和合受生，法天象地，含阴吐阳，分错五行，以应四时，眼为日月，发为星辰，眉为华盖，头为昆仑，布列宫阙，安置精神，万物之中，人称最灵，性命难得，当保爱之，内观其身，谁尊之焉，犹不自贵，妄染诸尘，不净臭秽，浊辱形神，孰观物我，何疏何亲，守道全生，为善保真，世愚役役，徒自苦辛。老君曰：从道受生谓之命，自一禀形谓之情，所以任物谓之心，心有所忆谓之意，意有所思谓之志，事无不知谓之智，智周万物谓之惠，动以营身谓之魂，静以镇形谓之魄，流行骨肉谓之血，保神养气谓之精，气清而快谓之荣，气浊而迟谓之卫，揔括百骸谓之身，众象备见谓之形，块然有闵谓之质，状貌可则谓之体，大小有分谓之躯，众思不得谓之神，莫然应化谓之灵，气来入身谓之生，神去于形谓之死，所以通生谓之道，道者有而无形，无而有精，变化不测，通神群生，在人之身则为神明，所谓心也，所以教人修道即修心也，教人修心即修道也。道不可见，因生以明之，生不可常，用道以守之，若生亡则道废，道废则生[11]，生道合一则长生不死，羽化神仙。人之所以不能[12]保者，以其不能[13]观于心，故内观不遗生道常矣。老君曰：人之所以流浪恶道沉[14]□□秽者，缘六情起妄而生六识，六识分别系缚憎忧去来取舍，染著烦[15]□，与道长隔，所以内观六识因起，六识从何而起？从心识起，心从我起，我欲起亦曰自然。又名无为，本来虚寂，元无有识，妄想颠倒，而生有识[16]，□识分别起诸邪见，邪见既兴，揔是烦恼，烦恼缠缚，流浪生死，永失[17]□道。老君曰：道无生死，而形有生死。所言生死者，属于形不属于[18]□□□□以生，由得其道，形所以死，由失

---

① 短：此下脱字，道藏太上老君内观经作“非长”。

② 直：此下脱字，道藏太上老君内观经作“非柔非刚”。

③ 阳：此下脱字，道藏太上老君内观经作“大包天地，细入毫芒，制之”。

④ 亡：此下脱字，道藏太上老君内观经作“明照八表，暗迷一方，但能虚寂，生”。

⑤ 无：此下脱字，道藏太上老君内观经作“形，莫之能名，祸福吉凶，悉由之矣”。

⑥ 正：此下脱字，道藏太上老君内观经作“以”。

⑦ 教：此下脱字，道藏太上老君内观经作“人，人以难伏，唯在于”。

⑧ 沉：此下脱字，道藏太上老君内观经作“沦”。

⑨ 解：此下脱字，道藏太上老君内观经作“脱”。

⑩ 虚：此下脱字，道藏太上老君内观经作“无”。

⑪ 生：道藏太上老君内观经此下有“亡”字。

⑫ 能：道藏太上老君内观经此下有“长”字。

⑬ 能：道藏太上老君内观经此下有“内”字。

⑭ 沉：此下脱字，道藏太上老君内观经作“沦滓”。

⑮ 烦：此下脱字，道藏太上老君内观经作“恼”。

16 识：此下脱字，道藏太上老君内观经作“有”。

⑰ 失：此下脱字，道藏太上老君内观经作“于”。

⑱ 于：此下脱字，道藏太上老君内观经作“道也，形所”。

其道①□□□□生守道，则②□□□□□□君曰：人常能清净其心，则道自③□□□□□□

若知神气之所主，母子之运行，即长生不死之门了可见也。若气无主宰，任自呼吸，唯主通利五藏，消化水谷而已，不能还阴反阳，填神血脑耳。师曰：吾以神为车，以气为马，终日驭之而不倦也。经曰：天下有道，却走马以粪谓此也。尹真人曰：神能驭气则鼻不失息，其言至矣。驭气之法，上至泥丸，下至命门，二景相随，可救残老。至若呼不得神宰，一息不全，吸不得神宰，亦一息不全。若能息息之中，神气相合，则胎从复气中结，气从有胎中息，胎气内结，求死不得，功成之后，男子鳏气聚精，女子寡气结婴，雖动于欲，不能与神争，是谓之真，反精为神也。此是上清玉真修息之诀，日能行之，自得其味，触类而长，渐合上真矣。

存守三一论

太上说智惠消魔真经云：一无形象、无欲、无为，求之难得，守之易失。失由识暗，不能进明，贪欲滞心，致招衰老；得喜失嗔，致招疾病；迷著不改致招死殁殒患及老，三尸所延，治救保全，唯□……□非一不成，守一恬淡，夷心寂求，损欲折瞋，反迷入正，□……□为一，此为上上之人，先身积极所致也。中中以上□……□极皆由渐升，当存三元，谛识神气，状貌、名字□入有无坐镇三官，三尸必落三元，又妙非可而弘，当勤行善，五德备脩，万善日积，千魔□千尸毒既去，练暗成明，智惠神通，长生不□……□真神仙随因受果，□玄化世，顺运去来，自测测□□身观物，皆有证验，精详察之，□□金阙帝君曰：凡夫勇猛能从□……□守一，守之者智惠，弃之者愚痴，愚痴致死，智惠□……□忻生恶死含气所共，而求生者不生，畏死者促死，死生不得其道，是以□于所期，所期不乖，决在智惠先起，起知有一。太平经云：以何为初，以思守一也。一者，数之始也；一者，生之道也；一者亢气所起也；一者天之纲纪也，故使之守思一也。又云子欲养老，守一最寿，平床徐卧，与一相守，气若源泉，其身何咎，是谓真宝，不食而饱，故得老寿，老襄自去，与道相抱。夫人爱命，皆已备具，智者守一，愚者损之，是故智者延年，愚者独终。守一者吉，不守者降。五符经云：一者无一之不知也；不知一者，无一之能知也。一者至贵，无偶之号也，必欲长生，三一当明，思一至饥，一与之粮；思一至渴，一与之□……□成阴生阳，推行寒暑，其大不可以六合隐；其小不可以□毫比也。百□□用而不知也，夫不施不写，一安其所；不迟不疾一安其室；能暇能豫一乃不去。存一至勤，一能通神，少饮约食，一乃留息。知一难，难在于终，知，真不为与不知同，求之不已，登彼九星。

三元真一经云：涓子授苏林守三真元一之道，林奉守三一，能役使鬼神。涓子告林云：我被帝君召，上补中黄四司大夫，领北海，公去世无复日也。后林复诣涓子寝静之室，无复人矣，留一纸书置卧处以与林也。其文曰吾升三一，太帝所秘，精思二十年，三一相见，相见授子书矣。但有三一，长生不灭，况复守之乎；能守三一名刊玉札，况与三一相见乎。加存洞房为上清公，加知三元为五帝君。后圣金阙帝君，所以乘景迅云飞行十天者，实由洞房三元真一之道也。林以汉元帝神爵二年三月六日，告弟子周季通曰：我昨被玄州召为真命上卿，领太极中候大夫，与尔别近，明日有云车、羽盖、骖驾龙虎、侍官数千人，迎林即日登天，冉冉西北升，良久云气覆之，是故三皇世人，学道皆贵守一者，当令心朴、神凝、体专、诚感，所以百念不生，精意不散，但有三月内视注心，一神参见，则神光化生，缠绵五藏，身外与之而游，是以系念不散，专气故和，日朴之至也，得之速也，自朴散真离之后，华伪潜兴，竟心乱生，致一不卒感，神不即应，非不欲往存之者，不专思之者不审也，故起积年之巧，罔有仿佛也。若能心济远感，专心

无他，亦必□……□之思与一混合也。守三一之法，皇天□□清金阙帝君真书□……□正道神仙之□……□涂众真之妙□……□亦守子□……□见子一须身而立身，须一而生子身，进退千端，万事常当□……□食念一，欣乐念一，衰戚念一，疾病念一，危难念一，履水火念一，□……□急念一，人之念一，举止属目，念亦多矣，思令必专，不专无异，守一之□戒于不专，专复不久，久不能精，精而不固，固而不恒，则三一去矣，身为空宅耳，空宅无主，其能久乎。

存守三一诀

两眉间为上丹田；心为绛宫中丹田；脐轮三□[1]为下丹田。

夫存三守一之法，居静室，焚名香，面南坐，握天关，鸣大鼓，开天门，塞地户，思日在左耳下，思月在右耳下，想北斗魁星覆两膊上，余三星覆头上，直指南方。然后收心内观，各有玉台、金阙、泥丸，真人赤子居之，注心凝定，更莫散乱，则琼光自照，靓夜如昼，久能行之，宫中之神，历历如目前矣。存虽有三，法本是一。仙经曰：子欲长生，守一当明。又曰：服丹守一，与天相毕。西升经曰：人能守一万事毕，此之谓矣。

存守九宫太一紫房诀

夫人头中有九宫，上象九天，下法九地，身有九窍阴阳，复有五城十二楼，金堂琼宫，每宫皆有神焉，保护生道。夫存九宫者，先须屏绝人事，户居无心，然后可存焉，端坐正午，面向南方，从两眉间入三分，过耳上，就顶后是也，上下而有九宫，各有神明居焉，衣服名字尺寸长短，列之如左：

两眉间却入一寸，为明堂宫泥丸，太一君居焉，左有紫房，右有朱宫，著锦衣，珮玉铃，貌如婴儿，而身形之主。

却入二寸，为洞房宫，中有三天真，左名无英公子，右名白元，中名黄云，此是飞仙往来之道者也。

却入三寸，为丹田宫，却入四寸，为流珠宫，却入五寸，为玉帝宫，明堂上一寸，为天庭宫，洞房上一寸，为极真宫，丹田上一寸，为玄丹宫，流珠上一寸，为天皇宫。

夫存九宫太一者，当须专心任真，仿佛如见，情无散念，世事都忘，但存一宫分明，则百邪去身，众福来矣，虚室生白吉祥止□□蕴皆空，常以神明自娱，百灵朝见，久能行之，乃知至真之所在也。

夫脑者一身之灵宗，百神之命窟，津液之山□……□之门户，是以胃池体方以受物，脑宫圆虚以灌□……□千孔生□……□德备天地，道合大玄，故名曰泥丸，体形之上神也，故佛经云：不生不死，证□□则此神也。

夫耳者帝君之聪也，目者太一之日月也，鼻者三源之□也，口者绛宫之朱室也，眉者白元华盖也，发者明堂之林精也，舌者无英之龙辕也，齿者胃宫之威力也，手者胆神之外援也，足者肾元之灵开也。一体百神，各有所属，不可不察。

耳中忽闻金声玉响，此是真气来入道欲就也，每存九宫毕，端坐正午，叩齿九通，咽液九过，以手按鼻左右上下十数过。微祝曰：太□四明，九门发精，耳目玄彻，通真达灵，天中之台，流气和平，娇女云□□英明，华聪昊朗，百度眇精，保守上元，徘徊九城，五藏植根，耳目生灵□□台郁素，柱梁不倾，七魄涛炼，三魂安宁，赤子携景，辄为我并，有敢掩我耳目，太上当摧以流铃，万凶消灭，所愿必成，日月守门，心苞五星，真皇所咒，群魔敬听，是此太上保神经中说令人耳目聪明，面有童光，抱魂制魄，降伏魔王，乃真人起居之道也。

谷神论并六字诀

经曰：谷神不死，是谓玄牝，玄牝之门，

---

[1] 脐轮三□：医心方卷二十七养生谷神第二载"脐下三寸为命门宫，此下丹田也"，据此，疑作"脐下三寸"。

为天地根，绵绵若存，用之不勤。论曰谷神以空寂为用，人以神气为宗，谷静则不竭不盈，神清则不生不灭，而又在空，空不生寂，寂不生空，空则自空，寂则自寂，两忘则响应，所以生养禽兽，藏积珠珍，通利泉源，资荣草木，故称不死。神生于气，气养于神，神静气和，气清神爽，神气两全，则能运动，所以含养情性，藏积精华，润泽形容，通利血脉，则能长生。故神者气之子，气者神之母，形者神之室，神之受味于气，以通灵，气不受养于神，无以运动，故气清则神畅，气浊则神昏，气乱则神劳，气衰则神去，室空则形腐，人以气为道，道以气于生，生道两存，故[1]□门者是神气出入之表，故天以鼻为玄门[2]，□□□□□□□□□□清，牝主阴而浊。鼻所以清者无言语也。口所以[3]□□有是非也。凡一日一夜有一万三千五百二十息，未尝休止也。减之一息则寒，加之一息则热，藏腑不和，诸疾生焉。一气不调，百神俱泣，使人拘制魂魄，保养精华，嗽玄液于三焦，运清[4]□□六腑。故妙莫妙[5]三十六咽，调元气于玉池之中；善莫善于二十四神，存元气于金阙之下。反老回颜，委质留形之道也。夫保养元气，守护谷神，上则灌注丹田，下则澄清胎息，故曰内丹。修道之人先服内丹，然后外修药饵，内外相应，即致神仙，故烟罗子云：内真外应丹自来。此乃保神养气之道也，故黄庭经云：闭塞三开[6]握固停，含漱醴泉[7]□玉英，遂至不死三虫亡，身意平和致欣昌，五岳之云气彭亨，保灌玉颅□……□。

老君曰：气象于天地，变通莫测于阴阳，天地之英华，阴阳之二气之谓也。阳龙阴虎，木液金精，二气交会，炼而成者，谓之外丹；含和炼藏，吐故纳新，上入泥丸，下注丹田，修运不息，朝于绛宫，采于五石，以哺百神，此内丹也。修道之士，内丹可以延年，外丹可以升仙，内丹成而外丹必应，外丹至而内丹下充，皆未致于升举三焦者，心以上至泥丸为上焦，心已下至脐为中焦，脐已下至涌泉为下焦。六气者，咽主肺，呵主心，嘘主肝，呼主脾，吹主肾，嘻主三焦。三焦法象于三十六气，分行于六腑，通利水谷，调适形神，抱素魄以全生，怀真精而保命者也。诀曰：皓华失理疗还难，于药如何辄拟干，喘息呼吸如不快，可调咽字此神丹。心源烦躁急须呵，此法通神更莫过，喉闭口疮并舌痛，调之即日便安和。肝主龙烟位号仁，病来还觉好酸辛，眼中赤涩还多泪，嘘字医之立□……□神魂庭属土号太仓，有病难交尺泽芳，泄痢肠鸣兼吐水，急调呼□……□肾为水府主生门，有病虚羸气色昏，眉耸耳鸣兼□……□三焦有病旦须嘻，古圣遗言最上医，若或通宣□……□此法又何□……□之。

养生胎息诀

进取诀

凡欲服气，先须得一高静密室，不在于大，务绝风隙[8]，左右焚香，不用董陆，床须厚软，脚稍令高。真诰曰：床高鬼吹不及，鬼物善[9]□地气以吹人[10]，为[11]床高三尺可矣[12]。□□物适温寒，冬宜稍暖，枕高二寸余，令与背平，每夜半后生气时，或□□□□□□□□□□出恶□□□[13]气一九[14]止。六止[15]。若要而言之，亦不在夜半与[16]□更也。但天气[17]□□，腹中空即为之，闭目叩齿三十六通，以警身神，然后以两手捏目大小眦，兼按鼻左右，旋耳摩面，为真人起居之法，

1) 故：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“玄”。
2) 门：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“地以口为牝户，玄主阳而”。
3) 以：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“浊者”。
4) 清：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“液于”。
5) 妙：道藏嵩山太无先生气经作“于”。
6) 开：道藏嵩山太无先生气经作“关”。
7) 泉：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“与”。
8) 隙：道藏嵩山太无先生气经此下有“而已，室中”四字。
9) 善：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“因”。
10) 人：道藏嵩山太无先生气经此下有“而”字。
11) 为：道藏嵩山太无先生气经此下有“祟忤”二字。
12) 矣：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“衾被”。
13) □□□□□□□出恶□□□：道藏嵩山太无先生气经作“五更睡之初觉，先呵出腹中浊恶”。
14) 九：道藏嵩山太无先生气经此下有“下”字。
15) 六止：道藏嵩山太无先生气经无此二字。
16) 与：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“五”。
17) 气：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“调和”。

后随事小小导引，以宣畅开①节，乃②□□□□□□□口中内外津液，俟满口即咽之，令入胃，存胃神承之，如此者三，止是谓③□□□液溉灌五藏，面乃光④。此之去就大体略同，便⑤□然放身，使⑥□同大虚⑦，身若委衣⑧，万虑都遣，然后淘之，每事皆闭目握固，散气之时，即⑨□□也。夫握固者，所以闭闸防而却精耳，初服气人，气未流行，即不⑩□□□□至百日，或半⑪□觉气通畅，乃可握固也。鼻宜纳之，口宜吐之，纳则纳新，吐则吐故，不得有误，误则气逆，气逆即疾生。吐纳之际，元宜慎之，亦不欲令⑫□□□□□□□□□令其和平，是曰调气，毕则咽之，夜睡则闭口住鼻喘息，不得□□出⑬也。

咽气诀

服内气之妙，在乎咽气，世人咽外气以为内气，不能分别，何其甚哉！吐纳之士，审而为之，无或错误耳。夫人皆禀天地元气而生，身中自分得元气而理。每吐纳则内气与外气相应，自气海中随吐而上，直至喉中，喉吐之极际，则闭口速鼓而咽之，令郁然有声，汩汩然从左边而下，经历二十四骨节，如水渡次⑭之分明也，男左女右而下，则内气固胶然而列也，以意送之，以手摩之，令速下入气海，气海脐下三寸是也，亦谓之丹田。初服气人，上焦未通，以手摩而助之，令速至气海中。若气以通流，不摩亦得，一闭口三连咽，止二十咽，二乾咽号曰云行，三湿咽取口中津液，和而咽之，谓之雨施，并欲通闰。初服气人，气未通流，每一咽，即旋行之，不可遽至三也，气通畅之后，渐渐加之，直至于十小成也。一年后，始可通流，三年功成，乃可恣服。夫新服气人，气未通流，咽或未下，以一咽为候⑮，□□吐极，则大鼓口微用少力噏而咽之，务令郁然有声，汩汩而⑯□□□□海。如此了然后，为三连咽便成也。且此诀要有损益，非经久用⑰□□□能较量，而洞见真理，初学人并久服人不得其妙者，有此诀幸也。

行气诀

下丹田，在脐下三寸，近后有二穴，通⑱□□，上达泥丸宫，每三连咽，速存下丹田中，所纳得元气，以意送⑲之⑳□□□穴㉑，□闭目想见两条曰气，夹脊双引直上入脑泥丸宫，薰蒸诸宫㉒，□□□下，毛㉓□面部项臂手指一时而下，入胸至中丹田中㉔，□□□□□□，想气㉕五藏，却历下丹田至三星骨尻，经胜膝下达涌泉，涌泉者足心也。所谓分一气以理之，鼓之以雷霆，润之以风雨之义也㉖。□□□□有泉源非雷霆动作，则无以润万物，人身上有津液，非嗽咽则无㉗□□□□□□□□，还精补脑不死之道，咽内气非吐纳则不能引而用之，是知回㉘□□道，运用之理，盖所以法天而象地，想身中浊恶结滞邪气㉙。□□□正气荡涤，从手足指端出矣，谓之散气，散气时则展手指㉚，□□握㉛□，如此一度，即是一通，通则无疾，

---

① 开：道藏嵩山太无先生气经作“关”。
② 乃：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“以舌拄上腭，料”。
③ 谓：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“漱咽灵”。
④ 光：道藏嵩山太无先生气经此下有“矣”。
⑤ 便：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“兀”。
⑥ 使：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“心”。
⑦ 虚：道藏幼真先生服内元气诀作“空”。
⑧ 衣：道藏幼真先生服内元气诀此下有“内视反听”四字。
⑨ 即：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“展指”。
⑩ 不：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“得握固，待”。
⑪ 半：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“年”。
⑫ 令：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“自耳闻之，或七或九”。
⑬ 不得□□出：道藏嵩山太无先生气经作“可口吐之”。
⑭ 渡次：道藏嵩山太无先生气经作“沥坎闻”。
⑮ 候：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“每咽”。
⑯ 而：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“下直入气”。
⑰ 用：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“心者焉”。
⑱ 通：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“脊脉”。
⑲ 送：道藏嵩山太无先生气经作“引”。
⑳ 之：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“令入二”。
㉑ 穴：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“因”。
㉒ 宫：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“森然偏”。
㉓ 毛：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“发”。
㉔ 中：此下脱字，道藏幼真先生服内元气诀作“丹田心宫神也”。
㉕ 想气：道藏嵩山太无先生气经作“灌注”。
㉖ 也：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“亦由天地”。
㉗ 无：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“以溉五脏，蒙光彩”。
㉘ 回：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“薄之”。
㉙ 气：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“瘀血被”。
㉚ 指：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“不须”。
㉛ 握：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“固”。

复调之使平，平复鼓咽如前也，闭气鼓咽至三十六，谓之小成。若未绝粒，但且至此即得，常须少食，务令腹中旷然虚①□，无②□□卧，但腹中空则咽之，一日通夕至十度，自然气通至三百六十咽，亦得谓之中成；若至千二百咽，谓之大成，是谓大胎息也；如小胎息但③□□□□□□二百息，亦谓之大胎息，然亦不能练形易骨，纵得长生④，□□木无精光也。

炼气诀

服气余暇，入净室，脱衣散发，仰卧盖衣，展手指，勿握固，梳发令通透，净席一领，于头边垂下著地布之，即调气咽之，便闭气候极，乃冥心绝想，任无所之，过且安心卧理，绝闷则吐之，喘息急则调之，候气平又炼，如此且十遍止。新服气人，气未通流，有暇渐加，候气通流，可加至二十、三十、四十、五十，即令遍身汗出，如有此状，即其效也。安心且卧，勿早起冲风，著新衣，徐徐行之，少语爱气，省事澄思，即之轻百脉流注，乃却老延年之术耳。神清爽时为之，如欲昏睡勿为也。勤勤行之，十日十五日可为之一度甚好也。若每夜五更初，候神清时依次第平生修咽，勤勤常须为之，不得堕慢。思有昏睡之时，强坐抑绝，恐却乱气起为邪，气乱即失正道也。初服未有正气，即昏昏矣，后亦无昏沉也。黄庭曰：千灾以消百病痊，不惮虎狼之凶残，亦以却老延永年。

委气诀

夫委气之法，体气和平，心神调畅，无问坐卧，皆可为之，但依门户，或偃于床，或兀然独坐，似无神识，寂寂然使心同大空，因而闭之，或十气，或二十气，皆须任气，不得与意相争，良。气从百毛孔中出，不复口吐，纵有十无三也，复调气后为能数至于十，或百息以上，弥佳，行住坐卧常为之。如⑤□□行即关节开通，颜色润悦，气清而长，如新沐浴，但有不和为之⑥□□□□□□□□□□□□高拱无为魂魄安，清净神见与我言，此之谓也。

闭气诀⑦

忽修养乖宜，偶生疾患，宜于密室之中，依服气法，布手足，则谓⑧气咽之，念所苦之处，闭气以意想，注气以攻之，气急则吐之，气调复攻，或二三十、四五十攻，如未损，每夜半攻之，觉所苦处，汗出通润则止，或五更昼日，频作意攻之，以差为度，病在头面手足，但有疾处攻之，无不愈也。

布气诀

凡布气与人疗疾，先须依前人五藏所患病，取方面⑨之气，想注入前人身中，令病者面向其方，息心静虑，此即与布气，想注病人令⑩□□□亦咽气鬼气⑪自逃，邪气亦绝。

六气诀

咽属肺，肺主鼻，鼻塞，寒热不和及劳极，皮肤疮疣，大肠诸疾，悉皆主之。

呵属心，心主口，口乾舌苦，血气不和，大热大张口，小热小张口，兼主于肠。

嘘主肝，主筋急，合于凑及目，有温热可嘘治之。

吹属肾，主耳及骨齿，如耳鸣齿楚，面黑腰脚冷，阳道衰，吹以治之。

呼属脾，肚胀满，气闷不泄，食不消，口无味，以呼理之。

嘻属三焦，三焦不调，气有拥滞，嘻以理之。

调液诀

凡口中乾苦，舌涩无津，或咽唾喉痛不

① 虚：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“净”。
② 无：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“问坐”。
③ 但：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“闭气数至一千”。
④ 生：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“尤同枯”。
⑤ 如：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“此勤”。
⑥ 之：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“亦必当清泰也。黄庭经曰”。
⑦ 闭气诀：原作“门”，据道藏嵩山太无先生气经改。
⑧ 谓：道藏嵩山太无先生气经作“调”。
⑨ 面：道藏嵩山太无先生气经作“向”。
⑩ 令：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“其自愈”。
⑪ 气：道藏嵩山太无先生气经作“贼”。

能食，是热状也，即呵之，必须开口呵之，依门户出入十呵、二十呵，即鸣天鼓，或五、或七、或九，以舌嗽华池而咽津，夜复呵，呵复咽，察其气退即止，但候口中清水出□□[1]即是热退，五藏凉也。若口中津液冷淡无味，或过多心[2]□□□□食饮无味，即冷状也，当以吹理之，候口中及心头调即上。黄庭[3]曰[4]：□□清水灌灵根，审能修之可长存。又曰：嗽咽灵液灾不干，此之谓也。

饮食调护诀

每平旦，食少[5]淡水粥，甚益人，足津液。日中食淡面饼饦饦甚佳，不得弃热服之，悖乱正气；煮葱韭羹亦佳。鹿[6]□宜食，但是其首及心脂不可食。饭必粳粟米，大麦经四时甚宜食之。此等不必[7]□□食也，任意中欲者食之，三十六禽神直日，其本命鸟兽，不须食。瓜枣栗芋菱芡，并宜少食，悉不可生食。南烛草生江东，及中岳少室、王屋山并有之，作饭甚佳，无此，亦不必依太清中须以诸药合而为之，但南烛草即得。不□□□[8]饥，不可饱，饱[9]□□□气[10]□难[11]□□热面萝卜羹酸咸节之，辣辛亦然。每食毕即须呵之，呵却腹中食之毒气，永无患矣。服气之人，肠胃虚静，但是生冷醋滑粘腻，冻硬难消之物，并不可食也。每欲食，先须咽气三五口，与食作主人，兼吞三二十颗生椒佳，食毕复吞三五颗，通三焦，和五藏，趁恶气，消食，助正气。此物能引气向下，是以服气人，特宜长服，辟寒涸暑湿，明目生发，治气功力不可具述，在太清经载矣。凡行气后下泄，慎勿留之，恐生疾，空腹随性饮一两杯好清酒佳，冬温夏冷，助正气排诸邪，其功不可细录，戒在多耳。

调护诀

服气之士不用冲生产、死亡、六畜、一切杂秽不洁之气，并不宜闻近之，甚损正气。或不意猝遭逢诸秽，则速闭气，取上风疾过之，兼饮一二盏酒荡涤之。如恶气误入觉不安，即须调气逐出勿留，忽有逆气，勿使令出，即咽之，更纳气以逐之，定则以手摩助之，便吞椒及饮酒令气散。如不肯下，亦不须过理逼之，任出无苦，此只是三焦壅故也，终须调理之，使平和也。斯必是食油腻杂犯触正气也，用意省之，当知犯者勿复再件[12]。凡服气一年气通，二年气行，三年功成，元气遂凝，有触无能为也，日复千咽，亦不惧多也，还童返老，渐从此矣。于是气化为血，血化为精，精化为髓，一年易气，二年易血，三年易脉，四年易肉，五年易髓，六年易筋，七年易骨，八年易发，九年易形，三万六千神，皆在其身，化之为仙，号曰真人。

休粮诀

凡欲休粮，但依前勤修三年之后，正气流通，体实骨满，日神守位，三尸遁逃，如此渐不欲闻五味之气，常思不食，欲绝则绝，亦复无难，但觉腹中空，即须咽气，无问早晚，何论限约，久久自知节候，无烦具言，亦可以兼药相加。大抵服药之人，多不能服气，区区终身，唯以药物为务，固为未得，亦非上士用心也。黄庭云：百谷之实土地精，五味外美邪魔腥，臭乱神明胎气零[13]，□从返老能还婴，何不服气太和精，故能不死人，黄宁，是也。

慎[14]□诀

世人率多嗜欲，伤伐性命，古今共然，不自早防，悔将何及，故仙经曰：夫人临终，而碍惜身，罪定而思迁善，病成而方求药，天网以发，何以逭之？黄庭曰：方寸[15]□中

---

① 出□□：道藏嵩山太无先生气经作“甘泉生”。
② 心：此下脱字，道藏幼真先生服内元气诀作“头汪汪然”。
③ 庭：道藏嵩山太无先生气经此下有“经”字。
④ 曰：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“玉池”。
⑤ 少：道藏嵩山太无先生气经此下有“许”字。
⑥ 鹿：此下脱字，道藏幼真先生服内元气诀作“肉”。
⑦ 必：此下脱字，道藏幼真先生服内元气诀作“日日”。
⑧ 不□□□：道藏嵩山太无先生气经作“凡食乍可”。
⑨ 饱：此下脱字，道藏幼真先生服内元气诀“即伤心”。
⑩ 气：此下脱字，道藏幼真先生服内元气诀作“尤”。
⑪ 难：此下脱字，道藏幼真先生服内元气诀作“行凡”。
⑫ 件：道藏幼真先生服内元气诀作“忤”。
⑬ 零：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“那”。
⑭ 慎：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“真”。
⑮ 寸：此下脱字，道藏嵩山太无先生气经作“之”。

谨盖藏，精神还归老复壮。又曰：长生至慎房中急，何为死作令神泣，若当决海百渎倾，叶去树枯失青青。且长生久视，未有不爱精保气而能致之也，阴丹百御之道，世莫能知，虽务于气，不绝色欲，亦未免危殆。

和气诀

夫存乎心而不见其迹者，至道也。守中帷微，湛然常存，斯乎庶几，上不在天，下不在地，中不在人，在我而已，勤而行之，不久自得，自得故正明，明不惑故能通，通则气知矣。黄庭云：留胎止精可长生，长生之气为本也。

调内气诀

夫胎息者，不以口鼻呼吸为之，但心静无为，自全正气，初调气时，五更以后，低枕仰卧，自顶至足，先以意观一遍，然后绝思屏虑，专心内视，存想气海，渐觉腹内热，是气已至，内外澄寂，不躁不桡，候多时为妙。如此三二度后，但稍定心，便觉腹内热，则外气不能侵。若四肢疾，或是疮肿，但先存想，然后以意加力，徐徐引元气随意到病处，觉热即是效，常存元气在病处，无不愈也。复[1]内有疾，气块、心痛、及泻痢等，每存思后，闭三息，咽一息，徐徐轻咽，亦须微用力，从咽中渐渐送之入藏胃，候息调匀，更咽一息，止三咽，不得咽也，恕[2]咽入外气。能频习之，血脉通流，自然无疾。若要元气到上丹田，即从腹内渐引入，皆从上脑□□腹中滓尽，每至寝息，即元气自然灌注肢体，服至百日，为□……□粪如新生儿粪也。一年为中关，出血粪百余如羊粪，□……□骨粪至，此即延年。三尸死骨粪者，一生所食不消之物，并在骨中也。常服茯苓、人参、胡麻、茅香汤甚佳。清酒时一盏亦佐气，兼咽津甚益身躯，并颜色也。

修生真一气诀

摆挈四肢，捉搦三关，劲展手足，出气指端，熟摩尺宅，气海亦然，卓齿集神，合眸固关，冥心放体，任气往还，觉气调匀，拥息喉间，拥极即咽，三咽相连，□□漱入，咽下丹田，以意送之，令声汩然，一咽三咽，三咽如前，三十六咽，胎□成焉。大道无为，为于不为，不为无为，莫若无思，若能无思，万法自随，怀道君子，铭而佩之。

九还七返论

夫欲养神，先须养气；夫欲养气，先须养脑；夫欲养脑，先须养精；夫欲养精，先须养血；夫欲养血，先须养唾；夫欲养唾，先须养水。而九还七返者，大而论之一年，小而论之一日，只如北斗，一日一夜一周天，天降地腾，生化万物，从寅至申为七返，却到坤为九还，此明不曰大还耶？须得三十六百气候，亦以小而明大，只如一日十二时，六时阴，六时阳，阳象春夏，阴象秋冬，若然者，一时象一月，一月三十日，有三百六十时，亦象一年，即一十二时，象一十二年，三百六十日，象三千六百年，还丹功毕矣。人以十月成胎，丹以十月成胎，人道相通，超凡入圣，岂不了然哉？

四 象 论

夫四象者，青龙、白虎、朱雀、玄武。东方甲乙木，水银也，澄之不清，搅之不浊，近不可取，远不可舍，潜藏变化无尽，故言龙也；白虎者，西方庚辛金也，得真一之位，经云：子若得一，万事毕，淑女之异名，五行之精之所致也，以其伏，称之为虎也；朱雀者，南方丙丁火朱砂也。刻□成龙，结气成虎，其气腾而为天，其质降而为地，所以为大丹之本也。见火即飞，故得朱雀之称也；玄武者，北方壬癸水也。能柔能刚，经云：上善若水，非铅非锡众石之类水，乃河车神水，生乎天地之先，至药不可暂舍，能养万物，故称玄武。如志士烧炼，鼎内有此四象

1 复：按文义疑作“腹”。
2 恕：按文义疑作“恐”。

者，十方天人莫不瞻奉，经云：四神丹也。

真人金液还丹词

大还丹分付尘，世事何限，道在存三守一，用离坎为炉，但把本根烹炼，须禀五行，□象璇玑，取则无差寒暑，自然二辉焕，地马天龙乍转，海火沸腾雷龙□冥如醉，朦胧□围宛转，仍觉中黄内变，性灵难猜难辨，每来时更须稳□□便三□□任嚣喧，鼎中文火常交暖，莫越阴阳造化，向玄都安排圣胎，犹如□□久觉魔军束静，渐见五色金华片片，明月冷光照开金殿，玉象金轮乍捻，有个真人出现，迷徒觉学道，手执仙经漫劳，千卷万卷堪叹，从头为君剖判，金液还丹不远，只在眼前团圆漩。

五方金液还丹歌

北方玄武身体黑，家乡住在昆仑国，刚柔不定志长存，方圆任性长怀德，体变虚无能寂默。土妻木母火家贼，尽知金母生我身，不知母身我生得。随流信任长为客，谁辨我身元性白，不独含却五行精，就中偏产阴阳魄。调知金木令相聚，四象排来在高处，分明指似后人言，莫遣昏迷不知路。

东方属木本名砂，为男为女亦为牙，受气子乡胎产午，含精育质向金家。自从生长多年月，游游各自向天涯，莫欺形貌黑皴皵，浑身摠是日精华。忽往遇着阴家女，不假良媒自相许，迎归宝帐到中宫，阴阳调知情相处。特地为胎重造化，运动乾坤巡八卦，十月怀胎母子分，定知霄汉骖鸾驾。

南方朱雀其色赤，猛烈雄强势难敌，性共乾坤造化同，理合元和力同一。水妻木子金家鬼，白帝金刑胎受死，万类犹来因我成，万物还□□我死。性连甲乙气偏通，钩扇钩娘嫁木翁，归投戊己令相处，□□□□摠教红。此径不悟殷勤说，句句从头细分别，不是积学累功□……□吾杖中诀。

西方白虎本属阴，为银为女亦为金，受气子乡成立午，含情育质永同心。娇姿玉貌欺冰雪，素质情钿洒经血，即知唤作白琅玕，谁识我身是明月。无媒自嫁得黄牙，长生□□戊己家，炎烈下时阴润上，阴阳催促摠成砂。若人会得吾今语，□……□路，驾鹤朝天的有期，定知永劫□尘去。

中夹戊己□□陈，体合虚□□□邻，常抱元和真粹气，陶甄万类摠成真。木妻[1]□子水家鬼，白帝金形胎受气，遂交却产西方金，迎互流传吐精髓。虽言我身无正形，□□□排四象生，象生不用连我气，金木水火岂能成。偏因金木恩情□……□中亲养育，三物相和气摠并，须臾丙火相煎蹙。丙火元来是我□……□依□……□令，自合天然造化功，谁识仙家真路径。

阴真君金液还丹歌

北方正气为河车，东阳[2]甲乙成[3]金沙，两[4]□□养归一体，朱雀调运生金花。金花生[5]天地宝，人会此言真至道，子称虎[6]，□□龙，龙虎[7]□生自合同。龙居震位当六八，虎数元生在一宫，采有日，取有[8]□，世人用之而不知。收取气候莫差错，万般功巧徒劳施，至神[9]圣极容易，须□[10]宫[11]□□□器。温养火候审阴阳，安排炉室须择地，不得地，莫妄为[12]，□□□□□护持，保守莫失天地机。此药变化不思议，阳真沙，阴真汞[13]，□□□之莫妄动。无质生质是还丹，丸[14]汞凡沙不劳弄。若逢此诀会此言，炼之

---

① 妻：此下脱字，按文义应作“金”。
② 阳：道藏阴真君还丹歌注作“方”。
③ 成：道藏阴真君还丹歌注作“名”。
④ 两：此下脱字，道藏阴真君还丹歌注作“情含”。
⑤ 生：道藏阴真君还丹歌注此下有“出”字。
⑥ 虎：此下脱字，道藏阴真君还丹歌注作“卯为”。
⑦ 虎：此下脱字，道藏阴真君还丹歌注作“相”。
⑧ 有：此下脱字，道藏阴真君还丹歌注作“时”。
⑨ 神：道藏阴真君还丹歌注此下有“至”字。
⑩ 须□：道藏阴真君还丹歌注作“先向”。
⑪ 宫：此下脱字，道藏阴真君还丹歌注作“中求鼎”。
⑫ 为：此下脱字，道藏阴真君还丹歌注作“切须隐密审”。
⑬ 汞：此下脱字，道藏阴真君还丹歌注作“时人求”。
⑭ 丸：道藏阴真君还丹歌注作“凡”。

饵之成真仙。天地生黄牙，水精结成砂，两物同一体，出世事如麻，西方升旺气，得道在中华，若不会此语，千万徒破家。

真人金液还丹诗

勤心久慕希夷道，果遇真人指道芽，认得坎禽棲玉树，从他禽兽驾河车。虎龙交遘安神室，时曰循还作宝花，七返九回功毕后，只餐一粒向仙家。若更尘骨亦非难，金木交并理最渊，抱得金乌来北海，随将玉兔过秋天。二才有备离恩助，百日无差药力全，频服自然延甲子，任他沧海变成田。无功功里用无功，功外无功合圣功，识得坎离居上下，任从乌兔走西东。丹霜瓦砾为珍宝，老饵刀圭反幼童，此道幽微人少会，字中隐义义居中。得悟虚无信有哉，能交智识辨难猜，龙披甲木居离位，虎□□虞金隐北胎。八卦爻中分四象，九霄宫里契三台，从凡入圣皆因此，为采寒宫翠玉瑰。世人不识水中金，看尽丹经理最深，穷取坎离知否泰，方教卯酉自浮沉。□归紫府先由丙，要采琼花出在壬，诗句□□言妙诀，更于别处莫留心。祖崇阴德嗣承仙，为遇还丹力验篇，金水互并归戊己，寅申数足运时年，开炉□……□室，入腹三魂反洞天，认取诗中□隐意，莫于别处问真诠，阴采□……□合和入鼎虎龙交，龙逢虎似□当犬，虎遇龙如雀见猫，□……□灵丹善易凡夫体，鸡饵为鸾宿凤巢，□……□癸母常骑白马子，丁翁爱养黑龟儿，一千日内朝黄主，十二楼边卧紫□，莫讶此言多显焕，等闲年限有倾时，海风飘浪飒金船，只向空中悟约□□母乍逢堪眷恋，君臣才会喜团圆，八方□□龙行火，四位推排虎降泉，为报后来修道者，炼丹须是水乡铅。大药君须自琢磨，休将凡类配甘和，阴阳若不分时克，寒暑相形岂奈何？金火一炉腾紫气，玉泉千派涌如波，先肾明露丹台旨，几度灵乌宿桂柯。一片澄清一朵花，白芙蓉里紫丹砂，寰中物外应无敌，天上人间事莫加。金虎乍降潜黑彩，火龙初伏变黄牙，神明洞彻归真景，不遇奇人不得夸。查冥公主洞房间，恍惚深藏二人颜，七返炼成红玉液，九还烧就紫金丹。无为造化无为物，有理脩持有理关，日月暗符龙斗稳，好□烟□入三山。认取明明志在坚，此汀中有火铃仙，黑金炼就凝朱橘，白汞熬成逗紫烟。垆闭八关终九五，药通七返必三年，玄珠透上昆仑顶，日月循环自己天。一般名物二般稀，艮母潜成万岁基，龙迸电光丹已伏，凤盘精彩火难飞。真生赖得丁公力，不灭休劳甲子推，自固灵台何所减，月娥金殿紫裙衣。速抛尘纲勿令迟，掣电流年即可知，欲得制降金虎子，先须擒取火龙儿。丹元易象看成日，紫气盈衢待化时，大药只因心志得，不劳身外觅灵芝。六均何事与风骚，执控玄机命可逃，四一夫妻情缱眷，二三男女各勤劳。红尘自觉难拘束，紫府谁知位转高，莫讶清贫忘俗态，好将名种列仙曹。金丹一粒定长生，须得真铅炼甲庚，火取南方赤凤髓，水求北海黑龟精。鼎追四季中央合，药遣三元八卦行，斋戒与功成九转，病人入口鬼神惊。玄门帝子坐中央，得寿明长感玉皇，天下山河和雨露，神中日月混□□。坎男迥嫂金家子，离女交腾嫁水郎，真个夫妻觉守志，立交牵□……□。九曲江边坐卧看，一条长路入天端，庆云棒拥朝赤子，□□徘徊处日烟。铅汞此时为志药，坎离今日结成丹，功能济命长无老，只在人心不是难。玄门玄理又玄玄，不死根元在汞铅，知是一般真个术，调和六一也同天。玉京山下羊儿闹，金水河中石虎眠，妙要能生觉本体，勤心到处自如然。因看崔公入药错，令人心地转分明，阳龙言向离宫出，阴虎还于坎上生。二物会时为道本，五方行尽得丹名，修真上士如知此，定跨赤龙归玉京。黄牙□□两飞金，行则高歌□……□暗扶君甲乙，乾坤自与我知音，精□□□三清剑，风雨□……□琴，的当南游归甚处，莫交鹤去上天寻，龙□□□两相和，文六童男不奈何，

九盏水中煎赤子，一轮火内养黄婆，月□□觉离天纲，功满方知出□罗，半醉好吞鸾凤髓，劝君休更认弥陁，金□□□舞天堦，独自骑龙□□来，高卧白云观日窟，闲眠秋月擘天开，离□□□乾坤产，坎蕊翩翩造化栽，晚醉□□回首望，北邙山下骨皑皑，□……□同徒，丹水铅霜悟也无，鹤性自闲冲碧落，道昭因静见功夫，龙吟□□□金鼎，虎啸祥风射玉炉，□□未成终日候，已知名性列仙都，真人善会□琼花，与汞为亲合破瓜，四象足归黄世界，五方全号紫河车，能涂朽壳成坚体，善溉枯根发嫩芽，便是淮南主法度，带将鸡犬向仙家。

服食交梨火枣玉醴金浆诀

夫言交梨火枣者，在人体中，元皇上经曰：始清之下月与日，两半同升合为一，出披玉池入金室，大如弹丸黄如橘，中有佳味甜如蜜，子能得之谨勿失，审能修之天相毕。太清真诰曰：仙人许远游与王羲之书曰：交梨火枣者，是腾飞之药也。君候心未正真，秽念盈怀，恐此难致也，苟能省嗜欲，寡贪淫，道亦无私矣。为君候心中荆棘交杂，□□盈怀，故二树不见君前矣。不审君候能剪荆棘，除人我泯是□……□心中矣，则能开花结实，叶茂枝繁，餐之一枚，则运景□……□上是金丹内固，可以养精神也。仙经曰：丹砂可作金河车，可作□……□则可就，就则成真，子得其道，可以仙身。又曰：金可作□……□金不□……□徒自误。又曰：我命在我，不在于天，流珠一成亿万年也。□……□是□……□可以附形骸，内外固济则永保身命。道林经曰：玉醴□……□一曰精、二曰泪、三曰唾、四曰涕、五曰汗、六曰溺，人能□……□咽之，令人爱气生津液。□……□目有光，老□……□泉□……□为玉浆，流为华池，散为津液，□……□藏，润身流川百脉，化养万神、肢节、毛发，□……□金浆也，可以养神明也，若浸玉为醴，炼金为浆，化□……□雪气夺馨香，饮之一杯，寿与天长，此乃外□……□

真人九年炼丹诀

以冬至□……□修絜室房，周安□……□高三尺余，软枕一枚，厚二寸□……□铺设卧具以平，四□……□斋戒入室，焚香一七日，至夜乃解带面东盘坐于床之中，□……□和冥目内想一鼎器，谓之曰洞阳，金鼎可高方四寸，安玄□……□以玉衡建之，初夜指子位之中，凡眠卧其头亦随所□……□列青龙于鼎左，白虎居右，朱雀在乎上，候至三点初□……□两中指，即一心内想金器、璇玑、玉衡、青龙、白虎、朱雀、玄武，□……□集神叩齿三十二通，闭息漱咽入鼎，作一块，玉在鼎中，次以水□……□八两各为一块，并在鼎中将日月悬两乳之下，照临鼎内，常□……□威翼猛足及璇玑斡连无令差，忒然以一火四面从鼎下发之，五□……□加一铢，二月即不加，夏至日后五日减一铢，至八月即不减，自岁旦□……□百也，丹在口以外太阳浴之，逐日两浴，初一日□……□十六日初时丹只弹□……□三年外其丹如鸡卵大，即常内观丹在鼎如火光中熠熠然，见至□……□百日后忽然身体大热，遍发火疮及咽喉不利，一两月日内其三□……□下矣，忽日腑藏痛极难在，遂坐盆子连县不绝，一伏时已来，觉□……□三二升秽物，顿觉腑藏无更逼切，预先于行持处，舍东北角九步□……□坑子深尺余，将此下者阴物，是夜子时修行人自持盆子并火，将□……□覆在坑中，上用秆莫一束，草上用白布蒙之，吹火烧□……□妒我数年，今日速去，不得怀恋无更暂住，太上老君□……□摄，归步时辄不得回顾，后下九虫之日，亦依此法。其二事□……□去，冬至后更不加减火，只以旧火养之，每行持自子至卯前，□……□手盘坐，扣齿咽液至干[1]初，凡行持，只须食

(1) 干：按文义疑作“午”。

淡饧饦及饼，诸□……□根茎并水，此外不可食也，凡午初先引水之行，次引火之行，次引木之行，次引金之行，次引土之行，凡至午、子、甲、庚、申日，此日不顺行，须逆行□……□三元后逆住，当金生乎水自坎，亭亭然耸于中宫。下令花叶茂盛荫覆丹鼎，至九年功满开炉，服丹以酒一千盏吞下之，去其四兽及鼎日月，安药于下丹田，永锁元宫，当令丹照其楼殿，洞彻幽隐，成真人矣。

释氏修煉正经

肝属东方甲乙木，色青，外应目，属肝。肝有七叶，胆在左边第四叶里，号四摄丹田，日回面取甲乙木青气，以应其肝。左青龙纳在于肝，主木，木生于太乙义□……□闼相化出入为正，出阳纳阴，变青龙为太乙，以纳于肝。

心属南方丙丁火，外应舌，内含于金阙，何名金阙？横者是也。金阙则为地，遂动即言，地不动，动即不言语摄口，正面于丙丁出入居朱雀，太佛母以摄正，释义昔满想化为普满佛□……□本位居圆具足尊其色赤。

肺属西方庚辛金，外应鼻，内为舍卫国，何为□……□卫秖树给孤独□……□是为白虎，释义无量寿佛，出入回面正取气摄日以□……□其肺受□……□为金生于水、其色白以为华盖□……□

脾属中夹戊己土，外应于唇齿动静，内合于脾，令黄色，欲在脾下□……□分，脾磨即安，脾不磨即不安，摄日正面取中央黄气以应脾，释□……□得梵帝释，以纳于脾□……□

肾属北方壬癸水，外应于耳，内为在膀胱为皮，肾有二只，左为命门，右为列女，是阴阳之正位，释义号曰难胜佛，摄日正面取北方黑□……□出入纳在肾，肾属水，其色黑，又号为玄英，其肾生带体而来，透入泥丸宫，其身从无始劫，更是乾坤结得此身，人无不从水宫而长，此身有三百六十骨，八万四千毛孔，血筋脉穿透五阴山现本性，如来便是历代上祖，佛出处其带子各有名字，来去一从肾上而生，有两个带子从覆背肾上生，提带子黑绿色，象北方壬癸水，透入穿过肝，合真提带子，青色象东方甲乙木，透入中央戊己，穿过脾为二，脾内一双□……□象中央戊己土，透入西方庚辛金，透入南方丙丁火，穿过心，合真秖带子赤色，象南方丙丁火，透向上，入脑缝而来，提带子两个，一个子眼里连一个眼子一个目，童女提常在静居天中游戏。

一道神光青色，透入胆，象东方甲乙木；

一道神光赤色，透入胆，象南方丙丁火；

一道神光白色，透入胆，象西方庚辛金；

一道神光绿色，透入胆，象北方壬癸水；

一道神光黄色，透入胆，象中央戊己土；

五道神光俱透在胆坐，即如莲花起登。正是：

一二三四五，佛而种善根，一名开五眼，二名安十法身，此云是也。人这七宝之身，禀风大、气大、火大、水大是四大候，合父体母血，立得这有为之象，如家宅长之土，无无为之心性曰上尊祗，已上呼为心，又为舍卫国，亦为王舍城，亦呼为毗耶离城，毗耶离城内□……□形相维摩居士坐时四句，手执那罗涎圣印，呈自在而坐，湛然不动，是无始劫来无为之太心莲花胎，维摩居士手执波罗提木叉，常不住作外波罗木，又内作波罗木，又内外并行，修政湛然□……□上代祖佛，世呼为应，遍知是无始劫来，无为之本性莲花胎，上湛然不动者是心本性，主人老子耶，何以故，一体莲花来往者僧迦，佛维摩诘是须菩提本性一，五体佛莲花胎上不动者是佛，动是僧，不动居士，动居诘，不动主动是容何心以动，故是须菩提，不动是心性□……□息见本性，真佛法开心地法体之是也。玉不琢不成器，人不学不成道。佛者是道，鼻中元惜是道，往来透入含藏，识起著真僧外遍念，是里遍一万，是外遍一

合，真上法一合，相修里长者是也，莲花胎前有法池：

青莲池　白莲池　何得池　金砂池　功德池　八公池

池内有一真人，不住珍宝，号采果，欲来疏长池中众多无上正教法门，有广大经典说方便之事，皆不离天地、阴阳二气，禀阳而生，后代众生欲求上因果，先须认识得本宗处，分明不变化，内外了达清净法，见性不暗降伏外不起，是正教修善，本不失而明了，法相长是得道，通相用当起立佛根源，皆从实莲花而生；因天起紫□……□在北丹池中，后化作五色气莲花，因化为五藏，五藏化为五方佛，合成一佛，是而善根，后有五方：

东方，阿闷佛，得青色，青光莲花，呼在意，内纳在左肋，已朝霞，弟子得药师如来坐化城。

南方普满佛，得赤色，赤光莲花，呼在意，内应心，南方珠丹饭池，弟子得宝□……□坐化城。

西方无量寿佛，得白色，白光莲花，呼在意，内纳在右肋，西方朝食饮已，□……□得多胜如来坐化城。

北方难胜佛，得紫色，紫光莲花，呼在岩，纳在肾，北方肾紫饮已玉津，弟子得妙胜如来坐化城。

中央梵王帝释佛，得黄色，黄光莲花，都化为大宝莲花开相，纳在胆，中央黄作食莲花，弟子饮已牙津，中央戊己，仰望太山，服源气，弟子得释迦如来坐化城。

上代佛因大宝得莲花体，得西方莲花，化为五藏，是五方佛，是上代佛□……□出处，后代众生若离本元性，不得正法，无上因果不失大乘，一切学道之人，不广求真了中道事，须见最上乘本元性，即得成佛，于后不失道路，有云处通达分明后，契得了便是前程道德达也，偈曰：

朗朗照空玄　明开应道元　结定修禅定　永达大罗天　清净先明　大力智慧　万圣居降　以奉天帝

密行三千具足，如来只付有缘之人，其金轮法长天照曜三天，无量功德，用意精心并万藏，妙即是善根，故起法身流浪，若也三千密行，三千戒行，便达上代祖，佛坐位在兜率天宫，玉牌上攒名院中为家，永安居大明，般若真空勘契佛宗凭据矣。

真人灵一气诀

夫修气者，先须停除，停者一物不生，除者乃万缘俱息。初修气不得□……□啜未除，常须小食，及诸杂秽肉味种种不可食之，若见一切六畜□……□丧并病人之家不得游往，若闻秽气，即吃好酒一盏无灰者，□……□兼要于五月□……□捣□……□好香椒子于五月一□……□乾常于早朝□……□粒甚调气，此是太清食□……□寒暑不浸□……□面之时添少许绿豆粉，每斤二两已上，吃面后□……□得满□……□即方可学咽，十月内乾卦，金与水俱生之时，修习□……□足后□……□建子日，夜子时，于北辰下祷祝：愿一气归身，百□……□朝体，兼当令祭醮真一并玄都表讫，即便入静室，叩齿集神，随时家常饭一盘祭自己人神并魂魄，祭饭后，在房室想念下丹田元气一如香烟，引正舌上，嗽满口津液，叩齿，道引按摩手面，令意和平，搜气微用少力，阔开咽喉以咽入下，以心送之，以手摩令入下丹田，咽经一月，气未通流，咽经两月，气未遍体，咽经三月，气稍有征验之者，是气受形，至一百日，腹中作雷鼓鸣，是气之初象成就，若得一百日后，便学握固□……□桂天关，手把人关，脚盘地关定，从十一月子日子时坎卦水生震木，至二月内复一百日在腹中作雷鼓鸣，是震卦受水养初成，是乾坤中一生二、二生三、三生万物，受水之生也。世中无一物不是水生，二生三者生木，王正月、二月、三月，是人之气，又为火之母，养生离火。火者人

心也，离心王四月、五月、六月，太阳元气极，是木气化火成，木母养火气定，方号元火，遍烧天地，火气运遍后，金肺兑形受火之三伏，三伏日是六月内有三庚日，号三伏，是火伏炼金气，是周易天地正象。金兑虎，木震龙，号卯酉，则龙虎自界隔，卯得水生，金得土生，此号界隔，自然之道。圣人法天象地，非凡所见也。七月、八月、九月，金形方全，火气休，真气方住丹田中。每月季十八日是土气正王一十八日，以养金形兑虎，号丹房，金土之子，方得三生万物，但修气之人，不知五行八卦者，无以言道。又三月归因数是应九九之数，五日定候，十五日元，四十五日分一节，若满一年，万神俱足，须在慷恺志气守退，无退成真也。

太微灵书存神诀

太微灵书云：每月三日、十三日、二十三日夕，三魂弃身游外，摄之者，常仰眠去枕，伸足交手心上，冥目闭气三息，叩齿三通毕，存心中有赤□……□鸡子，从内出于咽中，赤气转大覆身变成火，以绕身使匝，觉□……□呼三魂名曰爽灵、胎先、幽精，即微咒曰：

□……□微玄宫，中黄始青，内练三魂，胎光安宁，神宝玉室，与我俱生，不得妄动，监者太灵，若欲飞行，唯诣上清，若有饥渴，得饮玄水玉精。又每月朔望晦，七魄流荡，交通鬼魅，制魂还魄之法，当此夕，仰眠伸足，掌心掩两耳，令指相接于项上，闭息七遍，叩齿七通，心存鼻端白气如小豆大，须臾渐大，冠身上下九重，气忽变成两青龙在两目中，白虎在两鼻孔中，朱雀在心上，云蛇在左足下，苍龟在右足下，两玉□……□当两耳门毕，咽唾七过，呼七魄名尸苟、伏矢、雀阴、□……□非毒、除秽、臭肺，即咒曰：

素气九还，制魂邪奸，天狩守门，娇女执闲，练魄和柔，与我相安，不得妄动，看察刑源，若有饥渴，听饮月黄日丹。

真人五辰行事诀

太上真人招五辰，洞房南极元君授传，每夜半坐卧，心存西方太白星□……□间上直入于一寸，玉珰紫阙，左日右月；又次有北方辰星，在帝乡□……□宫，在发际五分，直入一寸也；又次存东方岁星，在洞阙朱台，朱台□……□后直入一寸是也；又次在南方荧惑星，在玉门华房，在目眦际五分，直入五分也；又次有中央镇星，在金室长谷，长谷在人中直入二分也，并存之如缀悬于上毕，叩齿五通，咽液五遍，微咒曰：

高元紫阙，中有五神，宝耀敷辉，放光冲门，精气积生，化为老人，首巾素容，绿帔绛裙，右带流铃，左佩虎真，手把天刚，散绛飞辰，足蹑华盖，吐芒练身，三景保守，令我得真，养魂制魄，乘飚飞仙。

灵宝服五牙气诀

灵宝有服御五牙之法，五牙者，五行之生气，以配五藏。元精经云：常以立春日之鸡鸣时入室，东向九拜，平坐叩齿九通，思东方安宝华林青灵始老君九千万人，下降室内，郁郁如云之覆己形，从口中入直□……□肝府，咒曰

九气青天，元始上精，皇老尊神，衣服羽青，役中时日，欲入时，正立向日，再拜两手握固，闭霞服引木精，固养青牙，保□……□于零肝府□……□溢□……□年□……□色愿反孩婴，五气混合，天地长并，毕。

服日月五星诀

□……□文灵书有采飞根之法，常以日初□……□齿九□……□通，阴咒曰：日魂珠景照，韬绿映回霞，赤童玄炎飚，像□……□毕，冥月[1]握固，存五色流霞来接□……

① 月：按文义疑作“目”。

□身于是日□……□中□……□日华飞根玉胞水母也，向日吞霞四十五□……□又□……□液□……□上□……□灵书有□……□精法，月出西向，叩齿十通，心□……□月中日魂五夫人名字，咒曰：月□……□萧芬□……□翳寥婉虚灵兰郁华结翘淳金清荧炅容□……□字毕，瞑目握固，存月中五□……□精光俱入口中，又月光中□……□黄气大如目瞳，名曰飞黄，月华玉胞之精□……□以日初出时、日中时、日欲入时，正立向日再拜，两手握固，闭气九通，仰天吸取日光，咽之九通止，每日三时为之，无失次弟，令人长生，益精气，保魂魄也。

服月光法，与日同。令人阴气盛，妇人为之，立有娠，生子必智惠也。

春服岁星八咽、夏服荧惑星七咽、秋服太白星九咽、冬服辰星一咽、镇星四季并服，十咽之，皆令人寿考。

服龙虎气诀

凡白虎，腹中之流液，赤龙胁下之涌泉，为肺中真魄，肝中与魂，宜收入天炉间，烹炼服之，用此术者，时有二物，便鸣鼓二十一通，缓□……□熟，分之为三，每一分必仰白虎头以面向日，引日之精气，二道色若□……□以入二穴，置之天炉，光明照耀状如鸡子，与前所分一分咽之，直至鼎□……□乃止，又如前法共三，然后虚鼓一咽，送之都入鼎中，即以意神运行，□……□腰凡三向下入三以至丹田，穿尾间过三腧中，想入□丹田，随天三转□……□自顶下至炉中，再咽一咽□至丹田乃止，昼即顶间养之，夜即归灶中，数法周天。

行周天离坎诀

大氐神仙之要，莫大乎存想。夫存谓存我之神，想谓想我之身，闭目即见自己之目，收心即见自己之心，心与目皆不离我身，不伤我神，则存想之渐也。凡人目终日视他人，故心亦逐外走，终日接他事，故目亦逐外瞻，营营浮光，未尝复照，奈何不病且夭耶。是以归根于静静日复，命成性存，存众妙之门，此存想之渐，学道之功半矣。以每日子时恣眠，散发宽衣，展手纵足，卷舌支腰，以阳接阴，徐引缓进，起□……□之初□……□应坤之初六，始复与妬，周而复始，然必自丹田夹脐绕之。凡三以升□……□自下登□……□令满上丹田，后下下丹田，以散入四支，与荣卫并行，无使流滞，是谓离坎之法，其交以诚不以思。

养 性 门二

修 真 秘 诀二

真人调气诀

凡调气，皆从夜半至日中为生气，可服之；从日中至夜半皆死气，不可服之。其法：正仰卧，徐徐漱咽澧泉，澧泉者，口中津液，而咽之。口但吐气，鼻但内气，徐徐缩鼻引之，莫令太极，极满则难还，数至五息，可[1]□也，息至九十息，乃可频伸，讫，复更为之，满四九，每日吐气，辄一咽之，乃鼻内气。凡内气则气上，吐气则气下，自当觉也。行气常以月一日尽，十五日念气从手十指端出，十六日尽，三十日念气从足十指端出，久久自觉手足气通，即能闭气不息，灵龟所以千岁不食者，为其鼻息也。胎息者，如婴儿在母胎中气息自在也。上至气关，下至气海，不假口鼻之气也，故能入深泉，旬日不出也。仙经曰：真人之息，息之以踵；凡人之息，息之以喉。故气在下焦，其息远，气在上焦，其息促。凡人身中有四海，一曰气海，二曰血海，三曰水海，四曰谷海。虽有四海，皆从一气而生者也。

肺藏修养法

常以七月八月九月，月朔望旭旦，西面坐，鸣天鼓七，饮玉浆三，然后瞑目正心，思兑宫白气入口，七吞之，闭气七十息，则重神强体，百邪莫向之，兵刃所不能害，延年益寿，名飞仙籍。盖所补泻气，安息灵魄之所致哉！

心藏修养法

常以四月五月，弦朔清旦，面南端坐，叩金梁九，漱玄泉三，净思注想，吸离宫赤色气入口，三吞之，闭气三十息，以呼之，填其虚府心穴，饵火离，濯玉女，神平体安，众妖莫之害，金火不能损，神之至灵也。

肝藏修养法

常以正月二月三月，朔旦，东面平坐，叩齿三通，闭气九十息，吸[2]□□□气入口，九吞之，以补虚损，享青龙之祀[3]，以致二童之馔，木精乘[4]□□药多欢少忧，养精之妙也。

脾藏修养法

常以季夏之月朔旦，并四季之末十八日旭旦，正坐中宫，禁气五息，鸣天鼓十二通，吸坤宫之黄气，入口十二咽之，以补呼损之[5]；以饮玉女之体[6]，以致神风[7]之味，以补于脾，以佐神气也。则入山不畏虎狼，登崄不惧颠厥者，行气禁气之精也。

肾藏修养法

常以十月十一月十二月，西北面平坐，鸣金梁七[8]，饮玉泉三，北吸玄宫黑色气入

---

1 可：此下脱字，道藏修真十书作“混”。

2 吸：此下脱字，道藏修真十书黄庭内景五脏六腑图作“震宫青”。

3 祀：道藏修真十书黄庭内景五脏六腑图作“脊”。

4 乘：此下脱字，道藏修真十书黄庭内景五脏六腑图作“土则”。

5 损之：道藏修真十书黄庭内景五脏六腑图作“之损”。

6 女之体：道藏修真十书黄庭内景五脏六腑图作“液醴”。

7 风：道藏修真十书黄庭内景五脏六腑图作“凤”。

8 七：道藏修真十书黄庭内景五脏六腑图作“十”。

口，五吞之，以补吹损之，味白鹿之词[1]，设玉童之馔，裨益肾气，神和体安，则群妖莫之害也，则致长生。

胆藏修养法

常以冬之三月，端居净思，北吸玄官之黑气入口，三吞之，以补嘻[2]□□，以尽益胆之津，以食龟蛇之味，饮玉童之浆，然后神冲体和，众邪不能犯，群盗莫之向，胆气所致也。

五藏形色神名

肺神浩华，字虚成，形长八寸，素锦衣裳，黄云之带，状如华盖覆磬，其色红白。

心神丹元，字守灵，形长九寸，丹锦飞裳，状如未开垂莲，其色赤。

肝神龙烟，字含明，形长七寸，青锦衣凤玉铃，状如悬匏，其色青紫。

肾神玄冥，字育婴，形长三寸六分，苍锦之衣，状如圆石，其色黑。

脾神常存，字魂庭，形长七寸六分，黄锦之衣，状如覆盆，其色黄。

胆神龙曜，字威明，形长三寸六分，九色锦衣绿华裙，状如悬匏，其色青。

六　府

六府真神，处五藏之内，形如婴儿，色如华童，存之审正，罗列形状，如毕，叩齿咽气，乃咒曰：五脏六府，真神附归，总御绛宫，上下相随，金房赤子，对处四扉，幽房玄开，神堂枢机，阴阳混化，生神紫微。

神仙杂术

夫注心访真求道之人，则能回西榆之年，还发童颜矣。纵令牙凋面皱，素发垂头，我道能变之，使若婴儿，但问志之何如，老少之学，固无限矣。夫求道要须元令目门耳聪为主也，耳目是寻真之梯级，徐灵之门户，得失系之。道林曰：常以手按两眉后小空[3]中三九过，又以手心及指摩两目下观[4]上，以手提[5]耳四十过，摩令微热无时节也[6]，辄以手逆乘额三九过，从眉中始，及上行入发际中，以口咽唾无数也，如此当[7]行，目即[8]清明，一年可夜书[9]，人间密为之，勿说其状。眉后小空[10]中，为上六元[11]合之府，主化[12]眼晖，和莹睛[13]光，长珠彻瞳，保炼目神，是真人坐起之[14]道。谚曰：子欲夜书，当修帝[15]居，目下观[16]上，是决明[17]归婴之道，以手族耳[18]，明映之术也。夫人之将老，鲜不先始于耳目，又老形之兆，亦发始于耳目[19]左右也。

以手按额上，内存赤子，日月双明，上元欢喜，三元始清[20]，数毕乃止，此谓手朝三元，固脑坚发之道也。头四面以两手乘之，顺发就结唯[21]多也，于是头血流散，风湿不凝，都毕，以手按两目四眦二九，觉眼[22]光分明，是存[23]眼神之道也。久能为之，得见百灵也，勤而行之、使手离面乃佳。此道出太上宝神经中。

夜卧觉，常叩齿九通，咽唾九过，以手

---

[1] 词：道藏修真十书黄庭内景五脏六腑图作“饲”。

[2] 嘻：此下脱字，道藏修真十书黄庭内景五脏六腑图作“之损”。

[3] 空：道藏上清太极真人神仙经作“穴”。

[4] 观：道藏上清太极真人神仙经作“颧”。

[5] 提：道藏上清太极真人神仙经作“拽”。

[6] 也：道藏上清太极真人神仙经此下有“毕”字。

[7] 当：道藏上清太极真人神仙经作“常”。

[8] 即：道藏上清太极真人神仙经作“日”。

[9] 书：道藏上清太极真人神仙经此下有“亦可于”三字。

[10] 空：道藏上清太极真人神仙经作“穴”。

[11] 六元：道藏上清太极真人神仙经作“元六”。

[12] 化：道藏上清太极真人神仙经此下有“生”字。

[13] 睛：道藏上清太极真人神仙经作“精”。

[14] 之：道藏上清太极真人神仙经此下有“上”字。

[15] 帝：道藏上清太极真人神仙经作“常”。

[16] 观：道藏上清太极真人神仙经作“颧”。

[17] 明：道藏上清太极真人神仙经此下有“保室”二字。

[18] 族耳：道藏上清太极真人神仙经作“攒耳”，此下并有“行者深”三字。

[19] 耳目：道藏上清太极真人神仙经作“目际之”。

[20] 清：道藏上清太极真人神仙经作“眉”。

[21] 唯：道藏上清太极真人神仙经此下有“令”字。

[22] 眼：道藏上清太极真人神仙经作“见”。

[23] 存：道藏上清太极真人神仙经作“验”。

按鼻之左右上下数十过也[1]。□□楚庄王时，市长宋来子常洒扫一市，有一乞食公入市经日乞食[2]，□□：天庭发双华，山源鄣阴邪，清晨按天马，来诣太真家。一市人无□□独来子，忽悟，疑是仙人，遂弃官从之。十三年，公遂授中仙之术，来□□在中岳，此歌亦如前术也。

仙经秘要：常存心中有气，大如鸡子，内赤外黄，既辟众邪，又令人延年益寿，能卧起不忘，则久成真矣。经曰：常存心为炎火，如斗煌煌[3]，□百邪不敢干之，可以入瘟疫中。

仙经曰：若目瞤耳鸣，心动面热，意中阴忧者，必有忧患，当窃呼曰：司命通天真人，续某一命，以金绳使某一千秋无穷，三咒止。

每朝早起，啄齿并漱口，唾满口咽之，缩鼻闭气，以右手从头上引左耳二七，复以左手从头上引右耳二七，令人耳聪延年。

道林曰：人能常食玉泉，令人长年面有光色。玉泉者，口中唾也。鸡鸣时、及早、朝、日出时、隅中时、日中时、晡时、黄昏时、夜半，一旦夕凡九食之，每一食，漱口咽之。

仙经曰：暮卧常存赤气在外，白气在内，以覆身，辟众邪百鬼。

仙经曰：分形之道，常念如己身者，七人带剑持斧行在前，止在后，坐在左，卧在右，形状面貌皆如己也。常念不忘，不过百日当见，经年可使□日魂神，魂神能立置行厨次，心意所为，可以留魂为己，而己身登仙也。

道林曰：常以鸡鸣时，心净存诵四名神名三通，辟百鬼，令人无病，又□瘟病，复去火灾，甚效。东海神名阿明，南海神名祝食，西海神名臣乘，北海神名□□，常以鸡鸣时，念目中各有一人，长三寸，背黑衣而立，名为通眼，字玄□，一名复成，令人见万里外事，当敬而念之。

仙经曰：诸月十五晦日，当还神法，先以意言，神乎神乎，因左手抚心乳，复言神乎神乎，居我之宫，入我之殿，从我而处，与我而处，与我言语，无复离已，黄气守汝，朱成神也，煦呵煦呼。凡三言之，则神常守形，百邪众病，不得入也。

仙经曰：常以月晦日，人定时，北首卧，以左手抚心上，言曰：五藏之君，道德七神，日君月夫人皆共守真人，某甲之身。男一七，女二七咒之，令人延年益寿。

道林曰：暮卧常以手抚心上，咒曰：天灵节荣，愿得长生，五藏君候，愿且安宁。男一七，女二七，令人长生不病。

仙经曰：常以夏至之夕，竟夕勿睡，以到夏至之朝，前后各一夕，令人延年益寿。

道林曰：晦日不歌，朔日不笑，大小便时，不得仰视日月星晨，及向[4]□北，此可终身忌之，不欲奔车走马，又勿越井跨灶，勿越火越人及越饮食上，令人不吉利，不欲高枕远唾，眠中引扇，坐湿当风，霜卧星下。仙经曰：当风卧湿，谢罪于神灵；饮食过度，尤责于族鬼，而不知所犯者人也。

饮食相妨

夫毒缓者，积而为疹，猛急者灾患暴至；饮酒啖枣，令人心闷，此其验也。酒者，五谷之津液，米曲之华英，亦能益人，亦能损人。何者？酒有大毒大热。大寒凝海，唯酒不冰，其至热也；饮之昏乱，易人本性，其至毒也。若[5]□风寒，宣血脉，消邪气，引药势，不过于酒也；若醉饮过度，盆倾升旦[6]，□□气攻心，穿肠腐胁，神昏错谬，目不辨物，此则丧生之源也。夏至后，秋分

① 也：此下脱字，疑作“昔在”。
② 食：此下脱字，疑作“歌曰”。
③ 煌：此下脱字，养性延命录引仙经秘要作“则”。
④ 向：此下脱字，备急千金要方卷二十七黄帝杂忌有“勿向西北大小便”句，据此疑作“西”。
⑤ 若：此下脱字，按文义疑作“祛”。
⑥ 旦：此下脱字，按上文“酒有大毒大热”句，疑作“热毒”或“酒毒”。

前，节食油脓肥腻之属，此物与酒水瓜果特不相宜，当时虽不病人，入秋多作痢疾也。由于夏月取冷，饮食不节所致也。世人以得病之日为始也，病气绝之日为丧身，而不知其来者渐矣。仙经曰：一日之忌，暮无食饱，一月之忌，暮不远行，终身之忌，暮常护气。

四　伤

酸伤筋，醋伤骨，饱伤肺，饿伤气。

五　谷

粳米甘，麻味酸，大豆咸，小麦苦，黄黍苦[1]。

五　果

枣肉甘，李肉酸，栗味咸，杏子苦，桃乃辛。

五　畜

牛肉甘，犬肉酸，猪肉咸，羊肉苦，鸡肉辛。

五　菜

葵菜甘，韭菜酸，薤菜苦，藿菜咸，葱菜辛。

五　色

黄色宜甘，青色宜酸，黑色宜咸，赤色宜苦，白色宜辛。

五病相宜

脾病宜食粳米及葵，心病宜食大[2]麦、羊肉、杏及薤，肾病宜食大豆、猪肉及栗子、藿菜等，肝病宜食油麻、犬肉、李、韭，肺病宜食鸡肉、桃、黄黍。

五味所入各有所走也

酸走筋，多食令人啾漱；咸走血，多食令人渴；辛走气，多食令人[3]□□；苦走骨，多食令人变呕；甘走皮，多食令人痒。

五　气　并

气并肝则忧，并心则喜，并肺则悲，并肺[4]则恐，并脾则畏[5]。

五　恶

肝恶风，心恶热，肺恶寒，脾恶湿，肾恶惨[6]。

五　贼

病在筋，无食酸；病在气，无食辛；病在骨，无食咸；病在血，无食苦；病在皮，无食甘。

房中补益

素女曰：交接之事，既闻之矣，敢问服食药物，何者易得而有效？彭祖曰：使丁壮不老，房室不劳损，气力颜色不衰者，莫过麋角也[7]。□□角括之为末，十两，用生附子一枚合之，服方寸匕，日三服，大良。亦[8]□□麋角令微黄，单服之，亦令人不老，然迟缓不及附子者，服之二十日，大□□又湿治不生也。彭祖曰：当以夜半之后生气时，数数咽唾，兼饮玉浆[9]，□□气以心中数数，令耳不容闻，恐有误乱，兼以手下筹，能至千则去[10]□不远矣。人但闭气，习交接之时，恒以鼻多内气，微吐气，则自然益也。夫人虽服大药，呼吸道引，备修方法，而不知命

1　苦：据素问·藏气法时论“黄黍鸡肉桃葱皆辛”句，应作“辛”。

2　大：按上文“五谷”中“小麦味苦”、苦入心，应作“小”。

3　人：此下脱字，本草纲目五味宜忌五走条作“洞心”。

4　肺：按文义应作“肾”。

5　畏：按文义疑作“思”。

6　惨：素问宣明五气篇作“燥”。

7　也：此下脱字，按文义疑作“取麋”。

8　亦：此下脱字，按文义疑作“可炙”。

9　浆：此下脱字，疑作“数咽”。

10　去：此下脱字，备急千金要方卷二十七养性调气法作“仙”。

之根本者，皆非道。□大[1]一阴一阳之谓道。仙经曰：阴阳之道，精髓为宝，谨而守之后天。又曰：子欲长生，当由自生。又曰：以金理金，是曰真金，以人理人，是曰真人，房中之专，能杀人，能生人，故知能用者，可以养生，不能用者，立可致死。仙经曰：我命在我，不在天也，保精爱气，寿无穷也。愚人不知此为生命之本，但恣极情，不自保惜，故有虚损疲羸不堪，诸疾竞起[2]，□如狂风吹林，枯枝先折，高垄坠碗，脆者先破，野火烧山，毁草先燔[3]，□崩之岸，遇水先颓，精竭之人，遇疾先死，若不知服药，但解房中之术[4]，□□爱气，尚得二百余岁，况兼服药乎？黄帝容成巫咸彭祖[5]□：房中之术，诸家之要以相传，在于秘诀，不在多也。彭祖曰：男子不欲无女，女子不欲无男，若强而闭之，则意动情逸，神扰心乱，难持易失，梦与神交，精流自出，意未感动，阳道先屈。夫御女神道，徐徐按之，前虚后实，闭气缓息，瞑目周密，务令疏迟，不用速疾，情动而止，握固守一，精气周身，其道将毕，然后偃卧导引，寻更别御他女，每事可易一人，若固御一女，则阴气转微，为益亦少，故阳道法火，阴家法水，水能制火，阴亦消阳，阳气转微，精魂衰弱，故精少则身病，精竭身死。昔有采女二百余岁，殷君奉事，令问彭祖，采女曰：夫人交接，泄精为乐，今闭而不[6]□□，何为乐乎？彭祖曰：夫泄精则令人体倦，耳鸣目涩，口乾唾粘，骨节解[7]□，□手无力，虽复暂畅，不能为乐；若动而不泄，则气力有余，骨节轻便爽逸，虽复轻歇，思情更深，何以不为长乐乎？若御十二女之后，则阳道转坚，其热如火，日可御百女矣。夫交接在于从容，以和为贵，玩其丹田，取其口实，深按小摇，以致其气，女子感阳，亦有其候，其耳正赤，如饮醇酒，其乳暖起，握之满手，颈须数动，脚手屡摇，当此之时，小缩浅之[8]，□气于阴，有补于阳。凡御女之道，不必皆须容色妍丽，但欲年少未乳者，肤肉软滑，细发小眼，音声和畅，四肢关节皆欲肉多，眼睛黑白[9]□明，其阴腋下，不欲有毛，纵有细软者次也。恶女之相，蓬头蝇面，长项结喉，麦齿雄声，大口高鼻，目睛浑浊，口颔有毛，骨节高大，发黄肉少，阴毛粗大，又多逆生，与之交合，非但无益，皆贼命损人也。夫御女临施精时闭口，人张目，握两手，左右上下视，缩鼻取气，又缩下部，吸腹，小□□济则精上补脑[10]，使人长生，纵有出者，但清汁耳。令人不老，最秘□□道交接精大动，急欲出，以左手中央两指，抑阴囊后大脉，□□气，并啄齿十遍，便施其精终不□出，□□□中也，□□□相传。广成子曰：无劳汝形，无摇汝精，少思寡欲，可以长生，阴后□□前，即尾闾之穴，人□为此法，皆腰重脚弱，当有要术，不在此耳。故娄先生诗曰：不用学御房，御房别有方，存身偻脊膂，急手按精堂，大□□失位，面色渐痿黄，本欲求长生，中道成夭亡。又有服龙骨、矾石、紫□龙牙、定风草之类，虽有欲速之功，为害岂小，盖非久长之术，学者宜精思之。凡小浴，用蛇床子、母砺末，与椒葱作汤，益人，男女同。凡疮用甘草、黄柏作汤浴良，常用蛇床、紫稍花、峡椒、山茱萸、煮绵帛作囊，不侵冷气，极佳。

道经云：六十闭户者，言人疏于字性，已损于朱萌，以此成之，犹多病患，况夫世人不能畜养元和之气，保惜形容，妄服丹砂，

---

1 □大：按文义疑作“易曰”。

2 起：此下脱字，按文义疑作“犹”。

3 燔：此下脱字，按文义疑作“易”。

4 术：此下脱字，据上文“保精爱气”句，应作“保精”。

5 祖：此下脱字，按文义应作“曰”。

6 不：此下脱字，按文义应作“泄精”。

7 解：此下脱字，按文义疑作“惰、掘”。

8 之：此下脱字，按文义疑作“得”。

9 白：此下脱字，备急千金要方卷二十七养性房中补益作“分”。

10 又缩下部，吸腹，小□□济则精上补脑：备急千金要方卷二十七养性房中补益有“又缩下部及吸腹，小偃脊膂，急以左手中两指抑屏翳穴，长吐气并琢齿千遍，则精上补脑”句，可资参证。

恣助情欲，神魂不附身，茫茫兀兀，精魄俱丧，空然质扑，以示外观，旨趣部忘，身□□疾，求起不得，枕席是依，劳历妻奴，绵缀岁序，良由不知道性，贫徇庸情而已。观夫世人，母存者不啻十八九，父存者不过十一二，以此准之，则人多嗜欲，或危性命，诚可悲矣！

真人行运诀

晨坐盘足，握固，令上行，夹篑至顶，以左手左捏鼻咽之，右亦如之，是谓行运之法。其要以下不以上。

保精神论

精者，神之本；气者，神之主；形者，气之宅。故神大用则歇，精大用则竭，气大劳则绝。是以人之生者，神也；形之托者，气也。若气衰则神耗，而欲长生者，未之闻也。夫有者因无而生焉，形须神而立焉，有者无之。营[1]形者，神之宅也，莫不全宅以安主，修身以养神，则不免气散归空，游魂为变，方之于烛，烛靡则火不居矣；譬之于堤，堤坏则水不存矣。身劳则神散，气竭则命终，根[2]□□繁，蝎繁则青去，青去则木朽矣。形疲则神毙，精毙则精灵逝矣。逝者无返期，既朽无生理。故神者魂也，降[3]□于天；魄者鬼也，继之于地。是以神能服气，形能食味，气清则神爽，形劳则气浊。服气者，千百不死，故身飞于天；食谷者，千百皆死，故形归于地。人之死也，魂飞于天，魄落于泉，水火分解，各归本源。生则同体，死则[4]□悬。飞沉各别，禀之自然，何者？譬如一条之木，以火焚之，烟则上升，灰则下沉，亦自然之理也。夫神明者，生化之主，精气者万气之体，全[5]□形则生，养其精气则性命长存矣。大清真诰曰：眼者身之镜，耳者体之牖；视多则镜昏，听众则窗塞。我有磨镜之方，决牖之术，则能[6]□视万灵，彻听群响矣。面者神之庭，发者脑之华，心忧则而[7]戚，脑[8]□□华白，所以精光外丧，丹津内竭。我有童颜之方，还白之法，精者□之神，明者身之宝，劳多则精散，膏竭则明销，所以老随气落，精□□。我有益精之道，延年之法。妙真经曰：人常失道，非道失人，人常去生，非[9]□□人。养神者慎勿失道，为道者慎勿失生，使道与生相守，神与生[10]□□，则形神俱久。玄示经曰：天地施化与[11]□物无穷，人道施化形神俱□□□神施精，精竭则衰，形本生精，精生于神。人不以精施，故能与天合德，不与神化，故能与道同域。大有经曰：或人问曰，始同赴[12]于无物，俱受气于阴阳，载形魄于天地，资生长于食息，其中有愚有智，有强有弱，有寿有夭，夭耶人耶？答曰：形生愚智，天也，强弱夭寿，人也，天道自然，人道自己。本受胎气充实，生而乳哺有余[13]，长而滋味不足[14]，壮而声色有节，则强而寿；本受胎气[15]耗，生而乳哺不足，长而滋味有余[16]，壮而声色自纵，则弱而夭。若受气本厚，加之摄养，则年寿永矣。

卧起早晚法

夫春三月，天地发生，万物发荣，夜卧早起，广步于庭，被发缓形，志气和平，生而勿杀，与而勿夺，赏而勿罚也，乃生气之

---

1 营：医心方卷二十七谷神第二作“宫”。
2 根：此下脱字，医心方卷二十七谷神第二作“拔蝎”。
3 降：此下脱字，按文义应作“之”。
4 则：此下脱字，按文义疑作“异”。
5 全：此下脱字，按文义疑作“其”。
6 能：此下脱字，按文义疑作“广”。
7 而：按文义疑作“面”。
8 脑：此下脱字，按增补遵生八笺。清修妙论引续博物志有“脑减则发素”句，据此疑作“减则”。
9 非：此下脱字，按文义疑作“生去”。
10 生：此下脱字，按文义疑作“相保”。
11 与：此下脱字，按文义疑作“万”。
12 赴：按文义疑作“起”。
13 余：增补遵生八笺。清修妙论引大有经作“方”。
14 足：增补遵生八笺。清修妙论引大有经作“偏”。
15 气：增补遵生八笺。清修妙论引大有经此下有“虚”字。
16 有余：增补遵生八笺。清修妙论引大有经作“过多”。

应也。逆之则伤脾[1]，夏多增寒。

夏三月，天地气交，万物英实，夜卧早起，无压[2]于日，使志无怒，令气得出，养生之道，先迟后疾。逆之则伤心，秋多寒栗。

秋三月，草木黄落，早起早卧，与鸡俱兴，为无前却，使志安宁，形体缓弱，收敛神气，无令乖错，外邪不干，内疾销铄。逆之伤肺，春[3]。

冬三月，万物闭藏，纯阴绝阳，早卧晚起，必待日光，霜霰未解，不可以当，去寒就温，饮酒食姜。逆之不理，肾必内伤，夏冲炎毒，头面生疮。

真人养生铭

人欲劳于形，百病不能成，饮酒勿大醉，诸疾自不生。食了行百步，数以手摩肚。寅丑日剪甲，头发梳百度。饱即立小便，饥即坐旋溺。行处勿当风，居止无小隙。常夜濯足卧，饱食终无益。思虑最伤神，喜怒最伤气。每去鼻中毛，常习不唾地。平明欲起时，下床先左脚。一日无灾殃，去邪兼辟恶。如能七星步，令人长寿乐。酸味伤于筋，苦味伤于骨，甘即不益肉，辛多败正气，咸多促人寿，不得遍耽嗜。春夏少施泄，秋冬固阳事，独卧是守真，慎静最为黄[4]。钱财生有分，知足将为利，强知是大患，少欲终无累。神静自常安，修道宜终始。书之壁屋中，将以传君子。

服饵论

服饵诸方药者，服草木胜金石。然金石功速而易为疾，性或大温大热，府胃难久制也。凡服饵勿犯欲皆成功，若一欲皆损药力。不惟如是，兼元阳虚，则自发药毒以致疾耳。近观服杏仁者，往往二三年或泻或脐中出物，皆不可治；服楮实者，辄为骨软疾；服钟乳、阳起石，硫黄、丹砂、雄黄、附子、乌头之类，多为虚阳发热作疾；大黄、皂角、牵牛、巴豆、水银、大戟、甘遂之类，或能治风疗积，皆不可多食，为羸备疾，此等虽群药中用，尤不可常服，疗病可耳。常服宜温平补益，日久而见功者皆良。服药当勿食药所畏忌者，及不淘米葵菜莼芋滑物，去药势也。疾有坚癖、风聚、气结，在腠理或皮肤，皆可针，分寸如法。腹胁胸背，近肠胃藏腑，非上医者当慎之。凡头目手足，胸前鸠尾诸穴不可灸，有疾勿过七壮，灸之损神，足昏忘，少智惠。背勿过二七至三七；脐腹在三十已下，勿过齿年之数，三十以上，少过之，六十以上，惟多不害。盖气壮者多灸皆侵夺真气，无阳之疾乃可耳。凡针灸当慎欲至疾愈，不然无效矣。针灸自有术，此不载。服饵并应急济用诸方如左。

总　论

颖阳子曰：道家书凡数十万言，其旨盖亦数千，世之学者，望其书之高博，探渊密者谁何，其流之所传者，唯奇论秘诀歌诗，亦几数千百本，祖之不同，人为异习，己之所是，未必不非，己之所非，未必不是。然或出于山岩江海之士，或取之贫贱佣保之人，此皆得所谓神仙真人之旨。盖尊生之说，通物之变，世人竞相宝秘，以为性命之书。其小者，隐括嗜欲，检押情性，安养神气，完固形体，使饥渴寒暑疵疠，不可以外侵；而大者，存守三一，息气育胎，九还七返，内炼金液，遂能长年，与天相毕。此虽大小之殊，是皆修炼久视之道。吾集此书，悉备之矣。如其匪人，未尝妄传，岂私于人哉！惟得之者，慎重之而已。今人或籍权豪而访求，或驰势利而相授，取之口耳，守以皮肤，便为得术，或不禁贪欲，汩于情爱，虽曰□得，未必成功。近观庸俗，甘闻轩辕、容成、彭祖、左慈，善为采补，往往悉学固闭之下术，

---

1) 脾：素问四气调神大论作“肝”。
2) 压：素问四气调神大论作“厌”。
3) 春：素问四气调神大论作“冬为飧泄”。
4) 黄：道藏保生铭作“贵”。

以为有益，泥丸而不知方，其造意之初，元气已离正位，纵能不施，皆在腰股肓肾之间，久为重腿衰备之疾。又若志服三黄、钟乳、阳起石、补骨脂、桂附之类，此等善发虚阳，非完正气，服之兼剂，未尝清慎，药□壮气，气逸而乱，情势使然也。久则为隔热发背，风缓消中之疾。复有与下虚者，然之以艾虽可助气，而多灸则侵夺真阳。故药之与灸，□□□撑形骸，以纵所欲，取诀一时，而不知真元既失其主，虚阳尚以客存。□治情于未然之前，则服饵砭灸，易为于必然之效。夫学道之士，当力□□，勿令失真，废坠前功，方情欲未除时，有难制则自从要术，无害于道。经曰：方寸之中谨盖藏，不圆不方闭牖窗，此之谓矣。枸杞、天门冬、黄菁、地药、参术、地黄、茯苓，诸草木之精粹，犹此名者，皆可作汤若丸，以为饮食起居之助，盖有补云。至于呼吸外气，妄想变怪，勤劳岩谷，甘分饥渴，驰骋名利，忧戚胜负，以贼其情性腑藏者，非道之正也。老子曰：上士闻道，勤而行之，下士闻道大笑之；行之者以是夫，而笑之者以是夫。

宝丹要诀

一阴一阳，两物俱黄，三五与一，还丹之基，三性和同，天地之精，五行之始鼎也，自相制伏，更无他物。故曰：阳中阴，阴中阳，玄中玄，名曰玄武石。故曰转水于金，金生于土，众妙之门，此生金之土也。后圣人用火爻，一月三十日，计三百六十时，象一周年一年十二月，计四千三百二十时，促限计四千三百二十年，气候合天符自然。还丹亦名朱丹，金水龙虎，五行合体，归一无二、初三个月，日运火，计一千八十时，表一千八十年，在五年土母中，制伏一气，刻凝袖滴雪，须令金体重初元，如人产男女，感精气成形，父母亦然，运动交媾，在五五者，戊己中宫土也，其宝天地之至精，五行之始，包金孕育，感其精气，得土而生化为丹砂。西升经云：丹砂须感和气，饵之长生。诀云：生成于母，母者土也，感精气变化成形，结状成砂，始名朱雀，二十二石中最尊，莫过于此。汞感于二十四气，通于二十四名，运转变化成丹。诀云：金孕水安，水必存于金，木孕火制，火必假于木，所以铅水制汞水，铅火制汞火，水合其性，火合其形。诀云：铅水是砂中自生者汞也，水者是砂中抽出之液，主阴汞是也。然则铅水制汞水，铅火制汞火，世人多不晓，故名铅汞。道修丹诀云：三年计三十六个月，计一万九百六十时，大小月归于实数也，一气不足，与瓦砾无殊，万物通灵，神明自契，土阴符，戊己中宫也，名五符，一云名五气金鼎，五气制伏不飞，能生五彩，饵之长生。诀云：戊己黄金母，母数五，五者是用土为鼎，号为金鼎，能生万物，金是土生，故云金父，父本土，故曰土父，父曰水母，以土为鬼，镇水不能，戊己之力也，三性会合，玄之又玄，删纂上。

古仙禁法

正月平旦未日　二月亥日　三月卯日　四月未日　五月亥日　六月卯日　七月未日　八月亥日　九月卯日　十月未日　十一月亥日　十二月卯日

寅、申、巳、亥时一十二刻四孟时　辰、戌、丑、未时七刻四季时　子、午、卯、酉时六刻四仲时。

又忌年月大凶

辰年三月辰日是也，又忌月中八日、九日、二十日、二十二日。

又雷三霹雳大忌

日蚀月蚀、岁秽，修事大忌。

辰年上辰日，是如犯之，至辰年辰日，三月未日，害目双盲　又大岁在卯，其辰见申，他为绝道，秽不用，犯丧身　又春丁卯夏甲午　秋庚申　冬壬癸

又六丁日大忌亦不可述小小修亦不得

又雷大鸣后，十日不修药丹，化为飞失。

修丹诀曰：计一万二千九百六十时，大小月并归实数也。又一气有失，与瓦砾无殊，万象通灵，神明自契。又土阴符戊己中宫五符，一云五气金鼎。又诀曰：五气制伏，不飞能生，五彩返归其母，饵之长生。

作炉忌日

春卯为九龙，损身。夏子为长龙，流血，作之者死，秋酉为丘符恶会日，作灶大凶。冬寅不可作之，作之杀身，伏之杀人。

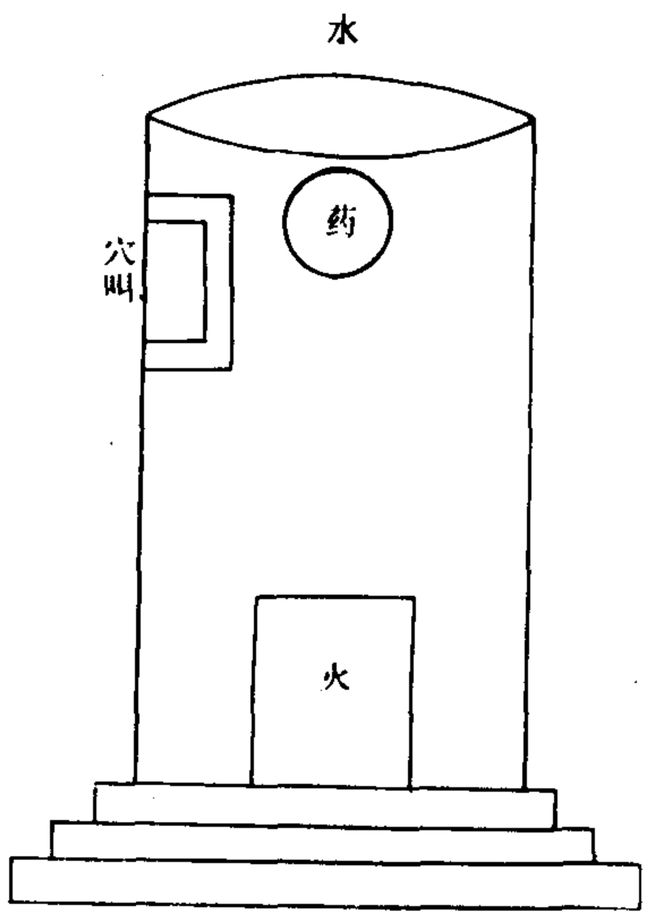
一九龙一会相可有如人通仙之分日

甲子　甲辰　乙巳　庚申　辛酉　丙午　丁巳　戊申　己酉，已上是九属日，可作之，即火上通丹灵之门，如非九属日，并不作之。

泥炉样度

炉身长二尺寸，阔一尺六寸，厚三分，明堂中阔一尺，炉中有隔，去朱雀九寸，隔中安鼎，上贮水器，下用火，前门阔四寸，高五寸，后作窃池，火气起，火子便是一阳发生。

立冬节斗指亥　小雪中斗指壬　大雪节斗指子　冬至中斗指癸　小寒中斗指丑　大寒节斗指寅　立春节斗指寅　雨水中斗指甲　惊蛰节斗指卯　春分节斗指乙　清明节斗指辰　榖雨中斗指维　立夏节斗指巳　小满节



斗指丙　芒种节斗指午　夏至中斗指丁　小暑节斗指未　大暑中斗指维　立秋节斗指申　处暑中斗指庚　白露节斗指酉　秋分中斗指辛　寒露节斗指戌　降霜中斗指维

初下手起火口诀

便是大雪节，至驾[1]蛰节已前，都计九十时，后二日半三十时，是二月节，一时表一日，忌卯酉二月不起火，但依爻下火起首，又数记取一百五十时，后值八月节，依前停二日半三十时，火但终而复始，认记取一百五十时，后放却二日半三十时，皆值卯酉，此两节犯祖，切忌不加火也。又起火法：五日六十时，一爻占一十时，二日半三十时，一月日共计三百六十时，表三百六十日，一月日表一年。

初一爻一两　二爻二两　三爻三两　四爻四两　五爻二两　六爻一两

一爻二两　二爻四两　三爻四两　四爻四两　五爻三两　六爻二两

一爻三两　二爻四两　三爻五两　四爻五两　五爻四两　六爻三两

一爻四两　二爻五两　三爻六两　四爻

1　驾：按文义应作“惊”。

六两　五爻五两　六爻四两

一爻五两　二爻六两　三爻七两　四爻七两　五爻六两　六爻五两

一爻六两　二爻七两　三爻八两　五爻七两　六爻六两　一月终

一爻二两　二爻三两　三爻四两　四爻四两　五爻三两　六爻二两

一爻三两　二爻四两　三爻五两　四爻五两　五爻四两　六爻三两

一爻四两　二爻五两　三爻六两　四爻六两　五爻五两　六爻四两

一爻五两　二爻六两　三爻七两　四爻七两　五爻六两　六爻五两

一爻六两　二爻七两　三爻八两　四爻八两　五爻七两　六爻六两

一爻七两　二爻八两　三爻九两　四爻九两　五爻八两　六爻七两　二月终

一爻三两　二爻四两　三爻五两　四爻五两　五爻四两　六爻三两

一爻四两　二爻五两　三爻六两　四爻六两　五爻五两　六爻四两

一爻五两　二爻六两　三爻七两　四爻七两　五爻六两　六爻五两

一爻六两　二爻七两　三爻八两　四爻八两　五爻七两　六爻六两

一爻七两　二爻八两　三爻九两　四爻九两　五爻八两　六爻七两

一爻八两　二爻九两　三爻十两　四爻十两　五爻九两　六爻八两　三月终

一爻四两　二爻五两　三爻六两　四爻六两　五爻五两　六爻四两

一爻五两　二爻六两　三爻七两　四爻七两　五爻六两　六爻五两

一爻六两　二爻七两　三爻八两　四爻八两　五爻七两　六爻六两

一爻七两　二爻八两　三爻九两　四爻九两　五爻八两　六爻七两

一爻八两　二爻九两　三爻十两　四爻十两　五爻九两　六爻八两

一爻九两　二爻十两　三爻十一两　四爻十一两　五爻十两　六爻九两　四月终

一爻五两　二爻六两　三爻七两　四爻七两　五爻六两　六爻五两

一爻六两　二爻七两　三爻八两　四爻八两　五爻七两　六爻六两

一爻十两　二爻八两　三爻九两　四爻九两　五爻八两　六爻七两

一爻八两　二爻九两　三爻十两　四爻十两　五爻九两　六爻八两

一爻九两　二爻十两　三爻十一两　四爻十一两　五爻十两　六爻九两

一爻一两　二爻十一两　三爻十二两　四爻十二两　五爻十一两　六爻十两　五月终

一爻六两　二爻七两　三爻八两　四爻八两　五爻七两　六爻六两

一爻七两　二爻八两　三爻九两　四爻九两　五爻八两　六爻七两

一爻八两　二爻九两　三爻十两　四爻十两　五爻九两　六爻八两

一爻九两　二爻十两　三爻十一两　四爻十一两　五爻十两　六爻九两

一爻十两　二爻十一两　三爻十二两　四爻十二两　五爻十一两　六爻十两

一爻十一两　二爻十二两　三爻十三两　四爻十三两　五爻十二两　六爻十一两　六月终

一爻一两　二爻八两　六爻九两　四爻九两　五爻八两　六爻七两

一爻八两　二爻九两　三爻十两　四爻十两　五爻九两　六爻八两

一爻九两　二爻十两　三爻十一两　四爻十一两　五爻十两　六爻九两

一爻十两　二爻十一两　三爻十二两　四爻十二两　五爻十一两　六爻十两

一爻十一两　二爻十二两　三爻十三两　四爻十三两　五爻十二两　六爻十一两

一爻十二两　二爻十三两　三爻十四两　四爻十四两　五爻十三两　六爻十二两　七

月终

一爻八两　二爻九两　三爻十两　四爻十两　五爻九两　六爻八两

一爻九两　二爻十两　三爻十一两　四爻十一两　五爻十两　六爻九两

一爻十两　二爻十一两　三爻十二两　四爻十二两　五爻十一两　六爻十两

一爻十一两　二爻十二两　三爻十三两　四爻十三两　五爻十二两　六爻十一两

一爻十二两　二爻十三两　三爻十四两　四爻十四两　五爻十三两　六爻十二两

一爻十三两　二爻十四两　三爻十五两　四爻十五两　五爻十四两　六爻十三两　八月终

一爻九两　二爻十两　三爻十一两　四爻十一两　五爻十两　六爻九两

一爻十两　二爻十一两　三爻十二两　四爻十二两　五爻十一两　六爻十两

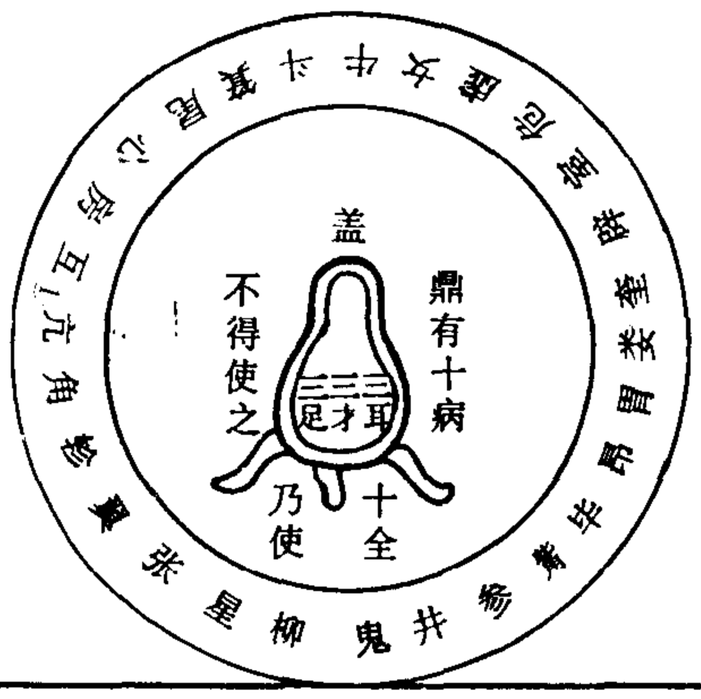
一爻十一两　二爻十二两　三爻十三两　四爻十三两　五爻十二两　六爻十一两

一爻十二两　二爻十三两　三爻十四两　四爻十四两　五爻十三两　六爻十二两

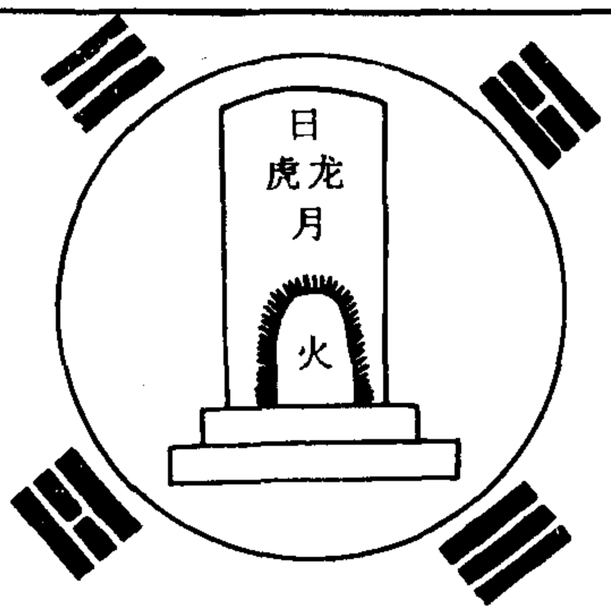
一爻十三两　二爻十四两　三爻十五两　四爻十五两　五爻十四两　六爻十三两

一爻十四两　二爻十五两　三爻十六两　四爻十六两　五爻十五两　六爻十四两　九月终

已上三千二百四十时，计三千二百四十日，是九月日火候，别有口诀。



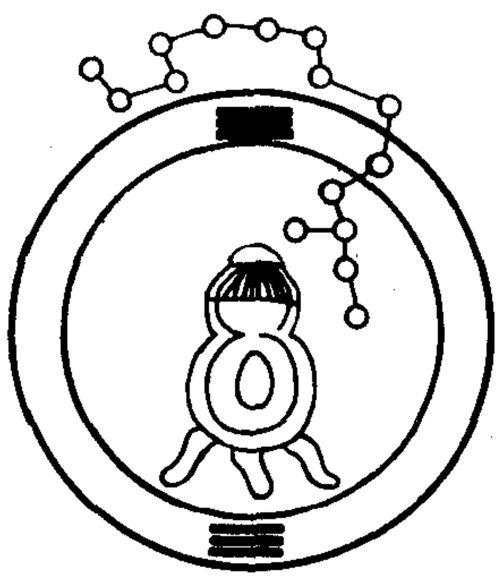
此炉转二十八宿星位



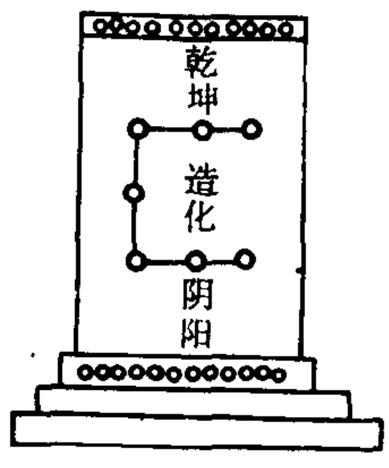
炉高四尺　厚六寸　内三寸　日月龙虎　五尺　周回八个　子门

茆真君诀

圣有文，凡无智，迷者千生不知意，但



泄竹诀余剑明药衣净长切中件事鼎会
天帛不在法灯房履水焚记十上各样八
机虑上口炭钢长入新香取忌下三每仙



口门门二一此
诀在闻个十炉

能识得龙虎情，运取五行相匹类，龙是虎，

1　互：按文义应作“氐”。

虎是龙，东西不定会相逢，龙不龙，虎不虎，本来亦是同宗祖，都缘变处有差池，便使迷人不知所，若见龙，便觅虎，虎伏龙，龙不去，龙阴被虎为阳主，龙是阳，虎阴母，到头各有阴阳谱，但得龙伏见虎，青龙依前无步步，翻翻覆覆轮子午，颠颠倒倒为其母，母亦子，子亦母，世人得之不辛苦，愚人不了经千古，醉中问醉无醒语，行泥入泥他处是，因须悟，悟者明，明之决定鼎天路，天路药成妙在戊，不得戊，千生万劫劳辛苦。

又　歌　曰

天地日月中，神药号金公，金公不是铅，本向铅中朦，分明向君说，迷者又窗窗，点汞安铅裹，金花约略同，此花不是药，图自枉抛切，此者神仙诀，何曾不大通，熟念参同契，依仍五类融，但得真铅理，修持必见终。

又　曰

铅汞合天地，修作大还丹，丹成自见宝，非此宝为难，大古真人说，如今得者欢，方如神不诳，须信道将安。

诸不一一，此略向子说，子必不知识龙虎二物，五行之类，四象之事，子速旦结，东归来转，子切须看有好朱贾，取十两归甚好也。第一先明朱，第二白马牙朱，　第三紫灵朱，此三等俱妙，等第已言。如无上三等，次有铁坑砂，作紫黑色，颗块大者，光明有墙壁者亦得，更有土坑砂，即不至好，亦须颗块大者，有墙壁个，如讨买得此物，切须子细，恒涣讨方得，不可造次，被人乱说，高榼价色也。第一等只可五百文，已下切须子细看，不用忙，将归必有商税，须系引分明，此略述向子，子莫道吾不知道，及得遇神仙，分明在眼前，此之谓也。茆君诀毕。

换骨丹阳诀

点茆换骨死，水银粉霜气，合亦亲晋降，砒消徒劳使，点茆谩蓦烧，赘人净如金，公匮砂养火，三七日水银，死余自修制，点茆卖一铤，疑□雪不如，劝君休伏砒，点茆点了输，转成铜不谙，用药气不类，更将句银变，赤铜不顾冥，间业见世殃，咎谁当受之。

马通升空亲传姚岩歌八石

八石真诀，尽理与君，惜之如宝，荷之如珍，付之相人，并须依法，制炼归真，饵之不死，化铁成银，要离凡世，舍却贪嗔，闹中取静，假体永真，甚修铅汞，足踏祥云。

八石露验诀 并序

太一真人撰，法号马通，集为药宝。太一真人者，是旷代劫神仙祖宗，或遇中秋之月，翱翔乾坤，东西没常，不离白鹤之上，南腾北趠，起抛于瑞色祥云，忽不下凡，观见一人出世之者，及是马通，元是凡夫，志慕求仙隐道，苏峻休其粮米，每饵远志、黄精、茯苓、侧柏、朝习步虚，勤导引，渐延鹤寿，貌似童颜，难得离于罡凡，未能达于紫府，未遇金丹，莫明龙虎，念此精铅，故传教示，元君遂化身作一樵人，庵前小礼，马通便起，摄让登床，坐茶讫，延容元君，忽谘上人曰：某甲不侵儒墨，采樵为业，适于路侧，得书一册，特献上人。马通接得，从头披览，认得是烧术神仙丹诀，内隐炼丹之法，即谦让卑躬，根忙作礼，元君将为便达真宗，元未通晓，遂乃口传，宗龙虎令教炼注修，其八石灵验，并撰歌行，兼炼八霜牙相擒制，故留此诀在世，初在精真，乃犬还丹，未离于八石。

八石者：硫黄　水银　朱砂　雄黄　砒黄　雌黄　蓬砂　硇砂

此八石者，石药，若依歌中修炼，是了真通服至千丸，能坚幻化，及诸异宝，立见成功，向火烹熔，列之于后。

炼　八　霜

荆子霜，候花开时，并枝梢，采乾烧灰，

煎汤，淋三遍，令验，用石埚熬成霜，制得雄黄、硫黄。一、五方草，收采和根花叶，净洗，入大釜内，用河水煮令烂，随用夹绢袋盛，压漉取汁，用石碗熬成霜，制得砒黄、水银。二、杜大黄，有花时采，并苗，准五方草修炼，能制汞。三、桑条，候萌芽发时，采条烧灰，准荆子霜修炼，制得硫黄、硇砂。六、落梨草[1]，候子成时，并枝叶，乾烧灰，一依荆霜修炼，能制雄黄、硫黄。四、艾草，五月五日采，杵苗，准桑条霜，能制雄黄。五、益母草，花开时平地采，乾烧，一准荆子霜修炼，制得硫黄、水银，兼养得丹砂。

并得八霜相擒制法

硫黄一两，益母母[2]霜一分，一处研细，入合如法，固济，坐于土釜中，用火三斤，养一日，后用火五斤，断放冷，取已成大黄霜二两，汞五两，同研细，入合，上下更用霜盖如法固济，入灰池，顶灰厚半寸，用火半斤，养至晚，用火三斤，顶烧候火消，至五分，其汞以为砂子，再制成宝。

雌黄一两，用艾霜半两，更用金箔五斤，同研一日，入合时更用半两盖之，如烧硫黄法，砒黄每两用五方草霜一分，同研，入合固济令乾，准雌黄法烧。

八石自然相制伏灵验诀

硫黄伏火每两制得汞一两，同研，文火养七日；朱砂每两伏火制得不走汞砂一两，兼制得硫黄；硇砂伏火存性者，每两制得雄黄半两，亦制得粉霜，点火入之；雌黄伏火，每两制得雄黄半两，亦用金箔遍裹，文火养七日；砒霜伏火，每两制得汞砂半两，点化成宝；雄黄伏火，每两制得雌黄一两，亦用金箔裹之，固济养七日，成黄药头。

制土釜法

每黄土一升，用盐二两，用热水相和，作合子，形成合子，平上用土作盖，安合子在中，于地上坐，更用黄土培合子，及五分，然进火万不失一，硫黄粉霜二味伏火，入缩贺使。

尔朱赠胡二郎

与君直说长生理，莫问他人须问己，内外通时无两般，留心衹莫抛神水，神水相生在坎离，抽添运用更玄微，千经万论传真诀，还如子母不相离，母如亲形儿□一，变转之时难可匹，生生相随无尽期，根元但□众中觅，水与火，长生门路从此过，认得功夫必有灵，人间何用夸音货，重重入鼎炼归真，然后调和道更亲，日月数终开鼎看，光铓觉时转通神，伏之千日功方就，永保天年并地寿，桑田成海海成田，唯我独存岂枯朽？二郎二郎须信语，尘中难得修真侣，言下分明不在忙，莫共浮生信寒暑，寒暑相催不奈何，仙凡咫尺匪事多，一朝功满丹砂熟，便是骖鸾上大罗，大罗天上无冬夏，日月常悬非昼夜，人间短景不堪居，四序循环荣又谢，荣谢之时深有觉，倏尔无言便调落，炼质存神丹又灵，只是乘云兼驾鹤，尔既闻之速寻讨，光影难停须及早，莫同愚辈信浮华，学取玄元无上道。

丹砂歌曰

青霞子曰：牙若是铅弃万里，牙若非铅，从铅而始，铅为牙母，牙是铅子，既得金花舍铅，不使黄牙不是铅，本向铅中作，欲得识黄牙，不离铅中脚，不得黄牙门，是铅亦须错。又黄牙，铅之精也，铅精是精铅也，精铅者，炼而成之。胡刚子曰：黄牙闻之矣，请问炼，炼用何鼎器药物？魏公子曰：鼎鼎元无鼎，药药元无药。诀曰：白金是君，为黑之精，西方之位，含少阳之精，是炼银于铅，其功自然，灰池炎铄，铅沉银浮，谓之

1　六落梨草……能制雄黄硫黄：按文义此段应在下文“五益母草”段之后。

2　母：按上文“炼八霜”节，应作“草”。

轻，亦曰金花，亦曰炼秋石，亦曰黄牙，其性微热，是长生之至宝，然孤阳之牙，木可独立。黄牙在口诀，木可独立，须含阳方为君臣。昔黄帝得金花美，淮南王曰：炼秋石者，八月之节，西方位，以其色白，故曰秋石。王阳云：黄牙色黄，如万物之初芽，故曰黄芽，体在一原，分之数号，真人名之不同，火曰曾，木曰青。曾青为气，达于上下，雄黄为使，雄者土，土能堪水，土是金父，非是雄黄也。光明四隅，如假良媒，合会相须，大功既就，各有分枢，八石捐弃，挺出武都，唯金与水，曜焕明珠，子解其义，神明自扶。又曰：丹砂木精，得金乃并，以砂为主，禀和水银，坎中之宝。变化犹其真，终始自相因。

青霞子又曰

龙虎者，铅汞之异名。朱汞者，龙也；铅汞者，龙也；铅银者，虎也。子隐母胎，母藏子胎，知白守黑，神明自来。白者，金之精；黑者，水之基也。用铅非用铅，其玄微，此之谓也，不可以识，识不可以智知，但天假其性，自然之遇矣。

又仙人诗曰

学人不知道，寻铅何处讨，铅生在中宫，真伪同晚早，精光归西兑，滓秽归阴岛，见铅不认铅，迷人却懊恼，黑铅作黄丹，不可取次造。若使黄丹铅，寻踪徒至老，究竟觅真铅，宫商正为好。

葛仙翁曰

铅者，丹砂也。砂中抽出之液，主水，阳中阴汞也；从砂中自然者，主金，阴中阳汞也。诀曰：

修金丹不悟玄理者，盖不悟丹砂是铅，造化根本也，迷迷相指，错用凡铅。凡水银、金银、雄黄、曾青，不知凡也，铅是世水银之母，雄黄是药之子，砂是铅之母，黄是土，土砂火母，曾属火之父母，青属东方。不悟错用水银，凡铅、雄黄、曾青、金银为药，或为鼎器，为子母，盖为不知道之根本，神仙之道，在于目前，丹砂木精，得土而生而灭，不离于五行互相用，更为父母，相生相代而成形也。

缩驾法

密栗子　生东　硫黄　雌黄　硝石　盐已上各五两。

右件取桑柴灰三斗，汀淋取汁一斗，用新铛子内下前药，药末在铛内，施添灰汁，煎炼，不得溢，小小添之，用柳木单子校不停，住煎，先用米醋研和时时捻看，不多，令汲汲，方可入炼，滓尽为度，用药一两，点贺一斤，贺先入铛内，客便入代赭土末，一处急铁箪校令乳入，渐渐贺断令通通赤，用一器物盛米醋，便倾入醋中，如是三度、即炬火打看如鄹折之时，每斤入山泽银一两。抽法□骨□补白马尿□酒糟碌矾为池容物，倾入五度，即去看晕了，后方点药。

点汞艮朱艮成紫庚术

西二铢细研，方入石胆、硇砂、青盐、雄黄、雌黄各一铢，同研如粉，旋研涕米醋少许，令乾湿得所，研不住，候乾更入，如此三度了，方入东六铢，同研，又依前法，入醋研，方安白瓷小合子内，用盐代赭石脂为泥，固合子缝令乾，然后取好盐花，伏过一斤，杵罗为外柜，外柜用大合盛，小合亦底铺上盖固之，入灰池上，灰厚三指，南初七日二两，二七日四两，三七日六两，四七日半斤，至一月冷取细研，又入东六铢，同研，亦依前涕醋研入，合固之，又入外柜，入灰池，用半斤南养一七日足，发开合顶三分已来，用一斤断，良久去却，冷取使点也。

质朱半两　汞半两　箔金一分

右件，研为砂，涕醋搜丸子，用羊肝代赭五两　盐三两　为末，如罨金法，罨一伏时，其质朱作之时，用合先固之，入朱在内，

固却，开地坑深一尺，阔一尺，从一边开一小风道，如一球子，火近远二尺许，上面用砖盖泥，却，地坑亦培盖，中心开孔，悬合在孔内，从上放烧，尽一秤灰取之也。

朱艮术

朱一两　汞半两　入水火鼎，烧二七日，用糠火成艮，用二重小铁鼎子，底相去半寸，四边用泥固了，方烧如结砂一般也。

龙虎大丹行状诀

每付大道，结志三人，传受夜半，具香花净水，供养真君，启露投词，告于上仙，要明誓状至道，夜于三清炉前，具白所誓，不可轻天机至重，皆于九玄七祖，告于太上老君，五官一切真君，具如受录法，绝肉味，焚香净心，以立精宣受之，其人约其法，每坛传其三人，为同道人也，此外不可妄传非人，的受其殃，通如后环为契，以他年同契合也。

金丹十六变

第一黄牙见宝法：铅汞几人修通灵事转□……□药留将救世人。取四神丹一两，硫黄一两，白土者，水银三两，研为粉，入瓶子内，灰池养三日，一添入汞半两，都研之，令汞星尽，即依前供养三日，一添添至十两，即住，数足后二十一日，研三千遍，养至一年，渐化轻尘，为白雪也。

第五、明窗尘：转修汞法：苦酒调金匮，寒辉映晓霞，结汞生白玉，炼石变丹砂，至道非于药，高松发翠牙，上仙方秘密，日月至精华。　取明窗尘五两，米醋和为合子令乾，入水银于中固济，以文武火养一伏时，自乾为艮，任停为器，用可辩毒。

第六、明窗尘伏不夺元色朱砂法：朱翠郁人寒，明窗鼎内寒，灰池倾密固，星火志成看，化体分金质，开炉睹玉兰，莫贪尘世宝，修取大还丹。　取明窗尘，内上下盖朱砂，文虎火养一伏时，成棘肉为丸，其砂服之，安魂定魄，救亡者，经七日，用成砂半分，冷水调，倾在亡人口中，片时自活，能返魂魄，其明窗尘伏朱砂，楮汁为丸，如胡麻子大，每日空心、酒下三粒，著颜延寿。

第七、明窗尘点化法：神变几千回，真人作上媒，赤龙潜碧海，猛虎激阴雷，二气清波涌，千山尘露堆，调和情理妙，须是大阳催。　取明窗玉粉，胶清丸如黑豆大，销铜一斤，点一丸，化为宝。

第八、修罌法：又名紫河车。黄金为至宝，变化亦通神，莫与凡俗说，幽奇路不申，华池分玉质，大道汞延龄，修道灵光见，天台访玉真。　黄金半斤，汞一斤，修如大药法，养一年满，为紫金粉，养九转，点五金，并为紫磨黄金。

第九、转紫河车添汞法：大道伏难寻，灵通妙可钦，种砂生玉质，养汞化寒林，满鼎铺朱翠，河车覆紫金，志看文武火，莫遣起嚣心。　取紫河车粉五两，结金砂子，于粉中养七日，却成黄金，取出，更添汞依法，是仙人种金谷子，与玉田同色也。

第十、紫河车伏雄黄法：将军生碧空，却铁有神功，白向凝朱翠，澄天透影红，河车能制伏，金匮密须封，一泉清渌水，万派总流通。　取河车粉，入铁合子内，罨成块，雄黄底铺上盖固济，入灰池养七日，成伏火雄黄，每两入白龙脑一分，楮汁丸如白豆大，空心酒下三粒，服之阳七日兴发神功也。

第十一、伏火雄黄乾汞成庚法：深理难可知，真人显道机，终教浮世见，不遣俗尘迷，种玉山生玉，烧银汞作其，点黄黄自化，异类岂相依？　汞十两，入铫子内，伏火雄黄半两，从上盖，更用茶碗盖之，养声绝，以文武火烧铫子通赤，即成，任打为为器物，可辩毒。

第十二、紫河车修还丹法：黄舆千万变，须在一斤并，研作桃花粉，还将金鼎盛，朝朝添世火，岁岁采真精，服者延鹤寿，永□同叅真。　紫河车粉四两，汞四两，同研星

尽，入于铁合子中，固济，入灰池中，养火四十九日，添至一斤，养一年，色如紫磨黄金，以楮汁为丸，如胡麻子大，制每粒汞一斤，并成念。

第十三、紫金还丹法：解养自精花，清心炼翠芽，至真真不远、守道道为家，玉笋堆成屋，黄金满我家，自为心内宝，岂合作娇奢。 取丹一斤，为粉，汞一斤，入铫内，以粉盖之，以华池熳火养一伏时，便成黄销之为宝。

第十四、紫金丹变成金法：炼铁变华池，金丹世上稀，道高功莫比，神化自相依，锅中吟声绝，炉前五彩飞，了然成至宝，岂遣俗人知？ 生铁一斤，消为水，入紫金丹一粒同消，锅内，作声绝，即成宝。

第十五、点铜铅，并依点铁法：每一斤丹一丸。妙力转幽深，还将润五金；合机随物体，造化众人钦，守道源归一，嚣华岂易侵，唯君堪尽活，莫与世为林。 用胶清丸如黄米大，消五金为水，入一丸点成宝。

第十六、服紫金还丹服食证验法：千日立奇功，真灵四合通，邪魔随影化，猛兽隐岩□，道化灰心伏，清灵世路中，高吟闲养性，畅逸任西东。每日空心，酒下三丸，服之千丸，万毒不能侵，不[1]兽不能害，有大灵验也。

金液还丹歌 阴真君撰，真君姓阴，名长，汉尚书郎阴皇后弟，弃官，师马鸣先，先学道，后于酆都山修炼，而得白日上昇也

北方正气为河车，东方甲乙成金砂，两情含养归一体，朱雀调运生金花，花生天地宝，人会此言真至道，子称虎，卯为龙，龙虎相生自合同，龙居震位当二八，虎数元生在一宫，采一有日取有时，世人用之而不知，收取气候君差错，万般功力徒劳施，至神至圣极容易，须问中宫求鼎器，温养火候审阴阳，安排炉室须择地，不得地，莫妄为，须隐密，审护持，保守莫失天地机，此药变化不思议，阳真砂，阴真汞，世人求之莫妄动，无质生质是还丹，丸汞凡砂不劳弄，君逢此诀会此言，炼之成之成真仙，天地生黄牙，水精结成砂，二物同一体，出世事如麻，西方升正气，得道在中华，若不会此语，千万徒破家。注云：北方者，坎也，子也，水也，正气者，元气也，谓之天地元气，故令人服此元气，而得长生，非吐纳之气谬也，生于天地之先，运动四时之王衰，化生万物而不失其信，应气候而差自然之道，及化为水，谓之太一之水，内怀白金，依法采而拣之，为长生之药，谓之阴中阳。歌曰：采有日，取有时，亦谓大阴之精，亦谓之真一，应西方正念，歌曰：若人得此真方寸，何愁命不与天同，名号多般，谓之真铅、黄牙、白虎、河车，皆是古仙秘此法，各各异号，炼此真铅，将合真汞为大丹。歌曰：生于天地先天地，因辟令人采此精，炼为庚辛室阴符。注云：河车伏汞。又歌曰：变化能运戴，故名曰河车，非寻常雨露之水，及霜雪之水也。注云：东阳者震，亦曰震为长男，故为之东阳，甲乙者、木也，震为龙，亦属木，汞本潜丹砂中，丹砂属离，离为中女，应朱雀者，火也，火亦号赤童，以火于丹砂中，抽之变为汞，谓之青龙。古歌曰：赤童戏朱雀，变化为青龙，是抽汞之象也。太白真歌云：五行颠倒术，龙从火里出五行□火里看龙光，以白金制汞，立成紫金砂也。注云：两情者，以河车真汞，两情和合，递相含牙，谓之龙虎相，更无别药。经云：坎男离女二情依，假于良媒，为夫为妇，气同一也。注云：朱雀者火也，龙虎二气，和合入炉，以昼夜阴阳各六时，天地父理火候养之，生金花，亦曰二气丹砂也。注云：天地宝者，此药呼为仙人药宝，鸡喰成凤，犬饵成龙，人服长生，不同世上金银珍宝。古歌云：千金用博实难得，其成服者命能坚，故号天地之宝也。注

① 不：按文义应作“猛”。

云：会者晓会也，世人得会此道，真至之理，必得长生度世白金丹。歌曰：若认得真至道，便使是长生久视人，此理明矣。注云：子者坎水也，坎卦中一尽，是应西方正金，故号白虎，生于水中。易玄子云：水中听虎啸。大白真歌曰：五行不顺行，虎向水中生。又云：早露水中金，故号白虎也。注云：卯者东方震也，为龙，汞属木色青，水类，水数一自丹砂中出，丹属火，火数二，兼之三，木数三，故号为龙也。注云：龙虎相生者，火之木，曰龙，水之金曰虎，自然相生，还复相克，故云合同。注云：龙者汞属震，汞是水，水数一，成数六，龙属木，木生数三，成数八，故号当六八是也。注云：虎者白虎，生于水中，数一，道中有大一宫，白虎生在一中。玄黄子云：一灵还向一中寻，得一方知此理深。又经云：子得一，万事毕。故谓之一宫也。注云：采者采药时，有时有日，每一年有四时八节，十二月二十四气，七十二候三百六十日，四千三百二十时，此真一妙道，包藏其间。成金公云：药为方位采，气候自通神，至人到此，不形文字，皆传口诀也。注云：世人用之者，但见春生夏长，秋收冬藏。孝经云：用天之道，分地之利，岂知至道幽玄，无自运长生万物，天下草木五谷飞走之类有情，每情皆禀此真情之气得生。易曰：天地设位，而易行乎其中矣。又云：一阳一阴之为道，百姓日用而不知之也。注云：收取者，采药时也，年有二十四气，七十二候，学至道，先须上知天文，下知地理，熟会阴阳周易，飞伏消息，采时不差也。注云：夫道学者，若不晓阴阳至道，不认得无为之理，不知进退，徒费功力不可得。注云：至神圣者，言此道天地日月星辰，及三教圣人，但世界所有，及鬼神人物，千变万化，皆在此道中而生，极容易者，言子难及明师口诀不死之道，如观掌内。古歌云：只在目前君不见，教君见了总须休，言极不远矣。注云：中宫者土也，白金产于水中，水数一，炼成白金，金数四，相兼五，五主土，故号中宫鼎器，亦谓之五金鼎。古歌云：达士如修此鼎成，丹霞碧霄不劳到。魏君云：鼎药一源同故知，此只鼎是药也。注云：温养者，言火有分二阴阳寒暑及时，且如世人，若冬热夏寒，必生疾病。火候者，有阴阳，有气候，有春夏秋冬，时候不僭，故云审阴阳，到此皆须口诀。注云：炉者，外匡郭也，如人住先须舍卢，以御风雨。室者如人房室，以用盛药也。须择地者，非是山陇冈脉土地，此只说修丹之地。地者田也，种丹之田，自金数五，五主土，呼为地，于内种丹药也。注云：不得地者，不知混元大造化，灵药修作丹，地以铅银诸物妄为之。注云：须隐密者，古仙虑恐漏泄天机，有无智之人，毁谤大道，轻忽仙籍，神仙珠责，言隐密护持是也。注云：保守者，言保密守护也，此道传在口，藏在心，不遇至学之人，不可妄言天地，机者机要也，微妙之道，得法者皆只如返掌之义也，不悟者，似隔大山矣。注云：变化者，运节符火，其药自变为五般色，各应本方，自然之道也。歌曰：一物合五彩是也。注云：真妙者，即铅精属阳，易曰坎为中男，故知属阳。青霞子云：阳在阴中包也。注云：真汞者，妙中汞也，丹砂属火，又以火飞汞。古歌云：火定魂通变化，变化者，阳极阴生。注云：世有学道之流，将黑铅以水银投中，以断取黄花，云是黄牙，有用土霜桑霜锅黑诸杂草木，妄为之也，且天生万物，以人为贵，人禀真精之气而生，岂将草木而补得且非也。注云：无质生质者，白金本藏水中，不见其质，炼之方见其形，本潜在砂中，都不见形，以火抽炼，方见其质，故云无质生质者是也。注云：凡汞者，即水银也，凡砂者，即朱砂也。世有学人以朱砂为真铅云，纯阳以水银为阴，殊不知二物皆属阴，若以二物相合，有类二女同处。易云：二女同居，其志不相得也。按五相类云：积混元气一千年，初胎名玄水，二千年名玄珠，三千年方

成水银，带青色，属木，受太阳气，至四千年，方成朱砂，属火，谓之木生火，至六千年，七千年，方成颗块。若凡汞与真汞，相去千代甚远，故谓之凡汞也。注云：言会此言者，至道不远，自是此人不悟也。若得会者，以铅汞二药相和，以运节符分两火候夺造化，三千年为九年，炼得药成纯阳药，人得成纯阳药，人得服者，趁身上三尸九虫出，成纯阳之身，而得长生也。大易歌云：炼之饵之千日期，身若无阴那得死。注云：言此真铅，生于天地中间，水数一，炼成金，金数四，同为五，五主土，应中，黄色土之精，生金，在天为镇星，属土也，古仙为迷或世上悭贪不道之人，故号黄芽。古歌云：智者识柔不识刚，尽道黄芽色带黄，炼铅若到悟铅境，始悟黄牙色不黄。此理明。

注云：水精者，真铅真汞也，其类是水，才相见，便化成紫砂，如狸伏鼠，如雀见鹞，自然之道变化。注云：龙虎二药相合，如君臣父子性情相合，共为一气也。出世者，但是仙家变化，上升之事，皆是从此起，故曰如麻，言多也。此药入口自化，成甘液，堕气而化，谓之霞。服气有学人，不晓仙家妙旨，按气经便凝神定思，服气吐纳，虽则暂时疗病，自见修气之人，未有得不死者。古之修真者，须饵其灵药，方得不死，岂有不饵灵药长生者哉？注云：西方者，兑方，主金应王八月，世有学人，便采八月十五日夜露水修炼，是不知道也，此白金水，有气之金，自属内五行，亦为内五金，不同世上黄金顽宝，其内五行，在阴阳二药，内变化生出，谓之自然。歌曰：不用二青及四黄，金丹自有五神光。且人禀阴阳真晶之气成形，有五藏，应五行气王衰，亦是内五行，却以内五行气补之，其理昭然，故歌曰：人除气补外，万物尽为容。故淮南王炼云：秋石女娲，炼石补天，是惑世人也。注云：得道者，得此药道也，中华者，土也，味甘，此丹修成色紫，古仙修到紫宫人出世，道家象形。有紫极歌云：见水归水体，入口成甘液。又云：魂魄归土是丹砂，其味甘应土是也。注云：言不会此语者，盖此诀意趣深幽，须汞玄理，世有学者，不会阴阳，不知天，不知符，进退气候，起发火候，浮沉往来，但云还丹之术百数，不知皆是玄旨，自是阴炉火法，举其大数，将为有百般之法，妄用五金八石，三青四黄，广费则帛修至三年，或即五载，枉用资金，是谓千万徒破家也，学道者全在自己行心用行，所以易玄子云：但有三年苦，曾无一粒尝。又云：但修善功毕，自有至人寻。

制　伏　术

金粉半斤，内柚二两，和汞一两，点米醋研令汞星尽为度，出阴气，入盐为柜，中间著其粉有六两，柚一两，碾研了汞粉，底面上以五两盖，又用盐盖，以瓦子密固济，用糠灰埋，从上放火五两，养至七日，加十两，二七日，加一斤，三七日后，大火断通赤去，却火，冷取出，伏了汞，如糠灰相似，将此灰又入生汞一两，和研依前法，养三七日，断了又取出研，又入汞二两伏养，计汞半斤，即取作一柜，入雄黄、石胆、硇砂、各一两，蓬砂、曾青各一两，白矾二两。

右取前伏了汞粉和研，一处研令细了，入盐，柜内底上面，用前伏粉了，有六两粉，却用从上盖定宝筑瓶，不满之更用盐填满按实，固济令乾，入炉顶灰厚三寸，用南五两养七日，又加至半斤，三七日后，用大火断一任诮[1]为度，冷取研用，沟汁为丸，如梧桐子大，一丸乾汞一两，入汞在铫子内，以碗合却，用湿纸固缝，候声绝便乾，加火断通赤成矣。

圣　金　丹

信砒十两，徐州青石脑油四两，石律二两。

1　诮：按文义应作“消”。

右同研细，筑入瓶子内，上用圆纸盖上，即入石脑筑之，后去瓶口一寸，以风化灰填令满，瓦片密固，更固缝候乾，入炉顶灰厚三寸，日夜一斤，南养一七日，足用二十斤，火从上断，任消为度，寒取出砒一斤，入波斯紫矾四两，同研，入瓶以少醋浆湿著纸，密封瓶子入锅，煮四日，勿令水乾，但看得色黄即住泣收取。

右收伏了砒，更入石律五两，同研如粉，筑入瓶固之，干入炉养二十日足，去四面灰，用十斤，火从上断任消，冷取研用，猪脂为丸，每两分为十四丸，一丸点贺一两汞，为贵贱宝也。

黑神胶法

砒二两，铅黄花半两，伏火硇砂半两，雄黄半两。

右同研细，入瓶中密封，固济入地炉，常用四两火，养二七日，加至六两，到十四日，渐加半斤，十四日足，大火断通赤，寒取研细，每半两分作三裹，三度下，点红银一斤，汞为贵宝也。

护命丹

石甘遂一两，波斯白矾一分，光明砂半两。

右三味细研，用米研经一日，即以抄纸裹，用柳木灰白土纸筋为泥，裹药球子厚三分已来，候乾，即以三候火烧之。第一候：以坚实炭一斤，坚实密排围绕球子上，横安两只子炭子，便从下围发火，渐渐向上，候匀赤，即去上火，专候此炭消；第二候：准前装炭一斤，如前法，烧至第三候；第三候火，准前法，烧经一日已来，即冷取用米醋煮一炊久止，干了细研，以汞一两，用药一分，入甘锅中，甚[1]埚中，先用柳木灰捣泥，泥埚中令先净干了，用炭于埚下四面排之，可五斤，即下药于汞上，令匀，以瓦子盖埚口，排炭四面发一坎闻[2]，已干，铛子中亦依埚内修事也。

独用术

伏火砒二两，伏火硇砂二两，伏火硫黄一两，汞三两。

右同研令细，淅米醋研令汞星尽，入瓶，先以银箔五片铺底，入药在上，更用银箔五片，盖定固济，干入灰池，用南五两养六十日，加至半斤，更养十日，用十斤断赤，赤夹出，入地里著冷，取细研，每两分三裹，点茆十两，熟搅，入酒池中。

添庚术

山泽艮一两，熔入猪髓内，抽三五遍，打为箔，出持了，方合与庚一两，同消，打为器物也。

碌矾一斤，句容二斤，伏火盐四两，研细，都入合固之，养二十一日，常用一斤半，南日足取出，杵罗令细，用醋伴，日内晒，匀令白色即休，每罨一两，用代赭三两，伏了药末三两，伏火盐一两，伴和罨养，不断抄矣。

又煮法

丁颐代赭五两，石胆三两，碌矾三两，拣取片者，硇砂一两，盐半两，同研入瓶内，醋浆水煮七日，纸封头，勿令气出，日足后，试之看。

飞粉霜术

汞一斤，泥矾一两二两，盐五两。

右件都研令汞星尽，即入炉，文火逼出阴气，干时以铁枪刮入底，勿令粉极干了，以盆盖上，作一窊子，微火烧窊子上，合一茶碗子，时时看有白霜上，即以泥塞却，匀著火一伏时，渐武火断之，时时用杖子从子中棰下，看直到底未硬飞上也，飞取尽妙。

---

1 甚：按文义疑作“其”

2 坎闻：按文义疑作“炊间”。

伏龙脑霜术

龙脑不计多少，又取熟铜碗子两个，一个盛著，一个盖合，却用黄丹云母粉盐花水和柳木灰各少许，一处和泥固碗缝候干，用熟艾满装，可厚一二分，莫交没却碗子于艾上散发，火烧尽更添，如是四五度，添艾烧之，更用柳灰泥固之满装，艾烧断，看碗子上赤，良久取出，待[1]冷，吹去灰，开取以伏火也。细研，以五金汁调如面煎饼，写水瓶中，火边旋逼令干，以火烧令通赤，冷为硬柜入三生丹合养，堪取食，朝吃暮应也。

伏丹砂术

磁石二两，引针者，为末，伏龙肝、定粉各二两，赤石脂一两，大阴玄精一两，黄丹三两，硫黄、盐花各二两。

右同为末，入瓶中固之，用大火断养三日，断之通赤，冷取细研，米醋捣调为匮也，用金箔裹朱砂块子，用枸汁粘苞成裹子，厚半寸许了，晒乾，勿令丝发许缝，极干，入炉，用火四两，养七日，即大火断半日，寒取不动，以伏火矣。

煮金术七圣膏子

硫黄三两，雄黄一两，雌黄二两。

右味各研令细，用赤心灰藿灰淋计[2]甚[3]灰藿待八月结子时收烧灰。淋汁了，先煮硫黄可半日，次入雄黄，更煮，次下雌黄，相次入暖灰汁频搅转，待伏火了，刮取入一厚固济瓶中，熬干，出阴气了封定，以火一斤，断通赤，退寒取，打破瓶子取药，在上有晕除却，下面灰霜无此三晕也，别更入伏火硇砂一两，蓬砂一两，白矾。

右入米醋同煮，煎成膏子，于垍器内煮之，使之临。

罨庚术

胆矾五两，白矾一两，硇砂一两半。

右三味为末，用米醋五升，于垍器中煎成膏后，入盐二两，澄过信州土黄一斤。

右都搜拌令匀，又入砂瓶内固之，烧似通赤，更可半盘饭久，即注火，要似时时旋旋取用，为末，米醋调涂在物上，厚即易透其物。未罨之时，先用硇砂一两，研细，用水化，用垍器盛，入金在内，于火畔微煖养一宿，明最炙乾，入柜罨药，以苇涂在黄物上，如此三五番，为厚为砂，一如罨金法，如是涂了，用黄泥裹烧赤后，取出冷，用皂角水洗上色也。

蓬砂楮汁伏，硇砂密伏，矾用消伏，伏胆子三两，大阴玄一两，二味同研，入瓶内固伏之，黑铅桑霜与硝石炒枯，得别用之也，药中异呼，黄童流，山丹日魂雄，神雪盐花，车亭胆子，玄台月华雌，绛陵朱，北帝。

伏硇法

硇一两，消半两，硫半两，同研为粉，用风化灰五升，于铛内底补上，盖用火养二伏时，用炭断令通赤，冷取，去却灰与消，收取硇砂也。

红银术

光明朱半斤。

右取石黄一斤，杵为末，用柳木槌子安瓶中间，四伴实筑末八分已来，取出木胎，入朱砂块在中，更余末固之，堀一地坑子，深一尺已来，当心坐瓶子，埋入地半寸许，用乾马通火二七日，日满用火三斤，就坑内断冷取，不失元色，消成汁，写作槌子，要吃杵细，水飞过如面，用枣肉为丸，如绿豆大，每服一丸，水下。煮粟琥珀为上色，用郁金与硇砂煮，用紫草涂，又煮又涂，取上色为度也。煮茆银、铅一斤，汞五两相和，打作鼎子，煮器物，用梅白矾盐同煮为妙。

---

① 诗：按文义应作“待”。
② 计：按文义疑作“汁”。
③ 甚：按文义疑作“其”。

铁 镜 术

铜铁铅此三般屎，铸作镜出持。

罨 金 术

代赭赤石脂、砒黄、羊肝、代赭石、曾青、盐花、瓜州黄矾。

右件并为末，修事养火断三遍，用时细研，底铺上，盖罨之，为上色。

铜 碌 术

硇砂　盐花各三分　白矾六分。

右一处细研，入米醋调一处，莫令稀，涂在物上，隔起在醋瓮内，三日一度，取令密，莫见风。

红 盐 术

盐一斤，硝石三两，都为末，入瓶以瓦子尽头，用火一枰断三分至二扇火三有下，烧尽为度，微留少许养，莫令风吹，看冷取好。

烧云母粉术

云母捣碎，用甘埚一大者，用知母杵为末，一重云母，一重知母，如是重重遍布了，大火烧成水，写在冷石上，成粉。五矾柜砂子，黄矾、碌矾、白矾、白容矾、胆子矾。

右件为末，入合中断令伏火，此是结雄黄砂子，雄黄一两细研，入汞三两，同研为砂子，入五矾柜，文火养七日，取出断之，成庚也。用桶子黄枯黑铅柜母砂子。

烧 珠 术

铅白石末消石三般，多入银少许，自意解颜色，临时运用乾坤火候两数加减，烧大药法则：

子时用复卦，其卦从坤而生一爻，上有五阴爻，下有一阳爻，此时可用一两火。

丑时用临卦，其卦上有四阴爻，下有二阳爻，此时用二两火。

寅时用泰卦，其卦上有三阴爻，下有三阳爻，此时用三两火。

卯时用壮卦，其卦上有二阴爻，下有四阳爻，此时用四两火。

辰时用夬卦，其卦上有一阴爻，下有五阳爻，此时用五两火。

己时用乾卦，其卦有卦阳爻，此时用六两火。

午时用遘卦，其卦从坤而生，上有五阳爻，下有一阴爻，此时用五两火。

未时用遁卦，其卦上有四阳爻，下有二阴爻，此时用四两火。

申时用否卦，其卦上有三阳爻，下有三阴爻，此时用三两火。

酉时用观卦，其卦上有二阳爻，下有四阴爻，此时用二两火。

戌时用剥卦，其卦上有一阳爻，下有五阴爻，此时用一两火。

亥时用坤卦，其卦直事，缘坤卦无阳，故此时不用火。虽不用火，此时未尽于炉中，亦不令断绝，如取十一月冬至后，上元甲子日子时，一阳生起，首发火，制于汞，阴被阳伏，故凝成一体也。

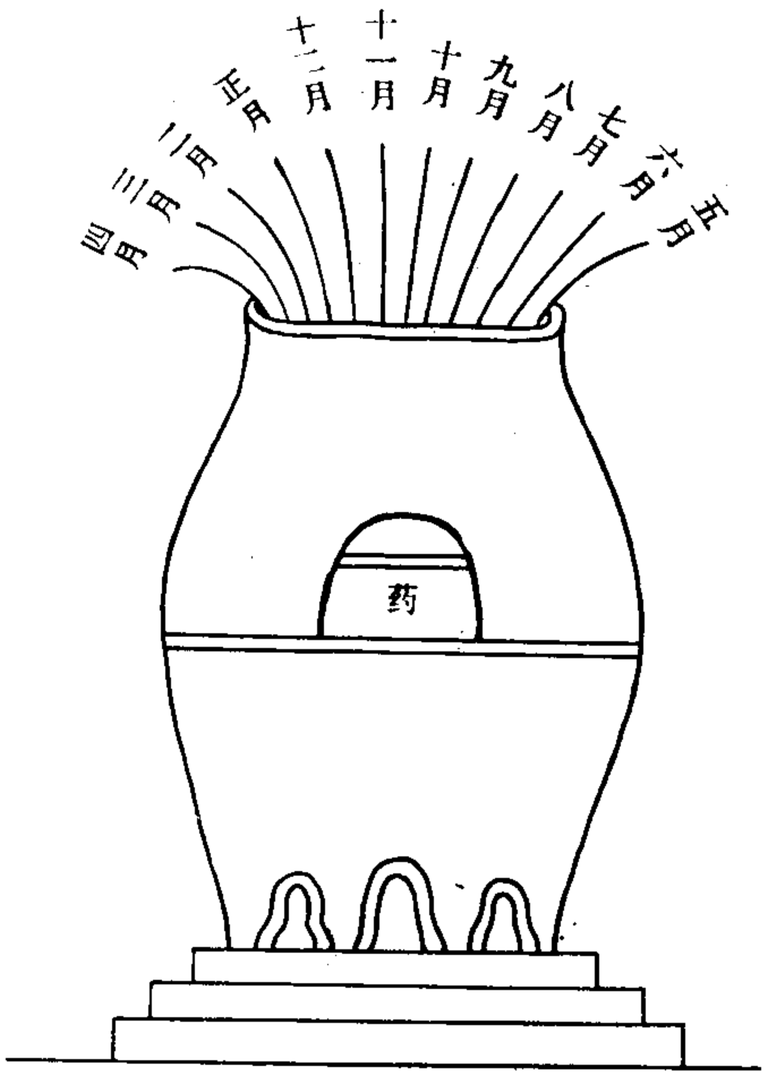
其火常鼎五寸

凡用火之法，月随斗转，正月指寅，二月指卯，他此日准此。

别本无此八门，暑[1]于坛上一书，下仍排门[2]，休、杜、景、生、伤、惊、死。凡三丹炉大底别，今略标去，不能一一。夫修药先置炉，炉者，鼎之丘郭也。鼎之无炉，如人之无舍，炉以避风，令收火气不散，坛上有三层八面，八门也。十二支干，分随卧建一象，龟山大小随便，参同契云：先天地生，巍巍尊高，傍有垣阙，状如蓬莱台明矣。

---

① 暑：按文义疑作“着”。
② 门：按文义应作“开”。



景门　开门　伤门
开门　休门　生门
休门　八门法
生门　杜门　惊门
伤门　死门　景门

阴　阳　图

外用秋冬夕，内用春夏夕。自子至巳为阳，自午至亥为阴，子午分半。阳为春夏，阴为秋冬，秋冬外用，秋夏内用。

易玄子诗一百首并序 俗姓王，讳演，梓州九盘山人，字智玄，道号易玄子也

还丹命可延，返覆阴阳气，父子与君臣，修环归一位。春仁煦于木，夏火存其礼，秋方义属金，水以冬为智。黄君独守信，土苻称戊己，此是真五行，五行故同类。道德文甚显，祖师尊一位，仙经千万卷，包含总相似，术士炼金石，腾倒七十二。失路问真人，翻成怨老氏，惜哉浮世人，昭然知有死。矻矻胃荣华，心机市闹如，珍玩竟堆积，名香炷罗绮，金崔绕云鬟，绛唇齐皓齿，槿花不长艳，岁律暮之至，蠢物与劳形，安能并真理。愿垂无益鉴，华池访神水。九转三年功，寿可同天地。昭昭鲁仲尼，焕然王辅嗣，六十四卦中，路尽希夷旨。此道谁先觉，永平王柱史，自奉至人言，无心向朱紫，所以师云最，切坚立慈为，始授以赤龙，方号之[1]易玄子。我师何所异，异能夜□视，徐行二百里，从旦未及巳，愚形秽且陋，何幸蒙如此，稽首谢三光，三光随素志。滋味能烂脉，宫商徒聒耳，勉矣将来人，四千三百字。

六十四卦体，尽生乾卦中，还须经否泰，始得议迍蒙，重阴人难悟，连山事莫穷，韩王二仙子，奥至一何通。

日月孕至宝，古来知者稀，阴阳神先立，兆津渐辉□，要识婴儿面，须褰姹女帏，丁君何独异，千戴一来归。

尘里遇仙客，因传至道门，岂空延甲子，兼许富儿孙，乌兔成为地，灵蛇信是根，须知一鼎内，别自有乾坤。

神仙云可学，于理实真然，若辩龙随虎，兼知汞在铅，未能除旧过，不合议真筌，善恶灵官录，分明在眼前。

至药木中精，成真赖杳冥，静寻魂魄意，方见有无形，烈帝闻丹诀，行师具火经，自窥生煞理，日月荷亭亭。

姹女号明珰，潜身住玉房，水中听虎啸，火里见龙光，得者身应贵，问之道亦冒[2]，祖师曾有语，此是药中王。

金碧与参同，俱论至药功，无人明恍惚，唯我识朦胧，若是坤从土，还须苏巽风，刀圭沾五内，峴岭又辽东。

日月牙交感，自才生五才，俄成一物后，蜕却几仙来，黉在朝昏落，莲应次第开，若论还与返，天地有轮回。

初地号丹衣，玄开未启扉，阴神随变虎，阳位逐龙飞，艮历三旬伏，离从九转归，自然金鼎里，艳艳复霏霏。

初起与初平，俱为华岳耕，炼丹令虎伏，叱石遣羊行，家已千秋别，身标万古名，求生如问道，河上有金晶。

---

① 之：按文义疑无此字。
② 冒：按文义疑作“盲”。

飞舄表吾宗，遗名叶县中，至今闻白杜，时见咏玄风，石变俄成玉，颜高可返童，年年上升日，云鹤满虚空。

三茅与八仙，道术暗相传，炼药来幽洞，乘云向碧天，数朝择秘诀，举世咏灵篇，曾诣真君宅，金沙满石泉。

欲识几公号，还同姹女名，位因青帝立，道为赤龙成，抱负阴阳气，笼罗日月精，世人无偶惑，天意自分明。

朱衣与紫衣，各各炫光辉，未胜黄裳吉，还从素履归，樊真云再再[1]，阴氏火微微，黄芽浮荣变，浮荣无所依。

有物号玄冥，金丹向此生，都缘一粒子，便得五神清，冷魄侵肌滑，祥光夺眼明，俗心如肯试，羽服与云旗。

授得金丹诀，无灾更敢侵，始因名救难，还自暗行心，每恨年虚掷，常忧力不任，上仙如洞鉴，早露水中金。

尘世有仙路，学之云可成，寿皆同过隙，心总恋浮荣，火运经千日，炉开见八琼，贤良如有志，携手上三清。

欲究金丹诀，先穷太易书，过三云履虎，得饵见其鱼，未了筌蹄始，难分水火初，魏朝王辅嗣，谁不道冲虚。

自古秘丹砂，延龄复济家，一泓桑上露，五片洞中霞，天算诚难契，人间信可夸，祇应禁寸匕，冉冉去无涯。

日月运金精，人餐羽翼生，不知天上贵，何似世间荣，万劫期须重，千金命莫轻，中州苻若下，看取众仙迎。

俗事尚难欺，神仙肯有之，静穷三教语，半露九丹辞，质已形舒惨，源应自坎离，若教言此道，余亦未曾知。

举世炼铅华，名为至药芽，何门是同体，无路得还家，秋壳生灵汞，炎宫孕宝砂，用谦如未洽，更与□三华。

金室坐黄君，诚非世共闻，清澄一壶水，包裹五重云，力可回天地，功能润典坟，九还珠未足，芬馥过兰薰。

帝子尽忘机，寻真醉始归，露沾红羽服，雪满紫霞衣，运合身方贵，名高世转稀，同心如恳问，虎伏制龙飞。

四位已成真，还归旧主人，水宫如获兽，金阙自为邻，结伴情宜洽，因媒道更亲，世财逢此物，瓦砾作珠珍。

枢辖与河车，元来是一家，尽迎诸帝子，同戏瑞莲花，长养还因木，澄清岂见涯，圣师曾有语，不许向人夸。

金玉似山积，闻之如不闻，百官同万姓，旧冢与新坟，若访玄宫路，先朝火帝君，请看浮妄辈，日日谩云云。

日闭月还开，醇醪合卺杯，似魂将魄去，如影逐人来，若要先迎妇，何妨更假媒，定知终九九，先彩夺琼瑰。

绯衣与紫衣，谁是复谁非，但立仁为粗[2]，终明信有归，凝情栖洞府，闭目下帘帷，此境何人住，金妣与玉妣。

吾家隐缑氏，世世学飞仙，住岳期真宰，吹笙向碧天，数株松已老，一灶火犹燃，庭竹清风动，依依在眼前。

长史遇灵真，全家上紫宸，田园都委弃，鸡犬却相亲，全露功何妙，丹霜味更辛，他时玄圃内，一愿许为邻。

万卷仙经上，遭逢只在心，如修善功毕，自有至今寻，值火无消火，闻金但舍金，炉中旬日内，听取五龙吟。

真铅与世铅，清浊地论天，若共灰沙杂，难教礼义全，迷应为下鬼，得者□高仙，傥问其形质，玄中又更玄。

岁月若易逾，人生合惜无，纵然堆白玉，未必胜玄珠，勉力寻三界，专心访五符，一符如可契，有路□仙都。

无隘复无难，玄门大启关，但知寻九鼎，自可到三山，妙在天交地，功能返与还，刀圭斋诫后，永谢鬓斑斑。

富贵与荣华，都来属槿花，何妨霸王业，

---

[1] 再再：按文义应作“冉冉”。

[2] 粗：按文义应作“祖”。

不得到仙家，饱谩千钟粟，灵须一粒砂，辛勤周后□，高迹访云涯。

往往见抽簪，仙方总未寻，何曾闻要妙，只是费光阴，山泽元非母，朱砂不属金，若教言梗概，乌兔自相寻。

万类禀阴阳，金丹味最长，循环诸帝位，封闭五神光，外抱□难色，中含不尽香，药成开鼎后，辉辉焜煌煌。

姹女露妖容，秋莲半吐红，共因元化力，独有可延功，悟即鱼逢水，迷应鸟在笼，玉潭龙未出，烟雾霭濛濛。

何恨好儿郎，区区讯古方，例皆求玉液，不得到今乡，但有三年苦，曾无一粒尝，见余微露旨，遥想□颠狂。

岁月苦相催，清才又俊才，尽随尘网去，帕入道门来，一品成多，三山信有媒，贵[1]延长与衰谢，无后□悠哉。

向月少人知，芙蕖出石池，包藏珍果子，长养死生儿，秋气看看盛，炎光渐渐衰，汞心如未伏，千古莫行师。

杳杳又冥冥，相须早晚停，五光如息焰，七户自然扃，乳洞秋眠兽，冰壶夜聚萤，道同人若问，清味大玄经。

文彩自斑斑，包藏一鼎间，但寻阳帝宅，莫问武都山，混沌终澄澈，蓬莱定往还，圣师云此物，霜鬓立童颜。

蓝翠杂蛾黄，回还事渺茫，开炉才见宝，满室放神光，可惜群生命，皆迷不死乡，水精宫有路，诸帝坐中央。

方士致玄宗，乘云到月宫，龙骖轻蹀躞，兔菟薄玲珑，历历榆千树，森森桂一丛，万机牵圣骨，还葬茂陵风。

虎啸动龙呼，阴阳道有殊，何魂不孕魄，是有总含无，待灭龙乌火，看凝割蚌珠，赤域如影到，黄帝有阴符。

授得九丹书，吟之畅有余，自从调牝马，不敢问玄庐，魂魄飞还伏，君臣惨又舒，黑云消散后，明月照空虚。

五帝据一位，见之神暗惊，湛凝秋露滴，涣若晓霞生，玉体虽藏艳，童颜伫可成，用师经十倍，天地晏然清。

艮母与金孙，俱生至药门，万人穷兔魄，几个识阳魂，始赖铅为祖，翻成火有恩，誓言终九转，转谢乾坤□。

丹帔紫霞衣，新朝白帝归，肌肤凝皓雪，容止动光辉，直待扃朱户，还须下素帷，良媒如用数，致我九霄飞。

王母问王父，此行凡几年，从经一度水，但恐四周天，值寇应纷若，逢秋亦泫然，待归金阙后，冥坐对诸仙。

闭目但冥心，仙机向此寻，纵然逢猛兽，未可放灵禽，丹阙程非远，瑶台路岂深，若能明理性，高价胜黄金。

南方有女儿，颠倒世间稀，恼得灵乌死，方随白兔归，稳眠金线帐，换却紫绡帷，自古行机网，何人会此机。

玄圃好风光，云舆驾凤凰，莫知一叶圣，莲吐五枝香，雾露濛瑶阙，珠玑构碧堂，近闻诸帝子，因狩逞颠狂。

星月满天匀，都来属北辰，阳[2]□才及午，阴数已过申，形割铅生玉，灵汞光孕银，所师动重处，待我过中人。

数极始周天，云根出自然，四逢藏兽穴，二子见鱼筌，子母情终在，君臣道亦然，阴生云此药，一剂一千年。

古往又今来，区区色与财，尽皆甘白首，不信有丹台，纵贮金千篋，难逃土一堆，何如究玄者，乌兔任轮回。

无翼上青霄，程途不甚遥，欲凭金力圣，先赖火底烧，列帝如能认，元君定可朝，但看鱼化日，鬻鬻尽枯焦。

且与问心原，仍须礼义全，放身从委地，遇药便升天，美玉光应润，明珠性本圆，世情如未已，不合议求仙。

一物有浮沉，时人杳莫寻，稳乘秋后马，趁取火中金，华鬓俄闻换，颓颜讵可侵，翟

---

① 贵：此字应移入上文“多”字下。

② 阳：此下脱字，疑作“数”。

昙曾露旨，过去未来心。

鸡犬自相依，时人总不知，耳闻神甚惑，心许意犹疑，湛薄虽无味，光汇都有期，九重金帐下，姹女抱婴儿。

少女逞婵娟，妖妖帝座前，繁霜带朱橘，轻素裹红莲，岂惮频经火，宁辞久涉川，古来修道者，得此尽升仙。

九炼数将修，真珠一颗红，浮先轻荡漾，瑞气满虚空，鸟食俄成凤，人餐可立冲，长生千万定，根蒂是金功。

非相又实相，此门应不空，未能臻至理，安得悟玄风，若要游金地，先须问火宫，阴阴不可见，见了与神通。

七返道何深，心中复有心，但能求赤髓，自可厌黄金，蓬岛期宁晚，天坛路易寻，待开丹灶后，刘院[1]是知音。

月吐五符花，彤云杂晓霞，吟之爽尘骨，得者到仙家，指物真堪秘，论功倍可夸，专勤一春后，万万胜荣华。

操心如两般，不合议还丹，所得如容易，求成实恐难，玄金因制帝，秘旨自灵官，道德分明说，重重试读看。

阴有混阳无，天然号五符，水乡能伏兽，炎帝解乘乌，朱槿迷秋月，红莲浸玉壶，此机人若会，名字列仙都。

阳物负阴物，五千言甚明，暗从乌兔力，化出有无情，变炼凡归圣，刀圭死可生，忙忙寰宇内，何事别营营。

长怕二毛侵，因逢有道心，指归天上路，授与水中金，火尽三年后，功随九转深，伫闻凉月夜，玄鹤唳清音。

暑往又寒来，澄清酒一杯，修还三圣力，次第九仙裁，若要金为妇，须凭火作媒，药成抛世网，吟啸卧瑶台。

当代有群英，何人识至精，例皆云有死，总不信长生，水府金虽贵，离宫火甚明，但知求此物，得者众仙迎。

中女爱著人，红装一袭新，紫帷才挂户，玉洞已藏身，暖逼乌宫焰，饥餐兔菟津，自然成至宝，寸匕寿千春。

六合苦忙忙，升沉与短长，尽为泉下客，莫问日中王，黄石昼之秘，阴苻见者昌，若言余设伪，行坐对三光。

朱紫满街新，唯名与利亲，何妨修至道，不废理时人，火帝多藏玉，玄宫甚贮银，但求餐一物，瞬息万年春。

可道语可名，乾天坤地精，求之为稀世，得者尽长生，阳位明无物，阴功见混成，炼经周岁后，一粒上三清。

律历牙相参，何人向此谱，阳神飞作女，阴数却为男，尘世荣何恋，玄门味可耽，药成初服者，华发绿参参。

河上河中意，玄言属五才，自迷三宝后，蜕劫几人来，圣力随心合，祥光应手开，寄言浮妄者，无更恋尘埃。

院[2]肇与刘辰，俱为世路人，苦心曾慕道，脱俗尽归真，玉液胜千日，琼浆代八珍，自迷仙女后，名又播千春。

谁见日月气，抱阳还负阴，都成方寸宝，聚劫五般念，服食宁忧病，遭逢定在心，上清何所贵，珠树蔼琼林。

仙境不甚远，世人迷者多，迎将五方帝，渡却九重河，马已闻羁绊，禽应在网罗，耄年餐一粒，金露散灵阿。

金匮镌琼真，防奸五个神，饵为天上禄，用乃世间珍，颜色如经火，须臾化作尘，迷徒如肯信，高寿过灵椿。

少女逞容仪，炎宫伴贵妃，共眠金天帐，同盖紫霞衣，烈帝争栖集，□良定是非，九公门若启，文彩弄光辉。

贫贵尽煎熬，从头爱位高，唯将尘事逼，肯怕自身劳，金石如能究，儿孙亦未抛，中央功最妙，王母种仙桃。

蒲津李内芝，得药自何师，白日冲天后，飞章圣主知，霓旌游桂菀，羽服挂松枝，上命曾嘉羡，恨非相与期。

---

1 院：按下文“刘阮二仙人”句，应作“阮”。

2 院：按下文“刘阮二仙人”句，应作“阮”。

修持志若坚，女子亦通玄，万卷丹经上，几人白日仙，要更尘世骨，须饵水乡铅，三百年前事，南充谢自然。

桃源花满溪，刘阮二仙人，人到未动足，鸟来先乱啼，药封玄雪鼎，洞倚白云梯，羽客游何处，红芝火一畦。

南方炎帝宫，金阙构重重，养得徐行虎，教防爱走龙，一壶珠璨璨，九曲水浴浴，此道何人指，莲花遇赤松。

曾味九真经，篇篇露杳冥，还因诸帝力，始见五龙形，去老期皆近，贪荣意未停，水中金一粒，松柏茂青青。

朱鸟爱高飞，蟾蜍走住角，号虽称姹女，啼不遇婴儿，赫赫威从盛，冥冥力□衰，盛衰颠狂后，枯木变灵芝。

三教本同体，玄阂人浪开，未能造通化，刚欲信轮迴，试问修生路，何如闭夜台，法华上经语，一味谢如来。

太上苦殷勤，留机与后人，尽收桑上露，唤作木中津，若个称同体，何名是五神，从头迷所著，还葬北岳尘。

群仙有洞天，灵迹况依然，要诀总留住，玄风云浪传，但寻三圣语，自识九丹田，近代尊何处，南昌十二仙。

循环历数终，造化意难穷，背面失中女，将心归老翁，妖桃承帝宠，魂魄与神通，再遇良媒合，满身衣更红。

至道与俗返，此门知者难，苦心求恍惚，开目见琅玕，水府俄闻火，炎宫或遇寒，一丸如粟大，无翼上云端。

三十六洞天，祥光自遇然，条移千万代，轻笑几多仙，秘诀封金匮，灵芝种石田，如论上升事，日日与年年。

皆礼梵王宫，无人到九重，琼坏涌金地，霜雪贯瑶峰，力拔秋眠虎，威降在火龙，如来轻动足，步步白芙蓉。

梁朝四公子，乞食隐丹阳，鉴者知仙客，飞书绕帝乡，唯怀诸道术，岂重好衣裳，一自逃名后，昭然万古芳。

王氏独何人，坚称道可亲，鬓边生白发，衣上惹红尘，为识龙宫火，兼知免穴银，八仙留古事，老少在逡巡。

感铅气砂术

铅半斤，销作一碗子，中心印作一小坑子，如半球子大，深半寸许，先用醋调白土涂坑子内，令厚一分已来，令乾，便用细灰，入在铫子内，灰上安于铅锅子在上，轻按实令牢，便入汞在内了，却用小盏子盖之，于铫底下微微著火四两已来，养一日，揭看如成妙[1]子取出，便煮之，用药如后：

螺子青五两　硇砂二两半　消石一两半

并研如粉，同一处用浆水煮一伏时，待硬咬之带此此草声便休。又煮之如后：

胆矾　硇砂　粉霜　砒霜各一两　青盐三两

右细研，一依前法，用浆火煮一伏时，又将砂子于绢上磨，无铅色休，方入匮之，用：

青盐一斤　硝石二两

右同研令细，热烧锅子，令通赤投入，九火断成汁，写出，候令杵细，于固济合子内匮煮了砂子十两，顶火养七日，成宝，再煮出铅气如后：

胆矾　硇砂　粉霜　砒霜　盐

右各等分为末，准煎煮一伏时，其柜药长用使之。

铅　金　法

曾青一两，形如黄莲相缀，色青味甘酸是也。蓖麻子十两，去皮研，添煮水煮七日取出，入合固济，断通赤，冷取出，入叶子，雌[2]二味等分，又准前伏用之。　黑铅一片，用石灰三度炒令黑色即止，每度以水淘净三度了，便用梨芦五两，为末，炒三度，以水淘净铅半斤，用药末一分点之。

1　妙：按文义应作“砂”。
2　雌：按文义疑作“准”。

伏火白朱砂术

阳起石一两。为末，朱砂半两。为末。

右件先固济合子，先下石末半两。次下朱末，又著金箔，五片。匀盖朱砂了，更用石末盖定按实，用瓦子盖头如法，固之了，于净舍内，地上用龙瓦坐，然后渐渐用火烧半日，渐渐烧令通赤，候火榻取出，入地坑内，约深一尺，入在内，更用盆子盖却，周迴用土培四面，向东南丁字著脚踏土，后三日出，细研，用蒸饼底为丸。其药固济下元、益水藏。盐汤下三丸。

伏火玄明粉术

花消一斤　牙消一两　玄精石一分　消石一分　白矾

并为末，瓶内烧为粉，糊为丸，如弹子大，每服，用新汲水磨下，狎热解毒，兼治赤眼，赤[1]用水磨，点之神效。

点　茆　术

信砒一两细研，刚子、蓖麻子、神苘蕉子，已上各一两，焙乾，捣还过与砒一处衮研令匀，用大麦面二两相和，更研，用米醋搜拍作如蜡面茶片相似，于新瓦上爆乾，销物令作汁，逐小片挟入汁内，令烟绝，更挟入，如是点绝，药尽为度，候清写出，四正句之。此是一料子药，只点得六两。

煮铁钗术

贺□分，汞一两，结砂子，取好铁钗二十只，净出，持用前砂子楷在上尽为度，用白矾、硇砂各一两细研，用铁槽子似钗长短，先铺一半矾硇砂末在槽底，便下钗子，更著一半末盖了，便用石恼油一两，入在内，次下猪脂油二斤，煮一二百沸，取出，如雪白。若要软，入野驼脂与油同煮，如无，家驼脂亦得，其使了油后，度使亦得，其钗先软了后，煠亦得，用消石软之，别有法度修制。

朱砂银术

朱一两，伏火硇砂二两，白矾、青盐、鹏砂、生椒、石律，已上各半两。用水于瓷锅内煠一伏了，爆乾，收取朱，却将煠底药为柜，细研入，合铺底盖头固济，养火一夜，取出，用硬母砂三两，裹朱砂，用知母一两为末，醋调裹朱砂了，更用断过黄土，于大甘锅中，先下一半实筑，便下裹了朱在中，更下一半黄土，盖定坚筑，用圆瓦片盖定，当中心开窗子，炉底先埋瓶水八分已来，便将甘锅倒覆在水，瓶口上用泥固济了，用轻灰盖定，厚三寸，用小火养一夜来，日用十斤火，断尽火为度，冷取成矣。又却收得汞，如出油汞一瓶般。

雄黄砂法

雄黄一两、汞一两，同研细入，既济炉内飞取砂子，上水下火，养一伏时，冷取穿鱼草，取阴乾，用泥裹断烟尽，退火候冷，取用浆水搜，候乾得所，便用纸裹信州硇一两在中，用草灰从外裹定，如球子相似，更用黄土一斤，盐二两，都一处捣，用水搜令腻，裹前球子，且晒乾出阴气，待欲乾不乾，便将来安在地上，用轻灰培定，下半枰炭，断令通赤便休，冷取一两，点五两，二八句之。

又　方

马鞭草烧灰，用汤汀淋取汁，煎成霜，硇一两，草霜一分，相和，研令细，入铫子内，微火结令匀，却取入合内，实筑固齐，留小窗子，便下火断烟欲尽为度，冷取一分，点三两。

又　方

硇一两　消一分　白善土一分

1　赤：按文义应作“亦”。

都一处研，热锅烧甘掇入，候成汁，写出，入：

粉霜半两　硇砂半两　鹏砂二钱

都一处研令细，入罐，实筑固济，入灰池，养火三日，取出露池，用灰培大火断令通赤，退火，冷取细研一两，一两点十两中句妙。

又　方

砒霜　粉霜各一两　朱砂四铢　乳香　硇砂各一铢　母砂半两

同研令细，入罐筑实固济，断令通赤，退火取出，细，又入：

砒四两　伏火消石四两　朱砂十六铢　母砂四两

右都衮研，令如面细，又入镴宗寅筑固济，煅令阴气尽，下一枰炭，装从顶上放火，用扇扇之，拟似盛，又掇开微歇，又族又下火又扇之，火似盛又掇开，又族炭，如此进退七五度，渐渐加，令火烧，令到底通赤，便夹出，入冷灰内，培著堆三堆冷灰，入第一堆，紧按似一盏间，又移第二堆，渐加多时，又移过第三堆，候冷开，又研又入罐同济，准前法，又断亦[1]，依前入三堆冷灰，并依前次第候冷开取，细研，入合固济，又准前断一遍火法进退，用扇急火，一一并依法，入灰，直候冷取，细研一两，点半斤句之，临时消石用皂角伏了方使也。

又　方

消石五两，用滑石一两，伏之其消石热，烧锅令通赤，掇入作汁，旋旋掇，旋旋糁入消木末，尽为度，更断多时，写出细研。

硫黄一两　青盐半两　硇砂一分

右同研细，用金箔裹灵砂一两，安在中心，先铺前伏了消末一半，在合底了案平，便将三味亦铺一半，拨令作窠子，便安灵砂裹子了，更下三味，盖又下消石末一半，盖定了，紧安令实固济，候乾，下火一笼断，从上发火，断通赤，退火，冷取细研，一两点四两。

又　方

砒霜一两　粉霜半两

衮研令细，入合固济，埋合入地三分，紧筑，上用轻灰盖，厚二寸许，从上放火一宠[2]断，令取一两点十两，成宝矣。点土碌砂红钱亦得成宝。

又　方

砒一两　汞一分

右都衮研令星尽，入合按实，用粟杵，草盖固济，一依前法烧之，只一宠[3]火，断令取用。

又方换骨丹阳术

鹏砂十两，细研　砒霜十两，细研

右件，二味各研子方合研处，用有油大甘锅子一个，烧令通红，旋旋掇入，候烟欲尽为度，更旋火断令无烟，如火一色通红，先细罗灰，紧按作一坑子，用箔衬著，便写出锅中汁在灰坑内，候冷取出，如黄金色，不多折细研，分作三亭，将一亭与粉霜二两，衮研如粉面相似，将二亭底辅[4]，上盖有粉者，按实固济了，更用伏火消石，作外柜，养南三七日，初五两，养至七日，渐加至半斤已，渐至十两，到三七日足，取出，又曾生粉霜二两，只取中间有粉者，与生粉二两衮研，并准前法修事三七日，取出中间有粉者，又曾生粉三两，并依前法修制，曾生粉至十两后，不使外柜亦水，用二亭鹏末底铺盖，都一处研，取二两伏火粉，与生粉二两衮研，余者底铺，上盖养二七日，取出二两伏了者，又曾青粉二两，如涌泉长生镟一般，入二两，取二两，每两伏火粉点半斤永成宝，

(1) 亦：按文义疑作“赤”。
(2) 宠：按文义应作“笼”。
(3) 宠：按文义应作“笼”。
(4) 辅：按文义应作“铺”。

如是曾养二年已后，别有变化，秘之，先扑令茆净方点之。兼软五金入得。

又　方

朱砂五两　山泽五两

错末用，合一个，先铺银末一重，便栽朱砂块子，又糁银末，铺尽为度，上面用银末盖定，固济令乾，先用大火烧炭令赤色，抱控中心，埋合子上深三寸，从昏黄[1]下火二两至二更，三更三两，四更四两，五更五两，至寅时添火断合盖通赤，候冷取，见宝朱于大火上，火烧令赤，入醋内熚白色，入臼内杵碎，用百沸汤细研，入粉伏；第二转，并依修制，伏五两；第三转，将伏了见宝朱砂半斤，会砒、硇、鹏各三两，右都衮研入合固济，乾入炉，埋上灰厚三寸，常用四两火，养至三日，加至七斤，断尽为度，冷取出，如碧色，细研曾粉霜五两，水银五两，点米醋研令星尽如粉，入罐内实填，上面更用伏火朱末盖定，实拨固之，炙乾，入炉，用火六两，养六十日，四十日后，加至半斤，到六十日，满足添十五斤，露合，断尽火为则，寒取细研，用腊月猪脂为丸，如绿豆大，每两点白同十五两，消为汁，点了候清，写入牛粪池内硬，硬时入山泽二两。

又　方

油麻杆担烧灰了，用米泔搜搏作搏，用草糠重炼，令苍白色便休，却用百沸汤汀淋，取醑汁三斗，煮信州砒三十两，煮干为度，爆乾，取出细研，作柜子，罨粉霜，霜五两，细研，用黑纸裹，用线扎定，剪去闲纸，用大合子一斤，先入煮子砒一半，实筑碗，作一小坑子，安粉裹在中，更用一半砒盖定，实案固济，外面更铁条束定，更重上泥候干，入灰池顶，灰厚二寸被，从一两火起，渐二两至三两，相次四两至五两，三七日后，相次加至半斤已来，六十日足，用一斤，断尽火为度，寒取，每两点十两，其砒子作长生柜罨粉霜，使经年岁转加力火。

华池煮法

粉霜一两，砒半分，消石半两，炭灰汁两碗

前药细入埚器中，用灰汁与药，并器物同煮，取出，用盐矾灰洗了，又入梅矾内，煮前煮了药汁长使。

又煮法

羊粪灰、牛粪灰、炭灰各两碗，用汤淋汀取汁一斗，更入海白粉霜、消石各半两，细研同煮，器物煮了，却黑色在入白矾内煮，巨火，此药亦长使，旋添粉与诸药。

又去晕法

雄黄、砒黄、臭黄、硇砂各等分，用为末，用石恼油调涂在物上，烧三五遍，亦涂三五遍，用熟火烧。

又软白法

白矾　砒霜　消石　硇砂　南粉　腻粉　羊骨髓　猪骨髓

右各等分用，细研，先煎脂骨髓成油，后下诸药，煎成膏，亦涂在物上，烧七五遍。

又涂烧去晕法

云母粉一两　定粉半两　赤石脂半两　白矾半两

右细研为末，用鸡子汁调涂在物上，如抄纸厚，炙干，于熟火微烧令通赤，取下洗却，又入华池煮取，又涂又烧又煮，如是三遍为妙。

伏硇法

荆柴粗者烧灰，汀淋取汁，一碗汁，煮硇砂一两，用浑块朱砂一两，同于瓷器中，

---

[1] 昏黄：按文义应作“黄昏”。

煮乾为度，却取出朱砂洗却，只爆干硇砂，细研，热烧甘锅，掇成汁写出，又掇又写出，如是连掇五遍，如雪白，入诸药甚妙。

又伏硇法

乔麦杵烧灰，淋取汁，依前法煮，每两入雄黄一两同煮，一两硇用两碗汁，并准前修制，亦爆干掇之。

又　法

桑柴灰汁一大碗，煮一两硇，煮干了，更添煎水半日，爆细研，入合固济，用大火断成汁，退火，取出伏矣。

轻铢砂法亦曰白雪法又云玉笋

好山泽银二两，消煎令净，写出，作一碢子，用南椒一斤，入瓷器中，添煎水煮七日，取瓷合一个，教长些子固济，却泥一个玄胎炉子，中间有隔，成合子了，先生火令合热，便取煮子银锅入内，在入汞一分，与银一处合，上面用水一盏，八分已来，盏底边用湿固著养，待成砂子，又添汞一分，如是曾添汞，到七日后，不用水盏，只用合盖盖之，盖底亦用湿纸封之，长用五两火养，候成研，又入汞，曾至月日后，取出母，只入汞在砂中，如是添汞养，不计多小，养到年，点化用，得兼入别柜，柜得成宝矣。曾养不论年岁多时，后入一两汞，便结成砂。

神仙走马制庚术

上色金二两　山泽无亦得，二两，并为末　雄黄一两　硇砂半两　朱砂五两，别研

右件雄硇二味，用平底甘锅一个，著得一升者，先铺金末一重，又铺银末一重，便下雄硇末，又金末银末，又下雄硇末，如是重铺尽为度，用柳槌按实固济，候干，入灰池，用火四两，渐加至半斤，养一宿，微断赤退火，寒取出，细研，入新铫子，入朱末一两，都一处炒罨，似顿饭久，却取出，入甘硇，依前固济候干，炬养一伏时，大火断通赤，退火，寒取细研如粉，又入铫内炒，又入朱末二两，亦搅炒如顿饭久，又入甘锅内，一依前固济候干，又养一伏时，又断通赤，寒取细研，又入铫，入朱末二两，炒一顿饭久，却甘锅按实固济，候干，入炉养五伏时，初火半斤，渐加至三斤，日足七斤，断通赤成汁，寒取出，更细研，又入合固济候干，入炉养火六十日，衡用罨朱砂成庚，其朱浑块，用金箔裹三重，先用米醋湿过方裹之，候干，入柜底铺上盖，按实固之，养一伏时成，初火半斤，渐加至三斤，断通赤，寒取成矣。转取罨了朱砂成宝者五两，细研，入雄黄、硇砂半两，都一处研如粉，入合固济，候干，入炉养火三七日受气，初火一两，一日加二两，渐至半斤，至日满，渐加至一两，此定至日足，不要断，药成汁，寒取出，打破，大小不等，点得汞，并成宝矣。秘之。

又是神仙走马制庚术柳珀侍郎秘诀

生金二两，为末，如无，熟箔金亦得，上色者，为末，雄黄半[1]半两，硇砂半两，二味同研如粉，朱砂五两，作颗块者，别研。右用平底甘锅一个，可受得半升者，先铺金末一重，次雄硇末一重，又下金末一重，又下雄硇末一重，如是重重铺，糁尽为，即用木槌按实固济，如法候干，入灰池中，以初火四两，养一伏时，渐加至半斤，至两伏时，即加至四斤，断令通赤，退火，寒取，细研如粉，入新铫子内，用半斤火暖前药令热发开，中心作一小坑子，即入朱末一两，入在坑中，拨药盖定令热，良久，用铁匙搅令匀，似一顿饭久，却取入甘锅按实固济，还入灰池养一伏时，初火四两，渐加至半斤，至一伏时止，又取出，入乳钵细研，入铫，又依前炒罨，并准第一遍制伏，入朱研末二两，

1　半：按文义应无此字。

搅匀，入锅按实固之，入炉，初火四两，养至日，渐加至半斤，养五日，又取出，细入，又入铫准前炒罨，入朱砂末二两，又取出，入甘锅固济，入炉，初火四两，养五日，加至半斤，断令通赤，则药成，汁候冷，取出，如紫金色，烁人精光，更研细，又曾雄黄半两，打作小块，逐块用金箔裹两重，入在前药中，底铺上盖，按实固济，养火一月日，取出细研，长用罨朱砂成庚，其朱亦用金箔裹三重，入镀罨一宿，加火三斤，断候冷取，已成，将前药罨雄黄与朱砂、乾汞、好雄黄浑块者，打如头子大，用金箔裹五重，入前药中罨取五两，与朱砂五两同养，令伏火取之出来，细研乾汞，作镀子亦得，别有变通，此之次，与大药，秘之秘之秘之。

制朱砂金术

朱砂用金箔裹五重，入伏火雄黄内柜七伏时，取出，成庚，却将此庚打碎，每两入得汞一两，入甘锅内，微火养一日，候干，大火断便成矣。

点　茆　术

用少蒜伏硝石，又却将伏了硝石底铺上砒子实，筑固济，一宠[1] 火伏通赤，便通火。

又　煮　法

用葱与消石烂研，于铫内过，三两消石伏五两砒，都研掇就成汁通红便休者时甘锅子，入其药在内，火断成水，便入物在内，煮通赤，又取出洗，又入在内又煮，煮十妓遍，取白为则，此药长使。

伏　硇　砂　法

用黄金不限多小为末，筑入合内，当心印作小坑子，细研硇砂，用箔纸裹安中在坑上面，更用草末盖定了，用金合盖，盖却，用蛤粉固却缝，上面更用粉涅盖项上，用大火断尽草烟，通赤，退火冷取，去却灰，更著大火断令成水写之，伏火矣。曾得朱砂至五两已上，伏得粉霜点化用之，曾之又取，一如涌泉镀一般砂。

点　茆　术

砒一两，汞一分，在一处都细研如粉，合筑入内令实，上面用梨芦草末铺盖定，草上更用石灰末又盖定，按令实，当中心用杖子作札子，直到合底了，安在地上细罗，灰用水拌过，干湿得所，从合四边裹如一寸厚，箔上下一般厚，箔用大火一笼断令通赤，有砒气烟起来，退火，点取物，意在临时用之。

收草及花法

天阴初霁后，大风雨后，并不得采无力牧草，及初出，及老不得采，如收得，切忌不得晒，不得入湿处及入水，莫近死人气，莫近烟熏，收得只入纸袋盛了系定，四边札作三五个窍子，阴乾，使时杵为末，汞一两，蔓陀罗花五十朵，杵为末，车前子末二十分，黄精五两，荞麦灰十分，羚羊角末五分，右入汞在盆子内，渐渐入药末，研如青泥，如乾，入小许醋，研令星尽，取出作球子，用黑纸裹定，开一地坑子，深七八寸，如茶碗相似，先用火一枰，烧令通赤，后去火，便入球子在中，用小盆子盖定，更用湿土五斗盖，培定冷取。如山泽银不伏火，别更制。

华　池　法

生姜二两，巴豆一两，樟柳根少许，皂角三挺，川楝子十个，蓖麻一两，好酒二升，□三度。

白　雪　法

砒十两　消石十两

二味同研细，入固了瓶内，按实牢固济，

1　宠：按文义应作“笼”。

养火七日，大火断，候成水，去火寒取，细研，分作两亭，铺底盖头，养白矾十两，养一伏时，大火断一食久，候化为水，更候三食久，退火冷取细研，入桑柴灰霜十两，都研令匀，入鸡子清，同研令滑润得所，入瓶子中作神室，铺底盖头，养朱砂一分，好者，伏住了，更粉霜一分，入石恼油同研令润，准前养二七日，不住只言曾。

养 性 门三

宝 丹 要 诀二

鸾 镜 术

取汞一两 消石一两 好礬黄一两

右已上并细研了，和好墨，一处细研了，尽在镜上作形像了，即于釜上蒸之，方入取下，出持磨七星剑，并依此作之。

作水精枕术

伏火朴消一斤半 伏火白矾一两 著石英末一两

右件烧之，临时即用黄泥细摸写之。

伏 砒 术

砒十两 消十两 白矾十两半 马牙硝一两半

右都研令如面细，入瓶固济了，瓶内上面口用新瓦一片盖定，当瓦中心开一小孔子，四边用泥固却，安著地，用三十斤炭断，直候冷，取瓶打破，看更有黄色，再入瓶断，取白色为验。每两化十两，先入物在锅子内，鼓令欲成汁，便下生砒，打鼓待成汁，便下生硇砂小许校，更鞴百十下，便写出，入池内扑两度，后方用前药点之，每两作三度下，更鞴三五百鞴，直候清如水，方入银，二八句之，更煮令清，便写入槽内，任打为器物妙矣。

七十五件丹砂

凡以烧炼，出自大清，禀阴阳之造化，炼七宝以通灵。直人守志，养性长生，金丹润骨，玉液添精，人能通圣，万事皆成。昔轩辕皇帝，一志独攻金丹，尚得成仙道，且如雀入水化之而为蛤，鸡入水化之为蜃，腐草节化为螢，竹入水化之为龙，此乃真禀阴阳二气。人若养性，似一灯燃百千灯，男子若也重其阴必邪，孤阳不可服，孤阴不可噉，所以道德经云：一阴一阳谓之道，一金一石谓之丹。是以天地万像，皆禀阴阳二气，天得阴阳二气长明，地得阴阳二气常宁，金得阴阳二气常刊，木得阴阳二气常荣，水得阴阳二气常清，火得阴阳二气熟成，土得阴阳二气长平，人得阴阳二气长生。谨说草药有八百余般，石药有七十五种，草药有却病之功，石药有延年益寿。谨说金、银、铜、铁、铅、锡、土、石等，都有七十五般，仙人遂乃烧炼丹砂七十五般，先说上品丹砂者：

轩辕皇帝九鼎丹 上神符丹 白华丹 大还 太一仙霞丹 七昼来苏丹 九光神景丹 九转龙虎丹 九成九变丹 感应降真丹 通神役使丹 三味消灾丹 神灵散馥丹 白雪赤雪丹 降灵瑞碧丹 凝霜积雪丹 大和龙脂丹 大宁白虎丹 飞和神应丹 朝霞散彩丹 坠月惊心丹 兔玉流光丹 流碧麟翠丹 许真君白日上升丹 大茆真君白灵丹

此是上品，二十五品种丹砂，有何灵验？即能兴云致雨，摄地为山。男子服之一粒，化羽翼而冲天；女人服之一粒，登仙鹅而入月殿；鸟噉成凤；蛇噉成龙。凡人若得服食，与天地齐年，共日月同寿，遂得大灵，摄真人之境，遨游于八极之间，驾鹤于九霄之外，紫毫内闲，生于顶上，践鹅鸾于足下，若是二十五种大丹砂之功能也。凡人此得遇之，宿悟真宗会怀阴骘之心，行平等育物爱人，

心清虚凝然不动，恕而不侵，色而不能染，素有仙骨，不必金帛求之，自布圣人送到。若也恶生好杀，希高务远，内不清洁，外怀奸诈，非道取财，伤人利己者，倾家竭产，万物难逢。又说中品二十五种丹砂者：

七曜灵冥丹　神光素想丹　北帝玄珠丹　紫徽仙童丹　七星辟恶丹　玄珠绛雪丹　太一使者丹　反魂丹　更生丹　劫死丹　凝澙紫霜丹　太一神精丹　太清五色丹　归命丹　道首丹　到景丹　度死丹　控鹤丹　济危丹　步云丹　轻峰丹　神变丹　灵化丹　升云丹　捧香丹

此是中品二十五种丹砂也，有何功能？善能点铁成金，化石为玉，渡水不溺，入火不焚，当国安民，防身济世。凡人若得服食，驻颜悦色，身轻体健，脑坚骨实，神魂通灵，金丹润骨，神安道大，五极皆平，地狱不入，人世长生。此丹砂亦须性本清净，有灵通真，自降诸圣，诸圣潜来，此是诸洞府神仙服食者丹砂。又说下品二十五种丹砂者：

紫霞丹　流珠丹　神液丹　紫灵丹　赤曜丹　辟谷丹　四神丹　雄朱丹　八石丹　小龙虎丹　伏火水银丹　金液丹　玉液丹　夜光丹　含化朱砂丹　青金丹　鹤顶二气丹　紫金丹　九转二气丹　既济朱砂丹　重辉丹　少阴丹　少阳丹　三黄丹　道灵丹

此是下品二十五种丹砂也，有何功能？莫能莫能[1]兴云致雨，足下云生，白日升天，长生不不[2]死，鸟喰成凤，蛇喰成龙，化石为玉，点铁成金，则不得。虽不如此之功，还能善治世间风痨冷气诸疾。凡人遇此丹砂服食，亦须明闲药性，广会多能，学圣人之作用，心通玄化之门，又须深会要诀火候之仪。火诀明会心诀，方可固济炼药。凡人不睹上古之先贤经史，岂知圣人之教典？如寒蝉秋末，岂睹韶音之媚景？飞鼠肉翅，岂能远翥冲天？凡人用天地之养育，禀阴阳之立身，将血气为泉源，以精海为根本。栽[3]树且须浇灌，务且滋荣，人身要须摄理，已精气为命，须色败身小，人之即昌，醉后多乖。

是以五脏翻覆，怒多即伤于上，悲多即损，忧多则伤心，邪多即伤魂，嫐多即伤精，精败即髓竭。又云：添油灯壮，补髓人强，油尽灯灭，髓竭人亡。精者人之形也，气者人之命也，气聚即生，气散即死。神人之本也，一日气忌勿大饱，一月忌勿大醉，一年忌损精气，终身之忌，补精调气。愚下之人，不生敬信，任命蚤，岂知善事，何足与言。行尸之类，人若不闲摄理，致使有五痨七伤之根本，皆犹人之自作，且如积金如岳，不贵于人养性。经云：人若在世过摄治，致使有五痨七伤者。

久饮者伤魂，久怒者伤志，久色者伤魄，久卧者伤神，久悲者伤思，久行者伤筋，久坐者伤肾。七十五般丹写毕。

五方歌一道

东方

青龙属木本名砂，为男为女亦为牙。受气子乡成立午，舍胎育质长金家。自从成长多年月，悠悠皆自向天涯。莫欺形貌黑皴散，浑身揔是日精华。忽然遇看阴家女，不假良媒自相许。迎归宝帐到宫中，意态调和性相处。时地为胎重造化，运动乾坤巡八卦。十月怀胎子母分，定归霄汉骖鸾贺[1]。

南方

南方朱雀其色赤，猛烈雄强势难敌。情性乾坤造化齐，体合阴阳力同一。水妻土母木家子，白帝金形胎受此。四象皆由我气成，万类还须由我死。情连甲乙气偏通，构扇金娘嫁木公。归投戊己合相处，著汞变转揔交结。此歌不悟殷勤说，句句从头细分雪。若非积学叠功程，谁解消停吾至诀。

西方

1　莫能：按文义应无此二字。
2　不：按文义应无此字。
3　栽：按文义应作“栽”。
1　贺：本书卷一百九十九五方金液还丹歌作“驾”。

白虎西方本属阴，为庚为女亦为金。长立子中胎产午，成形合体水[1]同心。娇姿玉貌欺冰雪，素质含光洒轻血。即知唤作白琅玕，谁识我身是明月。无媒自嫁得黄牙，生死须归戊己家。炎烈下时阴润上，阴阳催促摠成砂。若人会得吾今语，目前便是三清路。驾鹤朝天的有期，定知永劫抛尘污。

北方

北方玄武身体黑，家乡本住昆仑国。刚柔不定志长存，方圆任性长怀德。遍体虚无能寂默，土妻金子火家贼。尽道金公生我身，不知母是我生得。随缘信运长为客，谁辩我身性能白。不独含著五行精，就中偏产阴阳魄。调和金木金相聚，四季排来在南[2]处。分明指似后来人，莫更昏迷不知路。

中方

中央戊己属勾陈，体合虚无与道邻。纯抱元和精粹气，陶甄万类始成真。木妻火子水家鬼，水土相镇不能起。遂交却产西方金，逆互相合吐精髓。虽言我身无正形，金是限凭四象生。四象不同连我气，金木水火岂能成。偏通金木恩情熟，留向胎中亲养育。三物相含气摠并，须凭丙火相煎[3]□。丙火原来是我命，节候转排依法令。自合天然造化功，谁见仙家真路径。

上清玄秘大易图并序

上清真人魏伯阳注

夫至药之来，宗于三来之始，乃为大还丹也。故自道生一，一生二，二生三，三生万物，至药之道，毕于此矣。是故圣人演易道，托爻辞，皆为上根上智，误之者，以其肉质而获神仙，中下之流，孰能精究，且也世有良贤俊士，莫不以名利为拘，泊没随流，还归灰土，量可痛哉。余少好求生，穷味玄术，天不违愿，赐兆根萌，辄叙兹图，以闻后学，志士君子，幸而详之。

大易第一　大初第二　大始第三　大素第四　大极第五　四象第六　五行第七　相生第八　相赞第九　刑主伏杀第十　德主生起第十一　日第十二　月第十三　立象证匡廓第十四　日月交媾九还七返火候第十五　阴中有阳明黄牙第十六　阳中有阴及孤阴寡阳第十七　大易法象图第十八　丹品鼎位第十九　炉火第二十　阴阳图第二十一　月卦镜律讼第二十二　寄卦用事二十三　日月卦象火候第二十四已上二十四篇二十四气宰火候大药之周年矣

大易第一其本尽图象

夫大易者，玄元始气，造化之妙用也。处其浑沌，玄素胞胎，暝遁其形，含和真精，燥礭失迹，虚无有形，于人无昧，能亲所亲，日月然水流湿，火就燥。道，无亲无疏，无好无醜，人若通亦通，人道相通，超凡入圣谓之道。故玄者，人之不昧，不知玄育白金之理。当屯阳处五阴之下，初九潜龙之位也。玄切归一，万事生焉，妙用通切，真无自杵，以白金名，故曰贤者。大极曰大言，处其阴阳，施功化育者，莫大日月，故言大易。日月为易为药物，为阴阳焦鼎。故至药，假阴阳含养而生白金，故经云：道生玄，一主静，神魂通灵彻视。

大初第二

大初者，物象之始也，主从阴阳混合而分一气，谓之真一。时象九二见龙在田。故经云：子能得一万事毕。如修得真一成者，其形如玉，其声清唳，故言食玉者如玉，且真一者，从无生于有，从有返生于无，还返之道，是还丹之根蒂也。夫修金丹大药，不会真一之道而强燠，伏功乎易端，岂合于圣理，所以圣人秘而重之，考五行之精而炼真一。真二者，白金黄牙，为丹之母，金体水银，非水银之形，抱一含真，故登上药也。如修得者，诀为神仙矣。真一者，主人骨髓坚固，为关

1　水：本书卷一百九十九五方金液还丹歌作“永”。
2　南：本书卷一百九十九五方金液还丹歌作“高”。
3　煎：此下脱字，本书卷一百九十九五方金液还丹歌作“鼎”。

睢淑女也。

大始第三

大始者有二仪，一主火也，二主土南方离位。夏主火，能生土，土无正形，寄位丙丁。阴者道之基，为药之基。阳者刑之始，水银之未变也。阳不可独立，阴不可自生，是以阳因阴有，阴禀阳孕，阴阳和合，而成大道焉。故火能生土，土能养万物，为初之基，药中土者，能生长水银，为万物之基土也。故有五德而称，立土属脾，傍□四脏，有五宦五帝，游其九户，禀道生立，故南方火位取尊，得九五之位，十方天人莫殷重，故三万六千神，二千形影，千二百精光，左三魂右七魄，立神皆依。人五脏以脾为主，故药中以土德而尊化，为五行金木水火土成药至也。是以贤人隐秘，方士难知，幸愿精思，天不违愿。土主人肌寅坚寅也。

大素第四二生三

大素者本也，本立道生，故三丹门中，莫不因素而更禅。凡修此药者，上应三天，上清火宫，玉清金宫，大清土宫也。此三天也，西主七魄，东主三魂，七魄者，阴之精，至秋杀也。三魂者，阳之精，主春生也，故为其本也。是以龙虎相对，魂魄相依，经云：魄魂自相求也。居震宫，为木之精，经云：丹砂木精得金乃并。为大丹君父，为气为使，是五行相承，木能生火，火能生土，土能生金，金能生水，故至人察五行，精相生更王，而成大丹。经云：三五与一，天地至精，可以口诀，难以书传。古人尚秘惜如此，金辍轻立固，以晓后学者也。此上三篇，并论三五之道。自古圣人，秘重此诀，不书文字，口口相传，遂令学者用心，然不遇至人无曲会，得今标举真要，幸垂思之。如达者，即仙道俯拾而取之，故四时能生成万物者春也，处天地之仁，药亦法此，故言三生万物。万物者，天地化气而生也。人物禽兽是也，药中水银为万物也。三者主益气潘筋求精神也。三五一歌，阴坎徒迷，一阳离五，见形欲三，所以终抱木之精，炼药须通诀，玄关会古径，琼丹君若晓，天驾五云轪。

大极第五

言极者极也，极则返，故天地处浑沌，如鸡子自分，判为二仪，清气为天，浊气为地。此三者象药之自然也。天生万物，育在其中矣。药中以水银变化为万物。故圣人先立鼎器，以象天地，日月星辰，四时五行，因鼎而立，烧炼成药。日月星为三光四象，号为龙虎，如至人烧药，须合五行色象，得谓之至药也。二仪者，天地也，乾坤也，阴阳也，且创立天地，乃立阴阳，而化育人物也。若阴阳不交，则即天地闭塞，如天降地腾，山泽通气，亦何交焉。天地开闔，日月有交暎，是以志士则而行之。此言每三百六十时一度，启发洗泽添合，此论九转还丹也。

四象第六

夫大药禀于四象，青龙、白虎、朱雀、玄武，此在易为四象，在人为四肢，在地为四极，在药为四神。凡修大药四象全即可通灵。龙者为阳神，木之位，东方主生成，得青龙之号。白虎阴神，位主西方，主杀，得白虎之号。朱雀者，为阳神，火位，属南土之位，能长药物，得朱雀之号。玄武者，阴神，水位，北方戊土，能定姦邪，三尸九虫，为众药之基，故得玄武之号。凡修九转还丹，内有二象为用，外有二象为辅，用者则一飞一伏，辅者则一佐一助，而共成丹也。至药有筋骨血肉神气不可阙一，阙一者，即神不足也。如得人身痴聋做之也。如至药得成者，可以还神固身，玉质金筋，定除死籍，名列真人，金丹留身，至道全神，万般别法，徒为苦辛，然且不遇至人，何由措手？常流轻药侮命何及哉！凡人不晓至理，修旁通之术，制伏水银令伏火便将服食，谓死水银，为得长生，不知返折天年，即言至药无神，毁渎、仙教二者，不可以尽镜炤胆，铅刀斩鲸，非仙教不明、自人心暗昧，古歌云：服药求长生，多因药所误，志士君子审而行之。四象歌：木作青龙金作虎，日为朱雀月玄武。四象交泰入中宫，长生不离戊己土。金木水火已成尘，不知仙得谁为主。世间不会圣人言，自以离襟为师古。更相失路指迷人，不学身化为尘土。劝君炼药须炼虎，阳得阴兮自寒汙。三百六十自凝素，淑女自为长生母。功充只有九重成，饵之千日身腾举。

五行第七

夫五行者，在天为五星，在地为五岳，

在人为五脏。所以至药，法天、法地、法人。法天者，清气为天，罗列日月五星及宿坐。至药法，此如药成，须不失星辰日月之照，光明透彻，始可之至药。如无此象，纵烧得成，名状火水银紫粉，非是其至药，缘气用不足故也。所以日月不可失度，失度即害生。此分两不定，君臣有差，即药不成，故曰害成也。地气黄浊须厚，厚即安。至药为法，此为土之用，又须是水银同类为之也。所以五岳四渎安镇不倾，五岳法炉也。山川人物各利方所。药中人物者即水银，变化万物者也。所以天能覆之，地能载之，天地者鼎器也。人民安之，水银为人民也。此为三才。夫至药法五行金木水土火，象五行天地人。夫人以五行成体，乃以五行精气而补之。故女娲炼五色石而补天者，盖为喻人之骨象金，血象水，寅象土，气象木，暖象火。此五行者，皆须是水银同类，各炼精华为之，不得入杂药，如有一味辄杂，即是不同类。故经云：燕不生凤，狐非马群，此明也。不用杂药也。夫修至药，皆须筋骨血肉相管，得名为至药，三皇经、阴君诀、徐魏淳于等先圣，岂可妄语，使悟后学者也。

五行歌

何言金木水火土，木主气兮骨主虎，血象水兮肉象土，不死之道在离行，会得五行身有主，五行须是铅相亲，殊质不不[①]堪为伴侣。

相生第八

夫五行相生成药者，金能生水，水能生木，木能生火，火能生土。春主木，夏主火，秋主金，冬主水，四季月终主土也。春主东方木，主人之长生，能生成造化，至药者，木精也，为丹之父，为气之使，木能生火，是以丹砂为木之子。十一月一阳生。十一月十二月正月已上为春用。夏主火，主礼，主少壮滋茂，药至此亦然。五行中唯火能成坚，万物不朽，故圣人炼阴药为阳药，令阴身而归阳位，体固神备而能上升者，莫不因火之功力也。是以金丹自春生，至夏方得滋隆。草木尚禀四时，金丹岂逾天道。火主二，二者，能生于土也。二月三月四月为夏。四季主信，故无弃于生成，恩泪熟于泽物，虽得中住，亦不执于四维，然四象假土而立，万物因土而生，药门中土因火而生。土寄治丙丁，此明土生处主五中而火成立也。土能生金，故土有五德，说在前篇。为始终之用。故经云：土王四季四维始终也。秋主义，主兵杀，药至七月无生成，是以立秋后草木皆秀。金至此时九还七返毕，过仲秋，金气全盛，蟾兔二魄三五圆明。明药至此时，令体成寅者也。卯酉二八之门，寅申阴阳之祖，此明生杀以时，不得僭越，金生水，秋金功已退，乃禅位与水，故言更。冬主智，智主藏也，类五行四象而潜浑化，故圣人而为大化之基，为丹之始。主水雪大寒，万物藏遁之时，药门中言十月脱胎者，为至□月而毕功。为用火一周年四气周备，故云脱胎者也。后学者不知其理，谓言烧药得十个月即合脱胎，不知四气不令之理，故修至药四时更用，然后成丹。夫修至药从初下手，至十月已得，十二月[②]个月功足，故言十月脱胎，内两个月洗濯之，用为四时足得，名脱胎也。四气周毕，五行圆明，含曜星罗，方名至药。八月九月十月为冬用事。故立五行剧王而乃相禅，即大化之功毕归乎，无为自然之理，孰能量之？

相赞第九

大哉阴阳，三皇始祖，水土谁先，根源梓起，华池虎胎，卯门龙址，四象五行，生成如已，无师执文，终难得理。

刑主伏杀第十

夫修至药言刑杀者，更相制伏也。若无制伏，即神气不交，故帝云：金丹之术百数，其要在神水华池。非酒醋此华池也。是以阴一而制阳一之道，为华池之义。何者言阴一阳一？参同契云：白者金精，是阳一；黑者水基，是阴一，水者道枢，为三之义，人有三一三丹田。此三者，乃得一之名，若会得此三者，已得药门一半之事。是以金因水生，水从金长，金水合度，药物乃滋。故仙士辨得而穷水火，水火者，内五行，非外水火也。但在药禁门之内，圣人不书文字，口口相传受矣。是以三皇垂范，五运相推，绵历于兹，贤贤相受，故孔子述易道十翼以辅之，托象阴阳，不离周易，孔子赞十翼者，以其

① 不：按文义应无此字。
② 月：按文义疑无此字。

至药之门，在其中矣。圣理昭然，俗士罕测，今辄明显，后来君子希以勤心者也。

德主生起第十一

夫言德者得也，修之于身，其德乃真。故仙士号为真人者，以金液灌身，故得称真人。若修外事即非真德。故上德者，不以德为德，而下求。上德者水也，下德金也，金水者，是论神符之道。且有世人未有一长，便言自胜，焉能及古贤哉？故金丹有生育陶注之理，而渐增益，日月之候，日盈月满，牙为相禅。经云：德主生起是也。阴阳数备，方得成丹，五行推运，清浊卷舒，阳胜渐交，阴化归宝，此得真德之德也，何不成太丹哉！木德、火德、土德、金德、水德，五行成象，人服长生，谓之真德，化气成宝，故有土有五德，非人间之德也。人多不明五德之义，外以仁义礼智信行之，而望之得道，是亦难乎。其中有确而行之亦得冥祐，何况得其至药者哉！故金液经云：见我外指已除病，何得金丹不延命，理可明矣。

日第十二

日者积阳之精，其数有九，在天成象，在地成形，含和万物，布气生灵，日之有乌，各曰阴精，阴阳舍牙，魂魄相经。是以离之火宫，得九之名，结气朱英，炼之固形，参三五一，龙驾来迎。古之仙仕，炼日之精，身归纯阳，飞游大清，故日者，主人血脉，驻人颜色。为大丹之父也。

月第十三

月者太阴之精，积阴而成，坎以居位，得一之数，药中有白金者，月从阳而受，阴胎凝结成质焉。故坎卦内阳而外阴者也。日月行有迟疾，药性有燥缓，日主阳，月主阴，凡阳主燥急，阴主迟缓，若药中则阳药主迟，阴药中主急，急日行迟，象月行疾也。日行迟，一日一夜行一度，月行疾，一日一夜平行十二度，日一年一周天，月乃一月一周天。故日月一年十二度，合圣取象三十日，日月合次，开鼎添洗药物。且日之有乌，月有蟾兔者何也？日有乌者，阴阳精气；月有兔者，阳精气。二气含牙，道之自然，故二气为内象，二气为外象。日月二用者，为药物为匡廓，契云坎离匡廓。圆曜金鼎，金鼎与匡廓义同也。考积参同，契云水土金三物同耳。坎离相配合为之也。坎为阴，主月，离为阳，主日，二气交合于鼎之内，舒光照曜，象日月连还六合之中，世人不多晓，金鼎以金银为之，此大悞矣。故契云坎戊月精，离己日光，日日为之易。此论日月之二用矣。

日月歌

圣人夺得造化意，手搏日月安炉里，微微腾倒天地精，攒簇除阳走神鬼，日魂月华若人识，识者便是神仙子，炼之饵之千日期，身已无阴郎肯死。

立象证匡廓配合第十四

玄武者阴也，蛇者阳也。龟之与蛇，是天地阴阳自然配合，非人使其然也。故至药之道，须阴阳配合，采摘精微，通神合真，君臣有度，应日月交会，顺四轮还，方可通灵，名之药至，此象匡廓之义也。故经云：玄武龟蛇，盘蛇相扶，以明壮，壮意当相须，此是金鼎之道也。

论交媾及九还七返火候日月之道第十五

经云：本在交媾，定致始先，圣人以坎男离女，配合日居，诸精彩潜媾尽二元气而成蘖。契云元年乃互滋，元年者，六十日也，故为一元之气者也。于是建寅之辰，终坎于申，为七返者也。自子及坤为九还转也。九还七返，毕于此矣。故药道晦朔。夫媾蘖易子孙生长之义，终始于此。已上论九还七返之道不论用火耳。天一日一夜转一周，行三百六十五度，日月星辰，侚天而旋，天降地腾，一日一合，化生万物之道也。五日象一元气六十时也。十五日为阳，十五日为阴，象春夏秋冬，故一月三十日，有三百六十时，所以一月亦象四时，故有生成者也。此象一年火候，所以用卦节开鼎器，月月如此。契云火记六百篇，所趣茅不殊，此言月月如此为例者也。一日十二时，六时阳六时阴，为二元。每日月火有节进退消息，以用时为消，不用时为息也。子午分半，升降消息，故日月三十日一交，至十五日而圆象半年矣。至晦而隐，象一年药物全伏矣。朔日又生，故药加减火候洗濯一象此矣。上明用火，岁日月时之候，故至士则而行之。道经云，三十辐共一

毂，亦明用日火之法也。故圣人托易象立卦节，参同契云，此蒙明受朝昏，每日朝用此卦暮用蒙卦。既未庶愆于晦爽，既济未济始终用事。余卦用之，各自有日，其月卦日卦，例之如后。

阴中有阳明黄牙第十六

夫言阴阳者，不可胶柱而言之，且阴中有阳象，铅之有银也。是故黄牙产于河车，世人皆不晓此理，以铅黄花为黄牙，或以水银镍铅银坑朱砂密陀僧为黄牙。此并非也。且喻人皆因父母传气而成，身之扶者气也，气属精华虚无也。若以诸物等为黄牙，而终至药者，妇人可以内害而成胎。夫肉者，坏物不用为胎，若以成质之物，纵强修之，服食，消人骨髓反败性命，夭折余年，纵服之亦于大肠而出，安能化气生人哉！志士君子请而详之。

黄牙歌

黄牙□铅造，阴毂含阳花，不得黄牙理，还丹应路赊。世人炼生药，皆认铅黄花。黄花是死物，那得到仙家。黄牙非佐助，内□取精华。若到黄牙地，黄金徒自夸。

阳中有阴及孤阴寡阳第十七

夫言阳中有阴，如日之有乌，是阴阳潜应之义也。故水银生于朱砂中，皆明阳中有阴也。水银是水类而含阳性，离卦外阴而内阳也。阴中有阳者，即白金产于河车之中，是阴含阳也。如云从龙，风从虎，皆曰阴阳自然之道。是故至药门中禁戒，药物修理无一功，各别有利，不书文字，皆须口传。更为主客，递相含养，圣人采五行精四神气而炼为至药，可不填还骨髓，庆福延年，皆赖四神之精，五行之粹。若以少焕伏，孤阴寡阳而成药，正可治诸冷疾及风湿耳。终不能返老归童，缘神气不全故也。安能及神仙之阶梯。若言水银而独成药者，即男可以自生，女可以自孕，时人见朱砂伏火，或傍伏水银，便牵引参言同契死水银能固生人，功齐至药，若然则牵土可仙矣。

九转神丹大易法象图第十八

至药含种类色象青赤白黄黑，有木火土金水相生相克，四象龙虎，若至药烧能有此色象，方得通灵彻视。古经云：铸之名无价宝，故帝释得之为髻中珠，天龙得之为顶上珠，龙蛇得之为蚌蛤之珠，志士服之，为神仙造化之珠，可以陶铸，生成自然，可以铸镜，杀一切精邪魍魉。昔轩辕宝镜，是此药也。若仙士修得药如此法象者，并合至真大道，永为上仙，名登真格矣。

论丹鼎位第十九

夫至药有九鼎，一鼎鼎自有一世界，天地日月，四神五行，二十八宿有生之路。鼎者象乾坤离其卦。分为二用。昔者黄帝铸九鼎者，象九州也，为至药。但缘出世药祖，起自三皇，天皇、地皇、人皇。参同契用三圣遗文也。三皇各有经一卷，出世之药，始自三门，门有三鼎，三三如有九。有上仙之上药，有中仙之上药，有下仙之上药。即九转还丹是也。次有金液之道，亦还丹之大理，余小丹小药，傍通制伏，只可治疾温暖，并无长生久视之道。唯我三皇太丹，是出世之根本，每等丹中有三尊，上应三天三光三元。又三等丹中有九尊，九天九帝九宫九坎九州是也。每宫宿各有神护之。亦有九品谓之九鼎。凡一鼎之中，自有一天地日月，若世人得此药服之，脱出凡境，身超上仙，名列太玄，永合真格。志士求之，晨夕不倦，天旦不违，而况于人乎？老子曰：吾非自然学而得之。

炉火第二十

凡三丹炉火大体各别，今略标举，不能一一备书。夫修药先建炉，炉者鼎之匡廓也。若鼎之无炉，如人之[1]舍，如城之无椁，何以安哉？故炉者，鼎之舍庐也，以避风隙，使火气不散，壇有三层，炉有八面，十二支干辰，门牙随斗建一，象龟山大小随便。

参同契云：先天地生，巍巍高尊，傍有垣阙，状似蓬莱可明矣。炉形似蓬莱山也。古歌：棱深口长，合取阴阳，吠如仰日，亦

1 之：按文义此下应有“无”字。

如球子，下棱合著上棱，著顶作之，不得参差。底厚安能药求昌，别有体解消息炉样，自会取作之也。

琐碎录

摄养

议论

颜蠋曰：晚食当肉，缓步当车，无罪当贵，无灾当福。莫饮卯时酒，莫飡申时食。避风如避箭，避色如避贼。国初有人作座右铭云：避色如避仇，避风如避箭。莫吃空心茶，少飡申后饭。孙景初号四休居士，其说曰：粗茶淡饭饱即休，补破遮寒暖即休，三平二满过即休，不贪不妒老即休。山谷以此为安乐法。

东坡有三养之说：一曰安分以养福；二曰宽胃以养气；三曰省责以养财。且谓自今日已往，早晚饮食，不过一郁一肉。有尊客盛馔则三之，可损不可增。有召我者，预以此告之，主人不从而过是者乃止。

若要安乐，频脱频著，南方语也。若要安乐，不脱不著，北方语也。

痛后食补不如睡补。

有人告入广者云：朝不可虚，暮不可实，然不独广也。薄滋味，省思虑，节嗜恣，戒喜怒，惜元气，简言语，轻得失，破忧沮，除妄想，远好恶，收视听，勤内顾。

保练

三茅真君诀曰：神养于气，气会于神，神气不散，是谓修真。

气清则神畅，气浊则神昏，气乱而神劳，气衰则神去。神能服气，形能食味，气清则神爽，形劳则气浊。

至人不思外物，不视外色，不听外声。

施肩吾座右铭曰：元气真精，能保万形，其聚则有，其散则零。我气内闭，我心长宁，至人传授，小兆谛听，如病得愈，如醉得醒。

心安而不惧，形劳而不倦。

心澹而虚则阳和集，意躁而欲则阴气入。

心悲则阴集，志乐则阳散，不悲不乐，恬澹无为者，谓之元和。

神用气养，气因神行。神行则气行，神住则气住。神是性兮气是命，神不外驰气渐定。

清静无为，不以外物累心，则神全而守固。

心静无为，自全正气。

气是添年药，心为使气神，若知行气主，便是得仙人。内观之要，静神定心，乱想不起，邪妄不侵，气归脐为息，神入气为胎，胎息相合，混而为一，名曰太乙含真，然后炼神。

藏精于晦则明，养神于静则安。晦以蓄用，静以应物。善蓄者不竭，善应者无穷。

气者神之母，神者气之子，欲知其母，先知其子，气住则神住，神住则形住。

心是气之主，气是形之根，形是气之宅，神是形之真，脐下是气海，心是气元，气归元海，寿无穷。

学道者有九患，有志无时，有时无友，有友无志，有志不遇其师，遇师不觉，觉师不勤，勤不守道，或志不固，固不能久，此人之九患也。

青童君曰：人之所为道，能拔爱欲之根者，如掇悬珠，一一掇之，会有尽时，稍方外恶，会有尽时，尽则得道。

紫微夫人曰：为道者，譬持火入冥室中，其冥即灭，而明独存。财色于己，如小儿贪刀刃之蜜，其甜不足以美口，即有截舌之患。

人从爱生忧，忧生则有畏，无爱即无忧，无忧则无畏。喜怒损志，哀戚损性，荣华惑德，阴阳竭精，学道之大忌也。

真人之心，若珠在渊，众人之心，若飘在水。

得道者皆隐谷虫之法，而见三尸之术。谷虫死则三尸枯，三尸枯自然落矣。

青童诗：欲殖灭度根，当拔生死栽，沉吟堕九泉，但坐惜形骸。

朱氏集验方

真常子养生

酒多血气皆乱，味薄神魂自安。夜漱却胜朝漱，暮餐不若晨餐。耳鸣直须补肾，目暗必须治肝。节饮自然脾健，少思必定神安。汗出莫当风立，腹空莫放茶穿。

孙真人养生铭

怒甚偏伤气，思多大损神。神疲心易役，气弱病相萦。勿使悲欢极，当令饮食均。再三防夜醉，第一戒晨嗔。亥寝鸣云鼓，寅兴嗽玉津，妖邪难犯己，精气自全身。若要无诸病，常常[1]节五辛。安神宜悦乐，惜气保和纯。寿夭休论命，修行本在人。若能遵此理，平地可朝真。

养性之术

杨泉物理论曰：谷气胜元气，其人肥而不寿；元气胜谷气，其人瘦而寿。养性之术，常使谷气少则病不至矣。

四　损

远唾损气，多睡损神，多汗损血，疾行损筋。

脾胃论

摄　养

忌浴当风，汗当风，须以手摩汗孔合，方许见风，必无中风中寒之疾。

遇卒风暴寒，衣服不能御者，则宜争努固身之气以当之，气弱不能御者病。

如衣薄而气短，则添衣于无风处居止，气尚短，则以沸汤一碗熏其口鼻，即不短也。

如衣厚于不通风处居止而气短，则宜减衣，摩汗孔令合，于漫风处居止。

如久居高屋，或天寒阴湿所过，令气短者，亦如前法熏之。

如居周密小室，或大热而处寒凉，气短则出就风日。凡气短，皆宜食滋味汤饮，令胃调和。或大热能食而渴喜寒饮，当从权以饮之。然不可耽嗜，如冬寒喜热物，亦依时暂食。

夜不安寝，衾厚热壅故也。当急去之，仍拭汗，或薄而不安即加之，睡自稳也。饥而睡不安，则宜少食饱而睡，不安则少行坐。

遇天气变更，风寒阴晦，宜预避之，大抵宜温暖，避风寒，省语少劳役为上。

远　欲

名与身孰亲，身与货孰多？以隋侯之珠，弹千仞之雀，世必笑之。何取之轻而弃之重耶！残躯六十有五，耳目半失于视听，百脉沸腾而烦心，身如众派漂流，瞑目则魂亦[2]浪去，神气衰于前日，饮食减于曩时，但应人事，病皆弥甚，以己之所有，岂止隋侯之珠哉？安于淡薄，少思寡欲，省语以养气，不妄作劳以养形，虚心以维神，寿夭得失，安之于数，得丧既轻，血气自然谐和。邪无所容，病安增剧？苟能持此，亦庶几于道，

1　常：朱氏集验方作“当”。

2　亦：脾胃论作“如”。

可谓得其真趣矣。

省言箴

气乃神之祖，精乃气之子，气者精神之根蒂也，大矣哉！积气以成精，积精以全神，必清必静，御之以道，可以为天人矣，有道者能之。予何人哉，切宜省言而已。

三元延寿书

人　说

天地之间人为贵，然囿于形而莫知其所以贵也。头圆象天，足方象地，目象日月，毛发肉骨象山林土石。呼为风，呵为露，喜而景星庆云，怒而震霆迅雷，血液流润而江河淮海。至于四肢之四时，五脏之五行，六腑之六律，若是者，吾身天地同流也，岂不贵乎？按藏教父母及子相感，业神入胎，地水火风，众缘和合，渐得生长。一七日如藕根；二七日如稠酪；三七日如鞋韈；四七日如温石；五七日有风触胎，名摄提，头及两臂胫五种相现；六七日有风，名旋转，两手足四相现；七七及八七日，手足十指二十四相现；九七日眼眼[1]耳鼻口及下二穴大小便处九种相现；十七日有风，名普门，吹令坚实，及生五脏；十一七日上下气通；十二七日大小肠生；十三七日渐知饥渴，饮食滋味，皆从脐入；十四七日，身前身后，左右二边，各生五十条脉；十五七日，又生二十条脉，一身之中，共有八百吸气之脉，至是皆具；十六七日有风，名甘露，安置两眼，通诸出入息气；十七七日有风，名毛拂，能令眼耳鼻口咽喉胸臆，一切合入之处皆得通滑；十八七日有风，名无垢，能令六根清净；十九七日眼耳鼻舌四根成就，得三种报，曰身命意；二十七日有风，名坚固，二脚二手二十指节至一身二百大骨，及诸小骨一切皆生；二十一七日有风，名生起，能令生肉；二十二七日有风，名浮流，能令生血；二十三七日生皮；二十四七日皮肤光悦；二十五七日血肉滋润；二十六七日发毛爪甲皆与脉通；二十七七日发毛爪甲悉皆生就；二十八七日生屋宇园池河等八想；二十九七日各随自业，或黧或白；三十七日黧白想现；三十一七日至三十四七日渐得增长；三十五七日肢体具足；三十六七日不乐住腹；三十七七日生不净臭秽黑暗三想；三十八七日有风，名蓝花，能令长伸两臂，转身向下，次趋下风，能令足上首下以向生门。是时也，万神必唱，恭而生男，万神必唱，奉而生女。至于五脏六腑，筋骨髓脑，皮肤血脉，精脏水脏，二万八千形影，一万二千精光，三万六千出入，八万四千毛窍，莫不各有其神以主之。然则人身岂易得哉，鞠育之恩，又岂浅浅哉。夫以天地父母之恩生，此不易得之，身至可贵至可宝者五福，一曰寿而已。既得其寿，则当贵利达，致君泽民，光前振后。凡所以掀揭宇宙者，皆可为也。盖身者，亲之身，轻其身是轻其亲矣，安可不知所守，以全天与之寿，而有以尽事亲之大乎？或曰婴孺之流，天真未剖，禁忌饮食，又无所犯，有至夭枉者，何欤？曰：此父母之过也。为父母者，或阳盛阴亏，或阴盛阳亏，或七情郁于内，或八邪袭于外，或母因胎寒而饵暖药，或父阴萎而饵丹药，或胎元既充，淫欲未已，如花伤培，结子不实，既产之后，禀赋[2]□弱，调养又失其宜，骄惜太过，睡思既浓，向[3]令咀嚼，火阁既暖，犹令饮酌，厚衾重覆，且令衣著，抚背拍衣，风从内作，指物为虫，惊因戏谑，危坐放手，我笑渠恶，欲令喜笑，

---

1) 眼：道藏三元延寿参赞书无此字。
2) 赋：此下脱字，道藏三元延寿参赞书作“怯”。
3) 向：道藏三元延寿参赞书作“尚”。

肋胁指凝，雷鸣击鼓，且与掩耳，眠卧过时，不令早起，饮食饱馁，不与戒止，睡卧当风，恐嗝神鬼，如此等事，不一而已，斯言也，演山省翁之至言也。父母者，因是而鉴之，则后嗣流芳，同此一寿，岂不伟欤？

天元之寿精气不耗者得之

男女居室，人之大伦，独阳不生，独阴不成，人道有不可废者，庄周乃曰：人之可畏者，衽席之间，不知戒者过也。盖此身与造化同流，左为肾属水，右为命门属火，阳生于子，火实藏之，犹北方之有龟蛇也。膀胱为左肾之腑，三焦为右肾之腑，三焦有脂膜如掌大，正与膀胱相对，有二白脉自中而出，夹脊而上贯于脑。上焦在膻中内，应心，中焦在中脘内，应脾，下焦在脐下，即肾间动气，分布人身，方其湛寂，欲念不兴，精气散于三焦，荣华百脉，及欲想一起，欲火炽然，翕撮三焦，精气流溢，并从命门输泻而去，可畏哉！嗟夫！元气有限，人欲无涯，火生于木，祸发必克，尾闾不禁，沧海以竭，少之时血气未定，既不能守夫子在色之戒，及其老也，则当寡欲闲心，又不能明列子养生之方，吾不知其可也。麻衣道人曰：天地人等列三才，人得中道，可以学圣贤，可以学神仙，况人之数，多于天地万物之数，但今之人，不修人道，贪爱嗜欲，其数消减，只与物同也。所以有老病夭殇之患，鉴乎此，必知所以自重而可以得天元之寿矣。

欲不可绝

黄帝曰：一阴一阳之谓道，偏阴偏阳之谓疾。又曰：两者不和，若春无秋，若冬无夏，因而和之，是谓圣度。圣人不绝和合之道，但贵于闭密以守天真也。

素女曰：人年二十者，四日一泄，三十者，八日一泄，四十者，十六日一泄，五十者，二十日一泄。此法语也。所禀者厚，食饮多，精力健，或少过其度，譬之井焉源深流长，难随汲随满，犹惧其竭也。若所禀者薄，元气本弱，又食减精耗顾[1]强而为之，是怯夫而试冯妇之术，适以龋虎牙耳，必用之书注云：弱者亦须禁止，不可依此施泄。

彭祖曰：男不可无女，女不可无男。若念头正直无可思者，大佳，长年也。又曰：人能一月再泄精，一岁二十四泄，得寿二百岁。名医论曰：思欲无穷，所愿不得，意淫于外，为白淫而下，因是入房太甚，宗筋纵弛。

书云：男子以精为主，女子以血为主，故精盛则思室，血盛则怀胎。若孤阳绝阴，独阴无阳，欲心炽而不遂，则阴阳交争，乍寒乍热，久而为劳。富家子唐靖疮发于阴，至烂，道人周守真曰：病得之欲泄而不可泄也。史记济北王侍人韩女病腰背痛，寒热，仓公曰：病得之欲男子不可得也。

欲不可早

齐大夫褚澄曰：羸女则养血，宜及时而嫁，弱男则节色，宜待壮而婚。

书云：男破阳太早则伤其精气，女破阴太早则伤其血脉。

书云：精未通而御女以通其精，则五体有不满之处，异日有难状之疾。

书云：未笄之女，天癸始至，已近男色，阴气早泄，未完而伤。

书云：童男室女，精想在心，思虑过当，多致苛损，男则神色先散，女则月水先闭。

欲不可纵

黄庭经曰：长生至慎房中急，何为使作令神泣。

彭祖曰：上士异床，中士异被，服药千裹，不如独卧。

老君曰：情欲出于五内，魂定魄静生也，情欲出于胸臆，精散神惑死也。

彭祖曰：美色妖丽，娇妾盈房，以致虚损之祸，知此可以长生。阴符经曰：淫

1 顾：道藏三元延寿参赞书作“损”。

声美色，破骨之斧锯也。世人若不能秉灵烛以照迷情，持慧剑以割爱欲，则流浪生死之海，害生于思也。全元起曰：乐色不节则精耗，轻用不止则精散，圣人爱精重施，髓满骨坚。

庄子曰：嗜欲深者，其天机浅。

春秋秦医和视晋侯之疾曰：是谓近女室，非鬼非食，惑以丧志。公曰：女不可近乎？对曰：节之。

玄枢曰：元气者，肾间动气也。右肾为命门，精神之所舍，爱惜保重，荣卫周流，神气不竭，可与天地同寿。

元气论曰：嗜欲之性固无穷也。以有极之性命，逐无涯之嗜欲，亦自毙之甚矣。

仙经云：无劳尔形，无摇尔精，归心静默，可以长生。经颂云：道以精为宝，宝持宜秘密，施人则生人，留己则生己，结婴尚未可，何况空废弃，弃损不觉多，衰老而命坠。

仙书云：阴阳之道，精液为宝，谨而守之，后天而老。

书云：声色动荡于中，情爱牵缠，心有念动，有著，昼想夜梦，驰逐于无涯之欲，百灵疲役而消散，宅舍无宝而倾颓。

书云：恣意极情，不和自惜，虚损生也。譬枯朽之木，遇风则折，将溃之岸，值水先颓。苟能爱惜节情，亦得长寿也。

书云：肾阴内属于耳中，膀胱脉出于目眦，目盲所视，耳闭瘖聪，斯乃房之为患也。

书云：人寿夭在于撙节，若□心[1]得所，长生不死，恣其情则命同朝露。

书云：欲多则损精，人可保者，命可惜者，身可重者精。肝精不固，目眩无光；肺精不交，肌肉消瘦；肾精不固，神气减少；脾精不坚，齿发浮落。若耗散真精不已，疾病随生，死亡随至。神仙可惜许歌曰：可惜许，可惜许，可惜元阳宫无主，一点既随浓色妒，百神泣送精光去。三尸喜，七魄怒，血败气衰将何补？尺宅丹曰[2]属别人，玉炉丹灶阿谁主。劝世人，休恋色，恋色贪淫有何益，一神去后百神离，百神去后人不知，几度待说说不得，临临下口泄天机。

欲不可强

素问曰：因而强力，肾气乃伤，高骨乃坏。注云：强力入房也。强力入房则精耗，精耗则肾伤，肾伤则髓气内枯，腰痛不能俯仰。黄庭经云：急守精室勿妄泄，闭而实之可长活。

书云：阴痿不能快欲，强服丹石以助阳，肾水枯竭，心火如焚，五脏乾燥，消渴立至。近讷曰：少水不能灭盛火，或为疮疡。

书云：强勉房劳者，成精极，体瘦尪羸，惊悸梦泄，遗沥便浊，阴痿，小腹里急，面黑耳聋。真人曰：养性之道莫强所不能堪尔。抱朴子曰：才不逮强思之，力不胜强举之，伤也甚矣。强之一字，真戕生伐寿之木[3]。夫饮食所以养生者也，然使醉而强酒，饱而强食，未有不疾以害其身，况欲乎欲而强，元精去，元神离，元气散，戒之。

地元之寿起居有常者得之

人之身，仙方以屋子名之，耳眼鼻口，其窗牖门户也；手足肢节，其栋梁榱桷也；毛发体肤，其壁瓦垣墙也。曰气枢，曰血室，曰意舍，曰仓廪玄府，曰泥丸绛宫，曰紫房玉阙，曰十二重楼，曰贲门，曰飞门，曰玄牝等门，盖不一也，而有主之者焉。今夫屋或为暴风疾雨之所飘摇，螫虫蚁蠹之所侵蚀，或又为鼠窃狗偷之所损坏，苟听其自如而不知检，则日积月累，东倾西颓，而不可处矣。盖身者屋也，心者居室之主人也，主人能常为之主，则所谓窗户栋榱垣壁皆完且固，而地元之寿可得矣。

养生之道

老子曰：人生大期，百年为限，节护之

---

(1) □心：道藏三元延寿参赞书作“将息”。
(2) 丹曰：道藏三元延寿参赞书作“寸田”。
(3) 木：道藏三元延寿参赞书作“本”。

者，可至千岁，如膏之小炷与大耳。众人大言而我小语，众人多烦而我少记，众人悖暴而我不怒，不以人事累意，淡然无为，神气自满，以为不死之药。

庄子曰：能尊生者，虽当贵不以养伤身，虽贫贱不以利累形，今世之人，居高年尊爵者，皆重失之。

书云：未闻道者，放逸其心，逆于生乐，以精神徇智巧，以忧畏徇得失，以劳苦徇礼节，以身世徇财利，四徇不置，心为之病矣。陶隐居云：万物惟人灵且贵，百岁光阴如旅寄，自非留意修养中，未免疾苦为身累。

喜　乐

书云：喜乐无极则伤魄，魄伤则狂。狂者意不存，皮革焦。

书云：喜怒不节，生乃不固，和喜怒以安居处，邪僻不至，长生久视。

书云：喜怒不测，阴气不足，阳气有余，荣卫不行，发为痈疽。

聚书云：喜则气和性达，荣卫通行，然大喜伤心，积阳则损，故曰少喜则神不劳。

淮南子曰：太喜坠阳。

唐柳公度喜[1]□生，年八十余，步履轻健。或求其术，曰吾无术，但未尝以元气佐喜怒，气海常温耳。

东楼法语曰：心喜则阳气散，是故抑喜以养阳气。

忿　怒

书云：忿怒则气逆，甚则呕血，少怒则形佚悄悄，忿恨则损寿，怒目久视日月则损明。

书云：大怒伤肝，血不荣于筋，而气激矣。气激上逆，呕血飧泄，目暗，使人薄厥。

书云：切切忿怒当止之，盛而不止，志为之伤，喜忘前言，腰背隐痛，不可以俯仰屈伸。

书云：多怒则百脉不定。又多怒则髭发焦筋萎，为劳，卒不死，俟五脏传遍终死矣。药力不及，苟能改心易志，可以得生。隐居云：道家更有颐生旨，第一令人少嗔恚。

书云：当食暴嗔，令人神惊，夜梦飞扬。

淮南子曰：大怒破阴。

名医叙论曰：世人不终耆寿，皆由不自爱惜，忿争尽意，聚毒攻神，内伤骨髓，外乏肌肉，正气日衰，邪气日盛，不异举沧波以炷爝火，颓华岳以断涓流。

先贤诗曰：怒气剧炎火，焚和徒自伤，触来勿与兢，事过心清凉。

悲　哀

书云：悲哀憔悴，哭泣喘乏，阴阳不交，伤也。故吊死问病则喜神散。

书云：悲哀动中则伤魂，魂伤则狂忘不精，久而阴缩拘挛，两胁痛不举。

书云：悲哀大甚则胞络绝，而阳气内动，发则心下溃[2]溲数血也。

书云：大悲伐性，悲则心系急，肺布叶举，上焦不通，荣卫不舒，热气在中而气消。又云悲哀则伤志，毛悴色夭，竭绝失生。近讷云：肺出气，因悲而气耗不行，所以心系急而消矣。夫心主志，肾藏志，悲属商，因悲甚则矢糟[3]阴缩，因悲而心不乐，水火俱离，神精丧亡矣。

思　虑

黄帝曰：外不劳形于事，内无思想之患，以恬愉为务，以自得为功，形体不弊，精神不散，可寿百数也。

庚桑楚曰：全汝形，抱汝生，无使汝思虑营营。

灵枢曰：思虑怵惕则伤神，神伤则恐惧，自失破慑脱肉，毛悴色夭。

书云：思忧过度，恐虑无时，郁而生涎，涎与气搏，升而不降，为忧、气、劳、思、

1　喜：此下脱字，道藏三元延寿参赞书作“摄”。
2　溃：道藏三元延寿参赞书作“溃”。
3　矢糟：道藏三元延寿参赞书作“失精”。

食五噎之病。

书云：思虑则心虚，外邪从之，喘而积气在中，时害于食。又云：思虑伤心，为吐衄，为发焦。

书云：谋为过当，食饮不敌，养生之大患也。诸葛亮遣使至司马营，懿不问戎事，但以饮食及事之繁简为问。使曰：诸葛公夙兴夜寐，罚二十以上皆亲览焉，饮食不数升。懿曰：孔明食少事繁，其能久乎？以后果然。

张承节云：劳，经言瘵证，有虫，患者相继，诚有[1]是理，只譬如俗谈不晓事人害相思病也。与一女人情密，忽经别离，念念不舍，失寐忘餐，便觉形容瘦悴，不偿所愿，竟为沉疴。

士人有观书忘食，一日有紫衣人立前曰：公不可久思，思则我死矣。问其何人，曰我谷神也。于是绝思而食如故。盖思则气结，候[2]热不散，久而气血俱虚，疾至夭枉也。

忧　　愁

灵枢曰：内伤于忧怒则气上逆，上逆则六输不通，温气不行，凝血蕴里不散，津液涩渗，著而不去，积遂成矣。

书云：忧伤肺气而不行。又云：遇事而忧不止，遂成肺劳，胸膈逆满，气从胸达背，隐痛不已。

书云：忧愁不解则伤意，恍惚不宁，四肢不耐。

书云：当食而忧，神为之惊，梦寐不安。

书云：女人忧思哭泣，令阴阳气结，月水时少时多，内热苦渴，色恶，肌体枯黑。

书云：深忧重恚，寝息失时，伤也。

惊　　恐

书云：因事而有大惊恐，不能自遣，胆气不壮，神魂不安，心虚烦闷，自汗体浮，饮食无味。

书云：恐惧不解则精伤，骨痿瘈疭，精时自下，五脏失守，阴虚气弱不耐。

书云：惊则心无所倚，神无所归，虑无所定，气乃乱矣。

书云：大恐伤肾，恐不除则志伤，恍惚不乐，非长生之道。

书云：惊恐忧思，内伤脏腑，气逆于上，则吐血也。

书云：恐则精却，却则上焦闭，闭则气逆，逆则下焦胀，气乃不行。有妇人累日不产，以坐草太早，恐懼气结而然，遂与紫苏药破气，方得下。

书云：临危冒险则魂飞，戏狂禽异兽则神恐。

淮南子曰：大怖生狂。

高逢辰表侄尝游惠山，暮归遇一巨人，醉卧寺门，惊悸不鲜[3]，自是便溺日五六十次。心小肠受盛府也，因惊而心火散失，心寒肾冷而然，其伤心伤肾之验欤。

有朝贵坐寺中，须臾雷击，坐后柱且碎，而神色不动。又有使高丽者，遇风樯折，舟人大恐，其人恬然读书，如在斋阁。苟非所守如此，则其为疾当如何耶？

憎　　爱

老子曰：甚爱必大费，多藏必厚亡，知足不辱，知止不殆，可以长久。甚爱[4]□费精神，甚爱财遇祸患，所忧[5]者少，所费者多，惟知足知止，则身可不辱而不危也，故可长久。

书云：憎爱损性伤神，心有所憎，不用深憎，常运心于物平等；心有所爱，不用深爱，如觉偏颇寻即改正，不然损性伤神。

书云：多好则专迷不理，多恶则憔悴无欢，戕生之斧也。

淮南子曰：好憎者使人心劳，弗疾去则志气日耗，所以不能终其寿。

视　　听

老子曰：五色令人目盲，五音令人耳聋。

---

① 诚有：道藏三元延寿参赞书作“决无”。
② 候：道藏三元延寿参赞书作“伏”。
③ 鲜：道藏三元延寿参赞书作“解”。
④ 爱：此下脱字，道藏三元延寿参赞书作“色”。
⑤ 忧：道藏三元延寿参赞书作“爱”。

彭祖曰：淫声耳[1]音，怡心悦哀[2]，以致荒耽之惑，知此可以长生。

孔子曰：非礼勿视，非礼勿听。

孟子曰：伯夷目不视恶色，耳不听恶声。

孙真人曰：生食五辛，接热食饮，极目远视，夜读注疏，久居烟火，博奕不休，饮酒不已，热餐面食，抄写多年，雕镂细巧，房室不节，泣泪过多，月下观书，夜视星月，刺[3]头出血多，日没后读书，数向日月轮看，极目瞻视，山川草木，驰骋田猎，冒涉风霜，迎风追兽，日夜不息，皆丧明之由，慎之。

书云：心之神发乎目，久视则伤心，肾之精发乎耳，久听则伤肾。

书云：耳耽淫声，目好美色，口嗜滋味，则五脏摇动而不定，血气流荡而不安，精神飞驰而不守，正气既散，邪淫之气，乘此生疾。

叙书云：久视日月星辰损目，路井莫顾损寿，故井及水渎勿塞，令人目盲耳聋，玩杀看斗则气结。

书云：五色皆损目，惟皂糊屏风，可养目力。

淮南子曰：五色乱目，使目不明；五声哗耳，使耳不聪。又曰：耳目曷能久熏劳而不息乎？

有年八十余，眸子瞭然，夜读蝇头字，云别无服药，但自小不食畜兽肝。人以本草羊肝明目而疑之。余曰：羊肝明目，性也。他肝不然，畜兽临宰之时，忿气聚于肝，肝主血，不宜于目，明矣。

疑　惑

书云：疑惑不已，心无所主，正气不行，外邪干之，失寐忘餐，沉沉默默，气血以虚，渐为虚劳。春秋秦侯有疾，秦医和视之曰：不可为也，疾如蛊。赵孟曰：何谓蛊？对曰：淫溺惑乱之所生也。于文血[4]虫为蛊，在易女惑男，风落山，谓之蛊。其卦巽下艮上，巽为长女为风，艮为少男为山，少男而悦，长女非匹，故惑山木得风而落也。

国史补云：常疑必为心疾。李蟠常疑遇毒锁井而饮，心灵府也，为外物所中，终身不痊，多疑惑，病之本也。

昔有饮广客酒者，壁有雕弓，影落杯中，客疑其蛇也。归而疾作，复再饮其地，始知其为弓也，遂愈。又僧入暗室踏破生茄，疑为物命，念念不释，中夜有叩门索命者，僧约明日荐拔，天明视之，茄也。疑之为害如此。

谈　笑

老子曰：塞其兑，闭其门，终身不勤，开其兑，济其事，终身不救。谓目不妄视，口不妄言，终身不勤苦。若目视情欲，又盖其事，则没身不可救矣。

书云：谈笑以惜精气为本，多笑则肾转腰疼。

书云：多笑则神伤，神伤则悒悒不乐，恍惚不宁。

书云：多笑则脏伤，脏伤则脐腹痛，久为气损。

真人云：人若不会将理者，只是多说话，戒多言损气以全其寿也。

书云：呼叫过常，辩争问答，冒犯寒暄，恣食咸苦，肺为之病矣。

书云：行语令人失气，语多须注乃语。

津　唾

真人曰：常习不唾地，盖口中津液，是金浆玉醴，能终日不唾，常含而咽之，令人精气常留，面目有光。

书云：养性者，唾不至远，远则精气俱损，久成肺病，手足重，皮毛粗涩，脊痛咳嗽。故曰：远唾不如近唾，近唾不如不唾。

书云：溢为醴泉，聚流为华池府，散为

1 耳：道藏三元延寿参赞书作“哀”。
2 哀：道藏三元延寿参赞书作“耳”。
3 刺：道藏三元延寿参赞书此下有“指”字。
4 血：道藏三元延寿参赞书作“皿”。

津液，降为甘露，溉脏润身，宣通百脉，化养万神，肢节毛发，坚固长春。

书云：人骨节中有涎，所以转动滑利。中风则涎上潮，咽喉衮响，以药压下，俾归骨节可也。若吐其涎，时间快意，枯人手足，纵活亦为废人。小儿惊风亦不可吐涎也。必用之书：风涎急塞则不拘此。有人喜唾，液乾而体枯，遇至人教以回津之法，久而体复润。盖人身以滋液为本，在皮为汗，在肉为血，在肾为精，在口为津，伏脾为痰，在眼为泪，曰汗、曰血、曰泪、曰精，出则皆不可回，惟津唾则独可回，回则生意又续续矣。滋液者，吾身之宝，金丹诀曰：宝聚则为富家翁，宝散则为孤贫客。

起　　居

广成子曰：无劳尔形，无摇尔精，乃可以长生。所谓无劳者，非若饱食，坐卧兀然不动，使经络不通，血气凝滞，但不必提重执轻，吃吃[1]终日，无致精力疲极则妙矣。

庄周曰：人有畏形恶迹而走，举足愈数而迹愈多，走愈疾而影不离身，自以为尚迟，疾走不休，绝力而死，不知处阴以休影，处静以息迹，遇亦甚矣。

书云：勇于敢则杀，勇于不敢则活。盖敢于有为即杀身，不敢有为则活其身也。

书云：起居不节，用力过度，则络脉伤，伤阳则衄，伤阴则不[2]。必用之书不作下。

书云：起居不时，饮食不节者，阴受之，而入五脏，填满拍塞，为飧泄，为肠癖；贼风虚邪者，阳受之，而入六腑，身热不得卧，上为喘呼。

书云：精者神之本，气者神之主，形者气之宅，神大用则歇，精大用则竭，气大劳则绝。

书云：甚劳则喘息汗出，损血耗气。

行　　立

书云：久行伤筋，劳于肝；久立伤骨，损于肾。

养生云：行不疾步，立不至疲，立勿背日。

书云：奔走及走马，大动其气，气逆于膈未散，而又饮水，水搏于气为上气。

书云：水有沙风处勿浴勿渡，当随牛马急渡之，不伤人。水中又有水弩射人影，即死，以物打水，令弩散，急渡吉。

书云：行汗勿跂床悬脚，久成血痹，足痛腰疼。

真人曰：夜行常啄齿，杀鬼邪。

沈存中笔谈草间有黄花蜘蛛名天蛇，遭其螫，仍濡露则病如癞，通身溃烂，露涉者，慎之。

书云：大雾不宜远行，行宜饮少酒以御雾瘴。昔有三人早行，一食粥而病；一空腹而死；一饮酒而健。酒能壮气辟雾瘴也。

坐　　卧

书云：久坐伤肉，久卧伤气，坐勿背日，勿当风湿，成劳。坐卧于冢墓之傍，精神自散。

书云：卧出而风吹之，血凝于肤为痹。凝脉为血行不利，凝于足为厥。

书云：灯烛而卧，神魂不安。卧宜侧身屈膝，不损心气，觉宜舒展，精神不散。舒卧招邪魅。孔子云：寐不尸[3]。

书云：卧不可戏将笔墨画其面，魂不归体。

书云：卧魇不语，是魂魄外游，为邪所执，宜暗唤，忌以火照，照则神魂不入，乃至死。于灯前魇者，本由明出，不忌火，并不宜近唤及急唤，亦喜失神魂也。

书云：卧习闭口，气不失，邪不入。若张口，久成消渴，失血色。又夜卧勿覆头，得长寿，濯足而卧，四肢无冷病。又醉卧当风，使人发喑，醉卧黍穰中，发疮患大风眉

① 吃吃：道藏三元延寿参赞书作“兀兀”。
② 不：道藏三元延寿参赞书作“下”。
③ 尸：道藏三元延寿参赞书作“言”。

堕，又雷鸣时仰卧星月下，裸卧当风中，醉卧以人扇之，皆不可也。

隐居云：卧处须当傍虚歇，烘焙衣衾，常损人。

书云：饱食即卧，久成气病，腰痛，百疴不消成积聚。

书云：汗出不可露卧及浴，使人身振，寒热，风疹。

书云：坐卧处有隙风，急避之，尤不宜体虚年老之人。有人三代不寿，问彭祖，祖观其寝处，果有一穴，当其脑户，令塞之，遂得寿。盖隙风入耳吹脑，则阳气散，头者诸阳所聚，以主生也。

沐浴洗面

书云：频沐者气壅于脑，滞于中，令形瘦体重，久而经络不通畅。

书云：女人月事来，不可洗头，或因感疾，终不可治。

书云：沐浴渍水而卧，积气在小腹与阴，成肾痹。

书云：频浴者，血凝而气散，体虽泽而气自损，故有痈疽之疾者，气不胜血，神不胜形也。

书云：时病新愈，冷水洗浴，损心胞。

书云：因汗入水，即成骨脾[1]。昔有名医，将入蜀，见负薪者，猛汗河浴，医曰：此人必死。随而救之，其人入店中，取大蒜细切，热面浇之，食之，汗出如雨。医曰：贫下人且茹[2]药，况富贵乎？遂不入蜀。

书云：盛暑冲热，冷水洗手，尚令五脏乾枯，况沐浴乎？

书云：远行触热，逢河勿洗面，生乌皯。

闲览云：目疾勿忌浴，令人目盲。白彦良壮岁常患赤目，道人曰：但能不沐头，则不病此。彦良记之，七十余，更无眼疾。

发　栉

真人曰：发多栉，去风明目，不死之安[3]，又曰头发梳百度。

陶隐居云：饱则入浴，饥则梳，梳多浴少益心目。故道家晨梳尝以百二十为数。

真人曰：发宜多栉，手宜在面，齿宜数叩，津宜常咽，气宜精炼。此五者所谓子欲不死终[4]昆仑耳。

安乐诗云：发是血之余，一日一次梳，通血脉，散风湿。

琐碎录云：乱发藏卧房壁中，久招不祥。

书云：发落饮食[5]成瘕。宋明帝宫人腰痛引心，发则气绝，徐文伯曰：发瘕也，以油灌之，吐物长二尺，头已成蛇，悬杆上，水沥尽，惟余一发。唐甄立言为太常丞有[6]□病，心腹满烦、弥痛，诊曰：误食发而然，令饵雄黄[7]，□□蛇如拇指无目，烧之，有[8]□气[9]，□头尾全，误食必然。

大　小　腑[10]

书云：忍尿不便，成五淋，膝冷成痹；忍大便，成五痔。

书云：努小便，足膝冷，呼气；努大便，腰痛目涩。

书云：或饮食，或走马，或疾走，或为寒热所迫，令胞转，脐下痛，胞屈辟，不小便致死。

书云：大小二事，勿强关抑忍，又勿失度，或涩或滑，皆伤气害生，为祸甚速。刘惟简至乾宁军，有人献金花丸以缩小便，药犯砒蜡，服三日，小便极少，至羁丹[11]，肢体通肿，盖被[12]闭却水道，水溢妄行，不遇卢扁，几为所误。盖水泉不止者，膀胱不藏也，宜服暖剂以摄水，其可强止之耶？

琐碎录云：对三光便溺，及向西北，并损人年寿。

1　脾：道藏三元延寿参赞书作“痹”。
2　茹：道藏三元延寿参赞书作“知”。
3　安：道藏三元延寿参赞书作“道也”。
4　终：道藏三元延寿参赞书作“修”。
5　食：道藏三元延寿参赞书此下有“中食之”三字。
6　有：此下脱字，道藏三元延寿参赞书作“人”。
7　黄：此下脱字，道藏三元延寿参赞书作“吐一”。
8　有：此下脱字，道藏三元延寿参赞书作“发”。
9　气：此下脱字，道藏三元延寿参赞书作“若”。
10　腑：道藏三元延寿参赞书作“便”。
11　羁丹：道藏三元延寿参赞书作“霸州”。
12　被：道藏三元延寿参赞书作“被”。

衣　著

书云：醉酒汗出脱衣靴韈，当风取凉成脚气。

书云：冬时绵衣毡褥之类，急寒急著，急换急脱。

陶隐居云：绵衣不用顿加添，稍暖又宜时暂脱。

琐碎录云：若要安乐，不脱不著，北方语也；若要安乐，头[1]脱头[2]著，南方语也。

四时调摄

内经曰：春三月，此谓发陈，夜卧早起，生而勿杀，逆之则伤肝，夏为寒变，奉长者少。

又曰：春伤于风，夏必飧泄。

书云：春夏之交，阴雨卑湿，或引饮过多，令犯风湿，自汗体重，转侧难，小便不利。作池[3]治，必不救，惟五苓散最佳。

内经曰：夏三月，此谓番秀，夜卧早起，使志无怒，使气得泄，逆之则伤心，秋为痎疟，奉收者少。

陶隐居云：四时惟夏难将息，伏阴在内腹冷滑，补肾汤剂不可无，食物稍冷休哺啜。书云：夏之一季，是人凝[4]神之时，心旺肾衰，化为水，至秋而蜕[5]，冬始坚，当不问老少，皆食暖物，则不患霍乱。腹暖，百病不作。

书云：夏冰止可隐映饮食，不可打碎食之，入腹冷热相搏成疾。

书云：夏至以后，迄秋分，须慎肥腻饼霍油酥之属，此物与酒浆瓜果极理相妨，所以多病者为此也。

陶隐居云：冷枕凉床心勿喜。凡枕冷物，大损目人[6]。

书云：夏不宜露卧，令皮肤厚成癣，或作面风。

书云：夏伤暑，秋痎疟，忽大寒，勿受之，患时病由此。

书云：暑月日丽处有石，不可便坐，热生疮，冷成疝。

书云：盛热滞汗当风，不宜过，自日中来，勿用冷水沃面，成目疾，伏热者，未得饮水，及以冷物迫之杀人。

书云：五六月泽中停水，多有鱼鳖精，饮之成瘕。

内经曰：秋三月，此谓容平，早卧早起，使志安宁，逆之则伤肺，冬为飧泄，奉藏者少。

书云：秋伤于湿，上逆而咳，发为痿厥，又立秋日勿浴，令皮肤粗燥，因生白屑，又八月一日后，微火暖足，勿令下冷。

内经曰：冬三月，此谓闭藏，水冰地折[7]，无扰乎阳，早晚卧起，必待日光，去寒就温，毋泄皮肤，逆之伤肾，春为痿厥，奉生者少。

书云：冬时忽大热，勿受之，患时病由此。又曰：冬伤于寒，春必病瘟。

书云：冬时天地闭，血气藏，作劳不宜汗出，冷背。

书云：冬寒虽近火，不可令火气聚，不须于火上烘炙，若炙手暖则已，不已损血，令五心热。手足应于心也。

书云：大雪中跣足，人不可便以热汤洗，或随饮热酒，足趾随堕，又触寒来，寒未解，勿便饮汤食热物。

四气调神论曰：夫四时阴阳者，万物之根本也，所以圣人春夏养阳，秋冬养阴，与万物沉浮于生长之门，逆其根则伐其本，坏其真矣。故阴阳四时者，万物之终始，死生之本也。逆之则灾害生，从之则苛疾不起者，谓得道。故天真论曰：有贤人者，逆从阴阳，分别四时，将从上古，合同于道，亦可使益寿而有极时也。

1　头：道藏三元延寿参赞书作“颊”。
2　头：道藏三元延寿参赞书作“颊”。
3　池：道藏三元延寿参赞书作“他”
4　凝：道藏三元延寿参赞书作“蜕”。
5　蜕：道藏三元延寿参赞书作“凝”。
6　大损目人：道藏三元延寿参赞书作“大损人目”
7　折：道藏三元延寿参赞书作“坼”。

人元之寿饮食有度者得之

黄帝内经曰：阴之所生，本在五味，阴之五宫，伤在五味。扁鹊曰：安身之本，必资于食，不知食宜[1]者不足以存生，乡党一篇，具载圣人饮食之节为甚详，后之人奔走于名利，而饥饱失宜，沉酣于富贵，而肥甘之是务，不须四时，不和五味，而疾生焉，戒乎！此则人元之寿可得矣。

五　味

内经曰：谨和五味，骨正筋柔，气血以流，腠理以密，长有天命。

淮南子曰：五味乱口，使口爽伤病也。

陶隐居云：五味偏多不益人，恐随脏腑成殃咎。五味稍薄，令人神爽，若稍偏多，损伤脏腑，此五行自然之理，初则不觉，久当为患也。酸多伤脾，肉腠而唇竭[2]，故春七十二日，省酸增甘以养脾气。曲有作酸属木，脾主肉属土，木克土也。

醋过食，损胃气，及肌藏筋骨不益，男子损颜色；不与蛤同食，相背也。有云饮少热醋，辟寒胜酒。黄帝云：自幼不食醋，今齐八十，尤能传神。

又心色赤，宜食酸，小豆犬肉李韭皆酸。

咸多伤心，血凝泣而变色，故冬五[3]十二日，省咸增苦，以养心气。润下作咸属水，心主血属火，水克火也。

盐过于咸则伤肺，肤黑损筋力，西北人食而[4]耐咸多寿，东南人食绝欲咸少寿，病咳[5]及水气者，全宜禁之。晋桃源避世之人，盐味不通多寿，后五味通而寿矣斋[6]。

又脾色黄宜食咸，大豆豕肉栗藿皆咸。

甘多伤肾，骨痛齿落，故季月各十八日，省甘增咸，以养肾气。稼穑作甘属土，肾主骨属水，土克水也。

蜜饧沙糖各见本条。

又肝色青，宜食甘，粳米牛肉枣葵皆甘。

苦多伤肺，皮槁而毛落，故夏七十二日，省苦增辛，以养肺气。炎上作苦属火，肺主皮毛属金，火克金也。胆柏皮等。

又肺色白，宜食苦，麦羊肉杏薤皆苦。

辛多伤肝，筋急而爪枯，故秋七十二日，省辛增酸，以养肝气。从革作辛属金，肝主筋属木，金克木也。

胡椒和气，过多损肺，令吐血。

红椒久食失明乏气，合口者害人，十月勿食椒，损人心血，伤血脉，多忘除湿，温中益妇人。

又肾色黑，宜食辛，黄黍鸡肉桃葱皆辛。

饮　食

书云：善养性者，先渴而饮，不过多，多则损气，渴则伤血；先饥而食，食不过饱，饱则伤神，饥则伤胃。

书云：饮食务取益人者，仍节俭为佳，若过多觉彭亨短气，便成疾。

书云：饮食于露，天飞丝堕，其中食之，咽喉生泡。

书云：饮食器收[7]中，宜下小而上大，若覆之不密，虫鼠欲盗，食而不可环器堕涎，食者得黄病，通身如蜡，针药不疗。

书云：饮食以铜器盖之，汗若入内食者，发恶疮肉疽。

书云：饮食生冷，北人土厚深水[8]，禀赋坚实，不损脾胃，久居南方者，宜忌之。南人土薄水浅，禀赋多虚，不宜脾胃，久居北方者，尤宜忌之。

书云：饮食上蜂行住，或猫犬哜破之水生疮。

书云：空心茶宜戒，卯时酒、申后饭宜少。

书云：极饥面[9]食，且过饱，结积聚。

---

1. 宜：道藏三元延寿参赞书作“宜”。
2. 竭：道藏三元延寿参赞书作“揭”。
3. 五：道藏三元延寿参赞书作“七”。
4. 而：道藏三元延寿参赞书作“不”。
5. 咳：道藏三元延寿参赞书作“嗽”。
6. 矣斋：道藏三元延寿参赞书作“斋矣”。
7. 器收：道藏三元延寿参赞书作“收器”。
8. 深水：道藏三元延寿参赞书作“水深”。
9. 面：道藏三元延寿参赞书作“而”。

极渴而饮，且过多，成痰癖。日没后食讫便未须饮酒，不乾呕。太宗谓宰相曰：朕每日所为，自有常节，饮食不过度，行之已久，甚觉有力。老子云：我命在我不在天，全在人之调适，卿等亦当加意，毋自轻摄养也。

陶隐居云：何必餐霞服大药，妄意延年等龟鹤，但于饮食嗜欲中，去其甚者将安乐。

浆水，按本草味甘酸，微温无毒，调中引气，开胃止渴，强力通关，治霍乱泻痢，消宿食，解烦去睡，调理脏腑，治呕哕，白人肤体如缯帛，为人常用，故不齿其功。世之所用熟水，品目甚多，贵如沉香则燥脾，水骨草则涩气，蜜香则冷胃，麦门冬则体寒，如此之类，皆有所损。

紫苏汤今人朝暮食之，无益也。芳草致豪贵之疾，此有一焉。宋仁宗命翰林院定热水，奏曰紫苏第一，沉香第二，麦门冬第三，以苏能下胸膈浮气，殊不知久则泄人真气，令人不觉。

本草云：酒饮之，体软神昏，是其有毒也，损益兼行。

扁鹊云：久饮常过，腐肠烂胃，溃髓蒸筋，伤神损寿。有客访周颉，颉出美酒两石，颉饮石二，客饮八斗。次明，颉无所苦，酒量贯也，客已死矣。观之，客肠已出，胁已穿，岂非量过而犯扁鹊之戒欤？饮白酒，食牛肉，生虫。酒浆照人无影不可饮，不可合乳汗[1]饮，令人气结。祭酒自耗者杀人，酒后食芥辣物，多则缓人筋骨，卧黍穰食猪肉患大风。凡中药毒及一切毒，从酒得者难治。酒性行血脉，流遍身体也。

书云：饮酒醉未醒，大渴饮冷水，又当[2]茶被酒引入肾脏，为停毒之水，腰脚重腿，膀胱冷痛，兼患水肿，消渴挛痹。

书云：酒醉当风，以扇扇之，恶风成紫癜。又醉酒吐罢便饮水作消渴。神仙不禁酒，以能行气壮神，然不过饮也。

本草茶饮者，宜热宜少，不饮尤佳。久食去人脂，令人瘦，下焦虚冷。惟饱食后一二盏，不妨消渴也，饥则尤不宜。令人不眠，同韭食身重。

书云：将盐点茶，引贼入家，恐伤肾也。

东坡茶说，除烦去腻，世固不可无茶，然暗中损人不少。吾有一法，常自修之，辄以浓茶漱口，于食后，烦腻既去而脾胃不知。凡肉之在齿者，得茶漱涤，乃不觉脱去，不烦挑剔也。盖齿性便苦，缘此渐坚牢，而齿蠹且日去矣。

书云：饮多则肺布叶举，气逆上奔。

书云：阴池流泉，六月行路勿饮之，发疟。

书云：饮宴于圣像之侧，魂魄不安。

书云：饮水勿急咽，久成气病。

书云：形寒饮冷则伤肺，上气咳嗽，鼻鸣。

书云：粥后饮白汤，为淋为停湿。

陶隐居云：食戒欲粗并欲速，宁可少餐相接续，莫教一食顿充肠，损气伤心非尔福。

养生云：美食须熟嚼，生肉不须吞。

又云：食毕漱口数过，齿不踽，口不臭。漱口忌热汤，损牙。

又云：食炙爆宜待冷，不然，伤血脉损齿。

书云：食茅屋漏水堕脯肉成黦瘕，生恶疮。

书云：人汗入肉，食之作疔疮。

书云：食诸兽自死肉，生疔疮。

隐居云：生冷粘腻筋韧物，自死生[3]牢皆勿食，馒头闭气莫过多，生脍偏招脾胃疾，鲊酱胎卵[4]兼油腻，陈臭淹藏尽阴类。老人朝暮更餐之，是借寇兵无以异。琐碎录云：馒头闭气，梅血汤以破之，包子包气，好醋以破之。

书云：食物以象牙、金铜为匙筯，可以试毒。

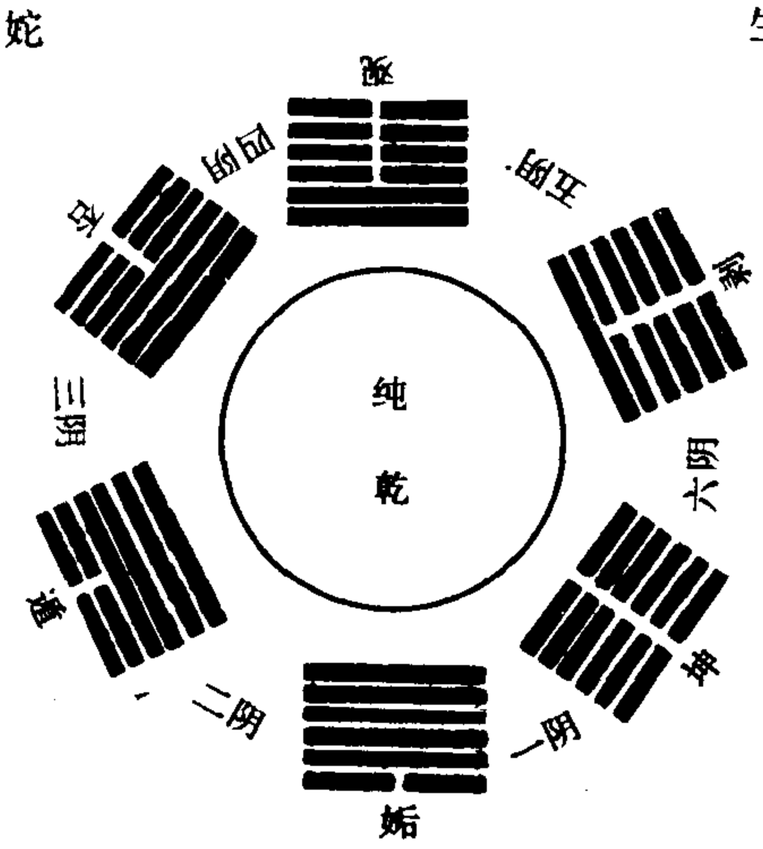
书云：食物以鱼鱿器盛之，有蛊毒，辄裂破。入闽[5]者宜审之。

书云：夜半之食宜戒，申酉前晚食为宜。

---

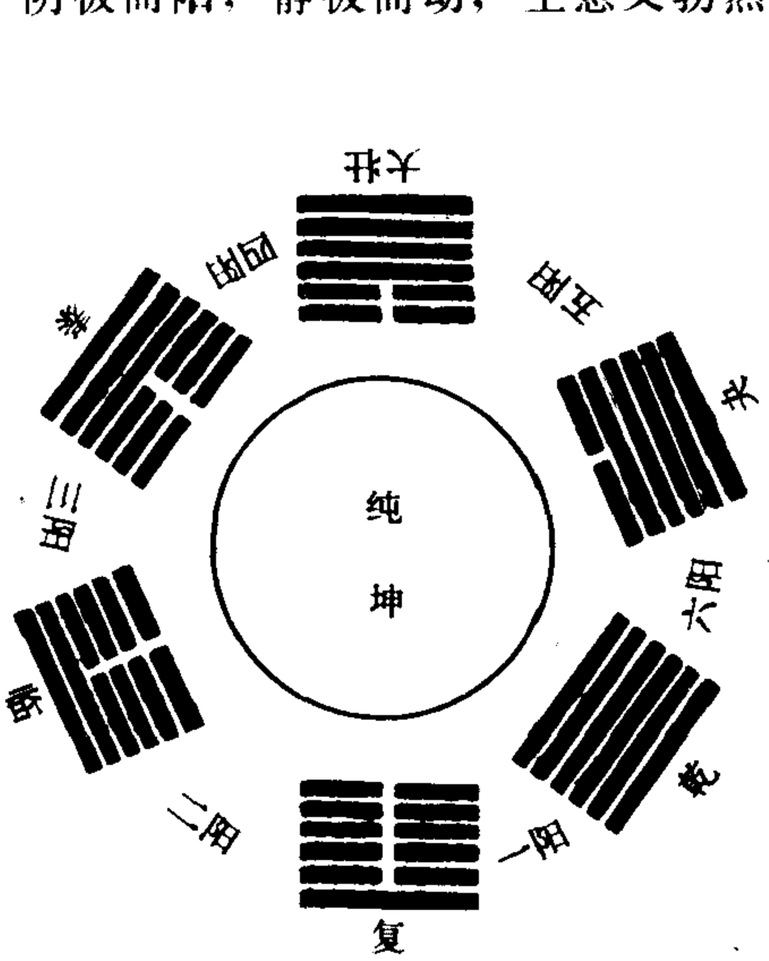
(1) 汗：道藏三元延寿参赞书作“汁”。
(2) 当：道藏三元延寿参赞书作“饮”。
(3) 生：道藏三元延寿参赞书作“牲”。
(4) 卵：道藏三元延寿参赞书作“卵”。
(5) 闽：道藏三元延寿参赞书作“闽”。

周礼乐以消食。盖脾喜音声，夜食则脾不磨，为音响绝也。夏月夜短，尤宜忌之。



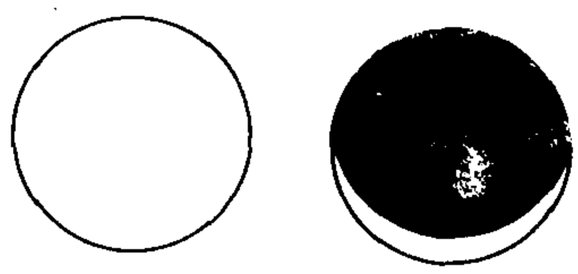
女　　阴

乾阳刚也，生意本具，一旦为阴柔乘之，为姤为遁，为否为观为剥，剥极而为坤。坤纯阴也，阴极则主杀矣。苟知所复则硕果不食，阴极而阳，静极而动，生意又勃然矣。



儿　　阳

坤阴也，阴极阳复，阴人欲也，阳天理也，以理制欲，于是阳长阴消，患迷复耳。苟不迷焉复而临，临而泰，泰而大壮，大壮而夬夬决也，决则纯乾，可复行天之健，与天同寿矣。



道心泯而火[1]心胜，则自望至晦之月也。人欲尽而天理还，则自旦至望之月也。

神仙警世

黄帝问气之盛衰，岐伯对曰，人生十岁，五脏始定，血气通，真气在下，好走；二十岁，血气始盛，肌肉方长，好趋；三十岁，五脏大定，肌肉坚固，血脉盛满，好步；四十岁，脏腑十二筋脉皆大盛，以平定，腠理始疏，荣华颓落，发颇班白，平盛不摇，好坐；五十岁，肝气始衰，肝叶始薄，胆汁始灭，目始不明；六十岁，心气始衰，善忧悲，血气懈惰，好卧；七十岁，脾气虚，皮肤枯；八十岁，肺气衰，魄离，故言善悟；九十岁，肾气焦，四脏经脉虚；百岁，五脏皆虚，神气乃去，形骸独居。

经曰：人年四十，阴气倍，五十肝气衰，六十筋不能动，精气少，须当自慎自戒，少知调和摄养，宁不为养生之本。七十以上，宜取性自养，不可劳心苦形，冒寒暑。若能须四时运气之和，自然康健延年，苟求贪得，尚如壮岁，不知其可。

洞神真经曰：养生以不损为延年之术，不损以有补为卫生之经，居安虑危，防未萌也。不以小恶为无害而不去，不以小善为无益而不为，虽少年致损，气弱体枯，及晚景待[2]悟，防患补益气血有余而神自足矣，自然长生也。

1　火：道藏三元延寿参赞书作“人”。
2　待：道藏三元延寿参赞书作“得”。

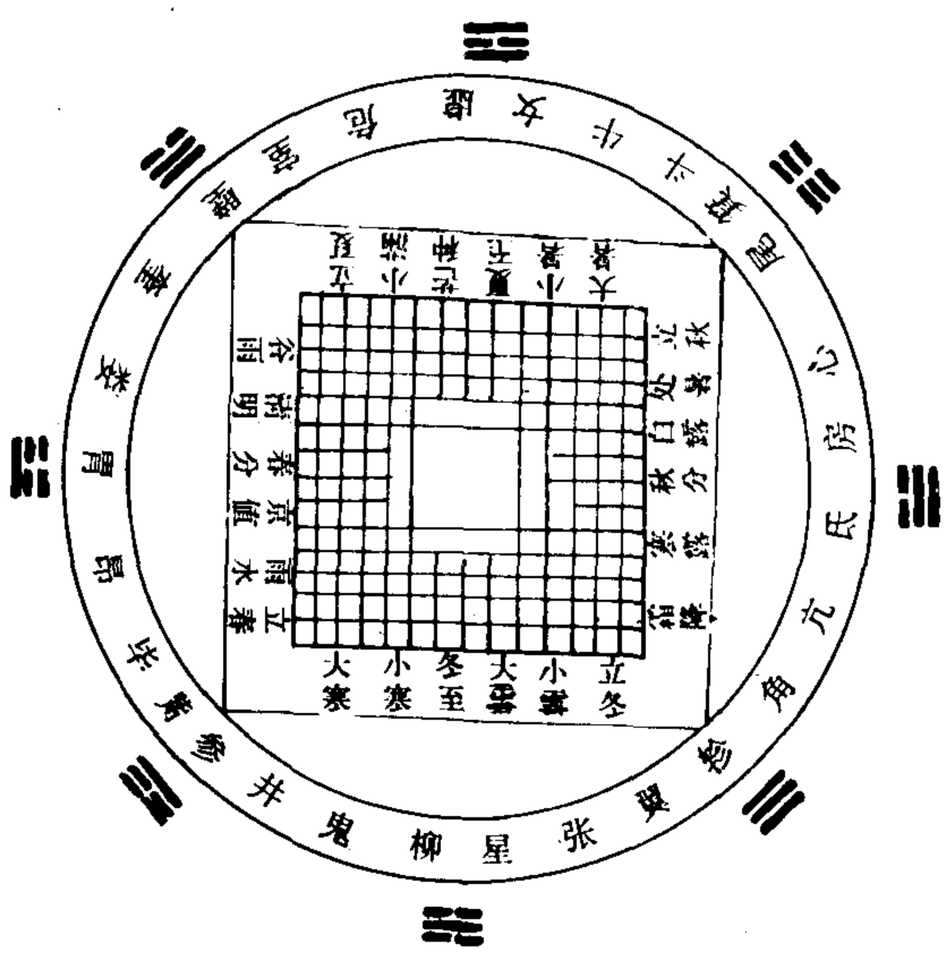
阴德延寿论

一念所觉，固所以得三元之寿考，一德之修，又所以培三元之寿脉甚矣，念之不可以不觉，而德之不可以不修也。老子曰：我命在我不在天。紫阳真人曰：大药修之有易难，也须由我也由天，若非积行施阴德，动有群魔作障缘。是可以自信矣。道人郭太史，精于谈天者也，应天有书，后之星翁椎步必来取法，曰五行四柱，曰星辰运限，如是而富贵寿考，如是贫贱疾苦，如是而凶恶夭折，若镜烛影，若契合符，世之人似不能逃其数者。及其究也，合于书者固多，其不合者亦不少，是何欤？岂人生宇宙间，或囿于数，或不囿于数欤？盖尝考之，其推玄究微，既条列于前，至其后，则曰阴功，可延其寿，吉人依旧无凶，又曰随时应物行方，便纵犯凶星，亦不虞，是必有见矣，不然，寿夭休论命，修行本在人，孙思邈何以有此言欤？太极真人徐来勒，尝遇南斗寿星，问寿夭吉凶之事，星君曰：天道福善祸淫，神明赏善罚逆，人能刻意为善，静与道合，动与福会，如此则我命在我，不为司杀所执，不求寿而自寿，不求生而自生。苟或堕纲纪，违天地，肆愚悖，侮神明，背仁慈，亏忠孝，明则刑纲理之，幽则鬼神诛之，是不知所积，冥冥中夺其算而夭其寿者矣。阴德如于公治狱，子为丞相，徐乡积善，衮衮公侯，在所不论。昔比丘得六神通，与一沙弥同处林野，比丘知沙弥七日当死，因曰父母思汝，可暂归，八日复来，沙弥八日果来，比丘怪之，入三昧察其事，乃沙弥于归路中，脱袈裟壅水，令不得入蚁穴，得延寿一纪。叔孙敖儿时见两头蛇，恐他人又见，杀而埋之。母曰，吾闻有阴德者，天报之福，汝不死也，后为楚令尹。窦禹钧夜梦祖父谓曰，汝年过无子，又寿不永，当早修阴德，禹钧自是修德罔倦，后又梦其祖父与曰，天以汝阴德，故延寿三纪，赐五子荣显，后居洞天之位，范仲淹为之记。由是观之，三元寿考，固得于一念之觉，三元寿脉，又在于一德之修也。或曰：阴德曷从而修之？曰：凡可修者，不以富贵贫贱拘，亦不在勉强其所为，但于水火盗贼，饥寒疾苦，刑狱逼迫，逆旅狼狈，险阻艰难，至于飞潜动植于力到处种种方便，则阴德无限量而受报如之矣，善乎西山之记曰：遇至人得真法，虽云修养所至，是亦阴德之报也，此予所以于参赞书后，复作论曰阴德延寿。

函三为一歌 并图

天地人三元，每元六十年，三六百八十，此寿得于天，天本全付与，于人或自偏，全之有其法，奈何世罕传？函三为一图，妙探太极先，外圜而内方，一坤与一乾，定体嶷坤象，妙用周乾圜，寿年在其间，得之本自然，一岁加一点，渐比乔彭肩，末悟参赞法，所点恐莫全，此书神仙诀，识者作寿仙，颜朱发长绿，髓满骨且坚，岂特点尽图，天地相周旋。

疆无地应健之天行



王氏集验方

医　　说

夫天之生人也，必使之有业，以为养生之道，士农工贾，各攻乃业，以养其生，然犹得子孙能绍箕裘之业者，以副祖宗父母之望也。其为医者尤难，先当读书，明性理，性理明则所遇无不通矣。至于五运六气、五行生克、阴阳消长之道，日月亏盈之理，山川风土之异，金石草木之性，昆虫禽鱼之别，寒暑燥湿之候，悉宜该贯，苟不通于医经，达于药性，匕剂一差，则病者毋望生全矣。上则获戾天地神明，下则负媿祖父，亦且不能扬名当世，遂失其养生之道矣。王太仆云：天真气运，尚未开通，人病之由，岂能洞达？通真子云：人身大抵同天地，亦有阴阳及五行。此其说也，虽至佛老之书，亦须究竟。盖老氏以清净为宗，恬淡为本，故能澄心寡欲，修已治人，丹灶药炉，皆卫生之道也。释氏以慈悲为本，忍辱为先，故能去贪嗔痴，救诸苦厄，为世之大医王也。既为医士，亦当慈忍，专以济人为念，毋以规利为心，自有神明为之阴相。医圣药灵，功效著见，福及后昆，易不云乎？积善之家，必有余庆，凡能积德厚施者，子孙必然昌炽。子孙复能继承，遵而行之，则绵绵绳绳，福禄之来，未之艾也。一或子弟不肖，骄奢驰骋，恃富欺贫，则损德污行，有辜前修，遗殃后裔，不能振隆，代复一代，衰微漂没，可不惧哉！近见同流，不知己学浅深，才到病家，便言前医处方用药之非，毁人誉己，昂昂楚楚，自以为能。至于疗治之间，冷热虚实之不知，阴阳转变之未识，故病未已，新病复起，驾言有崇，恐吓病家，乘危索价，方肯用药，以致病家惊惶，求神祭鬼，告斗禳星，不较其费，伐人天和，荡人财物，其与挟梃杀人，何以异也。原其初也，不过规其厚利而已，殊不知此得不多，而彼丧已甚，要其终也，财利悉归僧道巫觋之手，徒起不臧之心，遽失济人之道。医者，司命之士，生死系焉。固当研精术业，稽考方书，极膏于膏肓之间，用情于死生之际，贫不倦医，富毋苟取，以仁慈为心，以精勤为务，必求其不负天地神明祖宗父母而后已。为此说者，非矜己能，亦欲自警，仍愿同志之士，共推恻隐之心，思济斯民，使八荒一云，同跻仁寿之域云。

寿亲养老书

太上玉轴六字气诀 黄庭山人邹应博述

道藏有玉轴经，言五脏六腑之气，因五吐[1]薰灼不和，又六欲七情，积久生病，内伤脏腑，外攻九窍，以至百骸受病，轻则痼癖，甚则盲废，又重则丧亡，故太上悯之，以六字气诀，治五脏六腑之病。其法：以呼而自泻出脏腑之毒气，以吸而自采天地之清气，以补之，当日小验，旬日大验，年后万病不生，延年益算。卫生之宝，非人勿传，呼有六，曰呵、呼、呬、嘘、嘻、吹也。吸则一而已。呼有六者，以呵字治心气，以呼字治脾气，以呬字治肺气，以嘘字治肝气，以嘻字治胆气，以吹字治肾气。此六字气诀，分主五脏六腑也。凡天地之气，自子至巳为六阳时，自午至亥为六阴时，如阳时则对东方，勿尽闭窗户，然忌风入，乃解带正坐，叩齿三十六，以定神，先搅口中浊津，漱炼二三百下，候口中成清水，即低头向左而咽

1　吐：寿亲养老新书作“味”。

之，以意送下，候汩汩至腹间，即低头开口，先念呵字，以吐心中毒气，念时耳不得闻呵字声，闻即气粗及损心气也。念毕，仰头闭口，以鼻徐徐吸天地之清气，以补心气。吸时耳亦不得闻吸声，闻即气粗，亦损心气也。但呵时令短，吸时令长，即吐少纳多也。气讫即又低头，念呵字，耳复不得闻呵字声，呵讫，又仰头以鼻徐徐吸清气以补心，亦不可闻吸声，如此吸者六次，即心之毒气渐散，又以天地之清气补之，心之元气亦渐复矣。再又依此式念呼字，耳亦不可闻呼声，又吸以补脾耳，亦不可闻吸声，如此者六，所以散脾毒而补脾元也。次又念呬字，以泻肺毒，以吸而补肺元，亦须六次，次念嘘字，以泻肝毒，以吸而补肝元，嘻以泻胆毒，吸以补胆元，吹以泻肾毒，吸以补肾元，如此者并各六次，是谓小周。小周者，六六三十六也。三十六而六气遍，脏腑之毒气渐消，病根渐除，祖气渐完矣。次看是何脏腑受病，如眼病即又念嘘嘻二字，各十八遍，仍每次以吸补之，总之为三十六讫，是为中周。中周者，第二次三十六，通为七十二也。次又再依前呵、吹、呬、嘘、嘻、呼六字法，各为六次，并须呼以泻之，吸以补之，愈当精虔不可废怠，此第三次三十六也，是为大周，即总之为一百单八次，是谓百八诀也。午时属阴时有病，即对南方为之，南方属火，所以却阴毒也，然又不若子后巳前面东之为阳时也。如早起床上面东，将六字各为六次，是为小周，亦可治眼病也。凡眼中诸证，惟此诀能去之。他病亦然，神乎！神乎！此太上之慈旨也，略见玉轴真经，而详则得之师授也。如病者重，每字作五十次，凡三百，而六腑周矣，乃漱炼咽液，叩齿讫，复为之又三百次讫，复漱咽液叩齿如初，如此者三，即通为九百次，无病不愈，秘之秘之，非人勿传。

四时摄养论中有云，春肝气盛者，调嘘气以利之；夏心气盛者，调呵气以疏之；秋肺气盛者，调呬气以泄之；冬肾气盛者，调吹气以平之。但言调此四气，而书中未详，及四气之诀，今举曾叔祖朴庵炎詹集中玉轴六气全文以明之。黄玉窗云：爱山袁倅得朴庵亲传，每日子午卯酉四时，行持六字，密室中竹簾布帷，隔风为上，亦尝得爱山亲授口诀云。

保　养

安乐之道，惟善保养者得之，孟子曰：我善养吾浩然之气。太乙真人曰：一者少言语养内气，二者戒色欲养精气，三者薄滋味养血气，四者咽精液养脏气，五者莫嗔怒养肝气，六者美饮食养胃气，七者少思虑养心气。人由气生，气由神住，养气全神，可得真道。凡在万形之中所保者，莫先于元气，摄养之道，莫若守中实内，以陶和将护之，方须在闲日，安不忘危，圣人预戒，老人尤不可不慎也。春秋冬夏，四时阴阳，生病起于过用。五脏受气，盖有常分，不适其性，而强云为用之过耗，是以病生。善养生者，保守真元，外邪客气，不得而干之。至于药多，往往招徕真气之药少，攻伐和气之药多，故善服药者，不如善保养。康节先生诗云：爽口物多终作疾，快心事过必为殃，知君病后能服药，不若病前能自防。郭康伯遇神人授一保身卫生之术云：但有四句偈，须是在处授持。渴[1]云：自身有病自心知，身病还将心自医，心境静时身亦静，心生还是病生时。郭信用其言，知自护爱，康强倍常，年几百岁。

事林广记

修真旨要

---

[1] 渴：寿亲养老新书作“偈”。

旬沐五浴

西山记曰：沐用旬，浴用五。夫五则五气流传，浴之荣卫通畅，旬则数满复还，真气在脑，沐之则耳目聪明。若频频浴者，血凝而气散，虽肌体光泽而气自损，故有痈疽之疾者；气不胜血，神不胜形也。若频频沐者，气壅于脑，滞丁中，令人体重形疲，久而经络不能通畅，故古人以阳养阳，阳不耗散，以阴炼阳，阳必损弱。

防患补益

洞神真经曰：养生以不损为延命之术，不损以有补为卫生之经，居安虑危，防未萌也。不以小恶为无害而不去，不以小善为无益而不为。起卧有四时之早晚，行止有至和之常制，谓和筋脉有偃仰之方，养正除邪有吐纳之术，流行荣卫有补泻之法，节宣劳逸有予夺之要，忍怒以全阴气，抑喜以养阳气，以清虚去其狂虑，以安闲养其真性，淡然无欲，了然无为，处乎寂寞之境，自得希夷之趣，虽少年致损，气弱体祐，及晚景得悟，防患补益，气自有余，气既有余，则神足矣，自然长生久视也。

避忌之要

庚申论曰：古人多尽天数，今大不终天年何？则以其罔知避慎，肆情恣欲，酣酒淫色，暗犯天地，禁忌阴司，减其算龄，能及百岁者，几何人哉！夫道家立言垂训，必欲人共归于长生之域，岂区区特为是说，取诬于后世耶？喘欲使人知有避慎，动静适宜有永斯寿而后已。保命诀之所载，以常岁五月五日、六日、七日、十五日、十六日、十七日，二十五、二十六、二十七为九毒日，犯之者远不过三年。今人以是月而斋戒者，信有为也。又云庚申、甲子、元辰及九毒日犯之者，各减二年之寿，朔日减纪，望日减十年，三元日减五年，二立、二分、二至、二社各减四年，三伏与晦日各减一年。以上日辰以所为犯之者，尚或乃尔，况复以其日呼迎会聚而讲婚姻之礼乎?是决不可用之日也。及夫日辰，如遇天火狼藉，天罡河魁长短星，九丑招摇，阴阳错绝，孤阴孤阳，往亡归忌，孤神寡宿，五离白虎，月建月破，亥日及外有所谓土鬼暗金伏断等日，皆日之至凶者，又岂可不并与重避而加慎之。

养寿之道

西山记曰：虽知养生之理，不悟修行之法，则生亦不长；虽知修炼之方，不知养寿之道，则修亦无验。故养寿者，每以禁忌而防其祸，行不多言，恐神散而损气；睡不张口，恐气泄而损神，临危登峻则魂飞，玩杀看斗则气结，吊死问病则喜神自散，卧湿当风则真气自弱。古广凶祠不可入，入则神惊，狂禽异兽不可戏，戏则神恐。对三光濡溺则折人年寿，负四重深恩则减人大数。饮宴于圣像之侧，魂魄不安；坐卧于冢墓之间，精神自散。枯木大树之下不可息，防阴气触人阳神；深水大泽之中不可渡，恐寒气逼人真气。异众花卉莫折，防招妖怪入室；非时果实勿食，防带邪气入腹。妄言绮语，非患难不可频说，说之减人正寿；肥甘醇酒，非会合不可频饮，饮之除人本禄。负德忘恩必招祸应，轻财毁物，自无福生。大山勿深入，入之则凶，美物勿酷爱，爱之不吉。损人伤物，以冤报冤，嫉贤妒能，以怨报怨，虚传妄忧，慢友轻师，此类若有触犯，虽得正诀，大道未成，先除其寿。其养寿者，以法修其内，以理验其外，内修则闭精养气，安魂清神，形神俱妙，与天地齐年，验外则救贫济苦，慈物利人，孝于家，忠于国，顺于上，悯于下，害不就利，忙不求闲，凡以方便为心，勿以人我介意，方可奉道，当遇至人，自得真法，必速圆成，虽云修养所致，是亦阴德之报应也。

孙真人枕上记

侵晨一碗粥，晚饭莫教足，撞动景阳钟，叩齿三十六。大寒与大热，且莫贪色欲，醉饱莫行房，五脏皆翻覆，火艾谩烧身，争如独自宿。坐卧莫当风，频于暖处浴。食饱行

百步，常以手摩腹。莫食无鳞鱼，诸般禽兽肉，自死禽与兽，食之多命促。土木为形像，求之有恩福。父精母生肉，那忍分南北，惜命惜身人，六白光如玉。

吕真人安乐法

昂头仰托顺三焦，左肝右肺如射雕，东脾草[1]托兼西胃，五劳回顾七伤调，鳣鱼摆尾通心气，两手搬脚定于腰，大小朝天安五脏，漱津咽纳指双挑。

修炼要诀

黄庭序曰：夫天主阳，食人以五气，地主阴，食人以五味，相感结为五脏之气，散入四肢十三部，三百六十关节，引为筋脉津液血髓，蕴成六腑三焦十二经，通为九窍。故五脏者为人形之主，一脏损则百病生，五脏损则形灭。若能依图修养，然后坚强，内受腥腐，诸毒不能侵，外遭疾病，诸气不能损，聪明纯粹，却老延年，日月精光，来附我身，四时六气，来合我体，把握阴阳，呼吸精神，不假金丹玉粒，自然五脏之气，结五云而入天中，千变万化，驭飞轮而适意。不悟者劳苦外求，实非知生之道也。太中戊辰太白山见素女子胡愔撰。

神仙纪事

释言曰：老而不死曰仙。庄子黄帝问广成子曰：治身何可以长久？曰：无视无听，抱神以静，形将自正，必静必清，无劳尔形，无摇尔精，乃可长生，入无穷之门，游无极之野，与日月参光，与天地为常，人尽死而我独存矣。

何俟升天

何俟者，慕长生三百余口，尧时隐苍梧山，舜南狩，止何俟家，天帝五老来谓舜曰：升举有期。翌日五帝迎舜，白日升天，五帝以药一器与何俟，使投酒中，一家三百余口饮不竭，余酒洒屋宇，拔宅上升，今九嶷山有庙在舜庙侧一。

许真君拔宅

许真君名逊，汝南人，祖琰父肃，世慕道，真君为旌阳县令，弃官入道，道成，晋元康二年八月十五日，玉真飞仙去，乘云轿以诣天尊之所。

兄弟登仙

郭四朝，燕人，兄弟四人，往茅山学道，并得仙。四朝是长兄，司三官六年无违，迁九宫左仙翁，领玉台执盖侍郎，今茅山下有地名曰郭千者，是四朝住宅，使人种植处，登仙后，复忆旧居，时来宴朋友。

匡俗、周武时人，兄弟七人，皆有道术，结庐于此中，后得仙去，空庐尚在，故曰庐山。汉武帝封匡俗为大明君，又称庐山君，以上上篇，推乐净信，一事见定志经，余按搜仙记，撮其珠异。以示修真之士。

姊妹仙官

西王母神仙书，姊何氏，字婉妗，一号太虚。九光龟台金母第三女，字容真，为南极元君，紫微夫人，治长离山大丹宫。第十三女，媚兰，字中林，云林右英夫人，治沧浪山云林宫。第二十女，名青娥，字愈音，升为紫微，左宫夫人，治玄垄山。第二十二女，名瑶姬，为云上华宫夫人，理玉英台，曾游巫山。小女玉真夫人，降嫔玄都大真王，王母使事刘广，于席间所得手巾，乃是火浣布。

道士预知

道士王远知，师梁陶先生，传符录，大宗潜龙时，与房玄龄往谒，远知指秦王，即太宗也。曰：上应天命，下济苍生。指玄龄曰：圣君之辅也。寻入少室山，年一百二十六岁，临终谓子绍业曰：汝年六十五，当谒金阙圣后，七十当逢玄女神君。绍业以其言奏之，至年六十五，遇高宗垂拱，初年七十，遇天后临朝召见，加赠远知金紫光禄大夫，其预知如此。唐书。

---

1 草：按文意应作“单”。

山居四要

摄生之要

起居格言

东方之域，海滨傍水，民食鱼而嗜盐，鱼热中，盐胜血，故多病痈疡，治宜砭石。西方金玉，沙石之域，木土刚强，民华实而脂肥，邪不能伤其形体，病多生于内，内谓喜怒悲忧、饮食男女之过。治宜毒药。南方水土弱，霜露所聚，民嗜酸而食腊，不考香食过也。病多挛痹，治宜微针。北方天地闭藏之域，民野处而乳食，藏寒多满病，治宜灸焫。中央地平以湿，民食杂而不劳，故多病痿厥寒热，治宜引导按跃。春宜夜卧早起，广步被发，以使志生，逆之则伤肝，夏为寒变。夏宜夜卧早起，无厌于日，使志无怒，而气得泄，逆之则伤心，秋为痎疟。秋宜早卧早起，与鸡俱兴，使志安宁，收敛神气，逆之则伤肺，冬为飧泄。冬宜早卧晚起，必待日光，使志若伏若匿，勿妄出，触冒寒气也。去寒就温，无泄皮肤，勿汗也。逆之则伤肾，合为痿厥。久视伤神，久立伤骨，久行伤筋，久坐伤血，久卧伤气。有所夫[1]亡，所求不得则发肺鸣，肺鸣则肺热叶焦，发为痿躄。悲哀太甚则胞络绝，胞络绝则心下崩，数溲血，发为肌痹。思想无穷，所愿不得，意淫于外，入房太甚，发为筋痿，及为白淫。有渐于湿，以水为事，若有所留，居处相湿，肌肉濡渍，痹而不仁，发为肉痿。有所远行，劳倦，逢大热而渴，渴则阳气内伐，热舍于肾，发为骨痿。数食甘美而多肥，令人内热中满，故其气上溢，而口为之甘，转为消渴。发谋虑不决，故胆虚，气上溢而口为之苦，名曰脾瘅。热病少愈，食肉则复，多食则遗。久坐湿地，强力入水，伤肾。喜怒气逆，上而不下伤肝。饮食劳倦伤脾。忧愁思虑太过伤心。拘于鬼神者，不可与言至德。恶言针石者，不可与言至巧。病不计[2]治者，病必不治。眼者身之镜，视多则镜昏，耳者身之牖，听多则牖闭，面者神之庭，心悲则面焦，发者脑之华，脑减则发素。气清则神畅，气浊则神昏，气乱则神劳，气衰则神去。起晏则神不清。

起居之宜

睡宜拳侧，足宜伸舒。老人患风湿脚气腰疼者，宜作暖炕宿卧，行路劳倦骨疼，宜得[3]炕睡。五更两手擦摩令热熨腮，去皱皮，熨眼明目。临睡用温盐汤漱口，坚牙益肾。晚饭少得寿，晚饭后徐步庭下无病。将睡叩齿则牙牢。未语时服补药入肾经，不语涎涂疮则肿消。早起出路，含煨生姜少许，则不犯雾露。早行腹实，或饮酒，则解瘴气。下床先左足，百事吉。大寒早出，噙真酥油则耐寒。临睡服痰药则痰去。夜起用毡作鞋，则足温不受寒邪。卧不覆面则得寿。行路多，夜向壁角拳足睡，则明日足不劳。欲入疫室，于春分之日，日未出，用远志心水煎二盏泄之。又法，于雨水日后三浴，以药泻汁[4]则无疫。渡江河朱书禹字佩之，能免风涛之厄。又方，旋取净笔，研墨写上字，或以手书之，可不恐惧。夜行用手掠脑后发，能长精神，常叩齿则鬼不敢近。雷鸣初打床荐，能去壁虱。入名山，未到百步，呼曰林兵，能却百邪，默念仪方，可不见蛇，狠念仪庚，可不见虎。入深山，将衣裙摺三摺，插于腰间，可令蛇虫不敢近。夜归，以右手中指书手心，我是鬼三字，再握固则不恐惧。遇恶梦，以左手蹑人中二七，叩齿二七吉；遇吉梦，摩目二七吉，齿二七吉。卒遇凶恶，当叩左齿三十六，名打天钟，辟邪秽，叩右齿，名捶天磬，存念至真，扣中央齿，名鸣天鼓。齿

---

1 夫：山居四要作“失”。
2 计：山居四要作“许”。
3 得：山居四要此下有“暖”字。
4 汁：山居四要作“汗”。

宜朝暮叩，会神。濯足而卧，无冷疾。先寒而衣，先热而解，门[1]无病。凡卧先卧心，后卧眼。清旦间[2]恶事，即向所来之方三唾之，吉。鸡鸣时，叩齿三七[3]六遍，舐唇漱口，舌撩上齿，咽三过，能杀虫、补虚损。早起，以左右手摩肾，次摩脚心，则无脚气诸疾。早起，东向坐，以两手相摩令热，从额至项上摩二九次，名曰存泥丸，以两手叉两耳极，上下摩二七止，令人不聋；次缩鼻闭气，右手从头上引流通，又摩手令热，以摩身体，从上至下，名曰乾浴，令人除百病。上床卧，先脱左足吉。枕内放麝香一脐，能除邪辟恶，安决明子能明日。夜卧带雄黄一块则不魇。凡食讫，温水漱口，无齿疾，口不臭。夜卧或侧或仰，一足伸屈不并，则无梦泄之患。

养生之要

饮食之宜

多种鸡头薯芋，可以代食。山药、凫茨、百合、葛沥粉可充饥。食包子当用醋，食馒头当用梅血羹。盖包气之物，必当用醋与血破气，侵晨食粥，能畅胃气，生津液。采嫩柏叶，线系垂挂大瓮中，纸糊瓮口，经月余，乾则取出为末，青翠可以调汤代茶，不宜见风。老人常以生牛乳煮粥，食之有益。夏月熟肉，单用醋煮，可留旬日。面不宜过水，以滚汤候冷，代水用之。熟水用陈紫苏妙。春宜食麦，夏宜食绿豆，秋宜食黍[4]。茶宜漱口，不宜多啜。熟食不宜热嚼，生食不宜粗吞。候已饥则进食，食不厌熟嚼，候已渴而引饮，饮不厌细呷。待饥甚而后食，食不可太饱，待渴甚而后饮，饮不可太频。食不厌精细，饮不厌温热。凡食面硬，作熟溲汤深煮，久则无毒。食面后，如欲饮酒，须先以酒咽去目汉椒三二粒，则不为病。

臞仙活人心

臞仙曰：古之神圣之医而能疗人之心，预使不致于有疾，今之医者，惟之疗人之疾，而不知疗人之心，是由舍本逐末，不穷其源，而攻其流，欲求疾愈，不亦愚乎？虽一时侥幸而安之，此则世俗之庸医，不足取也。殊不知病由心生，业由心作。盖阴有鬼神，阳有天理，报复之机，鲜无不验。故有天刑之疾，有自戕之疾。其天刑之疾也，五体不具生而隐宫者，生而喑哑盲聩者，因跌扑而手足折者，有生人而疮瘵疣疾者，凡传染一切瘟疫之证是也，盖因夙世今生积恶过多，天地谴之，故致斯疾，此亦业原于心也；其自戕之疾者，调养失宜，风寒暑湿之所感，酒色财气之所伤，七情六欲生于内，阴阳二气攻于外，是谓病生于心，害攻于体也。今只以人之易知易见者论之，且曰人心思火，久而体热，人心思冰，久而体寒，悚则发竖，惊则汗沥，惧则肉战，愧则面赤，悲则泪出，荒则心跳，气则麻痹，言酸则垂涎，言臭则吐唾，言喜则笑，言哀则哭，笑则貌妍，哭则貌媸。又若日间有所见，夜则魂梦有所思，夜则诂语，梦交合则精泄，致若惊悸气怒而成疾者，则发狂，裸体，裔垣上屋，呼神见鬼，歌舞笑哭，此皆因心而生也。太白真人曰：欲治其疾，先治其心，必正其心，然后资于道，使病者尽去心中疑虑，思想一切妄念，一切不平，一切人我悔悟，平生所为过恶，便当放下身心，以我之天而合所事之天，久之遂凝于神，则自然心君泰宁，性地平和，知世间万事，皆是空虚，终日营为，皆是妄想，和我身皆是虚幻，祸福皆是无有，生死皆是一梦，慨然领悟，顿然解释，心地自然清净，疾病自然安痊，能如是，药未到口，

① 门：山居四要作“则”。
② 间：山居四要作“闻”。
③ 七：山居四要作“十”。
④ 黍：山居四要作“麻”。此下并有“冬宜食黍”句。

病已忘矣。此真人以道治心疗病之大法也。盖真人之教也，本于天地立心，为生民立命，惟心与天，一理之所得者，独明而能开人心之迷，惟其心与地，一水之所汲者，独灵而能滌人心之陋，故以一杯之水，而能疗医所不治之疾，罔不瘳者，岂由水之灵，实资于道之用也。苟非其人，则以予为妄诞，老子曰：吾言甚易知，甚易行，天下莫能知，莫能行，是以知我者希，则我者贵。又曰：上士闻道，勤而行之，中士闻道，若存若亡，下士闻道，大笑之，不笑不足以为道。内观经曰：知道易，信道难，信道易，行道难，行道易，得道难，得道易，守道难，守而不失，乃可长生。

中和汤：　专治医所不疗一切之疾，服之保固元气，邪气不侵，万病不生，可以久安长世而无憾也。

思无邪　行好事　莫欺心　行方便　守本分　莫嫉妒　除狡诈　务诚实　顺天道　知命限　清心　寡欲　忍耐　柔顺　谦和　知足　廉谨　存仁　节俭　处中　戒杀　戒怒　戒暴　戒贪　慎笃　知机　保爱　恬退　守静　阴隲

右三十味，哎咀为末，用心火一斤，肾水二碗，慢火煎至五分，连柤不拘时候温服。

和气丸：

心上有刃，君子以含容成德。川下有火，小人以忿怒殒身。

专治大人小儿，一切气蛊气胀，咽喉气塞，胸膈气闷，肚腹气满，遍身麻疔，咬唇切齿，瞑目握拳，面红耳赤，忽若火燎，以上医所不疗之气，并皆治之，每服一丸，用不语唾咽下。

太白真人曰：世人诵经，皆欲求福免灾，往往口与心违，徒诵何补，是求其外而不求其内也。若使念经有益，道士尽成仙，和尚尽成佛矣。予有三部经，只六个字，经文虽简而功德甚大，但要至心奉行，或人来问，予曰：一字经，忍字是也；二字经，方便是也；三字经，依本分是也。这三部经，不在大藏，只在灵台方寸中，人人皆有，不问贤愚，不问识字不识字，皆可诵。若人能志心受持，病亦不生，灾亦无有，自然获福，若不在其身，必在子孙矣。

养生之法

脾好音乐，夜食多则脾不磨。周礼曰：乐以侑食。盖脾好音声，丝竹耳才闻，脾即磨矣。是以音声皆出于脾，而夏月夜短，晚饭少吃，尤宜忌之，恐难消化故也。

酒虽可以陶情性，通血脉，自然招风败肾，烂肠腐胁，莫过于此，饱食之后，尤宜戒之。饮酒不宜粗及速，恐伤破肺。肺为五脏之华盖，尤不可伤，当酒未醒，大渴之际，不可吃水，及啜茶，多被酒引入肾脏，为停毒之水，遂令腰脚重坠，膀胱冷痛，兼水肿消渴挛躄之疾。大抵茶之为物，四时皆不可多吃，令人下焦虚冷。惟饱食后，吃一二盏不妨，盖能消食故也，饥则尤宜忌之。凡坐卧处，始觉有风，宜速避之，不可强忍，但年老之人，体竭内疏，风邪易入，始初不觉，久乃损人，故虽暑中不可当风取凉，醉后操扇。昔有人学得寿之道于彭祖，而苦患头痛，彭祖视其寝处有穴，当其脑户，遽令塞之，后遂无患。

人之劳倦，有生于无端，不必持重执轻，仡仡终日，惟是闲人多生此病，盖闲乐之人，不多运动气力，饱食坐卧，经脉不通，血脉凝滞使然也。是以贵人貌乐而心劳，贱人心闲而貌苦，贵人嗜欲不时，或昧于忌犯饮食珍馐，便乃寝卧，故常须用力，但不至疲极，所贵荣卫通流，血脉调畅，譬如流水不污，户枢不蠹也。夏一季，是人脱精神之时，心

旺肾衰，肾化为水，至秋乃凝，及冬始坚，尤宜保惜。故夏月不问老少，悉吃暖物，至秋即不患霍乱吐泻。腹中常暖者，诸疾自然不生，盖血气壮盛也。

月令仲夏之月，君子斋戒，处必掩身每[1]躁，止声色，毋暴怒，薄滋味，保致和，禁嗜欲，定心气，虽盛暑冲热，若以冷水洗面手，即令人五脏乾枯，少津液，况沐浴乎？凡碗冷物，大损人目，如性至冷菜瓜，虽治气，又能暗人耳目；驴马食之，即日眼烂。此等之物，大抵四时皆不可食，不独夏季，老人尤宜忌之。

冬月天地闭，血气藏，纵有病亦不宜出汗。

昔有三人，冒雾早行，一人空腹，一人食粥，一人饮酒，空腹者死，食粥者病，饮酒者健。盖酒能御霜露、辟邪气故也。路中忽遇飘风震雷晦暝，宜入室避之，不尔损人，当时未觉，久则成患。水之在口曰华池，亦曰玉泉，黄庭经曰：玉泉清水灌灵根，子若修之命长存。

胎息论曰：凡服食须半夜子后，床上瞑目，盘坐面东，呵出腹内旧气三二口，然后寝息，便于鼻内微纳清气数口，舌下有二穴通肾窍，用舌拄上腭，存息少时，津液自出，灌漱满口，徐徐咽下，自然灌注五脏，此为气归丹田矣。如子后丑前不及，但寅前为之亦可，卧中为之亦可，但枕不甚高可也。

后汉王真，常漱舌下玉泉咽下，谓之胎息。孙真人曰：发宜多栉，手宜在面，齿宜数叩，津宜常咽，气宜精炼。此五者即黄庭经所谓子欲不死，修昆仑尔。

热摩手心熨两眼，每二七遍，使人眼目自然无障翳，明目去风，无出于此，亦能补肾气也。频拭额上，谓之修天庭，连发际二七遍，面上自然光泽，黑点宜频拭之。又以中指于鼻梁两边揩二三十数，令表里俱热，所谓灌溉中岳，以润于肺，以手摩耳轮，不拘遍数，所谓修其城郭，以补肾气，以防聋聩也。

大凡人坐，常以两手按脐左右，纽肩数十，则血气通畅，不生诸疾。

治　心

臞仙曰：心者神明之舍，中虚不过径寸，而神明居焉。事物之滑，如理乱棼，如涉惊浸，或怵惕，或惩创，或喜怒，或思虑，一日之间，一时之顷，径寸之地，炎如火矣。故神弗留则蠹，明弗留则耗，休休焉常与道谋而自不觉，或曰：谨于为善，若嗜欲一萌，即不善也，归而勿纳，是与良心竞也，必有忿悁之心起，而与我敌，以我矜愿之意，接彼忿悁之心，何为不斗，不止而害生矣。凡七情六欲之生于心皆然，故曰心静可以通乎神明，事未至而先知，是不出户知天下，不窥牖见天道也。盖心如水之不挠，久而澄清，洞见其底，是谓灵明，宜乎静可以固元气，则万病不生，故能长久。若一念既萌，神驰于外，气散于内，血随气行，荣胃[2]昏乱，百病相攻，皆因心而生也。大概怡养天君，疾病不作，此治心之法也。

① 每：按文义应作“毋”。
② 胃：按文义疑作“卫”。

养 性 门四

神 隐

摄生之道

凡人修养摄生之道，各有其法，如平昔燕居之日，大概勿要损精耗气伤神。此三者，道家谓之全精全气全神是也。三者既失，真气耗散，体不坚矣，曷能拟于仙道哉！每于鸡鸣时，便可起坐床上，拥衾调息，叩齿聚神。良久，神气既定，方行火候，搬运数十遍，一遍谓之一周天，便觉浑身和畅，血脉自然流通。当此之时，华池水生，神气满谷，便当大漱咽下，纳入丹田，以补元阳。要在师傅口授，岂敢轻泄，若是常人所传，绝不可信，若彼能为之，则仙去矣。岂可学于盲师瞎友，而望成道哉！必须遇于异人可也。且如在床上搬运了，就吃些平昔补养的药饵，以两手摩擦令热，乃行导引之法；行毕，徐徐下床，方可栉漱；盥漱毕，乃焚香默诵洞章一遍，逍遥步庭，约行百步，待日高三五丈，方可食粥；食毕，以手扪腹，又行二三百步，大忌嗔怒。每于晨兴时，务在乌鹊未鸣，人事未动之先，此时天地之气尚清，阳气方盛，感得此气，令人可寿。若乌鹊既鸣，人事既动，浊气已乱清气矣，能败人神气，则不清也。此是养生之大略，不可不知，但能行之，比之常人，则不凡矣。

若夏月间不可当风取凉，不可太搧取风，至晚可披襟曳杖，逍遥散步，与二三知心友于林下，相与谈道，可消一日之暑。

若冬间老人气弱，不耐寒，当砌一炕于室内，炕脚头置一锅，以砖木隔之，以防儿女匍匐之患，锅中就烧水、顿茶、煮药皆可，房内不必砌炉，恐火气太热则伤人，灶中就可烧榾柮，煨芋栗，以代不时之茹，炕头置一瓮，以酿药酒，如饮就以瓢于瓮内饮之，此是山林风况。既居泉石之间，欲要修道，尤宜将息，如吃饭太饱，太饱则损气。食后缓行，勿令气急，行讫还床偃卧。食饱不得急行，及走不得大语、远唤人、嗔、喜、卧睡觉，食消后随其所业，不得劳心力。腹空即须索食，不得忍饥，生硬粘滑等物，多致霍乱。秋冬间暖裹腹，腹中微似不安，即服厚朴生姜等饮。如此将息，必无横疾。紫阳真人曰：竹破须教竹补，宜是以类相感也。凡肉补人，莫过于乳酪，牸牛当多养几头，以供乳酪，胜如食肉。所用药物，尤宜备赡，如益于人者，山药、地黄、枸杞、甘菊、人参、苍术、胡麻、石菖蒲、苁蓉、防风苗、何首乌之类，当收之时，则多收采，治而食之，甚能益元阳，助真气。如菜蔓菁作齑甚妙。如春间采韭，四时采薤，食之可助肾气不衰。面食虽养人益气力，胃气弱者，多食愤闷难消。绿豆、紫苏、芝麻，皆能下气，薄荷又能解热，皆可收贮。其余豉酱腌藏、瓜菜乾肉之属，食所不可缺者，皆须造下，以防一年之用。若肉新鲜有气息者，食之则生恶疮。隔宿之物不可食，恐防恶虫。皆要计较，则无他患。

若能善调养者，必当用药以扶之。少壮者，血气方盛，则无虚弱。其中年之下，及于老年，其保残喘，扶羸济弱之理，防危备疾之道，不可不知。九转灵砂，愚人以为火候太热伤人，孰不知有神化妙理在焉。一钱

灵砂加朱砂、琥珀、珍珠、石菖蒲各一钱，枣肉为丸，如黍米大，每服九丸，人参石菖蒲汤下。服之，其药性径至丹田，以固元气，此灵砂之功也。其寿若无百年，必过九九之数，谓阳气不绝，不能死也。予常服之，亦不知其热，而热何所至哉？老者必当服此。其常药也，如琼玉膏、地黄煎，皆能延生益寿，助气生血，每岁至新地黄出时，可造下数十斤煎，鹿解角时，可收下鹿角熬作胶，入于煎中，大能补养真元。其鹿角霜亦可熬粥，以助神气不耗。其余防御风气、疮疾诸般之证者，宜有药草时，都采取下，制造停当，以备不时之用。凡人血肉之躯，岂有常无疾者，故药饵不可缺。药方令家人熟读之，以记其用药之法，可以救人之疾苦，岂独自救于家？其城郭乡野之间，得之可为一方之利，是存活之人之心，不可无也。

福寿论

昔孙思邈隐泰山之中，修千金方论，次乃烧炼神丹，忍[1]于丹灶之上，光焰之中，见鬼神，遂问曰：是何妖？怪对先生曰：阴冥使者，奉天符令，下界抄割，世俗多有贪欲，过生非分，乃折其命算。先生问有所验，有幽冥福寿论，遂令写之于地上，大风三日，其字吹不损动，先生具录此论，散在人间。

夫道德贤义者人当之，非其人者也不可得。遇者，君子也；不遇者，小人也。圣人体其道而不为也，贤人知其祸而不欺也，达人断其命而不求也，信人保其信而恶不为也，贵人保其贵而专静守也，仁人保其仁而谨廉也，仕人守其事而谦敬也，凡人昧其理而苟非为也，愚人执其愚而不惮也，小人反其道而终日为也。福者，善积也；祸者，不善之积也。鬼神虽益，盖不为祸也，亦不能致人福也。但人积不善之多，而失其性命。富贵以轻弃势取为非分，贫贱以劫盗恶取为非分。非分者，神而记之，人不知也。冥曰：

夫神记者，明有阴冥之藉也，又不横非也。按黄庭内景云：夫人有万余神主其身，兼三才与三尸九虫，及善恶童子录之，愚痴之神不足是也。神有余者，圣人也，亦不可以一二之咎，而夺人之命也。亦有官爵被人轻谤，暴见贬黜，削其名籍，遭其横祸者，多理负不法之所致也。理负不死者，其受余禄未尽也；政理不负而死者，正算尽也。贫者多寿，以贫穷自困，而常不足，不可更罚也；富者多曰足，以奢侈有余，而只可折其命也，乃夭折有余，补不足也。亦有贫而冻饿，暴露尸骸，而死不葬者，心不吉也。得之不足，是以贫焉；心之不吉，是以死焉。天虽不杀，自取其毙，不合居其人间，承天地之覆载，日月之照临，此非人也。故云官爵之非分，车马之非分，妻妾之非分，僮仆之非分，此不仁之非分也；有屋宇之非分，粟帛之非分，衣食之非分，货易之非分，此不廉之非分。即其神而记之，三五年、一二十年，遇此神而追之，即死矣。官爵之非分者，以崎岖而居之，贿赂而得之，德薄而执其位，躁求而窃其禄，既躁取心强，强而取之，非分有灾焉；车马之非分者，市马吝其价，马欲其良，水草不时，鞭勒而过度，奔走而不节，不知驱驰之疲，不限远近之乏，不护险阻之艰，畜不能言，天哀力竭，此非分也，神已记之，人不知也；妻妾之非分者，所爱既多，所费必广，淫佚之不节，必在骄奢，金翠之余，兰膏之有弃，恶贱其纹彩，厌饫其珍羞，人之最难，尔之为易，人之最苦，尔之为乐，此非分也，神已记之，人不知也；僮仆之非分者，以良为贱，以是为非，苦不敏之，乐不容之，寒暑不念其劳勤，老

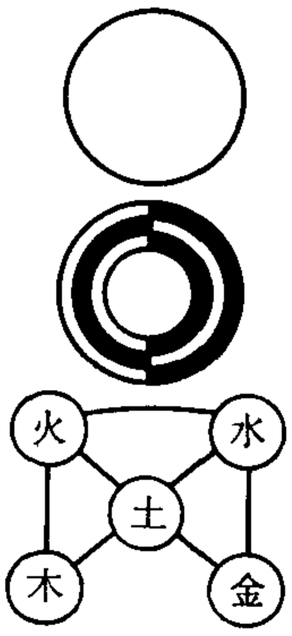
---

① 忍：按文义疑作“忽”。

病不怜其困惫，鞭鞑不问其屈负，凌辱不避其亲疏，此之非分甚也，神已记之，人不知；而屋宇之非分者，人不多而构其广厦，价不厚也，乏其功，以不义之财，葺无端之舍，功必至，饰必明，斤斧血力，木石劳神，而不知环堵之贫，蓬户之漏，此非分也，神已记之，人不知也；粟帛之非分者，其蓄也广，其获也劳，其农也贪，其利也倍，蓄乎巨廪，动余岁年，盗贼以之机縻，雀鼠以之巢穴，及乎困农负债，利陷冤家，此非分也，神已记之，人不知也；衣服之非分者，衣之纹彩有余，余而更制，积箱箧之无限，寒暑不施，而不念裸露之凌寒，布素之不足，以致蠹鱼鼠口，香黦腐烂，此非分也，神已记之，人不知也；饮食之非分者，一食而备其水陆，一饮而聚其弦歌，其食也寡，其费也多，民之糟糠不充，厨之臊膻有弃，纵其仆妾，猥掷泥途，此非分也，神已记之，人不知也；货易之非分者，货之利厚，不为非分，利外克人，即为非分。夫倍得非常之利，不详小人不可轻而受之，且所欲贱，所价者贵，彼以之愚，我以之贼，贼而得之者祸也，幸而得者灾也，分而得之者吉也，屈而得之者福也。夫人死非因依也，非偶然也，非疴瘵也，盖以不善之多，造恶业之广，神而追之即死矣。若能补其过，诲其咎，布仁惠之恩，垂悯邮之念，得达幽冥，可以存矣。尚不能逃其枉负之灾，不然者，其祸日多，其寿日促。金之得盈，福之已竭，一人无义之富，血属共之，上之因焉，下之丧焉。如此者于我如浮云，不足为富也。若奉阴隲而不欺者，圣人知之，贤人护之，天乃爱之，人以悦之，鬼神敬之，居其福而不失其富，居其贵而不失其贵，祸不及矣，寿不折矣，功劫之患去矣，水火之灾除矣，可保其全天算者矣。

金丹大成

无极图说



○者，道也，形而上者谓之道，斯乃道之体也。无极而太极，◎含三为一，中具五十，五数中○者，乃其本体也。太极一判，两仪生焉。

☾之动，根乎阴也；

☽之静，根乎阳也。

此阳变阴合，而生㊿㊁㊂㊃㊄也。水生数一，成数六；火生数二，成数七；木生数三，成数八；金生数四，成数九；土生数五，成数十，此五行生成之数也。天一地二，天二[①]地四，天五地六，天七地八，天九地十，天地之数，五十有五，此阳奇阴偶之数也。一阴一阳之谓道，生生不穷之谓易。一者，奇数也；二者，偶数也。阳奇阴偶，即二以生三也。纯乾☰性也，两乾而成坤☷命也，犹精与氣也。乾再索坤而成坎，☵坎中之阳，乃元气也，所谓乾道成男是也。坤再索乾而成离，☲离中之阴，乃真精也，所谓坤道成女是也。○乾男坤女，以气化

① 二：道藏修真十书金丹大成集作“三”。

者言也。离者，日之象也；坎者，月之象也；日月合而成 易。易者，日用常行易简之道也，千变万化而未尝灭焉。然则形中之精，寂然不动，盖刚健中正纯粹精者，存乃性之所寄也，为命之根矣；心中之神，感而遂通，盖喜怒哀乐爱恶欲者，存乃命之所寄也，为性之枢矣。惩忿则心火下降，窒欲则肾水上升，君子黄中通理，正位居体，美在其中，畅于四肢，故修此而吉也。于是闲邪存诚，终日如愚，天理纯全，归根曰静，静曰复命，动极而静，静极复动也。万物化生，◯以形化者，言也，形而下者，谓之器，斯乃道之用也。南轩曰：真识根源，谓之知道。知此道者，则可以超出乎造化之外，卓然而独存矣。

天心图

家居北斗星杓下

钩横偃月

三点台星

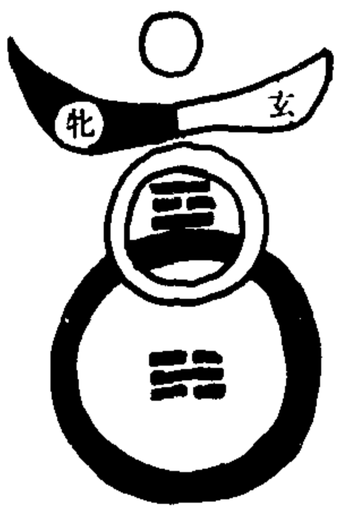
斗杓斡运

虎啸龙吟

剑挂南宫月角头

玄牝图

取将坎位中心实



虚无之谷

天地之根

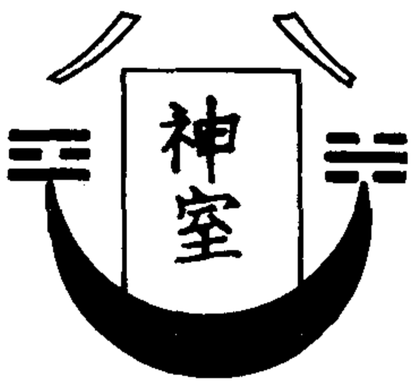
玄之又玄

众妙之门

点化离宫腹里阴

既济鼎图

炉中慢养真金液



离坎相交

水火既济

铅汞入鼎

乃生根蒂

鼎内先乾活水银

河车图

直驾元神归紫府

潜搬真气入黄庭

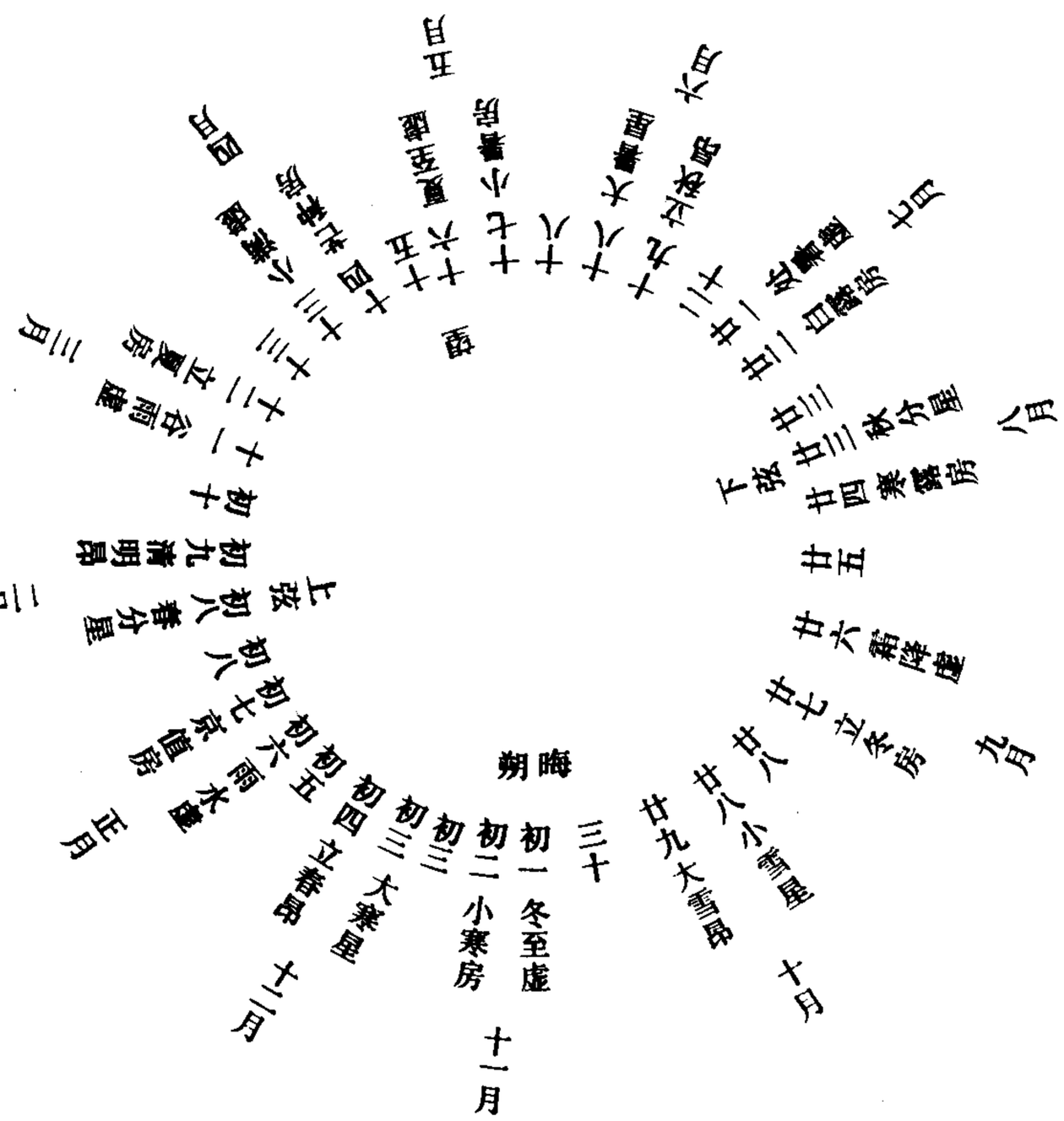
北方正气

日月为轮

搬水运火

昼夜无停

周天火候图


五月
望
十六
十七 小暑 鹰始学习
十八 温风至 蝉始鸣
十九 腐草为萤
二十 土润溽暑 大雨时行
二十一 伏兽 鹰乃学习
二十二 大暑 腐草为萤
二十三
四月
小满
二十四 苦菜秀 蚯蚓出
二十五 小满 靡草死
二十六 麦秋至 虚
二十七 芒种 螳螂生
二十八 反舌无声 鹏鸟始鸣
二十九 夏至 鹿角解
三十
晦
朔
初一 夏至 虚
初二 小暑 房
初三 大暑 星
初四 立秋 昴
初五 处暑 张
初六 雨水 翼
初七 白露 轸
初八 秋分 星
初九 寒露 角
初十 霜降 亢
十一
十月
十二 立冬 氐
十三 小雪 房
十四 虹藏不见 心
十五 大雪 尾
十六
十七 冬至 箕
十八 鹖鴠不鸣 斗
十九 水泉动 牛
二十 雪下 女
二十一 小寒 虚
二十二 大寒 危
二十三
正月
二十四 雁北乡 室
二十五 鹊始巢 壁
二十六 雉始雊 奎
二十七 鸡始乳 娄
二十八 立春 胃
二十九 天气上升 昴
三十
晦
朔
初一 立春 毕
初二 雨水 觜
初三 惊蛰 参
初四 桃始华 井
初五 仓庚鸣 鬼
初六 鹰化为鸠 柳
初七 玄鸟至 星
初八 雷乃发声 张
初九 清明 翼
初十 电始见 轸
十一
二月
十二 谷雨 角
十三 桐始华 亢
十四 田鼠化为鴽 氐
十五 谷雨 房
十六
十七 立夏 心
十八 蝼蝈鸣 尾
十九 蚯蚓出 箕
二十 王瓜生 斗
二十一 小满 牛
二十二 苦菜秀 女
二十三
三月
二十四 靡草死 虚
二十五 麦秋至 危
二十六 螳螂生 室
二十七 鹏鸟始鸣 壁
二十八 反舌无声 奎
二十九 天气上升 娄
三十
晦
朔
初一 夏至 胃
初二 小暑 昴
初三 大暑 毕
初四 立秋 觜
初五 处暑 参
初六 白露 井
初七 秋分 鬼
初八 寒露 柳
初九 霜降 星
初十 立冬 张
十一
四月
十二 小雪 翼
十三 大雪 轸
十四 虹藏不见 角
十五 冬至 亢
十六
十七 鹖鴠不鸣 氐
十八 水泉动 房
十九 雪下 心
二十 小寒 尾
二十一 大寒 箕
二十二 鸡始乳 斗
二十三
五月
二十四 雁北乡 牛
二十五 鹊始巢 女
二十六 雉始雊 虚
二十七 鸡始乳 危
二十八 立春 室
二十九 天气上升 壁
三十
晦
朔
初一 立春 奎
初二 雨水 娄
初三 惊蛰 胃
初四 桃始华 昴
初五 仓庚鸣 毕
初六 鹰化为鸠 觜
初七 玄鸟至 参
初八 雷乃发声 井
初九 清明 鬼
初十 电始见 柳
十一
六月
十二 谷雨 星
十三 桐始华 张
十四 田鼠化为鴽 翼
十五 谷雨 轸
十六
十七 立夏 角
十八 蝼蝈鸣 亢
十九 蚯蚓出 氐
二十 王瓜生 房
二十一 小满 心
二十二 苦菜秀 尾
二十三
七月
二十四 靡草死 箕
二十五 麦秋至 斗
二十六 螳螂生 牛
二十七 鹏鸟始鸣 女
二十八 反舌无声 虚
二十九 天气上升 危
三十
晦
朔
初一 夏至 室
初二 小暑 壁
初三 大暑 奎
初四 立秋 娄
初五 处暑 胃
初六 白露 昴
初七 秋分 毕
初八 寒露 觜
初九 霜降 参
初十 立冬 井
十一
八月
十二 小雪 鬼
十三 大雪 柳
十四 虹藏不见 星
十五 冬至 张
十六
十七 鹖鴠不鸣 翼
十八 水泉动 轸
十九 雪下 角
二十 小寒 亢
二十一 大寒 氐
二十二 鸡始乳 房
二十三
九月
二十四 雁北乡 心
二十五 鹊始巢 尾
二十六 雉始雊 箕
二十七 鸡始乳 斗
二十八 立春 牛
二十九 天气上升 女
三十
晦
朔
初一 立春 虚
初二 雨水 危
初三 惊蛰 室
初四 桃始华 壁
初五 仓庚鸣 奎
初六 鹰化为鸠 娄
初七 玄鸟至 胃
初八 雷乃发声 昴
初九 清明 毕
初十 电始见 觜
十一
十月
十二 谷雨 参
十三 桐始华 井
十四 田鼠化为鴽 鬼
十五 谷雨 柳
十六
十七 立夏 星
十八 蝼蝈鸣 张
十九 蚯蚓出 翼
二十 王瓜生 轸
二十一 小满 角
二十二 苦菜秀 亢
二十三
十一月
二十四 靡草死 氐
二十五 麦秋至 房
二十六 螳螂生 心
二十七 鹏鸟始鸣 尾
二十八 反舌无声 箕
二十九 天气上升 斗
三十
晦
朔
初一 夏至 牛
初二 小暑 女
初三 大暑 虚
初四 立秋 危
初五 处暑 室
初六 白露 壁
初七 秋分 奎
初八 寒露 娄
初九 霜降 胃
初十 立冬 昴
十一
十二月
十二 小雪 毕
十三 大雪 觜
十四 虹藏不见 参
十五 冬至 井
十六
十七 鹖鴠不鸣 鬼
十八 水泉动 柳
十九 雪下 星
二十 小寒 张
二十一 大寒 翼
二十二 鸡始乳 轸
二十三
一月
二十四 雁北乡 角
二十五 鹊始巢 亢
二十六 雉始雊 氐
二十七 鸡始乳 房
二十八 立春 心
二十九 天气上升 尾
三十
晦
朔
初一 立春 箕
初二 雨水 斗
初三 惊蛰 牛
初四 桃始华 女
初五 仓庚鸣 虚
初六 鹰化为鸠 危
初七 玄鸟至 室
初八 雷乃发声 壁
初九 清明 奎
初十 电始见 娄
十一
二月
十二 谷雨 胃
十三 桐始华 昴
十四 田鼠化为鴽 毕
十五 谷雨 觜
十六
十七 立夏 参
十八 蝼蝈鸣 井
十九 蚯蚓出 鬼
二十 王瓜生 柳
二十一 小满 星
二十二 苦菜秀 张
二十三
三月
二十四 靡草死 翼
二十五 麦秋至 轸
二十六 螳螂生 角
二十七 鹏鸟始鸣 亢
二十八 反舌无声 氐
二十九 天气上升 房
三十
晦
朔
初一 夏至 心
初二 小暑 尾
初三 大暑 箕
初四 立秋 斗
初五 处暑 牛
初六 白露 女
初七 秋分 虚
初八 寒露 危
初九 霜降 室
初十 立冬 壁
十一
八月
十二 小雪 奎
十三 大雪 娄
十四 虹藏不见 胃
十五 冬至 昴
十六
十七 鹖鴠不鸣 毕
十八 水泉动 觜
十九 雪下 参
二十 小寒 井
二十一 大寒 鬼
二十二 鸡始乳 柳
二十三
九月
二十四 雁北乡 星
二十五 鹊始巢 张
二十六 雉始雊 翼
二十七 鸡始乳 轸
二十八 立春 角
二十九 天气上升 亢
三十
晦
朔
初一 立春 氐
初二 雨水 房
初三 惊蛰 心
初四 桃始华 尾
初五 仓庚鸣 箕
初六 鹰化为鸠 斗
初七 玄鸟至 牛
初八 雷乃发声 女
初九 清明 虚
初十 电始见 危
十一
十月
十二 谷雨 室
十三 桐始华 壁
十四 田鼠化为鴽 奎
十五 谷雨 娄
十六
十七 立夏 胃
十八 蝼蝈鸣 昴
十九 蚯蚓出 毕
二十 王瓜生 觜
二十一 小满 参
二十二 苦菜秀 井
二十三
十一月
二十四 靡草死 鬼
二十五 麦秋至 柳
二十六 螳螂生 星
二十七 鹏鸟始鸣 张
二十八 反舌无声 翼
二十九 天气上升 轸
三十
晦
朔
初一 夏至 角
初二 小暑 亢
初三 大暑 氐
初四 立秋 房
初五 处暑 心
初六 白露 尾
初七 秋分 箕
初八 寒露 斗
初九 霜降 牛
初十 立冬 女
十一
十二月
十二 小雪 虚
十三 大雪 危
十四 虹藏不见 室
十五 冬至 壁
十六
十七 鹖鴠不鸣 奎
十八 水泉动 娄
十九 雪下 胃
二十 小寒 昴
二十一 大寒 毕
二十二 鸡始乳 觜
二十三
一月
二十四 雁北乡 参
二十五 鹊始巢 井
二十六 雉始雊 鬼
二十七 鸡始乳 柳
二十八 立春 星
二十九 天气上升 张
三十
晦
朔
初一 立春 翼
初二 雨水 轸
初三 惊蛰 角
初四 桃始华 亢
初五 仓庚鸣 氐
初六 鹰化为鸠 房
初七 玄鸟至 心
初八 雷乃发声 尾
初九 清明 箕
初十 电始见 斗
十一
二月
十二 谷雨 牛
十三 桐始华 女
十四 田鼠化为鴽 虚
十五 谷雨 危
十六
十七 立夏 室
十八 蝼蝈鸣 壁
十九 蚯蚓出 奎
二十 王瓜生 娄
二十一 小满 胃
二十二 苦菜秀 昴
二十三
三月
二十四 靡草死 毕
二十五 麦秋至 觜
二十六 螳螂生 参
二十七 鹏鸟始鸣 井
二十八 反舌无声 鬼
二十九 天气上升 柳
三十
晦
朔
初一 夏至 星
初二 小暑 张
初三 大暑 翼
初四 立秋 轸
初五 处暑 角
初六 白露 亢
初七 秋分 氐
初八 寒露 房
初九 霜降 心
初十 立冬 尾
十一
四月
十二 小雪 箕
十三 大雪 斗
十四 虹藏不见 牛
十五 冬至 女
十六
十七 鹖鴠不鸣 虚
十八 水泉动 危
十九 雪下 室
二十 小寒 壁
二十一 大寒 奎
二十二 鸡始乳 娄
二十三
五月
二十四 雁北乡 胃
二十五 鹊始巢 昴
二十六 雉始雊 毕
二十七 鸡始乳 觜
二十八 立春 参
二十九 天气上升 井
三十
晦
朔
初一 立春 鬼
初二 雨水 柳
初三 惊蛰 星
初四 桃始华 张
初五 仓庚鸣 翼
初六 鹰化为鸠 轸
初七 玄鸟至 角
初八 雷乃发声 亢
初九 清明 氐
初十 电始见 房
十一
六月
十二 谷雨 心
十三 桐始华 尾
十四 田鼠化为鴽 箕
十五 谷雨 斗
十六
十七 立夏 牛
十八 蝼蝈鸣 女
十九 蚯蚓出 虚
二十 王瓜生 危
二十一 小满 室
二十二 苦菜秀 壁
二十三
七月
二十四 靡草死 奎
二十五 麦秋至 娄
二十六 螳螂生 胃
二十七 鹏鸟始鸣 昴
二十八 反舌无声 毕
二十九 天气上升 觜
三十
晦
朔
初一 夏至 参
初二 小暑 井
初三 大暑 鬼
初四 立秋 柳
初五 处暑 星
初六 白露 张
初七 秋分 翼
初八 寒露 轸
初九 霜降 角
初十 立冬 亢
十一
八月
十二 小雪 氐
十三 大雪 房
十四 虹藏不见 心
十五 冬至 尾
十六
十七 鹖鴠不鸣 箕
十八 水泉动 斗
十九 雪下 牛
二十 小寒 女
二十一 大寒 虚
二十二 鸡始乳 危
二十三
九月
二十四 雁北乡 室
二十五 鹊始巢 壁
二十六 雉始雊 奎
二十七 鸡始乳 娄
二十八 立春 胃
二十九 天气上升 昴
三十
晦
朔
初一 立春 毕
初二 雨水 觜
初三 惊蛰 参
初四 桃始华 井
初五 仓庚鸣 鬼
初六 鹰化为鸠 柳
初七 玄鸟至 星
初八 雷乃发声 张
初九 清明 翼
初十 电始见 轸
十一
十月
十二 谷雨 角
十三 桐始华 亢
十四 田鼠化为鴽 氐
十五 谷雨 房
十六
十七 立夏 心
十八 蝼蝈鸣 尾
十九 蚯蚓出 箕
二十 王瓜生 斗
二十一 小满 牛
二十二 苦菜秀 女
二十三
十一月
二十四 靡草死 虚
二十五 麦秋至 危
二十六 螳螂生 室
二十七 鹏鸟始鸣 壁
二十八 反舌无声 奎
二十九 天气上升 娄
三十
晦
朔
初一 夏至 胃
初二 小暑 昴
初三 大暑 毕
初四 立秋 觜
初五 处暑 参
初六 白露 井
初七 秋分 鬼
初八 寒露 柳
初九 霜降 星
初十 立冬 张
十一
十二月
十二 小雪 翼
十三 大雪 轸
十四 虹藏不见 角
十五 冬至 亢
十六
十七 鹖鴠不鸣 氐
十八 水泉动 房
十九 雪下 心
二十 小寒 尾
二十一 大寒 箕
二十二 鸡始乳 斗
二十三
一月
二十四 雁北乡 牛
二十五 鹊始巢 女
二十六 雉始雊 虚
二十七 鸡始乳 危
二十八 立春 室
二十九 天气上升 壁
三十
晦
朔
初一 立春 奎
初二 雨水 娄
初三 惊蛰 胃
初四 桃始华 昴
初五 仓庚鸣 毕
初六 鹰化为鸠 觜
初七 玄鸟至 参
初八 雷乃发声 井
初九 清明 鬼
初十 电始见 柳
十一
二月
十二 谷雨 星
十三 桐始华 张
十四 田鼠化为鴽 翼
十五 谷雨 轸
十六
十七 立夏 角
十八 蝼蝈鸣 亢
十九 蚯蚓出 氐
二十 王瓜生 房
二十一 小满 心
二十二 苦菜秀 尾
二十三
三月
二十四 靡草死 箕
二十五 麦秋至 斗
二十六 螳螂生 牛
二十七 鹏鸟始鸣 女
二十八 反舌无声 虚
二十九 天气上升 危
三十
晦
朔
初一 夏至 室
初二 小暑 壁
初三 大暑 奎
初四 立秋 娄
初五 处暑 胃
初六 白露 昴
初七 秋分 毕
初八 寒露 觜
初九 霜降 参
初十 立冬 井
十一
四月
十二 小雪 鬼
十三 大雪 柳
十四 虹藏不见 星
十五 冬至 张
十六
十七 鹖鴠不鸣 翼
十八 水泉动 轸
十九 雪下 角
二十 小寒 亢
二十一 大寒 氐
二十二 鸡始乳 房
二十三
五月
二十四 雁北乡 心
二十五 鹊始巢 尾
二十六 雉始雊 箕
二十七 鸡始乳 斗
二十八 立春 牛
二十九 天气上升 女
三十
晦
朔
初一 立春 虚
初二 雨水 危
初三 惊蛰 室
初四 桃始华 壁
初五 仓庚鸣 奎
初六 鹰化为鸠 娄
初七 玄鸟至 胃
初八 雷乃发声 昴
初九 清明 毕
初十 电始见 觜
十一
六月
十二 谷雨 参
十三 桐始华 井
十四 田鼠化为鴽 鬼
十五 谷雨 柳
十六
十七 立夏 星
十八 蝼蝈鸣 张
十九 蚯蚓出 翼
二十 王瓜生 轸
二十一 小满 角
二十二 苦菜秀 亢
二十三
七月
二十四 靡草死 氐
二十五 麦秋至 房
二十六 螳螂生 心
二十七 鹏鸟始鸣 尾
二十八 反舌无声 箕
二十九 天气上升 斗
三十
晦
朔
初一 夏至 牛
初二 小暑 女
初三 大暑 虚
初四 立秋 危
初五 处暑 室
初六 白露 壁
初七 秋分 奎
初八 寒露 娄
初九 霜降 胃
初十 立冬 昴
十一
八月
十二 小雪 毕
十三 大雪 觜
十四 虹藏不见 参
十五 冬至 井
十六
十七 鹖鴠不鸣 鬼
十八 水泉动 柳
十九 雪下 星
二十 小寒 张
二十一 大寒 翼
二十二 鸡始乳 轸
二十三
九月
二十四 雁北乡 角
二十五 鹊始巢 亢
二十六 雉始雊 氐
二十七 鸡始乳 房
二十八 立春 心
二十九 天气上升 尾
三十
晦
朔
初一 立春 箕
初二 雨水 斗
初三 惊蛰 牛
初四 桃始华 女
初五 仓庚鸣 虚
初六 鹰化为鸠 危
初七 玄鸟至 室
初八 雷乃发声 壁
初九 清明 奎
初十 电始见 娄
十一
十月
十二 谷雨 胃
十三 桐始华 昴
十四 田鼠化为鴽 毕
十五 谷雨 觜
十六
十七 立夏 参
十八 蝼蝈鸣 井
十九 蚯蚓出 鬼
二十 王瓜生 柳
二十一 小满 星
二十二 苦菜秀 张
二十三
十一月
二十四 靡草死 翼
二十五 麦秋至 轸
二十六 螳螂生 角
二十七 鹏鸟始鸣 亢
二十八 反舌无声 氐
二十九 天气上升 房
三十
晦
朔
初一 夏至 心
初二 小暑 尾
初三 大暑 箕
初四 立秋 斗
初五 处暑 牛
初六 白露 女
初七 秋分 虚
初八 寒露 危
初九 霜降 室
初十 立冬 壁
十一
十二月
十二 小雪 奎
十三 大雪 娄
十四 虹藏不见 胃
十五 冬至 昴
十六
十七 鹖鴠不鸣 毕
十八 水泉动 觜
十九 雪下 参
二十 小寒 井
二十一 大寒 鬼
二十二 鸡始乳 柳
二十三
一月
二十四 雁北乡 星
二十五 鹊始巢 张
二十六 雉始雊 翼
二十七 鸡始乳 轸
二十八 立春 角
二十九 天气上升 亢
三十
晦
朔
初一 立春 氐
初二 雨水 房
初三 惊蛰 心
初四 桃始华 尾
初五 仓庚鸣 箕
初六 鹰化为鸠 斗
初七 玄鸟至 牛
初八 雷乃发声 女
初九 清明 虚
初十 电始见 危
十一
二月
十二 谷雨 室
十三 桐始华 壁
十四 田鼠化为鴽 奎
十五 谷雨 娄
十六
十七 立夏 胃
十八 蝼蝈鸣 昴
十九 蚯蚓出 毕
二十 王瓜生 觜
二十一 小满 参
二十二 苦菜秀 井
二十三
三月
二十四 靡草死 鬼
二十五 麦秋至 柳
二十六 螳螂生 星
二十七 鹏鸟始鸣 张
二十八 反舌无声 翼
二十九 天气上升 轸
三十
晦
朔
初一 夏至 角
初二 小暑 亢
初三 大暑 氐
初四 立秋 房
初五 处暑 心
初六 白露 尾
初七 秋分 箕
初八 寒露 斗
初九 霜降 牛
初十 立冬 女
十一
四月
十二 小雪 虚
十三 大雪 危
十四 虹藏不见 室
十五 冬至 壁
十六
十七 鹖鴠不鸣 奎
十八 水泉动 娄
十九 雪下 胃
二十 小寒 昴
二十一 大寒 毕
二十二 鸡始乳 觜
二十三
五月
二十四 雁北乡 参
二十五 鹊始巢 井
二十六 雉始雊 鬼
二十七 鸡始乳 柳
二十八 立春 星
二十九 天气上升 张
三十
晦
朔
初一 立春 翼
初二 雨水 轸
初三 惊蛰 角
初四 桃始华 亢
初五 仓庚鸣 氐
初六 鹰化为鸠 房
初七 玄鸟至 心
初八 雷乃发声 尾
初九 清明 箕
初十 电始见 斗
十一
六月
十二 谷雨 牛
十三 桐始华 女
十四 田鼠化为鴽 虚
十五 谷雨 危
十六
十七 立夏 室
十八 蝼蝈鸣 壁
十九 蚯蚓出 奎
二十 王瓜生 娄
二十一 小满 胃
二十二 苦菜秀 昴
二十三
七月
二十四 靡草死 毕
二十五 麦秋至 觜
二十六 螳螂生 参
二十七 鹏鸟始鸣 井
二十八 反舌无声 鬼
二十九 天气上升 柳
三十
晦
朔
初一 夏至 星
初二 小暑 张
初三 大暑 翼
初四 立秋 轸
初五 处暑 角
初六 白露 亢
初七 秋分 氐
初八 寒露 房
初九 霜降 心
初十 立冬 尾
十一
八月
十二 小雪 箕
十三 大雪 斗
十四 虹藏不见 牛
十五 冬至 女
十六
十七 鹖鴠不鸣 虚
十八 水泉动 危
十九 雪下 室
二十 小寒 壁
二十一 大寒 奎
二十二 鸡始乳 娄
二十三
九月
二十四 雁北乡 胃
二十五 鹊始巢 昴
二十六 雉始雊 毕
二十七 鸡始乳 觜
二十八 立春 参
二十九 天气上升 井
三十
晦
朔
初一 立春 鬼
初二 雨水 柳
初三 惊蛰 星
初四 桃始华 张
初五 仓庚鸣 翼
初六 鹰化为鸠 轸
初七 玄鸟至 角
初八 雷乃发声 亢
初九 清明 氐
初十 电始见 房
十一
十月
十二 谷雨 心
十三 桐始华 尾
十四 田鼠化为鴽 箕
十五 谷雨 斗
十六
十七 立夏 牛
十八 蝼蝈鸣 女
十九 蚯蚓出 虚
二十 王瓜生 危
二十一 小满 室
二十二 苦菜秀 壁
二十三
十一月
二十四 靡草死 奎
二十五 麦秋至 娄
二十六 螳螂生 胃
二十七 鹏鸟始鸣 昴
二十八 反舌无声 毕
二十九 天气上升 觜
三十
晦
朔
初一 夏至 参
初二 小暑 井
初三 大暑 鬼
初四 立秋 柳
初五 处暑 星
初六 白露 张
初七 秋分 翼
初八 寒露 轸
初九 霜降 角
初十 立冬 亢
十一
十二月
十二 小雪 氐
十三 大雪 房
十四 虹藏不见 心
十五 冬至 尾
十六
十七 鹖鴠不鸣 箕
十八 水泉动 斗
十九 雪下 牛
二十 小寒 女
二十一 大寒 虚
二十二 鸡始乳 危
二十三
一月
二十四 雁北乡 室
二十五 鹊始巢 壁
二十六 雉始雊 奎
二十七 鸡始乳 娄
二十八 立春 胃
二十九 天气上升 昴
三十
晦
朔
初一 立春 毕
初二 雨水 觜
初三 惊蛰 参
初四 桃始华 井
初五 仓庚鸣 鬼
初六 鹰化为鸠 柳
初七 玄鸟至 星
初八 雷乃发声 张
初九 清明 翼
初十 电始见 轸
十一
二月
十二 谷雨 角
十三 桐始华 亢
十四 田鼠化为鴽 氐
十五 谷雨 房
十六
十七 立夏 心
十八 蝼蝈鸣 尾
十九 蚯蚓出 箕
二十 王瓜生 斗
二十一 小满 牛
二十二 苦菜秀 女
二十三
三月
二十四 靡草死 虚
二十五 麦秋至 危
二十六 螳螂生 室
二十七 鹏鸟始鸣 壁
二十八 反舌无声 奎
二十九 天气上升 娄
三十
晦
朔
初一 夏至 胃
初二 小暑 昴
初三 大暑 毕
初四 立秋 觜
初五 处暑 参
初六 白露 井
初七 秋分 鬼
初八 寒露 柳
初九 霜降 星
初十 立冬 张
十一
四月
十二 小雪 翼
十三 大雪 轸
十四 虹藏不见 角
十五 冬至 亢
十六
十七 鹖鴠不鸣 氐
十八 水泉动 房
十九 雪下 心
二十 小寒 尾
二十一 大寒 箕
二十二 鸡始乳 斗
二十三
五月
二十四 雁北乡 牛
二十五 鹊始巢 女
二十六 雉始雊 虚
二十七 鸡始乳 危
二十八 立春 室
二十九 天气上升 壁
三十
晦
朔
初一 立春 奎
初二 雨水 娄
初三 惊蛰 胃
初四 桃始华 昴
初五 仓庚鸣 毕
初六 鹰化为鸠 觜
初七 玄鸟至 参
初八 雷乃发声 井
初九 清明 鬼
初十 电始见 柳
十一
六月
十二 谷雨 星
十三 桐始华 张
十四 田鼠化为鴽 翼
十五 谷雨 轸
十六
十七 立夏 角
十八 蝼蝈鸣 亢
十九 蚯蚓出 氐
二十 王瓜生 房
二十一 小满 心
二十二 苦菜秀 尾
二十三
七月
二十四 靡草死 箕
二十五 麦秋至 斗
二十六 螳螂生 牛
二十七 鹏鸟始鸣 女
二十八 反舌无声 虚
二十九 天气上升 危
三十
晦
朔
初一 夏至 室
初二 小暑 壁
初三 大暑 奎
初四 立秋 娄
初五 处暑 胃
初六 白露 昴
初七 秋分 毕
初八 寒露 觜
初九 霜降 参
初十 立冬 井
十一
八月
十二 小雪 鬼
十三 大雪 柳
十四 虹藏不见 星
十五 冬至 张
十六
十七 鹖鴠不鸣 翼
十八 水泉动 轸
十九 雪下 角
二十 小寒 亢
二十一 大寒 氐
二十二 鸡始乳 房
二十三
九月
二十四 雁北乡 心
二十五 鹊始巢 尾
二十六 雉始雊 箕
二十七 鸡始乳 斗
二十八 立春 牛
二十九 天气上升 女
三十
晦
朔
初一 立春 虚
初二 雨水 危
初三 惊蛰 室
初四 桃始华 壁
初五 仓庚鸣 奎
初六 鹰化为鸠 娄
初七 玄鸟至 胃
初八 雷乃发声 昴
初九 清明 毕
初十 电始见 觜
十一
十月
十二 谷雨 参
十三 桐始华 井
十四 田鼠化为鴽 鬼
十五 谷雨 柳
十六
十七 立夏 星
十八 蝼蝈鸣 张
十九 蚯蚓出 翼
二十 王瓜生 轸
二十一 小满 角
二十二 苦菜秀 亢
二十三
十一月
二十四 靡草死 氐
二十五 麦秋至 房
二十六 螳螂生 心
二十七 鹏鸟始鸣 尾
二十八 反舌无声 箕
二十九 天气上升 斗
三十
晦
朔
初一 夏至 牛
初二 小暑 女
初三 大暑 虚
初四 立秋 危
初五 处暑 室
初六 白露 壁
初七 秋分 奎
初八 寒露 娄
初九 霜降 胃
初十 立冬 昴
十一
十二月
十二 小雪 毕
十三 大雪 觜
十四 虹藏不见 参
十五 冬至 井
十六
十七 鹖鴠不鸣 鬼
十八 水泉动 柳
十九 雪下 星
二十 小寒 张
二十一 大寒 翼
二十二 鸡始乳 轸
二十三
一月
二十四 雁北乡 角
二十五 鹊始巢 亢
二十六 雉始雊 氐
二十七 鸡始乳 房
二十八 立春 心
二十九 天气上升 尾
三十
晦
朔
初一 立春 箕
初二 雨水 斗
初三 惊蛰 牛
初四 桃始华 女
初五 仓庚鸣 虚
初六 鹰化为鸠 危
初七 玄鸟至 室
初八 雷乃发声 壁
初九 清明 奎
初十 电始见 娄
十一
二月
十二 谷雨 胃
十三 桐始华 昴
十四 田鼠化为鴽 毕
十五 谷雨 觜
十六
十七 立夏 参
十八 蝼蝈鸣 井
十九 蚯蚓出 鬼
二十 王瓜生 柳
二十一 小满 星
二十二 苦菜秀 张
二十三
三月
二十四 靡草死 翼
二十五 麦秋至 轸
二十六 螳螂生 角
二十七 鹏鸟始鸣 亢
二十八 反舌无声 氐
二十九 天气上升 房
三十
晦
朔
初一 夏至 心
初二 小暑 尾
初三 大暑 箕
初四 立秋 斗
初五 处暑 牛
初六 白露 女
初七 秋分 虚
初八 寒露 危
初九 霜降 室
初十 立冬 壁
十一
四月
十二 小雪 奎
十三 大雪 娄
十四 虹藏不见 胃
十五 冬至 昴
十六
十七 鹖鴠不鸣 毕
十八 水泉动 觜
十九 雪下 参
二十 小寒 井
二十一 大寒 鬼
二十二 鸡始乳 柳
二十三
五月
二十四 雁北乡 星
二十五 鹊始巢 张
二十六 雉始雊 翼
二十七 鸡始乳 轸
二十八 立春 角
二十九 天气上升 亢
三十
晦
朔
初一 立春 氐
初二 雨水 房
初三 惊蛰 心
初四 桃始华 尾
初五 仓庚鸣 箕
初六 鹰化为鸠 斗
初七 玄鸟至 牛
初八 雷乃发声 女
初九 清明 虚
初十 电始见 危
十一
六月
十二 谷雨 室
十三 桐始华 壁
十四 田鼠化为鴽 奎
十五 谷雨 娄
十六
十七 立夏 胃
十八 蝼蝈鸣 昴
十九 蚯蚓出 毕
二十 王瓜生 觜
二十一 小满 参
二十二 苦菜秀 井
二十三
七月
二十四 靡草死 鬼
二十五 麦秋至 柳
二十六 螳螂生 星
二十七 鹏鸟始鸣 张
二十八 反舌无声 翼
二十九 天气上升 轸
三十
晦
朔
初一 夏至 角
初二 小暑 亢
初三 大暑 氐
初四 立秋 房
初五 处暑 心
初六 白露 尾
初七 秋分 箕
初八 寒露 斗
初九 霜降 牛
初十 立冬 女
十一
八月
十二 小雪 虚
十三 大雪 危
十四 虹藏不见 室
十五 冬至 壁
十六
十七 鹖鴠不鸣 奎
十八 水泉动 娄
十九 雪下 胃
二十 小寒 昴
二十一 大寒 毕
二十二 鸡始乳 觜
二十三
九月
二十四 雁北乡 参
二十五 鹊始巢 井
二十六 雉始雊 鬼
二十七 鸡始乳 柳
二十八 立春 星
二十九 天气上升 张
三十
晦
朔
初一 立春 翼
初二 雨水 轸
初三 惊蛰 角
初四 桃始华 亢
初五 仓庚鸣 氐
初六 鹰化为鸠 房
初七 玄鸟至 心
初八 雷乃发声 尾
初九 清明 箕
初十 电始见 斗
十一
十月
十二 谷雨 牛
十三 桐始华 女
十四 田鼠化为鴽 虚
十五 谷雨 危
十六
十七 立夏 室
十八 蝼蝈鸣 壁
十九 蚯蚓出 奎
二十 王瓜生 娄
二十一 小满 胃
二十二 苦菜秀 昴
二十三
十一月
二十四 靡草死 毕
二十五 麦秋至 觜
二十六 螳螂生 参
二十七 鹏鸟始鸣 井
二十八 反舌无声 鬼
二十九 天气上升 柳
三十
晦
朔
初一 夏至 星
初二 小暑 张
初三 大暑 翼
初四 立秋 轸
初五 处暑 角
初六 白露 亢
初七 秋分 氐
初八 寒露 房
初九 霜降 心
初十 立冬 尾
十一
十二月
十二 小雪 箕
十三 大雪 斗
十四 虹藏不见 牛
十五 冬至 女
十六
十七 鹖鴠不鸣 虚
十八 水泉动 危
十九 雪下 室
二十 小寒 壁
二十一 大寒 奎
二十二 鸡始乳 娄
二十三
一月
二十四 雁北乡 胃
二十五 鹊始巢 昴
二十六 雉始雊 毕
二十七 鸡始乳 觜
二十八 立春 参
二十九 天气上升 井
三十
晦
朔
初一 立春 鬼
初二 雨水 柳
初三 惊蛰 星
初四 桃始华 张
初五 仓庚鸣 翼
初六 鹰化为鸠 轸
初七 玄鸟至 角
初八 雷乃发声 亢
初九 清明 氐
初十 电始见 房
十一
二月
十二 谷雨 心
十三 桐始华 尾
十四 田鼠化为鴽 箕
十五 谷雨 斗
十六
十七 立夏 牛
十八 蝼蝈鸣 女
十九 蚯蚓出 虚
二十 王瓜生 危
二十一 小满 室
二十二 苦菜秀 壁
二十三
三月
二十四 靡草死 奎
二十五 麦秋至 娄
二十六 螳螂生 胃
二十七 鹏鸟始鸣 昴
二十八 反舌无声 毕
二十九 天气上升 觜
三十
晦
朔
初一 夏至 参
初二 小暑 井
初三 大暑 鬼
初四 立秋 柳
初五 处暑 星
初六 白露 张
初七 秋分 翼
初八 寒露 轸
初九 霜降 角
初十 立冬 亢
十一
四月
十二 小雪 氐
十三 大雪 房
十四 虹藏不见 心
十五 冬至 尾
十六
十七 鹖鴠不鸣 箕
十八 水泉动 斗
十九 雪下 牛
二十 小寒 女
二十一 大寒 虚
二十二 鸡始乳 危
二十三
五月
二十四 雁北乡 室
二十五 鹊始巢 壁
二十六 雉始雊 奎
二十七 鸡始乳 娄
二十八 立春 胃
二十九 天气上升 昴
三十
晦
朔
初一 立春 毕
初二 雨水 觜
初三 惊蛰 参
初四 桃始华 井
初五 仓庚鸣 鬼
初六 鹰化为鸠 柳
初七 玄鸟至 星
初八 雷乃发声 张
初九 清明 翼
初十 电始见 轸
十一
六月
十二 谷雨 角
十三 桐始华 亢
十四 田鼠化为鴽 氐
十五 谷雨 房
十六
十七 立夏 心
十八 蝼蝈鸣 尾
十九 蚯蚓出 箕
二十 王瓜生 斗
二十一 小满 牛
二十二 苦菜秀 女
二十三
七月
二十四 靡草死 虚
二十五 麦秋至 危
二十六 螳螂生 室
二十七 鹏鸟始鸣 壁
二十八 反舌无声 奎
二十九 天气上升 娄
三十
晦
朔
初一 夏至 胃
初二 小暑 昴
初三 大暑 毕
初四 立秋 觜
初五 处暑 参
初六 白露 井
初七 秋分 鬼
初八 寒露 柳
初九 霜降 星
初十 立冬 张
十一
八月
十二 小雪 翼
十三 大雪 轸
十四 虹藏不见 角
十五 冬至 亢
十六
十七 鹖鴠不鸣 氐
十八 水泉动 房
十九 雪下 心
二十 小寒 尾
二十一 大寒 箕
二十二 鸡始乳 斗
二十三
九月
二十四 雁北乡 牛
二十五 鹊始巢 女
二十六 雉始雊 虚
二十七 鸡始乳 危
二十八 立春 室
二十九 天气上升 壁
三十
晦
朔
初一 立春 奎
初二 雨水 娄
初三 惊蛰 胃
初四 桃始华 昴
初五 仓庚鸣 毕
初六 鹰化为鸠 觜
初七 玄鸟至 参
初八 雷乃发声 井
初九 清明 鬼
初十 电始见 柳
十一
十月
十二 谷雨 星
十三 桐始华 张
十四 田鼠化为鴽 翼
十五 谷雨 轸
十六
十七 立夏 角
十八 蝼蝈鸣 亢
十九 蚯蚓出 氐
二十 王瓜生 房
二十一 小满 心
二十二 苦菜秀 尾
二十三
十一月
二十四 靡草死 箕
二十五 麦秋至 斗
二十六 螳螂生 牛
二十七 鹏鸟始鸣 女
二十八 反舌无声 虚
二十九 天气上升 危
三十
晦
朔
初一 夏至 室
初二 小暑 壁
初三 大暑 奎
初四 立秋 娄
初五 处暑 胃
初六 白露 昴
初七 秋分 毕
初八 寒露 觜
初九 霜降 参
初十 立冬 井
十一
十二月
十二 小雪 鬼
十三 大雪 柳
十四 虹藏不见 星
十五 冬至 张
十六
十七 鹖鴠不鸣 翼
十八 水泉动 轸
十九 雪下 角
二十 小寒 亢
二十一 大寒 氐
二十二 鸡始乳 房
二十三
一月
二十四 雁北乡 心
二十五 鹊始巢 尾
二十六 雉始雊 箕
二十七 鸡始乳 斗
二十八 立春 牛
二十九 天气上升 女
三十
晦
朔
初一 立春 虚
初二 雨水 危
初三 惊蛰 室
初四 桃始华 壁
初五 仓庚鸣 奎
初六 鹰化为鸠 娄
初七 玄鸟至 胃
初八 雷乃发声 昴
初九 清明 毕
初十 电始见 觜
十一
二月
十二 谷雨 参
十三 桐始华 井
十四 田鼠化为鴽 鬼
十五 谷雨 柳
十六
十七 立夏 星
十八 蝼蝈鸣 张
十九 蚯蚓出 翼
二十 王瓜生 轸
二十一 小满 角
二十二 苦菜秀 亢
二十三
三月
二十四 靡草死 氐
二十五 麦秋至 房
二十六 螳螂生 心
二十七 鹏鸟始鸣 尾
二十八 反舌无声 箕
二十九 天气上升 斗
三十
晦
朔
初一 夏至 牛
初二 小暑 女
初三 大暑 虚
初四 立秋 危
初五 处暑 室
初六 白露 壁
初七 秋分 奎
初八 寒露 娄
初九 霜降 胃
初十 立冬 昴
十一
四月
十二 小雪 毕
十三 大雪 觜
十四 虹藏不见 参
十五 冬至 井
十六
十七 鹖鴠不鸣 鬼
十八 水泉动 柳
十九 雪下 星
二十 小寒 张
二十一 大寒

子 复卦 十一月 谓之一还。微微小火宜温养，初九潜龙不可煅。

丑 临卦 十二月 谓之二还。倾[1]逢九二见龙时，此时阴阳方顾恋。

寅 泰卦 正月 谓之三还一返。寅月屯爻方直事，始堪追[2]火炼红铅。

卯 壮卦 二月 木液旺在卯，丹头宜，沐浴。

辰 夬卦 三月 谓之四还二返。返中子细辨工夫，文后更宜加一武。

巳 乾卦 四月 谓之五还三返。此月又当行武火，牵将白虎产明珠。

午 遘卦 五月 谓之六还四返。沐浴后退符，抽添犹虑险。

未 遁卦 六月 谓之七还五返。武火临终用一文，桃花已落惟留蒂。

申 否卦 七月 谓之八还六返。两头文中间武。

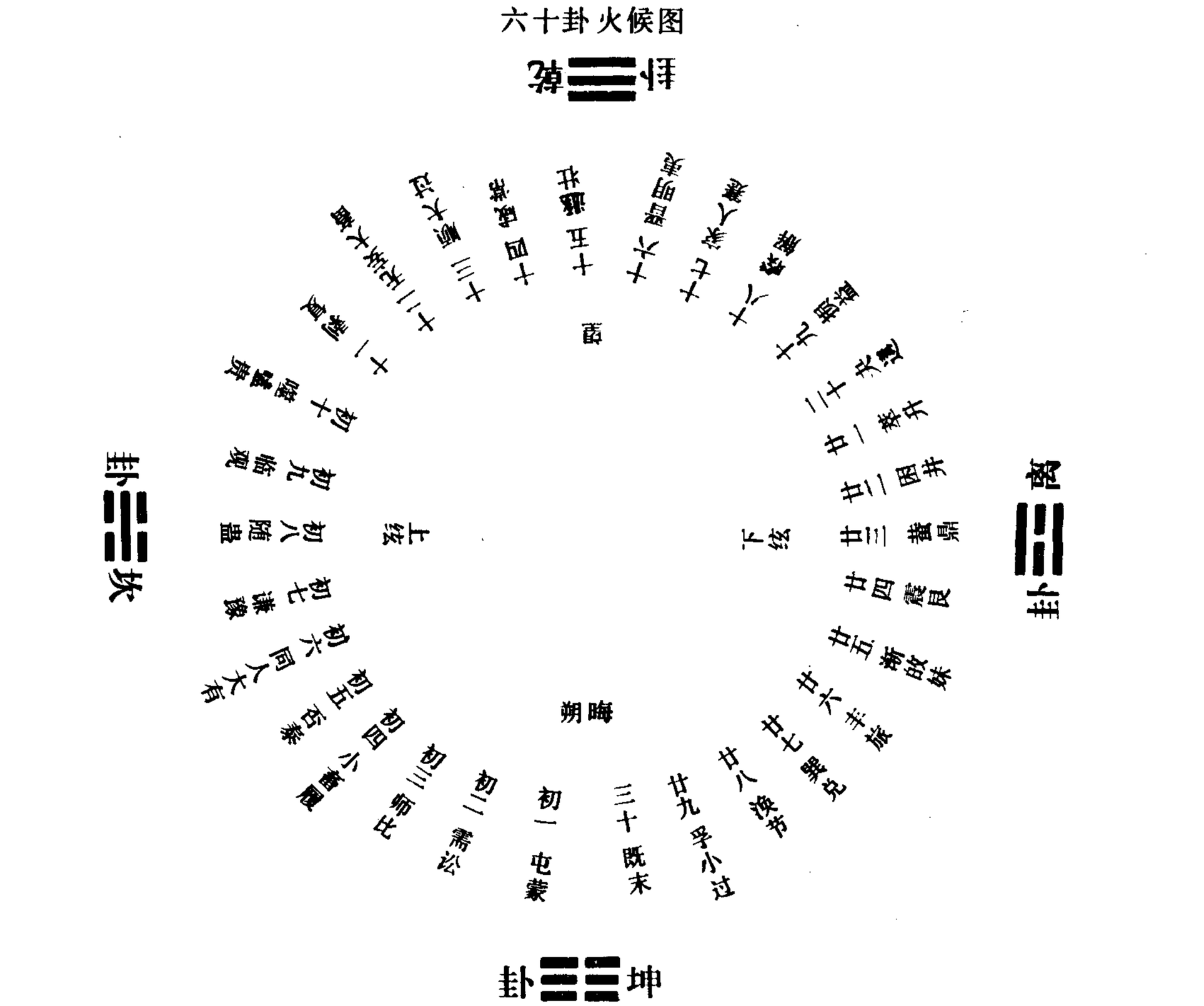
酉 观卦 八月 金精旺在酉，沐浴后养火。

戌 剥卦 九月 谓之九还七返。蒙受生成，火府于戌。

亥 坤卦 十月 脱胎吞入腹，我命不由天。功夫入坤宫，还丹道已穷。

或曰：卦有六十四，止用六十，何耶？夫乾坤为门户，为鼎器，坎 离为匡廓，为枢辖，象天地日月，包藏万物，不用而用之以通也。右六十卦，计三百六十爻，并乾 坤 坎 离四卦，共三百八十四爻，计万有一千五百二十策，以周万物之数。朝暮各用一卦，计十二爻，一爻当一时，言其小则象一月，三百六十时，言其大则象一年，三百六十日，言

六十卦火候图



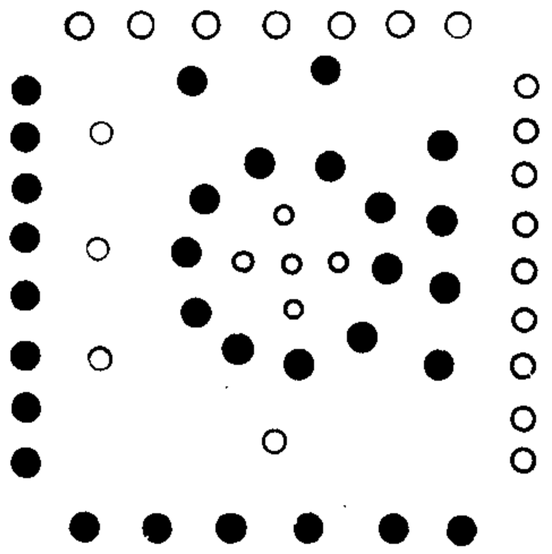
---

① 倾：道藏修真十书金丹大成集作“须”。

② 追：道藏修真十书金丹大成集作“进”。

其[1]则象周天之度数，得象忘言，其意明矣。

大衍数图



东三南二
同成五，
北一西方
四共之，
戊己还从
本生数，
三家相见
结婴儿。

夫天地未有无用之数，故一、三、五、七、九，阳奇数也，天数二十有五；二、四、六、八、十，阴偶数也，地数三十；天地之数，总而五十有五。大衍之数五十者，去五为五行之本；其用四十有九者，又去一以象太极之不动，于此可以知其有体有用矣。钟离传道集曰：进火有数。

金丹橐籥图

橐 籥 歌

乾坤橐籥鼓有数，离坎刀圭采有时。铅龙升兮汞虎降，龟蛇上下两相持。天上日头地下转，海底婵娟天上飞。乾坤日月本不运，皆因斗柄转其机。人心若与天心合，颠倒阴阳止片时。虎龙战罢三田静，拾取玄珠种在泥。黄婆媒合入中宫，婴儿姹女相追随。年中用月日用时，刻里工夫妙更奇。暗约斗牛共欢会，天机深远少人知。进火烹煎天地髓，开炉沐浴霞迸辉。九还七返在片饷，真气薰蒸达四肢。温养婴儿惟藉母，守城野战要防危。一时八刻一周天，十二时辰准一年。始于复卦终于剥[2]，□□□□有后前。春夏秋冬依次第，炼至坤宫始凝坚。不须究易行卦气，身中自有一坤乾。天地日月若交会，打破虚空只一拳。宇宙造化在吾手，向上天机不妄传。惟人至尊而至贵，可炼金液太还丹。还丹口诀无多子，炼就移身谒洞天。

金液还丹赋 金液还返，结成大丹

求道至近，学仙岂难。采玉壶之大药，炼釜[3]液之还丹。探赤水之玄珠，龟蛇吐咽；运西方之至宝，龙虎盘旋。粤自紫府开而海峤云生，黄河翻而泥丸浪衮。虽乾坤同体，兑谓鼎器，然铅汞二物，互为根本。丹源何在，存三要以守一元；金液结成，自九还而周七返。是丹也，恍惚无物，杳冥有精，循八卦兮合四象，聚三花兮攒五行。味出庚辛，须定志以采取；卦属艮巽，要知时而旺生。始而炼金液以交媾，终则调工[4]而养成。壶中日月之循环，须明宗祖；身里夫妻之交合，要识根茎。由是升降之际，当辨君臣；来往之间，仍分主客。凝绝耳韵，调匀鼻息，审药老嫩，明进退之寸尺，抱一孜专，守雌雄之黑白，望焉飞汞以擒魂，晦则引铅而制魄，推排符火，卷舒性内之阴阳，呼吸风云，烹炼身中之气液，大抵人炼乎气，须和合于四象，气纯乎阳，自消磨于众阴，东捉青龙，

① 其：道藏修真十书金丹大成集此下有“迭”字。
② 剥：此下脱字，道藏修真十书金丹大成集作“朝屯暮蒙”。
③ 釜：道藏修真十书金丹大成集作“金”。
④ 工：道藏修真十书金丹大成集作“玉浆”。

西捉白虎，北寻玄武，南寻赤禽，惟中宫和会以共处，以土釜封藏而必深，有动有静，有气无质，知吉知凶，知机自心，能酝就自然之酒，浸调成无韵之琴，安排既未之鼎炉，熬成白雪，鼓动乾坤之橐籥，煅作真金，盖始者金木间隔，孰使交并，金水混融，未归陶汰，自金井一提，水虎潜伏，迨金锁一发，火龙相会，是满黄金之鼎，而调味固济，饵紫金之膏，而凝神闭兑，周流真气以充盈，出入元神之广大，火升水降，抽添善了于屯蒙，辐凑轮成，运用默符于否泰，又当知药物调和，悟者甚易，火候消息，行之孔难，一十月工夫，存渺渺绵绵之息，三万年气数，在来来往往之间，所以养丹田之宝，其宝长在，夺丹鼎之珠，此珠复还。既得此超升之诀，常开其生死之关，驾动河车，离尘世尾闾之海，移归天谷，上昆仑蓬岛之山。噫！万般仙诀，契论歌诗，一窍玄关，精神气穴，升金门，朝金阙，膺帝诏之召，严金相，证金仙，脱圣胎之结，此其饵金液之丹，成金刚之体，而性命双圆，妙难轻泄。

金液还丹诗

□液[1]上昆山，工夫信不难，往来敲玉洞，还返炼金丹。西采存三药，中归守一坛，片时间下手，七返后成团。鼓动乾坤橐，循环日月滩，玄关真一窍，直路彻天端。

金液还丹论

道以心为用也，或者疑之，至人辨焉。夫道者，心之体；心者，道之用；道融于心，心会于道，道外无余心，心外无余道也。能知运用者，以道观心，心即道也，以心贯道，即心也。是心也，非人心之心，乃天心之心也。天之居于北极，为造化之枢机者，此心也。故斗杓一运，四时应节，五行顺序，寒暑中度，阴阳得宜矣。在人亦然，首有五宫，上应九隅，其中一宫曰天心，一曰紫府、天渊、天轮、天关、天京、山都关、昆仑顶，其名颇众。总而言之，曰玄关一窍，运用于此者，可不辨药材所产之川源，火候细微之要旨，以至温养而成丹，皆不离乎此心之为用也。尝谓药愈采而愈多，火渐炼而渐结。其采药之初也，动乾坤之橐籥，取离坎之刀圭，凝神聚气，调匀鼻息，呼吸应手，迨夫神气之入乎其根也，闭极则失于急，纵放则失于荡，惟使其绵绵续续，勿令间断矣。然后神久自凝，息久自定。其运火之功也，一刚一柔，一文一武，进寸而退尺，前短而后长，分宾主，立君臣，使其阴符阳火，进退之得其宜也。火数太燥，则汞上飞矣；水铢太滥，则铅下消矣；惟使其斤两调匀，法度准确，无进火退符之昧。其用也，由是依约卦爻，以十二月促于一时之内，阴阳升降，以为运火之则也。一阳之生，始乎复也。时为子焉，微养其潜，龙临丑也，温养其见，龙泰寅也，火生于寅，屯之直事，故进符用武火焉。壮，卯也，阳中含阴，故沐浴焉。央，辰也，文火以炼之，乾终巳也，火如武焉。自子至巳，纯阳用事，乃内阴求外阳也。一阴之生，始乎垢也。时为午焉，火旺于午，故退符用文火焉。遁，未也，时为六月，故火武焉，则不为盛夏之浓霜矣。否，申也，微火以调之。观，酉也，阴中含阳，故沐浴后养火也。剥，戌也，火库于戌，蒙受生成，火用武矣。坤终于亥，脱胎入腹，以成变化也。自午至亥，纯阴用事，乃外阳附内阴也。然火生于寅，旺于午，库于戌，故抽添之妙，在于屯蒙也。噫！始复终坤，皆以卦象则之也，进退以象春夏秋冬之相代，抽添以象日月圆缺之相仍。火之未燃也，藉巽风以吹之，火之既燃也，资坤水以沃之。火功一正[2]，气液混融，铅汞交结，姹女敛袂，婴儿仰从，守于中宫，合为一也，七返九还之秘，毕于此矣。向使运火失宜，异证百出，金虎与木龙飞腾，坎男与离女奔逸，虽黄帝临炉，太乙执火，八公煅

1 □液：道藏修真十书金丹大成集作“搬液”。

2 正：道藏修真十书金丹大成集作“止”。

炼，欲结成丹，不可得也，可不谨审而调燮之。故丹经曰：既得真铅又难真火，岂轻议哉！虽然，金丹之道皆法象也。以铅汞为体，当知铅精汞髓皆譬喻也；以离坎为名，当知坎男离女皆虚名也；以龙虎为形，又当知火龙水虎非有形也。谓如黄芽白雪，神水华池，皆非可见可用之物乎，要之配合而调和，抽添而运用。故此丹药非金石草木之料，此火候非年月日时之数，当从本根实地而为之。炼形化气，炼气化神，不过夺天地一[1]□真阳，始乎有为而终则无为也。或者泥象之安炉著相而造鼎，执著火候，认为顽空，则谬矣。吁！否极则泰，动极则静，静曰复命，真精自朝，真息自定，谷神自栖，三尸自灭，心中无心，念中无念，身入无形，与道为一矣。

金丹问答

问曰：如何谓之金液还丹？答曰：金液者，金水也。金为水母，母隐子胎，因有还丹之号也。前贤有曰：丹者，丹田也；液者，肺液也。以肺液还于丹田，故曰金液还丹。

问曰：何谓铅汞？答曰：非凡黑锡、水银也。真一子曰：铅是天地之父母，阴阳之根基。盖圣人采天地父母之根，而为大丹之基，采阴阳纯粹之精，而为大丹之质，且非常物造作也。汞性好飞，遇铅乃结，以其子母相恋也。

问曰：何谓火？答曰：火者，大阳真气，乃坎中之阳也。紫清真人曰：坎中起火是也。

问曰：何谓候？答曰：五日为一候，是甲子一终也。日有十二时，五日六十时，终一甲子也。紫阳曰：一刻之工夫，自有一年之节候，以起火之际，顷刻一周天而也。

问曰：此火候如何用？答曰：年中用月，月中用日，日中用时，时中用刻也。

问曰：何谓真一？答曰：人能将自己天真，安于天谷之内，乃守真一之道也。金洞主云：真一者，在于北极太渊之中也。

问曰：何谓动静？答曰：阳主动，阴主静。翠虚曰：动中求静，静中有为，动静有作，口口传之。

问曰：何谓九还？答曰：金生四，成数九，还者自上而还下，九乃老阳之数。阴真君曰：从子至申为九还，亦顺下也。

问曰：何谓七返？火生二，成数七，返者自下而返上，七乃少阳之数。阴真君曰：从寅至申为七返，亦逆上也。

问曰：何谓炉？答曰：上品丹法，以神为炉，以性为药，以定为水，以慧为火；中品丹法，以神为炉，以气为药，以日为火，以月为水；下品丹法，以身为炉，以气为药，以心为火，以肾为水。又有偃月炉、玉炉。

问曰：何谓鼎？答曰：鲍真人云：金鼎近泥丸，黄帝铸丸[2]鼎是也。

问曰：何谓药物？答曰：即此药物，顺即成人，逆则成丹，五行颠倒，大地七宝，五行顺行，法界火坑，百姓日用而不知也。紫清曰：采药物于不动之中是也。

问曰：神水华池，何也？答曰：李筌云还丹之要，在于神水华池。紫阳曰：以铅入汞，名曰神水，以汞投铅，名曰华池。海蟾曰：从来神水出高源。紫清曰：华池正在气海内。

问曰：何谓三关？答曰：头为天关，足为地关，手为人关。

问曰：何谓内三要？答曰：第一要太渊池也，第二要绛宫也，第三要地户也。

问曰：何谓外三要？答曰：口之与鼻共三窍，是神气往来之门户，下功之际，调鼻息，缄舌气，闭兑也。

问曰：何谓兑？答曰：真一子云兑，口也。

问曰：婴儿姹女正在何处？答曰：婴儿在肾，姹女在心。

问曰：肾属水为阴，婴儿属阳，心属火

1) 一：此下脱字，道藏修真十书金丹大成集作“点”。

2) 丸：道藏修真十书金丹大成集作“九”。

为阳，姹女属阴，何缘居此？答曰：肾属坎☵，阴中有阳，乃真阳也。心属离☲，阳中有阴，乃真阴也。

问曰：泥丸宫正在何处？答曰：头有九宫，中曰泥丸。

问曰：何谓金公？答曰：金边着公，乃铅也。紫阳曰：要能制伏觅金公。

问曰：何谓黄婆？答曰：黄乃土之色，位属坤，因取名焉。紫清曰：金公无言姹女死，黄婆不老犹怀胎。

问曰：呼吸何如？答曰：呼出心与肺，吸入肾与肝，呼则接天根，吸则接地根，呼则龙吟云起，吸则虎啸风生，呼吸风云，凝成金液。

问曰：何谓琼浆玉液？答曰：皆神水也。

问曰：何谓神气？答曰：神是火，火属心，气是药，药属身，神气子母也。虚靖天师云：气者，生之元也；神者，生之制。持满驭神，专气抱一，神依气住，神气相合，乃可长生。三茅真君曰：气是添年药，心为使气神，若知行气主，便是得仙人。

问曰：何谓十二楼？答曰：人之喉咙管有十二节是也。

问曰：何谓帘帏？答曰：眼是也，下功之际，含光云房。曰：闭户垂帘默默窥。

问曰：何谓子午？答曰：子午乃天地之中也，在天为日月，在人为心肾，在时为子午，在卦为坎离，在方为南北。

问曰：何谓五位相得，而各有合？答曰：天地五十五数，故乾得一九合而成十，坤得四六合而成十，巽兑得二八合而成十，震艮得三七合而成十，离得五，坎得十，坎离无偶，所以自合也。以数言之，则得天地之中数；以爻言之，则得天地之中爻；以位言之，则得天地之中位。坎离为用，不以大乎。

问曰：何谓五岳？答曰：五岳真形图曰：在人之头，紫清以有巾藏五岳冠之句。

问曰：何谓玄牝？答曰：在上曰玄，在下曰牝；玄关一窍，左曰玄，右曰牝。

问曰：何谓玄牝之门？答曰：鼻通天气曰玄门，口通地气曰牝户，口鼻乃玄牝门户矣。

问曰：何谓三男三女？答曰：乾道索坤，长男曰震，中男曰坎，少男曰艮。坤道索乾，长女曰巽，中女曰离，少女曰兑。

问曰：何谓火龙水虎？答曰：虎，西方金也，金生水，反藏形于水。龙，东方木也，木生火，反受克于火。太白真君曰：五行不顺行，虎向水中生，五行颠倒术，龙从火里出是也。

问曰：何谓分至？答曰：子时象冬至，阴极而阳生；午时象夏至，阳极而阴生；卯时象春分，阳中含阴；酉时象秋分，阴中含阳。人身亦有分至，紫阳曰：以身心分上下两弦，以神气别冬夏二至。

问曰：何谓沐浴？答曰：真气薰蒸，神水灌溉为沐浴，太上曰灌，以甘泉涤其垢污，出自华池，后归坤户。杏林曰：沐浴资神水是也。

问曰：何谓抽添？答曰：既抽铅于肘后，顷[1]　添汞于中黄。传道集曰：可抽之时不可[2]添是也。

问曰：何谓搬运？答曰：搬金精于肘后，运玉液于泥丸，下手工夫，口诀存焉。

问曰：何谓三田？答曰：脑为上田，心为中田，气海为下田，若得斗柄之机斡运，则上下循环，如天河之流转也。

问背后三关？答曰：脑后曰玉枕关，夹脊曰辘轳关，水火之际曰尾闾关。

问曰：何谓神室？答曰：元神所居之室也。朗然子曰：未明神室千般挠，达了心田万事闲。

问三花聚顶？答曰：神气精混而为一也，玄关一窍，乃神气精之几[3]　也。

问五气朝元？答曰：五藏真气，上朝于

---

① 顷：道藏修真十书金丹大成集作“须”。
② 可：道藏修真十书金丹大成集此下有“不”字。
③ 几：道藏修真十书金丹大成集作“穴”。

天元也。

问和合四象？答曰：眼不视而魂在肝，耳不闻而精在肾，舌不动而神在心，鼻不嗅而魄在肺，精神魂魄，聚于意土也。

问曰：马牙真主人神符白雪？答曰：皆铅汞之总名也。

问河车？答曰：北方正气，名曰河车，左曰日轮，右曰月轮，搬负正气，运载元阳，应节顺行，下手无非，此车之力。

问曰：老嫩何也？答曰：采药之时，审其老嫩。彭鹤林曰：嫩时须采老时枯。紫阳曰：铅见癸生须急采，如[①]逢望远不堪尝是也。

问浮沉？答曰：铅浮而银沉也。

问清浊？答曰：阳清而阴浊也，清者浮之于上，浊者沉之于下，修丹者留清去浊，盖清属阳而浊属阴也。

问五行相克？答曰：全[②]碧经云：金木相伐，水火相克，土旺金乡，三物俱丧，四海辐凑，以致太平，并由中宫土德之功也。

问曰：往来何也？答曰：子往午来，阴符阳火，自子进符，至辰巳日干[③]退符，至戌亥始复终坤，皆以卦象则之，一消一长，一往一来，以成其变化。易曰：阖户谓之坤，辟户谓之乾，一阖一辟谓之变，往来不穷谓之通也。

问雌雄？答曰：雌阴雄阳也，一阴一阳谓之道，孤阴寡阳，不能自生。参同契曰：雌雄相错，以类相求。注曰：雄，金砂也；雌，火汞也；相须含吐，类聚生成，以为神药也。

问防危？答曰：防火候之差失，忌梦寐之昏迷。翠虚曰：精生有时，时至神知，百刻之中，切忌昏迷。

问交合？答曰：磁石吸铁，隔碍潜通。

问有无？答曰：金碧经曰：有无互相制，上有青龙居，两无宗宗一，有[④]化妙难窥。

问刑德？答曰：阳为德，德出则万物生；阴为刑，刑出则万物死。故二月阳中含阴而榆荚落，象金砂随阴气动静落在胎中，故曰归根也；八月阴中含阳而荞麦生，象金水随阳气滋液于鼎内。故卯酉乃刑德相负，阴阳两停，故息符火也。

问黑白？答曰：参同契曰：知白守黑，神明自来。白者、金也；黑者，水也；以金水之根，而为药基矣。

问寒暑？答曰：真一子曰：不应刻漏，风雨不调，水旱相伐，或阳火过刻，或阴符失节，凝冬变为大暑，盛夏反作浓霜，火候过差，灵汞飞走，运火之士，可不谨之。

问晦朔？答曰：参同契曰：晦朔之间，合符中行，乃金水符合之际也。

问固济？答曰：太白真人曰：固济胎不泄，变化在须臾。言其水火既济，闭固神室，而不可使之泄漏。

问圣胎？答曰：无质主[⑤]质，结成圣胎，辛勤保护十月，如幼女之初怀孕，似小龙之乍养珠，盖神气始凝结，极易疏失也。

问四正？答曰：子午卯酉为四正，玄关一窍四正宫也。

问黄庭正在何处？答曰：在膀胱之上，脾之下，肾之前，肝之左，肺之右也。

问金乌玉兔？答曰：日中乌，比心中之液也；月中兔，比肾中之气也。

问炼形？答曰：炼形化气，炼气化神，炼神合道也。金洞主曰：以精炼形，非凡砂石。

问张紫阳曰心肾非坎离，何也？答曰：心肾特坎离之体耳！有体有用。

问所用者何也？答曰：天心乃心之用也，属离；形乃肾之用也，属坎；交媾之际，运用于此矣。

问工夫？答曰：知时而交媾，进火而防危，阳生而野战，刑德而沐浴，以至温养成

① 如：道藏修真十书金丹大成集作“金”。
② 全：道藏修真十书金丹大成集作“金”。
③ 日干：道藏修真十书金丹大成作“自午”。
④ 宗一有：道藏修真十书金丹大成集作“一有灵”。
⑤ 主：道藏修真十书金丹大成集作“生”。

丹也。

问野战？答曰：龙虎经曰：文以怀柔，武以讨叛。紫阳曰：守城野战知凶吉，增得灵砂满鼎红。

问温养？答曰：杏林曰：温养象周星。毗陵曰：金鼎常[1]□汤用暖，玉炉不要火教寒是也。

问烹炼？答曰：烹金鼎，炼玉炉，口诀存焉。

问赏罚？答曰：春气发生谓之赏，乃巳前阳火之候也；秋气杀物谓之罚，乃午后阴符之候也。

问守城？答曰：抱元守一，而凝神聚气也。

问堤防？答曰：驱除杂念，而专心不二也。

问神庐者何也？答曰：鼻也，乃神气出入之门。黄庭经曰：神庐之中当修治，呼吸庐间入丹田。

问太一含真？答曰：守真一于天，谷气入玄元，即达本来天真。答上曰：真道养神，若能守我在死气之关，令七祖枯骨皆有生气。生我者道，活我者神，将神守道，以道养神是也。

问三尸？答曰：中黄经曰：一者上虫居脑中，二者中虫居明堂，三者下虫居腹胃，名曰彭琚、彭质、彭矫也。恶人进道，喜人退志，上田乃神所居之宫，惟人不能开，此关被尸虫居之，生死轮回，无有了期。若能握元神，栖于本宫，则尸虫自灭，真息自定，所谓一窍开而百窍齐开，大关通而百骸尽通，则天真降灵，不神之神，所以神也。

问胎息？答曰：能守真一，则息不往来，如在母胞胎之中，谓之大完也。

问玉池？答曰：口也。黄庭经曰：玉池清水灌灵根是也。

问橐籥？答曰：橐乃无底囊，籥乃三孔笛，又是铁匠手中所弄鼓风之物也。老子曰：天地之间，其犹橐籥乎？升降论曰：人能效天地橐籥之用，开则气出，阖则气入，出则如地气之上升，入则如天气之下降，一升一降，自可与天地齐其长久矣。

问五芽？答曰：乃五藏之真气。中黄经曰：子能守之三虫弃，得见五芽九真气。

问屯蒙？答曰：道枢曰坎者，水也，一变为水泽之节，再变为水雷之屯，其爻居寅。离者，火也，一变为火山之旅，再变为风火之鼎，三变为山水之蒙，其爻居戌，抽添水火，在于寅戌十二卦，气在于屯蒙运用。

问采日晶月华？答曰：非外之日月也，采心中真液，肾中真气也。

问内外八卦？答曰：头为乾，足为坤，膀胱为艮，胆为巽，肾为坎，心为离，肝为震，肺为兑也。

问修炼待时，然后下手？答曰：有时中之功夫，有刻中之功夫。毗陵曰：炼丹不用寻冬至，身中自有一阳生。马自然曰：不择时中分子午，无爻卦内别乾坤，此皆刻中之功夫也。

问金丹形象如何？答曰：形若弹丸，色同朱橘。抱朴子曰：大如弹丸黄如橘，中有嘉味甘如蜜，沙门得之以禅定，黄衣得之即超逸，审之行之天地毕。元枢歌曰：君不见，一粒金丹何赫赤，大如弹丸黄如橘，人人分上本圆成，夜夜灵光常满室。盖人人具足，个个圆成，当知非有形之物也。吕公曰：还丹本质也。

问玄关一窍，正在何处？答曰：在人之首，功夫容易，下手的难，寻若不遇真师，摩顶授记，皆妄为矣。

问真空？答曰：返本还元为真空。杏林曰：不知丹诀妙，终日玩真空。

问作用？答曰：螟蛉咒子，传精送神。

问出神？答曰：能守真一，真气自凝，阳神自聚，盖以一心运诸气，气住则神住，

① 常：此下脱字，道藏修真十书金丹大成集作“留”。

真积力久，功成行满，然后调神出壳也。

问超脱？答曰：超者，出也，是出神也。脱者，脱换凡躯也。皆天门出，前圣有脱壳之验，六祖七层宝塔出，钟吕三级红楼出，海蟾公鹤冲天门出。诗曰：功成须是出神京，内院繁华勿累身，会取五仙超脱法，炼成仙质离凡尘。

问尸解？答曰：尸解有五，金木水火土也。又有积功累行，而白日飞升者，者[1]徽宗皇帝尊道篇末曰：亘古迨今飞升者，千有余人，拔宅者，八十余家。出真诰。

问金丹之道，不亦难乎？答曰：是不难也。紫阳曰：悟者惟简惟易，迷者愈繁愈难。杏林曰：简易之语，不过半句，证验之效，只在片时。翠虚曰：药之不远采不难。毗陵曰：至道不繁人自昧。紫清曰：只一言贯穿万卷仙经，但片饷工夫，无穷逸乐。师曰：下手功夫容易，坚心守道为难也。

七言绝句

老子明开众妙门，一开一阖应乾坤，果于罔象无形处，有个长生不死根。

得道那堪正少年，玉炉养火不曾闲，昆仑山上黄华路，时引元神去复还。

大道元来一也无，若能守一我神居，此心莹若潭心月，不滞丝毫真自如。

妙宝无过汞与铅，依时采取自煎烹，从来至道无多事，自是时人识不全。

妙运三田须上下，自知一体合西东，几回笑指昆山上，夹脊分明有路通。

拨动天输[2]旋日月，须臾海峤起云雷，风涛汹涌波澄后，散作甘泉润九垓。

一诀分明说与贤，动中求静妙中玄，我家活计从来别，夜夜栽培火里莲。

此道玄中妙更玄，古今父子不相传，莫将火候为儿戏，须共真师子细研。

大药三般精气神，天然子母互相亲，回风混合归真体，煅炼工夫日日新。

水火从来一处居，看时似有觅时无，细心调燮文兼武，片饷教君结玉酥。

微微小火养潜龙，见在田时也一同，交得三阳逢泰卦，始堪进火法神功。

弦前弦后辨屯蒙，进退抽添运火功，虑险防危须沐浴，还丹脱体入坤宫。

木液金精居卯酉，只宜沐浴大丹头，三三灌溉资神水，不用工夫运火牛。

以时易日法神功，子细穷推总一同，九朔九回为九转，金丹还返入坤宫。

一时辰内还丹结，夺得乾坤大造功，金液余残收拾取，莫教随雨更随风。

木金间隔要相交，白雪黄芽共一苞，定意如如行火候，便从复卦运初爻。

云收雨散丹凝后，琴瑟谐和了当时，切忌不须行火候，不知止足必倾危。

铅炉汞鼎少人知，木液金精旺有时，野战更须行火候，抽添运用莫令迟。

二八门中达者稀，弦前弦后正当时，细心调燮文兼武，端的无中养就儿。

金乌夜夜宿西川，离坎交时妙更玄，温养婴儿惟藉母，外炉增减象周天。

身中阳复为冬至，便好临炉炼大丹，托杖黄婆与媒合，夫妻共室镇同欢。

恰恰相当妙绝奇，中秋天上月圆时，阳生急采毋令缓，进火功夫要虑危。

炼丹子细辨功夫，昼夜殷勤守药炉，若遇一阳才起复，嫩时须采老时枯。

生铅生汞为丹祖，聘作夫妻共一心，从此抽添方进火，玉炉炼作一团金。

阴阳还返结成丹，九转无亏火力全，若到坤宫受气足，只须沐浴任天然。

依时进火要孜专，勿遣猿猱取次攀，花露初开须忌触，锁居土釜莫抽关。

上下三宫三寸田，自耕自种自烹煎，依时采取须[3]□密，进退抽添象缺圆。

阆苑蟠桃自熟时，摘来服饵莫教迟，几

---

① 者：道藏修真十书金丹大成集无此字。

② 输：道藏修真十书金丹大成集作“轮”。

③ 须：此下脱字，道藏修真十书金丹大成集作“教”。

回下手潜偷处，无限神仙总不知。

熟铅熟汞最堪烹，谁道金丹结不成，若也学人常得饵，伫看白日羽翰生。

学人若要觅黄芽，两处根源共一家，七返九还须识主，功夫毫发不容差。

阴居于上阳居下，阳气先升阴后随，配合虎龙交媾处，此时如过小桥时。

调和铅汞不终朝，密固根源养圣胞，先使日魂擒月魄，阴文阳武运初爻。

初九潜龙回一阳，分明变化在中央，巽风呼吸吹乾火，炼得炉中胜似霜。

玉炉炼就长生药，金鼎烧成不死丹，颠倒坎离由戊己，分明我命不由天。

夜来酒醒已三更，自觉情浓意转深，玉洞试将灵剑击，便教虎啸与龙吟。

河车搬运上昆山，不动纤毫到玉关，妙在八门牢闭锁，阴阳一气自循环。

酒是良朋伴是花，岭头时驾紫河车，可怜金虎一声啸，吹散青天五彩霞。

西川岸上抬头望，无限蟾光醮碧波，便好下功修二八，更须子细托黄婆。

玉炉金鼎药争光，紫雾红霞映洞房，便向此时勤采取，元神归室不飞扬。

朱砂鼎里绽黄花，偃月炉中发玉葩，进退短长勤采摘，一时收拾入黄家。

无功功里要勤功，功外无功合圣功，炼得丹田成至宝，任他乌兔走西东。

泝流一直上蓬莱，散作甘泉润九垓，从此丹田沾润泽，黄芽遍地一齐开。

玄珠搬运上昆山，两扇朱门日月闭，捉取四蛇并二儿[1]，虎龙交媾一时间。

元君端拱座玄都，三叠胎仙舞八隅，变化一阳天地震，太平因此妙工夫。

两枝剑挂南宫角，自在元神谒玉皇，从此天宫相见后，玉阶来往是寻常。

霭霭烟笼十二楼，绛宫清静万神游，有人问我家何处，占得风光最上头。

几回抖擞上昆仑，运动璇玑造化分，昼夜周而还复始，婴儿从此命长存。

玉炉霭霭腾云气，金谷蒙蒙长紫芝，神水时时勤灌溉，留连毋使火龙飞。

西山白虎放颠狂，东海青龙不可当，坤母若来相制伏，一齐捉入洞中藏。

外道邪魔忽逞威，七星宝剑向前挥，果于鬼窟交锋处，夺得明珠一颗归。

自然宗祖一灵台，内有长生不死胎，妙运阴阳还返后，周回卦气八门开。

身中一窍名玄牝，的在三关要路头，若也知时能运用，木金交并自沉浮。

擘开玄牝露双关，煅炼工夫不等闲，学者要知端的处，直须北斗面南看。

大道根茎识者稀，常人日用孰能知，为君指出神仙窟，一窍弯弯似月眉。

几回抖擞上昆仑，足蹑玄关众妙门，仗剑擘开天地锁，金乌玉兔自相吞。

昨宵姹女启灵扉，窥见神仙会紫微，北斗南辰前后布，两轮日月往来飞。

子细思量是妙哉，朝朝满劝九霞杯，能教地魄搬精转，自有天魂祝寿来。

炼已修心义最深，修心须要识天心，神仙妙诀无多子，炼就阳神消众阴。

昆仑一直至泥丸，镇日追攀自往还，若要长生兼出世，到头不离自身间。

小小壶中别一天，铁牛耕地种金莲，这般景象家家有，因甚时人不学仙。

碧潭深处捉明珠，翻手抛来上太虚，托仗黄婆收拾得，化为金液结凝酥。

修丹须要觅根源，产在先天与后天，若得谷神长不死，此身何患不为仙。

执文泥象皆非实，得象忘言始合真，大抵修丹皆法象，由来万化在人身。

仙经万卷重重说，道在常人日用间，若也自能颠倒运，不劳万水与千山。

求仙恼乱几多人，为爱修真未识真，若得红铅并黑汞，炼成至宝出嚣尘。

虽然小小一壶中，上下乾坤法像同，若

① 儿：道藏修真十书金丹大成集作“鼠”。

也知时能运用，金乌玉兔自西东。

得悟无为是有为，潜修妙理乐希夷，几回日月滩头立，直把丝轮钓黑龟。

玉京元始座瑶台，紫气凝空殿阙开，西阎洞门三四叩，九天仙子一齐来。

恍惚之中有至精，龙吟虎啸最堪听，玄珠飞趁昆仑过，尽夜河车不暂停。

独步昆山望杳冥，龙吟虎啸甚分明，玉池常滴阴阳髓，金鼎时烹日月精。

自家精气自家身，何必区区问别人，下手速修尤太晚，劝君回首莫因循。

心酸世上几多人，不解修真自损真，精漏气凋神丧去，透灵别壳入迷津。

先天先地最玄机，福浅焉能得遇之，采得真铅须急炼，劝君切莫更迟疑。

学人不识水中金，谩向诸般取次寻，只是黑铅为至宝，本居兑位寄于壬。

学人不识水乡铅，颠倒阴阳位属乾，仿佛本居于以[1]位，分明寄产兑宫边。

初炼还丹须入室，妇人怀孕更无殊，圣胎凝结圆成后，出入行藏岂有拘。

露心剖腹不相诬，急急躬亲大药炉，六十甲中寻甲子，三千日内著功夫。

一等停门性好淫，强阳复去采他阴，口含天癸称为药，似恁淤沮枉用心。

指闭尾闾称是道，何曾虎啸更龙吟，元阳摇动无墙壁，错认黄泥唤作金。

金丹大药最通玄，向上天机不妄传，为报近来修道者，炼精不住亦徒然。

自得仙师真口诀，敢将鄙句泄玄微，学人于此详穷究，诗内篇篇露尽机。

乐道歌

舍妄归真隐市廛，炼铅烹汞结还丹，时人不慕长生道，声色萦心一梦间。了真子，惟乐道，奇哉妙在回心早，浮名浮利总虚华，世间惟有修真好。说修真，人最多，穷通表里无一个，因到丹山遇至人，一言与我都诀破，得诀归来试炼看，龙争虎战片时间，云收雨散万籁寂，彻夜风雨撼万山，辟地诛茅筑神室，闭关绝[2]及腥膻，兀坐茅庐惟守一，玉炉养火不曾闲，从今踏破生死户，翻身跳出鬼门关，昆仑顶上堪来往，时引元神去又还，惟乐道，炼金丹，五气调元玉洞宽，拍手笑吹无孔笛，玩弄玄珠九曲湾，铅龙汞虎交媾时，一霎火焰飞烧天，调燮火工宜子细，刚柔文武莫纵意，朝暮屯蒙有君臣，知足常足归本位，前行须短退须长，春夏秋冬依次第，二十八宿归一炉，水火要分前后队，复临二卦宜温养，壮观沐浴须回避，还返工夫入坤宫，炼得坚凝成一块，这般手段出作家，试问时人会不会。了真子，惟乐道，奇哉妙在回心早，垢面蓬头任所宜，寂寞无人相贴[3]恼，渴饮金浆与玉浆，饥餐交梨并火枣，两轮日月任西东，仰窥造化工夫巧，西边兑金位属酉，东边震木位属仰[4]，灵台皎洁无人修，玄坛寂静无人扫，炼精化气气化神，大郁[5]神气精为宝，金木自然会交并，水怕滥兮火怕燥，如龙养珠常自顾，如鸡养卵当自抱，金液还丹在眼前，迷者多而悟者少，有人日夜炼来餐，味胜醍醐真个好，问我日下用工夫，不离顶门真一窍，出自虚无缥缈间，先天先地为大道，学人得悟大还丹，于此歌中细寻讨，我若分毫误学人，万劫风刀当受考。

茅庐得意歌

茅庐七尺高，横过九尺阔，清闲一主人，怕客来恼聒，饥则淡饭三五匙，困则和衣睡一歇，为爱此清闲，万事都摆脱，夜夜曲江头，掬水弄明月，两脚翻来拗乾斗，定息凝神入气穴，琼浆酝就从天降，流遍舌端甘似蜜，九杯饮罢又九杯，清复浓兮时自啜。这境界，甚奇绝，醉抱杨妃共欢悦，自家身里

① 以：道藏修真十书金丹大成集作“坎”。
② 绝：道藏修真十书金丹大成集此下有“俗”字。
③ 贴：道藏修真十书金丹大成集作“聒”。
④ 仰：道藏修真十书金丹大成集作“卯”。
⑤ 郁：道藏修真十书金丹大成集作“都”。

有夫妻，子母同形活泼泼，如龙养珠心不忘，如鸡抱卵气不绝，犹如寒蝉吸晓风，又如老蚌含秋月，醉里高歌喝一声，虚空粉粹[1]秋毫末。真得意，少人知，恍恍惚惚恰如痴，仰观造化工夫妙，日还东出月还西，捉得日魂并月魄，一浮一沉珠自飞，默运乾坤一否泰，屯蒙抽添进退机，金木自然解交并，相生相克有幽微，临炉施条莫纵意，神木沐浴要防危，大都一年十二月，木液金精忌兔鸡，十月脱胎吞入腹，九转工夫在一时，莫将火候为儿戏，须共神仙子细推，返中若也差毫发，汞走铅飞不交结，学人于此善推详，七七从来四十八，天地之间不逃数，此是玄玄真口诀，银河若也会斗牛，密密固炉勿轻泄，下手不教神鬼见，烹炼玉炉成白雪，水银原是黑龟肝，朱砂乃是赤凤血，有文有武有刚柔，进退往来细分别，温养婴儿并野战，刻里工夫须口说。真得意，少人知，茅庐野僻人迹稀，垢面蓬头惟乐道，如鱼饮水自家知，云间独酌逡巡酒，松下闲吟无韵诗，五岳秋高飞白凤，九泉春暖养乌龟，自己阳神皆踊跃，从他阴鬼暗愁悲，元精每运无穷数，玉液常餐不暂离，我家活计工夫别，未与常人话此规。少人知，真得意，自得天机常似醉，醉弹一曲无弦琴，琴里声声教子细。勉贤能，休贪鄙，火急寻师觅玄指，今生若不悟修真，未必来生得恁地，回头恁取紫金丹，炼来便是神仙位。

剑　　歌

两枝慧剑埋真土，出匣哮吼惊风雨，修丹若无此器械，学者千人万人误，惟有小心得剑诀，用之晶英动千古，知时飞入太霄间，分明寻得阴阳路，捉住玉兔不敢行，炉内丹砂方定所，审其老嫩辨浮沉，进退来往分宾主，一霎火焰飞烧天，煅炼玄精妙难睹，唬唬虽则声悲苦，终是依依恋慈若，毋[2]要制伏火龙儿，却去北方寻水虎。龙见虎，互盘旋，恍恍惚惚结成团，河车搬入昆仑顶，锁居土釜勿抽关，息息绵绵无间断，抱元守一要精专，琼浆酝就从天降，馥郁甘甜遍舌端，炼之饵之入五内，只此号曰大还丹，宿疾普消神气爽，四肢和畅身康安，从来真火生于木，不会调匀莫强钻，玉炉火候须消息，火怕寒兮水怕乾，若得先师真剑诀，下手修炼夫何难，悬崖铁壁挂残雪，玉匣藏处老龙蟠，华池神水磨莹净，知时提掣自挥弹，若遇有仇须急报，外道邪魔丧胆寒。破鸿蒙，凿混沌，自使来来无缺损，专心定志不须忙，左右用之在款款，此歌寄语逢剑人，著意推穷可为准。

赠谌高士辞往武夷歌

剥啄叩关辞我去，启扉少款片时间，道在自身休外觅，徒劳万水与千山。君且听，我试说，语无多，真妙诀，夜深龙吟虎啸时，急驾河车无暂歇，须臾搬入泥丸顶，进火玉炉烹似雪，华池神水湛澄澄，浇灌黄芽应时节，琼浆玉液频吞咽，四体薰蒸颜色别，傍门小法几千般，惟有此道最直截，在外即非砂与硫，在内亦非精与血，圆陁陁地镇相随，赤漉漉兮光皎洁，知时下手采将来，固济神炉勿轻泄，九还七返片时功，橐籥吹嘘藉晓风，要识玄关端的处，儿女笑指最高峰。最高峰，秀且奇，被[3]岸濛濛生紫芝，只此便是长生草，无限修行人不知，纵笔书数句，可谓泄天机，君兜芒鞋去，毕竟几时归，传语众仙休拟议，待我工夫彻到头，换骨定是来武夷。

赠邹峄山歌

荷君与我剔图书，捉摸虚空样也无，机在心兮巧在手，也是无中生出有。了真子，雌雄剑，飞太空，掣雷电，夜半哮吼时，指破阴魔脸，夺得明珠还，不与常人见，一阵

① 粹：道藏修真十书金丹大成集作“碎”。
② 若毋：道藏修真十书金丹大成集作“母若”。
③ 被：道藏修真十书金丹大成集作“彼”。

交锋定太平，元君端坐三清殿。娇姹女，嫁金公，洞房深处云雨浓，白面郎君骑白虎，青衣女子跨青龙，牛斗河边相见后，一时关锁在中宫，运动天然真火候，掀天煅炼一炉红，金公无言姹女死，九还七返片时功，若非欧冶传剑诀，安得青霄有路通，生涯只此雌雄剑，吹毛利水快如风。君若问，此剑诀，天机未敢分明泄，青龙项下碗明珠，白虎头边猷鲜血，有时飞入昆仑顶，交加千里冲妙穴，雌雄飞逐不曾闲，来往己手自提挈，出匣光射透天罡，照耀锋铓何凛冽，学人要觅真剑方，为言不是寻常铁。

西 江 月

两手擘开混沌，垣[1]然直露丹宗，日魂月魄自西东，牢捉莫轻放纵。 外道邪魇[2]□□，相将结宝中宫，九还七返片时功，皆赖黄婆相送。

默运乾坤否泰，抽添妙在屯蒙，起于复卦剥于终，温养两般作用。 沐浴要防危险，吹哑[3]全藉离风，工夫还返入坤宫，火足不宜轻弄。

要识真铅真汞，都来只一根源，烹煎火候妙中玄，不是知音难辨。 采取莫差时日，仍分弦后弦前，玉炉一霎火烧天，无位真人出现。

莫问九三二八，无过阴偶阳奇，大都离坎结夫妻，要识屯蒙既未。 若遇一阳起复，便堪进火无迟，只因差失在毫厘，野战更宜子细。

鼎器法天象地，坎离运用无差，夫妻相会入黄家，共说无生妙话。 雨意云情了当，岭头驾动河车，搬归顶上结三花，牢闭玉关金锁。

拨动顶门关[4]□，自然虎啸龙吟，九还七返义幽深，出入不离玄牝。 运用玉炉火候，鼎中炼就真金，强兵战胜便收心，妙在无伤无损。

一二复临养火，兔鸡沐浴潜藏，分明变化在中央[5]，□就玄珠片饷。 还返归根脱体，守城抱一堤防，黄庭来往是寻常，恍惚之中纵放。

夹脊双关透顶，此为大道玄门，金丹只是此宗根，大要知时搬运。 温养守城野战，华池玉液频吞，玉炉常使火温温，采药审他老嫩。

调燮火工非小，差殊只在毫厘，鼎炉汞走黑铅飞，从此恐君丧志。 须共真师细论，无令妄动轻为，幽微玄妙最深机，言语仍须避忌。

九曲江头逆浪，霎时冲过天心，昆仑顶上水澄澄，酝炕[6]琼浆自饮。 便向此时采取，河车搬运无停，阴阳一气自浮沉，锁闭玉关牢隐。

药产西南坤地，金丹只此根宗，学人著意细推穷，妙纪无过真种。 了一万般皆毕，休分南北西东，执又[7]泥象岂能通，恰似哑人谈梦。

金液还丹大道，古人万劫一传，倾心剖腹露诸篇，接引直超道岸。 莫怪天机泄尽，此玄玄外无玄，留传石[8]代与名贤，有目分明觑见。

南 乡 子

真汞与真铅，产在先天与后天，大要知时勤采取，玄玄，得穴何愁不作仙。 进火要精专，审究前弦与后弦，屯卦抽添蒙卦止，难传，毫发差殊不结丹。

两手擘鸿濛，慧剑飞来第一峰，外道修罗惊缩项，神通，造化元来在掌中。 煅炼玉炉红，橐籥吹嘘藉巽风，十月脱胎吞入腹，坤宫，立见三清太上翁。 老子曰：自己三清，何劳上

---

① 垣：道藏修真十书金丹大成集作“坦”。
② 魇：此下脱字，道藏修真十书金丹大成集作“缩项”。
③ 哑：道藏修真十书金丹大成集作“嘘”。
④ 关：此下脱字，道藏修真十书金丹大成集作“捩”。
⑤ 央：此下脱字，道藏修真十书金丹大成集作“结”。
⑥ 炕：道藏修真十书金丹大成集作“就”。
⑦ 又：道藏修真十书金丹大成集作“文”。
⑧ 石：道藏修真十书金丹大成集作“万”。

望。

温养象周天，须要微微火力全，爱护婴儿惟藉母，三年，运用抽添象缺圆。　牛斗会河边，舍取玄珠种玉田，定意如如行火候，精专，剖腹分明说与贤。

生甲更生庚，此是丹头切要明，药嫩采来归土釜，煎烹，文武刚柔次第行。　片饷结丹成，沐浴防危更守城，到此不须行火候，持盈，火若加临必定倾。

木兔与金鸡，刑德临门有偶奇，炉内丹硃宜沐浴，防危，神水溶浴满玉池。　年月日并时，刻里工夫一倒推，著意研穷丹造次，毫厘，十月殷勤自保持。

鼎器法乾坤，上是天元下地元，若也更能颠倒运，交番，阖辟循环在八门。　搬运上昆仑，龟与蛇儿自吐吞，百尺竿头牢把线，掀援，从此元神命汞存。

关锁自周天，升降循环三寸田，不在嘘呵并数息，天然，九转无亏火力全。　胎息谩流传，要在阴阳不可偏，呼吸吹嘘皆赖巽，绵绵，妙在前弦与后弦。

复卦起潜龙，戊己微调未可攻，九二见龙临卦主，神通，从此炉中次第红。　泰卦恰相逢，猛火烧乾藉巽风，炼就黄芽并白雪，奇功，还返归坤道始穷。

识得水中金，煅炼烹煎理更深，进退抽添须九转，浮沉，温养潜龙复与临。　妙运自天心，托杖黄婆配丙壬，酝就醍醐山顶降，频斟，慢拨无弦一曲琴。

长子到西方，少女归乾变六阳，便好下功修二八，堤防，至九方知道自昌。　牛斗共商量，巧夺天工妙莫量，离坎夫妻交媾后，难忘，始觉壶中日月长。

白雪与黄芽，两味晶华共一家，采摘辨时衰与旺，堪夸，火候毫厘不可差。　顶上结三花，驾动羊车与鹿车，乌兔往来南北面，交加，从此天河隐泛槎。

尽净露天机，只恐时人自执迷，颔下藏珠当猛取，休迟，道在身中更问谁。　尘纲急抛离，百岁年华七十稀，莫待老来铅汞少，堪悲，业报前途难自欺。

读参同契作

气含太极，道立玄门。日搏月而易行其中，月持[①]而易藏其用。水腾浮作离中汞，火降沉为坎里铅。坎纳戊兮，月魄乌飞，离纳己兮，日魂兔走。戊己为炉而烹煎日月，坎离为药而点化魂魄。日合五行，月随六律，门通子午，数运寅申。复临泰壮夬乾兮，六阳左旋，遘遁否观剥坤兮，六阴右转，百八十阳坎[②]，日宫春色，百八十阴兮，月[③]□秋光。月不自明，由日以受其明。日之有辉，因月以发其元，互为室宅，交显精神。长教玉树气回根，不使金花精脱蒂，姹女捉乌吞玉兔，婴儿驱兔吸金乌。自震庚兑丁而乾纳甲壬，由选[④]辛艮丙而坤藏乙癸。上弦数八兮，砂中取汞，下弦数八兮，水内淘金。青龙是木，木产火中，白虎是金，金生水内。七八十五兮，坎离交，九六十五兮，乾坤合。自子至巳，先进阳火，自午至亥，后退阴符。七八者，少阳少阴之数存，九六者，老阳老阴之数寓。二八十六两兮，中全卦气，五六三十日兮，妙运天轮。屯蒙常起于朝昏，既未无愆于晦朔。恍惚水中金不定，飞扬火里木难收。金木间隔既殊途，水火调和归一性。七返返上，九还还元，结就玄珠，炼成至宝。不神之神所以神，灭息定息至无息。二十四气，体天之消息，七十二候，随时而卷舒，惟能得象忘言，不在执文泥象。悟之者简而且易，迷之者繁而愈难。即周易象而参考之，自然契合，独魏伯阳之著详矣，宜究精微。

解注崔公入药镜

先天气，后天气，先天气，乃大元一气也，在天枢

① 持：道藏修真十书金丹大成集此下有“日”字。
② 坎：道藏修真十书金丹大成集作“分”
③ 月：此下脱字，道藏修真十书金丹大成集作“殿”。
④ 选：道藏修真十书金丹大成集作“巽”

之上生[1]之。后天气，地元一气也，在地服[2]之下往之，人若得斗两[3]之机斡运，则升降往来，周而复始，与天同运矣。元和子曰：人身大抵同天地也。**得之者，常似醉。** 人能得中抽[4]之机，轮运阴阳之气，则眩眩摇摇[5]，杳杳冥冥，自然身必和物[6]，如病[7]如醉，肌肤爽透，美在其中。**日有合，月有合。** 夫月因日以受其明，晦朔合璧之后，魄中生魂，以阳变阴，月晦望[8]年终，月朔象岁首，自朔日受日辰之符，因水生银，至月晦阳气消尽，即金水两物，情性自相包裹[9]。参同契云：月晦日相包，隐藏其垣廓。**穷戊己，定庚甲，** 金液还丹，非土则不能造化，当穷究其真土。古歌曰：五行处处有，何处为冥土[10]。紫阳诗曰：离坎若契无戊己，虽含四象不成丹。庚，西方金也，里[11]，东方木也，二物间隔，木能交并，须仗黄婆陈[12]合，金始生水，木始生火，水火既旺，则金木交并矣。刘真人象先歌曰：庚要生，甲要生，生甲生庚道始明。西华圣母曰：生甲生庚，堪为大丹之祖，真王[13]者，坤位是也。**上鹊桥，下鹊桥，** 此崔公复指上下二源，鹊桥乃天河也，人能运用，若天河之流转，上下无穷也。**天应星，地应潮，** 在天应星，如斗柄之运斡，在地应庙[14]，如[15]月之盈亏。无[16]枢歌曰：地下海潮天上月 是 也。**起巽风，运坤火，** 息者，风也，火不能自炎，须假风以吹之。钟离丹诀云：陈药[17]□巽风。否[18]林诗曰：吹嘘藉巽风。运者，动也，坤乃西南之地，水火聚会之源也。**入黄房，成至宝，** 既经起火符之后，则运入黄房之中，结成至宝矣。黄房亦曰：黄华玄关一窍，乃真土，故曰黄房也。**水怕乾，火怕寒，** 修炼金丹，金藉火工，调燮添水之时，以救其火之燥也，运火之时，又恐其火之寒也，故水亦相滥，亦怕乾，火亦相燥，亦是[19]寒，故有斤两法度，须要调匀，使其不致于太过，亦不致于不及也。**差毫发，不成丹，** 运火之际，细意调燮，毫发之差，则天地悬隔矣。紫阳诗曰：毫发差殊不水丹。**铅龙升，汞虎降，** 铅，火也，龙也，沉而在下。汞，水也，浮而在上。大白真人歌曰：五行不顺行，虎向水中生，五行颠倒术，龙从火里出，以法制之，则自然升降矣。**驱二物，勿纵放，** 当其龙虎升降之时，须要把提，不可纵放也。紫阳诗曰：既驱二物归黄道，怎得灵砂不解生。**产在坤，种在乾，** 药产西南，西南乃坤地也，产于坤地，则移种于乾言[20]也，上下二源，其理明矣。**但至诚，法自然，** 真一子云：至诚惨[21]炼此药，乃白日飞升之道也，阴真君曰：不得地，莫妄为，须隐密审护，持善保守，莫失天地机。**盗天地，夺造化，** 移疏[22]莫不盗天地之机，旧[23]造化之妙，运用则符乾坤否泰，抽添则象日月亏盈，定刻漏，分三[24]弦，隔子午，接阴阳，通晦朔，合龙虎，依天地之大数，吐[25]阴阳之化机，阴符阳火，作[26]约卦爻，周而复始，旧[27]环互用，不失其时，一鼎之中，造化二[28]明，象天地运动，发生万物也，倘或火候失时，抽添过度，寒暑不应，进退差殊，即令天地之间，凭何而生万物哉？阴阳之气，凭何而生龙虎诚[29]？**攒五行，会八卦，** 五方中以[30]为主，五行以土为主，位居于中，而有土德之尊，故水得土则攒[31]其形，火得土则隐其明，金得土而增其色，木得土而益其润，土无壮[32]形，挨挑[33]四象，五行既聚，则八卦自然相会矣。**水真水，火真火，** 离中有阴，则心中之夜[34]乃真水也，坎中有阳，则肾中之气，乃真火也，此一身之真水火。**水火交，永不老，** 夫地之气，上腾而为雾，天之气，下降而为露，阴阳相交而成膏雨，滋荣万物者也，一身之阴阳相交，而成真夜，兹恭[35]五藏六晴[36]复归寸[37]下田，结而为丹，故万物无阴阳气不坐[38]，五藏六腑无津液则病矣。**水能流，火能焰，** 水在土[39]，故能流下，火居下，故能炎

1 生：道藏修真十书金丹大成集作“注”。
2 服：道藏修真十书金丹大成集作“相”。
3 两：道藏修真十书金丹大成集作“柄”。
4 中抽：道藏修真十书金丹大成集作“斗柄”。
5 眩眩摇摇：道藏修真十书金丹大成集作“恍恍惚惚”。
6 物：道藏修真十书金丹大成集作“畅”。
7 病：道藏修真十书金丹大成集作“痴”。
8 望：道藏修真十书金丹大成集作“象”。
9 裹：道藏修真十书金丹大成集作“裹”。
10 冥土：道藏修真十书金丹大成集作“真土”。
11 里：道藏修真十书金丹大成集作“甲”。
12 陈：道藏修真十书金丹大成集作“媒”。
13 王：道藏修真十书金丹大成集作“土”。
14 庙：道藏修真十书金丹大成集作“潮”。
15 如：道藏修真十书金丹大成集此下有“日”字。
16 无：道藏修真十书金丹大成集作“元”。
17 药：此下脱字，道藏修真十书金丹大成集作“凭”。
18 否：道藏修真十书金丹大成集作“杏”。
19 是：道藏修真十书金丹大成集作“怕”。
20 言：道藏修真十书金丹大成集作“宫”。
21 惨：道藏修真十书金丹大成集作“修”。
22 移疏：道藏修真十书金丹大成集作“修炼”。
23 旧：道藏修真十书金丹大成集作“夺”。
24 三：道藏修真十书金丹大成集作“二”。
25 吐：道藏修真十书金丹大成集作“叶”。
26 作：道藏修真十书金丹大成集作“依”。
27 旧：道藏修真十书金丹大成集作“循”。
28 二：道藏修真十书金丹大成集作“分”。
29 诚：道藏修真十书金丹大成集作“也”。
30 中以：道藏修真十书金丹大成集作“以中”。
31 攒：道藏修真十书金丹大成集作“潜”。
32 壮：道藏修真十书金丹大成集作“正”。
33 挑：道藏修真十书金丹大成集作“排”。
34 夜：道藏修真十书金丹大成集作“液”。
35 夜兹恭：道藏修真十书金丹大成集作“液滋荣”。
36 晴：道藏修真十书金丹大成集作“府”。
37 寸：道藏修真十书金丹大成集作“于”。
38 坐：道藏修真十书金丹大成集作“生”。
39 土：道藏修真十书金丹大成集作“上”。

上。参同契云：水流不炎上，火到不润下，是此意也。在身中，自可验，真水真火，在人一身之中，于修炼之际，自可验之。是性命，非神气，左为性，性属离，右为命，命属坎，坤之中阴，入乾而成离，乾之中阳，入坤而成坎，当知离坎是性命神气之穴也。水乡铅，只一味，水乃坎也，铅乃金也，亦曰水中金。云房丹诀曰：铅铅水乡灵源，庚辛室位属乾，常居坎户，隐在兑边。刘海蟾诗曰：炼丹须是水乡铅，只此二[1]味及[2]还丹之根蒂也。归根窍，复命根，既得上下二源，乃归根复命之根窍也。贯尾闾，通泥丸，上通泥丸宫，下贯尾闾门，言其一气上下循环而无穷也。真橐籥，真鼎炉，升降论曰：人能效天地橐籥之用，开则气出，阖则气入，气出如地气之上升，气入如天气之下降，一气周流，自可与天地齐其长久矣。上曰金鼎，下曰玉炉，然皆人身之真造化也。无中有，有中无，金碧经曰：有无互相制，上有得尤[3]居，两无宗宗[4]有，灵化妙难窥。参同契曰：上闭即称有，下闭即称无，无者以奉上，上有神龛居，此两孔窍[5]法，喻气以[6]相须。托黄婆，媒姹女，姹女在离宫也，坎男不能与之交会，须托黄婆而媒合之，黄婆乃坤土也。轻轻地，默默举，进火之济[7]当轻轻然运，默默然举也。杏林诗曰：如如行火候，默默运初爻是也。一日内，十二辰，年中用月，以一月三百六十时准二[8]年，月中取日，则一日十二辰准一月，日中用时，时中用刻，到此微妙，莫非口训。意所到，皆可为。一日十二辰内遇三[9]阳动，皆可下手也。紫阳曰：一则之下失[10]，自有一年之节候，此乃顷刻之周天也。马自然诗曰：不刻时中分子午，无爻卦内别乾坤。饮刀圭，窥天巧，飞剑自土金采而饮之，故曰饮刀圭也，上下二原，皆真土也，窥者，观也。阴符经曰：观天之道，真[11]天之行尽矣。辨朔望，知昏晓，可辨明一身之朔望也，昏晓乃朝屯暮蒙二卦也。识浮沉，明主客，铅沉而银浮，铅沉而在下，银浮而在上，既识浮沉，须明主客。紫阳诗云：饶他为主我内[12]宾，无他，此乃先升后降之理也。要聚会，莫间隔，水火常要聚会，莫使之间隔也。采药时，调火功，采药之时，全藉调燮火功，一刚一柔，一文一武，二八对[13]门，六一固齐，循卦爻，沿刻漏，分二弦，隔子午，始复而终于剥[14]也。参同契曰：既得真铅，又难真火，可不细竟[15]调燮，而使之无太过不及之患[16]也。受气吉，防成凶，紫阳诗曰：受气之初容易得，抽添火候要防危，受气之初，使金木交并，水火同乡，若可喜也，及其脱体归坤，沐浴以防其凶，守城以虑其险也。火候足，莫伤丹，九转火足，当息符火，不知止足，必致灵汞飞走矣。天地灵，造化惬，北[17]乃言其惬斋不可纵意也。初结胎，看本命，初结圣胎，则看受气之初，初本命也。终脱胎，看四正，终脱胎，则看四正宫，乃玄关也。密密行，句句应。能依此密密而行，则句句应验矣。吕公诗云：因看崔公入药境[18]，令人心地转分明。

解注吕公沁园春

七返还丹，火生二，成数七，返者，自下而返上；还者，自上而还下。或曰木三金四，合成七数，故曰七返，其说亦妙，盖金木乃水火之父母，五行之宗相[19]，还丹之根基也。苟以涕唾津惜[20]气血液为七返，谬之甚矣。云房诗曰：七般之物尽为阴，若将此物为用[21]种，怠[22]得飞升头[23]玉京。紫展[24]经曰：七件阴物何取焉，还丹之名不一，或曰太丹、内丹、玉壶丹、终[25]雪丹、赤赫金丹、龙虎太药、九转神丹。宇宙之主，神禽[26]白雪，龟精凤德[27]，兔髓乌肝，先天地精，皆不过真铅真汞交结而成，逾[28]非凡铅汞金石草木有质之药，汞是九转真汞，铅是七返真铅，惟兹二味，是天地之真气，日月之至精，于外配则明象乾坤，于内配则符合造化，有生有杀，为虎为龙，蕴精[29]义而遣作夫妻，维祖宗而故称爻[30]子。二味既晓，两性须知，因媒而男女和诸[31]，

1 二：道藏修真十书金丹大成集作“一”。
2 及：道藏修真十书金丹大成集作“乃”。
3 得尤：道藏修真十书金丹大成集作“青龙”。
4 宗：道藏修真十书金丹大成集作“一”。
5 窍：道藏修真十书金丹大成集作“经”。
6 气以：道藏修真十书金丹大成集作“有无”。
7 济：道藏修真十书金丹大成集作“际”。
8 二：道藏修真十书金丹大成集作“一”。
9 三：道藏修真十书金丹大成集作“一”。
10 则之下失：道藏修真十书金丹大成集作“刻之工夫”。
11 真：道藏修真十书金丹大成集作“执”。
12 内：道藏修真十书金丹大成集作“为”。
13 对：道藏修真十书金丹大成集作“封”。
14 剥：道藏修真十书金丹大成集作“坤”。
15 竟：道藏修真十书金丹大成集作“意”。
16 患：道藏修真十书金丹大成集作“患”。
17 北：道藏修真十书金丹大成集作“此”。
18 境：道藏修真十书金丹大成集作“镜”。
19 相：道藏修真十书金丹大成集作“祖”。
20 惜：道藏修真十书金丹大成集作“精”。
21 用：道藏修真十书金丹大成集作“丹”。
22 怠：道藏修真十书金丹大成集作“怎”。
23 头：道藏修真十书金丹大成集作“上”。
24 展：道藏修真十书金丹大成集作“阳”。
25 终：道藏修真十书金丹大成集作“绛”。
26 禽：道藏修真十书金丹大成集作“丹”。
27 德：道藏修真十书金丹大成集作“血”。
28 逾：道藏修真十书金丹大成集作“固”。
29 精：道藏修真十书金丹大成集作“情”。
30 爻：道藏修真十书金丹大成集作“母”。
31 诸：道藏修真十书金丹大成集作“谐”。

赖母而子孙成长，圣人至秘，玄之又玄，修丹之士，当反求诸己而已矣。**在人先须炼己待时，** 道不远人，百姓日用而不知也，炼己乃炼形之道，莫不擘裂洪濛，凿开混沌，采真一之精，抱先天之气，而为丹基也，不可以非类而造化，故参同契云：昔[①]雀不生凤，狐兔不乳马，同类易施功，非穆[②]难为巧，金华桐[③]主答太室山人曰：积其阳魂，消其阴魄，以其阳兵，战退阴贼，八卦相荡，五行相克，归根复命，还丹烜赫，以精炼形，非凡砂石，或者以炼己为炼土，其说亦妙。盖药产西南坤地也，大要知时，苟失其时，天地之间，凭何节候而生万物？阴阳之气，凭何而生龙虎哉？弦后弦前，乃时中之造化，坎离交处，乃刻里之功夫，到此微妙，莫非口诀。**正一阳初动，中宵漏永，** 宇宙在乎手，万化在乎身。毗陵师曰：炼丹不用寻冬至，身中自有一阳生，时中有时之功夫，刻中有刻之功夫。**温温铅鼎，光透帘帏，** 铅鼎，即造铅鼎也，温温谓火力不可使之亏欠，必也温养而成丹。毗陵师曰：金鼎当[④]由汤火暖，玉炉不要火教寒是也。帘帏者，眼也，灵房有闭户垂帘，默默窥之，苟下功夫处，神光见得[⑤]透彻帘帏也。**造化争驰，龙虎交会，** 夫造化之争驰也，龙吟云起，虎啸风生，必也使水虎擒火龙，互相交会入药。镜曰：铅龙升，汞虎降，驰二物，勿纵放，苟运火失时，则龙虎不交，铅汞飞走矣。紫阳诗曰：西山白虎性猖狂，东海青龙不可当，两手捉来临死斗，化成一块紫金霜，两手捉来，不过要其交会，方能凝结成宝也。**进火工夫牛斗危，** 天水[⑥]者，太阳之真精，有名而无形，故参同契曰：既得真铅，又难真火，岂轻议哉。盖火起于水中何者？坎属水，坎中有真阳，乃真火也，龙虎会合，金木交并，则真火炎其中矣。进火之工也，有刚柔文武，斤两法度[⑦]，二八封门，六一固济，循卦爻，沿刻漏，了屯蒙，明否泰，分二弦，辨晦朔，始复终坤，起晨止晦，则阴阳舒卷，金汞调和，如或火候失时，霖旱不节，隆冬天暑，盛夏严霜，金官既死[⑧]汞不调，一[⑨]鼎乃望[⑩]虫竞起，金母木龙腾沸，坎男离女奔兔[⑪]，此皆运火过差，灵汞飞走，所谓续[⑫]芥不正，悔吝为赋[⑬]，毫发差殊不作丹是也，可不慎之。牛斗危者，当牛斗值时下功也。**曲江上，见月华莹净，有个乌飞，** 人之小肠，九盘十二曲，谓之曲江也，月乃药之用，言其莹净无瑕，乃至宝也，有个乌飞，乃阴中含阳也。刘海蟾诗曰：几度乌飞宿桂柯。又曰：乌飞鬼[⑭]不惊。古诗曰：有个乌飞入兔宫，皆此意也。**当时自饮刀圭，** 当行功交会之时，下手自土釜采而饮之，故入药镜曰：饮刀圭，识土釜者，可与语刀圭之妙。**又[⑮]信无中养就儿，** 还丹之道，乃无中生有，渐采渐炼，结成圣胎，无质[⑯]□质，养就婴儿，故紫清先生诗曰：世事教人笑几回，男儿曾也会怀胎，自家精血自交媾，身里夫妻是妙哉。**辨水源清浊，** 清静经云：天清地浊，男清女浊，清者浊之源，无他，阳清而阴浊也，轻清者，浮而在上，真水银是也，重浊者，伉[⑰]而在下，真铅是也，一物两用，可不佛[⑱]明清浊升降之道乎？**木金间隔，** 木居东方毕[⑲]乙，在象为青[⑳]，在卦为震，乾之长男也，火之母也，金之妻也，青衣女子也，碧眼胡儿也，东海青龙也、水液也。金居西方庚辛，在象为白虎，在卦为兑，神之少女也，水之母也，木之夫也，素炼郎君也，白头老子也，西山白虎也、金精也。隔居卯酉，无由聚会，须托黄婆媒合，而为一也。紫阳曰：木金间隔会无因，须仗媒人勾引，然后木生火，金生水，水火同乡，则金木交并矣。**不因师桓[21]，此事难知，** 金丹大药，古人以万劫一传，玉简灵篇学者之十迷九八，圣师口口，历代心心，若非心传口授，纵使三杰之才，十哲之智，百端揣度，亦终不能下手，结就圣胎矣。所谓饶君聪慧过颜闵，不遇明师莫强循，只为金丹无口诀，教君何处结灵胎。刘海蟾诗曰：此道迥昭彰，如何乱揣量，金丹之道，若不遇真师，实难知之矣。**道要玄微，天机深远，** 大道无形，生育天地，大道无情，运行日月，大道无名，长养万物，吾不知其名，强名曰道，杳杳冥冥，其中有精，恍恍惚惚，其中有物，视之不见，听之不闻，抟之不得，无中生有，天机深远，玄妙难测。阴符经曰：天有五贼，见之者昌，知之修炼，谓之圣人，苟非洞晓阴阳，深达造化，安能凿开混沌，采天地父母之根，而为丹基，壁裂供蒙[22]，取阴阳纯粹之精，而为大丹之质，攒簇五行，和合四象，三花聚顶，令一气不昏，五气朝元，使阳魂不乱[23]于杳冥之中，往来于恍惚之内，搬运出入，移神[24]功成行满，位诣天仙也，况金液还

---

① 昔：道藏修真十书金丹大成集作“燕”。
② 穆：道藏修真十书金丹大成集作“程”。
③ 桐：道藏修真十书金丹大成集作“洞”。
④ 当：道藏修真十书金丹大成集作“常”。
5 见得：道藏修真十书金丹大成集作“晃耀”。
6 天水：道藏修真十书金丹大成集作“夫火”。
7 度：道藏修真十书金丹大成集作“度”。
8 死：道藏修真十书金丹大成集作“砂”。
9 一：道藏修真十书金丹大成集作“玉”。
10 望：道藏修真十书金丹大成集作“蝗”。
11 兔：道藏修真十书金丹大成集作“逸”。
12 续：道藏修真十书金丹大成集作“纤”。
13 赋：道藏修真十书金丹大成集作“贼”。
⑭ 鬼：道藏修真十书金丹大成集作“兔”。
⑮ 又：道藏修真十书金丹大成集此下有“谁”字。
⑯ 质：此下脱字，道藏修真十书金丹大成集作“生”。
⑰ 伉：道藏修真十书金丹大成集作“沉”。
18 佛：道藏修真十书金丹大成集作“辨”。
19 毕：道藏修真十书金丹大成集作“甲”。
20 青：道藏修真十书金丹大成集此下有“龙”字。
21 桓：道藏修真十书金丹大成集作“指”。
22 供蒙：道藏修真十书金丹大成集作“鸿濛”。
23 乱：道藏修真十书金丹大成集此下有“放纵”二字。
24 神：道藏修真十书金丹大成集此下有“阳舍”二字

丹，权[1]有一门，与傍门来[2]法，并日而语耶？下手速修犹太迟，千经万论，皆不言下手功夫，惟传之口诀。夫下手之初也，动乾坤之橐籥，采坎离之刀圭，握一身之神，归于天谷穴中，容而养之，则神气归根，名曰回风混合，密同根[3]，此乃守真一之道也。龙虎经曰：神室上下釜，变化在守中，所以正一真人，论青蛇之剑，西蜀老翁，得金锤之妙，吕公喻之为火杖，青城空角谓之剑，不是道此，皆穷尽踪迹，擘划元根，若无下手，徒论金丹，万牙[4]一成矣。古歌云：圣人识得造化意，手持日月安炉里。阴符经云：宇宙在乎手，万化生乎身，夫学而不遇，必遇至人，遇而不勤，终为下鬼。老子曰：上士闻道，勤而行之，仙道惟人可以修。古云神仙只是凡人做，当知轮回事道，业报难逃，富贵□草[5]，殆非久计，下手速修，道[6]恐太迟也。蓬莱路，仗三千行满，独步云归，蓬莱三岛，乃海上仙山也，在人一身，亦有蓬莱三岛，顶曰上岛，心曰中岛，骨[7]曰下岛。紫清先生诗曰：人身自有一蓬莱是也。三千功行，乃无[8]年抱一之数也，九年功满，或分形散景，或出有入无，或轻举远游，隐显莫测，或摸[9]骨升仙，遨游蓬岛，或太乙见召，移居中丹，各随其功行之浅深也。窒头还曰：九年功满都经过，留形住世不知春，忽日天门顶军[10]破，真人出现大神通，从此天仙可相贺。参同契曰：道成德就，潜伏候时，太乙乃召，移居中用[11]功满上升，自图受箓。彭真人性[12]曰：太乙真君，乃内转[13]之主同[14]也，世人初得道，镂名金简，于此佾膺图受箓，乃获上升也。

千金方

服食法

凡人春服小续命汤五剂，及诸补散各一剂，夏大热，则服肾沥汤三剂，秋服黄耆等丸一二剂，冬服药酒二三剂，立春日则止，此法终身常尔，则百病不生矣。俗人见浅，但知钩吻之杀人，不信黄精之益寿，但识五谷之疗饥，不知百药之济命，但解施泻以生育，不能得效方作不知。秘固以颐养，故有服饵方焉，郗愔曰：夫欲服食，当寻性理所宜，审冷暖之适，不可见彼得力，我便服之，初御药皆先草木，次石，是为将药之大较也，所谓精粗相代，阶粗以至精者也。夫人从少至长，体习五谷，卒不可一朝顿遣之。凡服药物，为益迟微，则无充饥之验，然积年不已，方能骨髓填实，五谷居然而自断，今人多望朝夕之效，求目下之应，腑脏未充，便以绝粒，谷气始除，药未有用，又将御女，形神与俗无别，以此致弊，胡不怪哉？服饵大体皆有次第，不知其术者，非止交有所损，卒亦不得其力，故服饵大法，必先去三虫，三虫既去，次服草药，好得药力，次服木药，好得力讫，次服石药，依此次第，乃得遂其药性，庶事安稳，可以延龄矣。

去三虫丸方：得效方名三尸虫圆。

生地黄汁三斗，东向灶苇火煎三沸，内清漆二升，以荆匕搅之，日移一尺，内真丹三两，复移一尺，内瓜子末得效方瓜子汁。三升，复移一尺，内大黄末三两，微火勿令焦，候可丸，丸如梧子大，先食服一丸，日三，浊血下鼻中，三十日，诸虫皆下，五十日，百病愈，面色有光泽。

又方：

漆二升　芜菁子三升，末　大黄六两，末　酒一升半

右四味，以微火合煎令可丸，如梧子大，先食服三丸，十日浊血下出鼻中，三十日虫皆烂下，五十日身光泽，一年行及奔马，消息四体安稳，乃可服草药，得效方同。其余法在

---

(1) 权：道藏修真十书金丹大成集作“惟”。
(2) 来：道藏修真十书金丹大成集作“小”。
(3) 同根：道藏修真十书金丹大成集作“固根源”。
(4) 牙：道藏修真十书金丹大成集作“无”。
(5) □草：道藏修真十书金丹大成集作“荣华”。
(6) 道：道藏修真十书金丹大成集作“犹”。
(7) 骨：道藏修真十书金丹大成集作“肾”。
(8) 无：道藏修真十书金丹大成集作“九”。
(9) 摸：道藏修真十书金丹大成集作“换”。
(10) 军：道藏修真十书金丹大成集作“中”。
(11) 用：道藏修真十书金丹大成集作“丹”。
(12) 性：道藏修真十书金丹大成集作“注”。
(13) 转：道藏修真十书金丹大成集作“炼”。
(14) 同：道藏修真十书金丹大成集作“司”。

三虫篇中，备述。三虫篇见诸虫门。

服天门冬方：

天门冬曝乾，捣下筛，食后服方寸匕，日三，可至十服。小儿服尤良，与松以[1]若蜜丸得效方松脂炼蜜圆。服之益善，惟多弥佳。

又方：　捣取汁，微火煎取五斗，下白蜜一斗，胡麻炒末二升，合煎，搅勿息手，可丸即止火，下大豆黄末和为饼，径三寸，厚半寸，一服一枚，日三，百日已上得益，此方最上，妙包众方。一法酿酒服，始伤多无苦，多即吐去病也。得效方同。蒯道人年近二百而少，常告皇甫隆云：但取天门冬，去心皮，切，乾之，酒服方寸匕，日三，令人不老，补中益气，愈百病也。天门冬生奉高山谷，在东岳名淫羊食，在中岳名天门冬，在西岳名管松，在南岳名百部，在北岳名无不愈，在原陆山阜名颠棘，虽然处处有之，异名其实一也，在北阴地者佳，取细切，烈日乾之，久服令人长生，气力百倍，治虚劳绝伤，年老衰损羸瘦，偏枯不随，风湿不仁，冷痹，心腹积聚，恶疮痈疽肿癞疾，重者周身脓坏，鼻柱败烂，服之皮脱虫出，颜色肥白，此无所不治，亦治阴痿耳聋目暗，久服白发黑，齿落生，延年益命，入水不濡，服二百日后，恬泰疾损拘急者缓，羸劣者强，三百日身轻，三年走及奔马，又三年心腹痼疾皆去。

服地黄方：

生地黄五十斤，熟捣绞取汁，澄去滓，微火上煎，减过半，内白蜜五升，枣脂一升，搅令相得，可丸乃止，每服如鸡子一枚，日三，令人肥白，得效方同。　圣惠方服地黄成神仙法：生地黄五十斤，捣绞取汁　右于银锅内，以熳火煎之减半，入白蜜二升，青州枣肉一斗相和，搅令得所，为丸如弹子大，每服一丸，以温酒研破服之，日三服，填骨髓，益气力，变白发，延年寿，忌陈臭物。　修真秘诀神仙服生地黄，主虚劳百病方：生地黄五十斤，捣之，以水三斗，煮取汁，绞去滓，微火煎减半，内白蜜五升，枣膏一升，搅之令相得，可为丸，下之，服如鸡子大一枚，日三。

又方：　地黄十斤，细切，以醇酒二斗，渍三宿，出曝乾，反复内渍取酒尽止，与甘草、巴戟天、厚朴、乾漆、覆盆子各一斤，捣下筛，食后，酒服方寸匕，日三，加至二匕，使人老者还少，强力无病延年。得效方同。

作熟乾地黄法：

采地黄，去其须叶及细根，捣绞取汁，以渍肥者着甑中，土若米无在以盖上，蒸之一时出，曝燥，更内汁中又蒸，汁尽止，便乾之，亦可直切，蒸之半日，数以酒洒之，使周匝至夕出，曝乾，可捣蜜丸服之。得效方同。

种地黄法：

先择好地黄，赤色虚软者，深耕之，腊月逆耕冻地弥好，择肥大好地黄根，切长四五分至一二寸得效方三寸。许一斛，可种一亩，二三月种之，作畦畔相去一尺，生后随锄壅，数芸之，得效方同。至九月十月，视其叶小衰乃掘取，一亩得二十许斛，择取大根，水净洗，其细根乃剪头尾辈，亦洗取之，日曝令极燥小臑，乃以竹刀切长寸余许，白茅露甑下蒸之，密盖上，亦可囊盛土填之，从旦至暮，当黑不尽黑者，明日又择取蒸之，先时已捣其细碎者取汁，铜器煎之如薄饴，遂以地黄内汁中周匝，出曝乾，又内汁尽止，率百斤生者，令得一二十斤，取初八月九月中掘者，其根勿令大老，强蒸则不消尽，有筋脉，初以地黄内甑中时，先用铜器承其下，以好酒淋地黄上令匝汁，后下入器中，取以并和煎汁佳。

黄精膏方：

黄精一石，去须毛，洗令净洁，打碎，蒸令好熟，压得汁，复煎去上游水，得一斗，内乾姜末三两，桂心末一两，微火煎，看色郁

[1] 以：备急千金要方作“脂”。

郁然欲黄，便去火待冷，盛不津器中，酒五合和，服二合，常未食前，日二服，旧皮脱，颜色变光，花色有异，鬓发更改，欲长服者，不须和酒，内生大豆黄，绝谷食之不饥渴，长生不老。得效方同。　圣惠方神仙服黄精膏：延年补益，疗万病方。右取黄精一硕，去须，以水淘洗令净，切碎，蒸令烂熟，压取汁，于大釜中煎之，去其游水讫，入乾姜末三两，桂心末一两，更煎之，看其色郁然黄便止，待冷，盛于不津器中，每日空腹，暖酒五合，取药二合，相和服之，日再服弥佳，二十日内，浑身旧皮皆脱，颜色变少，花容有异，须发皆变，长服须酒饮下之，若内黑豆黄末服之，即绝粒矣，长年少，若不要绝粒，即勿入豆黄，但准前服之延年矣。

服乌麻法：

取黑皮真檀色者乌麻，随多少，水拌令润，勿过湿，蒸令气遍即出，曝乾，如此九蒸九捣，去上皮，未食前，和水若酒服二方寸匕，日三，渐渐不饥绝谷，久服百病不生，常服延年不老。得效方同。

饵柏实方：

柏子仁二升，捣令细，醇酒四升渍，搅如泥，下白蜜二升，枣膏三升，捣令可丸。入乾地黄末、白术末各一升，捣和丸如梧子，每服三十丸，日二服，二十日万病皆愈。得效方同。　圣惠方神仙服柏实法：　柏子仁二斤，捣罗为末，以酒浸搅如膏　白蜜一斤　枣肉三斤　乾地黄末一斤　白术末一斤　右件药，和溲令匀，丸如枣大，每服三丸，以水研破服之，日三服，一月百病愈，久服延年。

饵松子方：

七月七日采松子，过时即落不可得，治服方寸匕，日三四。一云一服三合，百日身轻，二[1]百日行五百里，绝谷服升仙，渴饮水，亦可和脂服之，若丸如梧桐子大，服十丸。得效方同。　圣惠方神仙饵松实方：七月采松实，过时即落难收，去大皮，捣如膏，每服如鸡子大，日三服，如服及一百日轻身，三百日，日行五百里，绝谷，久服升仙，渴即饮水，亦可与炼了松脂同服之。

服松脂方：

百炼松脂，下筛，以蜜和内筒中，勿令中风，日服如博棋子一枚，博棋长二寸，方一寸。日三，渐渐月别服一斤，不饥延年，亦可醇酒和白蜜如钖，日服一二两至半斤。凡取松脂，老松皮自有聚脂者最第一，其根下有伤折处，不见日月者得之，名曰阴脂弥良，惟衡山东行五百里有大松，皆三四十围，乃多脂。又法：五月刻大松阳面使向下二十四株，株可得半升，亦煮其老节根处有脂得用。仙经云：常以三月入衡山之阴，取不见日月松脂，炼而饵之，即不召而自来，服之百日耐寒暑，二百日五脏补益，服之五年，即见西王母。修真秘诀、事林广记同。仙经又云：诸石所生三百六十五山，其可食者，满谷阴怀中松脂耳。其谷正从衡山岭直东四百八十里当横捷[2]，正在横岭东北行过，其南入谷五十里，穷穴有石城白鹤，其东方有大石四十余丈，状如白松，松下二丈有小穴，东入山有丹朱可食，其南方阴中有大松，大三十余围，有三十余株，不见日月，皆可取服之。

采松脂法：

以日入时，破其阴以取其膏，破其阳以取其脂，脂膏等分，食之可以通神灵，凿其阴阳为孔，令方五寸，深五寸，还以皮掩其孔，无令风入，风入则不可服，以春夏时取之，取讫，封塞勿泄，以泥涂之，东北行丹砂穴，有阴泉水可饮，此弘农车君以元封元年，入此[3]山食松脂十六年，复下居长安东市，在上谷牛头谷，时往来至秦岭上，年常如三十者。得效方同。

炼松脂法：

松脂七斤，以桑灰汁一石，煮脂三沸，接置冷水中凝，复煮之，凡十遍，脂白矣，

1　二：备急千金要方作“三”。
2　捷：备急千金要方作“攒”。
3　此：备急千金要方作“北”。

可服。今谷在衡州东南攸县界，此松脂与天下松脂不同。得效方同。　圣惠方神仙炼松脂服饵法：松脂七斤，以桑薪灰汁一硕，煮五七沸，漉置冷水中，凝复煮之，凡十遍，如脂白矣，细研为散，母[1]服以粥饮调下三钱，日三服，服十两以上，不饥，饥复服之，一年以后，夜视目明，久服延年不死。修真秘诀同。

饵茯苓方：

茯苓十斤，去皮，酒渍密封下，十五日出之，取服如博棋，日三，亦可屑服方寸匕。凡饵茯苓，皆汤煮四五沸，咸以水渍六七日。得效方同。　圣惠方神仙服茯苓法：白茯苓拾斤，去皮，酒浸十五日，漉出，晒乾，细锉。右捣罗为末，每服三钱，以水调下，日三服。　寿域神方治一切虚冷，除百病，生精神，强志意，利耳目，轻身延年，用白茯苓去皮，酒浸十五日，漉出为末，每服二三钱，酒水调下，炼蜜丸，亦可服之，可以延年。

茯苓酥方：

茯苓五斤，灰汁煮十遍，浆水煮十遍，清水煮十遍　得效方五升　松脂五斤，煮加茯苓法，每次煮四十遍　生天门冬五斤，去心皮，暴乾，作末　蜡　牛酥各三斤，炼三十遍　白蜜三斤，煎令沫尽

右六味，各捣筛，以铜器重汤上，先内酥，次蜡，次蜜，消讫内药，急搅勿住手，务令大均，内瓷器中密封，勿令泄气，先一日不食，欲不食，先须吃好美食令极饱，然后绝食，即服二两，二十日后服四两，又二十日后八两，细丸之，以咽中下为度，第二度以四两为初，二十日后八两，又二十日二两，第三度服以八两为初，二十日二两，二十日四两，合一百八十日，药成，自后服三丸将补，不服亦得恒以酥蜜消息之，美酒服一升为佳，合药须取四时王相日，特忌刑杀厌及四激休废等日大凶，此彭祖法。

茯苓膏方：千金翼方名凝灵膏。

茯苓净去皮　翼方三十六斤　松脂二十四斤　松子仁　柏子仁各拾二斤

右四味，皆依法炼之，松柏仁不炼，捣筛，白蜜二斗四升，翼方两石四斗。内铜器中，汤上微火煎一日夕，次第下药，搅令相得，微火煎七日七夜上[2]，丸如小枣，每服七丸，日三，欲绝谷，顿服取饱，即得轻身明目不老。得效方同。此方后一本有茯苓酥、杏仁酥、地黄酥三方，然诸本并无，又千金翼中已有，今更不添录。　圣惠方神仙茯苓膏，若欲绝食，顿服令饱，即得绝之，久服轻身明目，不老复壮，发白更黑，齿落重生，延年益寿法。白茯苓二十斤，蒸曝七遍　松脂十斤，炼成者　松子五斤，取仁　柏子仁五斤　右件药，捣罗为末，用炼了蜜二十斤和拌，内铜器中，汤上微火煎之，一日一夕，搅令得所，每服以温酒调下鸡子黄大，日三服，忌食米醋。

服枸杞根方：主养性遐龄。

枸杞根切一石，水一石二斗，煮取六斗，澄清，煎取三升，以小麦一斗，乾净，择内汁中，渍一宿，曝二，往反令汁尽，曝乾捣末，酒服方寸匕，日二，一年之中，以二月、八月各合一剂，终身不老。得效方同。

枸杞酒方：

枸杞根一百二十斤，千金翼方一百斤。切，以东流水四石，煮一日一夜，取清汁一石，渍曲一如家酝法，熟取清，贮不津器中，内乾地黄末二斤半，翼方一升。桂心、乾姜、泽泻、蜀椒末各一升，得效方各一斤。商陆末二升，翼方一升。以绢袋贮，内酒底，紧塞口，埋入地三尺，坚覆上，三七日翼方二十日　沐浴整衣冠，再拜，平晓向甲寅地日出处开之，其酒赤如金色，旦空腹服半升，十日万病皆愈，三十日翼方二十日。瘢痕灭，恶疾人以水一升，和酒半升，分五服愈。得效方同。　千金翼又云：若欲服石者，取河中青白石如枣杏大者二升，以水三升，煮一沸，以此酒半合置中，须臾即熟，可食。

饵云母水方：疗万病。

① 母：太平圣惠方作“每”。
② 上：备急千金要方作“止”。

上白云母二十斤，薄擘，以露水八斗作汤，分半洮洗云母，如此再过，又取二斗作汤，内芒硝十斤，以云母木器中渍之，二十日出，绢袋盛，悬屋上，勿使见风日，令燥，以水渍，鹿皮为囊，揉挺之，从旦至日中，乃以细绢下筛，滓复揉挺令得好粉五斗，余者弃之，取粉一斗，内崖蜜二斤，搅令如粥，内生竹筒中薄削之，漆固口，埋北垣南崖[1]下，入地六尺，覆土，春夏四十日，秋冬三十日，出之，当如泽得效方如滓。为成，若洞洞不消者，更埋三十日出之，先取水一合，内药一合，搅和，尽服之，日三，水寒温尽自在，服十日，小便当变黄，此先疗劳气风疹也，二十日腹中寒澼消，三十日龋齿除，更新生，四十日不畏风寒，五十日诸病皆愈，颜色日少，长生神仙，吾自验之，所以述录。圣惠方神仙饵云母水，治万病方：上白云母二十斤，薄擘　右以露水八斗作汤，分半淘洗云母，如此再过，又取二升作汤，化芒消十斤，内云母器中渍之二十日取出，以绢袋盛悬之，使见风日，令乾，以水渍粗皮囊挼之，从旦至午，乃以细绢下筛，滓复挼之，令得上好粉十五斤，余者弃之，取粉二斤，内崖蜜四斤，搅令如粥，内竹筒中盛之，漆固其口，埋北垣南畔下，入地六尺，覆土，微筑令实，春夏四十日、秋冬三十日出之，当化如泽，乃成，若不消者，更埋四十日出之，先取水一合，内药一合，搅和尽服之，日三服，水寒温自在服，十日小便当变黄，光风劳皆去，二十日腹中寒澼消，三十日龋齿除，更生新者，四十日不畏风寒，五十日诸病皆愈，颜色转少，长生神仙。

炼钟乳粉法：

钟乳一斤，不问厚薄，但取白净光色好者，即任用，非此者不堪用，先泥铁铛可受四五斗者为灶，贮水令满，去口三寸，内乳著金银瓷碗中，任有用之，乃下铛中令水没碗上一寸余即得，常令如此，勿使出水也，微火烧，日夜不绝，水欲竭，即添成暖水，每一周时，辄易水洗铛并洮乳，七日七夜出之，净洮乾，内瓷钵中，玉椎缚格，少著水研之，得效方浸之。一日一夜，急著水搅令大浊，澄取浊汁，其乳粗者，自然著底，作末者即自作浊水出，即经宿澄取其粗，著底者，准前法研之，凡五日五夜，皆细逐水作粉，好用澄炼取曝乾，即更于银钵中研之一日，候入肉，水洗不落者佳。

钟乳散：　治虚羸不足，六十已上人，瘦弱不能食者，百病方。

钟乳粉成炼者、三两　上党人参　石斛　乾姜各三分

右四味，捣下筛，三味与乳合和相得，均分作九贴，平旦空腹温淳酒服一贴，日午后服一贴，黄昏后服一贴，三日后准此服之。凡服此药法，皆三日一剂，三日内止食一升半饭，一升肉，肉及饭惟烂，不得服葱豉。问曰：何故三日少食，勿得饱也？答曰：三夜乳在腹中，熏补脏腑，若此饱食，即推药出腹，所以不得饱食也。何故不得生食，由食生，故即损伤药力，药力既损，脂肪亦伤，所以不得食生食也。何故不得食葱豉？葱豉杀药，故不得食也，三日服药既尽，三日内须作羹食补之，任意所便，仍不用葱豉及鞕食也，三日补讫[2]，还须准式服药如前，尽此一斤乳讫，其气力当自知耳，不能具述，一得此法，其后服十斤二十斤，任意方便可知也。得效方同。

西岳真人灵飞散方：

云母粉一斤　茯苓八两　钟乳粉　柏子仁　人参千金翼作白米　续断　桂心各七两　菊花十五两　乾地黄十二两

右九味为末，生天门冬十九斤，取汁溲药，内铜器中，蒸一石二斗黍米下，米熟，曝乾为末，先食饮服方寸匕，日一，三日力倍，五日血脉充盛，七日身轻，十日面色悦泽，十五日行及奔马，三十日夜视有光，七

① 崖：备急千金要方作“岸”。
② 讫：备急千金要方作“讫”。

养性服饵

茯苓酥：　主除万病，久服延年方。

取山之阳茯苓，其味甘美，山之阴茯苓，其味苦恶，拣得之，勿去皮，去皮刀薄切，暴乾，蒸令气溜，以汤淋之，其色赤味苦，淋之不已，候汁味甜便止，曝乾捣筛，得茯苓三斗，取好酒大斗一石，蜜一斗和茯苓末令相得，内一石五斗瓮中，熟搅之百遍，密封之，勿令泄气，冬月五十日，夏月二十一日，酥浮于酒上，接取酥，其味甘美如天甘露，可作饼，大如手掌，空屋中阴乾，其色赤如枣，饥食一饼，终日不饥，此仙人度荒世药，取酒封闭，以下药，名茯苓酥。

杏仁酥：　主万病，除诸风虚劳冷方。

取家杏仁，其味甜香，特忌用山杏仁，山杏仁慎勿用，大毒害人也。

家杏仁一石，去尖皮两仁者，拣完全者，若微有缺坏，一颗不得用，微火炒，捣作细末，取美酒二石，研杏仁，取汁一石五斗。

右一味，以蜜一斗拌杏仁汁，煎极令浓，与乳相似，内两硕瓮中搅之，密封泥，勿令泄气，与上茯苓酥同法，三十日看之，酒上出酥也，接取酥，内瓷器中封之，取酥下酒，别封之，团其药如梨大，置空屋中，作阁安之，皆如饴饵状甚美，服之令人断谷。

地黄酒酥：　令人发白更黑，齿落更生，髓脑满实，还年却老，走及奔马，久服有子方。

粗肥地黄十石，切，捣取汁三石，麻子一石，捣作末，以地黄汁研取汁二石七斗，药至七百年乃落，入山日吞七丸，绝谷不饥，余得此方已来，将逾三纪，顷者但美而悦之，疑而未敢措手，积年询访，屡有好名人曾饵得力，逐服之，一如方说，但能业之不已，功不徒弃耳。得效方同。

杏仁一石，去皮尖两仁者，捣作末，以麻子汁研取汁二石五斗，曲末三斗。

右四味，以地黄等汁浸曲七日，候沸，以米三石，分作三分，投下馈一度，以药汁五斗，和馈酿酒，如家酝酒法，三日一投，九日三投，熟讫[1]，密封三七日，酥在酒上，其酥色如金，以物接取，可得大升九升酥，然后下箔取酒封之，其糟令服药人食之，令人肥悦，百病除愈，食糟尽，乃服药酒及酥，一服酒一升，一匙酥，温酒和服之，惟得吃白饭芜菁，忌生冷、酢滑、猪、鸡、鱼、蒜。其地黄滓，暴使乾，更以酒三升，和地黄滓捣之，暴乾作饼服之。

造草酥方：

杏仁一斗，去皮尖两仁者，以水一斗，研绞取汁　粗肥地黄十斤，熟捣绞取汁一斗　麻子一斗，末之，以水一斗，研绞取汁

右三味汁，凡三斗，著曲一斤，米三斗，酿如常酒味是正熟，出以瓮盛之，即酥凝在上，每服取热酒和之，令酥消尽。服之弥佳。

真人服杏子丹：　玄隐士学道断谷，以当米粮方。

上粳米三斗，净淘沙，炊作饭，乾暴，碓纱筛下之　杏仁三斗，去尖皮两仁者，暴乾，捣，以水五升研之，绞取汁，味尽止

右二味，先煎杏仁汁令如稀面糊，置铜器中，内粳米粉如稀粥，以煻火煎，自旦至夕，搅勿停手，候其中水气尽则出之，阴乾纸贮，欲用以暖汤二升，内药如鸡子大，置

[1] 讫：千金翼金方作“讫”。

于汤中，停一炊久，敢食任意取足服之。

服天门冬丸方：

凡天门冬苗作蔓有钩刺者，是采得当以酢浆水煮之，湿去心皮，暴乾捣筛，以水蜜中半和之，仍更暴乾，又捣末，水蜜中半和之，更暴乾，每取一丸，含之有津液，辄咽之，常含勿绝，行亦含之，久久自可绝谷，禁一切食，惟得吃大麦。

服黄精方：

凡采黄精，须去苗下节，去皮取一节，隔二日增一节，十日服四节，二十日服八节，空腹服之，服讫，不得漱口，百日以上节食，二百日病除，二年四体调和。忌食酒、肉、五辛、酥油，得食粳米糜粥淡食，除此之外，一物不得入口，山居无人之地，法服时，卧食勿坐食，坐服即入头，令人头痛，服讫，经一食须[1]乃起，即无所畏。

凡服乌麻，忌枣栗胡桃，得食淡面，余悉忌，行道持诵作劳，远行端坐三百日，一切病除，七日内，宜数见秽恶，于后即不畏损人矣。

服芜菁子主百疾方：

芜菁子一斗四升　薤白十两

右二味，煮芜菁子暴乾，捣筛，切，薤白和蒸半日，下捣一千一百三十杵，捻作饼重八两，欲绝谷，先食乃服，三日后食三饼，以为常式，尽更合食，勿使绝也。

华佗云母丸子三人丸方：

云母粉　石钟乳炼　白石英　肉苁蓉　石羔　天门冬去心　人参　续断　菖蒲　菌桂　泽泻　秦艽　紫芝　五加皮　鹿茸　地肤子　薯预　石斛　杜仲炙　桑上寄生　细辛　乾地黄　荆花　柏叶　赤箭　酸枣仁　五味子　牛膝　菊花　远志去心　蕈解　茜根　巴戟天　赤石脂　地黄花　枸杞　桑螵蛸　庵蕳子　茯苓　天雄炮，去皮　山茱萸　白术　菟丝子　松实　黄耆　麦门冬去心　柏子仁　荠子　冬瓜子　蛇床子　决明子　萮蒬子　车前子

右五十三味，皆用真新好者，并等分，随人多少，捣下细筛，炼白蜜和为丸，如梧子，先食服十丸，可至二十丸，日三，药无所忌，当勤相续，不得废阙，百日满愈疾，久服延年益寿，身体轻强，耳目聪明，流通荣卫，补养五脏，调和六腑，颜色充壮，不知衰老。茜根当洗去土，阴乾，地黄、荆花，至时多采，暴乾，欲用时相按[2]取二石许，乃佳也。吾尝服一二剂，大得力，皆家贫不济乃止，又时无药足，阙十五味，仍得服之，此药大有气力，常须预求，使足服而勿阙，又香美易服，不比诸药。

周白水候散：　主心虚劳损，令人身轻目眼[3]服之八十日，百骨间寒热除，百日外无所苦，气力日益，老人宜常服之大验方。

远志五分，去心　白术七分　桂心一两　人参三分　乾姜一两　续断五分　杜仲五分，炙　椒半两，汗　天雄三分，炮　茯苓一两　蛇床子三分　附子三分，炮，去皮　防风五分　乾地黄五分　石斛三分　肉苁蓉三分　栝楼根三分　牡蛎三分，熬　石韦三分，去毛　钟乳一两，炼　赤石脂一两　桔梗一两　细辛一两　牛膝三分

右二十四味，捣筛为散，酒服钱五匕，服后饮酒一升，日二，不知更增一钱匕，三十日身轻目明。

济神丸方：

茯神　茯苓　桂心　乾姜各四两　菖蒲　远志去心　细辛　白术　人参各三两　甘草二两，炙　枣膏八两

右一十一味，皆捣筛，炼蜜和更捣万杵，每含一丸如弹丸，有津咽之，尽更含之。若食生冷，宿食不消，增一丸；积聚结气，呕逆，心腹绞痛，口乾胀，酢咽吐呕，皆含之；绝谷者服之，学仙道士含之益心力，神验。

彭祖松脂方：

松脂五斤，灰汁煮三十遍，浆水煮三十遍，清水煮三十遍　茯苓五斤，灰汁煮十遍，浆水煮十遍，清水煮十遍　生天门

① 须：千金翼方作“顷”。
② 按：千金翼方作“接”。
③ 眼：千金翼方作“明”。

冬五斤，去心皮，暴乾，捣作末　真牛酥三斤，炼三十遍　白蜜三斤，煎令沫尽　蜡三斤，炼三十遍

右六味，捣筛，以铜器重汤上，先内酥，次下蜡，次下蜜，候消讫，次下诸药，急搅之，勿住手，务令大匀，讫，内瓷器中密封，勿令泄气，先一日不食，欲食须吃好美食令大饱，然后绝食，即服二两，二十日后服四两，又二十日服八两，细丸之，以得咽中下为度，第二度服四两为初，二十日又服八两，又二十日服二两，第三度服八两为初，以后二十日服二两，又二十日服四两，合二百八十日药成，自余服三丸，将补不服，亦得常以酥蜜消息，美酒一升为佳，又合药须取四时王相，特忌刑杀厌及四激休废等日大凶。

守中方：

白蜡一斤，炼之，凡二升酒为一度，煎却恶物，凡煎五遍　丹砂四两，细研　蜜一斤，炼之极净

右三味，合丸之，如小枣大，初一日服三丸，三日服九丸，如此至九日止。

茅山仙人服质多罗方：出益州导江县并茂州山中。

此有三种，一者紫花，根。八月采。二者黄花，根亦黄。四月采。三者白花。九月采。

右三种功能一种不别，依法采根，乾已捣筛，旦暖一合，酒和方寸匕，空腹服之，待药消方食，日一服，不可过之，忌昼日眠睡，三十匕为一剂，一月服。

第二方：

蜜半合　酥半合

右二味，暖之，和方寸匕服之。一法蜜多酥少。一方以三指撮为定，主疗诸风病，禁猪肉豉等，食之即失药力。

第三方：

取散五两，生胡麻脂三升半投之，微火暖之，勿令热，旦接取上油一合暖，空肚服之，日一服，油尽取滓服之，主偏风半身不遂，并诸百病，延年不老。

第四方：

暖水一合，和三指撮，空腹日一服，主身羸瘦，及恶疮癣疥并诸风。

第五方：

暖牛乳一升，和方寸匕服之，日一服，主女人绝产无子，发白更黑。

第六方[1]：

四十日止，忌酒肉，药水皆用大升秤取汁，亦用大升服汤讫，即行勿住，坐卧须令药力遍身，百脉中行，若大冷者，春秋各四十九日，服令疾退尽，极须澄清服之[2]。

辟　谷

服茯苓方：

茯苓粉五斤　白蜜三斤　柏脂七斤，炼法在后

右三味合和，丸如梧桐子，服十丸，饥者增数服之，取不饥乃止，服吞一丸，不复服谷及他果菜也，永至休粮，饮酒不得，但得饮水，即欲求升仙者，常取杏仁五枚，咬咀，以水煮之为汤令沸，去滓以服药，亦可和丹砂药中令赤服之。又若却欲去药食谷者，取消石葵子等熟治之，以粥服方寸匕，日一，四日内，日再服，药去，稍稍食谷，葵羹太良。

又方：

茯苓三斤　白蜡二斤　大麻油三升　松脂三斤

右四味，微火先煎油三沸，内松脂令烊，次内蜡，蜡烊，内茯苓，熟搅成丸乃止，服如李核大一丸，日再，一年延年，千岁不饥。

又方：

茯苓二斤　云母粉二斤　天门冬粉二斤　羊脂五斤　麻油三斤　蜜五斤　白蜡三斤　松脂十斤，白者

右八味，内铜器中，微火上煎令相得，下火和令凝紫色乃止，欲绝谷，先作五肉稻粮食五日，乃少食，三日后圆此药，大如弹圆，日三服，一日九丸，不饥，饥则食此止，却百二十日复食九丸，却三岁复食九丸，却

① 第六方：千金翼方此下有“暖浓酪浆一合，和方寸匕服之，日一服，主膈上痰饮水气诸风”等句。

② 四十日止……极须澄清服之：查千金翼方系属养老食疗第四紫石英汤下之文。

十二年复食九丸，如此寿无极，可兼食枣脯，饮水无苦，还下药取消石一升，葵子一升，以水三升，煮取一升，日三服八合，亦可一升，药下乃食一合米粥，日三，三日后，日中三合。

又方：

茯苓去皮

右以淳酒渍令淹，密封十日，出之如饵，可食甚美，服方寸匕，日三，令人肥白，除百病，不饥渴，延年。

又方：

茯苓粉五斤　白蜜三升

右二味，渍铜器中，瓷器亦得，重釜煎之，数数搅不停，候蜜竭，出以铁臼，捣三万杵，日一服三十丸如梧子，百日病除，二百日可夜书，二年后役使鬼神，久服神仙。

辟谷延年千岁方：

松脂　天门冬去心　茯苓　蜡　蜜各一升

右五味，以酒五升，先煎蜜蜡三沸，内羊脂三沸，内茯苓三沸，内天门冬相和，服三丸如李子，养色还白，以杏仁一升内之为良。

服松柏脂

采松脂法：

当立夏日，伐松横枝指东南者，围二三尺，长一尺许，即日便倒顿于地，以器其下承之，脂自流出三四过，使以和药，此脂特与生雄黄相宜，若坚强者，更著酒中火上消之汁出，著冷酒中引之，乃暖和雄黄，衡山松脂膏，常以春三月入衡山之阴，取不见日月之松脂炼而食之，即不召自来，服之百日，耐寒暑，二百日五脏补益，服之五年，即王母见，诸名山所生三百六十五山，其可食者，独满谷阴怀中耳。其谷正从衡山岭直东四百八十里，当横捷，正石横其岭，东北行过，其南入谷五十里，穷穴有石城白鹤，其东方有大石四十余丈，状如白松，松下二丈有小穴，可入山，有丹砂可食也，其南方阴中有大松，大三十余围，有三十余株，不见日月，皆可服也。

取破松脂法：

以日入时，破其阴以取其膏，破其阳以取其脂，等分食之，可以通神灵，凿其阴阳为孔，令方寸深五寸，还以皮掩其孔，无令风入，风入不可服也，以春夏时取之，取之讫，封塞勿泄，以泥涂之，东北行至丹砂穴下有阴泉水可饮之，此洪农车君，以元封元年入此山食松脂十六年复下，居长安东市，又在上谷牛头谷时往来至秦岭上，年常如三十者。

取松脂法：

斫取老枯肥松，细擘长尺余，置甑中蒸之，满甑脂下流入釜中，数数接取脂，置水中凝之，尽更为，一日可得数十斤，枯节益佳。

又法：

取枯肥松，细破于釜中煮之，其脂自出，接取，置冷水中凝之，引之则成，若以五月就木取脂者，对刻木之阴面为二三刻，刻可得数升，秋冬则依煮法取，勿煮生松者少脂。

炼松脂法：

松脂二十斤为一剂，以大釜中著水，加甑其上，涂际勿泄，加茅甑上为藉，复加生土茅上厚一寸，乃加松脂于上，炊以桑薪，汤减添水，接取停于冷水中凝，更蒸之，如前法，三蒸毕止，脂色如白玉状，乃用和药，可以圆菊花茯苓服之，每更蒸，易土如前法，以铜锣承甑下，脂当入锣中如胶状，下置冷水中凝，更蒸，欲出铜器于釜中时，预置小绳于脂中，乃下停于水中凝之，复停于炭，须臾乃四过皆解，乃可举也，尽更添水，以意斟酌，其火勿太猛，常令不绝而已。

又方：

治松脂，以灰汁煮之，写置盆水中，须臾凝，断取，复置灰中煮之，如此三反，皆易水，成矣。

一法：　炼松脂十二过，易汤不能者，

五六过亦可服之。

炼松脂法：

薄淋桑灰汁，以煮脂一二沸，接取投冷水中引之凝，复更煮，凡十过，脂则成，若强者，复以酒中煮三四过则柔矣，先食服一两，日三，十日不复饥，饥更服之，一年后，夜如白日，久服去百病。禁一切肉咸菜鱼酱盐等。

又方：

松脂十斤

右用桑薪灰汁二石，内釜中，加甑于上，甑中先铺茅，次铺黄砂土可三寸，蒸之，脂少间流入釜中，寒之凝，接取，复蒸如前三上，更以清水代灰汁，复如前三上，去水，更以阴深水一石五斗，煮甘草三斤，得一石汁，去滓，内牛酥二斤，加甑釜上，复炊如前，令脂入甘草汁中，凝接取，复蒸，夕下如此三上即成，苦味皆去，甘美如饴膏，服如弹丸，日三，久服神仙不死。

又方：

好松脂一石　石灰汁三石

右二味，于净处为灶，加大釜，斩白茅为藉，令可单止，以脂内甑中炊之，令脂自下入釜，尽去甑，接取内冷水中，以扇①□之，两人引之三十过，复蒸如前，满三遍，三易灰汁，复以②□酢浆三石，炼之三过，三易酢浆也，复以酒炼之一过，亦③□上法讫，以微火煎之，令如饴状，服之无少长。

又方：

松脂二斤半，水五升煎之，汁黄浊出，投冷水中，如是百二十上，不可以为率，四十入汤辄一易汤，凡三易汤，且成，软如泥，其色白，乃可用治，下茯苓一斤，内药中，搅令相得，药成，置冷地可丸，丸如杏核，日吞三丸，十日止，自不欲饮食，当炼松脂，无令苦乃用耳。

又方：

松脂七斤，以桑灰汁一石，煮脂三沸，接置冷水中凝，复煮之，凡十遍，脂白矣，为散，三两分为三服，十两以上不饥，饥复服之，一年以后，夜视目明，久服不死。

粉松脂法：

松脂十斤

丹黍灰汁煮沸，接置冷水中二十过，即末矣，亦可杂云粉丸，以蜜服之良。

服松脂法：

欲绝谷，服三两，饥复更服，取饱而止，可至一斤，不绝谷者，服食一两，先食，须药力尽乃余，食错者，即食不安而吐也，久服延年，百病除。

又方：

松脂十斤　松实三斤　柏实三斤　菊花五升

右四味，下筛，蜜和服如梧子三十丸，分为三服，一百日以上，不复饥，服之一年，百岁如三十四十者，久服寿同天地。

又方：

桑寄生蒸之令熟，调和，以炼松脂，大如弹丸，日一丸，即不饥。

服法：

以夏至日取松脂，日食一升，无食他物，饮水自恣，令人不饥，长服可以终身不食。河南少室山有大松，取阴处断之，置器中蒸之，膏自流出，炼出去苦气，白蜜相和食之，日一升，三日后，服如弹丸，渴饮水，令人不老，取无时。

又方：

松脂五斤　羊脂三斤

右二味，先炼松脂令消，内羊脂，日服博棋一枚，不饥，久服神仙。

守中方：与前别。

白松脂七斤，三遍炼　白蜡五斤　白蜜三升　茯苓粉三斤

右三味，合蒸一石米，顷服如梧子十丸，饥复取服，日一丸，不得食一切物，得饮酒，不过一合，斋戒，咬咀五香，以水煮一沸，

① 扇：此下脱字，千金翼方作“扇”。
② 以：此下脱字，千金翼方作“白”。
③ 亦：此下脱字，千金翼方作“如”。

去滓，以药投沸中，又欲致神女者，取茅根治取汁以和之，蒸服之，神女至矣。

又方：

松脂桑灰炼百遍，色正白，复内之饴蜜中，数反出之，服二圆，如梧子，百日身轻，一年玉女来侍。

取柏脂法：

五月六日，刻其阳二十株，株可得半升，炼服之，欲绝谷者，增之至六两，不绝谷者，一两半，禁五辛、鱼、肉、菜、盐、酱，治百病，久服炼形延年，炼脂与炼松脂法同。

服松柏实

凡采柏子，以八月，过此零落，又喜蠹虫，顿取之，又易得也，当水中取沉者，八月取并房暴乾末，服方寸匕，稍增至五合，或日一升半，欲绝谷，恣口取饱，渴饮水。一方，柏子服不可过五合。

凡采松实，以七月未开时采之，才开口，得风便落，不可见也，松子宜陈者佳。

绝谷升仙不食法：

取松实末服之三合，日三，则无饥渴，饮水勿食他物，百日身轻，日行五百里，绝谷升仙。

服松子法：

治下筛，服方寸匕，日三四，或日一升半升，能多为善，二百日以上，日行可五百里。一法服松子不过三合。

松子丸：　松子味甘酸，益精补脑，久服延年不老，百岁以上，颜色更少，令人身轻悦泽方。

松子、菊花等分，以松脂若蜜丸，服如梧子十丸，日三，可至二十丸，亦可散服二方寸匕，日三，功能与前同。

又方：

松柏脂及实各等分，丸以松脂服之良。

服松叶，令人不老，身生毛，皆绿色，长一尺，体轻气香，还年变白，久服以绝谷，不饥渴，饮水服松叶，亦可粥汁服之，初服如恶，久自便，亦可乾末，然不及生服。

服松叶法：

细切餐之，日三合，令人不饥。

又方：

细切之如粟，使极细，日服三合，四时皆服，生叶治百病，轻身益气，还白延年。

又方：

四时采，春东夏南秋西冬北方，至治轻身益气，令人能风寒不病痹，延年。

高子良服柏叶法：

采无时，以叶切置甑中令满，覆盆甑，著釜上蒸之三石米顷，久久益善，蒸讫，水淋百余过讫，阴乾，若不淋者，蒸讫便阴乾，服一合，后食，日三服，势力少稍增，从一合始至一升，令人长生益气，可辟谷不饥，以备厄还山隐无谷。昔庞伯宁、严君平、赵德凤、唐公房等，修道佐时也，世遭饥运，又避世隐峨眉山中，饥穷欲死，适与仙人高子良五马都相遭，以此告之，皆如其言，尽共服之，卒赖其力，皆度厄，后以告道士进同得其方，遂共记之。

又方：

取大盆内柏叶著盆中，水渍之，一日一易水，易水者，状瀹出水也，如是七日以上，若二七日为佳，讫，覆盆蒸之，令气彻便止，暴乾下筛末一石，以一斗枣膏溲，如作乾饭法，服方寸二匕，日三，以水送不饥，饥即服之，渴饮水，以山居读诵，气力不衰，亦可济凶年。

仙人服柏叶减谷方：

柏叶取近上者，但取叶，勿杂枝也，三十斤为一剂，常得好不津器，内柏叶于中，以东流水渍之，使上有三寸，以新盆覆上，泥封之，二七日出，阴乾，勿令尘入，中乾便治之下筛，以三升小麦净择内著柏叶汁中，须封五六日，乃出阴乾，燥复内之，封五六日出，阴乾令燥，磨之下筛，又取大豆三升，炒令熟，取黄磨之下筛，合三物搅调相得，内韦囊中盛之，一服五合，用酒水无在，日

三，食饮无妨，治万病，病自然消，冬不寒，颜色悦泽，齿脱更生，耳目聪明，肠实，服此，食不食无在。

又方：

取柏叶三石，熟蒸暴乾，下筛大麦一升，熬令变色，细磨之，都合和，服多少自任，亦可作粥服之，可稍稍饮酒。

又方：

取柏叶二十斤，着盆中，以东流水渍三七日出，暴乾，以小麦一斗渍，汁三四日出，暴乾，熬令香，柏叶亦然，盐一升，亦熬之令黄，三味捣下筛，以不中水猪膏二斤，细切，著末中搅，复筛之，先食，服方寸匕，日三七，不用食良，亦可兼服之。

又方：

取阴地柏叶，又取阴面皮，咬咀蒸之，以釜下汤灌之，如是至三，阴乾百日，下筛大麦末大豆末三味各一斤，治服方寸匕，日三，以绝谷不食，除百病延年。

又方：

柏叶三石，熟煮之，出置牛筥中以汰之，令水清乃止，暴乾，以白酒三升，溲叶，微火蒸之熟一石米，顷息火，复暴乾，治大麦三升，熬令变色，细治暴捣叶下筛，合麦屑中，日服三升，以水浆若酒送之，止谷疗病，辟温疠恶鬼，久久可度世。

又方：

柏叶十斤，以水四斗，渍之一宿，煮四五沸漉出，去汁，别以器阁之乾，以小麦一升，渍柏叶汁中一宿出，暴燥，复内之令汁尽，取盐一升，柏叶一升，麦一升，熬令香，合三味末之，以脂肪一片合溲，酒服方寸匕，日三，病自消减，十日以上，便绝谷，若乘骑，取一升半水饮之，可以涉道路不疲。

休粮散方：

侧柏一斤，生　乌豆　麻子各半升，炒

右三味，捣拌，空心冷水服方寸匕。

初精散方：

茯苓三十八[1]斤　松脂二十四斤　钟乳一斤

右三味为粉，以白蜜五斗，搅令相得，内坩器中，固其口，阴乾百日，出而粉之，一服三方寸匕，日三服，一剂大佳，不同余药。

凡欲服大药，当先进此一膏一散，然后乃服大药也。

五精酒：　主万病，发白反黑，齿落更生方。

黄精四斤　天门冬三斤　松叶六斤　白术四斤　枸杞五斤

右五味皆生者，内釜中，以水三石，煮之一日，去滓，以汁渍曲，如家酝法，酒熟取清，任性饮之，一剂年长[2]。

服　云　母

云母粉法：

云母取上上白泽者，细擘，以水净淘，漉出蒸之，一日一夜下之，复更净淘，如前，去水令乾，率云母一升，盐三升，消石一斤，和云母捣之一日至暮，取少许掌上泯著不见光明为熟，出安盆瓮中，以水渍之令相得，经一炊久，澄去上清水，徐徐去之尽，更添水如前，凡三十遍易水，令淡如水味，即漉出，其法一如研粉，澄取淀，然后取云母淀，徐徐坐绢袋中，滤著单上，暴令乾，即成矣。云母味甘平无毒，主治死肌中风寒热，如在船车上，除邪气，安五脏，益子精，明目下气，坚肌续绝，补中，五劳七伤，虚损少气，止利，久服轻身延年，强筋脉，填髓满，可以负重，经山不乏，落齿更生，瘢痕消灭，光泽人面，不老耐寒暑，志高可至神仙，此非古法，近出东海卖盐女子，其女子年三百岁，貌同笄女，常自负一笼盐，重五百余斤，如斯得效者，其数不一，可验神功矣。

又方：　云母擘薄，淘净，去水余湿，沙盆中研万万遍，以水淘，澄取淀，见此法，即自保爱，修而服之，勿泄之，勿泄之。

① 八：千金翼方作“六”。

② 年长：千金翼方作“长年”。

凡服云母，秘涩不通者，以芜菁菹汁下之即通，秘之。

用云母粉法：

热风汗出心闷，水和云母浴之，不过再差。

劳损汗出，以粉摩之即定，以粳米粥和三方寸匕服之。

疳湿慝疮月蚀，粳米粥和三方寸匕服之，以一钱匕内下部中取差。

止下脱病，粳米粥和三方寸匕，服之七日，慎血食五辛、房室、重作务。

赤白痢积年不差，服三方寸匕，不过一二即差。寸白虫者，服一方寸匕，不过四服。

带下服三方寸匕，三五服差。

金疮一切恶疮，粉涂之，至差止。

疽疥癣亦然。

风癞者，服三方寸匕，取差。

痔病服三方寸匕，慎方[①]室血食油腻。

淋病，服三方寸匕。

又一切恶疮，粉和猪脂涂之。

头疮秃癣，酢酒洗去痂，以粉涂之，水服三方寸匕百日，慎如前。

云母水：　主除万病，久服，长年神仙方。

云母二十斤，细擘　芒消十斤　露水一石　崖蜜二斤

右四味，先取露水八斗，作沸汤，分半洗汰云母，再遍漉出，以露水二斗温之，内芒消冷消，置木器中，内云母讫，经三七日出之，令燥，以水渍之，粗皮令软，作袋，内云母袋中，急系口，两人揉挺之，从寅至午勿住，出之，密绢筛末，余不下者，更内袋中揉挺如初，筛下摠可得五斤，以崖蜜和搅令如粥，内薄削筒中，漆固口，埋舍北阴中，深六七尺，筑土令平，一百二十日出之，皆成水，旦温水一合，和云母一合，向东服，日三，水寒温自任，服十日，小便当黄，此先除劳气风痹也，二十日，腹中寒癖皆消，二十日，龋齿除者更生，四十日不畏风寒，五十日诸病皆愈，颜色日少，久服不已，长年神仙。

服　水

乾元亨利正，九种吾生，日月与吾并，吾复不饥复不渴，赖得水以自活，金木水火土，五星之气，六甲之精，三真天仓，浊云上盈，黄父赤子，守中无顷，急急如律令，每服皆用此咒，咒之三杯，杯各三遍，乃细缓缓徐徐服之。

细服五色水法：

经曰：白黄黑水服法如前，唯有青水一法，服满三匕，日中思食，鬼神遍在身中，从人索食，当如法与之，绝中五谷，多食枣栗，诈称鬼亲附说人，慎勿信之，但当以法调和，以时及节。

服赤水方：

赤向生气所宜之方，三杯三咒，拱手心念，口言诵偈曰，金木水火土，五精六府，一切识藏，欲服之时，专心注下，初服之时，如似浆气，三七日如甘露味，亦当食枣栗一升，七日食虫渐发，三尸亦盛，思美饮食，遍缘一切世间，当发善念，相续五七日中，二食枣栗水，方渐强增长，颜色怡悦，气力异常，更须加口水当渐少，日月渐盈，肤体汗类渐渐剥落，眼目精明，亦少睡眠，心开意解，但如法慎护，心若不至诚，内连六识，外为鬼神，侵绕其心，念青帝神守护水精五七日，觉弱心意不定，但当正念，重加神司土父神后五藏君名，众邪杂鬼，如法而去，六七日后独善，解音乐，不得礼拜，省习诵养气力，勿嗔怒嫉妒，勿调气，省睡眠。

却鬼咒法：

咒曰：然摩然摩，波悉谛苏，若摩竭状暗提，若梦若想，若聪明易解，常用此咒法去之。

① 方：千金翼方作“房”。

服水禁忌法：

经曰：凡服水，忌用铜铁器，唯用垍器，初起手时，忌阴云大雨，大风大雾，天地不明，皆凶。

凡服水，禁陈米臭豉生冷酢滑椒姜，一切众果，悉不得食，又不得至丧孝产乳之家，五辛之气，亦不得闻，一切脂膩血食菜茹，悉不得食也。

凡服水四七日后，乍闻琴声歌啸，悉不得容受，资身悦乐，音声博戏，皆不得执，渐渐通泰，以洪大道，五色水法，皆同于此也。世间之法，音声触，五谷触，丧孝触，产妇触，射利触，善友触，恶人名闻触，恶名触，皆当谨慎之。

服水节度法：

经曰：凡服水七日中，渐止酢滑，亦渐省食，七日满，取枣栗食，经二日后，乃更服之，二七日后，食虫渐发，更食枣栗一升，三七日后，思食，更服栗枣二升，四七日后，食虫思食欲死，脚弱不能行步，五七日水力渐盈，颜色更好，气力异常，六七日中，能步不止，随意东西，七七日中，心解异义，耳闻异声，必不得贪，著义亦有悲欣慈旨，八七日中守尸，九七日中尸臭，自然远离不乐，世间五藏诸病悉得除愈，十七日中髓脑众脉皮肤汗类，一切悉愈，眼目精明，心想分别，无事不知，千日后中表内外，以五藏渐缩渐小，众毒不害，人精水神，渐来附人，七年肠化为筋，髓化为骨，火不能烧，水不能漂，居在水中，与水同色，在水底与地无异，居山泽间，远视之者，独如山雷，此服黄黑水法，用水法，井泉清流，悉得用之。雷字疑。

服水大例法：

经曰：凡服水以死为期，必得无疑，信因信果，正真其心，闻法欢喜，不生疑惑。

又曰：凡服水讫，男先举左足，向阳左行，女先举右足，向阴右行，男奇女偶。

凡服水法：

立饮之，不得坐饮，欲细细而缓，不得粗粗而急；杯受一升，每一服必三杯，服辄一回徐行，三杯三回，若少兼食者，杯受一升，如是三杯。

凡服水，上行一百三十步，中行一百二十步，下行六十步，水重难得气力，善将其宜而不失其所者，一百日水定，周年水盈，四十年气二百倍，游形自在，高原陆地，与水等无差异，颜色皎然，四十年肠化为筋，髓化为骨。

凡服水八十以下，十岁以上，皆得服之，若小者当加枣栗，枣栗法：上根者，从初七至四七止；中根者，从初七至八七止；下根者，从初七至十七，乃至十七十二七止；后有中下根者，一周晬将补，乃始休息。

上利根之人，一服如甘露；中根之人，再服如甘露；下根之人，四服如甘露；极下根者，六服如甘露。上利根者，一服二七日；中根者，过七日，乃至十日；下根者，服日再服七日。又有上利根者，延日三倍；中利根者，延日一倍；下利根者，才不当日。

又有上品人修戒定过去业强，中品人见在修业强，下品人以死为期，必得无疑，信向三宝。

中根有三品，中上品当闻知此宝法，欲长年服大升，一石二石，即得不死；中中品修习其行，比智殖业，当服此药，广行誓愿；中下品少有嫉妒，及以憍慢，亦具五盖三毒，起罪心因，国土荒乱，人民饥馑，刀兵劫起，思服此药以免。

下根有三品，睡眠无觉想，不善音乐，亦玩博戏，又无聪慧瞪瞽不了，须人教呵，中品人下复远人，下品人居大深山，乃得服耳。

神仙方序

夫天分正气，布晦明风雨之宜，人禀大和，有寒暑寝与之患，是则劳逸变作，损益互生，苟不徇于天真，乃自伤于至性，设或栖神玄牝，体道丹丘，饵其卉木之英，慕彼烟霞之域，足使贯金石之箐，固能炼冰雪之容，复性命之根源，益精气之户牖，傥永专于服饵，可自得于神仙，今所纂集者①方，邈考前经，旁徵故典，品药必稽于和扁，论医如访于乔松，回衰歷而去微痾，未为奇效，驻童颜而坚上寿，粗有神功，将俟秘藏，庶存编次云尔。

神仙服云母法

炼云母粉服饵法：

云母取上好白泽者，细擘，以水净淘漉出，蒸之一日夕，下之，复更净淘如前，去水令乾。凡云母二斤，用盐三斤，消石一斤，和云母捣之一日，至暮取少许，掌上泯著，不见星光为熟，出安盆瓮中，以水渍之，令相得，经二②炊久，澄去上清水，徐徐去之尽，更添水如前，凡三十遍易水，令淡如水，味淡即漉出，其法，一如研粉澄取淀，然后取云母淀，徐徐坐绢袋中滤著，单上曝令乾，即成粉矣。每日空心，以酒调下一钱，或水下亦得，久服轻身延年，强筋填髓，可以负重，登山不乏，悦泽不老，耐寒暑，志高神仙，此非古法，近出东海卖盐女子，年三百岁，貌同笄女，常自负盐，重五百余斤，如斯得效之者，其数不一，可验神功矣。

中山卫叔乡③服云母法：

右取云母一斤至三斤，五色具者，细擘之，以久茅屋溜水，若秋百草上露水，以渍之百日，内以笔囊中挼之，以绢细罗入乳钵中，研如面，著竹筒中，塞口悬甑下，以白砂一碩，盖上蒸之，一日一夜，气达上出之，又内黍稻米一碩，蒸之一日取出，于铜器中用白蜜和调，重汤上煎熬，令可丸即丸，如梧桐子大，每服二丸，空心食前，以水酒下并得，日三服，十五日加至三丸，常以鸡鸣时及午时，星宿出时服之，三十日身轻目明，五十日筋骨强盛，七十日三虫伏尸皆去，八十日皮肤光泽，九十日入水火不烧濡，百日易筋骨，三百日行及奔马，一年为真人，又云年七十已上，四百日已后，乃得仙矣。

又法：

右取云母粉一斤，消石白者一斤，同捣细，绢罗，更研如面，白蜜三斤，合调，内生竹筒中，漆固口，埋北垣下，三十日出之，当化成水，铜器中盛，每日空心，以水若酒调下一粟壳，渐渐加之，日三服，二十日身光，三十日露不著身，五十日火不能害，百日之后，便成仙也。

神仙饵云母法：

云母粉一斤　桂心一斤，捣罗为末　葱叶捣绞取汁，二升

右件药，合和一处，内生竹筒中，于一碩米下蒸之，令米熟，即化成水，每于食前服一粟壳，二十日气力强盛，服之四十日，颜如童子，服之百日，严冬入水不寒。

又法：

右取美玉一斤，捣细罗研之，内云母水中十日当消，日可服之，凡诸石屑，内云母水中皆消，不但是玉也。

神仙服雄黄法

凡雌黄千年，化为雄黄，雄黄千年，化为黄金，食黄金者，莫若真人饵法，微妙难

---

① 者：太平圣惠方作“诸”。
② 二：太平圣惠方作“一”。
③ 乡：太平圣惠方作“卿”。

可知也，轻身益气，莫过雄黄之效。

雄黄一斤，细研

右以酒三升，和著铜器中，用炭火上微煎令沸，勿令大热，以好漆二升，去滓，合著其中，搅令相得，药成如黄金，或作紫色，丸如梧桐子大，常先食含化一丸咽津，日三服，十日诸疾悉愈，二十日肌肉中药气遍行，能耐寒暑，寒则热，热即凉，服之百日，肠中肥，皮肤厚，筋骨坚，耳目聪明，无复诸患，行步如走，服之二百日，颜色有光，白发再黑，齿落重生，反老成少，服之三百日，神仙玉女在身左右，服之一年，长生登仙，入水不由桥梁，服之不止，身形坚固，真人所贵，神仙所宝，勿示非人，恐招谴谪。

服饵雄黄，可致神仙方：

右取雄黄鸡冠色者，熟捣细罗，以松脂和捣为丸，如弹子大，每旦以酒研下一丸，至十日，腹中伏尸三虫下，面黑皆除，服之二十日，百病除愈，耳目聪明，久服可至神仙，戒勿借与人衣服皮履，损人药力，精气常欲飞去，常须净洁为佳。

神仙服雄黄延年方：

雄黄一两　蕤人二两　蒲黄三两

右三味合治，雄鸡血和，捣之万杵，用白蜜为丸，如麻子大，每旦以酒下一丸，渐加如梧桐子大，如常服之，五年可得神仙也。

神仙服黄精法

服黄精成地仙方：

黄精者，是芝草精也，一名萎蕤，一名仙人余粮，一名苟格，一名勉竹，一名兔子，一名重楼，一名垂珠，一名马箭，一名白及，一名黄精，其叶如竹，其茎如桃，其花白，四月茎长五六尺，本黄末赤，其花如小豆，其实如黍，其根似姜，昔随羊公神仙，常服此药，言与天地相毕，恒以二月三月[1]采根，入地八九寸为上，取一硕五斗，净洗细切，以水二硕五斗，煮令苦味尽，漉出，以布袋内压取汁，澄清，再煎如膏即止，然后炒黑豆黄，捣罗为末，相和得所，捏为饼子，如钱许大，每服二枚，日渐加之，百日知验也，一年内即变老为少，气力倍增。

又方：

右取黄精根茎，不限多少，细锉阴乾，捣罗为末，每用净水调服，任意多少，效亦如前。

又方：　常以二月、三月、八月，采取黄精，去须净洗，切取一硕，以水二硕煮之，从朝至暮，如水尽，可取热水添之，看苦味尽，其药美，即出令冷，手挼使破，以酒袋盛，压取汁，于锅中微火煎如[2]□，取滓曝乾，捣罗为末，入于煎中相和，搅令匀，更用微火煎之，看可为饼子即止，每服如鸡子许大，效亦如前，若不欲断谷，即一服减为三服，皆食前服之，长生矣。

又方：

黄精五斤，细切　糯米五斗，淘令净，与黄精同炊为饭　曲末七斤半

右取曲末，候饭冷相和，入瓮中，如常造酒法，候熟，压取酒，每日常暖饮一两盏，神验。

又方：

黄精汁三斗　地黄汁三斗　天门冬汁三斗

右件药相和，以慢火煎之减半，入白蜜五斤，白茯苓末二斤相和，更煎可丸即止，丸如弹子大，每服一丸，以温酒化破服之，日三服，百日内令人颜如桃花，二百日内老者貌如十五六时，更不老矣，乃为神仙。

真人饵黄精方：

黄精细切一硕，水一硕五斗，渍之一宿，以慢火煮半日，勿令沸，绞取汁五斗，复于铜器中煎之，可余三斗许，内蜜五升，松脂成炼者三斤，熟搅可丸乃止，丸如弹子大，每服以温酒化破一丸服之，日三服，三十日不复饥，长生不死。

神仙饵黄精方：

① 三月：太平圣惠方无此二字。

② 如：此下脱字，太平圣惠方作“饧”。

黄精十斤，净洗，蒸令烂熟　白蜜三斤

右件药相和捣一万杵，为丸如梧桐子大，每服以温酒下三十丸，日三服，久服神仙矣。

又方：

黄精十斤，洗净，蒸令烂熟　白蜜二[1]斤　天门冬三斤，去心，蒸令烂熟

右件药相和，捣一万杵，为丸如梧桐子大，每服以温酒下三十丸，日三服，久服神仙矣。

又方：

黄精十二斤，生者取汁　生地黄五斤，取汁　白蜜五升

右件药相和，于铜器中搅令匀，以慢火煎之令稠，可丸即丸，如弹子大，每服以温酒研破一丸服之，日三服，面如童子，延年不老。

神仙饵黄精延年法：

黄精生者，捣取汁三斗，于银锅中煎之，令可丸即丸，如鸡子黄大，每日食前食一枚，三十日不知饥，服之百日，行及奔马，延年驻景，颜色不衰尔。

① 二：太平圣惠方作“三”。

养　性　门五

圣　惠　方二

神仙服地黄法

神仙服地黄，延年不老方：

右取地黄净洗，随多少，捣绞取汁，煎令小稠，内白蜜更煎，令可丸即丸，如梧桐子大，每日食前，以温酒下三十丸，日三服。如此十年，白发再黑，力如二十时，令人多子，效无比。

服地黄延年法：

生地黄不限多少，肥者，阴乾

右捣罗为末，炼蜜和为丸，如梧桐子大，每服以温酒下三十丸，日三，服百日，颜如桃花，服三年，令人长生不死。修真秘诀同。　事林广记神仙饵地黄，长生不老方：　生地黄味甘，无毒，生于黄土者佳，二月八月采肥者，不拘多少　阴乾，为细末，炼蜜为丸，如梧桐子大，每服以温酒下三十丸，日三，服百日，颜如桃花，服三年，令人身轻，长生不老。

神仙服地黄实，延年益寿方：

地黄实不限多少

右常以四月采取，阴乾，捣罗为末，每服一钱，以水调下，日三服，令人长寿。

神仙饵地黄，治病长生方：

生地黄十斤，擘碎，于一大铜器上安炊箪，箪上安地黄，入甑蒸之，汁当下流，入于铜器中，候销地黄汁尽，即止，将铜器内汁，置于重汤中煎之，可丸即丸，如半鸡子大，每服一丸，以温酒化破服之，日三服。服之百日，与天地相保。白子高从太上传受此方。

神仙服天门冬法

神仙服天门冬，强筋髓，驻颜容法：　天门冬一名颠棘，生奉高山，在东岳名淫羊霍，在中兵[1]名天门冬，在西岳名管松，在北岳名无不愈，在南岳名百部，在京陆山阜名颠棘，虽处处有，其名各异，其实一也，在北岳地阴者佳。

天门冬二十斤，细切，阴乾　事林广记去心皮

右捣罗为末，每服三钱，以酒调下，日五六服，二百日后，怡泰，拘急者缓，羸劣者强，三百日身轻，二年走及奔马，与炼成松脂蜜丸益善，唯多服弥佳。忌食鲤鱼。修真秘诀同。

神仙服天门冬饼子法：　治虚劳绝伤，年老衰损，羸瘦，偏枯不起，风湿不仁，冷痹，心腹积聚，恶病[2]痈肿癞疾，重者遍身脓坏，鼻柱败烂，服之皮脱虫出，肌肉如故，此无所不治。亦治阴萎、耳聋、目暗。久服白发变黑，齿落重生，延年，入水不濡；服一年心服[3]痼疾，并皆去矣，令人长生，气力百倍。

天门冬一硕，捣取汁三斗　白蜜二升　胡麻米四升，微炒

右件药，于锅内先煎天门冬汁至一斗，便入白蜜并胡麻末，搅令得所，更入黑豆黄末和，捏为饼子，径三寸，厚半寸，每服一枚，嚼烂，温酒下，日三服。忌食鲤

1. 兵：太平圣惠方作“岳”。
2. 病：太平圣惠方作“疮”。
3. 服：太平圣惠方作“腹”。

鱼。

神仙服天门冬法：　如居山远行，辟粒不饥，服至十日，身轻目明；二十日百病愈，颜色如花；三十日发白更黑，齿落重生；四十日行及奔马，百日服之延年矣。

天门冬二斤　熟乾地黄一斤

右件药，捣罗为末，炼蜜和为丸，如弹子大，每服三丸，以温酒化破服之，日三服。忌食鲤鱼。修真秘诀同。　事林广记又云：一云久服大益人，去三尸，断谷轻身，延年不老，百病不生，以茯苓等分，为末同服，大寒单衣汗出。忌食鲤鱼。

神仙饵天门冬法：　令人长生不老，气力百倍，病久虚羸，风湿不仁，心腹积聚，男子妇人，年八十岁，服之皆有益方。

天门冬二十斤，常以七月、八月、九月采其根。亦云正月采之，过此无味也，净洗曝令乾

右件药，捣罗为末，每服三钱，以酒调下，日三服。若能采其湿者，捣汁酿酒，用调其散服益善，久服令人入水不濡，与天相毕，久久通神明，老还少容，白发再黑，齿落重生，肌肤光泽，耳目聪明，服之不止，升于上清。忌食鲤鱼。

神仙服杏仁法

杏仁酥：　治万病，及诸风虚劳冷方。

家杏仁一硕，拣完者，汤去皮尖双仁，捣令烂，用好酒二硕，研滤，取汁一硕五斗，入蜜一斗五升，内两硕瓮中，搅令匀，封之，勿泄气，三十日看之，酒上酥出掠取，内瓷器中贮之，取其酒滓，团如梨大，置空屋中，作格安之，候成饴脯状，每日旦服一枚，以前酒下。其酒亦任性饮之。

夏姬服杏仁法：

杏仁三斗，汤去皮尖双仁，早朝蒸之，至午时，即便以慢火微烘之，至七日即止。每日空腹，不约[1]多少，随意服之，延驻治病秘验。

神仙服松脂法

神仙炼松脂服饵法：

右以松脂二十斤，以大釜中，著水加甑其上，固济勿泄，以茅铺甑为藉，复用黄砂铺茅上，可厚一寸，乃着松脂于上，炊之以桑薪，汤减即添热水，松脂当洋入釜中，投于冷水中待凝，更蒸之如前法，三蒸毕止，脂色如白玉状，每一斤用白茯苓半斤，甘菊花半斤，捣罗为散，炼蜜和捣千杵，丸如梧桐子大，每日空心，以温酒下五十丸，久服延年不饥，可致神仙也。

又方：

炼了松脂十斤　松实三斤，取仁　柏实三斤，取仁　甘菊花三斤

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣千杵，丸如梧桐子大，每日空心，以温酒下五十丸，一百日已上，不复饥，服之一年，百岁人如三十者，久服寿同天地。

又法：　松脂十斤，用桑薪灰汁内釜中，加甑于上，甑中先铺茅，次铺黄砂土，可三寸，蒸之，松脂当洋入釜中，投于冷水待凝收取，复蒸，如此三度，更以清水伐[2]汁，复如前蒸三度，去水，更以水一硕五斗，煮甘草三斤，取汁一硕，去滓，内牛乳二斤，加甑釜上，复蒸如前，令松脂入甘草汁中，待冷收取，复蒸，如此三度即成，苦味皆去，甘美如饴，每服以温酒服如弹丸大，日三服，久服神仙不老。

神仙服松实法

神仙饵松实方：

右取松实仁不以多少，捣为膏，每于食前，酒调下三钱，日三服，则无饥渴，勿食他物，百日身轻，日行五百里，绝谷升仙。肘后方同。　卫生易简方凡远行水火不便，或修行人欲省缘休粮，用松实为末，每服一合，

① 约：太平圣惠方作“拘”。
② 伐：太平圣惠方作“代”。

日三服，则无饥渴，每食他物、饮水不妨，百日身轻，快行绝谷。

神仙益精补脑，久服延年不老，百岁以上颜色更少，令人身轻悦泽，松子丸方：

松子二斤，取仁　甘菊花一斤，为末

右以松脂和捣千杵，入蜜，丸如梧桐子大，每服食前，以酒下十丸，日可三服，加至二十丸，亦可散服，功效如神。

神仙服松叶法

神仙服松叶，令人不老，身生绿毛，益气轻身，还年变白，久服绝谷不饥渴，可致神仙方：

右取松叶，不以多少，细切如粟，更研令细，每日食前，以酒调下二钱，四时皆服，然初服稍难，久即自便矣。

又方：

右松叶，四季以春东、夏南、秋西、冬北方采之，阴乾，捣细罗为散，每日食前，酒调下二钱，粥饮下亦得，能轻身益气，令人耐寒，不病延年。

神仙服茯苓法

神仙服茯苓法：

白茯苓五斤，去黑皮

右捣罗为末，以熟绢袋盛，于三斗米下蒸之，以炊熟为度，曝乾，又蒸，如此三遍，取牛乳二斗和之，著铜器中，微火煮令如膏，用竹刀割，随性饱食之，一服六年不饥，益气力，光悦，后欲吃食，煮葵菜汁下却，即任食。忌食米醋。

真人饵茯苓法：

白茯苓三斤，细锉，以绢袋盛之，悬于瓮中，用小麦细面七斤，糯米五斗，炊为烂饭和曲末，经宿，入蜜一升，和令匀，入瓮中，又经一宿，别炊糯米二斗投之，不得令热，即密封其瓮口，春秋三七日，冬五七日，夏一七日，当出其药袋，可隔宿不食，清旦取茯苓半斤服之，其酒即旋旋取饮之，勿令胜药。若服此药多时者，永不饥渴，无寒无热，身如壁玉，令人身轻，走及奔马，与天地相毕矣。其药袋可悬于空中，勿令著瓮底，绳系袋头，取木横扼[1]之，仍以纸密封，旋取服之，勿令泄气。忌食米醋。

茯苓酥：　除万病，久服神仙方。

白茯苓三十斤，取山之阳者甘美，山之阴者味苦，去皮，薄切，曝乾，蒸之，以汤淋去苦味，若淋不止，其其汁[2]当甜，则曝乾，捣罗为末，用酒三碗，蜜三升，和酒相得，内茯苓末于大瓮中，搅之百匝，封之勿泄气，于[3]五十日，夏二十五日，酥浮酒上，掠取，其味甘美，作饼子如手掌大，于空室中阴乾，色赤如枣，饥时食一枚，终日不饥，此名仙人度世之药，每食时，用酒下之，此为茯苓酥也。忌食米醋。

神仙饵茯苓方：

白茯苓十斤，削去黑皮，晒乾，捣罗为末，以好酒于瓷瓮中浸之，看酒淹得所，以瓦盆合之，以泥封定，勿泄其气，候六十日开，如饧相似，每服以温酒调下如弹子大，日二服，如久服，延年不老神仙矣。忌食米醋。

神仙饵茯苓延年不老方：

白茯苓三斤，去皮，细锉，醾[4]令乾　事林广记去皮木，细切，日曝乾　白菊花一斤半

右件药，捣罗为末，以炼成松脂和丸，如弹子大，每服一丸，以酒化破服之，日再服，百日颜色变异，光肌肤泽[5]，延年不老。忌食米醋。修真秘诀同。

神仙饵茯苓，久服令人长生法：

白茯苓二斤　桂心一斤

右件药，捣罗为末，炼蜜和丸，如胡桃大，每服一丸，以温酒化破服，日三服。忌食米醋物。

神仙服茯苓面方：

白茯苓五升，去黑皮，细锉　甘草五两，细锉

① 扼：太平圣惠方作“枨”。
② 其汁：太平圣惠方作“味”。
③ 于：太平圣惠方作“冬”。
④ 醾：太平圣惠方作“晒”。
⑤ 光肌肤泽：太平圣惠方作“肌肤光泽”。

右件药，以水六斗，光煮甘草至三斗，去滓澄清，却入釜中，内白蜜三升，好牛乳九升相和，以慢火煎茯苓，令乳蜜汁尽出之，及热，挼令散，拣择去赤筋，又熟挼令如面，阴令极乾，日四五度服之，初服三钱，以水调下，稍稍任性加之。忌食米醋物。

神仙凝雪膏方：

白茯苓三十六斤，锉，水煮一日　松脂二十四斤，炼了者　松子仁十二斤

右件药，捣罗为末，以白蜜二碗四升，内铜器釜中，微煎火① 之一日一夜，次第下药，搅令相得，微微② 火养之七日七夜止，可丸即丸，如樱桃大，食前酒服七丸，日三服。若欲绝谷，顿服取饱，即不饥，轻身目明，老者还少，久服成仙矣。忌食米醋物。

神仙保精延驻，饵茯苓方：

白茯苓三十六斤　松脂二十四斤，炼了者　钟乳粉一斤

右件药，捣罗为末，以白蜜五斗，和搅令相得，内瓷器中盛，固口阴乾，百日出，更研之，每日空心及晚餐前，酒调下二钱服，一剂大佳，不同余药。忌食米醋。

神仙服柏叶柏实法

神仙服柏叶，延年不老方：

柏叶不计春夏秋冬采，和枝折

右用大甑，满装熟蒸，如炊三硕米许，以汤淋三五度，去其苦汁，阴乾，捣罗为末，以黑豆、黄米等分，相和令匀，每服二合，以冷水调服，日三服。高子良服此药得仙道。

神仙饵柏叶法：　服之一年，百病除愈；服之三年，行及奔马；久服，令人身轻益气力，耳目聪明，补骨髓，除风去冷，寿年千岁。

柏叶二十斤，四时采，周而复始

右以水浸三宿，漉出，晒乾，捣罗为末，每三斤柏叶末，入炒了黑豆黄末一斤，胡麻末一斤，三味相和令匀，每服三钱，以水调下，日三服。

神仙饵柏叶方：

柏叶二十斤，著瓷瓮中，以东流水浸令相得，淹二十一日，漉出曝乾　小麦一斗，内前柏汁中，浸之至三日，漉出晒乾，复内汁中，又浸候汁尽即止，炒令香　盐一升，炒令黑　炼成猪脂二斤

右件药，捣罗为末，入猪脂捣匀，每服弹子大，温水调下，日三服，兼食此药，旬日后可以绝谷，久服无病，可致神仙矣。

神仙饵柏叶，令肥白补益方：

侧柏叶三斤，五月五日王③ 方采　修真秘诀二斤　远志二斤，去心　白茯苓一斤　事林广记去皮

右件药，捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服以温温仙灵脾酒下三十丸，日再服，并无所忌，神秘勿示非人。

神仙饵柏叶，令不饥渴，耐寒暑方：

右柏叶三十斤，取近上者，但只取叶，勿杂枝也，用不津器，内柏叶于中，以东流水渍之，使上有三寸许，以新盆覆上，泥封之，三七日出，阴乾，勿令尘入，乾小麦净拣取三升，黑豆三升，炒去皮。三味一处，捣细罗为散，每服三钱，以水酒调下，并得空心及食前，久服，方病自消，冬不寒，夏不热，驻颜不老，齿脱更生，耳目聪明，肠中充实，或食不食勿怪。

又方：

右柏叶三十斤，以水熟煮之，出，内竹箩中，用木④ 淘汰⑤ 之，令水清乃止，曝乾，以好酒五升溶拌，甑中蒸之半日息火，复曝乾，大⑥ 麦三升，熬令变色，二味同捣，细罗为散，每服三钱，以水浆若酒下之，止谷疗病，辟温疠恶鬼，久服可度世矣。

神仙服楮实法

服楮实可致神仙法：

① 煎火：太平圣惠方作“火煎”。
② 微：太平圣惠方无此字。
③ 王：太平圣惠方作“五”。
④ 木：太平圣惠方作“水”。
⑤ 汰：太平圣惠方作“洗”。
⑥ 大：太平圣惠方作“入”。

楮实五斗[1]，□赤时收，阴乾

右捣罗为末，每服二钱，以净水调下，日三服，令人耳目聪明，延年不老，神验，宜久服之。

神仙服胡麻法

神仙饵胡麻法：

胡麻一硕，淘去上黑皮令自[2]，蒸之一日，曝乾，捣碎，釜中用水一硕五斗，又蒸之令釜中有一硕许水，便倾胡麻，置一瓮中，尽釜中汤泼之，以麦蘗一斗，捣，内瓮中酿之，如作糖法，两复时尽，去却糟煎之，三分余一分，更盛置铜器中，坐一釜汤中，猛火煮之令稠，瓷瓮内贮之，每服如鸡子大三丸，服百日，充益肌肉，发鬓还黑，耳目聪明，能长服之，寿命无穷。

神仙饵胡麻膏：　益寿延年，老人复少方。

胡麻膏一斗　韭头一斤

右二味相和，慢火煎令韭焦黄，去韭，每日温酒调[3]二合，服之至百日，去黯[4]黯，肌肤充盈，二百日老者复少，三百日延年益寿，久服不已长生。

神仙饵胡麻，延年驻寿方：

胡麻子三斗，簸拣令净，一如炊饭法蒸，曝乾，复蒸九遍止，微舂去黑皮

右捣罗为末，炼蜜和丸，如鸡子大，每服一丸，以酒化服，久服令人身轻矣。

乐子长饵胡麻膏方：

胡麻膏一斗　薰陆香二斤，以水五斗，洗，取屑，入[5]膏中同煎

右二味相和，以慢火煎令水尽，滤去滓，盛于不津器中，每日以温酒调服二合，百日玉女侍之，神效，五百日神仙迎人，去道之近。

神仙服胡麻，延年不老方：

胡麻五斗，色紫黑者

右以水淘去浮者不用，漉乾，便上甑蒸，令气遍溜出之，曝乾，以少许水拌令润，又上甑蒸之气遍，又下，曝乾，如此九度后，去黑皮令净，捣罗为末，每日空心，以温酒调下三钱，日晚再服，渐自不饥，除愈百病，长年不老，便欲辟谷亦得，勤而服之，成真人矣。

神仙饵胡麻法：　服之百日，能除一切痼病，至一年，修真秘诀二年。身面光泽，不饥，三年，水火不能害，行及奔马，久服长生。生上党者尤佳。

胡麻三斗，净淘，上甑蒸之，令气遍出，曝乾，以水酒拌，又蒸，如此九遍止，以汤脱去皮，簸令净，炒令香

右捣罗为末，炼蜜和丸，如弹子大，每服一丸，以温酒化破服。忌毒鱼生菜犬肉。若欲下之，煮葵叶汁服之即下。事林广记同。

神仙服胡麻粉法：

胡麻一斗，净簸拣，蒸一炊久出，曝乾，又蒸，凡九蒸九曝了，微捣去皮，炒令香，更簸，取四升，用地黄汁溶为脐[6]，却晒乾

右捣细罗为散，每服以温酒调下三钱，日三服，十日外，即觉有效。若七十老人服百日外，肌肉还如少时，亦能绝谷，数试有验。

神仙服枸杞法

服枸杞，养神延年不老仙方：

枸杞不限多少，常以十一月、十二月、正月采根，二月、三月采茎，四月采叶，五月、六月采花，七月、八月、九月、十月收子，已上采收者并阴乾

右捣细罗为散，每服二钱，以温酒调下，日三服，能治一切风，久服诸疾不生，可为地仙矣。

神仙服枸杞法：

出淮南枕中记有一人，往西河为使，路逢一女子，年可十五六岁，打一老人，年可八九十，其使者深怪之，问其女子曰：此老

---

① 斗：此下脱字，太平圣惠方作“正”。
② 自：太平圣惠方作“白”。
③ 调：太平圣惠方此下有“下”字。
④ 黯：太平圣惠方作“黯”。
⑤ 人：太平圣惠方作“入”。
⑥ 脐：太平圣惠方作“剂”。

人是何人？女子曰：我曾孙，打之何怪。比[1]有良药不肯服食，致使年老不能行步，所以决罚。使人遂问：女子今年几许。女曰：年三百七十二岁，使者又问，药复有几种，可得闻乎？女子云：药唯一种，然有五名。使者曰：五名何也？女子曰：春名天精，夏名苟杞，秋名地骨，冬名仙人杖，亦名西王母枚[2]，以四时采服之，令与天地齐寿。使者曰：所采如何？女子曰：正月上寅采根，二月上卯治服之，三月上辰采茎，四月上巳治服之，五月上午采叶，六月上未治服之，七月上申采花，八月上酉治服之，九月上戌采子，十月上亥治服之，十一月上子采根，十二月上丑治服之，但依此采治服之，二百日内，身体光泽，皮肤如酥，三百日徐行及马，老者复少，久服延年，可为真人矣。　琐碎录服枸杞，朱孺子与王元正，居大若岩，一日汲于溪上，见二花犬相趁，因逐之，入于枸杞丛，下掘之，根形如二犬，烹而食之，忽觉身轻，飞于峰上，云气拥之而去，元正食其余，亦得不死。

神仙服术法

神仙服术法：

术三斤　石菖蒲三斤

右件药，捣细罗为散，每日空心，以水调下三钱，日晚再服，治百病，久服令人长寿。忌桃李雀肉。

涓子饵术法：

术一硕，拣择毕，捶令碎

右上甑蒸令烂，以釜中汤淋取汁，煎之令如醇漆即止，不入他物，盛于不津器中，经年不坏，每服温酒调下一大匙，日三服，令人不老不病，久服不死，神仙矣。忌桃李雀肉。

神仙饵术法：

术一硕，拣择令净，捶碎

右从平旦装入甑中，蒸至午时即止，以釜中汤淋三七遍，取汁，却入釜中，微火煎令可丸即丸，如弹子大，每服一丸，以温酒化破服之，日二服，治百病，轻身益气，能去风寒，不饥渴，延年。忌桃李雀肉。

神仙术煎方：

右取术，新从山劚出者，不许[3]多少，去苗，净洗，木臼中熟捣，新布绞取汁，如此三两遍，汁出尽为度，于银器或瓷器中煎令如饧，即成矣，每旦以温酒调服一合，随性空吃尤佳，久服轻身益气，祛风寒，不饥渴，百病皆除。忌桃李、雀肉。

神仙服蒺藜子法

神仙服蒺藜子延年方：

蒺藜子三斗

右一味，不限州土，不问黑白，但取其坚实者，舂去刺净，簸拣择，蒸一炊久，曝乾，捣细罗为散，每服食后，以酒或清水调下三钱，日再服，如觉冷，即每取附子五两，炮裂，去皮脐，捣罗为散，与蒺藜末相和令匀，服之亦佳，每服后，皆以三五匙饭压之。此药治一切风气，野鸡痔恶疮癣，男子阴汗疝气，妇人发乳瘕下，并主之。

神仙服蒺藜方：

蒺藜子一硕，常以七月、八月熟时收采，曝乾　事林广记或二石

右先舂去刺，然后捣罗为末，每服二钱，以新汲水调下，日三服，勿令中绝，断谷长生，服之一年以后，冬不寒，夏不热，服之二年，老者复少，发白再黑，齿落重生，服之三年，身轻延年。修真秘诀同。

神仙服槐子法

神仙服槐子，延年不老方：

槐子者，灵精也，事林广记云：以子相连多者为佳，云单子者不用。常以十月上巳日收之，于新瓷器内盛，又以盆合其上，密以泥泥定，勿令

① 比：太平圣惠方作“此”。
② 枚：太平圣惠方作“杖”。
③ 许：太平圣惠方作“计”。

泄气，二七日，广记一七日。开取去皮，从月初日服一粒，以水下，日加一粒，直至月中，每日却减一粒为定，终而复始，令人可夜读书，久服延年，气力百倍。修真秘诀同。

神仙服槐子法：

取槐子，去皮，内牛胆中令满，阴乾，百日满，取出，每服一粒，空心新汲水下，日晚再服，月内身轻，百日内白发变黑，久服齿落重生，走及奔马。

神仙上品服槐子方：

右取十月上旬巳日，收槐子角二斗，以两只新瓦盆内合著，用纸麻泥封闭，周回勿令泄气，四十九日开之，自烂去皮，然以新布挼取黑子，以新汲水净洗，纸袋内贮，从月一日服一粒，随意津水茶下，逐日添一粒，至十日却服一粒，又至十日，依前一粒至十粒，令人长寿，兼治风补脑，髭须乌黑。按仙书所传，槐子者，于诸药中为最。其法取十月巳日收，并不淘洗，仍拣圆实者，每日服五粒，以井华水下，亦无畏触，服至一年，变人髭须，二年身体轻健，三年已外，补脑明目，久远服食，其功难状。

神仙服鹿角法

神仙服鹿角法：

鹿角屑十两　附子二两，去皮脐，生用

右件药，捣细罗为散，每服以温酒调下二钱，日三服，令人少睡，益气力，通神明，得力速矣。出彭祖传中。

神仙服桂法

神仙饵桂水，令身轻健方：

桂心三斤，捣罗为末　葱涕三升

右二味相和，内青竹筒中盛，于甑上蒸之三日三夜即止，候冷取出，每服半合，以酒相和服之，日三服，久服可行水上，神仙矣。

神仙服桂煎法：

桂心三斤，捣罗为末　甘竹沥一斗①

右二味相和，于铜器中汤上煎，令可丸即丸，如梧桐子大，初服一丸，以温酒下，二日二丸，如此日增一丸，丸② 日止，勿更增也，一年百病除，好颜色，耐寒暑，日行千里。

神仙服菊花法

神仙服菊花，延年不老方：

春三月甲寅日，日出时采叶，夏三月丙寅日，日出时采茎，秋三月庚寅日，日晡时采花，冬三月壬寅日，日暮时采根。其叶名更生，茎名固盈，花名月精，根名长生。又常十月戊寅日，平旦时采精者，菊实也。即采得已上，皆令阴乾，拣择令净，取三分为一剂，春更加长生半两，固盈半两，月精半两，更生半两，以成日捣罗为末，破日炼蜜和丸，如梧桐子大，每日平旦，以水下三七丸，日暮再服。一年后，万病除，身轻目明，益力增寿；二年内山行，诸虎狼虫兽皆自避路，不敢相近；三年内与鬼神相通；五年内上知天文，日行千里；久而服之，天地同毕，为真人矣。

神仙服菊，延年不老方：

菊花三斤　茬子三斤

右二味，常以九月九日辰时收采，阴乾，捣罗为末，炼白松脂和丸，如梧桐子大，每服以温酒下二十丸，日三服，令人长生。

神仙延年不老饵菊花方：

白菊花一斤　事林广记二斤　白茯苓一斤

右捣罗为末，每服三钱，以温酒调下，日三服，久服令人长生。修真秘诀同。

神仙服兔丝子法

神仙饵兔丝子方：

兔丝子一斗，以酒一斗，浸良久，漉出曝乾，又浸令酒尽为度

右件药，捣细罗为散，每服二钱，以温

① 斗：太平圣惠方作“升”。
② 丸：太平圣惠方作“九”。

酒调下，日三服，后吃三五匙水饭压之，至三七日更加至三钱服之，令人光泽，唯服多甚好，三年后老变为少。此药治腰膝，去风冷，益颜色，久服延年，神秘，勿示非道。

修真秘诀同。

神仙服桃胶法

神仙饵桃胶法：

桃胶二十斤，以绢袋盛，内栎木灰汁一硕中，煮三五沸住火，即出袋子，高悬候冷，即更煮之，如此三度即止，晒乾

右捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每日空心，以酒下二十丸，若欲断谷，日三服，一百日内，百病愈。一年不食，气力强盛；三百日，夜视有光，暗室得明，身光如月，行及奔马。若欲急切，乃加至三十丸，日四服，五百日，三尸去，久服神仙矣。

神仙服蔓菁子法

神仙服蔓菁子法：

蔓菁子三斗，三度用水，煮之令苦味尽，曝乾

右捣罗为散，每服二钱，以水调下，日三服。若欲绝谷者，减食增药，则得绝谷不饥，久服转老成少，百日后水灌不著身，诸病悉愈。

神仙服百花法

神仙饵百花法：

三月三日、五月五日、七月七日、九月九日采百花，阴乾，捣细罗为散，每服二钱，以水调下，日二服，百日内身轻，面目光泽，三年通神，忽然与真人同位。如春采百草枝，阴乾捣末，酒服二钱，以水服之亦得，轻身长寿，一名草精也。

神仙服百花方：

桃花三月三日采　蒺藜花七月七日采　甘菊花九月九日采　枸杞叶春采　枸杞花夏采　枸杞子秋采　枸杞根冬采

右件药，并阴乾，分两等，捣细罗为散，每服二钱，以水调下，日三服，百日自知其效，二百日力加百倍，久服令人身轻长寿。

神仙服仙茅法

神[1]茅味辛温有毒，主心腹冷气，不能食，腰脚风冷，挛痹不能行，丈夫虚劳，老人失弱无子，益阳道，久服通神强记，助筋骨，益肌肤，长精神，明目。一名独茅根，一名茅瓜子，一名婆罗门参。仙茅传云：十斤乳石，不及一斤仙茅，表其功力尔，生西域及大庾岭。亦云：忌铁及牛乳，二月八日采根，其法于后：

仙茅十斤，锉如豆大，以水浸，去赤汁，数数换水，水清，即晒乾

右捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每日空腹，以温酒下十五丸，日晚再服。如本性热人，饮下亦得。如能每日别取其末，煎之为汤，下丸极妙。如服后觉热气上冲，头痛，以沙糖为浆饮之即定，兼浓煮甘草豆汤一盏服之亦效。又取一分乌油麻仁，炒熟为末，兼沙糖和之为丸服，即得力迟，当不发矣，服后十数日，觉能食，兼气下，即效也。所服不限多少，唯多为妙。若患冷气人，不用水浸除赤汁，便切，捣，依前和合，忌牛乳。其所忌牛乳者，只是减其药力，亦无妨损。若煎汤，取散三钱，水五合，煎至四合，空腹顿服之，大佳。

神仙服大麻子法

神仙服大麻子，补益驻颜，变髭发，延年不老方：

大麻子三升，酒浸一宿，九蒸九曝，去壳　崖蜜五升　牛膝煎三升　兔丝子五升，酒漫一宿，晒乾　地黄煎三斤

右件药，先捣罗兔丝子为末，熬麻子令香，以柏木杵臼捣为膏，即和前件药，等作团，内入臼中，捣三千杵，不得见孝子及鸡犬，仍择良日合之，每服一鸡子大，以温酒

1　神：太平圣惠方作“仙”。

化破服之，日三服。

神仙服芍药法

神仙服芍药绝谷方：

安期生云：炼芍药有二种，一者金芍药，二者木芍药，救病金芍药，色白多脂肉；木芍药色紫瘦多脉，若取审看，勿令差错。炼法：采得任多少，净刮去皮，先秤满十五斤，以东流水四硕，煮百沸，出，阴乾，停三日，然后于木甑蒸，上以净黄土覆，可一日夜熟，出，阴乾，捣罗为末，每服三钱，以麦饮或酒调服之，日三服，三百日，能登山岭，绝谷不饥，久服升仙，辟兵神秘。

神仙服商陆根法

神仙服商陆，定① 年通灵方：

商陆白者，一百二十斤，切，以竹篓盛，悬于鬼门上，阴乾百日满

右捣罗为末，分为十二分，每一分，皆用好纸作袋盛之，每服五钱，以井华水调下，日二服，渐渐减食，经百日，即见百里事，二百日，即见五百里事，及见地下伏藏，人间乃能飞空自在，神仙所秘。忌食犬肉。

神仙服商陆根方：

商陆根白者，五十斤[2]，□□□□□□□□□盛，于[3]□北悬[4]□□□□□

右捣细罗为散，每服三钱，以水调下，日三服，不过三剂，鬼神来朝，久服，海神使鬼来持献宝物，得受之也。忌食犬肉。

神仙服苣蓠法

真人绝谷饵苣蓠，除痹益精，补髓壮气力方：

苣蓠一硕，拣择令净，上甑蒸，令气遍下，曝令乾，如此九遍

右捣罗为末，炼蜜和丸，如弹子大，每服一丸，以温酒化破服之，日三服，食谷者，自然断之，百日病愈，水洗不著身，服之一年，玉女侍卫。一硕苣蓠加茯苓二斤，合捣罗为末，蜜和如上法服之，得力益甚，渐自不渴不饥，神仙，秘之。

神仙服苣蓠，绝谷不食，令人颜色悦泽，气力百倍，时人命尽，我身独存，秋冬不寒，春夏不热，百病立愈，可得神仙方：

苣蓠二斗　黑豆五升，炒，去黑皮用

右件药，捣细罗为散，每服五钱，以浆水调下，日三服，无所忌，亦可炼蜜和丸，如弹子大，每服一丸，以浆水化破服之，日三服，渐自不饥，颜色美好。若渴，但饮水，勿食他物，若食他物，即便饥矣。

神仙服苣蓠丸方：

苣蓠子四两　覆盆子二两　巴戟二两　天雄二两，炮裂，去皮脐　天门冬三两，去心，焙　酸枣仁二两　甘菊花二两　白茯苓二两　薯蓣二两　桂心二两　熟乾地黄三两

右件药，捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服空腹，以温酒下三十丸，任意加之。

神仙延年轻身，苣蓠丸方：

苣蓠一斗二升，去黑皮　白茯苓半斤　泽泻二两

右件药，捣细罗为散，每服一合，水调服之，日二服，令人身轻长生，久服绝谷。

陶隐居饵苣蓠茯苓⑤ 方：

苣蓠一硕，九蒸九曝，去黑皮，熬之令香，承⑥热于日⑦中急捣为末，仍以疏马尾罗罗之，冷捣，便物如脂，罗不出也　白茯苓三斤，去黑皮，锉如鸡头大，用水煮十余沸，漉出，晒乾

右件药，都捣罗为末，炼蜜和丸，如鸡子大，每服以温水化破服一丸，日三服为准。

神仙服漆法

神仙饵漆方：

好漆一斗　白蜜一斗　白米粉三斗

① 定：太平圣惠方作“延”。
② 斤：此下脱字，太平圣惠方作“端午日午时收，以皮囊”。
③ 于：此下脱字，太平圣惠方作“屋”。
④ 悬：此下脱字，太平圣惠方作“之百日，阴乾”。
⑤ 苓：太平圣惠方此下有“丸”字。
⑥ 承：太平圣惠方作“蒸”。
⑦ 日：太平圣惠方作“曰”。

右件药，都盛于一铜瓮子中，釜内汤上煮之，以桑薪烧之，不著手，药成，宿不食，日[1]服二两，寿五百岁，服之一月，诸虫皆出矣。

又方：

漆二升　蔓菁子末三升　好酒一升　川大黄六两，锉碎，微炒，捣罗为末

右件药相和，微火煎，令可丸即丸，如梧桐子大，每服食后，以水服三十丸，三十日诸虫皆随大肠下，五十日身光泽，一年行及奔马。

神仙服灵芝法

神仙服灵芝，轻身飞行法：

右取石上灵芝一寸八九节者十斤，曝乾，捣末，蒸一复时，又曝令乾，更捣万杵，炼蜜和丸，如梧桐子大，每旦及晚，以酒下二十丸，十日身轻，二十日一切病止，三十日身如白玉，升度山林，日行千里之外，神秘，勿示凡鄙。

神仙服乳香法

神仙服乳香，入口不死法：

右取乳香上好者三斤，白蜜三升，于银器或瓷器中合煎，如无[2]蜜，好酒亦得，以柳木篦数搅令如饧，每日空心及晚食前服一栗壳，祛风益颜色，神效。

神仙服蜂房法

神仙服蜂房丸法：

右常以九月十五日平旦时，取蜂窠完者蒸之，阴乾百日，捣千杵，细罗，以炼蜜和丸，如梧桐子大，每服三丸，以酒下，日三服，老人服之，颜如十五童子也。

神仙服蔷薇法

神仙服蔷薇根，令人轻身健行法：

右取蔷薇根，不以多少，净洗，曝乾，捣细罗为散，每服三钱，食前以水调下，日三服，延年轻身，若世人有中箭疮，服之立愈，若箭全在体中，服之自出。

神仙服泽泻法

神仙服泽泻，令人轻身健行，不老方：

右取泽泻，捣细罗为散，日分服六两为准，水调服之，百日身轻百倍，久服强壮不衰老，面光泽，走及奔马，远游无倦。

神仙服蓬藁法

神仙服蓬藁，令人轻身健行，不老方：

蓬藁一名覆盆，江南谓之莓子，味甘无毒，四月五日，候其实熟采，曝乾，捣细罗为散，每服三钱，水调服之，安五藏，益精强志，倍力轻身不老，服之易颜色也。

神仙耐寒暑法

神仙冬不寒方：

泽泻二两　附子二两，炮裂，去皮脐　川椒二两，去目及闭口者，微炒去汗　雄黄二两，细研

右件药，捣细罗为散，都研令匀，每服二钱，以水调服，日三服，单衣汗出。

神仙耐寒方：

蓼子一升[3]　紫苏子一升　桂心五两　附子二两，炮裂，去皮脐　川椒一升，去目及闭口者，微炒去汗

右件药，捣细罗为散，每服以温酒调下二钱，日二服，满一月，不知寒，入水不冷。

神仙耐寒热方：

白矾四两，烧灰　白石脂四两　丹砂四两，细研　磁石四两，捣细研，水飞过

右件药，捣罗为末，以松脂和丸，如梧桐子大，平旦吞四丸，服至百日，夏可重衣，冬可单衣。

又方：

雄黄　赤石脂　丹砂　乾姜炮裂，捣罗为末

右件药，等分，细研三味，水飞过如面，

---

① 日：太平圣惠方作“旦”。
② 无：太平圣惠方此下有“好”字。
③ 升：太平圣惠方作“斤”。

同研令匀，以炼成白松脂和丸，如梧桐子大，每日空心，以温酒下四丸，十日止，即一冬不用绵衣，可以赤体，坐于水中。此二术，神人所授，不可轻泄也。

又方：

石斛去根，锉　雄黄细研，水飞过　丹砂细研，水飞过　藁本　柑子皮已上各二[1]两

右件药，捣罗为末，都研令匀，以松脂和丸，如梧桐子大，每日空腹吞五丸，经冬不寒。

辟寒，十二月常汗出方：

川椒子二升　白附子四两，炮裂，去[2]脐，捣罗为末

右以清水一斗二升，浸椒子再宿，取汁，入白附子末于铜器中，以慢火熬之，候可丸即丸，如梧桐子大，每日空心，以温水下二十丸，服经一月，冬月可以单衣。

辟暑丹：

雌[3]黄　白石脂　曲滩中石　磁石　丹砂

右件药，等分，各研，水飞过，候乾，同研令匀，以炼成白松脂和丸，如梧桐子大，每日空心，以温水下五丸，服六十日后，夏月可以衣裘。

神仙绝谷法

淮南王辟谷登仙秘要方：　疗饥治风明目，变白，治瘦病，益心力，久服令人肌[4]健，日诵方[5]言，日行千里，服之百日，与天地齐毕。

仙菁玄实子五升，即蔓菁子是，以水煮令苦汁尽，捣罗为末　木脂珠二升，即是乾枣，以水煮令熟，去皮核，用肉

右二味相和，熟捣，丸如鸡子黄大，曝乾，每服三丸，烂嚼咽之，日三服，百无所忌。

又方：　蔓菁子一升，以水三升，急火煮，数去上黄水，尝子甜水美为度，此药熬服即热，不熬即冷，但空腹水服三钱，亦得不饥，若以[6]枸杞根少许同煮，即无所忌，如渴要饮水，茶汤一切无虑，不能顿断谷食，即与粥饭同吃，即渐渐自断矣。

真人绝粒长生方：

汉椒五两，去目及闭口者，微炒去汗　苣蔏子五升

右九蒸九曝苣蔏子讫，去黑皮，捣罗为末，次捣罗椒为末，二味相和令匀，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服三十丸，以冷水下，日三服，自不饥渴，久服长生。

神仙绝谷方：

白蜜五两　白蜡半斤　黄丹二两

右件药，先熔蜜蜡于铛中，乃内黄丹相和令匀，渐渐煎之，可丸即丸，如梧桐子大，每服水下五丸，日三服，一年后身轻益气，自然不饥，合药唯独在幽室，勿使人见之，神验。

神仙绝谷方：

禹余粮五两　赤石脂二两　白石脂二两　朱砂一两，细碎[7]，水飞过

右件药，都研极细，以枣瓤和丸，如梧桐子大，每服以温水下五十丸，日三服。

神仙绝谷方：

赤石脂六两　白芍药二两　天门冬四两，去心，焙　蔵蕤二两　白茯苓二两　泽泻二两

右件药，捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服以蜜汤或茯苓汤下五十丸，日二服，渐自不饥。

沉[8]建神丹绝谷方：

朱砂一两，细研，水飞过　白茯苓一斤　川芒硝半两　蜡五两

右四味，都入臼捣三葛[9]杵，入炼了蜜和丸，如弹子大，顿服九丸，绝谷，常服，即[10]□日一丸，酒化破服之，渐渐不饥。

---

① 二：太平圣惠方作“三”。
② 去：太平圣惠方此下有“皮”字。
③ 雌：太平圣惠方作“雄”。
④ 肌：太平圣惠方作“轻”。
⑤ 方：太平圣惠方作“万”。
⑥ 以：太平圣惠方作“加”。
⑦ 碎：太平圣惠方作“研”。
⑧ 沉：太平圣惠方作“治”。
⑨ 葛：太平圣惠方作“万”。
⑩ 即：此下脱字，太平圣惠方作“一”。

又方：

黑豆四升，炒，去皮　大麻子四升，熬令香

右件药，捣细罗为散，每服一合，水调服之，日三服，十日后断谷，冬不寒，夏不热，颜色光泽，气力百倍，走及奔马。　卫生易简方凡远行水火不便，或修行人欲省缘休粮，用黑豆五升，淘净，蒸三遍，去皮，大麻子三升，浸一宿，蒸三次，口开去壳，捣细和匀，作圆，入甑蒸，从辰著火至子时住火，天晓出甑，至午时晒乾，为末服，饱不得食杂物。一方加枣二升，去皮核，煮和团服，一食十日不饥。

文始先生绝谷方：

雄黄半两，细研　禹余粮一两　麦门冬一两半，去心，焙　白矾一两，烧灰　云母粉一两

右件药，捣罗为末，炼蜜和捣一千杵，丸如梧桐子大，欲服药，先作牛羊肉羹，稻米饭饱食，明旦服三十丸，以井华水下之，可终身不饥矣。

神仙断谷秘妙法：

白茯苓五斤，捣罗为末　白蜜三斤　柏脂三[1]斤，炼了者

右件药，一处拌和，于银器或瓷器中煎熬，令可丸即丸，如桐子大，每服十丸，以温水下，饥者数服之，取不饥乃止。若欲去药食谷者，取消石、葵子等分，捣细罗为散，以粥饮调[2]一钱，日一服，四日内服药，即稍稍食谷及葵羹大良。

神仙绝谷方：

右以白茯苓七斤，锉碎，酒渍之，三日曝令乾，捣罗为末，以枣一斗，　釜中煮令烂熟，经宿，更以汤淋沥枣取汁，置釜中，下茯苓末，微火煎之，可丸即丸，如鸡子黄大，空心及晚食，以酒下一丸，久服不饥，骨坚髓满，肠化为筋，男子年三十已上皆可服之，可涉远有力，日行千里。忌食米醋。

又方：

右以黄蜡一斤，内铜器中，微火熔之，内蒲黄一斤，搅令相得，于重汤上煮，候可丸即丸，如弹子大，每服以酒嚼下五丸，加至十丸，令百日不饥。若觉腹中药去，更服十丸。若欲食谷者，可作肥猪肉羹饱食之，药便下去；合药当用王相日，以满日服之为良。

神仙辟谷驻颜秘妙方：

白茯苓三斤，捣为粉，以生绢袋盛，于水盆中摆[3]之，候水清取粉，曝乾　栗黄三斤，晒乾，捣罗为末　胡麻五升，九蒸九曝，除皮，取三斤

右青州枣三斗，以水五斗，于大釜中先煮令烂，去皮核，以布袋绞取瓤，却于煮枣水内，慢火熬令稠，候冷，入诸药为膏，每日空心及晚食前服一合，酒调下亦得，此是神仙所服，切在秘密，勿传非人，其功不可尽述[4]。忌食米醋。

骊山老母绝谷麦饭术：

黑豆五斗　大麻子一斗三[5]升　青州枣一斗

右件，黑豆净水淘过，蒸一遍，曝乾，去皮，又蒸一遍，又曝令乾，麻子以水浸，去皮，共枣同入甑中蒸熟取出，去枣皮核，三味一处烂捣，又再蒸一遍，团为拳大，又再蒸之，从初夜至夜半，令药香熟，便去火，以物密盖之，经宿，曝乾，捣罗为末，任性吃，以饱为度，遇渴得吃新汲水、麻子汤、柏汤，第一服七日不饥，第二服四十日不饥，第三服三百日不饥，第四服约二千日不饥，若人依法服之，故得神仙，若是奇人服之，即得长生，甚是殊妙，切不可乱传，若食犯之损人，如要食，即以葵子为末，煎汤服之，其药即转下如金色，此药之灵验也。

神仙去三尸九虫法

神仙去九虫方：　一曰蛔虫，状如蛸，长四寸，令人腹鸣；二曰长虫，亦名蚘虫，长一尺，令人心痛；三曰白虫，长一寸，生

① 三：太平圣惠方作“七”。
② 调：太平圣惠方此下有“下”字。
③ 摆：太平圣惠方作“摊”。
④ 述：太平圣惠方作“述”。
⑤ 三：太平圣惠方作“五”。

子孙转大，或长至四五尺，亦能煞人；四曰肉虫，如烂李，令人烦满；五曰肺虫，状如蚕，令人咳嗽；六曰胃虫，如蛤蟆，令人呕吐，不喜；七曰鬲虫，如瓜瓣，令人多睡；八曰赤虫，生肉，令人腹鸣；九曰蛲虫，至微细，状如菜子，群虫之主也，令人劳剧，多则为人癞病，亦为人痈疽疮疥瘘癣蚤虱等，宜服贯众丸方。

贯众一两，主蛔虫　僵蚕一两，主鬲虫　雷丸一两半，主赤虫　蜀漆三分，主白虫　芜荑一两，主肉虫　藿[1]芦三两，主长虫　狼牙一两，主胃虫　厚朴一两，去鹿[2]皮，涂生姜汁炙，主肺虫　石蚕一两，主蛲虫

右件药，熬令黄，捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，每服五丸，以浆水下，日三服，渐加至十丸，十二日病愈，妇人服之，可斋戒洁净，绝孕者还却有子，虫尽病差。

神仙去三尸方：

朱砂五两，细研，水飞过

右以好酒五合，渍之五宿出，曝乾，候可丸即丸，如麻子大，每服十丸，水下，日三服，十日诸虫悉下，若有病癞皆愈。

神仙出三虫方：

附子二[3]两，炮裂，去皮脐　乾漆二两，捣碎，炒令烟出　芜绿三升

右件药，捣细罗为散，每服一合，空心以水调服，日晚再服，七日上尸，九日中尸，十二日下尸，并出，其形似人，绵袋里[4]之，途[5]于东流水，哭之祝曰：子死属地，我当升天，与子长隔。易道而归，更勿回顾，三日之中，常慎少语。

又方：

白茯苓十斤，去皮，晒乾，捣罗为末　商陆白者，五斤，削去皮，细切，与茯苓同用酒浸　糯米曲五斤　糯米五斗，净淘，炊为饭，候冷，与上三味相和

右件药，等入水五斗，并酿于瓮中，封三七日，药成，压取汁，别用黑豆熬，捣罗为末，炼蜜和丸，如弹子大，每日用药汁一合，化破一丸服之，十日以去，渐加如鸡子黄大，上尸百日，中尸六十日，下尸三十日，悉皆烂出，上黑名彭琚，中青名彭瑶，下白名彭矫。此虫与身俱生，能兴三业，常欲人速死，至晦朔旦，伺人罪过，上白天公，上尸好车马衣服，中尸好五味饮食，下尸好色欲，三尸若去，人皆不思不饥，长生不死。

神仙去三尸方：

熟乾地黄三两　乾漆半两，捣碎，炒令烟出　桂心一两

右件药，捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，饭后水服七丸，以知为度，十日三尸尽出矣。

又方：

雄黄二两，细研　松脂二两

右件药，相和熔为丸，如小莲子大，平旦吞一丸，七日三尸尽出。修真秘诀同。

神仙去三尸方：

三月三日，取桃叶绞取汁一升，以醋一合同煎，取五合，平旦分温二服。

神仙去三尸方：

丹砂一斤，细研，水飞过　淳漆二升　醋二升

右件药相和，入于铛中，微火煎，令可丸即丸，如麻子大，每日早晨，以净水下五丸，叁十日百病愈，三尸去，服之百日，肌骨强，服之千日，司命削去死藉，与天地相保，改形易体，变化无常，日中无影。

神仙去三尸方：

商陆白者，二十斤，削去皮，以酒渍，煎之令烂，阴乾

右捣细罗为散，每服二钱，以酒调，食后服之，日三服，三百日，尸大如手，出，取埋之，祝曰：伏尸当属地，我身属天。腹去勿顾视。服药禁食犬肉、生鱼。合药以正月五日、七日良，诸仙药当先去尸，尸去作法然[6]始神仙。

神仙治百疾，去三虫，耳目聪明方：

---

(1) 藿：太平圣惠方作“雀”。
(2) 鹿：太平圣惠方作“粗”。
(3) 二：太平圣惠方作“三”。
(4) 里：太平圣惠方作“裹”。
(5) 途：太平圣惠方作“送”。
(6) 然：太平圣惠方作“后”。

槐子仁不限多少，捣令烂，丸如酸枣大，每服十丸，水下，日三服，长服神仙。

神仙诸名方

八仙公延年不老散方：

熟乾地黄三十两　五味子四两　天门冬十二两，去心，焙　菖蒲六两　远志四两，去心　石韦四两，去毛　白茯苓二两　桂心二两

右件药，捣细罗为散，每服三钱，水调服之，日三服，三十日力倍于常，六十日气力盛众，病皆除，三百日行及奔马，五百日毒害不能中，千日夜视有光，九年成地仙。

神仙驻颜益寿，填精补脑四扇散，是茅君、中君、定录君所服方：

松脂先依法炼极白，而味甘者　乾姜白实者　云母先依法制成粉，细者　泽泻取岐尾好者　熟乾地黄时月作黑色多润者　术时月采肥大者　桂心削去皮，取味辛烈者　菖蒲一寸九节，新好者

右八味，各十两，令捣四万杵，细罗为散，先以蜡纸数重，作囊盛之，更于新瓷器中盛，每旦酒服三钱，久服亦可，蜜丸如梧桐子大，每服二十丸至三十丸。

王母四童散：　是茅君小弟[1]保命君所服方。

胡麻黑肥者，去皮，熬令黄香　天门冬高地肥者，乾之　白茯苓白实者，亦当先煮，曝乾　术时月采肥大者　桃仁当用好者，仍须大熟桃，解核取仁，热汤浸，去皮尖　乾黄精高地宿者，乾之

右六味，精治，各二斤，先熬胡麻后，入诸药，捣三万杵，细罗为散，每日平旦，以酒服三钱，暮再服，宜渐加之，亦可水服。如丸，即炼蜜和，更捣万杵，丸如梧桐子大，自二十丸加至四十丸。

神仙令诵昼[2]气力不衰方：

松脂四斤，桑柴灰炼二十遍止　白蜡一斤　羊脂二斤　白蜜二斤　饧饴四斤

右件药，都入于铜器中，以慢火煎，可一炊时为度，盛于不津器中，每服以温酒调可一鸡子大，日三服，神妙。

神仙服食方：

白茯苓一两　陈葵子三分　桂心半两　天门冬一两，去心，焙　川椒半两，去目及闭口者，微炒去汗

右件药，捣细罗为散，以新汲水调三指撮服之，日再服，至百日耐老寿延。

神仙饵石脂方：

赤石脂十三两，细研，水飞过　黑豆六两，生牙用之　泽泻四两　白芍药三两　葳蕤刮皮，蒸，曝乾者，三两

右件药，捣罗为末，炼蜜和丸，如梧桐子大，平旦水服三十丸，日三服，常少食，乃无食想，六十日后，气力不衰，一百日后，行如骤马，久服令人得道，须少食，即一无妨矣。

老君益寿散方：

天门冬五两，去心，焙　白术四两　防风一两，去芦头　熟乾地黄二两　乾姜一两半，炮裂，锉　细辛三分　桔梗一两，去芦头　天雄半两，炮裂，去皮脐　远志一两，去心　肉苁蓉一两，酒浸，去皱皮　泽泻一两　石斛半两，去根，锉　桂心半两　柏实半两　云母粉半两　石韦半两，去毛　杜仲半两，去粗皮，锉　牛膝半两，去苗　白茯苓半两　菖蒲半两　五味子半两　蛇床子半两　甘菊花半两　山茱萸半两　附子一两半，炮裂，去皮脐

右件药，捣细罗为散，平旦，酒服三钱，冬月日三服，夏平旦一服，春秋平旦、日暮各一服，服药后，十日知效，二十日所苦觉减，三十日气力盛，四十日诸病除，六十日身轻如飞，七十日面光泽，八十日神通，九十日精神非常，一百日已上不复老也。若能断房，长生矣。

西岳真人灵飞散方：

云母粉一斤　白茯苓八两　熟乾地黄十两　甘菊花十五两　钟乳粉七两　桂心七两　人参七两，去芦头　柏子仁七两　续断七两

右件药，捣筛为散，先捣生天门冬二十斤取汁，拌搜药令匀，上甑蒸，可一斗[3]二

1　弟：太平圣惠方作“茅”。
2　昼：太平圣惠方作“書”。
3　斗：太平圣惠方作“硕”。

斗黍米饭熟为候，取药曝乾，捣细罗为散，每食后，以水调下三钱，日三服，三日力倍，五日血脉盛，七日身轻，十日面悦，十五日行及奔马，三十日夜视有光，七十日白发还黑，齿落皆生。更取三五两，以白蜜和捣二百杵，丸如梧桐子大，欲令发齿早生者，吞七丸，三服即生，发不白，入山日吞七丸，绝谷不饥。

神仙四镇治病得仙方：

太一禹余粮五两，末　白茯苓五两，末　丹砂五两，细研，水飞过　麦门冬去心，五两，末

右件药，各别捣罗讫，先内禹余粮捣五百杵，次入麦门冬捣五百杵，次内丹砂捣五百杵，次内茯苓捣五百杵，讫，用白蜜一升半，煎蜡一两半以和药令相得，更捣五百杵，丸如梧桐子大，空心以温水服二十丸。若欲服药，先一日不食，斋戒清净，然后服之。

神仙少卧益力方：

术二[①]两　麻黄二[②]两，去根节　甘草二[③]两

右件药，捣细罗为散，每于食后，以东向水服二钱，日中南向水，暮西向水，服之，气力百倍，神验。

神仙彻视鬼方：

白石英细研，水飞过　鬼督邮　菊花各一两

右件药，捣罗为末，酒服一钱，日一服，五日视则彻矣。

真人服食方：

云母粉五十斤　松脂十二斤　白茯苓十斤　附子去皮脐，生用　蜡蜜一十斤

右件药，先捣罗上四味为末，与蜜相和，更捣三千杵，以三年米醋拌令匀，用不津瓮子盛之，埋于地中，满千日方乃药成，出之，其上时时有光，每服以温水化鸡子大服之，日三服，至一斤，身中三虫伏尸、万邪恶病及诸疮癞皆除；服之二斤，饥渴寒热一切尽除；服之三斤，筋骨强；服之四斤，气力盛；服之五斤，颜色如玉；服之六斤，身如飞行；服之七斤，延年不老，可致神仙。

神仙变白延年十精散方：

巴戟天精　云母粉十精　甘菊花月精　熟乾地黄地精　兔丝子人精　杜仲山精　五味子草精　钟乳粉水精　石斛石精　人参药精。已上各等分

右件药，捣细罗为散，每服以酒调下三钱，空心及食前服。久服，发白再黑，齿落重生，充益肌肤，悦泽颜色，腰脚轻健，耳目聪明，补脑添精，延年却老，其功不可具述。

神仙长生不死四灵丹方：

一曰鸿光云母粉是　二曰千秋卷柏是　三曰万岁泽泻是　四曰慈墨实兔丝子是

右件药，捣罗为末，以白松脂和捣千杵，丸如梧桐子大，每服空心，以温酒下三十丸，服经七年，寿可千岁不死，旦暮长服之，可与天地相守。

神仙驻颜延年方：

枳实　熟乾地黄　甘菊花　天门冬去心，焙。已上各二斤

右件药，捣细罗为散，每服三钱，空心以温酒下，日再服之，众病皆除，身轻目明，百日颜色悦泽，如十五时人，可致神仙，与天地相毕。

神仙七精散方：

地黄花土之精，八两　白茯苓天之精，八两　车前子雷之精，五两　竹实太阳之精　桑寄生木之精，五两　甘菊花月之精，五两　地肤子星之精，八两

右件药，上应日月星辰，具在中矣，欲合药者，以四时王相日，先斋九日，捣细罗为散，每服三钱，以井花水调下，每旦服之，面向阳，阳日一服，阴日二服，满四十九日，可成仙矣。凡用茯苓，当如鸡雄[④]兔形者，咸如龟鳖形状者佳，地黄花四月采取之，竹实似小麦，生蓝田桑上寄生，须桑上者，余药并须州土精好者，为妙。

真人服食方：

熟乾地黄十斤，细切，以酒二升浸，三日取出，曝乾

① 二：太平圣惠方作“一”。
② 二：太平圣惠方作“一”。
③ 二：太平圣惠方作“一”。
④ 雄：太平圣惠方作“雉”。

巴戟一斤　厚朴一斤，去粗皮，微炙　乾漆一斤，捣碎，炒令微烟出　覆盆子一斤

右件药，捣细罗为散，每服以酒调下二钱，日三服，加至三钱，延年矣。

老子乳丹入口不死方：

蜜三升　新生儿乳三升

右合煎一两沸，以不津器盛之，每日空心服一中盏，此名太一神丹。

丹药序

夫轻清上腾，重浊下结，乾道有凝明之气，散作星辰，坤灵韬变化之精[1]，流于金石，备诸药品，皆载神功，阴阳既合于运衍[2]，水火宜专于信候，遂能去其火毒，全彼至和，实由锻炼之勤[3]，乃著玄微之验。今则仙经究妙，丹灶分功，安期可与于讨论，命[4]跗未穷其指的，事存按据，理定锱铢，既有功能，可资修养尔。

玉芝丹：　治一切风疾，及妇人血气。

黑铅一两　水银一两　硫黄一大豆大　阳起石三大豆大　代赭三大豆大　消石半分

右先销铅成汁，次下水银，急手搅令匀，后下诸药，咬铅以下四味同细研了，旋旋取点入铅汁中，熟搅之，旋咬铅成灰于一畔，候咬铅尽，然后泻水银于瓷碗子中，但秤水银有一两在，即止，入于后柜硫黄一两半，细研面，如[5]入瓶子中，碗子合之，渐渐火逼，候鬼焰出，即住，放冷细研，为柜，又将柜入一小铛子中，布置以物，按中心作坑子，即将铅中水银一两，更入硫黄一分同研，结为砂子，入于内柜中，以一茶碗合定，固之令乾，铛子下常以二两火养，仍以草灰没铛子盖之，勿令火绝，如此七日，渐以火烧令通赤，即药成矣，放冷取出，纸衬，摊于湿地，盆合一复时，出火毒，细研如面，以枣瓤和丸，如粟米大，每日空心，以温酒下五丸。忌羊血鲤鱼。此名灵宝丹，其柜，若以饭和丸如大豆大，热茶下二丸，治天行时疾，服了，以厚衣盖身取汗，即差，其柜长生用之。

紫粉灵宝丹：　治筋骨风气，漆[6]精盆[7]髓，神气清爽，好颜色红悦，久服轻健补暖水藏。

黑铅四两　水银二两，不别修制，即与上玉芝丹同法，每水银二两，即入硫黄半两，结成砂子，细研如粉

右取伏火，消石于铛中心，作一堆子，尖尖装之，堆四面流下些些子，令盖铛底，即取砂子末，细细掺于堆子上，勿令四面散，讫，更研入少许硫黄末盖之，又以碗子盖铛口，四面以湿纸固济缝了，上又以泥如法固济，候乾，铛下渐渐以火三五两，候看得所，加至一斤已来，可烧半日久，又加三五两，如此叠叠加至四五斤，火断之当铛上下通赤，即渐去火，待冷，轻手揭取，药成一团，以甘草二两，水五升，煎至二升，去滓，煮药泣乾出火毒，乾了细研，水飞过，以煮枣肉和丸，如梧桐子大，每日空心，以津下一丸。

白金丹：　治一切风，偏风口不收敛，及半身不遂方。

朱砂三两，别研为末　雌黄一两半　硫黄一两

右二黄同研如粉，先于铛中销成汁，次下朱砂末，搅令匀，即以桑灰汁煮三日三夜，旋之暖灰添之，日满，即刮入鼎子中，以文火煽[8]乾，出阴气尽，重固济，以十斤火断[9]，候火销至三二斤即住，其药日[10]在鼎子底，作一片，凿取，成白金状，以甘草余甘子，瓷器中水煮一日，出火毒了，研为末，以粟米饭和丸，如绿豆大，每日空心，以冷椒汤下三丸，渐加至五丸，服之半月，大效。忌羊血。

青金丹：　治一切风冷血气。

---

① 精：太平圣惠方作“清”。
② 衍：太平圣惠方作“行”。
③ 勤：太平圣惠方作“勤”。
④ 命：太平圣惠方作“俞”。
⑤ 面如：太平圣惠方作“如面”。
⑥ 漆：太平圣惠方作“添”。
⑦ 盆：太平圣惠方作“益”。
⑧ 煽：太平圣惠方作“烧”。
⑨ 断：太平圣惠方作“断”。
⑩ 日：太平圣惠方作“只”。

水银　朱砂　硫黄　黄丹　铅粉已上各一两

右件药，于铫子内，先下硫黄，销成汁，即下朱砂水银，结为砂子，候冷，下黄丹铅粉，同细研，入一瓷胡芦中，蜜[1]固济，以小火养，从旦至午加火，四斤一断，候火三分减二，放冷取出，其药已青紫色，细研，以纸衬，摊于润地一复时，出火毒后，用赤箭脂汁调面作糊丸，如豌豆大，每服空心，以酸枣仁煎酒下十丸，初服须要出汗，即加薄荷汁、生姜汁、白蜜各半匙同服，厚盖取汗。

伏火水银硫黄紫粉丹：　治一切冷气，反胃吐食，冷热血气，冷劳肠[2]风，一切冷病神效。

硫黄六两　水银二两半　针砂一[3]两，淘洗令净　太阴玄精二两，研入

右件药，先细研硫黄，次下水银，点少热水，研如泥，候水银星断，即入鼎中，并玄精、针砂，以水煮七日七夜，常如鱼目沸，水耗，即以暖水添之，时时以铁匙搅，七日满，即泣乾，仍以微火爆阴气尽，即入合子中，固之泥，法用砂盆末白垩土盐花，捣为泥，固济乾了，入灰池内，埋合子，两边以五两火养六十日，日夜长令不绝，日满，以大火十斤断一日，任火自销，冷了，以甘草汤浸一日，出火毒，已鲜紫色，候乾，细研为末，以粳米饭和丸，如黍米大，每日空心，以温酒下七丸，渐加至十丸，服经旬日见效。

紫灵丹：　治一切冷气消食，破女子宿血冷病，神效。

硫黄八两，舶上者，细碎[4]　白盐花三斤，一斤半白用，一斤半以米醋二[5]升拌，日曝乾之

右件药，用一鼎子，先筑白盐令实，中心剜作坑子，入硫黄末了，即以米醋拌了，盐盖之，亦实筑，又以白盐盖之，密密固了，以文火养之，从旦至午后，渐加火，烧至有鬼焰出，即以小帚子蘸醋洒之，焰住即止，放冷取出，用水研飞去盐，药在盆底，乾了，又细研，以粟米饭和丸，如绿豆大，每日空心，以温酒下五丸，其盐水煎花吃甚好。

四壁柜朱砂法：　能除风冷，温暖骨髓，悦泽颜色，久服无疾，延年益寿。

针砂一斤　硫黄四两　朱砂三两　白矾四两　盐一两

右以浓醋一斗五升，煮针砂、硫黄二味令乾，以火断之，待鬼焰出尽后，放冷再研，别入硫黄二两，又用醋一斗五升，更煮候乾，依前断之，鬼焰尽即止，放冷，以水淘取紫汁，去其针砂，澄紫汁极清，去其清水尽，阴乾，即入白矾盐同研，内瓷瓶中，四面下火断之，候瓶内沸定即止，待冷出之，细研，以醋拌为柜，先用药一半，入铅桶中，筑实，即以金薄两重，朱砂入柜上，又以余柜盖之，筑实，以四两火养三七日，即换入铜桶中，密固济，用六两火养三七日足，即用十斤火断之，任[6]火自销，寒炉出药，朱砂已伏，于湿地薄摊，盆合一复时，出火毒了，细研，以枣肉和丸，如麻子大，每日空腹，以温水下五粒，以铅作桶，可重二斤，以铜作桶，可重三斤。忌羊血。

太阳紫粉丹：　治男子久冷，妇人血气冷劳，五膈气及胃疾癖，一切冷病，无不差者。

硫黄　马牙消　水银各三两

右件药，以无灰酒，旋点于乳钵中，同研，候水银星尽，即止，日中乾之，布于铛内，瓷碗合之，以盐泥如法固济，候乾了，铛下渐渐以三四两火养半日，渐加至七八两火，经一复时，待冷，取药细研，以白蜜拌令泣泣，于竹筒中盛，糯米饭上蒸一炊久出之，更细研，以枣肉和丸，如梧桐子大，每日空心，以盐汤或酒下三丸，久冷人加至五丸。

青花丹：　治霍乱肚胀，冷气，心痛肠

1　蜜：太平圣惠方作“密”。
2　肠：太平圣惠方作“伤”。
3　一：太平圣惠方作“二”。
4　碎：太平圣惠方作“研”。
5　二：太平圣惠方作“三”。
6　任：太平圣惠方作“住”。

风，血气虚冷病，小儿疳瘾，神效。

空青一两　定粉一两　白石脂一两　朱砂一两　盐花四两　桃花石一两

右件药，同研如面，入瓷瓶子中，以盐盖之，固济候乾了，以一二斤火，于瓶子四面逼之，候热，四面著一秤火，渐渐断，一食久，任火自销，候冷，开取捣碎，水飞去盐味，晒乾，更入麝香一分，同细研令匀，以烂饭和丸，如麻子大，每日空心，以温酒下五丸。忌羊血。

太阳流珠丹：　治一切夙冷风气，癥癖结块，女人血气，赤白痛下，肠风下血，多年气痢痃癖，常吐清水，及反胃吐逆，神效。

硫黄一斤　马牙硝四两　盐花四两，炒令转色　硇砂二两，伏火者

右件药，同研如面，入瓷瓶内，按实，上更以炒盐盖之，出阴气，如法固济，将入一鼎中，鼎下先熔铅半斤，礬药瓶子，以铁索括定，又销铅，注入鼎，令没① 瓶② 固济了，入灰炉中，以火养铅，常似热为候，如此一百日满，出鼎，别以小火养三日，日满，大火断令似赤即止，放冷取出，如琥珀，以寒泉出火毒，细研为末，以枣瓤和丸，如绿豆大，每日空心茶下三丸。

四灵丹：　驻颜补益。

黄丹　水银　钢铁锉末　硇砂已上各二两

右件药，细研，入瓷合中，固济令乾，安于灰炉中，合上灰，厚三寸，常以一斤火养一百日，日足，以十斤火断，任火自销，放冷取出，细研，以浓甘草汤拌，于饭上蒸一炊久，出少③ 毒，细研为末，以水浸蒸饼和丸，如梧桐子大，每服空心，以温酒下三丸，百日见效。

四灵丹：　治筋骨风、角弓风、肾藏风、热毒风、皮肤风、大风、惑癫风，并皆治之，其功如神。

硇砂三两　水银一两　朱砂一两　硫黄三两

右件药，将硇砂、硫黄同研如面，于瓷合中盛之，如法固济，令乾，入灰炉中，其上灰厚三寸，以火三两，养一七日，开取药，入水银、朱砂各一分同研，以水银星尽为度，依前入合，养一七日，如此四度，计二十八日开取，细研，以水飞过，入竹筒中，密封头，于饭上蒸两炒④ 久，及热取出于地上，以纸衬，盆合一周时，出火毒了，用粟米饭和丸，如绿豆大，每日空心，以温酒下三丸，十日后加至五丸。忌羊血。

伏火玄石柜灵砂丹：　补益筋骨，驻客⑤ 色，治女人夙⑥ 冷，暖子宫，久服不老延年。

朱砂三两，细研，纸裹　磁石一斤半，捣碎细研，淘去赤汁尽

右以石脑油十二两，拌磁石令泣泣相入，先固济一瓷瓶子令乾，入磁石一半于瓶子内，筑令实，中心剜作一坑子，可容得朱砂裹子入柜了，上以余药盖之，筑令实，瓶口以瓦子盖勿固之，以小火逼阴气尽，候瓶子通热，即聚火一秤已来，断之令上下通赤，任火自销，待冷开取，砂已伏矣，去纸灰，取砂细研如曲⑦，以生姜汁稀调之，安于茶碗中，饭上蒸三炊久，晒乾，研如粉，以枣肉和丸，如小豆大，每日空心，以温酒下三丸。忌羊血。

玄英散：　祛风热，利三焦，耐寒暑，驻颜容，久服去万病。

川朴消五斤，入瓶烧令通赤，细研如粉　淡竹沥一升　右将竹沥拌消令匀湿，用大竹筒一枚，先以牡蛎粉半斤，筑入筒中，次下消了，又以牡蛎粉半斤筑之，以蜡纸三重封之，勿令通气，安在甑中，四面以黑豆埋之，令没筒口，蒸一复时，待冷，去豆开筒，去牡蛎粉，取消细研如粉，每日食后，水调一钱服之，服至三二斤，渐耐寒暑少汗，服至五七斤，驻颜色，去万病，一生无汗，夏月可以衣裘，

① 没：太平圣惠方作“浸”。
② 瓶：太平圣惠方此下有“子”字。
③ 少：太平圣惠方作“火”。
④ 炒：太平圣惠方作“炊”。
⑤ 客：太平圣惠方作“颜”。
⑥ 夙：太平圣惠方作“风”。
⑦ 曲：太平圣惠方作“面”。

冒炎毒，履冰雪无惧矣。

金液含化灵丹：　补益延年却老，功力不可具载。

山泽银末八两　朱砂二[1]两，五金汁中浸五日了，逐块子，用金薄裹两重

右先铺银末一两于瓷合子中，即排朱砂块了，勿令相著，上以银末盖之令匀，又布朱砂块子，又以银末盖之，候朱砂尽，即以盐花盖上，令满合子口，实按如法，固济入灰池中，合子上灰厚四寸，常以二两火，养七日七夜，勿令火猛，但令合子热，可通人手为度，日满取出，重翻排过，一依前法重固济，以火四两，养二十日后，加火至二三斤，烧可一炊久，放令极冷，取出细研，入龙脑半分，同研如粉，以构[2]汁和丸，如粟米大，每日空心含三丸，津液咽之。如要作油，每一两，以桂心末一钱，大羊肾脂炼成者，弹子大，入龙脑一钱，和研，两日久，入银合子中，埋于糠甑中，蒸三伏时，当自化为油，每日含如豆豆大，去疾补益，延驻却老，神仙之基也。忌羊血。

含化朱砂丹：　祛热毒风，镇心神，治万病，返老驻颜，功用甚大，不可具述。

朱砂三两　马牙消三两　消石二两

右件药，同研如粉，入瓷瓶中，以重抄油纸三重，密固瓶口，重汤煮之，常如鱼眼沸，水耗，即以热水添之，不歇火，三七日夜满，开瓶子，其消并在瓶四面，收之细研，任服，其朱砂即在中心，取出细研，以小瓷合子中盛，固济，微火养一日，加火一斤，断令通赤，放冷，开取细研，以枣肉和，每一两砂，可丸得三百六十丸，每日早晨含化一丸，如要多合，但依分两酌度修炼为丸，妇人服之亦佳。忌羊血。

金液丹：　治藏腑积冷，腰脚疼痛，四肢虚羸，下元衰惫方。

磁石半斤　硫黄二两

右以童子小便一斗，烧磁石赤，于小便中淬，以尽为度，候乾，入硫黄同研令细，却入瓶子中，以六一泥固济，阴乾，坐于灰池中，常以火半斤，养一七日满即更，常用火五斤，烧一七日，日入[3]放冷出之，以熟绢包裹，内于井底一伏时，出火毒，候乾，研为末，用蒸饼和丸，如麻子大，每日空腹，以温酒下七丸，神效无比。

紫灵丹：　补暖藏腑，添益精髓，延年驻颜，祛风逐冷，治痔漏瘰疬，筋骨疼痛，妇人服之，益子宫，神妙方。

消石一两　水银一两　雄黄一两　金薄一百片　朱砂一两　硫黄一两与水锡[4]结作砂子

右件药，同研令匀，取一瓷瓶子，盐泥固济，待乾，入药于瓶子内，其瓶盖钻作[5]□窍，如半钱孔大，盖瓶口讫，仍内煻灰中煨之，不得便令火大，恐药飞走，专候窍中阴气尽，以盐泥闭塞其窍，以火半斤，养三日满，即用火一斤，烧一七日，候冷取出，于土坑中出火毒，三日后，细研，以枣肉和丸，如麻子大，每服空腹，以温酒下三丸，神效。忌羊血。

玄石紫粉丹：　补暖下元，强壮筋骨，聪耳明目，保神益气，祛风冷，利腰脚方。

磁石三斤，好者

右以炭火烧令赤，投一斗米醋中淬之，以醋尽为度，更烧，投一斗好酒中，以酒尽为度，有坼破者，一一收之细研，以水飞过，泣乾，入瓶子中，以大火断令通赤，用盐花三两，同研令匀，于地上铺纸匀摊，以盆盖三日，出火毒，以蒸饼和丸，如梧桐子大，每日空心，以盐汤或酒下七丸，渐加至十丸。

阴伏紫灵丹：　治男子女人，久积冷气，肠风痢疾，脐腹疼痛，颜色萎黄，不思饮食方。

硫黄四两，研　盐花一升

右先布盐花半升，于平底铛中，次铺硫

---

① 二：太平圣惠方作“一”。
② 构：太平圣惠方作“糟”。
③ 入：太平圣惠方作“足”。
④ 锡：太平圣惠方作“银”。
⑤ 作：此下脱字，太平圣惠方作“一”。

黄末，又以余盐盖之，湿纸固缝，长令如鱼目沸，七日七夜勿令绝火，水耗即添汤，时时开看，搅之勿令粘著铛底，日满泣乾，入固济了瓷瓶子内，断令通赤，候冷，以汤淋去盐味，取硫黄晒乾，细研，以枣肉和丸，如梧桐子大，每日空心，以茶酒任下五丸。

倚金丹：　治风邪癫痫，鬼疰心痛，解百毒，疗恶疮，丹石发动，消渴阴黄，安心神，止惊悸，除头面风，止赤白痢下，神效方。

丹砂三两　水银三两　黄丹一斤

右件药，同研令水银星尽，入瓷瓶中，盖口，如法固济，初以文火养，候热彻，即加火十斤已来，断令通赤，半日久，药成，候冷开取，面上白色，内如紫金色，光明甚好，便细研如面，以纸铺地，摊药在上，以盆盖之，出火毒一日后，以粟米饭和丸，如绿豆大，空心以温水下三丸。忌羊血。

黄庭丹：　治男子女人，积冷气块，破宿血，止疼痛方。

硫黄二[1]两　硇砂二两

右二味，同研如粉，入瓷合子内，如法固济，候乾了，入灰炉中，常以顶火四两，养七日，又于合底著火四两，养一日取出，看硫黄在合上，硇砂在合子下，又依前研，入合，又养七日足，又于合底著火养一日，但看硫黄不上合子即住火，取出，以黄蜡煮，出火毒，候蜡黑如漆，去蜡，以火焙乾，重细研，以粟米饭和丸，如麻子大，每日空心，以酒或醋汤下三丸。

保神丹：　镇心神，治鬼魅惊邪，心狂妄语，夜多魇梦，精神恍惚，小儿惊啼，心藏壅热，服之必效方。

金薄二百片　腻粉半两

右以新小铛子中，先布金薄一重，掺腻粉，又铺金薄腻粉，如此重重铺了，用牛乳，可铛子多少浸之，以慢火煎至乳尽，金薄如泥即成，便以火上逼乾，研之，更入朱砂半两，麝香一分，同研令细，以水浸蒸饼和丸，如绿豆大，每日空心，以新汲水下三丸。

安魂定魄丹：　治惊邪癫痫，天行热病，心神狂乱无不差方。

黑铅二两　水银一两　硫黄一两，细研

右先销铅成水，次下水银搅令匀，良久，即下硫黄末，当为碧色，匀搅，即去火放冷，细研如粉，以软饭和丸，如绿豆大，每服以新汲水研七丸服之。

返魂丹：　治卒中风不语及中恶，迷闷，安心神，去风热，神效方。

生玳瑁　朱砂　雄黄　白芥子已上各一[2]两

右件药，捣罗为末，同研如面，以安悉香一两，细锉，以酒一升，熬成膏，和丸如绿豆大，每服以温酒下三丸。其药端午日合之神验。忌羊血。

护命丹：　治男子冷气，妇人血气，肠风下血，及赤白痢，并宜服之。

黄丹　白矾　寒水石已上各三两

右件药，同细研，入固济了瓷瓶中，以醋满瓶浸，以文火泣令乾，便加火，断令通赤，候冷开取，入硫黄一两同研，入瓶，更断令赤，于润地上，盆合三日夜，出火毒了，研为末，以水浸蒸饼和丸，如绿豆大，每日空心，以酒下十丸。

柳花丹：　治男子三焦壅热，烦渴不止，镇心神，治脚气乳石发动，狂躁不彻方。

柳絮矾一两　铅霜一两

右件药，同研令细，以枣肉和丸，如梧桐子大，每服以冷金银汤下五丸。若路行走马，热渴不彻，即含化七丸，或常含一丸，终不患渴，极效。

胜金丹：　治风邪惊痫，心神迷乱，毒风气，鬼疰心痛，男子妇人并宜服之。

雌黄二两，叶子者，炒令紫色，细研如粉　黄丹二两，炒令紫色

右件药，以人乳拌匀湿，饭甑上蒸一炊久，以乳腐和丸，如绿豆大，每服以金银汤

---

(1) 二：太平圣惠方作“一”。
(2) 一：太平圣惠方作“二”。

下三丸，当泻出病根，若病多年，每日空心服三丸至五丸，神效。

黄英丹：　治男子女人，久患心腹痛不可忍，宜服之。

硫黄粉一两　砒霜一两，以醋一升，煎令醋乾　密陀僧一两，烧令通赤　乳头香一两，别研　人粪霜一两，烧灰，淋取汁，熬成霜

右件药，除乳香外，同研如粉，以多年米醋半升，煎乳香令消，入寒食蒸饼末，同研如膏，然入诸药，和丸如梧桐子大，每服以酒下一丸，但是心痛，须臾即定。如是多年心痛不差，每日空心，常服一丸，服至三十丸，一生不再发动，神效。

伏火四神玉粉丹：　治一切冷疾，偏补益丈夫下元，兼治诸疟痢，功力难述，亦名为白金丹。

握雪礬石一两　寒水石一两　阳起石一两　砒霜一分

右件药，各研为末，先取一通油瓶子，以六一泥固济，可厚三分已来，待乾，乃先下礬石充底，次下砒霜，次下阳起石，上以寒水石盖之，其瓶子口磨一砖子盖之，以六一泥固缝，于灰池内坐一砖子，安药瓶子，初以文火，后渐断令通赤住火，候冷取出，研令极细，于润地铺熟绢，上摊药，可厚半寸，以盆合定，周遭用湿土拥盆，不令透气，一伏时取出，却少时，出阴气了，细研，以面糊和丸，如绿豆大，每日空心，以盐汤下五丸。如患疟痢，以新汲水下，神验。

小三生丹：　暖下元，益精气，黑髭鬓，驻颜色。

朱砂二两，细研　水银二两，细研　硫黄二两，细研　生铁十五斤，磨洗了，以大火烧赤，投五斗浆水中，淬十遍

右取平底铛一口，以前三味，用淬铁浆水煮之三七日，常令如鱼目沸，水耗，即暖浆水添之，日满，挑取少许于火上试之，如有鬼焰，又煎之，以无焰为度，泣乾，却入瓶子中按实，以烧盐盖覆，如法固济，用火羊① 斤，养七日满，以火五斤，断令通赤，待冷，破瓶取之，投汤盆中，淘去盐味，澄取药，晒乾，细研如粉，以甘草余甘子水煮半日，出火毒，又研，以葛粉糊和丸，如麻子大，每日空心，以温酒下七丸。忌羊血。

紫精丹：　治男子女人一切风及积冷气，暖脐腹，止疼痛方。

硫黄二两，细研如面，粗即不伏火也　针砂四两，用葛布筛罗去尘，取细者用

右与硫黄同研令匀，用汤二升半② 之，候冷，便去其水，入固济了瓶子中，初用文火养令热彻，次用大火断令通赤，候冷，又细研，用热水淘去浓者，不取在下著底者，如是飞十遍已来，澄滤得尽，弃却针砂，然后用重抄纸，于灰上铺，泣乾，已无火毒，用水浸蒸饼和丸，如绿豆大，每日空心，茶酒任下五丸。

碧珠丹：　治藏腑积冷，肠风痔疾，一切泻痢，立效方。

青矾半斤　硫黄二两

右件药，以醋一斗二升，于锅中煮，待乾取出，入瓷瓶中，盖头以六一泥固济，候乾，以火五斤，断一伏时，寒泉出毒了，细研，以面糊和丸，如麻子大，每日空腹，以柏子仁汤下十丸。

碧玉丹：　止一切疼痛，一名应病丹。

硫黄四两　水银一两　消石四两　雄黄一两　古字钱一百五十文足陌，烧令通赤，于醋中淬之垢净即止

右一处细研，令水银星尽，用一固济了瓷瓶子，入钱一重，药一重，遍布令尽，以凡③ 塞瓶口，以盐泥固之，候乾，以文火逼去阴气，常用火半斤，烧一伏时，后常更用火三斤，烧半日，放冷取之，其药如碧玉色，研为末，以熟夹绢裹，于土坑中培一伏时，出火毒，以粟米饭和丸，如麻子大，但有疼

① 羊　太平圣惠方作“半”。
② 半：太平圣惠方作“拌”。
③ 凡：太平圣惠方作“瓦”。

痛处[1]，以温酒下五丸，不过三[2]服效。

还元丹：　补益下元，治虚冷气方。

砒霜五两　消石五两　白矾五两　硫黄二两

右件药，各细研，先固济瓷瓶子一所，候泥乾，掘地坑子，深一尺，内入灰，坐瓶子在其间，先下硫黄平摊，次安消石、砒霜、白矾，别取罗了石灰，填满瓶子令实，以物盖瓶口，便聚炭，约二十斤，上安熟火三五两，渐渐烧令通赤，任[3]火自销，候冷取出，以绢裹悬在井中一宿，出火毒，细研，以水浸蒸饼和丸，如粟米大，每服空心，以温酒下二丸。

玉液丹：　治男子元气，妇人血气，久积虚冷，脐腹疗痛，并宜服之。

硇砂二两，细研

右以好纸一张，裹却硇砂，以线紧系定，用瓷罐子一枚，可盛一升物者，先下黄丹五六两，便安硇砂裹子在中间，又以黄丹五六两盖之，然以瓦子盖瓶口，于瓦桶子内砖上坐之，用粗谷糠三斗盖之，上以火烧一日，任[4]火自销，候冷取出，去却黄丹[5]，□研，以曲糊和丸，如绿豆大，每服空心[6]，□□汤下五丸。

曾青丹：　治癫痫惊风，压热镇心方。

曾青四两　黄丹一两　白锡二两

右研会[7]青、黄丹，安于甘锅内，上以白锡为屑盖之，然[8]入炉，以火五斤烧之，候锡熔，即取出，放冷，细研，以白粱米饭和丸，如绿豆大，空心以冷水下五丸。

神朱丹：　暖藏腑，止痛疼，甚妙方：

雄黄一两，研　古子[9]钱四两

右烧古子[10]钱令净，捣罗为末，于瓶子中布钱末一半，次布雄黄，上以余钱末盖之，固济了，候乾，文火养三七日满，即开取，细研，用枣肉和丸，如梧桐子大，每服[11]□□酒下五丸。

铜粉丹[12]：　□□□□髓[13]，□颜色，耐寒暑方。

□□□□□[14]　朱砂二两　消石一两　□□□□[15]

右朱砂、消石、硫黄三味，同研为末，取一铜桶子，内布铜屑一重，安药一重，如此重重布尽，即用六一泥固济，待乾，即入灰池内，以火四两，养一伏时，后以大火烧令通赤，候冷取出，于湿地上一伏时，去火毒，研为末，以粟米饭和丸，如绿豆大，每服空腹，以温酒下七丸。忌羊血。

白雪丹：　治女人夙[16]冷及血气，止泄痢，除骨髓风，男子冷病，肠风泻血等。

白矾五两，上好者，捣罗为末

右于银锅中，以真牛乳五升和白矾，煎令泣泣如雪，以寒食蒸饼末，旋下于锅中，搅令匀，可丸，如梧桐子大，每于空心，以粥饮下十五丸，功力不可备迷[17]。

神符玉粉丹：　久服延年驻颜，万病皆去方。

水银二两　黑铅二升[18]

右于一新铁铛中，销铅成水，以白矾末二钱，入一小竹筒内，当铛中心下之，看沸定，即以小竹管盛水银投入铛中，送令到白矾上，以火养铅，常令成汁，候五日后，必有物出，向铅面上如金蚁子，即以物收之，候尽即止，秤知两数，研为末，入硫黄等分，结成砂子，更研如粉，入瓶密固济，候乾，常以火四两，灰厚三寸，养至六十日满，开，依前取出，细研，入瓶，更养六十日，看紫

---

① 处：太平圣惠方无此字。
② 三：太平圣惠方作“二”。
③ 任：太平圣惠方作“住”。
④ 任：太平圣惠方作“住”。
⑤ 丹：此下脱字，太平圣惠方作“细”。
⑥ 心：此下脱字，太平圣惠方作“以盐”。
⑦ 会：太平圣惠方作“曾”。
⑧ 然：太平圣惠方作“后”。
⑨ 子：太平圣惠方作“字”。
⑩ 子：太平圣惠方作“字”。
⑪ 服：此下脱字，太平圣惠方作“以温”。
⑫ 丹：此下脱字，太平圣惠方作“壮腰固精”。
⑬ 髓：此下脱字，太平圣惠方作“益”。
⑭ □□□□□：太平圣惠方作“熟铜屑四两”。
⑮ □□□□：太平圣惠方作“硫黄二两”。
⑯ 夙：太平圣惠方作“风”。
⑰ 迷：太平圣惠方作“述”。
⑱ 二升：太平圣惠方作“一斤”。

色，即更固济，以火断令通赤，待冷取出，以浓甘草汤沃之，候乾，细研如粉，以饭和丸，如绿豆大，每日空心，津下一丸，若养至一年火力，与小还丹同矣。

华盖丹：　变髭发，能延驻，偏去热毒风，神效无比。

黑铅五斤

右铸如方响片子，以铁筋穿着窍，以绳子穿之，用净瓷瓮子盛米醋一斗，将铅片子悬排于瓮子口，可去醋一寸已来，以纸密封瓮口，每一七日一度，开取铅片子出于净纸上，以篦子轻手掠取霜，但七日一度，取经五七度后，即力小不堪也，即别取新铅为之，每一两霜，入龙脑半分，同研如粉，以露水和丸，如梧桐子大，每夜含一丸，便卧无语，任丸自销，此丹能变白须发，如先未会[①]白者，常隔日含之，一生不白，如上[②]白者，含此丹至二十丸后，拔却白者，即黑者自生，不逾六十丸，至一百丸尽，如黳色，久含延驻，一生忌蒜。

药　酒　序

夫酒者，谷蘖之精，和养神气，性唯慓悍，功甚变通，能宣利胃肠，善导引药势，今则兼之名草，成彼香醪，莫不采自仙方，备乎药品，疴恙必涤，效验可凭，故存于编简尔。

地黄酒方

地黄酒：　治虚羸，益气力，轻身明目，令人能食，久服去万病，妇人服之更佳。

生地黄肥粗者，切，一石五斗，于净木臼中捣，以生布绞取汁五斗　大麻子一斗，微炒，烂捣　糯米□[③]硕，拣择　细曲十斤，细捣　杏仁一斗，去皮尖双仁，炒黄，捣为膏

右先以地黄汁五斗，入瓮浸曲，候发，炊米二斗作饭，冷暖如人体，取杏仁、麻子末各一升二合，拌和酘曲汁中，待饭销，又炊米一斗，以杏仁、麻子各一升二合拌，依前法酘之，如此凡八酘讫，待酒沸定，封泥，二七日即熟，取清，温服一盏，日再服。

地黄酒：　补益变白方。

肥地黄一秤，捣碎　糯米五斗，熟炊　面曲五斤，捣碎

右三味相和，于盆中熟揉[④]，内于不津瓮中，密封，春夏三七日，秋冬五七日，日满启之，当中有一盏绿汁，是其精也，宜先酌饮之，余以生布绞取，别置器中，任性饮之，续酿使其相接，不过三剂，发黑，若以新牛膝捣绞取汁三升，用拌馈，即变白更急矣。

地黄酒：　大补益，令人不衰，发不白方。

生地黄一斗，细切　糯米一斗，净淘

右相和炊熟，摊令绝冷，更和曲末二升，同入于七斗酒中，搅令相得，入于瓮中，热即歇头，冷即盖瓮，瓮有汗即拭之，候熟压漉，冬温夏冷，日饮三杯。

黄精酒方

黄精酒：　主万病，延年补养，发白再黑，齿落更生方。

黄精四斤　天门冬三斤，去心　松叶六斤　术四斤　枸杞根五斤

右件药，都锉，以水三硕，煮取汁一硕，浸曲十斤，炊米一硕，如常法酿酒，候熟，任饮之。忌桃李雀肉。

天门冬酒方

天门冬酒：　补五藏六腑不调，亦令无病方。

天门冬三十斤，去心，捣碎，以水二硕，煮取汁一硕　糯米一硕，净淘　细曲十斤，捣碎

右炊米熟，三味相拌，入瓮，密封三七日，候熟压漉，冬温夏冷，日饮三杯。

天门冬酒：　延年不老方。

---

① 会：太平圣惠方作“曾”。

② 上：太平圣惠方作“已”。

③ □：太平圣惠方亦脱字，查普济方卷二百六十五引圣惠方作“一”。

④ 揉：太平圣惠方作“捣”。

淳酒一斗　细曲末一斤　糯米一斗，净淘　天门冬煎五升，取天门冬去心皮，捣绞取汁，缓火煎如稀饧

右先以酒浸曲，候曲发热，炊糯米为饭，适寒温，将天门冬煎，都拌和令匀，入不津瓮中密封，秋夏一七日，数看勿令热过，春冬三七日，候熟取酒，每服五合，日再服之。

枸杞酒方

枸杞酒：　长筋骨，留容颜方。

枸杞根不生冢上者，净洗，去苍皮，寸锉一碗，以水二碗，煮取一碗，去滓，入小麦曲末十斤，候曲发，即用半糯米糁，共一碗，净淘，炊之令熟，摊冷暖得所，即下后药　桃仁三升，去皮尖，麸炒令微黄　大麻仁二升，炒令香熟　乌麻仁二升，炒令香，三味并捣碎　甘菊花十两　生地黄一斗，切

右件药，都捣熟，入上件曲米中，搅拌令匀，入于瓮中，候发定，即泥瓮头，三七日令熟初开，先下箭取清，然后压如常法，冬温夏冷，随性饮之，不令至醉为妙。

枸杞酒：　除五藏邪气，消渴风湿，下胸胁气，利大小肠，填骨髓，长肌肉，治五劳七伤，利耳目，消积瘀，伤寒，癖气，虚劳，呼吸短气，及脚气肿痹，并主之方。

米一硕，黍糯并得　细曲十斤，捣碎　生地黄二[①]十斤，净洗，细切　枸杞根二十斤，刮去浮皮，寸锉，以水二硕，渍三日，煮取汁一硕　豆豉二升，以枸杞汤煮取汁　秋麻子仁三升，微炒，细研，以枸杞汤淋绞取汁

右以地黄一味，共米同蒸熟，候饭如人体温，以药汁都和一处，入瓮密盖头，经三七日即开，冬温夏冷，日可三杯。

神仙枸杞子酒：　疗虚羸黄瘦，不能食，服不过两剂，必得肥充，无所禁断方。

枸杞子五升，乾者，碎捣　生地黄切，三升　大麻子五升，捣碎

右先蒸麻子令熟，摊去热气，入地黄枸杞子相和得所，内生绢袋中，以无灰清酒五斗浸之，密封，春夏[②]七日，秋冬二七日，取服多少任性，常令体中微有酒力醺醺为妙。

枸杞根酿酒：　治风冷虚劳方。

枸杞根切，一硕　鹿骨一具，打碎

右以水三硕，煎取汁一硕，去滓澄清，入糯米一硕，净淘炊熟，细曲一[③]斤，捣碎，都和一处，入瓮密封三七日开，冬温夏冷，日饮三杯。

生枸杞子酒：　主补虚，长肌肉，益颜色，肥健，能去劳热方。

生枸杞子五升

右以好酒二斗，搦勿碎，浸七日，漉去滓，饮之，初以三合为始，后即任性饮之。

石斛酒方

石斛酒：　主补虚劳，益气力，除腰脚痹弱，利关节，坚筋骨，及头面游风方。

石斛四两，去根　黄耆二两　丹参二两　杜仲二两，去粗皮　牛膝二两，去苗　人参二两，去芦头　五味子二两　白茯苓二两　枸杞子三两　山茱萸[④]二两　薯蓣二两　蕤蘼二两　防风二两，去芦头　天门冬三两，去心　细辛一两　生姜二两　薏苡仁三两

右都细锉，以生绢袋盛，用酒五斗，于瓷瓮中浸之，七日开，初温服三合，日再服，渐加至一盏为度。

又方：　治风虚劳，腹内冷，不多食方。

石斛四两，去根　丹参一[⑤]两　芎藭二两　杜仲二两，去粗皮　防风二两，去芦头　白术二两　人参二两，去芦头　桂心二两　五味子二两　白茯苓二两　陈橘皮二两，汤浸，去白瓤，焙　黄耆二两　乾姜三[⑥]两，炮裂　甘草一两，炙微赤　薯蓣二两　牛膝三两，去苗　当归二两

右件药，都细锉，以生绢袋盛，用清酒五斗，于瓮中渍七日开，初温服三合，日再服，渐加至一盏为度。

又方：　治风痹脚弱，腰髂冷痛，利关节，坚筋骨，令人强健悦泽方。

石斛十两，去根　牛膝半苗去斤[⑦]　杜仲四两，削去粗皮　丹参一[⑧]两　生地黄切，一升，曝令水气乾

---

① 二：太平圣惠方作“一”。
② 夏：太平圣惠方此下有“一”。
③ 一：太平圣惠方作“十”。
④ 莫：太平圣惠方作“萸”。
⑤ 一：太平圣惠方作“二”。
⑥ 三：太平圣惠方作“二”。
⑦ 半苗去斤：太平圣惠方作“半斤，去苗”。
⑧ 一：太平圣惠方作“四”。

右都细锉，以生绢袋盛，用清酒五斗，于瓮子中密封，浸七日开，每服一中盏，日可二三服。

薯蓣酒方

薯蓣酒：　治头风眩，不能食，补益气力方。薯蓣八两　防风十两，去芦头　山茱萸八两　人参六两，去芦头　白术八两　五味子八两　丹参六两　生姜六两

右都细锉，以生绢袋盛，用清酒三斗，入瓷瓮子中浸七日开，每度温饮一盏，日三杯为定。

生薯药酒：　补虚损，益颜色方。

右将薯药于砂盆中烂研，然后刮下于铫子中，先以少酥炒一大匙令香，次旋添入酒一盏，煎搅令匀，空腹饮之住①。

菊花酒方

菊花酒：　治八风十二痹，补虚损不足方。

菊方八两　五加皮八两　甘草四两　生地黄一斤，切　秦艽四两，去苗　枸杞根八两　白术八两

右都捣令碎，以水三硕，煮至一硕，以槽床压取汁，用糯米一硕炊熟，细曲十斤，捣碎，拌和令匀，入于瓮中，密封三七日，取饮任性，不得过醉。

菊花酒：　壮筋骨，补髓，延年益寿耐老方。

菊花五斤　生地黄五升　枸杞根五斤

右三味，都捣碎，以水一硕，煮取汁五斗，炊糯米五斗，细曲碎，同拌令匀，入瓮密封，候熟澄清，每温饮一盏，日三。

菖蒲酒方

菖蒲酒：　主大风十二痹，通血脉，调荣卫，治骨立萎黄，医所不治者，服一剂，服经百日，颜色丰足，气力倍常，耳目聪明，行及奔马，发白更黑，齿落再生，昼夜有光，延年益寿，久服得与神通。

菖蒲削治薄切，曝乾，一斗，以生绢袋盛之

右以好酒一硕，入不津瓮中，安药囊在酒中，密封泥之，百日发视之，如绿叶色，复炊一斗秫米内酒中，复封四十日，便漉去滓，温饮一盏，日三，其药滓曝乾，捣细罗为散，酒调一钱，服之尤妙。　寿亲养老书菖蒲三斤，薄切，日中晒合② 极乾，以绢囊盛之，玄水一斗清者，玄水者酒也。悬此菖蒲密封闭一百日，出视之，如绿菜色，以一斗熟黍米内中，封十四日间出，饮酒，则三十六种风，有不治者悉效。

又方：　菖蒲捣绞取汁五斗，糯米五斗炊熟，细曲五斤捣碎，相拌令匀，入瓮密盖三七日即开，每温饮一中盏，日三。寿亲养老书同。

又方：

菖蒲一斗，细锉，蒸熟　生术一斗，去皮，细锉

右二味，都入绢袋盛，用清酒五斗，入不津瓮中盛，密封，春冬二七日，秋夏一七日，取开，每温饮一盏，日三，令人不老强健，面色光泽，神效。寿亲养老书同。

松叶酒方

松叶浸酒：　除一切风，挛跛躄，疼闷，手不上头，腰背强直，两脚痿疼，顽痹，不能久立，半身不随，头风，耳聋目暗，见风泪出，鼻不闻香臭，唇口生疮，恶疰流转，如锥刀所刺，皆悉主之。

松叶七③斤　独活十两　黄麻十两，去根节

右都细锉，入生绢袋盛，以酒五斗，入瓮密封渍之，春秋七日，冬十日，夏五日，候日足，每温饮一小盏，日三。

松叶浸酒：　去大风，治骨节疼痛方。

五粒松叶二十斤，锉碎，净洗，漉乾　清酒一硕

右二味，都入于不津瓮中，密封七七日熟，量力饮之。

松脂松节酒方

松脂酒：　治大风有验方。

松脂三斤，炼成者，捣罗为末　糯米二斗　曲末三斤

① 住：太平圣惠方作“佳”。
② 合：寿亲养老新书作“令”。
③ 七：太平圣惠方作“十”。

右炊米熟，放冷，以炊米汤五斗，温温都拌和，入不津瓮中，封盖候熟，即量性饮之妙。

松节酒：　治百节风虚，脚痹疼痛方。

松节十斤，捶碎，以水一硕，煮取汁五斗，去滓　糯米五斗，炊熟　细曲五斤，捣碎

右三味拌和，入瓮密封，三七日开，取酒，可温饮一盏，日三。

柏叶酒方

柏叶酒：　治传尸骨蒸，瘦病方。

柏叶二十斤，捣碎，以水一硕，煮取汁五斗　黍米一硕，净淘　细曲十斤，捣碎

右以柏叶汁渍曲，看曲发动，即炊米熟，候冷，拌和令匀，入瓮密封，二七日开，压取酒，日三度，量力饮之，以差为度。

术酒方：

术酒方：

术三十斤，去黑皮　千金翼方白术二十五斤

右净洗捣碎，以东流水三硕，翼方两石五斗于不津器中渍之，二十日压漉去滓，以汁于瓮中盛，夜间候流星过时，抄自己姓名，置在汁中，如是五夜，其汁当变如血，旋取汁以渍曲，如家酿法造酒，酒熟，任性饮之，十日万病除，百日白发再黑，齿落更生，面有光泽，久服延年不老。忌桃李雀肉。寿亲养老书雀肉作蛤肉，服此酒者，真康节所谓频频到口微成醉，拍拍满怀都是春也。

又方：　术五斗，水淘，刷去黑皮，曝乾，粗捣，以水一硕，煮令极软，稍稍益水，少取汁看候黄色，乃压漉取汁，可及七斗，糯米一硕，炊熟，细曲十斤，捣碎，以术汁都拌和入瓮，密封，三七日开，日饮三杯，久服延年不老。忌桃李雀肉。

又方：　术煎一斗，好酒三斗，相和，入瓷瓮中盛，泥封头，三七日开，初服一盏，后即任意，勿至醉为妙，服五十日，诸病皆愈，气力十倍，行及奔马。忌桃李雀肉。

乌麻子酒方

神仙乌麻酒：　治虚劳，补五藏，久服延年不老方。

乌麻子五升[1]，微炒，捣碎，以酒二斗，浸经宿，随性饮之，尽即旋造。

乌麻酒：　除风气，令人充悦强壮方。

乌麻子投水中，掠去浮者，取一斗，九蒸九曝，炒令香，以木杵臼捣细，用疏生绢袋盛之，令极宽转，即结袋头，又以一细绳子接系袋处，悬于瓮中，下无灰酒五斗，以新盆覆瓮，其盆底上钻一小窍，引出系袋绳头，又系于小横木子上，以泥固缝，莫使泄气，每日六七度引挽其绳，令药汁入于酒中，满七日药成，乃开瓮，举袋沥汁令尽，冬温夏冷，随性饮之，不令至醉，若以此酒浸石斛、丹参、牛膝、杜仲、石英、磁石等，补腰脚尤善，未尽一剂，充悦倍常，亦无所忌。患风者，宜用大麻子蒸熟炒香，捣入袋中，一准乌麻法作，大良矣。

五加皮酒方

五加皮酒：　治风痹不仁，四肢挛急疼痛方。

五加皮细锉一升，以清酒一斗，渍十日，温服一中盏，日三服，亦可与术地黄各二十斤，细锉，以水一硕五斗，煮取一硕，以渍细曲十斤，黍米一硕，净淘炊熟，都拌和入瓮，盖覆如法，候熟，任性饮之，不令至醉。

桃仁酒方

桃仁酒方：

桃仁一千二百枚，汤浸，去皮尖双仁　清酒三斗

右先捣桃仁令碎[2]，□砂盆中细研，以少酒绞取汁，再研再绞，使桃仁尽即止，都内入小瓷瓮子中，置于釜内，以重汤煮，看色黄如稀饧便出，每服一中盏，日二服，其味极美，女人服之更佳，令人光悦，下三虫，益颜色，甚妙。

紫苏子酒方

紫苏子酒：　治风、顺气、利膈，神效方。

---

① 升：太平圣惠方作“斤”。

② 碎：此下脱字，太平圣惠方作“纳”。

紫苏子一升，微炒　清酒三[1]斗

右捣碎，以生绢袋盛，内于酒中，浸三宿，少少饮之。

丹参酒方

丹参酒：　通九窍，补五藏，令人不病方。

丹参五斤　清酒五斗

右净洗，曝去水气，寸切，以绢袋盛，内于酒中，浸三日，量力饮之。

鼠粘子酒方

鼠粘子酒：　治一切风方。

鼠粘子一斗，以水淘去浮者，曝乾，捣碎，于净砂盆内，入无灰酒五升，研令极烂，即以绢罗滤去白汁，其滓再以酒五升研之，候滤白汁尽为度，续入酒二斗，相和令匀，内不津器中，密封，春秋二七日，夏一七日，冬三七日，日足则开，每日平旦，以物搅起令浊，即取温服一小盏，次一小盏服讫，封之，勿使气泄，良久方可饮食，晚间再服。主大风，手足摊缓，收举不得，病重者，服尽两碩即差。若初觉即急服，不过一二斗差。亦疗历节风，痛贼风，风痹顽麻，重者不过五斗差，腰脚疼痛，筋节急，重病后汗不留，四肢强直，服三斗差。或因热食，体中如锥刺，口喎面戾，头旋心闷，呕吐，风在心藏，服三四斗差矣。

葡萄酒方

葡萄酒：　驻颜，暖腰肾方。

乾葡萄末五[2]斤　细曲末五斤　糯米五斗

右炊糯米令熟，候稍冷，入曲并葡萄末，搅和令匀，入瓮盖覆，候熟，即时饮一盏。

五枝酒方

五枝酒：　治中风，手足不逐[3]，筋骨挛急方。

夜合枝　花桑枝　槐枝　柏枝　石榴枝　已上并取东南嫩者各半斤，锉　防风十两，去芦头　羌活十两　黑豆拣择紧小者，二斗　糯米五斗　小麦曲五斤，末

右已上五枝，用水一碩，煎取五[4]斗，去滓，澄滤浸米及豆二宿，漉出蒸熟，后更于药汁内入曲，并防风、羌活等末，同搅和入瓮，如法盖覆，候酒熟时饮一盏，常令醺醺，甚有大效。

天蓼木酒方

天蓼木酒：　治膝，补五劳，祛风益气方。

天蓼木十斤，锉　秫术一碩　细曲十斤，捣碎　黑豆二斗

右以水三碩，先煮天蓼木取汁一碩，去滓，其秫米、黑豆一处净淘，蒸熟放冷，以药汁都拌和令匀，入不津瓮中密封，三七日开，温饮一盏，日再为良。

商陆酒方

商陆酒方：

商陆末五斤，白色者　天门冬末五斤　细曲十斤，捣碎　秫米一碩，净淘

右先炊米熟，放如人体温温，别煎熟水一碩，放冷，都拌和令匀，入不津瓮中密封，酿六十日成，去滓，随性饮之，五日食减，二十日腹满绝谷，不复用食，尸虫并去，瘢痕皆灭。此方出五符中。忌犬肉。

三石浸酒方

三石浸酒：　万[5]治肾气，补虚损方。

磁石八两　白石英十两，细研　阳起石六两

右件药，并捣碎，以水淘清后，用生绢袋盛，以酒一斗，浸经五日后，任意暖服，其酒旋取旋添，极妙。

九仙薯蓣煎方

九仙薯蓣煎：　治腰脚疼痛，及腹内一切冷病，服之令人肥白，颜色悦泽，身体轻健，骨髓坚牢，行及奔马，久服可为地仙矣。

薯蓣末一斤　杏仁一升，汤浸，去尖皮双仁　生牛乳一[6]升

---

① 三：太平圣惠方作“一”。
② 五：太平圣惠方作“一”。
③ 逐：太平圣惠方作“遂”。
④ 五：太平圣惠方作“三”。
⑤ 万：太平圣惠方作“下”。
⑥ 一：太平圣惠方作“三”。

右烂研杏仁，入牛乳，绞取汁，以杏仁尽为度，然[①]取薯蓣相和，都入新瓷瓶盛之，密封瓶口，安于釜中，以重汤煮一伏时，乃成，每日空心，以温酒调一匙服之。

地黄煎方

地黄煎：　补五劳七伤，长肌肉，填骨髓方。

生地黄汁一斗　生姜汁一升　酥一斤　蜜一升　杏仁一升，汤浸，去皮尖，研如膏用之

右先取地黄汁，于银锅中煎如稀饧，内姜酥蜜杏仁等和，更煎令稠，于不津器中盛，每服以温酒调一蚬壳服之，日三度服之。

地黄煎：　大补益，养命延年，驻颜不老方。

生地黄汁三斗　酥二升　蜜三升　枣膏二升　髓一升，牛羊皆得用　杏仁一升，汤浸，去皮尖，研用之　姜汁一升　天门冬十两，去心　麦门冬六两，去心　黄耆八两，锉　紫苑六两，去苗土　桔梗五两，去芦头　甘草八两，炙微赤，锉　五味子八两　百部六两　丹参八两　牛膝十两，去苗　杜仲十两，去皱皮　狗脊七两　防风七两，去芦头　地骨皮十两　桑根白皮十两　桂心六两　羌活六两　肉苁蓉十两，酒浸，去皱皮　白茯苓十两　薏苡仁十两

右天门冬等二十味，细锉，以水七斗，煎取三斗，绞去滓，和生地黄汁、生姜汁等，绵滤，于铜锅中，以微火煎之二[②]分减二，即下酥、蜜、髓及枣、杏仁等相和，以重汤煎，以物数数搅之，可如稀饧即止，以瓷瓶贮之，每服以温酒调服一匙，日三服。

枸杞煎方

枸杞子煎：　是西河女子神秘有验，千金不传方，又名神丹煎。服者去万病，通神明，安五藏，延年不老，并主妇人无子，冷病有验，能常服，令人好颜色，年如十五六时。

枸杞子汁三升　生地黄汁三升　麦门冬汁半升　杏仁一升，去皮尖双仁，碎如膏　人参末三两　白茯苓末三两

右以上四味，入银锅中，以慢火煎如稀饧，内参苓末搅匀，又以慢火煎，候如膏，滴入水不动即成，每服一枣大，酒和服之，日二服。

枸杞煎：　填骨髓，补虚劳，益颜色，久服，老者反少，身轻目明，延年方。

枸杞根切，三斗，净洗，漉乾　生地黄汁二升　鹿髓一升　枣膏半升

右先将枸杞根，以水五斗，煎取一斗，去滓，澄清，内铜锅中，煮取汁三升，内地黄汁、鹿髓、枣膏，以慢火煎如稀饴，每服以温酒调半匙服之，日三服。

枸杞煎：　大补益，令人充悦，极治诸风，久服延年方。

枸杞根洗，刮去苗土，细切三斗，勿取冢墓上者，以水七斗，煮取汁三斗　生地黄汁三斗

右二味相和，入银锅内，以文火煎如稀饴，用瓷器盛，密封盖，每日空心，以酒调半匙服之，晚再服弥善。

天门冬煎方

天门冬煎：　治大风有验，久服延年不老方。

天门冬一硕，去心，内瓷器中，密盖口，以蜡封其上，埋燥室中，经一年开看，赤如糖色，捣罗为末，入蜜和调如饴，每服一大匙，日三[③]服。忌鲤鱼。

天门冬煎：　益气力，延年不饥[④]。

生天门冬十斤，去心

右锉碎，以酒五斗，和绞取汁，内铜器中，入白蜜一升，重汤煮之如饴，每服以温酒调一匙，日三服，得地黄相和更佳。忌鲤鱼。

术煎方

术煎：　除百病，轻身明目，久服断谷延年方。

好术一硕，先以水洗濯，去黑皮，细锉，以水三硕，煮至一硕，去滓，所得汁，以黍

① 然：太平圣惠方作“后”。
② 二：太平圣惠方作“三”。
③ 三：太平圣惠方作“二”。
④ 饥：太平圣惠方此下有“方”字。

米三斗，磨作末，内汁中，微火煮之令稠，候可作饼子，圆阔二寸许，每以饮下一枚，日三。忌桃李雀肉。

术酥：　去风消食，补益不可具述方。

秋末取肥术二硕，以水刷去黑皮，曝乾，于木臼中捣匀碎，即于甑中薄铺自[1]茅，茅上施布，即下术，以布掩之，上以合，蒸一炊久取下，入盆，以汤拌湿润，再入甑中蒸一炊久，便入于酒糟中，压令汁尽，其汁入银锅，以重汤煮，不住搅之，时取少许看硬软，如常酥即成，贮于不津器中，不计时候，以温酒调枣许大，服之甚良。忌桃李雀肉。

麦门冬煎方

麦门冬煎：　治结气，腹中伤饱，胃络脉绝，羸瘦短气，身重目黄，心下支满，虚劳客热，口乾躁渴，心烦呕吐，愈痿蹶，强阴益精，消谷调中，保神定气，安五藏，令人肥健，美颜色，有子，久服轻身不老，不饥方。

新麦门冬五斤，去心

右捣令熟，绞取汁，入白蜜半斤于银锅中，以重汤煮，不住手搅，候如饴，即盛于不津器中，每服以温酒调半匙服之。

蔷薇散煎方

蔷薇散煎：　久服令人轻健方。

蔷薇根茎，碎锉熟蒸，曝乾，捣罗为末，每服以酒调二钱服之，日三[2]服，亦可浓煮汁为煎，酒调服之更佳。

鹿角胶煎方

鹿角胶煎：　治五劳七伤，身无润泽，腰脊疼痛，四肢沉重，久服填骨髓，好颜色，祛风气，润鬓发，有验方。

鹿角胶一斤，炙黄燥，捣罗为末　生地黄汁五升　生姜汁半斤　紫苏子半升[3]，研以酒三升，绞取汁　白蜜半斤，炼熟，掠去沫　牛酥半斤

右先煎地黄、生姜、紫苏等汁，可五分耗一，然[4]下蜜，次下酥，又煎三五沸，即下胶，搅令匀，更煎如稀饧，倾于不津器中盛之，每服以温酒调一匙服之，日二服。

鹿角胶煎方：

鹿角胶三两，捣碎，炒令黄燥，捣罗为末　牛乳一升　白蜜一合　牛酥一合　生姜汁一合

右五味，先煎乳，欲熟，即下胶，消讫，次下姜汁，次下蜜，唯须缓火煎十余沸，倾于瓷器中，仍数数搅，勿令酥浮于上，待凝，以竹刀割为小片，每食后，细细含咽之，其补益不可具言。

髓煎方

髓煎方：　填骨髓，治百病，补虚劳，换白发方。

生地黄汁五十斤，捣绞取汁，以慢火煎减半　牛髓五斤，炼成者　羊脂五[5]斤，炼成者　白蜜三升　牛酥三升　生姜汁二升

右已上都入银锅中，以微火煎如稀饴，内瓷器中，每服以温酒调和鸡子黄大，日二服，羹粥中食之，亦[6]精美发，白者摘去之，下有黑者再生，若未白者更不白。

红雪法

红雪：　一名通中散。治烦热黄疸，脚气温瘴，解酒毒，消宿食，开三焦，利五藏，爽精神，除毒热，破积滞，去脑闷，眼昏头痛，鼻塞口疮，重舌，肠痈喉闭，并宜服此方。

川朴消一十斤　羚羊角屑三两　川升麻三两　黄芩三两　枳壳二两，麸炒微黄，去瓤　赤芍药二两　人参二两，去芦头　淡竹叶二两　甘草二两，生用　木香二两　槟榔二两　葛根一两半　大青一两半　桑根白皮一两半　蓝叶一两半　木通一两半　栀子一两半　朱砂一两，细研　苏枋六[7]两，捶碎　麝香半两，细研

右件药，除朱砂麝香外，并细锉，以水二斗五升，煎至九升，去滓，更以绵滤过，再以缓火煎令微沸，然下朴消，以柳木篦搅

1　自：太平圣惠方作“白”。
② 日三：太平圣惠方作“温”。
③ 升：太平圣惠方作“斤”。
④ 然：太平圣惠方作“后”。
⑤ 五：太平圣惠方作“三”。
⑥ 亦：太平圣惠方作“益”。
⑦ 六：太平圣惠方作“三”。

勿住手，候凝，次[1]下朱砂麝香等末，搅令匀，倾于新瓷盆中，经宿即成矣，细研，每服一钱至二钱，以新汲水调下，临时量老少加减服之。

紫雪法

紫雪[2]：　治脚气毒遍，内外烦热，口中生疮，狂易叫走，解诸药毒，发热卒黄疫疠毒气，伤寒温疟，五尸五疰，心腹诸疾，疠刺疼痛，蛊[3]毒鬼魅，邪气惊痫，并皆治之。

金五十两　寒水石三斤　石膏三斤　玄参一斤　羚羊角屑五两　犀角屑五两　沉香五两　木香五两　丁香二两　甘草半斤，生用　川朴消一十斤

右件药，除金、朴消外，并捣筛为散，内金，同以水五斗，煮取二斗，去滓，下朴消于汁中，缓火煎，以柳木篦搅勿住手，候欲凝，入研了朱砂三两，麝香末一两，急搅即成紫色，倾入新瓷盆中，经宿乃成，细研，每服以冷水调一[4]二钱服之，量人老少，以意加减。

碧雪法

碧雪：　治大人小儿，心热[5]□狂，诸痫热病，皆主之方。

川升麻二两　黄芩一[6]两　钩藤一[7]两　犀角屑一[8]两　虎睛一对，取人[9]　大青一[10]两　天竹黄半两　麝香一分　龙脑一分　川朴消一斤　竹沥三合　青黛二两

右件药，虎睛、天竹黄、麝香、龙脑、青黛等，别细研入，余外药，并细锉，用水一斗，煮至三升，滤去滓澄清，下朴消，微火更煎，以柳木篦搅勿住手，候消散，下竹沥，并研了药，更搅令匀，候稍凝，即于新瓦盆中盛，经宿即凝，捣罗为散，每服以金银汤调下二钱，食后并夜临卧时服，老少以意服之。

碧雪煎法

碧雪煎：　治心神烦热，时行温病，主癫痫，疗热毒风，压丹石，解百毒，去头疼，赤眼口疮，酒黄，大人小儿一切热病，悉皆治之方。

大青三两　吴蓝菜二两　竹茹三两　麦门冬二两，去心　子芩三两　甘草三两，生用　枳壳三两，去穰　地骨皮三两　龙胆二[11]两，去芦头　犀角屑二两　玄参三两　赤茯苓一[12]两　川升麻二两　羚羊角屑二两。已上并细锉，以水一[13]斗，煮至一斗，去滓，澄清　龙齿二两，细研　牛黄二两，细研　麝香一两，细研　青黛五两，细研　川朴消七[14]斤，炼了者

右件，煎了药汁，入于锅内，下朴消，以慢火煎，不住手搅，稀稠得所，入研了龙脑、牛黄、麝香、青黛等，搅令匀，入瓷器中收，每有患者，以冷水调下半匙，量大小加减服之。

黄雪法

黄雪：　治风热，疗天行瘴毒，压丹石，安心神，止狂热，神效方。

川朴消五斤　川大黄二两　黄芩三两　山栀子二两　犀角屑二两　紫石英二两，细研　甘草三两，生用　竹茹三两　麝香半两，细研　朱砂一两，细研　羚羊角屑二[15]两　郁金二两

右件药，除朴消、紫石英、朱砂、麝香外，并细锉，以水一斗二升，煎至五升，去滓澄清，以文火更煎之，下朴消，以柳木搅勿住手，候稍稠，即下紫石英、朱砂末，搅令匀，候欲凝结，然下麝香末，又搅令匀，倾于新盆中，经宿取出，捣罗为散，每服一钱至二钱，以甘草汤调下，老少以意加减服之。

金石凌法

1　次：太平圣惠方作“即”。
② 雪：太平圣惠方此下有“法”字。
③ 蛊：太平圣惠方作“虫”。
4　一：太平圣惠方无此字。
⑤ 热：此下脱字，太平圣惠方作“惊”。
⑥ 一：太平圣惠方作“五”。
⑦ 一：太平圣惠方作“五”。
⑧ 一：太平圣惠方作“五”。
⑨ 取人：太平圣惠方无此二字。
⑩ 一：太平圣惠方作“五”。
⑪ 二：太平圣惠方作“三”。
⑫ 一：太平圣惠方作“二”。
⑬ 一：太平圣惠方作“二”。
⑭ 七：太平圣惠方作“十”。
⑮ 二：太平圣惠方作“三”。

金石凌法： 疗天行诸黄疸，乳石发动，生诸疮肿，心热舌乾，咽喉闭痛方。

金三十两　石膏三斤，捣碎　滑石三斤，捣碎　寒水石三斤，捣碎。已上药以水四斗，于大银锅中，煎取汁二斗，去滓澄清　子芩一斤　栀子人三百颗　川升麻二[①]两　犀角二两　黄连五两，去须　甘草半斤，生用　郁金二两。已上药细锉，取前金石汁，煎至一斗，去滓澄清　马牙消二斤　川芒消二斤　川朴消三斤　川消石二斤

右件药汁，于银锅中，缓火煎，然[②]下马牙消，良久，次下芒消，次下朴消，次下消石。每下消，以柳木篦搅勿住手，看消尽，良久，候凝，即倾于数个新瓷盆内，经两日即成，捣罗为散，每服以竹沥或蜜水调下一钱至二钱，大小以意加减。

甘露饧法

甘露饧：　镇心除热神效方。

川朴消每一斤，用白蜜十三两

右捣罗朴消成末，后以白蜜和令匀，便入新青竹筒中，其竹筒，随药多少，大者一节，小者两节，但药得半筒已上即止，不得令满，安入炊饭甑中，令有药处在饭内，其空处出饭外，其上不妨盖甑蒸之，候饭熟，取筒承热绵滤入一瓷器中，以竹篦搅之，勿停手，至凝，即药成，收入瓷合中。如热月，即以冷水浸合底，每于食后，及夜临卧时，含化一茶匙。

① 二：太平圣惠方作“一”。
② 然：太平圣惠方作“后”。

养 性 门六

修 真 秘 诀

神仙服饵诸方

神仙服饵何首乌丸：

何首乌一斤，米泔浸一宿　牛膝半斤

右用木甑中，以黑豆五升铺底，入前二物，蒸豆熟为度，日曝或焙乾末之，丸梧桐子大，温酒下三五十丸，日二。久服永无风疾、气疾，齿坚髭黑，皮肤细滑，行及奔马。

神仙养命驻颜草还丹：

此丹四灵草，能滋润四大，一大各便一味，补精华，益骨髓，黑髭鬓，可养神，邪气不侵凌，筋力不衰老，可延寿，血脉通畅，神色不变。二十岁服之，一生容颜如故；中年服之，百年如故，五藏常安，四肢无疾，温黄寒热不侵。如有人遇此丹，脩制端谨，心必专□□香于净室内，脩合时忌僧尼妇人猫犬鸡畜等见，久服延年，功成是也仙位。凡服此药，先须顺道行气，颜貌常光悦，洁白如凝脂，通灵抵圣□可具述，若遇同志，亦不可隐，具药如后。

川乌头一斤，净洗之七遍，去皮脐　枸杞根一斤，冬月取，净洗，锉　何首乌一斤，净洗　威灵仙一斤，净洗，并控乾

右用黑豆一斗，甑一只，豆分两处，将一半先铺底，然后将四味药入甑中，次将豆一半盖却药于前，焚香启告天气神只，日月星辰，乞备此药。云云。今者欲乞四大康强，形容不老，誓服此药，今当呪之，呪曰：父母生我身，天地采我气，四大常欲安，精华常欲秘，所愿四神草，永断诸邪魅，令我得长生，颜容不憔悴。如此呪七遍，将药甑谨密盖覆，慢火蒸一伏时，取出细切，焙乾，捣罗为末，用无灰酒煮面糊为丸，如梧桐子大，空腹午晚，用温酒盐汤下三十粒，其豆不用，唯忌犬肉，一生不可吃，切切。每遇岁除日，躬亲修合，人无道心者，不可轻示之矣。

神仙济世诸方

神仙秘传服硫黄，治脾元虚弱，灵液丹：

硫黄一两，甘草水研七日，飞过　半夏汤洗十遍，入研碎，黄钵内研破令细，一两　赤小豆一分，别破入

右相和匀，滴水丸，如梧桐子大，空心冷水下十五丸。久服元气壮盛，不畏寒暑，筋力百倍，近极有人服，甚效。

补益牛膝丸：

牛膝去苗，酒浸　乾地黄酒浸，蒸　枳壳酒浸，麸炒黄，去穰　地骨皮酒浸　兔丝子酒浸，焙乾，别杵　远志酒浸，去心

右各等分为末，炼蜜或酒煮糊丸，如梧桐子大，空心盐汤温酒任下二十丸至五十丸。清心润肺，固元益神，进食，壮筋骨，甚妙。

调中散：　大治脾胃，消酒食，或胸隔胀满，不思饮食等疾。

白芷半两　黄柏一两，炒　陈橘去穰，二两，炒　乾姜一两，炮　青橘皮一两麸炒，去穰　草果一两，炒，和皮用　神曲一两，炒　厚朴三两，依常脩事　甘草二两，煨　苍术四两，米泔浸一宿，锉，炒香

右为末，每服二钱，入盐点，或泻痢，以生姜粥饮调下。

治脾元正元散：

厚朴三两，姜汁炙令紫色　面姜三两，去皮，切，作

两等炒　苍术一斤，米泔浸三宿，去黑皮，麸炒　赤芍药三两　甘草三两，锉，作两等炒

右为末，每服二钱，水一盏，姜枣煎至八分，入盐沸汤点亦得。

治脾元木香散：

生姜一斤，细切，银石器内炒令乾黄　木香一两，炒　沉香一两，微炒　蓬莪茂一两半，煨了，捶碎更妙　白术二两，炒　陈橘皮一两半，去穰秤，炒　甘草二两，□　肉桂一两，不得近火　舶上茴香一两，炒

右为细末，每服一钱，煨葱酒及盐汤、饭饮白汤调下并得。妇人产后败血攻心，炒生姜小便调下。血气，橘皮汤下；小儿疳气腹痛，面无□色，肚胀脚肿，饭饮调下少许；室女经络不行，炒姜并地黄酒下；霍乱吐泻，木瓜汤下；老人元气发动，煨猪肾酒下。

大全本草

大上八帝玄变经，三皇真人炼丹方：

丹砂一斤，色发明者，研末，重绢筛之，令靡靡以醇酒不见水者，沃丹挠之，令如葑泥状，盛以铜盘中，置高阁上，勿令妇人见，曝之，身自起居数挠，燥复沃之，当令如泥，若阴雨疾风，复藏之无人处，天晏出曝之，尽酒三斗而成，能长曝之三百日当紫色，握之不汗手，如著手未乾，可丸，欲服时，沐浴兰香，斋戒七日，勿令妇人近药过傍，丸如麻子大，常以平旦向日吞二[1]丸，服之一月，三虫出，服之五六月，腹内诸病皆差，服之一年，眉发更黑，岁加一丸，服之三年，神人至。

抱朴子服五五云之法，或以桂葱水王化之以为水，或以露于铁器中，以元水熬之为水，或以消石合于筒中，埋之为水，或以蜜搜为酪，或以秋露渍之，百日韦囊，挺以为粉，或以无巅草樗血合饵之，服之一年百病除，三年老公反成童子，五年则役使鬼神，入火不烧，入水不濡，践棘而不伤肤，与仙人相见。他物埋之即朽，著火即焦，而五云内猛火中，经时终不焦，埋之永不腐，故能令人长生也。服经十年，云气常覆其上，夫服其母，以致其子，理之自然也。

李预每羡古人食玉之法，乃采访蓝田，躬往掘得，若环璧杂器形者，大小百余枚，稍粗黑，皆光润可玩，预乃捶七十枚咸屑，日食之轻[2]年，云有效验，而世事寝息，并不禁节，又加之以好酒损志，乃疾笃，谓妻子曰：服玉当屏居山林，排弃嗜欲，或当有大神力，而吾酒色不绝，自致于死，非药过也，尸体必当有异于人，勿使速殡，令后人知餐服之验。时七月中旬，长安毒热，预渟[3]尸四宿，而体色不变，其妻常氏，以玉珠二枚，含之口闭，因嘱其口，都无秽气。

宝藏论玉玄真者饵之，其命无极，令人举身轻飞，不但地仙而已，然其道迟成，服一二百斤，乃可知也。玉可以乌米酒及地榆酒化之为水，亦可以葱浆水消之为粘，亦可饵以为丸，可烧为粉，服一年以上，入水中不濡。

青霞子玉屑一升，地榆草一升，稻米一升，三物取白露三升，置铜器中，煮米熟，绞取汁，玉屑化为水，名曰玉液，以药内杯[4]中，美体，所谓神仙玉浆也。

叶天师杖中记：玉屑味甘和，无毒，屑如麻豆，久服轻身长寿，恶鹿角。

唐明皇帝，闻说终南山有道士刘玄真，服食玄明粉，遂诏而问曰：朕间[5]卿寿约三百岁，服食何药，得住世间，充悦如此？玄真答曰：臣按仙经脩炼朴消，号玄明粉，止服此药，遂无病长生，其药无滓，性温，能除众疾，生饵尚能救急难性命，何况脩炼长服？益精壮气，助阳证阴，不拘丈夫妇人，

1) 二：大观本草卷之三玉石部丹砂条作“三”。
2) 轻：大观本草卷之三玉石部玉屑条作“经”。
3) 渟：大观本草卷之三玉石部玉屑条作“停”。
4) 杯：大观本草卷之三玉石部玉屑条作“杯”。
5) 间：大观本草卷之三玉石部玄明粉条作“闻”。

幼稚襁褓，不问四时冷热，即食后冷热俱治，一两分为十二服，但临时酌量加减，似觉壅热伤寒，头痛鼻塞，四肢不举，饮食不下，烦闷气胀，不论昼夜急疾，要宣泻求安，即看年纪高下，用药一分，或至半两，酌量加减，用桃花汤下，为使最上，次用葱汤下，如未通宣，更以汤一碗，或两碗投之即验，自然调补，如常要微畅，不秘涩，但长服之，稍稍得力，朝服暮服，应不搜刮人五藏，怡怡自泰，其药初服之时，每日空腹酒饮、茶汤任下三钱匕，食后良久，更下三钱匕，七日内常微泻利黄黑水涎沫等，此是搜淘诸疾，根本出去，勿用畏之，七日后，渐觉腹藏暖，消食下气，唯忌食苦参。

太上八帝玄变经小丹法：

用雄黄、柏子，拘魂制魄方。柏子细筛，去滓，松脂十斤以和，柏子雄黄各二斤，色如赤李合药，臼中复捣，如蒸药一日，如饵，正坐北向，平旦顿服五丸，百日之后，与神人交见。

汉武帝内传曰：封君达陇西人，初服黄连五十余年，入乌峰山，服水银百余年，还乡里如二十者，常乘青牛，故号青牛道士。

抱朴子银但不及金玉可以地仙也，服之法，麦浆化之，亦可以朱草酒饵之，亦可以龙膏炼之，然三服，辄大如弹子丸者，又非清贫道士所能得也。

玉井水，久服神仙，令人体润，毛发不白，出诸有玉处山谷水泉皆有，犹润于草木，何况于人乎？夫人有发毛，如山之草木，故山有玉而草木润，身有玉而毛发黑。异类云：昆仑山有一石柱，柱上露盘，盘上有玉水溜下，土人得一合服之，与天地同年。又太华山有玉水，人得服之长生，玉既重宝，水又虚长，故能延生之生[①]，今人近山多寿者，岂非玉石之津乎，故引长为玉证。

甘露水，食之润五藏，长年不饥，神仙缘是感应，天降祐兆人也。

繁露水，是秋露繁浓时也，作盘以收之，煎令稠，可食之，延年不饥。五月五日取露草一百种，阴乾，烧为灰，和井花水重炼，令白酸醋为饼，腋下挟之，乾即易，主腋气臭，当抽一身间疮出，即以小便洗之。续齐谐记云：引农邓沼，八月，朝入华山，见一童子，以五彩囊承取柏叶下露，露皆如珠，云赤松先生取以明目。今人八月，朝朝作露，华明像此也。汉武帝时，有吉云国，吉云草食之不死，日照草木有露，著皆五色，东方朔得玄露、青黄二露，各盛五合，帝赐群臣，老者皆少，病者皆除。东方朔日，日初出处，露皆如糖，可食，汉武帝洞冥记所载，今时人煎露亦如糖，久服不饥。吕氏春秋云：水之美者有三，危之露为水，即味重于水也。

六天气服之，令人不饥长年，美颜色，人有急难，阻绝之处，用之，如龟蛇服气不死。阳陵子明经言：春食朝露，日欲出时，向东气也；秋食飞泉，日欲没时，向西气也；冬食沆瀣，北方夜半气也；夏食正阳，南方日中气也，并天玄地黄之气，是为六气。亦言平明为朝露，日中为正阳，日入为泉飞，夜半为沆瀣，及天地玄黄为六气，皆令人不饥，延年无疾。昔人有堕穴中，穴有蛇，蛇每日作此气服之，其人既见蛇如此，依蛇时节，饥时便服，又即做[②]蛇，日日如之，经久渐渐有验，即体轻健，似能轻举，启蛰之后，人与蛇一时跃出焉。

抱朴子云：黄精一名垂珠，服其花，胜其实，其实胜其根，但花难得，得其生花十斛，乾之才可得五六斗耳，其服之，日可三合，非大有役力者，不能办也。服黄精仅十年，乃可大得其益耳，且以断谷不及术，术饵令人肥健，可以负重涉险，但不及黄精甘美易食，凶年可以与老少休粮人食之，谓为米脯也。

隋羊公服黄精法：

① 生：大观本草卷之五玉石部玉井水条作“望”。
② 做：大观本草卷之五玉石部六天气条作“仿”。

二月三月采根，入地八九寸为上，细切一石，以水二石五斗，煮去苦味，漉出囊中，压取汁，澄清再煎如膏乃止，以炒黑豆黄末相和，令得所，捏作饼子，如钱许大，初服二枚，日益之，百日知。亦焙乾筛末水服，功与上等。

食疗饵黄精，能老不饥，其法可取瓮子，去底，釜上安置令得所，盛黄精令满，密盖蒸之，令气溜，即暴之。第二遍蒸之亦如此，九蒸九暴。凡生时有一硕，熟有三四斗，蒸之若生，则刺人咽喉。暴使乾，不尔朽坏。其生者，若初服只可一寸半，渐渐增之，十日不食能长服之，止三尺五升[1]，服三百日后，尽见鬼神，饵必升天。根叶花实，皆可食之，但相对者是，不对者，名偏精。

菖蒲古方亦有单服者，采得紧小似鱼鳞者，治择一斤许，以水及米泔浸各一宿，又刮去皮，切暴乾，捣筛，以糯米粥和匀，更入熟蜜，搜丸梧子大，绵葛袋盛，置当风处令乾，每旦酒饮任下三十丸，临卧更服二十丸，久久得效。

灵宝方菊花、茯苓合为丸，以成炼松脂和，每服如鸡子一丸，令人好颜色，不老，主头眩。生平泽，花紫白，五月花。抱朴子刘生丹法用白菊花汁和之。

玉函方王子乔变白增年方：

甘菊，三月上寅日采，名曰玉英，六月上寅日采，名曰客成，九月上寅日采，名曰金精，十二月上寅日采，名曰长生，长生者，根茎是也。四味并阴乾百日，取等分，以成日合捣千杵为末，酒调下一钱匕，以蜜丸，如桐子大，酒服七丸，一日三服，百日身轻润泽，服之一年，发白变黑，服之二年，齿落再生，服之三年，八十岁老人变为童儿，神效。

经验后方服天门冬法：　不计多少，去心皮为末，每服方寸匕，日三四服，不绝，甚益人，以酒饮之。又治癥瘕积聚，去三虫，轻身益气，延年却老，百病不侵。

孙真人枕中记，天门冬末，服方寸匕，日三，无问山中人，间恒勿废，久服益。若酿酒服之，去癥瘕积聚，风痰癫狂，三虫伏尸，除瘟疫，轻身益气，令人不饥百日，还年却老。

修真秘旨神仙服天门冬三十斤，细切，阴乾，捣末，每服三钱，酒调下，日五六服，二百日后怡泰，拘急者缓，羸劣者强，三百日身轻，三年走及奔马。

神仙方服食地黄，采取根，净洗，捣绞取汁，煎令小稠，内白蜜，更煎令可丸，农[2]朝酒送三十丸，如梧子，日三。亦入青州枣肉同丸，又煎膏，入乾根末丸服。又四月采其实，阴乾，筛末，水服钱匕，其效皆等，其花名地髓花。延年方有单服二法。

修真方神仙方：

兔丝子一斗，酒一斗，浸良久，漉出暴乾。又浸，以酒尽为度，每服二钱，温酒下，日二服，后吃三五匙水饭压之，至三七日，加至三钱匕服之，令人光泽，三年老变为少。此药治腰膝去风，久服延年。

道书八帝圣化经欲不畏寒，取天门冬、茯苓等分为末，服方寸匕，日再服，大寒时单衣汗出。

三洞要录地榆草锉一升，稻米一升，白玉屑一升，三物取白露汁二升，置铜器中，煮米熟，绞取汁，玉屑化为水，名曰玉液，以药内杯美醴中，所谓神玉浆也。

日华子云：青蒿补中益气，轻身补劳，驻颜色，长毛发，发黑不老，兼去蒜发、心痛热黄，生捣汁服，并傅之。

何首乌传：昔何首乌者，顺州南河县人，祖名能嗣，父名延秀，能嗣常慕道术，随师在山，因醉夜卧山，忽见有一藤二株，相去三尺余，苗蔓相交，久而方解，解了又交，惊讶其异，至旦遂掘其根归，问诸人，无识

① 升：大观本草卷之六草部黄精条作“寸”。
② 农：大观本草卷之六草部地黄条作“晨”。

者，后有山老，忽来示之，答曰：子既无嗣，其藤乃异，此恐是神仙之药，何不服之。遂杵为末，空心酒服一钱，服数日，似强健，因此常服，又加二钱，服之经年，旧疾皆痊，发乌容少，数年之内即有子，名延秀，秀生首乌，首乌之名，因此而得，生数子，年百余岁，发黑。有李安期者，与首乌乡里亲善，窃得方服，其寿至长，遂叙其事。何首乌味甘，生温无毒，茯苓为使，治五痔腰膝之病，冷气心痛，积年劳瘦，痰癖风虚败劣，长筋肉，益精髓，壮气驻颜，黑发延年，妇人恶血痿黄，产后诸疾，赤白带下，毒气入腹，久痢不止，其功不可具述。一名野苗，二名交藤，三名夜合，四名地精，五曰首乌。本出处州，江南诸道皆有之，苗叶有光泽，又如桃李叶，雄苗赤根，远不过二尺，春秋可采，日乾去皮为主，酒下最良，有疾即用快苓汤下为使，常杵末，新瓷器盛，服之忌猪肉血，无鳞鱼，触药无力。此药形大如拳，连珠其中，有作鸟兽山岳之状，珍也，掘得去皮，生吃得味甘甜。休粮赞曰：神效助道，著在仙经，雌雄相交，夜合昼疏，服之去谷，日居月诸，返老还少，变安病驱，有缘者遇，傅之勿泄，最尔自如。明州刺使李远傅缘经验，何首乌所出幽州河南县，韶州、潮州、恩州、贺州、广州四会县、潘州，已上出处为上，邕州晋兴县、桂州、康州、春州、勤州、商[1]州、循州，已上所出次之。其仙草五十年者，如拳大，号山奴，服之一年，髭须青黑。一百年如碗大，号山哥，服之一年，颜色红悦。一百五十年，如盆大，号山伯，服之一年，齿落重生。二百年如斗栲栳大，号山翁，服之一年，颜如童子，行及奔马。三百年如三斗栲栳大，号山精，服之一年，延龄，纯阳之体，久服成地仙。

野人闲话伏虎尊师篇炼松脂法：　十斤松脂，五度以水煮过，令苦味尽，取得后，每一斤炼了松脂，入四两茯苓末，每晨水下一刀圭，即终年不食，而复延龄，身轻清爽。

大清草木方：　槐者虚星之精，以十月上已日采子，服之去百病，长生通神。

食疗仙家长服榆皮，服丹石人亦食之，取利关节故也。

图经曰：淮南枕中记者，西河女子服枸杞法：正月上寅采根，二月上卯治服之，三月上辰采茎，四月上巳治服之，五月上午采叶，六月上未治服之，七月上申采花，八月上酉治服之，九月上戌采子，十月上亥治服之，十一月上子采根，十二月上丑治服之。又有并花实根茎叶作煎，及单笮子汁煎膏服之，其功并等。今人相传，谓枸杞与枸棘二种相类，其实形长而枝无棘者，真枸杞也，园而有刺者，枸棘也，枸棘不堪入药，而下品，溲音。搜疏条注李当之云：子似枸杞，冬月熟，色赤，味甘苦。苏恭云：形似空疏，木，高丈许，白皮，其子七月八月熟，似枸杞子，味甘而两两相并。今注云：虽相似，然溲疏有刺，枸杞无刺，以此为别，是三物相似而二物又有刺，溲疏亦有巨骨之名，如枸杞谓之地骨，当亦相类，用之宜细详耳。或云：溲疏以高大为别，是不然也，今枸杞极有高大者，其入药乃神良。世传蓬莱县南丘村多枸杞，高者一二丈，其根蟠结甚固，故其乡人多寿考，亦饮食其水土之品使然耳。润州州寺大井傍生枸杞赤岁久，故土人目为枸杞，并云饮其水，甚益人。溲疏生熊耳川谷，及田野丘墟地，四月采，古今方书鲜见用者，当亦难别耳。又按枸杞，一名仙人杖，而陈藏器拾遗别有二种仙人杖，一种是枯死竹竿之色黑者，一种是菜类，并此为三物，而同一名也。陈子昂观玉篇云：余徐补阙乔公北征，夏四月次，于张掖河州，草木无他异，惟有仙人杖，往往丛生。予昔尝饵之，此役也息意滋味，戍人有荐嘉蔬者，此物存焉，因为乔公唱言其功，时东莱王仲烈亦同族，闻之，喜而甘心，食之旬有五日，行人

① 商：大观本草卷之十一草部何首乌条作"高"。

有自谓知药者，谓乔公曰：此白棘也。仲烈遂疑曰：吾亦怪其味甘，乔公信是言，乃识予，予因作观玉篇，按此仙人杖作菜茹者，叶似苦苣白棘，木类何因相似而致疑如此，或曰乔公所谓白棘，当是拘棘，拘棘是枸杞之有针者，而本经无白棘之别名，又其味若仙人杖味甘，设疑为枸棘，枸棘亦非甘物，乃知草木之颡，多而难识，使人惑疑似之，言以真为伪，失青黄甘苦之别，而至于是，宜乎子昂论著之详也。

经验方金髓煎：

枸杞子不计多少，逐日旋采，摘红熟者，去嫩蒂子，拣令洁净，便以无灰酒于净器浸之，须是瓮用酒浸，以两月为限，用蜡纸封闭紧密，无令透气，候日数足漉出，于新竹器内盛贮，旋于沙盆中，研令烂细，然后以细布滤过，候研滤皆毕，去滓不用，即并前渍药酒，及滤过药汁，搅匀，量银锅内多少升斗，作番次慢火熬成膏，切须不住手用物搅，恐粘底不匀，候稠得所，倾出，用净瓶器盛之，勿令泄气，每早晨温酒下二大匙头，夜卧服之，百日中身轻气壮，积年不废，可以羽化。

经验后方变白轻身。枸杞子二升，十月上[1]亥日采，采时面东，摘生地黄汁三升，以好酒二升，于瓷瓶内浸二十一日取出研，令地黄汁同浸搅之，却以纸三重，封其头了，更浸候至立春前三[2]日开，匕过，逐日[3]空心饮一杯，至立春后，髭鬓变白[4]，补益精气[5]，服之耐老轻身无比。

孙真人枕中记采松柏法：

尝以三月四月，采新生松叶；可长三四寸许，并花蕊，取阴乾，细捣为末，其柏叶取深山岩谷中，采当年新生，可长三二寸者，阴乾，细捣为末，用臼为丸，如小豆大，常以月一十五日，日未出时，烧香东向，手持药八十一丸，以酒下，服一年，延十年命，服二年，延二十年命。欲得长肌肉，加大麻、巨胜；欲心力壮健者，加茯苓、人参。此药除百病，益元气，添五藏六腑清明，耳目强壮不衰老，延年益寿，神验。用七月七日露水丸之更佳，月[6]时乃呪曰：神仙真药，体合自然，服药入腹，天地同年。呪讫服药，断诸杂肉五辛，最切忌谨之。

列仙传：赤松子好食柏实，齿落更生。

神仙方：多单饵之，其法取白茯苓五斤，去黑皮，捣节[7]以熟绢囊盛，于三斗米下蒸之米熟即止，暴乾，又蒸，加此三过，乃取牛乳二斗和合，着铜器中，微火煮如膏收之，每食以竹刀割取，随性任饱，服之则不饥，如欲食，先煮葵菜汁饮之，任食无碍。

又茯苓鲊法云：取白茯苓三十斤，山之阳者甘美，山之阴者味苦，去皮薄切，暴乾蒸之，以汤淋去苦味，淋之不止，其汁当甜，乃暴乾筛末，用酒三石，蜜三升相和，内末其中，并置大瓮，搅之百匝，封之勿泄气，冬五十日，夏二十五日。鲊自浮出酒上，掠取之，其味极甘美，以作饼，大如手掌，空室中阴乾，色赤如枣，饥时食一枚，酒送之，终日不须食自饱，此名神仙度世之法。又服食法以合白菊花，或合桂心，或合术，丸散自任，皆可常服，补益殊胜。或云茯苓中有赤筋，最能损目，若久服者，当先杵末，水中飞，澄熟，挼去尽赤滓，方可服，若合他药，则不须尔。凡药有茯苓，皆忌米醋，旧说琥珀是千年茯苓所化，一名江珠。张茂先云：今益州永昌出琥珀，而无茯苓。又云：烧蜂窠所作。二说张皆不能辨，按南蛮地志云，林邑多琥珀，云是松脂所化，又云枫脂为之，彼人亦不复知，地中有琥珀，则傍无草木，入土浅者五尺，深者或八九尺，大者如斛，削去皮，初如桃胶，炙乃坚凝，其方

---

1 上：大观本草卷之十二木部枸杞条作“壬”。
2 三：政和本草卷之十二木部枸杞条此下有“十”字。
3 匕过逐日：政和本草卷之十二木部枸杞条作“瓶”。
4 变白：政和本草卷之十二木部枸杞条作“却黑”。
5 补益精气：政和本草卷之十二木部枸杞条作“勿食芜荑、葱”。
6 月：大观本草卷之十二木部柏实条作“时”。
7 节：大观本草卷之十二木部茯苓条作“锤”。

人以为枕。然古今相传，是松类，故附于茯苓耳。

经验后方养老延年，服茯苓方：

华山挺子茯苓，研削如枣许大，令四方有角，安于新瓷瓶内，以好酒浸，以三重纸封其头，后一百日开，其色当如饧糖，可日食一块，百日后，肌体润泽，服一年后，可夜视物，久久食之，肠化为筋，可延年耐老，面若童颜。

神仙茯苓法：

白茯苓去皮，酒浸五十日，漉出为散，每服三钱，水调下，日三。

华佗传：彭城樊阿少师事佗，求服食法，佗授以漆叶青黏散方，云：服之去三虫，利五藏，轻身益气，使人头不白，阿从其言，年五百余岁。漆叶所在有之，青黏生于丰沛彭城及朝歌，一名地节，一名黄芝，主理五藏，益精气。本出于迷人入山者，见仙人服之，以告佗，佗以为佳，语阿，阿秘之，近者人见阿之寿，而气力强盛，怪之，以问所服食，阿因醉乱误说，人服多验，其后无复有人识青黏，或云即黄精之正叶者。神仙方乃有单服淳漆法传于世云。

东华真人煮石经，舜常登苍梧山曰：厥金玉之香草，朕用偃息正道，此五加也，又异名曰金盐，昔西域真人王屋山人王常言，何以得长久，何不食石蓄金盐，母[①]何以得长寿，何不食石用玉豉。玉豉者，即地榆也，五加地榆皆是煮石而饵，得长生之药也。昔尹公度闻孟绰子董士固共相与言曰：宁得一把五加，不用金玉满车，宁得一片[②]地榆，安用明月宝珠。

鲁定公母，单服五加酒，以致不死，临隐去，佯托死，时人自莫之悟耳。张子声杨建始玉叔才于出彦等，皆服此酒，而房室不绝，得寿三百年，有子二十人，世世有得服五加酒散，而获延年不死者，不可胜计，或只为散，以代汤茶而饵之，验亦然也。大王君谓五加云：盖天有五车之星精也，金应五湖，人应五德，位应五方，物应五车，故青精入茎，别有东方之液，白气入节，则有西方之津，赤气入华，则有南方之光，玄精入相，则有北方之人，黄烟入皮，则有戊己之灵，五神镇主[③]，相转育成，用之者真仙，服之者反婴也。

檀桓主长生神仙，去万病，末为散，饮服方寸匕，尽一枝有验。

仙方桑椹，熟时收之，日乾为末，蜜和丸，桐子大，空心酒服四十丸，长服之良。

抱朴子：蝙蝠色白如雪，集则倒悬，盖脑重也。得而阴乾，末服，令人寿千岁也。

抱朴子：真珠径寸已上可服，服之可以长久，酪浆渍之，皆化如水银，亦可以浮石水蜂窠螫化，包彤蛇黄合之，可以引长三四尺，丸服之，绝谷得长生。

图经曰：核胶入服食药，仙方著其法，取胶二十斤，绢袋盛，栎木灰汁一石中煮三五沸，并袋出，挂高处，候乾，再煮，如此三度止，暴乾，筛末，蜜和，空腹酒下，梧桐子大二十丸，久服当仙去。

抱朴子：桃胶，以桑灰渍之服，百病愈。又服之身轻有光明，在晦夜之地，如月断谷。

新注云：胡麻、白大豆、枣，三物同九蒸九暴，作团食，令人不饥，延年断谷。又合苍耳子为散，服之治风癞。

脩真秘旨神仙服胡麻法：　服之能除一切痼病，至一年面光泽不饥，三年水火不能害，行及奔马，久服长生，上党者尤佳。胡麻三斗，净淘，上甑蒸令气遍出，日乾，以水淘去沫，却蒸如此九度，以汤脱去皮，簸令净，炒令香，杵为末，蜜丸如弹子大，每服酒化下一丸。忌毒鱼生菜等。

神仙传鲁支生篇：鲁女生服胡麻，饵木，绝谷八十余年，甚少壮，一日行三百里，走及獐鹿。

---

① 母：大观本草卷之十二木部五加皮条作“毋”。
② 片：大观本草卷之十二木部五加皮条作“斤”。
③ 主：大观本草卷之十二木部五加皮条作“生”。

药性论云：麻子二升，大豆一升，熬令香，捣末蜜丸，日二服，令不饥，耐老益气。子五升研，同叶一握，捣相和，浸三日，去滓，沐发令白发不生，补下瞧，主治渴。又子一升，水三升，煮四五沸，去滓，冷服半升，日二服差。

食疗云：麻子一升，白羊脂七两，蜡五两，白蜜一合，和杵蒸食之，不饥。

博物志云：左元放荒年法，择大豆粗细调匀，必生熟掇之，令有光煖气彻豆，则内先下食一日，以冷水顿服讫，其鱼肉菜果不得复经口，渴即饮水，切不可暖饮，初小困，十数日后，体力壮健，不复思食。

胜仙方：脩制大豆黄末，可以辟谷，度饥岁，然多食令人体重，久则如故矣。

芜菁，仙方亦单服，用水煮三过，令苦味尽，暴乾，捣，苁[1]水服二钱匕，日三，久增服，可以辟谷，发黄下小肠药用之。

孟诜云：取冬瓜仁七升，以绢袋盛之，投三沸汤中，须臾出，暴乾，如此三度止，又与清苦酒渍经一宿，暴乾为末，日服之方寸匕，令人肥悦，明目延年不老。又取子三五升，退去皮，捣为丸，空腹三十丸，令人白净如玉。

三洞要录神仙消金玉浆法：

葱者菜之伯，虽臭而有用，消金玉锡石也。又以冬至日，取葫芦盛葱汁根茎，埋家庭中，到夏至发之尽为水，以渍金玉银青石各三分，自消，取曝令乾如饴糖，休粮，久服神仙。亦曰金浆也。

孟诜云：青粱米，以纯苦酒一斗渍之三日出，百蒸百暴，好里[2]藏之，远行一餐，十日不饥，重餐，四百九十日不饥。又方：以米一斗，赤石脂三斤，合以水渍之令足，相淹置于暖处二三日，上青白衣，捣为丸，如李大，日服三丸，不饥。谨按：灵宝五符经中，白鲜米九蒸九暴，作辟谷粮，此文用青粱米，夫见有别出处，其米微寒，常作饭食之，涩于黄，如白米体性相似。

是斋医方

丹　药

三煆神丹法：　一煆银芽，二煆金芽，非寻常伏火朱砂之比，赵彦正有序言，多不录。

白附子六两　地骨皮三两　川椒三两　枸杞子三两　石苇三两　细辛三两　天茄子三两

右并不事治，杵罗为细末，用磁合子一枚，须是径三寸，围九寸，高四寸，并用大寸，先将药末入合子内，可厚一指以来实筑，然后将颗块朱砂五两，或七两，或十两，蜜拌令匀，以墨染纸裹之，安在合子中心上，更用药末周围实筑至合子口，可留一分，更铺以椒一分满之，又用墨纸一重盖定，生油调蛤粉固合口缝，铁线十字系定，合子用纸筋和胶泥，大率三斤泥一斤沙土相和，如捏塑泥，要不裂也，固济合子周围，可厚一指半，荫乾，平地安定，下不得用物，亦不得作坑，然后以醋拌灰溃定，周回抱了泥了泥合，又周围立倚炭二十斤，并合子上用炭以瓦围束，勿令炭落，上用熟炭一斤，令渐渐生著，至半日通着，直至来日冷，打开合子，取出丹砂，其形块大小轻重都不变，但色紫耳，再用蜜拌如前，三煆成丹，共六十斤炭，此法奇妙，炼时忌鸡犬妇人孝子见，昆仑纸多上墨尤佳。

太素丹：　治停寒肺虚，痰实喘急，咳嗽经久，痰中有血，及疗气虚感冷，脏腑滑泄，脾胃羸弱，不进饮食，此药治一切危困

1. 苁：大观本草卷之二十七菜部芜菁条作"蓯"。
2. 里：大观本草卷之二十五米谷部青粱米条作"裹"。

之疾神效。周彦广侍郎。

炼成钟乳粉一两　真阳起石二钱，新瓦上用熟火煅过，通红为度，去火候冷，研极细

右已上二味，合研令匀，用糯米粽子尖拌和为丸，如鸡头大，临和时入白石脂一钱，须用大盘子不住手转，候八九分坚硬，阴乾，用新粗布以滑石末出光，每服两粒至三粒，空心，人参汤或陈米饮下。

白丹：　李元方。

块子砒霜一两，细研　焰硝二两，细研　白矾三两，细研　寒水石四两，细研

右用烧药罐子一个，盛得十两药者，先用火炙，以生姜汁涂数遍，炙乾，先下砒末在罐子底，按实，次下焰硝末按实，次下白矾末按实，次下寒水石末，盖头填满，罐子上用元瓦儿盖，合口坐在地上，簇炭五斤，发顶火，煅烟尽为度，去火候冷取药，砒最在底，刮令净，尽研极细，砒别研尤好，次入纯白石脂一两，只用好白礬土亦得，同研细如粉，滴水和成剂，于手心内，以数人转手丸，如梧桐子大，先阴乾，或晒或焙，令十分乾，再入新甘锅子内，用圆瓦儿盖合口，坐在砖上，簇炭三斤，一煅通红为度，用钤钤甘锅子，倾丹入一厚磁揲内，如玉霜白，每服一二粒，空心用冷水吞下，以乾物压之。忌温热物少时，有孕不可服。此药如无药罐，只用炼得五十两银甘锅子两个，分药作两处，按实烧亦可。此药太治虚寒，壮脾胃，进饮食，有大效。寒水石南人谓之软石膏。

范忠宣公法炼金液丹：

透明硫黄四两　猪肪脂半斤

右先将硫黄碎为小块子，以沙石铫子炼肪脂成汁，去却筋膜，后下硫黄在内，急以柳枝子搅，才候消，不可炼过，却便下火，先用汤一盏，以新绵罩其上，将所熬硫黄并脂倾在绵上，硫黄沉脂浮，候冷，拨去脂，将凝住硫黄，以皂角汤洗十余遍，候不粘腻，以柳木槌研三五日，细如粉，水浸蒸饼为丸，如梧桐子大，每服三五十丸，米饮下。陈莹中手书中录此方云：颍川范忠宣公家法也。忠宣无问老幼，有病无病，旦旦服之，如嗜茶饭，以其硫黄为脂所制，不留脏腑间，壮气养真，莫甚于此，真仙法也。

太上紫霞丹：　升降阴阳，神仙药也。福州石医。

硫黄四两，细研　针沙四两，罗去细者　五倍子一两，打破

右同用沙锅内以水煮一时，放冷，先拣了五倍子不用，然后淘去针沙，将硫黄用池纸一张，于灰上渗令乾，团作球，用荷叶一枚裹之安地上，以大火煅俟药红，即拦去火，经宿，研令极细，用饭膏和丸，如皂角子大，阴乾，每服一二丸，空心白汤下。此药治气虚头痛如神。

水金丹：　钱观文方。

透明硫黄一斤　轻粉一两

右先将硫黄研令极细，于一斤之内，取研细硫黄一两，与轻粉一两合和，同研一时辰许，别顿一处，先用真蚌粉一十斤，于一片新瓦上，实填瓦口令平，次用银盂子一枚，可盛硫黄末一斤其上者，顿瓦中心，四边用蚌粉紧拥作池子，极要实，然后轻手脱去盂子，将十五两研细硫黄末，用一大匙抄入池子内，次入合和轻粉，硫黄末二两，铺盖顶上，以匙捺令小实，用熟火五斤，就瓦四边煅之，候硫黄成汁，透底造化，硫黄轻粉二气融合，用细蚌粉一大盂，猛罨药池之上，其残火留经宿，直至寒炉取之，已成一斤，刷去蚌粉尽净，研令极细，用面糊为丸，如梧桐子大。治男子妇人，一切虚危固冷，肠滑不禁，腹内缠疼，泻注不已，手足厥逆，饮食生冷，吐泻不止，兼治妇人室女赤白带下，面黄瘦瘦。补暖丹用，壮元阳。每服七粒或十粒，空心人参汤下。

雄朱丹：　治宿寒痼冷，饮食呕逆，经隔五七年，即疲瘠异形，变为劳瘵。钱观文方。

朱砂二两　雄黄二两

右用沙合子一个，先以牡丹皮二两，内外熏令黄色，入前药在内，用酽米醋和，腊茶作饼子，盖定，以赤石脂固合子口缝，又用赤石脂泥裹合子一重，再用黄泥纸筋又裹一重，约一指原，先以草火烧令合子极乾，再用五斤火，渐渐添至一秤，候火力渐消，取出，掘地坑一尺以来，埋一宿，去火毒，取出细研，续入药：

附子炮裂，去皮脐，别为细末　胡椒　官桂去皮　赤石脂　木香　沉香　荜拨　丁香　白术各一两　乳香半两，与赤石脂同研细

右为细末，入前煅药，同研匀，却以清酒二升，三分熬去二分，入附子末，煮成糊为丸，如梧桐子大，每服十丸，温酒盐汤下，空腹食前服。

蜀仙丹：　钱观文方。

辰砂四两，细研，水飞过　杏仁二两，去皮尖，研

右用宣州木瓜二枚，切下盖子，以竹刀斡去穰，先入朱砂，实按，次入杏仁，填满，却以盖子覆之，用竹签定，以生绢袋子裹之，入磁器中蒸一百遍，候数足，取出，刮去木瓜粗皮，一处研细，候可丸即丸，如绿豆大，每服十粒，空心温酒米饮下，大壮元气，去百病。木瓜最忌铁，见铁即不作效。

资寿小金丹：　补益真元，治诸虚不足，上盛下虚，喘急泄泻，手足厥逆，小腹结痛，翻胃脾寒，霍乱呕吐，食不腐化，白浊梦遗，便多盗汗，恍惚虚惊，耳鸣目眩，久痢赤白，肠风痔漏，妇人诸疾，经候不匀，带下崩中，子宫虚冷，久无胎孕，此丹温平不僭，常服镇养心气，滋益精神，轻身延年，活血驻颜。

代赭石一斤　余粮石四两　石中黄二两　赤石脂五两一分

右四味，各研为细末，再秤数足，同入罗三两遍，再匀研细腻，旋旋抄二三匙，入盏中，滴水丸如梧桐子大，急手丸毕，再丸入盘，以光实无皴裂为度。赤石脂性硬，故须旋旋丸之。待阴乾，入新甘锅子内装载，用木炭每排三两行，用炭排十字眼，中放药锅子，再四围聚木炭，以多为佳，自顶放熟火，令慢慢烧下，不得用扇，直至火与药通红，自冷方取出，入乾净磁器中收，每服二粒或三粒，枣汤送下，或米饮下，妇人艾汤，空心食前服。峡州教授王执中，刊一书名既效方云：金丹治疗极多，治疟尤神效。其方代赭石一斤，余粮石减半，赤石脂四两，石中黄四两，同研，滴水丸如梧桐子大，三斤炭，煅尽为度，每服三五粒，空心冷盐水下。又有小金丹，亦治疟，代赭八两火煅醋淬七次，禹余粮六两火煅醋淬七次，赤石脂四两研，石中黄二两研。右滴水丸如梧桐子大，阴乾三四日，于银器中，衮令光滑，用磁罐子盛，炭火六七斤，烧煅通赤，却用盆盛冷水，盆内坐银盂子，倾药在盂内出火毒，每服三五粒，空心温米汤送下，治状与此方略同。

琐碎录

服　食

服黄精法：

凡服黄精，以黄精不拘多少，根茎皆可，细锉阴乾，捣罗为末，每用净水调服，任意多少，一年内即变老为少，气力增倍。昔临川有士人，虐其婢，婢不能堪，逃入山中，饥苦，水边见野草，拔取连根叶食之，自是不饥，身更轻健，能飞腾，后其主问其所食，乃黄精也。

服松脂法：以镇定者为良。细布袋盛，渍水中，沸汤煮之，浮水面者，罩篱掠取，投新水中，久煮不出者，弃不用，入白茯苓末，杵罗为末，每日取三钱匕着口中，用少熟水漱，仍如常法揩齿，更啜少熟水咽之，仍漱口，牢牙注颜。

服玉泉法：杜鼎升服玉泉，去三尸，坚齿发，除百病。玉泉者，舌下两脉津液是也。平旦起坐，瞑目绝虑，叩齿二七通，漱令满口，乃吞之，以意送至脐下气海一七遍，经久自然如流水沥沥下坎涧之声，如此百脉和畅。

脩道功深者，享六甲行厨，凡有所须，举意即至。

进士萧静之，掘地得物，类人手，肥润色微红，烹食之，后遇异人曰：尝食仙药，名肉芝。

韩善服菖蒲十三年，身上生毛。石上一寸九节紫花者。

服术，忌桃李。韩熙载少尝服术，后迁中书侍郎，后主内宴，俱赐侍臣桃李，熙载不得已，食数颗，至夕泻出十数术人，长寸余而卒。

服黑豆，取黑豆紧小而员者，侵晨以井花水吞二七粒，谓之五脏谷，到老视听不衰。李守愚方。

服巴豆法：

一手力啗巴豆如松子，云始用饭一碗，巴豆两介，研和食之，稍如药，凡后渐加巴豆，减饭，久乃纯食巴豆，习啖野葛亦然。吴春乡云。

楮实赤者，饵之一年，老者还少。道士梁项，年七十，服之年一百四十岁。

浮漆不沾者，服之令人通神。

荒年食蜡半斤，支十日饥。

又服黄连得不死。

豆黄只生豆亦得。和松叶食之甚美，可作避地术，烂煮面软煮肉，少饮酒，独自宿。

晨与以钟乳粉入白粥中拌和食之，极益人。

杂　说

枵腹宜读书，醉饱宜独寝。发是血之余，一日一次梳。足是人之底，一夜一次洗。

辟　谷　术

以大米二三合，先炒过了，更熔蜡铫内，再入米炒令蜡乾取出，任便吃之，即数日不饥，如要吃食，捶胡桃两个吃，即便思食。

得　效　方

服　食　法

天门冬酒酿法：

取天门冬，净洗，去心皮，令人利。捣压取汁二斗，清曲二升，曲发以糯米二斗，准家酿法造酒，春夏宜极冷下饭，秋冬温如人肌。此酒初熟味酸，仍作臭泔腥气，但服之久停则香美，余酒皆不及，封四七日佳。凡八月九月，即少少合，至十月多合，拟到来年五月三十日以来，相续服之。春三月亦得合，入四月不得合。服酒时，若再得天门冬，去心皮，曝乾为细末，以上件酒服方寸匕，日三，加至三匕，久服长生，补中益气，愈百病也。治虚劳绝伤，年老衰损，羸瘦，偏枯不随，风湿不仁，冷痹，心腹积聚，恶疮痈疽，肿癞疾重，周身脓坏，鼻柱败烂，服之皮脱虫出，颜色肥白，发黑，齿落再生，入水不濡，二百日后恬泰，疾损拘急者缓，羸劣者强，三百日身轻，三年走及奔马，又三年，心腹痼疾皆去。

肘　后　方

治卒绝粮失食饥惫欲死方

粒食者，生人之所资，数日乏绝，便能致命，本草有不饥之文，而医方莫言斯术者，当以其涉在仙奇之境，非庸俗所能遵故也。遂使荒馑之岁，饿尸横路，良可哀乎！今略

载其易为者云，若脱值奔窜在无人之乡，及堕坠溪谷空井深塚之中，四顾迥绝，无可藉口者，便须饮水服气，其服法如左。

闭口以舌料上下齿，取津液而咽之，一日得三百六十咽，便佳，渐习乃可至千，自然不饥，三五日小疲极，过此便渐轻强。复有食十二时六戊者，诸法恐危逼之地，不能晓方面及时之早晚，故不论此，若有水者，卒无器，便与左手贮祝曰：丞掾吏之赐，真乏粮，正赤黄，行无过，城下，诸医以自防。毕三叩齿，右手指三扣左手，如此三遍，便饮之，后复有杯器贮水尤佳，亦左手执右手以物扣之如法，日服三升，便不复饥，即差。

若可得游涉之地，周行山泽间者，但取松柏叶细切，水服二合，日中二三升便佳。又掘取白茅根，洗净切服之。此三物得行曝燥，石上捣碎服，服者食方寸，辟一日。又有大豆者，取含光明匝热，以水服尽，此则解十日，赤小豆亦佳。得熬二豆黄末，服一二升，辟十日。草中有术、天门冬、麦门冬、黄精、萎蕤、贝母，或生或熟，皆可单食。树木上自耳及檀榆白皮，并可辟饥也。

若遇荒年谷贵，无以充粮，应须药济命者，取稻米一斗，淘汰之，百蒸百暴，捣，日一餐，以水得，三十日都止，则可终身不食，日行三百里。

又方：　粳米一斗，酒三升渍之，出曝之，又渍酒尽止，出稍食之，渴饮之，辟三十日。足一斛二升，辟周年。

方守中丸药法：

其疏诸米豆者，是人间易得易作，且不乖谷气，使质力无减耳。恐肉秽之身，忽然专御药物，或非所堪，若可得频营，则自更按，余所撰谷方中求也。

野人闲话云：伏虎尊师炼松脂法，十斤松脂，五度以水煮过，令苦味尽，取得后，每一斤炼了松脂，入四两茯苓末，每晨水下一刀圭，即终年不食，而复延龄，身轻清爽。

抱朴子云：汉成帝时，猎者于终南山见一人无衣服，身皆生黑毛，跳坑越涧如飞，乃密伺其所在，合围取得，乃是一妇人，问之，言我是秦之宫人，关东贼至，秦王出降，惊走入山，饥无所食，洎欲饿死，有一老公，教我吃松柏叶实，初时苦涩，后稍便吃，遂不复饥，冬不寒，夏不热。此女是秦人，至成帝时，三百余载也。

延　寿　书

神仙救世却老还童真诀

三元之道，所谓地元人元，百二十岁之寿，得其术则得其寿矣。如迷途一呼，万里可彻。然天元六十者，固已失之东隅，能不收之桑榆者乎？归而求之，又将与天地始终，岂止六十而已哉！乔松彭祖，当敛在下风，或曰：此道神仙所秘也，少火方炎，强勉而行，真可一蹴而造仁寿之域，柰之何道不易知也，纵知之亦未易行也。人年八八，卦数已极，汞少铅虚，欲真元之复，殆渴而穿井，不亦晚乎？煮石为粥，曾不足以喻其难，吁！是岂知道也哉！剥不穷则复不返也，阴不极则阳不生也，知是理，可以制是数矣。回真人内景诀曰：天不崩，地不裂，惟人有生死，何也？曰：人昼夜动作施泄，散失元气，不满天寿，至六阳俱尽，即是全阴之人易死也。若遇明师指诀，信心苦求，则虽一百二十岁，犹可还乾，譬如树老用嫩枝再接，方始得活，人老用真气还补，即返老还少。勤修一年，元气添得二两，便应复卦。道书曰：人者，物之灵也，寿本四万三千二百余日，元阳真气本重三百八十四铢，内应乎乾，乾者六阳真而未知动作施泄。迨十五至二十五，施泄不止，气亏四十八铢，存者其应乎姤，加十岁焉。又亏四十八铢，存者其应乎遯，加十

岁焉。又亏四十八铢，存者其应乎否，至此乃天地之中气，又不知所养，加五岁焉。其亏七十二铢，存者其应乎观，加五岁焉。其亏九十六铢，存者其应乎剥，剥之为卦，上九一阳爻而已。仙书曰：有一爻阳气者不死，倘又不知所觉，则元气尽矣。其应乎坤，坤者纯阴也。惟安谷而生，名曰苟寿，当此苟寿之时，而不为延寿之思惑矣。天下无难事也，马自然怕老怕死，有六十四岁，将谓休之叹，汲汲求道，遇刘海蟾传以长生之诀，返老还婴，遂得寿于无穷，彼何人哉！睠之则是时在一觉顷耳。苟能觉之，体大易之，复日积月累，元气充畅，复而临，临而泰，泰而大壮，大壮而央，真精纯粹，乾阳不难复矣。箕畴五福之一，微斯人吾谁与归，虽然，此道天之宝也，有能觉之，天不负道，必将默佑于冥冥中，当遇至人，如刘海蟾者，以尽启其秘，滋补有药，导引有法，还元有图，俱列于左。

滋补有药

孙真人曰：人年四十以后，美药当不离于身。神仙曰：世事不能断绝，妙药不能频服，因兹致患，岁月之久，肉消骨软。彭祖曰：使人丁壮，房室不劳损，莫过麋角也。

麋角末七两，酒浸炙熟　生附子一个，炮熟

右为末，合和，每服方寸匕，酒调日三。

昔城都府，有绿须美颜道士，酣醉酒楼，歌曰：尾闾不禁沧海竭，九转丹砂都谩说，惟有班龙脑上珠，能补玉堂关下血，乃奇方也。今名班龙珠丹。

鹿角霜十两，为末　鹿角胶十两，酒浸数日，煮糊丸药　兔丝子十两，酒浸二宿，蒸，焙　柏子仁十两，净，别研　熟地黄十两，汤洗，清酒浸二宿，蒸，焙，入药用

右末，以胶酒三四升煮糊，杵一二千下，丸如梧子大，食前盐汤，或酒吞下五六十丸。

必用之书

救荒辟谷方

方永宁二年二月十七日，黄门侍郎刘景。

先表言，臣太白山隐士传得此方，臣闻京师米粮大贵，宜以此济之，令人不饥，耳目聪明，颜色光泽。如有诳妄，臣一家甘受邢戮。四季用黑豆五升，净洗后，蒸三遍，晒乾去皮，又用大火麻子三升，汤浸一宿，漉出晒乾，胶水拌晒，去皮淘净，蒸三遍，碓捣，次下豆黄，共为细末，用糯米粥合和成团，如拳大，入甑蒸，从夜至子住火，至寅取出，于磁器内盛，盖不令风乾，每服一二块，但饱为度，不得食一切物，第一顿七日不食，第二顿七七日不食，第三顿三百日不食，容貌佳胜，更不憔悴，渴即研大麻子浆饮，更滋润脏腑。若要重吃物，用葵子三合，杵碎煎汤饮，开导胃脘，以待冲和无损。

休粮方：西岩传邓觉非方。

缩砂　贯众　白芷　茯苓　藿香　甘草

右为细末，煮豆熟，以药末拌却，就锅以黄蜡一两，薄切，掺在豆上令匀，取豆焦乾为度，以数粒通松钗中节食之，令人不饥。

千金麨：周廉访方

蜜二斤　白面六斤　香油二斤　茯苓四两　甘草二两　生姜四两，去皮　乾姜二两，炮

右为细末，拌匀，捣为块，甑内蒸熟，荫乾为末，每服一匙，冷水调下，可待百日，其麨于绢袋盛之，可留十年。

又方：　生服松柏叶、茯苓、骨碎补、杏仁、甘草，捣罗为末，取生叶蘸水衮药末同服，香美。

经验秘方

辟谷法：

白面一斤，黄蜡为油，作煎饼饱食，可百日不饥，欲食服葵菜汤一大盏，即脏腑中传去，葵菜子煎汤亦可。简奇方同。

又方：　大麦面简奇方曲。一斤，白面亦可，白茯苓去皮，为极细末四两，二味用生牛乳和为方寸片子，煮熟饱食，可百日不饥，欲食用葵菜简奇葵子。汤解之。

寿亲养老书

神仙不老丸：　不老仙方功效殊，驻颜全不费工夫，人参牛膝川巴戟，蜀地当归杜仲俱，一味地黄生熟用，兔丝柏子石菖蒲，更添枸杞皮兼子，细末蜜丸梧子如，早午临眠三次服，盐汤温酒任君须，忌餐三白并诸血，能使须乌发亦乌。

人参新罗者，须是团结重实滋润，去芦头，刷洗净，焙乾，薄切，焙燥，秤二两　川牛膝长三四尺而滋润者，去苗，刷洗净，焙乾，寸截，用酒浸一宿，焙燥，秤一两半　川巴戟色黑紫，沉重大而穿心者佳，若色带黄而浮轻者非，刷洗净，焙乾细切刷，酒浸一宿，焙燥，秤二两　川当归大茎其梢如马尾状，滋润辛[①]芬香者，去芦头，刷净洗，焙乾，细切用酒浸一宿，焙燥，秤二两　杜仲截之多丝者，削去粗皮，只取其肉，如取肉桂之法，然后刷洗净，焙乾，横理锉之如豆，用麦麸炒令丝断色黑去麸，别磨，秤一两半　地黄冬节前，取以水浸，沉者为是，以其浮者，捣取汁，浸令浃，蒸毕焙乾，如是者叁，色黑味甘为度，用时以生乾熟二种，焙乾，酒浸一宿漉出，竹刀细切，焙乾，各秤一两，忌铁器　兔丝子小如芥子极坚硬者佳，大而轻者非用，新布缎起，柳[②]洗焙乾，以酒浸一宿，又添酒浸一宿，漉出，将温汤淋去酒，焙燥，别磨，秤二两　柏子仁色红而滋润者，去谷，取仁，称一两，细研，临时和入众药　石菖蒲紧细节密者，去毛刷洗净，焙乾，米泔浸一宿，再焙乾，细切，焙燥，秤一两　枸杞子色白而肥润，去蒂，洗净焙乾，用酒浸一宿，焙乾，秤一两　地骨皮色黄入手轻者佳，重者非，略去浮皮，净洗焙乾，薄切焙乾，秤一两

右十二味，选之贵精，制之如法，不可晒，只用慢火焙，若太燥则又失药气，只八分乾，即于风前略吹，令冷热相激，便十分燥，取净秤分两，磨如细散，炼白蜜，以火日搜和，入木石臼内捣数百杵，丸如梧桐子大，每日空心，手[③]间临卧三次服，每服七十粒，盐酒盐汤任下，忌食葱白、薤白、芦菔、豆粉及藕、诸般血。盖藕能破血，诸血能解药力，若三白误食，亦无它，止令人须发返白耳。合时忌秽触，并妇人孝子鸡犬等见。陈书林晔云：此方非特乌髭发，且大能温养荣卫，补益五脏，和调六腑，滋充百脉，润泽三焦，活血助气，添精实髓，须是节欲，使药力相须，乃见功效之速。

神仙训老丸：　昔有宣徽使，在钟南山路边，见村庄一妇人，年方二八，持杖责一老儿，年约百岁，宣徽驻车令问何故？妇人至车前云：此老儿是妾长男。宣徽怪之，下车问其仔细，妇人云：适来责此长男，为家中自有神药，累训令服不肯服，至令老迈须发如霜，腰曲头低，故责之。宣徽因恳求数服，并方以归，常服延年益寿，气力倍常，齿落再生，发白再黑，颜貌如婴儿。

生乾地黄　熟乾地黄各五两　川椒十两，不去核　牛膝五两，酒浸了为末　大黑豆一升，生用　乾山药五两　雌雄何首乌各十两，雌者白，雄者赤，雄者不碾　肉苁蓉五两　枸杞五两　藁本十两，洗

右将雌何首乌为末，用水瓶内旦辰蒸，日出晒，夜间露，如此九蒸九晒九露数足，焙焦为末，酒糊丸，如梧桐子大，空心，温

① 辛：寿亲养老新书此下有“甘”字。
② 柳：寿亲养老新书作“挪”。
③ 手：寿亲养老新书作“午”。

酒盐汤下，忌萝蔔。此药性温无毒，治百病，补下元，光泽皮肤，婴儿亦可服之。

东坡治脾节饮水说

脾能母养余脏，养生家谓之黄婆，司马子微著天隐子，独教人存黄气，入泥丸，能致长生。太仓公言安谷过期，不安谷不及期，以此知脾胃全固，百疾不生。近见江南一老人，年七十三，状貌气力如四五十人，问其所得，初无异术，但云平生习不饮汤水耳。常人日饮数升，吾日减数合，但只沾唇而已，脾胃恶湿，饮少胃晒[①]，气盛液行，自然不湿，或冒暑远行，亦不念水，此可谓至言不烦。周曼叔此[②]得肿疾，皆以利水药去之，中年以后，一利一衰，岂可数乎？当及今无病时，力养胃气，若土能制水，病何由生？向陈彦升云：少时得此疾，服当归防己之类皆不效，服金液丹，灸脐下乃愈，此亦固胃助阳之意，但火力外物，不如江南老人之术，姜桂辣药，例能胀肺，多为肿媒，不可服。

陈书林云：友人陈昊卿，年六十二，面色光泽，扣之以何道致此？云常时绝不饮汤水，虽羹汁亦少呷。参以坡公之说，方审昊卿之言为信。

饮食用暖

王玠密人尝食道傍，有一老人进言，饮食须用暖，盖脾喜温，不可以冷热犯之，惟暖则冷热之物至脾皆温矣。又因论饮食太冷热，皆伤阴阳之和。晁氏客语。

擦涌泉穴

其穴在足心之上，湿气皆从此入，日夕之间，常以两足赤肉，更次用一手握指，一手磨擦数目[③]，多时觉足心热，即将脚指略略动转，倦则少歇，或令人擦之亦得，终不若自擦为佳。陈书林云：先公每夜常自擦至数千，所以晚年步履轻便。仆性懒，每卧时只令人擦至睡熟即止，亦觉得力。乡人郑彦和，自太府丞出为江东仓，足弱不能陛辞，枢筦黄继道教以此法，逾月即能拜跪。雷人丁邵州致远，病足半年不能下床，遇一道人，亦授此法，久而即愈，今笔于册，用告病者，岂曰小补之哉。

东坡云：杨州有武官侍真者，官于二广十余年，终不染瘴，面色红腻，腰足轻快，初不服药，唯每日五更起坐，两足相向，热磨涌泉穴无数，以汗出为度。欧公平生不信仙佛，笑人行气，晚年云数年来足疮一点，痛不可忍，在[④]人传一法，用之三日，不觉失去，其法重足坐，闭目握固，缩谷道，摇颭为之，两足气球状，气极即休，气平复为之，日七八，得暇即为，乃般运捷法也。文忠痛已即废，若不废，当有益。又与王定国书云：摩脚心法，定国自已行之，更请加工不废，每日饮少酒，调节饮食，常令胃气壮健。涌泉穴在足心陷者中，屈[⑤]宛宛中，足少阴脉所出为井地。

擦肾腧穴

陈书林云：余司药布[⑥]仓部轮差[⑦]诸军，请米受筹，乡人张成之为司农丞监支[⑧]同坐，时冬严寒，余一二刻间，两起便溺，问曰：何频数若此？答曰：天寒自应如是。张云：某不问冬夏，只早晚两次。余谕之曰：有道[⑨]引之术乎？曰：然。余曰：旦夕当北面。因暇专往叩请，荷其口授曰：某先为李文定公家婿，妻弟少年遇人有所得，遂教小诀，临卧时坐于床，垂足解衣闭气，舌柱上颚，目视顶，仍提缩谷道，以手磨擦两肾腧穴各一百二十次，以多为妙，毕即卧，如是三十年，极得力。归禀老人，老人行之旬日，云真是

① 晒：寿亲养老新书作“强”。
② 此：寿亲养老新书作“比”。
③ 目：寿亲养老新书作“百”。
④ 在：寿亲养老新书作“有”。
⑤ 屈：寿亲养老新书此下有“足卷指”。
⑥ 布：寿亲养老新书作“市”。
⑦ 差：寿亲养老新书作“羌”。
⑧ 支：寿亲养老新书作“史”。
⑨ 道：寿亲养老新书作“导”。

奇妙。亦与亲旧中笃信者，数人言之，皆得效。今以告修炼之士云。

服猕荽法

猕荽俗呼火炊草，春生苗叶，秋初有花，秋末结实，近世多有单服者，云甚益元气。蜀人服之法，五月五日，六月六日，九月九日采其叶，去根茎花实，净洗曝乾，入甑中，层层洒酒，与蜜蒸之，如此九过则已，气味极香美，熬捣筛，蜜丸服之，云治肝肾风气，四肢麻痹，骨间疼，腰膝无力。亦能行大肠气。张乖崖咏进表云：谁知至贱之中，乃有殊常之效，臣吃至百服，眼目轻明，至千服，髭鬓乌黑，筋力较健，效验多端。陈书林经验方叙述甚详，疗诸疾患，各有汤使，今人采服，一就秋花成实后，和枝取用，洒酒蒸曝，杵臼中舂为细末，炼蜜为丸以服之。

神效名方

辟谷绝食：　卫生易简方凡远行，水火不便，或修行人欲省缘休粮。

大豆五升，淘净，蒸三遍，去皮，为细末　大麻子五升，汤浸一宿，漉出，蒸三遍，令口开去皮，为细末　糯米五升，淘净，共白茯苓一处蒸熟　白茯苓五两，去皮，同上糯米一处蒸熟为用

右将麻仁末一处捣烂如泥，渐入豆黄末，同和令匀，便团如拳大，再入甑蒸，从初更著火，至半夜住火，至寅时出甑，午时晒乾，捣为末服之，以饱为度，不得吃一切物，用麻子汁下第一顿，一月不饥，第二顿，四十日不饥，第三顿，一千日不饥，第四顿，永不饥，颜睟日增，气力加倍。如渴，饮麻仁汁，转更不渴，滋润五脏。若待吃食时分，用葵菜子三合为末，煎汤放冷服之，取其药如后初间吃三五日，白米稀粥汤，少少吃之三日易简方三五日。后，诸般食饭，无所避忌，此药大忌欲事。

又方：　于[1]苓饼子。

白茯苓四两，为末　头白面一二两

右同调成煎饼，面稀稠，以黄蜡代油爆成煎饼，蜡可用三两，饱食一顿，便绝食，至三日觉难受，卫生易简方难忍。三日后，气力渐生，熟果芝麻汤，米饮凉水微用些小以润肠胃，无令涸竭，开食时，用葵菜汤并米饮稀粥，少少服之。

又方：　保命丹。

人参五两　麻子仁二两，炒，去皮　乾地黄　瓜蒌子炒　兔丝子酒浸。已上各二两　生地黄　干大枣各三两　大豆黄一升，煮去沫　黑附子一两生用，二两炮，去皮　白茯苓　茯神　地骨皮去粗皮　蔓精子煮熟　杏仁去皮尖，炒　麦门冬炒，去心用　地肤子蒸七遍　黍米作粉　粳米作粉　白糯米作粉　天门冬去心　车前子蒸　侧柏叶煮三遍。已上各二两半

右同为细末，各拣选精粹者，腊月内合者妙，他时不可合，日月交蚀不可合，如合时，须拣好日，净室焚香，志心修合，勿令鸡犬妇人见，又将药末，用蜡一斤半，滤去滓，白蜜一斤，共二斤半，一处熔开，和匀，如臼中杵二千下，微入酥油，丸如桐子大，每服十丸，服至五日，如来日服药，隔宿先吃糯米一顿，粳米白面皆可，次日空心，用粳米粥饮送下，如路行人服，遇好食吃[2]□妨，要止便止，如吃些小蒸饼，烂嚼咽，或乾果子，以助药力，不吃更妙，忌盐醋，日后退下药来，于长流水中洗净，再服，可百年不饥。

---

① 于：儒门事亲卷十五辟谷绝食第十八作“茯”。

② 吃：此下脱字，儒门事亲第十五辟谷绝食第十八作“不”。

事林广记

辟谷服饵

济用方论彭祖曰：道不在烦，但能不思声色，不思胜负，不思曲直，不思得失，不思荣辱，心无烦，形勿极，而兼之以导引行气，乃可以长生，千岁不死。倘导引之法未明，行气之诀未悟，但能深穷服食，不惟去谷休粮，亦可延年益寿。神此[1]仙服饵论曰：服饵诸药者，服草木胜金石，金石功速而易生诸疾，性或大温大热，腑胃难久制也。大凡服饵，勿犯色欲，皆能成功，若一欲则发药毒，损元阳，返致疾耳，近观服杏仁者，往往三二年，或泻，或脐中出物，皆不可治。服楮实者，辄成骨软疾，服钟乳、阳起石、硫黄、丹砂、雄黄、附子、乌头之类，多为虚阳发热作疾，服大黄、皂角、牵牛、巴豆、水银、大戟、甘遂之类，虽治风疗积，皆不可多食，为羸败疾。此等虽群药中用，亦不可常服，疗病可耳，常服宜温平补益，日久而见功者皆良。服药当勿服药所畏忌者，及葵菜莼芋滑物，去药势也。疾有坚癖风气，结在腠理，或皮肤，皆可针，分寸如法，腹胸背近肠胃脏腑非上医者当谨之。凡头目手足，胸前鸠尾诸穴，不可灸，有疾勿过七壮，多则损神，足昏忘，少智惠，背勿过二七至三七，脐腹在三十已下，勿过齿年之数。六十以上，虽多无害，盖气壮者，多灸，皆侵夺真气。凡针灸当慎欲，至疾愈，不然无效矣。针灸自有术，此所不载，服饵并济用诸方如左：

神仙服何首乌延年法：

取何首乌根，一名桃柳藤以铜竹刀薄切，米泔浸一宿，曝乾，木杵臼捣末，新瓷器盛之，忌铁器，空心一钱，渐加二钱，酒服。治五痔腰膝之病，冷气心痛，积年劳瘦，痰癖风虚，长筋骨，益精髓，壮气驻颜，黑髭延年，久服令人有子。有疾用茯苓汤下，忌猪羊血无鳞鱼，二四六八偶日服之良。河南祖能嗣，父子服此，俱得遐寿。此药采其头，获九数者，服者乃仙，其中有形如鸟兽山岳之状珍也，掘得去皮，生吃得味甘甜。赞曰：神效助道，著在仙书，雌雄相交，夜合昼疏，服之去谷，日居月诸，返老还少，保安病躯。

神仙服紫荷车休粮法：

取紫荷车一名金钱草。根，以竹刀刮去皮，切作骰子块，曲裹如石莲大，入瓷瓶，煮候约浮，漉出凝冷，入新布袋，当风挂乾，每三丸，五更初，面东念咒，井花水下，连进三服，已试良验。若要饮食，先以黑豆煎汤饮，次以药丸煮稀白粥渐渐饮食。咒曰：乾元亨利贞，二遍日月共吾并，吾今服药愿长生，三尸九虫汝莫惊，服气吞精仙骨成，急急如律令敕。又曰：天朗气清金鸡鸣，吾今服药欲长生，吾今不饥复不渴，须得神仙草自荣。又曰：青帝骑龙，何神不从，速来救护，使吾药通，急急如律令敕。

神仙服兔丝子益元阳法：

兔丝子一升，以酒豆浸良久，漉出，日乾，又浸令酒尽　丁香皮真者，三两半，为末　草豆蔻去皮，二两半，为末

右都入酒内没，春夏七日，秋冬半月，候日数足满，取出，略于温汤内浴过，焙乾，不计时候，嚼下三五粒，同茶下，或酒下亦得。

神仙采紫萍回生起死方：

天生灵草无根干，不在山间不在岸，始因飞絮逐东风，泛梗青青飘水面，神仙一味去沉疴，采时须至七月半，选甚瘫风与大风，铁幞头上也出汗。右世传者曰：东京开河，掘得石碑，梵书无能晓者，有至人林灵素，逐字辩译，乃是治中风方，名去风丹，以紫

① 此：按文义疑无此字。

色者为上，摊于竹篾上，下著水盆，曝之乃乾，研为细末，炼蜜为丸，如弹子大，每服一粒，乌豆淋酒化下，治左瘫右痪，三十六种风，偏正头风，脚手不便，口眼㖞斜，大风癫风，一切无名等风，仍治脚气，并偾扑伤折，及胎孕有伤，服过百粒，即为全人，其方与本草所载高供奉采萍歌，小有异焉。

山居四要

辟谷救荒，用黄蜡炒粳米充饥，食胡桃肉即解。

又方：

杜仲醋炒丝　茯苓　甘草　荆芥

等分为末，糊丸如桐子大，每服数丸，细嚼，即吃草木，可以充肌，止有竹叶恶草不可食。

运化玄枢

孟春之月

养生

其月初一日，饮玉衡星之精，令人悦颜色，壮元气，可得不老。玉衡星精者，乃花椒是也。

其日取枸杞菜，煮汤沐浴，令人光泽，不病不老。

春三月，每朝梳头一二百梳，至夜须荡热盐汤一盆，从膝下洗至足方卧，以通泄风毒脚气，勿令壅滞。

春三月，戊辰日，宜炼丹。

春三月，夜卧早起，凡卧，欲得头向东，所利益。

春三月，饮酒茹葱，以通五脏，忌生葱。

春七十二日，省酸增甘，以养脾气。

寅日，烧白发吉。

服食

其月取商陆根三十斤，净洗，粗切长二寸许，勿令见风，绢囊盛，悬屋北六日，阴乾为末，清旦用水服方寸匕，服十日，目见鬼神，六十日，能役使鬼神，八十日，能见百里，百日，登风履云，久服成仙。一法于初五日取商陆根细切，以玄水渍之三日，阴乾为末，服方寸匕，玄水服之，日三次，百日尸虫尽下出，如人壮，乃于旷野醮埋之。祝曰：伏尸属地，惟我属天，天地悬隔，我为上仙。无复回顾而还，忌一日血肉辛菜等物。玄水者，墨水也。二月亦可采服。

其月采黄精，服之轻身。

其月采术，蒸曝九次，候乾为末，日三次，酒服方寸匕，不饥，延年益寿。

元日不可脱绵衣，宜食仙粥，凡粥有三等，一曰地黄粥，以补虚，取地黄四两，捣取汁，候粥半熟即下，以绵裹椒一百粒，生姜一片，投粥中，候熟出之，下羊肾一具，去脂膜，细切如韭叶大，加少盐食。二曰防风，能去四肢风，二大分，煮取汁作粥。三曰紫苏，能去滞气，取紫苏子熬令黄香，以水研，滤取汁，作粥食，大能顺气。

春宜服小续命汤五剂，诸补散各一剂，百病不生。

仲春之月

养生

其月采术，蒸曝九次，候乾为末，三次，酒服方寸匕，不饥，延年益寿。

初二日采枸杞，煎汤沐浴，令人光泽多寿。

初六日沐浴斋戒，宜蒙天福，黄昏时沐浴，令人轻健，初八日同。

服食

其月取百合根，曝乾，捣作曲，细筛，能益人。

其月晴日，取山药，洗去土，以刀刮去黑皮，及第二重白皮，将山药于净纸上，置筛中晒，至夜收，于纸笼内，著微火养之，至次日晒乾为度，如未乾，天色阴，即火焙，便为乾山药，入丸散用。其第二重白皮，依前别晒，焙取为面，大能补益，三月亦可。

季春之月

养生

其月末，一十八日，省甘增咸，以养肾气。

初三日，取枸杞菜煎汤沐浴，令人光泽不老。

其日取桃花末收之，至七月七日，取乌鸡血和涂面及身上，二三日后，肌白如玉。

其日取桃叶捣取汁七升，以醋一升，同煎至五六分，服之尸虫俱下。桃根亦可。

初六日夜沐浴，令人无厄。

其日申时洗头，令人利官，身体光泽。

初七平旦沐浴，及日暮时浴，并招财延生。

二十七日，宜沐浴，令人神清气爽。

服食

其月宜造松花酒，用糯米一斗，淘百遍蒸之，摊冷，入神曲五两，酿酒候熟，每酒一升，入松蘗如鼠尾者三两枝，细锉，以绢袋盛之，投于酒中，至五日后，每服三合，日三服，久则成仙。

其月入衡山之阴，取不见日月松柏，炼而服之，能遇仙，服之百日，耐寒暑，二百日，五脏补益，服之五年，即见西王母。

其月采商陆如人形者，阴乾为末，用面十斤，米三斗，天门冬末一升，酿酒，每日服之，使人通神，令人不老长生，去三虫，治百病，诸毒不能伤。

孟夏之月

养生

初八日，取枸杞煎汤沐浴，令人光泽，不病耐老。

初九日，日暮时沐浴，令人长命。

十六日，宜食补肾助肺之物，调和胃气，无失其时。

夏三月，丁巳、戊申、己巳、丑未辰日宜炼丹。

夏三月，毒朝，空心吃小葱头酒，令血气通畅。

夏三月，有患风毒脚气者，因肾虚而得，人生命门，属于右肾，夏月肾气衰绝，若房色过度，即伤元气而损寿，宜戒之，当服补剂。

夏三月，宜用五枝汤澡浴讫，以香粉付身，能除瘴毒，疏风气，活血脉。其方用桑枝、槐枝、楮枝、柳枝、桃枝各一握，麻叶二斤。右件六味，以水一石；煎至八斗许，去滓温浴，一日一次。其付身香粉方：粟米一斤作粉，如无粟米，以蛤粉代之，青木香、麻黄根、附子炮裂，甘松、藿香、零陵香、牡蛎，已上各一两。右件八味，杵罗为末，以生绢袋盛之，浴毕付身。

服食

四月十六日，阴气入，藏于五内，宜服附子汤。其方用附子一枚，炮令焦为末，分作三服，以生姜一片，用水一升，煎取五合，明早空心服，少年及热疾者不可服。

夏三月，宜食苦荬菜，能益心。

夏七十二日，省苦增辛，以养肺气。

仲夏之月

养生

初一日，取枸杞菜煎汤沐浴，令人光泽，不病不老，午时亦可。

服食

初五日，蓄采众药，以蠲除毒气。

其日日中，饮菖蒲酒，入雄黄于内，谓之辟除诸疾，而禁断百虫。

二十七日，宜服五味子汤。其方取五味

子一大合，以杵臼捣之，置小瓶中，以百沸汤，入蜜少许，即封其口，置火边良久乃服。生津液，止烦渴。

夏至一阴生，宜服饵硫黄，以折阴气。

季夏之月

养生

初一日沐浴，令人去疾禳灾。

二十七日，食时沐浴，令人轻健。

其日取枸杞煎汤沐浴，令人光泽，不病不老。

孟秋之月

立秋日，人未动时，汲井花水，长幼皆饮之，能除病。

养生

秋三月，戊戌、己亥、庚子、辛亥日宜炼丹。

秋三月，宜早卧早起，与鸡晨俱兴。

其月宜足脑俱冻，不宜戴毡暖之帽，以取神气清爽。

十五日取赤浮萍，用筲箕盛之，放水桶上，晒乾为末，遇冬，雪寒水调三钱服。又用汉椒末拌浮萍末擦身上，热不畏寒。

二十五日沐浴，令人长寿。

服食

初七日采松子，和松脂治服之，日服三四次，百日身轻，行三百里，绝谷，服之升仙。

其日取赤小豆，男吞七粒，女吞二七粒，令人举岁无病。

仲秋之月

养生

初八日取枸杞煎汤沐浴，令人光泽，不病不老。

服食

其月采楮实，水浸去皮瓤，取子晒乾，修道者服其实，轻身。

其月宜增酸减辛，以养肝气，无令极饱。

其月宜合三勒浆，非此月则不佳矣。其法用诃梨勒、毗梨勒、庵摩勒，以上并和核，用各三两，捣如麻豆大，用蜜一斗，以新汲水二斗，熟调，投瓮中，即下三勒末，熟搅，数重纸密封三四日开，更搅，以乾净帛拭去汗，候发定即止，密封瓮口，此月一日合，候三十日即成，味至甘美，饮之消食下气。

其月可食韭，可食露葵。

季秋之月

养生

其月肝脏气微，肺金用事，宜增酸以益肝气，助筋血，以及其时。

其月未一十八日，省甘增咸，以养胃气。

二十日，宜斋戒沐浴，净念，必得吉事，天祐人福。

二十一日，取枸杞煎汤沐浴，令人光泽，不病不老。

二十八日，阳气未伏，阴气既衰，宜沐浴，可服夹衣，进补养之药。

服食

其月采术，蒸曝九次，候乾为末，日三次，酒服方寸匕，不饥，延年益寿。

初九日采菊花，与茯苓、松柏脂丸服，令人不老。

其日宜登高，佩茱萸，饮菊花酒，禳免凶灾，吉昌寿福。

孟冬之月

养生

其月宜服寒衣，夜伸足卧，则一身俱暖。

冬三月，戊寅、己卯、癸酉、未戌，及壬丙戊丁亥土戊癸辛己日，宜炼丹。

冬三月，宜足暖，不宜戴帽，要冻其脑，则无眩晕之疾。

冬三月，早卧晚起，待日光必佳，天晓使至温畅，无泄大汗，勿犯冰冻，温养神气，无令邪气外至。

十四日，取枸杞煎汤沐浴，令人光泽，不病不老。

十八日，鸡初鸣时沐浴，令人长寿。

冬七十二日，省咸增甘，以养心气。

服食

上亥日，面东，采枸杞子二升，取生地黄汁三升，以好酒二升，于磁瓶内浸三十一日取出，研令匀，以纸封其瓶口，更浸，候至立春前三日开，逐日空心饮一极，至立春后，髭鬓变黑，补益精气。服之耐老，轻身无比。

上巳日，采经霜未落槐子，服之去百病，长生通神。

仲冬之月

养生

初十日，取枸杞菜煎汤沐浴，令人光泽，不病不老。

十五日，夜半时沐浴令，人不忧畏。

冬至日一阳方生，省言语，宜养元气，勿劳其体。

服食

其月采术，蒸曝九次，候乾为末，日三次，酒服方寸匕，不饥，延年益寿。

其月可服补药，不可服太热之药，宜早食，不宜食隔宿之肉。

冬至日，取葫芦盛葱汁根茎埋于庭中，到夏至发之，尽为末，以溃金玉银青石各三分，曝令乾如饧，久服可休粮，仙家名金玉浆。

季冬之月

养生

其月去冻就温，勿泄皮肤大汗，以助胃气，勿甚太暖，勿犯大雪，是月肺藏气微，肾藏方王，可减咸服苦，以养其神，宜小宣，不欲全补。是月众阳息，水气独行，慎邪风，勿伤筋骨，勿妄针刺，以其血涩，津液不行。

其月末一十八日，省甘增咸，以养肾气。

除日取枸杞煎汤沐浴，令人光泽，不病不老。去交[1]。

服食

其月采术，蒸曝九次，候乾为末，日三次，酒服方寸匕，不饥，延年益寿。

寿域神方

保养遐龄部

延年药十三条，大概固真气，使其不老，如能常服，药力所到，气血自旺，阴阳必兴。恐一时恃具药力之神，不能禁忌，交感精泄，以败真气，切宜忌之。若能持守，以保遐龄，永为地仙矣。

治一切虚冷，除百病，生精神，强志意，利耳目，轻身延年，用黄精阴乾为末，每日以净水调服，任意多少，一年变老为少。卫生易简方同。

一方：　鸡头实三合，煮熟去壳，研如膏，入糯米一合，煮粥，空心食之，频服，甚益精气。卫生易简方同。

一方：　三四月间，深山采松花、松叶、柏叶，俱要新生嫩者，长二三寸者佳，阴乾为末，蜜丸如小豆大，每日东方日将出时，烧香向东，手持药八十一丸，以温酒送下。咒曰：神仙真药，体合自然，服药入腹，天地齐年。服之可以却老延年。

一方：　用苍术酒浸，焙乾五两，川椒去子，炒取末四两，白茯苓三两，川乌炮去皮脐、茴香盐炒，甘草去皮炙，枸杞子各二两，木香五钱，为末，炼蜜丸如梧桐子大，每服八十一丸，空心温酒送下，以乾物压之，当服壮筋骨延年。

一方：　用木香五钱，当归、虎骨酥炙、

(1) 去交：本草纲目卷三十六木部枸杞条无此二字。

杜仲炒去丝、肉苁蓉酒浸、葫芦巴炒、五味子、白芷、鹿茸各一两，为末，蜜丸如梧桐子大，每服三十丸，空心温酒或盐汤送下。　卫生易简方又云：治男妇诸虚不足，身体衰弱，常服壮筋骨，添精神，增气力，寒暑不能侵，邪梦不能入。

一方：　常用刷牙药，青盐、细辛、甘松、猪牙皂角、三奈、卫生易简方三赖。木贼、槐角子、石膏各一钱，焦馒头灰半两，共为末，蘸擦，保固肾气，以培寿根。

一方：　春甲乙日采枸杞叶，夏丙丁日采花，秋庚辛日采子，冬壬癸日采根皮，共为末，以桑椹子汁为丸，如梧桐子大，每服五十丸，汤酒任下。卫生易简方茶酒任下。

一方：　用犍牛髓、炼蜜各三升，卫生易简方三斤。胡桃五十个去膜，杏仁去皮尖、人参各四两，五味子一两，生熟地黄各半两，俱研细，置磁器中封固，煮一伏时收贮，每日空心，酒服一匙。

一方：　凡修道之人于山谷间，皆有辟谷之法，恐一时于庵中，人供送饮食不到，故用松叶细切，日服一合，常服使人不老，身体生毛，毛皆绿色，长数寸，身香少睡，不饥不渴，可以绝谷。若能常服，轻身益气，却病延年。卫生易简方同。

一方：　用铁脚凤尾草，同黑豆蒸熟，拣去草，每食五七粒，终日自然忘食。卫生易简方同。可服松柏，而寿益坚矣。

一方：　用苍术、枸杞子、桑椹子皆为末，白蜜各四两，四味共一斤，和如稀糊，贮于磁盆内，用纸封固，昼取日精，夜取月华，晒露四十九日，为丸如梧子大，每服二三十丸，酒下，可以不老。昔咸阳老妇得此方食之，三百岁尤健。

卫生易简方

颐　生

治人一切虚冷，除百病，生精神，强志意，利耳目，轻身延年，用白茯苓去皮，酒浸五十[1]日，漉出为末，每服三钱，日二服，或炼蜜丸如桐子大，每服二三十丸，汤酒水任下。

又方：　用桑椹子热[2]时收之，日乾为末，炼蜜丸如桐子大，空心酒下四五十丸，长服之良。

又方：　用菟丝子一斤，酒浸十日，水淘，焙乾为末，杜仲半斤，蜜炙黄捣，以薯蓣末酒煮为糊丸，如桐子大，空心酒服五十丸。

又方：　用胡桃煅熟，去壳膜，与破故纸等分为末，炼蜜丸如桐子大，空心酒服三十丸，大补下元虚冷。

又方：　用晋枣煮去皮核、桂心、白瓜仁、松树皮为末，共捣丸，如桐子大，每服二三十丸，久服身香，并衣亦香。

又方：　用胡麻三升，蒸熟，曝乾为末，以蜜三斤，和熬得所丸之，常服和五脏，润肺气。

又方：　用紫苏子、高良姜、陈皮等分为末，炼蜜丸如桐子大，空心服一二十丸，令人肥白，身香，能下一切冷气、脚湿风[3]，破癥结，消痰饮，止喘嗽，润心肺，疗呕吐反胃，补虚劳，调中顺气，益五脏，利大小便。

又方：　用乾莲肉一井[4]，慢火炒熟，捣罗为末，粉草四两去皮，炙焦为末，和匀，每日清晨调一匙服。

又方：　用莲肉去皮心，茯苓去皮，捣细，水漾去筋，各以好酒拌蒸过，再捣细，

① 五十：卫生易简方作“十五”。
② 热：卫生易简方作“熟”。
③ 风：卫生易简方作“气”。
④ 井：卫生易简方作“升”。

炼蜜丸如弹子大，每服一丸，细嚼酒下，常服。

又方：　用白茯苓二斤，何首乌一斤，不经铜铁，川椒去目炒、甘草炙，各三两，俱令碾为末，炼蜜与前药等分，就热和匀，以瓷器盛贮，每日清晨用一匙，好酒调服。一用加大枣一斤加入。

又方：　用枸杞苗叶皮子，春名末[①]精苗，夏名却老叶，秋名枸杞子，冬名地骨皮，各依时采取四两，共一斤；苍术名金锁龙牙，洗去皮，一斤；桑椹子名锦绣龙牙，去苗，子一斤，取汁；蜂蜜名百花龙牙。先将前药为末，用新瓦盆一个，倾椹汁在内，和搅药匀，以新绵覆之，置高处，勿令经两[②]，用日精月华，煎乾，取出为末，炼蜜和丸，如弹子大，每服一丸，细嚼，空心温酒送下，薄荷汤亦得，日进三服，久则返老还童，耳目聪明，身体强健，红白如桃李花色，服至二年，冬暖夏凉，百病消除，寒暑不侵，及有患双目失明者，服此二年，两目皆明，视物加故。又有患大风疾者，服此一年，身轻光泽，强健如前，精神加倍。

又方：　用苍术四斤，米泔浸软，竹刀刮去皮，切作片。内一斤，用椒三两炒黄去椒；一斤用盐三两炒黄去盐；一斤好醋一升；一斤好酒一升，各煮令乾。何首乌二斤，米泔浸软，竹刀刮去皮，切作片，用瓦甑先铺黑豆三升，乾枣二升，上放何首乌，更铺枣二升，豆三升，以炊巾盖覆，用盆合定，候蒸至枣香熟取出，不用豆枣。地骨皮去粗二斤，于石臼内，捣为末，用桑椹汁和软，瓷盆内按平，上更用椹汁高药三指，以纱绵帛覆护，昼取太阳，夜取太阴，候乾，再捣为末，蜜丸如桐子大，空心温酒下六十丸。忌五辛之物。治一切诸风，常服乌髭红颜，明目延年。

又方：　用松柏，当以三四月采新生松叶，可长三四寸许，并花蕊，阴乾为末；松[③]叶取深山中当年新生，可长二三寸者，阴乾为末，用白蜜和丸，如小豆大，常以月一十五日日未出时烧香东向，手持药八十一丸，以酒送下，服一年，延十年命，服二年，延二十年命。欲长肌肉，加大麻巨胜；欲心力壮健，加茯苓、人参。此药去百病，益元气，添五脏六腑，清明耳目，强壮不衰，延年益寿。用七月七日露水丸之更佳。服乃咒曰：神倦真药，体合自然，服药入腹，天地齐年。咒讫服药，断诸杂肉五辛，切忌慎之。

又方：　用苍术酒浸焙乾五两，川椒去目与闭口者炒取末四两，白茯苓去皮三两，川乌炮去皮尖脐、北茴香盐炒、粉草去皮炙、枸杞子各二两，木香五钱，为末，炼蜜丸如桐子大，每服三五十丸，空心温酒送下，以乾物压之。此药延年益寿，添精补体[④]，乌髭发，牢牙齿，强筋骨，壮气血，固元虚，明耳目，返老还少。冬月服之，手心与腮面如噀血，行步轻便。老人服之，精神壮健。后生服之，别有奇功，不可尽述。服药一月，即见其验，老年服至十日，便不夜起。服此药者，不可以药力恣逞房事，忌黑牛肉、鹌鸽、雀肉、桃李，恐减药力，保而敬之，不热不燥，无金石飞走之味。宋时官家，尤多服之，或名玉桂杖[⑤]，或名仙灵丹，或名延寿丹，或名玄灵丹，后有老人服此一月，耳目聪明，头白再黑，颜如处女，七十之上，复生一子，乃效验也，不可轻忽。

又方：　用苍术四两，一两酒浸，一两醋浸，一两泔浸，一两盐浸，各一宿，葫芦芭、破故纸各一两，俱酒浸一宿，覆盆子二钱，茴香一钱，肥新者川楝子一两，木香半两，山药、川山甲酥炙、地龙去土、茯苓去皮、枸杞子、牛膝酒浸一宿，各三钱，寿域神方各二钱。晒乾为末，无灰酒打糊丸，丸如桐[⑥]

---

① 未：卫生易简方作“禾”。
② 两：卫生易简方作“雨”。
③ 松：卫生易简方作“柏”。
④ 体：卫生易简方作“髓”。
⑤ 各玉桂杖：卫生易简方作“名玉柱杖”。
⑥ 桐：卫生易简方此下有“子”字。

大，每服三五十丸，温酒送下，盐汤亦可，神方此下云：服之固元神，助胃气。空心服，乾物压之，仍行百步，使药力行，日进二服。此药不用金石，性不燥热，不伤五脏，全凭制度，得水火既济之术，夺丹砂烧炼之功，大开脾胃，能进饮食，而脾属土，乃五行之主，一失调养，则五脏俱虚，百病由此而生。其药益精髓，补肾经，固元阳，轻腰脚，安五脏，通九窍，令耳目聪明，悦颜容，乌发鬓，坚牙齿，至老书细字，延年益寿，乃仙家之良剂，平补大有功效。

又有用白茯苓去皮、远志去心、官桂去粗皮、牛膝酒浸三日、大枣蒸、黄精蒸各三两，蛇床子二两，熟地黄一两，酒浸三日，为末，炼蜜丸如桐子大，每服三十丸，空心茴香汤下，乾物压之。忌萝蔔、青菜、猪、羊、鱼、羶之物。

又方：　用白芷、桂心、甘菊、巨胜子、白茯苓、旋覆花各半两，荜澄茄、牛膝酒浸、覆盆子、莲肉各一两，为末，醋糊丸，如桐子大，每服五[①]十丸，温酒送下，至晚再服二十丸，一月发白转黑，明耳目，壮筋骨，补元气，阴阳不衰，添精髓，旺颜色，大有效验。亦治五劳七伤。

又方：　猪牙皂角及生姜，西国升麻及地黄，水[②]律旱莲槐角子，细辛荷带[③]用相当，青盐等分同烧煅，研细将来用最良，明目牢牙鬓鬓黑，谁知世上有仙方。

又方：　蜣[④]嗟髭鬓白如霜，要黑元来有异方，不用擦牙并染发，都来五味配阴阳，赤石脂与川椒炒，辰砂一味最为良，茯神能养心中血，乳香分两要相当，枣肉为丸桐子大，空心温酒十五双，十服之后君休摘，管教华发黑加[⑤]光，兼能明目并延寿，老翁变作少年郎。每料各一两，无老少皆可服。

又方：　乾洗头药，用香白芷、零陆香、甘松、滑石，等分为末，掺于发内梳篦。

辟　谷

凡远行水火不便，或修行人欲省缘休粮，用黄耆、赤石脂、龙骨各三钱，防风半钱，乌头四钱炮，于石臼内捣一千杵，炼蜜丸如弹子大，要行远路，饱吃饭一顿，服一丸，可行五百里，二丸可行一千里。

又方：　用乳香金箔六个，定粉、银珠、木香、松脂、白茯苓、雄黄、赤石脂、黄蜡、真珠、辰砂、白沙蜜各二钱，先将蜜、蜡、松脂于银石器内熔作汁，银铛[⑥]搅和前药末匀，就热丸作二十丸，以蜜器收贮，用时先吃白面一饱，待腹中净，用乳香指头大，煎汤一盏，送一丸下，勿食他物。

又方：　用茯苓末十两，乾姜、甘草、生姜各二两，香油四两，炼熟白面二斤，黄米粉二斤，总和为团，甑上蒸过，阴乾为末，夏月日每服一匙，新水调下亦可，以助前药。

又方：　用甘菊、茯苓、黄蜡、松脂、蜂蜜等分，先炼蜜，次下药，搅匀，丸如弹子大，每服一丸，不拘汤下。

又方：　用白茯苓去皮、定粉、黄丹、白松脂、白沙蜜、黄蜡各二两，朱砂三钱，金箔二十个，水银三钱，先将蜜、蜡、松脂于净瓷碗内熔为汁，倾药在内，以木匙搅匀，候温就火，丸如指头大，用水银为衣。有死水银法，先洗手净，用水银三两，点在午[⑦]心内，以指头研如泥，见手心青色，将药三五丸搓揉后，以金箔约量摊碗内，以药丸在内摇动，使金箔都在药上，密器收贮，服时用乳香末半钱，水三小盏，煎温送下，不嚼破。服后第三日觉饥，以面和白茯苓末，烙成煎饼，食半饱已后，药在丹田，永不饥渴，久则交过五脏，阴滓俱尽，长生不死。诸人得服，并无所忌，使人添气力，悦容颜，身轻

---

① 五：卫生易简方作“三”。
② 水：卫生易简方作“木”。
③ 带：卫生易简方作“蒂”。
④ 蜣：卫生易简方作“堪”。
⑤ 加：卫生易简方作“如”。
⑥ 铛：卫生易简方作“匙”。
⑦ 午：卫生易简方作“手”。

体健，百病皆除，救贫拔苦，实济世之良方，长生之妙法。其间若欲饮食，俱不妨事，但七日之内吃食，药必随下至半月，药在丹田，水不出矣。服时面东，持药念咒一遍，吹在药上，如此七遍毕，以乳香汤送下。咒曰：天清地宁，至神至灵，三皇助我，六甲护形，去除百病，使我长生，清清净净，心为甲庚，左招南斗，右招七星，吾令立化，与天齐生，吾奉太上老君，急急如律令。

又方：　用青粱米醋一斗，渍三日，百蒸百曝，藏之远行，一餐十日不饥，重餐四百九十日不饥。

又方：　用米一升，赤石脂三斤，水淹渍足，置于暖处，二三日上青白衣，捣为丸，如李大，日服三丸不饥。

又方：　用紫丁香，一名石芝，为末，常服永不饥渴，益气延年。

又方：　用大米二三合，炒过，以黄蜡二两，熔铫内，再入米炒令蜡乾取出，任便食之，即数日不饥，如要吃食，以胡桃肉二个嚼下，即便思食。

养性门七

养性禁忌

金匮方

凡肝脏自不可轻啖，自死者弥甚。

凡心皆为神识所舍，勿食之，使人来生复其报对矣。

凡肉及肝，落地不著尘土者，不可食之。

猪肉落水浮者，不可食。

诸肉及鱼，若狗不食，鸟不啄者，不可食。

诸肉不乾，火炙不动，见水自动者，不可食之。

肉中有如朱点者，不可食之。

六畜肉热血不断者，不可食之。

父母及身本命肉，食之令人神魂不安。

食肥肉及热羹，不得饮冷水。

诸五脏及鱼，投地尘土不污者，不可食之。

秽饭、馁肉、臭鱼，食之皆伤人。

自死肉，口闭者，不可食之。

六畜自死，皆疫死，则有毒，不可食之。

兽千金月令作野兽。自死，北首及伏地者，食之杀人。

食生肉，饱饮乳，变成白虫。一作血蛊。

疫死牛肉，食之令病洞下，亦致坚积，宜利药下之。

脯脏朱[1]瓮中，有毒，及经夏食之，发肾病。

马脚无夜眼者，不可食之。

食酸马肉，不饮酒，则杀人。

马肉不可热食，伤人心。

马鞍下肉，食之杀人。

白马黑头者，不可食之。

白马青蹄者，不可食之。

马肉、狍肉共食，饱醉卧，大忌。

驴、马肉合猪肉食之，成霍乱。

马肝及毛，不可妄食，中毒害人。

疫死牛，或目赤，或黄，食之大忌。

牛肉共猪肉食之，必作寸白虫。

青牛肠，不可合犬肉食之。

牛肺从三月至五月，其中有虫如马尾，割去勿食，食则损人。

牛、羊猪肉，皆不得以楮木、桑木蒸炙，食之令人腹内生虫。

啖蛇牛肉杀人，何以知之？啖蛇者，毛发向后顺者是也。

羊肉，其有宿热者，不可食之。

羊肉不可共生鱼、酪食之，害人。

羊蹄甲中有珠子白者，名羊悬筋，食之令之[2]癫。

白羊黑头，食其脑，作肠痈。

羊肝共生椒食之，破人五脏。

猪肉共羊肝和食之，令人心闷。

猪肉以生胡荽同食，烂人脐。

猪脂不可合梅子食之。

猪肉和葵食之，少气。

鹿人不可和蒲白作羹，食之发恶疮。

---

① 朱：金匮作“米”。

② 之：金匮作“人”。

麋脂及梅李子，若妊妇食之，令子青盲，男子伤精。

獐肉不可合煆[1]及生菜、梅、李果食之，皆病人。

痼疾人不可食熊肉，令终身不愈。

白犬自死，不出舌者，食之害人。

食狗鼠余，令人发瘘疮。

鱼头正白如连珠至脊上，食之杀人。

鱼头中无腮者，不可食之，杀人。

鱼无肠胆者，不可食之，三年阴不起，女子绝生。

鱼头似有角者，不可食之。

鱼目合者，不可食之。

六甲日，勿食鳞甲之物。

鱼不可合鸡肉食之。

鱼不得合鸬鹚肉食之。

鲤鱼鲊，不可合小豆藿食之，其子不可合猪肝食之，害人。

鲤鱼不可合犬肉食之。

鲫鱼不可合猴雉肉食之，一云 不可合猪肝食。

鳢鱼合鹿肉生食，令人筋甲缩。

青鱼鲊不可合生葫荽及生葵并麦中圣惠方麦酱。食之。

鳝鳝不可合白犬血食之。

龟肉不可合酒果子食之。

鳖目凹陷者，及厌下有王字形者，不可食之，其肉不得合鸡鸭子食之。

龟、鳖肉不可合苋菜食之。

鰕无须，及腹下通黑，煮之反白者，可不[2]食之。

食脍，饮乳酪，令人腹中生虫为瘕。

蟹目相向，足斑目赤者，不可食之。

凡蟹未遇霜，多毒，其熟者乃可食之。

蜘蛛落食中，有毒，勿食之。

凡蜂、蝇、虫、蚁等，多集食上，食之致瘘。

果子生食，生疮。

果子落地经宿，虫蚁食之者，人大忌食之。

生米停留多日，有损处，食之伤人。

桃子多食，令人热，仍不得入水浴，令人病淋沥热寒[3]病。

杏酪不熟，伤人。

梅多食，坏人齿。

李不可多食，令人胪胀。

林檎不可多食，令人百脉弱。

橘柚多食，令人口爽，不知五味。

梨不可多食，令人寒中，金疮、产妇，亦不宜食。

樱桃、杏，多食伤筋骨。

安石榴不可多食，损人肺。

胡桃不可多食，令人动痰饮。

生枣多食，令人热渴气胀。寒热羸瘦者，弥不可食，伤人。

木耳赤色及仰生者，勿食。

菌仰卷及赤色者，不可食。

正月勿食生葱，令人面生游风。

二月勿食蓼，伤人肾。

三月勿食小蒜，伤人志性。

四月、八月勿食胡荽，伤人神。

五月勿食韭，令人乏气力。

五月五日勿食一切生菜，发百病。

六月、七月勿食茱萸，伤神气。

八月、九月勿食姜，伤人神。

十月勿食椒，损人心，伤心脉。

十一月、十二月勿食薤，令人多涕唾。

四季勿食生葵，令人饮食不化，发百病。

韭[4]但食中，药中皆不可用，深宜慎之。

夜食生菜，不利人。

十月勿食被霜生菜，令人面无光，目涩，心痛腰疼，或发心疟。疟发时，手足十指爪皆青，困委。

① 煆：金匮作“虾”。

② 可不：金匮作“不可”。

③ 热寒：金匮作“寒热”。

④ 韭：金匮作“非”。

葱、韭初生芽者，食之伤人心气。

饮白酒，食生韭，令人病增。

生葱不可共蜜食之，杀人。独颗蒜弥忌。

枣合生葱食之，令人病。

生葱和雄鸡、雉、白犬肉食之，令人七窍经年流血。

食糖、蜜后四日内，食生葱、韭，令人心痛。

夜食诸姜、蒜、葱等，伤人心。

芜菁根多食，令人气胀。

薤不可共牛肉作羹食之，成瘕病，韭亦然。

苦多病，动痔疾。

野苣不可同蜜食之，作内痔。

白苣不可共酪同食，作蜃虫。

黄瓜食之，发热病。

葵心不可食，伤人；叶尤冷，黄背赤茎者，勿食之。

胡荽久食之，令人多忘。

病人不可食胡荽及黄花菜①。

芋不可多食，动病。

妊妇食姜，令子余指。

蓼多食，发心痛。

蓼和生鱼食之，令人夺气，阴咳疼痛。

芥菜② 不可共兔肉食之，成恶邪病。

小蒜多食，伤人心力。

扁豆，寒热者不可食之。

久食小豆，令人枯燥。

食大豆屑③，忌啖猪肉。

大麦久食，令人作癣。

白黍米不可同饴蜜食，亦不可合葵食之。

菽④麦面多食之，令人发落。

盐多食，伤人肺。

食冷物，冰人齿。

食热物，勿饮冷水。

饮酒，食生苍耳，令人心痛。

夏月大醉汗流，不得冷水洗著身，及使扇，即成病。

饮酒，大忌灸腹背，令人肠结。

醉后勿饱食，发寒热。

饮酒食猪肉，卧秫稻穰中，则发黄。

食饴，多饮酒，大忌。

凡水及酒，照见人影动者，不可饮之。

醋合酪食之，令人血瘕。

食白米粥，勿食生苍耳，成走症。

食甜粥已，食盐即吐。

犀角筋搅饮食，沫出，及浇地坟起者，食之杀人。

礬⑤石，生入腹，破人心肝，亦禁水。

商陆，以水服，杀人。

葶苈子，传头疮，药成入脑，杀人。

水银入人耳，及六畜等，皆死，以金银著耳边，水银则吐。

苦练无子者，杀人。

千 金 方

黄帝杂忌法

旦起勿开目洗面，令人目涩失明饶泪。清旦常言善事，勿恶言，闻恶事即向所来方三唾之，吉。又勿嗔怒，勿叱咤咄呼，勿嗟难⑥，勿唱奈何，名曰请祸。勿立膝坐，而交臂膝上，勿令发覆面，皆不祥，勿举足向火，勿对灶骂詈。凡行立坐，勿背日吉。勿面北坐久思，不祥起。凡欲行来，常存魁纲在头上，所向皆吉。若欲征战，存斗柄在前，以指敌吉，勿面北冠带凶，勿向西北唾，犯

① 菜：金匮作“菜”。
② 菜：金匮作“菜”。
③ 屑：金匮作“等”。
④ 菽：金匮作“菽”。
⑤ 礬：金匮作“礬”。
⑥ 难：备急千金要方作“叹”。

魁纲神凶。勿咳唾，唾不用远，成肺病，令人手足重，及背痛，咳嗽。亦勿向西北大小便。勿杀龟蛇，勿怒目视日月，喜令人失明。行及乘马，不用回顾，则神去人不用，鬼行踏粟。凡过神庙，慎勿辄入，入必恭敬，不得举目恣意顾瞻，当如对严君焉，乃享其福耳。不尔，速获其祸。亦不得返首顾视神庙。忽见龙蛇，勿兴心惊怪，亦兴注意瞻视。忽见鬼怪变异之物，即强抑之，勿怪，咒曰：见怪不怪，其怪自坏。又路行及众中见殊妙美女，慎勿熟视而爱之，此当魑魅之物，使人深爱，无问空山旷野，稠人广众之中皆亦如之。凡山水有沙虱处，勿在中浴，害人。欲渡者，随驴马后急渡不伤人。有水弩处，射人影即死。欲渡水者，以物打水，其弩即散，急渡不伤人。诸山有孔云，入采宝者，惟三月九月，余月山闭，气交死也。凡人空腹不用见尸，臭气入鼻，舌上白起，口常臭。欲见尸者，皆须饮酒见之，能辟毒。远行触热，涂中逢河，勿洗面，生乌黯。

千金翼方

禁　经

夫清浊未分，无间昏晓，玄黄肇判，乃见温凉，四时攸分，降生寒暑，三光照烂，景日[1]亏盈，人禀五常，腠理通塞，故老子曰：吾所以有大患者，为吾有身；及吾无身，吾有何患？由此观之，形质既著，则疴瘵兴焉。静言思之，惟无形者，可得远于忧患矣。夫天地圣人，尚不能无患，况如风烛者乎？古有调针切脉之君，尝药炼石之帝，忧劳庶类，不遑宁处者，亦以众矣。自是厥后，穷神极智之士，抽心尽思之贤，相与赞成其叶者，不可胜纪。是以医方千卷，未尽其性，故有汤药焉，有针灸焉，有禁咒焉，有符印焉，有导引焉。斯之五法，皆救急之术也。何者？病起无端，医疗万品，闾阎之内，犹有夭枉之哀，朝野之中，尚致膏肓之疾，诚可悲夫！方今医者，学不稽古，识悟非深，各承家技，便为洞达，自负其长，竞称彼短，由斯对执，卒不得挹其源流也。余早慕方技，长崇医道，偶逢一法，岂惬千金，遂使名方异术，莫能隐秘。且此书也，人间皆有，而其文零叠，不成卷轴，纵令有者，不过三章两章，既不专精，探其至赜，终为难备。斯之一法，体是神秘，详其辞采，不近人情，故不可得推而晓也。但按法施行，功效出于意表。不有所缉，将怒[2]零落，今编为两卷，凡二十二篇，名曰禁经，其于条例，后科详悉，博雅君子，无或隐焉。

持禁斋戒法

神仙经曰：凡欲学禁，先持知五戒、十善、八忌、四归，皆能脩治，此者万神扶助，禁法乃行。

五戒者，一曰不杀，二曰不盗，三曰不淫，四曰不妄语，五曰不饮酒、嫉妒。

十善者，一济扶苦难，二行道见死人及鸟兽死者皆埋之，三敬重鬼神，四不行杀害，起慈悯心，五不怜富憎贫，六心行平等，七不重贵轻贱，八不食酒、肉、五辛，九不淫声色，十调和心性，不乍嗔乍喜。

八忌者，一忌见死尸，二忌见斩血，三忌见产乳，四忌见六畜产，五忌见丧孝哭泣，六忌抱小儿，七忌共女人同床，八忌与杂人论法。

四归者，一不得著秽污不净洁衣服，即神通不行；二不得恶口咒诅骂詈；三不得共人语诈道称圣；四不得饮酒食肉，杀害无道。又云不得秽处诵禁文，又云不得与不信人行禁，又不得向人说禁法，又不得秽污手执禁

① 景日：千金翼方作“日景”。
② 怒：千金翼方作“恐”。

文，又不得与杂人喧戏，又不得轻说神明，又不得嗔打六畜及人，不得乘车马。

有犯此满三事，则禁道不行，能不犯者，其禁大验。

经曰若履城邑污秽者，当用此方：

竹叶十两　桃白皮四两　柳白皮四两

右三味，以水一石二斗，煮之一沸，去滓浴身，百秽消除，又辟温瘴疮疡。此法天仙下游，既返之日，未尝不用此方解秽也。至于符水咒漱，及外舍之近术，皆不及此方。若能常用此汤澡浴者，益佳，惟不可洗目也。

紫微王夫人敕水洗目得清净法：

咒曰：浊不秽形，死不妨生，摩掌熨目三遍，令我长生。青龙在吾左，白虎在吾右，朱雀在吾前，玄武在吾后，神禁敕水除尘垢，急急如律令。

一法解秽禁水曰：东流之水滑如苔，中有主君与三台，某甲污秽荡除，急急如律令。

受禁法

神仙经曰：阳道强坚而易歇，阴道微软而久长，圣人闭口，万物可藏，回转清白，改易阴阳，应言不言，神明相传，应语不语，神明相与，故万法闭口藏身之禁法，流行五藏神明，众人游戏，而我独住，众人浩浩，而我独静，众人言说，而我独嘿，此行禁之道毕矣。

仙经曰：凡受禁之法，当先斋戒百日，精心不行淫欲，惟得清净沐浴，著鲜净衣，口常不出恶言骂詈，精思静念，勿生异想，一如前章，仍更七日之中，闭口不共人语，乃可受之。

正月一日、三月三日、五月五日、七月七日、九月九日，三年之中三遍，于此月日受之，并一心持斋戒，不犯则行禁，其验如神。

正月一日受法：正月一日，平旦寅时，清净澡漱，在无人清净之处，著鲜净衣，不得令人辄见，烧众名香，正面向东，禹步三匝，勿回转，长跪读启度文曰：上启三师，神童玉女，天医卢医，一切诸师，太上老君，诸仙神王，日月五星，二十八宿，北斗三台，诸神仙官属，诸大神王咸知，弟子某甲，受持符禁之法，愿济拔众生苦难，除毒消邪，辟却奸恶万事，如敕急急如太上老君律令。

都受禁文曰：想东方木禁在吾肝中，想南方火禁在吾心中，想西方金禁在吾肺中，想北方水禁在吾肾中，想中央土禁在吾脾中。想左青龙，右白虎，前朱雀，后玄武，天师禁驾，无事不苦，东王公，西王母，道吾禁有随当止，急急如太上老君律令、讫，还诵所得禁文各三遍，礼一十二拜，仍更七日，勿共人作一言，及恶骂詈等语，七日勿洗手。

三月三日受法：三月三日，平旦寅时，至东流水上，正面向东立，端心正意，读前启度文，如正月法，并启江河四渎，一切水官，四海大龙正，愿知弟子某甲，受持禁法，愿大神王立契讫，诵所得禁文各六遍，礼九拜。

五月五日受法：五月五日，正中午时，在静处烧香，正面向南立，读启度文讫，诵所得禁文各三遍，礼十二拜。

七月七日受法：七月七日，鸡鸣丑时，在静处烧香，正面向西立，读启度文讫，诵所得禁文各一二遍，礼七拜。

九月九日受法：九月九日，人定亥时，在静处正面向北立，盆盛水，口衔刀，读启度文，投香火长跪，读所得禁文各三遍，礼九拜。此五日处法，用一如正月法，惟所向方及拜数不同耳。

太白仙人受法：四月一日，斋戒至八日，立道场，四面悬幡盖，烧香然灯，启醮五方五帝，五方禁师，五方吞精啖毒，夜叉神王，愿知弟子某甲，受持禁法，咒讫，诵所得禁文各三遍，七日斋戒。

同力受禁法：候初雷时，举目看雷，右手把刀，以左手摩之，咒曰：助我行禁，振

声如雷吼，万毒伏闭气。待雷声尽讫，七日斋戒，不出言。一本云：候初雷时，眼所见物，随便把取唱言，声如雷，万邪皆怖畏，待雷声尽，乃弃之。一云：口衔刀，手捉大斧摩之言：口如毒，手如毒，声如雷吼，云云。

神仙受禁法：候燕初来时，仰头看之，以手按地，云：口如毒。以燕去不见乃止。此等洁净斋戒，一如正月不别，乃至七日不洗手。

天帝太一受禁法：初受禁时，在寂静无人之处敷坐，设案烧香，正面向北，闭口并足正立，左手持刀依式，思存青龙在左，白虎在右，朱雀在前，玄武在后，北斗七星覆头上，柄指前，次思东治大禁师，愿持兵万石赵侯，骠骑大将军苏平南公，八部将军，七十二禁师，陈师赵师，直符小吏，直日童子，护直今日，不得以左为右，以前为后，若有倒错，即依使者法律科罪之，急急如律令。如此阳[1]念三遍，然后禹步三匝，至香火前，叩齿三遍，咒曰：东方青龙衔水来，南方赤龙衔水来，西方白龙衔水来，北方黑龙衔水来，中央黄龙衔水来，悉投杯中三台，三台此水非常水，洗除天秽地秽，三十六秽，某甲身秽净除之，急急如律令。三遍咒讫，以水洗目，并噀四方上下，余水自饮之，洗腹内令净，想又读前启度文，然后长跪，诵所得禁文各三遍讫，礼四方，各再拜即成，神验。刀子、水盆，不得用曾经酒肉五辛者。

又一法：正月一日，东方明星出时，洗浴，在清净无人之处，白茅为藉，置坐设案，烧香火，井花水洗面目，正面东向，并足立，先举左手呼青龙，次举右手呼白虎，前行呼朱雀，后行呼玄武讫，依前左手持刀，次第思神师日符禁同法，更无别法也。若欲受符印者，以帛若袋子盛挂，著左手指勾之，而擎水盆，闭气禹步，依法次第咒请，有效也。

七星受咒法：正月一日、三月三日、五月五日、七月七日、九月九日，先以香汤洗浴，取东流水，未经用瓦器盛之，以诵所得禁文咒一遍，受人自洗浴，于广野无人之处，以净草为坐，以瓦器盛水七盏，作七星形，北向云：谨启七星真君，弟子某乙，愿持禁法，禁断邪恶鬼毒之气，救理人民，伏愿降真气，流布臣身，令臣所行符禁，应声除差，应手除愈。次第饮前件水各少许，余洗手，不得手捻不净之物，即有大验。一云：七佛咒法下又有一观自存咒法，今并不取。

黄帝越禁受法：黄帝曰：凡受符禁者，皆清净斋洁百日，不得近死亡产乳房室，三年之中三度，正月一日、三月三日、五月五日、七月七日、九月九日、以夜众星之下，置神座设案烧香，盆盛水，临刀，北面叩齿，捻三师目，次第思神讫，禹步三匝，长跪谨启度文，又诵所得禁文各三遍，神验。水盆不得用曾盛酒肉五辛者。临欲越时，朱书帛素上，左手持之，捻目阴诵咒之；欲行禁时，闭气，朱书帛素上，右手持之，捻目阴诵咒之。

杂受禁法：正月一日，日未出寅时，三月三日寅时，五月五日午时，七月七日丑时，九月九日寅时。一云丑时。正月受一年用，三月受一春用，五月受一夏用，七月受一秋用，九月受一冬用。

右年年常依此日受之法，不得饮酒食肉，五辛芸薹，乳酪酥蜜，心如药王药上，愿救护一切众生，不作艰难，不求财物，但作此心，下口即差，万不失一。受法用前月日，先以清净井花水沐浴，上下衣服，一切鲜净，清斋七日，至其日先以井花水澡浴漱口，烧香礼五方五帝，各五拜讫，正面向东，烧香端立，净器盛井花水，置傍，诵所得禁文各二七遍讫，口含水，仰噀五方，承取洗手面讫，向东方吸青气，想入口中七吸，次向南方吸赤气，次向西方吸白气，次向北方吸黑气，次吸中央黄气，皆作七吸入腹，想讫，更礼五方，各五拜讫，后作两月持斋戒，作

[1] 阳：千金翼方作“阴”。

得禁想，不得作一切诸恶行，受讫，即成禁法。器物不得用曾经盛酒肉五辛者。

千金月令

凡食物皆有禁忌

谷之禁

黍米合葵，成瘸疾；麻子入土中，杀人；大豆屑合猪肉．拥死；赤白豆合鱼鲊，成痈；米脯腊著之，成气疾；小豆酱、小麦，醋合鱼鲊，成口疮；乔麦合猪羊肉，成风癞；甜粥合盐，成霍乱；生菜饮酒灸腹，则肠结；饮食讫、多饮水，成癖；醉以冷水浴，成疼痹；醉汗出，当以粉乾之，不尔，成风痹。

菜之禁

霜葵食多吐水；葵合鲤鱼害人；菘、甘草无效；芥合兔肉，成恶疮；芸薹损腰脚；白苣合酪生蠶；生葱合蜜，痢；烧葱合蜜，气疾；韭薤合牛肉，作瘕；生葫合青鱼鲊肠生疮；霜韭生食，动宿疾；小蒜合生鱼，损人；荆芥动消渴疾；胡荽令人多忘，发故疾，胡臭、蠶齿、口疮；萝卜久服，涩荣卫，令人发早白；蘘有毒，多食心痛；苋合鳖成疾；姜久食，多智损筋力；蘘荷害腰脚；苍耳合猪肉食人；蜀葵食之，狗咬疮永不差，又能钝人情性；蒜多食，发早白。

果子之忌

生枣令人气胀，作寒热；蒸栗子[1]□壅；梨勿多食，并中金疮；乌梅坏齿；李子合蜜，伤五内；桃食后浴，作热淋；杏伤筋损神，其仁作汤，如白沫未解食之，令气壅身热；柰多食，皮胀发病；林檎多食脉闭；石榴损肺；胡桃动疾、吐水；软枣发冷气咳嗽[2]；榛口爽，椒多食乏气，合口者害人；莲子不去心，成霍乱；槟榔皮，鸠鸟多栖此树上，宜先以酒洗，以大豆汁洗，方可用。

瓜之忌

瓜多食发疽黄[3]，动冷疾，令人虚羸，解药力，两蒂及[4]沉者害人；瓠，患腰脚脚气，及虚肿者，食之永不差；茄子勿多食。

兽之忌

虎肉不可热食。兔肉合獭肝、合姜霍乱，合鸡肝作黄疸，合白鸡成遁尸，肉血气不行，妊娠人勿食之。白马死肉，玄首脑勿食，害人；玄马白首勿食；食马肉心闭，宜服清酒。羊肉生，不合生鱼及酪；羊肚合粥，吐清水；羊脑，男子食大损；羊肝合生椒，损五藏，合小豆，目昏；羊一角害人。白犬肉不可合鹅、鸡、羊蒲竿等。猪肉久食大损，有金疮食之尤甚，不可合猪肺肝鲩鱼子；野猪青蹄害人。牛肉自死者，勿食；牛盛热时卒死，其脑食之，作肠痈；牛自死北首者，害人。牛马患疥，肉作寸白虫。牛、羊、马、乳酪合生鱼作瘕。酪，患痢勿食。白鹿肉合蒲白作疮；鹿肉解药力、不可久食。陶隐居云：常食毒草也。麋脂不可近身。麈肉合虾，作心痛；麈合雉，作瘤疾。熊肉，寒热勿食；熊脂作灯，烟损目；熊白发故疾。凡鸟兽自死，无损伤处，勿食。赤足者勿食。凡肉煮熟，不敛赤者，食之作瘕。牛夜鸣死者勿食。六畜脾类人形勿食。兽岐尾勿食。马黑脊漏勿食。狐首勿食。猪脑勿食。六畜疥勿食。乳勿食。

禽之忌

鸡合鱼汁，作瘕；鸡五色，作狂；鸡六指、白首、玄首勿食。鸡及野鸟，死不伸爪足，不食。乌三足，鸡四距，害人，勿食。鸡子合蒜、生葱，损气；合龟鳖肉害人。鸡肉合獭肉，作遁尸，不可疗。鸡子雉犬肉合生葱，痢血，勿食。乌鸡肉合鲤鱼，痈疽；鸡

① 子：此下脱字，大观本草卷二十三栗子条引孟诜作“气”。

② 发冷气咳嗽：备急千金要方卷二十六食治作“益冷气，发咳嗽”。

③ 疽黄：备急千金要方卷二十六食治作“黄疽”。

④ 及：备急千金要方卷二十六食治此下有“入水”二字。

兔犬肉相合，作痢；水鸡合家鸡，作遁尸。鸡肉，小儿未断乳者，食之作蛔虫，大损。野鸡肉久食瘦人，目睛自害人。鸭肉合鳖，害人。燕肉食之，入水为蛟，不可辄杀之。凡煮肉汁，经宿在铁器中食之，害人。

水族之忌

龟不可辄杀食之。鳖腹下成五字，食之作瘕。鳖肉合芥子作恶疾，合苋蕨害人，白目赤足勿食。鳢鱼癞者，不可食之，后不得与桂心及天门冬食。鱼逆鳞及白鼠勿食。鱼死目合，二目不同色，勿食。鱼目白勿食，鱼目角害人，鱼有黑点害人，鱼目赤不可作鲙并鲊，鱼尾肠不食，鱼白背勿食，鱼赤鳞及无腮脑勿食，鲧鲩鱼勿食肝，煞人，鱼子合猪肝，害人。虾鲙合猪肉，恶心，损颜色。螺蚌合菜，作心痛。鲙不可合乳酪。青鱼合蒜葵害人。

凡饮食之禁

茅屋漏水，湿脯肉，作癥结疾。暴肉作脯不乾，害人。饮食无故色变，害人。祭神肉，无故自动，害人。食上有蜂行往，勿食。肉久合器中，害人。热食讫，以冷醋酱水漱口，口臭。食生肉，伤胃。湿食及酒浆上，临之不见影，食害人。如已食，肠胀者，急药下之。诸热食咸物讫，饮冷浆水，失音作尸咽。饮食讫仰卧，成气疾。冒寒未解，食热物，作刺风。

圣惠方

辨鱼鳖蟹毒不可食及诸物不得共食法

鲤鱼目赤，鳖赤，不可食。鱼目赤，不可作鲙食。鱼汁不可合自死六畜肉食。虾不可合鸡肉食。鲤鱼不可合紫菱菜食。龟肉不合瓜，及酒及秋果实食。病人不可食鲤鱼、鲔鲊鱼等。

辨六畜不可合诸物食法

白犬血肾不可杂白鸡肝、白鹅肝食。白羊肉不可杂鸡肉食。犬肝不可杂乌鸡兔肉食。猪肉不可杂乌梅食。兔肉不可杂獭肉及鸡心食。麋肉不可合虾蟆及獭食。麋脂不可合梅李实食。麋肉不可杂鹄肉食。羊肝不可合乌梅、白梅及椒食。牛肠不可合犬血肉食。白猪白蹄青爪斑斑，不可食。乌鸡白头不可食，杀人。鹿白胆，不可食。食猪肉，不可卧稻穰草中。雄鸡肉不可合生葱芥食。鸡鸭肉不可合蒜及李子食。鳖肉、山鸡肉、雀肉不可相杂食。祭肉自动，及酒自耗，并不可饮食。

四时纂要

正月勿食虎、豹、狸肉，令人伤神；运化玄枢伤神损寿。勿食蓼。

二月勿食兔，伤神；运化玄枢令人神魂不安。勿食鸡子，令人恶心。玄枢带人气。九日勿食鲜鱼，仙家大忌。

三月勿食脾，土王在脾，故勿食。鸡子令人一生昏乱，勿食。鸟兽五脏及百草，仙家大忌。此月庚寅日，勿食鱼，大凶。

四月勿食雉，令人气逆；勿食鲋鱼，害人；勿食蒜，伤气损神。

五月君子斋戒，节嗜欲，薄滋味，无食肥浓，无食煮饼。是月五日、六日、十六日别寝，犯之三年致卒。

六月勿食生葵，宿疾尤不可食。食露葵者，犬噬终身不差。勿食诸脾，勿饮泽水，令人病鳖瘕。六日勿起土，仙家大忌。

七月勿食荸。是月蠲虫著上，人不见，勿食生蜜，令人发霍乱。

八月勿食姜蒜，损寿减智；勿食鸡子，伤神。

十月勿食猪肉，发宿疾；勿食椒，损心。

十一月勿食龟鳖，令人水病；勿食陈脯，勿食鸳鸯，令人恶心；勿食生菜，患同九月。

十二月勿食龟鳖，必害人；勿食牛肉。凡乌牛自死者，若北首死者，害人。构枝及桑柴炙牛肉者，并令人生虫。食自死豕肉，令人体痒。

修真秘诀

饮食禁忌

仙经曰：体欲常逸，食须常少，劳无至极，食无过饱。凡人食皆欲少而数，不欲顿而多。夫食不用急，急则不细，不细则损脾气，法当熟嚼令细，不用食坚硬难消之物。凡朝起食粥，甚益人，日入后，不用食。夫食必先食热，然后食冷，热食灼唇，冷则冰齿，咸损脾胃。冷食不用热水漱口，热食不用冷水漱口，必须叩齿十过。每食前后，不用见悲哀喜怒之事，仍不用频呻嗟叹，皆为不祥。春七十二日，省咸增苦，以养心气；夏七十二日，省苦增辛，以养肺气；秋七十二日，省辛增咸，以养肾气；冬七十二日，省咸增酸，以养肝气；四季月下旬各十八日，省酸增甘，以养脾气。黄帝食禁，一切湿食中不见影者不可食。凡食无故色变，不可食。蜘蛛及蜂落食肉上，皆有毒，不用食。夜食辛味，令人有损。露食不用食，其上多邪气，不用。犀角为匙筋，酒不见影，饮之害人。杏不用多吃，令人目盲。食桃讫，入水浴，令人成淋病。诸果无核，食之作骨蒸。白马青蹄不可食。羊白身头黑不用食。马汗气及马毛入食中，食大害人。乾脯曝之不燸，食之杀人。兔肉不用与白鹅同食，血气不行。蟹目相向，食之杀人。夏不欲屋露坠人面上，好生疮癣。鹿茸、麝香，不用近鼻孔，边有白虫，入人咽，令人患虫颗病，万方医不差。二月勿食生菜及鸡子，四月勿食大蒜，六月七月勿食薤，八月九月勿食生姜。春不食肝，夏不食心，秋不食肺，冬不食肾，四季不食脾。鸟有三足，鱼有两角，鸟卵有文，鱼有黑点，羊有一角[1]，□有白胆，白马玄首，鸟死足不伸，鸡及众鸟自死，翼不合，兽有[2]□□不可食，并害人。诸般肉及脯腊，入火炙不动，勿食，杀人。不得火□□□杀人。鱼头有白连背上，食之杀人。不欲晦歌朔哭，闭气守精，存仲养形，涂骨勤于斯道，颜得如婴，玄关时启，命关握留，纵不升天，渡世千秋。已上诸忌，切须禁慎，不可犯也。

天和合日，申辰丙寅，地和合日，乙未戊申。

琐碎录

食忌

凡食新蕈有毛者，能杀人，以姜钱试之，姜黑则蕈有毒。一说无裙者有毒，用姜椒麻油盐，慢火熬数十沸，姜椒俱黑者，有毒。

无故自死之物，不可食，恐有中毒者。

凡烧肉不可用楮树叶、桑柴，令人生寸白虫。

河豚眼红者，独肝者，包钳者，不可食。

---

(1) 角：此下脱字，太平圣惠方卷第三十九解俚人药毒诸方篇作“鹿”。

(2) 有：此下脱字，据本卷引千金月令“兽岐尾勿食”句，疑作“岐尾”。

杏桃六出双仁，皆杀人。

食河豚罢，不可吃菊头茶。

瓜两蒂两鼻，食之害人。

羊脑猪脑，食之损精气。

猪肾不得多食，令人肾虚。

诸禽畜肝青者，食之杀人。

鸡子动风动气，不可食之。

凡鸟自死，口不闭者，皆不可食，食之杀人。

孕妇食糯米，多令子生白虫。

乳甘大寒，多食令人脾冷，发痼癖，大肠滑泄。

橙子不可多食，伤肝。

胡桃多食，利小便，脱人眉鬓，动风故也，治腰痛。

杏核双仁杀人，可以治狗毒。

葱不宜多食，患气者，多发气上冲人，五脏闭绝，虚人胃，开骨节出汗，又不可与蜜同食。

蜀椒闭口者，有毒，误食之，戟人咽喉。

凡肉汁在密器中盖，气不泄者，杀人。

食鳖须看腹下，有蛇盘纹者是蛇。

麦属阳，占四时，秋种夏收，西北麦经霜雪，南方少雪，故面有毒也。

食馁不可食虾，食黄鲭鱼不可食荆芥，皆曾杀人。

鲫鱼不可与麦门冬同吃，杀人。

不可食鼠残，令人生瘰疬。

铜瓶浸蜡梅花水有毒，不可饮。

糖蜜不可与虾同时食，能使人暴下，食多尤为害。

食牛肉不可饮白酒，令人生寸白虫。

粥后不宜入白汤，令人成淋，为停湿也。

鲨黑而小，谓之鬼鲨，食之害人。

羊肝有窍者，食之害人。

猪羊脑尚能消牛马之皮，岂可食耶？

服饵之人，忌食羊血，虽服药多年，一食则前功尽。

吃梨益齿，损脾胃；吃木瓜益脾胃，损齿。

食鲤鱼，发痼疾。团鱼背上有两筋，抽不尽，害人。

五味忌，多食酸伤筋，咸伤血，辛伤气，苦伤骨，甘伤脾。食牛肉时不可食栗子。

菌下无纹者有毒，食之杀人。

患风湿人，及有风证人，不可食麸，能动风湿气。

鲊瓶不可盛蜜及蜜煎，食之损气。

薄荷煮鳖，能杀人。

油胡桃、松子，皆不可吃，损人声。

小儿不可食羊胎，及鸡鸭卵鱼子之类，长成多忘。

食甜瓜，多腹胀者，食桂苓丸即消。

饮酒之时，切不可啖羊豕脑，大害人，炼真之士，尤宜戒之。

夜藏饮食于器中，覆之不密，鼠欲盗食，不可得，环器而走，泪堕器中，食之者得黄疾，通身如朣，针药难治。

有富商暴亡，医工梁新诊视曰：寻常嗜何物？仆夫曰：好食竹鸡。新曰：竹鸡忌半夏，必半夏毒也。命捣姜汁灌之，方苏。

有一年少，眼中常见一镜，医工赵卿曰：郎君吃鲙太多，酱醋不快，又有鱼鳞在胸中，所以眼花。及设芥醋一瓯，因饥啜之，遂愈。

有人于河下获鳖十数头，甚肥嫩，烹而臛之，举族共食，是餐俱毙，无一人免者，盖中鳖毒耳。鳖水族而处于陆地，固可疑也，君子饮食，宜慎之。

误食毒菌，往往即死，或令人笑不止而死，惟地浆一味解，掘地为坎，投以水，搅动取清者饮之。

禁　忌

人食五味，不得暴嗔，令人神惊。大风大雨，大寒大热，不可出入妄为。善调摄者，虽盛暑不当风及露下久卧，伏热者，不得饮水，冲寒者，不得饮汤。远行触热，逢水勿洗面，盛热中自日中来，亦不得以冷水沃面，

恐成目疾。洗头不可冷水，必成头风疾。消渴非特煎煿湿面、房室所能致，若醉后吐罗饮水，不旋踵亦成此疾，不可不戒。老人旧患眼暗，但勿以酒服药，当用饮代之。目暗者，能世不食酒蒜，即永无畏。凌霄金钱，乃恶毒之花，曾有人仰视凌霄，露滴眼中，失明。凡人食五辛，接热食饮，刺头出血过多，极目远视，灯前看字，月下攻书，不灯火博奕，经时饮酒不已，热餐面食，抄写多年，雕镂绣画，泣泪过度，房欲无节，远观星火，视日极目，瞻望山川，皆是丧明之本，可不谨哉。眼不点不昏，耳不斡不聋，眩于色，目必昏，耽于[1]耳必聋。患赤目，须忌房事，不然，令人患内瘴。饱食沐头作头风。沐浴不可当风，腠理百窍皆开，风易入。立秋日，不浴，令人皮肤粗燥，因生白屑。早起不可用刷牙子，恐根浮，兼齿踈易摇，久之患牙疼，盖刷牙子，皆是马尾为之，极有所损。今时出牙者，尽用马尾灰，盖马尾能腐牙龈。有饥则食，食勿令饱，有渴则饮，饮勿令过。当食暴嗔则神散，夜梦多惊。醉酒戒当风，露卧打扇，强食嗔怒，能生百病。醉饱勿为劳苦事，及走马跳掷，则伤筋骨。入夜不可多食肉，令人阳事兴，恐不可制。醉饱莫行房，五脏皆反覆。房事戒天地震动冥晦，日月薄蚀，雷电霹雳，晦朔弦望，虹出星奔，大寒大暑，大风大雾，三元八节，二至岁旦，庚申甲子，日月星辰之下，名山大川之处，神佛貌像之侧，冢墓尸柩之旁，灯烛六畜之前，切不可犯。犯者生子则颠痴凶顽，盲聋音哑，不孝不友，不仁不义，及积恶之鬼，来托胎中，家道日丧，咎殃立至。嗜欲四时皆损人，若冬夏二至，阴阳争时尤宜禁。房事忌五月五日、六日、七日、十五日、十六日、十七日、二十五日、二十六日、二十七日，为九毒日，犯之者不过三年。每月二十八日，人神在阴，切忌欲事，甚于甲子、庚申，信者戒之。十五日人神在遍身者，犹当戒之。予死问病，喜神自散，奔走车马，气乱神惊，望高登峻，临危则魂魄飞散，息枯木大树之下，久阴之气，触人阳神，渡深水大泽之中，至寒之性，逼人真气。盐伤筋，醋伤骨，淡饭吃了肥木腊。多言则损气，多记则损心，多怒则伤精，多笑则伤神。昔有三人，瘴乡早行，一死一病一无恙。询之，无恙者饮酒，病者饮汤，而死者空腹也。然以予观之，何独瘴乡为然，凡早行者，皆忌空腹。大便时不可呼气强努，令人腰疼目涩。

前贤禁戒

郭逢厚问王云中真人曰：道家禁忌，何者最切？对曰：不忠不孝，受财枉法，阴险嫉妒，妄忍好杀，乃至戒也。至若诞妄丧真，轻躁败气，哀乐伤生，喜怒戕性，好恶惑德，酒色竭精，骄侈损志，秽慢乱神，屑屑于妻子之欲，矜矜于宴游之乐，视听纷杂，言笑喧哗，斋静不常，志节不固，皆养生之大患也。麻录参军，年九十余，太宗访以养生之术，对曰：臣无他术，清心寡欲，节声音，薄滋味，故得至此。任恭惠公布，年耆康强，吕蒙正询其服饵之法，恭惠曰：不晓养生之术，但读文选，谓石韫玉而山辉，水含珠而川媚，有所悟耳。太平兴国九年，太宗谓宰相曰：朕每日自常节辰巳间，视事既罢，便即观书，深夜就寝，五鼓而起，盛暑昼日，亦未尝寝，乃至饮食，亦不过度，行之已久，甚觉得力。凡人食饱，无不昏浊，倘四肢无所运用，更便就枕，血脉凝滞，诸疾自生，欲求清爽，其可得乎？老子曰：我命在我，不在于天，全系人之调适耳。王晰龙图食不尽一器，食饱不过一二枚耳，年八十，尝谓人曰：食取补气，不饥而已，饱生众疾，至用药物消化，尤伤和气也。刘几年七十余，精神不衰，每一饮酒，辄一漱口，虽醉不忌，曰此可以无齿疾。王介玉顷当道傍食，有一老人进言，饮食须用缓，盖脾喜温，不可冷

---

(1) 于：此下疑有“声”字。

热犯之，惟缓则冷热之物至脾皆温。唐柳公度，年八十余，步履轻便，或有求其术，公度曰：吾初无术，但未尝以元气任喜怒，气海常温耳。韶州有人，年八十余，眸子瞭然，能夜读蝇头字，云别不服药，但自小不食畜兽肝，然本草云，羊肝明目，不知何谓？杭州有一人，年八十，眼光不昏，云自幼有教，令夜间小便时，仰面开眼，行之至老。

杂　说

是笑胜如哭，是闲散胜如拘束，知止便知足。幸有数间茆屋，矮钉明窗疏种竹，休问卜，便是人间清福。

避暑有要法，不在泉石间，宁心无一事，便到清凉山。

凡舟行未有溯流而失者，多是沿流而忽其事，可不戒哉。

爱网不可不裂，惑箭不可不拔。

枵腹宜读书，醉饱宜独寝。

发是血之余，一日一次梳，足是人之底，一夜一次洗。

水银、鹿猪二脂不可近，阴马汗尤不可近。熊猪二脂，不可作灯烛点，气入人目，则不能远视。

鹿茸、麝香，不得近鼻，有白虫入人脑，令人患蛀颡。

有目疾者，切忌酒后澡浴，令人目盲。

末利花，莫安床头，引蜈蚣。小儿以促织笼放床头，亦有此患。

橘花不得便闻，盖花上有蚤毒，亦谓之鸡距子。有人会间尝坏其鼻，臭不可近。腊梅花亦不可，恐生鼻痔。不可用菊花为枕，久之令人脑冷。箫管笛挂壁上，取之不可便吹，曾有人便吹，有蜈蚣入口内，伤人。

女入夫家下车，先左足履地，必蕃盛多男。交婚之夕，切不可破家事，久必分。

初婚忌正月空房，多招不祥，不可不谨。不得已，当以熏笼置床上襆之。

杭州老卒，言不可烧甘蔗滓，令人目暗。

灶上不可放刀，及箕箕放灶前，令人家不安。

人家灯不可用膏作油点之，如在血光下。

人睡着，不可将笔画面，其人神魂外游，回视不认尸，有至死者，不可不知。

小儿衣服，不可夜露，恐有遗毒，生疮癣。

人在家及外行，卒逢飘风暴雨，震电昏暗大雾，皆是诸龙神经过，宜入室闭户焚香，安心静坐避之，不尔损人。

虎豹皮不可作茵褥，令人目暗，须毛刺入疮疽中，必能杀人。

延　寿　书

欲有所忌

书云：饱食过房室，劳损血气，流溢渗入大肠，时便清血，腹痛，病名肠癖。

书云：大醉入房，气竭肝伤之，夫则精液衰少，阴痿不起，女子则月事衰微，恶血淹留，生恶疮。

书云：然烛行房，终身之忌。

书云：忿怒中尽力房事，精虚气节，发为痈疽；恐惧中入房，阴阳偏虚，发厥自汗、盗汗、积而成劳。

书云：远行疲乏，入房为五劳虚损。

书云：月事未绝而交接，生百[1]驳，又冷气入内，身面萎黄，不产。

书云：金疮未差而交，曾动于血气，令疮败坏。

书云：忍小便入房者，得淋，茎中痛，面失血色，或致胞转，脐下急痛死。

① 百：按文义疑作“白”。

书云：或新病可而行房，或少年而迷老，世事不能节减，妙药不能频服，因兹致患，岁月将深，直待肉尽骨消，远冤神鬼，故因油尽灯灭，髓竭人亡，添油灯壮，补髓人强，何干鬼老来侵，总是自招其祸。

书云：交接输写，必动三焦，心脾肾也。动则热而欲火炽，因入水，致中焦热郁发黄，下焦气胜，额黑，上焦血走，随瘀热行于大便黑溏，男女同室而浴者，多病此。

书云：服脑麝入房者，关窍开通，真气走散。重则虚眩，轻则脑泻。

本草云：多食葫，行房伤肝，面无光。

书云：入房汗出中风，为劳风。

书云：赤目当忌房事，免内瘴。

书云：时病未复，犯者舌出数寸死。三国志子献病已差，华陀视脉曰：尚虚未复，勿为劳事，色复即死，死当舌出数寸。其妻从百里外省之，止宿交接，三日病发，一如陀言，可畏哉。

欲有所避

孙真人曰：大寒与大热，且莫贪色欲。

书云：凡大风、大雨、大雾，雷电霹雳，日月薄蚀，虹霓地动，天地昏冥，日月星辰之下，神庙寺观之中，井灶圊厕之侧，冢墓尸柩之傍，皆所不可，若犯女则损人神。若此时受胎，非止百倍损于父母，生子不仁不孝，多疾不寿。

唐魏征令人勿犯长命，及诸神降日，犯淫者促寿，及保命诀所载。朔日减一纪；望日减十年；晦日减一年；初八上弦，二十三下弦，三元减五年；二分、二至、二社各减四年；庚申、甲子、本命减二年。正月初三，万神都会；十四、十六、三官降；二月二日万神会；三月初九，牛鬼神降；犯者百日中恶。四月初四，万佛善化，犯之失音。初八夜，善恶童子降，犯者血死。五月三箇五日、六日、七日，为九毒日，犯者不过三年。十月初十夜，西天王降，犯之一年死。十一月二十五日，掠剩大夫降，犯之短命。十二月初七夜，犯之恶病死；二十日天师相交行道，犯之促寿。每月二十八，人神在阴；四月、十月，阴阳纯用事。已上日辰，犯淫且不可，况婚姻乎？按庚申论曰：古人多尽天数，今人不尽天年，何则？以其网知避慎，肆情恣色，暗犯禁忌，阴司减其龄算，能及百岁者几何人哉？蜀王孟昶，纳张丽华于观侧，一夕迅雷电大，张氏殒。道士李若冲于上元夜，见殿上有朱履衣冠之士，面北而立，廊下罗列罪人，有女子甚苦，白其师唐洞卿，师曰：此张丽华也，昔宠幸于此，亵渎高真所致。由是观之，天地间禁忌不可犯也。

天时避忌

内经云：阳出则出，阳入则入，无扰筋骨，无见雾露，违此三时，形乃困薄。

经云：大寒大热，大风大雾，勿冒之。天之邪气，感则害人五脏；水谷寒热，感则害人六腑；地之湿气，感则害人皮肉筋脉。先贤曰：人以一握无气，岂可与大造化敌，康节有四不出之训。

书云：犯大寒而寒至骨髓，主脑逆头痛，齿亦痛。

又云：不远热而热至，则头痛身热，肉痛生矣。

书忌云：朔不可哭，晦不可歌，招凶。

旦暮避忌

书云：早出含煨生姜少许，辟瘴开胃。又旦起空腹，不宜见尸，臭气入鼻，舌上白起，口臭。欲见，宜饮酒少许。

真人曰：平明欲起时，下床先左脚，一日无灾咎，去邪兼辟恶，如能七星步，令人长寿乐。

又清旦常言善事，闻恶事则向所来方三唾之，吉。

又旦勿嗔恚，暮无大醉，勿远行。

经曰：平旦人气生，日中阳气隆，日西阳气已虚，气门乃闭，是故暮而收拒，无扰筋骨，无见雾露，违此三时，形乃困薄。

书云：夜行用手掠发，则精邪不敢近，常啄齿，杀邪鬼。又夜卧，二足伸屈不并，无梦泄。

真人云：夜梦恶不须说，旦以水面东噀之，咒曰：恶梦着早水，好梦成珠玉。吉。

有教入广者曰：朝不可虚，暮不可实。令气候不齐，不独入广也。

杂　忌

书云：过神庙勿轻入，入必恭谨，不宜恣视，吉。书云：忽见光怪变异之物，强抑勿怪，吉。伊川官廨多妖，有报曰鬼使扇，曰他热，又报曰、鬼打□，曰以掩与之。范文正读书府学，夜有大面之怪近之，范以笔书其面曰，汝面非常大，难欺范仲淹。二公不以怪处之，而怪自灭，可为法。

书云：脂油然灯，人神不安，在血光之下。

书云：凡刀刃所伤，切勿饮水，令血不止而死。若血不止，急以布蘸热汤盦之，或冷水浸之，嚼寄叶止血，妙。

锁碎录云：箫管挂壁，取之勿便吹，恐有蜈蚣。祖师刘复真，赴召早起，见店妇仆地，叫号可畏，但见吹火筒在傍，刘知其蜈蚣入腹，刺猪血灌之，吐出蜈蚣，可不慎欤。

书云：凡石井及深阱中多毒气，不可辄入，五六月最甚，先下鸡鸭毛试之，若旋转不下，是有毒，便不可入。

又云：山有孔穴，采宝者惟三月九月，余月山闭气交，死也。

食　物

物之无益而有损者，常人尤不可多食，况病人当避忌者乎？此书所载，凡物之有益而无损者，不书，或损益相半者，则书其损，而不书其益。

果　实

生枣令人热渴气胀，寒热羸瘦者，弥不可多，动脏腑，损脾元，与蜜同食，损五脏。

软枣冷动宿疾，发嗽，与蟹相忌。

生龙眼平沸汤内淖过，不动脾。

生荔枝性热，多食发虚热，烦渴口乾，衄血。

樱桃，寒热病不可多食，发暗风，伤筋骨，呕吐，小儿多食作热，性热也。

冥查不可多食，损齿及筋。

乳相[①]太寒冷脾，发痼疾，利肠发轻[②]汗，脾胃冷人，尤不可多食。诸柑性同。

橙子，温，皮多食伤肝，与槟榔同食，头旋恶心，生痰作疟。

杨梅多食，发热，损齿及筋。

杏实，热，多食伤筋骨。杏酥生熟吃俱得，半生半熟杀人。杏仁久服目盲，眉发须落，动宿疾。双仁者杀人，可研细，治犬伤。

桃寔发丹石损胃，多食有热。饱食桃仁，水浴成淋。桃杏花本五出，而六出者，必双仁，能杀人者，失常故也。

李子，平，发疟，多令虚热，白蜜和食，伤人五内，不可临水上啖之，及与雀肉同食。李不沉水者，毒。仁和鸡子食，内结不消。

梨，寒，乳鹅梨、紫花梨，治心热。此外，生不益人，多食寒中。产妇、金疮人勿食，令萎困。其性益齿而损脾胃，正二月勿食，佳。有人家生一梨，大如斗，送之朝贵，食者皆死。考之，树下有大蛇，聚毒于此，不常，为妖也，他仿此。

藤梨名沐猴梨，多食冷中。

林檎多食，发热涩气，好睡发冷疾，生疮疖，脉闭不行。子不可食，令人烦。

石榴多食损肺，及齿。山石榴多无益，涩气。

栗子，温，生治腰脚，生即发气，宜暴乾，蒸炒食，多即气壅，患风水气人不宜食。生栗可于灰火中，煨令汗出，杀其木气，不得通熟，小儿生者多难化，熟者多滞气。

柿子，寒，日乾者，性冷，多食腹痛，生者弥冷。

红柿与蟹同食，吐红。饮酒食红柿，心痛至死，亦易醉，不解酒毒。一种塔柿，引痰，日乾，多动风火，乾味不佳。

椑子性尤冷，与蟹同食，腹疼大泻。

---

① 相：大观本草卷二十三作“柑”。

② 轻：大观本草卷二十三乳柑条引日华子作“阴”。

蒲萄酒过昏人眼，架下饮酒，防虫屎伤人。

白果，生引疳，解酒，熟食益人，然不可多，多食腹满。有云：满一千个者死。此物二更开花，三更结子，当是阴毒之物。有人艰籴，取白果以为饭，饱食，次日皆死。

菱，芰也，冷脏色利损阳，令阴萎，不益脾，难化，令胀满，姜酒解之。七月食生菱，作蛲虫。

茨菰大寒，动宿冷气，腹胀满，小儿秋食之，脐下痛，孕不可食。吴人常食，患脚气、痈疮，损齿，失颜色。

勃荠性与茨菰同。

芡实生食，动风冷气，损脾难消，却益精。

藕多食冷中，能去疫气，产后惟此不同生冷忌者，破血故也。

甜瓜动痼疾，多食阴下湿痒，生疮，发虚热，破腹，令人惙惙弱，脚手无力，少食则可不中暑，多食未有不下，贫下多食，深秋下痢难治，损阳故也。患脚气，食此永不除。五月甜瓜沉水者，杀人。多食发黄疸，动气，解药力。双蒂者，杀人。与油饼同食发病。访州太守陈逢原，避暑食瓜，至秋忽腰脚痛，不能举动，遇商助教疗之更生。

西瓜甚解暑毒，北人禀厚食惯，南人禀薄，不宜多，至于霍乱冷病，终身不除。

木瓜，温，皮薄，微赤黄，香甘酸不涩，向里子头尖一面，方是真，益脾而损齿。若圆和子微黄，蒂粗涩，小圆，味涩，微咸，伤人气，多食损牙。

甘蔗多食衄血，烧其滓，烟入目则眼暗。

沙糖，寒，多食心痛，鲫同食成疳，葵同食生流癖，笋同食成食痕，身重不能行，小儿多食，损齿及生蛲虫。

柰子多食胪胀，不益人，病人尤甚。

榲桲不可多食，损齿伤筋。

松子多食，发热毒。

胡桃，平，多食，利小便，脱人眉，动风动痰，恶心呕吐。酒同食过多，咯血。

五月食未成果核，发痈疖寒热。

秋夏果落地，恶虫缘，食之患九漏。

一切果核双仁者，害人。

治诸果毒，烧猪骨过为末，水服方寸匕。

米　谷

粳米生者冷，燸者热，生不益脾，过熟则佳。苍耳同食，卒心痛；马肉同食，发痼疾。

稻米，糯米也，妊娠与杂肉食之，不利其子，生寸白，久食身软，缓筋故也。性寒，壅经络气，使人四肢不收，昏闷多睡，发风动气，可少食。

秫米似黍而小，亦可造酒，动风，不可常食。

黍米发宿病，久食昏五脏，好睡，小儿食不能行，缓人筋骨，绝血脉。白黍久食多热，令人烦。赤黍不可合蜜，惟可作糜，不可为饭，粘著难解。

五种黍米，合葵食之，成痼疾，藏脯于中，食之闭气，肺病者宜此。生米戏食久为米瘕，肌疲如劳，缺米则口吐清水。

饴糖进食健胃，多食则动脾气。

麦占四时，秋种夏收，西北多霜雪，面无毒，南方少雪有毒。

小麦性拥热，小动风气，治面后觉中毒，以酒咽汉椒三五粒，不为疾。

大麦久食，宜人，带生则冷损人。

麦蘗久食消肾，不可多。

秬麦西川多种，山东河北人正月方种，先患冷气，人不宜食。

荞麦性寒，难消，久食动风，头眩，和猪肉食八九次，患热风，脱眉须。

粟米食后，勿食杏仁，令人吐泻。

稷米，穄也，发三十六种病，八谷之中最为下，不可同山附子服。陈廪粟米，杭米陈者，性皆冷，频食之自利，藏脯腊于中，满三月久，不知而食之，害人。

绿豆治病，则皮不可去，去皮食少壅气。

赤小豆，行小便，久食虚人，冷人，黑瘦枯燥，逐津液体重。

赤白豆合鱼鲊食之，成消渴。

青小豆，一名胡豆，合鲤鱼鲊食之，肝黄，五年成乾消。

黑白黄褐豆，大小豆，作豉极冷，黄卷及酱，皆乎多食体重，服大豆末者，忌猪肉，炒豆，与一岁以上，十岁以下食之，即啖猪肉，久当拥气死。人有好食豆腐，中毒不能治，更医至中途，遇作腐人家相争，因问妻，误将莱菔汤置锅中，腐更不成，医得其说，以莱菔汤下药而愈。菜服，即萝卜也。酱当是豆为者，今以面麦为者，食之多杀药力。夫子云：不得其酱不食，故五脏悦而爱之，此亦安乐之端。

脂麻炒熟，乘热压出生油，但可点，再煎炼，方谓熟油，可食。油发冷疾，滑骨髓，困脾脏，经宿即动气，牙齿[1]脾疾人，不宜陈油饮食，须逐日熬熟。

黑脂麻炒食之，不生风疾，风人日食之，则步履端正，语言不蹇。白脂麻生则寒，炒则热，发霍乱，抽人肌肉。又别有胡麻，味苦，乃臣[2]胜也，不可为补益。用乌麻最益人。

麻仁多食，损血脉，痿阳滑精，发女人带疾。

菜　蔬

葵为五菜，生秋，种早者，至春作子，名冬葵。其心有毒，伤人，性冷，热食之，亦令热，闷甚动风气；葵冻者，生食之动五种瘤饮，甚则吐水；和鲤鱼食之，害人。四季勿食生葵，不化，发人一切宿疾，百药忌食之，发狂犬咬。吴葵一名蜀葵，不可久食，钝人志性，被狗咬，食之未不差。戎葵并乌肉，食无颜色。

生葱食之，即啖蜜，下痢；食烧葱，啖蜜，拥气死；杂白犬肉食之，九窍出血。患气者，多发气，上充人[3]五脏闭绝，虚人胃，开骨节。正月食之，生面上游风，大抵功在发汗，多则昏人神。

胡葱多食，伤神损性，多忘损目，发痼疾。胡臭、蠹齿人食之甚。青鱼合食生虫。

韭俗呼草钟乳，病人可食，然多食昏神暗目，酒后尤忌，不可与蜜同食。未出土为韭黄，不益人，滞气。花动风，过清明勿食，不利病人，心腹痼冷者加剧。霜韭不可食[4]，动宿饮，必吐水。五月食之，损人滋味，之[5]气力，不可共牛肉食，成瘕。热病后十日不可食，发困，葱亦不宜。

薤肥健人，生食引涕唾，与牛肉食作瘕。四月勿食薤，三冬生食，多涕唾。

葫，大蒜也，久食伤肝，损目，弱阳。煮以合青鱼酢，发黄，作蠹啖鲙伐命，惟生食不中煮。暑毒，烂嚼下咽即知，仍禁冷水。四月八月，食之伤神，损胆气，喘悸气急，腹内生疮，肠肿成疝瘕。多食葫行房，伤肝，面无光。北方人禀厚，食惯病少。

小蒜不可常食，食而啖生鱼，夺气，阴核疼欲死。三月勿食，伤志。时病差后，与一切食竟入房，病发必死。

胡荽，荠子也，久食令人多忘，胡臭、口气、蠹齿、脚气加剧，根发痼疾。

蓼子，是水浸令生芽而食之者，多食令人吐水，损阳少精，心病寒热，损骨髓。二月食之，伤肾；和生鱼食，夺阴气，核子痛欲死。

萱草一名忘忧，嫩时取以为蔬，食之动风，令人昏昏然，终日如醉，因得其名。

菘发诸风冷，有热人食之，不发病，性冷也。

芥多食，动风气，发丹石，与兔肉同食，成恶病。

芜青，蔓青也，根不可多食，令气胀，子作油涂头，变蒜发。

---

(1) 齿：大观本草卷二十四油麻条此下有“并”字。

(2) 臣：大观本草卷二十四油麻条作“巨”。

(3) 充人：大观本草卷二十八葱实条作“冲入”。

(4) 霜韭不可食：大观本草卷二十八韭条引黄帝作“霜韭冻不可生食”。

(5) 之：本草纲目卷二十六菜部韭条引孟诜作“乏”。

莱菔，力弱人不宜多食，生者渗人血。

一切菜，熟煮热食之。凡□溜滴著者有毒。

荠菜不宜面同食，令人督闷发病。凡用甘草皆忌此。

苋菜多食动气，烦闷，冷中损腹，共蕨及鳖食，生瘕。

堇菜不宜久食，令身重多肿，只可一二顿。

芸薹菜，患腰脚人多食加剧，损阳气，发口疮，齿痛，生虫，胡臭人忌之。

鹿角菜，久食发宿疾，损经络，少颜色。

菠菱菜，北人食肉面即平，南人食鱼米即冷，多食冷大小肠，久食脚软腰痛。

苓菜多食，性滑发痔，引疫气，上有水银故也。七月蜡虫著上，令霍乱，勿食之。

荇菜生高田者，宜人，黑滑地名水芹。赤色者，害人，性寒，和醋食之损齿。春秋龙带精入芹中，偶食之，手青，肚满痛不可忍，服沙漉三二斤，吐出蛇扬[1]便愈。

苦费[2]夏月食之，以益心，蚕妇忌食之。

莴苣冷，久食昏人目。白莴苣，冷气，人食之，腹冷，产后不可食，寒中，共饴食生虫。苦苣不可与蜜同食。

葙茎多食动气、冷气，人食之，必破腹。

苜蓿利大小肠，蜜食下痢，多食瘦人。

葳又食，脚弱无力，弱阳眼暗，多睡鼻塞，发落，小儿食之不行，冷气食之腹胀，生食成虮瘕。郗鉴镇丹徒出猎，有甲士，折一核食之，觉心中淡淡成疾，后吐一小蛇，悬屋前渐成乾蕨，信不可生食也。

茄至冷，五劳不可多[3]，发疮损人，动气发痼疾，熟者少食无忧患，冷人不可食，秋后食之损目。

黄瓜本名胡瓜，不益人，患脚气虚肿者，毒永不除。

越瓜色白，动气发疮，脚弱，不益小儿，时病后勿食，与乳酪、鲊及空心食心痛。

青瓜令人多忘。

冬瓜多食，阴湿生疮，发黄疸。九月勿食被霜瓜，向冬发血[4]寒热反恶[5]病，初食吐，食竟，心下停水，或为番胃，有冷者食之瘦。瓜能暗人眼，尤不宜老人。中其毒，至秋为疟痢。一切瓜，苦者有毒，两蒂两鼻者害人。

瓠子，冷气人食之，病甚，大耗食，患脚气虚肿人食之，毒永不除。

葫芦多食，令人吐。

芋一名上芝，有紫有白，冬月食不发病，他月不可食。

薯蓣亦有紫白，颇胜芋，有小而名山药者佳。蒟蒻，冷气人少食之。曾有患瘵，自谓无生，是[6]物不忌，邻家修蒟蒻，求食之美，逐多食，竟愈。有病腮痈者数人，余救，多食此而愈。

竹笋多食动气，发冷瘕。

茭笋滑中，不宜多。

生姜，九月九日勿食之，伤神损寿。乾姜，妊多食内消。

椿芽多食神昏。

榆仁多食发热心痛。

菌，地生为菌，木生为栭，为木耳，为蕈。新蕈有毛者，下无纹者，夜有光者，煮不熟者，欲烂无虫者，煮讫照人无影者，春夏有恶虫、毒蛇经过者，皆杀人。误食毒菌，往往笑不止而死，惟掘地为坎，投水搅取清水饮之。

木菌，楮、槐、榆、柳、桑五木之耳，可食，冬春无毒。木耳亦不宜多食，如前所云者，皆杀人。又赤色仰而不覆者，及生野田中者皆毒，又发冷气风痔，多睡无力。

甘露子，不宜生食，不可多食，生寸白，与鱼同食，生番胃。

茱萸，六七月食之，伤神气。

茼蒿多食，气满。

---

① 蛇扬：金匮卷下第二十五作“如蜥蜴三五枚”。
② 费：大观本草卷二十九作“荬”。
③ 多：大观本草卷二十九茄子条引孟诜此下有“食”字。
④ 血：备急千金要方卷二十六菜蔬第三无此字。
⑤ 反恶：备急千金要方卷二十六菜蔬第三作“及温”。
⑥ 是：本草纲目卷十七草部蒟蒻条作“百”。

莳萝根，曾有食者，杀人。

飞　禽

鸡，黄者宜老人，乌者暖血，产妇宜之；具五色，食者必狂；六指玄鸡、白头家鸡，及野禽生子有八字文，及死不伸足，害人。乌鸡合鲤鱼食，生痈疽。丙午日，忌食鸡雉。四月勿食暴鸡肉，作疽，腋漏，男女虚劳乏气。八月食之，伤神气。妊妇多食，子患诸虫。妊食鸡子多，令子失音。鸡子动风动气，合鳖肉食害人，合犬肝犬肉食，泄利害人，合鱼汁肉成心瘕，合獭遁尸。鸡子白合葱蒜气短，合生葱犬肉，谷道流血。疹食鸡鸭子，眼翳。鸡过宿，收不密，蜈蚣必集其中，不再煮而食之，为害非轻。

雉，离禽也，损多益少，久食瘦人，春夏多食有毒，九月至十一月稍补，他月发痔及疮疥，八月忌之，益人神气，丙午日不可食，明主于火也。四月勿食，气逆。和胡桃菌子同食，下血。有痼疾者，不宜。和荞麦面食，生肥虫。卵不与葱同食，生寸白。

鹜，鸭也，六月勿食，益神气。黑鸭滑中，发冷痢①脚气不人②可多食，有毒。妊娠多食，令子倒生。

野鸭不可与胡桃木耳同食。异苑曰：章安有人，元嘉中啖鸭肉，成瘕，胸漏，面赤，不得饮食，医以秫米食之，须臾吐一鸭，虽遂差。此因肉生所致，又食过而然。

白鹅肉性冷，多食霍乱，发痼疾。卵不可多食，苍鹅发疮脓。

鹌鹑四月以前，未可食，与猪肝③同食，而生黑子；与菌同食，发痔。

鹧鸪，此鸟天地之神，每月取一只，飨至尊，自死者忌之。

山鸡顿食发五痔。和荞麦食，生疮，竹鸡类也。南唐相冯延已苦脑痛，久不减，太医吴延绍诰，庖人曰：相公平日多食鹧鸪、山鸡。吴曰：得之矣。投以甘草汤而愈。盖此禽多食乌头、半夏，有毒，以此解之。又类编通判杨立之，官南方，多食鹧鸪，生候痈脓血，日夕不止，泗水杨吉老令先啖生姜一斤愈，盖以制半夏毒也。唐崔魏公以多食竹鸡，暴亡，梁新命掠生姜汁，折齿灌之，复活，亦此意也。

鸳鸯肉常食之，患大风。

雀肉不与李同食。合酱食，妊娠所忌。

鹑鸽虽益人，病者食之，多减药力。

雄鹊，妇人不可食。烧毛纳水中，沉者是雄。

乌鸦肉涩不中食。

燕肉食者，必为蛟龙所害。

杜鹃初鸣，先闻者主别离，学其声吐血厕上闻有不祥，作犬声应之吉。

凡禽自死，口不闭者，杀人。

走　兽

猪肉之用最多，然不宜人，食之暴肥，致风虚也。闭血脉，弱筋骨，虚人肌，病人金疮者，尤甚。食其肉饮酒，不可卧秫穰中。又白猪白蹄杂青者，不可食。猪肾理肾气，多食肾虚，久食少子。脂作灯目暗。胾忌乌梅。肝肺共鱼鲙，或粘食之，作痈疽，共鲤子食伤神，八月勿食佳。脑子损阳，临房不能举，今食者以盐酒，是引贼也。曾不思皮尚可消，而不觉其毒耶？头动风，其觜尤毒，风人不宜食者，以竹叶烧烟，撑口熏之，得口鼻涎出，则无害。肉用良姜、桑白皮、皂角、黄蜡各少，肉同煮食之，不发风。不得和鸡子同食，令人满闷。

猪不姜食之，中年气血衰，面生黑黡。俞氏云：猪肉生姜同食，发疾风，又云发大风。

野猪肉微动风，青蹄不可食。

江猪多食体重。

羊肉，性大热，时病愈百日内不可食，食则复令骨蒸。和鲊食，伤人心；和生鱼酪食，害人。

生脂，宿有热者不可食。蹄甲中有④□□白者，名⑤悬筋，发人癫。肝和猪肉及梅子小豆食之，伤人心，大病人。妊娠食肝，

---

① 痢：大观本草卷十九鹜条引孟诜此下有“下”字。
② 人：大观本草卷十九鹜条引孟诜无此字。
③ 肝：大观本草卷十九鹑条作“肉”。
④ 有：此下脱字，备急千金要方卷二十六鸟兽第五作“珠子”。
⑤ 名：备急千金要方卷二十六鸟兽第五此下有“羊”字。

令子多厄。

一切羊肝共生椒食之，破五脏，伤心，小儿弥忌之。壮子[1]，病人共饭常食之，久成番胃，作噎病；共甜粥食之，多唾吐清水。脑子，男子食之，损精少子。欲食者，研细，和[2]之，猪脑亦然，不食佳。饮酒后不得食羊豕脑，大害人。心有孔者，杀人。一角者，杀人。

羖羊，青羝羊也。肉，以水中柳木及白杨木，不得于铜器内煮食之，丈夫损阳，女子绝阴，暴下不止。髓及骨汁合食，烦热难退，动利。六月勿食，以益[3]神气。青羊肝和小豆食之，目少明。羊不酱同食，久而生癞，发痼疾。

牛盛热时卒死者，不任食[4]，作肠痈，下痢者，必剧。五月食之，伤神气。患牛脚蹄中拒筋，食之作肉刺。共马肉食，身痒，共猪肉食，生寸白，肉用桑柴火炙，生寸白。牛肉，患冷人不宜食，五脏各补人五脏。沙牛肉常食，发宿病。

马肉自死者，害人，甚者杀人，不可食。下痢人食者，加剧。肉多著水浸洗，方煮得烂，去血尽，始可煮炙[5]，肥者亦然，不然毒不出，患丁肿。肉只可煮，余食难消，不可多食，妊不食，五月食之伤神气。食肉而心烦闷者，饮清酒则解，浊酒则剧。不与陈仓米同食[6]，卒得恶，十死九。姜同食，生气噉，患痢食简。血有毒，饮美酒解。白马玄蹄脑[7]令人癫。白马青蹄肉不可食，黑脊斑臂肉不可食，鞍下黑色彻肉里者，伤人五脏。马头骨作枕，令人不睡。食死马，勿食仓米，发百病。马汗气及毛，不可偶入食中，害人。汗不可近阴，先有疮，不得近马汗及肉汁、马气并毛等，必杀人。马筋肉非十二月采者，宜火乾。马心，下痢人不可食。马蹄，夜目五月以后勿食之。肉不可与鹿膳同食。

驴肉病死者，不堪[8]。骡驴马，为其十二月胎，骡又不产，妊不可食，驴肉动风，脂肥尤甚，食肉慎不可饮酒，致疾杀人。尿稍毒，服下过二合。

醍醐酥酪，有益无损。羊牛马酪，食竟即食大酢，变血澹[9]尿血。牛乳不可与酸物食，成坚积，□驴乳冷不堪酪。一切牛马乳及酪，共生鱼食，成鱼瘕。乳酪煎鱼，主霍乱。

犬肉炙食成消渴，白犬自死不出舌者[10]，害人，瘦者是[11]病，不可食。妊食犬，儿无声。九月禁食，以养[12]神气。肉与蒜同食，损人。血食肉而去血，不益人，血和海鲋食之，得恶病。狂犬若鼻赤起与燥者，此欲狂，其肉不堪食。孙真人曰：春末夏初，犬多[13]□□，当戒，小弱持杖预防之。防而不免，莫出于灸，其法只就咬处牙上灸之，一日一次，灸一二三元，在意，肉至百二十日止咬后便计，韭果煮食之，日日食为佳。此病至重，世不以为意，不可不知也。

鹿肉、獐肉为一，不属十二辰也，五月勿食之，伤神。豹文者杀人。

鹿茸不可以鼻嗅，有小虫入鼻，为虫颡，药不及也。鹿肉痿人阴，不可近。白鹿肉和蒲白作羹，发恶疮。壶居士云：饵药人食鹿肉，必不得力，以其食解毒之草，能散药力也。

狸肉骨，可治劳。

獐肉，八月至十一月食之，胜羊肉，余月动气。

麂肉多食，动痼疾，以其食蛇，所以毒。

---

① 壮子：备急千金要方卷二十六鸟兽第五作“羊肚”。
② 和：备急千金要方卷二十六鸟兽第五此下有“醋食”二字。
③ 益：备急千金要方第二十六鸟兽第五作“伤”。
④ 食：备急千金要方卷第二十六鸟兽第五此下有“食之”二字。
⑤ 炙：大观本草卷之十七马肉条引孟诜作“食”。
⑥ 食：大观本草卷之十七马肉条引孟诜此下有“必”字。
⑦ 蹄脑：备急千金要方卷第二十六鸟兽第五作“头，食其脑”。
⑧ 堪：备急千金要方卷第二十六鸟兽第五作“任用”。
⑨ 澹：备急千金要方卷第二十六鸟兽第五作“瘕”。
⑩ 者：备急千金要方卷第二十六鸟兽第五此下有“食之”二字。
⑪ 是：本草纲目兽部第五十卷上狗条引李时珍作“有”。
⑫ 以养：备急千金要方卷第二十六鸟兽第五作“伤人”。
⑬ 多：此下脱字，备急千金要方卷第二十五蛇毒第二作“发狂”。

麋肉不与野鸡及鲠生菜、梅李果实同食，皆病人。

兔肉妊食，子缺唇，兔产从口出，忌之，宜丹石人，八月十一月可食，多食损阳绝血脉，令人萎黄。豆疮食之，大毒班烂损人。二月勿食，养[1]神气。共獭肉肝食，成遁尸；鹅肉同食，血气不行；白鸡肝同食，面失血色，一年成疸[2]；共姜橘食，心痛霍乱。

虎肉正月忌食，以益寿。药箭死者，毒渍骨血间，犹能伤人，不可食，狸豹同。

川山甲多食，动旧风疾。

豺肉酸不可食，消人脂肉，令人瘦，损神情。

獭肉只治热，若冷气虚胀，食之甚也，消阳，不益男子，宜少食。五脏及肉性寒，惟肝温，治传尸劳。

象肉食之体重。

熊肉，有痼疾者，不可食，终身不愈。十月禁食。脂不可作灯，烟气入目，失明，不可近阴不起[3]。

射肉共鹊肉食作瘕。此物夏月食蛇，带其香，日久透关成异疾，不得近鼻，有白虫入脑，患虫颗。

猴猿，小儿近之，伤志。

猬肉可食，骨不得食，能瘦人，使人缩小。

肉汁在密器气不泄者，禽畜肝青者，兽赤足者，有岐尾者，煮热不敛水者，煮而不熟者，生而敛者，野兽自死北首伏地者[4]，□祭肉无故自动者，禽兽自死无伤处者，犬悬蹄沾漏，肉中有星如米者，羊脯三月以后，有虫如马尾者，米瓮中肉脯久藏者，皆杀人。脯暴不燥，火烧不动，入腹不消，自死肝脏，不可食，肉虽鲜，似有息气，损气伤脏。肉及肝，落地不沾尘，不可食，诸心损心，诸血损血。

一切脑，一切脾，不可食，皆能害人。一切肉，惟烂煮停冷食之，食毕嗽口数过，齿不龋。食肉过度，还饮肉汁即消。禽畜五脏，三月三日勿食，吉。

鱼　类

鲩鱼有疮者，不可食。

鲤鱼多发风热，修理当去脊上两筋及黑血，沙石溪中者毒多在脑，勿食其头。山上水中有鲤，不可食。五月五日勿食鲤，天行病后不可食，再发死，腹有瘕不可食。与麦酱同食，咽生疮；与紫苏同食，发痈疽。鲤鲊不可合小豆藿食，食桂竟食鲤成瘕。鱼及子不可合猪肝食，鲫亦然。素问云：鱼热中。叔和云：热生风。日华子云凉，当以素问为正，风家更使食鱼，胎[5]祸无穷矣。

鲭鱼有疮者，不可食。

鳜鱼背上有十二簪骨，每月一骨，毒能杀人，宜尽去之。苏州王顺食鳜，骨鲠几死，渔人张九取橄榄核末，流水调服而愈。人问其故，九曰：父老传橄榄木作棹，鱼触便浮，知鱼畏此木也。

白鱼泥人心，疮疖人不可食，甚发脓。炙疮不发，鲙食之，久食发病。

鲫鱼，春不食其头，中有虫也，合猴、雉肉、猪肝食之不宜。子合猪肉食不宜，和蒜少热，和姜酱少冷，与麦门冬食杀人，与芥菜同食，水肿。

青鱼及鲊，服术者忌之，合生胡葵[6]蒜、麦、酱食不宜。

黄鱼发气，发疮，动风，不可多食，合荞麦食，失音。

黄颡鱼不可合荆芥食，吐血，犯者以地浆解。

时鱼味美，稍发疳痼。

鲂鱼，患疳痢者禁之。

鲇鱼勿食多，赤目赤须者杀人，合鹿肉

---

① 养：备急千金要方卷第二十六鸟兽第五作“伤人”。

② 疸：备急千金要方卷第二十六鸟兽第五作“瘅黄”。

③ 不可近阴不起：备急千金要方卷第二十六鸟兽第五作“不能远视”。

④ 者：此下脱字，备急千金要方卷第二十七道林养性第二作“神”。

⑤ 胎：本草纲目卷四十四鳞部鲤鱼条引日华子作“胎”。

⑥ 生胡葵：本草纲目卷四十四鳞部青鱼条引陶宏景作“生胡荽、生葵”。

及无鳃者同。

鲟鱼味美而发诸药毒，鲊虽世人所重，不益人。丹石人不可食，令少气，发疮疥，动风气；小儿食之，多成瘕及咳；大人久痛，食卒心痛；合乾笋食瘫痪。

鲧鲩鱼有毒，不可食。

石首鱼不堪鲜食。

童鱼冷而不泄。

狗鱼暖而不补。

河豚，又名胡夷鱼，味珍，经云无毒，实有大毒，脩治不如法，杀人。眼赤者害人，肝有大毒，中之立死。中其毒者，橄榄、芦根汁解之。

驴鱼不甚发病，然多食能发痃癖及疮肿，不可与乳酪同食。

鲋鱼，时病起[1]食之复，过则霍乱。四月食之害神气。腹下黄，为黄鲋，又有白鲋，稍粗，二者皆动风气，妊食之，胎生疾。凡头中无腮，背有白点，并杀人。茅亭客话云：鲋鲨不可杀，大者有毒，杀人。京师一郎官，喜食鲋，一日过度，吐利大作，几殆，信不可多也。鲋鱼肝生恶疮，勿以盐炙。

乌贼鱼久食，主无子。

乌鱼水厌，焚修者忌之。

鳗鲡虽有毒，而治劳。昔陈通判女，病劳将死，父母以船送之江中，飘泊孤洲，渔人见而怜之，与之鳗鲡羹，渐生，□月渔人送还陈府，女病已脱然矣。

鲨鱼多食发嗽，并疮癣，小者谓之鬼鲨，害人。

鱼鲊若有头发在内，误食杀人。

若鲭鱼食后，食荆芥杀人。

凡一切鱼毒，鱼油灯烟盲人眼，诸禽兽油亦然。无腮发癫，全鳃发痈，无肠胆食之三年，丈夫阳萎，女人[2]□□。白[3]目白，皆[4]黑点赤鳞，目令[5]，并不可食。有角食之，发心惊。目赤者，作鲙成瘕，作鲊害人。共菜食作蛔、蛲虫。下痢者食鱼加剧，难治。一切鱼尾，不益人，多有勾骨，著人咽。鱼子共猪肝食，不化，成恶病。妊食乾鱼，令子多疾。鱼鲙，瓜忌同食。三[6]月庚寅，勿食鱼。

鳖居水底，性甚冷毒，有劳气及癥瘕人，不宜食。肉主聚，甲主散，凡制鳖，当锉其甲，同煮熟，则去甲食之，庶几性稍平。目大者，赤足者，肉下有王字形者，三足者为能，并能杀人。腹下有蛇盘纹者，是蛇，须看之。合鸡子、兔肉、芥子酱食之，损人。妊食之，令子项短。六甲日，忌食龟鳖及鳞甲，害人心神。薄苛煮鳖，曾杀人；合苋菜食，腹中生鳖。巢氏云：有主人共奴，俱患鳖瘕，奴前死，剖腹得一白鳖仍活。有人乘白马来看，为[7]尿，落鳖上，即缩头[8]寻以马尿灌之，化为水。其主曰：吾将差矣。即服之，果差。

蟹未被霜者，甚有毒，云食水莨，音建。人中之，不即疗，多死。背上有星点者，脚不全者，独螯者，独目者，两目相向者，足斑目赤者，并杀人。中其毒者，速以冬瓜汁、紫苏汤，或大黄汁灌之。妊妇食之，令人横生。至八月，事林广记九月。蟹肠有真稻芒，长寸许，向冬输与海神，未输芒，未可食。十二月勿食，以养[9]神气。食蟹即食红柿，及荆芥，动风，缘黄下有风虫，去之不妨。与灰酒同食，吐血。

海边又有彭螘，拥出似彭蜎而大，似蟹而小，不可食。蔡谟初渡江，不识而食之，几死，叹曰：读尔雅不熟，民为所误。

蛙骨热食之，小便淋甚苦；妊食之，令子寿夭。蛙之小者，亦令多小便闭，脐下酸疼。有至死者，冷水擂车前草饮之。

鲕发风动气，及疮癣冷积之疾，无须者，煮而色白者，不可食。鲊内有者大毒，以热饭盛，密器中作鲊，毒人至死。鲕鲙共猪肉

---

① 起：本草纲目卷四十四鳞部鲋鱼条引陶弘景作“后”。

② 人：此下脱字，备急千金要方卷二十六鸟兽第五作“绝孕”。

③ 白：备急千金要方卷二十六鸟兽第五作“鱼”。

④ 皆：备急千金要方卷二十六鸟兽第五作“身”。

⑤ 令：金匮卷下第二十四作“合”。

⑥ 三：备急千金要方卷二十六鸟兽第五作“二”。

⑦ 为：诸病源候论作“白马遂”。

⑧ 头：诸病源候论此下有“及脚”二字。

⑨ 以养：备急千金要方卷二十六鸟兽第五作“损人”。

食之，常恶心多唾，损颜色。

螺大寒，不可常食。螺蚌菜共食之，心痛，三日一发。蚌著甲之物，十二月勿食之。

蚶子每食后，以饭压之，不尔，令人口乾。

蛤蜊，服丹石人食之，腹中结痛。

淡菜多食，烦闷目暗，微利即止。

蚬多食发嗽，并冷气消肾。

蛏，天行[1]后不可食。

龟黑者常啖蛇，不中食；其甲，不可入药。十一月勿食龟鳖，能发水病。

虫　类

蜜，七月勿食生蜜，发霍乱。蜜瓶不可造鲊，鲊瓶不可盛蜜，及蜜煎，损气。

白花蛇，用之去头尾，换酒浸三日，弃酒不用，火炙仍令去皮骨，此物毒甚，不可不防。

乌蛇生商洛[2]，今斬黄[3]有之，皆不[4]三棱，色黑如漆，性善不啮物，多在芦丛，嗅花气[5]，尾长能穿百钱者佳，市者伪，以他蛇烟熏货之，不可不察。脊高，世谓[6]□脊乌稍。商州有[7]患大风，家人恶之，为起茅屋山中，有乌蛇堕酒罂，病人不知而饮，遂差。史记有患者，食至胸即吐，作育疾不愈，病者曰：素有六风，求蛇肉，风愈而有此疾，盖蛇瘕，腹上有蛇形也。

蛇头不可以刀断，必回伤人，名曰□蛇箭。

蛤蜊[8]其毒在眼，其功在尾，尾全为佳。

水蛭乾者，冬月猪脂煎令黄，乃堪用，腹有子，去之。此物极难死，火炙经年，得水犹活。石蛭头尖腹大，不可药用，误用令人目生烟不已，渐至枯损，不可不辨。有吴少师得疾数月，肉瘦，食下咽，腹中如方虫钻刺，且痒痛，皆以为劳，张蜕取黄土，温酒调服，下马蝗千余，皆困去。去年出师，饮涧水，似有物入口，径入喉，自此得疾，失虫入肝脾，替须滋生，食时则聚丹田间，咒呕精血，饱则散处四肢，久则杀人，不可不知也。

蜈蚣黄足者甚多，不堪用。鸡杀过宿，收拾不密，此虫必集其中，不再煮而食之，其害非轻。

蚕沙煮酒，色清味美，能疗疾。

蜘蛛灰色大腹，遗尿著人，作疮癣。

花蜬蛛丝最毒，能瘤断牛尾，人有小遗，不幸而著，阴缠而后已，切宜慎之。曾有断其阴者。

蚯蚓暑月履湿，毒能中人。昔有中其毒者，腹大夜闻蚓鸣于身，以盐水浸之而愈。又张龙为蚓所咬，形如大风，眉须尽落，每蚓鸣于身，亦以此取效，仍当饮盐汤。

事林广记

饮食害人

檐滴水生菜，有大毒，食之杀人。

头发不可在鱼鲊内食之，杀人。

饮食相反

螃蟹与灰酒同食，令人吐血。食粟米，勿食杏仁，令人吐泻。薤菜与牛肉同食，令人生瘕。食兔肉，勿食乾姜，令人霍乱。兔肉与白鸡同食，令人发黄。食死马，勿食仓米，发人百病。鲫鱼与芥菜同食，令人黄肿。食猪肉，勿食生姜，发人大风。鸡肉与葫蒜同食，令人气滞。糖蜜与小虾同食，令人暴下。食羊肝勿使生椒，伤食[9]五脏。枣李与蜂蜜同食，五脏不和。饮酒后勿食芥辣，缓

---

① 行：本草纲目卷四十六介部蛏条引孟诜此下有"病"字。

② 洛：本草纲目卷四十三鳞部乌蛇条此下有"山"字。

③ 今斬黄：大观本草卷二十二乌蛇条引图经作"今蘄州、黄州"。

④ 皆不：本草纲目卷四十三鳞部乌蛇条作"背有"。

⑤ 气：大观本草卷二十二乌蛇条引图经此下有"亦乘南风而吸"六字。

⑥ 谓：此下脱字，本草纲目卷四十三鳞部乌蛇条作"剑"。

⑦ 有：本草纲目卷四十三鳞部乌蛇条此下有"人"字。

⑧ 蛒：本草纲目卷四十三鳞部蛤蚧条作"蚧"。

⑨ 伤食：本草纲目卷五十兽部羊肝条引孙思邈作"食伤人"。

人筋骨。兔肉与鹅肉同食，血气不行。饮酒后勿食胡桃令人呕血。猪肝与鹌鹑同食，面生黑点。食粥后勿食白汤，令人成淋。牛肉与白酒同食，生寸白虫。食鳖肉勿食苋菜，腹中生鳖，麦酱与鲤鱼同食，咽喉生疮。诸禽兽鱼油灯，烟盲人眼。

山居四要

摄生之要

起居杂忌

醉眠当风处生病，醉卧黍穰中成大风。醉不可强食，嗔怒生痈疽；醉人大吐，不以手紧掩其目则转睛。频浴，热气壅脑，血凝而气散；食饱即睡，成气疾。空心茶加盐，直透肾经，又冷胃。炊汤洗面，无精神。行路有汗，跂床悬脚，成血痹腰疼。醉不可便卧，面生疮疖，内生积聚；醉不可忍大小便，成癃闭、肠痔等疾。停灯行房损寿，醉饱行房致百病。夏月并醉时，不可露卧、生风癣及冷痹。坐卧沐浴，勿当檐风，及窗隙风，皆成病。远行触热，及醉用冷水洗面，生黑点成目疾。有目疾浴及房事，成目盲。汗出露卧及浴，害风疹。暑月于热石上坐，热则生疮，冷则成疝。醉未解，冷水洗面，发面疮。猛汗时，河内浴，成骨痹。马尾作牙刷，损齿。热汤漱口，损牙。诸禽兽鱼油点灯，令人盲目。烧甘蔗粗，令人目暗。嗅腊梅花，生鼻痔。乱发藏卧房壁中，久招不祥。橘花上有蚤，凌霄金钱花近鼻闻，皆有毒。麝香鹿茸，有细虫，闻之则虫入脑。虎豹皮上睡，惊神；毛入疮，有大毒。枕内放茉莉，引蜈蚣。凌霄花露入眼，则失明。夜梦不祥，不宜说；夜间不宜说鬼神事。星月下不可裸形。夜间不宜朝西北小遗。夏月远行，不可用冷水濯足。雪寒草履，不可用热汤洗足。水过夜面上有五色光彩者，不可洗手。汗出时并醉时，不可扇，生偏枯。大小便不可忍，成膝劳冷痹。向星辰神堂庙宇，不可大小便。夜行勿歌唱大叫。晦日不可大醉。本命日及风雨雷电，大寒大暑，日月日薄蚀，庚申甲子，并朔望晦、日四时，二社二分，二至日，并忌房事。食饱不可洗头。口勿吹灯火，损气。凡日光不可凝视，损目。尽不可睡，损元气。食勿言，寝勿语。怒不可暴，生气疾恶疮。立秋日不可澡浴。磨刀水洗手，生癣。凡睡觉饮水，更眠，成水癖。凡卧歌咏，大不祥，雷鸣时不可仰卧。睡卧不宜张口，气泄损神。夜停灯寝，招恶梦。沐浴未乾，不可睡。时行病新汗方解，不可用冷水浴。饥忌浴，饱忌沐，常以晦日浴，朔日沐吉。洗头不宜用冷水淋。向午后阴气起，不可沐发。夜卧鞋不宜仰放，或置床上吉。虹蜺不可指，卧勿当舍脊下。

养生之要

服药忌食

服丹药、空青、朱砂、不可食蛤蜊，并忌食猪羊血，及绿豆粉。食茯苓、忌食醋。服黄连、桔梗，忌食猪肉。服鳖甲，忌苋菜。服细辛远志，忌生菜。服乌头，忌豉汁。服水银、朱砂，忌生血。服巴豆，忌野猪肉。服地黄，忌大枣、芜荑。服常山，忌生葱并醋。服天门冬，忌鲤鱼。服甘草，忌菘菜、海藻。服半夏、菖蒲，忌饧、饴并羊肉。服术，忌桃、李、雀肉、胡荽、蒜、鲊。服乾姜，忌食兔肉。服杏仁忌食粟米。服麦门冬，忌食鲫鱼。凡服药忌食胡荽、蒜、生菜、肥猪、犬肉、油腻、鱼鲙、腥臊、生冷、酸臭滑物。服牡丹，忌胡荽。服商陆，忌食犬肉。

饮食杂忌

酒浆上不见人物影者，不可食。盛蜜瓶作鲊，不可食。铜器内盛酒过夜，不可饮。陶瓶内掐花宿水，及养蜡梅花水，饮之能杀

人，凡肉汁以铜器，盖滴汁入者有毒。凡肉汁盛器中，不泄者，有毒。凡肉生而敛坠地不粘尘，煮而不熟者，皆有毒。凡肉自死者，炙之不动，曝之不乾，见水自动者，不可食。肉经宿并熟，鸡过夜不再荡，不可食。马生角，及白马黑头，白马青蹄者，皆不可食。黑牛白头，并独肝者，不可食。凡禽畜肝青者，不可食。诸禽兽脑滑精，不可食。凡鸟死口目不闭，脚不伸者，不可食。凡白鸟黄首者，不可食。凡鱼目能开闭，或无腮，无胆，腹不丹，并有眼睫者，及有角白背黑点者，皆不可食。蟹目相向，并有独螯者，不可食。所属本肖肉，不可食。马蹄夜目，不可食。黑鸡白首，并四距者，不可食。河豚鱼浸血不尽，眼赤斑者，及子不可食。鳖腹有蛇蟠痕者，不可食。蕈无纹有毛，及煮不熟者，不可食。鲇鱼赤须赤目者，有毒。面有鼈气，不可食。浆煮饭馊不可食。兔合眼，不可食。鲤鱼头脑有毒，不可食。菜著露，不可食。冬瓜经露者，能生病。虾无须，及腹下黑者，有毒。猪肉，病人新起者，忌食之。猪头并猪觜，有风疾者，忌食。鲤鱼，病后不宜食。麂肉，有痼疾者，不宜食。鲫鱼，有脚气者，不宜食。匏子，有脚气者，不宜食。瓜苦及两蒂两鼻者，沉水者，皆有毒。桃李六出双仁者有毒。山鸡食半夏乌头有毒。诸肉脯贮米中者，不可食。羊心并肝有孔窍者，及羊独角，或鹿角白羊黑头者，并不可食。肉脯曝不乾者，不可食。鱼头有白连背上者，不可食。祭神肉自动者，不可食。生果停久有损处者，不可食。鲨鱼小者谓之鬼鲨，不可食。羊豕脑，醉后不可食。粥内入白汤，食之成淋病。醉中饮冷水，成手颤。鼠残物，食之生疬。日月蚀时，饮食损牙。茅屋漏水，入诸脯中，食之生症瘕。醉后饮酪水，成噎病。醉不可饮冷浆水，失声成尸噎。吐多，饮冷水，成消渴。发落饮食中，食之成瘕。夏月不宜饮冰。凡夜不宜多食鸡、鸭、猪、肉，能致霍乱。饮酒多能腐肠烂胃，溃髓蒸筋，伤神损寿。饮酒食红柿，令人心痛至死；食苍耳，亦令心痛。饮白酒，食生韭，令人病增。葡萄架下不可饮酒。铜汤瓶内，煎汤饮之，损声。五味所禁，辛走气，气病毋多食辛，咸走血，血病毋多食咸，苦走骨，骨病毋多食苦，甘走肉，肉病毋多食甘，酸走筋，筋病毋多食酸。多食咸则凝注而色变，多食苦则皮枯而毛落，多食辛则筋急而爪枯，多食酸则肉胝胁而唇揭，多食甘则骨痛而发落。

饮食反忌

兔肉与白鸡同食发黄，与鹅肉同食，血气不行，与姜橘同食，成霍乱。螃蟹与芥汤同食，吐血。糖蜜与小虾同食，暴下。猪肝与鹌鹑同食，面生黑点。生肉与白酒同食，生寸白虫。羊恶半夏忌作鲊。野鸡与鲇鱼同食，生癞。野鸡不与鲫鱼，及猪肝麻菰同食。野鸡卵与鱼同食，野鸡与荞面同食，并生虫。牛肠不与犬肉同食。牛肝不与鲇鱼同食。生肉不与栗子同食。羊肝不与猪肉同食。马肉不与仓米及苍耳同食。马奶子不与鱼鲙同食。鹿肉不与鲩鱼同食。麋鹿不与虾同食。一犬肉不与蒜同食。生菜恶细辛，芦笋恶巴豆。蒜忌术，损眼目。忌啖脍，猪血与黄豆同食闷人。猪肉与生姜同食，发大风；与芜荽同食，烂人肠。羊肉与豆酱同食，发痼疾。茶与韭同食，耳重。牛肉与韭同食，生疣。鲤鱼与紫苏同食发痈疽。鲫鱼不与芥叶及糖并猪肉同食。黄鱼不与荞面同食。虾不与猪肉及鸡肉同食。羊肝与生椒同食，伤五脏，与小豆、梅子同食，伤人。鲥鱼不与白犬同食。鱼子不与猪肝同食。鲊不与小豆同食。鳖不与薄荷并灰苋同食。蚬子不与油饼同食。杨梅不与生葱同食。莴苣不与饴酪同食。鳖不与鸡鸭弹、山鸡与雀肉同食。蟹忌与软枣与红柿同食。雀肉忌与李同食。鸡肉忌与胡荽同食，生气滞。黍米不与葵菜同食。小豆不与鲤鱼同食。李不与鸡子同食。枣李菱角生葱忌与蜜同食。竹笋、葵菜、韭、苦豆，并

不与糠同食。芥末不与兔肉食。蓼不与鱼脍同食。正月食虎豹狸肉，伤人，食生蓼伤肾。二月食兔肉伤神，食鸡恶心。三月食鸟兽五脏、仙家尽忌 四月食雉，气逆，食鳝鱼害人，食蒜伤气。五月食韭，昏五脏，食鹿伤神。六月食泽水，病鳖瘕。七月食苓，有蜡虫，能害人。八月食姜蒜，损寿。九月食蟹肠，有稻芒。十月食熊伤神，食猪肉发宿疾。十一月食龟鳖，水病，食鸳鸯恶心。十二月食生葵，发痼疾，食龟鳖害人。白饮酒，忌诸甜物，荡粉皮，忌杏仁有则不就。

运化玄枢

孟春之月

禁　忌

正月勿食鼠残之物，能生鼠瘘疮，小便下血者，是此病；勿食梨，以厩别离之意；勿食鲫鱼头，其中有虫。

春冰未泮，衣欲下厚上薄，养阳收阴，继世长生之术也。太薄则伤寒霍乱，饮食不消，头疼之疾并作。

春宜避风，或伤于风，夏必飧泄。

春三月故气乃发，宜夜卧早起，不然则伤肝，至夏成寒变之疾，切宜忌之。

仲春之月

禁　忌

其月先雷，三日发声，夫妇戒容止，不然生子不备多凶，犯者减寿，切宜忌之。朔望日各减十年；晦日减十年；初八上弦、二十三下弦、各减五年；庚申甲子本命减二年；春分社日各减四年；初三日万神都会，及二十八日人神在阴，犯者百日中恶。

其月乃肾脏气微，肝脏正王，宜净膈去痰，宜泄皮肤，令得微汗，以散去冬温伏之气。忌远行，水陆并不可往；勿食梨；勿食生冷；勿食黄花菜及陈淹菜，发痼疾，动痼气；勿食大蒜，令人气壅，关膈不通；勿食小蒜，伤人志性；勿食狐狢肉，伤人神。

季春之月

禁　忌

其月勿久处湿地，必招邪毒；勿大汗当风，勿露体星宿下，以招不祥；勿发汗，以养脏气；勿食马肉，令人神魂不安；勿食獐鹿等肉，损气志；勿食韭发疾，俗传益人心，谬也；勿食生薤小蒜，伤人志；勿食血脾，乃是季月土旺在脾故也；勿食蛟龙鱼肉，令人饮食不化，发宿病，神气恍惚；勿食陈淹菜，名曰菹，能令夏生热病，发恶疮；勿食生葵，令人饮食不消化，发宿疾；勿食鸡子，终身昏乱；勿食鸟兽五脏，及一切果菜，五辛等物，则大吉。

月忌夫妇戒容止，犯者减寿，切宜忌之。朔望日各减十年；晦日减一年；初八上弦、二十三下弦，各减五年；庚申、甲子、本命减二年；初九日，牛鬼初降，二十八日人神在阴，犯者百日中恶。

孟夏之月

禁　忌

其月为乾，生气在卯，死气在酉，万物以成，天地化生，勿胃极；勿大汗；勿暴怒；勿暴露星宿，背成疾；勿露卧，令皮肤厚成癣，或成面风，凡卧欲得头向东，有所利益，勿食鸡肉，及菟鸡肉，恐生内疽在胸腋间，男子败阳，女子绝孕，能生虚劳之气；勿食蛇肉、蟮肉、损神害气；勿食生蒜，伤人神，损胆气；勿食诸心；勿令饮酒大醉，勿枕冷器铁石等物，令人眼暗。

其月不得入房，避阴阳，纯用事之月也，夫妇戒容止，犯者减寿。朔望日各减十年；

晦日减一年；初八日上弦、二十三日下弦、各减五年；庚申、甲子、本命减二年；初八日，万神善化，犯之失喑；其夜善恶童子降，犯者血死；二十八日，人神在阴，切宜忌之。

初八日不宜远行，宜安心静念，沐浴斋戒，必得福庆。

夏三月，宜晚眠早起，感天地之清气，令人寿，宜忌暴怒，则气得泄，若多怒，则伤心，秋为疟疾。

立夏后至九月，食隔宿汤水肉菜等物，生恶疮，隔宿水洗面漱口损神。

仲夏之月

禁　忌

其月五日、六日、七日十五日、二十五日、二十六日、二十七日、谓之九毒日，夫妇宜戒容止，犯者不过三年。朔望日、各减十年；晦日减一年；初八日上弦，二十三日下弦，各减五年，庚申、甲子、本命减二年；二十八日，人神在阴，切宜忌之；夏至减四年。

其月忌上屋，上屋自见其魂魄，则神不安；忌晒床席帐幕。

其月节嗜欲，薄滋味；勿大汗当风，勿暴露星宿，皆成恶疾；勿食韭，令人乏气力，损人目；勿食血物，勿食未核果，令人发痈疖及寒热；勿食一切生菜，发百病；勿食獐、鹿、马肉，伤人神气；勿食鸡肉，生痈疽；勿食蛇鳝等肉，令人折筭寿，神气不安；勿饮厨中停水，令人患鳖瘕病也。

初五日午时，勿以鲤鱼子共猪肝食，不消化，成恶疾；勿食鳖子共鲍鱼，令人害疽黄。

夏至后，勿食肥腻饼臛之属，此与酒浆果瓜相妨，入秋节便生诸病。

季夏之月

禁　忌

其月增咸以资肾脏，是月肾脏气微，脾气绝王，宜减肥浓之物，助肾气，固筋骨，慎贼邪之气；勿沐浴后当风；勿露卧；勿专用冷水浸手足，慎东来邪风，犯之令手足痈痪，体重气短，四肢无力，切宜忌之。

其月无冰，不可以凉水冰饮食，水热生涎能杀人；勿食泽水，令人病鳖瘕；勿食韭，令人目昏；勿食血脾，乃是季月，土旺在脾故也；勿食茱萸，伤神气；勿食野鸭雁等肉，伤人神气；勿食羊肉，及血，损人神魂，少志健忘；勿食生葵成水癖；勿食露葵，若犬噬终身不瘥；勿食生葵菜，令人饮食不消化，发宿疾。

月忌夫妇戒容止，犯者减寿。朔望日各减十年；晦日减一年；初八上弦，二十三下弦各减五年；庚申、甲子、本命减二年；初九日牛鬼初降，犯者百日中恶；二十八日人神在阴，切宜忌之。

孟秋之月

禁　忌

其月勿食莼，上有蠲虫杀人；勿食薤，损目；勿食茱萸，伤神气；勿食獐肉，动气；勿食诸肺；勿食雁，伤神；勿食猿猴肉。

初七日勿想恶事，况为者乎，仙家大忌。

立秋日不可浴，令人皮肤粗燥，多生白屑；后五日，瓜不可食。

月忌夫妇戒容止，犯者减寿。朔望日，各减十年；晦日减一年；初八上弦，二十三下弦，中元各减五年；庚申、甲子、本命减二年；初三日，万神都会，及十四十六日，三官降，犯者百日中恶；二十八日，人神在阴，切宜忌之。

仲秋之月

禁　忌

其月勿食生蒜，伤人神，损胆气；勿食胡荽，伤人神，损胆气，令喘悸，胁肋气急；勿食猪肺及饧和食之，至冬发疽；勿食鸡肉，伤人神气；勿食鸡肉，损人神气，令

人气短；勿食獐肉、动气；勿食芹菜，恐成蚊龙瘕，发则颠狂，面色青黄，小腹胀；勿饮阴地流泉，令人发疟，又损脚令软；勿食生蜜，多作霍乱；勿食生果子，令人多疮；勿食鸡子，伤神；勿食未经霜蟹，有毒；勿市经营；勿犯贼邪之风；勿增肥腥，令人霍乱。

月忌夫妇戒容止，犯者减寿。朔望日各减十年；晦日减一年；初八上弦，二十三下弦各减五年；庚申、甲子、本命减二年；初三日万神都会，及十四十六日，三官降，犯者百日中恶；二十八日，人神在阴，忌之，秋分社日各减四年。

秋社日，人家当令儿女夙兴则寿，若晏起有神名社翁社婆者，遗屎其面上，其后面白或黄者，是其验也，切宜忌之。

季秋之月

禁　忌

其月勿食姜，损目；勿食血脾，乃是季月土旺在脾故也；勿食犬肉，伤人神气；勿食霜下瓜，成翻胃；勿食生葵菜，令人饮食不化，发宿病；勿食生冷，以防厉疾；勿食诸姜，成痼疾；勿食小蒜，伤神损寿，魂魄不安；勿食蓼子，损人志气；勿食鸦雉等肉，损人神气；勿食鸡肉，令人魂不安、魄散；勿以猪肝和饧同食，至冬成嗽病，经年不得瘥。

初九日，勿动床席。

月忌夫妇，戒容止，犯者减寿。朔望日各减十年；晦日减一年；初八上弦，二十三下弦各减一年；庚申、甲子、本命减二年；二十八日，人神在阴，切宜忌之。

孟冬之月

禁　忌

其月夜长内热，少食温软之物，食讫摇动令消，不尔成脚气。

其月勿食猪肉，发宿病；勿食生薤，令人多涕唾；勿食獐肉，动气；勿食猪肾，勿多食葱；勿以梨搅热酒饮之，令头旋。

其月不得入房，避阴阳，纯用事之月，夫妇戒容止，犯者减寿。朔望日各减十年；晦日减一年；初八上弦，二十三日下弦，下元各减五年；庚申、甲子、本命减二年；初九日牛鬼初降，犯者百日中恶，初十夜，四天王降，犯之一年死；二十八日，人神在阴，忌之。

仲冬之月

禁　忌

其月肾气正王，心肺衰，宜助肺安神，补理脾胃，无乖其时，勿暴温暖，切慎东南贼邪之风，犯之令人多汗，面肿腰脊弥痛，四肢不通。

其月勿以火灸腹背；勿食猬肉，伤人神魂，勿食焙肉，宜减酸咸增苦，以助神气；勿食螺蚌蟹鳖等物，损人志气，长尸虫；勿食经夏所收之物，及陈脯，成水癖疾；勿食死央，令人恶心；勿食生菜，令人发宿疾；勿食薤，令人多涕唾；勿食黄鼠雁肉，损人神气；勿食獐肉，动气；勿食经霜菜果，令人面无光泽，其说未宜，食亦无恙。

其月冬至后五日，夫妇当别寝，戒容止，犯者减寿。朔望日各减十年；晦日减一年；初八上弦，二十三下弦各减五年；庚申、甲子、本命，各减二年；冬至减四年；二十八日人神在阴，忌之。

季冬之月

禁　忌

其月勿歌舞，犯者必凶；勿食生薤，令人多涕唾；勿食经霜菜果，减人颜色，其说未宜，食亦无恙；勿食蟹鳖虾蚌鳞虫之物，损人神气；勿食獐肉，动气；勿食血脾，土旺在脾故也；勿食牛猪狍熊等肉，伤人神气；勿食生椒，伤人血脉；勿食葵菜，令人饮食不化，发旧疾。

月忌夫妇戒容止，犯者减寿。朔望日各减十年，晦日减一年；初七日夜，犯之恶病死；初八上弦，二十三下弦各减五年；庚申、甲子、本命减二年；初九日牛鬼初降，犯者百日中恶；二十日天地相交行道，犯之促寿，二十八日人神在阴，切宜忌之。

养性导引

千金方

按摩法

天竺国按摩此是婆罗门法

两手相捉纽捩，如洗手法；两手浅相叉，翻覆向胸；两手相捉，共按胜[①]，左右同；以手如挽五石力弓，左右同；两手相重按胜，徐徐捩身，左右同；作拳向前筑，左右同；作拳却顿，此是开胸，左右同；如拓石法，左右同；以手反捶背上，左右同；两手据地缩身曲脊，向上三举；两手抱头，宛转胜上，此是抽胁；大坐斜身偏欹如排山，左右同；大坐伸两脚，即以一脚向前虚掣，左右同；两手拒地回顾，此是虎视法，左右同；立地反拗身三举；两手急相叉，以脚踏手中，左右同；起立，以脚前后虚踏，左右同；大坐伸两脚，用当相手勾所申脚著膝中，以手按之，左右同。

右十八势，但是老人，日别能依此三遍者，一月后百病除，行及奔马，补益延年，能食，眼明轻健，不复疲乏。

老子按摩法

两手捺胜，左右捩身二七遍；两手捻胜，左右纽肩二七遍；两手抱头，左右纽腰二七遍；左右挑头二七遍；两手托头三举之，一手抱头，一手托膝三折，左右同；一手托头，一手托膝，从下向上三遍，左右同；两手攀头，下向三顿足；两手相捉头上过，左右三遍；两手相叉，托心前，推却挽三遍；两手相叉，著心三遍；曲腕筑肋挽肘，左右亦三遍；左右挽，前后拔，各三遍；舒手挽项，左右三遍；反手著膝，手挽肘，覆手著膝上，左右亦三遍；手摸肩，从上至下使遍，左右同；两手空拳筑三遍；两手相叉，反覆搅，各七遍；外振手三遍，内振三遍，覆手振亦三遍，摩纽指三遍；两手反摇三遍；两手反叉，上下纽肘无数，单用十呼；两手上耸三遍；两手下顿三遍；两手相叉头上过，左右申肋十遍；两手拳反背上，掘脊上下亦三遍；掘、揩之也。两手反捉，上下直脊三遍；覆掌搦腕内外，振三遍；覆掌前耸三遍；覆掌两手相叉交横三遍；覆手横直，即耸三遍；若有手患冷，从上打至下，得热便休；舒左脚，右手承之，左手捺脚耸上至下，直脚三遍，右手捺脚亦尔；前后捩足三遍；左捩足，右捩足，各三遍；前后却捩足三遍；直脚三遍；纽胜三遍；内外振脚三遍；若有脚患冷者，打热便休；纽胜以意多少，顿脚三遍；推[②]直脚三遍；虎据，左右纽肩三遍；却[③]天托地，左右三遍；左右排山，负山拔木各三遍；舒手直前，顿申手三遍；舒两手两膝，亦各三遍；舒脚直反，顿申手三遍；捩内脊外脊各三遍。

① 胜：备急千金要方作“胫”。
② 推：备急千金要方作“却”。
③ 却：备急千金要方作“推”。

千金月令

二月中气玄鸟，至春分之日，不可害生命，不可行刑罚，不可处房帷，不可吊丧问疾。是月也，可衣夹衣，可以导引，舒壅滞之气。凡道引之法，二十有四：一以手向招如挽弓，左右同，又两手相捉项上过；二蹲坐，两足如八字，向后，以手拓膝，徐徐动，又左右顾；三侧卧，两屈手承头，将近床脚，屈向上，倚髀，屈上脚，向前，左右同；四交足，正坐视，徐以手按左右股；五握固以手前筑，兼抱颈于膝上婉转；六以手向背上相捉，低身，徐徐婉转；七大坐，手据膝，渐低头，左右摇动，徐徐转；八二手据，或低或举，左右引回旋；九大坐，斜身偏倚据床，如排天，左右同；十手交捶膊，并捶背；十一两手相纽，捩如洗手；十二交指、脑后左右转；十三两手按髀，徐徐捩身，左右同；十四两手浅相，又翻覆向背；十五两脚踏床，两手向外拓床，翻身向上，徐徐摇动；十六如拓大石，向空，左右同；十七交脚立，左右转；十八正身坐，二手于背上相合；十九两手抱颈，婉转髀；二十以手反抱，背向左则右顾，左右同；二十一只脚立钩，一脚向上，左右同；二十二两手急相叉，以脚踏手中；二十三大坐伸脚，用手钩脚心中；二十四大坐伸脚，用手钩脚著膝上，手按之，左右同。凡已上各三五度为，不得过度，但取快性，汗出即以粉摩之，宜于密室中为之，寒月及腹中饱不可。道引讫，宜静室气调后，方可饮食语笑。道气神法，每旦夕面午，展两手于膝上，徐按之，节口吐浊气，鼻引清气，良久，乃以手左右招，上下前后招，双作只作，及反手为之，然后擎足，仰展数八十九十而止，徐定心，想空中太和元气，下入发际，渐渐入顶，如一条晴云入山，渐渐入腹中，四支五藏，皆受其润，若彻则觉腹中有声，达于气海，觉身体振动，亦令坐床拉拉然则名通，日引得三通五通，则觉身体润泽，耳目聪明，百疾皆除，去仙不远矣。

琐碎录

要　诀

为道当令三关常调。三关者，口为心关，足为地关，手为人关。三关调则五藏安，五藏安则举身无病。

正心法

欲使心正，以日出三丈，错手著两肩上，以日当心，心中闻暖则心正矣。有姜伯真行道采药，值仙人，仙人使平倚日中，其影偏，仙人曰：子笃志学仙，不知心不正之为失，因教以此，遂得道。

搬运法

扬州有武官，于二广十余年，终不染瘴，面红腻，腰足轻快，初不服药，唯每日五更起坐，两足相向，热摩涌泉无数，以汗出为度。欧公平日不信仙佛，晚年患足疮，痛不可忍，忽有人授搬运之法，行之三日，不觉疾愈。其法垂足坐，闭目握固缩谷道，摇颭两足，如气球状，气极即休，气平复为之，久久不已大有益。

握固法

常以夜半时，去枕平卧，握固放体，气调而微者，身神具矣。

凡鸡鸣时，叩齿三十六遍，讫，舐唇漱口，舌撩上齿表，咽之三过，杀虫补虚劳，

令人强壮。

远唾不如近唾，近唾不如不唾。

早起以左右手摩肾，次摩脚心，则无脚气诸疾，或以热手摩面上，则令人悦色，以手背揉眼则明目。

右兜左摩诎，右足伸，左足百五轻，七十五重，反是，百五重，七十五轻，八十一日功成。

每日吃饭，先定坐，叩齿二十一遍，集神细嚼，一口咽下，则五脏先接，此一口神安。道家谓细食也。凡食讫，以手磨面及腹，令津液通流，又当行步，踌躇数里许，行毕，使人以手摩腹上数百遍，则食易消，大有益，令人能饮食，无百病也。

一呵十搓，一搓十摩，久而行之，皱少红多。

常默、元气不伤，少思、慧烛内光，不怒、百神安畅，不恼、心地清凉。

一兜九搓，谓以一手兜外肾，一手摩脐下也。左右换手，九九数毕，真阳不走。

晨起叠盘，叠足坐。呵雷咽雨，呵气叩齿，咽津液也。升身内观，递施弓弩。手足互相伸缩，如施弓弩。

一面之上，常欲两手摩之，高下皆热，令人面有光泽，行之至五年，色如处女，所谓山林气常盈也。

濯足而卧，四肢无冷疾。

冬夜伸足卧，则一身俱暖。

夜卧或侧或仰，二足伸屈不并，则无梦泄之患。

冬月夜卧，衣被盖覆太暖，睡觉张目出其每，则永无眼疾。

每日下床，先左脚，念乾元亨利贞，下右足，念日月保长生，如此各念三遍，则终日吉。

临卧用黄柏皮，蜜炙，含少许，一生不患咽喉。

夜坐以手摩脚底，则无筋转之疾。

若要安，三里莫要乾。患风疾人，宜炙。三里者，五脏六腑之沟渠也，常欲一通，即无风疾。

凡寅日剪手甲，午日剪足甲吉。

服药千朝，不如一夜独宿。

凡人一日一夜，一万三千五百二十息，未尝休息也，减之一息则寒，加之一息则热，脏腑不和，诸疾生焉，故元气在保养，谷神在守护。

人待老而保生，是犹贫而后蓄积，虽勤勤亦无益矣。

延 寿 书

导引有法

夜半后生气时，或五更睡觉，或无事闲坐，腹空时宽衣解带，先微微呵出腹中浊气，一九止，或五六止，定心闭目，叩齿三十六通，以集身神，然后以大拇指背拭目，大小九过，使无翳障，明目去风，亦补肾气。兼按鼻左右七过，令表里俱热，所谓灌溉中岳以润肺。次以两手摩令极热，闭口鼻气，然后摩面，不以遍数，连发际，面有光。又摩耳根耳轮，不拘遍数，所谓修其城郭，以补肾气，以防聋瞆。名真人起居之法，次以舌拄上腭，漱口中内外津液满口，作三咽下之，如此三度，九咽，黄庭经曰：漱咽灵液体不乾是也。便凡然放身心同太虚，身若委衣，万虑俱遣，久久行之，气血调畅，自然延寿也。又两足心涌泉二穴，能以一手举足，一手摩擦之，百二十数，疏风去湿，健脚力。欧阳文忠公用此大有验。

经验秘方

道 演 法

灵辰任鼻扣齿三十六，天鼓二十捶，两手前后托身，将左右围射雕三五次，回顾五七回，面望南山，焰焰真火，鼻内吸之咽下，用手按，候口两微微出浊气，一兜九搓。

景尺捷法

钩股之法，古今自是不同，故立八寸表，其景以寸代尺，以分代寸，以观日晷。夫日行远近之深，有南北气应，有早晏，其景不能不少，有出入也，故立八寸表，以辨远近南北早晏，置景盘以观日景；壶矢以明时刻，景盘则当用磁钺，壶矢则当用浑仪，或用于途路之中，则难惜乎，巨可知之。然钩股之法，既曰以寸代尺，以分代寸，立春秋二分，景妙之妙，当置景尺，随日景而转移，测其时刻，岂不便欤。

景尺长六寸 厚薄阔狭不拘

自南至北，于中界画分为两行，自右而左，从寅至酉，定其时刻。尺之首开两窍，立春秋二分，南北之表，以分代寸，用铁为之，竹木亦可，观其表景，即时刻瞭然。

尺 式

右午初、巳全、辰全、卯全、寅略；左午正、未全、申全、酉全。

春分北极之表，此则用尺，上下要安针。春分、白露、清明、处暑、谷雨、立秋。此六气用表长八分。

夏至、芒种、小暑、小满、大暑、立夏。此六气用表长一寸。

秋分南极之表，此则用尺上下窍安针秋分、惊蛰、寒露、雨水、霜降、立春。此六气用表长六分。

冬至、大雪、小寒、小雪、大寒、立冬。此六气用表长五分。

臞仙活人心

导 引 法

闭目寅[1]心坐，冥心盘趺而坐。握固静鬼神，叩齿三十六，两手抱昆仑，又两手向颈后，数九息，勿令耳闻，自此以后，出入息皆不可使耳闻。左右鸣天鼓，二十四度闻，移两手心，掩两耳，先以第二指压中指，弹击脑后，左右各二十四次。微摆撼天柱，摇头，左右顾，肩膊随动二十四，先须握固。赤龙搅水浑。赤龙者，舌也，以舌搅口齿，并左右颊，待津液生，而漱津三十六，一云鼓漱。神水满口匀，一口分三咽，所漱津液，分作三口，作汩汩声，而咽之。一龙行虎自奔，液为龙，气为虎。闭气搓手热，以鼻引清气闭之，少顿，搓手令极热，鼻中徐徐乃放气出。背摩后精门，精门者，腰后外肾也，合手心摩毕，收手握固。尽此一口气，再闭气也。想火烧脐轮，闭口鼻之气，想用心火下烧丹田觉热极，即用后法。左右辘轳转，俯首摆撼两肩三十六，想火自丹透双关，入脑户，鼻引清气，闭步顶间。两脚放舒伸，放直两脚。叉手双虚托，叉手相交，向上托空三次，或九次。低头攀足频，以两手向前，攀脚心，拾三次，乃收足端坐。以候逆水上，候口中津液生，如未生，再用急搅，取水同煎法。再漱再吞津。如此三度毕，神水九次吞，谓再漱三十六，如前，一口分三咽，乃为九也。咽下汩汩响，百脉自调匀，河车搬运讫，摆肩，并身二十四，及再转辘轳二十四次。发火遍烧身，想丹田火，自下而上，遍烧身体，想时口及鼻皆闭气少顷。邪魔不敢近，梦寐不能昏，寒暑不能入，灾病不能迍。子后手前作，造化合乾坤，循环次第转，八卦是良因。诀曰：其法于甲子日，夜半子时起，首行时口中不得出气，唯

① 寅：按下注文应作“冥”。

鼻中微放清气，每日子后午前，各行一次，或昼夜共行三次，久而自知，蠲除疾疫，渐觉身轻，若能勤苦不息，则仙道不远矣。

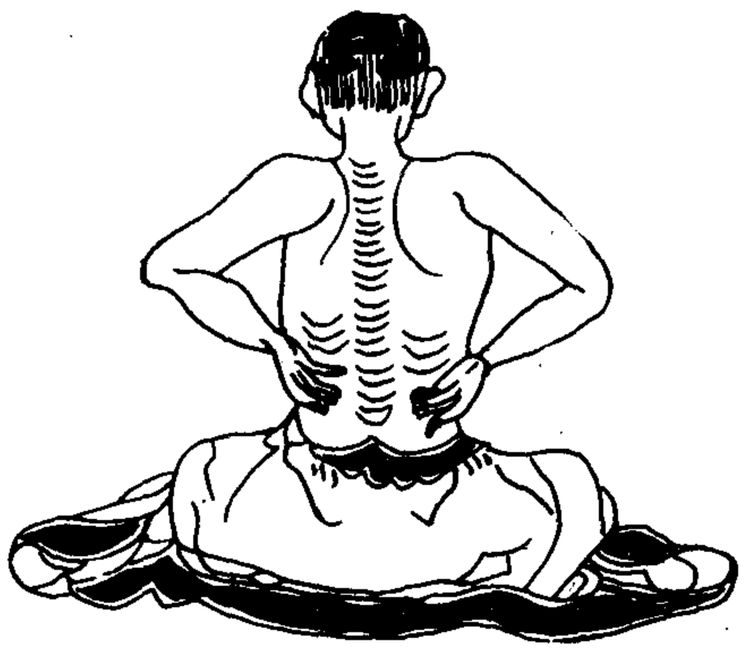
叩齿，集神三十六，两手抱昆仑，双手击天鼓二十四。

左右舌搅上腭三十六，漱三十六，分作三口，如硬物咽之，然后方得行火。

两手摩肾堂三十六，以数多更妙。

左右手摇天柱，各二十四。

左右单关辘轳，各三十六。



双关辘轳三十六。

两手相搓，当呵五呵，后叉手托天，按顶，各九次。

以两手如钩，向前攀双脚心十二，再收足端坐。

去病延寿六字法 其法以口吐鼻取

总　诀

肝若嘘时目争精，肺知呬气手双擎，心呵顶上连叉手，肾吹抱取膝头平，脾病呼时须撮口，三焦客热卧嘻嘻。

吹肾气

肾为水病主生门，有疾厄羸气色昏，眉蹙耳鸣兼黑瘦，吹之邪妄立逃奔。

呵心气

心源烦燥急须呵，此法通神更莫过，喉内口疮并热痛，依之日下便安和。

嘘肝气

肝主龙涂位号心，病来远觉好酸辛，眼中赤色兼多泪，嘘之病去立如神。

呬肺气

呬呬数多作生涎，胸膈烦满上焦痰，若有肺病急须呬，用之目下自安然。

呼脾气

脾病属土号太仓，有痰难教尽择方，泻痢肠鸣并吐水，急调呼字次丹成。

嘻三焦

三焦有病急须嘻，古圣留言最上医，若或通知去壅塞，不因此法又何知。

四季养生歌

春嘘明目木扶肝，夏至呵心火自闲，秋呬四定收金肺润，肾吹唯要坎中安，三焦嘻却除烦热，四季长呼脾化餐，切忌出声闻口耳，其功尤胜保神丹。

[Ｇｅｎｅｒａｌ　Ｉｎｆｏｒｍａｔｉｏｎ]
书名＝医方类聚　　校点本　　（第九分册）
作者＝浙江省中医研究所　　湖洲中医院校
页数＝５５０
ＳＳ号＝１０２６４８６４